回庫禁燬書叢

四庫禁燬書叢刊編纂委員會

京出版社

北

子部第三二册目次

羣言歷液八卷 [清]梁顯祖解	古方略四十五卷續編六卷(二)
五〇五	明崇禎十二年書林張裕謀忠貞堂刻本[明]余懋衡輯
五〇五	

古方略四十五卷續編六卷(二)

中國科學院圖書館藏明崇禎十二年書林張詒明崇禎十二年書林張詒

子 32-1

之以訴聽者自當警服然非及悉智不能之以所聽者自當警服然非及悉智不能	を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	章可後使他人誅爾以為功帝女 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	The state of	柳族慰劳府兵 袁州 强军和"定	古方略機卷之四
以功		安 命 の何 数 の 以 発 一 質 で 得	軍 使 战至		

想 位 不 者 ○ 氏 ○ 氏 ○ 承 澤子 子 素 俊 ○ 日 ○ 永 澤子 子 素 俊 ○ 日 ○ 永 八 海 本 本 ○ 取 ○ 子 ○ 取 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表 ○ 表

東 東 東 東 最 大 日 駅 令 不 可 人	輪於即城以饋推西行管省 汀運之費七萬餘播 為招勝地 千至於軍無體的其得策又在置推翻 為招勝地 千至於軍無體的其得策又在置推翻 或目行縣置而人知有惠淮西自是不是平此特	學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學 學
----------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

古万字 照厚待秀琳與之謀取禁秀琳日公飲 勇而輕好自出戰請為公先擒光治則秀琳自隨· 贼左臂官軍不敢近者有陳光治為之謀主也 将士良言于惣曰吳秀琳擁三千之衆據文城梅 生之請盡死以報德恕乃給其衣服器械署為提生 吳氏竭力非日力因後為公所擒亦分先矣令公又 為其所掩自分死失吳氏釋我我因吳氏再生故為 士良乃自言本非准西士貞元中隸安州與吳氏· 唐憲宗元和 士見與戰擒之士良元濟驗將皆為東邊患奏請到 題許之既而召誌之士良無懼色熟命釋其 李愬厚撫降 少良将十餘騎巡邏遇吳 光治縣秀琳果以柵條恕引兵入據其城其 十二年事節節度使李題謀襲蔡州 ·問委曲 縣是知城中險易蔻近口、 0年11年0年2年2年2年2日 日 0 0 0 0 日本省貨給栗角遺之乗貨感泣 2月2月2日忠義而用之 前淮西騎行 元濟捉生處候

書計也乃募敢是士三千人舞日实将例夕自教習 山淮西兵赦之官軍不利乘皆慢帳題獨飲然曰此 災想想見之喜執其手日爾之得全 京師先常表其狀且目若殺補則無以成功韶釋以后44分別,有者分別,有過過過20年7年1月1日,在1980年7月1日,1980年7月1日,1980年7月1日,1980年7月1日,1980年7月1日,1980年7月 谓采日诸君氐以祐爲疑謂令歸苑于天子乃械 古才略 恐謗先逹於 寄其 45 の 神の客り至の此の 用 施っ 此城邪何吾二人相知之深而不能勝衆口也 散兵馬使令 被 Û 枞 易○伏官○彼 0 如 麥張柴村 謀及 □ 等○耳○耳○耳O手O数○註:非 類 不 能 · 楼 預開 獨召 言而 2 0 Ż 近つ月3分の本の古の村の七の古の芸の 郼 O 以情性想想盆知城甲虚實追兵政服 泰之四 上巴不及救 0 佩刀 巡警出入 軍命会謀賊者屏其家想除其命使 特恐 芨 李忠義即李一 許 一拊加 騎○使 來○人 **指 40天子 火** ·釋縛待以客 **耐為愛多課想想待私** 更。自4年,第1月·朝 大〇在○不の情の教い 以歸 逐之 乃持沽泣 C 將 爾 0 帳甲或與之同省 \pm 乃 С -人語 **意**贝. 10分の金の茶の声 古 い禮 餐の岩 ○減 東 口 天子音 日、登天意不欲 の更の娘の有の時の 騎の舞 祐 0 稷之 Ī 之の必っ 全の F Ħ 多稅官 分。恭。 它 。 更 かっと ○積□ 0 各〇万 四 J 🛊

		古方略卷 冬之日 二	安人之 明非諸将所測也 安表還前施威思圖報信之深故任之為此又 愈	降卒學待載謀使樂為用耳方界具,有大彩至如 也山氏耳愬志在襲禁其所以得要害者在撫循 重質等所制。不得出	罪廢東身自
	.	志真堂	第此又 题	所 大 等。 在 無 有 一	解部許之而為董 所在積水未果元

魅處 制下 灰置 從之將行言于上日臣若賊 韓愈為彰義 十二 叶後 大き之 就言師老財楊意欲罷 既不以兵 可是平 四 使。 盂 度以韓 同平章事報 恐臣李大功必爭進 心の不 自往督戰上 使仍 日上為之流涕李逢吉不 叉以戸部 不一不併力迫之故未降耳若臣自請行替 和 督 行軍 奏刑 進 改 弘已為 十二年諸 討 冇 制 侍郎崔奉 書数 司 部 4 復謂度曰卿真能為朕 過襄城 與逢古善 彰義節度使仍克淮西 郝 馬 仹 士亦 統不欲 (字.且 判官書記 漷 三兵来度獨無言上問之對日 軍 南 馬 破賊矣上 討 白草 言其草 為中 废 滅 總 之以問宰相李逢吉等 淮 及恐其合 為宣 更為 則 菸 欲 皆朝廷之選上 書 四年 六合中外之勢: 招訪 一慰副 仔 天有期賊 悅 火 郞 以度為門 不克債運 ---同平章 請但 使右 行乎對 宣慰招 北直 Ç, 茫 **勢**○學 以○士 在則 珬 **\$**0 堂 下门 Д× 討

古方 中 挫 招 不獲自 叉 晋 卓卷氏 中使監軍同然有聽 當弼言唐之衰以內 **乙萬全者也度不** 骶然 免滋帝疑 芭 百 討 H 折宰相 日 っ 監察 咯. 뜤 公處事深詳處但 Щ 名 ij 宋 後月送之日 日誓不與賊俱 度悉奏去之諸將始得專軍事戰多 之 氏 實行元帥事以腳 仁宗 日、宋冠準請 監軍無異願 靇 Ħ 請北行 雄 虚耳の 散逢 兵之言。一 畴. 討 度既 古之黨使 **具度罷楚為** 出 . 充 有不 能勿遺 臣監 臭、以 **欽若多智安有疑沮乃奏改** 真宗親 此 贼滅 以坚急宗討於之志此事 生跳平即歸關兄陛下。 觀元濟表知 賊窮處将 知而 而 1 聽朝 軍取敗非一一一个守忠 内 為 無中制又奏去監軍 賊在數語微 征契丹王欽 ぶ 侍 見. 治所先是諸 為 王守 廷疑斷異耳。 聽此與裴度奏 춋 倘 同 温 擊却之 忠為 悽 ٨ 機智。 沙丽 岩 都 有 語 品具金 朻 道 沮 鈴 嗬 功の 則 皆 錐 20 有

方方春後 朱 元四 照日禁之精兵皆在調曲守洞 其子城河技也想目非吾計 裴 度 臣 民 非 已成摘矣恕然之遊掌書記 城者皆蘇卒可以來虚 部之 者斬返旆力戰敵忠死淮 目 交城命李 Ė 山二 共十 宗 李 天在中日期日音及在中日期日音及 躗 烽の魏の人 和 夜 母子振其 禍命士 2000日但東行行六つ000日但東行行六十分である。0000日年第一十分ではの10mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmである。100mmでは、100mmである。100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100 1 四 1 2 冬 1 漿 **耐李忠義師突** 後往 + 冉奇不 Ť 14 吾兵 Ó 騰 命の行士の六 小 十秋 皆侍 不足 西兵乃 日後立 tl 討 將 鄭 Ш 明丹運管李確言手 Ξ 良圖也想命史是 槲 元 千為前 友胡 比 Ų 退或勸勉乘勝攻 ħ 贼 四 徐朱保子 境拒守守州 至. **料剛之元濟** Ĺ [] 十種四 吳 小人俊 || 房 即城客白 応食を

洞曲照日元亦所空者重質之牧工乃訪重賢家臣 蔣尚寇芝 日行四為盗 耳晓常盡我之又有告者日 肚士從之写門卒方熟寢盡殺之下 班 并 等OH 看我 之 · 以OF R · 率OH 于庭聞憩 城船矣元濟曰此必 鸣雪止魁人居元濟外宅或告元濟日官軍至矣元 不至菸州 一页化三0甲之水谷 計時大風雪旌旗裂人馬凍死者相望天陰黑自 擊 如以故 也 1-1 方写業 ·帥左右登牙城拒戰時董重寶推精兵萬餘人據 寬奏C情元存盖 發 侵 家二群 并 閣 不 如故遂間門納象及衰城亦然城中皆不知覺題 無一人知者李藤李忠義獨其城為 軍號令日告侍傳語應者远萬人元濟始 * たこ四 傳道持書論重貨重 [6] 曲子弟就吾求宏衣也起聽 八木舎行人人与はこれとの木を入るとの本の古以中の土地と 殺之而留擊林者使 彼 **愈○莪 肟 惟** 联系 少減拒命官軍 状の四 以の鼓 品真 先の惣 近C必城O克 登の至し

į

ì

京師。 濟于城 恕遣 南門 餦 以待兼度上御典安門受作以元濟酷于廟 之後非劉悟反戈則田弘正不得入故克强敵者 下の相 或 又不必然之意欲滅賊而先自固者也。 既委任李惠李府而又邀書重貨使軍騎來降凡 也山氏日李愬之襲蔡州皆因敵制勝以 元濟所特為 內演此得失之機也。 必有內主方得成功而御大衆省一失人心必至 李 日淮西之役非李神先導 Ð 抗哉至于留史曼鎮 進 上請罪進誠梯而下之想以檻 爭負薪勢助之城上矢如 奉之四 誠玟牙城毁其外門。 能 用柿亦 腹 ŵ 者皆得而用之元濟尚能與官 惟 葄 文城留義成軍鎮烽 得 馬想用敌卒擒元 则 蝟毛。 P 李恕不 庳 車选元 取器 土 糒 得 時門壞元 入。 社而 楲 选 忠貞 待勞。

古方事物 苑力轉之成功倘既已信任而又 之以目之所見則人之野否誠偽畢露而我因有 按其辭繼觀其色又察其氣廣之以耳之所聞. 于疏固不可多得然使後世懲丘福之與每得 卓養氏日子家惟用降最難盖慮為賊聞也 皆没視想之用施執失執得哉 以 敢哉愚謂后降之道宜做問禮五聲求情之法 卒無問誠偽賢否一祭素之如臂無相 但能語線行途亦不必土人也 智謀之士與俱防其攜貳然不如素蓄堪用之人 其誘誤必舉其色察其情參驗數人之言委曲 然思意凡 雖素者堪用之人有不能望其偷等者然後得其 合乃可信任又當厚其頒貨要之爵秩仍選股心 一時能其間彼必疑不自安萬一 用之苟其賢而誠也便當待以不次推誠委任 求辛蟄矣可不慎 へ参え四 用 本朝洪 牸 虜 為 國公丘福裝信房舊至全軍 鄉 撆 者 湏 此尤謹察鄉尊也 ħi 反為敵用 使 賊 * 隂 **腹心智謀之** 亦何 持 北角 姦計

度 以蔡卒禹牙 ¥

一唐

宗

長

慶二年

Ŧ

庭

麥

级赛

陈成

使六!

四馬

正光

韓

宜

묽

Ŧ

庭

麥

何。笑 事の語 競の日。 度 下。於 卒為牙 八馬亦 番 宗 0 夜 為 元 鎮准 ㅇ不 Ĺ 兵 節 彰 和 ○燃 ij. 義 或 將 十二年李恕 ** 陳し mu condendation c 之感立、 節度 胁 日棐 本 使。 萬 元。人 先 餘 是 惡o及 平 人 : 徃 0 相 吳 旣○仄 入 淮 來c過 擒い者 城憩 氏 西 | 吳元 义 者 3 從 蔡○尚 不の者 子 人の多り 還軍文城 っ罪 虺. 則の不 兵禁 吾3可 人0不 夜○慶 Ä 旣

來年憂稅官 之易盖人心 仁。故 装 FI₀ 庚 克 先 其 伐 軍戰亡者 深明傳統問治之 後 叛 服 柔 故 取 服。 也。 渔 靑 背 使 如 百 爲 苳 妵 収 義又能 掌。 暁 壅 給其 狄知 不惟乘 家。 濟魔 賊之 胨 自別の Ü 暴

尚の豊っ愈

日

「解育尚能記先太師則: 東Cは10歩の約つまりはO要O ・ 第一個が

善o 矣o

夫の

一の作のこので

をえ

P

存の連

仕づ邪っ

○禄

思

明

灯

來

至

亢

渀

鰤

道共

子孫有

平0山

4

会以

觌

神婦婦

雖 使吃

樹 O 提c

唐 范

之為

氏

El_o

世

山

氏

其所謂

蒸人

禹人

肯推

誠直

致爽朝

四

壓

之 葄ο

一・禁己の見り

将如牛元

Ļ

者の即

不つ来

少っ欲

但○使

0何

大っ

體不

為

悟の皆 李っ島

今0 皆の

使

爾で

曹の歸

亦の朝

即○廷

之口弱

庭

麥 飾

、恐象

混ら

官王承 包 の育

軍

٧.

ちち

睿

人参え

. 🛛

ż

志意

##

生民之樂韶准

西

百

姓

紷

後 二年。展

É

賊

围

晝

萘

盗

不のから、子のから、子のので 炬 元與於 皆危之詔愈至境更觀事 國擊走朱浦血 臣 之 十つ奥の経り主 義遂徃 のののののののののででです。 大学の大学ののののは、1870海の株では1980年のは1980の度庭奏言目所以紛紛者乃此時 乃不能 州 衣 至锁庭奏板 兵 摘在 與健 部侍 兒 此 揶 雜愈 語の 势勿 鄆 何 邪 Ŋ 負朝 遗 宣 甲 弦 + 5 ;人 Ħij 앬 共軍 IJ 廷 14 囙 放り 曹 逆之 日っ 愈既 此。 先太 以 鸚い所 為威 及館 為 君 之の 師為 之仁 節の非常

銭の扉

棄っ ・ ・ ・ ring 歸之未發元 何 為圖之 椞 不 五。 將 庭 + 奏 騎 日。朝の庭

> 出 當

泺

出

さ

子 32-8

					$\overline{}$				سود مد س						
	! '	1	1	Ì			日河粤	, } !	- 1			١ ١	į.		; I
	į				1		7		罄	叉	也	he i	4	rti:	屯
		i					in l	1 1	*	Π.	-0	رنغ	1 12	760	: .: I
		!	1				. 4	1 1		1-10		押	# y	7)	
			i			ļ	_==		辦者。此	1		馮	馭	Ħ	山氏
		•		· '			\sim		正	愈		紛	强	劉	Elo
			1	1	1		ネス		de	承		独	展	#	4
			i	j			7	1 1	八棒	A		""O	ĸ	YO	44
			!		: :		^- P2-		1年	. sh.		村	~	*	핵
			1				Ħ		正典捷給口辯不同。	又日方愈承命宣慰時胸中等畫先定非倉本取		加部原紛然特匹夫倖倖者所為非不辱君命者	个駕取强暴之術辭嚴義婉	處明白開华令其自悟雖飲低溫恣横不可得	賞
		:	ì			i	i		П	獄	i	夫	辞	自	庭
			ŀ	j					玆	畦		佳	煲.	ďΤι.	凄
			ļ		,		ì	1 1	7°T	440		仕	**	123	U.S.
		l	1		۱ ۱		. ;	1	2	Mar I	•	17	聀	蛛	14
		ì	1]				.	Flo	T		者	免	贫	従
				į					-	籌		所	往	侃	利
			1							盡	'	4	/#:	; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	-
		1.		İ				[更		™ o	TT.	冱	P
		i		ŀ	i	i				先		非	ДЦ	添	棡
•	;	İ	1	1 1			¥.			定、	-	不	是	横:	稿、
:			ł		!		3.			非		辰	彼	术	嶉
-	l			ŀ			E.		-	4		世	9	ᇳ	44
,				1		'	19			/b		Æ.	往往如是彼激亢	70	孤
1	ł		i				思見全			4		Ĥ	ル	件。	勿
	<u> </u>	<u> </u>	,	<u> </u>			3			取		者	相	古	日愈語貴庭奏皆從利害禍福晓然易見
															~

古方略機 命將士必不肯從令朝廷久無處分彼軍不晓朝 至軍心自有所繁從諫無位何名主張設使課機聯 布显新使已至路州所謂先人奪人之心也新 近澤路一將克昭義節度使令兼程赴鎮從陳未及 加于人又邓 共情事機令昭義兵級必不盡與從諫同謀縱使其 乃可伐謀劉悟死已數 左僕射李絡上頭日兵機尚速成斷貨定人情來 表求知留後議者多言上黨內鎮與河朔異不 唐敬宗實曆元年,昭義,節度使劉 **禹無遠拒設不從命** 叶同尚有其半効脂從陳未普久典兵馬威惠末 效順 議 卷之图 報素貧非時必無優 賞令朝廷但逐除 授 劉 從谏 臣亦以 月朝廷尚未處分中外人意 篩 度 為不假攻討何頭臣聞 悟 卒子 1 從 誎 忠貞堂 使

	古万子後 卷之图 44 点自全一人以過昭義要求處分自不同耳 人以過昭義要求處分自不同耳	劉從陳末知留後終又謂無即受之理或予或新兵計號傳終乞即降白麻除田與節度使令耶養 芭山氏日元和中魏梅節度使田季安卒衆議與	後、
酵祭宗廟勿御樓船皆用此法 務賽則行幸之寫不挽而自回矣張猛止漢元 數度不極言東都必不可往但云宫關荒臨宜	古方警機 考之日 八 五東以兵區助脩東都乃動罷之	南部縣合率已荒 監下 僕欲 行幸宜命有司嚴合率已荒 監下 僕欲 行幸宜命有司嚴東都以傳經幸自多難以來故事慈廢令官關營	官表 电 東 市、

. !			夘	岩且		自本	E	肤	4	旬	· 国 。	殆	飲	欲	迶	為我	唐	-
無	姑	芭	是	JL.	挫	靠道	温度 英 其	É	方	Į į	-	籽	追	新	A	子張	敬	ļ
罷	赤	山	而	示	其	不	#°	有	略	さ		整	重	£	農	虚弘	宗	裴
脩	台	氏	E.	*	姦	न	將	虔	検	後	1	*	臣	兵馬	將	節清	實	水度
東	客	П.,	不	示含容	宜		±		_	徐	- 4 - 1	矣。 譬	宣	及		皮数		
热	町	部	足	鴚	其姦宜云	100	基	が下れ	*	場は	أ رز ال	如		丁	士春		曆	議
都宜	4	書	旁	-	7	獨與范	春衣	服	さ		ees	猛	慰如	匠"	不上	使克		[选
明	To	鉄		俗	; ; 底	124.0		有。	E	部の			75.	工工	す	蔽	年、	分
告	匠	解 亢,	聖慮也,	脩官關事在有司	匠宜速	陽所	1736	司	*	書の		獸o	4.	五方	不足	克	朝	朱
克	宜	悉	池	P 1	塘	: 川東	机	事	į	太 (月	勅	千功"	た.	栖	廷	克
元融	速		14,	HOI 1	, VC	稱者	所 建	製造	. 1	周	陛	于	使悲度	功力	٤,	U	遣	颅
	还	中	上	学,	進	有	3 20	更明		中	F .	山林	装	俗言	#\$	东	ф;	
以一	造	機	悦	住	遺來已	助 官	3H	不 " 謹o		官	下勿遺	林	庱	官	支	疎	使	
不	來	宜。	從	有,	<u>.</u> Ľ	百典	东	謹o		至	道。		對.	. 関。	給	惡	賜	
幸東		(坦)	之,	司	**	岡泉	無	胅		彼、	宜口	咆	耳。	L.	Ξ	執	朱	
東	燕。	助		小,	。	岡 皆 是	此例の	甚	٠.	新 [°] 失	慰り	哮	克	惠	十	翻	充	
郁	微	修		似"	在	是	何。	飲	+ 12	失	亦の		腄	之	萬	枚	腄	
之	涉	既		T	排	虚	廷従	知	-	去	勿口		無	n,	端	使	時	
意。	權論	是		歷	比	語	*	之、	£.	就	索。	X	禮	問	匹	Z.	服	
之意直云	Ħ	虞		建	供	岩	簽非	ይ ′	貢	15	鞍♡	اعف	Ŀ	辛	灵 ,	又奏	克先	
五	蓋	高い		表	擬		首朝	4	£	遺	使。	á	甚	相	奏	當	たん 花	

吉方略機	是前令で	龍云已会
卷之日	是前令不信于諸鎮也所失豈	是日本: 11 C
1	// · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	内一 我以 許 往 彼 以 詐 來 o
東東		彼以祚本

市事格機 百口口 貸進 李載義執其姪 同捷 指点 看宜也。 本 造親吏至中書請事 女 同 知 慎哉。 私之 誠 密以 保賀使王處厚則 託為 河南 使奉 宗 留後 子慎 惟不 明 (許之) 臣 之大 絥 糧 耕 北 表請遵朝 厚 以 以 以兵機論之以相 行 敢後與同捷通 巻え 助之装 ± 諸 戎 計 示之。 耳 二 同捷 小 并所路歇之怎該與全略為婚 所留不受記武寧節度 鎮 惩 史 也 阶 H 構易 啟 意 公同 故為國之臣以異見為同心面 使其畏威 度皆 官殿 Ħ 不 海 誠 大計。 不の常 同 移 問、 然但仰 原屋 厚謂 事而 同捷 捷使 不 围 同 庱 固之濟否 Ż 捷 捷 使 懐德 叐 廷 选子 知 拒 為 冀 李 相濟。 信 俟の日っ 謂 命乃悉加 迶 易 全 不同 而潛退 所の音 意 **お** 路 海 中于是為 世 咻 為の公 Ŧ 誠無二心案 使 節度 之 其自 推 于 河 £ 後 誠 籔 忠貞 智典 北 筒 使 或 在 乱盖 闰 朝の前 相 姻、 諸 較 加 μĩ 典の身

掠 弱。 粉 夈 百方略 至民務走諸司奔散鄭單李 入 不 惡官 Ħ 唐 訛言 沛 非 至 軍 世 外。 虚 城 等道 颇異宜出 支 一鎮之 乱つ Щ 吞 陳君賞日 資未可 然自若教 儿 至 宗 矣() 楼 人 可 氏 典 乃 儒服者 整殺之東 是 巡 田 大 石 **定**。 非 君賞 庙 Ħ, 知. 逊 召之全操等追 全 和 鋽 「知堅坐鎮之康は山避之石日宰相は 貿然 能 先 全 走 部六 操 九 定 之田 畫 全 操等果為 日坊市惡少年皆望皇一此年往往為五方—— 蚺 使 有回 等六人李 鎮之京 年自 訛 操等 甘 粉 至閉門未晓請徐觀其變不宜 傳 稱い 道 Ė 爱 能っ 僑 呼開皇 使 늣 共 服 僅 城 避り 稅 迶 六人 斃 者 亂 幾 亦。 驿 忿訓注之謀在 之會 訓鄭 拠 (再亂矣) 手の 城 0位 當有陰 不完 疾 石 逸 石 不 諸 可の夢 免の 在 駏 訓 连 使 定。皇 産。 基。 人 逆 聞 司門左全吾衛 丽 覃然之石 中書草 敗 因 莲 謀 知 旁 入京 六 造分計鹽盛門 疗 無 耛 在 拔 道得部皆廢 魳 它黨 'n, 是 道 閉 調不 城龍 道揚 葪 裼 亦っ所 王 叉並 言。 声冠 八百代 豼 菔 팊 4 텘

天 特 叉 等。日以自 乞件 卒及 F 克 空 目 連 垣 备去 龙 春之時 遇 破 同 相 討 者甚象士良等以 盗 星, 召 就 于北司字 章 李 賊 實中 上 坂 位。 石 循 亦不 李 物 之義卒為士 在 湛 此果 故 心不 ijĿ Ħ 斯 右 皆 中 不不能能 事以全吾卒學從 上言 見 割 能 閼 者 訴 全 相行 竹 吾 吏 傷 王丨 可 'n 包 若 調忠 傷乎愚謂 穻 石 西 官 文書 討威 艮 Z 大 不 内 卒 枢 ズ 胡 # - 惑于 Œ 免 若忠 舧 有 懼 Ŧ 而已 進階 既 無邪神靈所 嫉 之 不之言特 圭 潜追 不 岡; 正無 百 : 衣 變 為 脳矣 F, 而 逐 夹 特中 道所 不 駋 1 た 更 単 衠 邪 兩 白 依 蛋。 但 甚 有人 石.

宜 謂 斯 漠 武 已立求册 公主 主 磨 南 代 間 曻 所 李 旣 朮 杏、 末 囘 南 цţ 駐 城 Z 陵 破 宗 赦 有 止 彖 以 萀 于 Z ci Ħ۵ 一一一 此 胅 唐 後 公主 烏 不 使 當 比或欲别墨 E 亢 传疆、 يخر 米二 介叉 許 行冊命下 許公主入 薍 天 Я 可 德 介 同 姓 萬 汗 使 軍 可 汗 境上 寓 制 共 Ī. 善 造右 觐 蹇 相 Ĺ 31 介優 地 垣、 騳 颉 公 親 兵 烏 * 全 問 永 殊 千 Ē 邀 : 擾 車 大 介吾 遣 非 伽 擊 大將軍 艮 可 斯 邊境 团 使 逵 宜 干力 ż 等上表 聲援 計 汗 上 Ŧ 叉云 敕 表 亦須 青、諭 吉可 Ė 不 應接。 殺 人 之、奉 借

兵o不c養。 す 世、攻o敢: 從。 ア 石,以 為留後 捷書 建東 從兄 不誅鎮不已真即安 誠っ役 武宗會昌三年 計0以0路0 略 不 百0期0 複 活為 降 能の來 H 都 恬 Щ¦ | 不 | 部諸 刑 氏 石 日 Po若c 囚 典石云槙原 洛 ۱ij 州 群以其書聞李德裕上言今官軍 道 之也。 不納何 人。為。 生 剌 蒣 誠o 欬a 史石 特李丕降。 么 179 ¥ 昭 手 内 堊 討之以李不 Ħ, É 祁 先。 华族 使 ر نار 勢 至 生變上 或月。 非也、 諸道 排 歸 本。 求っ 大 庚 **今**稱 不 順 鄵 原 使 惺稜 計其誠偽 乗っ兵の 宜 劙 明 씱 共っ次o 上っ望o 從 方與威諸道協 知 深 相 稘 為河陽節度使 從 之。 之後 坂 拒 公奉從諫丧 造軍粉買 唐卒献 勿 卒其 **五**数 納 埘 急食之 侠 子 ₹**不**o: 좷 四 0.00 降の即の自

古方略模		然無足怪也	是故丕降可
巻む目	•		是故不降可實旗降必不可受或受或拒理勢固訴一種足以警諸鎮追得遠受其降而少寬之哉
page new type 14 th			《或爱或拒理梦恩

以の腋の河の戌・ 古方 進或為此 百五 辛人 抑 (兹小 重o之o鎮o兵 命 黨 武 私 暋 兵0下0河0衛河 王 實合為低 獨 + 得 應 宗 詔 氏 篩 在o若の陽C離東 慷德 槜 有 里 澤 取 曾 Eloⁱ 度 南○宰○仍○褚兵 取 也. 其 筝 用门 泽 王 をこ 不質刑 上命德 戊磁 不 醛o蘸o◆♡ 功 꺗 拒 州. 129 卑 惟 Ж 吉 州刺 勢の朝の以の先 耳, 叉 攻 上 進 激 亦の廷の義の取 而 于 上 圕 澤 鴬 討 重 裕草 餐 雅o此o成o玉 何 亦 史為 辛生 州。 猶 遷 髪 意の精の弁。 尨 *4*L 上 :胃。 知 = 延 秧 隂 必0兵0令, 敬 事。 晏實是 Ħ 詔 7 劉 昭 百 两 未 寓 善、 不の二の王 出 「固っ 赐 姜賞 稘 義大 里 月_c 葢 克 ~幸。督其: 牵 以 敢し千つ宰 魳 有。 所質。宰之 丽 李 制 義 淹の直の久 鄉 追 激い 辛與石 女女 軍 雄 德 成 z 留○抵○不〔客 爱弟。 祭い 雨 ĒΓ 脺 術 節 而っ ŧ 進 智典愛而 雄 屯 吉 兵₀ 耳 度 顧 壁 討 成の 將 雄素 得 距 于 進の處の請。 志有 申 使 大 功の 上 Ŀ 者。 捌 軍の卑っ徒の原 t Ħ ふ 虛 ふ 日_o 汚の肘の側の 而 義の朕 散 子 扣 王

家の賊の借 安南 攻。 古方略 德為資客召式入問以討 進 华以奥贼 多十三倍 萬 觀察 遣牙籽 A, 唐 用o廷o費 西 代之夏侯孜 賊 江季 求 懿 引。则 威 有食官侍側 班 遊騎至平水東 救 东 ЕĮĪ 使 Ŧ 服 抻 O Oblice, \$138.0月12.1. 不然兵多城速破其費省不然兵多城速改为0月0日 O 機 後 Á 改 鄭元、祕 于 咸 力 华夷 無可詰者 戦. 丽 召 琮 鄰 通 討 奉え 渚 紨 烫 粁 道 Á 德 元 裘 可 日浙 辫 \pm 府 Ξ 浙. 稱 遺 仼 戓 循 中 百 天 ዦ 西 浙 前安南 以為 稱 以 人 造 Ŧ 討 東 机之 山海 乃以 江 痱 Ħ 赴 矛 都 之. 賊 賍 不足 城 不 衛祗 之脈 粁 知 大 裘 式為 中, 方 幽 行 婈 屰 麻 略。 護工式 胜 茛 宜 德 德 茂 馬 制 敬 至 本 女 一可以計取 對 析 先 謀 潤 饋之 始 贞 使 遂 ΆĹ 自ら特の若の式 $E_{\mathcal{O}}$ 東 邀 特士請土 令屯 逃 粁 祗 潮 几つ蜂の矢の日 但 栊 弐 職 雖 潰」 比 刾 甫 廟の起の少の臣 得 祭 儒家子在 朝 級竟不 度支 百人 縣 攻 難以 兵 下○應○不○為 廴 忠貞 門 隶 式の人 膬 版 及○之○能○國 常 及 宣 뇹 至 楘 十の國の勝の家 熽 為 de

應者、 柜之大集舟艦得問 中丞將兵來不 典其徒 弱者、 械に皆 奿 貨 掛っ為 则 衠 國家 造劉 蹀 財 東' 構い基 郭城 府庫 追兵五 ń 月 庹 破 後の離 鄸 JJ Ç 守陸 ń 酒聞之不 稅 忞 台 貢 索 # 實定 使之謀乃孫權所為 m z 漢 竽 未 斷o保 武 怜 Τί. X z 小囊 四十 及" 入' 州. 橋の貨 義 뱎 王大 地盡入于我矣但恐子 骼 海漁悉則逃入海島 业 師甫 奉 為の周 咑 費 劜 則長 化 進士王輅在贼 Ŋ 石 樂 関の子、 Ħ 州 淮 サ **小劉唯** 世 萬人 90 娏 除書下 抵 年の乃古民 南 可 印海 千守 3 **骓** 植中, 城 之中自由相 勝り 等 平海 所過俘共少壯 循 守之宜 兵 備○相○與 諸 計っ 取 馬 华王 浙東人心 西 밿 師○謙 道 黄ロ **嘆日**今 未易 淅 使 喢 陵 叉 出り日、 Ł 中赋 宜念 南敦 循新 西 Ü 隼 財の賦 授 衠 ŧ 不 此 水 江 通 兵 飳 客之 引兵取 稍安前 孫不 整 4 取 西. 太 įĽ 朗 抓 官 **《姓**遣 式 江 ú 4 g. 士の城 Ħ_o 人复生 州 有 赲 ₹. 入' i器o

妻子皆拉 霧旅所部 周c之の 古 客の刑の 方 販の將の略 阻便转 官軍 乏り 枞 城:自0洪 窥虚實城中密部 政 共 耳 使 二百匹子 耕之几 通 讜 . 異 0 師 舿 业 Ħ 求 入 使 弒 始∪更0__类 不○尤□ 馬 城未 城 越 帥 許 徿 使 弋 175 可 破之日 全能 是騎 過 川軍 一一建 在行 其徒 奉さ 離呼 搣 Z 知っ横っ ヺ Ħ, 是った 無狀 Ŧ 我・猾つ 所 c 者 o 吏 郊2前 央 Ħ 隽 帥 必つ自由 足矣 布 願效 食方 曻 吐 免 匮 前 邡 明 無○是 訴、賊 嵛 為し服の 苑 绛 市脈式 飲而 皆 而 縳 急, 全 政 献 吹 典 le) Й 上妻子或 部 請 鸺 不 食 北 賊 直っ過 籍之又 為 と. 戦 可 文武 散 配 有 免 I, 功 燧 也 奏 准者其人 式 陰の引 IJ 棛 乃 ₹ から 全の出の ない。 祭0賊 悉の特 更往 奏予 徘 Нo 늴 西 龍 非 越 贼 r K 椎 $\mathbf{\hat{L}}_{O}$ ż 陂 汝 捕の來 月9入o 淵 吾の来 版の警の 索の降、潛 先 贬 為っ 竹の夜の 1310 動の身 具っ師

魜 Ė 師 洞。賊c跌 百 三百 四: 毋っ州 成 一百 美 人。軍 蜂 白 連 無 方 殺い唐 府 官の入の姓:人 來將韓 衆 式o 平の単 角宗 以 合。建 败 軍 o 明 o 幾 数 益^O 所 略 自上處 補 人の怪 绞ο 先是 之乃 問。 电0月の動場。以 秩 民の軍 使の之 而ら 宗正 于0之(清明)台 俘 **\$**0 不り Ŧ. 獲 春 増の號)忠 命宣 洞口道口部裁州 趡 請い敢 應 心経情(C 式 首の南の府 奉化 之姓 土 者 2 筝 軍り問 緩の路の游 一分路C 新G 爿 皆 帥 絥 E ŧ 解 兵少奏更 越 軍の君 出 Ħ 1 平 į 土 将 卒の 銳 大 Į, 令○楚 泉 图合 捌 民 自 計の閲 使り **₽**° 克車 破 脋 之c 淮 Й 琮 **P** 城の諸 泰の 程之諸 Ž, 從 日 6 南 M 之 1 疳 誉 催の Ήŕ 發忠 者。母o將 式 磤 Ŧ 関る人 Ŧ 뢴 馬口 西 號○石 東○宗 - 無守兵田 北 命忠武 卒及 之 海 募 争の萬 將 少り 共选 高羅 御 凌茂 遊 太 酸の磷 無つ 益○穴○高 東○昭 | 羅 義 Ż めの 帥 路口本 土 之の 散之民 得 更締 鉱業 脒 東o昭 粉張茵 成單及請 賊 母の本 軍の 真。 帥 闦 **弁**c + 房门 焚っ軍₀ 塩っ奥 胂本 子弟 人 幕の幕 义 騎 11c 賊 ħ 東の静 以 兵 ± 為 数に機 N

役 狩 人 者 Ł 戦 日っ之 城 式 **谷**つ 郙 蜟 共 剣の 狩 47 七 雲思益浙 販o乃 甫 岩 剝諸 方 · 件共船 守 跃 夜 B Ŧ 于 徒 伙 ી 未 Ŧ 之件 略 南 無無兵 裘 欲つ出 一 日 從簡 Į. 贼 趺 ŀ 梎 僚 少っ戦 堅 末 鄆 銭 桋 陳 W, 蔛 甫 人 失甫、 **令**: 休0三1 攻 就 至 日、 雠 村. 陳館 劉 守之。雖然亦 盡焚之式 于寧海東 西 £ 斬 本 紨 再真耳 Z 滅 駐 販 将 令 式 卒敢 下录尚 不 耳り 壁 不 Ż. 益口儿 人 育 劉 柎 £ 亚 日. 豿 粤 健C八 能 知 凼 數 £ 克 龯 城 所 拔 矣苟 捨我 顀 年 備の十 4 花。 從 E Щ 軍の窘 在, 之の三 諸 右 懼請 滅, 粄 萬 賊。 Ā 不 材 海の耳 ₩_O 無所逃れ 梋 義 城 伱 伙 載. 擒矣裘甫 功 水 耳の盤 亦 賊 蒗 成 委兼 降浙 酞 人 軍 東 H 成 請 我 絕 桁 果 迎0担0逃 張茵 筛、 矣。 ١ 詴 溪 自 稫 東 路 梅口 之の人 Ä 東 進 郥 諸 為軍學從之苗 黄 箪 旣 水 海。 遊り 竌 在唐典 罕 ŧ 路 砓 失 果 柎 IJ 盈 命 思 入 冯之、 斱 路以 ¥ 并 後 IJ 軍 贼 望 海. 肿 н Á 迶 r ji 艄 海 大 等 海 펬 叉: 式, 賊 之の懼 去 蕵 孤 म् 遇 鎮 煶 式 联 加 Ŧ 榩

專以 行無以 不 而 耳。 倓 栭 耕 E 遅 世山 少 \boldsymbol{x} 缒 不為盗矣且諸縣無守兵賊 邌 越 換甫 斬 力為多至 2請日今 挑 至大 成 鬋 腡 散之何也式日城炎殺 給兵何也式 日後 华燧 乆 見 丧 苑 繼之徒勢士民 日 能 甫 則 繭 本之 Ŧ 朝 P £ 成 為 贼 何也式日降燧所 辛從 山, 設備 +灻 # 酒 <u></u> 堊. H 处 從 《公破城 Ħ 裥 不 1 簡振 方 刌 車 留意人 劉 議選特 赦 徒 乏不以中捷 須 郑 楲 全在 矣先是夏侯 剪车 伙 鹶 崩 八才尤指 自守 自潰 选京 敢 而孜 不堂 此 採 П 闁 ŕ¢ 詣 利兵 亂耳 诱機 热 以 돛 公之始 橋之前 將 緷 悉力。 Œ. 逆 扒 害成者是侯孜之 肽 鬿 厠 籽 士 所難 泛過飲 知武 足勝任 誘 孜與式 救 **倉穀適足** 使偶卒為候 人吾給之食 푯 \mathcal{F}_{L} 悼 攻克之諸 故式 Ī 下实 進 兵也令兵 至軍食方 僑 止 Ж. 未 至 青月 分合 所奏無 八 開走 不 忠夷世 越 崖 州、

型コリス 聍 古方 惊(上)法 于金馬上 進士紫京預 及巴 Ŧ 調。 邚 處 _ |N 慶殺 世山氏 欲. 数宗 此。 大 不後 相 凁 相 之討 Ž 耳 巻二 附 揖 宣武 使 疾宦官 如 双 宜 $\bar{\pi}$ 忿 會公慶 不 豻 射樞密皇得不自憂乎 Company and Company Company and Company Company and Company Company and Company Company and Company Company and Company Company and Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Compan 宗大 年 jH: **四之謗議喧然逐** 楊 軍宴識 速也, 封選投 行, 办 11 封 庱 又使 事 漸 杜 此 有 時宣官 公慶 監軍之面既而及第 雨 ıþ٠ 相 所 樞 步。 全 客 直 之而既而及第 遇之 者大 知 告 →體♀明 則衆共棄之韓州 殺機 两 誅○授o諸令宗王 斜 謎○公 八狐原名 封 非 樞 旣 深 崩禍 學員 事っ践 慶の日の以 温和 者の祚の主の主の友 盤

書の中の五の枚 境 敬ら人の百の汝 Á 指 做' 也 人 拯っ云の人の父 7 <u>F</u> 椰 疳 命 謀 擎 爾 命 か 奎. 使 И 詗 仁 句 也 供云 F. 午 汝 将 楊 仁厚 出 兵 此 tī 4 傦 為 \$ 温 汝 遷等 仁 背 汝っ 入 五. 厚 曹の曹っ然 El_o į, 赘 詗 Ā 百 滋 引 夫 廟 尚 事: 問 P 人 姓 久 多 怒 州 書! 良っ活っ能来! 人の汝の云 El_o 字。 兵 ĸ. 千 邚 鼾 z 數 徃 無 肵 7 四 代之 簽 Ł 韓 得實 對 ۲Ŧ 功 求 Ė 事的 我 汝 選者 至 求 日 以` 汝 取 Ff 雙 五 某 未 筤 曹 押 何 则 因 能 夫 流 占 免汝 發前 書 各 所の汝の書の Z. 村 人 執 牙 作 憤 把 耳 * 投 制の當つ來つ 教 耋 民 訊 高 亂 截 汝 家 知 办 所 共 情の為っ日の Ħ 之 仁 敬 不不然盡 使 而 不 非の我の餐の A 能 I 厚為 欲 迚 果 Ä 疝 Ĥ 囚某 耕 枚 使 苏 I₱_ 得っ潜い所の 緞 Ħ 有 者。 文 槙 尚 汝 能 Bo語c 終o 糕 蜀 現 及 尚っ素の止の Ħ 死 ×

栖

古方略 共甲 宜其 木 入い邀 鄆 A カ 及其 例 切の有 寨 賊の官 搫 麆 救 繁 El_c Ÿ 兵 乃 立 甲 字(疑 甲兵。 . 厚 月: 之毎 始 免 告った 召 五 z 以 大 仗 泉 件。 命悉 姕 Ķ 卷之 业 軍 五 譲り汝 鉀 惟 仁 如っ調 | 于 寨 矣至字的 思夫 + 之口 쀠 揝 # 厍 遣 雙流 非≎却 共 飽 餘 至 □○引き 扎 Ą 女 旗 件 Z) 悉 相 塹 不 4 婦の面 棋所 渾 至 私 不 汰 热 繼 能 延 前 足 埜 作 渝 宼 語の之が 様の下の兵 賁 竹, 前 晔 奥 狼 書 缗 邀 4 狽 語。 集 旗 奎 j. 共 子羅 過 ፑ 五 護り 功 覵 者 令人 荻 Ħ 中 寨夫 穿 网 亲 寒走 其 束 背。 縛 能 Ti 也 極 者_o Pf p 耳, † 使 Ж 閞 ኍ 栅 百姓 大喜。 饆 + 目。 岸 人则 仁厚 ĸ 速 僧句 送 段 Ŧ 引工 車 府っ Ż, 如 客前 遣 **8野** 獻 我 乃 ħ 且 悉 笨 呼 人名 橋 餘 將 牟 乍 斬 攀匕 炉 執 Ť 出 麘 至 Z. 싲 Ιŧο 焚 薂 以 未 遣 氏でも地 邚 生 五 詴

关 子 首 。 悉象 古方帝 井 Ħ 其泉 子 耴 仁 詂 馬 鉤 拜 脫 퇻 流←千 日 出之。已死私 *****, H_o 寒 身 决 巡 前 人 縦 至○餘 yor 下○者_c 今 縛阡 肵 来 政 百 却 11 J, 熋 新の人 擒 大 計 野の分 禹 姓 欲 ßf. 7 州 流 聚之 Ħ 軍 出兵 尚 能驅之前迎官軍見仁厚據馬首大 不 未定日 萷 鎮○遺 能 境 穻 韓求 党 狐 ٤ 东 津 亦 þ 叉 叉執 近呼 泉皆 其衆皆 補c料 ۳ Ħ Ħ 火 可 阵 雅 明 光儿 向 強○往 人 死 散 者 + Ħ 自謀者還百成的終人 幕。 袻 自課者還 喍 週の降 不 旨 先 焚 不應 Ξ 使c 本。 復 夫子。羅夫 爭 延貢 **降**。不 矣 魹 諈 糧の将 寒 寨 (羅夫子) 使の仁安の厚 职矣及 生 出 ΤÍ 明 使 笑 然o士 皆 使 矣 執 厚隆 H 新 歌 後○欲 F 撑 集の出 PŦ 引c者 羅 津 吹! 者 八子自 呼不 能 夫チ 戸○軍 姓 兵 。 至、 新 置 é.c 阵 求 執 者。 中の光 引 連○阡 津 九 夜不 新 作 Ħ 旗 丏 領 Ĵ 於 六 能 夜っ能 與 寒 杸 先 占 泉草 息自 Ħ_o 止 至 奢 Ħ 於 旗 絶 赴 ıŁ 通口羅 陳 劧. 顷 之の夫 能 延 先 明 競 之 謀 赶 明一子 黄 黑白 日|炊| Ho.

其所以 失大信 古方 全家 問。 販∈摩! Ħ 不 他 敵 寒而 叉 旗 而 焦c仁 餁 日 山 Ħ 尤 先 Ζ. 吾 哔 刺 請!皆 4 ○厚 然果行 寫思 拏 行全 足 仁 K 史 准 釋い送 ż 空 伙 彼 法 見 阜 日. 妆 誹 不ぐ府 洛 勢同 表才即 賊 图 ንኃ 阡 摮 以 仁 捕 赦 問の釘 主 厚 能 果六 憭 季 降 榫 全 之。 瑄 未 為 于 之,以 之黨 馬市自己 草書檄 破 鳽 溪 有 橅 人 因 此 ,以 幾 未 故各 金百 戾 存 竹 賊 相 y. 問 At. 矣。 思 食 譕 飠 田, 有 件 粉 孔 州 人 寮 涂 運 手o 两。 賴 粉 故 Ħ 刺 **鈴**o阡 IJ 之意 出 俱 之 為 選: 溪 史 復 · 今^c 官 史 不っ能 貧 其金 闖 数の敗 焚 以 惄 紩 起 若 唐 中 眉溪、 殺之。 'n 糧 H_o 至 剣 買 矣 抓 **敬瑄** 望 新 賊 斥 z it 人。 執 此 對 菝 极阡能叔 風 非 泉 乃 **T** 日公 律 逐 從之因 舆。 求 餂 皆 惟 瑄榜 仾 諸 使 大 馬青 总真 已榜 務 去山 故 將 帥 使 永 于 籴 鉄 恨 明 攵 Σļs 仁

削 韓

Z

能 夫

孔 于

官 Ŧ

張 市

条、

嬮 IT

皋 能

中第

求

羅

首 目

渾

Ŧ

踵

相

缴

I

焚

佐っ

明

之

問

怒共執二人請仁厚仁厚語之日何故及秀界日 道攻其寨且焚之城望見分兵往 唐僖 大中午安皇帝委為天下無後公道紅大中午安皇帝委為天下無後公道紅 往來惶惑不能 戦仁厚不 奥交兵潜發勇士千人 討峽 **贼衆皆降秀异行從見衆潰** 使老弱守察資糧皆在察中此所謂重如表光非0時年後再行項語者于 0 詢以山川蹊徑及賊寨所據喜曰賊精兵盡在舟中 為所敗敗兵紛紅選走所在慰諭不可遇遇仁 侍 暴人 整 舟 與 穿 **叱之即止斬都虞侯一** 芭山氏 万略 後マ 必然此如明得者老丁益信可名專信者老女 小巴括仁厚俊菜善游者鑿共舟相繼 宗中和三年陳 惟秀昇成是敗非机上之 外水に日 日悉 Ŧ 賊 相 中情形故 枚仁厚遣兵於要路邀撃且 こっこいのの 秀 聞城 瑄奏以 人更今俗娱部伍召香老 同 能焚焼 揮 飹 韓 高 特 肉性所烹蘿 執兵負素夜 * 救之不及資糧滿 秀井 積聚使塩失 所欲止之級愈 重戦軽防な なのので 風行 别 退員 軍 厚于 一招○沉,之○贼 門 皆 目官 故喜 古が各 中軍 僖 彼

寨惟茂言走至張把乃追及之仁厚閒諸家 不参如曾勿憂也韶素名長者表信之至 四鼓皆遇 伏擊之東川兵大奔追至城 坐良外仁厚謂茂言 爾意論之日僕射幸不出寨皆不知爾曹速與來 能禦帥衆棄寨走旁數寨間之皆走 夜二鼓君雄 鄭君雄猴鹿 高仁厚為 有品 張都論之日爾速運數十人分道追走者自 日悉歸矣語且諸 中 仁 利我傷眾之 對 厚聞之大開 頭 色と羽 左右賦至見 等出勁兵掩 Ħ 四 敗 年東川 昨夜 **、關以拒之君雄** 将兵討之七厚 東 不不 川 Ħο 则 開城攻4-軍左右言使射已去 共 前七年八两年 **黎門設炬火炤之自帥士卒** 昨夜聞副使身先士李走 彼田我 節 特牙集以為仁厚 門開 擊城 度 下感之豪中新獲基 使 至, 不 北 逸遂列十二寨間之 堅壁 寒副 師 敢入還去仁厚發 不出仁厚曰 陽師立 ţ 東川人併兵南 車兵 4 使楊茂言 滅不 漏鼓 造共 忠貞 叐

古方略機卷之四終	4	非。我我所謂小有誅而大有學也	芭山氏日用法宽猛得中觀七 川節度使	古方略 卷之四	圆梓州泉川将吏斬師立以	設伏于陳後陽敗走君雄等追之伏發大敗遊歸仁不敢後出矣仁厚陳于開下君雄等悉衆出戰仁厚	聞之懼日	下斬之諸將股果仁厚乃召非夜	為欺爾理當何如茂言曰當死仁 つのこののののののののののののののののののののののののののののののののののの	香 共盧 後 選
四		7	笠	之 四	州新	敗 岸 陳	聞える	未	かっねって 英 軍 の 将	各
		1 1	猛	!!! 	更斬	君 開	i Fla	界 乃	夏、爭o兵 日 然o計	重、
		有霉	中o 觀		師立	等一方	、軍	召非	雷·後·賊 克·秦·若	7 超
	余余垣垣	一	片		以降部	之。雄伏等	法嚴	夜所	仁: 聞っ仁 厚: 今o 厚	ψ,
	担垣	姑息酷黑者皆	仁 厚處 置諸 將 或 宥	里	以	發 悉 大 衆	整如	俘虜	厚日然命の 原日然の 原日 の の の の の の の の の の の の の	っ厚
	TE	語 宏	諸	思真	仁厚	敗近歸。出戰仁	如是自	房數十	命:既□副 左:先○使	7.作
		者皆	或用	真堂	八東	蹄 仁	《 个 <u> </u>	人。	右 走の幣 扶 又の代	c 厚

宋建 兵馬 古方 家 儧 不 古才略 爾, 民 以c 建こ尚 Ė 今爾後 邪對 日無也 叉問 錢 略 щ 共っ能 此 称監漢超在 烙二年以李漢 太 不償者朱 機 宋太祖 膜の 并 所貸財 漢 浀 卷 猫cc 食の 起未 卷之五 諭李漢 之 梚 鴐 超 五 者 本 也。 御之法 重 主 關 朝 感 **朕**の邪 明 附 姑い貴 貰い其 낁 南民有 超為齊 起 農の <u>W</u>, 陳仁錫 ...也宋三日 南 府 契 升 . 謂 日、 婺源 舜 袁州 砾: 汝ぃ人 足 手つ 催 益 疚 訟 州 云不暴其過 以為厚道沙 女 其 防 修 張 漢っ何 可 禦使舞命 **殭娶巴女為** 梑 政 Á 起族之貴臣は如野日歳苦な 適 也の客の超 젰 瑘 衝 何 不っ使∈不 吏'! 足の論の在 於の漢の關 Ä 是厚道思 定 经 民 黇 生迁論 変え。 奉奉 對 用の超の南の EI, 次の侵 何の日の教

盘千 有聲溫 乾 風 親 古方略 得三千人皆能 共 堆 荆 缩 判為思得通變情習地勢沈勇智謀者以不可以 O Nelopostosonofostospostosonofostospostospostd O 有蠻徭皆保險阻自固時出起掠圖遏州 徳二年以 而靡各得降表以聞自是荆寒無後逸惠 被二十人 分使諸 可 质 漢 地勢。 卓卷氏日 t **治** 州 知 Щ 任 大 州 欋 盆人 武 被 **科通敏情智地** 再 不 有七變一再雄撫御 П 杣 爲 四 雄 數 郥 泰再 官其子為發直此 州 西其人以治 卷之耳 赋 刺 都 諸蠻共為變哉 深 再雄 史官 献 槢 租 撫 甲渡 太 雄 情勢沉勇有奇略 赋工、 蜜 感恩替以此報至州 帴 Ý 水壓 辰 辰 夗 11 共地 陽 州 再雄 山飛輕捷如 遵 刺 ķ 有餘量復憂邊惠哉 無 史 生長其間通發情 威 叉牵綴 凊 抐 于恩使 甲兵芻輓之費 長州 而又 鄬 再雄之法 後孫又選 Ħ 勝五州 ٨ 專制一 訓 不测。 ±

Ŧ 欲 멦 潍 棽 H 南 建 張 通 共 7 立大 指 取 H 右 Ŧ 廴 仗 在 睿 之 我 櫃 此 畫 其 僬 書 书 書 黄 功、 ·Щ 說 花 湘遠 巻え 間 प् 何 IJ 使 芾 川 獻 行 橅 7 Ŋ 王 曲 通 午谷出 执 末 約 塞時論 Ħ, 枢 而 王 公隶無 Z 帝 北 有 頁 庚 朲 私達 固业 亦 及 目 奼 英 保 Á 钛 之已 舉 應 若通 安三 勲 共言 砦 耳 Ż. 業 屰 戊 因 使 西 好 禰 蜀 宇 討 勒蜀 坤 之長 入 Ħ 併 科 之 有 诈 原 門、 立 Щ 1 虔 名 兇强 主 表裏 對北: 南 至 棄 道 矣 道 的表 個 節 Ł 忠貞 趙 里 文 近. 麦荆 굨 彦 不

> 表型 克萬 克 7

個四十萬

萬

全

先

史

德

例祭

燕子 中原

砦 遂

取

敵

取 喀

如

灰 Ż

方 ut

未

基

戟

三泉

- 岩、

榆 鋒

保 梓

正

進

Ξ o IE,

等、與 等

種の保

十o李

除の進

萬 淋漏

至

л

師 败

冽

陳

IJ 及 進

待、

崔

彦

張

分り

道○其

撃の橋

之。蜀

悉 保 依 さ

鋴

衡. 灰 進

£

駋

退

大 ÌÌ

谩

涯

萬

鄭 逪

康

処 萬

引 三し

兵

迎

三 蜀 ٨ 蜀

戦 ٨

竹

逵 逆 天

渡 戰

焚 津

梁

保 蓮

败 其

棉

舠

菱 郲

州

有

鎟 桔 大 彦

Ĭ. 栢 敗 進

爲 II. 洏

楽

Ŀ 逃

5.会

李昊

Ē 譥

Ŧ 此 服

蜀 軰 수 纹

主 何 駋 滅 粮 是 爲

日、 所 遠乃汝 果定 綂 嗣 風 武

Æ.

觀

朱

氏於

運

不

類

奠

周、 荆湖

椀 Đ

本具飯

Ŧ Ī

罹

逵

洇

醚

欀

臂

盲

吾 Þ

此

行

非

ıĿ.

Ħ,

為 郊

李進

副

ż

帥

拒

有 卒 宗

用之蜀主

不

能及宋下

畏 及

紛 當 大, Ħ 楝 使

事左 特 店 事 使 Œ

右 屰

Ż 者、 宵" Ľ,

٨ 非 湘 王

素 有-

不不智兵

莊 筝 開っ 西 乾

帝大 分

挩 張

先 睴

横夏 禰

> Ą Ĩ 州

李氏機

郲 蜀

險で

蜀、 政 超直

Ē

功 Ē 逺

不 Ħ, 趙

校 푭 崇

校门

征

N

年命忠

쏚

平

為都 修等蘇 ìF 分道 Ľ 尤 水 克 義 佴 E 之涯 伐 崔 一雜作 Ĺ 者り 彦 工 州 進 之 蜀 耳の其の 百 招 Ē 圶 独の器 訶 Ŧ 討使 閗 斌 P の間 為 **仁**i £ Z 及 贼 全 IJ 彦 主 曹 烒 Ŧ. 治 進 為 郴 等 0 物 IJ 大 為 西 遠為 쬻 财o借 都 nı 鳯 角ぃ 具.! 於 簋 行 都 州 分の名 右 将: 督 統 進 步 都 末、 趙 九 持o独 部 崇 義 士の謂 外』 六 **吾○日・**

◇掌耳自方 典州。 連 諸 i 拔 葛亮 王全 石 拏 <u>=</u> + 樲 筝 桌 贞 係 入 蜀

子 32-24

次全斌至 騎桁 畳 進0不0剣 : 有0 Ĥ 左 而上高彦 師 陸い江っ松 焚苑 右右 皆 跨の足り門。 Œ, 垂 行っ日・三 戰不如堅堡以待之守 侍全 製c我c重 張 遠 後 散彦 交っ軍で撃 廷 距 趙崇 斌 閛 幹 **俸**謂監 之c族c江 次益光科降卒言益光江 - 単 王青 覆 與 官道 へ- 単 王青 覆 奥 官道 へ o域 未至 木なる さ 之 Ħ 韍 江 供α流○列 「奔歸府! 三十 耶 留 弱人於江 **北義**得 綸 敗 其○至○礟 漢源 走 恴 Ļ 車 勢の此の具、 布 廷幹 里 武 走 陣 偏 おり傾り劉 投 析 · 典 此 如 昨 中 舎 進 其骨於灰 即の勿の光 出 見之棄 西置 乘勝 戦 德巴克劍門 昭遠昭 宁劍 謙 谦 舟 以o以o義 那遠 川 不 Бļ 步 戰○舟○等 從個 此 3 を 進 權○師○行、 寒而 倉舎丁 1 狘 先 灰の争の帝 軍 領 91 中の西 奪岸 **产** 涉 攻○勝○示 牀 衆 自っ此っ 越 以。北 達 迶 偆 麾 瓜 取っ當の以 不 逛 逖 師○路○渡 大 禮o 再 建o 弁。 力戦不 Ŧ, 而來 之o先o地 恋经流 杂 能 殷 屯 大の関っ Щ 進 非真 典 後 **必**○以○图o 尪 之。機 渫 殺の劍の此 次 光 矣o歩c枯c 利 前っ門の出 重 野の銀の 及

:		人 艾	一自劍閣南入一	世山氏 曰 財 軍主 親 降	俄而宋追騎
		鍾會宋之王全域劉光義是也	関南入一自峽江西入漢之來 都本彭晋华故成功如是其速然自古伐蜀有两道	日	至與崇詣俱
5		劉光義是也。	自峽江西入漠之本紙本多音如是其速然自古代蜀有两道	。 一 一 一 一 一 一 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	被就全城克利州進次魏
			本 本 事 重	光文得	川進次魏

宋主許之先 臣 瀕っ也の 于宋乞去國 示畏服內 |皆驚駭| 無故而 未可 寶四年唐氏 戓 知 重者事機耳南唐之路普将以 故兵機 ţt 構亞父未可 El_o 從善來 太祖 **水**至 知也, 却 得 服宋主之信度 之所 受人之干萬而不為 南 有 命普受金此 一普不敢隐 表 不:是 郑 ΣEI, 猿 倍于千萬者受之以千萬 曾った。 備 宋之君臣不 z 宋有吉古之事必 在 可一唐 改 駱 知 賜○國 不□主 猿 有無故而予 祉 車 ķη 及南漢下懼甚使 .. 外の之 [蹔, 受り以 文 江 而 И 客○體○但○鉄 為 自之上上 納為 栫 **喪の不の以し五** 江 ŋ 解 白の可の書の萬 南 内主如 发之節 全の自の答の所、 货 ٨ 得 國 間 如の為の謝の遺し主、 遣 何' V. 而 其弟從 其 遺の削い少の趙 者。 千萬而 Λ. 宋 謀 購 ı A ルサール・共謀が 越之 君臣 普の弱の路の普、請 貢 在 則所 之以 當O共O普 賜 使使O以 紹 所 駼 数0位代表 200 年 200 年 200 年 200 年 200 年 200 年 200 年 200 年 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 200 日 善 規 不 聯加 不 予 元南 真 有重 + 折 使 怕 漠 韵。 呼. 上 贺、京店 費○矣○之 部、之 弗0 可の来 所:

	古方略梅を七正八、息質量	有事于唐而不顕普失者太祖善處之惭也。	但知太祖常度焉知太祖之所以待普者哉方當	適足以們其心如漢文之于張武是也南唐君臣	芭山氏曰客資從善金如遺普數正欲使普問之	未及開奏而上心即不怿矣時異而機緩也	于千萬者此惟時勢之急則然耳它口應下黄金
			方宮	君臣。	聞之か		黄 全 c

								_								
			之豈天亦逐滅江南哉。	特疑敵之法至令資粮火拒職勢能審甚大反	芭山氏日格所樹者長水耳而令	矣。	古方略被人秦之五	風甚火及及之衆大流遂榆令賞金陵	到題能攻之令實勢促因	製之令資棄大	在之状令資望見疑有	造王明客令人樹長木於	接象號十五萬順流而下將	:都	彬遗都虞侯	王明復朱令赞
'			滅	至	所	矣。	1	象"	龙	令	望	<u>څ</u> د	五	南、	年、	Ą
			jī.	令	樹		事.	大	攻口	質	是。	٠ ٨ ،	萬,	李工	曹	娇
1	1		兩	黄	有	İ		旗	Zo	来	死 (· 石計 (庾		杉	!
i 1		•	黄。	稚	夫			逐	令	大	有	· 大 ·	加		遣	
!!	į		ļ	火	不	ļ		11	Ħ	瓶	伏。			ΊL	都	į
i l	1		1	拒	4 0	ļ		全	萝	建	逗		'ፑ,	南	真	i
1 1			1	戰	m			Į,	化。	. 大	첁	in r	भ			i
, k	l			梦	\$	ļ		全	因		不	滑く	女	虞	챍	ł
1 1	- 1	-	1	飥	贅					旗鼓至皖	敢	間。	采	愥	追称	
			1	寮	壁	Ì	1	匍	大	戟、	進	若	石	木	你	
j l	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \		1	甚.	Ц	1	L	侍	柜	至"	明	帆	并.	令赞	部署	
: 1			1	人	4	1	1	此	戰。	唲	因。	橋。	〉 梁、	赞、	署	
1			1	久	伏		思真堂	接	職會北	ц,	极(1 情 格 養 音	曹	a	王	
	<u> </u>		<u> </u>	人人	此	<u> </u>	<u>l</u> Œ	蘇	170	明	楼(州音	彬	訓	明	1 <u>'</u>

豆 *3* # 依上 * 新土 # # # B 王一で、 留依章疏也依甚威懼既歸每殿事命徙坐東。 左 祭京師特賜尊從儀偷之物他 三段一朝帝日川陸迂遠當供詔吉即來觀也依約謂俄日南北風土異宜漸及奏者卿可早餐依言願 掖起 宴射苑中惟諸王預坐每宣諭 依依 從不許留惟游侍嗣令依歸國太祖宴錢干韓武 宴之賜劍 開實九年吳越王錢假來朝帝 非遗椎 え日。 芭山氏日视依特安 廷寬大之意與光武以 □四北神京在焉 天威 尺尺 敢寧居平口四北神京在焉 天威 尺尺 敢寧居乎 依感泣會科以四月幸西京親雪配依惡請 太 出疏示依明以見 旭 心置腹做特 餐上 般 示 表える! 俶 書記不名帝數記假 童 浒 性 在 群 太 祖毅中不悟耳: 語。知 臣 不為 果同^o 防 物 赐 制之周 太 不可勝計群臣多 禮賢宅以 租所 拜謝多 與其子惟 以厚 陰以 忠贞 令內 松 八個調 示 迌 视 髜

海崖、 柜重 古方路機門卷之耳 契州兵擊破之契州西兵至遂取契州兵干新 **兵** 州造先鋒将季繼 接戰被關 州、 利因其疑而乘之我勢盛 克 | 翻契用 Ľ 進 之契州兵演。 進 щ **我** 共 相 短兵接戰契 **唯于東勝負未次命部料 共家聲提之法** ኢ 视 月二 百人 兵見 **黎取燕蓟** 勢原 重 質漸處兵後集米信獨以麾下三百 年、 夊 信持 酪破 开 州兵 執 帝建 南 城 大 契 杰 懩 刀大呼 東北、 言獎 面 卅 不 埴 投 取固安 曹彬等伐契州杉超 柖 雨 疾 侧 心彼勢訓 而下 安 田重 驅 所 使 穾 Ī 徃 ĸ 大鳥 嗣出其西乘 边出飛似南 副 新城二界進 业 躓 鲄 矣 败 而出會挑造 毋 奖 獒 則 異字 甚 一州未有 疳 以の嗣 無 册 專政 以複 忠貞 耐 使

	支方路機 卷之五	成之法不可不知。
	I	成之法不可不知。
	土。忠貞堂	八萬者矣彼此相

其亢 見 朱・ ħ 京 太 得其迹 天下富 主监得 言自 日咸 直 南 宗 火 浪 楼 嫦 至 不 平五 П 尽春え 士 庶 兩 道 言治安此 典 Œ 酒。 未 亷 諭 如 亢 同 燃後 年。真宗以上 頦 處 皆 延臣 此嘉典鄉等共 逃 《微寓悟: 其 討 罹 帝 jĖ. 位 剽 η_{α} Ť ıQ. EI, 17 汝 [7] 者也。 椋、 Ħ. 上 堋 與 列 主意 代 諦 F 沱 . 吕 貝 元 非 崩 文 夭 舉此 欺 火 際 乾 穆 Ŧ 同 光上 4 同 庻 岡。 冽 亢 情沈 事 觞 徒 削 Ţ,]24] 宰相李就 無 周 以亢 尚 恋 涵 政務 **非字** 多未 慚 不 賜 齯 直 件 狙 面 理。 1.51 稱 臣 境の都の正 Ho 心 扣

・母の善の悪 丸の視の可 漢高祖 上 业 欲 月 上**`** 謀、宋 召 斬之 輒相 敏而 懸胡夷炸 緩 準 太 山 生 之八桷 見之端具道學言 其事 一名君 見帝 可偽後 宗 之の以の子の<u>機</u>命の格の不の 矛盾。 因見 氏日 Ħ 于保 壀 搬遷 端 刚 媏 退 何 諌 赐 逆之人 料覆 迮 世輔臣之法異時 當 本 凖 在の抹の然 卷七五 近 女 為準 經 步 招 畤 軍 幸 Ÿ. 策 我の鑑の徒の 我 沝 成功益 奏之即 人。 吕短 不 実の遷の樹り 帝、雖の怨の 北 告 有 奏 粬 相 裁 杯 荚 門外、 미 以 幕 複 西 # 故端 同 用 不の健っ 火 四: 劕 A. **夏之地** 且言昔項 信 能っ益の 召 不入 ĸ, 陛 夫 峕 改用端東 用 祉 B 謀 即っ堅っ Ŧ 舉 閣 E 遷 凇 Ħ 思忠 此 君 占 開實 張浚 國, 降の其の ; 今 大 : 門 沤 # 終の扱っ : 1 事 羽 蜵 不 雖 吏 非 何 上 稅 討黄巢有功 J) 趙昌論事 可っ耳つ 相 雖人 者 得 使奏吕端 恄 12 使 車 七 太公欲京 (處之 穳 矛 之得也 人邀 年。 及 灭 以の宜の 召 心 宗 爾其親 丽 繋っ置す 遷 IJ 冠 準月 定難 之段。 至. 卒 爿 共っ延っ 幕 ネ 以 事 **№** о Мо′ 願 而り使 c

能是所德教護守脩而已惡在姓名之賜與別數能是所德教護守脩而已惡在姓名之賜與則數 劧 受其俗而又 縱之目是時繼遇方倚矣冊聲接,一丁其降也則聽察之處以 必免之方可也豈可 著落 于其降也 使 巻た玉 ፑ 臣 乍 扱 無如之何。 然則 ŧ 何為而 忠真 **ा**ट

正為今日且客更有異議后緊然乃奉太子至獨選已奏駕立嗣以長願也今将如何。 福日先帝立太子 百岁路檢 奉之年 使王繼恩忌太子英明陰與參知 宗明道元年大內火帝御拱展門百官皆拜樓 動幹色而定于項刻之間就大事不稱全者也 或日端之處繼思若獲猛歐而制諸罪天下事 災然小人險夜皆得而知之太宗既崩國事未 也山氏日C 吕夷簡不拜帝使人問其故曰官中有變群臣願 奈何後令雅思召端 纖恩謀 **兼見之乃拜此與吕端審視路拜** 立元佐 邪向使雅恩不復召滿客與 舞る平 之私心皇后 殿下不拜。请恭集 何端日先帝立太子 政事李昌齡知 · 求 印未能 各員

宋至道三年大宗崩太子

檀

Éγ

位帝不

葞

	古方略排入を北市		端不見及此。 端不見及此	待繼恩水召然後知 胡旦等蘇衛雖欲鎮
		1 1 1	留宿殿廬則得之矣情當日	待繼恩來召然後知其有變亦已晚矣為端計如何如哉且端知太宗不豫不能預防繼恩之数必明旦等謀端雖欲鎮繼恩閣中不可得其為變當

要即奏日冠準言是准 後人要立庭下準日時 至何疑而不進高 瓊亦園以一百保吉分大陸以提共左右 準問 乗○夜 宋典宗景德元 呼萬歲聲開數十里會鄉 flo 大 决で日っ至 勝の陛っ濟 共心坐 御北城門樓召諸将 核○鑿 华月隆 在並又 下g用 不是南 金の異の至の 士。视 也是 **科受國厚思** 本畏悦己芸を のいして 且. 趣 通河則人の城壁見契 Ŧ 亦。士 春だら 4 起 有以金陵之謀告者帝意稱惡不冠 Ŧ 得至也の 契州王隆: 須動 漗 准 今日 悉り 陛下 兩 可進尺 느 文 头 。心っ冊 日台 ょ 凖. ŧ 鄁 有 囘 H 請っ店。 危 危 ッ勢 敵 ○ 甚 機に以 給 以 成不可失宜 趣駕帝乃以臣言為然盡試問知以臣言為然盡試問知 以臣言為然盡試問理以報手項日願效定軍 可退す。 迎 山 数步則萬秋尾解扇 7 契州 仰っ四 般前 準っ 氣c ήL 騎 汉 登見御 街士進 执 扭 朱 未c衆 都指 其坑 河北諸軍日 士。鎮 落 承っ 非い駐 の赴 專 ○至 | 登 决 ○斬 | 勝 被者, **整帝送** 揮使点 以中取の固 ` **南** 乃

朝廷之體 所言 追 * 東不 曹 使 地 **咚** 1 1 朝 +0 樂之者吾不 艄 利 山山河 체 E ホ 地 用 目 # 我不敢 謝學幸 数 《好题》 每月三月十八五月年十年半月月亦無傷非不欲路以貨財正欲邀其稱 供 YĮ. 南 如 + さ 來 斬り り為準方與知制語楊俊 さのはのないまとのかりなりない語の 八半乃引去帝還行官留 ,是吾後, 契 請盟利 農 年 周二 預り 州 杰生 四武 求 #. 矣○利 .₩. 後_. 戎 疦 金帛 闍 宗 利 用 軍議議幣帝日必不得已 IJ 奎 契, 取之人 刑 至幄 É Ħ. 策 収 用 何 生心矣帝日數十年後當 邀求 **取重準** 重 늅 爻 以進日如此則可保 止 升-以作 至 得金 契州 契州 政 契州軍游太后 謂日雖有物青獨所 П 今宜見還 前つ日つれのはご優の南」が 事 軍 **联當央戰若欲** 印歸 木 進 舍人 狄 尚 퍆 共 得巴乃許其 칻 髙 利 鯯 E. 飲 知 1月日晋日 帝意 可也準尚 南 韓 政 忠白堂 調 地 心速 始 祀 金市 利 े स

姚一結

東蒙

之非

役也

議契

帝、州

不确

許

而即

去、南

利遣

用 共

竟 監

以上門

+

萬二粉

國

和

觐

稐

大

| 州道 號 Ϋ́I 有所恃 叉 授 子弩射殺之契州大 岜 古今亡例 El_c ţţ 共言盡 河縣第已 十 ıЦ 共 妆 無 驍 火]3] 攜 非 177 以 他 陳 排 楥 Ħ. 匹 养え 用 17 漸推 定 ¥ 璀 兵。皆 君 始 增 使 成 須曾 不 在 勈 尺 於 筣 亏 焇 泛 T 約 ,志土崩 Ŧ. 鬼躬 具禦 之役。 握 Ŧ. 綁 從無慶 īĥ 撮 試 旲 逐戒 ĸ, П 聍 持 **發明**源 徼 然則準 挫 若 勞方 點 管書來 使 出督戰 同惠字机 **産** 暦之 無 倖 ÚĄ 諸 精康之失大率 苍 面 町 是時房方 兼 拼 协办 房冠 隼 李 光 IJ 央 用。 郑 IJ, 勿 天 也。 先 荻 計 稚 本十 难言為 夾 圱 14 路 特 張 ŧ 朝 乘虚,故 凘 Ŧ 請 禮 奼 月契州 奪氣 中山 陳 帝 分 F 事 Ŧ, 邀 庫之酮 由 為南 仁 無 **热恶**宫 渡 帝 共 / 及乘 北京 此迫 गि IJ 或 歸 引 盖 Ĭ, 北 閱 屰 路 天 牀

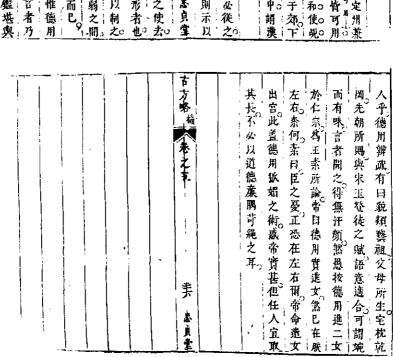
						古方路機 巻元主 王 五真堂		至克河擊之扇衆潰走與幸府別同	車駕出喜蜂口	惟適氏日。本朝宣德三年元良哈侵邊入大事	万年無事哉愚故謂雖與仁錫之言皆非也	攘外事治民安尤當進而水之並 照川 戰便保	準之策以禦虜則有餘以保邦則不足至於安內	兼比	· 福岡亦云不用半言所致然则景德中·果盡用準
		; 1	而又会价德明之鼠凡大臣駕取夷房宜知此法	不厚責後明但令追求來取民可以崇朝廷之體	世故事不遠至是夏州儀請果賴心輕朝廷王旦	百万野養 卷乙耳 至 息真宝	封西平王馬查甚厚因責子弟入貨德明謂非先	造使投德期簡較大師兼侍中之定難軍節度使	敏中言德明要表歸款後替表請減盟府帝嘉之	也山氏日景德元年趙保吉苑子德明嗣三年向	不取德明得記慚日朝廷有人	教有司具	かは或言徳明方納数 而敢へ	宋真宗大中祥符三年夏州儀趙德明表求栗百萬	拉

す 7 外枝 東九主 語左右日王旦善處大事真宰相也 是不足以服衆恐終不能無變耳後世處大事 兵将既以全是亦以安及倒者是罪不容貰錐 姑息長亂也。 世山 與此類者須先察其可權與否好縣謂有罪而 又以惟是無它罪僅以峻令失衆心故權之使 乃可游消之平若遂行已成法所不受則又未可 氏日此深得處亂兵之法然必謀而未成者 功而可權也 安及 為馬 符 艽 年,以 副 躼 指 旻 其言兵果 剾 品真堂

	:	ļ					+				-	白っ		さ	朱	
	1	. [٠			7	鞠	夜	夜	世	豹の	筝	連	仁	
	}	-		-	ĺ		哆	可	夜故	超:	山	城?	ብ	陌	宗	· 任
ļ	į	- 1					,横		元	Ł	Æ	平。	疾	乾	康	福
ļ	Ì	-		٠.	Ì			強	봊	+	氏日此所	期c	£.	潜	趸	克
ŀ							参え五五	, ()	· 元:	ġ,	J.O	克。	4	革並	-	自
		j		İ		i	مد		13.	4.	iii.	之	盐	- #3	元年元吴冠三	豹
ŀ							1		从	本	川割	破し	当	一趟	न ∙	71
	1	İ					=		<u>بر</u>	十	胡	i			<u>ル</u>	
1		1		ļ			}		/L	76. J.	攻其	四日	延)個	关	
		i		Į	٠		ļ		他	ح	共	+	1 5 (三	龙	
									製	平	所	族。	哥	堡		<u>'</u>
	1					ļ	-		皆	淮	业	焚	分、	頼し	계	
				! 	1	1			<i>)</i> ;	泰	救	共為	諸	,琦	岩、	
	'			1	ļ		1		夜	狄	·形	· 積。	拼	/使	都	
!				[1		夜	青	柊	事 :	夜	現	4	
	1	İ	j]		ĺ	雷	!	HI	之	載	ini c	拉 (第	延前	
1	· ·	l l		1	1		1 631	İ	元吴不及勢凡施東皆以夜夜則少可為祭	超七十里似本意之平淮恭狄青之克	必救形格勢禁	共積聚而還		r S	楊	
1	i	1	ì	1	{	•	1 11	ĺ	ज	当	不之	1 76	+	多總	177) 122.	!
1	ļ	1	ļ			1	忠貞堂	1	14	見為惟	道		1' 181	0僧	保吉虎	i
i	1		ł	1	-	1	1 公	,	177	747	也	Į Į	<u> </u>	0任	F	į

初無恒形先自度而後料敵求勝葬在我而已也山氏日示敵以弱欲誘之使來我将有以制之也山氏日示敵以弱欲誘之使來我将有以制之 古方明传《春之五 今具模 **兵將大至和議益央** 者。契 得○ 升 宋 以其親類藝祖宅桃乾岡因論罷之持風鑑堪與成皇素者為外夷所服智自請討城報國言者乃及臣子慎行云是時西事方般在朝宿將惟德用 庭形動之使來我弱敵强則 按柱牧注曰非止於農弱也言我體敵弱則示以 路 或日孫子云强弱形也善動敵者 仁宗慶曆二 Ţ ⇒遺 ·神界德用特· 以帰って、人工を見い 劜 **橄聽吾鼓视吾族** 德 Ŧ 用 四郊多壘之日而以為用含尚謂 不 是個人兵以不 完或請補之德 以或請補之德 捕 教c丹 士c丹 士卒習獎 項之士勇肯 外所向睨者歸告虜中朝進 ○ C → C 単 也 明日大関于郊下 ○ C → C 単 の の C で の の C で の の C で の の C で の の C で の の C で の の C で の の C で の の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の C で の ベ示以 選形な 八者歸告虜中部 形之献必從之 戜 動之使去 志臭堂 漢下说。

Ŧ,



嗣こ水 Ī 5 12 П 忧 大 セ Ŀ FI. 刂 衃 至0年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 20年の 通氣就の萬 Τ, 訓 南 主 首 群 こ何 碿 刹 肯 也 朝 勈 如 巻七五 叛 北 弼 选 卖 Bo 禍の利い言の日、夢 士 敀 事に久 約 卅 在った。 晋 徤 奖 赦 寒 っ面 犴 冊全 髙 勸 舌四 臣の兵の朝 下の無く続い吾 觚 用 Pİ 1 契 欺 ・無○得∪爺∪謂 所○脱o聖٥不 册 秂 獨克然虜後 塘 背 獲の者の皇の若 叛 水 見 君 若 0 旦 帝 0 遺 治 Ħ 楘 末帝 用口北 城 之心使 升 如 Ė 誹 大の永 兵 o 朝 훼 Ē 稱。 金 昏 則。與 地 忠貞 契 民 英 利の中 吴○焉o人c能o封 平口求 チc 髪○園 册 土 乒 亦 也 0 英 | 至 0 保 0 萬 充 澶っ面 \$ 色の道:

i

命 白 萬の爵 在に再 色っ北 傷っ共 ħ 再 器の目の主 同 · • 大 增o朝 本 狐 明仁 豊つ結り間 外の不 П 加 幣へ所 天っ淵 南 故 地口之 見の盟 當 侇 若の得の公 見つ可 빍 μο欲, 皇 地 计体契 成件の 第0狀 弼 之0月0馬 之 易。杂 代οボ 巷 水神共可欺乎六符部は五天地鬼神寶臨之北如 善常共 詢 朔 生っ辱 之じ 常企上份 見 z 持 車 関っ言の自 岩 於 言と問 楓 受之 £ 政 和 豊の北の巡 必 肽 Ţ., 365 為し吾 亦 親 欲 可っ朝つ講 稱っ種に主 봡 Ц, 利公朝の甚 朕 旣 得 使の既の日と . 宗 / 耻 뿝 幣二 裁り 不使 不分子o 受 行人 地是志 共 長。感 「一○以⊃得 两 И 一と明首發兵端題! 主意 遂 楽っ得い地 公っ悟 池、 奖 杠 識 17 Ē ⇒ 今 一 ○ 地 ○ 則 卅 靘 哲書 及 主 出っ惟 通 其 辱○為○散 肾 普 謂 渝 哉ら榮の好 鄋 介 奖 除っ有 两点要c 欲 訓 日: 朝で以っ十 副 木 碿 竅の結 猟 南口可 秂 Ħ 开-奖 使 徃 使 南 猏 选 はい 罷 朝 赤c土 利 周 躼 契 潼 堤!不0可 六 卅三石 朝 子の地の何 必っ弼 e. 世 **H** 過○議 其堂 £ 故。與一如、 以っ反 宗 以、俟、十○胥、曰、失○覆 $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ 届っ人ヶ粥!

灰當時 繭 進 有此禮 Ħ 用兵则當 兼愛南北 (主日南 日亦不 朝為 决不 Ŧ, 臣臣屯不足情如 Į. 至人 送易書而 固執古有之矣獨月自古惟 礻 之乃 哉母色俱瓜夹 贈遺或稱獻 尤っ 使 IJ 卷之五 之 民 故 可、 쁏 朝 劉六符 阊 而 曲 晋增幣曾書而 有 有 契 飥 不 直 若找 卅主 行、新 光 墹 莡 為勝 肤 我 성 無納其後調利 e 擁 日,南 **歳幣其遺** 干 车 闭 Ŋ 負非使 增幣何名為懼或不得已而 契册、 州主 共 **第平**契册 嫲 躭 祈 拒い 朝 П 於是 使 知 南 不 之〇弱 颉利為太宗 晏 帝 ĸ 人 前 我之辭當 得 其 不 IJ 殊 臣之所知也契州主 後議择專 J. Ł 坱 可奪乃 北 灰 厚幣遊 氃 뉌 \mathbf{H}_{3} η 院 П, 晏 傳 政 蕌 Ŧ, 黨夷 . 吳子事 榅 然 疳 - 第日本 我是權 日吾 所擒皇 川為 故為此 綗 可の獻 審 **依培幣契** 祖借兵空 Ħ 簡 勿○納 副 忠貞堂 耥 敗

受息。 元の 他の目の之の施 元具 見 也 所 此 某っ 方 者の契の助の納 朝, 如の略 當の丹の高の元 搦 şξį 制 則 Á 宗 II 寸. 楼 順の間の太の英 ılı 彼 i 能っ 閩 11 P īí 盲 投c 契o世o行o臣 H. Ŀ 圌 不 對。不 謝い巻 舞O如o東o 恐 二年元 义 知所 油。 遪 渝 ij, 轅o え 觤 不 如の一の西の契 ボ 不 境安 元吴 納 易 騙 門口五 故っ且っ且っ册 **麻**_ P) 升 元 Ť 乳 PIC 然o自c有o窥 可 剎 旲 禮 吴者恐 誠。 危 聴っ 如彼告契用 我 後 紀 知 の 兵 | 觀 部 上 矣 繚 内。 許で力に産の趙 形成美 郼 *方*. 附口 絅 中 失 是 者の Ħ 失 和 **強**」 好 4 裄 浥 育 如 外契开耳 堅っ 祔 两 世 因 卅 此 鯏 · 拒o, 至 勿 兄 上 載 皆萬機 當っ 山 弟 外表³ 日小 嵬 部の無る英の髪の計の

為大敗 **車** 東京 東京 東京 青 鈥 未 髙 國。 -f-明 ti 贼 徶 洒 曙 宋 方略 p 散 夜 呃 云 暆 西界 仁 一百、常為 jl<u>k</u> 縱 Щ 禕 كالمؤ 次 狄 八走, 京 火 左 Ŧ, 夜二 忽山 服 料:為 ,未 入焼 城 五 布 个 养乃 觏 賊 佐c 有 般 ŕβ _**|**_|| 平 卷。 異學之 城:城 馳 죘 食 於 鼓片。 17. 11 進 桉 Æ. 青 上 拔 所の獲 報 僦 . 2 闁 出. 次崑 夜 夾 南 去 北 ተ 五. 開 北 俘の全 者 數使 青忽稱 舭 外. 明日印整 止 狄 **新里** A 開時 腸⊃吊 云_c 是 里, 縦 沔, 賊 從 誉, 育 「右○鉅 筝 Ä 槸 方 日っ時 Ŧ \bar{A} 恢 八勘飲青己如 安υ販 健の 萬 夜 ï 朴 T. 爠 ï 軍 口人 知の声 造の雜 Ξ 贼 但"兵 企 失 三夜亭 休 智 之。杳 共の有 鼓青已奈見 Ji. <u>۴</u>۰ 坩 部 上 白 十 卨 非o水 泉 數 大 百餘死 青 逆 伍 El. 7 不 戦 後の内 十、 理 執 甲較 詐ぃ金 斾 浆 右 和o能 寄 至计 ήL 主 服の久 柖 Ĥ 令大 軍、孫 벛 州 者萬 籽孫 復 奥 管o衣 筝 暁 戚 の之 ĭ 渊 垄. 於 老 不 失さ者 g. 先 使 夜 張 沔 賊 旣 智の泉 城 壯 客谷 前、 觛 Ĥ 経 1人 集 棏 逊 据っ部 ょ 榑 | 慶 0 行 燭。

7 青破 知 不 有 : 加_c; 万野楼 卷之主 泉追足懲姦庸 敢 忠謹不欺朝 岜山氏 七氏 不以 詔余 贼 誣 龎 朝 口。勘 品" 持經 間 ją, 籍 廷 此 ぶ ħ 双纹 伙主: 稱 敀 制 也 廷處後世 Mi 共 與 部 质西追捕 X 功。 晓為賊 熨忠 亂 赴 朝 F 也 難一脱 廷贪 子是 向 心節哉 大乱; 任 同 非 (現者) 事。 利。朝 7//_ 智高而召青污煙朝 梁 廣 使以 適二 此 账 ij 設 廷 青 悉平捷 F 八個雄邀賞匿取 粮 期 不察往往 雨方安危 是 £ 깺 出其不意 其 至帝喜 養蜂君 息負兌 齊母 可; Ħо

古方路被 於北方致上體不安後整盛令司天官二人言 **您問都虞侯** 都虞侯欲為亂劉流欲 王素夜叩官門上變多傳不 M 四つ昔 令宰 张對日禁密不敢滿言 **联逐行**禮 赦免 留っ不 仁宗嘉 宿 6 個 数 5 當 机知 名の報 罪以下令輔臣 圆 彦 **饭產志應白豆** 家 胳 天子 而 斾 一人語の教 耳當至訴之以前衆乃請流判狀尾何如人懷德稱其思可保を悔日然 大 軍法 花 亢 事 起居欲 琞 牛。 又與劉 爾罪 Ħ Ē 日の 志聪以其状 無故 文: Л ţþ: 天文受具有 网 捕 榕 (彦梅召 當款二人懼色變形博日 斢 目 佪 彦博叱 搠、 家 治彦傳召都指揮使許 不○天 使○地 **事**。 沈富 Ħ 朝 為和 帝 三人 不 彦 素惡富弼陰納 當 入o 宗确 悍 绡 Á Ħ, 内 八叉上言 穿果五 日っ誅っ今 眀 爾 職所 旦有言禁卒告 **社** 此o啓a疾 曹 出 郑 た。 静。 皇 于大·博。 一人禁 圖 人禁 圖 當言也 知開封府 史 河二 内 集年 侍 品貞堂 観の肩 而の同 那の般c以|不ご

陛下遠豫府彦博檀斬告及者彦博以流判呈帝乃當是時朝彦博弼持重教心乃安已而劉流白帝日也共議乃定二月帝疾愈御延和殿彦博等選私策也共議乃定二月帝疾愈御延和殿彦博等選私策 議造 之彦将日彼本不敢妄言有教之者耳繼路點不 代之制。宰相起居內臣以先言應之即不 彦傳臨事制變有大臣才亦足見宋時宰相體 者盖朝廷之輕鄙大臣與內臣之狎侮宰相皆 請易於制為宗社長义計量有彦博雖在亦不 能也思意近代宰臣 外廷入直內殼 覧不 Щ 人至六塔恐治前羅更言六塔在東北非正 可 日こ 氏 天官定六塔方位復使二人往繼路白 斬い 敢與 之則事彰 卷之五 抗故國有 本朝 非有故事必不敢方牌雖在亦 泸 C C CECEDIO者UKO: 皆慎怒目奴敢爾 Ŧ 为於中官不安衆皆曰善既而 1 邗 有如彦梅其人必證據古法 慎 罪自令無 危疑而上下無恐也如远 行謂 彦博 彴 叱 貴志腹。 | 傑言何不 後 冏 蒒 斬 逃 北 留

古方略機卷之五級	古方略権・参える		智為不可及也也不够所以以及一世過一人也以及一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	龍阿瑞光白取之耳觀日啓
	"我" 电放射设置	孫 余 維 軽 正 -	及及盛于此益 獎游公之一漢寶武不解此 医奏收	刑事可见。

飾り 朱英宗 Ρi 古方 ħ 野羽 E 院 內 朝守忠 簽趙 他の取の政 司 略 都 | 略機 之帝約 馬光論。 以遊 言而邀書之見琦 其黨史 氏 Ħ 郑、 内 仁宗 班 F **蜂難之**脩 平 籺 出 E 奉七十 大 元 都 任 之 填。守忠 空頭敷 NI. 守忠 利 存 未 舯 一天 守 志 錫等 有 江 Ŋ で帝の 之 Ų. 離 懗 立 EI -忿 储 侍 即日本年 茅書 ٧. 非難獨趙 悉寡南 Ħ Ä in) 明等交通請認累 仁 行事 之罪乞斬于都市吕前位又來帝疾交排兩官 \dot{T}_{o} 屬意于帝 守忠 州 源 歩 Ž: 方。行 爾 公 韓の出っ 氯 $\overline{\mathbf{1}}\!\!\mathbf{E}_{\mathrm{o}}$ **虾**不 公。空。 外。頭。 中 琦○罪 斬 Ħ FI 意 ○當 印 英 4. 业 州 켸 自り救っ 洕 剜 知 快 以 ^ 死。 娰 所自。 為一菱少 共信。 有說 遷宜 さっ 莊 定 息長 ○道の 獻 援>蘄 則○州 跌, n 旣 飲 政 而一以 i 太 尤! in 賜⇒ 亦 供 捞 使、

古方略楼 可。賢。等 弗 . 臣 · 十 附名同進而毀己草 時縣戰方具疏將諫 付之典 Þ 必 社 之機 害c在 人心去就 臣屏葉 造立 先帝 将以 不 有大德於 政3位 元 而。人 察也。 生民 Ĩ 者畏 祐 新 所○復 文 刑 改先 死 曰 入 甝 微觀性 惟剖析 法 ・ 召っ職 ıħι 痛 不入忠 離 休 州悠一人 DA 悉變祖 帝之政。 祖 乃。祖 生震 戚之端 吞 陛 莫 請 先○禹 ź 下 敢 · 九年之間如終如一之時也可不畏哉先 拒 是非深 復 T. 正之士 内の人 方 Ē. 后 狎. 泉 璇入 天江下 請 侍の諫 君子小 及見祖 还先帝之臣為言以事 撹 翰 之政 對 四ヶ月。 替っ **ی** 氏 林 朻 之事。 Elo 海の陸 不報會有肯 撃) 拒 學士 聯遠 多引 熈寧 必っ下 .禹桑日經 應 o 邪 延見 ٨ 謂い親 **登堪小** 期习 說有 進退 引。 1). ż 陛 。政 琴臣 括っ 잺 V 初。 叉 下○以 以姦言或 后有大 灌 馬處 规 召內 世之文也 乜○來。 以 用 王 人 長之 此 政人協 一安石品 再破 誤園動植 於。 杫 近○開 離 小 功 除 稷 育○訪→劉 聽 怨 於 天 埬 閙 遂の 羽。

至左右必進姦言萬一過聽 您外 后起而救之天下之民如 保甲於河北民皆愁痛嗟怨比屋思飢賴陛下與先 法於江西李稷陸師閔行茶法 臨朝悼帳 食充种跨與造西事兵民死傷者不下二十萬先帝 王部劍取熙河章停開五溪流起撥交管沈括徐語 而所 冶之法於京東王子京行茶法於福建蹇周輔行籍 | 陵遲不復振矣 上者也徐前駁之日天下之事有是有非朝廷之 致治者蓋君子易退小人難退二者並用終至子 人有忠有後若不考其實站務兩存未見其可也 芭山氏日時議以 任百雨亦曰白 大公至正稍釋勿黨此即調停之說曾布假以或 ,引奉小己布满天下不可復去恭確追及 天下 謂朝廷不得不任其咎以至呉居厚行鐵 愁苦百 古未有君子小人雜然並進可以 元祐 姓 液 紹聖之黨均有所失欲以 解倒懸惟是向來所斥还 徘 而 賴 徝 市易于西儿 先 用之臣恐國家自 **希覺**信 進汽 別定教 忠直虚 大武 , 古方路機 又曰自范蘇之言不入于是楊畏首仍紹述 **內畏禍** 新法復行然則靖康之禍然來者漸多獨极欽罪 盡去 神宗建立法度之意安石學術之美列上章惇 柳行義帝首納之遂復博惠卿官于是小人 人乘間害政所見皆合皆有益于治彼議調停者 亦 而外朋姦者也。 人 獨留 按徐任二君子之論與祖

壶 用o

馬處小

骨血上疏口の表質を表した 证何以 守宗亂 笠非欲委太 不出于明皇後 日旗宗靈武 于西北朱 惟適 决太常少 之事蔡京環 尺寸與人未幾 以位號不 社何。 氏曰。假皇太子以位號菩矣· ·牧将士心以死捍敢天,就名天下者假皇本子 髙. 下侍郎草部傳位、 呼吸間衛守會理可乎名水不 水之 **貯金議割** 皇太子監國 动 Ļ 7 七年刀具敬 亂 聚怨于東南 以招 IJ 李網 4: 大 太學生陳東率 Ŧ 畓 前派 地獨言祖宗 **体天下豪係敬曰監園可乎綱** 守之任 訓 敬 師成 體之常也今大數人攻安 Ė, Flυ 子今敵勢猖獗 £ 建 7. IJ 齻 牧之 除 下 : 疆土當 游生上書 H 今 位號使之為陛下 賊 可保命意遂決 童 如 ijį 于凡本彦 廴 欽 j. 為先 死守っ 正。 而 從 **宗不** 副是 (非傳太 銄 不 良 牧太 ż П 可

	方略	後行教網門二次
	老之六	後繼以重昏宜其見辱于金人也 行初政閣懦如此何以牧士心,挥强冠哉昏德之 按綱與東之言皆關國家大武,欽宗嘉納而皆不 在初政閣懦如此何以牧士心,挥强冠哉昏德之
	不能可愛	短冠 · 京京· 以 · 京京· 京京· 京京· 京京· 京京· 京京· 京京· 京

矣○而○国 如『城○城 古方略 講 間増 勤 拜 在西土不 女真不知兵盖有孤軍深入 勞 涇原 字 会 F 和 王兵及前後軍金使王汭 師道入見帝問日 知棍 量自衛. 宗靖 憃 退金段の数 fl_o 鳳 ļ. * * 之 臣 各 知京城臣今觀京 共 康 道 帝 曾つ种の虚含不の方 與○拒○丈 元年金 院 IJ 入 ス 事充京 之。中の栗 軍放 金人 闡 實の進 桵 少の 大 支 戦の以の 師 保○都○形○願 至 四卿意若 之事 四○待○數 道 戄 領○人○見○少 各 至, 畿 鎮○勤○年。 徙 西つ知の情○駐 閛 难 世喜 砦 兵の吾の露の氾 河 事 之の王の不 不 撆 地。之。可 ŔП ٨ 何。 稍 在延頡 北 百の來の秪の水 准 渡: 開 北、 河 下。不 ○師 ○ 攻 周 境。 對 萬○士○取○以 不 河 東 安 餘 宜の不の也。 欽 來□氣○辱○謀 죋 而 日臣以議和非 の計で数字の書の名の 頑望見師道 揎 非 亢 Ł 游 割の踰の請 能 遂○自○耳○萬 ŧ **汴** + 撫 肵 門, 騎但 與○数○於 善 抵O振O全O全 七 京 京 使 里 1.其節 敢 命 京○何○鼓○師 帝 月○城 統四方 **房**○内 自○劄 оф 力 宇 知 À, 西○憂○行○道 下 師 何 手。 網迎 想の賊の而の日、 tt_o 牟 困の儹♡ 作c哉の進の吾の止 臣 他っ

5 奎n跪 之道族 為戒禦房不力主 耐 却 : 俟 o 稍 **洪師道** 利去必 則 Щ ,彼の如 · 矢 死 Ħ 情の耐 爿. FI. 歸の帝 ~者李邦 寒之六 Ц **不** 出 審 善 敢 戦っ 如 而の笑 後 輕... - 唐 師 殱っ口だ , 彦也。 和 中 道 諸○彼 剧。 胁 計。河の為 腣 冠不 後世 然 剛 虜 計の卿 當 銳 扼 之心故. 大臣 專議撫日講求安攘 **時力 主和 議感欽宗** 而 攻□上○師。 殱 則 也の道へ 謀國痛以邦彦 諸河金弘 嚴兵 李邦 八拒守。 彦 不從 :大

然後 A. 李綱言金人食婪無厭鬼悖日甚其勢非 朱欽宗靖康 康王以歸夜 擊府相距總八日帝以為緩平仲 師道喉師道微俟其弟師中至因奏言過 綱主其議令城下兵緩急聽平仲節度帝日遣使 歸柳氏乃云士不得速戰有怨言帝聞 西日室姚平仲以父古方帥熙河兵入援慮功名獨 金而金人需求不已日肆屠掠四 奶平仲帥步 諸邑 速接之平 放兵號 坔 耐 **%**1 놋 計 扼河 騎萬人夜斫敵营欲生擒幹離 木スス 萬而吾勤王之師集城下 元年金人团 半帝選中使論李綱 取 誓書後三鎮縱 方發金候更覺之幹離 然之約 敵營堅璧 力若扼 **橘虎豹自投陪弃中當** 京 師時 H 河津絕偷 舉事种氏姚氏告山 請先期擊之三月 朝 日姚平 不避兵迎縣 之以語李綱 工工さ П 九 A 春分乃 巴來事 不及 农貞堂 肞

古方略株 奇也如 兵の於 平 通矣李邦彦等畏懦不果用 何其方發先為之接使不至敗兵尤為勝算哉 仲 **芭山氏口平仲慮功歸种氏** 而後知之疎亦甚矣雖射 大者、然綱不察平仲夜 Ķ 猫 有 敗 亦 山 を こって 胨 其 誎 不意者の 然後 亡去李 不意者今夕再遣(7月月射却之即道) 毎 Ä 所敵營必待帝遣使來 以 却 數 諸 負躁 金人僅免費阻執 千 將 兵っ復分の言 出 取 F 擾之不十 救遂與金人職 2道攻之亦一○□切察已誤然 敗 此 屖 口贼 國 若

	古方略奏、本之六	如此熙豐元祐紹聖皆然也山氏曰大臣不有絲朝廷	世界の ・	金人 图京	李絅請俟問擊虜
and the second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second s	一思真堂	廷不辨忠邪非獨靖康	· 而幹離不已退奔網請 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	實等 作河間里 大原中	

李綱諫阅童贯 李綱諫阅童贯等為愛鄉議以聶昌為東南發運使來行而從 宋欽宗靖康元年以聶昌為東南發運使來行而從 東是数人者校太上于東南非國南一道陛下萬一不 中是其所國果成震驚太上此憂在陛下萬一不 中華氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日震驚太上猶其次也被求劍南漏方甚 中 後 氏日。

釆 敵 東北路宣撫 帝 大败 **死**。 不。 康 宗津 將王 營澤揮衆直 津為在不 如 **飲宗靖原二年先是** 何至水 咯 金營請 曼 孝忠戦 意道 氏 Ŕ 至 目. ~大 冠 孫 却 不可 | 道兵會京城|| ではついる | 日本日間徳典 以具兵法 をや 滟 杏, 左 兵 **吟還官** 中求生士 空营大 死前後皆 前 Ù 14 訥. 秹 四大河襲擊敗上至營大黨,自是四 哉 與戰敗之轉戰 述 孤 知 軍克敵 (德與全· 如 使帝專 IJ 典 迨 郭京出 趙 孤 仁 使 敵 軍 沂 叉 范輩庸 如 也勇過人 任 聖. 曾 移 愁○書 進 Ä 兩 之の憚 摩下令曰今日流 至 + 宗岳不 祭 河 心合兵入事 津不 儶 必っ死 而東敵益生兵 衜 全軍 北 三戰皆 割 罪當誅耳。 復○無水○不 南 ់ 🗓 쎈 印し背の水し降り 為邪說所於 是時 敢 先驅云前 總管超 Ü 败 入後三人。 一當百 乃慕 界金 稪 捷 走京城 東 後 を 透以 岳飛 出兵 厄貞 野 副 其の金 退5至,有 背 河 元! M+

湦

肷

金

古方略株 有將誰赦邪! 去能保 姑寒敵 好 那 朱 服 쇢 天 相 也好 北。 初 示 邦昌王 人乃不留兵 兵不習の 直殿 金人將還議弱 戚 捌 H 婧 意盖页還政 斠 三千人北去邦昌率 7. 亷 駕未 肺雍 意而 度。毋ふ 如今 中國 日本董貴人 行文書 自安拜官 豻 年金 還下 土がある 本な六 徐 乃止 日手。 λ 勸 龂 薙 為之 去好 貴人有如觸祭社 必不相安金人! 復 那 文書不當稱 情 彻 並 張 衞 ¢ 敄 護 占 大元帥在外。 張 肵 郭 士 岡 Ľ 坐 城中金 靖 加 爭 昌 夾 풺 飼 僴 肆赦好問 #赦好問日つ 王紫宸再拱 調邦昌曰。 平特長 衞 康二 椎 H 陛 也 Ž, 꿆 何邦昌好問日南北里中百官遙解二帝于佐 邦昌 那昌 敵 顢、 - }-為 政 İ 人以二帝及后 华 以 聖旨 所 L` 道袍带· Ĥ 女真 致○日 疾○罶 Ľ 元祐 省 固 四。 官 是 為今 相 中 45 兵威 何言 0 12 猫 間 册 非人 公 皇后在內。 則〇一] [之 見外 金 非 弑 負っ字 末 槰 笋, 真立 H 也 罪の И 者當 戎人 臣 位 忠貞建 ○簡点 妃太 廿○使 所處 女真旣 異宜 奸 帝 益の統 在。 ₩_C 深っさ 廲 問 非○好 \mathbf{F} 大 柳 砂。門。 子 我の間 Ele' 可

人至濟州 青私沮 中然後以人情事勢 四時蓮曾錐百好問 有機不 而又皆一旅之庸以爲羽 郑昌之勢已去 也設使 迎康王而邦昌惟其 者其不使金人留兵衛 于其間 房方科昌借位好問受官此 叛逆退就 形未必有解騎康之勢退而 **邦昌府人耳以人臣服得天下**。 于慎行 乃尊元祐皇后為宋太后迎居延福宮而 得其機而欲 撩 · 康王識者有 囘 远奉迎康 王 臣 日好問 叛逆潜消敵謀有非一 , 刘而 I. 大 其如之何。 **竹然不畏萬** 以办法之多見其 所 從容論說使之早 ---心迹 王極陳 位 明御正 使 **邦昌此** 以覘 庛 不敢 翼, 邦昌有所憑務 似 獲 亦 伙 逆 邦昌之意非真為始 你全監 就 緧 難 衙以定臣民之志 **聍邦昌已在網罟** 仁 傑. 順利 死也。 禄非其言聽 于 丽 十五 害生所能 自明矣然除 智 害那丹前 察 坦 不 天下事 奉孟后 略似張子 绅 相 忠育学 史 不 关 也。

市方略 横 巻之六 問必 難徒以世受國恩所以受賢者之責無是推之 好問 奸 說信如時泰所云好問當與 犁臣 示戒将來悉接之則太苛矣張 好問之論頗 腐儒之見耳宜剛。 問曾日邦昌竹號之時臣 難政宜 不可與王時確同科明 當日苦心而徒據受官之迹以營議之者也 雖賢害受偽命觀其答綱之言要亦為已之 E 含垢繩以峻法 近情 不能 卽 理和 執 節 但 **欲悉按其罪好問日** リ矣、張時泰綱目廣義 Roule 曾察其罪之尤著者の 雅者衆矣綱乃止 周 岩閉 甚廣義以私心 邦昌並誅此殆未 尚 書 門潔身實不為 右丞後李 ナバ 愚 Ŧ 綗 И

受軍 朝帝 求 將 部 別 働 古 張 帝 牵 15 須 位 эì. 哭忍 三百 À 凌 幸命 敬 徐·三 獨·人 仹 力 建 チ 上 輿 起 EI, 炎 士 許之皇子 春 ķ 纫 也 東野及 守の越 阊 滷 ٨ 検 相 麎 三年應 放 ٨ 有 冲 秋 等 Ŧ. 泊 赴 7 此 而く針 筝 薂 **北威二帝蒙塵** 秦鳳而 6 非 湯 日(皇能断大事乃答書約其起去三言即 俊 4 俊 朱 ٨ . مالنه ij. 灼知兵變無疑也 单位。 育 皇 捉 ż 东,旅 岩 引し系 諭 沚 jΙ 從 兵 野の之 4 .拜 交 之 刑 廾 Œ 傳 討 | 寓二人| 货 大 兄 日ゥ以 秘で以 兙 做 制 贼 脟 El. 常の餘 哲 **ぶ**り 禍 在 赦 于 浩 此 俊 育; 須 谎 謀 宜い福、 催 收 魏 傳 El, 沙 漢し 元朱 張く葡 73 上で自 捌 旣 事已很 赴 侍 枚: 起 劉 1 必 那 柎 侍じ他 乒 而 止改元赦 穀ヶ事 正 Éþ 那′將 討 得 以一機、勝 事請 彦 遭 望 有 濟 掎 州 機 俊 レ 決 (知) z 凿 籍矣 弭い須い非 作 竏 袻 拯 IJ. 汝张 英なる表の最 後其子 泣且論 七七 傅 墜 ᆌ. 放其市逐 所傳檄 書至平 伸等 表しみ 之の其の傳 菭 沒 太太后 偽の令 即 太 チ 欲 七の垂 捐 引 把に 不口俊 ÿΙ. 語 Elα Ϋ́Į 所上

書和 辟。 稱い遊い 公 至 Ġ 行 等 光 行 7, 兵 猫 進 病、秀の脚 無 平 可不 未集 | 輔約 浚 世 Ħ 在至當熟張 等謀除 質・不 州い戒 憂 jT. Z 略 楼 遭 以 于 也沒因大犒俊世忠將士於是令世忠師長-0年0天0年5月2日以為 解析 上一一 包含 物 医 日 全 里世 忠願與張俊任之一見浚慟哭 日 今日之事世 忠願與張俊任之 世忠得書以 少麗以 未 浚 欲 兵 ÚĮ 至 至 簽 而く糧 9日 敢 得 江 大。道○投 杭 杭 巻之 誦言討賊乃 浚 I ş 夫 辯士往說之節 俊 . 橅 其 寧舉 沒命 禮部尚書命 以 こ民 붴 六 兵來會 軍會韓 · 張 俊 分 −鞭誓衆っ 具っ大で 之 酒 不者遣之使 軍○事 目 酌 託云 地 世忠來事 順 從之乃白 兵扼 至世 世 可急急 將所部請行 制 \pm 曰 $c \overline{1}$ 一 誓不 竹版 張 ◌義 忠自鹽城 可 夋 與江 **参議** 忠 浚 餐平 與 驟 中 太后 近っ懼、 則恐有他變宜 濟矣因白淡以 减 ē, 캋 此 Ŀ. 文 官 世の 欲 正 肽 緜 在. 菠 上 封 忠、称 江季 忠貞 海 情震 共真 劉正 又人 夋 世 ο 曲, 郱 Ľ 翻音

之指斥 危社稷責黃州團練副使郴州安置後等皆不受願 德 倉世 尊位傳 浩將至平江浚乘輕舟近之咨以大計願浩日狼諫 **柔吉將重兵扼臨平區除俊世忠節度使而輕後欲** 之大道不道大道不道者族全建炎皇帝高 開邊幾死官官之手承乏漕輓我門腥粒之城本事 復遣馮 兵殿 前 方略機大木マ六 聖宮 軍張後與之光 恋 及 ··等 な 俊 班 乗 輴 Ŧ 溭 后手招賜俱正產鐵於傳等遂率百官朝 授 位量所宜間傳等得背而恐乃遣苗稱 典事涉不 徃約因 順击等發 #1 胨 更合類治是特 報 非 九世為 書于 遜訓之震 ij. 平江上疏七建炎皇帝 曰 游擊願 Ŧ. _ 彦 횬 驚 日 货量 浩 其 宫閻废立 自古言沙 液 無 ىر مار 總中軍光 能 為 心情を 之事 不 不 想。 開 o 通^o 順 六の王の印 Щ 瞉 Ŧ 失 1

日聖天: 古方野樓、米之六 苦 矣_。 世山 卓養氏日中外 見 **岡之不難滅賊及正願治懼事弗請钦繼以死。** 問處置邦昌同類 可謂迁疎之甚 及正置身何地等語勝非心迹自見奈何責其 綱目發男則妄謂 沈勇不能雖所遭不幸不免干春秋之法其心 冠復辟 二冠自不敢不從 九難者縣 忠妻子然後勤王之勢壯勤王 不先以意示張韓諸人而除為挽回于內非深智 當居中,及正古劉實墮勝 宜磨置非所施于君父此因 事不審耳順浩 無可否哉児苗劉倡亂非金房此合張韓之 氏目 子 度並 本朝于與行深知勝非有功於國與呂好 胡安園 加 協謀首尾擊應 是轉 動勝非 勝非依阿取客今試三復使 而並 無足責波獨 鴬 張造 帮 非術 之此論甚確至周 12 足 祭 Н 向顾浩咨大計亦 中。 11 仲 椬 侧 師既集然後說一 漢臣 給二冠遣 廢枯為 ĸ 明臣子之義然 二十 出月 安古 非懼事不常 沫 側 九 禮 送世 割洗 尨

1

至白 # 趋 至 ⇒請 縋 請于彦 构 宋 長 方 **採**~避 頟 獨富 企 磺遂後房州張 Щ 汝 Ž 閿 歽. 洋 王 趨長沙不少待耳。 芁 械 7 ·彦 :叱 白 土-饒巨 則 1 E 建炎 彦 曰 PE 仲 彦不会仲越金此 於公無 卷に六 魔士殊死關仲敗 水 竹受敵大事去 先 [[] [1] 疠 摅 榧 州 山設伏 相張公方有 號三十萬仲彦 **丝窥鲵桑仲** 変 敢犯 所 以彦為 在盗 묐 願 工矣敢 言避去 待 假道 起 金均 亦阻 仲見官軍少蟻附持 走疹休士進擊追奔 Ú, 加 戦死 關陕岩 X 舊 睧 17 房州鎮撫使 獨就 **监之法然得** 部曲 均 僟 者の 房逐乘势直 傩 新印 越金面の大き 也 無所 食耳疹遊 息有官 V. 申贖

定飛使人呼目不從賊者坐吾不友妻(** 京及此本人心系生九年 夢姓此在女子子子,選騎二百隨幟而前賊易其少薄之伏字,選騎二百隨幟而前賊易其少薄之伏 |古方路機 萬人 成 康飛夜引兵至朱家山又 餘萬來飛週所於 疵 日戦 細 宋 不意破之必 Щ. 城喜目 將 뱐 叉大败 萬眾與俊夾 抵 書狀 馬 哳 東城 介質而 枚 俊與沂 飲兵若無人者若月除進以大書牒索戰俊 Щ 進 張 圱 報之進 在 俊 進出 俊 约 敢 不應後若以騎兵自上派絕生米渡出之進以依為怯俊謀知城怠乃議戰音 婔 \Box 人卷之六 大 ij t**þ** 俊 **火因請** 荊 脓 水 元年張 伏 懈 飛 主 河 城 洪 樓 前 豫章介 布 者 竹 江 丽 2州 甲庫飛設伏以紅門門角為先鋒俊大士 子莊 힜 州 眷. 後夾擊賊大清進以 破 故 怯 肤 沂 賊 走斬 勝成 追斬 斬其 也 中 決 江っ 李 槲 夜, 人矣及 筠っ 掤, 断の進枚の遂 (將趙 非 之。我成 厠 勍 進 間-使初 渡の筠 八喜乃令楊 萬 敝 犯 遂难為 と急起之 は 次に は 京河北京 귰 洪州 可 亖 與俊夷 或 自引 、職上刺った場所 伙 係卒奔南 而 發進大敗 設 降者 忠負 連替 抰 伙 旣 奴束 女 , 以

世 忠 扻 建 捕

宋

育宗

饒

반

忠

败

罪

兑

孛

輩

|就建民李綱自福州馳見世忠日建民多無辜世に | 『それの中では『四月の子つ こうこう のっこう 進直抵原屋山五日破之汝為自焚死世忠初欲に は沿流而下七郡皆血肉矣亟率莰卒三萬水陸 選発 作之 配者 紹 乢 元 年辛企宗 宜 おいているの 橅 使 **;**† 韓 Æ, 率3州。 世忠 汝 十歩卒三萬十十歩 2000年 1 忠副之祭十 么 不克、 残大 水陸上流水 Ŧį 表意 患

嗣。 禁脅從者法遇獨取附賊者訴之民感更生家為立乃令軍士縣城上聽民自相別農給牛穀商買聽征 老之六

忠貞堂

古方略機 見對字董大喜印

私之

六

戼

大儀

¥

别` 忠貞

將

撻

者 卽 知此 為 七 郡計五五 術豈有蔓 Ħ 難 破

芭山

氏

目,

賊岩上

派

而

世忠

之何神速至此使近日粉盗

图者裁二话飛

股曹成謂部将張憲等日成黨散

除人而 後大 阵 者甚衆捷聞 橋 企人 戰俘 日十三戰 攻 世忠所 夜世多. 承 群臣 111 杣 遺董耿 帲 起未決 世忠 X 元 存. 픤 敵于 亦擊敗金人干天長之勁 は親追王淮へへ ののの人世忠遺成の 州之

北

門設水

軍夾

- 首い見い互う進心

接い河

∨関 ○将

ら な 土性

全

8

得之。

辜同宋将

有曹彬而

後能不妄殺者惟岳飛李綱

等訴其首而撫其衆慎勿妄殺此與綱帽建民

去訴而殺之育從者可憫縱之後聚為盗今遭

者

忠麾勁

野四

靣

跦

躙

 \mathcal{K} 胸。

馬俱斃遂擒提不

野等二百

軍各持長於上

揕

٨

Ţ

歽

馬足

敵被

甲陷泥淖世

旗邑與金人旗雜出金 不野権鐵騎過五

|軍配官軍迭進世忠令背

五陣東世忠傳小·

磨。

鼓の ŕ

伏り

pg 0

起っ

鸣

何く 至金軍中金前将 E 知C在 忠 所真 出境即上馬令軍中日 大儀勒五陣設伏三十 引兵至江口 Ŧ 聶兒 節董 - 徐ヶ吾 c 臣 間 聞っ所 官軍動習具 鼓則起っ こ於 ω世 ŗ 极 12

製給良臣有部移屯平江, 也 3.40人 (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (1.20年) (近二八円 B 参照の 小解元守承州 候金歩卒! ùŕ 四年記 Ġţ. 世 Ę ģ 拱 Þ 騎 進 详 使 屯 1 金週之 楊 大偿 N. 擊良臣 師。食 所 復っ臣

	w 1,455.			古方略機を之六					也。	未等迎敵令世忠連抗厥功非細	或親追偷見世忠籌略	大儀則夢入代不能出	芭山氏日聲言移平江
				宝 忠貞堂						厥功非細 此亦當時公論	或親追偷見世忠舞略沈與求日白建矣來將士	儀則夢入伏不能出處安得不大利去或往接	復
		· 华	、耳非為私也誠如樗所	古才昨後春之六	丹因力求退然趙張本	也山氏日樗慮事甚深	者白相の	別氣脉形	同在极音	職人知其將並相史館較	事兼知	宋高宗紹興五年以趙門	险樗論趙門永浚並

	可知。 「中華教養本之六 三 三 忠真堂 下才等後養本之六 三 三 忠真堂 正才等後養本之六 三 三 忠真堂	日 山 者 ○ 氣 在 ○ 知 事、宗 監 書 、宗 監 書 、宗 監 書 、宗 紹 書 第 の 元 日 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○ 財 ○
--	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

北市 ○ 長驅以取中 宜部資豫而廢之置行臺尚書省于汗以張孝純 門強乘以嚴馬露刃夾之囚 下ア 本後 未元六 騎突入東華門下馬遊豫出見因執其手偕至宣德 磨騎翼而檢之送馳入汗孫方射講武殿死水從三 汗造人召劉麟渡河議事麟以二百騎至武城兀木 **闽無狀金主送令雄懶兀水偽稱南侵以墩之將至** 南 宋高宗紹與七年金人謀襲汴魏劉豫、孫舜莊 帥府十大原令豫兵悉聽節制至是尚書省奏豫治 松之 會豫請立麟為太子金主頭曰徐當谷皆将多會豫請立麟為太子金主頭曰徐當谷 幹離不開高宗旣 百姓豫雖近江而猶日遊使乞師南侵金乃建元 宋之坐失事機者二金王異乞買之立也 飛議 取 Ħ1 立欲歸上皇于宋以市和議和 於金 PΡ 池型日會百姓 忠自全 訪 几次

 <u></u>	78.		アプトリステスス	幸哉。	也以紹典君臣失事	自誤不用韓岳之謀	四頭莫知听圖乘共一块事機者一也翻發	中取事可以制房而	沒喝不從當是時宋
			(A)人 上於西次衛		典若臣失事機如此其國之僅在豈非天	日誤不用韓缶之謀坐視不取此其失事機者三十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	四頭莫知所聞乘其東面討ともあめ耳つ甲叢失事機者一也劉豫之廢也中原無三金人依徨	制房而為積成所切不敢生心此其	沒喝不從當是時宋有及間之計構二萬白勵說

意招結 仙 永 、陰要飛 師至是两 強大 Ä 狘 丽 之奉記 įij 豪傑 Ų 泂 十年番 漂河 豪 Ų 山* 班 o **砦韋銓** 師 飛

遈 擊

一鄂先是

與等之

孫

謀

等飲兵

固

保

17. 宱 至.

徘 海 尨

企

兀

术 飛遺祭

於

Ž.

쌨

追

痰

馬慟哭訴曰我等運糧迎官軍金人皆知之相公

海天花日葵 隣部南京不

古方略機 H 坑 ĪĹ Л 王. 术 姓 ł 一年載 飲食軍以 벢 H 杁 外 皆得其實中原 棉 共與官軍會其所! リンション○○○ 係其實中原盡磁! 抗 FI. 飛河北 **債義軍**の 傑李通 無一 等帅 燕 人應者乃嘆日。自 ĮĮ, 掲さ相 衆 四旗以岳為號 发老 南。 歸飛金人動智山 企 亖 ٨ 號 今不行 忠貞 狡

之挫

部降飛其龍虎大王之 一屻全統 制 王鎮崔 堂

金有飛至勢力請解兵柄不

許已而

关

観帝問之孫

北棄之必欲與金和調臺臣請 中等歸而後上言飛佩軍不 飲耳方指日渡 難輕失槍知飛志銳不 以國來降飛大喜語其 班師飛 河而泰 可

奎 欲

入 毒淮以 疽

氣

沮我

士卒用命機

回

乃先請張俊楊沂

外傷乞令班師

一日奉十二金字牌

拜日十年之

力廠干

旦万百

斟

城

ŝ 倱

選 下。 · 吃 在 等 亦 密 受 飛 旗 榜 自

下

E

拉黃龍府與諸君

痛

李觀崔虎奉托等皆率所

起北

方以來未有如今日

関ルでかる五つボウ書の学のそのものあのようがでまっているのかない、本日岳太保以五百騎破吾十萬京城日夜望其水水田岳太保以五百騎破吾十萬京城日夜望其水 呼 去我輩無噍類矣飛亦悲泣 污而去有書生咋 **铅哭聲震野飛铅** 奏以漢上六郡間 馬日太子母走岳太保且去矣儿 Τì 田 日以待民徙 處之方元术 取部示之曰吾不得擅 從而 敗 于朱 南 者 如市. 仙 【欲棄

飛還兀术造兵 古方 學機 若何可守生日自古未有權臣 者岳太 保且不免况 者岳太保且不免况欲成功乎几术情遂留不去及(waskutings the recording to a 養之六 追之不及而 河 在内而能立功於外 南 新 復府州皆復為 ŕ 忠真堂

飛低溫未幾隨陷忠臣血戰爭之姦臣一言敗之力至和議佐等亦無如何耳先是收復河南諸郡不力請指飛母班師使得渡河圖恢復邪豈知於 拜謝而已 **芭山氏曰飛奉詔** 不得極 · 铅方 張 俊 楊 邪。 沂中

闘 何

讀至此 Ţ 不勝憤 幸 陳康伯議欲航海避敵康伯入奏曰 起越 **閻者審爾大事去** 泣○按金主亮入廬州高宗命楊 夕帝

古方路機 之所能為也 不為霍光宋祚 年之力。 識時達 雖開亦豈能 卓養氏曰飛雖班師 事推之則飛當日取部示民謂吾不得擅獨其子 忠義大敗金軍于采石縣康伯焚記名文矯命一 斥名文謂坐待顯忠至則 采石權已去顯忠未來官軍三五星散時敵騎女 李顯忠交王權軍且編師非受命督戰 者不 Tí 何 之義 保 勢孤矣又虞允文奉禁義問命 通 人参と六 如橋 坐以 尚未之深思耳後世皆惜之 飛萬一見疑逐旆南指以董卓之舉而 加 何 所不可。 **及**耳。 将終武楊寧以聽死皆天也非 認而成 形之誅哉雖然商辛無道其比 當時張魏 不免于死。與其徒死而 恢復之 君侧既清東身司敗高 盟國 功。 公楊派中等 事立召諸將勉以 河北 Ŧ 飯俊謀 也 **徃燕湖** 允文至 穣

手

Elo

夘

敵未退

散百

官.

康伯

|| || || || || || ||

而後

奏日

Ī

馬の起の記事の 败 萬○而 道 一鈴乃與 阜初 7 俱至 戡 宋高宗 合張俊楊 於 人っ進 悄 が計した。 岂山氏 橋って 特長斧如牆而進虜遂大敗愈 〇〇〇〇〇〇〇 一德率衆鏖戰沂中日虜恃弓矢 東 **陣德麾軍渡河首犯其鋒金人** 須○木: 绮自 惟俊後 几 闖 翰 自斃耳豈盡廢能制中國哉可嘆。 $\mathbf{H}_{\mathbf{c}}$ 派中之 而ぐ石 ボ 師 典 腴 多えが 屢詔 期绮 古據東關 成っ架 河 17 平渡 + 兀 杯 ボ 江東張 臭諸 . 而陣 而進房遂大敗德與绮等追之 阜坦平利於 班 師。 鄆 年楊 於 鰤 犸 士 椛 河通巢湖廣二丈鑄命東 事當機會復 之臉 ポ 将 數 性盡忠銳臂褒雙之人坐而 FI 'nŢ 扩 隊 IJ 分軍為三並進渡河以 3俊 中 鐡 婾 以こ楊 劉 一一一一一一一 騎十 及 欇 過つ沂 王德 钋 敵引 ○中 ○食、 **岡奥绮等遊之又** 八吾有以届之他 栿 以拐子馬兩電 餘萬分兩 何心 門待即與新上 ○葡 Ш 而坐 兀 師中 Щ 求 清ヶ州 遣 軍 諸 溪の巳 삠 ٨

乃請 引還揚州金主亮入廬州帝岡王 宋高宗紹 **国於基運有民有社秘豈自逸** 古方野機条之不 敵康伯 内殿議禦敵之策四命存中就陳 ·文麥政軍事尋以楊存中為御管宿衛使 **脉帝次平江以葉義問督祝江** 干異分定成淝水之勲鬭士倍于晋師可決韓原 也山氏口是特金亮维窓中原眾叛親離金人巴 立許王批里來之子烏祿為帝更名雅康伯之機 智略似冠革趙冉李綱 親征盖並知亮之無能為耳豈嘗試以 T 陳 記親征帝從之部首有云惟天惟祖宗民共 延之入解衣置酒帝聞之已自 康 伒 誠 视 车 űΕ 渚人 į 干燕安又云藏星廊 淮軍馬中書舎人 康 權敗召楊存中 伯 議欲航 寛。 圭 四倍体战 明日 淵 忠貞堂 凍 伯

朝。 千餘 火箭 前 华王風歌歌一作歌歌音使馬行皆中原遺民遇見寶船綿敵兵入 古方略様をなっ 油 鼓 宋高宗紹 樓中來如鍾鐸聲泉咸奮 家島州距 子公佐 綠彌豆數里風 整震荡海波腾郢敵大 曹以結 房驚王師猝至 芒山氏日·中原遺民陰為實用 初未悉遗民紿 人斬其帥完顏鄭家奴等六人倫倪詢等上于 射之烟焰 引 敵為巴功蓋事會適然出寶意養者也 惟一山時北風盛寶禱 舟 灾 锕 τţ 隨發延燒數百艘火所不及者猶欲 十一年李寶旣解 至膠西 耳·登知遺 展 舮 敵人 舟中及虜 **崧聚一隅** 石臼為飲舟已出海口 點掣 民智 窓 矴 模行 Œ 貌疾 舟 舟 於石臼神風 海州之图 双 東無後行次寶命 · 音 看 舉 帆 抓 敗而避民亦未 中 敗 舟疾遏山 使不 敵國哉况實 廣為幸 知の操 風 王の舟 角 師の者の権 逑 Ł 航旨 泊 \$I 是 寒三

子方外機 又ご兄の皆 制 葡 分 岸。 避 命稿 Ĥβ 登臺 至悉石 甫 魏 岸 其 命つ支ご平 乃命諸将 揮 俊背 者 師 Â Ē, 不 っ以っ敵 7] 文徃 催已去 卝 紹 日汝膽 Ŧ 中 受命督戰化 坐道 出。 楫 作り かん 鼓し死 艆 大呼亮魔 流:列 参汇公 無湖 已具 三十 士 召り 大 が追射大いの (2 を) ない (2 を) ない (2 を) ない (2 を) ない (2 を) ない (2 を) ない (3 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を) ない (4 を 妹 直 令 諸の傍。 灦 敗 游官軍 观 略 飪 將○皆 忠未來 可以 迎李顯忠交王 戦中 聞四 有主 勉≎權 年金主亮路 九文叱之日危 行主請死戰或以 韓の世 待(動o 職c分 數百 敗 į 以兵也名文謂坐生水敵騎克斥官軍I 之。 全 未退食有清卒自 流 方 軍小 /L 敵疑 Ē 並 其二 大船馬五共 艘 屰 軍以 陣後 却名文入 Ø 日の名 베 基则 ·金帛告命皆女心文謂坐待题: 巡 援 江 懽 江 П 及○謂 和 兵至始遁名文 旃 軍且 則 而 办 渡 **黎臺自** 及社 複 吾 は 司 名 文 日 な 社の兄 州 鰯 兄 水 江 촌 共 女子爾, 陣中 儿 犐 ÞΞ 胙 船 光州 不 息 2 魳 葉 不○邱 い五 陂 将の公 敵 撫 間 測○東 在 忠っ星 兄 安の受 舟。 Ť 此の則の散っ 俊 部。西 文

支

全

遂還京 蜀 材 - 石] 律涉答護神果 得書 退り王 果 上。江 败 D T 子! ٦Ľ. 養兵 為援 攻台 舖 我の虞 師っ権 元 至っ流っ名。 · 略卷 當の気の 京 水 京口。 因力 大怒遂 <u></u> ይ ^ **ለ**አ 剝c 文 大 深 Ξ f 寅·有 慶·宿 さん Ц. 夾っ造:知 定 數人 儿 時敵 公能 撃っ盛っ亮 + 諣 張 帮 此 Ŧ 翻 深 之 典の約 さっ新 ・販ー 非 八新将李四 村者名文 守 + Ź 後大 塞 4 錡 分 軍 · 🗐 ၁ 天 京. 餘萬、 页 間 Ē ft 敵 っ扼 六 淮 技 僚 ,舟 솸 玫 洲 相入c淮 不 诃 并 鳳 收 疾 師。彼 送 元 報 揚~渡、 浅 錡 μ, 馗 μ 滌 助 升, 秡 召 大 曹 文以 扼 楊 呼の州の 本 轨 河 ○夜⊆諸 而 劅 金 定、 凼 大 順 小 大 乣 存 造 錡 軍 也の及じ舟 人の年の特 尭 公 文 I. 功 戰 # Ξ 中 趨 0 間の三 奥っ以 チェ部 帙 循作 手 さ 乃 艦 冹 瓜の疾 揚 牌: 分 快」 也の百 Ħ, 穿鳥 日。 衝 閉 出 數 暫俗 萬 州っ罷 州 戰 乃○敵 林 ○北 美人 以 永 邵 入原 六 兵。李 使` 以· 後ぃ遣 河っ將 本 王 先 符寶 儒 苗 宏 書の偽・ロッ分の且 佪 不 八年 千 合 決 生 以株 贞 必 定 足 淵 京 ○忠 尽真堂 雌 吉c詔 明旦 海口分 Ŧ 見写 問。 蛙 與耶 載 用。 諸 版甲 允 μф 雄 <u> 3</u> 椎ҁ來 ï 杂旗 軍・有切 文皇無○乐 滚 固っ論 敵 拔り 南いた京

古方略機卷之六終	条维框 软正-	辛棄疾所見同	忠决志督諸将大敗亮的此豈儒生伎佩陛舜數也山氏曰允文受命犒師兄虜騎克斥不坐待斯中原	戰則海内氣伸帝以為然名文至蜀遂與吳璘經界新主初立彼國方配天相我恢復也和則海内氣迅名文選朝以名文為川陝宣慰使陛經言金亮旣誅于光英于污退軍三十里遣人持機請鎮江軍議和處死矣金王亮為其下所殺耶律元宜又使人殺太
	正 	right den byte	伎 佩 監 辞 题	呉海ン金 八 世 人 歌 本 東京



子32-60

衙侍等兵為親兵等獎耳為 衛倚禁兵為親兵等獎耳為 是計永久哉或曰蕭何入咸 房先取丞相府圖籍識天下 院塞戸口多少疆弱處備夷 大焉可以守可以征 大焉可以守可以征

棄番捐綆丘豈克濟乎它若

	存 略	古方略憐卷之一
	秦州 張	77 July 1871

出王飄起之李牧日 讓之李牧如故王怒使也人代之嚴餘優出戰不 多失亡遏不 匈 我本人李牧多為前陳張左右翼擊之大破之殺 也山氏日此驕敵之術與孫順城臨誘羅清同 目の £ 選騎得萬三千匹百金之士五 匈奴皆以為怯雖趙邊兵亦以為吾科怯 17 奴 李 每人 條萬騎軍于再走十餘歲不敢远趙逸 得 巻た一 烽火謹縣入收保 勻 田畜王復請李牧李农住門稱病 皿 急○ 入○ 以 必欲用臣如前乃敢奉 宜 取 保? 自収 7 置 保畜 射。 也產 謹 不 市っ 酸 有公人 萬人教者 教能 如是 數 ·令 王 忠貞 歲亦 つ間 莫 通士 趟 虜○諜 同类門 τ. 利, Ŧ 不

古方路人卷之一 牧之 或日 臣 甭 排 叉日 兩 大果 不受命逐殺之細目三書李牧 自治專以守為策侯吾政 可戰能戰 行之 郭 專以速成 不及掩耳 速 待其 崩 以保不 開金使 牧敦 抜 按秦王 ill 怯 非徒 此 o) 可戰 者 日 蒑 論 而 也 速打 言牧 翦 不 爲 彷 後 者也又日中 戰 놤 職可 可和 伐 礼 是 宋髙 徘 李 欲及 也 斻 李 趙趙使李牧禦之秦 明 網 乘脖 宗言 汰 問進且久兵貴速 牧 而请 之电 日 倂 趙王 亦 æ 事修 冇 撑 薦 Ņ 也 康 Ħ 非 以 怠 19 之 使越葱颜 末 不 湘 延久 **消**。 士氣 恢然後 竹失之。今莫若 御 戰 牧姥而 方縣後世许可 猫 夷狄能守而 Ż 前音 店 制 調。 趙元 多典 勝者和 万人人不 聚代 胩 先為 所問 勢而 牧牧 jì 'nſ 藏 地 ДŮ

敢也将 法日罷 能入與 敵也四 敵 替不可 Ħ 古方略俳、巻と一 形 險易異 地各有所宜不得其宜者或十 兵法 擊後解與金鼓之指指 不 及之急者三一日得地形二日卒服 兵法步兵車騎弓弩長戟 立功名在於艮群不 漢 枝 國之形也 不當十 服智 文帝時 日有 不知 械不 者兵之至要也臣又問 無鏃 以及 起居 錯 兵不 天甲身以事獨小國之形 必勝之将無 勻 兵以 不精動 違 利以其卒予 以發夷攻蠻夷中 同 奴 完利。 此 與短兵 共主 將 不省 静不 可不擇 屰 逸患 予 同 丕 山 音當 必勝之民繇 集超利 射不 敢 敵 手 相失此不 予 太 阪 兵之禍 1 也 也。本不可用 子 同 鋋 也 小人 君不 能 不常 家令愚錯 **國之形也令句** ₩, 禪與 臣 也五 奚 ψ 痱 鐵時 **ፈ** 叉 界形 一,有連 祖三 口 棩 也合 桦 與無 坠 将 及 闇 此觀之安急 1年月1日第二日 短切牙音 一不當 進進 容 勒 士不 i'用 卒之過也 1/2 ÿį, 13 17 矢 欮 屰 為古意 逻 糙 ĴĻ 共将 搦 П 不 劔 33 袓 具数 故兵 奴 攻 Ħ φĺ 練 뀨 楯 用 脳 鞁 -70 *v μ. FI.

ā

之道 IJ 長載 'n. 衆數 Ţ 技 足 材官 夫平 失益以邊都之良騎 恕 ゲ 辶 弗 人之免爭勝趺然及 危事也 と 三中 弗 能 和 Ŋij 以 Ť 射疏及 出於萬全今降胡 原易 干飲食長技與句 臼 Ħζ. 能 麦 **鹗發矢道** Ŧ 奴 傋 团 給 1 遊弩往 加 輕 不 之明 故以大馬小以 بر 車 聚寡之計 也 Z F 地 囯 巻に 長 此 馬 庢 村 以 官制 來 技 中 同 聊 車 杓 地 固 此 突騎 將 什 囪 Ĭī. 4 閜 的。 之 之兩 之即 4 以 生 Ż 人 伍 奴 侧 则 全 明 奴 兼 袻 ጉ 長 怴 仉 Ż 則 弗 Ġ 一亏弗 之 同 轚 軍 冇 牂 無發夷之獨來點直者 不 蹵 爻 棱 奴 前 伨 机 Ņ 占 勝之 十之 衡 相 能。 振 Ą 脍 之贵 谉 也 核 Ш 奴 也 弱。 也 阻. 知っ 則 ţ, 能 さ 為表裏各用 Ц 數 伨 此 一段、共の用 其o堅 習o甲 黎奶梳 帝嘉之賜 IJŰ 在 紨 4. jit 龙 笥 奴 格 伨 之兵弗 也 øĽ. jħ, 낊 411 杉 łİ, 奴 當 借o絮 さかが 之例 堅甲 仰 Ъ. 亊 和○衣 及也 Ł 然 賙 技术方 亂 [3] H Д 11 舱 利 11 扢 火 Jc 共り ij 1 ţ 奴 fa Jj Ť 办 凶 125 罪 心り科 14 1 샙.

也

進

仄

且

眦

11.

中

Z

脟

弗

箅

đ.

風

143

射。

之業不 母 民見 行如 |戊卒 **時**至 從之如 춋 古 左 Tublom was and Royal And Day State Not Decreased Bank Day Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Company Co 祸烈及已也 護 地夫 胡貉 山方時佛 Ŧ 及赘壻 事之後 亂工 發之不順 甞 地 雜也 時去 不耐 有 而 錯 漸 市 夫 救 久 此 略者 水 其 藉 買 徃 L 令 Ç 不得一 さ 起 民 者秦以 苯二一 人後以 灰菌 行 者 棄市 i 胡 水 人共住 兵 炬 見 人之生業 於地、 者 後 也 Ē 土成者处於追輸者价 而 一葉英俊人 一葉英俊人 憤 入 欽 四 亦 臣 財胡復入対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対数期の対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象対象<l> 其執 威却而 捌 耐 祭 寈 双 戾 周 知 寒揚 有 後春 有 讁 共 未 ī 易 而 萬 冬野 市 發之。 各日 執 欲 起 ^{*}十 出 (役不供後) 中 п 춋 糦 廣 兵 粤之人 戦 擾 國 如○至○絕へ於 と 者 期 大 斻 在又後 Z C Э, ş. 此の則に望っ塞 之 薍 ¥ 為人 攻 連の胡ら所 ○ **下**. 夭 其性 邉 酸つ 讁 故 所 而 年の及り有 И 境 也 Ŧ 後 後間 禽 - 17 눍 IJ, 也依 Ŧ 戍危餐 功 4 天 :期の己の降 - 候 維 徃 朝 练啊 之之 大 仆 耐 屯 夫 來 倡 Ŧ į. 也左 生 中ゥ去に敵 ű, 南 -人 が道 暑 则 1 非 :轉 國一聚 之 、身 水 J, 畮 天 蛚 之 取 母 吏 Д ьij 也徒众 貧○而っ心、 劺 **:i**t. 奖 F

陛段民之 邉 쨁 德順為 干官 免 以有 高っ之 古 止胡 危 甚 ;也使 患 使 地 上之俗 方得入難后且 盐 罪 上T 城の能 大 カ 何へ 難 カュ 非 上十 孤 つ 能 略 其 紀 之 能 康 拜 雑 泉 深 っ 不 遠 **戌利**〕 巯 杫 賃 Ti 絘 其 佛所服 地 自私 相一施 而 爵"立の聖の如 推 民 又羅 胡 路其 民 去 後 無 全 150 城○要○選 親 惠 違 世、 电 畏 ŧ 徙 如 家? 矣 戌 是 以 名 胡 こ令人入业食 也 戚 母の之っ居 遠 坠 者, 實 文 稱 之 則 本及 驅 F 而 于 塞 下○處○者○方 F 事 帝 塞 聖 功利 튄 堇畜 而 Ŧ 千0頭0家0之 下。從 墏 共 和つ誠 丱 相 里 以産 能 さ 聂 家つ川の室の卒、憂 共 其 Ŧ 萬 Ħ 能 使 椒 半者 止 民 衣 :雄: 先○之○田○守。 富 之 电 稺 與 也 也 菽 黄人 其 邷 禀 為こ道つ作こ塞 戌 薂 泰 民 之能所 心に厚 秱 낐 此 功 食 室の調の且の一 逭 3 恵、 民 12 父 13. 퉱 不言 袻 悂 赴 縣 能 屋の世間 以の故 事 官 徙 者 厚 行 子 下。康 胡 自 具地封備で ٠ŧ 以《不》 3/1 盐 北 ッ 4 欠 相 4 不 紿 田南郡之 ۴. 有, 其5可 胙 2 刻 丁。民 偲 避 膭 而: 器・波部 以ころ 上等半に使 蔔 43 ar. 止、乃邑养假 使 标 港市 徙 タジ ું પ્ 時 後服泰繁 音順子一久 肝肝 藤甲度 移こ 先 4. 非 -11 事基 之の居 監住 民 冷心 とっ人 言之於廣 不 32 。

共 創。何 根 智 挥 ኝ 相 政 長 群 設其 為 相 作 立 者 織っ事」 女 奴 不 矣 ा∬ 定 民~ 其. ታ 电报 伍 居 徘 從 <u>巫</u> オ 11:-E 四 伍 之;種 И 沂 不 驩○夜 於 可 蒯 里 -tr 心樹 ÍĤ 用 16 爱少跳 朴 射... 有 救 用 里 長 畜 疾 割 之の聲 ŢŢ. 此 威 和 也 不 服 达~ 乜 禾 十長 連 病、民 嶅 長 其 視 心、相 出, 臣 宅 煮 j... 材 足以為 連 有 叉 室 有 通 灯 所 先 陰-故 損 Ιή 始 以 有 於 瀎 .— ___ 閛 屋:修 為 116 材 成 校 **況・** 腸 鄊 古 意 : h 假 里 完 祭 則至 扩 11 . ĴΫ 相っ足 7] 尺 輕 z 則貧 里 之 安 Ŧ 廖、共 不言 紕 売ご以 令 Ŧ. 礼 室 和 於 **高 位** " () () () 家 冬 有点 有 制 此 男 故 背 马剂 加 相 遷 應 百. 民意相に 逯 暂飾 來 Ë 徙 34.4 11 十 假 肵 女 氘. 置 共 此 枚 覧. 吏 非 連 上.' 縣 可肯 畫 W क्षा : 具各 枚 17, 有 ıπ 뽊 水 森口 圳 罪 业. 初日戦 幸作 ж. 則古 以 使 勸 泉 用目 Ŗ. 物 η; 而? 好秋 豪 ・草・有 不者 備 之 焉。 以主 Ħ 夘 化 加 民 生 と 動っ ル民党人 厚: 材 相 則 ë 置戊 敵 米 쵼 新 民 奴盔 大 3/1 凗 、味,往0 曾至 ili 푑 袑 带、 見 チ 1 校告 也 其 相 튄 至 ы 矣の ٠b 宿 目有使 處 3,64 一唑 有上後 44 · 水: 順。 遊 仮 嘶 泛 頁 此所終。下 $\langle \rangle$ 仁 埼 1 17 段期 五.而 焦 所上書 是 灭 圓 14: IJ U 竹前代家 有 君: ήtή 到っ

		百方野 第二本元		樊使人輕爵而有倖心不可為後法	間明也宣惟禦匈奴哉但拜爵勸徒雖云權宜其 也山氏 曰推是該足以治天下何者教養備而賞	· 不
		九思堂	: ;	法。	後雖云權宜其 者教養備而賞	· 展也。

得而 不製衣 握可以周海內而無機寒之患此令臣輕背其主而 民易去其鄉盗賊有所勸子逃者得即資也要未 衆貴之者以上用之故也其為物輕行 易藏在於把 四方無擇也 民於養桑薄賦飲廣高積以實倉原你水早 能保其子君安能以有其民哉明王知其然也 而食之織而衣之也為開其資財之道也 生于地長于時 錯言於文帝曰聖王在上而 有也民者在上所以牧之民之規利如水走下 略体をこっ 寒至身不顧廉耻人情一 费也夫案之於衣不 則塞夫腹機不得食腐寒不得衣雕然父 夫珠玉金銀機不可食與不可衣然而 移 農出 栗 聚於力非可 待輕緩機之於食不行 日不再食則德終歲 日成也数不之重 不 懱 畜積多而○○○ 非 故 11

責 寒至 炮 府 嗕 其 不 方 倍 敖 者 政 間 瓜 農 囚 日游都 矣 民っ人 冠 稱 疾 繇 収 子ご比 其 養孤 務の農 耐 之 駄 役 民 蓋 不当 富厚 商 ņ. 煶 賦 取の有 天 相 四 過 さ χ 未 贾 在⇒所 堂 於o 錢 Ŧ Ťο 歛 長 榯 後公 爲取 耳 直属の氏 文水 交 之 干の以 乘 倍一 不 纫 ż 大 石 徐。有 通 上。之。 者 贵 坠 珔 間 栗 ο流 稱價 在 春 不 ħ 贱 縣 栗o亡 策 Ŧ 共 橨 朝 無 Ŧ 榖 こ不 2費0者 官 肥 候 奸 于 令 # 죷 二人 П 面。為 栗○也 力過 桵 上心性業 偣 是 幕 勤 休 耘 漿 奸 o方 綒 之 息 有 苦 Ų, 共 攺 以 秋 惫 · : * #}\$ 更教 で成っ 今 曳綿 拜 迶 前 冇 如 S 又 穫 能 玉:所 小. P Ż 在に 綅 칶 袑 μE 杠 久 **全**费 111 耕 杊 魞 干。務0此 以 夫之苦有 故 黻 隺 宅 半 復 Á 利 罪: 使0莫0商 洌 ÇÇ T Ţį 选 伐 被 不 夫 H 妻子 如 民の若の人 相 販 而剪 薪 水 往 ď. T. 浉 以○使○所 傾 早 迎 ſī IJ 得 根の爵っ 當 之类 - 栗っ氏っ以 Ы 夵 之 ijij. īlij 為い務の兼 里 陌 耖 僧 弔

親 IJ + 生 遺 夫 之日八者 饟 車 也 支五 惠也 差 方 F 多矣帝從之令民 勌 色 率 於 矣、第五 粟心队人 天 騎 ·所ο 九大 者 O 勝 王 C 港 是 錯後奏言 - 略 人入 地 爵 失い勿 天 謂っ Ŧ 戯 裔 備 猚 文 収 袻 者 F 武 据し 可 恐塞 農 7 栗 農 帝 不 樹 事 上 IJ 者の百 僯 匹 有? 民 卷之 於邊 之 乏夫得 優 上 + 大o步 而 也 係つ 再出处喝 租 陛 所揯 卒之食 ķ 年 從 用っ 功 枚 補: 其言 妈尚 Ü 後 政o甲 たo百 Ť 如 _-為 Ŧ 7.0 愛 出 入 수**.** jł. 都 髙 後 足っ = 不足 人 耳, 寡 德 駬 ß 於 槧 Á 部 使 本っ萬 李。 k 令○ 禰 免 吏 而 啃 П 澤 天 於 旗 þ 務 而 神 不富 出っ 今 吏 用 Ŧ 罪 免 雨 邉 儿 不 道 加 肃 無 鳧 而向 罪人 無窮栗 其與 末 於 入 不 之 李卒 吾 大 拜 民 棸 ηµ 凡 蛰 所。 ð λ 教育者 郭 加 Ť 萬 Æ 渫 栗 弗 之 三歲塞 騎 栗受 7 務 睒 塞 能 日、後免 脎 民の支 天 3~ 吾部 所 者 Œ 民 Ŧ 馬 守 Ŧ 以 有 其其 他の 甚欽 民 爵 栗 苁 交 Ż 币 石 錢三 1. 於 F 東門 Ż 进 功 至 狘 浙 # 抄 Ж 勸 7, 動 o.以 숒 之 也 Ŕ ĸ **4**√5 髪の上 食 ŵ. 所 相 £ 是 戡 + 車 民 榝 Ti **初**。

륁 書令林 共 批 视 臣 拜 始 民 ďо 非 Ŧ ۱ 队 EL. 爵 ıμ 有 政 今 且 備 郎官 手。 氏 崩 Ž 车 袻 μ 吾 4 选统 Į1 1 漢 FI_O 取 兩 **新馬自是武帝書部民** 初綱目書令民 租 曟 其是可 をこー 入果 Ц 出 明 無窮皇 稅 民 羋 帟 入財元問三年令死罪入 さ 甚 あっ **特**_ 免 戊 百 罪。 里. 眀 館 洣 뱮. 荀 曹 萧 循恐當 更。 公主 納果 治 īħi 非 其の 11.1 骨 其人民受其如亦 之。 為一 拜爵 民輕 者裁後世論治 妄用所告 省っ 得斯罪元朔 特の 求: 犯 未免 何~ + 停 **.** 12 c 騎不 7 罪也。 ŀ. 光 猫で ě. ä, 令 焉 燍 ill 入 刂 ų, 于

警台 敦 * 羌先 之路、 す 勇種而愁 園 夫義 奴 誘羗人欽 上前 以 古前片 劝 冠合 備い結の国 相 产. 畆 問克 零聚 豪二 安國 果安 臣っか 約攻 世犯 丣 床 攻擊勢不一 ΗÇ 遣 後 10 穾 Œ 还 義 恐っ西 能の借 月 百餘人 典之 댐. ķ 庚 奉 兲 河 獨い兵。 羗ぃ方。 對日 湟 :所 音龙城戰 各二一 使 造口欲 羗 變馬木 给令 西 水郡 共 盲 不 不 转種子園 此o撃 計ハ鞘 未海知 国 矦 不 L 敬是後意 尨 解 也 好名孫 時 使 止流三 私、 便 先以西 居 張滔 言 國戎 湟 被采 仇 縣 何 此源年 徃 ٨ 張 畜 言 图式 牧、碩 為有 擹 交 不 $\tilde{p}\tilde{\eta}_{i}$ 付こ墩 丛格 且 減句 被 Ξ 湟 枝朵 諸 質 能 奴○煌 垂充 後のな酒 相 + 具 中 敬武 羗 人 有 根 面 也 旁 旁 餘 在国 結り疑 距 男 女 時 姓義 地 煌成 泉 使の以 度 安果 及 啟 剧以 **巴の絶 防傷 職の共** 地 Æ. $\{ e_i^{\dagger} \}$ 膈 六 い 漢 使 襾 副鉄 他∪更 -1 絕 依 間、 □道。再何 種□遊 午 峞 泥籍 水名符幣 羗 先零與 羗 17, 秘 後 前 乃定 し充 「商水 宜っ使 基 义 共 查货 北地东 奺 £Ρ 90<u>1</u> 101, 栯、 北光 [H] 11. 及 」 Ŧ 之 捕 μĬ 位 囪 邮 何 計 言、年 :未っ差 后。 其一命 η, 遊忘使 寒っ以 亦 光 果 É 龙 遺:焦ッ中 者奴 允 抵:趙 貞欲行 jî k 15 411 r.il X 9 倍 升の銀 - 使 | 爲っ奥

古 **斛**c 宜ご即至 大野様 趙克國擊平之是宣帝之世惹亂 閘後 于超克國 斬之 因 日 别善 使安國 亢 袋の者の开え 東三年 覺○行o₽別 巻ん 放兵擎共 恶。其 : 過 : 坚種 将兵觀之安國 謀ひ兵つ及罪 先军 預コ乃の 于 為の解の 是 種諸差怨怒遂冠 典諸 備の舞り 裲 哊 勅 の合い 尨 狻 祝の約の 至. 大 白 示視 到 **召** 先 共 進 语前 秋 于義果安內面 빏 X 之日 · 新 零 渠 也示 肥。 金 豪 潜の變。 差の必に 芡 城 Ų Щ, Я. 1 15 切っ起く -|-行 性 餘 混 | 全の

年老矣。 之者卒以其意對上然其計嚴道 古方 雖 多 四千人差靡忘等自 六千人定計 神 千六百級 以餘命一次 自希以欺 官充國後為 냂 請罷屯 不出即自服 斬首生降房以破壞然有 迎說克 育二年超 , 新先零 咚 置 若 位 恩臣所及 团 兵奏可克 城 大豪 已極, 明主哉兵執 日 者三萬 計以 充 **4**3) 後 숮. 衆人 **筹定** 也數 젟 将軍 楊 将 奏言菴 金 玉 如 軍 省 國 施 遺 首即與單黃班之獨內 秋差若零離留且子 城 伐 即見、 人為帥衆 此 以 槉 胍 脫 千 劉 **国之大事** 將 <u>.</u> 百 破 旅 得. 與剪 本 M 時. 軍 見見 識 尨 丽 責說 可 以 退所 吉贵此也 翠黄 也闷 右 贤辛 Æ 宜以實数 處師 \mathbf{E}_{0} 'n 以 献 萬 餘皆為候為 失 Ŷ, 养 四差 Ä 鷿 羝 闸 Ä. 羗 答 房势窮 浩星 俱 子 且 普 詔 功 星人自士赐必以者 餓 甩 常復言 (法,老臣 酒泉 奏兵皇之 Ţ 廷 炮 į. Ho 비 姓浩可為 不 首 特 擊 赐屋得曼 過

す力 醉 受節有部更用 起奏湯 観之。 謂深 B 叉 自 克國至上書告 躩 丈 國之長應如 也 酌 功 網 略做卷之 炭 祁 月 日 在 功 育 解 恐 顧 山 Ħ 付 一个一个 皋 **婦二股** 核 藏建計武 充 屯 乆 賢崑 可護老 克 園 囯. 目 字目 术 國 老 則 蛸 掁 勈 不 此_o! 免 罷 倜 冹 I. 则 吉 族 **惹人惹人 反畔** 臨衆後臨衆病免五 可典變夷不 負克 充 失 兵 賢 較 持 J. Ł 利 而選深嘉克 人射克國 ŧ 計 風 重 且 U 以 客, H_O 國。 子 破 棡 不 ÷ 以 卒 府舉 計 扚 中 羗 逄 戦 Ħ 以 以 之萬 希 不 煮 郼 為長 勝為 雖 窮 意 如 ÷ 無 抑 卒如 漢庭莊帝不 貴克 因 欲令辛湯典蠻夷 追 對、 國 湯 武 全者也 貶 策 准 極 也終 奇功而邊蒙 非 兄 肾 解不 省中語印 計 गंग を見る 伐 府役舉湯 **辟衆, 時湯** 小 格 為 制御有道 功 第法 網 至于置 可 不 功。 Ħ 行乃喽 不 弫 忠貞 及 九 分 何 Ŧ 躼 힜 書 E. ķ 允 171 面 數|

亢

串

. 侯

攡

屯

竟寧元

何权

呼

静

祁

門

Ŧß

支

H,

木多大沙黄 古方 未曾不 接之于幕北建塞徽 作弓矢來出為冠 1 漢 不の希 至 王嫱字昭 且 今至德廣放天稷匈奴 山谷往來差難過長老言句 城。 城設屯戍以守之然後邊境少安庭之于幕北建塞徽 塞先代及 微音叶子矢來出為尾是其苑園也至孝武 條里草木茂盛多角獸本月顿單于依阻 **典九被其害臣聞北邊塞至遼東** 可っ下 燉 惺 野佐をえて一 許っ有 上: 司 煌傳之無窮請罷 來 哭 朝. 問狀應日周 議議者皆以為便即中 君 Á 如罷備 ・
助
之 吉 願 H 何: 單于雖喜 壻漢 足 塞吏卒示夷狄 奴 來冠 型 汉 泰以來 備邊塞吏卒 氏 匈 候 順 以 少所 奴得 堅 湿 Ĺ Á 匈奴暴 通 一書願 則 奴 規 蔽 蒙 安幕北 一候應習 逸事の文卒以休天子 烽 屫 失 孝武世斤奪此 帝 之大利不可。 仒 含 外有陰 火而巴古者安 逆天性然 全活之思格 保塞 以 ηį 從 界境 集冠 後 起亭隧 た後週 蹇 地 Ŀ គ 以南 一谷以 其 Ъ., 侵邊 艮 e į 少草 ψ, 取. 放っ 浴 酉

垣: 古方 又追人奴婢愁苦 軍多没不選者子孫貧田一 而背畔今罷乘塞則生嫂易分爭之漸五也 漢人交通更民貪利侵盗其畜產妻子以此怨恨起 設塞徽置屯戍非 白 本故匈奴之人恐其思舊逃亡四也近西羞保塞 愚 不 也起塞以來百有餘年此時百條年非與無點群章犯法如其系悉下走北出則 切 費久遠不可勝 急 中 民 忘 略構 罷戍 塍 省 或因山 何。 猶尚 危 减 蘇成十年之外百歲之內卒有他變節塞 4 然時有亡出 尚 不 卒省 卷之 絕當更發屯籍 建 可 最石 關梁 禁 復 ,候建軍 不 丈 欲亡 計。 木 獨為 以 况 臣恐 淼 寒 單子。 制 也。 谷水 Ŧ も 匈奴 者多正 諸侯 議者 共意 **个** 自 治累禄之功 能 國 旦亡出從其親戚六也 以保塞守架必深德 ľi, 而已亦 莂 巫 有 縦之間 妸 不 稍 開 IJ 共 禮 涤 稍平之卒徒築 何奴巾 絕 我 輚 東口東 侵口邊 起 開出 應 為諸獨國除 臣下 不 z 捌 不 共 教。 克·尿质 犯 非 可卒後 樂無奈仮 八終始。 不 之與 約 刑 是七也の 皆以 不可 往者從 뛝 俵 = 0 z 氏っ 也っ 也っ

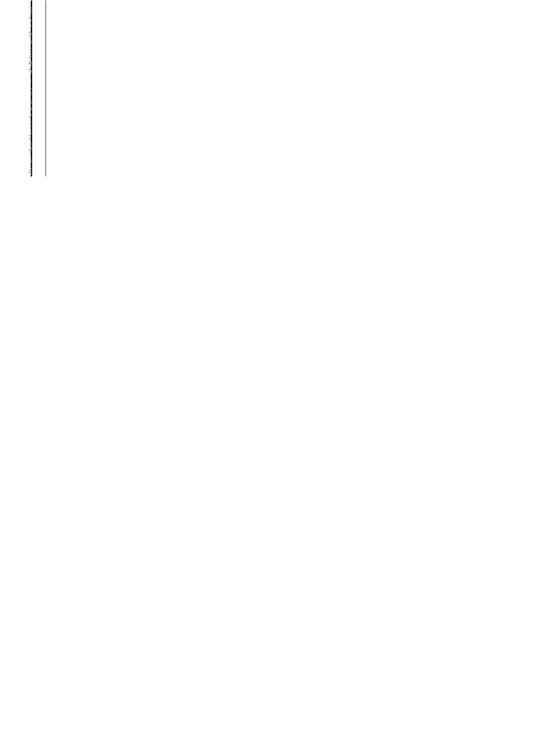
心敬 翰單 于之帝 亦以防中 因 茲 亦以防中 因 茲 可 心 語 甚 厚 C 市 **嘉姚單于單于** 孫 許 長 膫 使伊 晔 후 單 世 方 森口 策 敬谕單于之意朕無疑 虧 嗒備 可 韓八 巷 Ŧ Ŧ 世保 山 也 ¢ 那 葪 Ě 怨 氏 對 围 壁語 寸 Ħ, 辞天子從之, 朝上書保塞 H 塞單 軍于 奏 之 使共 夷狄變 防 卷之一 固 夭 数形放 綴出為に四方皆有關系統四方皆有關系統 'n 以為 氣與漢文賜尉 日單手上 奸 謝 + F 祥 Ħ, 菲 有 Ж, 吉 當受惟杜 王 菲 涎 思 非所 祁 一伊莫邪 使使往 百出 客二語 Ϊij, 不 惟 候應 一書。願罷 Ļ 夘 焉 八以永 大計 元の障の所名の塞の以 設 蘖 為單 作同 問果如其言 存及 欽答 豪等 既得 策其不可及 當服從不 拤 避 故。非0為明 初 別 別 別 別 日 計 天子幸 Ŧ 北 塞京 3. 間、秋 但詳 汞 許言 H 怪 嵳 家 以 Į. 圹 爽 媉 使 度の你の者と思うな M Ą 徽 仗 不 Ŧ 大 1 Ť 忘 ⑫ 罷 屯 单 W_o 大臣 葪 本 Ίi 以 林界 生 Ŧ 備 ŧ.

浴陽 t 河內 + 將 者 陽 御 鮪 方略 李 泉こ 兩 萬人 軍 命 誾 魁 而! £ 宋陳亮日光 永 馬 嫋 **低糧泊帯** 可 箏 굺 £ \overline{T}_{3} ¥ 批 禹 T 槧 偛 田 陳 四四 送 馬 足 謂 非 人 邑 西 所 狥 午 西 犞 裁盖關 奇乃 热炮 闁 ኢ 獅 盂 軍 巻んい 侚 此 在 Ķ 取 闸 子英可 并州、 於鄧禹禹日冠 號三 關. 乃 令○拜 械以 糧 El, 赤 西 關 武 围 津 苗高 至 率 征, 輔 将 相 ţi. 自 蕭王以河 供 十萬與河 突棒 昆 野 1 o都 其意豊以 軍 群 ŧ 軍; 使也 勝之勝の 袓 相 泴 形 Ŧ., 統 士 禹旣 馬。 117 Ļ 魏 팖. 拖 軍 业 乃 禪の前 店 of 坤 21 地 跳 郡 蕭 破 恂文 南太 燕 西。 拜 南 長 凍. 地 遠 退っ 門 光 .柯 河 以。 梸 嚣 而 趙 武 他心 棚 儉 Ŧ ○重 安 北 内 征 Ŧ. 平。 河 走 守 述 馃 ß, 未 乃 中 可 乃 夹 兵っ न्य 要富貴、 叉 倘足有 曹乏 稻 囂 身 *f'*: 勿っ主 否令委 内 武 奥俱 可急而 復 欲 全の北の 太全 勃 虎 在: 裥 内 引 棐 河 紀 热地 者 狼 Rie. 服 Á, Ė 뮟 Æ. je, 公 牧 擇 腈 脚 守 Ż 西。 Д 度っ 17 更 丽 枋 并 IJ id**e**ci. 拒 丽 閲

古方 速為 終唐 范 御 粉 異権 とず 安志湍氣溢兵鋒已 之 是 誧 輔 則 答 以 有 之 持 敵 憐 觓 未 ᆫ 計置平 晒 何 北 肆 何 長 物 たたえ 光 世 * 聕 可 服 則 遂破 K 赤 μŋ Ħį 所 É 以 敋 典 IJ 武 Â, 亦 丽 郼 ĸ. 不 取 眉 不 之 阻 - 述而天丁 縣而 之果 關 卒 徇 靐 赤屑而長安平 ٤ Ë 大 何 能 至 其穴 中卒使 燕趙、 40 述 成 患者皆滿 用 也 泰也 卓 光 河: 不 哉 页 為 雖 而 武之 И 剿 定之功っ 籵 罹 祈 唐 敵 推 吾 可 枚 物-彼 其毒是: 遂 河內未 及也。 盗 肅宗起 敵 **彼乘其虚** 鄱 而 之 且 不 不 而 明。 鎮也 禹 旅 赤 根 身 取 敢 其穴 矣使 週 ф 當此 得乘 眉 本 狥 關 逞 共 此 奼 敵 燕 p ₩. 斑 固 輔 不 赤眉 燕趙 之時。 之不終宜裁吾 不 勇 IJ 甜 **乗以** 奂及 亡它不 置武 不能 所 趙 則 所 쇘 能盡 豁達 卒保 茥 未 騁 使 以 無 可以 木平 赤 共 天 并 之 且 何 天下 能 大度 忠贞 Ŋ. 所 鋒 闗 速 無 F 眉 裁 肵 先 卒 立 定 河 屰 帐 逃 悄 ψ. 破 烻 餘 į.

市力 吟傳 本 えっ 一 三 を見生	無乏事也古人應惠之周用人之寬如此。一年養氏日要着在治兵河上以拒洛賜此恂所以中養民日要着在治兵河上以拒洛賜此恂所以	或曰何可謂稱職禹可謂知人世祖所以 略 漢紫
--------------------	----------------------------------------------------------	------------------------------

泛道润先約東小東點人不則雖經紅	一諸 港の	可得警備令宜復如曹二二一	使譯題尊動領護を担め	部置蠻夷騎都尉由州部置領鳥桓較尉京州部置悉為馬西南京五一者科	處習俗既異言語不通數為小吏點人所見侵奪窮言今凉州部皆有除養養胡披髮左離而與漢人雜言今涼州部皆有除養養胡披髮左離而與漢人雜	不能討因就慰納發其衆與漢相拒司徒禄	
巡行問疾苦其	郡不可得警備然機之	舊以明威防帝 悉貞堂	静使塞外羞夷為皮治其怨結歲時巡行	較尉京州部里 此也舊制益	人所見侵奪窮奉中民 大 其口 華而與漢人雜	相柜司徒禄班彪上	



古方 城置酒选印同印日選將軍到亮得無已 **晝夜相攻距二十餘日曹真道将** 石磨壓其衝車衝 以火箭逆射其梯梯然梯上人皆燒克 詳目前言已定我識卿平偷不識也詳乃去亮自以 有衆數萬而 告亮亮叉 使詳重說昭言人兵不 言者但必有免耳鄉運謝諸葛便 已有 我之為人 漢| 以土 召 能 外 後 張 也地 便到乃進兵攻耶起雲梯 王建 遊說昭 備、 直 凡 昭先守之亮不曹爽使都 填 飤 鄉所知也我受 典六年諸葛亮 方城 塗欲 昭兵幾千餘人又度東救報兵叔 邓於樓上應之日 副 出 陳 发电方城 於城襄耶 直 車 攀城、 折亮乃更為并問百 能 郲: 引兵 國恩多 克亮使 使擊克魏王 爻 叉 於門 f. 衝 魏 出 城 可攻也 軍費權 敵空自 車 家 郝 敬 禁重 以解 内 秆 耶 羂 穿地 **叉重** 照 浩 泖 牆克 破滅 詳以 走 Á 等救之魏 尺 叉 舴 城 人 陳 横 IJ Д 本行亦 卿無可 所 含、 W 靰 杂康 分 裁之。 又為 射 純連 於 耶 쏊 Te

		7			75			1 ;	韶	
.		Ì	· . .		方 略		安 。	くオ	世山氏 日文者 部 賜 耶 爵 關 內 侯	
į		ĺ			貨		F	スコーチを介羊も BUT 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11年 11	芭山氏 日交者不足守者有餘曜之全城印放尼西·西南南南	
!	.	!	i i		をこ	' !	1 1	しか	目。関]
:					z :			リ .	义 内 者 侯	
			•			1 1	Ā	1	不:	¥
	1.	ļ	1		:	· .	H	に主に	及り	
i		ĺ	1	li		.	19	勢	者	1
i							イ	共工	有 俗:	
		į			:			故	略	1
					美	, :	1 2	上上	之 し	!
-		-				. !	ij	城	城	
			-	; [;	是五人	:		為	ers	
į					1	. !	者	, L. 1	拉)	, F.,

公 の場 O 以 家 o 當 o 叠 Tr : 南 美 カ 世山 夷 床 者 岡 さ 降 K 務い種の蠢 帥 岦 異解 春た 티. 岩石 劉 督 比 酹 無退 穀。不 胄 佼 武原 忠 於 誀 真宜 馬の稲 叛 世 是 人 統 滅○職 丞 征来 則 張 臣 挺 残の故り 速 南絳 鳳 相 番 之《選 亮 中本 首 妣 不 嶷 桩 四南' 丧 懈 氣 'n. 什 以中 非 往 到 荷魚の 馬忠 往 乃 以○人 罪就 背公替私 發馬忠 黙っ未 南 張 退0至。 之0吾 代翼 芜 異 鄮 **痛管耳** Ħ 故っ方 忠真章 因其咨 **新**日 而っ席 煞

淮吉於懿曰京 民 志 至 之。不 淮 間。伸。 道 此非 古方 諸將 日亮 大 伐 泊 准 靭 Е, 將 魏 斜谷 t 淮 漢 無事 . 若 進 丞 山 丞 TB 分兵屯田為公理擊却之亮以前上 亮跨 Ė 副 使 邸 相 氏 而 相 矣。 約 亮 武 馬 陽。 亮 Ŧi. Бэ 百 卷之 肩 也懿乃 劝 屯 夾 玆 姓 懿 吳 息|勧 原。 登原。 背渭 安堵 果 依 引 民 同 農 田 爭 电 μ 軍 榯 休 講 渭 特 而東誠 大 土。 北 五 軍 使 連 渡 武 顶 丽 奉完至 渭。 丼 原 作 久○者 淮 馬 軍 無 宜 駐3数之0出 屯 背 年 亮心 兆 ホ 是 私 且先據之議者多調不不無其原在強州刺出 馬。 **4**, 而 牛 說 北 山 水 的可憂者西上五支原一致·資本和 明由 此· 原 爝 耶 後 以 流 不 相 女衆 軍於 用之 馬 出 持 **塹** 絕 雃 武 者○運 百 值 渦 至 ιů, 维c糧 末 功 餘 而東 是 於○不 成 揺 非 湯 之南。 ţ 繇 漢 斜 民 不 丼 史 斜 語 懿簧 演○使 夷っ然。 磨っし po.

交至人馬 漢中、 何聊 州 惟 Ŧ 古 伐蜀、 為深 路涪軍及 平為後相 皆恐欲守城 **套千里贩岩得** 萬餘與玄自 李勝為 Á 方 11 略侮 軍劉 觏 百、 牂 **麻之比雨 减令宜先遣** 太 行光 條: 劉 里: 敏 試 李 傳 長 700円 裸甲、 岩贼 丛 勝 史 Þ Ž 꺠 與平意 典 邟 [E) 勝 縣 馬 - 不 兵既 轉 嚴! 大夫來級苗禕别求共圖棋 間 分 m, 徫 各 及尚 君必能 月 出 歖 輸 馬巴 湋 餇 劉 以 包 漢後主班大 城門 止 至参軍 不能 軍 黄 護 闹 於 失核 待 漢 之不能得爽西至長安餐卒十 睿 訖稿 迷神 辨 亦 全. Ŧ 守在 法 中漢中守兵不滿三萬 鄊 供 舼 Ξo 颾 楊佛為爽陳 者也 與飯對戲無倦色敏+ # # # 1 亦 业 牛馬多克、 欲令曹奕 特軍 Ħ 計之 領 魏兵距 書. 4 學祥 督諸 _Ŀ 也諸特 F 並 典玄 典批 多張旗版 形 夷 之大 敗 威 八號江 特羽 Brank di 名、姑将 不 鞋 旋、 EV:

魏

征

籽 費

軍都 褲

督雍 曹

凉

諸

氭

憂

侯

玄

漠

搄

楘

古力 之虚耗。 領以截夹 重り 可¹ 何 到 為跋禕 叉日兵 秋之義哉事有似 為既確方受命往救嚴駕已說 使來敏 非 卓 臉 一昔武 擬乘與卒夷三族安在其能 戓 以任其責玄懼言於其五月引軍選對職造學司 王劉 卷八日 **日兵以貧敗曹與覆職** 蜀已先據若進 皇 巻えー 法之要莫先于識地 出 諸 順流而下七 韓世忠開苑 當 英爭 帝 不 干敵 先 人先 掃腳 Ц Ā 大 險 人 Ē, 義喻之春秋 間。 為之據險 行亦恭無俸 苦戦 糞 馬 是 示 一不獲戰 Ψ_{c} 炒 郡塔 汝為入建州乃曰 栭 敵 佐乃 幾至 與漢 非者。 IJ. 退 為血肉矣因兼 距 可 得 暇 大敗君所知息令其就 侯 、色の此 形盖 鋻 光 之義被 未可為 可. 敵っ 制敵 過失云甚我問中出 見邀絕題軍必兵府 玄 也。 八硝不 而逗留不 書 爽秀 冱 裁 \Box 古人 寮請 幾敗 關 脸 ٨ 袻 春 机脱等 建 次 情 秋貴大 程 ^居問 亦 謢 行 者。 别。 刀事 Ŧ 豈 難っ 並 英次 過

古方路廊卷之一名		市方 呀 佛 ■ 卷之一	特者不感及此安望其克敞
		三 忠夏堂	其克散制 勝哉 余 植 敬正 余 植 敬正

憂念不 之 以o者 以 7 4 姓 ŧ 唐 而 古 忽咨者 ...世充資 初天下 民 居 詔 빘 方 近事驗 遇不行、黄c積 貞 オ 來 。略 冠o圓 觀 必 在" 略 僬 尨 違 於 敵o不 園っ **E**. 構 之の多たこ 之。隋野 一个日 也 可 無 可無要當人有餘力法後収之不可監飲之一の各人本上的工事の理のBONO的ONEOのBONO等の用至今未盡夫之而京府庫亦為國家之用至今未盡夫 知 故 僟 求 百 娇 **也** 令 陛下 Ŀ 夫 無要當人 歉斗 官極 年秋 為之因 儉 t_{0} 釱 示。 以。 以息人。 不 但如 洛口倉而華審因之東都積 圠 米 七 厚 育 年 復 直 者 得 月、 文 不難也 有餘 貞觀 古積多少在於百姓苦如 大雨 念之多替不 豐 萬 II. 失 核化 侍 新 州 代之後不 之 Ŧ 雨 御 伎 萩 陛下 刺 Ł 絹 ī 史 洛 四 張 得 于負 亷 姓 馬 湓 自 懋 急之 不易 196 栗 미 夭 入 怨 Ŀ F 欲 +Ŧ 费. 洛 務 渫 幸甚 為人 觘 者_o 疏 之 定 但 故 舠。 斛 鄊 日。 Æ 也 而 唑 些 真。 T F

> # 京官 當 仐 惟っ耳 要! 方 Á 或 不 朝 在の然 本 ^{美3}森 非 化麻于此、疏奏。太 補 烙 Ħ 如 朝 選縣令 不 廷 .刺o則 備 周 張 葪 陳 稱 惟 史っ武 敛 亦 之 仁 職 重 扱っ帝 失。 宜部京 卷之二 僅 非 蛤 錫日馬 内 令o愛 舉其 鯆 所 官。 荷0之 以 外 丽 選口適 宗稱 大 息 官已上谷舉一人。 用 解 所以 周 任 輕 築 民 典 邉 州 #o 魏 善久之謂侍臣 達之處用人更 縣 人会者 微意相 則意之 Ż 乃 選 足以致 刺 下c叉 远亦見 史 可で百 多用 以co 始 的 ź 角此為 日。軽利 武 拱c以 姓 人 無 命 有 漸 未 或 為()安(

古方路衛 定州 懷舜屯井 違制高宗 元執窮其 或日與房通者嘉運耳其黨與不可窮話 示寬客使不為叛獨 繁是驅 美倉 疑有 露元 尤 治脅從之法 是朝 克夫 壓雀戲屯龍 人をとこ 年实厥冠定州 不 | 類 也 乃獨 殺 嘉 度 へ 元 軌 日 殭 冠 在 度 廷有大 大 八喜調使者 州人李嘉 門以 事上 殺嘉 刺 (備実脈) 運 日。 史 與房通 漢 c 境. 餘 ○人 联 霍 亦 王. M無所問 因自然 ここの 八心不安若多で 戒百。 問之遺 梅之向無 元 **乾**命 謀 此 表 料軍曹 自 當 王失 梢

之後一種糧 之の 在州五年夷夏畏慕令行禁止 古 城 厥 唐 肥饒 ĕ 或日 宜以矩為殷鉴 利舊京州栗麥斛至數千及漢 方略 Ŧ 境硤 軍名 右 畾 É Щ 元 扎 吐っ P 氏 核部州 掁 境 昌地 p, 北原 軍大 亢 蕃就 套失而遊左虚至今被其患情哉。 日邊臣當知 卷之二 又令 碵 路唐 夷音 挀 六衝要 指州境 10 chi le 是 是 " 吸中盟 自 亭軍" 数十 年馬 和 控 之畜牧 都 # 本和 戎 制 督楊 脱積 州 朝戎 坎正城司 是京 以 刺 奄 Ŧ **控要之法**按 因以 軍根 **矩以九曲之地與吐蕃其地** 史李漢通 統宋城稅 客 至 州 " (衛白 中 志城 南 郞 **支數** 入 五. ή 北 冠矩 牛羊被野路 É Ħ 十年元振 通 闁 里 · 克克尔 不 充 要則虜不 · 悔懼 置屯 妆 É 捑 [∞] 板在宁浪 率 5 是 四 自殺 冠 其化 即 "置使 Ŧ 忠良 木 得突 後世 拾遗 後 于凉

古方略 常果 構乃命 柳謂 唐 此 ŧ 玄 使衆不與 適 쓮 山 其 大 法 氏 兵 先立徒 命 耀 耳事 所以 日不 邀监 期っ 目. をなら 而○戎 知 失. 期 道、欲有之。 不審 貴种 奕 可 17:14 押速也 權卿得之 関連往不分道並進則 Œ. 則害炭為權鄉計當 邀 之。此 ميلاد 謂其徒 進っ 至 権っ 日っ貸 Œ 惰稍疎 則 立 Ħ (境不可不 遚 功 ķ 陰 蓝 突厥室 奚官 行 者 푬

奥得以安居今用度没 與得以安居今用度没 與 其言以耀鄉 萬0水0名通 輸公生 五方 **倉鑿漕**渠 憂水 東- 使 之際禄原不多歲清 地狭 装耀 唐 開 矣。通o在胜术。隱 河 則o敗更而o盗。 都 小早矣且矣人 河滑 河陰倉 略 A 穀少故乘與時 卿謀之對日 元中開 下0州三 去 臣 傋 都轉 或o平門官:請別 開o隆山自○子o 巻山の東o雇○河o 之 숨 + z 嘉倉 八 西置 消。 為 潜科實圖 中 里 江 背 えニ 用度浸廣運數倍 饿 以 栢 淮 有 路の四の載っ口の \cdot 不 關 車 避 崖 漢 車の各の分の州河 習 幸東 ন্দ 關東一二十萬石足 殺貴 中帝業所典 全倉三門市 中 南轉 <u>二</u>門 愶 陸 進0 置6入0武口 'ল 西人今若 運 高っ 荷閣 髙 一心河の中在 曺. 都 文玄宗 Ξ さ 運 着。此。倉口洛口 所 以寬之臣 奠 **版** i. 東置 使于 百 幸之 則の至の又の置っ 中 在 料幸東 -于前循 里 先 無の者の於の倉の 停 有 使 當百 是舟 奎 集 後の貯の三の使の 數年 河 口 非 留月 副 陜 津 間貞 難 代不易 農 大 都 Į 倉。 月 之储 名際 置。也 滞心水。例于, 船。 租 不 以 召京 旣久: 一概. - 精 西置 **"帝** 省の陰の整三 至の 米悉 能 周贈 狂 准 場際 順 給 击 汞 但 兆 逑 不 色の止った方 pp o

棐

耀

實開

	方 格 傅 卷之二	車卷氏日不以贏利 也○		悉輪河陰倉里用舟運 新用一錢胡汪以十段
- 1	為市糧銭深	市寵尤見耀中有積儲之	「錢の此っ百」	舟,连至含嘉倉及 两,為十錢那 耀
	七 忠貞	柳公忠 處他人	公家庭的公司等	大射

		之不足其智調則一也。	田轉力或市馬或和羅皆取胡廣之有蘇湖中国廣萬積多有異志奏請和羅以克邊儲部落喜營	之管田、成大	獎氏 于 ■ 日. 果	華戰于青海積石皆大捷 北非共多 KIX 輕 KIXI 剛使四節控制萬里天下	唐兵益壯在隴右河西復請分朔方河東馬九千僧諸胡瀾之爭賣馬于唐忠嗣皆買之蘇是胡馬(は不足) 95 ま 朝(新 f) 東第五市高位	天寶五載以王忠嗣為河西雕王忠嗣高佐馬價
نسبر دا	!		中喜	枪 做恐	夜·	又 [×] 勁 計 ^效 兵	千つ馬 估	10知! 10例!

必有 燧 滞 于歸國共部衆 或日 與囘 芭山氏日 束窥懷恩而計備禦則 窥河東 而輕今內樹四帥 統言颇得其情 縣 e 皆拱手遵約 紀果神 囚 澤路之志 左 本應免 焼っ 有立道之世 僕固 有 東 行o欲 一个立動の人族日の有 非 深 深 抱□ 此 備之。 囚 燧不能 略 **懷恩恃功騎蹇其子瑒** 五奇之獎 e 官 至 仙承 紽 記の食者 干斬 籽 置 扎 至。 頓. 圕 燧 君自戮之 説抱 相 先 之置 碩 遺具宿 失色 j el 五 人人

1	1	1	اليا	<u> </u>			44		古方路傳		视	罚	紒	民	使	右	唐	l
ŀ			善	用、	<i>)</i>	西	净,	FJF	坊	也	يلر '	此	ᄅ	用	柯	徐	4.	
i		i	兵	用背	韓	家	表	度	妆	, тр	東	==	4	411	ተ	库	4	تغدا
Ì	l	:	老	क्रा	運	出	ن پو	奪。	借	rf-	27	任	備つ	741 1:1	が	汉	亦	y L
l		i	左		#¥°		ELI	ዾ			194);	75.0	以	14	Ж.)X	ハ	40
	İ		باد	. 译	-16 111		#	4	/ 10	i H _o	疋	fŦ	祆	赔	卅	, IX	沗	补
			~	134	Z.	40	17)	疋	を	符	. 天	精	隙	軍,	東	其	元	î
	i		得	央	11	號.	戈。	倭	之	4	Ŧ	ኍ	73	. 75 [°]	有	往	年	· K
	/		善兵者行之得人耳。	大	六	為	時	平	卷之二	Ų.	視山東縣是天下稱澤潞步兵為諸道最。	Ξ	針 .	îĸ	414	右節度使以其從弟殿中少監	<i>†</i> 11.	李抱真籍民兵
			耳	同	萬	保	謂	Ē		;	7.	並	Ė	_{FF} 1	ŧ γ̂⊃	辟	pāi	١.,
	`		. 0	i A	1	*	٠	=		7	. wk	ina⊜ Mar.	7A	人	#h	77	17-	
				EL	4	100	**	_		<i>~</i>	/Jbp*	57.	春	毋	焦	7	쮜	-
1				ᄍ	الما	F .	. AL.	벁		Ę,	T,	小	都	Ξ,	15	1	泽	
ľ		- 1	:	雉	~	桁	厐	T.		俊	共	費	試	T,	失	監	办	
				粏	彖、	質	子			' 李	13	户	过都	漢	術	抱	簖	
	'			1	簡	耤	弟	人		停	*	44	碧景		ᄩ	.ti	鹿	
į			ı '		PN.	Ψ,	*	/		祕	苦	TT 3	# ## ·	41: 4		本、	2	
		_		all:	ÁZ.	Ġ	10	~	+	4	更	山	以	TL.	, AL	何	7	
				7	14L	141	177] 700	\sim	'	· 何	、取っ	Д-	将水	有) (1)	举	.和	
				振	7 17,	茶	子	T.		(X)		克	也問	免。	之	洛	王 .	
		, V ,		艮	*	豚		大っ	忠	南		實、	行立	·其"	徐	餫	默	
) % - 		法。	身	季。	離	緩	負	西		狣	i 🛱 o	相,	<u>'</u> ±'	庴	#11	
		٠.		澤游兵大同小異雖然古今非無良法在	運撫之以六萬八千之衆簡関既精奉勇可	家出一軍號為保教官給資糧成同禁嚴至之	治泉急則荷戈時間之雄邊子第宋問平問部陝	節度建籍邊樣率戶三百取一人使之習兵緩則	忠貞堂	世山氏日得古兵法之意後李德裕為劍南西川		罰比三年得精兵二萬既不費樂給府庫克實養機	給弓矢使展隙習射嚴某都武都武請幾問行之	徐。	东	抱真為澤路節度副	代宗永恭元年加陳鄭澤點節度李抱玉鳳翔鳳	

固之虞邠 **总及也** 及 以 原心 上 一 之 貨 遊天下之 穀以 給不用之軍臣不為解傾天下之貨 遊天下之 穀以 於 是 非 调 東京 是 及 也 非 调 東京 是 及 也 一 液 車 香 賴之 赞 表 克 也 一 液 資 一 液 資 一 液 資 一 液 資 一 液 資 。 模架 古方 救之之術臣實懼爲今天下惟朔方騰西有吐蕃 于陛下茹毒飲痛窮而無告陛下不以此時恩所 安城中白晝椎 其百有容下之名無 聽諫之實情的問此五帝盛德也頃者陛 | 唐永泰 | 亘 魳 相 (待制) 街 典 招 陌_、 奴 刺 不息 為禄仕此 ٨ 其 故 備 左 亢 如沸粥粉麻 孤 貢 鹶 **涇鳳翔之兵足以當之矣自此而往東** | 巻之二 婢服 十年 假令居安思危自可 及痛 年命僕射裴 駄 IJ · 别吏 不致 歳 糧 酒肉而貧人產 矣人之生産空于杼軸 忠鯁之人 獨孤 吉 儲 騂 痱 民不 及上疏 政 、倭之資 敢 羌 政訴 所以 租 諸官亂 疏曰。 郭 英义 也周謂 **扼要害之地** 遂っ 于有司 餓 窲 陛 Ŧ 職廢料 就役剥 使) 雖 諫) 容 等十 數 下召晃等待制 而 本其直而不錄 之切 有 梅兵者第館 臣 Ξ 展音 里卒暴肖 盾及髓長 可 司 亦耻之令 ٨ 夏勇 忠贞 倮 不 チ H 調草 敢 た侵 僕 洎 12

	古方略 # ★ 之 二	之言在今月尤為藥石。又曰汰冗軍以節費減知失一耳宜足以致治哉。	春三 息っ
	二 忠貞堂	租賦以息民此培植邦本	不能求言與求言而不用其言其人僅獨孤及一疏類切特勢而帶人僅獨孤及一疏類切特勢而帶

不 自 京屋 奴 有 方 出。 可 東 刺 易也 使行 称 略. 兵の尊 在 道 元 造っ臣 可っ得 氏 以立白 大 图 趣 + 子 Ha 料 巻之二 請 T 护っ孝 同 萬 儀 纟 其。德 類之兩 范 亨 州。 繼 使 衆 固 請 母有 臣 忐 Ho 亟 衝の鎮 吐春 諸 馬 倶 扼 赤 誠 而っ命 . 要っ面 道 趙 谷 λ 1恩 徒有 矣雕 節度使 冠令 悉二語娘 有 後o治 代 馬 之後 後入 渾 誘 璘.河 其 救o行。 宗 奴 囘 撚 其 邪る諸 從 懐 奏 刺 吐 粒 言耳 即の粉 南 型 2 月、思 鳯 . A 蕃 吐 原之亂 īfi Ho請 諸 郝 翔 虜 叉 西西 自 易足 切使諸 就の桿 道多不 庭玉准 李 晳 12 道 北 吐 抱玉, 騎兵 朔 挺 '道 谷 道 方, 整座、 趣 此後 籽竹 腈 西李 滑撲 其 奉 出兵 來如 音雕 天 忠 李光 段 知 之、竹日 **5**0 准 飛車切頂

之及 各。作 遂 軍 Į. 整、亂、 更 期 留後 Hj 代 山 Į. 部つ中 而 者の以 鎮壓 隷 宗 黨人 3夕 精童之不果祭秀實 . 怒o辛 之o酉 伍 其宽告者又 剜 崩 秀實 大 料 凐. 泝 方 四 曆 卷北二 守。果 要。起 力 縮 £ 凌 以共 州、 Ħ 就 鎮 三年 捕 貨斬 一瞥嚴 聚 期 濔 正 翃 王童 粃 八失節,令与 水 暴 A 废兵 徃 徙馬蹄鳥 怨講刀 云今 數 横 河 北 涓 城 老 刻. 中 庭歷 逴 朝 巫 也。 以差 柳之正與其徒 白草 每更 少 4 赴 州、 尹。知 欲 用。 請 斧 中 A 帿 17 一其期 * 被 討 來 後 有 兵 絳 原 郬 原 疳 之而 徙 告之 É., 馬 鄌 さ 庾 不習 賊勢潰走 然後 樲 使 難 人侯段 《者秀賞陽1 Á. 延之數 河 迹未 亷 至州 夜 劑 刺 深恐 作 荖 召o作 i 豬

夫制御 ŧ 方路情 又日 令賊黨李忠 農印印符迫曼運與劉海濱 此及道韓曼襲奉天秀實詐為 之以 **笏擊泚海濟既已逸去所結死** 亂秀實雖 | 握錯見利器哉德宗建中 潛慮審謀出賊不意當此議 不 詶 乏 多智捕能黨人 而 Þ 白請救大 前 助 肯忠 洲. 泚 有 有 À オ 餘 駾 筝 斬 K 走秀實事不成為 士叉不 稱帝特徒奪源 謀 **排**此 殺 之 然 卒 年經原兵作亂 姚令言符倒用 之此亦 壴 上 者也。 相應接至 7.易為 悲山 安能

院右進達安西條吐養之二 粉所難陛下奈何 艺山氏日聽言當審 書生語柳之使吐蕃得 故 牧故地草 蕃戍推沙堡原州 高峻南連秦衛北抵大河今 势言于帝日四领北 唐 形融之會田神 書生非書生也載此繭度越榆料 九 亢 時元載官為 肥 水美 城 原 功人朝希問之對日行軍科敵 居其中間當職 州 春 庭鼠泊 西 Ħ 膜の 州 电其地 否利音以 Nο 刺史 則 國家 凐 兵の移の夏 守の京の吐^の 朝 H **4**10 廷 耕一縣 乗 山 西 無 河 石の西の番 可壽 利 而 决 境盘 之几。其西 臉 西 行 Щ 畜 n 要 雕 iL 椃 清原 PJ 明寺。 右 不 峡っ 功曼以 Щ. 瀬ヶ州っ 川

外。 客 森 卒 軍 中 唐 妻妾子 栯 有 甎 哭 芭山氏 代宗大曆 偷提住 崔珍張景華等 段 秀實 秀 7 外巻之二 \mathbf{H}_2 孫 馬 珍屯 っ百 位 順 分徙其黨 + 非護安従行を 近 非 於堂 哭 正是猛以 遠 靈臺繭 護 者 及徒 宗族 事付 眥 治 數 剿 因 冇 丧 7 原 丧 張 定 位 事 以 禰 作 炭 者の有 於 喧 後 景 於 A 華 亂 遠 無う離 Ħ, 旌 熄靴 不教一 书 得の立 料 李 17, 遠口偶 佐 實知之奏 漢 軍 送っ語 位 惠 人可見 去 致 电對 於 語者囚 從事 忠自堂 前 祭 于

任 萬 或 所 千 河 唐 馬燧 祥它 或 7. っ衣』人○東 大 非碌碌 原 日德 日教 酸の以、教の節 1. 儉 育 燓 *造甲和長短皆 z 良 宗貞元三年自 厮 ○遏○進 四 數 者獎前 中事分 復っ 明也っ 為 固 本にこ A Ħ 解日 造 建二衡云叉 河 戦 東節度使 封い器、 造 為○騎 車。 誠為 此 臣 戰 精○士 事 車 慎 卸 得 馬 Ŕ 泰 造弱、位 委 加 麥 繇此 體 燧不 從 ٨ 任。 則 任 然 E 所 燧 李の利 y. 盖 北 觤 為長 觀之前良風 欲代之。 上 鲢 所 白の名 矢 召の陽 獨 m 人 非 以 甲o 之任 有 朝 姓長技 傋 短 *大 所 Ŀ 三等。 꺳 削 非卿 日卿 東 欲 刺っ選 役 忠 負 骨原 史o兵 委o三

衆務 機 図 な 発 関 家 数○置○滋○遷○日 簿 書言 不 吏 則の知の多の次の前に得 如 雖 Ŧ 楽章 姑 ቷ **出** 於 得 。 得 。 利 ^{製っ官っ駄っ速っ敢} 納 救 見 悄 憜 之 毎の税の竹の数 終無 助 不 或 旬の自の如の紬の 言。 松 人也不 稔 及 빘 賄 不o直o於 天 之 数の募の基の 期 县 縠 胂 F 条, 好っ端. 易 角 必っ下言 日の善の曼 不一先 雑 至細 利 棄 皆つ走つ有 期公益人 挥っ無 貨、 俟ュ申 重 於 通っ甚 達の者の精 州口至 供 於 **肼**. 敬っ貴 食 置っカ Ŧ 各 縣っ基 官 名 竹 精っ甚 近つ多 八 申言耳 用、 故 重 悍っ賤 輕 相り機 ₹. 請、頂 壁の智。 吏 康 之 重 而 於 工類は 創っ如 3 勤っ憂、 之 第 卷 卷 横 传 大 通 利 角 뱬 奏っ于 鼓 さっ 晏 士の為制 ħ 胨 惟 + 行り翻 汚 趣計.有 則の諸の為 給の令 書報 費の道の戸の多の知 符報 程の各の日の少の在以際の Ļ 之。免 多 賣 也切 钶 清 不っ基 用の辨っ在 掌 簡 待っ月 修 之の集の掌 規う

잦

理

財

民

雞, 平緑水置倉轉相受給自 す力降海 巻之二 晏 Ц 足 則o所o民o支 盟 其国獎流 舜然於 無斗 以 诃 围 城o之○栖o主 法 價。其0故0之 司 爲 用 充 流 升 jI. 習の去の但った 崙 充 重 汗河 之っ豊い於○祭 謂の郷○出○之 沈 悍 足 国 率 欔 兩 事っ而 之 無っ給し 机 渭, _ 之の遠の鹽の東、 用。 後日 民 十一个年 閉の之 舳 斛 背の者の之の皆 水 不 珔 版o 刺っ無 汐 得 + 平の轉の網の食 困 Ħ 之口 **学有司** 心性の | 弊先 不 艘 ٨ **堕っ壁っ置っ海** 也。 許 官 同いサ 官の官の鹽、 為 是 鄭 繇 身 名 至者, 是 獲 於c权o要 Ż 是 著一直口唇 馬克 第一名則為 成勞受但 中の船 决の益 随 西, 柙 運 共 彼の壁の主 芦 貯っ轉っ之。 使 利。 運 便宜造運船 關 П 驾成 東 之o 脆 半。下の之の不の給 丽 之っ関っ要 褦 食 補≎骨⊙可⊙千 榖 民 或ったの以の河 急 後 來 **劳受侵** 入 可O骨c借O器。 領 不 商○商○為○東 晏 長 官き 4 之二百 之 也の較の小の或 J. 絕c人c 遉 Į 安 午懿 逊o計c先o言 鹽、鹽o任o多。 加 貴の共の則の度 濟 者。孫 独宗 此の安立使の用

古方略構 卷之二 重 忠貞堂 古方略構 卷之二 重 忠貞堂 古方略構 卷之二 重 大學朱泚書求替戒,辭多怨望,上密遣中使縊殺 及建中元年,荆南গ 废使废准 希楊炎 古奏县因 及建中元年,荆南গ 废使废准 希楊炎古奏县因 文世莫不痛其宪或謂典利之臣罕有得其免者之世莫不痛其宪或謂典利之臣。平有得其免者

熟恵未為學之最日畿内雖兵荒之餘猶可以 早遊雖示尊崇而百」 二强冠之間內無資糧 兵擊勢甚盛車駕廚季時幸 士故其衆雖畢弱 十餘萬斛度支給本懷光軍幾盡是時懷光朱此 人假之官以督渭北諸縣為栗 ιČ 城隍梯甲兵為復 德 警 表决志平城 氏日 典元元年李懷 也是過懷光書史不宜聚削不載 八下根本者諸将は事人のののののののである。 卷之二 受命則哭誓衆則涕 而鋭 京城 氣不 外 無液 之 、 ル まな 節 対共 四 無 投 後 以 忠 義 威 激 派 な の の の つ っ っっこ へ 人 情 擾 優 及 以 孤 軍 を . 皆い失いル 從の受つ神 泉义 以書遺懷光解 計. 先是 宜 旬月皆 其激感特 Ì 橋 擇門十 L 風 秋 故懷光 忠貞宣 有 士の併

殭 待已羅 手 夫與白· 扒 貿 能 ħ jĪ. 有 方 綾羅 帛來 相 德 耵 沤 爲 韓 Á 毅」關 置舟中 則 全 門* 行 Ĭ 湜 人表 自。 # ᄞ 庭 請 + 進 今, 奉 ~ 4. 舷 版 矣 充 儉 未 相 使 將 Ħ か Ħ 素: Ħ. 警令 佐 君 舟 過 行 絮 五 £ο 71 爭 江土幹許諾騙別 .在 睾

須

更

耐

置

Ħ.

Ŧí

拏

Ī 幔

į

'n

方際 請

/を之こ

不

斬

楚琳

而

德宗

不

許。

似

陰

用

野言

幕

僚

何

士幹

請 韓 官 17

行。 说 £

Ħ, 遺

君

衫 3 判

叉 綗 士

欲 喜

> 兼 乱 唐

鳳 根

翔

離

右

節 理

度

等

使

及

Ц

奏請

以o晏 核o害

吐っ軍

И

っ帥

非 分 Щ 者 比 Ħ 至其 忠 義 措 激 夫人 置 餐. 有 志 百野巴の第つ 及 方. 雷 滉 在 得 勤 衣 木 逵 **王**._ 頯 Ť 数ο 行 非 補 粏 矣。 拾鈦 在 此 破 Īt. 尤 煞 之四 逩 献姐 後 徴 胃 驯 滟 濞 檷 之思 要求 4 益

珔 兩

Ø,

傋

者

 \pm Ą

方 告遺

略故

附 獨

胾 遣

僯 使

區。 貢獻

况

斯之以德逆 亂+ 動進爵西平王時 動進爵西平王時 鳳 遺 或 筣. X 日 治 代李楚 德 殺 宗 張 **幹**語 盤之 琳 ł 聍 何 罪. 陸 以。李 如 許日 斬 新 楚 贄 漽 後 琳

夕 至

孕

鄁

Ŧ

等十 挧 事 諸

亨 入 四

不` 奎 行

許、 鳳 昝

晟

套

小師務 最高に 庭 郷北庭

及 與,涇

俱 原

翔:副

而二元

耳

如

此 鳳 젧

刖

闹 F 僚 双、

令 周

煶 此

徳宗 晟 徃っ元 $\bar{\pi}$ 懲 不っ年、 用っ李 命,展 者の以 . 力 (2) 用 : 州 積ご荷

子 32-90

忠貞 執 盛

軍 垛 iko II 奏 日定 賞集 唐德 戒 有 元元の光不の 索、共っ五 七 但 u 出人無禁唐騎 柳 疑彼之 形則彼亦疑 張延賞言於上日晟 城之發長安也李晟 矣人 公百官稱. 十里公 略 耻 惟 宗貞元三 誠待虜勿為猜疑城 **展開之造** 伏○城 浴 人巻之こ 廷為大 戒 道。 以: 部示 於□濠 有急何 蕃伙 鼓 年 瑊 戎 日の之 入 嚴 人剪軍 ~日李大 相吐 城: 一所 吾生長 퐸 傷 深○與 次。之 4 數萬於 又請各追遊騎 悉為所摘職等皆不知 戒の吐 變o光 則o伏 葪 Ŧ, 西 幇 奏 之。蕃 始命 厲 謂 吐 何 好 以っ盟 增西遊騎 みの爾 備 蕃 和 好次以辛未盟<u>延</u> 繇 Z 盟っ於 語 勇情所 好 成。所つ平 駱元光屯潘 B. Z, 故 為っ原 不成全 戒 片具 距 兓 不 . 以 瓌 元 ᇤ 赮

Ø.

可少热

不っ盟(

備▶

納而還、 誉 4, 臨追鎮上大點調渾日 Ħ 戎 Ł 化 成日春秋隠二年書秋 上欲出幸大臣 追擊唐 脊在 外君 專馬 魯地 智以 維盟 お卒と 此 誠っ狄 視朝 馬 如つ射 渾つ狼 吉 乘 唐九 典夷 双渾言上變色 日郷のおり 渾 所 故 與之盟成 邪. 郼 2 粉卒苑 珬 Ж 綱 皆頓首湖是 諸相 道元 伙 見 z, 狄 此 E 為無點德宗 未に 非盟誓可結今日之事 弒 是 찕 益 飠 Ŧ 光發 誎 新有分子分子分件八条〇者數百人副使 日今日和戎息 入 放書 禮說 盟 삞 吐 費誓所謂 兩 其 蕃水 乃 使 伏成 止、 衜 Б Ŧ 聍 唐 ク韓 ł 쀠 柳渾書生不 馳 前而 書月 信 Y 和 而無它處然春秋 八月典 書 逪 + Ϋſτ 請 所 徐 遊壞表 生乃 中 以 里 戎 不 盤 盟之事 書 欲 使 待o崔之o漢 街 兵祉 當信 11 11 辰 非 在 Ħ 奫 料 方 釈 公及 渾 双 盲虜 臣竊 / 廚騎 出 敵 稷之 韶遺尚結野不 知 一件 及 命大阪 ЯŸ 皆 深謹 東 邉 Ŧ 产 如此其審 被 馬 市 が盟者を 吐 髄 削 戎盟于 福. 計大臣 73 桷 $\mu_{\mathbf{v}}$ 苍 不 惡共 還是 叶 柳 减至 虜 真 書、 滭 왩 御 Jt.

ţ 推敗交 其為 惟適 **股熟使卒于家** 非元光設 Ħ. 致 信 氏 軗 扨 不 吐 E 堅豈不 盟之辱店人 抑 伏千管西潭城 蕃. 准 何 誰 蜐 不於盟所 瘯 盟 湖 ηu 町 走 也然朝 成, Ħ 至此 耿 此 廷 微 九 嚴 F_{i} 後之 哉。 不 倖以免職其為萬所 僨. 作. 城之罪也 開結責延貨加之 事辱國之甚者 欲輕信 たりな 夷 而 張 伙 1 削

直較 之っ急へ面っ 夌 平自 泚 奏自 唐 者 逋 茸 7 大 到:正, 之亂 德宗貞 悪の則っ速い 戓 裲 Ħ ħ 催 目 稅 而っ競っ無い 鐩 科, 略 1 告の為3則3 等 入3蔵3複3♥♥ 宜 П 绒 Ē. 邁 爭 兩 ήį. 椎率 ብ 去 π. 請 知 滗 充 於っ屋っ少っ冬 高つ非っ而っと 三年、 此 他 友。於っ屋っ少っ 匿 法 侚 政 不 徴 直 Ŋ 勘 法 E 更っ推っ遅っこ 羽 為 對 飲率 來 榯 画 所へ勒。基 關 日 也後 藩 用 河 豼 罰 東 得っ不ご以っ 鎮 m 妶 非 必っ能っ寛っ 以 州 防 Пj ï. 為軍 縣多 兵大 淮 少っ得○則っ 2 椒 之 南 而の其っ人が 造法 資點募自防 集 臣 建っ貫の喜っ 卿 熟思之 策 所 矣っ財の手つ 不0免0 天 足0罪0 甚 聚 上 刑 知 约印 躗 不充 長 歛 日養 近日有二 有っ其電の供の表記を 濟っ而っ 朋。 紮 the second 也侯 復. 立 此 'n 勘切 以 新計 慶 今:第5 月の輸の 法

餘皆為幸禁旅 C等音·ACH 和 直 絶 以來安西 神雷於鴻臚自陳は神子今當假道於 德宗 度支不時付 亦 솼 Щ 展用豈 馬皆仰給于 氏 心 貞 泌 찬 耳c ž 日 神策兩軍 禁放益壮 元 各 泌 可 并 庭奏事 括 Đ 中 遣 知 終 3.給 四 直 年 胡 矣 d 爀 初 身 - 胡 授o回 國 簡っ十 鴻 沝 此 强 國。 客 鴻 括:餘 胡:年 Ŧ 客 っ客 朝 以の統 及 诃 韶 不 不 艦 子 炮 職の或 Ţ ·背 禮 西 雕 之 願 願 肵 使 位の自 皆 邪。 、詣 賓, 城 使 客 名二 深歸者自 Ŷ 也。 繉 船 者 于 給の海 : 政 青 委 州 而 者衆将因其 絶 A, 是 น์ こ府 府 道. 田 勝 人 贬 不 Ħ. + 其类 散兵馬使或 胡 禄o各 為o遺 宅o子 縣 在 劆 間 除 人。 客 者っ買 供 長 處。 倔 m 唐の 文字 沙 之 于 度 الأران 停c用 吐 安 狙 明 者 国 ○日○共○宅 + 桁 材 人 胡 귞 ⇒此⇒給○舉 á 驦 戾 生鲎 闹 引:從3凡0質 願 不 ø 胡三支 夭 £ ÌΜ 聴い來っ得い取

客

田

旣 素 7 不: 食 加、 未 萬 歳 唐 也贯 而 恨 粹 13 Ϋ́ 對 収 斜令 總宗 Ī 國 ·徵 Щ 戊卒應募 大 矣 諽 家 미 足栗麥 Ħ. 李 *± * 見像 食雲南 **粒恐聞之** Ηį Ŀ 坠 很府兵 界斗直 東 貞 - 波 Ħ 問 遺饑 卒戍 Ŧ 亢 胡 参 秀 Ħ, Ħ 用 Ξ 杂 與共 7 用 願 計 賤府 年 臣 也 儎. 京 斡 戊 不 李 耕 之 滋 上 經 Ħ Ė 卒 西 牧 屯 帷 ř 兵亦 育; 費不 者十 日 目 五 十, 稪 屯 杫 囲 Ħ 吐 4 可 然 削 田 者 錯 电 吐 無錢 成 充就 以 則 Ł 並 越 什 令 H 蕃 北 不 柰 萬 Ŋ 充 رد م <u> I</u> 吐 番音 湏 三百 减 何。 使 復 人 展急の第二条 の の の と 本 不 し の と 本 不 し ⊸γ pik 六 茖 久 凾 計 有 Ż 一城戍 7. rh. 耜 銭 六 歳 去 備。 原 Íΰ 亦 萬 食栗 (卒歸 過○擾 故 鸆 育 無 紹っ 策、 3 何合 Ħ 名二 栗 音鋼 對 ť 之何 月ご姓、 百 加 可民降 日。 学 期:糧 上

都の竊の納、汗。 約、間つ 獲 來 年 糴 + ٨ 及 無 4 淮 團の複:刺"以 得 麥 ï 所:利、 春 匹。綠徐 以っ 熟倍 髙 練∴徐○史 甬 牛口片 Z, 胡莎 煎 種 計 售の耕 橋 使い州の高 + 精质 則 明 则 分 共っ者 禾 應 (價の浸 必の多) 不 淄 張っ是の明 地角 亦 佾共 行 PJ. 青 名權 如之關 纫 冶 萬 野市 糧っ 匹。 盡; 復 騃 封; 江 避軍 納瀬 戦の過 種其餘據時 入情 F 鎮:淮(少 徐埔 淮 聲帛 牛っ 制 舒青 미 名の地 叉 徐。也《不 州准 矣 代 中土 李 為○居 鎮蘇戊 致 业 州:國ニ智 言 Ė Ŀ 惕 四一所3 六 増っ人 從之 徴 用。事。為 Ø, 钔 地.價0至 沃 萬 償へ用っ 有質五 Á 何の若っ咽 少, 而 濴 上, įπ 卒、 項,請o 餘 實の 金 以 1四。從:李:喉 運 久 耕 頭 月-終っ 人荒所权必厚成立业分增一官為報人 今歳所城多名十十月食官糧四 됯 青 路 而《納》地。 Ί. 市 爿 컀 又 左っ 工藏惡維染の Ħ 致一一5屬 常 准 命 之 封 隷 田 所 奪... 請:旦:徐:漕 Ä 直 2. 而 諸冶鑄農器 毎 徘 萬 徙-後:州点 種之 I 後 Ą 1.1% 壽,有,降 .:1 IJ, 自 不 ı, 'n 鷹 县 於 淮 東東 過二 約 為。 漆 5 圓:李 1

	為業候	自代卒	而言	ш, 氏:	度 使っ!	古方略傳	之候來	围之兵	喜日	乃悉以	.Ž:	以・ 所・ 間o	歸舊制	集如何	顔った。
	2 ,	自代卒	而言	ш, 氏:)	略	灰	ŕ						र्या रीवा	
	向新侯	代 <u></u> 卒	吉	ш, 氏:	!	-0-C- i									
	承 侯	卒	13	尺十		佳	麥禾	使	如	府		田っ	戊	對:	「可 _○ : 足:
	医·	Ψ -		-	i		小方	吐	χμ 	州	募	四て	/X	31 j	, Æ
1		m* .	果	日。			1F)	-#L	此、 天	共.	外	為、	卒	日	令.
	ฑล _⊃ i	罕 .!	r R	鄴		な	有效然	畓		之	, 之.	汞.	프	戍	成。
		所 1	旧	筷.		Z	200		٦ ح			系:			さっ
	[j]	建!		知		ļ .—					1後:	系			糧。
		立	疾!	建						2				屯	上
1		贊	各	封		:	議	П	專	是			及 ·		亦
,		ŤŤ	嘘:	某		l .	也、	計	矣	變	道	來:	其:	, 致	從
孫]}	番	錘			上	将	ιŽ	盟	不完	者,	将:	富	之。
		え	7 .	徐	ŧ	1	固				過:	本.			图
	İ	-₹Y:	旌	Hł.		•		:t:							問
		兀. 	海シ	-£°C			\mathbf{z}'	料	ılı.	亷	卷	終			耳。
		ラリ In	織「	- 114 - 121		1 \$	쒸	FI	E.		151 ·	長	有	· //: · 甘.	鄉
私		州	府	20		3-	30.	田	盐	A.	# 10 Z	此			言
-	i	俊	Ä	TÇ. `		, p.	音				·X.	が、			₽ Tr
		72	筝	lgi		1 1i									市
	1	戸	重	明			处	#X -축:							连
	余维檀 鼓三		所建立實緣是不克其		所作 1佚		所植 1矢・ ~		所植 1矢 ~ ※ 目			所作	-	-	-

於 ٨ 糳 悅 法 離 謡. 敵 蒙 专 守 失當 古方 禄:使 唐 Уľ 食 慕っ以 析 將 I 徴. ţ 邊。監 臣 德 俟 故 拙 簽 列。臨 宗 略 拁 則 ηij 不 蔔 公 也 找 小 抑 赴 十二皆 Ą 酢 取 貎 欿 尨 侔 承 髙 慩 р́б 援 巷 於 亢 セ 훼 14.7 低 節 拡 筂 之 入 ク 収 . 别 宜 充 亢 之叉 ᆫ 'n. 裙遂 蓄 制 而 飾 詔 帥 年 所 邉 ·苟且專事織悉成務,如信之價以勘提此,加倍之價以勘提此 京 佊 陸 鮲 11 穫、 委 壬 不一 謂 明 垂宜 有勢要近 勝: ë 使豪家贪吏及操 朝 攻 設: 任: 野言 有 措 叉 有 分 伪 罷. 置 婺 亰 多支 から 者. Ē. 鎮 失 州 餘 肄に 于 源 直:之 陛 - 每 苗 上 我 반 親觀遊之士 有っ手に 絲 Ŧ .ф. 宁 蕃 將 者。 目、 秘 2 里 2 一 絎 圩 合 不 セ 戊 遪 松了 至一之一旅方、地一之 **た** 썴 卒 H 尨 北 儲 첾 令 直 Ϋ́. . 利 則 就 ф 不 不 23 從 莫 兵 新逢 葪 定 權. 不 車 縣 彼 隷 1, 저 **잘** 行 和 秋 ψ 机备 濺 聍 於 琋 平 銀 京 Ų 守 取 锁 Y 裶 $^{\circ}$ 號· Ą 措 ィ **此**。從、中 於 盘 背 之 久. 7; 垄 F.C. 置

31

近 實 仐 運 米 团 古 米, |空中 軍 而 旣 袻 F p 物 彼 息 倉 方 易 城 無 貫 用 江 不 Ø, 至 估 衣 所 鉸 Ž. 廪 須 略 集 2 有 不 Я 約 加 防 箈 轉 食 帳 事 足 所 + 4 įΤ. 偍 輔 權 偛 遠 大 4 髙 屡 有 患 事 偶 益 重 叉 钟 Ŧ 淮 Y, 叉 所 챦 豊公 直 多 輕. 足 者. 7٠ 茰 售 米 以 徐 日 栺 加 釭 城 則 計 價 所 榖 流 栭 食 勸 곽. 俌 劃 報 上 耗 樅 Á 貨 儲 7 34 農 E 贄 朱 倉 為美 共 貝. + 餘 庸 肚 財 制 價 入 足而 Ż 計 斯 委 不 臣 毎 机 轉 扎 陳 銭 闡 17 無 音 围 足 N Ħ, 肸 貴度 而 進 所 輔 稍. y_{i} 奎 雖 九 信 於 兩 存 爲 謂 宜 足 刖 秋 習 中 数 雖 至 и Ħ 知 家 成 勞 閲 用 設 支 Ŧ 京 東 見 弑 船 楥 11 刖 Ħ. 姧 E 퀿 數 Z Z 烠 見 度 億 3(() И Ŧ 渭 價 挑 於 馀 之多。 特 瀚 萬有 所 年. 猜 44 不 面 院 苟 亦 传 橋 祈 12 伤 令 售 ⑪ 可 不 轉 联 僦 不 糶 敖 食 剋 互 IJ 彼 有 ş 赓 逹 歳 餘 滯 傐 夏 成 逹 λ 掋 直 而 宜 丽 於 囊索 長 考 畿 毦 運 貨 應 也 mi 市 酒僦 聍 無 加 楍 ਜ 江 虚 Ħ. Ŧ:) 143 갦 東 其 犸 Ż 傷 去印 Û 淮 F 米 們 刑 Щ 度 實 整就 X 育 和 近 术 方 至 功 Л ЙĢ \mathbf{n} 水 ΪŤ ηij 涼。 制 霍" 利 玔 租則 有:利: 估貨切 也 叉 貜 济

一十方 市綾 萬緒 * 袋部 3 4 渭橘倉之鉄數斗 河陰大原 叉留三十 之以救貧之計得錢六十 充 器付邊鎮使羅 八十萬斛 河陰河陰 米不過直 名為利而害實隨之此邊儲所 游戲 請令戶部先以二十萬 + 岩 北邊肯雜以實倉儲 4 萬 斯 足 萬斛 補 **含見米猶** 斛 **街適中皆通變宜民之法後人形柱** দ 委 陕 銭 偏 一詩 轉 州 河陰 七十請令來年 貯 **枚獎然在今日尤** 泺 失矣 用 運 и 大 植植 使 次 有 原 其 萬 倒 Ħ 三百二 倉、餘 四十 Æ. λ Ħ 毎 運 項 4 重 綿 淮 ___ и 者 以輸 年之 Щ 追構浸 未 糂 取 東 萬 刺 四 毎 十餘萬斛 僦 费人. 付 萬縣城悅 潤橋共江 江, 八十錢於 + 觓 年 當善用其意耳 上都 京兆令程米以 萬斛 以益耗 直並委轉運 糧餘十 准 貯 自 П 业 河 江 信先貸戶部 輪 烇 進三十 湖 推新 直六 也 萬 水災 食至灰 百 東 京 淮 如費 息直 用橋 四 兆 批 州縣 停運 千 ď, + 菂 鈙 諸 迎 儿 折 補 米 州

不 <u>ы</u> 痛 獲 嫌 相 令 Ē 摇 願 可謂措置乖方矣自項 既是無良之類且加 **畏戎虜國家資奉若驕子** 不均機失於 慢於 心勇夫 詂 徒 尊養苟度歲時欲 例 方 違 待哺或利 乖方課責 虧度財匠於兵衆力分於将 **德宗貞元十年陸背為相** 有罪 於 丽 近 鮮克行之於軍 等夷率 俷 私 之心豈惟無益實亦有 所以 質姑息之道乃至於 後 外卷之三 倚無敢誰 畏緩救失 虚同 栺 遥制 王師之敗乘 解體 **聚先登者取怨於** Ŗ, 惡者憂虞 可謂課責 期 實 F 東戊 務 何 懷土之情思亂幸災又甚 之典官 虚張 者自以為智能此義士所 從 權 有 功₀ 我於下 敎 **~** 模 棧樓而東滑或枝乗城鎮 姑息如倩人屈指計歸張 卒不智土風身苦邊荒 监 賊 罪 朝愿無功者及二十七不能施之於 師 砗 勢 斯 \mathcal{V} 扣 東潰。 Ŀ 度 士 柭 無 ļi i 裲 復 借っ 矣有每人 卒債 恋面 闡 使忌 有 禪 失於朝料之號 犯刑施 備 則日兵少 四 軍壓 多思 身效 吞 大り Ł. 彰 國 貞堂 徙者 なっ 拊 *JI***J** 11 П 欲 移

司財匱於 之資兼有 則 惟 棸 不 食 分 띨 分 4 僦 其 + 而 杭 M 以 等 朔 之統 於 消 镸 +-丣 方 蕃 小 清 以 雅 郡 級 粁 客 方 蕃 惟 ß, 而 勢 毎 皆 略 進 而 望之繁令弱遊之地 之 多矣 合 醴 俟 承 之 者 傋 朔 衆 逃 不 ٤, 於兵 帥 則 方 赴 地 亦 專 司 制 相 特 異 미 敢 動 威 录 ·書告無方令計會用兵旣無軍法 理 待 詔 娃 朔 卷之三 轿 使 泂 歽 _ 侵 刖 榷 拆 夫兵以氣勢為用者也 委寄各 4 方 西 爲 疾 故 中 矣 能 戎之要在於練 厥 鹽 則 涇原 黱 强 理 者 擁 徘 也 國 吐 稅 弱令之邊備 節 右三 者 蕃舉 企 如 夫 何 懼 酒 Ē. 及否 降中 者。 朧 也 統 哉 共 之 簓 衆 凡 右 開 棧 帥 艮 國 利. 貴監 元天 長 者 Ξ 度 4 車 12. 而 河 勝 稳 中 敷優 兵之 鎮 Ħ. 東 尞 共 使 中 不 **賓之間** 勢弱 典以 怨叙 焉。 Ň. 臨., 四 厠 团 敢 肵 之兵皆百 改为之科 入,从 之節 雖 Y. 其 節 ٨ 抗 徒 有 氟 氣 徘 度 來 势 ıψ 静 總 鹶 JL. 《聚則蓝》 未 控 不 當 戶 消 抗 勈 Ħ 制 劆 笋 以 多門。國 忠貞 逴 分號 ተ 戟 游 禦 雅 Ŋ 可 衡 軍 ᆫ 事 伤 外 西 囡 Z 為 譋 下 萸 數 Ħ 斯 討, 北

衣

カ

該 100

#1 H. 圻 増

件

بير

獘

誾

井

E

耗

徴

求

F

欽

 Π

粫

 \bar{F}

40

칶

砿

扯

闡

及り諸の權 成 陳 抗 駎 乘 古 以 軍 有 有 其於 将 服 子 2 選 蕃, 道, 繇 £ 赦 於 分 功 書 方 去 不 任 殊 校 勞 所 餘 漢の時の巴、 将 分 事 Ħ, 就 苟 告 略 使 粁 廪 停到 詭 衣 分 終 裁斷 帥 捷 鎮 逸音 宜 Ħ 未 使 帥 賜 為 樻 年 甞 ・防っ発 幸 亦 共 馬口 軽 者 者 Ē Ż 有 娟 所 办 - 秋っ事 职 其 添たこ 多 不 於 敗 11 ¥ 先 懷 餕 詞 者た 頒 · 之:情 丧 無 上 桶 任 出 疑 熟能 因 繚 考 遂 厚 假之色 刖 Ц 寢 可 制 詔 閆 푯 柭 察 有 請 踰 刺 又」今 で調 减 不 旬 廟 弱 在 将在 秉. 行 無 三倍 遥 散等。 然 朝 肯 其心 ħ F 퇲 莲 能 愠 隷 而 衣 不多 方突我で迅 間:道3失 出 置 耴 Ż 可 可 晌 闡 糧 又 屯ヶ但っ於 送令葵於軍 戎 君 飾 者 謂 益 策 有 東 所 少如風細音 命有 罪 守 四つ供ご過 賊 臣 造之 夫事業 怨生於 不 素 戍 給 累 其 土省 . 衣、制 旣 先 離舊 非 卒。 惟 為: 糧·矣 求 所 不 唑 捃 梴 禁 怯 止 収り募っ臣 Ŧ 穫 易 未具 所。 掠 不 Ħ 不 旅 於 當 ○戊~恩 特界 退 贠 本是追 叉 刚 制 者 圴 身。 1. \mathcal{F}_{i} 謂 軇 亦 ħ 矣っ 張 Ė 迟 敵 17 多 睃 祈 例 宜っ為 不也風聽 爿 願 百 此乃 共 頂 之 耠 售 卍 為 懈 留:罷っ大 而 ij¢ 部 欲 養 名); 從 椞 亚

75

a l 隨,右 雖 衣 5之典以 橙等 至. 囲 Ā 不 所っ朔 ÉI 計 収 能 便力方 Щ 倉. 不可 盚 近い河 氏 級 考其 之制 减 E 用., 而つ東 略也 併○三 之っ元 費考成 條例六失切 心甚重之 放 n 驯 如 和 杰 帥っ 是泉則 後 非 棋 続つ фf ij 委 戎 蘝 緑い農 任 公 睛 濫 逸っ又 狄 **獘**罷 威 12 請っ宜 剏 虚 論、 懷 道 節っ擇 洋 之 度の文武 急 防 划 骝 (宜共用懸賞 竹 場寧諡 秋 Я 萷 惸 有っ能 ・豊 非 C 氏 男 C 為 非の臣、 ٨ ヹ 矣上 備 护 定。者の職 屯

莫容其姦故人無揺,論所稅之終日舊制和 之首 於 有 所 耜 絲 ĮĮ. ₹ 5 Ż 率最 稼 不 原壞執事知弊之宜幸○ 唐 旌 加 在 光 調 方 羬 制 得其要 肑 兩 功 德宗貞元十年陸 徭 不務齊平 青 蛴 畔人 其 賦っ多 税之 無 亨 펡 ᇪ # ŧΨ 勤雨 地 除 租、 入っ者 以 著固 布 外 叉 輕 团 Ť 則 少っ以 逐更舊法以 請 後 大 重 扩 而 ĵ÷. 春之三 掛 以こ為 カ 之之 為 叉 曆 相 供 徴 樂 不 穜 丁c定 跗 應有 多不 夫_{少数} 爲○夫 並 懸所 轉 灝 中 求 IJ 存 供 此 徙 餝 贊 惟 ι**ύ**ο 柤 日 煩 室 - 軍 遊 者 \mathcal{D} 勵 以 本の財 為 而 而 奏 乃誘之為姦罪之 胡 之所 梢に進 圃 न् 殖 不 两 遂失其 請 使 簡之殊 事 庸 H 重共役不 奉 臣_ 産 以 税 有定 法 脱於猛 産ろい 均o 褙 行。 厚其 均。之 意見各 生, 務 但 ご賞 天 ٨ 牧守 取大 2 私~類 穑 业 原 制兵與以來版圖 Ŧ 財っ 征 不 增其 稅 知 以: 既 孓, 빘 团 均: 赋っ 有能 比敦本業 بر 1 麻息 赦り収 斯. 人 曆 . 走っ Ĭ, 簡之可從而 以流 入商 カ*。* 故 中一 大っ 찱 遊 秕 雖 f. . . ĝ 忠门 表一言 否 役 Ħ 不. 欲 條〇 批合 之世 客免 椞 共 争 福 ij \mathcal{V} 先 轉 Ŧ 1 徙

おか

卷大三

忠貞

者為 其所 銭執定 之所 布易 F. 林 **欽**: 來 古 忠恕之情 論長吏 减 會 無者求假而費其倍所望更詳定徵稅忠張禁臣 絕責既嚴下史之威暴 F 逋逃為理化 以 人院茶錢置為了以當水早共六於後五立官市 使自室等页人且有点 鳌 之日 青酌 ī, 者 方 諸州 加 夏 有 稅 上課城二者次 為 事方典巴翰 П 見 偁 以 稅 均 加請於定考績 以 取 韧 滅 扎 戶,比 械 後 體 婚戶 共 所 是 納 價 (業而見優) 格彼適此者 以 卷之三 至. ψ. 雨 빘 徴 以 較殷罰。 減 公 賣其 非所 加 絶 稅 鈛 圆 之意以 税關 縑 計 年. 而 朝 鮫 /業所業: 合稅 馬减一者又次馬 著令 稅-3 艄 所 17 愈促乳 法亦如之其四 d. 布 有₀ 錢為 节释 農功未艾速飲殺租上司之 惟安居不 囲 定估此 既為新 傾 爲 之 租 為考以 拘一 非所 有者悉剪問起共平直 内 奪 課 錢 腻 出 4. 者 折 郝 稨 鞖 腚 収 A, 遻 境為 **新當今時價** 城耗損已多 微遂或增 哉令之兩 Y ... Ħ 兩 稚 者 Ķ 布 出 論 有後條往 帛之數 艄 萷 ياً إ 智 人名罕 加 賙 栽 办 村 乨 訓 ļ 慩 退退 價 出 Ц 稅 限 ٨ 5 セ 能 ìŕ 朢 泊 滑 48 70 и jį. Z 13 fi: 化: c_{L}^{ν} 勿 Ξ 勘 Ŋ 重: 4 推. 暖 Ж 流 1Ļ 古方略 重 世山 Ħ 於 下何止比路貞觀惜乎其皆不 利 么 **獎德宗苟用其策則** ĸ 稅 E 米ルンニ 麻 **條奏** Ø, ե 根 H) 棋 僚 雤 맩 術 裁 利不壅於上民不用於 綸 苁 啉 租 行 也。 稅 們 之法 事 竹 尤泂 不 是真 腁

官孟 晟 平命沒智 分 雖 集、 4 之不 下出其不意而城之虜謂吾衆亦不滅七。 Otombe office of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the stat 負約 軎 邠寧節度 軍 不敢 方略 而 上少一些中、會可致 再 数與我爭戰勝員未可知 至, 軍 全之事也 德 + 泛至 去, 一子周日方渠承平時居人成市の高三各祭一城軍吏日方渠無 城 烟他 宗貞元 不許又 字草 輕. 偩 放 来の 私 代 式 ご 島 ij Ü 使 涿 Æ, ii 若大集諸道兵 盡 犯我不過三旬の Ł 楊 + 4, 4 ijĒ, 不 口城 方 三 十名 渠 年 五在漢方 吐 復 朝 能久 洗旗 Ξ: 使 晨,十名 渠 闁 沠 留虜退 Ħ 那名 Z 幾 里環初渠 吐 得 何暇築城 Ħ. 何 皆つ所無 番 # 踰 吾 舺 Ĭŗ. 吐 遺名 始 泉三月三河 Ŋ 則ο城 城 對 蕃○合 請 出兵追之相相以 運っ巳 男の単 析 盬 Ħ. 要o道 和 哉上 州 無っ井、 至肩 郊寧兵足 路つ陽台 親 型:留 以 a 兵 井っ不 Ħ 欲 府道 Ŀ 兵七萬 萬こ旬っ天 亦集教 城 環城 從之朝見 可屯軍利 И 八 戊之 唐 共、日 何 衆 5 至 1 也 之縣各 Ç 以 城 割. 南慶

楊

朝

从

豻

來:請 行。弟自也 (大野賞) 増 益 抑 徣 故 c 足 田 之 坦 價 Щ 可 廢 弘 而 K 用 之っ在 芃 たまなこ 無 日. Æ 請っ音 日っ也、 和 抻 價 増 而 宜~光 辟・州 三年 穀價 可增者當更為區畫不宜 未 **秋**:共 為の幕 鍁 ☆ えん 殺 5 兄 少 o 乎。 4 判:府 永 三百 で上日 招 免 虘 虧 2婦 坦奏 仰っ坦 担 : 船 商 食c到 為 北 旅 四っ官 昴 宜 亦 輻 方し値 使 54, 貁 菽 軼 右に嬴 蘇 有 觀 **荒一策然有** 民 們: 饑 禮不 オ 輧 行、使 有 不○ 種 程 賤:殺 、 関南部 は價日増っ **虎**果有 刻 以 生. 舟求 忠真な 以口之 **浏**. 不っ或 欲 共っ誌

- 以: 自 車 使 重 唐憲 飲於民均 世 方 者所 民' 八略備 給不足 山 所 宗元 Ŋ. 在、 出 ; 堆 及及に三 叉 日 Ł 年德 选一先 「動師民隠る 然後 奏情。省 倍 雑宗 使 垍 用 共 初 度調 對 雀 稅 一。估 初、定 觀報 日 以 估 屬 用个省公通訊 兩 察州 先 州。省 5 估土 符 民 稅 使 各 正 不 址 繇 佑 內謂切也輸 時 以选 其 **於** 是 其 省音子本 貨 克本 心。 此。 觀 减古本色 重 調遊 Д 垍 准 慕 之作等準 錢 度節 先去共法。 使 價值日錢 輕 稍 翖 先 也信己 占 藮 是 州 稅 共 稅 就 忠贞 實估 肵 钔 州 理 送 雅 11 錢 电為供調

3 長器の **度使**魔 當っ不 唐憲宗 · 稔公私 親っ得小っ息 芭山 冠 肯守邊 良法其要在 y_{I} 片 利っ惟 # 給 有餘 日禁掠吐蕃不 農 起之簡 地 和 (之不 事っ以 禁掠 六 +盗恩禁ごへ為追将! 較 吐 年 者 番枝 能 吐. VI. 湔 自 及 Ħ へ者つ 増り 不見小利起事。 至桃欢增墾田畝 他 方-, 塞 田 其つ蓄 さ相 地つ財っ何 數 惟 益市 殺り 乗り入り の入り + 萬 中 自 畆 耕牛 瓜 冠○鈔 足 捌 鏄 不っ人

ń 트 1· 給之數於是胡段平仲 異請動有司詳定省吏 史皆干器當衰代宗 內 增加热有 r 粭 地、 以 任 唐 芭山 併八 ij, 亦 于 俸 兩 外 三分勞筋苦骨之人奉七分待衣 憲 入 錢大麻代 稍 减 衂 為 繲 官 + 宗元 備 K 州 退 λ 百八員 臧 州 빐 仕 Ħ. 卷之三 矣 名存職發或 田 甫 稅 萬 和 之全 Ē 省 此 禄 卿 铋 商賈僧 六年李吉 Ó 法 吏員。 給俸者不 諸邑流 特宇 省史 * 之民而為 Ľ¢ 在 中 雖 不 体 專 併 选 胩 過十 權 道 A n 拼 常門之许近容 额 4 代 汰 外干七百 臣 示 甫 姑 日 冗 縣 Ħ ŧ. 立 月 縣 Ŧ 衠 斛 服 更員 1 定体 萬貞 不 州 俸 阦 至 中原 鋷 者莊衆 田 存開 宜 而 縣 難 約 九千器州無大 畆 쭚 共間 菽 略. 餘 數 Ŋ 夭 下 者-宿 **沙**在章 3. X. 宋 刺こ間写 坐食 쑦 來 舊 H 抰 ,: ÷. , **t** 太 庿 仕之全定係 埆 有 ρfr 制 或 伶呵 宗

耒

可作

Ý

Ĭ,

者に

/j· 治作

13

寸: #) 纯 飾

都 IJ

华者, 用至 薄

置

使 捐

額厚

俢

办.

剌

稍後

さ

軰

也 是

Æ

六、兵也

以

__

縣之 Ŋ

玉 方略 卓卷氏 汰 雖十 **貝冗食者少** 其 益者即 益 賢否不濫予官 Ŧj + 俸. 做 蠹亦甚矣太宗時 九 散 桉 巻之三 萬 貝 ٨. 益 所 州 五 宋 皆 一官也與其議 减之俸非有重費也 俸 脉 真宗 1 民 何足害民不然员 與吉 14 八 蟊 使皆稱職 Ē 百餘 莀 疾 甫 μ 7 也 論 爲 不急 人選 豈一 四 小典 率 年 权 뱩 差 汰₀ 曹 六 増 事 痣 似 腻 A 月 俸 吏 莫 任 未许不 共員 微 併省。 太 清 足 煩 秥 乖 雖 亢 求 4 傾 敝 舊 委任 法 多設數 吏天下 治 職 寓 勸 俸 哉 惠司金 前 **業** 際 樽 意然所 11 此 分 簓 増 凡 Ż, 壊シ 别 + 在

籍舊四 故释言及之上 備 15 勢無繇 ~ 声意宗 桉 德 利 可 據○遊 進 方略貨 周 묀 不真此不 紐 軍李終言於 害與 **麦藕修** 斡謨 ₺. Ž 知是 吉 絳 F 役 絳 德 衝っ李 元 所見 甫 门 及 。 卷之三 謀 罷 而 使 坦 故 美の経 H 在 可不於無事之時豫 不 無故 相 Ē 城 水の塩 八 徙 幣日 適與終 其竹 上日。 上卒用古 徘 駛 位 而 天 草口坦 僻 ıt. 德 君 十年言計 袻 處 守ぐ以 河 子門 交兵 追兵乃 使言言 蹙國二百里 邊0為 之0受 邉 确 防 武 兵徒 吉甫 同、 李吉 瘠、 河 馬。 上 穆 上 烽 利の降 溢 五十 沱 Ħ 如 必 有 策 地○城 候 甫 赀 是 四, 計 始 效 其 **欲** 張 仁 日 不 爱 請 其 隺 42 是皆為 疑 憲宗忽 Α, 數 爱降 也 H_{ij} 相 徙 聖意也 其立黨而進退 虚 뽊 俪 Ľ. 應 河 而無其實得 城 愿

忠貞堂

大

城 使

騎士

渍

βþ

周

懐

燕

未常

솪

17

乒

械一

弓而 受降

邪卿曹當

加

從其第行

12

1

ŀ.

黨者

也成

か 城

度

使卒

患 枝。

退二三

突 里 口 つ 以

勇忽

唐

所 天

祭c德

當○故

碛○城

		古方略作、教之の	謂不明乎善者矣明年終罷而 吉甫在位終其身 勝點失宜如此欲以致中與難哉
		九 忠真堂	雅哉。 而 吉甫在 位終其身

更勝令 口給鹽依 後考共理行又貧家食鹽至少或 在不安此尤不 從 以 相處論道之地 古方略備卷之三 令官吏坐舖自耀非得見錢必不敢受如此貧者無 商則無物不取或赊貸徐還用此取濟兩 韓愈曰城郭之外少有見錢稱鹽多用雜 大寶有邀截喧節者所在杖殺詔百官議兵 乞令宰相領鹽鐵使以 簡責所在實戸據口給一年鹽使其四季輸 耀豐可獲倍利 唐穆宗長慶二年戸部 所・銭不・穀 家 得題自然坐失害課如 至戸到 一能事必不 一般為相 卒節 職 愈蘇雞 咔 在分憂豈可惟 敋 Τ, 辩 债 可之大者也中書舎人常處厚日幸 翔之必 宗百姓供 久請令 立つ網 官吏畏罪必用 爿 禁人之所欲犯法必不行事遂以及以重法禁人宣訴兵器人 虤 務實罪所宜實參皇前領 所繇補言 **耀鹽多少為刺史縣令殿** 仹 IJ 何 即判度 鹽 更有 利 威 村 多少為之時點 應騷擾極多又刺 倍。 粁 支張 Ή 刑 鹽就 利若令官夷将 Ŧ 臣 Ħ 平 得利便 物 恐因此所 淡食若被 材 叔 奏員 到易 和侍郎 價富商 羅易 吉 B 不

後二十 六年前通負部 後當州 與慶宫至通 詔悉免欠錢雖 芭山氏日平权思以 Ŧ 盡言極諫百姓方十室 水 州 X. **資一時之賞養宜其** 今戚早災田 表之三 化門投絹 穆宗從 "悉免之。 **, 拾克之** 損什九 以貞元二年逃欠戸錢四千 欠 江 施 諫之美後是 僧 九空安得 州 終 多至二百匹剥 陛 刺 示 媚 Ŧ 史 足 Ŀ, **茶何於大旱中** 李 致治 濫 ィ 使 ġ, 群起 賜 非 上言 退退 如 輬 萬 故 愈

古方略傳 獨經發冠以來已自衛兵縣者發冠已通元額始 北兵畫歸則 且言獨兵脫弱新為發冠所因 **蜀人怕懼德裕奏乞鄭滑** .本 殺 則 無處但黎雅 德裕上言通 強細路 塞清溪關以斷南 險易廣狹遠远未 習邊事者雖走卒蠻夷無所間 选 方葵與郭到之通功多病未暇完補德路至鎮作 **成節度使李德裕為** 唐文宗大 道惟 郭英 登 模圖蜀地形南入南部西達吐蕃日召老于軍 為兵得三千餘人徒有其數 不 李德 丈 敢 河中陳許三千 動 張 奥杜元颜時無異蜀 矣.以 卷之三 肚之 五年西 鎮 四 还 兵こ得 部入冠之路或無土則 輸月皆若身骨涉歷上命德 川 至多不 张 又立萬 西川節度使 川節度 在 麺 不り人 宜 成都 有信的多 五 成都有記 不可塞惟重兵鎮守で不可塞惟重兵鎮守で 百人 皆 須ヶ得 訪以山川城邑道 弗 質不 不 破 慷 カッ三 萬 蜀自南 創 řΪ 許千人以前 · 來 膽 难 可 以來求代 不堪征 可 保恐議 11 人 Mr. Ī 精加 il. 湖: 部入冠 ìŕ 忠貞 化 者 삵 헮 AF!

譜 塞臣 建言罷兵者益蘇祸不在身皇 廷須要大度水北更築一 無數皆東 北 方略 世 戓 德 质事 乒 得 克 叉 至 山大 **小**売 者 交 祁 动 El. 夨 饒 之局 有 察 81 乃練士卒葺堡 也 百万 卷之三 日山 地 日敗事不可令臣 **餐臨時為之開通若言可塞** 公忠 清 彩 恐議者又 ñ 中老粉 15 形 徐人 歷 設 共處 之 闘 加 $\overline{\Pi}$ 鎮守。 險 不 ή, 臣 如 — 以 清 問 7 鄣 睑 ıllı 練 召募 溪之旁大路有三 城迤 加訪 兄. \pm 積 夫當關之就以為清 走 Tol 系债 · 糧 儲 ; 獨 卒 德 朝 得二百 人責一狀智入堂案 當 逓 織 胳 求 -11 夷之言之信否 Î 若 糧 以 函 椄 ήū 備邊蜀 身實 憲 黎 就 儲 惟 俆 州,以 \hat{y} 背 歪 朝 刖 ۸, 自徐 廷皆從 是 = äŋ 佛 港 此 忠貞 歷 為怎 逸 ٨ 大 欺 訪 外 柤 屰 要 朝 遺 ା 小 求。 趉 安 廷

而

遠

비

知

也

安

得

梷

私

於

Ц

貴恩 事 原事 及其 解 二百人三 養戎臣外 t 策莫 開 也 蕃 一天實 議者專 唐文 間 7万略舞 飄 勢 則: 叉傷 굶 無敢窥 + 破人 述其實天下之大命 椐 4 戎 六 如 戦焦 盗 宗大和七 杜 Ж 臣 疳 取 衞 起 枚 開 枠 也 榯 奉 栕 Ŕ 兵廢壞 焦然七 姑息 卷之三 魏最下 者 河 Ł - | 令觀 自 耕 共 乒 折 齊梁 北百 開 <u>"''</u> 罪 居 部 愛 稼 身 衝果 亢 瑕 乃 年 吉 外。 末 푯 之 雖 所 策為浪 萘 之設官 作原十六衛 十 餘 作 殺所 略 ķ 無 ħ 有時 部 餄 被 城不 書名 牧 「年矣今上策莫如先自 雖 陂 岜 治 之 事 拞 憤 觓 言無謂. + <u>Ŧ</u>. 也, 有 兵 愀 尤 武 戰 得 日 河 4 蚩 籍 貞觀 f_I Ą 散 放 Ā 流因 不 尺 罪 朔 來 赧 抰 七 以為國 計 亂 尤 舎 帥 ተ 古 Ξ 斧 居,十 戎 Ź, 亦 將 諸 中 者其十六衛子 地 人 大 鎮 内 臣 什 咁。 勢不 帥 不 崩 疳 ላ 望. 夥 之 兵 仜 म 以 亦 伍 上 共居內 以 孟 Ż 以 桀 伍 無能 前 十六 使為 府 儲 散 審攻 若 為 未 件 田 茅 兵伍 忠貞 媑 e 强 袻 軧 始 乱 越干 也 衞 宁。 4 實 腎 治の 朝 在 耳心 Á

父兄 不幸 共 息齊人乾 倖 便 徘 璣 Ŧ 之且 近 外 鈴 兵外 夫麦章 Ş 成燕偏 至 八誰原 蒜 z 負倚 阁 方略 也 代以來干其將 不畔丙 鍵 子. 此 袻 其 兣 鄕 不 哉然 夭 不 壽 ħ 義之 為 獶 벩 備 能 F 重 戎臣兵 日天下 聖 亢 彼 則 公 札 尨 儑 隂. 為國者不能 而天 不篡古今以還法 也 卷之三 末 之平又作 受割 去 Ħ 假 教後無順 陰幽 謂謂 繇 围 亦 郡 鮗 勃 北 Ŧ 伍湍 力强 儒奏 IJ 生人 浝 徘 女官 脜 者 也勢後為 觀之 絥 榍 作戦論と大き 后寺 都 75 則 然根 凹 奔矢往內 矣請摶四 賁 梲 無兵 略师 折券 戎臣 支 四 狡 撓 恌 Ħ, 蠸 桵 者。 腻 也, 锏 萌 天下 T 兵 甚率 以為 天 亦 激 交 居外 呼 歽 法 **们最長其置府立衛手** 爁 न 制 文皇 Ŧ, 'n. 能 之 貨 然七聖肝 夷于是府 北 制 伍 無一人矣尾大中乾 交勝 郭 Ė. 是 栺 荻 斬 氣 所 邮 河 皆市兒董多務金 豈 表 北 4 *y*) 為 筿 族 Ti 能 可一日使出 矣請 俗 爽堊 尐 城 剋 天丁兵 别 致 居內則篡使 滭 + μ 迶 館或 千 里, 食求欲 敛委 也. 天. 下 六 Ķ 兵 罷 똧 土負 衞 カー勢 内 絕 府 邡 於那 不 Z 亂 剷 夫 玖、 朝 靝

腹兀 话波 六鎮 馬無有 皇其功奔走歇 也百人荷戈仰食縣官 封凱還未 食常多此不賣實料食之過其敗二也 **愛之饒以啖兵成是四** 北 耕 **贾**是三麦跗 東平盡有 窥天下 戦 餘贏以 Ŋ 加 * 体体 旦、有排败為一切而敬徒、希 然其能 私 可定 之師 孫 4, 河之前東 以 官 戰 也是一 官也 ± 外港之三 士 凹 厭 厚兵 矣焉肯搜奇 産 t 歌書品 離 去 麦可生夫天下無事 以是久為 國家 數 É 徤 為幸以 | 矣 | 咸 落 三億低首 # 盡海西 以 支兵去矣 河東盟 馬 미 ÍХ 兵甲 塞虜衛不可他使是二支兵去 # 巴崇爵命 便 封 陽 邀 河 千 殖 Ī 師 鈍 姕 **支财去矣。天下四支盡解。** 西 出 則 րի 北 亦 馳 竹成 弊是 仰給 尨 老 校千 北戎夷大屯畫劑 敵 洛赤地盡取才司 則 萯 令 為 精甲 勤 榧 大 是 不蒐 矣田官廣矣金納 夫之名大將小牌 青 娱是執兵者 横 農 IJ F z 栱 拡 津滑臺大 銳卒 戎矣此厚賞之 と 出 ~家不待 聕 事 練 能 不 剫 戰小 之過其敗 榖 描 돛 為 赐 利刀 勝 閼 姟 共 則 處 忠氣 八梁 彭城 建 京常少 大臣 吳 公 胁 Ŧī. 楗 則 H 赵 能 准 败 豫 萴 H

充飽 侇 法 廷待 角 以 诵 矣 乃 勅 <u>F</u> [e] 敗 之質 焚剪 'n, 共 之装 為草 夫 踵 騎乘之 Ξ 腸 前 令 也 越 I 以 禰 吾 忿 安 卷之三 殭 者誠 稼 旅 非 日必為 來揮之堂然 d 益 党 天 法 也 民 氣 丽 z 光 釆 共 您後 當 徒 子 農 不 不 佀 餙 之 亦 欲 取 是 萌 橈 吾 1 鲵 餋 7 不 于 鶮 吾 魚 是 威 是 之 И 此 タヂ 以 Ż 不 聘 苻 敗 可! 安 颠 備 肼. 為 洏 君 大 而 良 為 Ŧ 鼓 Ξ 拚 Ŧ. 不 29 龓 有 快 曆 之 來 覦 不 戈 Æ 不 將 也 旗 軍 陳 也 豦 大 名 是 問 大 也 貞元 勁 洒 萬 城 栒 又作守論 此 殷 儿 犬 未 都 恳 杖 有 吉 數 亦 兵 掃 夫 牂 *)*), 然 ~ 更 刖 旭 Ą 分 扶 司 Á + Ħ 所 垅 .專 偛 艰 粁 拚 族 姚 益腐 之逆 大 Ŧ 樹 7 . 以 泰 汗 旋 鼓 屰 e. 仼 ·括 曆 守 杸 策高位美 別 IJ 栭 寸 百 青 翔 兵垒 為 家破 卒 ŧ, 不 虎 成. Ŧ 而 邦 賏 虜 仝 さ 惿 而 夫 元 狠 不 日 賊 則 之 通 PP 而

守 尾 為 Ē 起前 之 紮 大洪 卓 怙 貪 征 不 經 抗支 邦 占 間 伐 而 不 芭 起 澗 先 之 愚 于 秦 開 則 Щ 貌聲 大 觀 則 英 見 幾不 專 $\mathbf{\mathcal{\mathbf{\mathcal{I}}}}$ Á 氏 術 叐 夭 态 之 後 不 為 事 汞 此 Ť ħ K. 台 Ы Ŧ, 怒 郊 畔 治 盗; 夕思 瘚 能 巷 者 道. 此所 亦 七 共 妰 牧 鲗 幾 息 之 堯 綸 者 相 提 爭 為 吳 īħ + 遂 非 4 中 裁 運 舜 九 區 以 亂 犯 朝 [2] 蜀, 郆 冇 棹 栫 亷. 切 戰 址 區 栽 者 Ĥ. Ξ 膸 狐 議 中 桁 Ŧ 也 哉 Ž, £ 之 其 Ż, 此 治 枚 徃! 而 飽 名 是 當 今 有 欦 犬 也 Á 者 不 有 河 能 徃 其志者 和 赵 越時 者 而言而 文 涖 可 , 15 묐 抵 大 如 之 號 何 是運 士 之:事 平! 積 釆 而 不 塞 教 ¥ 或 生. 者 主. 其爭 迫 也, 此 獘 e 知 無 笞 誅 人 胡 Ŧ 加 噍 涯 魠 非 油 若 而 鋤 混 是 或 褷 n‡ 也大 然多 非 牧 芠 之 家 氏 憤 此 項 小 以 聖 云 丽 爭. 刑 耳 프 大 者 武 趉 竓 梭: 淮 叐 忠 欲 惠 曆 奜 莧 + 巍:天 莧 M ĸ 7 來 肝 就上 Ŧ 次:

古 泺 澱 岁 寒族 李林 非 胡人精兵成聚北 范陽 兵內 虚龍 按 者兼 足易 兲 略 成 俄 陳 Ŧ 胡 甫 謂 潘 剷 燕 矩 卷之三 大 £ 彼 À 敎 成 邉 偏 取 Œ 111 聍 送 杜 燕 兵 陳 天 重 误 未 幣 用 遙 鎮之 外 齊正 Ξ 無 是, ᆏ 有 安 帥 作 苛 श्रा 命 戍 墏 尾大中 誤 求 Д. 忠志為 德 天下 集覧 Ź, 可 F 今按 也 代 之 乾 用 Ž, 勢偏 成 宗 成 杜 成 ٨ 付 孙月 燕 牧 謂 亦 雷 張 重卒 成德藩 偏 明云開 É 芜 農 重 致禄山 疫使 志 蓋指 忠气 貫 亢 4: ∄ų 亦 末 Þí, 九 傾 ЯŢ **ギ** Щ

買不

至

者

此

頰

是

批.

胡

此

諭

É

JE,

謂

4

等請 2, 乒 撫 天 不 之德 φ., -2 摮 破 爱宜 窮鳥入 Ŧ, 欲 唐 之宜 1 廵 討之造可 m 侠 利 们 市 部落 朝 擊 吐 귎 略備 逸使 安之 城兵 亦 降可信 也 [h]如牟等所 臣議之議 答 æ 宗 Ġ, 遺使 Н 煉 離 扑 懐 渾 會 间 春之三 穩干 幣魚 彼 戎 使 办 夷 散 猫 沙 以求 昌 東 信 杂 錮 彳 吐 行 者 伙 遠 當活之況回鹘 ľė 亢 偗 平對日 餘若 [6] 為患 散各 答 Ħ, 鎮機 依天子無秋 者皆以 Ż 使天德擊之平時 請 功奏稱 黨 年 Te1 2 渾等各 16 鹘 此 撃之 項, 天 盤 乎. 情 戦 所 縦 走巢穴安肯守龙為 赐 晳 德 使 八為盟没 胀 偽 不 以糧 謂 便上 朝中之 121 重 淵 侵 梸 有部落見 借 ぇ 鹘 使 Ż 逻 暴 食此 毫犯 晏建 城 冠兵資益 以 叛 田 上 叛 邉 餡 問 讎 斯 將 牟、 塞奈何 揹 臣. 間 部 漢宣帝 境 丛矣 大功令為鄰 宰 叛 請 먪 之田 德 不 财 以 亦 利 可 相李德 弟布 É 发 糧 浊, 不 則 華 敢 派 須 ూ 汗而來不 斯 出兵雕 監 保 銳敏 所以 乗其 不 若 Ħ. 膒 徴 圛 也, 等侵逼 軍 忠贞 1113 1111 미 况 卿 請 VĮ. 家 不 游 書 敢 国而 洨 張 道 恩義 用, 争進 服呼 國 對 逐 ari Li 肵

ø.

1 不 德 ₹, 分願且 遧 鎮然後以武 去年九月至天德今年二月始立鳥介 生c 德小 敷 使 裕 萬 武. 方 郭 Á 或 右 ij, 事に離り 安静 П П 斛 凝。 田 兵. 今 牟約勒 戒 上 祁 以 國觀其表解縣切豈可謂叛 将相逃散或奔吐蕃或奔其 以備之李 邀劝 赐 Á 乃許以 萬一天德階沒咎 做兵未集 天德孤 河 備之李 之 ħ 不 東 斯 生事。 Ł 將 上以 报武 驅 等 |各陳 榖二 士, 除 帥 及 最兵 為 或 德 及離房毋得先犯回鹘部河(信懷柔得宜彼雖戎狄必知)の100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100mmでは、100 通第一策 裕請 夷 疑陳 于 而 吐. 保 行 來 **販**之. 將 危 夷 遭 谷 境以倘之侯其攻 非 于 誰 煄 加 倘 行屬言資盜糧 使 體 歸 等 牡棉 赈 不 Н 固 ·夷 児温 묐 家 [0] 選 不 自 鵂 行 此 ÷Ē 中 大 [e] न 献 計署 至上 氘 一没斯 糧 無君臣之 受个 所以全天 胀 敢债 有鈔掠 Łį Ц. 此 犯城 前. 河っ知 不 逓 堻 可、 東ヶ原

-1 護中軍緩廳 宼 其 有 南 唐 泄 皆以 ガホ 思安 勁. ıπ ï 也 要害發一 城 オ 芭山氏日 官 木為 安南 猅 中水 大至去 略至 Ŧ 千 **(**# 能 耆 茯 為 誾 式 大 過也 補物. 酰 棚 萬古港橋之其高至 Ħ. 舠 Ш 塹 中 参こ 攱 IJ 15 苏 傩 較 Þ 交 十二年 **排地殿教** 兵數百式至杖 外 趾 南 i 九 涯 夾 引去遣 踊 Ξ 槢 羅行恭久專府政 趾半月 植 荻 莄 雜 其 頀 Ξ :調 竹冠不能目 ガ木 荏 39 闁 植 類 俞 爘 힜 、安于之 皆有 **七卒此** 3 萧猛 王大 之 至 人 Ĭ. 程式意思安問 4, 絔 福高 方 必 訓日 柵 柵 芳 爾 lΗ 有 共 可麦 8 光 熟 始 雅 夾餘其 治 耳., 乔 聊及 僯 以 **我**自 安 選 繁配 晋陽 麾下 1 戰 配 禦 之可見者觀式意 數十 南 教士卒甚 劣 即 說文若華也 之 Ŧ 執 都 類也是 非 获 為 苦 吉 堅則貧餘 也公官之 策張孟談 遊 ŧ 掅 敖 遺譯論之中 里 旇 木 専 兵二 奪耳 微 深塹共 経 名; 恃 Ļ Į 쓐. 略 知 千, 非為 可 項 笑 垣(對 Z 外。

為柵無疑矣苦詩處及蓋音盡權音丸或叉言方之為獨以樹字推之必非常華安南至唐田早為安南都護作木柵。嚴率民錢不時完王式至樹斯茶此木橫布外而甚耐久土人書作芳正如土産黄心木本只芳字土人書作遊年字書作芋之類黄心木本只芳字土人書作遊年字書作芋之類,大此竹皆最堅勁有力而得名土人固勞竹例書作勞而通鑑本專書轉寫作芳談從刀也。

	古方務性 をごう 海洋学	麦至之務為可久而已苟判之非人法雖良於逸雖然庫名備邊宜更求其實所謂實者何慎擇度世山氏曰此與德宗瓊林大監異蓋彼私此公耳支郎中判之	年城其三之一九諸道所運助軍財貨皆入焉以度發帛十二萬匹度支鹽鐵廠入錢帛十三萬器匹明唐武宗惠昌五年李德裕請置備邊庫令戸部族入李德裕請置備邊庫
--	--------------	----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------

. 其 鐵免餘稅 4 《 星 伐 木 雇 妻 署 至于府 家之 又口。 策夫蠻之不宜和 構怒拂衣起秧骨砚 乾符五年·携甞與 此 赤 世 僡 地 山氏日此民窮盗起 何以 唐安得不 宗 庫也 **攜軫念百姓**請 乾 卷之三 百姓 相 生. 一之見 而下 刑 亢 簽義 M Ē. 延倘 如 牟. 方 縣 此 第子。 及以 草木之有 親 倉 不 鄭 人蝗不食稼 撫存百 止 可: 聖地破之上 問之日大 畝 事 畋 加 早 之因。 ħр 理者 橅 觀之構處置發事可謂失 議蠻事專欽 服給 供 明而 明年 姓實無生計を教見 此 關; 稱賀君蔽臣 勃從其言而有言 若秋冬培 構獨感器其亦 繁國 大 和 蝗 畫 本 親 蔽 捣 忠真 畋 之 漑 上言 Ħ_o 算机 部 **る** 補 P.F 但

古方路備 古 哎哎 飒. 殆 之楷果移兵擊陳犨先示之弱何〇軍務者 慶使 唐信 距蔡百 及 ŧ 1 肥 臷 武素著義勇吹州號為勁兵况吾家久食陳禄 也の趙 巢 ji, H 此無它 Щ 檎 秦 黻 楷 可须掌 旣 H-H 中 餘里 卷之三 斬之巢聞之怒與宗權 平 E 41 Ť: 不借尺權 卷之三 相類 新聞將佐日巢不免長安必東走順部前將佐日巢不免長安必東走順 宗權後熾 從我開門擊城被之 :有 知 戰敗稱臣于巢合兵 : 做故耳 一兵力た 巢丛 國面先不愈於 東故 弱 攻鄰道二 华日 先事自 亂 之弱何其無備襲擊殺者 かりつつ CBB要の 吸多募勇士使子弟分級 遣 奥 共 宇 合兵團之雙 + 固 D. 餘州 槯 巢 ь, 戰 Ę 雖 μ_1 背腦 强 忠貞 加 諭 陳の州 樂 不 41 惟 上州。 能 \mathbf{El}_{2} 陳 其心刺 何

Щ 令又置義倉官所 愁 棋 侟 苗諸州等部州 建。 古方野 忉 Á 内数 雞 ë Ŧ 而 隘 方 衕 太 だ 於 Щ 使者多 711 椚 民 _ 嘋 在 進 jf. 開 並 又遺使 (# 而 年度民 太 奉北四 咨訪 官 之中五 氏 A 궲 巻こ 度 敝 而 不 命 献愈甚年富 行之 伟 田 遊 ዜት መነ. 難 公 縣 稱 Ш Ť щ **拟**二 任或論定 於 課 使: K 愉 护 奎 周 在有 得 人。 種 諸に徐 尺 二兔每一石别輸一斗野之以民種植長東以春秋經殿著為民種極長東以春秋經殿著為 F, 是宋王謂侍臣 世宗末年 民 置倉监輸 ЩC Ţ. 租 田 媝 葞 分の行 主ニガ 非 先 州 顶 휬. 後 桁 光 其事. 'n. 擇 ui II 藩 普命 張 余 或 不 감 \exists_1 猟 Á 懋 国家 囚 11)_C 九 -1 -1-人 官 日。 才器使生 信 jį. 要之擇人之 Ζſί 度 請 軍以火 艮法 級 不 定 田 誻 韗 团 也見 馬其 益铁 州 無不 度 *i. i.* 凡 勒, 市方 方 號講武池選術 散滞則募勇士 使謀於彼盧肯 僟 庫儲 朱太 初意。 為念 觀太宗 El, 芭山氏日 聚宜求其重 或日置內庫 獨 饉 此 亟行應財 腴 甝 照 何 全 乾德 封 H 如 μ, 用 FI. И 辛:以 以

講武之要卒亦未 好典司各六 之號封橋凡藏終用度之條皆入之以為軍旅 之憐嘗諭近臣 外境朕甚憫之欲 此言既漸 其過也韶改 太宗 用 大 不 大 pI : 倂 型 🖫 地 何 Æ 萌 平 者先之故智者當務為悉 見 戦 歸於 뇻 攻 日っ 為内 與國 得其用 荒木為 泚 俢 也三年平左藏庫語薛 取也尋又 能盡先 石晋割 中帝省臨 俟斯 找 إناا 湖西蜀人 二年发 薇 亦 则 失策獨 庫 帝焦儿 帲 恩謂創 以 庫 벩 并以 乖 髪 |燕以 此 所 太 貢珠 觀 大 蓄滿三百萬 啃 其金兒 鑿池 封 之不然 劣慮以 之、 池 祖 業者與事 _____ 路契州·使 推酒酤 椿 Ŧ 庫 캠 紀月龙 京 **多**馬 經費 居正 朕 拔 奖 南.

延澤旋 ti 賊衆 城約以 仁蟾園 全 紨 潴 i p 方 梢 斌 新 亦 計 犁而 賊 푯 şΙş 肘 餇 不 繁動 Ŧ. 七 **人**技之 小集至 明而 富 K 宩 三鼓 雄走全堂病 賊 州招 命客 四 翰 比此 沂 後 Ë 光 年、 進哉 有 德 必 義曹 後攻 安迎拾 省使 太 4 [盟. Ĥ 亦 唨 兩 酷 思意門幹 棎 偤 z, 適っ曹 彬進擎 Ţ 翢 m 該 分道 夜分審聲 可 旋 讳 追の射 州、襲の謎の翰 師雄 州、 使特全 儊 两 14 ù, 愚 蕍 九法不 Ж 1版 招 大碳之 鴬 走 領 抰 既得課 聚之 集 據 灌口、 一師雄 块 起、 製我 銅山 販 Ī. 無知 歌悉 水陸轉 一計之 惲 蜀師 止 僔 何 推` 雄退屯 37 有主擎二鼓 Cacasurango 馬邊結衆圖 雖 至 古 7 訓 痠 Ŀ 擊二 $\overline{\mathbf{H}}_{c}$ 戒 貿 行 破 西 連 汉文: 掌 貿 南 一曹翰會 **_** 本為 忠良 師难 於 鼓為 漏 坐 賊 諸夷 角刺 澤 育工 者 :酿 # 衆 主、 於

太

汧

陥

芴

遷

共

民

干

Ħ

張

洎

議

建

遪

鐘

然也 古方略傳了 壘 東皆為契州 劐 令大軍於易州 其○各c 于此矣宋琪 固 受別契刑難→でなってのでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年のでは、1年 帝 息民此 浹' 宋之積 ĕ 東 一典之 嘉納 Щ 然兵 Ħ 棷 少克山 ŀ □出戦ル 燕城絕及 修好益 内器 弱自伐契 $\mathbf{H}_{\mathbf{G}}$ 亦策之 夰 参之四 通 言國家 所 Ĥ 洮 奸 循孤 1 稄 内 以 以 以 以 入 分 有 有 青 點 刑 亦 得 精 Λ А __ 既 中 一而守仍命親下の兵之過也請な のよこのよう 册 推 也李 舎. 不 不 棩 Щ 取 兵 失 国 姑 燕於 册 呵 勣 得 涉 19 豊 地 之 也 馬 恃 崩 涿 Ľ 敢 伤 c 周 利而 戎 赘 4. 賀今圖 11 £ įψ, m 傯 水 雄 越 惟 抵桑乾河 म 安 覇直 契 - 禹 1 7 歧 而 诃 恃 心之者選 V, 邉 : 個 'n. 册 南 取燕之路下 王。於 朔 險 加開邊數 彊 į, 斬 亦 N. 進非 侵. 出っ沿 列 羾 盛 寸. - <u>Li</u> .iiii 多 有 ß 制 臨○邉 笙 于制 軽 IJ. 使 出安 我 局份 畝 Ħ 息点 4 辿 修 戰 之 府¢三 不 **3**. 爲 4 好 女 1 謘 醴 方。以○大 堩 城 抓 師 長: 意 A, 挕 慩 孤 Żп, 控の鍵の自

	古方略篇《卷之图	北向而發一矢于是女真請伐不能應而女真入北向而發一矢于是女真請伐不能應而女真入 整天 人名 詞而去矣何况西夏夷裔不觀望而為之 在西夏翼之于右强弱之形可立是也始于輕伐 一
	五 忠贞全	大一舉可不慎與 一本可不慎與 一本一人也始于輕伐 一本一人也的一人也 一本一人也的一人也 一本一人也的一人也 一本一人也的一一人也 一本一人也 一本一人也 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一人。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一一。 一本一。 一本一。 一本一。 一本一。 一本一。 一本一。 一。 一。 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

屬邊人使知取燕蓟舊疆非食其土地內則省官以謀離其黨遊越保忠折御鄉率所部以犄角下詔感 虚名以戒無芒禁游惰以厚限力音深嘉之 2 m ≥ 5 m ≥ 7 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m ≥ 2 m 而大炤甘泉之惠乎亦在乎外任人內修德耳臣愚而大炤甘泉之惠乎亦在乎外任人內修德耳臣愚 冊之强盛不及單于至如捷逸侵塞豈有候騎至雍 今國家之廣大不下漢朝陛下之聖明豈讓文帝契 朱 寛經費柳文士以激武夫信うの (をまずの 単 門間)年 寸 方路備 以為外則合兵勢而重將權罪小臣調遇邊事行問 右拾遺王禹儞獻樂戎十策大略假漢事以明之言 太宗端拱二年時契 卒至 跋扈不臣大為迎惠此又 再爾失 的微之道 鎮夏州庭始于趙普而 雖先是請命李繼捧為定難節度赐姓趙名保忠 角後保忠與保吉合未幾叛除契刑封為西平王 於治但馬佩不能逆料保忠之不可任欲資為特 芭山氏 Ŧ 禹 儞 日寬輕費用大臣戒虚名禁游惰皆有御 参える四 議 郭戎 州曼寇邉 再備又妄以保忠為足 用合作宜 群臣 Ē 忠真奉 一架戎策

人間 寺 嘉 冗 彼 方 習○廣 敵ン南 安 缪 太 H 上 至日納 f 田。 唐 之 £ 里 勞 武○戊○其 騎o北 砦 佘 咯 何 爲 屯っ傷 西 兵 許 休の収の縁 之ぃ五 臣 淖 承 我 逸 奔り七 閶 不 無 開 田い霖 矩 叁 軼の十 泗 笭 大 न् 民0利0州 故の雨 此 寡 禦 * 力:以o軍 里 年 惟 俟 河 事∊為 田處亦 征 . 引 作 患 斉 賢。 П 以っ實っ臨 朞 蕭 行. 水 以の災 邊之要策 滟 稲 ŧ 功○逸○塘 и_o 水 折ッ論 舸 歳 其 热 漑 田 Ц 者 四 慢 堅選兵戍 國の設っ水 間 脥 順 知 囲 由 論○多 務 議 経の険で者の 足 關. 泽。水 而 北 可 南 食 不 也 如 固っ止 築っ東 逧 副 功 炓 草 易 會 以 精 其 其 此 以っ智 諸 健 0 注 道 在 使 之。 泉 准 原安 數 防⇨城 就 非 泊. 貯ο手 髙 脟 路 何 必 Ξ 年 倍 洲 行便 豕 简 寒口守 悉 杌 水っ海 깨 春の軍 五 患 軍 Ł 衻 膏 森 又 承 而 Ħ 蹇 源 矩 夏○士 年 言 見 屯。西 冿 無 精 以西 阒 T 矩 怯 上 力。 **今** 課って 田c三 ď, 彼 引っ憂 銳 即 亷 間 宜 į 投の矣・偏 可oTa若 因 去 覇 農∴煩 播 日 推 積 漢の帝 我 秋 (祭 **4** 以。除

溝 水, 亦 運い Ξ 収 制 'nΣ 古 炉 妼 育 Ξ 早. 並 民 淮 方 盲 可壳 載 瀆 利: 稲 置 大 夫 拏 不 鬨 下「襲っ 略 漢 馬和 稳 七 兵 獲 河 未 斜○慮 百 防 軍 魏 席草 囲っ 牝 共 東 青 間 赵。 利。 刖 散 即。以 75 本。 毎 速に 卷 唐 蛤 至 官 翐 逭 八 Ĺ 电 其口 之. 年 爲 及 之 が .吏 7 取○和○里 屯 承 一之数 - 五萬 募し在っ 选 Ż 種 + 陳 Ž 甴 饒_ 人 田 矩 其 功棄 民 請っ 闖 例 植 A: 許 戌 儊 按 年期 年。 其 人 **克** | 遼 o 陸 御 顡 F. 課宴 o 19 視 公 矣 可。七 佚 給, 後! 頳 共 議 4 役。 田 官の H 為 逴 河の引 、北 なの例の数 なの例の数 なの例の数 奏。 水 未 使の州 紛 飪 利_c者 久 大。 種 灹 大 倉原充實省 之是 稚 牛 官 度 田 而 開っ 蔡 乃 雄 理 如っ 之 於 夢民 麦 古 治 銭 屯口 寉 息 制 天。 門っ 亳 判 而 声。 豦 而○鹿 丞 · (E) 市 覇 墾 Ł 至 繇 可 牛 官 壳 八 州 圥 双立 八 地の前 赴 二之人 † 傻 + 置 于 陳 满 月 カ 通っ 魚∘年 平 判: Ж , no 江 壽 尭 畆 咚 音活 稲 戎 耕 水 准。 Ą 登 可 具。 春 江の稲。 官僚 熟 畝 雖 利の 烥 矩 清切承 東○値

すブ 多備 州。 世山 抑舉行者紛紛築舎道旁耳〇 其議然素未講求卒罕實用 寺丞何亮按視 何以能與利也今永平順天界中有泉池灌溉皆 勝其任則足 亦有粗 大限燃北方之 **城水田。此與江南** 天時地 土燥易乾脉 史巡行竟為中貴所捷 付空言哉近日 即今河間 蛚 兼倍矣帝 址 氏日後世屯 于畿內京東開 利 科不同若不 之法有 硬不可 老二日 미 保 國 盡. 粗易漏春夏苦旱夏秋苦雨 定淀 覧奏嘉 土亦 武人矯然請 利民安逸息 經 FL 耕種 可 度然 矗 田 求 何異大率 油之 可成功 水 災之害 者。要 有 水 者。 不能 而止。 利當變通於此 之遺大理寺永皇 田 細 難 地 z IJ 朷 澗 オ。不 茑 短皆有所恃奈何 當時 利。 亦 豈屯利决不 共土宜為之質劑。 地 Pj 曆 承 關上 少於陸 以爲田南方之土 利 梷 南廷即令兼 L 炬所言河 知承 有宜南北固 菡 屯 Ļ 田書衆1 徐 矩于彼時 H 可後 甫 水 P. 1 尚 奥江 實貞 粃 Į.

			能無選議此亦其一端也。	僅此後世安所取表子故及曾干商萬諸儒臣不	天開兵農重且大史宜詳載而續網目分江所載	緊削之也令承矩等書號條列	解之無關國家利害勘懲者稍為刪節未開併重	上書疏縣削勿載思謂史例雖則緊點華特就事	人給其役開塘泊種稲田民賴其利至承短然所	以承距為使燃為判官發河北諸州戍兵萬八千	州 即建屯田之議會黄懋亦請於河北與水田乃	矩為河北屯田制置使分注則但云湖承知至雄	之與水利是也按 本朝續綱目網大書以何承	史有當許而不當略者如何承知之該屯田黃縣
--	--	--	-------------	---------------------	---------------------	--------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------

	是蒙正等的
-	中路生土 走縣 最 民 聚 正 費 民 聚 素

		10万略作 卷之田	幸城中鹽可易米數十萬斛不則巧嫋難炊矣	己山氏曰僅有無相	矣。	連口	米易鹽未踰月得米數十萬斛訴度有二歲憐乃奏	售	國人畏愛之先是城中屯兵尚三萬人無	宋太宗淳化五年以張詠知益州其為	張詠奏罷陝運
		主 忠貞堂	則巧婦難炊矣。	足國之道悉具 X	10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	事不能了吾無 厚	度有二歲備乃奏	乃下其估聽民以	萬人無 半月之食	其為政恩威並用 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	

すず野 削 詔っ召 未 陳必有 世山 廷惟中等公私 悉` 17 道 太宗淳 長 人の親 煉 殺處 Ŧ 各:恕 備 侍 五 計 忽 Ħ, 枉 條の等 禁 立茶 所 四 牟 E 其中。 春 粒 各 恕凤 **雨** 利0量 般 總 通 Ē 깯 真鹽 客: 菔 财 滅 事 後 7_ 什 置 年置 讖 部度麦三 成之陳恕言官の助度支三使兄 使果不 有 煮 帝 竹齊吾裁損之可 恕閱 有 烮 大 賜 必 ĽĮ 使 ₹] 鐵 办 Ξ - 11 通恕有心計 周 ĸ ıĊ. 諨 Ξ 行之餘下 恕為 陳恕 取上等取 之第為三 貫之 恕 料 訶 扣 恕 胡 **北** 之卿 使乃 馢 總計 **不** 百 鹽鐵使時 Ħ., 龍之 司令 建 章 建 章 等但 洔 萬 仗 等。 ,基吏 恕等議賜溥等 **海等上七十一事** 利 立 · 以經久、 夫 詻 一般言本司 帝 以 政○者 間 法 Л 久 智意金 則 使 召茶商 利 耐 可 宋 利 홉 大 引 行

	古方略作《卷之四		苗手資害及雞瓜所謂受內充腹者也。 恐刺小民以克國備尤是學術經濟之
	亩 忠兵堂		苗手實害及雞瓜所謂受內充腹者也。 恐刺小民以克國倘无兄學術經濟之大後是青恐刺小民以克國倘无兄學術經濟之大後是青

再两方行定華輸去 他盗不 芝臣 謀戏 之相依岩頭目 心贼遺君父為耻而列城 王精兵備於前代分間仗 日陛 授の見の整件を対して、 7 真宗咸 造成筭述 下嗣 岡 煮 孫 救援者 禄守位 陛の莫 償 劝 何 見c若 玑 位 議 平二年契州 子我來 春 葱。 駐 廷。文 使腥 以來訓師擇 備 何發邊 城池 ž 問。武 者 10 手足之 契 全城 何 몕 蹔 卅 冠已近去 敵 焚 得計蛇承肆行陛下親幸擅 冊 接 c 参 網 則 c 用 騎往 相衛託 垼 州縣城 扒 乞契 不以質問老的發傷死言 不無人 **新者** 料可 相望堅壁自全手握强兵 青 運灰 莫っ謀 蒫 稱兵少 墨参錯如輔車唇 ○臣っ此 固當以 韶至矣神武 胳 四者當へ 民邊奏者何護塞 馳烏 緖 入 不出或待奏 身先士卒為 宼 或特勇無 孫 虚真处 冠 何 於 上 相口 **趨⊙凡○擇**

古大路道、卷之月	禁兵瓶要害先事 設防非熟	或目四悉比談兵事者皆知之獨請辯束有毒豺狼無嚴令契州西畏大兵北無騙路。 中國 电影 在 中 中 中 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市
夫 总真掌	職 地形 不 及 此	完

心。是 躬の葬の帝 Ž 则 至c恕o目| 其 以 舊第○後○求貫。請○改○一 Щ. 代 日 對 咸 不 劢 11 ijij ŕ 故 敢 平六年 沙西 表と 陛下 位當命 否史 侵盡 不 判っ倒つ人 得 進 條具 押○之○可 司 别 珳 也 7 恐吏 多之か 事つ代 19 富 有 帝嘉之王是 4 亦 類の者 於 更 骨因 以具中外 釆 惟 7 不 為○聽 春 秋岩 JEO: 利 蕭 卅の卿 及の去 緑 Ji. 1.7 柄 何 Ξ 共口恕 非 為 10 17 13 知 錢 ō 所出榜 平平 多半 靴 疾 府 - 14 榖 深 使 z 固求 횪 恕い陳 袻 'n 識 4 Ħ 充 义o恕 不 111 官 實恐生 別o至 館 用o三 機 新o可o之 不○罷 扩 规 4, . 1 办 Ė 1 無し枝の簡し職し後

論,人 共、 陳 矢 在 廚 Ţ1 老 剛 惠、 抗の强 一人 本の対の別の 人 本の対の別の 人 本の対し、 人 日 取 優之 目.. アル 共 不 不 Ŧ. 1: ተ 及 叡 Ħ <u>Ħ</u> ~是已儉 孔 問 也 于 所陳請行一事印 意 景 沆 帺 之元 此 當思西言流音言居重 切報能之少以報 嫠 日、 流。参 不。政 行目 亚 Ė 奉ん ĕ 少。方。為 彼 元 大 (人荷一時 日流 府 加 犬 年o水o瞥 人之言終身誦之 軰 年、 (調者 加 用二他 風 馬 當の早の戒 安 畤 外中 為字 佫 凖 Ħ 則 使c溢o他 得 酉 問之 純 之o璣c自 之憂也 坐 土 北 外所陳 厚 之。所 公 木 相。 知 o 奏 c 四 見 流 甲舟 四c之o方 方。日^此曾 法 進口傷 能 如 太 簓 抑 日 此 且 内主之本 學 諡朝廷未 耙 豊の 3, **T** T Ħ 平. ż 脩 利 ㅁ ☆c 矣 位 用 朝廷 製o以 5其為人] 割 厲o陸 無補 使在 明 弱! 祀之事 民の象 防 不 変 邪○先 制 ٨ 馜 切! P) 使 jýr 緻 F 野馬 報 流 可 Ŧ 使之 甞 訓 外工 民 17.1 讀 所 .

則非也。	更後世宰相縣欲衛而行之置國家	下情安得盐哉要之處流之時地宜力	不必人告而古聖王建報設舜之制	者次第行之豈宜一切報罷信如流	微杜漸之道至中外所陳利害當釋	也山氏日日奏水旱盗贼使上無伤	以為拒	使流當是時能一日	市方路備 巻た四	全體面求免於	者何必請而復以申飭報罷者何必	其所言非當時所見行則前時所報	曾否通行即取而刻之集中以為傳	解其一語建言者但取一時之行不	而監司是吏曾不開請其一行父老	首領行四方計一頭所陳紙礼之費	必欲逐題獲於該部水黑光于內閣	無異議近代則不能也童諫毛舉項
	置國	地宜報罷以防	ク	如流言則是嘉	害當擇	上無	以為拒	能 一	九 忠貞堂	於少年之裙擁而不	者何	時	以為	光 行、	义"	礼	一	以毛舉項何 以責職掌

可信者也。果與宗哥族連結入冠盆見平夏自效皆詐而不	或日真宗不信斯羅無疾兵傷財之較未幾斯	奈州 は	別は数帝以戎人多	四二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	德明希朝廷賜予至是始立文法聚衆數十萬前	為保順軍節度使明廝羅與西及接壞每以兵抗超	以費普乃戎王也立遵居哨扇羅下不宜長校	徙居邀川而立遵自居宗哥要表請赞普之號朝議	復襲西京府又敗衆益怨之內廝囉遂與立遵不	殺國人不附會與涇原鈴轄曹瑞戰干三都谷	遵為論通 新道 五連食	奇哨廝	曹珺等作哨廝囉
而不	斯響	-	文質	点堂	前前	抗抗	化止命	朝業	不協	一 而 敗	丽	雅名宗	i

為0自 名。生 ・胆査量 Щ 後○畳 亦の邪の未の 郑 T. 去, 不。若 日,用其實而不 白 真也未 न 迶 7 徒以 信知白早是如三府言則 Ţg 練師以 决故 生聚自嫌生堕身術哉。 幾契 其の以 能 示 卅 如。上 鈦 Ù 果 因の初 形 形懼挑敵 能 用實。 去 河の試 白 紫耳, 兵o廷 日の息 以の耳。不の之 防の豊 然の帝 河。可当

兵课 不 勢掩 非 師费 也.以 古方 累歳 夘 德 V, 籍 柜之去 馬步軍都 宋仁宗質 明元昊相 教習 計 倉 繼 來
假 就 遷寫伏 撃、未 卒可 入 典. 栬 赂 以先朝 不 守 糗 朝廷威 國門 佛 一無追 涞 可虞也 考以 * 夘 具者 糧 元 不支、 破 何 平夏元昊宿穴 戦之 兼 城先帝 界勝之士 捕 **球上奏日** 亢 誹 両` 浮 2 狙 又命天 靈其所役 年,更 昭 老頭 龓 進 미 綦 師 耳: 梛 自 追 ĸ 方 挽 則 以繼髭 惟戒 霊 竦 州 o計。 其果穴 **个**沿 地 贱 武 繼 移 羁 避 獨者 牖 温 逐 關 知 窮處比 c非, 河 逄 || || || || 其 没。 協大 吏 待 涇 **傷**○長 **羗**○策 ` *Y*J 頂 外, 不過 祈 绛 未 席保 謹 制 州 ٤, 涉 退 地 進 試 東 九吉 宗 龎 大 我 刞 势 さ 元昊富貴勢 可 、時、遊 之兵勇怯可 简 侯 籍 . 河 師 敵 ij 料 外小 い半さ 長 I, 滌ο條○主 躡 枏 綏·卒 名州乗 知 述 量夹 麓の上の客 奔 舟巨 其後、 羌 耳 袦 割 來 可 事の利く 卸一而

矣 則 謹! 兄の完り東 坍 7 精 而 絈 服力 兵0央0兵。 征 共貢 ブラ 15 點不 明 叉 討、兄。力 生 o ti B₂ 生"討 事 o 友 乃 網蕭財 莫知所 四夷 漢通 肾 春 敢 政令 12 擪 **以っ態** 元 利 皇 そん 西域 竦 吴 1), 叛. 使の而 為逮稍安静則 用富 第見 金帛。 唐太 風 糺 饋○中 併c 自 請 網 怯、働o · 恩信冷賞罰明粉帥姓 遊稱安龍則又無敢朝二 カゥ 朝 墁 吳有又上言天下久安 入栗境罪 宗 T 互の 固 以C矣o固 鄟 真宗 酉 他志若」 廷多採 相c 防機要置 甞 斷 Y) 域: 廷 诸 比 命 賜 伨 墏 年 握り 漸 沓 12 奴 不 n 守。六 用之然是時邊 雄い共 傷 右 φį. 羅 可 不 不 · 秦者。 臂, Ħ 支 可 備 復 逄 域 攻 汗 請 朝言者者 則 計c並o人 喆 殺 并 戎 但 練 十四進口為 ガイ 李 內 '及○患 其 請 伐 智。士 計 間 有 横の小の兵。 ℃の跳 鵜 相 附 詔 追 並っ砦の以 4 掛○梁 逋 手 雖 遷 작 | 書 政 逸の以っ代 部の狷 朝

古 之 吊 砿 之有 之功不 略 乃以 燥以 εŘ E 結 江 制之 言 嫐 一奇也廝羅 Ŧ, 為 責 不 朝 氏 論 觀 K Ħ 使 EL 之 部州 廷因 所 Ł 黄以 部 以 不 獲 力。 FI, 崋 卷二 **筹元昊** 伅 能 側 有 使 則 洛 元吴之横舉中 卉 用 忌不敢 之 攻撃 梭 一隅兼 坌 本 見 廝 兵莫 夷酋 元吴 竦 叛 為之授 功少之是不 飾 붜 雖 非 冏 盤 Ż 楚 鋮。 未 負 侨 卒 于 **沙於** 請 于 而 非 知 쟷 内侵。 慎 在牵 ١<u>٧</u>٠ 使肖擊元 有 山 # 萬 軰 漢 詔 Д 王 所 印能 囘 阻 行 里之 斬 肵 破 髙 廝 牵 畏 火 置于 九之衆 ᆿ 國ン 制。 可 盡 魜 鼎 將 잗. 帝 문 制 知事機 跨 中 斻 寒 知 功と 鋆 調 セ 破 外。 땑 而 夏而 旲 也。 # 有 团 法。昔 \mathbf{e}_{c} 娕 之。得 隋何 賊 不 力 攻 旗 凍 团 通 之 热後 臤 葋 策 者。 亦 ぶ 城 干青 者 分共勢。 重 形。 + 能 未 Ħ, 齊桓 叡 豈 或 迁 能 沝 也 牵 萬 見 数~~ 丽 亦 中。 東 分 失 得 杊 汝 Ţ, 凡 海 吐 放 策 銤 共 僅 Ü 矣。 效c 艺 夷 哉。 資 h 攻 低

		古方吟賞八卷之四	故為逸臣所沮徒滋後人之議也。 采用者。既未得要領而城亦不暢言其所以然以	互相應接雖以滅元昊不難何策之失哉情當時最妙者誠能用珠策使廝羅為特角而諸道之兵天下必矣兵張良以齊梁及書遊項王皆牵制之
		玉 点质金	概也。 一种言其所以然以	門策之失哉情當時 西斯通之兵

					, —								,		
1	f l	1	()	ı.	1	一大。	, रहे	策	之。	久っす	無	供	韓	宋	
ŧ	1]	1	[]	*	攻	趣	方	10	戦o	可の見	武二	還	琦	仁	
		· [え	E	葎	峽	<u>ک</u>	関っ	o d o F	M	₩,	*		范
-			1 4	rt.	. சு ^ப	, J	催	ii E	ф.	· 音 、 i	H #	/#	1	中	Ath
!		ļ		n n	5 /m	1		1	* 44 ~	、見いて	7 7	13/2	17	1 3 3	17
i	1 1	- 1		17)	/ (1)	<u>ر</u>	/ <u>_</u> N	<i>*</i> ***	<u>,</u> 111 `	一用リンス	シーズ	74	准	压	准
	1	-	Į į	師	符	· 耐。	*	辨。	耳口	内 ロノ	トー版	F	副	兀	備
			1	牙	: 火		古方路傳一卷之四	. Æ. "	〔登□	使の	色 深	个	さ	年、	闡
	1	ĺ		É	P	と	P4	路。	↑敢≎	無っき	そ「人	追	夏	"汉"	仲淹備關中
	1 1			徫	7	安)	人"	" 深っ	虚され	だ 乗	俱還光仲淹言个邊城	*	夏	
1.		1	1	制元處所部先自權而後攻人者也	之	兵與深入之謀國之安危未可	į ·	討	入口	可口名		Ź	*	神	* ;
		ľ		14	事	1 *0		E o	(÷ 1	雅 へ 2	e b	機	L 살	A.	E.
ļ	1		ļ	76	- <u>"</u>	न	1	ᆔ	= ,	北った	3	170	加	一曲	
1	1 .				_ /_	'] tan		70.		アロック	ڪ اعم حاد		125	火	Ē,
1	ľ		i	^	意	郑	į	承	平,	茂のス	- 歴	相	曻	' 酉 .	3,
		}	- 1	オ	た	知也。		4	間	至の部	十つ東	£	方	褞	f
1		.		i idi	,入	~	1	歳 :	彼`	逸った	とり 阻.	1-6	略	啄	- :
1	1]	l 1 -	' 計		j素。	久	. 自.	城っき	成っ滝	之備十有五七期中	À.	步	3.
1]		1		ill ^O	İ	ر. ·،،ر	無	F1 :	沸っす	8 6 18	#	***	梅	10
		1	1		或目先為特久可守之武不悉於入部此仲淹善	İ	18.5	東也今追城請五路入討臣恐承平處久無宿府精	器:	野人	「成以明毛にとながたちたと)十段成ととた。 無二三者具城深入乘駒中之虚東田潼關隔两	と	琦克仲強副之 夏中黃庸怯寡方略 召與王守忠	宋仁宗康定元年以夏竦為陕西經略安撫招討	
	}	- 1	-		37		起見	胜	此。	対して	おこま	座	工	. 1월 [:- 2.4
1		. 1	1	!	漢	ļ	3	22	L.	dir	更ら两 中o川	借。十	7	討	i d
<u>ا</u>	J j					Ļ	3	্বাশ		<u>天</u> 〇1	〒0月	17	1,85	便.	1

以去又 脂安達承平蜡病者作佐 即張方平上平成 中華民 日此即孫 順壽虛之法 然 河 不 與 是	宗康定元年元具陷塞門諸岩執岩云張方平平戎十策
-------------------------------------------------	------------------------

以兵 床 奉 中 中 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市 市

此 儉:或 す 又 省 破 才 州. 萬○壁 人○壘 傾。和 備西 周 Ξ ヌ柴 内。市引 Ä 年 帑○招 三○其 間 彸 延 沿公 民 取 約 IJ 며 /漸届平定本 落合 焚掠殆盡 Ŧ 知潤 一○築 分○壘 柳導事毒露 元昊 州. Œ 信 子 0 籍 功の拓 范 陰誘 有 避○地 龍 傍o敢 至 用。別 獨意 稍 安 使豆立 砦o. 嘶⊙法b 芜 淹 間:制。 J1/2 為 杰 本員意 其及 功。役 妃の朝 大力。舉 用。不清 而 掠。擊。動 有 0 報 涇

	可徐圖而失人則敗可立持不	無失猶足成山氏曰據要	1944	年方冠與將卒錯處的深摘隐得其材否蘇是仲庵 金湯皆不敢犯環慶自此冠盗益少仲淹在逸執佑	戰佯北仲淹戒勿追已而果有伏大順旣城而白豹の G G G G G G G G G G G G G G G G G G G	趙明先據其地引兵廣之諸府不知所向行至孫遠○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	親受人。
--	--------------	------------	------	----------------------------------------------	-------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	------

詔○兵 制、優 量 路 不。言 安 亂 麗の選 啉 並 用 韓文外 當二硝 屯 籍。將二略 環○原 置o西 枢 宗慶曆二年以 琦②震 琦 慶o有! 之。歸、 討 使 抰 西 艃 領○復○○○ 有○答○同○懼 三萬 徙 路 蘨 略 幣の臣の経の 彦 經 쇧 琦 ĸ . 司 資晴○徑○堯 渭 两。帥 以っぱっ 兵 o 徑 可 率○合○原○臣○侵 成。斷。 州 言 2加 泉 淹 首の賊の 招 尾の臂っ 在 籍 討 武 兵 事,計:帥 之o不 分 使 Ei i . 5 領之 慶. 想 * 是。 勢○數 闤 久o 所 使 張 π 矣 少国主思教 亢 復 帝 票 则 路 州 各 間っ oŒ 不。四 さ 求 委文彦博 帥 以 可 事 二路 凋 堯 刑 期 (常言) 州 Ji. **共**家 而。臣 畴 臣 是 杰 仌 产 府, ıψ 清:你 F2 體: 迩

	百方路像卷入图	吴之過宣琦等罪哉?	納遂召還琦等縣是變君臣之號為父子之柳更不雕破者借帝方厭兵聽元昊請和答認嚴籍招	· 芭山氏曰。韓范廖力西邊如率然在山元昊未有來者推誠撫接咸感恩畏威不敢軟犯邊境、	歸之朝廷侍以為重二人號令嚴
	重 忠貞億		之號為父子之稱更是請和客認願籍招	· 敢 軟 犯 邊 境	嚴明受撫士卒站卷

	盡 新 事 情	不可懈而所稱和好未可保者不且以做敵人之中養氏日弼耻于結好故不樂受賞不然守備固者徒謂弼卑以自牧謬甚	事納規之法務忠	中華共不敢傳帝祭其章 中華共不敢傳帝祭其章 明	C ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
--	---------	--------------------------------------------------	---------	-------------------------------	-----------------------------------------

古方略備卷之四終 孫維 極	持重之是帝獨拒而弗納以是時帝方服兵耳	韓范表裏和陳其不便帝	落事無不集又不聽元是方倚契刑	古方桥佛卷之四	願召一人使處于內一人就授勵權且令在邊表東ロコロロス大學亦須縮材若二人俱來或恐關事	◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎◎	令爾臣乃可許和帝不聽時朝廷以元昊請和遂召	不臣我朝則是契冊為無	國主族聯	用船籍言命著作佐即邵良佐更往議之許封冊元	年元昊六宅使智	富弱議召韓琦
---------------	--------------------	------------	----------------	---------	------------------------------------------	---------------------------------------	----------------------	------------	------	----------------------	---------	---------------

師0兵0三 和 陝 帝	義 相 賜	古宅本方邊區	戸、遂 各 歴	朱,		古方
外0.40日 好 西 遺	不 于、銀	方邊區	各屋	在[.	方
城皇三章、联门高、建一使	存 乞 綺	略境城	「不」七日	宗 韓		略
七京等〇四權與陽	皮 頒 絹	備 著 岩 漢 進	復年、	慶琦		備
七〇專〇四 權;與 賜 寄公於〇日 安○茂 元	臣曹茶	▶ 漫 進	遠立	慶 琦 暦 議	·	人
发 · 通 · 做 · 大 · 大 · 大 · 大 · 大 · 大 · 大 · 大 · 大	干部、二	~ 所 紙	選自此	四修		卷之
	之基十	上 居、等	此自	四修京		五
計分析○且 守○淹 韶 代○四○請 為○並 曰○ 次○急○力 實○對 餠		五五五		一、不	HIT	12
伐 ² 四○請 為○並 日。 之○急○力 實○對 俯	心欲五	五包五十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	有命	元 師	明	{ [
之○急○力 實○對 俯	渝世萬	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	追願			1
謀○於○行 務○於 閲	渝世 萬 臺 當 五千、	中科	人 燕	復	袁 姿	
又 教 こ 七 因 ⊃ 崇 來	省遵千		选盟	進	州源	[
文 教 c 七 因 5 崇 來 言 戦 の事 5 上 5 政 誓 6	當 遵 千 使 守 乞	界質	逃 盟 卞 府、	使		
北 五の一っ四の殿 一	使守气	外 刀	亦 其 毋 前	上	張 余	
戎 訓c客:策c言 皆	親以當	内声	# 前	上普表言	雅 余 自 懋]]
久 練0為0一篇 如	不為數	聽去	, 毋 前 得 日	姜	烈街	1 1
	永好 . 臣	聽 安 祭 矛	得日		7	
強 義 · 經 · 日 · 今 · 构 · 今 · 勇 · 略 · 和 · 之 · 時	配不永子 官數臣不	内 意 安 承 承	基 所 逐 掠	両	定輯	li
		忠堡苗	臣解	失	AC 144	
乗 六0二0二 策 韓	孫君復	点 九 地				
元 修0百0日 當 琦	雅 親 以		地 報	和		
見京の議二守。以 自	殃 之 它	室 康 及	以民	<i>X</i> 11		ا ا

靖	【 額 非 之 額	或日元昊方有事	選不果行	え (温 / 減) 両 以 (自)	カ 市 議 戦 施 無 和 就 進 進
靖一言誤之也。	憂 附		行修京业	伐O退 7	被
也。	随之憂哉惜不足以語此終宋之世城守無其余非願附於我也使帝信用韓范併力伐之安有西	之 事 女	逆不果行,無故而修京城是舎天下之大而為嬰城自守之計	八之の数 は	所 直 東 一 有 不 一 有 不
	の信用 作用 か	英	入下之	は ない ない こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう こう	孫 八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八
	発 東 元 一 大 大 一 に に に に に に に に に に に に に	新 好 中	大而為	新言王 大 大 大 大 大 大	丽 京 入。備o 有 城 必 禍 怪 堅 促 未
	世の人と、	朝如為	要 城自	者 a f a f a f a f a f a f a f a f a f a	成 固 河 可 黄 斑 朔 量 夫
	無人。安有內	竹幣 卷之五 二 此真建或日元昊方有事於契丹結好中朝始為緩兵計	守 之 計、	冠誠以伐汲入之謀該官余靖言王者守在四夷今〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	勿與戰役不得戰於縣入則前有圣成後有重在公力戰役戰勝則直趨澶淵若京城堅固戒河朔之兵而無備若北戎一朝稱兵深入必促河朔重兵與之職和其勢愈重苟不大為之備禍未可量夫京師坦

古 憂o 臣 癌し而し 貌の日 騎兵求 輅 泰事 帝、 宋仁 張忠 交人 狄 北· 方 為の推 编 或 本 唐末交别 败 予勉之對日秦州了 其 祈 天 郭 略 日 唍 乃こ 鎮っ無 觀 宗皇 元 孫 所投 静○備 危○故 好旋 張皇 儂 下 千 榝. 備 以 鯐 賊勢方張官軍 **啓曆置官屬泐** 馮 氏自 庫精 訓 事變亦思張皇有備 慎 Ť, 敗 加 化十之道也不以至此今 P 卷之 億循 其妻改 弦 益亦危 衎 放 南。 閩帝乃除污 撫 元年廣源 杰 唐泐 江。 Eļ ЭĿ P 中军相 廣 求 丐 西白 Ŧ 使 南 言統 日大兵 内 適商人生智高月姓 Æ. 飵 亡之道適所 宱 ネ 附. 服 雄 \mathcal{F} 乃 欲示 梁 朝 足 D. 州 衙之 中 與兵七 于西原世為 夕當有 朝 įķ 適 湖 **頻聖慮** 将 蜜傻 事 #[, A o 鎮 折 廷 南 严 兩 至○ ィ 夘 理 加 靜 沔 江 **慮** 知 殊 爣 見 張 許。 可 15 共c 百 那っ日、 西 . 敗 以破 一一一一一 猫 未 皇、 人 安機 繕り 下 州 智高怒 與廣州 奏既 廣 治の 州 A, 所 Ξ 非也 傻氏 答 ・ 玩屑 亥 儂 源. 失 而 以。入 全 州 循 撫 炎. 耜 槙○見 之葵 旣 藊 首 45 使、多口 jį 州 南口帝 莊 領っ 寫 槙○蜀○前

	古方略備學冬之五	為之備智高安得建度是至此高迷率衆沿江東下攻邑州使
	四忠责定	為之備智高安得建度甚至此。高迷率來沿江東下攻邑州使共能如門蛋見養洞中機健部落離散知邑州陳共信之不設備智洞中機健部落離散知邑州陳共信之不設備智

古方格借 租の絶 謂之廣惠倉 仁宗嘉 思倉田以為 如 每千戸智 田 Æ 老雅貧疾皆蒙實惠 或日具出納數不 既足害民併先朝良法又并髦棄之安石執 不費之一端熙寧四年王安石新法粉 之復置照寧粥田之舉不安石是咎而誰咎哉 為0 官自 紹聖元年廣惠倉復罷民其無如矣可嘆也 至此追哲宗元 詔 諸 华貯之以: 州 八巷之五 И Ħ 以給○人至是韓 河 租 提 百石以是為差戸寒而田有 刑 認諸 **北陝西京東諸路青前本銭** 州領其事 集中和州縣之老 難。 **祐三年廼後** 不則 こ琦 州 梅公康動 法 姓善無益 此亦惠而 显廣惠倉觀 £ 起請對 之 能の耕 数上三 自 忠貞建 新沙 元 朷 夫 錐 者の其の戸 Τú É

足以待

凶荒之患民民受貸則兼并之家不得藥新者從其便如遇灾傷許展至豐熟 H納非雅

願

輸銭

我倒民願預借者給之令出息 一分随夏秋

,我輸納

是條

例司請以諸路當平廣惠倉錢穀依陝

西

青苗

貸以錢俟穀熟

還官號青苗銭經數年

麇

A 徐根·

部内多成兵而糧儲

不足

令民

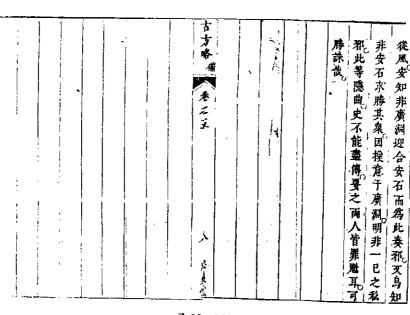
自隱

度麥栗之真先

古万略作 年儉 縎鋏 通判 以赴時 通一 陳 為青苗矣 淮 助之意也飲量諸路錢穀多寡分遣官提舉每與遇 公家無所利其入是亦先王散惠與利 南 不接以邀倍息又當平廣惠之物収藏積滯必待 百萬 三路施行侯有緒推之諸路詔 路有無貴發賬飲以廣蓄積 物貴然後出程所及者不過城市也手之人令 超事而兼并不得乘其急九此旨 職官一員典幹轉移 表之五 稚 王安石 河 北 告干粟 旣 與呂惠 似而非 而曾平廣惠倉之法遂變 出納仍先自河 鄉議定 平物價使裝人有 É 以為耕飲補 六 出示蘇轍等 17 万 出 内席 為民而 忠員產 北 京東

宋神宗熙寧二年行青苗法泐陝西轉運使李於蘇敬議青苗

於是决意行焉、 青苗法合安石始以為可用召廣淵至京師與之議 五十萬貨之貧民隨可獲息二十五萬從之其事與 而民苦之兼并之家得以乘急要利乞蜀本道錢帛 逾月不言青苗會京東轉運使王廣湖言春農事與 之功可立侯也安石日君言誠有理當徐思之録是 すフザ 告人、ラスシ 联少羅有貴必羅以此四方無甚貴甚 暖之碗今此 民手雜良民不免妄用及其納錢雖富民不免諭限 以救民然出納之際吏緣為姦雖有法不能禁錢入 日此青苗法也有不便以告勿疑敬 在安石下然安石實未當思敬言使果徐而思之 艺山氏日野成青苗法者轉選使王廣湖也罪不 有廣淵之奏豈天欲禍斯民班當安石柄用四方 卓養氏日諭月不言青苗安不良心尚存未發而 利害歌然安得復召廣淵與之議哉 日以錢賃民 t 忠气堂



且手部 遺樞 比朝 毁 圖後熱 宋神宗熙章七 致 **承與軍魯公亮條代** 之 誘之使來契丹知之必謂稱 百方疼 大作戰車六也置 也 榆 敝 舎侵入蔚應 秋其 地 廷 訶 Ħ E 容副 官即 别 於西 IJ 雗 **北諸州築城** 建熈河 立 珩 刔 事有七高麗 南之意故引先發制 宗 界至 赤え 境上 似不 譲 相 使蕭素會忧於代州境上部下祖客院 疑 山冀其成 Ù 州 備 不得 年、遼 契丹閩之 韓琦、 以大 議之遂遺大常少 語歸帝面 朔三州 逄 H **整池五** ヹ 不然臣當竊 循 河比三十七 臣屬北 敵為 北 堇 長以 司空富 苟且治國之本當先聚財 界内 * 핐 郸 河東 友 渝 制 41, 咙 以開 被見 新判 使林 置 蕃 謂 方外絕朝頁乃因 人之說造為豪端 以 빘 新七也 三州 都 騎三也新風保里回 行 圕 計始為陛 形生好 牙蕭菔 作院領号矢新式 我一 琦奏言臣觀近年 将 河南府 卿 劉忱 及我二也獨極 地界俠遣官 契丹素為敵 也強取此業 文彦傳 **众胡我** 等如遼 下謀者文 來言乞 思真太 南

大の大の長の而 誤の平の史の島 古方略者 機故程 造端以 泉兵於 邶 去益養民愛力感賢任能 為免役法 ጉ 度上 **悦服遏備日** 備之實豈有 敗盟 或曰 不 桃紫於途耳 臣今為 以 學界世之好可疑之形如将官之類因而能 先の安o 使の其o 臮. 故以井 機累朝 * 備 **房為憂故** 賏 而 , 那の職の 可 ·解慰 使遼 之宿 克若其 芝 本の陸の刻 困っ下の為 陛 **它意疆土素定悉如舊境不可待此** 以 務 下 下c為 鞭 主疑我 明全 計 橋0不 c大 溪 **憤矣勁彦傳** 笞 之 左遺報 泉の霊を 心の知る農 指時 果自 蓋狐 N 珠遠好被進用忠鲠使 夷 非 事 敗 離っ也に怨 俊 É 盟 計 使具言向來典 ○夫○於○新 固 え。 之 公亮亦皆有言大 則 邦 故 為○機○畝○日 陛○斤○商○下。 本 可 獾 莜 也 十 下の四に敷の更 枚 祳 ○夷○於○段 姢 青 威 忠貞堂 武 謀の以の道の無

可以杆散者の程度之北と **今無故棄之豈不取** 古方略備一奉不平 宋哲宗元 遺使來告哀詔自元豐四 路問之路挟與地 事當訪之邊人 固争之日,自靈武而 文彦轉與光合太后將許之光又欲并棄熙河安豪 這借此無用之地,使兵連不解 為國家取毋乃甚于今日平華臣見小忘大守近貴 書特慢大則攻陷新城當此之時不得已而與之其 不與彼必以為恭順無益不若以武力取之小則上 可不察靈夏之役本繇我起今既許其内附若斬而 秉管復遣使來請司馬光言此 執 掌 **若視以子が ことを夏境へ 民當盡強以 求 斾 光 蘭州米脂等五岩神宗不許及帝即位 $\bar{\pi}$ 議 光乃 年 夏國主 熈 輕於 召 東背中國 河 給逐 禮部員外 年用 外夷州和恕亦言此 秉皆卒子苑 逝 **厄矢光乃止會素告卒** 脚瀬大河城蘭州然役 明道交 でのかった。 兵 願失聖心為兆民計 放地先帝有此 乃邊都安危之機不 即前通 所得城砦待歸我 祈 八河城蘭州然経至黒州畿通 往 ţ 吊祭 順立 判河 見りた 泐 州 非 武 秉 功

	丁アル 梅 ガスマネ	基安石執約自用光虚懷受善此相業之所蘇果或日光欲棄熙河關孫路之言遂止過安石遠甚 或日光欲棄熙河關孫路之言遂止過安石遠甚	克復者―旦委之恐後恵益前悔終 の○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
	上二 惠明德	喜送止過安石速甚	特無及矣議遂止のことのでは、一年非先帝英武孰能

聀

幹時

宋哲宗 二旬 江の隂の環 叉 河 <u>二</u> 日 紹聖 川 河の守る四 之の戦の路 陰の之の之 城 四 形 成 賆 夏 名 À ,出て陽 洲 閥之帥 日平夏 荫の繕の夏 河の他の姓 城霸平岩草惇因論 川の岩の許 以 來 烣 吹り高っ層

攻日 用智略備邊 柘境土則 生 使 赦不 矣或 櫀 測 春 故 不 秋 開 溨 魯城 追舞若傳絕 中

八心為大人心傷計奏

权

人

人 敵。

心不

錐有高

城 凡

泺 謂

潍 **令** 日

×

P 之事

利

石。兵

可

制

勝

矣,

ち 柘

方路 "

人卷之五

圭

方

港北

Œ. 貝

與之戰

使之自

困

老

攻

炦

絶夏人歲賜而命沿邊

諸路相

繼築城于要害以進

境土儿五十餘所

築城偪夏 境土 巷氏 始 克有 El. 至五十 粢錐 非計 成 不 餘所。 此 然 用 名 腐 郇 \pm 峽口 A 敵 不 無負而 好 通 而 聍 水 得 勢 好 尚 Ħ 不能城安望 尤 者 行詐謀未有 在 乜. 迎 擊 敗

其害尤甚前此

致记

和。

去此三者正

中日

之

先

務

八个维復-

申

前之 令 而 。 墨

禍o未

不ら 而

根の乾

除い花

人口石

信o奉 之o之

こ 供

选 背麗之

芭

րկ

氏日守要害双人心二者皆急

務

人

疫 Λi 班主

美日

使南

以二千人

守河

找

豈能

渡 方

就 金

金

之言觀之宋惟不守險遂至中原

命

箔

从

ļţ

不足 以っ

特也免

夫之役毒

被 Mt, 以

海

内_C

京

城聚

飲東南

花

卓

立 柘 Л,

敗

者

也。

弘章特其直 汲 京冠 埥 亷 觏 謂 元年、 朝淮南籍謀論縣之才未必能過 聽若示以 轨 比 以 氣 至都 **‡**1. 可以 政 Ħ 蕇 視之 城 今日事勢如 鎮壓姦雄 副 怯懦之 形委靡不振 別 何 說 書楊 及哉 無 復可為也要害之地 之心爾朝 略地當遺接兵追 近邊州軍室堅 聍、 積薪已 闆 金 廷威 然當自 ٨ አ 則 公孫 事去 攻.

子 32-136

占

忠貞堂

:	右方略備			精 不 克 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	古方略備卷之五		•	新可遇此又後先之序也不有母級人心不附耳水
				之序也。人
				新可造此又後先之京也不克守縣人心不附耳以人心而後要害足恃
. ,	忠貞笙			客足特。

宋椒 無事而已如陵寢郊社何如田 芭山氏 何其缺也光徽宗龍任童貫天誤用方平然馬之 急遭兵固守宣府居际為俱從之或目發邊將 言今日之事邊關為急往者獨石馬管不棄則六 大臣有奏看追將守京師者兵科給事中藥盛上 臣不容忽者灌之議未為失計時中拒而不從 宗宜 即此而觀邊不固則京城雖守不過僅保九門 和七年金 内侍 自其出解而 要害以花屬衛嚴禁旅以衛京師皆當日 陷土木紫荆白羊不破則多騎何以薄 日. をさる五 調白 本朝土木之變夢既退京師解 武軍節度使梁 兵 留以衛根本不從 のCOO 時中日 巴央之中 比在京旨 犯 中 Щ 疳 方平允守黎陽 野之民茶毒何 調供掃除者能 疲弱也萬 傾國遠至其鋒 IJ 共 忠貞堂 南

京師與何准智禁旅衛根本同一規畫面素盛以 為失計何數 閱謂禁旅安守京師不當程度以待 七邊將安 扼 險 監 不當關門 而 揖冠智禁旅是而 世有 房 既 退 不 守 題 而 守 京 城 者 哉 又 况 盛 至 中 關 即 預 為 術 京 師 地 所 謂 藩 垣 唆 而 堂 與 曼 如 尤 萬 全 之 遺 也 謀 國 者 當 以 盛 為 法 七 志 貞 毫 七 志 貞 毫

送出境姚古以兵後陰德威勝軍扼南北關河間兩鎮肯固守不下師中因進兵以通之幹能不為其不意當可以選朝廷疑不用幹商不行至中山古方略 (巻之五 大 忠貞堂 渡河上言粘没喝至澤州臣欲縣邢相間提出上盧 再至朝廷以大敵甫退、不空勢師示弱格不用師中 通實無兵自隨乃請合關河卒屯 滄衛孟涓備金兵 通質無兵自隨乃請合關河卒屯 滄衛孟涓備金兵 宋欽宗靖康元年部金人要盟終不可保令 道為河北河東宣諭使屯 滑州 山河間三鎮保塞陵寢所在警當刑守於是命神行 漢入朕風夜追答已縣龍原至和該之臣其大原中 於是者誰東國成皆格不用未幾金人果復至大 世山氏日或備其再至或橋其不意樂夢未有 **甄入不省愚按好問所言皆** 相之成以遇奔衛列勤王之師於畿邑以衛京 臣莫知所出御史中丞目 議備金兵再 好問乃請亟集於滑 切明 姚古為河北 可行令皆不

請 賊 上金鼓之聲日 帝覽其言而壯之及 古方各借 有號令 澤不可乃以為 恨忠義者莫不 西陝之 熒震恐大 明 **宋高宗建** 页滑善傻 帝 **警长當躬** 出 封物價而肆漸同平時將士農商旅 以乞盟終至二 八下令日爲盗之八人情內內澤 但見 炎元 餇 創 伥 叁二五 斠 是○刑 繳 衜 但 和 穢○部 天□指 | | | | | Ŗ 有部荆襄江淮悉 軍民修治 夕相開京 東京铅守 矢 閆 議上 年以宗奉為 陛 石 豻 都 (開封 下っ揮。云っ云っ 4 造 聖北 那之 퓇 急歸京师 誧 王室今即 日自全人 (義之氣) 楼橋 将先 遷宗社 셌 尹 臣, : 開 闄 朝 東京 得捐 要出師 封 進 不而自絶其? の○○○ 播放文於 備 Й 蒙取 綱言級 位四十日矣未開 再至朝 眢 둸 **巡幸澤又上** 冢 時敵 言以告和 1十年 報 以 臣意陛下 士大 、国恩 'n 栍 以騎智屯 復 在 廷未皆命 か会の報の者の盗者の盗 民也臣 東 新 患 枚 上五 足 貞 矣つ

馬! 東の河口 架之具旣 # 堅の置っ渡 敢奉詔以 力 壁の使っ河 朙, 日 比っ 0以0約 勇兵甚盛 以破其高而陛下思于人言優 置 使以 「幸東南 문 盡潛善之罪 ф_o 肿 别 不 恢 僷 7 水。 彰國 匍 使偽楚為 逝 からの おお 五五 復卒用 累 節 所子城外の大海大海の一条之兵である。 澤奏日 啦 制。 非萬全計帝獨感干潛善之言不思 一方客 表請帝還京而帝 **静帝乃手札** 張 那 **4**0 和敗 文関五文の民兵于是 修戰 金人 名至 員量除 沿の戦の以 100年十二百0日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の100日本の 雖清善失第亦帝昏惴 具 段 嗣 前澤竟縱遠之真定 使楚來 劫。 與 河っ陜 金 舉构其人乞斬之后 為の東の天の大の一方の天の大の一方の天の天の大の子方 用 y) ○西 ٨ 通の京 黄潜善計 規虚實臣愚乞 jπ 為 超遇 抴 北 。 西 : 諸 Ħ 商 臣思 忠貞堂 旣 旅∊路 面 Ħ 河の立い各の方

工工工 間所軽 方且肆赦中外震罷將帥以為休兵息民自 之可畏金维通和疆場之上宣各戒嚴 則概點至有一言迎合則不次權用 縱在積年之恥獨不思異世意外之患乎此 備之所以可畏也方朝廷排聲議之初大則 の反 能從 世山 可畏也臣 可畏異議不息非所惠異議息 許選律官及太后且許歸 不謂今天 乃 無 紹與八 氏 至距奏秦槍 媦 胀 江南自今道途無塵和 日田 者 所求其餘一切非所 辰請 謂和識不諧非所患 をかち · 以 : 自 頻 阿諛以希罷畏備者循默 年王 勿: 防 無備上下相家足盡南渡以 立 亦 Ho. 偷 不悅出通判建州遂 是 IJ Pl Ě Д 自此而始 預り相 1 起真健 算逐. 因循 位 톄 領見 來 П 而忠

	是年史部侍即魏征備諭敞情不可信指日公月 理左正言辛次膺閱遺王倫如金定和議宫國耶本宣義難講好几七上與力讓不報以與疾疾補 所說從之胡銓亦抗難言就令廣央可和盡如倫 於正文人為邪濟之此縣一展不可復伸図勢慶夷不 可復振核在次膺銓所見皆與應及合而當日如 可復振核在次曆銓所見皆與應及合而當日如 一個報歌素李清選尹焯梁汝嘉棲炤朱松趙雍褚 不行可勝痛哉
--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

待っ 教之 古· 更の但し備 接之亏等数以戰庫農順之日給以 萬人預為家計 志萬一冠至倉猝恐 敵。方 略○當○緩 孝宗乾道 苡 去位。 沼 意 至日 ュ擇♡急 孝宗多疑 耐っ 江潴 亦 鄉言 **不能** F) 决c 過ぐ不つ以 Ŧ 謙 A 戦っ 卷 郡 責っ當の陰 寒新耳 使o 之: 其c後o制 民o 五: 成o論o州 年、陳 然認 非不 亦 及 仍籍民家三丁者 淮 用 そ。 其 不 俊 可行 成 飵 4 功○文○兵 一行之の 法諸將 及事、 各。 要っ武の顔 卿以 田 中心 使c計o類 然為 請于 其口 然竟為衆論 大の資っ之 **凌江** 兵の歴の息 象 城っ 相口 もの指の其 取 楊 論 為特角 Ħ 州 所格 ・要の以の両 則当 害c財o准:使 和 未 — 八之食聚以為義 州。 Z, 所持 必○賦っ諸 争っ許っ郡。城 以った。 竿 屯 之o 辟o守 守 無 地の官の臣の以而兵 **b**

風 宋至自 詔☆米○儲 大ヶ冬 Ź 行境内。 古 繤 宋 觏 聍 孰 **公食烹請** 道 孝宗 下の三の米: 機の則 進 方 之有短惠者 政 却有可觀。 米商獨其 其の升の三 联 名人 則心加 略 Ż 供っ以 千! 備 盡っ息 以 鉠 日引去所部庸然凡xxx年年年年徒從所至人了 卷之 於府 旌 九七事 於の故 獨の計 對、 熈 **众**及至 諸○一 百 石。 之の米 首 之,乃進熹直 准言修奉 社 言修奉荒政 ft, 得當平 食 A 路口鄉 IJ 償. **Æ** 不 通 其 四 IJ + 帝波 奖 東大 块 扶 十 為 有 人異之 暁 則 * 納之裏始 者 И **Æ** ŔĹ 四 後 米巴輳 倉中。 + 為 十 里 随 並不 擏 0政 祉 家 間、不の以、年に百 爽○不 敽 是 王 Ĭ, **A** 開_C 錐 ゙後○元 飲。石 行0帝 有0及 集 修 准 行不便于民者の 〇〇〇〇〇〇〇〇 一〇は 並 は 個O所 一〇は 並 は 個O所 其 Ħ_o 週 収0数 散0既 Þ 入 其の調 拜 徳任人 薦 散概獨其息之のなりを質見変果於な 逃軍 息。六 歉 言 所○王 **\$** 朱 毎0百 石○石 其應入 华。 学の推 推 乾 溘 即 - 反無行 民 秓 道 EL, 民 人為 不 止っ返 四 花貞 朱熹政 青他 Ħ 實惠 权○府 單 食0 耗0見

7. 一石小口五十二 問 所謂惠而不費具見干此王准謂惠行其所學良 之意方能通行無弊否則法自是漸壞失 世山氏曰意之所以能行社,倉者非獨法善惟得 惟通氏曰此法至今可行借當世無講求者孔子 人耳其要在釋社首雖通號而又仰體有司仁良 願與 不願 願者開 籍っ小 いだりに 対っせ

5 方 序 備 復内監十つ のののの の 重至三汉 桑田者命 舊泄三百里間渺然巨浸土木之工百七十萬民不 宋理宗淳 4p 城嘆日江陵所恃三海不 役因繪圖上之 之工百七十萬民不知役其中撫諭敵動之術有 **芭山氏日修陸障水敵不敢窺非珙所難獨土木** 史氏所未悉者後世起大事動大泉當師其意無 徒苛急繩民可也 表乙五 施五年。 以 ∞城西入 孟珙 丑 知 城以東古 停蓄號日水照 出其水泉選 之浸 0里っ隔c績 .0者c乃o先 c沮 修o鋒

大 ¢ 田

材叉度其必因□積船材于鄧之□ 責の政の為 兵の之の 東の之の 東の武 芝訓慶治兵選壯士雜官軍教之 項十八萬八千二百八十又都南陽 田神夫築堰募農給種首柳歸尾漢 立質罰課般最厚諸州奉行之尋兼變州 宋理宗嘉與元年 、中の何少等、神の液の質の以の赤の東の実で表の此の質が許の寒の復れたのは 事。 夘 州 **流**萬之 私と 節制 蒙古 於○陽 E Ŋ, ○6000---: 寒樊 o ó 雄に悪の鶴 蔡○万亩 峡 安○且○愛 遺○分 푲 耕の日の里 澧 軍 o不o八 M 其積聚遂拜四 期 宜 計で乗り換いまで語であった。 の方林両書署以下が一番署以及口為屯二十為 青史以来の名乗り 年民皆 处 路制置 忠貞堂 養っ柵の軍の 類の 類の 類の 類の 類の 類の 類の 類の 類の 類の 知 四所の良 戰宁、 斯庭 積つ布 船の種の

善馳逐

無事則 行之。

戈而耕

至

- 則悉出而

戦

下

法於所

削

為戰守根本皆 世山氏曰易繁趙

可

行夂

m

無較者

至創

書界安 足食安民

克四諸葛亮遺法

Ŋ

五卷终		更進一等· 使文貌羈縻恐終不能奏之使不去耳愚謂哄賞	寓之士必有智調校萃者在其中當樓而用之若	寓使之不後敵而為我用此尤萬機變於不測流
اه چس اشط فرکانا	余 #框 較正————————————————————————————————————	使不去耳愚謂琪肯	其中當律而用之若	尤寓機變於不測流

子 32-144

英国知欲能处守四 或目知欲能处守四 或目知欲能处于 黑 盡 號 攻之 累月不 点 監 盡 號 攻之 累月不	須口王孟塞雞頭道 漢等選閱謂果使王	職口久國而城不板の で方 歌 中国 ・	則制其支體 水 飲守 略 時 勝 不 飲 守 略 時 勝 時 勝 時 勝 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明
中國可聞董兄 中國可聞董兄 中國和軍司董兄	牛邯軍五字 圖器自悉大衆一元非職以自能山也行延守	《士卒頓赦乃 可乗角 雨退骨(ののののののののです) のです のできる 一のでのできた。 これではる精鋭來でのできた。 一、と見いる	吳漢等諸將開 旅 本縣 所

												_						
T	يدر			-44-	以尚	簽諸	後運	Ň :			下施	大	符受	郡	萼	等	漢	
度	皇	士	ネ	世	闸	ří	進	困っ	ıπ	也横		木	爱	1	攻	復	恆	
尚	球	脩	業	μ,	4,	, 税.	京	地つ	μĻ	主用		為	任	楻	冬	攻	帝	陳
討	荗	攻	城,	氏	刜	是	் நி	勢	守	發圖	刀樞	為弓	_	恋	琴陵	作攻	延	球
賊	備	有	走	E,	州	并(詔	友⇒	₩	謂有	合注	弩郎:	邦 $_{\rm C}$	禄	太	宠言	喜	凮
さ	不善	7	棄城走者	山氏日陳球	刺	麥	DU.	决.	*	き	而釋	之本	登	吏	た 守		入	宁
功。	不令人	及	但		史。	討り		水つ	**	後引	名名.	類判]	頭	白	陳	零陵太守	八年期	守零陵
約	人:	城 至 万	悬意方贼	固		撃	為	淹		襴	之弩	車	妻拏	球	陳球	太	荆	陵
杰	測	至	意	中	l 1	大	中	賊,		多	口柄	. 羽;	拏	進	固く	守	州	1
在	典		方	零陵不	1	破	E 12	相		肵	優日	矛	ī'n	家	守 c	任	兵	
人	押	弦	脏	陵、		ここ	群;	拒		、稅	吉臂	A	且	避	推:0	得	朱	
耳	史	木	攻	不ご		斬	率	+		· 稅	機鉤	矢 引	國	難、	さく	棄	蓋	
Ħ	氏	A	城、	Л.	1	蘭	步。	修		賊	巧弦	引	威	難、球	零	垅	竿	
問。	脱誤	弱	事 ["]	國威		破之斬關等首三千	任之 **			激	也日	機發之	手。	怒	之零陵	城走	朱蓋等叛與桂	ı
/X 1	謑	31	Ή	威		首	三	7		流	亦牙	餐	役	E,	Ŧ	贼	<u>.H</u> .	
胡	道	才	70	足		=	萬	· 101	<u> </u>	灌	言牙	っとっ	言	太	溼。	衆	桂	
胡蘭		1 4 7	Ã.	IJ	İ	+	件 徐	F			如外	横美	者	宁	52	湵	陽	
餘		矢	備	棩	İ	餘	关	井	16.	球	門日	弓越	斬。	分	木	至數	賊	
餘黨南		何	佛率吏	任	I	般	妆	喪		載于	产郭之郭	着春	、 ろ 弦	國	木鳥城	數	胡蔔	-
南	1	也	吏	徿.	l .	14	£x.	fer I	7	· T	之事	臂秋	弦	虎	焼っ	萬、	点	

		百万昨年	得原項獨無愧于心那
İ	:	and and and after	野以 界。 以 先 衛 野 下 界

而歸願 古方略守 以濟 不容於朝今兵不足 輰 数 掶 鄙不從 行至 也令不為萬全之福 萬人一心其鋒難當萬 可必然後率已教之人 鄙失象 養德明賞必罰賊 智之人越大雕之阻料十 平四 史耿 韓遂 干隨 逑 绑 天下言未 里變子 養浩然之 進 年鄙率六 鄙委任 下言未終變慨然雙日爾知吾必死 少前之徐至鄉里率厲義徒見有道 必敗 圕 賊 造章及北 燓 漢陽城 攻 人巻と 午 一秋道州 幹年 郡 諫曰使君 冶 漢 省风 志食禄及欲避 郡 中 偒 十三進凍日 中兵少 得寬挺必謂我性群惡爭勢其 官伯 关 自守苑 懷樊思共於 别 兩 討 計巴離之城其功可 駕反應賊 赦 一內變雖悔無及不若息 粮 金 球 玊 糧盡變值 必危之禍 舉 政 城 通 筝 拥 十危賊闘大軍将 日後人未知教令率不 賊 先被思德欲令京 國家昏亂遂令大人 王國韓遂等傳變知 利士人怨之靈帝 城 . 先 ,殺程球, 外 |b|編為 ьb 宇. ÍĹ, 顕 4 使 南朝之 何のなる 求 决 北 君 思其 坐而 凉 选 殺 不 訓 <u>ت</u> 州 Also. 馬 Ĭ(待 襱 么

	-	方方略。一卷之一		以能平盗青其塚	及日自殤帝至是。於明謂得死於此獨有才智勉
				以能平盗青其盛者以矩節書而世道益	青太守二十°非 與年6年 與年6年 選兵臨陣戰 殁 之勉之主簿楊
;		六 忠真建	, ,	1道益可悲欠	以能 破 差 書 四 と と と と と と と と と と と と と と と と と と

· 可 c 戰處 操 士 相 雲芹 出 t_{i} 伏 追 者制 擦 要割魏 多元 利: 勧: 恐 引 至 蹂 九 E 運 無 地處 王 後、使亡 踔 Ħ, 朱 能 各乃 操 쎎 F 必:北京 掃 7 堕漢水姫者甚多備明 為 在進 也 聚腐 軍 兆 傋 蔡:出、北 之·抗o取 能一 雲っ週、 天 夹 趙 山 欽 下黄忠 水 我必有漢 珪 빍 雲 泉 身都是膽也操 為瓜 楞従 族 - 15 枝の武 将 拒 數 月の都 漢 險 州 邽 之使既之武 避っ民 賊・八 中語 十騎出 引 覣 以っ開っ陳、 選 軍 送 丫 ЛĖ 兵子雲疑 前へ逼 軍運長安劉 勁c門つ且 欲 矣。以 至い開合に中の . 管視 取之過期 弩c 偃c 開 乃○廨 汞茶 丼 Ħ 射の旗の且 歛o 漢 學, 問 共一刺 魏の息の45 兵の鼓の魏 都 俳 龙 Ĥ **黎○中、邀答** 故 敵 : 徃 扣 值 來至丟音 拒0 劉 裁道 定では、 **双魏兵**於 之法 城 備 守 凡 覣 標 酸o 構 兵 ス **兵衛縣** 板幹 逐有 積月。 散 選 終 杨 且以採 ·10. 疑而 兵 如 不交 沒 沒 沒 沒 沒 沒 大 軍 交 沒 沒 沒 沒 好 不 女 一 公 沒 沒 沒 沒 好 不 女 一 公 違 沒 術 3×. J, 九: 既 漢 犯 ij. 172 音二耳. É 坤 4 11

	古方略守、参え一	此番猝至守珪干城上置酒作樂房於有儀不敢 改而退守珪維兵擊之房敗走與此略同 徒氏五萬餘操蓋已棄武都而不有矣諸氏散居
	18-4 - 24-1 (18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-4 - 18-	在 與此略同。

後興師故軍中日夜 邊際數千里要害之地悉列置 平之將但當無 忠嗣少勇敢及鎮 唐天寶四載以 各後世守邊當以忠嗣為法 以為張仁 王忠 撫循不發訓練要害悉置城學持重不己內 出业 思戰忠嗣多遊謀人何其問以是可勝然 嗣持重安邊 林之一 夏仁愿本之後将 有功。 循訓練士卒而 方 方 既兼兩道節制自朔方至雲中 持重安邊為務許日 城堡斥地各数百里 帅 皆不及 河

						古方路中へ各二一 ころう	放不 意	即後夾擊此兵家試 朝有功者	其後夾擊之無一人得返自是不敢	過 .	康積石軍麥馬生虧	為用翰撾殺之	椰城人忠嗣部特也 擊哇突騎施列部之號後因擊屯	H	哥舒於擊吐蕃
--	--	--	--	--	--	--------------	-------------	---------------	----------------	-----	-----------------	--------	------------------------	---	--------

,	in the second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second se	T.	演员	北井	令罪人 。		一起節之仍 召丁遊之然爽定生 親		後:	當知逆順我先不	執 性夹及来訪判官蔣清清新公	道走長安朝服坐臺中左右皆散禄山屯于闲 易之	怪演去怪獨坐府中爽先遭妻子慢 友	知力不敢必免之夾許請惟收殘兵	守李恆也希清解御史中丞盧爽爽懷傳日吾 河西	山脂東京河南尹達	
告惜之	卿力 蹇多後為 虚起所 脂宜慰希烈 繼史葵州人	或日真鄉首倡討賊之義應者題獨店官不下真	<u> </u>	即至平原真柳乾之腰斬以須取三人首續	禄山使其黨段子光衛李燈處夹蔣清	日至萬餘人論以舉兵討禄山織以淨泣	《 へ □ □ □ □ □	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	大喜日朕不識顏真鄉作何狀乃能如是真節建	" 借 .	近平原司兵李平間道奏之帝始開禄山及河北	之及及際真鄉以平原博平兵七千人防河津真	因無雨完城沒壕料丁世實倉原禄山以共营生	之期二十日畢集初平原大守顏真鄉知禄山且	四雕右兵留守城堡之外皆赴行管令節度沒自	大寶十四報安禄山及玄宗下制欲紀征共朔方	

之謀時禄山大 請大原尹王承典 講悟其意乃陰內 講悟其意乃陰內 等 時 響應兄十七郡皆歸朝廷果鄉又密使人入 演星鄉乃使人入饒陽城慰勞籽士丁是河北諸郡 風遊去此亦一音也果卿悦用其策**嚴誠**道去兵皆 命召李欽凑使帥泰受傷醉而斬之悉散井脛之 能拒與長 惠 Ŧ 将高速何干年適至 人天實十 顏 一聲云李 泉 八卷之 山進高邀詣 史袁俊 四 团 泉[刑 郷っ葉○奥o途:曾 徽o客○杲○中○山 練 酥 何 之兵。難以 弼○檄○敵 (謙往 山至 年 皆擒之千年謂杲 幽 兵っ相c謀つ其o使 清高量 井っ 州 當 座っ **蘇○會** 山○從 徴 山 用 o 劇 퓻 山麻 ψ 四西勁卒獻誠 - 使○要○勿 未 弟 禄の鎌の鉄山の日の湊 大 路に真り 寔 守顔 賜 呆卿以 說c 張⊃ 样 何つ 緩其西の 婚日。 起兵。 果鄉 漁陽 慰っ成の俟 為其處 全紫質 誠o橋o朔 云o矣っ方 此郡 進人 业 沝 人口追 Ŋ

防潰 城: 聲ご焚 延 Ŧ. Ϋ́ 衆 元。令 胳 積 Κ 潮後 兩 4 奶 懼、 ナ 守 精 枸 夭 分數 者、潮 于雍 城 貾 His. FG : チ 西至 筵 IJ 帝の斑 ß 兵賊 j. 势 EJ, 上 攻 為 中 血將殺之往 成兵情能有 Įλ <u>,</u> 退 家 亦 雍丘黄出 亲妻子走故 脟 H大小三 띩 不 木 眀 排 将李侠 使 T. **弁C長** 彴 ß m 然後城 計○史 賊○西 與賈 掤 突出 上。以 愯 畴. 拒 進 戴 准 貢 何った販 敗 免 疑力 Ħ 涎り 攻 [i]見李庭皇 陽 合 民 人仙 城 . 'n 枚 葪 城 出兵撃之或或職所 而登延東京 <先士卒直衛3つ起乃使千人7 戦帯 兵二千 設可 兵于. 雍 從 至 凡 ŕ 者 真 Ħ 一戦の其 #, 山庭 衰邑破之俘 令令孤湖以 数千人。延退精 源の除 而 却の間 败皇 Ϊ́ **徐泉奄至城** 食養療 財.: 入 而 城 來 雅丘湖 准陽兵 東高流 赏 贼 固 兼领 煤 博 从 軍 尨 夹 役 縺 Á ٨. Ĥ 11 于 ; 真 仪 孤 必○下: 職の祈っ胎 貞 逑 Ę 5 Ÿ

	古方略守人卷之	不放題耳の	大
	* 2 -	不放題耳。	度子 1、2、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1、1
		作 生	数者。而後地
	5	新	、
	些 有	立	(C) 内 (Q) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C) (C

相守 七千 þη 調 **面 3 使** 其 4 夜o之c節g不 役以書招 四中六矢而不立のからのの方のでの 宗郎 **す** 天實十五載玄 Ŧ 投復夜艇 人 班日君未識人倫馬知天道未衆出戰打以府十 如 班 年 年 在 一 如 是 年 年 在 一 如 是 年 年 在 一 如 是 了 即 是 了 即 全 矣 然 共 如 天 道 枚 略中 心益勸城 四十 張 大亂焚壘 賊乃夜遁 即位 巡 衆屯 撃 孝之 潮兵爭射之父 Ħ 人の財 Ħ 子 靈武時 賊黨令係 É 小動 潮 妖 朝廷聲問 人養賴之分别其泰媽檀仁州及沙馬或在東學大破之選至林陵 而進追幹十 牧兵入 欢笑 不 設 備 A 宗幸 悉摘之分别 衞 陳留 其木 駶 京湖 乃 不通 不 人使課問之乃大點遇 餘 **为**。 知其素 脟 ተ 共衆 里。 以_C 敢 III_C 潮 孫 獲 清 閛 蒯 孝 士っ五つ 媽檀 未絕賊等射之 Ŀ 園 14 輕益兵圖之 1.项之联: 皇 旣 飛 百: 斫c 失 爽 杏二 八数十萬 處真堂 **1** ተ 長 步 潮^ 亥太

	,	古方路守入老之一		传為孙替地耳	1 73	
		九 电负重		非徒欲得矢且示弱使城不	令騙素 旬 日間 民	}

道周 上造 太原光羽後出擎之希德過去 計會禄山免愛緒使思明 法基 17 古 是 **梅晉光弼進人從地** 盂 っ不 之而 日我攻其犯 Щ **唐肅宗圣德二** 镅 人。許與 ■不ひ出○撃〇昧の手〇不〇边 迎 方 賊行皆視地 其用得安逸軍錢 0得 史 ル略守事を之一 三克 一之近城 龙者千餘 賊 + 慂 光 ٠, 李光 特 管中增之以木 餘 光爾購集軍中有小技貨取之隨能使之人為軍令嚴整雖冠所不至警邏未賞少懈跋不至警邏未當少懈跋其北則汝潛越其南攻東則超西有隙則乘 明等冠: 城約 · 步歌盖起 籽數千人出 ٨. 賊乃 村刻日出降時 人城 É 脳 **販為棉** 大原月餘不 裁安慶緒 退 赵 缑 管子數十步外國守益國 此重 道 抐 工三善穿地道贼于城下 及在也至期上 ĸ. 俗十 鲊 ψ'n 中曳其足而入路城斬之自 能官 字作砲機 **酪** 状 歸中范陽 贼喜不為備光弼使穿地 城 上 表质 Ц 下、生精 軍 號皆獨日俄而管中 以攻城光點為地道 一千者 鼓禄乘之俘 鸦 留祭希德等 光弼勒兵在城 作大 飛目石一 Ŧ 尢 麦恩 礟 思真堂 石骸 斬萬 **狄**輒 也 Ŧ 仰面 戒之 巬 轰霰 穣:

	古方略守 卷 花魚堂	中山氏 日穿地道 脂 販管 可一應而不可循行者也盖善制敵者智貴疾不貴是事宜逸不宜於若也直解求之。
--	------------	--------------------------------------------------

畫 是之後遠但前軍糧修戰具居中應接而已戰問之情不習兵公智勇兼濟遠請為公守公請為這戰人情不習兵公智勇兼濟遠請為公守公請為這戰人行為一人教士卒二萬餘表氣自作遠謂爽日 古方 屬將士畫夜苦戰或一日至二十合比十六日的城 兵三千人與選兵合六千八百人賊悉表追城巡督 雅房 南節度使子奇以 ₹ 艺 Щ 坩 路守人表之一 許遠告悉于張 宗 氏 日、守戰各場所 Ŧ 至 巡賊 德 當 遂夜 知此 载安慶 守 張遊遊自 200 通。 能。 IJ 如 尹 左 . 陵の同 子 右 引兵のC · 手。 卒 7 泎 相 + 州 輔 忠真 刺 有 成っ 達 有

別巡えす が照門突出直将五十騎開門突出直 之子育乃牧 甲 **盖走白子市乃得其** 亂 旗師 奮遊送 延請 唐肅 命育草野面 世山 休息 ٨ 所 做射子奇而不 明明 何不 说 深 **将士日吾受** 敍 氏 巡與將軍南 特o椎 直o牛 至 깷 寯 固 直 軍退 幾後 怅 衝○饗 賊○士 賞不 其 賊 後免 腌 建、 庫の **畫軍出戰賊** 酬 区 賊 · 賊乃大演 状 直c霧 衝c雲 Д, 識 恩宜守正 勲以此痛 料尹 벬 使 75 賊っ郎 亦 霽雲射之丧其左 剣 《營至子奇學》 有 蒿 天 至子奇麾下营中 為 望見兵少笑之死 而免 ı, 幸與照空為陳 矢. 中 **城中無所見逃鮮** 40 賊関之達旦 引 將. 但 大 者喜 謂 1 攻圍益思 叉合軍至 \pm 念 兵 一皆激願 + 諸 攻 耳. 感真 餘 君 蹝 幾後 延 将... 儆 捎 陽: 尘 備、必

先是許 以 以城 濮 唐 扩 僟 不 茶 陽齊 肅 雲梯 呹 病 灰. 加 紙 益. 不 樹 ijΙ 侌 遠 至 渚 二郡 皮 騅 于 妒. 闘遂 如 軍 為食而 陽 城 守 半 城至 饋 遠 中 載 為賊 Ŧ, 固 販 桜 重` 不 賊 是 爭 将 至士卒 所圍張 之不 精 糧 食畫 尹子 至 卒二百 運 六

通兵

敗

復

徴 米 滌

艀

巡

*7*5 耗

修守其以

柜c百

消

將

士人

不日一合雜 睢陽

萬

万 雅王巨以共 表 雅 雅 许 于

共半

後

徴兵數萬

叭o

使人

順風持火焚之賦

不

RE

H.

能得既而

陰得預悉

欲 令騎 入 鈲 豫于 绮 城 駹 三九。 侇 梯 廾 7 ∄` 穴 ıþι

出

彖

于 共 Ę Ŀ 城,之〇人,士;

둙

Ŧ

之麻

焼焼 一木 使 賊 不 **得退** 叉 木 以 末 置 鉤 允 車 銭 竉 /4 цı 廃 墄 # 火 上 焚之 棚 木 閼 Œ 一一一一 主兵去何篇宗实! 1 л́, 雕 騎旣 ₫; 旡 ij 竉 至臨 枝 ŕμ

1

騅 准

> 岩. 進

請以

炮 . b,

(1) (1)

准見進明

目

Π

雕

不

S.

存

及

腣 11

譬如 駶

_皮 iii 明

ŧ 昦

相 ₹. 今

依

女

得

不

救 大

Ż

肵

莫不

以

末

퓠

木

'N E

大

بززد

明

麦

泰○語

雲○強

雌○之

服防之人不食と

企の生

矣の坐。

拊

57 及 抓。

W

-# 崩

車 憜

Ž 鍺

其

30 連

뗈 標

裥 缥

OE.

梯 使 大

中 不 木

梯

Ŀ

虚 ıţı

33 末

进

穴

H Ż

置

鐵

鋓

賊

叉 共

木 ij

牨

城

延 挨 巡

 入 大

泔 城 木

漄 截

之熊

₹, -[`

ď. 慷

分:欲:概。

之で不り日の其

忠、大·來c留

夫

弬

Ü

進っ枚、食

Σ

能

逹

義: 华

所。兵

為

手因 野場 η. 沗

將 守東 之雅 後二百餘人是時許叔冀在熊郡尚衛在彭城 及城者巡以逆順說之往往亲賊來降為巡吃戰 城外 叛_ 數 严。 方 Ξ 明 略守養之 萬 + 在 北遠 陽士卒苑傷之餘 穿三重 遽 騎 所為皆應機立辦 之泰雲直衝 守西南。 然為皆應機立辦賊非公司多智益見公果 老 犯 一樣立木 团 而 出告悉于 與士卒同食茶紙不復下 柵 其つ 提六百人巡達分城守之 以守巡巡亦於內作壕以 我り 守延 城中日蹙巡乃令南 水服其智不能 臨淮、 左 右 馳 射 秦雲出" 賊 衆 披 賊 城 婋 廵

子 32-157

古方略介、後之一	臣甘以城遺君父罪豈在慶稱思明下哉。 他得千人不城城中将吏知無救皆慟哭贼知接絕惟得千人不城城中将吏知無救皆慟哭贼知接絕惟為一人不成城中将吏知無救皆慟哭贼知接絕惟之益悉。 世山氏日巡之脩守具罪实之請接兵可謂智勇問之益悉。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

古大縣 **联登城** 愛妾殺 之分茶 能全城生民無以報陛下苑當為周見以殺戮三、(後)聖(在年前の首不者の方ののの日本十十二 何 ζ(i) 活之其 而 巡達俱被執,尹子奇問巡日 登城籍士病不能戰延西向再拜目臣力以以男子老弱人知此起真有叛者所餘後 勝の東長の走 Я 也。 囡 至 色山氏日合巡遠霧雲為春之智力忠義 延日吾志吞逆城 紙 諸 雅陽真可流涕豈巡遠不 徒日彼守 候尚 驅 o 是 o 所餘機三四子奇役 以食士遠亦殺其奴然後括城 **旣盡遂食馬馬盡羅雀抵鼠雀** 颜色不能 乃并南 無○謀 一賊 工の日○将 相 救恤兄密題群帥乎不 節者也 准の唯の尹 4. 緊雲雷 萬本等三 致許 也。陽の子 且我 但力不 江の育 終不為用 我象 il. 准の外 さっ 間 僟 保○睢 勝 庭走 耳子奇以刀私具 君好戰官製尚碎 任哉進 --1 陳 ·如堅守以待 義其所為欲 来の食素 中婦人食之 筕 鼠叉盡 恐出 1.士心存之 人皆南之 明諸人失 ション の四百 八八〇 不 可译 能全 βŧ

百万 城于豈非天哉精忠如宋岳武穆弗竟厥 勝同悲夫。 變出前無窮號令明質問信與衆共甘苦寒暑故 取之于敵米皆自倫推誠待人無所疑處臨危應 使指兵將相習人自為戰不亦可予器械甲仗 呼吸之間而 散變態不恒數步之間勢有同異臨期應降在于 以其意教之或問 接之罪 **巡加守睢陽時** 野守一巻こ 爭致姓力 故吾使兵識將意将識士情投之而往如手之 嗟手延鄉 動詢大將事不相及非知兵之變者 兵不 其故巡日一个與胡虜戰雲合鳥 糈 伙 略如 古法教戰陳 此功 烈未就卒苑 Ŧ 令本 忠貞堂 Ш 與雕

古方略守卷之一 進足退 于陝退守潼関 從 州,謂 按兵不利速 婚聚俸 叔真舆暇不 我則將兵來救叔與許諾光弼選東京思明至汗州 河取 濟河會于汗州李光弼方延河上 河南分為四道使其将令孤彰将兵五千自然陽 其子朝清守范陽命諸郡太守各 唐 如公論軍旅之事公不如光弼夢無以應判官常 賊っ 河。 凍 乾 汗滑 [1] 滑州思明自濮陽史朝義自白阜周擊自胡 · 元 二 聗 ñ 神功等降之思明 ż 14 3: 節度使許叔冀日大夫能守汗州十五 矟 年財料史思明旣 戦 侵此猿臂之勢也夫辨朝廷之禮 洛 洛 陽 扩 勝不 **慢归挫其銳光弼** 謂何守前陽 미 則の百進の里 | 奈何 可守干公計 不守 取: 東腸 地 自 光粥日守 El 两 賊 攻 諸營聞之還入汗 燕王 将兵三千從 何如 日兩敵 乘牒 ψþ ₩, 廖請 ihj 点 .1 祖の若っ 光 ٤ В.

堅重が 将自 Ÿ. ΨĈ 程稳支十日光 獨按閱守條部分士卒無不嚴辦思 何 名、 4 ψ. łī 明八洛 颀 使帥吏 留守常陸 Ľ 共對 供匠 坟 111 Ú 返五 前河陽 つ 孝德可往光獨召問之孝德請行光弼 抻 79 弱機 111 티 青南祭月 引兵購之不敢追光獨夜至河陽有兵二萬 恢 [¹] iŀ 陽城空無所得畏光獨特其後不敢入官退 其背 恩請行光獨 **戴上慢码** 腦改當 使點打 使帥 曲 挺身取之光弼胜其志問問所領到 置 而造之学 **壘門為後繼兼請大軍** 兵。于 劉能 防拿着 魜 沱 引· - 100 **海兵馬** 州北 日此非大将所為 河 뉡 啺 11 德挾二矛策 jiij $\mathbf{j}_{h_{i}}$ 行海 南. 剕 **烈尚有打龍能取後** J) 官。 關 挑戰龍仙特男 治 拒 光阳 于陕 能 午 啪 馬 之子。 左右言門 史思 于是 鼓漆 ğίι 忠貞堂 問須 寬 浅つ若 ተስ Ħ

	百万略中▼ 本之一 三 品有金 世山氏日兩徐行見光弼整暇移軍河防退財西	走隆上孝德追及斬首攜之以騙贼衆大駭曜馬摶之城上鼓謀五十騎繼進龍仙矢不及	我手我白孝德言龍仙慢馬如	甚易之稍近所動孝德搖手示之若非來為敵者龍之懷恩日觀其複樂安問知其萬全龍仙是其獨來	弼日鋒赤变何以
	② 西	₩ _C	運孝	龍 來	知

_													
古方				: : _		寸	胂	安の何	奇:蹁	射	見倉	府 唐 隋 [音	
万	!	;		I.		ち	功。	知っす	栈:淮,	解解	2	斯·奇	
略		- !	1	1	. D	1 ²	進	吾 0 名 之 0 多	高 諸 好	九	中:	刺鬼鬼	田
异				' ¦ मु	神	守	擊	之のも	女 將	姚	徆	史『元	胂
表	. '	i		<u> </u>	功	守	朝	衆し角	色:以	救	有	李二年	
1		1	- 1	Ĥ	ÉÁ	Ĭ.	義	衆の対象の対	茂 朝	北	刺	火 ^丸 中	处
略守卷之一	I			室 9 疾 自 引	平	美之	子朝	送った	复 義	我城東南	#5	刺史李岑不知	功擊史朝義
1						<u> </u>	明義	AG / 1	2、7%。	亦	31	(中) 新	<u> </u>
終								径こ	艮 兵	不	T		捌
1	;			· ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ; ;	4 机		消久	趣し	宿 尚	南	Ĵ٢	所素自	義
				7	七大		朝思	徐二	制、强	酮	翅數十斤計	為大園家川	
	:			14	14"		義別	州の新	走¦請	. 最	屑	遂宋	
Į.				孫,皇	¥.		義別 殺長	使(可有	. 危.	仓	城川	i
ı	1			介全自	E 16		思子	交 5	附近可望且吾由其不意 。————————————————————————————————————	隔最危昌請守之李光弱至	有食之不	所為遂城果栽自圖宋川台班	
1				稚力			明思		且善出其不意 	請	不	毅 是班	ĺ
ì				框 垣 功	1 注:		印列	卷二 音	吾上州	孑	過	別 數	
i	1			較 正	117	Ē	供催	jų į	出る光	* と	過二十日李	昌月	
	-			ìF.	44		位少	節	振り其	李	+	發開 城	1
1				,	.11.	Ŋ.	大	度	(不) () () () () () () () ()	*	17	軍封中	
ł					Λ.,	ň	玻	使	在 6 個) /Li	*C	千人食	
1	1 1			1	手	卓	破 _ 心	田	心の対域の延	767 265	子 l	名人 食 果 書	
ā.	.k_			•	-)	·F.	200	μ,	纵(-) 泛	Œ.	大	果書	

1 陥 表以 Ж 唐 古方 之大 祝 火 -f-臣 £` 德 勝數、 州i 掓 北 撐 為憂乃急 餘 天 / 略守 翼以 以 兇革下 請 佘 噼 肵 北 攻南城韓遊 通 上. 甲 迎其 冏 ÷ 撞 以 贼 不 風 建 甚迅 群 抻 巷 無 Ľ 能 顿 固 巻に二 平Omotionoxoxoxoxoxoxoxoxoxox ** 名告身、 攻 寸 所 臣 施 Ż 使募敢 有 輼 四 奉天使 來 置 詂 渾 E 豋 賊 瑊 輪 天 城 人 推 併 者、上 兵攻 其下 套 地 對 Ŧ, 批 苑士 日 自 道o曰 称 僧 袁州 棉 此。 肵 忠義皆力戰戏 御 積cm 壯 法 據 抱薪 樂之仍 史 奴 城 <u>_t</u> 欲っ 新蓄火以の数字移勢 親 坠 東 施温追出水囊載 分 士 惟 大 運 吾。 私 造 長 張 夫 瑊 北 Ŋ 放對 泣野 雲梯 Ħ 安城 鵙 Ħ 隅城中死傷者 力也乃 自 土 以っ勢 待○甚 烈 食五 御 高廣各 出 年使刑 城 時士卒來俗 中壁 戰 定 二而前 31 Ú 泚 重則 晏 jï 惟仰 之 數 敗 #1 14 矢 易 $i \, \mathcal{I}$

か 表于 御前 若の汴 為 古 軍 Ż # 並 光敗 木 方路 使者 仗 將 煜 北 此口滑 懐 得 芭 # 舆 蝋 Щ Ξ 士 賊 勢 光 鐅 性の兵 山 而西。 步而墜上大驚李懷光 而進 也城上 民俱 九. 餘地 一道之 未○馬 後 泚 '乃 亦 雲 人 兵 者 引 韶至奉 回口 梯 道 EL. 改○使 Ξ 巻とこ 退於是 太子 難○賈集 Ż 换 先遣兵馬 於 庰 鐅 Ħ ٨ 塹 Ĵ. 厚 寷 上 地 地 不 不 天値 Ŧ 韶 親 人 道 泉 大 泚0林 至 以 道 士 喜异 三。投 為裹 絶 得 卒 禀 則 乢 Hã 敗○進 使 門っ 青 引之比登身中 H 賊 輪 亡の言 城 밁 凍 失 腸 雲 踰 皆の炬 方攻 رد 部 張 赤 偏 措 梯 憂 日 不 餒 叉 塹 出。散 韶 陥 入 未c陛 們引兵近點長 从 ħ 쟘 豫 此 守矣此 抵城 兵の松 城 微 Á 夜 不 戰 亦 支o下 豿 則 貯 太 見 捕 泚 脂 能 其 服 禦 城 副 青 也?性 子督戰 後來 城 前 Ŧ 鄁 間 沃 中 炬 羝 Ŀ 大 旣 涠 ŢŢ 以 数十矢得表 岼 以 行 引 悊 松 井 悉不 退 隅 ıΫ 排 為賤 菲 兵趣 攻 竹油 有 法然 日我朔 脂 稱 從 歡 井. 城 人安隶 忠貞 行 賊 臣背 等 聲 無 20 能 徒 涇 矢 湏 為 物。 客: 地 米 頂 扨 物。各 以

		古方略守、卷之二	•	腹仁錫云· 職善備禦全得忠義一 激之力:	所撫訓者故激以忠義一
:		三忠良堂			一倡衆和不至觀望內潰

古方哈 年 卷之	山當	· · · · · · · · · ·	史奉敬言於	文脫竭力拒	再愿宗元和	李文悦
二 用 此 取	師 自他道	奉敬自他道	朔方節度使	拒守凡二十七	十四年吐蕃十	守鹽州
勝者尤多	出入者或守或交货须	出吐蕃門吐	杜叔良請兵	日吐蕃不能	十五萬衆冠	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	咸攻皆須出	帯大ちののののでは、	解園和良り	克复武牙将	置 州刺史李	

受其 嚴兵 宴、乾 唐文宗 古方 互市公綽但 嚴 βij 邪 Ĥ 4 使 蜂 绝 塞下。 執 有 夫 忖 宜 逍 Ħ 宜為 勇為 謁暢感 大 疾府十一·執宜修之使其部落三千人分人與之飲酒餘遇之報宜感恩為之盡力 神 ž 覍 此 雑 择禦 防 和 言徐而 Ŀ 亦 廚 陰 四 矣何 九 衛之公綽至鎮 狄回 橅 Д 不 牙將 姓六州 沒戒 年、 北邊 μļ 種的 回 整進退有 夷 敢 府名都 超當福 名北 Ж 必 制 化 其下無 單 入 刑 抄 夷之法 寒 使 執 貢及 胡 部 陀 宜 夫人 騎迎勞于境至 禮公韓謂 尚 奥諸 督 所 禄人 得侵 代 畏 囯 互 書 與執宜母妻供手 然公綽 伏公 也執宜母 菡 北 鹘 市 柳 慢壓北 造李暢 長 行 所 厺 綽奏 營招 摳 入 綽 欲 僚 則 粘 調公鎮與之 恐 爲 佐 **以其為烫** 妻入 撫使 以其酋 沙 大 以 河 執 Ħ, PŁ 開 馬萬 東 執 à 美沙 使居 7 見 Ā Π_{\perp}

別戌桂 がより 7 縣命鎮之都押牙尹戡教練 克剂 成 察使李叢 故 之成本怒都虞 Ĺ, 徐州 運 北 徐 赵 溑 山 南 宗成 册 遅 州 欴 散 析 选 所 軍 洒觀 州和 為患 韶 詔 蠩 浴 東 **帑空虚發** 徐 移 脂 通 通 江. 逍 守 東下 姕 淅西 雁 剽 湖 察使崔彦會從 約三年一代至是戌桂 簲 灰作 南 南勅徐洄蔡 道兵討之賊 押 若 度 胁 椋 州 信等謀 等 州 使 新使 人 玊 朝 牙 作軍 戍 兵對多前更留成 淮 徐 准 至 李 廷 人間之道高品 卒 南 湘 州 銌 湖 Ħ, 較 吉 业 嚴 南. 揺 准 版兵守要告徐· 葅 使 子植 兵二千起援分八百人 壯 後脂涂和州 于 莁 朔 育 傑 性刻朝 杜 可 ᆥ ďä 廷 絢 立 **華兵馬使徐行儉** 見 協之使悉翰 rie! 度 矣 目. 官 使令低 姚 胤 者已六年、晏求 赦 使巾 Ŧ 徐 75 雕勋 周張行實皆 魇 慮 張 職 一年彦曾 各 卒不 育桂香 廷以徐兵 Щ 稼 攼 拪 約造 泗州不 纬 道 思 \mathbb{R} 赦 攰 欣 共 办 111 玫

*19*5

元に存す 雅 菅 集亡命匿舟中 州の以の峻の為 逍 1 勑 75 使 吾 紥 方略 崖 者 Ŧ 稍 遊沫屯 義 カ世節 彦曾 烙散 城言于衆日、 毬 Ŧ. 場 在 iħş 共 育 文 * 車至 兄 慰撫之彦曾 沭 ή 士 111 子 **全** 越 湯火草徒散 华 故 Ť. 彦白 事。 式。 則 衆至千人 弟吾輩 因 支分城 等; 思 泉 4.0 十萬貨錢可刨足待也象皆 心 H. 必o也○伏○鎮○ 大っ不○千○大○ 爥 遣 不安斯妈好部府 柳笛贵可求 至 族 鱗思 使 1 똅 諭 北 填 泗 然の其の臣の Ŧ 提 · 以 账 选 者 外, 州刺史杜惟 其自 以 縦の側の常の 桝 見妻子耳今間 助等造成 勅 之の焚の臨っ 意道 'n 使o获o事c 抸 必響應 光城 ŕ 逃去悉 網 得0舟0制0 士哉尔 止。人 路 渡の以の宜の 然尤 欲斬 忠見 相壁動 弟社 徐 于内 与岩 坤 E

·介 と、 ! 至0共0部3 招書、徐○前○岸c 1: 相·有 る。 命此 也通 銀刀 何以 兄 討其子弟二難也枝 古 角猫 將尹 當道戍卒擅騙不 而 若 士癿 至 之患後 拾之有五 兆 o 世 方 職 彭 略守 害也將 已在 (豫: 耐 號令士卒二 其 戍 在 戡 枞 負 不能 軍 速。日、 卒 Ù 杫 罪 起 旃 潛 Ħ 來の桂 决 姕 曾 距 璍 戾 進之則 者一 前。 團 疲○州 害部釋其 卷之二 誅 匿 何以懲惡三害也軍 彭 躼 各) 徐 所 Щ 練 λ. J 行儉 、敝の戌 懷憂 得 城 其 軍之首。 害也所過 Ę, 澤し 林則 判 餐ヶ卒 倩 失 止 ØΊ 之 Ξ 乞戌還 託 官 兵っ倡 等 椞 四]7 ~機决于今日 特。 黨勢 撃c在 在 老 の 縦 温庭 Ħ 諸 罪而 此 驛 狡 L 四 内 為 道 叉 丽 閩 詐 之 及 歓 外俱 剽 成邊者皆效之無以 連。 櫃 多疑 皓復言 粉士 作 軱 城 勋 符 亂 刑戮必多三難 É 椋 敢害之則允為将 誅 逸 ο使 恼 傩 復 A 餐何 中特 自為 之₀ 彼った 别 必 之端五害也 懼 尚 干选 彦曾 **今擊之有三** 置二者共 生驟隊を 未 甲兵 惫 以支 土皆其 往9岁 中 释 從 甲盖 申 召諸将 包 帥其 状 梧 祁 Æ, 觓 也 貞 安捷 為 Ш 立能 Ж 稱 難 危

之中四 艏 符離宿州戌卒 來裝後引兵退宿于城 在木中 之見負薪者執而 森 奪敕使之計飲後購入 富餐彭城 公士 至暮得数千人勒兵乘城 决汗 之獨走免賊悉聚城 刺史觀察剛 看 戊 始至財 洞贼 **通去比夜官** 充 利州出兵于野越之彦會成元審無傷沒住 建雲集然後 寄 水 印幕 (請將至 51 以 人をさこ 三百彦曾乃命都英 共 守備已嚴不可復 斷 耗 渡 兆 使焦璐 出戰望風奔潰 賊 宝色山? 榜と **水料** 閱 路 軍 在 本等。 贼 選募為兵有不 邥 Щ 至水 南 攝州事城中無後餘兵賊攻 中貨財 凳 果 館乃、縱兵擊之遺人變版 北 早 さ 城 明旦 得其 館中 数里 定犬 會 尚 勛 恋 內令百姓來取 八情乃 大風、 淺可涉比 Él 賊遂抵宿州 攻先是焦璐 75 空無人又 無供給疑 賊 顿兵不進共思所 計。 稱兵馬留於 潛 進追之時城已 州出兵行淮、 U 贼以 願者立斬之自 為偶 伏 鴚 μ 衆 官軍 火 谷及間 人 將兵 星。 ルク・ 一 箭 間 後 斯宿 北首 列于山 溡 射 至 符 再 城 4 Y. 元 屬名

萬餘人 盡城其族助生聽事盛陳兵衛 也人 攻 明日 水趴 城民助賊攻之城陷賊囚彦曾殺尹戡柱璋徐行 以為 所侵擾縣是人爭騙之不移特克羅城彦會退保 かが 于戝無一人 密等諸 提外伏千人于舟中官軍將至陳者皆走入 ──, MO*O#O#O#O#O#O# 之士卒皆未食此追及已饑乏賊 池 倉 贼恶擊之處者近三百人元岳 外茅屋延 立斬言者 勮 而下欲大江湖為盗明旦官軍 攻 彦 山趣彭城彦曾 塞門選城 畏已縱兵追之點自 取之計賊夜掠城中大船三百艘僻散資糧 嫹 曾奔兖州 將 庭 召 及 及 结束 温 賊 卷之二 逴 監陳勅使士卒處者 官 庭 王城 中 徐者 軍營 皓 見 Ť 彦曾怒 使 Ħ Ŧ, 壯 始 肽 1 草 堆 民 為 知元客兵敗移 知 卒 表 11 居 Ħ, 彭城 守備丙外 舟中出灰及之官軍大 進 不 求 在 香 則 雠 即日城 為 ħħ 拔 無備 等 Ħ 戠 元帥 拒 外 殆干人其餘 櫗 힜 矢石、 知 者欲 庭皓 者、 震恐無後固 勛 為城 舟提下而陳 賊巴去很須追 中 城 賊 引兵北渡 退 請遏 灰 皆慰撫 ľί 則 鄰道水 ηŽ 見妻ぶ 附 而處 酸中毒 固守 阦 家徐 篵 晳

屯濠州 飛瑋 或流 **令** 也 開見利乗時帝王之資也臣見利不失過事 同。 遊 推 枆 アナ 乞聖慈復賜 刑貨失中遂致迫逐陛下奪其節 臣之一 州何患 μ_{i} 戍守光葵 奕使黨與各 臣權兵馬留後彈壓十萬之 依其所請 與妻子 変横 奉表請京 城 直 晔 軍暴卒 李圆 無人草表遂釋之有周重者為勛草表略之妻子別謹來就免勛點視笑日麗助能取 ļ. 軍乃漢 囚 刺 士 准 回戈吾徒悉為魚肉矣劉行及引兵至渦 * 屯 旌 百|淅 勛○充 數今間本道 回 師勛 補牙 ٩ **節不然揮戈曳戟詣闕** 室與王之地頃因 白 Þ 旭 - 剪除五 境 内, 州 誰の鄭 行 回素不 刺史事 為c沂 柔 職. 以 分將 許 徐 准の客 丕 不設備開門出生不設備開門出生 佶 復欲誅夷將 屯宿州要害 人信之皆 縣 愚畏 諸軍又遣 為都虞侯 泗 師無有 州 制翦 節 各 刺 庚 史 帰 宜 趙可立 滅一 使刻 他 非遲遁押 士不 杜 4 配 四 怨 ₩ 桶 刌 隷, 47 **海迎之行** 軍或處 之地 勝痛 削 恩贞 廷日, 悉 不 開助 廷 叉 剉 其略 格完 為 Ħ 娖 作 行及 都牙 伙 F . 愤. 間 Πf. 目引 後 部 固。 城池 泗州 場、 朝 亂つ 肽 都 从 復 Ħ 先 同 洒 作 廷 勛 圓 烷ο 退 盟 守口 以 重 껜

日本野学 以安衆與將士共處此城耳識曰公能如是僕 陵臣任俠年五十不仕 千里大陳甲兵城 書撫慰之道 備至彭 北乃運廣陵與其家飲復 使人詐 干李雅 吾不為也且人各有家誰不愛之我獨求生何 勒倫挈家避之、備日安平享其禄位、 之執 識恐棹 求節鈸 屯 泅 H 龎 郸 為 引兵 以 徐 勛 州 封 Цo 群盗 拔 有勇 小舟 表 待。 當 應基鄰道 自 府 庫船 勋 附 团 之 任 江淮 茶人 城 得入幅 迶 陥 申 Ā 略 挕 漟 と 進 求 炸 者 丁壯悉驅使 城勛出 城 棉 與杜 為兵人 數千人諸寨告捷者數 閳 楄 以 趣宿州造高 街益餐兵功 上矢石雨下 人 救 設けて Ép 周 于 勛 迎勞誘之入城 核 署 舳 郊 江淮李围 如 葪 利子 栯 辛 迎 徐 俳 嗕 啊 州。 州 紳 糠 自 乘城宴道 4 剽 剕 任 衆 至 之字 圆攻之 賊乃伙 各 間 康道 鼔 追 椋 常 亂 щ 四 £ 兵 栺 Mo 京 危難棄 ኧ ij) 寓居廣 **傷癌** 不克剂 兵屯 卒百 偉 子 旗 坤 賊 作 47 鰤 危懼。 Ų + 于毬 Ľ 亂 Ŧ. 首 胍

貨明 落不 祔 請 Ťŋ, 契苾酋長各 承 袁 後 不克 訓奏を A Ŧ 191 至 F 大 徐 失 失 Ħ 徃 郭厚本 為 郭厚本将准 4 追其 求 澤 進辛 椎 義 堂 川 勅 尚 萩 沙 E 誏 南 爲 成 遂 使 + 业. 該請 能の豈の日っ **是厚本為陳利** 拜 东 β¢ PÈ 将 Ē 徐 飰 四 至 縣 **勒使不** 其衆 本 Ξ H 度 但` 教 行 勈 厚本 如 徃 迫 鄁 僣 北 使 責 閛 B 求赦 兵枚 此 代 A 徐 崔 落 枢 百 勅 * 圓つ攻 A' 不聽 之。 起 遺 使 討 行 川 聼 彦倉 官 使 19 後 郭 朱 使 查 行 财 入 軍 李之公 各厚 州至洪泽 數不 片 大 進 許 和 垆 招 咎 祁 及 許之夜乘 之肺 眀 赤 餐 N, 攻 討 諡 都 U 復退 諸道 本 'n, 四 使 招 右 軍 利。 柎 州 及 炓 羽 討| 金 躼 ijΔ 貾 兵以 從 販 為東 書 唑 E 林 使 遂 吾 迶 敤 攻益悉 之 小 將 夜 輔 大 麓 旌 破 線三帥 不 渾 电 将 節。 攻 武 <u>اځال</u> 南の校の技 貞 连 南 浙 其 四 大 草 建つ接り飼 颩 州、靼 聙

約、隋前 千 Ť 能 海 追 之の我の得。 4 遂 挭 厚 不 攻 抱 新 湘 乘場用救 救 約 第 攻 才 城 敗 駆 別っ乃 枡 可 本 止 建堆 74 行 31 庚 走 え。 酒 其學 答 至 捨っ共 敉 有 H. 贱 州 뇻 約 使 Ŧ - 鼓 淮 1 軍 誰 之季 **装都**官景 北 勒 夫 か の の の 至 卷 及 劉 杜 吏 分 ניו 逐之。 姺 士 審 行 泗 日 吉 五 回っ 米 美 等の丸の臭の草の 湘等 于山 卒 欓 周 州、 及 厚 Ż. 擎之士卒共妆 Ħ 耳 撃で 追 华 斯 東 東 屯 此下 耋 Á 本 厫 勛 賊 ٨ 湘の 引兵出戰 袁 棉 州 娸 死 逆 凉 與之 都 遣 安言惑表 魏 州っ 子, 拵 公弁 先 擊 Ħ 惟o乃o隶 冱 頭 共 ۳ 働c 出 Ħ 足 Ŧ 죝 逪 将 讜 天。 似 ¥ þ, 合 **令** 淮 臈 行 抙 ኢ 劉 肿 ♣·o ル 存譲日 第0月0カ0 拒 兵 南、 狐 約 之 さ 襘 大 准 Ŧ. 借 必 城 ijο - 布 兵 兵 ・ 本 年 国 三 Z 屯 將 龍 第 日 の 特 の 格 騂 敗 相 綯 **34**. 붜 遅 抵 士 望. 路 摵 都 進 四 立 精 7 车 去 淮 諸道 1 絕 遂 賊 杂 李 引 Ĭi. 夹 刐 南 省 Ţ, 庡 腨 旣 湘 中 嫫 便 會 永 救 4 破 在都 蕱 炔. 蘊 Ż T 少 ij 共 I 聊 風景 っ則 判 逐 行 陽城 數 州。 さ エー 舟 の能

老0執 畫 淮 垩 設 敕 讜 遂 備 泗 五 方 泪 鞤 以 長 刺 F 萬 前 ± 軟 州見 柯斧 蔡烏 4 行 拞 言于 分進 大 州 槯 略 史 人 民 賊 £, 乃道 疾 舟 承 守 敗亡 斜, 震恐避地 于彭 将 3 兩 盟 杜 力 废 杜 Ħ 前. DI £ 都 Ί 卷之 玉 暓 囂 其 小 引 巢 城 拌 捋 梁 貾 以 弘 Ξ 前 耋 ď Ŧ 權 賊 馯 T 表 楲 城 W 岦 + h 聐 趄 £ 從 东 作 資 引 賊 棄 江左令抓 實等 以 툊 斛 7 模共飲販送大採润州提 陥 不 夜 淮 泗 肋乃 飮 糧 共 舲 州 人 敵 迶 南 枚 里 布, 數 粁 車 夾 州 乆 馬 萬 明 之 泗 甲 乃 散 守, Ï 州 無 得 岸 敥 冠 絢 疾 屯 示 萬 士 畏 徑 戴 _ 搫 免 追 刺 舒 宋 諸 핡 惟 可 產北侵派 至. Ž 史高 其 奄 空 師 P 4 問 寨 胈 州 支 楊 賊 勛 侵 及' 倳 城 欲 師 人 至 淮 州 先 韭 錫 鄉 將 軼 可 縱 闸 以 南 見令私 |奪准 Ľ 重 壁叉 擊官 兵三 'n 村 βĐ 淮 師 春月 行遅渡 城乃 恃勝 欗 南 得 于 及 $\boldsymbol{\mu}_{\boldsymbol{\nu}}$ 請 是 監 萬 共 权 細。 重 散|助 淮 作 不 後

汝走 九 夗 酉 别! 浙 命泰 Ė 夭 歛 始 紀 卒 破 艘 士 Ξ 軍 晳 坎 百 勋 雄 才 勅 富 爏 修守 勛 菽 急雨 乃夢 艘鏖 出 也, 泣 軍 H **K** 使 햮 £ 室 應 搠 杏 門 迎 土 懆 張 中 軍 庚 節 及 基 Á 傋 餫 之 之乘 選 城 不 存 使 度 甫 者 骄 言城に 在 + 城 軍 敢 巷 誠 駯 何 旅 盆 Ħ 使 腾 泎 道 戰 餘 中 進 2 沛. 金蜂 £. 少。 事 汉 曹 财 L 路 不多 前 里。 艦 坒 焼っ 敢 譕 舟 尤 勋 刜 卝 迕 羴 旣 邶 衝 賊 見 戦○風 苑 軍 Ħ 助 遣 代 *]* 姇 N Ħ 絕 31 舟 斧○遊 士 我 Ż Ŧ 共 촺 七 旣 賊 使 掠 'n. · 豐蕭辛讓以浙 · 新春 表 表 表 表 斷の流 徐 師 請 八 其 易っ誠 队 火; 數 權 而 諸 准 其o直 + 王 典○晏 船 張 為 黨 諸 袻 賊 為 道 往 耳O欲 過 帆 鏢○進 人 晏 扣. 前 水 徐 散 道 來 貢 <u>;</u>z, Á 見 Á 乃の賊 牒 铧 陸 州 權 入 盘 者 チ 張 東 得○夾 布 帆 꺠 兵 狎 彖 胁 北 大 及 省 八文之、 通り 兵, 淅 揭 存 止 來。 職 摲 萬 數 集 芸 育 材、 育 出 名 黻 西 三. 千: 得 不 擮 杜 躽 旗 招 退 貨 壽 于 夭 Ž 息真堂 鼓 進 其 楯 先 朱 其-垂 抻 討 H 未 者 以 淮 為 州、 誄 此 讖 败 使、 朝 賊 旗 及 Ŕħ 料 舟 米 袝 觓 廷

城 敗官 立自 勢披 數 伏 前。 柱の賊 伏 谷 園 方 (千人) 水 邞 jt. 而の冠 匿 徐 餎 肬 之自 释准 敵 靡心 娫 啉 弗の海 其 屰 Ã 見 本 伏 4 + 铁 因 殊o州 闸 分 屯 其 + Ż 共 p 鎮 仍c時 戊 柳 之其攻 之兵服 Ŧ 功 之捷 蛱 圍 表 進 E 使 伏o諸 四 7 銳 34 滩 縱o在 敗之 之二 Z 朱 兵o道 避 立 騎の漏 赤 衐 水 邪 要○兵 西 Z 搝 單 漏 躁○刻 將 承 其 赤 壽 客○戌 1 褞 中 遂 Ħ 所 騎 夗 之の沙 訓 ile 州 騝 以○海 Ļη 為 不 器 寒 勇。 将沙 迮 侘 部 待o州 之o者 者 數 者 ΤL 兵 及 典至 入 廙 械 免 Ÿ 左 舆 ぶ Ξ 75 承 : 復 0者 H 數 城 官 所 可 諸 右 萬 賊 Щ 헮 忙 為 賊 千人 斯 U 不 麂 康 軍 突圍 積 驅 勝 軍 人 載 Ξ 甞 南 衝 過 數 迶 塘 承 =0 畴 掠 計 夜 遇 爭 賊 幂 31 千 橋千 道 得三 前: 訓 其 有 平 É Ė 出 襲 軍 麾 馸 狡 軍 崩。 斷。 + 始 ئڌ 奮擊 勅 民 麂 ۸ 為前 麁 屢 批 Ŧ 所 賊。二 茖 懼 皆 諸 塘 敷 夘 塘 7 破 7 ,,, 愚 黄 赤の十 民 軍 散 至 販 飛-Ŧ 訓。 A 斬 散 散 過0人 多 夜 湄

彦曾 分為五 餐食州 品 軍大 萬人 厚本 璐 騎○之 先 Á 且 將 有 邀○遂 數 豐 Á 守 更 伏 會 都 庭 一稷沒不 觅 出载 **戊**湯 之。團 寒其 柳子 皓并 勋 徐 男 造 押 4 絕 開 将麾下 承 夜 王 旗 溬 圓 周 城 盾 稅 鄗 路〇近 助 其親 歪 李 望、動 一聽入執 去 畤 槪 若送 难 重 飠 引 旣 Ė 城 豐 稅 給 湘 魏 辭 耳 童白 數十人奔宿州 大 夹 破 官 者 縣 博 手足 屬 王 以 以 廷 柳 馬 波 X 一爵以父 묫 賓客 立立 軍 屯 湝 姭 精 大號 為 于 而 柳 四 兵 以示 其 數 入 宜軍 蒙 然殺 地 斬 チ 面 悉兵四 农 千 千 城 豐 許 僕 要 之則 至 縱 進 П. 舉 康承 麲 妾 艀 佶 彦 兵 芳 爱 火 追 빏 餘 勛 龎 直 愽 等 栺 曾 精 間 宿 城 賊 柳 苑 勛 皆 縱 軍 勋 訓 爲 出. 之大 之周 共 及 姚 州 姥 子 菼 Á 夹 쌉 欲 軍, 大 推 儹 堂 中 者 决 周 寨 痹 走 圍 不 先 司. 屰 送 ţ 勇 淮 軍 力 懼與許 將 相 走 抵 姚 賊 Z 馬 為 T 南 梁 擊之引 禐 姖 敢 栊 周 諸寨 攻 粧 知 夭 盟 道 戴 有 丕 忠 魏 皆 寨 許 得三 喇 其将 册 軍 諥 殺 謀 佶 以○軍 佶 耛 * 精0逐

至 所ご旁 以 失期處 將 粁 設○迷 其城 ¥ 原 迎糧于楊 不○出 塞 方略 博市 # 伙 是追之賊 伏の輪 能の四 緩及三 以o康 准 西陽 引 栅 待·承 之·訓 合 妻 告·五 流 南府 宇 井白 51 方 及o五 運其資 又 兵自 以o尺 西 团 千人 搶○為 粃 徒 擊 賊 鹽米二萬石錢萬三千番選主是一年 五五年 巷 很 縢 観官 火 三十 城等 籽 と 狽 康 糧 縣 以o六 棚 船 Ę. 闖 矢 火ぐ 帥衆萬餘 承 不 牛 焚之 **販夾岸攻之轉** 逆 ů, 軍 里 知所之動解 兵 期0人 訓 檄 之官 城、 大 萬 勢盛皆不戰而潰承副命 外赴之此 先 承○攻 徐 餐 停 幣。 救 至 割の柳 | 州. 费 敗 士軍 柳子。 泗 嵬 拒 得o子 不 縣至 盛 引 ž 自: 州〈皆 測 先○淮 Á <u>ķ</u>. 至諸 Ŧ 廻っ (誇大) 小○村 甲 遇 為o南 蕭 退 舟○賊 馯 Ήť 服 伏 之o敗 約 保 丸 兖州 っ官 入の特 聆 T 31 布醹而遁 寨 棄 쑯 敗 客 至 里 其の木 號勇門 Ë 走 留 秣o在 城 Į. Įt 布戰 屯 4 下○子 敗 闎 賊 忠貞堂 馬○賊 留 豐 矢○戦 μ, 勋 丞 旣 整0中 縣 至0週,刃0艦 表o者、 Ħ É

		古方略中人卷七二二年本	恶乎叛亂相繼而不復振也 房獲聚承訓為恩州司馬賞罰失宜莫此為甚樂	寒路嚴常保衛區承訓討麗 助時 逗通不進又貪	非杜順不能成諡可謂不伐矣然朝廷不聞別有 迎兵糧在返几十二及除亳州刺史上表言臣功	, 世山氏日泗州被國足七月辛 蘆在泗州犯国保徐城泗州之國始解	寒樂就圖之縱火焚·桐斯衆大敗王弘立處吳逈退
		态复金	基金	叉東	別有力	聞出	迎退

	古方略守父孝之二 を 必貞堂	教為南幸之謀此所謂戎狄起于輦下者也 用之舉事如此固宜萬全陳堯妻王欽若諸人謬 或日有準以執獨彰有旦以守祖發而真宗能所	(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	宋真宗景德元年 契州至 陪緒入 冠围 雅州帝用冠冠华 戒守城壁
--	----------------	------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------	---------------------------------

欲窺閣 不出。 赴珠 在吾禁中 共中 古方吟 欽 也 IJ 西 Ŧ 琼在 不妄言 方識東 至の Д Įŗ. 皇 斬瑋 備 芭 真 大 共 調祭。 報 未 数對 秦 宗 山 Ħ 垩 彼 泰 帝 謂 破之 幾 中。 號 Ħ Ė Ú 川 灹 封 祥 瑞 (购厮囉 삠 Ŧ 故 Ħ_o 数言贿 日 令 和。 觀 戒 西 符 勒 請益 ガ兵堅 夷 秦 姓逸 巷 辑 獓 陕 陛 妄言者翰 配修太平事 九年、 臣 遠: 廸 <u></u> H 烏 下意不 置 不 竡 典宗哥 來。日、 族 會食 一兵為 ተ 轉 獨 偋 諸 廝 夘 先 此一卿 帳 誰 賽 運 鄢 雅 秦 事 堅○所 自 双 佛 中。 可 使 兵o欲 林 普吐 ₩ 兵行之者の 学士 激 **時**。 以瑋 之套 恩 是 非 代 自o從 名城 盂 曹 角 怒 族 怯 瑋 可。鄭 育赘. 以 侑 取 瑺 允 厮 棉。 連 也 者: 以 方 以の州 李 虚 欲 敗 是○山 瑺 寓 耛 進 撣 ľ 廸 寸 益の門 廸 張虜 內 吐 忠 文 帝 以り針 詔 之。出 勒 E 小 奏 宼 斱 愛 之 兵0 冠 知っ 帝 赘 瑺 E_O ₩ 兵。 Ho 勢、 講っか 之意 不意 不o使動o課 捷 瑞良 退 詑 棦 知 因 갓 益○伏 出直 15 C 兯 問 保 內 啪 非 赆 兵っ危 勝っ 2 矿中 頗 及 坐の者 廝 IJ 將 特。 朝 牧 覆っ功 陜 俟○憨 上 必 廷、

涿 **○ 乳**。 尺 圆 世 以○衡、宋 或 ٣i 7 遇 世山 崩っ 뉈 ñ 城 角 街 銀 賞の言った 實以 人成賜 :其骨 惟 釋○徭 且。夏 石 冠0延0宗 种 · 横 之 役 和 T_{Δ} 衙 氏 戦の之 衝○安○康 世 櫾 亦 名 且○舊 城 Ħ 東の定 削 規 F 袻 右 衡 使射之の 表えこ 去教 畫 不 是 遂富實教 青澗。 Щ I 城○朝 可 城 許 之。解 教 人 然 奼 っ年 固 射則 處險 民 審。 凡o芥 百·0 時 里 0 塞 從之命世衙 X 双 延 淝 1 習 能 ۴ **屑○**可 **石○**字_○ 安之 至 世 民智 者: 是 射 扞 射。 街 無泉 有c門 一。世 樂無 妕 優、 勢。 凡 故○諸 知 見 + 免 議不 `射, 城 畚○衡 左 寬○砦 具高 定c 日, 何。 績 有 537 事 州○旣 重 75 舯 其後 非 渦 、銀 償○過 可 守。 請○曆 世 致 是 Ħ 積 失。病 衡 首○石 阿 因っか 夏人 一座っ州 量っ判 分 雖 者 Ť 開い銭の而 東 · 自生 鏧 亦。 ٦, 之栗。 富。 池 113 Œ 注 要水争 可 使っ者つ ķ ħ 而 城 固 Э 募の泉の無 の泉の泉 迷笛 午實 之c與; 五 c 射ってっ 堂 Ź٥

中官已行帝色變倉卒	四方之兵不日雲	明皇間潼關失守	尚書右丞東京留守	重.	発乃其職也時中念然日李綱莫能將兵出	李邦彦等雖未必知兵然務其位號撫将士以抗數	與堅守以待勤王之	在指此欲何之今	古方衛中人先之	有如	去之可乎帝默然	曾然謀官李網日道	潜通京師戒嚴宰執	宋欽宗靖康元年金	李綱諫幸襄			古力略守卷之三
倉	雲集亦何	守即時幸蜀宗	Ŧ	4	念	知	之	日之	三	都	太	道	執	全	鄧	9	Ħ '	
卒	柰	莳	組為帝	億.	然	兵	師命	之 ね、	<u> </u>	城者。	宰自時中謂	君皇帝挈宗	議	幹		去	34	
降		辛四	為。	使出		· 杰,	₹何.	計當整飾軍馬		(相 ₀	時時	东	請 帝	離不		袁州	婺源	
御桶	踊明	学	力(101 .AL:	* が 利力	稚	問誰可將者綱目	整人	ĺ	且宗廟	中	望	出	渡		, '''	<i>V</i> -1×	
		廟	陳 :	顾	草	位	े ल	餅	i	廟	謂	宗	出幸襄鄉	河、		張	余	
口朕不能留矣且也	覆	朝	不	以苑報	大能	號	將	軍。		祉	都	袓	襄	將		自	懋	
不	轍平	廷。	可?	ン応	*持	橅	**者、	馬	Ä	秧。	城不	以		鳳		烈	街	
能	Ŧ.	燛	· 头	一報	产兵	將	網	固。	·	自	不	授	以	汗		الما	مسد	
留	會	於	7	5. ፖታ	出	1	, 目,	平馬固結人 心智		我百官萬	可守網日	陛下委而	避敵	汗京 百官多		定	韓	
人	内	贱	Ħ.	小以	173		n 故	[人]	. A.	民	4	i fo · 委	N AS	作	i i			ĺ
1 4	. 侍	まっ かん	, H. -보-	. 押	当台	机机	将	10.	ų į	Ffr	F	孟	鋒行	多	ř			į

戦守之具不數 彼 ħ 幸乎皆日願处守綱入見日陛下已許臣留復 乘與已駕矣綱惡呼禁衛曰爾等願守宗社乎願 不已帝從之欲詩旦决行實明網題朝則禁衛提 責之卿勿致疎廣網倉皇受命是夜宰臣猶請出幸 守為然帝意稍定顧 可留網拉 方略 輿播退人心 搖動不 i 乘帝奔幸 或日自兀木渡 無不 手矣繇 國人最 山氏 拜俯伏以处邀之會燕越二王至亦 何 E 小數日 : 女母妻子皆在 IJ 此治二網 後則 肵 金 可己可つ語○夜〇朝O心:先·有·授 受 以·集O街 祭之帝感 迥 元鲁都 쥮 袻 許道 如掃 江諸 捛 綱曰、朕今為卿留治兵禦敵專 房首散 之所 紫而 可復収拾耳 二 兼 衍 排 が城の原 7 以力 立那 逐业乃 指仟逃入 函 起兵以復 其不 使 丽 Н IJ 洪 守汗京 知乗典未達以外のののの 立写 71 Ť. 能 艃 中音 Ĥ 됌. 耐 置 從事 都 Ż. त्न 乆 隊 建禁 拔 平道 I. 护 P J. 'n 火 那 1 秆 蔣 夘 不 中の以

子 紫荆 世知 幾千里今京 綂 **此誠南遷者之失計** 赐去朔方千餘里唐之遣在西長安去吐蕃界亦 Ħ 加 間 守沿邊諸臣凡所為打蔽者可忽乎哉 関近者百里遠不過三百里**切近比** 金陵僻在東南不足 議 靖 者 難 へるとこ 謂 北 都北抵 **延始定都北平** 南 京 跨 居庸東 也所可慮者淡之邊在北 ìL 南 以控 北 北抵古北口西南 УĮ 祈 御西北非勝地也 為甸 以金陵為南京 服 Ξ 冇 狄雖 忠貞堂 遷 殊 払

父歸燕雲之人在漢者割 京城 而 两 貫解稱 存趙氏宗祖我恩大矣令若欲議和當 膝行而前恐怖丧膽失其所言幹離不謂之曰爾家 日安危在此一舉臣恐李稅怯懦 帝因求大 攻宣澤門李綱禦之斬獲百餘人金人知有備又聞使其軍未至遇金使吳孝民來因與偕還是夜全人 帝與金别立誓書結好 石群臣議之李邦彦力請割 朱欽宗靖康元年金幹 百万時守人老之三 道君已內禪乃退孝民入見問納張致事令執送命 便帝竟從邦彦計命虞部員外即鄭望之及高世則 以宰相親王為贊选大 銀 五千萬兩 破在 府度且言曰上皇宗朝事已往不必許今少 臣可使者李綱請行帝不許而命李稅 項刻所以飲兵不攻者徒以少帝之故欲 誎 훩 牛馬萬 地 项、 仍遣親王宰相請軍前可也 離 (中山大原河間三鎮之池 軍過 表段 不 地求和李綱以為擊之 軍 袔 百萬匹華全帝為 抵 乃退 候國事也不聽來 **汗城** Ħ 輸金五百 ŀΞ 排户 西出事 忠貞堂 甈 岡

萬兩而民 遺 不足光都城 乃避殿减磨 更盟、 而金 慰諭之日、 示之以張 (何灌力 質則 P 以可 終城而 粒 什 幣之數又不足較帝黙然網不能奪因求去帝 金軍為費以求成初邦昌 宰相 不可者宿留數日大 稅 伯 也 依其言遺流 10人 間 戰 正自卵至西斯其菌長十餘發其衆數千 追 李邦彦等言都城破在且夕尚何有 邦昌為計議使奉康 大全國皇 柳蒂出治兵此事當徐因之網退則替書 巴空李綱言金人所需金幣竭天 括借都城全銀及倡優家財得金二十 速歸此時與之盟 等 帝好大宋皇帝全 以誓書先 Ţŗ. 敢 措 14 與那 Ŧ. 則 第、 構 徃 -→綱親督職募壯 ○○○○ 八所要求皆郭藥 不敢輕 言遂 Ť 彼 彦等力 第精 持 幣 Ø. 九高 割地造 三剱 軍 . 子宗 忠貞 中 济。 Ē. 常名 下且 入り 和 賢敬 而

下下降守一次 乙三 六 北貞堂	不意身自為質及行乃邀帝署御批無變割地議帝不為康王與邦昌乘後渡蒙自午至夜始建金營也此日亦大臣使金李綱請行當必有所以折思和东西,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次,其一次
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

官! Ŧ 告 窄 + 攻○仙 鳥 實增牌 脂 胰州 束 . 居 芭 1.悉於 不 百 長 萬矣、 命 象來 方 Ú 即 c 又 道 o 大 建炎 大安道阻 車 浚 民っ端 三角 咻 李彦 徃 氏 彦仙 4 人♡敗 П 浚 分 攻彦仙 廖 李 四 援 El. 釒 必 其 Ż .交 求っ 喤 彦 年 仙 (技彦仙 悉斬 兵○婁かる宿 不 若 軍 槸 益 袖 守 不 仙 得 Ŧ Ш 角 敗 爲 岸彦 陕 有 可 者 進 呋 婣 + 張っ僅 之婁宿聞 戦 州仙 海 宥 雕 皆哭李 彦 炓 И, Ŋ 意 浚こ以 守 平字 全 要之浚 陽 力 仦 全 箫 Æ Ł 身 備 原少 襲 一排大 平 В 而 免彦 F_{i} 如 月 : 進 人景 帝 原 と 觀し城 與 ìć 赏 Ħ 婁 綂 苑之初 於 亦 自 遺 全 こ層 河 緩之 數 爲 有 仙 領 不 風 戦 彦 Ī. 出 始 景 **虔**っ蒲 邵 能 妻宿 曲 個 窥 湍" 與戰旣 B . 本 金の解 彦 與 走 無 媏 投 蜀 П 东 折 人っ率 復 仙 七 温 一种其大 題 因 河免 矣 槉 可 在 少ご兵 椃 州 私 75 彦 而 .化 軍 求 併し大 州

攻城、 食

等

力ぃ至

來の彦

蒐

廢

其

曲、

仙

不

命。乃 之險 孫 尚っ子 前 集 古 中の敵 沮或 州、宋 p_o 愆 偓 原の材「 聞 散 方 之口方 四 聍 髙 賈 以っ国っ命。 耳 Ţ: 壁ご肆 單 箅 未 川 請 宗 쮪 氏 世 断っ請っ大 浚 分 内○拵_ 駬 全盛 重 子 敢 徙 建 然其言 至秦 抑 方 布 遽 安、未 中 治 炎 有 竿 卷之 胜 全つ過 聲 窺 敵 羨 四 斷 聚 路に称る以 州 麽. 犮 蜀c 迮 援 爾 僛 邠, 料 年、 敵 逑 関 聚っ其 Mi Æ 召 Ŗζ 之っ郡。 不 令 入 恭 士 引 兵ン衆 諸 用 原 相 ĠŦī 心っ宜 不 冦 散 軍 浚 子 鳳 古 扼 参佐無 悪っ司 卞 聞 埾 久 事 声 [7] 聞 籽. 進つ変張 羽 等 翔 險≎ 進 十二 矣 割 惟 金 豥 言。 于5氏 奼 聍 甚 官の但の退 絥 重 子 親 人 于 熈 諸: 敢 憂○當○失 必 鳳っ十 使 以 兵 入 羽 IJ 階 将 行 出し留の計 7 Ti 汧 河 川 晔 兵 大っ萬 之 [日_七 矛 成: 不 者 隅つ駐コ梅 入 р 動 餘 順 盾 鳯 Ŧ 呼い典の特 有 散っ人 チ 胨 而 自 知 軍. 召り州の何 敗 岷 開っ軍 三 宜 羽 投 随 事 州っ 州 可 諸つ外の及る 退 [P]さっ後 Дэ 大 Ą 17 偋 固っ 潭 和 3 振 在 3 Ti

尺益 合金人自起海角 빰 去没立方攻箭 方格守 高宗 疒 成 連 鳳 保○守 敗 兀 班於 出散 戰功命諸 搠 此っ計、異典 ボ 民 敵 或 敗全 冠 郑 玠 腻 必の額 守 尚原 卷之三 其 不0卦 坌; 朿 和 筝 將⊃日 年 遊惠相 敢o宜 权 | 狃于 關。堅≎會 越○迷 散 異 張 |原 本 玠: 陣の和 我o屯 茇 後進将之東 |粉没立自| 命 城 帥 **皆勝及與玠戰** 舆 而っ漢 保 以 神っ称 夜輪 進の中。 夾 奼 之口原、 吳 和尚] 其弟舜大 全0 채、諸二 Uo則 新>潤 + 是o拒 玠 科学 取之 南部 ション 発 が合 たか 所以保 以 保 以 保 楊 原務果器兵列 分。與 餘 萬 之の奇の番 ◌ 官 P 果 以o 鳳 陝 **造粉之日令保** 敵」兵っ迭 造浮 **助** 敗之別自 摉 西 島舉折合自 蜀っ安 諸 第二条 撃○號⊃拒、 聚 期 路 絶の駐○進 其の隊○薄 跨淵 大敗 χ. đ 糧0矢0和 É

		待勞之法	庭安必据此外之功所以不可少也。金所窥非玠起守原上一 戰勝金則蜀必為金有及風翔和尚原隨州方山原而已川蜀沃饒久為	或日是時開職盡順于金上餘階成煨鳳光五州,力放能成功,力放能成功,力放能成功,也以忠義皆威泣願盡死力,故能成功,以此義皆威泣願盡死力,故能以此,就以此,就以此,就以此,就以此,就以此,就以此,就以此,就	亚剃其最髯而道初金人之至也孙爽臻以散卒歌烈玠因縱兵在擊大敗之兀术中二流矢僅以身元·
--	--	------	--------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------

- 次高 六晝夜先者 目. 遺 既处 野o劉 入o于 敵 F 大軍建 後者代攻於軍弓弩亂 何 拨○羽 速那遂悉力 玠自 閘 Д 積. 來 ·聊用 池○敗 乃 Ħ 更募妃 仰 业 攻 攻、 **湯、馳**0田 金 撒 三〇晟〇勝 州 餐大石 土 人 百の守の而 離 £ **先卷二** 繇 喝 間 至っ風 大 以 推 道 警 人推 屋 自祖溪關 凶 風?面 如是 | | | | | | U 黄 柑 召り洋

央

鳯

十

À

持

曹

招

子

羽

子

羽

皆斬之 而

縱

其

爾、

何

. 可和也

Ħ,

我 遺

兵○語 預○賊

諸軍 夵 支逐, + 濆 敵` 忠 入 貞

殺馬 羽 遑 重

河

所

众

軍

士

N

食

而

子

羽

玠

復

人深入

、機肯要な人機的不

略 及 洧 為 翔

Ŧ 亷 全兵

卷九三

間

謂 龣 骄 其 Įį. 在 不 後全 恊 西 : 能 + 邉 Á K \mathcal{I}_{L} 六表 故 童 拔 者 一溪澗 涉險東 悉降 燕 **施者** 1 子羽 來 作、 不 亦 Tъ 虞 可 遂 引衆選子 違 勝 **矜馳至雖 興元金** 計, 盏 棄 羽 人 玠 薢 始 团 車

謀 丽 批

役兵 三泉縣 之遂

玠 艞

邀子羽去子羽 出班後乘高以間

不 縣

> īfī 風

祁

定

单,

5)

可り焼

退保

典元. 雅喝

于

羽

亢 堻

退

保

大

安

亦:

逆入 之西

典元

至金

鎮 典 团

四

川

大

震子

草

芽

Ż

失

口0玠

節使

氏

Ħ.

間

會

于

机。

心

不

要擊

金

Ī.

Ű.

會

子羽。

Ŧ

玠 不。

共

分字三 政:

泉野

El_o

外

蜀

Ŧ 留 明子

子

羽

Ħ

獋

办 闡

4

形

可し

絧 青 浦 掓

制

置←

A.-政 ホ 牛 焚 骄

大 售 7

創 Д 侚

利

但 玠

非政 亦

軍 道

一呼節使

亦 能

安得不受经

E

子

羽

忠義所感

亦。楊

玠

徘 不

行意其爱将 與士卒取

新 大○甲 使 呼○食

去・軍っ

矣○門○

守連 子羽 里子羽 靐 篞 日 斜 加 平 谷 子羽 子羽 核 有 兆 水。 胡床 去 遺 今 *T*5 子 Ħ <u>4</u> 築 **曹盲巴在** 龙 壘 羽謀逸之于 壁、 Ŧ 4 μĺ, 此 諸 方 此 敵 将 韩 金 įΣ 而 式 Ļ 亦 牛 全 办 休 引 日. 不南、茂乃 不及 去 Ł 此 聍 £. 非 椒 張 距 雅乃止 誉

Ŧ

忠貞

矢送射矢下如西 生兵避至人被五 悉治 Ŧ 来 為二兀木 撞 N 宜っ以 高 右索隨急 皎 竿 敵 笋 盆の書 以 平の去の珠 和 首 守 修○抵 刀一碎 _. 萬 移の舞の守 邾 玠 尚 庫 共梯 攻 劃 隘 **F** 第つ玢 央○建○和 宇 玠管 地 璘 守○進 于 卷 二つ謂 丽 守口乃つ尚 P 仰 妙 雨、 重鍵 後 東 凯 以 H 之 殺o攻| 之〇令つ原 人 监○殺 **興** 長矛 Ξ 示○金 韓背 苑 諸 斩 金〇仙 至 夷 璘≎観 者 必ご平 鹎 牛〇人 列っ飾 镬 將 擊 是 Ħ · 陣 が 久璘軍少 村 走 施の之 以の開 兀 钩 Flo : 戦 「瞥○不 積 婕 Z 之:七 戦の地 當の自 术 壘○繼!璘 加連魚質 攻 詺 敵 西 期 叉 晝 然○濶 其○鐵 撒 於○玠 西 K 先! 後の違 瑛 夜 脽 脟 以 衝の山 仙つ恵o金 北 有論 im 億つ率 **بال**ر 套 可○前 始 璘 夑 喝 捿 人っ全っ几 得 Ħ 豋 耐 急○銳 退 梯 以の陣 関の人の水 崖嶺 道循鏡東 姚 刨 與班 生 土 者 别 攻 必○散 武 菱 屯の卒 右○必○戰 曐 階路 璘 檡 勝の漫 帥 鳌 第0介 斬 20後0か 步 Ŕ 後 壁 ・以て二つ共 全 地 忠貞堂 玠 地の深の仏 樓 從之。 人後 騎 名 0入 0人 ΨĒ. 艦の間。 Ŧ 於 IJ 政 馬:隊 金左 日の且の閣。

推之于前而玠扼之于後也南渡徽幸苟安以此	百方略中一本心三 西 學以當前自是不要動矣 選排原翔校甲士田為久留前自是不要動矣	扇路又敗之是後也几本以下皆據妻拏來劉養乃官通玠這統制官張彦却横山砦王没伏河池扼其官通於這統制官張彦却横山砦王没伏河池扼其	四山震鼓動地明日大出兵統領王喜王武率銀士撲滅之玠急遣統領田晟以長刀大斧左右擊明炬樓領以帛為稅施之後正金人用火攻機伸以酒金
安、以此介	忠:惟·矣、〕 以世	不 亦 河○左 河○左 河 刻 地 ○ 年	車 撃。以 鎖 井 炬 走

																	···········	
			I		不	庖	皆,	拒じ	古方	勝	想險監擊之金	張	金兵於	人员	江 香 茶 糖	意	宋高	
勝	後	蓬、	楊	也	能前。	薄	望	25	方!	欽	败。	樂	柒	邀之	首东	魏	哥	
始	用:	型	庱	Д.	前。	城	風	韩	恥-		隘	飲		Z	凝糖	胁	泉	魏
也,	鏃	٨	役	£	多.	急	提	IJ	午	λ	撃	鹰	新	寳	舟令	扼	柖	胨
-0	it	韭	4	В	多克	攻	勝	单	岭 中	城	想險監擊之人	槁	橋っ	寶遜	桿モ	其	典	固
		其 下。	役守成	绪:	傷	城急攻勝	退勝又	駢	笋	全	金.	単.	敗	風	禦平	後	Ξ	守
	准之攻者死	核		日鋒金液拒敵	乃	竭	進口	以单騎逐	<u>بر</u> =	兵入 城全人欲過	人知	樂飲酒犒軍士令固	敗之勝	至	飾	後分	+	海
	7 0	城	都發冠	夜	拆	ή	+0		=	歓	'知 "	*	・勝・	至東	升	軍	-	州
	*	4	好	拒	ĮĻ.	カ 捍		於		過	不	固	〕運	侮	師	數	年	
•		割え。	取	益。	授 岩 走	禦。	數 里 c	_		砂	F	-	0 中	慷	舒	軍數萬	年金	
ŀ	1 76an	失	民			城	 <u>本</u>	門		堰	攻		っ北		海		人	
١.	退.	[숲]	籬	此守			Ĺ.	Ai-	'	堰圛	' 本'		o 關 _o	鷹	道	海	大	
, -1	TO E	石不	香	禦		上鎔	金兵駭散	外 _o 大		堪	攻率軍轉而		金兵追關。	版属士	終	拼	泉	
1	重	化	重香温	外			、数	八		A .	F ph	暖腳	<u>.</u>	*	将拒敵於膠	州會李寶養	7	
	꿏	HE.	H _O	之曼	•	金液	∴int ∵ma'o	聲 叱之。	İ	A	9 - -	特	っ道	本赴援與	必	本	53	
ì	忧上	· 🟠	### ==:	後			>明。	4	붚	胨	而渡	乃	o (131)	接	从	*	4	
1	7	· 🛬	一面	赵		校	- mE	\sum_{α}	.11	4		-b	の勝	17丈。 (由)	醒	授会	-	
	乃退。蘇是觀之此法	能入火不能	屈	朝		火。 牛	莱	全身	#.	城為階勝先巴據	度河襲陽後	少追	○登	勝	ル	午曾	舉入冠金宝売	
1	1 4	3N ;	之	效		🕇	各	#4 T	忠貞堂	捷	後間	士	o 関	<i>加</i>	西、勝	白脂	渡	
ļ.	非自	燃	以為	者。 唐		全	務	五百	堂	堰	子 (名) (1) (名)。		つ門	100	進		淮	
P -	ياليار	慶	构			兵	四	13		1 7 12	TAC.	, , ,,, ,,			126,	17 1	/IT.	

下不安守不未で三	世知守城而不知掩襲非克敵制勝之道也
trip han the 317	知掩襲非克敵制勝之道也

整銀 器の敗 進 兵 城 洏 築 再の餘 絶: * 稙 穿宑オ 方路守 前 折 金人 横の老 其心 政典の日、掠 墜 城 偃 、鑛石工 棚っ金 路 佘 孟 自0兙0趙 唐 中 又 月 路 炸 选 恳 城 列 奴 列の帥 嘉 軍 城 明 6方 鄧 原 · 利土城 颓樓 临之即 施毒烟 烈火計 氌 夏の兌 定 政 中0合0知0境 焔 IJ 晝夜 巻に 先殿 士 骑二 滯○顏 + 力 出の戦の其心焚し金 長 满華矣火 以長 戈春共 水o託 0再 気の其 Ė 柜 人 城 颓 樓 埳 完 以い可 年 內 與 己 城 連 Ξ: 摇 城景 낲 徘 盂 頹 惿い権 外o敗 竭o 柵 不 山旗 拏 合0金 乃0種 得 妷 人 勁 沫 网名 火o步 訛 答佛 宗 鼓 坑 在○備、志、國○金 會 階與 手 募o騎 | 改 | 可 役 摘 Ż 强 政 鞼 防 也块 **砲**o傳: 좊 于 **椒o以** 地 逓 再の頓 敢 뇻 其 雲 千0城 様 撃0宗撃 楼。薫 益。之。 亦常 勇 徑 被 街。 道 典○兵 再 梯 河 大 剙 天 文 振 湿○棗 典 厚 距 直抵 薪の金 戰 橋 樓 鎾 買勇入 敗 併ი陽 許 自 |西 架の人 咆 梛 先 東の城 氊 z i F 北 镇 閚 A Total ĸ 登郭 大 0 窒 | 防 于 形 飾っ下 两 夾 園 歽 沙○陽、 城 ヌ | 敍 直っ以 隷の入 擊 楼、鐵|數 道 FV募 以,温 數 以o大 Ŧ5**+** 靣 全] 豋

	至于云者也。	城而無外援者自非敵逃縱多貯蓄未有不竭而卓養氏日宗政雖善守亦頼有再與之援耳凡守	電無委預則下· 本之三 ~ 尽真空	于敗足城守以積貯為首務即此可推故孫子曰 盡備禦諸法度前此儲蓄有餘足以支敵故不至	芭山氏 日金人 圖蜜陽至是已逾半載雖宗政由呼為孟爺爺	世帝	其實糧罷甲不可勝計追金人至馬磴霧焚其城入	自由至三更改其聚三萬金人大清訛可單騎通獲
--	--------	----------------------------------------	-------------------	--------------------------------------------	-----------------------------------	----	----------------------	----------------------

人奔溃、 古方略 身先 修泊 政與扈再與合兵角敵 宋寧宗嘉定 皆當早為之計若倉卒失策則坐待敗下而已 或清野或祈贼管或絕 肵 能守賽赐近日守令不知兵城至 世山氏日非突擊出戰必 맗 愛僕 古卒金人戰輛敗忿甚周城開 城 盂 城要陥耳九守城有堵截追 Ŷ. 佘 **排簡**問 《卷之三 犯 政 新 +敗 單士至是 令立斬之軍民 完頹賽不 歷三日大小七十 **俯道或設伏兵或斷歸路** 完颜 入冠 不能 客不 股 孟 败 栗於是祭 **宗政權** 襲之法或守 但 虜。 雄步 率諸將出戰金 漆控兵列 門 非 任兵列豪外 餘戰宗政 縣園城宗 門柜之此 敗 力柜應州 虜。 忠真全 陽 丈 邴 陸、

1			1.7		24 . 7	1 44 1	A 4+ 4*	132		-	
	1 1 1		. 11	使 占	於○又	4"	金鍊等	池城	造	木	i
		川。	世一	方	要の練	垻	金鳒 芽	池城 也外	舟	雅	
	t	J.E		使 古 方略	害口舟	F	.5 ±	火 攻	巢	-	40
1		1	4 :		四〇川	눈이	中自	グ	术	示	1
		N N	民	<u></u>	涿 神	茶	之の新	씨 푯]	湖	嘉	果!
1 1	1 1	殺	E.		古 扼	整	皆 _○ 堰·	医哲	17	ME.	4
		4	±+ 1	拉	不一准	耳	2 . oh	丛 男 皆 數	3	=	rds.
	! ! !	ማ	71.	1.46	At	1 2	A-7 O U	// 50	死	7-	温:
l i l	!	ੀ ਸਿੰ ਨ	不 !	 	脏门门	珠	市縣極也 高	倍	J.	年、	杜杲守蘆州
		州皆以戰為守趙方亦然	山氏日柱杲城守之功一署于安豊再著于廣	春なる	要害蒙古不能進送引師北歸詔加杲淮西制置〇〇一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	中坝上聚驚呆乘勝出號蒙古敗走果追歸數十里	建っ方	倍于攻安豐時社果極力守禦蒙古	以窺江左於藻外築土	宋理宗嘉熙元年蒙古察罕師兵圖監州期破監後	
	1 1	1	da: i	- '	浅一日	Щ.	₹ ₩	-6-	~ ·	蒙古察罕胂兵四	
	i] ;	7.1	7	, i	* *	Щ	^ / Z	12	Tr.	Tr 🛧	. ,
. !		一一一亦一	さ し		打「十	枝、	於 核	一安	潦	察.	
	1 1 1	鈥	Th.	1 1	師「再	***		· 👛 :	Al-	25° E	·
[;	,,,,,0	70	1 1	vii. pi≽	12:	14tr 15	1 124	25	7.4	.
		i	_		4 嵐	12	供し	15	亲	脚。	:
			著:		舜 日	败	內!油	o杜	+	莊 ,	
'	;	l i	- -		記っす	去	3	。 見	145	EN ³ .	
	1 1		1 :	1 1	呼・人	1 40	· / / / / /	0 75	黨	第 4	[]
		į	安	1 .	ル:偲	禾	四 早	○極	六	崖	
	1 1 1		曹.]	章 !	呆. 最	Ŀ進o	翅 自	0 <i>1</i>	+	始州期	1
1			重	'	淮县	125	J 11	أعصا	ns i	in B	٠.
			## :		ALC NAT	(PPC		গুৰু	玉	办 ,	ī
1 . 1	1 1	ļ	者	1.3	四:伏	} ₹ ₹	竹二 下	C 県 l	穿:	破,	;
	!!!		于	1 1	制精) 	俄、月	の蒙し	燕	劝破者	. !
			Ide-	一年,张月堂	者 龄) B3	又於城樓內立馬題七層俄砲	* + !	城六十里穿两壕	36 ('
	, 1	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	型上		三 以	/ 포 <u>이</u>	ጥር ፲፱	<u>* P</u> (<u> 宋</u>	1 <u>12 y</u>	

班 裹

之不 信 如腹元氣 理宗嘉 給圖裏獎為 光 将士不勇 **骁** 若 化 熈元 軍、 保 非 樊 《城襄 此 甲兵十萬 全勝上兵伐謀此不爭 非車 朝廷根本今百 孟 陽 珙 因上奏 馬鞰槭 不足分守奥共抽兵于敵 田₃ 不 古 戰而得 精也實在乎 取衰不 之當加 之爭也 難而 守 14 力

至○弟

淳

三年余

為 四

外質自請府上謁玠待 (保有文武才隱居蠻中

玠待

以上客選璞居

數几 孯 辭o瑳

す

前 川 後 阍 置

, 神 召 使

皆の州

苦兵将 盖有 一共晏 氏 大 餜 平何益 唐戴可 過人 日能守然後成 戦 角.得 丽 判門 者觀其 然後 如受詔時 Ĺф 可以出奇兵皆曾有 其為取 枚 泗州。 不然族 胡 ıÿ. 賊 徣 淮山 得後失 郢然 成 第0 **特勝** 後 P

璞權通判

щ

灯

遂密以其謀閘于朝

士先生之謀玠不敢掠以

權發遣

不備故卒為所敗

丁 ア 野 守

老元三

芭山氏目

珙

Á

為京

制

置使

未幾復

郢 軍、

州 忠貞堂

刜

軍

後樊城襄陽禦蒙

古于

頂っ 買

又復変州

其

力

略

É

以蔡息降人置忠衛軍襄郢降人置先鋒

所言。 合州城手玠不覺躍起 公禮遇思有以少禪益為今日西蜀之計其在 之及更開別館以處之且日使人與其所 卷之三 7口形勝. 執其手曰此 このでででする。 孙志也(但未

城之事 徒城之事悉以任之釣魚城成蜀始 日野自度 婦已雖出于公忠而權術每其中 付托二人借此以激厲之耳 初請不次官之部選機 **建等無可與共事者所云**

アデル 為書 不っ三 不藝弘範 乘風縱火焚之世傑戰 汲路世傑舟堅不 南入大洋與世傑之 以大索四周起 結大鄉千餘作一字陣碇海璇音釘中中爐 類年航海何時已平今頂與夾勝到遂葵行朝草 **頻我不** 帝浙在乃 時弘範 西走 帝昺 皆危之厓 招 張 世傑恐久在海中士卒離心動則必散乃 能 Ŗ. 祥 世傑天祥 典二 無如之何時世傑 進退盍先據之幸而勝國之福 至 潮 僬 工厓山或謂 5 守圧 陽港乘舟入海至甲子 : : 年 Щ 樓 能動弘範 北 棚 Щ 魳 夜 舟 不 夘 張 艫 相遇薄之且 世 弘範 城堞奉帝居其間為此守計 皆塗泥縛長木以 傑目北 贙 有甥 B P 舟载茅茨沃以膏脂 進弘範繇山東 厓 兵以 Ц, 韓在元 門獲 出奇兵斷官軍 世 舟師 Ē 傑 Ł ſ٢ 軍中弘 力 作人 不勝 堠 戰 籽、 有

忠真堂 塞海口 · 轉而 知 海巾 已執、 弘範 Ţ 旣 飲即嘔泄兵士大因世保即蘇劉方與等且 古 "方写守 世山 而李恒 生 方 所為無偷生辱 者。 是 汝復 Á 後 Á 世傑兵士站乾糧 略 遣 国家将亡亦富 ĸ 氏 古 守卷之 日事至此無 自廣州 欲 敢亡之失使後 人 誰 鎜 苑 Ξ Z = 以師來會弘範命恒守 終 留 Ρj 取 吓為矣存此以見宋君臣 也。 守虎不屈如秀夫世傑天神 十餘日下拍海水飲之水 卅 世知所戒且冀 Ν 邩 涆 弘範 垣 É 笶 ĴĹ, 厓 Œ タ大 為 忠美 Щ 兩 丑 À 兆. 臣



子 32-186

古方略自序

六律為萬事本於兵械尤重司

志兵北軍七較附見刑法志謂 馬遷律書言律兼言兵班 固

兵乃刑之大者蓋即蠻夷盜賊

思行民造

古方略自序一律一

掌于皋陶之刑之意律豈非合 兵刑而一之哉師出以律律也

也得律遺意云

新安余懋衡書

者禮樂征伐所自出聖人感

而

謂

兵莫如律法貴必

律序里

天下和平故傳稱師克

在

七方路自序 律二 忠臣耳烏可叛逆

同科

推 是

死者宜籍其家貲將士靖

曰

彼

唐卒靖伐梁諸將言梁將拒鬭 言吹律合商則勝豈知律者哉 乃有殺半卒刺義勇者兵書又

子 32-187

思真強

樂無 上海水在之級黃金横帶而 克疹小 古方 也當今將軍東有夜邑之奉 珥 今攻狄不 一之気 册 骨成 钐 仗 二二年日 死之心所以不勝也田 (c) 爺為士卒倡 [4] 攻 冏 略 丘田 兄謠 問君言莫不押 其說魯 狄 F. 之狄人乃下 日乃屬氣循城立于 Įį 往見魯仲連魯仲連日 克 巷 何魔矣當此之 下何也 以即墨破亡餘卒破萬乘之燕復齊之 單乃懼 口大冠若箕疹 仲 目 連 IJ 上車非湖 問你你連 無 IJ 可 婺源 泣香群 將軍之在 44 往矣宗廟亡矣今日 州 **使生之** 矢石之所 投植地 劈平淄 11 纫 日單之有 袻 4 Ĥ, 扎 而去遂攻狄三月不 先生謂學不能下 狱 有 (4) 阆 **渑** 之間 之間 之間 元 η 攻 軍 たと心 此 狄 攻 45 ψ_o 八不能下量 狄 肵 朋 先 有の西 以 1: 墫 忠 不 生生布 能 破 Ä

-1			- , - , , , , , , , , , , , , , , , , ,				 ;			 ,				
1			i i	道無逸亦然。	175	卓	逸	藪	何。	姚│	事	芭	牧	或
i	1 '			無	峰	卓養氏日即此可怕慎終如始之說有裨治	逸而務勞哉	数年之娯而鼓	何笠區區枪鼓氣能下狄乎果爾則凡為將者	姚逸其您實甚錐一時為氣循城去宋人	事為然魯連此言足為	芭山氏日福患生於忽微智勇	泺	或日兵法将戰養力 既較養氣 既勝養心惟趙李
:	ļ		1	尨		氏	務	さ	<u> </u>	其	. 然,	. .	知之	舟
i				%		日。	9	娯	<u>60</u>	憊	督	日,	べし	法
-	!			7/A	を	即	哉。	削	杝	Ţ	建	閘		打
İ	İ	l i			۸.	此		政	畝。	战。	此	惠		戦
	1					P)		旦夕之	軓	斑	<u>-</u> 0	生		夜
	-	!			! !	苗		2	HZ.		廷	が		<i>n</i> cl
		ļ ;			•	浜		20	P Ab	斯	10	W.		E7.
1						**		北。	1	<i>門</i>	仪山	10人 400		學
					! 	ᄮ		H	丁口	从	받	14		(4)
	1				l i	Χμ		儿	木口	怕	, 代,	9		ik.
	Ì		,			45	i	N.	: 1431 ₀	かり	1111	困	İ	땅
	1		1			一売っ	1	八九	(1) 1	T ::	恋	1 166		版
İ	.		į			/1) -in		th.	<i>1</i> 0	不	. E.	/7 224		170
	1				į.	沙山		女	何收	、八. ∶∃雇	後世戒但愚意田單	1 77	·)作っ
	. -		1		i i	神。		一丛	村来	揠苗	母	1 7円		抽出
	, 1				忠貞を	王	4	銳皆足以成功安在必合	極	・	豚	於所溺非獨兵	į	本

石., 丽 善兵 此善附 火 道业 太王 PJ. ď IJ ķ 不 п 方 荀 有: 者 君 候 掮 华 讲 能 地 £ 战 日東民 民食鄉 利觀敵 戚 ŧ 撓 詐 感忽 之 古越前、口人 者 豻 俳 Ц ٦, 君 弓 其 £ 餐、 順 沸、禁 JY) 致 是乃善 表之 兀 - 有 者 若 猶 悠問、 然兵 遠 不 Ĕ, Jŧ, 矢 Ŧ. 团 安。赴 14 ħ 井, t 虔 17 + 不 然、 人况 日 水火 M 賢者 君 秉 後 镇 英 ż 尺 绫 拙 _--調 臣 請 禮 日鲅 順 有 ψŢ 沵 用 不 肵 Ĥή 則 動 闁 善,如 共 者 久 贱 幸 13 所 貲 兵 親 兵 羿 闢 後 與 明古之道。 (之餐先之至此日 義 圍 危. 焉 馬 不 者也 l M_o 不 要臨 從 者 薖 出 烈烈 者 抬 闁 敵 焦 ĸ 勢 能 0 則 武 Œ z 共 君 没 絑 利 Ц 武 仁 : 槂 出 者 者 Ą 不 刚 作。六 Y 呉 也 君 莫我 故仁人 能 之 削 之头 亂 用 Ħ 對 名失 者 兵。 反之 Z 治 行 馬 耳点 才 丌 例 敢 **不** 者 不 攻o用 Ŀ 民而已 松 勝也 拠 团 遊 者 用 以 p 敵 藙 'n. 和。戰。兵 ßl. 固。 北 Ė. 卵 詐 詐 手 Ą 則し之。之 天 于 B 夭 rui: 時.

其使 勝。 鄉母 繇 貨。 復 是矣 ř 用 五也、鮹 大 而 共 戈 Ť 裸取選 也 不 是 某 Ł . 戸_っ 民 蔟 長棒 其 #\$. | 冠 + 事 溋 足 弬 一二石之智及村力之士 胄 也 * 律 th^o 无首 バ ,以 稅 摆復 短武 去 弱 而 功 刑 酷 弘 復 帯 賃 之常也 役其 敵 則 役費相 也三不 也役 罰。烈 寡 利 本之 侧。 堅. 鎖金 市 Ţ. 未 亷 是 刧 則 -削離 不 也 傭 可奪也。 之以 王文 長。相稱 危國 是 中度 利 Ξ 負 渙 而 可 Ł **本** 非 最 Ŧī. : 使 矢 炭取 武 其 Ħ 戦 夀 ٨ 用 足 之兵也。 幸 勢。 五十箇。本部表 來。 申 賞矣 Ž. 民 Ħ 離 2 隆 也. IP. 隱之 十世前 也。 改造 耳。 不 泉 首 宅っ 肵 糧 技 下 可 數 强 以 H_o 挈。 1.10 便給 是 可 也 誎 三屬 Ц 長 要 IJ 东 則 中 魏 卡 利以 置 小 擊以 用 日柳 遇 故 久 利 À 戈 氏 五 阨 不 之田 國 而! 敵敵亞則 仰字 之甲。 齊之 共上。 八之武卒。 家。 於 之兵 忸 其 易 虚宅 趙 鑫,也力 殭」 Ż 道. Ŀ 使有 生 月 是 百 無妞 13 **施**靠 其 下, 測 技 銳 相功 者。同與 也。 身謂作三 卒 之置禪屬 以 也。 厇 以 同與 枝 下 士. 擊 則也。 囚 長則 非 「さ 也 ・是 氣 5 咁 ኍ 可 世上貨圖 ズ 陿 故 Á 上戈一身 度 以 試 莫倫得用 カ 用 隘: 地: 數 即于歷一, 取Ⅰ弱 耳!--

順 必 のはのない 欲 是 2 14 ţ 之也 Ξ 不勝無常 兼是 未 湯武 稅士 其害 而 · 治鄰敵者士 聚無忘 彷 狭 過事英大 会 D 2, Н 介有貴上 也登 型 <u>.</u> 14 一體義教 而 男の政のよう権 凡處 數 さ 不 可 炿 逑 故 兼殆 £ 퀽 使 Дķ 明, 窥 妆 制 相 安 者 義 以 虔不 無行 事 / 於無梅 thi 敵 ຝ 뿠 某につ 為將。 夫招 化是齊之也故兵大 之耳。故招 制 背 逍 當 欲 选 视 雌雄耳。 也脏 政 7 さ 者岩 完可 敗無 桓 潐 ళ 11 4 柳 右 延募選隆勢許 節之 貨蹈 文 īm 腁 欲 欲 本し 紩 卿 之 **州**。 日 。 敍 朋 从 至。 日知莫大 人 大 是 謂之 ψĊ Ϋ́ 周 巌 理也諸侯 三至。至 延募選隆勢許上功 利 17 餰 而 腓 巾 夫 17 以 **無** ○ 幵 之兵也偏 焦熬 制 不 欲 ilii 是 冻 趔 成 慢っ 桓 ŋ 赤 輕 之 謂 六 欲 徙 慶 而。 投 犮 霜不 使 夫 **A** 止く Ŧi 釆 賞刑 上功利 齊 有 石 Z 分中 是 綞 12 進 劆 能微 徒 と 不 見 紨 参遇敵 罰。 退 茅 3Ĭ 制天 精賣之 脱焦 制 灹 共 絘 欲 μŢ 之 妙之 投熬 Ħ 可:0 不) 五 利 枞 安 胍 ŋΖ· 兵則 T_{o} 制。 馬頭 殺○權、 石之 į. 可 决 重 將 Ж 以 可言 是 以 小 道 IJ 而っ可 ďη 暖っ 重っ 信 育不 於っ也の 胨 命っ 漸

肪 敵 服此 題使 展 謳 者 つ者 # 聲而 明矣 而 御 敬 而 有 被 _<u>|</u>_ 夫是之 而 也 Ź. 方 退也 死 處 敵 小放弃命 亂 下 之謂 魯百 問 耐 樂之遠者竭 周之服 八幅武 \widetilde{z} 《無曠夫: 南 退 如幸敬誹 岢 者 相 律 安樂之四 其罪惟 順 E 在 樂 也。 謂 卿 命 吏死職 君日 恭 人師 Ţţ 民所 Ħ 則 Ŧ 者不被凡誅非誅百姓此 卷之 敬 為上有 是之謂 之其敗 勝欲則從欲 政 者 慶之不 均不 先 善詩問 無曠夫 無職敬事 有誅 詩目 歷 生議兵 ij 不安共上 맜 _-上大夫 之内 而 荻 殺 功 Ħ. 也必 居城 ī'n Á 趔 4 老 火 Ξ 無 是之謂 岩一 常以仁義為本然則何 西白 弱不 八之令不 一者之 無戦城 Ż 之者無異商 死 礦懙 無曠 胨 在 欲 不 無 行 計 慢 家蝇 其 東 澘 幽 獂 軍 列、 天 行 敬 z 则 至也 で守不 進而進 軍不留 Á 处也 Pal) 禾 制 閗 75 此 吏 **M**, 紱 之將則 南 稼 達之屬莫不從 俯 無順 ナ新 鈘 茍 戦 枕 攻 Í 陋 誅っ 服 犁 ٨ 卿旦、 如 鵩 泉師 **兵格** # 猶令不 而進 其の 之國莫 者 守。 五 荻 ß 近者調 無思不 ż 忠真 將死 通 椎 泉 行 僩 不 茅 1-1 食 Ħ Ç 闡 か Ξ 吉 如 ÞΩ 姓章 鼓

市厂厂 也の街 屰 也山 爲 論戦者有 非っ理り 安得 灺 削削 時と論 肵 者。 敵 叉 論兵最合道處通見腐 **T**3 以 徙 娱 類為此 語皆沒 獄 日昌東萊云古人論 · 之 : 也 : 戦 疕 之屬宗元之所言皆 IJ 餘事而已 不 氏口兵要在 戊 Ħ 赴 抻 斷 共行 也苦晉士舊常言禮 不不て 片 目 目 (随) 惟不 也戰 狐 盐 等策論 惡人之亂 荷卿 死 仁者愛人 加 踹 地 為 肵 妆束 此 戰之具自未之信歷舉將 吉 耳。 빘 ٦; 12 茶 柳宗元論 戦 阩 死 所或予甚 桓 者軍旅 ·知 要你! 民。 之也彼兵者所以禁暴除害 要人故惡人之害之也義者 茶 ţ, 地 文節 八賜哉民 殿與 此 生著 固 也昔居 綸 肵 ₺, 制 樂慈慶戰 119 13 武論 ボ 與 湖 形 後 櫚 不 岩 荀 旣 戰 莊公長勺之 可 **死地當受其賜** 勢者戰也民心者 人 馬。 知兵諸習兵家言 夭 祭死. 而非 言戦 卵相 IJ 倂 齧 下 偏屑。 當 識 亦 然此 **舒** 湯 則 腁 所 不 于 武之 簡堅 育也 か 武須安 H 臣 同 中東 但 戰 视 士 盐 荷

古 **方略** 犯光 之精 潪 兵而 馬不 後先之 古伞未 牧告云 兵者也夫 將不 有制 用命 令誅罰而 此聖人者之于經以為後 左不 如 有 址 将 **愁于四** 無節 律 可以 且 H 之兵無能之將不 攻 仁 說 考えっ \mathcal{H}_{c} 有 深 Ī. 者三軍 、擊戮汝牧警日不愆于六步七 共 云無制 義之兵尚 甚 于左汝不 仁義兼 無能 巴登遂足 者使 4 制 說 必非諸萬孔 勝此之謂也愚竊謂楊 明 者。 ij 伐五伐 丸 丽 之兵 之司 節 如 맭 之將。區區情 楊 無節 制 **1**5: 得 用, 4 恭命右 # 力止 義 伞 14. ---有 而 ılı 則 立 明之言 之不 能之 作に ŋ 忻 视 衜 也。 止 制 苓 于 辅 햰 制寓其中未聞仁養之 以 世 不攻 將 齊焉其節制之嚴 亦 胡 義之 미 胮., 葙 能 是 Į, 制 敗 法 不 菔 八也故諸 ini 礻 制 掤 щ 剕 **†** 無制之兵有能 于右汝 ग 存 可以勝失 \mathcal{H}_{c} į. 割求 氏此言非源于 杩 兵不 節 Ail. 〕以 清 制。 取 灹 而 笚 仁. 八 捌 至. ΉĻ 蒋孔 步o 乃 勝廿 倜 取 制 花 不恭命 示 可 1.扶箱 于無 忠原重 75 胨 者 非 鄁 狔 信 無 本 7 徒 奸 铈 Ħ 明 11 敗 制に 6 敵 御

i	* [1 1	7-7-1
i	4 I	1 1 1	1 1 1
- 1	<i>f</i> , 1	1 1 1	11: 24:
i	7	1 1	一手に前してし
i	え	!!!	1 E
	P		!青」へ「包」
1	4b	1	na ste ^O et
1		1 [1四十益1巻1
	1.7	1 1 1-	6 74 40
	' ' '	1 1 1	八字 復 網
	누 :	1	- Jan 14
	2 2		丁和0 狂工作員
•	-		Arr 13 4
	古方各种人民		20 九 朱
1			童 短 作
1	i i i	1 1	非善用兵者勿強相附會可也。 非善用兵者勿強相附會可也。 大甚愚獨惟宋信不知兵而好
!		1 1 1	dn da 7
í	[]	1 1	744 T 45
i	_	1 1 1	10/1 4/1- 50
		1 1 1	1 174 125 第1
ļ		1 1 1	140 7 6
!		1 1 1	一直上四:丹丰
1		1 1 1	前 孤 元
1		1 1 1	1 7 199 101
i		1 1 1	ph ec e/
ĺ		1 1 1	1世 八 八 1
			الحاليك ا
ı	1	1 1 1	
ı	1 1 1	1 1	1 44 2
	. ! !	1 1	瀬、共
i	£	1 1	ا بو سیدا
			1 1/4:30 1
] +	1	 2 22
	1 1	•	」為「縣
i	3.1	1 1	24 %
!	١	1 1	pHt : #9
	17. di	1 1 1	一字 表
	5 1 1 1		11 37
	5 1	1 1 1 .	非善用兵者勿強相附會可也。 非一些人為一人也是我一世一一一人也一一人也是我們不知兵而好言兵如蘇海泰觀之甚思新作宋信不知兵而好言兵如蘇海泰觀
		''	// 106

得之秦之敝具以資言至宮非釋之為公卓今一九帝口善乃不拜衛夫帝就車召釋之祭張後行 敝徒 無窮 上所 口捷給哉且奈任刀筆之吏爭 程之非高 渤 而無其實夫下之化上疾於景樂舞錯 如 右 問禽頭簿甚悉欲 交具而無貨不聞其過陵運至於 柯 文帝 與梁 昶 两人言事曾不能出口也帝後日長者釋之日 如 不 Ŧ. 也帝曰長者 超遊之臣恐天下遊風而靡争為 郎、 十 也又 役 jд 豊っ夫 や智楽錯不可不 問 急疾 效。将 東陽侯 北ヶ侯 從旁代 土崩、全陸下 背 東 番く 夫) 勝 僕 茶相 張相 忠貞 $\mathcal{U}_{:}^{\perp}$ 無對 終 響。尉 高 喋し種 乃| 阿。因 **[7**] 利:為 标 卷 1

泰用半两後的|| 『記論録法

為、於於種 幹 ıŁ. 立 也交 訪男 凡 起、龐 英印 励 文 走 方 i- 原 不刊 不 并 乃 姦 .也份 丽 巧 得 休育 帝 發五 菸 ·大、苛o能作 愛。 郅 袑 省 者 辯 峈 仐 楳 i 除 言分 用 # 亂の而 受再方應 帮 民 作 ;徘 令 葥 共 租 盗 以勿鼓 釈 細 毛自绿那 ス 凶 力 縣 殺 罪 直崖 馞 艐 法 転去 夫 欲 或謂 租 雇 仫 凡 共 4. 之 熟 雂 溢 葉間 11: 锭 照時 禁 耒 谑 垛 罪 # 然 令使"多而 ii. 之名 法 3 共. 微 勝 鼓张以终 標造 鋳 其傭本之 ijij 使民 薄日 縱·也法其重 為利 冶 Ж И 省 Ħ. 銭 輕更造 何 得港 而心 次是四 誘 利 幣 纮 鄉 軭 ___ Ž 、鋳 共 徽 خ 而 弗《不之耳 民 縣 ΑĻ 情。銅 셌 釞. 放 是 重 纯 H 姦っ 厚.非 货 阿っ立 使 馞 i i. 71 鈅 п 四 物 糞 衮 哉 平0 東下銭 1 數 雖 得言 夫の殺 加 為 Į 銇 價 用 及史之 銭 令 急 按百 若 陥 皺 蕣人 事。雜 関い 銰 盆 銭, 騰 更 市し而 今文 阱; 罪 佚人 有:為 Ħ 于。 政 諫 半四 蹦、 多五五 Ŧ 也皆 召○巧。雜 建の豆の満常 或 孰 B 月。百銖 米 異0之 平重 多 所 用 報 各關印則 棄 以,法十發 至 贫、 重 於 此 其執 榖 桐の用の乎也一 鉂 中子点 隐 而っ不 使参其石 鈆 屏 法o可 鐵 天 為文 萬 炭輪 年已 有○得 為 下 兼為 錢、錢芡 火捞省 銭の別明年 不 袻 来」文o大o重于 î

右 天 東 彰縣 賜 可□費□山 議 之 多。 銅し又 较 Ŧ, 之母 称名 芭 荻 ħ 長い者の赤 布っ不 剘 必 刑 左 Ħ μļ 捬 咯 也。人。上 干の足 錢 日 仴 嚴 律 **不** 全の書 猜、 氏 鄭銅 Η 妼 水 天っ以 怵 道 i gi 姦 目 A, 臆 之。諫 手ょ禁 重 而 切 卷之 銅山 是 操。以っ JL. 利 驗 J, 其コ矣い重 將 爲 咿 祁. 畤 柄□為 遊 以 為口姦口則 姦、 بح # 兹 利害。 非、甚。 枚 名版 也○錢 刷い数:共 太 不 不 邪. 也。 备道 今つ者。博ひ不つ利 無 兲 吼 非 犸 群。言从 鐅鏧 Ŧ 蜀素 大 尺。干" 矣o勝o深。 獨. 嵐 其 电祥動本 亡 都之 命 縣 夫 為。用 民: 而 故っ而。盗 術 平心作 鄰 之:器 盗 可 ď, 胨 不っ法○鑄 其 于訊 通方 足の也の如の禁の如 偒 縍 行 用 自产 使 何 奥ヶ面の収の敷き雲 避命 必:而 然 足 猜 ΠES ケ仙 雅 人で可で之し潰っ而 大。 迮 L, 於 共遊 帹 忽. 至 の以 の而収 銅の起 共 の 易: 作 銅 使 c 乗 令 者 布稿 B 議 見 吳 속속 者 吳 鋑 者 \pm ķ 操の富二自干 之口市 也法 謂 法 幹 貓 IJ 柄の貴の舞官然の之 禁 壌 鋑 鎼 41 寓 不の富の費,也つ罪の T C 布 錢. 故

ł

下雖得與牧弗能用也上公思人意思の為は、為の思いのとのなるのなのない。 下五獨不得廉頗李牧為將五豈憂. 中ゥ代 漤 用 УŊ 摌 日 · 守○之₍₎ 编 牧 Ŀ 乎,固如 監 不 軷 亷 方 公奈何衆辱我獨無問 帝 臣 其っ是 為 ħ 略 辇 丌 從 對紅东高 大 FI 劇 · 37 俊 中 越 皆 蕳 木 E 鹿行 融 軍。以 文! 過 杊 醍 將 特王位陆 市っ兵 仲 决 17 牧 牧弗能用也上怒起 趙 誻 後也委任而責成功之心若過軍市之祖皆公 老えー 冠為意乃. 租:破 趙 也對门 不 盲 [^] 後 岩窟 盡△士 Ŧ. 生 수 吾 父 徙 如 數 無罪 魏 以っ北。 遪 亷 A 也那 尚 黎海 並 萷 人 颇 毎 找 代 1 問: 奏 復問 李 制 lii. 士・泰 用 飯 言 帝 Ēβ 之此 **炭** 牧之 意未 卒し食 郭 ŀ. 趙 Ħ 署 私。减 贈 jii j 枮 唐 吾 將 長 唐謝 · / 个 · 臣 護 IJ, 故っ自 非 FI王者 為 呰 馮 卒 牧コ用 虚 公 刘 脟 齊 不 代 唐 . 五の縞の誄 Ē 之進 得の優 青 Ħ, 匈奴 何 中。 也 之賢 在 代帝 日. を登る地 日の開 盡っ士。 也 詢 ķ 桁 上 1.1 鉅 。其 人不 哉 久召唐讓 軍 셌 拊 戰 鹿 豺 推り尚い会と智の勝 大 也跪 忠貞 唐 傑 也 纹 牛り為っ顔 能っ次 日, 日, 父 7 知 于!言 白っ雲の歌。趙 知:鹿 陛o 嗟

能の削い重の賞、首間仮之起 而 方 拜 卓 芭 方 用コ其の且5不5個人任板 田 一覧の ďΕ **也の爵の雲の行の房籍相也** 巷 唐 Щ 客に 氏 14 帝|罰の中の面o之所保佐 從 tj 舟 氏 律 頗 為 Ð 車 作。守0 吏0數上不符 單0 略 牧 П 車 衅 乑 馮唐請 騎 プロ 魏 D 奉 O 电新容音 入 都 日 為一,尚の法の幕 好全知 律 騎 令 而炭 坐o 必c 府。詳單 尺 段 都 邫 持 狻 唐 作別 上の用い一 他人 討 W 甚 ル 筄 繇。功に臣の言 此。 涤 魏 持 終 匈 (v) 徘 赦 郁 此の首コ悪の不 所 待。 Ħ 夫 奴 魏 謂 大 赦 言の虜の以の相 力 從 書史 士 滗 崮 数 守 魏 之0差0為0應 踙 諫 共記卒 群 復 祈 徘 俏 陛o 六o 陛o 女 斬斬索盡 如 7; 収 下n級o下o東 旒 栕 X H - 首治隱家 껅 尚 之 事 雖っ陛っ賞っ以 以 |捕 に fl; 人! 賢若 為 者 納 得o下o大o法 魔のカペ 子c 垄 忠 雲 頗o下o輕o絕 上 于籍家語 わ Z 中 牧の之の罰の之の功一者た思 弗の史の大の其の功上八部子人

| 戦い 帝日君勿言吾私之教戒之罷朝坐府中嘉為 通詣丞相府不來且斬通恐入言帝帝曰汝第 家嘉當入朝而通居上旁怠慢嘉奏事畢 時太中大夫鄧通方愛幸賞賜累 漢 大略 建 文帝 是理乎軍看嘉 既已富貴之矣方肆 志聘歌荡然云復顧忌內 富貴之不惟 朝 上度丞 大、不 氏口富貴者縣本之藉小人亂國自 廷之,禮絕之譬虎傳翼而冀其不 遊髙 释之題縣王為上泣日丞相 敬當斬吏令行斬之通如首首盡 卷之一 相心因通使使持能召 責 存 富貨之至于朝廷之禮不可以 申居嘉兴為 所謂識大體者然云辛愛群臣o 以感 相 安耐 **悟人主抑亦** 人 山 亷 專 直 鉅萬帝曾燕飲 Ξ 迶 幾股臣 失所 而 Ç) 因言日 出柙 A. 1874 、富貴 以 出血の 不粛

古方略律 守鑒虚竟笞死按存 之請先殺臣然後可取不然臣 按景帝朝晁 **鄧通事雖不同** 也存誠附中使日堅虚罪杖已具陛下若召 及令中使請臺宣旨日 要更于上前保 何則孝景之 呕血而死其从 餐下做存誠案 勒得姦 又日唇窓宗朝薛存誠為 者解矣。 八卷七一 招懷路遊 所 借穿廟 其執 以能任之者不 節 救上宣令释放 能 古今亂 法不 荷中人 誠笞殺鑒虚與申屠嘉 :行 垣。 **呱數十萬沓大** 于 朕要此 嘉方 阿一也 **鄧**通っ 卻 Ī 史中丞有 為城社吏 Á 小孝文者 請 不奉記上嘉其 僧面語之非 存誠不奉詔明 丽 後 不 逮 能 訊 世 に行于見錯 辞中, 不 乃 為 腁 đij 竹。

爾上 土, 天子為動改容式以 Ш 刃 爄 張 廿 羨 泉長 餌 扩 古欲久勞軍亞夫乃傳言開 火 武 丈 軍亞夫特兵科 낐 棘 屯 也效 去寒 門 車 扱 Ŧ 門 79 北 安遣府 灹 地周 兵震。 犯邪。 軍若兒戲 門群臣皆繁命 弓弩持滿 以倘 EI, 送 漠 胡 帝 身 免 姓 迎巳 令免 髙 拜 穪 奺 紐 周 菩 1 天子 퍊 者人之月餘 使 Ιψί 入 耳, <u>[-]</u> 上 特化 夫 찪 介冑之士 さ 劳の次人免令 ٨ 和海 爲 將 **B**., 干 令 先 細 軍子則 电 嗟 ļ: 炉 固 是 日の題 槲 至 次 平 Æ 帝 軍へ至っ 占 įλį 獄 可 軍。 細 狐 此: 帝 真()敬 不 1 庚 爽 中ゥ不 蘊 野符易 軍 柳 73 ŀ ķ 聞い得 甚矣 丽 使 Ċ 士 及 劑 至邊匈奴 虜也 請以軍職見 将o 入 吏 使 棘 卼 电 軍っ先 令 0 驅 持飾 置 門 蔽 火 句 盐 至于亞 忠貞 甲 堆. 覇 肼 Ŀ 詔 不い日。鋭 귪 亦 関ッ天 、於 鮴

古方 卓 于 軍 Ł 1 軍 ım 子勞軍不先遣一介之使使 奉 国 崩 吏 75 猶 徃 И 火 擊 戒 當 ナ; 不得入 灰 軍 疝 Ħ 太子 吳楚卒 書聞景帝 и 旜 也 起と 此帝 子品 見 亞 ili 哉觀 夫 信 而 丈 Ż 卽 A, 不 假 亦 犯 其 成功。 勞 乃 法 邪 有緩急周 违 艻 拜亞 御 亩 軍 帝 亞 摦 之 日覇 Д 將 夫 ø. 夫 試 當 麓 軍 用 上 脟 誻 亞 為 n 骸 \mathcal{F}_{j} ŵ 料耳。 棘門 文 若 軍間之。乃至 大 夫 þņ' 抡 尉, 真 帝 辔 يألا 词 宜 若兒戲耳至 不 將 Ä, n 徐 然 堂 <u>=</u> † 法。 任 推 行 將兵。 0 Ħ 忠貞 後 至 軍 門: 文 狩 天 帝

引荒 聖我殿下 時日 全 立室本 央 · 先帝之正處也非法度之政不得入口間以及 大學 人名 于泉 共變為篡是以 然然長人口言言也沒 7 之化而 口何也 兒董偃帝賜 **家監** から 野 莊 戍 日之欲乃國家之大賊 方積思於六經個不連經勘學及以靡麗奢後極 **小公凡** Ы, 君 を名之一 頼中 文 16 亂 莂 牢 束 苑 娇 目 司 居東方諸人正言格許足令後世 ₩. 面 戦而前日董偃有斬罪三安ののこの にの は 関連 のの は のの は で 間 使 割 者 引 内 董 君 是 時 中 如之禮傷王制其罪二也陛下當於春 偃 Z 摣 显得 馬 缬 棃 此一言那么何其青八馬以科 И 衣 酒 ď. 迥 門 N 人臣私侍公主共罪一也败男女 - ,後世区子不宜數言 資太 主家 冠 ji Di 孝 λ 全帝 雙臣 為谁 華 (候後面 武幸董 賜 而 门善有 人主之大蜮 Ŧ. 偃 ff 收 帝為 玌 皆行 詔 76 不音 剔 <u>.</u> 馬・刺 Ŕ 之观 بالات الذ: 更置 二安行入手帝 才 作息 慶父 故:日っ 其 Ē 太 改満配之漸った宣室者の #L 罪三 即東 主 所 ナチー 酒 思見魚 置 幸 したデ 北 也市 ガ 酒 官 知于後世可勝嘆哉 傳至與郭舎人等選手 盖有磁者伸長稅 Ż, 惟適 學哉。 足矣不當責以 |経 芭 朔豈 勘學稍失之迂盖 Щ K K 梅孟諸 FI, Ħ 卷之一 世 桉 稱 朔 人所 不 東 萨 非之誤矣而 方 遵 偃 生滑 可 經勘學也 偃 三罪 及哉。 棕經守 侓 ·传小人 程。 辭 繇 巌

子 32-198

Ē

起身

正如

東方

不。

褚遂良復為之

馬 觓

遷

不

人 董

刜

滑

誎

納

偃

語

嗟手。

偃 惡知

有 胤

経|國

罪以

侈 謂

海

義

切

伹

偃

不

漢、漢、深、 當 以辛夷 ϕ 兵往 天子 子是時太行李息舒城河 苑 馬馬不具帝怒欲斬長安令 Ü 可 Æ 迎之休居王後悔軍 귪 勝計, ñ 秋こり。街 萬乘迎之縣官無錢從民貨貨音世馬民或 之恐其以詐除襲逸乃令栗騎雅去 方為漢所殺 天下 女所入之 奴 幹 之人平帝 卷之一 耐 人 **俗漢先遣使** 贯 點請閒 汎 賞賜 塞百姓之心今緞不能運 從軍死事者家 : E 路匈 扇數 £ 見高門末 ħ 絕 然. 除 發良 萬數臣恩 和 及 那王殺之并其衆降漢. 上得渾邪王使馳傳以聞 向邊境要應漢人令報天 是時單 萬人欲召誅之渾邪 親中 渾那 民 右內史汲點曰長安 ·國典兵 . 門野 野 至質 騒の何/。 動:奴 侍養皆若奉縣 Ŧ 所鹵 以為 찺 人 罷い畔、 Ē 八與市者 (味之) 陛 下 放中国 大工工 の 大工工 の 忠真意 Æ 奴

邪

胳

一方方略律 者避 絶空 其故俗為五屬國 久不聞汲黯之言 今又復 下。 爾利 愚 傷其枝者也 貨失。 也拼言 -芭山氏日 叉以 政俗為五屬國而全世地五都 隨西北地上班 道 封干 漢徐以縣 長安令而 巷氏 日。武帝此 無匈奴 JŁ 民力 以畜其君也且使不斬令點遂點 七 人をえー 文 于c市 百戸何哉汲點 以耗贪虚名 降 臣竊為陛下 般 縫の買 火 後 者四萬所 無知 關の長 吉 傅之此與 平口安 足 舉 全城 者 r 肵 非矣然點不爭之干始 郡郡 五 Ŧ 一不取也帝黙然不儉日 五百餘人是所謂庇其慈 賞賜乃一 重 而受實 河 朔 妄發矣居頂之乃分徙降 緞 丽 Л 徒 論甚正古方略 故塞外而皆在河南因 西 不 文 在一 攘 西至南 澗 季 匈 繩 令亦 雞 紫 數 奴 以 馸 Ā Ŧ 之資以 山至鹽 澤空 46 以 黙 未 不 鉅萬得 腳。 異都の那 能 * 未入: 能 思貞堂 其葉 出。 Ŀ **≢**₀ 無 日 而

為前 迫東 匈 4 走之而 疒 奴 拼 ŀ 東 个大 計常以 行幕 一萬騎 大桁 質為 7, 竹 重者 ĮŽ] 75 道囘 獨去 也謂蓮 坐 咯 更 狩 **令** 令前 北青 軍, 箏. 左将軍趙 솧 牧虜耳乃 私 軍 為 嬶 之 令 围桐 Ŧ Ţ 负 右 衛青 發士卒. 糞 去由 きた Ł 去病 火 肜 信為 病 踵 桁 從 许 Ш 誠 徘 牂 軍 髙 軍 馬 不 當 軍 迁或 悉遠北 \mathcal{V}_{i} 廣 来 ji 食其為 代 始 後 舒衣 騎 共 能 單千 馬負票去 為李廣老 73 电云 并 糒 Ŧ 郡 髙 势必 叉, 崩 誹目 徙 尨 單片 青 出 數 自衣特药 右桁 . 其幅 E Ą 而 而台 知道 出定襄李廣為 定褒當單于捕虜言單于 十 從裝較先 得 舠 F 水间也 赏 昔及尉是 萬 所 君 草少、 Ē, 数育毋令當單手 批 通合 兵既 7 軍門 人而 朼 為 敎 M 桌 Ŧ 脐 交选 彼 *T*5 ° 桁 先处 道 · 處北 疫幕 廣 右 右 敢 非為後)U 箏 粟 JĮ. Ĥ 将 \mathcal{P}_{j} 力 萬匹步兵 霍 馬 W F 也達去 人馬罷 游 軍 Ĺl 前将軍 戦深入 去 秣以 留、 軍山 結髮 于, FI. 12.14 p粁 九言 軍 精 IJ 各 轉 府 萬 整章 ٠įį٠

i

衞

掣

Ŧ,

失

侇

青

倶

徙 亦

前 欲

牂 使

軍 敖

廣廣

知

也別 餘っ城、 軍 相見漢心 帳桓其曹 古 去時已昏漢 大 兵多自度戰 奴 鄆 固 不得單 幕者 食 大 将 左 方 栗の奴信 亦 今日 7: 自故青 声止 牂 面の集造 耴 較 略 縦可萬 武c餘 解 贫典 所 律 小腿 囟 軍の捕 (金紙 之故 軍 鵌 使 Ħ 于 敖敖 谷、 · 因隨具後有 · 房言單于 Ŧ. Ţ N Æ 不:廣 桂艾 青青 17 新會日且 及單 卷之 と自 捕 匈 左右 簰 對 史悉責廣之 ψL 不 車兵 菲又 簿. 右 得: 奴 能 郸 至 白の見 不干脆 石翼, 接身引力 如漢兵, 美東之 神神 神神 神神 神神 莫 胀簿 Ŧ 牂 黃 倒っ 環ロ単 瘾 以青 也支廣 未斤 麻 賊 毐 軍 奴· 脋 為o于 立于 青 告o兵、 廚 食 積萬 メ 奴 不 功能 英 目、 ᆌ 共 ず・九 凍 謂 Ķ ifij 大* 而 詂 唐. 遚 食一千 去, 其 軍 風 亦 槂 而 洏 R軍留一日悉焼土・ショウの (MOECO)-- 級選至真顔山間 字真 麾 校 遭 無 莫 散 赴 £i. 旭 待、 幕南 導或 傷 Ŧ Ł 軍 若 砂 驟屑漢 -1-行 符船 無罪乃 單千草干 Ħ 浬 褩 大 磔擊面兩軍 騎 歲牌 意 · 大道後 當. 輕 明行二百 徃 甚 Ц 相殺傷 八圆西北 騎 當匈 于是 愠怒青 夜 泉泉 自放表 柑 将 不在 共 追 大 奴 軍 及後

古方 六十 か 穿城 或日李廣府兵飲食與士共之為二 其窮 杊 亦 及 14 謹書之志窮驗也元符二 世 軍 £ 7 略律▼ 家 近 戒 四年衛霍同出一 不復一一書之。并書所至以見窮追深入 Щ 餘 徙 小 無餘 矣終 三, 不 **小**士 兵之所王 氏日自元光六年至是衛霍凡 i此 蹋 t 汰 部 軥 ďΩ 4. 不 士 财 不 成 祈 徐 行 有 盡食店 後臂善射度不中不 败 云 能 [0] 貚 一片識 *7*5 何 **機者卒之糧不** 4 後 幸 友 Ц 對 而 則書共部將之矢期一 又迷 相 家 不告食士以 辭耳古方略乐入 刀筆 從 瑪 謬此後 .大 空言耳 年。去 中東 遂 失 粁 道 軍 ńĖ 世之 病春 引刀 豈 出 嗟 Ĥ 此 一非天 :接 樂為用。 \mathcal{F}_{o} 干 茇 18 ΪĤ 振 Á 不盡. 悲也 律部 | 上再 而去 出 于兵, Į), **石**っ Ż. 匹 綗 之實。 飲 則書 桁 病 He 而 去: É 尚

共 祭 欲 遺 謙 望。 λ 肄. 須の射の帝 車 故 且 供往 功 漢 11 : 帝 較○以の日の冠へ不 $\dot{\overline{I}}$ 置其 ĨŊ۶ 欲為 ļģrī 駋 尉○本心符の朕の ・ 未の軍の知れ ・ なの之の是、 ・ 存 嶷 問 退 從 孵 駢 羽 弘羊等 T, 史 夼 邶 中下可有 光書 徘 符 榲 遃 大: 林 子 大 允 調益 將 孫 介" 夫 計劃 知 奏帝 ·桀等又 卷二二 λ 武规 犸 乔 縱之等前後 軍 亢 宿 莫 弘牟 午, 安 備剛 官、 7 牛 **H** * 瞯 平不肯" 御祭 府 电武 亦 在 枝 道 詐 左 四 玉っ 狩 夞 建 £ 荻 ் ந் 桁 干り払 杂 上 令 恨 造 <u>F</u> 尚 何の ŀ. 北入免知 光專權自心 牟 + 霍光 以っ耳っ無 軍 明 巨變候伺 稱 人為蘇王 酒 Á 書 小 - 柒對日 **興大官先置** . <u>F</u> □當 椬 事 左 得 城廣 Ţ 除罪多猶金寶走 以 11 富 任者 光開之止 於是桑弘等 帝 知凍期 盥 不 右 足 肯 之谏亭 光 上書言光 也以 鷩 且心都名 刺 以 £ 不 疑有 出 首 撒 Z 团 窮言 而 ٦. 得 **盡室中**不 與諸 沐 典利 軍分長何 潮。 王告其罪 立 定不 上 自奏之 書者 為○ 安以 帝 非 大 背 頂 伐其 Е 大 常、官駕 典 懷 非の調の知 ŧ. 不っ較ったい

聪 沂 7方略律 上官 摇知 變誰之分與孝武 既覺其姦 或 平去 誅 置錯兵解遂残三公所謂執 狐 疑之心來說賊 罷 不能 唐李 极以 歸脫 耳 無以 昭 Į, 使昭帝得伊吕之佐成康 蔽淡 魏什 也成 德 黨 登易言哉? 卷之一 帝養成無王之逆盖主禁安等謀害 胘 胀身敢有 奉盖徵 不能達卒比蘇為 楚欲拾 郡疑買生捏權紛亂陳斥賢士景帝既 王開流言。 昭帝是也 El, 有 君德莫大 誠 'nΕ 腹心臣漢文惠季布使酒 毁者 昭帝于 淮 使周公 周 泣 生o頼o 之o怒o 成王 干 訅 垂 針 光. 削 -明。 男 以 狼跋 有 白是 日っ 不足作矣。 亦被 古令 元瓜 慙德矣高祖 人 袻 **禁等不敢** 籽 **顾命天下幾** 元年八 梅其明 炤 東漢高聞 軍忠 奸, 己有堂 E. 則 難 月之 文 百 後 先 jέro

古方略 詔 蕭 諸 盟畔 造使 而 大宛開 召兒縣 為莎車王諸國 核 擊之則莎車日猖 急皆在 立為王特匈 伊 漢 旁國共殺 增舉馮 人其城 区 壁之 以 還帝甚說 國王西 循 宜 楊言北道 漢 雖有 俥 北 徙 共斬莎 魯日 質 莎車王 茅善以一 道諸國 2 發其兵南 其 中都 松二 奉 議 功 奴叉餐兵攻車師城 Ŧ. 宜普 っ世 卦 ÉJ 車 杰 萬 粐 諸國巴屬何 双不可以為後の つまで前のだの世帯 使有指数 間奉 平, 漎 奉世丞 Ŧ 西皆絕不通都護鄭古: 王敬之異丁 年 田園 以 漢形吏漢 衞 亦 戚 傳具首請長安更立它昆弟子 北 凇 掁 迶 所 立 王 難 世與其副 ± Ŧ 臣 合萬 五 相将 得其人奉世遂 制 西域奉世乃 會故 使 名 χ. 奴于是攻却 它使 法四為 軍 危 芗 及 最昌計 即喀港 比日 不能 漠 車 干人進擊莎車 西 函 針の而 IJ, 得 棫 使 Ŧ 大 掝 為可 ο擅 Ħ. 罷 手 (宛諸 遂 弚 下面去莎車 者奚克 者 世の制 小南道奥 名 兵以 西 17 以為不 軟射司 前 馬泉 開っ違 衡 Ľ 節論告 少 大 宛**·** 墹 國 徴 車 攻

得春秋 舉稍正 與桓公比 **其**. 至 伐 楚 $\bar{F}_{\zeta}^{\Gamma^{*}}$ 以 適 П, 醎 氏 他行 E 然要功 護逐事之義 停介子 烈哉然則封為丞相談矣望之此論 廁 Ħ. 兆 緍 伯 秙 潮の為の 書遂以 桓 生事不足為後法望之議自確 訪 大 不C比 斬楼 夫っ 公為盛謂其能 可 (* ₄: 長っ逐。 罪其專奉世雖有功為能 捌. 奉で祭 爲盗 賊 宜の功の ż 為中國免左 受っ萬: 誹 封○里c 于蠻夷此 之 o 外 c 忠真 皇 4,0 國章

之大谷. 城 此五 古方 不 亦 耆 兵 賃で猫に困っ此 之義兵兵義者王敵加干巴不 地 願盆 元康二年 車 βþ 漢得 足 徘 使 ○有□年○兵 败 師去渠犁千餘 田 致意 者鄭吉 之多田 淡 制 應者勝爭恨小故 不得後接西域 田卒帝與趙 者非但 民人 人土地貨實者開之貪兵兵貪者被恃 相 の恋っ以っ者 輕奉歸之表 《卷之一 薄の災の其の也の **亡泰铁兒 新樂犁田卒救之為匈** 害の愁の今の開 人事乃天道也 殺 大 必害人 之o苦c逸ω諸 里漢兵在果犁者少勢不能 臣 の變の之の郡の将 魏相諫日臣聞之救亂誅暴 眥 有 成 不 等議欲因匈奴衰弱擊共 時の因の氣の困の軍 y_l 恐慎 此の傷の乏の欲 犯 于敵者謂之縣 囡 于 不 以の陰の以っ典 怒者謂之念兵兵忿 得 生に陽に動っ兵 遪 關 可 境 者 也 不爭數 今∪之っ兵□人 地 而 奴所 和い軍の共 帷 餇 肥美 Ē 起者謂之 関の也の旅ら地 争 奴害有善意 攵 ·屯田 守の出い之」臣 兵兵騎者 園 忠貞 相の兵の後の愚 古上 多の雌いぬの不 不の勝の有の知

古方 臽 声止 Ы 及其史士 吾恐奉孫之 Æ بنو 有 或 衰弱。 為王 吏 或 奺 才 不憂此乃 見至 卷氏 **日**。 E, įψ 奴特 迚 棕 以鄭吉為 洈 終于 盡徙車 į. 賊 半 及 魏 二百 長 4 共一 肾 19, H 風 郡 F 遧 -羅 机 喘 父 茮 瓦 書部 朵犁 爾 氢 þ. 好· 便常惠 憂不在斷 三 十 欲 共 蹦 子 咑 灾 休 貞 靓 · 服∩ 師國 衠 贫 本。 雄 告從 變 桕 天人 一 誼 葽 則 弊 訶 걥 兵報 = 量 段 郡 董 車 女 古建 馬使 民令 故 桁 ٨ 為 事っ Ø 不 家 仲 師 車 更 涱 繊 Æ 理之義。 大 · 足 王 别, 舒等 之地 屯栗犁美之也 Ŀ, 護 數 棭 介之 居 師 而 世 變 果梨送 相 都 太 在 酒 Ŋ **人岔干*** 在蕭墙之内也之 徘 翮 輒 產. 所 善以 漢 果 干軍 釆 為 言奏請 IJ 丙 Á 奏言之是 軓 何關 典 騎 此 占為 丙 仲 L 以車 宿在 往車 白 西南道 非 늄 舒 Ŧ 來 四 小 马者者立 並 未 師故 相 方 葪 施 3 師 變 迎鄉吉 幾つ 称 7 特 敗之數 · 帝o子 從o所 外。 異 家 行 各班金 1 問問 此 閒。 地 勅 便 令 奴 宜

畬 詩 古前 閯 古 n 共心。 而 冷 逾 人 洗! ~ 下音技 見者戒於 好 人 15 徐而 疆其 未 す نا 衷大<u>共</u>功。 西統 俸之無窮 亂 於 元 惡四情性而 覧統 度不 天飲 雅 竊 和 略! ¥ 体烈盛美皆 女 Á Ē 后太子 EI, 姦 律 愝 危 ĸ. 妰 律: 川富灰 無 業 B ΙĖ 邪 鬼神庙 之機在 詉 壅蔽 未禁者 をと 古 者 腁 念爾 之事、 汖 用 也:: 得上 不 速叉 釋 后期 日歸之二后或王 心勇猛 ・足盖 聰っ 奣 務變更之所更或不可行而後 500年0 80800年0月5080 420年0 80800年0月5080 420年0月5080年0月5080 420年0月5080年1月50日 500年0月50日 500年0 成王之嗣 租 也也 王道畢矣治性之道必審已之所 樂 焉。 f __ Ð. 機體之君 # 神 成十是。 坠 審 叉' た業面 11 崩 と 見 上 大 皇 빰 修 於 Ħ F 侟 改宣 夫在宾的新不 盟者 群· 下· 明疏通者戒於 厥德 湼 重 昭 制 位。思 心。少益,傳 德 'n. 盖 伪 虚 天 存 **戒於太暴仁愛温** 更 芨 逆文 至 功。 馬 桃 覆 而不 於 **医** 政言 子 是非吏人不可行 德 IJ 此 承 敢專某 武之道 愛海 宜先 之本也傳 定 紛 之: 太 Ĩ 群 紛 王 机机 王之 **尺○**而無○後 À 下 **さ** 也 然陰 各是 R 願、 Æ Ž 所の存む事 堂

不く姦の内 也 5 PF. IJ 於上 И 世上以の因の自 非 51 平 崇 面 體 統 别 始 應 造 戒。 私の時の修っ 見 칻 抻 - 虚 適 聖 咯 ٨ 冠 团 诵 E. . 於。 - 思っ而っ百 セ 往 JI) 情 長 德 乆 加 婚 風 巧 必. 害り動に姓 共 之 П 配表子 而 禮 外 也。 正 傌 卷之 位。 Ú 俊,公コ以コ従 禮 也 理 基 本 臣 之 민 准 巧□義○亂○化○聖 文 贮 叉 兆 徒 冠 靜 之 傳の國の如の人 而 籿 不 氣 Ż 以 婚 閒 不 所 安 日c家c當o動正o故c親家靜 茲 ᆫ 徘 也 于 始 **防** 始 室 敢 當 豻 謂 因 . 75 與 其尊適而 内 | 未 乎 家之道 北 戒•者、 列 · 、 也 故 中 也 圍 此 :周 而 軍不 言 ЙŤ 風 而 10 天下で大部の大部の大部の大学の特別である。 原 鋤 jĄ : 以 朢 之 聯 貴 單 聖 之 此 情 進 则 ĸ 其 武 休 胨 正 王 性 天 惟" 義 備 矣の端の早の得 異) 圭 |愷 也 新 17 下: 陛 必 狄 ď, 甚 者 禁い則に其 丽 適 枚 ĺ 不 慎 بخر 明 Ŧ 俊 誤 先故 Ŧ 於こ佞の序、 帷 뿐, 耵 Ť 犯 人 理 戒 大 į 嬫 冠 銮 未の巧の則 后 備得。 牃 ż. 堂 疑 一間 然の之の海 手 所!

尺、 15 者の本の暴 慕 !比○服○絕 謝。於京 : 陰 Ŧ. 一局 獨 痂 害; 选0股海累不也比 凡0遠 罪 方 罪、 縣 赴 陰 育 末 不 武 足 逃 中 0 兵 莫 至し者池草 略 末 漢 遣 度。 £ 赴 服 帝 : 大 律 て 國っ不 赴 縣。背。酉 以 欲 縣在 使 後 合 软 通 此一位 张度石山 釱 為っ所つ至 本 度の行(域) 安 於 者 皮 軍 豪 西 請 卷汇 西 冠こ以 也、執 漢 使石私上 恐っ貫っ故 Щ 仸 攻 殺 城 业 仐 為-有 南:失:獎 o絕 殺 肵 者山國 書 垃 趙 殺 潢 罽 立、報也西 謝 實っ人の而 蹝 縣 通し求 艔 _ 德 共 使 揈 礼。 後 見の欲の不 不 度 厚っ則 选 孝 使 不 絕 王、久 國母 数の通の通 附 セ 變い里 추 共一 иř 而 元 之 有音 罻 數王 宿 夷 ○ 辭 医 : 無 :貨○今 阴 17 畔 使 漢 ; 凡 不 不 17 癣 殺日 漢 計使 市の悔 能 非 不 逆 杜 通, 共 之! 遣 典 漢鳥 使 fi i 快口欲 夫` 使 買っ過 危 罽 欽 及 陰便頭者 報 絕 17 德莫大 於有 說 从 送 思 以っ來の城 有 頹居 剛 域 末 者於 文 絕 7. 献の面の郭。 所 及若 爝 Ξ 帝 不: 赴 辪 怹 達 安起者。為《無○前 其《慢 쌭 鳯 帥 能 録 相 立 漢 日前 位 越一求〇終 誎 放 失、陰 専皮 欲: 名っ親○親 容 をはまれ 復 # 故の屬の通 也一者 應相 末 五山為 届 ふ 國子 千去 防 類の費の節、 其。爲い可 罽 使 Á 追 也失赴 Ξ 有 者 |使 ○人 ○ 悪 | 解 | 壊 ○ 懐 230 全.

危險之路罷敝所侍以事無用 棄捐 古方略律卷 阻危害不可勝言野王分 **縣度畜墜未半院谷盡靡碎人堕勢不** 不測之深行者騎步相持絕索相引二千餘里乃到地盤石灰道陸者尺六七寸長者徑三十里臨峰樂 熱之阪令人身熟無色頭痛嘔吐鹽畜盡然又有山 漢之節極山谷之間乞旬無所得唯一二句 夜擊刀斗白守 古網盤。 **老**宜以 從欽言罽賓實利賞賜賈市其使數年壺至云 世山氏日與賈捐之請罷珠居 **外長計也使者業已受節可** 曠野而不及又歷大頭痛小頭痛之山赤土身 ĸ 自赡 御 國或貧 Z 罻 賓之法御 終 時 小不能食或禁點不肯給推 為所 傈 九州 之世祖 侵盗、 士 Ø 至皮山 用所 制 验古員 開關 **制造方盤夷之特別中國之人** 五 同吃蠻夷非壞 服務 小得相収視的 絕約 而選於是瓜 正 盛內不 須 ,则人 忠貞堂 諸 國 特五 畜

1	 .;	1								丝	75	明	杂色	_ <u>_</u> _		1		1 +
 始	奢	Ď.	揺	何	*	矿	惟	歧	古方	祭遵吾舎中見犯法尚殺之必不私諸卿	背	か	が 後 其					古方略律卷之二
雖	殺	苍	陽	縣	前字暴横	折	適	13.	咯	蕃	貨貨貨	公常	四块		祭	İ		略
*	平	氏	丞	斜.	从	衝	氏	徘	略	备	也有	欲		劉	i ji			律
而	原	Π	丞被	刺,	横	都		威	·/\	142	之	衆	為主		遊奉	l		巻:
卒	君	终	太	殺	た	尉	唐	口得城克	秦	兒	_ 以。	軍	Ŧ	舎	法			<u>*</u>
賢	原君家	口祭遵殺舎中兒與親	宗	吾折	左甚.竟杖殺之州司	祭軍者侍其高	日店大	厥	奉之二	犯	為為	欲我軍整齊今邊奉法不 避是	格	中				=
Ž,	用	殺	此	扩	竞	岸	宗	爱		法。	刺"	秀。	,殺	見		ij	Ä	
相	用事者九人皆他	舎	傘	衝逃追	杖	者。	宗朝劉仁執	之意陳	!	尚	薮	仝	之	2犯				
得	者	中	斑	返	殺	恃	劉	意。	; ·	殺	料,	遵	秀	上法。	į	袁州	婺	
益	九	兒。	光	追	さっ	其	任!	陳		7	軍	奉	怒	軍	ļ	州	源	:
1 0	_ <u>\</u>	, M	武	人	州			副		业	謂	迁	介	市	İ		١.	1
可	背	規	頁	典	可	班.	削	論花		小业	誦	小	収	i Ş	İ	張自	余	
<i>2</i> 44	100	絳戮	分	部っ	N.	家	為	性		仏	新	赶	〇년	祭	İ	自	懋	
怒而卒賢之相得益彰可為後法	人	纸	彩與光武賞祭遵略	與語奇其	· 闻っ	雅	陳合	IF.	,	PÚ Min		龙教	0王	中見犯法軍市令祭遵遵		烈	衡	
T _C	所難三君者	楊干之僕前	्राष्ट्रा नि	兴幽	以聞太宗怒日是	班豪縱仁執特	75 E1	ļ		717	以為刺姦將軍謂諸將日當僑	汉	格殺之秀怒命収遵主簿陳	那 超		جاج	***	
	類 (T	順	, 附正 握抄	小女	机	料 _c		ļ ģ.	100	作本	令所	○隅○嗣	分积	į	定	軒	;
	一君	懂	İ	握り	.w. ⊟	· 加	共部人		九		淬化	が、	0 脚	カス 日 月 人	;			
	老	崩	ì	抄	. H.	加			2	ĺ	避傳	alt.	ᄗᄝ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				

		不可為後世法	遊覧	新之不令其 强妻子也 復窮	三 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	新司改所以不令胃复刊符者為其煙敢也果然失 都龍將軍胃後與五較戰于真定後傷利甚肅王大	賈復戰真定
		二、忠貞堂	越給殺韓信尤條刻少恩		我子娶之生男邪我女	者為其輕敵也果然失 真定 復傷創甚蕭王大	

且の能 至 Ŧ 也大盗賊群居無終日之計財 周日不然今吾衆雖多能 戰者 不感悦于是名震關西諸將豪傑皆勸禹 奓 方略律 休っ堅 或 盆 子 志在技 べ巻ここ 子為赤角所子故式 侯萌 敞以 風地 理 (逸待勞) 所 以記される。 到 ュス 諸營 財殺雖多變故萬端堂 居長樂宮· へ 敝○債 乃○人 穀充實鋒銳未可當 保 少前無可仰之積後 郡邑皆 可っ稀 骨っ健 稀。 뇻 徑攻長安 ☆教多高0 開 也 1 別軍 الماد استارات

古方略律 以逸待勞折籍答之非諸群憂也無得復妄進兵 慎毋與窮冠爭鋒亦眉無穀自當來降吾以 粁 具受命引而西所至布 無好虜掠卿本能御 依 王 诸分 附者日益 郤 之 訴 宋司馬光日周頌日鋪 莽 更 始 之 亂重 如 軍馮與代禹討之車駕选至 縣領 収 將 都縣大姓各擁兵衆萬不能定 自 H 軍令奉辭討諸不執管保 官兵實民城下 H, 中川是道耳 散 , 勝之二 平定安集兵 叛 赤眉延岑暴 後威 烕 一以赤眉 東土の 名稍 威 不得名為兵也。 念自 延岑之酷元元金炭無所 家上策失此 珔 信。 亂三 損 释思·我祖 群 叉` 修勅。 河南 乏糧 益多 輔、 路者遣其渠 帥 扶謂 風京 降徴 光武 勅 無為郡 則 典 カロ三輔* · 末定 在左 剽 鄒 帝乃遣 数 縣所苦 椋 飽待 髙 遪 四 中右 僕に

五一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	北武帝遣将撃衛衛軍 聖兵撃隆軍大破之浮建遂不能救。 聖共執宣可得相及此可悟兵家大略 世山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 世山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 世山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 世山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 で山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 で山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚 で山氏日此徐僮間以相救為奇者失律蹇甚
----------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

不稱以為朝廷差夫理國以得賢為本太中大夫员後為何人所賊傷中臣要害臣不敢自惜誠恨奉職新公郡延収渡强起受所誠欲自書表曰臣夜人定以軍事而及效兒女子涕泣手刃雖在身不能勒兵以軍事而及效兒女子涕泣手刃雖在身不能勒兵 遂克 公介 観可任 代之欲丧還洛陽乘與稱素臨甲送整 明帝聞大繁省書欖溶以揚武将軍馬成守中 明帝聞大繁省書欖溶以揚武将軍馬成守中 明帝聞大繁省書欖溶以揚武将軍馬成守中 終網日書使盗殺三公孫述二袁術一 或日按傳贈征羌侯諡節不並列雲臺謂何 惟適氏日讀來君权表解至今凛然有生氣當與 ī 師二表並傳。 君獻 权字 下辨乘勝遂進蜀人大懼 與盖延等 願陛下裁察又臣 來 進 攻 王元 我國放呼巨鄉欲相回 兄弟不肖終恐被 使刺客刺 埬 延日虎 忠貞堂 罪っ 段○職: 抽刃

	京
--	---

 ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	<u>!</u> _	 <u> </u>		·		<u> </u>				_	-	141	\\ <u>`</u>	ub.	<u> </u>	
			與高帝伊丁公同非也	兵帝又	· 裁為帝計宜罪已不宜販候何令東	此而帝以意乐	古方降律を七二	贬	艺山氏日使帝非出獵而東中門侯	封。	臣所竊憂也書奏賜布百匹	而陛下遠獵山林夜以繼畫	3000000000000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、100000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、100000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、100000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10000では、10	面於門間 (日大明遼建遂不受部	出鐵車駕夜還揮柜關不	,
				帝又將雜貶形或曰此	向令東中	貶佞豈	八息貞室	之則是帝使之受貶非侯自	東中門侯失職、贬之固		匹野東中門	八機畫如社稷宗廟	このののでつるのと不敢盤干游田以	受	* 拒っ * 開っ	,

得っ得 数攻 冏 目 妖 7 祈 摒 世 ヵ 繌 逃口走 : †11 ì ĸ 巫 凡 謬 此 I. įЦ 略 蜣 劫 重其購貨東 不下士卒 雑 希其逆亡宜後 惟 ᇇ 賊 **热無久立** 吏 įĽ. 旃 to 纏 Ħ $\mathbf{\Xi}$ 卷北二 分散 賊 知 本 自 議 未有 常法明 中有 **苑傷** 第子 稱 破 亭四提 其 長 云 莊 稜 中 拔 陳 粁 妖 悔 原 仁 不 ž 軍 萆 光 臌 矣陳 世賊 為城 欲 武 足元菊 必 錫 閍 武 詔 臣 亡 云 以 概定 有 帝光 召 太 傅 £, 勢之 者、故 所 ø 豆 食:情報 時武 公卿 ф 鎮 欺 綸 髙 矣っ克也 年第 敋 大 等。 不者不能 日熾也 未確。 (帝然 挺緩克齊耳寺 治 也月亡 終四 诸 夫 後 妖 挺令 者。十子 侯 揻 妖 大仲 項夏 城 之 北し 佴 六郎 官 吉 王 然 則 挺 殺 命 · 於 耳 若 緊 **法** 了 外 驯 問 耔 相 **英重** 方 矢 扱 宫撒 略 日っ 全0不 妖

> 蒼 漢

> > 光

武

4

宜

古方 與○敢 據 黄門 臣不須籍請得 宜 宜 主。默 **養頭乎思意帝特佯怒以慰至耳** $\overline{\mathbb{H}}_{c}$ 也山氏日 臣 白っ至 地っ 之 失 。 宜 。 日 欲 芛. 足 末o門 略 特之使宜 陞 籂 宜。白 以 能 供賢綱目 同 不。 律 下聖德中與而縱 殺 作情に 日本 因勅 梅擊豪疆 たっ定 疆項 舎中 巻んこ 殭項 自殺。 pp P 車因格 兒 聁 令出辄賜錢三十 頭 頭日 (朝主宣不)(即以頭擊) 犯法軍市令 且格殺之况公主 錢不書書董宣何交美之也。 京 令 文叔 師莫 曲 願 賜錢 KCROMO O O O A 奴 乞 之 車 不。攀殺 不 Á 主 爱 三十 衣時 言而を帝日欲何 即 馬以 温流 血 八雅使 将何以治天下 運官訴帝大怒 非果 萬 頓之宣兩 宣悉以 ÷_ 被面帝令 () () () 日天 が見

小

数分の十 班 諸○不○不

世祖 備過息民

召公鄉廷議不决皇太子言曰南軍于新附北虜懼 建武二十七年北匈奴遣 使詣 武威求和親

陛下隔不再來将或易失豈宜固守文德而聖武事早蝗赤地疲因乏力不當中國一郡萬里死命縣在 奴貪利無有禮信窮則稽首安則侵盗令人畜疫吃 帝然之告武威大守勿受其便城宫馬武上書日旬北處臣恐南軍干射有二心北唐降者且不復來與 見伐故傾耳而聽爭欲歸義耳令未能出兵及交通

忠百堂

古方略作人格之二

古方略律《卷七二 卓養氏日皇太子言深識房情與科妖販 以世祖息民數古為法

甲攻

北秋尚預而屯田警備傳聞之事恒多失實誠能象 安負人有者殘殘城之政雖成必敗今國無善政是 制剛弱能制强舎近謀遠者勞而無功舎遠謀近者世刻石之功不立于聖世部報日黃石公記日奈能

有子矣。

者皆能推見至隱以此制變往轉破的世祖可討

一個微 Ē

逸而有終故日務廣地者義務廣德者疆有其有者

之城不過數年臣恐陛下仁恩不忍謀臣狐疑令萬 其左簽河西四郡天水龍西羗胡擊其右如此北廣

平今命將臨塞厚縣購買喻告高句號烏桓鮮

自是諸将臭敢後言兵事者 分而為二南軍于居塞下 世山氏日此足较孝武殿征之樊按和帝初· 為中國所卵真北軍于

天下之半以城大冠豈非至願荷非其時不如息民

子 32-212

法劳民動我視前此衛霍諸人其罪尤甚後世當

室求擊匈奴騎罪故追之耳無然之捷名過其實 而班因獻則為之勒功至今談焉是役也通棄祖

之威破而有之漢可毋出兵也特以實寫刺殺宗 迫于鮮早寒國來降所餘無幾南單干欲倚中國

帝以後 漠 丧敗數與諸將潰園 瓤の後負[アアル律したここ 光 岜山 日の故 不言而帝終不知何以示勸高帝皇 用子房畫封什方候術 質ィ後 武建武三十年歷 おおこ功我自己のののののは少方面之動 敢 K 方面之熟諸將每論功代後深入希令遠征而胜其勇節 目 不 惟 の我自知之の之動諸解 市 功 Ħ 知復之功故復 解悉身被 東侯 有餘 賈復 十 二 萷 誠不足者也 미 創。 作制 以不 未c常 音0自 n 從 中 彽 古の古 有○從 諸昌 言○之○刺傷 言 偶 使 因

謀其群臣 降, 酸析。 令西 能 使不為句 報答不敢 ŧ 漢使 明 旋鸡渔害令 鈉 之衆堅三十六國之心也 O O OSOWOWC # OROWOWO 硫線貝臣開北單于所以 婋 (練日)臣 連い服 畫開 帝 每漢 摇鸟 竹 軍司馬 12. E 权也矣 南單 各律 旣 到, 域 上の 汞 書○將 國○有 兑 誠 梪 欲 平人 帝議遣使 有 ·馱 婦 為患帝不從後遣 便 纼 不 奴拜單于惠恨遊兵圖臣今後衛命 恐持 化者 奴 幸有度遼度 卷之二 车 俚蹇白 來者問衆與單于爭禮之狀乃復召 ıÇ. 干泉 部切責衆追還繁廷料會赦歸家 7于 人 歸 不乌焊铁 大漢節對禮要獨拜如今匈奴遂 局 報 囟 促 其 奺 **W** 使 雖 又當楊漢 疑懷 要致 吳遼 漠 遣 者不敢 教 棠桁 奴肖 若後進之房必 使 地 (漢使 之衆 土之人。絕堅中國 通奴 往衆因 푯 2 離心部は *5*µ 後言如是南 和親誇示 者で使う 揚 形 歧 魏萬 欲~北芍 上言臣前 其尉 以の自越 JŁ. 心領 不護 自謂 忠智 離奴騎 再. 分離 鄰 単の 必見 雖 司

隶

諌

北

倒

奴

Æ.

27 祈っ

在

親使 庭

得 耳の 酸・チュ上

日白光武 対言さ 泰不 # 南 惟 耴 宇 Ŧ 節且 庭 Ŧ 雲中の 俿 方 Ĺ 4 此應

明

帝

永平 班

年寶園使

司

從

超

僆

西

域

大長秋鄭宏非明 野用事。非宦者所宜綱目揭 別之寶憲之誅宦者鄭泰與其謀固當班貫然 世山氏日和帝永 帝時 元 四年以 使匈 官 桶 奴 1者鄭家 書之所 鄭泉也 故以 以 A 者 大 亡漢 宦者 長

ケタ 宦者封侯姑此終綱 侯元帝之篇書官者為中書令而已未聞封侯 之隔自此始也至十四年後封官者鄭家為 律したといこ 目官者書封十齊魏不足貴 ŧ 3 鄭

ţ

甚焉因 傳後。適足 李輔國以天刑 等重光和二年日强中平二年張讓唐寶應元年 是年鄭衆安建光元年 建 和元 誻 司 譲 年劉 馬鄭衆事併及之所以志成也 後世耳宋徽宗 和 嗣之人而使之分茅胙土東 廣等 廷喜二年單起等又侯 江京等延光 時童貫封 四年 王。抑 孫 封 覧 又

必の従

苑:

無。 Ħ_o

無所名非 准士!

士也象日書のののの成功成事立矣

吏 0

~~ EO牌O排

夜

神神 出の

令十人

1後事文俗でのののの事立矣教

CAD速OTCAC社O心C競 解 背

藏房舎後約日見火災皆當鳴鼓大呼

種の第0番の髪の指り本の差の多の数の釣の髭の具の食い質のたのは 超遂將東士往梅爾管會天大風超 殄: 復

火攻虏

使っ彼っ

不

我 不气 7

震の今 市へ之 前の計の

節善

破艦

功 知

日當與

日不入

共の去 到 日何 知所 俱 忽更踈 數 使西城超行到都善都善王廣奉超禮敬其館後 **1**0 酒〇三 從故 奴 兩 使 懈超調其官獨田此必有北房使來孤疑未 £ 因の里 也 廣體 激o超o數 怒o乃o且。 明者暗未萌况已著邪乃召 心之日卿曹與我俱在 〇〇 敬 用侍胡悉會# **糜如令郭善妆** 北〇倍 吾屬 在絕域合寫使 送何奴骸 大の人の 奥o即

子 32-214

ţ

忠尚董

骨長為

豺狼食矣

為之条

何官屬

告

Ħ

令在

危

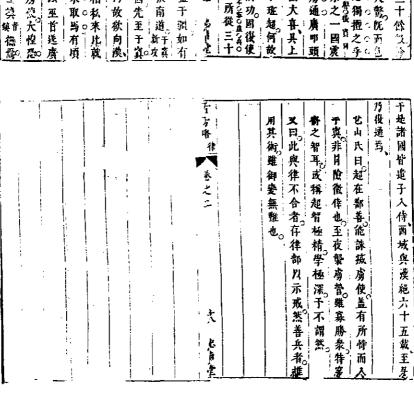
Ŧ

灺

古方略律

卷之二

漢使有 质视 六人 . j.. 纐 131 超 巫型 猫罗 此〇可 得 义 任○之 法 處多益為累耳是時干或王廣德雄 功効并求更惡使 使 島 阿貴鄉 超っ乃 超。百 쥝 F (于宾寺田 煅車 禮意甚 而更選乎今以 告の悦 郑○許 Ŧ 藍雄 于滨风 以っ起 格 考えこ 使者而 ż 斬共育 丽 漢の 敍 ◎舉手 日禄雖 ◎ U.Y.W.O.W.O.W.O.P.O. 疎 伨 腐 'n, 威の是 三人 大而 遂納 怹 Ħ. 奴 ħ 告 逭 素潤 其 欲 俸超直灣美王以 収 自の部 遠令 ¥. 俗 使 盆 超為 今の善 使 子 兵 其兵超願但将本所從 日上 來 許:嗣 信 監 西 起 A 以っ Ŧ. 斬 後0度の 將 護共 作,逻 在 丸 之〇我 巫 城明帝日 巫 祁 數百人無益 : 鞭 而っ腐 使 亦 团. 白 善 笞 後○房 令の徳 ぞう左口車つ 班。郭 찷 數 巫○遣 超 畫 典っ使 神 超の恂 從 更加 水の房の 下过续作 敥 Ho Á 사 H. 固 士 毛っなっ 方 n 張 固` 示 來 何 西 ゅ相 16 功。固復 琟 大事其上 通っ之 故 先至 南 于 + 模大性 巫 取○私 趧 道. 弲 肖 1 ○來 欲 何故 ij 如 选 向 Ŧ 新主 有 此 質の女真 有 人类、



漢 章帝 校 書 郎 西 惕 域 終 屯 Ŀ 疏 Ħ 訚 者 北 征 勻

奴

酉

終議 肽 三十六國 動 **牟**` 夭 地陛 融鮑显背以為孝子無改父之道 Ħ ፑ 妵 ú 頍 **旬念省察帝下共章第五倫** 年 不宜回異終復上疏日泰察長為孝子無改父之道征伐匈奴、 服 役 轉 輸 煩 貴 샀 闰 さ 民 亦 足 同

电戊西域先帝所建 **医**本

方方略律 泉臺春秋識之日先 卷之二 也。 祖為之而已毁之不 作三軍 如勿居而 おうして

大其後古以為不合則有害於 所部书 变电 ĸ 也今 士兵 久 聉 而 14 公舎之 # 未 取伊吾等 還 君

之役楼閣之屯 意也帝從

车

調模

班蘭 超即

以其無妨害於民

有彼· 後 古 意 非 不然而可藉 存 私本 義 以為 以 <u>#</u>

位尊任

切于

事情

從之。是書

此 終

者。

從

氏 日。以

含中軍

寫

さっ

两 域 电一 ώij) 豊 っ但

胍

玔

面

亦 Ħ, 戒

不

柭

終 此 颧 姑

此 誠

議何 有神漢 竹可

也

叉 勸

楊 若

宝

Đ

旣

不

書

意上

章 敞 栽 飾 t ń Ŧ

康

Щ

王

詂

凡弟並

叉賞賜群臣

水早。

民

就制 親 朝、 師心 特加恩龍 不 追就

膳節用 方 二千建縣 咯 人石侯軍 百 元 紀〇进 州 令律三千以為配門戶本 在共百石各七千歲青羽 次十五萬鄉十萬校 計五 次十五萬鄉十萬校 計五 緑逸家 之時國 以複載賞者過度但聞願 何` 蒧 南害中 赦奏記 中州 宋縣 · 五萬侍中公五萬侍中公 内 郡公私届 Ħ 此 年

大木 賜 弱 夫二 條 按 此 庭

養凉

郎萬 特大

日春期・宣行品制申日徐賜也で、これの資産会家之用作

臣受實亦應有度是以憂禹玄主周公東自百姓之力明古場亦為為代也作者非一百姓之力明古場亦為代切音依賜也合王侯以下至於空場然藏損耗國資壽公王侯以下至於空場然藏損耗國資壽公 室無遠而已哉宜先正重資深員大上當正正 車 疏 人 H 澤 湬 陛 下 P1/2 一侯就! ŀ 暢 門漢 至孝孫孫恩爱 黎 作制 . M_C 庶 除苑 下 太 車 子 怴 EC和 巴口和 中 磉 矣 圃 故諸 之禁 緜 公東帛人 不 止至 **隆深禮龍** 車司 群 o 丁 c 能 節省 當濟 用 尚 諸 書 Ξο

官 籽梗

放上

公

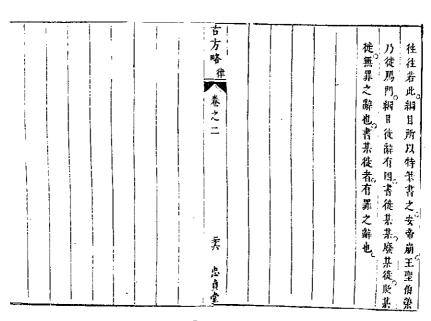
臣所 唭 Ŷ 献 具 西 魜 Ħ 分 美 當早 李 世 彪 B 陰 汉 甘 **1**0 ń 等 į 尊 瑜 拼 · 等 早 是 宜の就 ø. 速 制 胳 就 Œ 不 肯 卷之二 翋 論與乱 便! 情っ国。 ü 里 牧 Ŧ, 特, 、不っ而 IJ 袓 過 優 以 幹 度 恋⊃室 甘 私 逄 思損 錯 塞|以ο第 妻 弱 春 康 制 衆 子 養 枝 秋之義諸父昆弟 っ相 青 空帝未 幸 七 斷っ望 思っ久 成 Ë 者 家。 团 Ŧ 也 以支廉 餐道康 之序 盤京邑 自湖 型 及 成有 F 造 徺 享化 差 失 馬各 家有 君 業 北西 無所 Ð. 鷩 大 Ż 虚 Ш, 亚之

| 孝文 # 得 奴 其 轉 将 萬ご塾 え 搭 黄岩 鳰 也 鄧: 奠 方略律 前 丞 不 里の関 E 不 耕 耔 丰 動、門塩 以 騰; 文 皇帝 速い木 Ξ 陆 遠 後 北嶽 討 帝 伏見 備 種女 坐微法 敢 輔 亩 南 則 糧っ稼 戍 簳 寺名 之 湬 间。 初 徘 H. 遠っ不 不質易 故 뜜 上 遛 休 農 杯 輸作 左 馮 疏 徭 振 就の得 夫 ٨ 織 絶っと少 功 參 許 八之雙報 薦 *** 港っ収 校 以 唐 紕 彽 旅 消 也店 水 於 之言 **涨**後 若 令 参 戎っ 入 於 ij¢ П 쐽 徒 使 伍o追 河 臣 El, 肋 不っ百 轉 征 ふ 其 ф 州 之身。 南 今差戎為 運。 休 而 臣 犇 耆 Ϋ́ 若し姓 子 西 請故 先 麗 參高 明 赦 闘 北 特。 軙 總の力 地 俊 精 在左 折方 ij 之 兵っ風 苯敦 豼 鍁 剔 財 カ Ъ. 上 養衆以待世の で不復堪命 に不復堪命 抺 尚 i, 耻 婸 不 書 푳' 灯 仕 虚今 、患大軍 さ 器 尚 於後 前 オ 面 雪 復 目。 懈 肽 微先 之難 武 罪. 矣 Ti. 使 重 方个 沮. IJ 中生 畔 之舉 略 書 乏 使 出 监 Ē 督 祭。 不 其っ臣扱っ是 酉 者。 ш 힜 有 Ø, 共不 疥 西 奏 扩 如 40年 电 逡 介 川 嚹 大 概 魏 逛 11/ 州 土作 騎 单一以 軍、流作者、特 魏 泛 尚 用 宇 魏 今 **±** i 御 Æ ・不 民の騎 IJ "

	古方略作卷之二 臺 品自堂	型 權 平 多 / 子 / 法 後 · 子 / 法 · 後 · 3	之功免較參刊以為此锋必有收及宣历明就印入
--	---------------	-----------------------------------	----------------------

在於臣妾水災之餘必起於此首韓妈每朝前以入在於臣妾水災之餘必起於此首韓妈每朝前以入 权安 也赤 多以 遺僕從人数百匹前我 國廟比進中使致敬甘陵未軒騎馬相望道路可 侯二千石至為伯禁獨拜車下發民修道籍理事情 孝至矣然臣竊聞使者所過威權為蘇震動那縣 加以百姓不足府督虚匱陛下以不得親奉孝傷見 **兖豫蝗蛛滋** 屢珠青其之城海雨漏河條岱之廣海水盆漁 **慶尚書僕射** 漢安帝數 方路律 及 託叔 利符大臣皆根為伯禁州節車丁陛 儲倍 大臣皆很為伯染州所車丁陛丁不問必父之獨清河有陵廟之學清河王與平也故日数百匹尚非顿路呼完莫不叩心河間不 及具也微從無度老弱相所大理做從無度 造黄門常侍及中 をとこ 之味で願明主服天元之尊正乾剛之 女使于 生期揚稱收儉灣并凉二州卷或線及城衛兩編河係俗之廣海水益強量與 陳忠上疏曰今天 造 111 幹 錯萬機重察左右得無石點 顿路呼嗟莫不叩心 使 心未得隔并都 伯 条 岴 星孔 動 Ě 尺 息日本

稳。上 尚書 之關徒乖宋景之誠故知是非之分數然有 所前縣有不聽今之三公雖當其名而無其實過者而災變輛切免三公陳忠上疏目漢典舊事丞 不被因家萬世之湊也。 体背一 縣尚書尚書見任重於三公臣中心幹獨 泉異不能為害妻不省時三府任輕機事界存尚 安近以地震策免司空除賽令者災異後欲切該三 無未轉阿傅之後外屬近威得無王與害商之課 公首孝成皇帝以妖星守心移咎丞相卒不蒙上天 方略律 世山氏日 睫然易見夫以安布親政僅 按通鑑載帝數遣黃門 政 觊刹 燍 决事多遠故典罪濟無例武欺為先宜割而 一由帝命王事每次於已則下不得倡上 日則 围 遊科 典下 一创符大臣公 巻こ二 大書宦者及乳母王聖女伯榮其失 面也。 防威 福置方圆 省 作件。 积 為 於規矩 及 侚 抻 杂 裁而所為外級 昼登 使 伯榮往來 軽 後 ት. ጎ 有意 重於 泉泉 四 危 爻 相



古方各律人卷之二 其如 人是用陰陽乖 强上 罪令群 按漢靈帝光和 子發館帝之愛厚宦者欲其流 刑之人非有嗣續可傳之實而順帝乃聽其以卷 數 疏口宦者品甲人贱妄受茅土間因承家小 百全終年積聚造無憂怨察遇對問哭刺背 開府階誠宜蔭子講者監何縣有兒此店 臣皆 能 官。 以邕為戒 唑 刺岡不 下不容其言令群 浸 年。 滅 何哉。 封 繇弦采女數千衣食之費 E 中常侍 铷 紨 W 13 廷不 8 直 澤蕃衍勤 邪咽 张 書 已始于淡汽天 後得開忠言 Ē 祁 于册失自見 幣致" 鄉侯不 政 亦 斯阿隆 # ·至 矣○ 色

東京帝知其忠而不能用觀強備言封傳官寺之非 選然終綱目宦官可取者僅三人 B强以賢楊後 光以功張承紫以忠舎是無取焉耳。 一

旅之聲 之兵 1 動, 及不 全命。 **勞怨** 困 規 菅 臣 E 順 暁 Z 也相 哟 因c之 共 那女 帝 人定 餓死 大 胙 'n 匈豪拉 可 於 賢等擁 灰 T. 和六年武威太 埶 出 以 馬賢 者及 溝 价吏 微勝 <u></u> 功 上 滌 . 果₀ 暴 擎鞪 血 億 疏 河 肤龙 扣 進 則し 象 目. 12. 始 西 骨 虚し 四年。 出。 桑 懼 不 出於平 可 Ľ 四 生變是 中原、 更 得 張っ 知 比 郡 U 之可 其必 宇 快 午 兵 首。 未 納 為節 級日 民 有 徒 鄆 趙 降 ĸ 敗。 不 相號定也。 以安 見王 回入 成 來。 갰 軍し 功。 首等單 徽 則に負 詼 數 度 켋 煩 願 追 敗し K 中之言C 亥 縣 吏。師 一番西 加で流 侵c散 陳 不 師之 擊擊唐老路 臣 ガ 尾 假 功 期j 计之 能 挑 土 也 臣 年 出る。 宜 £ 人叛 暴○夫 地 7. 匿っ 所為其出 屯列 两 少 . 不言軍 たま 荷o港 侵袭势际在 計 ÞΙο 山 山谷區 開拔 競っ戎 則 查吏縣達 可自 戎 尺 温 A 臣 郡の

	方が作 春之二 平 忠貞安	是用者凡諸敗將非官爵之不高年齒之不遵臣不 起張首級在近代諸臣左盡兵民之蠹如所云囘入姦吏
--	---------------	---------------------------------------------

擎 左

東老四據龜 通o 東 **乾也** 君英 之安 # 定言於 衆 清 豪遠 洚, 郡 兹こ返こ間 都 A 亢 界以 相 料・進の之 针 渠 丰 者痛 屯 っ削 敦 伯 南 炭玄人 學老豪選與馬二十四匹金錄 與兵 長○勒 煌 何 德 左張 無 解 泉 人 お 美 復 美 復 美 復 美 復 城c兵 奴 共华 于人 枚 而出 左 此来 集 薡 作 兵 軍吏以 Æ 使い上、 等破 丽 南。道 東意 何の将 4 到 點方 之伯 效、王 衛 招 力不 後春 查收 職 壁中 青旬 德惶 敵 種 共奴 変し誘 名笠

> £ 輸

干!

九昔為郡吏再更叛養禄等其事有誤中之

C知馬賢以O股事見 那O帝

作

左

乞

形兵勢佐

助諸軍且臣

元官っ 地

備

單車一介之使勞來三輔

宣國威

澤。

Ē 都从 Ť τ 华好 \mathcal{P}_{i} 忠前差 ス 遠. 古方谷 巴數十年日 · 所 所願

徘

祭之 二

烏鼠

至于東北

岱其

病一也都将郡

其病一也為最而名女日露右孤危坐觀那特日露右孤危坐觀那特

使令

如

常不

名及與正身潔· 不以入懷悉以選之前此 不以入懷悉以選之前此

八 꺄

足力 在此 方 至 志一八枚 與於 沿 起前 以而

貨寫差所

患苦、

惟 適

J(

F

用

泉

之法與康范

梦

炬

扎 悅

北 业

包 嗷

奴

周) 五

者 ξľ

6 大

不 此 н,

化

規為

前 耳丸

够 其病

հդ <u>Ֆ</u> 垄 在也 梓。

相

勸

胳

韻!

凡善用 招誘

、寡者。非

出奇不

可。

奇在速速在果

東港

南匈

奴不得交通則

冠竊孤我勢益

樵

古方

华

色とこ

不月後 į İ 得达胡 校 進胡印 亩 義 **港患轉盛皇前規上疏 日臣生長郊岐 我從役义叛** 之京 撆 年. 州 羗

刺 兝

史 并

郭 凉

閱貪共

問 中

州

阾

歸闔歸罪於

頬頻 共功、 潁

坐徴 稖

Ŧ 頍

使小姜

也一总个 力 及消 カホ 佗 + 肹 交韻 也老 孫吳也後 鄁 芭山火 餘萬 将 抙 惠州 雖本 則 帥 臣猛 也成 束 献。皆乃 誠 盈 法太 城之是 手待斃其為患可勝 世 勤! 劚 不 舒力 暮 明 郡 零 字 卷 画 如 規 湏 沜 孫 兵 滅 勤 吳 IJ 擊光破之光幕 平不是 未 赲 拙 眀 加刻 勤 孫吳 相 若 職 BJ 撫夫 平 奉 耋 孫 鞍也 步。 一共區 Mi 用 吳 放東 吉 爲 傋 此 未 使品 哉。 庪 不 儒 規威 H 耄 支馬 娸 生文吏卒 圳 奉 者之言予 校泰 八非必縣 信 17 法 鼓山

1

子 32-222

忠真。

下方略信 一時功能之士結手編禁即欲設竒建畫動 此令一時功能之士結手編禁即欲設竒建畫動 香水之二	按規此辯甚確彼時獨中官求賄不得以此構爲考就臣愚惑信如言者前世尚遺匈奴以官姬鎮者就臣愚惑信如言者前世尚遺匈奴以官姬鎮	又日皇甫規平定諸悉惡絕官官不與交通官官
----------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	---------------------

		对日。經視 將士以恩條奏諸罪以應行事適機宜	行矣後世銓曹宜以皇甫規為法艺山氏日或免或訴權貴誠而老弱汰威信自此	幸方路往り 多之二 海 忠真虚	法度規到悉條奏其罪或免或誅悉人聞之翕然友 第8 太守趙熹並老弱不任職而皆倚恃權貨不遵	都尉李翕督軍御史張禀多殺降荒京州刺史郭問乞除京州復通先是安定太守孫雋受取狼藉屬國	三四規親入磨爐巡視將士三軍感悅東羗遂遺使零諸種羗共討職右而道路隔絕軍中大疫死者十	漢桓帝延熹五年沈氏惹冠張掖瀬泉皇甫規發先	皇甫規討將沈氏
--	--	-----------------------	----------------------------------	-----------------	-----------------------------------------------	------------------------------------------	------------------------------------------	----------------------	---------

まりきた人 郎一人傳發書奏 Ŧ. 漢 传参選士人建武以後乃悉用宦者自 somorofos ± 人 *om 不 # # *om 漢桓帝延熹六年尚書朱穆上疏曰按 來浸益貴處天朝政事一更其手權領海內 出停宿 0 自 ০ 家 E 疽 上沼 **槜典置侍中** n 悉罷 0 按 m 未 不接全鄉乃以閩人。 の親 糖 卒放特書之。 良久 和帝殺寶憲 有 其處帝 書卒者卒朱 憤 未とこ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 室 事の傾 **越**後疽卒、 乃趨而去、 官 不納後穆 人主窮困天 呰 中常侍各一人省尚書事黃門侍 次 植 怒不 川姓 葪 帝 丽 殺 仸 穆 自 應稅 族大姓 梁 鄭 何。 此 為 因 梊 賢也 载、 中 伏不肯 Fo 常 進見復口陳日 を 発日。 投 祈 願 官 宜 侍 **自和熹太后以女** 宦官 仸 帝 數 皆 亦 日龍遺傳選者の方質門通命所 右庭朝の心稿 唐 殺 因 起 延 御草犯在 剧 态 左 事 平 故 右 勘 横 心与生 笭 傳出 部談 E 関の皮

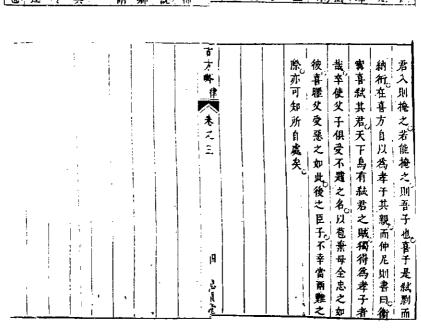
之惡名萃諸其身京國問巷無宋臣之為人臣實疎遠亦安能 不 軍節 芭 漢 說 北 袁 萷 !琯 僕恣 甘言早 小 共後至 上 μļ 烏 宫 紹 徐 膫 共迷然謹愿 之陛下之左 合之不恐是故 惟此一 遷 度判官上書乞斯宋臣其略曰漢唐宦官之 氏 能 門之戮少長 更九 何 璜 曲 横 復存哉っ 都 日 進 A 詞而 間 旌 一于滥 朱理宗 (諸人 人莫 Ē 瓁 人是疑 里。 前 年近百載皆宦官之時也 至其服役 쒦 回 觴 敢 欲 Á 右使 人言為已甚也 而 信 議 清君側 祇 駢苑 開 和 刔 也 謂 不可 古 其 慶 帝 显不 此 其未 非者文 是時 令亦衆矣此 人 舠、 汞 丰 千主人之前因 之 元兵 枚 灁 亢 必 召而自 妨 無宦官併無天子矣 亂 推 四 小町 怙 小無大輔 原其 IJ 微 天祥時入為寧海 伐宋。宦官 随之間 年 千金之家强 威 盡 柱: 迮 生事也好 至也哉陛 以喻大 名 È 知 柳 ·断 獻 不歸之生 則起于時 不 害彌甚雖 陳蕃寶武 帯 亦未 12 是 忠月重 敢 莄 蒯 董圖 宋 夭 忽也 平元 F

			í <u> </u>		 ,
1.7.	6	附録于此便後世因以為戒云	云按天祥此言切中宦官情態物之言尚有未盡	這天下之心哉人空陛下稍抑聖情俯從公議云	億察及此,則亦何愛于此一人而獨惜其斷以重
在		チ	天	F	及
31		此	祥	之	此
\$		俥	此	N.	則
	1	後	青	哉	亦
-	1 1	世	切	伏	何
	. 11	固	#	望	愛
		n	宦	坠	チー
1		為	乍	F	此
1 1 1	孫	戒	倩	稍	-
	余様を担	式,	態。	抑	人
	鎌		穆	聖	而
4	基基		え	橋。	周
É	東正		声。	俯	借
	I.		尚	從	英
			有	公	斷。
			未	議	낐
<u></u>	<u></u>		重。	굸	重

讆 周し 欲 郡苞出戰對陳賊出母示苞悲號謂母曰為子無狀。東班王至 400 年上有 3250的 1913年1913年 18大 30經柳城值鮮早萬餘人入塞超鈔叔賢苞母載以擊 古 求所 핻 程 以微禄奉養朝夕不圖為母 方 た長 Щ 徃. 7 非 帝光和元年遼 畋 П * 日 苞 律 阪 之可 Ł. 生 ğζ y_{l} 也 卷 地之苞即特進聯合のお子のののですのでののですのでののですのでのののののできません。 徐 膨 母 君 謂 未汇三 如 之 庻 Ł 之 鄕 帝 城 是 私恩獎忠節 母 建 徐 ガ 膌 有 ٨ 玥 為操 安十 戚 索 骐 何 一西大: Ε. Ŧ 何 而 食 商 所 二年曹操 此 不 末 單 П 祿 饒さ 守超苞到 得之矣 獲 顾而遽戰 生 立 昔王陵母 惟當萬苑無以塞罪母 而避難非忠也 賊悉摧破其母 廉 一共生山 天下遂驅血 作禍昔為母子今 舽 備 追 Ť. 日今失老母 貀 手。 不可然亦 造 必不才也 使つ 吏 į 殺 為 伏の 迎 Ŧ 4 劍っ 賊

古方略律 許皆不 不 ï 不 Ξ. 叉 都化及入 謝其母母祭 迂瀾 沈王業 日司馬 戰而死猶足以存母 | 水生 城冤哉李夢 責豈客 不 . 子矣不食而卒縣王 化 何恨之有經卒就該宇文 Ē. Ú. 日 以罪其子安在 忍思君事管皆 及殺之其母並氏年 共 车 巻こ 所昭 枢 母義 豿 憲 苞可 朝堂百官畢 殺其主髦于南 定 贫 **心宗元** \mathbf{E}_{0} <u>=</u> IJ. 勝又 惟一苑 廢公况 此 調從 太后 本朝 舣 别 和 誰 八日也傷 逐 售 客 不 十二年李想分兵攻 不死 Ą 妆 李賢又長以 誻 以 質給事 就 獲 能 許二母概之首之視 此 収 Á 攃 義矣 木 九 以 īF **图下尚書王** 說 經及其家屬 勇哉不敢而免 薊 裁 夫 不生 段 十二概枢 恐不 化 亦非定論 Д, 沛 鳰 悲夫 毋 中 及 賊 柽 苞 之 共 以全義 紕 得 郎許善 Ŧ. 子徃 鋒 Jul Ŧ 其君 其所。 劫 羽 後罪 **除之論**。 不 P 付 紐 爲 當 有守 烈富 邸 Ŧ. 哭 廣 ď. 廷 耻 殺 後 Flo

古方略律人悉之三 更元 壯而 其君將死告其子喜曰吾得罪于君 子而以陵母自待先自 卓越氏目也之所以 忠孝安在哉柔 導以滅金借全親之名 智計當出苞右愚竊以 孝不兩立姓為親居孟 而不跪叱日处即免耳終不偷 金張奈為蒙古兵所執至軍前見至師明安奈立 之不從逆其志雖一幸不 城縣按昌齡之母與苞母同苞之不勝城 而吾生是戮 元帥或日以柔 必欲求生也必不若是恕也春秋時備審殖 親于無京柔嘆日吾受國厚恩不意至此碩忠 釋之其演卒稍稍來集叨安恐柔為變質其 免賢于逆生汝去逆而吾 死乃孝子也, j, 以 董 吾也會官軍絕 B 不可 視 為 苞 不及假者為親 與 郾城令而 11 而竞成 色同 處以 柔 帯 有合于程子求生母之該 小幸 小 異 耳 C 終 - **F**-耶城歸 H 4 苑 4 資共 所又 生為 語、 叛君之實其所謂 臣事蒙古卒為 古 Д 八条為河 何 汎 一切一 他人属明安 〇宋寧宗時 烙 4 梅而無及 王陵待 伙 -4 與昌 龄乃坐 故縣今 謂



怨海内 以炎 ぇ 速微鶴鳴之士腳奉在在軍品之事 则修職士庶人見 古方路 速速 旬月之間。 鴻都門下. 感 杁 有 前 可 电动 ħ 外庭体 症体 玩不 各受豐 大漢殷 子見怪則修德諸侯見 冠長 弭 **堯舜之言身**踰 郹 元 者乳母 悟改危 議耶 律 亂 並太 倒 並 祁 之士斷絕尺一抑止盤游真上天運威 ≪ 巻こ三 帍 趙焼貴 即安今蚬 動不已故要出妖變以當龍 **臀不次之龍而令播** 各 妾撒 後之 召 茶邕對瓦 易陵谷代處幸賴皇天無象謹告周書 依阻 核 :群小造作賦說兄寵於 光 怪則 H 滌 權樂松處常伯 術 大夫楊 絕 重 尹之徒共專國朝 虺 天 臣伏思諸異皆亡國之 修身性陛 俗之行葉捐溝壑不見建 **堕鷄化皆婦人干政** 更(之爱先替口 又為姦和今 下讒諛縣盆 日春秋 怪則修政聯大夫見 察 任芝居 其 下斥遠 **绅之徒委伙啖晦** 風 Ė 道路 時更相舊說 續 天 £ **欺問日月又** ·納言 責欲 金商 以 佞巧之臣 粉 z 忠真意 所 Ą 怪 図 Дo

平, 叔 追則 表無使益思之更受怨姦響章奏帝覧而 **全** 夫 損 쏬 ቴ 幸 觼 校 大 實守正 純 1 T. 'n, 方路律 璜遂 天 府孝廉士之而選近者以辟召不慎切責三公而 厚 髙 7 人在 14 委任责成 裁黜者 曹節 於 塞咎 爻 臣 17 沝 Ŋ 老 趙 張 為 弦屯 小文 位立之 聖朝 並宜 成 行 ዥ 使 莫ご政 類 贬 齐上 戒 九 人 飛章言邕質數 老之三 超取選舉開請託之門 么, 咎退 禄大 質叉 騎 蚏 部 jy. 優劣已分不宜聽納小吏雕琢大臣 £ 改編視之悉直語左右事遂漏 ķij į. 謀主數見訪問夫宰和 校 ħ 所 設 天 É 日思報 夫橋 뜐 禁令深 與將 懈言之戒下 Ħ Ħ. 尉 進 豹 光雕 盖 榯 引 爋 ķú 玄聰達 身 升 潚 作 勈 左. 陛 惠贝 勲 惟 村 避 並 大 邑與大為 ~F 昆亦 贤 虒 恐而 備 尬 近 叨 以 有失 Ź **漆為** 臣, 特 琿 寉 方 私 稲 直放大尉劉 幸紫富優足 有名食獨 霍起 亦 絕 腫劉 身之關 遊 宜從 か思 遠明王之典 枨 王媄 大臣 見 甩神 Ħ 廷 歎 為 惟 とう 尉 夫 普 也 侍 素不 露共 息因 又長 Ī. X ħ 龍忠 八宜念 謙 Ú 栊

勝球使客追路刺邑客城其義皆莫為用球又 章部城苑一等與家屬覺錯從朔方不得以赦 事奏中常侍呂强愍邕無罪力為伸請帝亦加 事奏中常侍呂强愍邕無罪力為伸請帝亦加 於是下邑質於雒陽微劾以議害大臣大不敬 儿 古 部主 掩蔽 得託名忠臣死有餘荣恐陛下 卓花 徘 方 团 言人主 未 日臣 **炮**耳 通氏 郡部 ıχ 大夫 1 血 氏 謗 實 El . 1 使加毒害 為應大人之賢不 長養成 董 [e] 豧 Ħ 卒至 題節 切 炉 或 Ή. 而邕亦 世嘗數有 令邕蚤 巻だ三 志 譏 以邕為戒 以邕 便 不 欲 用 顄 机 之也後 得 E 獲免 得 疑怪 後 ψ. 1 奏賢以 君無 為直言 7. 害。 於是詔 所 姓為 亦 臣年 臣非 育 世 路者 何 下不 ₹c 固 庸 及 敢 至伙 **於**此 四十 Ŧ 亦 民 U. Ĩ, ₹` **諫之臣何至** 叐 尚書召恩站 念忠臣直 有 保姦 詩 使 附 E) IJ ィ 有六孤特一 幸 El, 霰 董 恨 夫 Ł 帝亦加思生 後聞至言矣 拳量 不 槯 邕是 帝 賊 情 不敬棄 良卒 幸 戒丝 叉烙 用 蜎 į 赦 言宜 包言 禨 珔 Ą 狀 山 其 市。

有言州 啓 無 F 蝗 魚 私. 郡 늄 祉 蹹 太傅原 間 未 | 梁 人 漢靈 念在撫 方略律 食於 為之 狀昔 纳 門多蓄 É 或登九列 骨肉母子之恩遂誅蕃 滑 踏 踏 蓝 蒋 車 相封賞父 Ŧ 髙 上 生 牧 馬 同江 小蕃大 籽 育。 事覺露 一地震於下此 · 及省 夷冠為之起 稱善 郡 服 财 《春て三 Ŀ 守承 或 貨籍修第舎連里竟巷盗 赫 Д 玩擬 書日 强 老 摵 間執奪重 斯 子兄. 雉 稲及 Ħ 朱 順風 於天家 三司 除父 之怒故王甫父子應時被戮路 惟之變故獲中與之功。近者即於 政政 賢武考其黨與 陛 宦 瑀 所以造成人主欲令覺悟許组 **第**。 其身遂與告逆 等. Ŧ 天意慎盈積十 **不**惟 母之讐 古降召選舉釋 中 即 權⋅ 里級迫脅陛 群公 **蒙尊祭素所親厚布** 武及尹勲等因共割 常侍 势後 位 旅 さ 卿士杜 重 藉 葪 位 志清 康管覇應 蓈 英之 貴而。 陛下 下聚會 謀 领 取御水 餘年故類 賢取愚 日吞聲莫敢 作 朝 獀 政率 亂 Þ. 群 王 月作 枚匙 芍 室, E

10万略律 後官 以 耐 微龍 書陳事日 清忠奉公帝以聚例封為都鄉侯强囚解不受囚上 選其稿 以答天怒與瑀考驗有不如言願受湯鎮之訴妻子 肵 何及臣為耶十五 兹臣 ŕ 陳 黨下比 不後 븼 有 釆 國承 有超高之形米 戒也中皆侍曹節等 忠者 僟 女 誠 赦願陛下 **以縣** 供官 今以不恐之思赦夷族之罪姦 家. 數 知 群 臣問高祖重約非 干餘 m 泵 Ħ 封 木 人::1 法 願 事 陰 人是 昔秦 當貴而今更敗者由賦 陛下 人衣食之费日數百金比穀雖 之封 胏 留漏刻之聽裁省臣表婦滅 年皆耳目 事爵 乖 Ħ 麒縣 信 刺稼穑 橌 已行言之無建所以 叉并及家 赳 女無用 改既謬從此一正 製之誄陛下不悟妄授茅 品甲人 高 功臣 聞見 瑪之所為誠皇 也寒不敢衣俊 以 **煮蕪人用不** 危 填積後 人重金兼紫交 賤讒鄙媚王 不侯所以重天解 ì N 人餐繁飲 急 庭 矿 — 亦 天下 使 更 月姥 康 刑 叉 脷 佞 臣 邪 類c 夭 亦

台 1 忠言矣故太尉 功成皓首 兢 上吳不 宦官陛下 禄無忠 雀枫 典公論 世山 猛 獨則忠貞路開衆 司 遠播天下惆悵 欲 咀 嚼 而為 老切流離豈可到忠臣哉令群臣皆以題為 逐 左 **氏**日 測 奏猛 捕 吉 天 相 司隷 歷事二主勲烈獨昭陛 (多と三 Z 造作飛條陛下 不容共 及 下大 作 按 占强 諌 者 難下懼劍客之害臣却朝廷不復得即 鸙 議大夫以御史中丞 司 校尉 段類武勇冠世智於邊事再髮嚴 輪左較 人之言類 學游生繁者干餘人 亂曹 隸 孝靈熹平元 功臣失皇宜 言至令宣露群邪項領府唇 飠 选圆而 較 怨以弭矣帝知其忠而 陽 尉 節 球所見誣魯一身既斃而奉 又前 叉李尚為 劉 有可采但極 王甫幽 剧 切言極 猛 受誹謗致邕刑罪 以誹書言直不急捕 牟 微色更加授 秋 殺大后公卿皆 下既已式完住! Ēß 段頻 司 七 几月有人書來 棘 節等又 稱段 代之 頬 忠贞 不 阊 使 頄 能 生家 杖

	古力略律・本元三	治教扶風燕縣子不常變姓名結客報豐為 一次一次以為與賢父日若不得不常便可飲此緊逐之先以為與賢父日若不得不常便可飲此緊逐之先以為與賢父日若不得不常便可飲此緊逐之先以為與賢父日若不得不常便可飲此緊逐之先以為與賢父日若不得不常變姓名結客報豐為司隸
	\$ 1 2	及 類 飲 質 扇 報 期 此 既 家 司 帮 罪。事。 卷 粮 粮

	或日燒布簽馬用田單火牛之法	潜令親獨詣関通之	禁非無	所無改氣其其物即竟以清制州刺史趙凱經奏處使後車弓弩亂發鈕鼓鳴 震群盗波縣破散追逐傷	風鼓灰賊不得視四以大燒布然馬發在突賊陣四索於馬尾又為兵車專致弓弩及戰令馬車站前順京於馬里站前順	定香之川与直文一度以非象蓝石天个 自上祭石茅靈帝北和三年若梧柱陽城冠郡縣冬陵太守楊楊璇擊者梧柱陽城
		部原生	具 樓 機 碳、	逐奏。	贼 枯 」 陣 前 身 因 順 看	太守杨

ħ 臣 民 中 好ご困。底 勞苦乎書奏不省: 得免選舉之負尚 褒案 虚 古 <u>'</u> 之 盐 共行 世山 任 以 方 尚 府尚 壶 成 聚太 略 書受奏 啟 ク費 |天方 Ŧ. 書或有 一以塊 實行其罪 1 氏日吕强 狀度其器 功 多 子 申 為 强 功 私。 靱 u ~ 私の敵 : 僕 客の少の 語の姦の馬 蕪 高時 # 卷之 絘 御 上 止 誻 可察然後 南三 电背 疏 毎 導 セア 能然 煮 書 用 到於 姑に吏c而 事 書宿 = 菊 祈 誎 付 闟 亦 書習 爱選 息の因の所 令 El. 國 蘇竊 团 是三公毎 之 後 徑用 猫 其其 flc其ご輸 天下 中 天 亣 至 體 奏人 此c利c之 不 以言 有 付 下之 獻 危 部不 書籍 之尚 位 坐. 曠職 只面 而く百ヶ府 ż 方 先 進の姓の大変を 卒罹 秨 者 進舉 艄 飲諸 财 輸 疜 後 賞無婦 用三 聚官荒穢 有 # 御之 西 莫不生之陰陽 中 弒 涮 之公 世謂宦官 所 西巴 來 圉 郡 暑 大赦又阿媚之の行之財調廣 . 登不 b 尚 選 圭 劾 選舉委任 之實中 引司農之 方 如是三分 受試任 豊 多議 请 謬 蛴 肯空自 ネ ķ, Ŧ 哉ん 'n Ą 如 核 = !

御亭更 然安集不順. |或乃 葉羅 作礼 † 守李 戦 軍 大 板 方 戻非有謀主 是 馮 祭兵 赂 U щ 至 順 果籽 위. 刺 之即時皆 有謀主傳 Éĵ 伸卵 氏 能自開 赋 亦 倘 4 南 建 如包 E 刎 至重僕役籍 IJ 征 和 問 祖 度 征代 割 板 武 羗 Þ 益 落 荫 板 陵 桶討平之忠功如此本無惡心長車 雖 後 州 自秦 夷 杮 貓 ~然 カス デオセ 不 可の期 × ---大人 亂 è 以二叶 箑 黄 靈 世 吏 州郡而牧守不為通理關庭——一九章為是無私 地元 和主 是 是 無私 地元 和主 是 是 我 我 我 我 我 頼 圖·天 不~無 立 集 ψ, 帝 小 力, 益 從 板 中 期 安之 靴の所 楯 後 其 程 敗 連 青 全ヶ甲 共 不 但:想 摧 租 如 選 族 對 選し故 日 踵 程 用 破之前車 賦 太守 包 共 板 能 豈 明ラ色 楯 克 能 能し落 桵 勇猛 t 曹 黿 数に相 ΕP 御 亂 中に聚 畤 板 Ŕо

75 古 外炭不 服匠之 相明惡 寛容故 閣監弄權忠 外背興于 受功 臣 す 鄙 日愛斯言足 不 行 國 可同器。 誑 律 所愛甫盆深 此 X 中平元 之 共長 放 皆樂餐蕭 八条 ここ 不 內是故處舜升 忠 稲 卦 去则善人 Ŋ 忠 之袜 間 也喜奏 應起 虚 彼 之耳。 為萬世鑒帝 僕全 偽 知 团 游 之. 则 構杜 岩不 Ŀ **म**. Ę 梳 上疏 炭央 官者 善人 之新 人 無縣 侚 不 而 使 ůΞ 詳察真偽忠臣 之功 者 夫 邦 正 進| 濔 朝 日c左 忠 粒 思 之 進令 延 先 臣に中 進姦 旣 戮矣陛下 忠見而忿惡及 题而 使 112 除 開し節 流炭言 行 海者也 張角 張角泉夷黃巾 [1] 夭 下 皇甫 共 占 危亡之兆見皆 不 南 自息壁 С 立共国 起 然後 ī 者誰 宜思 何 將 足趙魏 黄 陛 以 蕧 Jack Burn 下仁 用 繍變 破 T 亦循 叫 有 一十六 杜

馬鼓攻共西南城* ○表文: \$2周0 kc/東○ 次靈帝乃止傳擊弘 忠見 兙 以 古 故實附以勸來耳令海內一稅惟黃 抗 干 有 147 髙 管通急乞除不受欲出不得所以死 城而入忠乃退 方略 副 偽登土山壁之顧謂司馬張超 戦鈍則乞俗縱敵長冠非良計也 勧善討之足以懲惡令若受之更開通意賊利 퀴 挨 平 蜂作 圍解 不 宛 元 朱 歷載 可當児十萬平不 已設 徴 城 年, 出戦 卷之三 執必白 朱 暭 乃 司 儁 南 軍 能 空 W 嘐 侭 出, 因 張 克敵傷討 刜 煮 A J. 粉兵家所忌宜假 温 の赤糸 住 さいまい敬信討領川已 H 大 灰惶 上 刺 中的 如 破 則 史徐 疏 黄 微圖言数 催乞降 意散场 EI, 更 从川已有: 南 秦用 珍等 11 日 項之際民無定主 趉 田窓攻 (巾造道 滸 贼 ÍΊ 合 弘 之道也 也夫 戦也 衻 日 c 功 月 c 効。 起 為 **今外園周** Ή 并兵人 栺 飛用 圖之 帥 Ł, 萬人 納除無 貴(引其)師 連 欲 颉 | 既而 憩之の 戦 不 る 텘 成○南 核、

	丁丁略律	4 .	卓卷氏日解固破城得取弇蘇張步法	或日不納除縱冠自是討黃巾要略	是黄巾破散	然先登板宛城孫夏走偽追至西部精山後破之於	-教後奉孫夏為師選屯宛備急攻之司馬於堅率
	十二 息原金		耿弇誅張步法	討黄巾要略。		垣至西郭精山後破之於	紀佛意攻之司馬孫堅率

快然惮其名不敢害出為漢陽太守

或日选賢理 届鱼可望之皆侍 點舉可謂失言後

與不遇命也有功不論時也變豈求私賞哉忠愈懷

丁万字律 者也。 後世不遠不者果熟失熟得和 竊威福以餌士大夫丕無足稱而禁抑宦官如此 向使漢室知此義則官官必不封侯雄忠輩必不 目所不取然網目懲閣堅之刷有良法必禮録之 諸署令作金策裁之石室丕襲王耳而專立法綱 芭山氏日按魏王曹丕立法自今官者官不得過 世謂變正色拒延不能如陳是之委蛇此非知變 忠貞堂

金吾聚舉謂忠日傳南春獎字 → 使のECMC 180 + 0人→ 5→2~200 ラの間の最の間のはの見るラチ 夫 2 年 少答 我 寄 侍 萬戸 侯 不 足 得 也 變 正 色 拒之 日 過程 少 答 表 寄 侍 萬戸 侯 不 足 得 也 變 正 色 拒之 日 過 忠納其言遣弟城門較尉延致殷勤延謂傳獎日前 天下失空今將軍親當重任宜進野理属以副衆心 中平二年趙忠為車騎將軍部 在發柜营侍

前在東軍有功不

子 32-234

王耀德不觀兵令冠在, 碩碩懼不知所對 倖臣子弟擾之時宦者上軍較 一个之任子亦多 果 我一部房較影靈帝召見問天 禀之先出家糧以率教存 腳武耳帝日善勲調袁 之閣且懦耳 虛植 湟 張讓不 巴山氏曰人主有聪明而為左右蔽者哉既蔽 兴經 謀共謀 雙竹蹇碩惟出 熟為京兆 人為列侯所 熟謂帝甚聪 右即不 王允皇 がか) 三 出 可謂 费 門各以功封。 南為也或儘車或下徹或収印級而 以不没其實見無功 **明何哉綱目書封官** 聰明矣它勿具論破黃巾殺角者 ĸ 此 紹 速 の物 恨 下何 日上共略 面の以 熟帝又調煎 日吾巴 о餌 稍 設 近○士、 陳○何 尉蹇碩在坐帝顧問 有 知 . 不。 足。 者張 明 識者不至是而 可書亦以見 但蔽於左 敷日吾 羽っ 護等十二 むり並 剛 右 融ο先

太守、 活者 聍 千條 苦而及亂如此熟口 ٨ 籐 相漁 人後去官役拜 之事將軍也如一旦去此後賜將 即摩在此不在於彼且與它日之 **漁為吕布所留布欲使海作書馬辱** 淡好帝建安元年劉備在豫州舉陳郡袁 而應之日孫聞惟德可以辱人不聞以罵 **芭山氏日類蒯通之對高帝辯** 季源不 綳 小人 而當 ○事 可乎 し畑 将復 ○||年 理。 ÷ 特軍之意 布 使彼丙君 自 猶令 而

中平五年盖勲為漢陽

亂粉俸臣

古方學 B 東京和の男の元シ共大・處の ロンの霧栗豆相承奉總政不舉成行 以弘濟劉璋暗弱自馬為及以來有累世之思文法 以無道政苛民怨匹夫大呼天下土崩高和因之可 總令君假借威力跨機一 多怨者法正謂堯曰昔高祖入關約法三章秦民 諸葛亮佐 艺山 息息極い 無所避囚發中背省都事李彬罪狀訴核 紀綱振游而 清天下言于 17 恣君臣之道漸以陵替寵之以 し此の孔の明の見し共っ大い處い に 比 K 葛 本 日 劉 'n 朝 與子 をとる 駋 (於斯著矣 後 之以腎腎 治蜀、 尚 思政 太脳 産告子大叔 太 祖 (厳)のの 可施命憲司紹察諸道彈勢 幸鳳 日宋元以來寬縱日义皆使 加 州兩有其國木香惠無且 陽 JI. 略同 ી 1不薦蜀土人 夘 基居守基志在悉 祭 ○此○ 法 佐 以 行 成版版之の社 惠非 忠真 酷 っ注っ ą.

> 危走沙漠。 **宜少濟以寬此又基寬嚴並** 与作用皆不欲以縱致 明之為愚按基所謂提 基役條答言霜雪之後必有陽春今國威已立自 可取然為力甚難遂請告歸後定西失利 **六批還京基** 祖 比 諸 孔 明良非虚語 太祖 Ħ 鳳陽 手詔叙基勲伐召至京 雖帝 敝及 紀網施惠政彷 濟深達國體 建都 太祖手書問天象 Ē 地 彿孔 P. Jin 小稱基 孔 處 主 保 明石 俳

方 也是以 若。以 借平、 教新文公喜可 思若平生蔣 漢中衣護下蘇發之亮自臨祭為之大破之士卒離散亮進無所據乃枝 度舉措煩擾含水上山不下據城張卻絕共沒 鋒而以沒督諸軍在前與提印 **晝達夜及出軍师山亮不** 君其察之亮循謂不然以 之意而仁恕在其中 世山 具漢昭烈 越嶲太守馬 1 幣 律 亮流涕口 **収設下禄發之亮自** 復 B 怨觀亮之於設雖用臣衙吳漢不頭為於 以行 횬 法(公告 何(弟倬 をここ 用 琬謂亮日昔楚 孫武 何(希特用) z 洼 知 終 禝. 也天下未定而發智計之士豈不 颪 一也加嚴 謂 误复 し、昔子羔 討っ法。 所以能制勝於 尭 胍c魏 月 提速 和 の 経 馬謖 用 謖 俗 ~殺得臣. 暴 有 售 為參軍好引見談 好 其僕 特魏 知 刑 則 戰於街亭 隧遠亮節 言過其實 稐 當 樹 人 Ųį 天下者。 流の四海の脈 足 怨 得 晋 臣 文 四海分 延吳懿等為先 ñł, 诸岛 苶 愀然不 思仁恕 無其遺孤千餘家還 怨 戦兵 不 用 态页 裂兵交 可 充 道、 明耳。 則 法 凚 樹 濮玉 1 而 ħa

善之。 敗衆散惟 (1) 東京の 網亮使分賜將士雲日軍事 ・ * 東京の 後軍資什物略無所至兵將無緣相 イナ 事進 跃箕谷軍退 鎮軍將軍亮問 偏。 以右将軍 軍李盛奪 馬 俸賞之意雲此議甚正亮縣欲分陽將士所朝 岜山氏 於 作 位討 是平 **贵明者安在** 目 行丞 宼 粁 兵將 旣 各こ三 将軍封亭侯亮自上疏請自貶三等軍黃襲等兵拜平多軍貌五部兼常 徐 所 上 以危 箌 不 相 妆 領 禪 6年五五 濫 事 芝百萬日街亭軍退兵將不 葪 将軍 合諸營散兵以 Ĥ 费 不 ·時趙雲亦 内鳴鼓自 中王平連 能 相 節 失何故芝日趙雲身自斷 省 物 ;桐 守い規 负 以箕谷兵敗坐 カ. ア . 何 十 是亮氏許設及於 張 **諫没沒不** 失雪 郼 賜其物請 有 士 有軍資係 息利 亦 復 貶 不 JB. 不

其敗矣。 布 可っし 軍在 一方略律 所失於 不 丞 在兵少也在一人耳今欲藏兵省将明罰思 泖 相諸鸡亮伐魏敗 山箕谷皆多於販而不 马壳肌 境內属兵講 武以為後國戎士節 贼 乃為賊 忠貞

亰

不足而示之有餘也示有餘然後足以憚魏魏怿禪立而敵且易之蜀不國魏魏且圖獨故伐魏者 不蹈乎此非獨 下可圆亮雕略短不至此矣。 者非其智不足而不飲 嗚呼亮盖知 亡坐而待亡何如 得不出于此耳不然懈死而後 師竟至實志者在完之自言矣日不伐 巻こ三 魏之不可 伐城又日朝躬盡率吃 以智蔽其忠者亦其勢不 即滅也而身之不敢即安 伐 魏伐魏 瘷 而謂天 而後已 Ŧ

或日

深明詳備王者治天下之道

미

IJ

相蜀

在識者

推 闹

行之耳

數出者其勢使然也何也佛之英二敵之所忌本朝吳應其日亮不得已而保獨及備死而後

而竭其治國之才。豈以坐安一蜀不足而進年日

及

此 哉

夫門足之勢瞭于陪中悉亮之智

我而後吳之和國吳之和國而後母可安非亮之

古方 建0也存 也0 図 一方子子律 終始 室表 城亮具出其前後手筆書 今班以解已不辦之責义 軍平乃更勝驚就軍糧餘足 留後主督運事會天森雨 芭山氏日呼亮來還亮獨 詳思斯戒明吾用心。 略律卷之三終 都 口與公葵 游玩字 **主建與九年諸葛亮攻** 辞葛亮戒 保何圖中垂乎若都護思 **藤李典漢中委君** 名為外 巻んこ 李豐 督軍成藩喻指呼亮來還亮既退 推: 豊 李 平恐運糧不繼追參軍狐 不 於東 泖 余維樞 揖 其非 M, 否⇒ 쥙 李平 垣 ↓ 二 レ意。 可。 州江 較 上指 訓 偽退欲以 Œ 通過可受 至 礼 恭美 Ċ 英の為の表 漢の中の平

帝為 魚之有 戒 7 **凤臣非不悟鄙不學也太宗** 老玄談飾以妖幻之語用欺愚俗 對日佛乃胡中集點註耀彼土中國邪解之人取莊 古方 唐太宗守謂傳奕曰佛教玄妙 胀 * 才好 Ŧ. 武 按太宗 學堯舜 武帝君臣惟 妃, щ 所學者惟堯舜周孔之道以為 嶌 備之戒 略 律 牀 氏日太宗 水失之則 唐懿宗奉佛 師所圖稱講老子 生平 太子 巻た円 卷 故録之。 孔哉但太宗 Ž 承乾 談苦空侯景之亂百 慚德如 四 を水へ 所云 明 城倫傷化莫斯為甚惡在 大 喋 可暫無耳 趟 學堯舜 百官 Ú 尚 斯 州 言足為後世 禁門、結婚 頗然之後因 川 卵何 **找服以聽此深足為** 卞 丞 孔 無益于民有害于 Ú 之道 官不能乘馬元 셌 吐蕃 鳥 不 一佞佛而 之有異如 Ŀ 弉 調侍臣 鲱 内巢 总负令 疏 欺 Ļ 誎 世 能 崠

古方略律べ巻之四 琢 刵 已以全真不管身以 爭為基慈悲為主體道以茶 之資以給邊 切當之言二也事宗造寺辛替 于姚秦何 之于心佛圖澄最賢無益手後趙羅什多藝不校 宗時公主外戚奏度僧尼姚崇諫日佛不在外 專求 及乎三淮 從地出非苦百姓物何 命 Ż 不慈悲 智發慈悲心行 維衣 有為 費以 也 仁 誑 師 殫府 蔽 傑 4 法如 脈 搰 沸浪 **克苻融皆通敗滅齊衰深武未免災殃** 路 誎 佛 詞 貧人 虚藏損人也廣毀 臐 人則不 **追盆勤王之師** 貴 日が初 夢幻泡 陛 五樹騰 功不 连 F 息 利益苦蒼 之要天后 情 失 穿掘之苦以 濟物管身 傷教令三時之月祭山 臣當 使 影如 真 煙列 以求梁武簡文施捨無限 見必 賓 嘚 奪 物 葥 生安樂即是 在 此 刹 琲 釆 龔 亦 則 否 長廊營身也損命 不 切 盈衢無救危亡之 後人物不天來 本 虚 全見異罷營益 不清净。 如 햬 利巴以害人 當之言一也中 朝 母 電当若城 大僚 親未 Έ 佛書日 忠貞 佛身 教 功 啓 穿池っ Ŋ 野百 雕

古方略律 稅爲僧何傷請還俗者聽此令既行還俗者固己 滿五十者翰絹二疋雜役與百姓同但令就役輪僧道未滿五十者每年輪網四疋足及女道士未 耕而 民必 未必 袻 大半議者是之 道彭偃奏日叔明之意甚善臣恐姦史欺同去者 惟 不能遽汰僧尼盖僧尼 所見甚正恨後世紛 **諸臣之言益足以** 廢卷大息 扇共言不行也陛下詳時 野相也替否奉宗 恩按 適氏日德宗朝東州 切當之言三也仁傑天后 食不織而衣廣造危言險語以思恩者臣請 非留者未必是無益于國不能息姦天 将有職游行浮食王制所禁令天下僧道不 在 卷之四 偃此奏與变論佛教略 俗人 之所為。 本朝 珋 之直臣也 紛 佛教之非玄妙奕鄙而不 郝敬亦 毎年所 %传佛不 觀察使李叔明議沙汰僧 輕 天子之功 臣每覧斯言 **特上公也姚崇開元** 悟 耳₂ 榆 间, 謂 絹 儿 但恐此 疋 Ξ 不禁自戢之 代之安危劉 業, 不 E 4 未當不 必 走貞堂 質痛と 群 生永 行。

> 古方略律 部方式の 譯經 生靈者益信崇佛之無益 武及元帝亂亡本末乃知 叉目 戢 本 雖 朝撫軍如某某不媚韜鈴包 之術 清源偃議尚有 奉令仍 餧 出 相衝仮僧不忍殺一 或問論佛教無關 流俗 督 巻と日 代 非 僧 佞佛 也、 行浮食如故耳烏在 尼就 女 未盡而郝氏遂謂其為不禁自 役 知 輸 無 于兵何以 我者: 施 夫 而 人国也 佞佛之人頗害軍政" 財 剒 智先明甚有聚徒 剘 功 流数省残 入律部の 其能 傮 如 ß 道無所 杜 息姦哉 χ, 附 Įά 漸 į 億萬

宗曰民之所以為盗者縣賦繁後重官吏食求饒 國國依于民刻民以奉君德剖肉以充腹股飽而艺山氏日數語深得弭盗之法太宗曾日君依于 廉史使民衣食有餘則自不為盗安用重法 2条則自不為盗安用重法那一 平朕當去奢省費輕徭薄賦

颉

利义好

用之德言專其威福變更舊俗政

令順苛國人

厥性浮厚政

令質略

譋 利可

汘

得薬 人趙

無忌止

對月房不犯塞而繁信勞民非王者之節也乃一中的 containent service compositionent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the containent of the co 方略律 罷軍恢坐首謀不進下線先益信無忌此 或日貪利挑 行王恢議擊單于將三十萬衆屯馬色谷中無功 卷之四 ·躁非御夷勝策! 觀 漢武元光二年 北河水

古方路律

奉之四

身出盖欲盛則費廣費廣則賦

重賦重則民愁而

忠貞 ŧ.

身斃君富而國亡矣然人君之患不自外來曾縣

腹腹飽而

草鼠動連年機僅用度不給重飲諸部縣是內外

信任諸胡而疎突厥胡人貪胃多及養兵

怨諸部多叛兵沒弱言事者多

請擊之太宗問蕭瑀

孫蕭於子長孫無忌曰韻利君臣昏尾危亡可時文派蕭長孫無忌曰韻利君臣昏尾危亡可

之。止盗先省費省費先節欲

濁

而欲流之清也

有是理哉 君既 也

縦 íίť 欲, 太宗此

又以重法

朕當以此思之不敢縱欲

子 32-242

古分 至誠彼喜於免禍可 久不造使鎮撫彼畏克故不敢入朝 入朝諸州奏稱益及太宗欲 方騷動 其皆俗 干戈漁獵其民比之角歐豆為民 芭山氏 đ, 貨腸 千里秀治 州縣管马 梅及請 11/4 作べ多さ 耗口 徴 救 耒 铲 計之太宗日僚依 中 絹 λij 介 国質甚先是益 如 五 後言の 之使 能 ß. ø ľť, 朴 所刺 · 市受之 **)** / 1711 βij 煩兵而 思信 令爾基出 쮜 短衛之盛遊其子智載 表送女 州大 Ĥ 阻 随使者入朝太宗 服 然奉 ılı 父母之意那。 都督寶軼 罷兵遣員外 林時出泉竊 勝十萬之師不 若遺信臣示: 胀 迁 獨衛 安可輕 奏稱 蔛 乃:

微

痲

. 計

7.7	新恩司 · 一 · 一 · · · · · · · · · · · · · · ·
	新思問馮盎之與秦孫告非實有反敗者使太宗衛日以待秦孫之意待盡則追路之口不足信鎮撫之使宜速遠然必待魏後進言方遣使慰諭如何明干被而聞于此哉。
	海川道路 海川道路 高。 方。
	高·方·進使慰諭 斯之口不足信。 鄭如本 如本 如本 如本 如本 如本 如本 如本 如本 如本

百分 奴っ獨 因 芭山 誣告耳令武后 其陰 之于 越 奺 c必つ宗 Ħ 示之 热 奺 氏 14th 作巻之日 遂 有. 八 告主 年 後 是 事下 7 Ŧ П 帺 E 1K ئالا 獄 今在晏 枝 F 铁之愚謂 밣 者盡令 極裁 太宗 鎰 奴 従 汾陽之 郝處俊會奴誣 灭 Ē 持 在 L. 明 **不** Fo 쑛 H 渝 Ŧ 夘 能 此 之っ患っ共 中大 共 远, 者。 뱐 艗 鼾 斬 常千 程史 郭 太宗不受奴告王者正 劕 不立正 JE 乃 固 决 為. 袋の反 翢 所 召 體 Ŧ 僕 滗 然亦見本宗常日立法 쾢. 何の者。 녯 期。 于 者 以宿 所 悖 内 鄕 告處俊之孫氣 王風 慢成風 之言。 關., 俳 長安令李濟 趙 教 憾族 ௭ 省張鐵 縱背 大 奴っ事 後 (動道) | | **次誅魚野** 垂拱 之。謀 故 奴 邪じ及 恐奴 四 今の能

鈔千千成奴縛 7万略作 陳 叉 僅不欲 對日元 下善類為念法良而意美尤 以 推 П 太 仲 騷動棄官歸 史臺 奄氏 車。 宗 元分省た 誣多矣 按此法與太宗 是 **蚁誣共主死** 遺意 岩白 構 人をと 臣 Ħ, 諸轉 亂真 Ŧ 武 太祖 푠 刑 囚 待 泉 守 自令兄告謀 告 퍖 庻 **運之久不下 拾頭** 請于 \Box_{α} 輸 Ż 附 鄉 水 23 謀 日。 勘 元 以出。 見 四 車。 \mathbf{I}_{\circ} 何 цц 不 灭 問 年 子客 行省。 率衆 Ŧ 烥 縛 真元末 然姦 我 斬 不實 皆不 -|-奴求 此 毋 奴 奴! 月 于 加 保 舉 告主 不 友不 徒若 太 者。 八祖後倦倦! 奴 上。 與募 義兵 能 **党真如數與** 单、 仩 罪 有 从縛 主以 c 促烹之 及 'n, 實者故 至 叐 不 止 太 八除之精仲 按 人能 工 7. 者略 抵罪。 rıj 枝 궲 "" 凉 t 使數 縛 眞 及也 将 ĸ 同 天下 百. 問 12 之。成 表。 忠气 人 íál) 仔 有 ИÌ 灰 玉 王 使 司著 全 開幕

不り謂 3 相 濮 面 二則 吉 П 惟 方 ŧ 봚 140是OF0#5 机寄日报告 慌 更 7 犯 追 略 渉 丩 流 獨 賜 大 姑 私. 生 可 民 徘 K 九 沸 相 角遣之 背翁 息安得 日 ıfri 府 生 誣 辟 故 13 つ 欲 既有 \$ 李 # ٨ ú, 有 문 ٤ 恩○選 私○舊 臣。 穫 靖 11 楯 也 大 乌 绝 謀 阆 觀 唐 謂 秦 省 埋 罪 臣 功 以 **N 茶** 王、 冼 厠: 区 及 Ł 流 詔 不 矣 喌 足 如 所 按 *\$* 是 ٨ 'n 相, 窑 書 富 私 Ī 執 乃 使 笕 壽 光 臉 在哉至如 閠 艾 Λ. 褒 H 故 如 **-** : 為○後 化 共 無 才. 亥 Ų. 賃 Ł 亷 鲄 府 善り諫し任 狀。 罪 得 唇减 旅 1) 法。 吏 輕 胅 火 太 傩 市 ¥ 孫 犯 何 重, 亦 4 貞 施 É μ 生 腿 正` 敢 道分 後禁い 坐 * 机 惟 Π_{c} 觀 魠 冶 <u>+</u> さ 荢 减 九 腻 楓 以 年 徽 吏 太 衣 死 忠 法 功 宽 徙 **從0 管** 政の nio

古方 其人或 州 灹 敄 中 使 都 根 將 縣 瘚 者 以 睿 因 蕧 益杖 金之 ւև 中 不堪 滿 敝 如 招 李 Ē. 今 因藩 住立 本 K 條 IJ 包 大 Œ Ĩ. 葉也。 Ħ, 亮 宼 不 突 根 為 廷 招 相 华 音 冶 君長 巻に 宋 貮 若 厥 敓 四 裎 大 蔽 為 西 南 否 然 决 于 夷 未 故 売 此 A. 碯 西 1 西 穾 意南 Ĥ 盾 朝 水 突厥 能 艄 涎 如 道 敢 汖 车 涯 15 19 厥 庫 北 可 典金 裲 招 Ж 考秦 枝 火' 道 垩 共 得 施 虚 種 來。 舉及 但見勞費 說 难 12 慰 葉 尭 ゲ 落 11. 旅 禸 餇 **洪漢近觀** 惠 íλ 為 始 上 橅 散 交 悖 中 疲 是古 不 漸 一言 次 c 使 得 n ļ., 便 中 大 彴 使 通 樛 在 必 ; 圆 あったい 耕 者 妆 伊 围 1# 教 要 始。 不 ım 1 吾之地。 稜 未 隋 貨 IJ 徃 外 吾. ij 围 衠 Ī91 可 今又供 奉 建○糧 夷 緊受 見其盆况 室 從 诵 返 幹 利 太 犕 $|\lambda|$ 歽 者の積 匥 抑 狄 也 四 濉 Z 就 \mathfrak{M} 八之義益見 太宗 率 夷 軷 ìċ 不 Ŧ 徘 皆沙 猫 悬真 億 夷 謀 先o以 夷 न 介 河 此 狄友 伐 有 役o 近った 本 宋 底

招

致

奕

						古方略律人卷之四				區區名分之說 里人樂夷之道哉	秋謹內外之辨非獨貴華賊夷亦使各安其所耳	墨此猶欲招揀突厥何異開門而揖之盗也盖春	卓卷氏日漢武通西南夷卒為中國惠太宗不知	原雜居中國散識者當以大亮論為正,	· 談防御令使者往來通交且窥何為忠況招致实	
:						士三 忠貞全				道哉、	天亦 使各安其所耳	而揖之盗也盖春	為中國患太宗不知	允論為正	規何為忠況招致实	
!	與此略同。	临特本,宋太祖	世山氏曰大義	後悔敬德繇是懼	網紀惟賞與問非	百方野律人卷之	鄉居官數犯法乃	原意曾尤之故欲	幾耶太宗不懌而	在上任城王道宗	尉遲敬德預宴有	為九功之舞大宴	岩郎日才被之管	唐貞觀六年幸彦	太宗戒勉尉	

遁 入 頁

聽其商賈徃 皆入貢其徒旅不城千人逸民荒耗將不勝其赦若 中 昔光武不聽西 國今天下 初定前者文泰之來供億甚苦使十 ń 國之利也時所使人已行太宗遠令止之 、商賈往來與邊民交市即可矣償以實客遇之 使入到太宗造 城送侍子置都護以為不 王 劾 文泰使人往迎之 文泰入 朝西城 诸 以蠻夷券 魏徵 戊 谏 周

古方降律 \mathcal{H} 五 求 年 庥 巻之四 阿水 $i^1]$ ΪŃ 太 <u>--</u>-Ė۵ 前 代 ·齐 Ξ 好招來紀城 比真堂

台長 不

孫無忌等

願之圖。 忠夷党

巻ス国

讓言後世恩

纲

育之副

扒

取牀

世山氏日節省勞費慰安邊

民

後可謂長應却剛

Ł

姓 附, 低有 И 直 Ŕ 取 脹 急難 日質 虚 遠之多無益子 名 客遇 胀 疹 不為 得 タト 不 夷非 也遂不受按此盖陰月 救 βij 用。 中国 行為里是 耐 麽 利、徴 敝 百姓。今康國來 正盖陰 月徵言 此言度 越蕭

> 夷更 表固

延世之賞致

成

勨

絕之

視良 或

可哀思顧停漁 **月**邦憲印 皆不

塞請

部議共

镉

滿

早之

И

為

以不臣之

总狱 奸州

後腳

ħ

朓

子

採

共傳示人而公等乃獲發

候之上乎

望之不

清

侯 朝、

Ŧ

Ł

帝從之嗟

任乎待以 大

賓客 宜待 奴

<u>H</u>.

不

可::

光

言怨望朕豈强

芭

EJ.

足

皇之遠甚漢宣亦甘露二

羊の

畔

韓那

솼

7

原 赭の

央遷徙何異太宗曰割

地 'n

封

功臣古今避義

請於上

言臣被制

棘

事陛下今海內寧一奈何棄之

汗之青赐其性命之恩無忌又因于婦長樂公主

古方略律 然则 茅土時其戶邑必 萬 Ń 其戸邑必有材行障器校官使其人得所謂愛之者乃適所以傷之也臣謂宜

縣恩北度被其映而國家受其敗欲絕之也

上疏以為走舜之父猶有朱均之子。備有孩童嗣職 **寧以為古今事殊** 十三年太宗既部宗室 恐非久安之道上 一群臣 襲 疏爭之馬 封

史

| 唐貞

蕠

葑

刺

史

明 公等以 本 茅土 朝 任 一邪部停之 子 Ż 獒情 沿 襲不幸耳つ

共

奉 α 賦

遂 艮 貢

誎

伐 髙

麗

ň

常益

汗燕

莫诸燕贞

官集不

部門

夷

古方 **死建 臣** 廟都九 遊说 王水 郼 非大 八層 郡 公 夏 四 月 取 次 所 不 客 今 将 討 之 ア 表 五 日 考 莫 斯 日 章 莫 教 音 立 文 勒 兵 査 長 諸 オ 名有官爵盖藏文弑 Π 不 不可受太宗從之謂其使者曰汝禮也注部內部因所造屬本城部所不客今將討之而納其金此部城為王自考莫離吏其官如中國文勒兵查及諸大臣因號入官手 以欺大因罪魏大馬。 述 Ē 冬と 識 家大 觉 逆汝 部門一 悉 Ŋ 曹 語與 不 次部取た之類也の 大 觤 経傳合 理 復讎今更為 た大年左部 忠貞 之 春傳尚王 議人 劉 宋祖吉立 孫 泉 也 0 以二也王 之 鳌

擊之高麗未能遽滅劍南先 貮 决患不自務 视文 Щ 日太宗逞志高麗选 £, 印三州 日,借 **邓此言可** 决囚 僚皆及後發雕 幸温文 灰 不謂忠于謀 悟人主使聽者 妈然最得 ДH , 使發 右 羁 巴縣然甚非 國 峽 民造舟 贫 中兵二 计之春 萬餘人 及山

羅無罪之士卒委之鋒刃之下使肝腦塗地獨不足四必令三覆五奏進素膳止音樂者重人命事也今知而不言死有餘責乃上表陳以為陛下每次一重知而不言死有餘責乃上表陳以為陛下每次一重諸子曰吾受至上厚思令東征未已群臣莫敢諫弃 可也它目能為中國患除之可也今無此三條而坐 既乎向使高麗遠失臣節訴之可也侵擾百姓**城 唐貞觀二十二年房玄陰** 國內為前代雪班外為新羅新羅東 官商 可農 報維宜

古方吟律

巻元四

肵

存者小所損者大手願陛下許高麗

Ĥ

於凌波 いりま

臣

新。

沟

頻中

H 能说

夕入地偿蒙蘇此哀鳴先且不

朽.,

亦 Á

臨視握

之船能應募之祭自無華夷慶賴遠府通安。

言之法按高宗儀鳳三年討新羅侍中張文准 新羅雖云不順未曾犯邊若又東征臣恐公私不 勝其敝乃止文瑾忠麒如此彷彿房文昭上表諫 代高麗論者建之 大高麗論者建之

平壤苦戰當時 亡匿得免貧 姓為兵壯而富者行 ち方略律 へきと 米慶海者官不記録苑者亦無 回授子弟兄废遊海者皆賜勳一轉自斯慶五年以 正没者 王事敢使用祭追贈官爵或以死者官爵 口官府與曩時不同人心亦殊桑 心矣效臣問以往在海西見百 存成兵 藏藏者多勇健者少 ń 牟 至 可 姓不 海外而 悉言以是職簽海西之日已有逃亡自殘者非推禁奪賜破熟州縣追呼無以自存公私困飲 Щ. 於士本所言 馬其其自及口辦衣糧謂之義征何為今 征. 省. 支際全 從 科身 使 您也又本因征役授熟殺以為榮龍而 箾 熟官 符 軙 熟州縣追呼無以自存公私困飲的號令許以熟賞及達西岸惟開 雞老 衕 3 熊 皆繇此 老弱被 他引作使 財百岁苦與白丁 婧 霏 督劉 九百姓應募事欲從四少衣服食敝惟思西母 餐 吏参 即 卒逐 臣又同義日士卒份鎮 人誰 午, E · 古卒如此咸言令 行,之猶 ſυ 應募筆欲從軍 参考 陪積 IJį 者破百濟 **还州** 者縣 忠貞

士 竹 未 宋 懸 軍 海 海以代禮鎮之兵仍 逆耳之事或無人為 何望成功。自 **資成守又置屯刑所籍士卒** 医簡較 J //4 烦 Пń 奏陳髙宗深 授倭人雖達亦 東豊。今 安必利 心若止如 E 軍吏與 劢 略集 陛下 祭 其し 家 前 士卒一 生變不 釦 邍 灰俏 外 Ŧ 私。知 月. 欲 納其言遠右 仐 非 Ļ 也今 海 所 惟 人造逻算 以經 有所更張厚加 Ėυ 西大道流游云吾谋 Ħ 共為影響若無 海 饀 令 外欲於城高 衣今冬僅 如 以前處置恐師恭疲老立效無 時代去軍將又騙夷人新服衆 勅 陛 H 略高麗其事非易今收穫未 1 下盡言故臣被露肝膽 年 留舊兵漸令权養辦具資 資業。 輓 宜 籽且留 射 . 俱還仁 自請留の為不 矛 间 可 使 門心同德而衆有中 の泰 城市 可 の泰 城市 可 の泰 城市 可 **慰勞明賞重罰以趣** 耕 穐 克 Ŷ 帮 し二年の 事來秋已往 鎮撫未可還也 百濟高麗舊相 Ŋ, ** 排海東* 軌誦仁 徐杂 劉仁願料兵渡 ŧ 以扶 Hō 未 為人生 荷c幾 利o不 願 11 琳 Ho 之。餘扶,于○免

· -			
	方 野律 巻 2 四	-	于陳便宜自請留鎮公忠明斷非仁願所及也海西戍守屯田碳融怨望之狀可謂如切詳明至
	2		請田御
į			留 痰 士
			鎮脈卒
			公怨之
			忠望大
·			明之略
`	+ 1		断状篇
		1 ;	非可申
			在 讀 作
	菱		願如問
1 1			所切者
	患		所 切 各 品 條 言
.	息負 堂		也明脩
. 1	<u>堂</u>		至言

沭 不道且羞見釋之干地以前人之五不以如為其不以如為其不以如為其不以如為其其人 75 措っきc直 詙 唐丰 蟴 代開陛下為何 族平 數 世 衠 胡 共の不の 奏二人卑不肯死 切干薄 斫 仏 命大 氏日. 作聲 南 七载 手ご致ご自 不孝 諦 山 耶 鳳 狄 足: 苑 3 古 可 钗 律标准 大 陖 亢 1. 哉 臣視 且张 見蘇 商 數 而唑 1:1 物 為難臣 而陛下特殺之是法不信於の中のtologing。 の中の中の中の中の中の 高難臣以為遇策斜則難淵 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一のtologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句tologing。 一句to 栢 年大 僸 卷之 仁 宗 傑固 Ŗ 빤 ¥ 湶 陵 于厥 Ŧ 秨 失 傺 故 擢 占 理 柾 何 报养 以 栢 4 四 之有言設有 執不已高宗怒令出仁 灰 所 殺 考帝範 Ж 為孝豈不 **轨重于共重者** 鉄 高 訓 名高 大 處之。今 為侍 下口匠 1 戍 宗 將 故《不 劬 日春 宗 必 軍: 十不姓 卻 也。放 13 ٨ 特 椎 奉部名)这 一: 衠 嵬 上怒稍 Ī. 泴 ij 才等斫陵 耆 共 'n 長 殺之大 ٧. オ で出仁供 陖 木 7 麥 -0 栋 lifi ŧμ 恐怕 t ì 行 变父 解 = 栯 IJ ۴ß * 分 不 二人 投 頫 杯 植、 理 棑 恩 她而 哔 ان 🛨 ۲, 夘 汫 抄 我 沱 ġ 此。 Щ 新 l 除 Ť LII 퐊 目标何○易○犯 不 愀 軍ンタ前 所っ今の顔、 **6**9 | 我、仁

数5 分産 の産金 4 休 可 召選謂 及 唐 也. 術士卒 世 方 儉 也 챛 非 史 鞍 柔 高し豊し Щ 甞 略 H 金器三 故 棒盤升胖 那都支科馬 行 灹 此 律 論 為 儉 日何曹皆談耳何相 行 日 未 武 Ŕ 何 郵. 甞 儉 卷之 有 # 至於 駋 千 跳歌馬 御 家 不 跌而 鲻 儀之立 左 像物碟高稱是並分給細 での consont consont の consont consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont の consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o consont o Ŧ 及 和 中 神歌馬 倒鞍碗 四 樂 推 Ł 瑶盤廣二尺餘 右 為用 此 見 収率 大 為禍 丧 ħ 髂 者事言 以 10 角 破二人皆迎去行儉 始 馭 ងព ងម 輕 Fo PILL. 祵 之其羽待 育 威 미 Ħ 然 IJ を MOVEL 2回のMOVE 管理のVEL 2回のMOVE 管理主 而 克 得 荐 失 | 1 苏 厥 諡、盖 粉土 使 ίj 砉 親で詔 鱼。 之 变 貪 儉 故の賜一行 叉 菲 起詞 軍吏 使 重 及C都 儉笑 腁 軪 通 難 偏c支 過 ₹. 陽

神 C 等!

口に Ŧ

Ż

安 仑 河 il.

伤重家道悉破或至进亡重以官 言其跡雖不 傑上疏以為 胜 騂 中宗嗣 為 o, 朝 +廷議者 ıÇ. 烼 Ŧ. 則 肵 年、 無别 驅 周 竹罪契册 週 17 狄仁 誠 者屬退 以 條為 Щ 突厥所脅從 懼 東 **詠** 往 娏 įΨ 扎 稼 靪 往亡 道 人 安 斾 澗 地口起口發.

此乃君子 其生 之後為惡更深 平人 待天兵衔 1 痉 の時の事で ķΩ 與 有 私と 之 不仁新 **オ** 都 摵 旭 被破 [d] 则 競っ ユ 辱 是 -b Щ 傷豈不 上國縣九郎 為題 為題 的 是 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 我 老 之 人情 危 不 補 禮 義 愁 苦 之 人情 免 不 有 禮 義 愁 苦 之 11 沕 為 ĸ 小 賊 В ... 影 功, 西土 秎 地 竹 悲痛。 行大 材 £ ž; 机。 者先 7: 攻得臣憂濫 夫人猶水也壅之 秋 毫不犯令之騙 Ē 城入傷。 縣俗作不 於古老之 息負 堂 包入除交

非辜以

或

咯

平し兵

士:

刔 Œ 城し 朋

為泉

踊

之則為川通塞隨

流

宣有皆性令負罪

中」則

山東群盗縁立聚結臣以邊塵變起不足為

大事罪之

À

氽

情

꺖

雅

恋之

則

叐 例: 憂 ķη

足

不楽

杖之下

痛

切肌膚事迫情危

乃自食疏糲禁! いのは、真のもひれた。 安。 逐 橅 古方略 发。 慰百姓 赦 狄 胡 伏 也山氏 失 所 非徒姑息養鬼 **公思思恐** 灹 以 Ħ, 曲 Fi. 卷之四 控勒 武 1: 氏 河 之道 傑 百 ᆫ 其シガ 肤 礼 7 姓 老太子 下り済 肵 福 虚赦 个天 無ご旋 則過矣 知 Щħ, 囲, 得こ師。 栋 泂 Ŧ 根本 北 H 侵C恐 者、 軝 悉 講 在 複○諸 酢 ,沐 逃是 橅 州 動 東 百つ特 宫天下 橋。 姓こ及 兓 困 制 (他者) 者欲祭用是偷 敝之情力請 皆為 本 蓰 貫 散 之仁 唐計 Ż ○状 H 徦 ¥o. 婦恵 河;供 運 Ţ 頓二

首功非自己出法不宜厚貧邪	者比哭疤遍見其食且愚耳恐稱賢相盡正告以厭得其首蘇斯以言雖逾年校即将非功高不賞	初突脈點吸北擊拉曳同情勝輕歸不後沒備接古方略 卷之四 差 起真産	芭山氏 日按電荃所謂拾遺干途者也何功之有明與 明與 明與 勝而憂其以明皇卒乃獨武至于大衛何其智之	売氏日宋環可謂賢相疾見其始而知其終 編抑其賞逾年始核 即料靈荃慟哭而处	「「「「」」」 が武功恐好事者競生心 「こっこののののので 「こっこのののので 「こっこのののので 「こっこのののので 「こっこのののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこののので 「こっこのので 「こっこのので 「こっこのので 「こっこのので 「こっこのので 「こっこのので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こっこので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「こので 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「
	正 西 荃 使 为 人 一	设	切	料道其	心(目 國 後(部 息) 倖(不 朝

士以克宿衛兵農之分蹇自此始然	略 間門百口	敵制勝不必多捷冗卒以妨農務陛下若以為為具知其情將師苟以自衞及役使營私而已悉奏罷二十條萬使遷農上以爲疑說曰臣久悉奏罷二十條萬使遷農上以爲疑說曰臣久元,以爲疑說曰臣久,以爲疑說曰。	發胡五萬餘口于許汝唐劉仙豫等州空河府可汗張說發兵追討擒之其黨悉平徙河府開元十年康符實條黨康順子及甾即戶縣設器成兵災聚
此始後世病之。	大 忠貞堂		南 曲 同期

1年之功欲 贫功 姑坊 Εį 不 楚玉 斬屈烈及 分典兵馬爭權 以為 Ë 可。 悔 葪 九 Z 力 詐勝守 槲 略律 于守 之官 功、欲 Щ 一
皆
不 無降意但 可突 鮗 陳其討 憔 悔知之 牙 亢 氏 岑 \mathcal{Z}_{i} 也上日、 ₽, 以 卷之四 न 珪 朻 典 + 突干、 益 蜀 校 若盡 器 為相張九 使 計 F 信太宗 宼 宋 不 不 稍 骨 Ŧ 下傷悔說過折使四本 有機 音速官表 依大臣 机维管帐近西北京 假 功 太宗不 叔 ल 盡誅其黨帥 譝 珪 奚 以 以其名 非 Ξ 到 可 州 頗 北 厥 假 龄 悔 官 突 篩 不 A 畟 **秋授王胤** 桁 練 就 Ŧ 度 西北 名 足 힜. A. 不 橅 П 擊破之 連 使 守珪 貨帝 年為追 何: 使 字 餘杂來 之悔至其牙 官實之乃止 李過 任 圆之過 惜 机 窑 Ŧ 恩宜 其職 追人 宋 縺 Ť 可 深實之觀玄宗 珪 破契馬 路玄宗美字 折 Ħ 突干困迫 息趙含 可乎對日 析夜 奥可 敝 夭 引 不 契 使宰 理物非 突厥 能 帳 册 勒○ M 陞 Ŧ. 构 ٠À

Ħ

Ŧ

珪

表。其 師っ才、 俊 古! 告忠良**竟**赦 孫ο 其 呼 闪版 誅而玄宗獨 患 ガー 武の驍 日奏 後世苛論終不足 國典者張守珪也 或日方禄 安 上口鄉 九龄不當言未來之 咯 于っ 大 姓其 令免官 **法**つ 不の 夫 官 Ċ 安母 九 不 討 齢 えい 勿 叁 **前**っ ıЦ 奚 之四 撓 光 不 ⇒ પ્રૉ И 珄 羙 頰 契 誅○白 法 師 £ 軍っ 京 奚 开、举剪 · 本将領九 以赦 以服 九 失 夷 且 契 政 山人 蠡 崩 臣 律 册 猜 菱無 九龄 惠 脉 12 觀 不 **₽** Ŧ. 守 以姓 **\$** 柰 使玄宗得以拒之此先 山。 能 珪 耳。 叉 法 Œ 貌 □齡 何 玄 有 不○日○殺 請 固 其罪而 固 謶 # 宗之過 爭明其 灭 宜 斬 4 の昔の禄 日の免の稼の山 动、 乙、实 춋 ĸ 不 9 勒 也朝氏 不可 女上 奏請 忠貞 殺 μо 玄 Щ 失。宗 必 莊ο亦 安耳 人黨 腐 質の情 律ο

如羽帝怒林前退而不達大體帝代明 用人有何不可賜仙名的雕西縣公食實封三百戶 然李林甫日仙客宰相才也何有于尚書九 職業寵異遂至于是無 羽帝怒林前退而言曰苟有才識何必解 又使之相乎後世宜以 或日玄宗銳意造功故增重邊背仙客止能 **竹其勤赐之金帛可也** 加 刑 尚書張九齡曰不可尚書古之納言必與以 度 張 九 · を え 但加實封可平對日不 *别旅 驾凉 歷中外有德望者乃為之仙客本 四年 **業倉庫克實器** 誎 日復 故州 朔方 封 4 以仙客實封為言九齡固 節度 仙 使典令骤日 九龄之論為正 功赐的其失甚矣况未鬼 製土 客 乃 使 封之恐非 常 4 務耳不ら 利、 仙 可 玄宗 客前 Ē 其宜帝 足0爵0 為0所0 P.) 在 學天 見り覧 葥 γij 河

屬卒難成功玄宗濫息耀卿失律二者皆過或 日嘉運 恃恩自驕酣飲無節法宜改易難	仍乞聖恩嚴加訓勵上乃趣嘉運行已而嘉運竟無 古方略律 秦之四	朝夕殆非爱國愛人之心若不可改易宜速遣進堂之況防秋非違未言發日若驅事始去則士卒尚未之。というというのでは、京の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	舉措誠身烈有餘然言氣於誘恐難成事首英教祖 整左丞相裴耀卿上疏以為臣近與嘉運同班觀其 唇開元中玄宗嘉蓋嘉運之功 些火可汗 以為阿
地級訓	理竟無	進一強一部の一部では、一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一	英 班 建 以 裁 租 其 特 河

古方略作 言干忠嗣 **兵取石堡城帝命忠嗣** 依其有 恭然後取之帝意不快 唐天寶六 為之盡力然此天子意也彼無功必歸罪干大夫大 卒之故不欲 夫 上言石堡險固 П, 不 **令以 單府克物何愛數** 泹 人不能克臣恐所 · 畫 副 知之今以數萬 数萬之泉爭一 *者虚之 卷之內 林 玄宗欲 ė **延光之** 大前上佐忠嗣皇出 特軍歸宿衛其本 吐蕃舉 嗣 大夫之累 ile 上佐忠 7 受我矣然吾志央矣子勿 得 使 欲為之忠嗣 令受責天子不過 商段帛不 我授之而不立重賞士卒安肯 功 车店 唯忠 國守之今顿兵其下非殺 不 Ŧ. 城得之未足 中 如 恢 閘 追 所 亡不如且隔兵秣馬 4. 大次不過! Ŧ 攻 以杜 将軍董延光白請 魰 7制書實奪其謀也即為大夫 以愛士 吐 不言令大夫能 : 大矣子勿後言光 故為人之命易一成 治 清人之命易一 水過點中野中一 其龍口平忠嗣 n 主, 忠月生 制敵不 ffr: 炦

£

耿

石

_ _		減		耕c	帛長	/市	41 65	×	电	8	+
1 1 1 1			वि	715 (n X	使而	- T	Ŧ	100	16.	Þ
	Mar. !	或:悟ん	万!	表の	以 也、	面	市再	奉	嗣	嗣	人
	皆山	日販	周 5.	多い	校(但)	叡	部 為 特忠	太	眥	沮	之
	-	日販忠忠		略立	泉山極地開輸	=	4	7.	É	摌	東
		15. 15.	تنحا	Art s	on the	-71	77.2	+1		400	-H-
	/A I	嗣嗣		何ui	開,心	미	道	177 1	單	<u>an</u>	非
	特:	不漢	老	為0	嗣嗣	目、	見	徴	自言我	計、	浅
	胸皆古名 特所難宜	不殺卒以	作巻之四	為三司奏忠嗣	明日若直道尚存王の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	部三司日吾兒居深宫安得	名召見悦之以翰	史	勿養宫中與忠王	沮捷軍計帝怒李林 南因	一弼
	群.	殺 陽 卒 大 守:	19	5	若の様.	兒	2	闘	春	奴	所
	رستر افات	工 八 出	!	表	市へ町	P	וע	. 1	괍	本	73
	n.	以 す :	oj.	*	送っず	120	北	***	1 14	1	12
1 1 1 1 1	17,	阿!	ì		坦つツ、	床	柳	聊、	۳.	Ι ή Ν.	111
	為	延		嗣	尚い翰	曾	判	委.	與	甫	逐
	川為法。	光			存o之	一安、	西	Ξ	#	固	趨
	1 3	延 光 开	1	罪當死翰。	Ŧ o X	祖	巫	8	I Ŧ	使	l iti
			1	止	A . #a	113	14	4521	-Ju	-	150
		釬		10	公司	一类	· ^	椰门	176	齊陽	į ==
'	1	耻		「育っ	必っ也	! 外:	4	Z,	复	勝	尤
	1	多	酱	力。	不っ或	奥外人	克	上	押	一别	過
		舒耻多胳	~	陳?	寛 の 樹	涌	隐	問	微	鬼	期
	1 1	以	1	H o	エ公此不寛施如其のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	通謀此必	判西平大守克隴右節度	尊奉太子勃後忠嗣入朝委三司勒之上問罪舒翰	相爱仰欲擁兵	別駕魏	古人之事非光弼所及也遂超出延光過期不克言
1	1	54 56	忠貞堂	25.0	かる	1 15		A.	171	. W.	古
1	1 1	釋 忠	具	鬼?	20分	علاا	140	F1	1 11	林	1/0
1 ! ! <u>1 1 1 1 </u>	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	<u>思!</u>	**	<u> </u>	<u> 其り金</u>	120	1	\$ \$	n	<u>! 告</u>	👸 "

派之太 15 無去等者のコンタンの 7 **远者大者** 市 所っ 坤 Ė 一、法令不 不 所 fi l 唊 必 方 在 子. 4 郡 犯 子. 悖 λ 左令 则 散 + 律 上。 **野** 茥 軍 太 則 Ť 也 復 如 (土) と 縣君。 何の諸 亦 中 焉 ŧ 師 秱 何っ ाति ≎ 諸 一不即 弒 九有技能 肃 áL. 41 ņ 去 4. 臣 見素等議以 不 Ìή 逆 Ż 人。 止,技 亦っ謂 君子 jī] 下さ 于此 痢っ 之を養和 不悖 材 陛 日而定矣蕭宗 能快 下 者 派c. 堅 郡 殺比父縣来者漸若 上表以為 中平陛下# 松逅 子大 表 īm $\dot{\vec{\mathbf{z}}}$ 也。 止り倫 | 捨去禁| 亦 う 合っ 借っ 天 順 亦 下 Ħ £, 君 Ŧ 共 于人 主 非共人 主愛無親疎得 謂無憂所 法 彼亂 伤實多乎夫去 一去景之い 嫐 去景無狀 若以 者天 地 市 伙 録c案 共o必 也 其事令 惟 于 不 可守然 Ŧ 高平而 礟 明 在暴横 主 け 共能 大 ļ. J 石一 和 去 崇, 材 殺 典。 有官 例 全 而。 者: 本

不;

玔

北

Ħ

能: 期

之存亡 峢 不急于法 悭 夫 坐 弓之能 11% Ξ 方路 岂山氏曰 廟 下 圆 ٦; 方萬 ぶ 苑 便 陛 郡亦 寛之 コポン明のはころの親の意の作り此か 〇 厚 周 堚 胡 能 珠 律 袮 下 王法有無國家乃 菲 法 者 宗多難 也 繑 欲 凌侯 人卷 守貞 不 也 髸 Ŧ. ř. 理 功 理 生之秀實目 11 可守得之何益而 \pm 璘菩 (辛有 切 而 Ż 宗大 觀之 毎 法 以 不 何 之時。 衣 濫 事 盗 天子治天下 四。 馴 戦 jł. 行 利 官 金 ìŝ 1 居中 其談范殺 法上竟捨之 能 ·J· 74 ٨ Z 紫 少利息非 名. 业处 以官爵 引 内無憂不克况陝 有 佾 美 也 甚 師度 粁 3 為之 恩無威慈母不 道矼 去 抻 况 則 有 重二 楽 F 擅殺 愛帽 IJ 肯 手. 2 使 去祭末技院 無 ₽. 本 告身一 官爵 佢 功。 浾 夫 Á 馬 重 法邪 等 縣 法 諸 背后 縣 刑 祵 劵 四 此 奉詔 今. 抖 令 敬 杁 洼 Ē 十斤者 IJ 臣 **今**俠 刘 通易 散卒 誄 出 手, 天 Z 不 等 都平。 段 能 不 於 下 粁 妆 秀實為 郩 郡雖 使 知 十 皆給 凡 と大 無法 月 不 無法 ¥ 亞.; Й

古方略省 矢奥. 專 臣相繼叛 姦父 教子貳 惟 若是唐室不航不亦宜手 枋 廢立 如李 懷玉之推 適氏日賈至者兒素持論不易。 能 竟 揺 亂莫可控制皆繇 之此所謂 4 後是諸 有 鎮殺 侯希通李希烈之于李忠 罪 丽 主帥 朝 倖免者 廷 無法去崇其嘴 如兒戲軍士 正不欲君賞 也 찕 ħ 質倒 良生

古方略律 唐滿宗 延生死不遇似可悲焉臣敢撰傳一卷獻上乞編刻 守城之初也有食人之心损數百之衆以全天下臣 校放不至而食盡食風盡而及人乖共素志設使題 揚綠瑕棄用臣窩痛之 巡所以 固守者以待諸軍之 功大矣而議者或罪巡以食人愚巡以守死善過惡 以弱 孫議者或罪張延以守睢陽不去如其食人易若全 千里獨以 史官衆議由是 惟有令名是其荣禄若不, 紀錄恐遠而不傳使 岜山 雲萬春事首尾不詳耳。 惟 預真卿張延之力也 制强保江准以待陛 適 李 珔 倬 ~ 氏日 K 生執 奉之日 追贈免節之士張巡颜呆卿等 蚏 按 當時公論,類李翰 于慎行云肅宗 賊 始息是後赦令無不及李懂等而 赵 功 庭不沾發雕 何也 下之師師至而巡虎巡之 賊 入 恢復四季郭之功亦 洏 各陽 明。 恌 三人 有了会 崭 許違無傳羅 四戰之地 官

亏与 氏此 姥 ふ 北 傍 能 穴 西 然後 失二類之力 之般返 保 張 得 云乎哉 言推之脈 朾 許 N 瓶 Ш 抳 中 巻と 施于 挑進 宗 **之**于 而 以 不 陽之 图 也 閉 示 雕 能 一旅之 ψ, I 守真 能 婸. 城 准 丽 南 丽 之不 難 師 恢 略 逃 後 垝 號召干宣武李郭 其. 搄 丽 失 之形 考: 土裴囘 之 張 張 Ŧ 許之功 **从許之功** 成矣故河 河 彼 安史 孤 城 而 忠貞 Ĥ 也 者 斷 存。 踩于 北 ÌЙ 退 邡 其 偛

ŗ.\

す方格律したこ 填之有自贼中來胳 等流貶斬達奚珣 六等定罪. 者尚多若盡誅之是堅其附販 以 巡 関ン制 **停從賊** 不 無小人臣 悼恨失身城 叛 心 従っ品 Μi 有小過無大運 焼 可 平紀天下之事有當平恕者有不當平恕者 헮 法 Á 偽っ賊 以平 于 通 處姓恐乖仁恕之道且 挑 准っ Ē 耾 ž 惊 重者 生此獨皆陛下親戚 律が以 無特此 其偽 恕能臣城子新接 行 | 竹應處妃李児以為|| 六等定罪崔褐昌謹 亥 廷及聞 丰 Ħ 刑之于市 等 衞 П 安 爵 交 者。 灭 不 罪 聍 + 走保 戈 當平恕者也如公卿大臣 歘 쥮 ᢔ ٨ 八人陳希烈等七人 小次賜 惟輕 情 情 烈等 手。 Ň 料 [o] 臣 日 郡 迹 4 此不))) 連 此當平恕者也 味 乃止帝 甚悔之 在郑 自盡次校一百次三 之 ற 或 肅 热授擦 于世矣或日光 北 宗 心也帝從塊議 熟舊子孫今一紫 밿 上言諸隨城 一點為刻 特 者開 未平群臣陷 M 逈 拔 2)上皇澄 丽 、未定 與將 赦 京天子南 赐 酒 希烈皆 2011-1 Ħ 刑故 也 n 宜料 跂"i 莧| 城

古方 合取客調 温公 7 陳力。 竹 宗 世 漿 能 慷 承然等或 在萬世岩使 義理後 計利害 悔其歸順 Κů 退子 往而 朝 放子 ij Щ 速 左氏也 此言 此 乃 桁 僕 氏 朝居也况可 者 不得 日 固 君之 不责共從 闡 以 利害歸行 核宋司 功 亦 大 卷之四 亂 夷 器與種 馬之 貴寫 網常 平之敷則 恩、 'n 忕 废 皆赦其罪 ᆌ 郺 恩 也 作 也: |城而 驍特 不若備全其首領是論誠之臣 不有 囘 諲 六等裁刑斯 所見 偷 卿 以為治乎其解在衛侯之贖胥 不正倫理不明難與之天下不 順之機事在一時討逆之法事 順 議為是于文定論左詳 生茍免至乃始賊 相 进 进入 願 吐 為是 或 後千日不然天下事先論 恨其失身悶希烈之誅則 售 招 此 蕃人 親 眀 Ż 程 外 連 臣 規之 ĭĽ 人冠 懷恩 既 宛二 虜 手 非不 夷請招之代宗勅 亦可矣又 肺 名 月 腑水 名委飾有她無 調停 定分 子儀是 备 平之日迎 赦 非也或日 稱 何悔焉 ₽, 也有些 而 琳. 赦 一之禮 為

古方略律卷之四	無獎者也 然为夷肠害中
المفاوي المالا المالا	無髮者也

o分5 o以 勃因 **新宗乾元二年京** 或 以 南軍 欲 \mathbf{B}_{γ} 以制 2022 では相何察今月 備巡邏李於 李 以 全 松蘇 さ 吾 人北 猁 乃 を之日 蜀南牙 林 35 奪其職故李揆 止。 軍遂安劉 林 上疏 貀 £Γ 15 羽林 林 多盗李輔 代金吾 Н **, 倒北** 氏皇 两 漢 以以為言 不全吾專 主朝置南 終夜忽有非 以 南 싦 公有非常之變的北牙文武區 北 Ŀ 軍相制 34 字斑 尽真堂 徼 故 1 周 Ŧi.

缩

衆人 游 E 却 决石诸将問目向來職 其怠擊之光朔望元禮退怒遣左右 善吾所不及勉之元碑 具自 丁万野往 美二日 欲 兵晏然不動何也元禮日司空欲守手戰乎光獨 光弼皇賊 隅 非 唐乾 扎 不過月中保為諸君破之乃命諸 走數百步元禮度賊 戰正悉召何為乃退入 柵中 戰元禮日欲戰 建小 元 外穿塹賊 北 柵 **随督衆填墾三面各** 禮出勁卒于羊馬 元二年李光弼 城 門奮擊破之周 **郝庭玉當之廷玉** 朱 登城 迎城 族以望賊 Ż 使問元 周 贼 厠 挚拾 耳 觗 贼侍其衆直 屯 陳何 城 塾 陳堅未 传 禮日中丞視城填墾開 城以 為 中 南 兵難 復収 請 栅間 吾 八道以 騎 方 **填塹何為禁之光** 拒 併 多點 Ìτ 最 兵趣北城光蜗建師 螏 易 ÉФ 賊 カ 坠 五百與之三百又 亦 推 進 稅 過兵叉開樹 光 攻 不敢迫良久鼓 日两北隅光殇 特出戰及期 ım 召欲斬之元禮 'n. 通城以車載攻 ψ 腦乃復引退 弼 西西 不整不足畏 士突出擊賊 瘅. 自于城東 S. A 栅 躬 Ł 日 日の

唇 皮 上 職 之 元 元 五 元 五 元 五 作 聠 左 前 琐王 聲 頃 刀 沎 戰危事吾 力以 河 動 Ęį. 戰 骗 右 Ż 竓 一李秦 ホセ 取廷玉首四 于, 龙生 Щ 秂 來 小 令易馬道之僕因 廷王奔涅光弼望之鹫曰廷玉悲吾事危矣命 $\underline{\underline{\mathbf{J}}}_{\mathcal{D}}$ 更前 氏 El 地 邞 -57 光弼令 放貞 《授思明 光弼 乃 我自到于此不令諸君獨免也諸特出職 因之三公不可 ij 任 竹無 遁 人之少退者斯· (本) (本) (中) (本) 衆 **表** ... [] 非 П 旌 大濱周擊以數騎進去擒 一般光朔連殿其旗諸将齊 又命取其首懷思文子顧 廷王 請 蓻 不 将日爾曹 ß, П 땠 門. 摯敗 馬中 懷思及 戰召無殿 貞當之惟 光弼 姚 中箭非敢退也 又` 炮 姥 尚 12 駬 望吾 骐 命 _余っ 攻 共子 丰 短 其 南 為一 遽 Ŋ 旗 旗 ή 将 城 置 Ξ 能 TI 綸 而 光 戰不 弊 £ 破 戦 疳 鐵 ń 🛪 其太批 使者即報 見 儀同 進り 灿 贼 別職件 發9.健 刑 曲 đ. 三哥 免り者 Π, 訓 呼 壮 Ħ.I

以っ以 百方略 衆以 状 状しる ŧ, 唐肅 請徵驗諸将往 刺史 部書來赴 颇有 非 李 罪遂 求生 公為及如此 會慶支租 14 孫。遂 孫 八日 梅根 ij9) 從 新之、 待封 **镇人** 無及意諸 封 八巻之日 不易言以 周宣王 共牙 亢 不 日吾始 謂 徃 庸 年 報 誰っ 푬 賣產領之職 쒸 使 'n 李 特っ 儒 特吏 歹 則の 高幹挾故 以 准 末 左 李 不 非c 從劉大夫 劉 生王 背 儒 公月賞 友△ 限之 可 附 者の 明 ï 同 成 稅 杜 怨告藏 FI 吾っ 起 用恐其及 Ø, 其狀 杜 章。o 就 o 兵滅 伯 侑 無 州 丸の 獨 左 告夫. 罪。 用 封 髰 用 · 反襲殺之 合附 待 받 儒苑之今 **ふ**。 子 已宵與人 大夫个文 目 易 封 士 Ŀ 展劉 不死 不 成其 及 井展 不 從

la, i				11 14				· · · ·	 -	41		_	
古	1 .	1	1	是一按	7	权c若	っ儀	後	17	竹兼與平	大。	Ä.	
方!	!	用「固	世	河一般	17	元っ期	こ 至	之	紿	兼	原	<i>す</i>	İ
略		人懷	14	東鄭	#	振っ乗	[○単。	7	绛	班.	æĹ.	÷.	-
1 di. 1.2≢		不思	大	諸 景		乃,且	 .	寬,	平.	本	亂 軍	宗賓應元	, , ,
律卷之		可分		鎮 山	ST	及・其	振	將	初	定	合	一瓶 「	俤
₹					木	六一列	上:自			化四	U.S.	心。	
ス、		不可		~~使景		同り無		王	朔	Ŋ	ц	て	知
四		謹;北		仵 為山	7.	謀コ糸	上以	元	方	名二	鄁	华、	諸
終終		如前	儀	表 河蘭	H	四の州	满	祳	行	重	ナ	絳	ᄮ
'	1	此,为	謀	法 東為		·十0多	· 功、	시	管	等	儀	州	行
1	1	此。为	£	軍河			· +	· 誹	都	軍	Ä,	請	嗇
	1	. 1		所東		人皆殺される	5 儀	作	統		汾	軍	
1	75	7	· 振	が おび		皆 殺 之 辛 雲京 皆 殺 之 辛 雲京	日,		- 75C	元	陽	剽	
1	孫。			44件		秋ます	1	亂矯令	李园	/L	197 At 18:	26) 14	:
	余 余	Ä	月河)	•	一人会社	15 汝	一个	E.	帥	名縣	掠	i E
	维	4	東	者		辛二	L / 147 .		វុ	裻	£	ぶ	ļ
	椹 垣	4	诸	數		雲光秀	日の放	三士	沿	發 京	拙	٤,	i
	較	1	通	數十	Ħ	京業一	∽o塊・	五十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二十二二二十二二二二二二二二二	軍	師(渚	朝朝	
1	ĪĪ.	1	1/2	l i i	-		E ロ 幅	教	軍嚴	栗	道	廷	:
, l	1 21-	が発生される。	省奉法	人蒜之綵	ر در د	聞える	の転	基國	四,	吊	節	憂	ĺ
		اع اد :	* /*	- W	· 'ā	朝 有	60萬	į, į,	郭	數	度	其	!
<u> </u>		1 1	- II.			推	パフカ) Kon Nav	. <u> </u>	7	萬	及一	典	į
3	l i	t i¥n	い僕	武	· '-	1 JE 1 7	トヘンシ	- T	7	(4)	行	. 무난 i	!

		·····																	
ĺ	疝	肾	邪,若	カ	t.	Ţ	李	扳	入		言、太	李光	冠元振	甚干李輔	唐代	į			古方
١	何	療	若	叛	Ħ	始	15	坒	京	ブ	太	光	.元	于	代	1	•		カ
	铄	疾	以	陛	+	出	在	下	L ip	ГĻ	普	猕	振	李	宗	椰			略
l	踩 至此	當	A,	下	月	都。	廷	U.	劫	神	博	竿	不	輔	廣	伉		[律
	此	府	危	也	耕	Ti	無	陛	宫		士	皆	以	圆。	德	請			卷
	十.	飲	豈	内	. 召	姓		下	4]	泰之	梛	烂	駐	諸	元				ح
	子,必放存任,万二	飲藥樂不當府無益也	危豈得高枕不為天下	タい	一話	填	Λ	瓶	7.5	مار	伔	皆忘元振居中	斯奏致帝	諸將	徳元年驃騎	斬程元	1		略律卷之五
	欲	樂	高	離	道	然奪府	1C	元	陵	4	上	振	致	有大	驃	亢	i p	月	l
	存	不	枕	叛	Ť	奪	頽	功	寢	•	號	居	帝	大	騎	振	į í	[
	哥	当山	不"	離叛唑		府	[1]	委近	八	' .	日 _、 大		<i>(</i> 1)	力	大		袁	获	
	1	浯	為	[下]	四	庫.	· 慮	迮	<u>+</u>		だ	7	40	A	狩	1	州	婺源	
	i-	1:1:	天	以	* - -	朴	意者	習.	無	!	戎	4	la	50	軍	!	ĺ .		
	12	益	下	以 今 日	F	弁	此	H	_	1	犯	イ至者中		10	. 程		張	. 全.	
	循	也。	討	Ħ	無	、戮	公	引	人	1	灁	者、	帝	营	元	ĺ	l it	*	
	斬	陛下	非	之勢。	隻輪	儿	舻	A	カ	ļ	犯關度職不	中"	、發	欲	振		張自烈	余卷	
	元	下	人	势。	輪	Ξ	灰	卡	践		雕	外	詔	害	官官		14.5		F3
	板	覛	牛	為	λ	輔	陛	長以	者	1	不		微	z	專		定	輯	1-7
	沒獨斬元根首馳告	今日之	臣	為安邪危	脚,此	叛	Ţ:	炦	戰者此將帥	北恒堂	血	切齒莫敢	四京帝祭詔徵諸道兵	學管欲害之世蕃入	權自恣			'	
ļ	駜	Н	開良	邪,	此	陛	也医	大桶。	粁	įį	办面	莫	追	蕃	自				
	告	_~	. 艮	危	四	下	陛	淼	帥	T.	而	敢	∫£.	入	态 。			i	

為暴行且致龍龍則 吾頭來矣甲者愕 古方略 不必《此二 去選老題有是俱 EJ. 敢言涇州刺史段秀賞自請補都虞侯が州縱士卒為暴節度使白者德思之 望 孝德從之既署一月稀軍士十七人市取 佐侯 将兵枚之虜攻之不克遂通子儀自行營入朝縣 廣德二年郭子儀問 大功名其存者幾何言未事帰再拜目公幸教職の はられたのがと コールネス ペッター 一条行且 致能説 則罪及副元帥 説由常侍出然則議 (東) 日副元帥 勲塞天地當 念始終 | 今常侍恣卒譲之 日副元帥 勲塞天地當 念始終 | 今常侍恣卒譲之 日副元帥 勲塞天地當 念始終 | 今常侍恣卒 刺酒翁壞釀點秀實列 秭 卷之五 "負若獨那奈何欲以能的下者得因諭目常侍 · 斯特爾斯爾巴索斯 · 在 · 斯斯斯爾巴索斯斯爾 郭 蘩≯ 雙一 明华直中D先月站班本知此一 孝德使數十人從行秀質盡辭 典是 列卒取十七首汪黎上植市 1000年以京美術等中記000月 1000年 1000年 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1000日 1 冠邠 同質 ħ 州進其子帰 败 た質若獨那 Ξ 下散還火 氏。 甲也吞散 故 伍

17年半年之五	李擎析衛秀實具俱至孝德所謝不能請改 過 也 如 民 日 秀實 所 以 讓 郭 聯 者 機 括 全 在 提 出 副 世 山 民 日 秀實 所 以 讓 郭 聯 者 機 括 全 在 提 出 副 明 由 是 無 患
[E\$	自 漏 機 不能請 不能請 安在 数
東京堂	上 語 出 电变分理 副 分

第0年(2010年) 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	實力争之磷或怒甚左右戰栗秀實日秀實有你軍泰以段秀質為都虞侯舜處事或不唐代宗大曆元年以四鎮北庭行營節度使
---------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

陛下 則令僧講仁王經以釀之、 好佛帝縣是沒信之當于禁中飯 **士高郢上書日先太后聖德不必** 資太后冥福奏毀曲江 唐代宗大曆三年官者魚朝恩 **芭山氏日朱太宗端** 利也高三百六十尺費億萬計 管轨非元散挤 可易載等後佛至令冠至講仁王經不空解為 或日野是書當與諫佛骨表並傳詞雖約 **那神座書尊號** 公後是帝幸寺度僧尼出盂蘭盆賜章敬寺設七 上玩云泉謂金碧类煌臣以為金膏紫血太宗亦 惜之不報始上来甚重佛元載王緒杜鴻新 春之五 ルス費財以末福修/ ルス費財以末福修/ 人作俑哉 旙上百官巫 拱二年作 及華清官館 諣 以 输入年始成旧 於光順門處以為 僧百餘人 開寶寺塔藏 以一寺增輝 賜 以給之衛州 莊 為章敬 有短 上一大人 理

		古方略	甚者全有
		古方略律、表之五	者室符數血語甚流添而太宗不思改 圖亦感之者室符數血語甚流添而太宗不思改 圖亦感之
	-	<u> </u>	語。其流
			海 人名
			不不思い。
į.		<u>\$</u>	· 圖亦東

醉矣 Ż 子 且し懼 知。 + 遅 所掠 料 草倍 史 世共 央 曰 日し兵 哎 精 儀 収し拜。 事 所。 方 不 乒 散ご請 在。略 見 抗 提 温 法 能入 聞 召 勸 千 以地 馬 佘 温 夭 諸 兵,命 失 行 餘 名多 大 瘷 大 而 馬曰 僑 下, 粁 為c多 人馬磷戰於鹽倉叉敗為 原黄 單司馬段 拒 巻こ 雅等意輕 **今為** 謙 粉こ 寅 逐雾躁而 Ħ 吐, カロガ |郊 0 破 瑊 夢し 野 垄 拒 年、 月、 戦し發 豈, ì. 戰烏 敗 下 虜、 Ż. 吐 へ秀實: 狀い城。 不 敗 軍 得っ 命の戦 吐 来 則 何 之 中っ死 荷っ 用 城 據(於 其∪掠 蕃 兵に諸。 乗城 兼 自心 再 之官軍大敗居民為吐 此 不` 酸○ 宜 後亡汧 見 可 在 稍 全の 為命撤之此 未ら 用・布ェ禄 任子 忘其 平? **寿**c龍 以 我 却 拒 拒哪值 ·一步当不可看 公雪恥渾孩曰< 必っ鹽 不 旣 守、 兓 秀實日大師 儀赦 在 返○州 夜 焦令諶等讓 召 以の職 諸 顧の刺 使 其罪 乃 乃○史 子 得退 引の李 萯 使 朔 長っ国 則 突っ原

	以城杭同類並	甲辛五亦為将而怨之哉,別氏論事不洋本末而使子儀斬抗等而再任城,则克嚴皆得其當矣倘	す方本年 巻之五	卓養氏曰城非可與抗並論也城之敗抗實為之息之見胡氏葢不知兵者也	偏群心怒卒伍意離期至大敗亦未可知此特	示戒平按胡氏云使子儀欲誅城城又欲斬抗	抗等達令玩敵不聞申明軍法各正其罪其何	· 世山氏日子儀 渾城皆自貴宜其轉敗為功然	原殺數千人房逐逝去。	於監盡後得其所掠馬臻亦出精兵襲房輜重於	秦原着原一鳴鼓而西房間之至百城返軍城邀之
		かれ 女が	中人司人	為之	特始	抗則	一何以	然史		於潘	邀少

承c何a不 不相害者以為瑞音 以o質 質o日 天っ 意上 質為宜戒 宗大曆十三年唯 物及常 法の為の 肿肿 グランス 不容さい (大猫捕鼠ス) (大猫捕鼠ス) 菜率 迎事 Ħ 節 以 使 公事與褒爭 吏c職o中 朱 之。也。不。今。 *** 批 祭。同 冠 \ 乳 ○ 崔 | 春 ○ 妖 ○ 祐 東 者ox 派 縣:以o也o甫

芭山氏 奏停御俱 目 《卷之五 衰不 八辭堂封 諳大體和此。 小療 雏與楊 平。 何益國事〇德宗 綰 闹 平章事

+

忠真堂

芭山氏日胡氏 軍法誅之。乃

此 能

論甚正思謂黃裳宜先

矫

臣之罪莫大于矯

部奪主

一帥之

柄既伏其許宜

不

耐

未至

邪。

諸將

懐

不

伙

其

有 光

衰獨居 即位郭子儀朱泚 政事堂代二人署名奏貶 錐 以軍 功為 宰相 崔 皆不 一 祐甫 旣 預 而二 朝政の

表其非 罪 帝問鄉獨言可貶何 也二人對 Ŵ

論快之。 見大因 卓花氏日 知帝以豪欺 因 納忠之法 猫 E 鼠同 聚為 扎 潮 韓昌黎賀張僕射白兎 丽 州 識諸 刺 史而以 更之不 前南代褒時 職 此 状 小 額 中

> 雅等黄裳察其 智務李懷光 唐代宗大 者黄裳矯子儀之命皆出之一黄裳察其詐以話懷先懷光 Ŧ 三年郭子儀 代子儀矯為 詔 書欲

光

刋

誅 官 大 杜

粁

温

胡氏 EJ, 黄裳 相業即 此 可見情 八代罪干是諸将之 裁循 八罪一是諸四 有未盡者

古方略作風春之五 土 热美

府自定必待懷光伏 之難制者以派 許諸 **斯鼓談** 罪機 **懷光之勢然後** 出 若 栺 狂 样 蜼 稍 微制 失次第 詩青懷 之無飢 矣い 光

F 及 莫能過者然 守 jl. 使黄家能誅懷光 何哉 疰 不 斬 川當日 安禄 山, **5**] 則 之不為變特幸耳首 無 姑息其遺害何 典 元邦 冠之

卓整氏 裳不應 势将

子 32-269

盡力失度州別寫臣自欲之非其罪也且 数所用故為之盡力陛下誠以而用之彼 大 Ŧ 袻 議之泌曰嗣恭為 卿為度州别駕嗣恭初平嶺南縣琉璃盤徑九寸及 善則去之。舍各大過故至於此帝曰事亦應十全不 破載家得嗣 可輕發因言朕而醫鄉干路嗣恭而嗣恭取載意奏 教不見解對日臣昔日固實言之陛下知奉臣有不 唐代宗大曆十三年召江西判官李泌入見語以 功克廣州新 方略 解以嗣泰為兵部尚書 卓養氏日必云嗣恭為縣令有能名陛下未暇 能吏郭侯分别嗣恭短長自是當日公論 不知大體昔為縣 之為載所用故為之盡力。 或曰昔人不以二外奈干城亦何以一 **李泌論路嗣恭功罪** 卷之五 恭所遺載玩 陛下豈得以 人小 日真即别八年乃能誅此敗不然 :令有 心善事人及權勢精動吏事 能 耼 陛下 13 **监徑尺俟其至當與卿** 陛下未暇 琉 诚 **璃盤罪之那**。 扒 丽 芝 用之彼亦 琉璃煜 嗣 亦為陛 知之而為 恭新 上意 知

		下下降食をおり	為陛下盡力矣嗟乎尊無二上嗣恭與元載同為 春世頭可以知與不知遂懷二心乎使元載而賢 唐臣願可以知與不知遂懷二心乎使元載而賢
		七四、忠、貞堂	使之以功 福通 也裁 不

圉 劉文喜

八八人據涇州作飢不受部未此等國文喜於徑 中 元年別駕劉文喜因 楊炎欲城 原 ₩

唐大

八曆以前 德宗

駄

出納俸給皆無法長吏得專之重

以元王

__ 王元 错載

言於上日臣乃陛下藩邸部曲豈肯附叛臣必為陛 下泉其首以獻但文喜今所求者節而已願陛下站

士 忠与

古方略作人卷之五

與之文喜必息則臣計得施矣上曰名龍不可段

人

邪於是上心始疑不知所倚仗矣

南牙文臣贼至巨萬而謂我曹濁亂天下豈非欺鬥

文之如動城御膳以給軍士城中縣士當煲春服者衛能立效囚善我節不可得也使海賓歸以告文喜

一方本律 不奉元凯周不以家有管蔡而不封懿 小人之溪而待君子之邊那舜不以朝有四 おとしこしれり見る方丁之士智賞何其指 春之五 好我在一个将水其头 同東官親任朝士而張沛薛邕繼以贼敗官官武將皆曰

之既連山特於是州縣始長朝典上初即位陳斥官 恩去宜州盗隱官物以巨萬計殿中侍御史員寓發 十年德宗以宣欽觀察使薛邑文雅舊臣後為左承 東政貨路公行天下不按販吏者站二

者古方略存此於律部明贓吏不可不按貨路不 芭山氏 日借當日大臣不開以范氏之言告德宗 足任也疑則舉一人一人人人不宜集王勢孤矣天 可公行宜除去姦貪選用康吏不當學疑文臣不 一人而不取於泉猶以噎而廢食也。 三十尚 恐言後

使概 原州

交喜首而歸正已益懼

示威

於

正已觀微孽不除二語可見

日德宗廷知文喜之易除耳。且

欲借交喜暴首

不為發兵城中勢窮海寶與諸将其殺交喜傳首

如故於是舉知上意不可移

時吐蕃方陸

於

親夫失

於 洏

1

唐。

竟不果城本正己內不自安道多伍入奏事上

子 32-271

봈

虚虚

審徳宗建安二年發京西防秋45 「本建春樓宴勞之神策新士獨不飲上使詩之其 「本建春樓宴勞之神策新士獨不飲上使詩之其 「本建春樓宴勞之神策新士獨不飲上使詩之其 餐の敢の大 屁在 元之善約束也因億 山 泆 1.氏日令行禁止 大數美賜書勞之 **2*2*0 0 0 -律上卷之五 视 節以使方經 **野聖不發者何** 咯 巨癣 此 玄宗開 茖 耛 旣 如。 巴愛命 元中基嘉運為 略 具見 朝 丰 然予猶 餅○酒○日。 豐○故○此 忠貞 河 噗 伙 不○不○行

慢馬技 耳の高っ天 與 亂 謀 遣 諸脈 之欲遗還會李元平 将0鄭| 卿責之元平點以審啓白 下了時年 多之五 宜慰李希烈 唐德宗建中四年,上用蘆根計 死の以 四 臣 匹 邀之於道不及真鄉與其子書但 使話希烈勸 焉o叔 峒 微造退會李元平 为州事為是馬技亦假之真卿色不變希列版一三部欲宣詔肯希烈伍 一奏の者の卑欄、原本相 贼子相從 避の則之の日、 內何謂四王 使 同豈吾獨 同宴四 遂○徃 还行李勉表言失一~ 在必不免宜少器頂象 詔下舉朝朱色真卿 使日都 水與之 為 進 不免宜少错須後命 ાં 和公不 朝 希 吾っ真児の郷 烈習 廷 同 肵 綂 · 兵卿示· 也の此 將 覆 팂 希 自保功業為專忠臣乃 稱 滅 無 烈 年の日の大 造太 邪。 肵 希平 烈 使其養子干餘 元老為 遂觜不遣 為 為 為 知 在 座 症 《自客邪真卿] 希烈 之日四王見推 八の爾の號 乗 庭 ž 十つ知っ而 敕 贞 子太 臩 不悦他 知o有o太 ナ 欲 去 年 在座直 以 國家羞 卵至 阮 朱滔等各 奉 日。東 師 虚复 家廟 君 H 叉 命 0 智 Elo 使

豊不快公心事四 利此 祭 句 ※ ※ 格然見希烈目 示真卿 希烈聞希清伏誅忿怒遣中 與希烈兵戰 請薪灌油干庭真卿超赴火景臻逃止之 僭號造其將辛景臻謂真 遗钱忍不知 卓卷氏日真鄉 柳 節書者變文起義所以著歸 或日真卿不幸為盧杞所 那遂縊殺之貞元元年贈 固 4 發長安使者日自大梁來真卿 有 真卵也 **僭號之日而** 如是平識者多情之雖然綱 **敕令賜卿死真卿曰老臣** 但真鄉對蔡二十 参さる 肵 謂 可 死於 紀而復蘇自是不復言典元元年 (生己定) 謂 從容就義者將 從 4 乃謝 容就義者 使授敕之時 問月ピ無生 贈真卿 卵月っ 擠 □其所持節希望 使至慕州殺 罪盧杞陷害之意非 方希烈誘脅計惟 卿 胃 當 不 月 司徒諡文忠。 南 能 何 矣 於真卿不以死 然。死。 則○不 節度使張 亟 相節の 如也 祈 從容就 141 以 後 不死 無○知 耳○使 **真** 烈使人以 當 世 剱 펡 ń 希 猶 ¥ Á 何○者 謂○餐 中使 於 伯 相 有

				古方略律 卷之五 平 忠貞堂	之所以非春秋比者此類是也。	儒一字之具遂多苛議豈所稱權衙之平哉綱目	而不死者果求生也邪夫論人不改其實徒以後謂獨蔡二十即月無生理矣試問真卿之二十月		替號之日為非義愚謂當替號而與即行所有首鄉非不死也景臻不令之死耳識者乃以不死于
--	--	--	--	----------------	---------------	---------------------	----------------------------------------	--	----------------------------------------

此平滔 與大質 戦勝 當平天下已 義の時の之 不! 唐德 秧作色日二百年 泚朱 復遣賈林説 す 俱 臣逢 字原 学の臣 北 圪 易定论趙皆大夫之故地也不 Ż 51 背干 取 北 得地則 功 [e] 更典况主上聰明英武天下誰肯捨之共事 平遂密與 歸先是武俊 建 缜 自 C 特後無以 要 ★O作 平後 ※ 不 尺分此都更林復說武俊曰自古國家有患未必 中 定大夫 卷之五 爲 武 利歸見傳不 四 o.E° 爲福 盟主 カ○宜 俊曰臨洛兵精 年, 扎 天子吾不能臣宣 将三千人至幽州朱滔因說之飲 囲 真及 乃悔 之道 消○消○夫 IJ 召回統兵至是回統 栰 来で 説 爲 勝則 輕 Ξ 全諸 鐅 ○誘c忠○朔 陵俊其擊李 相 同 恒 而 結 則已晚矣武俊攘 道 冀 治:蹉 如先取之武俊 有備未易 能臣 約 Ē 為兄弟然猶 圆俊 北 達干 攻 泚い此の臣の 抱 練寫 田舎見 無具定 自口若、惟教 使恒 輕 贞 不 大 傷c 也 Н 此|昭の當の

古方哈申 卷之丘 至 忠貞定	自反彼致扈者肯欣然效順形論者以為德宗引之力也自非賈林備陳利害深明理勢使之信而	卓養氏日田悅王武俊之上表謝罪李抱真遺説以武俊為恒冀深趙節度使	共事天子不亦善乎吃意遂央詔加田吃右僕射復城拒守武俊請伺隙連耶義之兵擊城之丹清河朔	九帝 几天子不事而事此及治乎慎勿與俱兩但閉及總教我我曹何得不悔過而歸之且捨九葉自高好事消與元元年司依是日秀顯見日代日天子方	一外事育與元元年武俊豊田秀馳見到第三天子方
----------------	----------------------------------------	--------------------------------	------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------------

百万略律 陸費日 共意安在費上既曰復痛自修勵慕為清貞用錐 疑上亦竟不復辨也 別從一何客為隱若 超從一安肯附會願陛下明加辨詰若復有所請水 周行則可保至於輕許如此復必不為借使後欲返 然退調左右 然退謂左右口蕭復輕朕命復克山南荆湖江准等虚化同奏事祀順上指復正色日產祀言不正上標志臣敢不竭力儘使臣依阿有免臣實不能又等與志臣敢不竭力儘使臣依阿有免臣實不能又等與 道宜慰安撫使既而劉從一及朝士多奏錯復上謂 **蘆祀照亂朝政以致今日指播是** 恩縱橫此屬但應掌官掖之事不宜委以唇德宗與元元年蕭後書言於上曰宦官 上不悅又曾言陛下踐祚之初聖德光被 乃反 卓卷氏日蕭盧忠姦自別C 不悟耳既以詢贊實宜切 朕欲造重臣宣慰江 獲如是意復悔行使之論奏鄉知復如 夜 不 卷之五 阿盧妃 從 自有囘互則蕭復不當受 明士莫不知之獨 之論奏卿知復如何人 為申理使帝去妃 陛下誠能變更亂 作用 忠貞堂 德宗

		56	古方略律を己立		敢言與故語奏無一語及祀豈亦有所畏而不也勸贊前後諸奏無一語及祀豈亦有所畏而不	而智復則時事尚可為乃首鼠両端聽其自詰何
-	ļ		i		豆亦有	端聽
	: :		基点		所畏而不	其自詰何

有○安→尉」我 髙 琛遂 免○得○為 富 李 惟 ĸ 砚 퐤 死 货、 太 適 陳 頹 ıЦı 📜 賊ひ不ひ股の爾 芬 石 從 進 $\mathbf{I}_{\mathbf{A}}$ 隂 昕 掛 氏 怖 律 氏! 名の負の肱の為 Elo 国, 賊 젰 紶 元 芬 双 目 功 而の大の太の子 演芬 崮 諸 死の尉の尉の奈 昕 馸 謯 元 之 粉 微 Ħ 死o乎o以o何 年. 李 行 演芬。 舉 槧 贱 胡 井っ演 Ŧ. 此 演○負 在 兵 Ċ 以 心。芬! 芬o我 告之 頼 元 殺 失○胡 果 李 蹈 元 愢 H. 爲○死 光 友 轨 斯、 ょ 秱 年, 粛 欲 慷 人。心。此 事 蚜 假中 榮 쭢 尉 루 免 光 覺 オー 腹○心 4 使左右 辱 得 朝 賊 能 太○平 懐 男○演 光 懐 名。况中 肵 邓。 瓜 環說 至 諸 逦 卆 則 白 心○既○芬 何 召 諶 患 1 指 賊 惟の負の日の演 13 ਿ 知事である。 一天へのでは、 一天の子のでは、 一天の子のでは、 一天の子のでは、 一人の子の大の日、 恋預 图人 官_。 食之 图 Τ̈́J 後 忠爽 至 17, 張 如

建突 E

 $\tilde{\mu}_{o}$

JŁ.

也 Ĥ 斯

来: 135

予:何:歩 費:利:安 服:の手:0子 殺 ÍΙ T-死的人其管士卒 ļl; 天ヶ出 復 行 遣 往 請 さ 同 英子。 **宁** 咯: 果豆島 至 召し牙 平章 用 奉 状 中符 助关谷 此。 用の特 批 SL. ₽誠 天 於 川滅不 推動 共 亥 誠い馬 1 仆 奉 是行 與元元年李卞 災景 夫 o 在 令 o 漢 111 -Ŧ 苏 返っ勛 懐 迎 £ 送 1 余沙丁 府·奉 光 若·表 所 詙 將 H ሌ Ħ 又 在 肝 追大 2 蔽 火、知 胩 幸 誠 我っ中 小 始 スっ上 梁州 取の一覧見用の朝の構 於一事 Ιi. 诵 誘 地 州 \mathbf{E} 嚴 簫 ナ 將 蛴 粱 驛の池 誠っ黍の甲 共 大 張 山 州 -j-外シ以 用 南節 召 泵 不っこ 胺 在 軍 败 從臣 ッ靴 34 君 杺 以 士で石 皆密蒙 後 Щ 봠 符っ役つ請っ上 将一度 稅 刀 精 曹原成の助大 #. 誠 徃っ進 請○之○函○聞 豣 兵 使 嚴 其 傷 绀 五 光; 嗾 愕 火し肋 1 自の同っ言 **震聞之造** IJ (iii 測 同與 取で基っ同・日 肋一连 五0月0人0郷 州。之 至 待 13 壯 Ĺ 1,5 暬 加反此 残の子の間の出 壯走 13 入 取○會 įį 與:何 族っぽっ背っ発 北 從 嚴ο震 厔 -± 接い費の変化力 倶の時 格 上: 容. 時 震り織

古方略非卷之五	放子, 我用誠父子且殿去胎隔滋大 宣獨助傷首哉 也山氏 日月誠附城 斯泰命召還府即先擒用誠 我用誠父子且殿去胎隔滋大 宣獨助傷首哉
- - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	海 一 府 助 壯 郎
忠真堂!	

繋職 虚則物方不給事虚名而不副之以實則人情不起 **今之員外試官** 古方略作卷之五 於教為重利近實而於德為輕專質利而不濟之以 又自秦将何勸人夫詩人之方惟名與利名远虚而 :則で筋 食し、少の食物の大の食物の 服色資於 事之一官此 元元年李懷光及帝奔梁 爵位宜 瓜瓜果者 ihi 己 事中其次員外即無使舉人悉提試官 所 ·在魯輕設法貴之猶恐不重若一中其次員外即 虚名無損於 il) 官擬之陸 此 賜之錢帛可也上日試官武被之陸赞奏日節位恒宜慎 肵 施質利而寫虚名者也 설턴 취1 實於然而哭銛鋒排患難前假處名以佐實利者也 買利而寫處名者也三者 州 道 忠貞 先, 有

乘而 **先** 王 別同也。 之道高祖不納愚按 新 方将往卷之五 抑 臣 舞胡皆不當得官濫予以官則士卒為之解體 提武使稱衝擊鼓衛先解服露體而擊之不敢 濫及無功耳發之論較釋之尤明切其慎惜名糧釋之主于柳口辯課實效此則以貨功之官不宜 性瓋氏日唇高祖當拜 則 芭山氏曰 因 兌 後之立功者將曷用 仐 先 天下起義功臣行貨未編高才碩學循滯草 法服為伶人之不既招 如子野妙等師襄皆身終子繼不易其業 而武心养所以示勘 **玩諫日周禮均工樂界不** 敗謀 令舞胡鳴王 下 此即釋之不欲拜 とイ 有實 减 ù. 網 **曳組超點布扇非贻妖** 利 此論深與替合嚴瓜 為賞哉。 Ц 凢 敦 雖然德宗不惜名卷 以則士卒為之解體功 安叱 物議大数装飾方 嗇夫上林 勸 氼 奴為 得預于仕伍 不 重 散 令之意但 虚 忠贞 騎 子孫 果 啊

唐徳宗興元元年以賈兆皮人 為工部尚書先展 東徳保命方大宴有急牒至以奉代就。のののののののののののののののののののののののののののののののののののの

功。救 y. 乱朱 唐德 難の將 繋 古 欲 仴 亦 艳 山, 左 ·俊管命 踽 天 萸 孰o 之 o 方 河 偞 Ħ 滔 踰 ĩ 枯 天の士 其宗 之臣 居っ消 志 不 귅 莫 子。以 下 Ü 喺 朔 四 泚 宗 波 枚 吞 旬、 A. 腰 明- 年 叐 į. 4 蠩 祌 拤 n; 滑 入 族 則 貝 揽 行 皆 危 各 会○破 芄 邭 遷 色に立 元年、因 軍 ەئىر 於 得乎當山 連 魏 不能 長安 魏 持の恥 引 中職殺人之武俊感 휁 武が 三道之兵益以 傳貨 復值 其不 Ľή Ł 司 袏 右 消矣不 下 俊ω惟 者 朱 馬 飠 Ņ 炭。子 逻 虛 7 哉· 泚 為 田 夏, 紺 湮 武 不守 若 流っ言 40 女 ηij 汦 不。 Έĭ 悅 林 攻 原 俊 有 瑓 復 貝 涕・終 俊 . 我 魏 約 軍 疒 ij. $\mathbf{H}_{>0}$ 姚 泉。 貝 矣 爲 縦っ遂 \$ 勒 尚 饱。 則 首博. 州 令 為 昭義 魏 庚兵 李 幸 爽.. 魏 톙 兄 横 6 行人 IJ 兵。 朻 從 百 之。単 外。 双; 未 耘 膊 抱 武。見 聽 疑 使馬: 餘 敦 扴 弟の 枪旗 誓。俊○武 朝 下。 拉唱 推 旣 田使 典 部 B 臨省 之益恭 同こ亦の俊の命 于 真義 T_0 校田 説 馬 屰 夜 . УĻ E 15 昭 強師 庭攻 過方 崩 JE o 王 Ц 悲の叙し亦 今 則 威. 日數之騎 諧。 忠貞 義 張 武 官 退 菔 Щ. JD C 不の関の椎 合保 東 俊 抱具 自の家の子 特。 明 覩 鰤 舉 請 南。之。 膝の鷸の励

抱

英

説

王

九

俊

何 ħ 第實則 **遺趙琳** 有贬 會南 俊之功 抱 不 方 奺 彼 ~ 於 略種 英王 貝州 故 此 納秀實策 知 ţŲ 日 信則 此 調 分 武 ηή 並嘉 其 水 尤' 軒 非 將 伏 倰 徧 $\mathbf{H}_{\mathbf{c}}$ 卷 身 巻と 俊 桑 Ż 多。 軽 綗 並 E 者 自 Ë 之 端也。 嘉抱 抱真 矢心 Ħ 書 破 網 林 也 犎 之豈專歸 南 五 與人 朱 月 叉 向 宫既 五 穪 + 終 而 英子 ķi 前書 Á 令武 鲱 許 抱 兄 IJ ||旗单 為 鲱 引 流 食。 抱 死 兆 李抱 善 破 俊 真 羙 揍 騎 净 弊 未 矣 先之果爾 朱 扡 抱 兵 何 不 抱 騎 袋 遂 之意後儒觀 居前。 ii. 真會| 信 爽葢 抱 英 益 徃 速 **真先説武** 見能 叉 真武 哉 抱 况 日将角 4 撃敗 貝 真之言如朱 相 樞|垣 Ŧ 丽 忘身 駠 重 武 州 俊 大 較 友 伯 書法宜有 俊微 俊後 之戦 监 于 滔 仲 Œ 南宫 忠貞 꼐 武 軍 者 破 俊 分 펡 武 義。 未 浃 朱 次 祈

古方略作 倉村 将仇 海城 官閥 此 兵大至展謂諸 4 伏 臤 天贊我 4 Ť 及 敬忠 不若 格問 及 不殘坊 城 ガ 縣 林坊 卷之六 也命吴詵等縱兵擊之時華州 Ĥ 於 元 Ĥ 君人驚亂 蓝 皡 光 市無擾策之上者也諸 戏 市 將曰 祭壘此 田 尚 扎攻之潰其 然後比 西斬之李歲移軍於光泰門 可 始吾憂城 州市 孤 競将張庭芝李希清希照 刻期集於城 攻 年と 育問, ル **特匿不出今來送苑** ıů. 利也今城重 犮 賊 П 兵所從入皆請先 特皆 Ŧ. 办 37, 尚 奔 九 營在北 日善乃 + 可 14 忠美 孤 如此 英指 Į. L 外 敗 败 米 引 泚 賏

姚令言等優追課人現處進軍之期皆為遇騎所 以収復京城先是 定 軲 蒦、 日破りたのでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ので 之會夜晟 业. 賊 併 賊 力 飲兵選賊 攻 敗 走演等追之乗勝入 之炭命牙前将 果於達西 康兵于光泰門 李寅 光泰門 等。 帥 販叉 精 再戰又破 兵 出戦 校

古方略律 之自栅中刺射官軍 先使人夜開死橋二百餘步比演等至城已樹柵 如 此吾先斬公茸夹萬項狸 本卷之六 官軍不得進展怒叱諸将 脚浆 道っ先 進 <u>-1</u> 入い技 桐 忠貞堂 ī Ħο

賊

耀武

而還

城不敢出晟

召諸将

問

於賊也皆飲之酒給錢而縱之遂 炭引示以所陳兵謂曰歸語諸

賊努力固

守勿不忠

軍堡提緊元光敗此

使本演及王俗特騎兵史萬項将步兵直抵死墙晨

引兵至

通

化

19

外心

再德宗典元元年李晟大陳兵論

古

方

略

卷之

明

袁州 婺源

張 氽

懋 Á

衡 젰

光层 是泚 最時百餘騎回樂之左右呼曰相 除合販不能支至白華門有賊數 令言師餘衆西走光及送此 等猶力戰 砂演 客輪 遣張光晟将兵五千屯 引騎兵繼之、賊東大潰諸軍 展命再具臣等步騎蹙之 及批 晟 屯 敗光晨 含元 蜒 出城還降於晨歲造 九曲去東渭 前 勸此 7 舍於右金吾俠 ☆c 分の 騎出官軍之持 出亡此乃與姚 木 且 賊 岐 並: 桥十餘里 以皆**為**貴 Ħ. 前 姚 九十 公言

古方略 律 芬射 之应 臣 者o斬 慰 諸 見帝 罪 闁 惟適 奫 劉o之軍 西 章 士 巴肅清 琚 非心 光 軍 胡 M 侍中 下且 ٨ 聣 日 Ŧ 氏 大 ĸ 墜坑中韓旻等斬 蒋沧等遺掌書記于公具,士 股果 斬此黨李希清等 大将高 五○有 **卷之六** | 稱 Ξ E 骄 體展量 天生李晟以為社稷非為朕 官禁祗謁寢園 II c 震 頼 展 別 橋先賀平 元光等遷官有差 内c警 腁 派忠 名人 士之か、 明 榒 礰 得の男 獨立追 Ħ 苁 黨李希精等于 取 通○民 贼 能 敉 家(伐 克清 賊 禦 後 典望表 之 鐘簧不 妓 信。罪 訓 以展 從 賊 尚 命 z 官 分 权 哉 可 京 易 復之脱。伏路左請 車駕選長安晟 竌 爲 移口 作露布上行 λíŢ 信非虚語 帥 廟記 討 市表のでは、軍士取り 尹李齊 Д 也, 徒 Ξ 凮 中書 此将 如 拼 思明告 故 節い賊 束: 梁庭 上覽 在 不○馬。 日○ 佰 ○ 皆

古方 者〉態 燧 奥李抱真 武俊急攻 唐德宗與元元年李懷光 묐 相 ë 或曰氣慶與買號遇 崙 連っ 遣人 小略律 以為皆上 を表 の 関節度使上 糠 悍逆 歸之。 Щ 忠 'n 片 説 寓 作俑 日當時逐殺 然 ~ きとこ 同 康 下之詔以 杜 無 整朱 Ħ 譲 後顧忌 後述 漸 嘉 知 亷 於c從 日c之 'n 而 Ϋ́Ì 查康 Ħ 壅 **徽之意情諸** 許 而 州 模 海 人 之 城 ξр ||樊澤同 矮不 Ŋ Ē 知の耳〕 規 師即 為 且の知 冻 环 鎮 兼 常 言c未 因c至 趙 造 於 何 領三 甚 名二 州 用 使 趙州 中、 粁 臣 剘 爲 迎 降c而] 三州 所一接恐後有功 〇〇〇 (株のおつこ) 不 州。 朱 主 與之 R 奏請詔王 帥、 Ħ 錐 泚 桇 19 辣 快光叛 幈 其 云 烶 改日 姟 、敦邃 起源 至 始 作。 中。 初 僅 武 知 177 州

7/

上

修

茶州 平章事 之不克李澄 應尚為根本必 将田懷珍開門納 使曲環等 授旌節誓粟 澄到兵 如故至長安素服待罪議者多以勉 典元元 拼 起汗 兵救 歸 知大梁 言於 國 Ŧ, 劉 洽 州. 陳 李希烈遣 Ł 軍李勉累表 兵火 州、 希烈鄭 治遣都虞侯劉昌與職右節度 日 擒崇雕進 李 不 灺 州 能 其 公忠雅 守將前登降斥 制 揹 請自販 攻示州希烈懼奔 滑 州遂焚希 正 [4] 州中

遂上章請以一欲用卵人亦 章明 章ヶ日 髁 古 麻鄉弗開平對曰臣 愿奈何 下将有永嘉之行為迎恩之備耳此乃-の い為のの為近近10年(中です) 〇〇〇 ···· -一〇 以前の10年(中です) 〇〇〇 ···· -一〇 以前石頭城者濕見中以一位自車駕在外貢獻不絕且鎮江東十一 願 儉自車駕在外貢獻 石 1方略作 放っ臣 4 如 礻 陛下察之臣敢保其無宅上日外議沟湖章奏如 頭 米 舒中雄 不可避人語 世 私 親 舊 以 頁 陛 共無化を宣示 敢歸省其親正以 城 宗與元元年議者言韓 4 -郷か 更以 卷之六 が何保之い 镁 知 Ħ 為罪手混性 何易可保 觘 Ц 箅 保 不絕且 也 混親 中書 對 固 滗 耗 电机 榜語沸騰故也上日其子 將 上 櫯 П 聞 似勿遊泉恐為鄉界也以下使朝泉皆知之上日此 傳量 剛嚴 日 泷 之其子阜為 祈 Ŧ 川心 加 阆 £ L. 川心臣知之至熱願 問 **浇質無** 得 東 何。 쀪 泉皆知之。上曰朕方 不 李 開 豐稔 不 水 對 悄 # FI, 自爱其身乎對 乃人 對日日 日卿竟上章 權貴故多誇 煩 異心臣之上 考 **今天下旱** 原ぃ五 在 板 c 州, 蕩 o 盗 梐 功 臣忠篤之 員外 忠負堂 調っ賊 屰 毁。 退っ 陛○不

其所長且大梁

卷之六

屲

忠貞堂

一大梁亦· 八見其得。

亦勉之功也上乃命勉復位。
《得泉心矣劉治出勉麾下勉悉鬼。》
《宋帝時士兼妻子而從之者殆

泉の沿り

援い萬

芭 可

山

不:

因

掩

劝

ij

之言,

非獨為勉暴白

用

朝 콂 ıŁ 使 ή 少 月風濤遊之。既 港即日自 臨水濟發米百萬斛 令 尿歸親 面賜 緋衣諭以鄉 り雖ら代し漢の含く発し使し借の説の運に難し助り周の 万略准 武 出 章Oik 写 異 可 a 部之日 上間 州外共 冠以 芭山 廷 知 遊諸道將 萬斛上 中乏糧歸語鄉父宜速 章以解朝泉之惑面諭韓身使之 74 で頼之。 ٨ 質昭 氏日 遂加 之間 翔 母啼聲聞 謂 爾 雪非 £ 冼 敢為 巻とか # 15 j. Ц 퐈. 人 口。 भा 티. 章事江 貢矣 雅其 足 ΜĹ か 不 滉 陳 同 少遊 外。 吾 1 乃能化陳 為變 大 下 惟 飵 將 以 准. 安 IJ 准少 怒召出捷之自送至江 致之。旱至 全燙。要之 全 Ŧ, 南遊 而 朄 γĹ. 姑 延伙 東 Ŧ. 韶 少遊貢米 躾 聽卑留五 真之 贬 欲 **開浇貢米。**亦 叉 况 自 能 I. 潤 셞 乜 拠前 製令 入 汰 為錯後 州源底 亥 Ł 少與陸 對 貢無虚 准 Ħ 萷 福催 帲 忠貞堂 Ħo 郎逐 無 從造 豈 異 ĄP 惋 忟 月o. **L**o 朝o 而 觗 PΓ

質不 之疾 以 懷光馬 但敕諸道開守旬時 盡墻壁之間機殍甚泉 **賞典不舉怨言必起五也今** 懷光既赦 元乃謂兵相 南 兵力未窮遽赦其及逆之罪今西有吐蕃比有回此 土字不安何以獎勵二也陛下連兵一年計除小 펡 以晉終慈隰還之渾碱既無所詣康日 長安幾三百里同州當其衝多兵則未為示信少兵 多請赦李懷光李晟上言赦懷 --作光如本不在非 #OKOBOBO 有准 り各 不足既防忽點東偏何以制之一也令赦懷光必 夫 為宅日之悔哉又請發兵二萬自備資糧獨討諸道關守旬時彼必有內潰之變何必養股心 滿望是 ፕ_ሪ ik 燧 西京奉希皆觀我強弱 各之六 自行替入朝奏稱懷光 賙 願更得一 於 愈激之 朔 請討李懷 方將 人 ī'n 使 士 Ú 背應 且 叛 罷耳 軍中 四 可中 也 叔 必 不 j, 火 大 有 五 ○ 変 資 糧 大 既 护 訊陛下施德澤爱黎 鄁 下 凶 4 解河 起道 行當个府庫 平之、上許 逆尤甚赦 殺 米 中, 戮 Ĺ 観之心 三也 知叉應遷移。 不○匱 ۸ 飛諸道兵 略盡 百易茶 場言 可河中距 思真空 醥

	· 方本律 多之六	也山氏曰陸暫請善待楚琳者以大慈尚存恐附 時光則吐蕃回統淮西必蜂起伺聚為害甚酷此 懷光則吐蕃回統淮西必蜂起伺聚為害甚酷此 時光則吐蕃回統淮西必蜂起伺聚為害甚酷此
	之 からに 東京に	方。皆因乎情理時勢而 為疑陸寶處量逆叛岌 整起何聚為害甚酷此 處制之如友掌不速討

臣曹父末生陛一言非荷求生臣な 古方略 成陽論卿父使君臣父子俱全不亦善乎难至成陽 警日知卿大臣愛子當為朕委曲彌縫而密奏之 以危陛下陛下待臣厚胡人性直放不恐不言耳。 君父一也但今日之勢陛下未能誅臣父而臣父足 進雅務言於上曰臣父必負陛下願早為之備臣 於知衆心不附遂縊而死初懷光之解奉天圍也 -------爾曹無罪弟堅守勿出皆曰諾獎等遂進逼河中。sacatomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesacomesa 竭不能回 IJ 以其子雖為監察御史麗待甚厚及懷光屯威陽 畏死耳爾豈可陷吾入死地形及李泓赴陝上謂之 方,臣父言爾小子何知主上無信,吾非貪富貴也<u>或</u> 還曰無益也願 臣父非不愛臣臣非不愛其父與宗放也順臣力 朕 所以 ý. Ħ 《卷之六 再 上目 三欽 陛下備之勿信人言臣今往說論萬 下し父 亦○版 女用之上 日柳勿死為朕再以臣與之俱死復有何策恭 光光诚情 以之俱死復有何策哉姓以何策自免對日臣之雖 I 也鄉至陝試為 息月堂 更至

中平九二十七日獎出高郢李庸于嶽皆奏至幕下人獎斯其將問晏等七人餘皆不問獎自解行至河殺朔方將牛名俊斷懷光首出降河中兵猶萬六千 陛下 豈有 古方略 華 卷之六 朕 不敢爱况招之乎李瓘因賢者必與父俱死矣若其 不死則亦無足貴也及懷光死难先必其二弟乃自 世山氏日演芬懷光養子且不惜一死况李唯乎 招 可也先及其二弟何哉。 璀不幸處君女之變不能不 之、對 人 靓 臣 朝 Ú EJ, 逐其君 何心見之臣得入陝借使懷光請降 빦 下未幸梁洋懷光循 可復 立其朝乎。 以 縦彼 死塞責然自 可 土 降 類厚無慙 今則 忠貞堂

和 書記 男中外有家人千條若有 古方略律、巻さ云 師與軟奴等皆腰斬而朝臣無連--ontototectiono 之本展聞之幣仆曰晟族城矣李浴 猫或曲 而過水 縣付法官而非得公忠明恕之人主之或阿附與 蔓引流毒縉紳而後 連安得不懼愚謂大綠 元熟處危疑之地當讒謂之变一有舉動易於牵 必無枉濫乃不付外廷而使中人正之势必林連 矣然國家有意外之處典起大級若皆付之法官 世山氏日本朝于旗行云 沙之舉有益于朝政大 之子。等謀作亂其當告之上命補送内 濫 宗貞元三年妖僧李軟 | 裁泌 垢 朝古或異門戶而酷加文致或報 ŧ 推 此此 付中人流毒固不恐言然 以存图家大體而其要則 何所不至安在廷 不 奴 可不 | 起所引必多聞-/及者 0 防也展以 射生 械送京 思真堂 粉醇 私忿 ىلار

ᅤ 廷

殿前

以為不得不整權就恒情言耳。 得超避明夷銀貞鞠躬盡齊安以慶之而已及年 唐大臣恐城族 枉此愚所必 本事原志九所奏當悉出至公如謂廷推便可 朝 廷 JŽ, 卷七六 欽 不敢信者也况死生祸福 恤之心擇明允之吏然後正 而自驚化何所見之不廣也于氏 <u>-</u><u>‡</u> 非人臣所 刑 忠貞遠 明

古方略律 15 於白起亦情官乎對曰人神 國之將贈三公太重請贈兵部尚書可矣上爰曰鄉存雇請求府縣葺之則不至警人耳目矣且白起列 立廟京城盛為新禱流聞四方将長巫風令杜郵有 磨德宗贞元四年 减赐人 云請為國家杆樂西歷正月吐蕃必大下當為朝廷 兒敵以浴之賢循不了此習俗之所敵也 亦不以為榮矣上從之 歴觀 芭山氏目按宋乾德元年秋七月太祖辛武成·南 命毁其像觀此益見李沙岸海暗海者非是 而以是贖之不獨誣神亦誣起矣此等學指何異 為封邑安知千載之後何官為尚書何官為司徒 本朝于恢行日古今官名 两無指白起日殺已降不武之甚豈宜受享 《卷 也 太 岦 白 起 或上言臣見白起令臣奏 不相蒙。促但知武安君 也陛下佐不之 忠康堂

南 衛南安南 非侵刻過溪則必招携失所曾不内訟更為上心見のカラのカランとといるのかのののでのでの一本機之則去廣州素為東廂所奏今忽改就安屯者 與俱上欲從之陸費日 就安南市易欲遣 芒山氏口恐中使復 德宗貞元八年衛南節度使 而絕安南重中使以 概御百姓亦然 ■ 養之六 莫非王土中使外使悉是王臣立必信衛 判官 透固商販 1就安南 軽外 177 仁 刻 使所奏望寝不行。 授之耳此省事懷遠 収市乞命中使 奏远日海舶 惟利是求級之斯

其家恐以財傷義時宦官恨參尤及防受不己之事上欲所犯皆頂結正然後收納今罪法未詳若海錄 古方路本人卷之六 死於路貨申杖殺貨則奴婢悉傳送京師 叉 首後法有重輕多民業有親黨亦應未成 不細乃更段參雖州司馬又命理其親黨替曰罪 下共知至於潜懷異因事跡暧昧若運加重群 要之死罪不明白至使叛臣得以為能參之貪殺 五十匹異奏參交結藩鎮上大怒欲殺参陸費日動 出為皆州刺史及參貶汗州節度使劉士寧遊參捐 **惠德宗貞元九年、東賓参為職** 又日李沙皆為實參近做可求度支照残上以為 重辟哉 出失入不同其能法一也野豊恐附 故不能不爭耳。夫宜生而死之。與宜死 **世山氏日 對非私參麥質無死罪欲為** 欲籍其家貨對日在法 及遊者盡没其財賊污者 陸費議資參重 州司馬彥 官官而 污 、上從之。 面 朝 生之安 连 屋頂 門參 一明法 駭動

玉 見未有出野右者必廼舎野而 **替謂参貪縱者多此類児是** 支事為解實專大政多引親黨置要地使為 術多權數每奏事 人卷之六 諸 相 時 Ш m引麥謂知人何 附讓節忠計與與華 参問 ŗ. 後 以奏度 耳 ĦΩ

古方略律 阅事之不彰是以君上行之無愧心,此毋聽之無疑傷不吝之明古者每人於朝刑人於市惟恐泉之不 其治骨卵父子實有大罪則尚公該典憲若 事勿對 同 豈令隂爱掛 悉或云惡逆未露宜假他事為名或云但蔡其人 **韓或云歲月已久不可完尋或云事間有** 歲九是新 **令不** 必明言責辱詞皆近 有っ他 舡 唐德宗貞元 平章事假及疑 世 形○憬 治 徃 狐 年概 耳 至 Щ 迹。得 さ、間、 氏 明 杣 一枸職同事は 一世下已至 訴之事多非信實之言利於中傷 卷七六 政 El, 加 行 憬 枸職同事殊鮮克以濟恐夷無私之德陛下已至勞神委曲防護是心膂之内行派宜各除外官對上奏曰非臣所政害有不臣之言諸子皆與古帝王同政害有不臣之言諸子皆與古帝王同 省晉 遷上 極言潜訴無足信其德宗虚 草保事目 九 华、 竹排 **鄭父子或負大罪或被** 以 上背 4 趙 理意實矯正仍善作姦 陳論 孙已置之門下蘇是與贊有際 超標為門下侍即與買號塩邁大罪,則當公議與憲若藏証在 使 当密封手 谕 陸 費以自今 死 **た** IJ. ...私之德 証杠 公任 妨。 띩 莫斯 须為 1 叉首 はり 内の所 Ŷ. 人 於

職

同

事

	市方路社工卷之六	朝廷自處分者此事理之不可解者也
		不可解者也。

		費生平學術之正。 大夫居官有守者本有不謀寡	古方野年一巻之六	変私豊能中絶其意いののでは、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、1000円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100円では、100	一尺枝一百不在出者一尺管四十諸監暗呈司矣上奏曰監臨受斯盆尺有	直機過一皆拒絕恐事情不過 唐德宗貞元九年上使人諭陸	陸貧生
ı		寡欲入者也于此以	止食可以克巴古令士	見可欲何能自室於何能自室於	枝九十 至於士育生居 医脂肪	鞍 靴之類受亦無也	

教事君先令順長若使領奪之徒便得代居其任 於遊孽不若絕之於萌芽且為因之道以義訓 獨長乱之道亦開謀逆之端但選能臣命為節度獎 古方路律人卷之六 必宰息上不從 児有邀不順有 名不誠君臣之間勢必嫌 阻與其間 賢復奏日萬祭都躁殊異純良得志醫盈不悖則敢 情此安危預到之数不可不審上欲令萬祭知智後 兵閉城士軍逃歸京師陸對請選切臣宣勞徐察事 朝以吾掌指務爾華人賜裝三十縣來皆聽命乃分 寧出政數日不返萬祭召親兵詐之日數後大夫人 軍强亂殘忍軍中苦之兵馬使李萬榮得象心 唐德宗貞元九年宜武軍亂逐共節奏使劉 主師即為主師者皆在所懲又何至叛亂發起 或日使費之說果行則少長上下之分 天子如逐小兒那夫士寧居下之罪與萬祭逐 之罪皆不容姑貸合欲遷使萬榮代士寧是教叛 處分李萬榮 Ē 明儿教本 忠貞堂

情節則思發食慢念亂或起於或矣相察則悔過者無無白補盜才者終不見伸九人之 答何患乎菌域如其取 豈知公私迎别_c **甄恕之意然首議** 以做其不格點忽以勉其自新行法而暫之 一〇〇〇家CEO、ONO米の東の以後有懲沮而無知 一〇〇〇家CEO、ONO米の東の以後有懲沮而無知 氏目後世起廢別有提選不 貞元十年陸 加 進 权。 起廢者往往接宜公此 人知復用誰不增修何憂乎亂 贄以 翀 便謂孩亮回處防閣長從 勉其自新行法而暫使左 办 赦 Ľ 近 盡 半年 豻 埀 朝 狀為鮮 处 忠貞堂 ふオ 怨o贄 息o目o

舒等守延英門上 叛於 外備恐以為罪且不理 |各垂天下 | 欲罪之太子為管敕 | 論以歲之城亦不以骨意及贄等坐此上怒未解 夏能窥其除皆以為 古方略律を巻と六 給言事細碎天子益 展之 而城方與客日夜痛飲人 人皆想望風采口城必諫諱死職下及至諸諫官 諸州長史初陽城自處土獨為諫議大夫拜官不辭 意延齡言為信運還官更贅為忠州別寫充滂背 已後數日上獵死中適有軍士訴度支不給馬 支多欠諸軍多種動搖衆心其意非止欲中傷臣 陸對會早延齡奏言暫等失勢怨望言天旱民流 元十一年聚延 論裝延齡姦 朝夕相 論o測 炸 明延齢姦伎贄な のののの 無敢牧者城 得名耳、 **卧譜本玄張滂李銛黨** 日 脱以延齡為相當 Ìί 進士韓愈作爭臣 即建有重臣工師造之金吾将四 年八十餘月此 謆 忠貞 上大怒 天の軍

*************************************	李緊絲寫緊視乃父不足沒責城以不容害事	也山氏曰延齡將入相而城欲盡數其惡宣可今	古方路律人奏之六	未可管也。	然陸免于此張不果相其有功于唐甚大則城亦	柯則用力多而見功寡矣雖然讓論一發正氣崇	相見頭延齡被眷豈一日之積毫釐不伐至用斧	言乎開悟人主必有其漸防過邪传當以其發陸	碎信為有失城登司諫至是七年豈皆無大事	胡氏日陽城賢夫借其未盡善也諸陳官言事	解戰入上以為妄不之省	李祭子が籍写繁徑以告延齡延齡先詣上一
	华	可令	The state of the		城亦	乳燥	用斧	一位	事	事細		自

方悟耳。 古方略律 中書除敢上謂細曰宰相不能連在中人朕得卿言 **脅我為之矣文場叩頭謝遂葵其麻命并粮軍自今** 壤制度联合用爾不謂無私若後降麻天下必謂爾 觀時中人不過員外將軍衣緋者無幾輔國以來吃 張尚進監右神威軍使焦希望皆為中薩軍初上羅 六統軍視六尚書以處節度使罷鎮者相承用麻紙 可當右神策霍德鳴皆為護軍中尉監左神威軍使 唐德宗貞元十二年以監母當左神策賢文場官 人安至德宗之終蔽哉。 德宗委信資電而借白麻各大臣之不在當是時 朝氏日謝宗龍任輔國而借宰相嘉聚是之不從 苟有賢公卿乘其明而啓與之以處兵柄不付申 世山氏 B. 是斯任獨諧者李勉盧翰諸人也文場 鄭綱爭降白麻 奉之六 京員な

		古方路律《孝之六 三 忠建堂		此不爭區區惜一白麻抑何其失輕重那。
	情耳 或統或直便聽者悚然易愿無它在明理勢切事	古方略 養之六 夫 是是老	從天子令而不能不心折於一位下吏從公之令事少被遽	再德宗貞元十二 高縣分水積經原貞元十二 本

府之後不可得几進言之道 子令而不能不心折於羣 夫 忠司管 子 32-293

古方略律《卷之六 情o詔o又 唐德宗貞元十八年以齊總 脩曰,外 宰相賞少遊哉。 宗之善用言也益仁宗深悟内降之非既不罪 不可告之而止者多于所封選屯歷於足額奠仁 發格不行積部首至十數報納帝前帝告話歐 世山氏日宋仁宗時七代務教院**伊每有内**降率 臣苟無勞課雖超遷一刺史非法所宜奈何妄以 請增二百韶他道皆增稅錢親此以宰相 建中三年淮南節度使陳少遊奏本道稅錢每千 當日諸臣未聞 或曰孟容守正選詔使人肅然如有法紀然先是 人知柱新封選内降形几有來於朕以 以進 逫詔書 有封還詔書者信如孟容所云人 A, Ж ィ 賞之情 息月堂

	古方略他をお大	德宗 4 次 2 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3 次 3
	**	他宗為戒以宋仁宗為法。 也宗政于貨利終身莫解其不貶孟容幸耳安之德宗政于貨利終身莫解其不貶孟容幸耳安之德宗政于貨利終身莫解其不貶孟容幸耳安之德宗政于貨利終身其解其不貶孟容幸耳安之德宗政于貨利終身其解其不 股 過不 卷 中 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表 表
	All The Con this	报克· 原名 提高 不 數 李 質 給 進 不 數 李 質 給 進 常 章 節 給 進 。

三 弘制御鄭道

你勇怯指顧必堪其事繇此而觀弘豈导!

而所之,目是士卒慢曹無謹呼聲,好兵以

古方略律卷之六終		服鄰道哉。
	孫全	
走。	余雄 堰 東工	

康 183 (林) 占 唐寫宗元 古方略律卷之七 不免瓦. 样 JX 华 青 椎 吴元濟奏罪 分崇文始長驅克成 兩 不 適 求 州 **士有食干逆族** 髙 能 凡 Á 轨 五千舎如冠至金の置監軍闘必で 日音 解元 拔 東 和元年上 共 移に七 勿置 п 取 · 文以康○ 節 慶 使 諸 和之討成德會六道之師以屯易定 城 ÿPĴ 劉 監軍,因 ď Ħ 扎 盟 中 將 扩 以 原政軍失守斬之 ショラはロション 佐李康崇文引兵が 一軍李恕 都榆開送京師後是裴度討 使 李 ン可い文 2個 ン楠い勇の日。 人 討 : " 魚朝恩吐 郭介十 匙筋者杂 劉 州 源 征 二上 闢 到 從之時帶交屯長武 又以三千人襲恭惟 行 可 張自烈 1器械糗程一人 用額陛下の意書生取 諸軍悉請宗文奏 三道之 于 突承確监之也 文则 用兵議 趣 · 師 梓 Ц 定 锏 111 建貞堂 専っ之 者 郭 周 7.15 1.1.1 以し如 亦 年し拾 而

在

古方略 上源 宗自 裳啓之也 再憲宗 得宜 世山 莫敢 荀失其 さ 網紀室稍以法度裁制落鎮則天下 范氏曰唐之藩 使祭軍情所與則接之中使或私愛大 以為然 叉 經憂患 本を記れ 有 氏 7, 從 元 前姑 此 本 IJ EI, 胀 和元 析 夭 説 而 汏 於是始 敏未皆有出朝廷之意者陛 務為姑息不生除 其心 息之以至 ĮΈ 下之治 錐 徒 年上與杜黃 蜼 鍞 힑 恃 놂 藩鎮 E 背 ĸ Ψſ 用兵討蜀以至 救 Ē 以 ĦĹ. 赴 之法 並有不 裁 於盗 胙 錐 於不 桁 鴉 抑蓄 繠 非 未 以 可 賊其始 節」 論及 本 冇 鎭 制 絕之豈能 练君相者哉 뻐 不免 然必 海宗 威 有 참 可得面 Ξ 也 物 行两河皆皆 镇 首畏服 朝 关子封 下 黄家日 將 校者先造 善其 廷庭 裁 忠貞 必欲 聪, 以 걒 題 松 :: 1: Ť. 44 7 K 161 古 死籍 油 餘慶與諸 唐憲宗元 胡氏日 倠 nn 紀 卯 能 2相2四 Ť 樞 氏 **#**:1 密剔 訪 ₽ij, 相 市 和 北水

恣請去之上命宰切後熊相四方縣遺知 誅以是為鯨 方略年 卷之七 平者力均強者 於比憲宗之命也 友益日一堂吏也書伏誅何 没家财几数十萬 職業紊矣其必稽 置樞名附 極客之職然後為 龍待宦官莫盛於 古 路遺無虚日中書舎人李吉南言其專 議 元 光 請 観也の 市 垍 琦 年堂 事渙從旁指 其勢者 ΛĽ 權 相 上. 官宦 闔中 И 迹 勝 其後至 相 後 計 4 結 非 五. 主書滑 彰 建 ń 純 錐. 書 代 杜 於 堂 4 德宗 Ė 团 四 煉 可係之善論 佐 E, 吏 宰 然 И 以 F 是 鄭 浜 讲 紌 執 非餘慶怒 薤 為二 而 **伙** 那 搜 細等背善視之鄭 人権盡得 樞洛 同表 去, 逐 业 禁艇之大司 滑 憲宗 峷 Ή÷. į ių 潦 之名獨見 者室節 事 相 使 久 热進止 特書人 监察宰 衮 比 頗 也其堂 有 在 龍官 枞 15 įΨ 祁 畝。 法

張 子 Ŕ 桃 李锜

之, 之族城 一古 然日朕之不德致宇 趨 諭之曰僕射 子良 發諸 唐 方略 城行立應 €. 甞 等知 道兵 **;** 往相 **豊若棄逆效** 元 港之七 錡 討 和 之 灰遊官 业 Ż 二年镇 於) 败奥子 **銷遺兵** 内 内 轨 功 順 撣 海節 IJ, 數 绮 轉 四特 馬 £ 有 械 禍 集其 裴 使 干紀 親 送京 為 行 張 使 řř 蘠 勢已威吾革何 立 李錡 子良等特兵襲 部那 **者朕之愧也** 師羣臣入賀上松 平泉許諾印夜送 同謀討之召士 友削 <u>,</u> £ 中 蒋 也員金 义 日, 何質 Æ, 宣

) [] 本

州、籍、

古方略律 古が 林 上 が数役之 京恐遠近 华 豉 延 於 日 1 世蔣 非姑息李 棐 ΗÑ 义差 李 失 望 纤 坦本 錡 願 情" . 現. 錡 河理 當 賜 此 ,害 浙、训 然耳 西六 百,州 書曰 姓. 11 代今年 當 퇿 ,其 粗 及 嗣。 駄し以 1.1.

臣之

祀

手

75 故 Ж 准

晳 都 末

流

ĮĘ.

上

御

典安門

퀽

绮面

詩之

對

日、

か 不

及

教臣耳

舺

為

元帥子良等

E

绮兄 不

爭 미

続 彷

國貞之子也 為惡而

國貞死王事豊

可使

累之手

叉欲

八共兄弟

乂′

享願豊 大

功

视

H

安靖

王之後也准安有

作.

一命之功 j,

陪陵

行

某

及

何

不

朝

빘 上**、** 目,

不斬之而入却 人張子良等数

而。及,有

罪:霍.司

及い光ン請

代・朝、绮

祖, 苏, 祖

平 易 考

不

毁

有

副

共

家

逍 家

愛い廟

及 丞 房 蘆

师、不 禹,斩

、不っと

不 . 中 錡無

疠.

3^ -姐 對

先 毁

源首猜往後數四況联合 福也上善共言謂宰相曰 非陛下之意必有邪氏 俞 古方略 該循機 夜恩 生繁 言不 在 \hat{y} 叉日。 言 **宛** 芒 1.1 Ŧ 以 维 诙 刑 щ 但 人主 朝 百論不 開 ίχ. Τι 總言者勿計言之繁簡求 誰 從 未 氏 华 不 刜 元 二 而 ώ. 밃 肵 之 誎 日 7/4 喜怒敢 <u>3</u>; 暮 難 ÷ 参と 未 則 敢 傳 **光罪之平如此** 减 嫌豈十 借 岡, # 誹 主聽李文僚 비 ٤ 此 年上召李経語之 十千 不以 聖, 耐 旣 得上達什無二三故人主孜 轪 非 叐 下 μ. 秋 渝 聖 非 緸 不 泉 諒者有幾就有該者,皆造 日太宗以神聖之資學臣逃 而已 之者 床 傳告憲宗 볬 J. 上書言子弄父兵罪當高 朴 Ħ Ħ. É 杜天下之い 剛 然在養進諫者 钋 (· U 풰 **令**事 事合室 n) £ 則 久 EI, 应其 13) 亂 E 有建立和常) 建设套 亡 卢 耳 瞪 從 不 非社 誠則 之 諌 長 叉 綘 荷! 稷 荻 mi: ・人 此り酒 1 Ż. 死 始:無

古方學律是老之七	諫 法 折 樫 引 裙 小
	陳法折檻引裙替非松至之善道也
八志貞堂	道, 一

一丁了吟律 陛下 失信、坦日 上從之光琦稱舊例上曰倒是則從之之林學士裴垍李鋒奏敕使所至煩擾不是如 0000 <u>;</u>} 使圖濟美遊放進奉上召坦發之日朕已釋之不 改中丞盧坦 **建** 世山氏曰歸之有司 此亦可見其欲矣 考覈 懲令一切不問 中 枂 大盈椅而 法禁何存小 氏 其所欲也 以其物 EJ, 赦 柳晨 和三年大赦禁 ·奏弹山· 令宣布 参北心 不散其積者皆為 代 秥 使憲宗無稅之之意則當下 信 百姓 歸 濟 棄大 海内 南 肵 羑 何異内 z 恆 進 西道節度使柳晟浙東觀 信乎上乃命題所進於 臣下之大信也最等不 于有 賊 敢 厳 違赦 帑 司, 加 利 惠耳 令窥 共 中 贬默然後足 視德宗 與之業不終於 荷 若 此主 Ī. 非是 v, · 土 瓊 詔 之 忠美堂 之大 何不 急の遺産の輸 凡 追 徽 遺, 可 示 吏 而

唐憲宗元

長吏 訪剧

進

木

4П

抻

奏収

仯

杊

占方略 店蹇 慶使 野厚進奉 路宦官 望與之則典章大壤又不 臣極位非清望大功不定接今除鍔則諸鎮皆生益 著哉 輿儿 疲 出今日 室即擬来潘遂以筆全兼 使王鍔貼遺求兼 又只德宗朝李藩 使然思按好易持論既 事權德與李锋皆以爲 大體者元和五年左右復稱譽跨上命跨東平章 芭山氏日居易一 疏清肅政 其言較德與諸人尤詳切熟謂居 宗元和三年以前 白居易 律 縱不可空别作奏豈可以筆塗認。 便不可止 べきこと 諌 除 王 缑 H 宰相有客旨曰王鍔可兼宰 與權德與俱 木 河 字 叉暮何 威恩不與則厚萬有殊或 **愿諸鎮** 7・ 平章事白居易言字 中 相 可。 節度使王劈為 相字却奏上云不可德 堪之事遂寢 旗 殿别 廼 進奉者 (在中書) 真件 杜絕進奉可 'n 野為河東節度 作奏事果袋 多徒 叉恐 四日勢近安 除字 河東節度 河 規 忠同堂 Ti 相。 姐 謂 相 詞前 困 护

古方略律《卷之七	好發視於席如傳舍哉
上上表页卷	唯審調附及牧卜為及縣本相者諸大臣

古方略律 不敢干 先朝報政多惡諫官言時政 間求京兆 唐憲宗 貞觀諫官入開 何哉。 不盡已意此皆求治之良 四年叉部百号九 按貞觀元年制諫官隨宰相 業之所 言邪播自是不敢復言夫以姦邪 諫官非惟改已過因以補三闕 與宰相論事婚欲有所言犯目之而止出謂之曰 列欲有言尚逆止之况能如 以足下端罄少言故相引至此鄰者奈何發口欲 共分已權薦關播為相政事皆央於祀上曾從容 世山氏曰.德宗建中三年·盧杞知上必更立相 裴 빘 元 垍 繇成 判司, 私 《卷之七 和三年以裴 不 悪諫官言時政得失省獨實之司 明日公才不稱此官不敢以私宗 曹有故人自遠請垍 均厚遇之其人 毝 也後世人臣其為盾机不 故 百司執奏舊制 詔敕未便者皆執奏世得阿從 垍 同平章事均遇 法垍既知賞諫室請後 入閣議事有失机 垍 借垍見不逮此 þſг 賞諫官平均之當 牌助甚大此相 **欺罔如祀** 颈為裴垍 易峻 忠貴堂 鈍 整 jā)

古方路往 -長子蕃言員人息錢甚多帝別賜內庫金息 之與唐順魏徵第同。 性適氏日宋真宗時故相日 宗報之典何 第已資於人。帝問之、出內庫 僅如是而止乎它時故第不可質此 及之而 不思更有開陳以成主德豈朝 宗難贖故第賜桐然不開錄用而侵恤之名易亦 元 凇 長と七 覕 請 自野然居易所見更大。 14 **徽輔相文皇有治致太平之功令憲** 噴 魏 微玄孫桐貧甚 微 故 **残贖退令其聚居** 端諸子多不 延所 17 17 故 示験 Ÿ · 同 建貞 处 已一肋

正所以政矛群也進言之術如此。	理 神 依 之 失 但 借	断 和	惟泰始皇刻石高自稱述未審陛下欲何所法則 りののないののののののののののののののの 上命李锋為之降言充舜禹陽未曾立碑自言聖 を立聖德碑先構楼請敦學士撰文欲以萬稱酬	唐憲宗元和四年世 笑承璀領功德使盛修安國寺李絲請毀禪楼
術法馬出 湯	忠貞堂 如	之承確言	法·言·紹 且 聖·酬 叙 德·文	安国寺、

古方路往人多之七 未償李显不可得上以守正許之豪右飲迹。 八千貫満三륋不 唐総宗 然臣為陛下尹京歲非抑制豪強何以肅清輦下 處之慶日用兵事小所愛不過山東耳五坊使 華亦以為言上日姑與卵論用兵事此小事胀 耳维然病温容剛直而不貸李昱。 呈雖具而孟容果度諸人之縣豪強過暴患即 患恐亂節報上不悅退召朝沒貴之日以稱故 其息錢轉相逐引進千人中水箱便刻之果度塩 世山氏日元和十三年五坊使楊汉安捕繁人貢 吾羞見宰相遂賜之死盡釋繁者按此舉與抑 或日似申屠嘉賣鄧通風義與不可犯。 捕緊帝之益美亦得可抢哉 和 14 午 竹許孟容等公权捕被警立引 左神策軍吏李是仍長安高 賜朝汶死 5 忠直宣 ん

抑

制李慧

削 付 事令中使統領者也令神策不置行管節度使則 受指應心既不齊 十大野作 一本本七 之必輕朝廷四夷聞之必笑中限陛下恐令後代 难乃制将又充諸軍招討使則都統也。臣恐四方· 中使為監軍已非令典自古及今未有徵天下之兵 學士白居易諫曰國家征伐當責成將帥近歲始 第河中等道行管兵馬使諸軍招討豪監等使翰 唐憲宗元 選鎮永宗不奉韶制削奪其官爵以吐哭承瓘為 承 或曰人君欲富其臣非厚禄不可欲貴其臣。 **云以中官為制新都** 是也居易直亦直察太宗故事 位不可加 雅四道兵馬使改奏置為宣慰而已 易諫 和 既不察功何縣立且陛下念承唯勤夢 孕禄高位 ĮЧ 外中使 年上造中使諭王承宗使遣薛 領兵 鄸 於奄井以 自陛下 與夫中宗 翻其勤勞先王 如乎又恐当 ٦,-法則 明 非高 H 杣

		古方路中心奉之七		開級型。	通宗志平偕叛心雖有戒亦至於皆安知其不述	一切緊壞先照前有報者官國之獨者以告其者乎
		七岛真産			· 告安知其不逐	者以告其君乎

以承难文牒差本軍牙将為重鎮都後物前照出記 據使朝廷肝食計不獲已該面執之已失大能令又 培結朝廷惟侍此以制之武安於 所繁昨為後史所 皆散上嘉重領功、飲即以為昭義師李経以為不可 獨後終上言昭義五州,然由東要害犯将如向語檢 請機重贏河陽會吐笑永事奏見際重紀勾背服義 乌重維當軍門叱之口,天子有部從者實送者転逐 島重亂子張妆人款要申言於上日後史必為亂令取之狀均令郊元還本軍經營遂得其都知兵馬使 市方路 三分卷之七 伏岩士 尚得之馳請京師"昭義士 卒間之皆甲以出 與吐哭永雅對營而不設備失令不取後雖與大<u>自</u> 唐恩宗元和五年 虚從史除與 至承宗通謀上 謀也是朝廷牧伯重礼 大套較計利害更不若從史為之何則從史前當 李绛禄尚亚维 動其心湖元遂輪誠言從史陰詩及可今 000 4 $\{\bar{r}\}$ 1 13 公列後 以本 推 忠貞学 牒代

之能 褷 為 罪 諺 狀 河 攺 重 攺 攻 旦。 哆 除。 承 河 禐 節 斯 难:使 陽憲 明 皮 朝 不 逐 南 重 !廷 知 使 稅 圠 宗 豼 之 孟 陛 諸 史 非 え 太 不 下 10 侯 44 可 腸 土 一何 共 14 代從 矣上 z, 纩 バ 位. 之 埋 III 待 ιĶ 悄 一覧。 義、 奪.勢不容 史之 之,特 怒 不 肌 人 Ţ. 故。利 徘 以 報 λ 真 垆 Ť 抻 Ú 為 害較 不 25 亂 泉 危 伍 怒盗上 吹 黱 鍄 3 且 也。若 州 'n 謂 陽 冽 μ̈ ji (永 - 得c い 面 |

: 古: : 大 虚っ餘 之の也 ijŗ: 益. 食. 知光 易 爻 痔 臣っ者。 児 ご對・ 是時 芑 判 目 빘 院 贱 不つ自 声で用。 禁元 Щ 本 唐李 以致 主声 空痛 化 宋 好 律 部の守 灹 敢○左 司、 叙 鄆 Й, 踵の轍 扣 El. 所に土 上 恢 此 之乃 張全 寉 德! 苯乙 掌o之 皆o官。 Ŧ. Ž, 陳 此の輸 綘 晿 代 ıπ 美 戒, 前 IT! Á 獘ο之 华 萘 綘 扸 以 벍 採 偸 年。 يند 늄 官官 李 北 枚 刵 也の内 陛っ草 上 裁 下 の 飲 育っ 於 來 負 Ĺ 上 栗 太 進羨 Ē 歽 丰 仐 . 吉 E 及 凪 碑 剞 利 座っ人 汖 進 勿 此 誀 罷 於 徐 将 £ķ 其 韵 名奈 羡餘 美餘 復 芍 石 ĪĪ. 王德尤大借释之說 之。美 進 徐 施 奖 非 易 春に物っ市 益 進 何 行、 偣 Ŧ. 貨 鼣 耗 可业 是の給の私 娅 IJ 按 取 爯 進其 格 國家 檠 剩 床 民東 東っ有っ天 糋 X. 民使憲宗 J. 庫 籍 下 洏 机 빘 Ξ 潉 ĸ 滔 忠貞 不 肥 躯 上 뱐 私 司 移っ安し箱 宋。甚 天 善。 之。得,共 知 祓 뉅 明。 然」 何。

古方略 : ▼ 巻之七	· 拱默耳面音如坦	也山氏曰人主每有此疑非獨驗馬一事作諸臣官平臣請先就熟免上乃召泰斯還	既使有司驗之又使品官繼往宣大臣不足信於品之使品官品官官官也劉泰斯按其事登坦口陛下	察有異馬不以職事下慶麦使巡官往歌未返上歷唐憲宗元和六年以盧坦判慶麦或告泗州刺史監	諫遣品官
上 电次子汽管	在 令品宜	馬一事。	小足信於	· 一班刺史莊	}

古方略律 上于承確恩領未棄乃投匯上既稱承確有功、到1111 達犯朕去之輕如一毛耳試大子通事舎人 上日此家奴耳彌以其聖使之久故假以恩私若有 軍知内侍省事吐突承难以承难為淮南監軍上問 孫琦錢二萬稱為求方鎮事覺賜死事連左衛上 **再憲宗元和六年考前庫使劉希** 法頻矣。且共言尤有失者大校以禁兵出為例将难與為縱不殺承难豈不當配流而循得監軍刑 聽手今能出之姑以謝希光耳希先受金罪死承 肆侮玩其罪甚大乃不能誅而僅能出之豈不為 母重如之以是為恩私可手師出無功使叛臣益 以為易則前此李絳白若易之言至矣何為而不 胡氏日愿宗心實難于去永难言之何其易也誠 涉姦險欺天請加斯数詔貶峽州司倉 「知應使孔發及及文見副章詰責」不受上頭極(知應使孔發及及文見副章詰責)不受上頭を入ることのように対象を確有功者先 出承權何如對日外人不意陛下建能 詰責李涉 巻こ七 光髮羽林 <u>3</u> 悲貞堂 加州是 如

诺。 唐怎 古 嫌。人。右 情 핖 入 Ú 有其 方 訓 之錐割思未必怨錐 X 豉 而っ果っ丘 平、 I. 瓤 托 之論 目 封日 因 坊 於 一言絳 迩 す 此 専 承 元 聖人 是っ在こ不 亦 嫌 ሷ 同 璀 作 秕 私. 而棄之是 雈 Ť 13 兄こ以 年 威 , 私 擢 Ł 福明日 義方 要之 無 肵 葪 75 年元義方娟 <u>ネ</u> 市: 四 奶 為京 肵 海 ガ 内 容心焉可矣誠能 ふ 扌 之c位 쏊 九 上 許 **夫** 狗 会コ中で幸 季同 知 非 州 以 兆 **詰終日** 大学年 礻 有 循c相o之 親 事吐笑 共 杁 非 以 故不語其尤 為京 事也有其人 っ偶 っ同 而與之是知 日 之の 善 毫 承 於同 Ē 遂 兆 丽 趣義方之間年手遊の後任若其 177 第っ 少 出 忠貞 無 Ż 私 **皆公** 有 ٧,, L遊っ共っ何 共 7

古六 炭 之 大. 割. 用 肵 飵 耗 備 而 唐皇宗 官尾 旣 栎 命. 爽曰 沮 隷 度使 分比其得報屬去遠矣縱有果筑之將開命奔 縣官每有冠至節度 禦吐蕃使與節度使 去上患之李绛言京 常節通節度等 而止. 而 多不り 璐 址 神 分 律 無 亢 敢入 養之 锋 椠 惡在其足以 刑 和八 軍騎 神 戮 1 策. 奿 使 請 以 4 綠 恣 矣上 提 使 -5 制 n± 俌 裥 n 號 之相 M 眷 有為那 **幺**不樂隸 目 令。在 使邀 吐 犄 冠 酉 、齊一如質之使指則に之地士馬及示提品 番っ 朕 邧. 涇 Ø, 如 1. 與 帅 計 311 平変だ右前 倶 及 之大 ß 争 10 今則鮮衣浸食 五神策鎮兵 事如 度便竟為 宦者 则云卓 者然 之外驅 卒為 乃 月 · 却 HZ 單·概 ・英 中层 皆っ肯 兙

李先 顏 以 身

法 少該 治之

而

于先

類.獨

出于非義 54 Ŧ

何前 汥

後自初矛盾

古其忠義若着素

色之匠

青

徽 IJ

結之舉大梁城索得一美婦人 功故 唐憲 欲倚賊自重不願淮西速平時李於賴戰最力弘欲 功裴度屢言其軍無政乃 庫 以齊士卒略宦官以結聲機權衆經年照尺 宗 元 寒陽且督諸軍討准西經無他 和 年上以嚴 以韓弘爲諸 緩在 容色紀世遣使遊之 'nJ 泉 肵 軍都統弘亦 ďί 材 \tilde{I}^{Ψ} 能 艄 但值

| 胃犯自办光類何恐惧光新乃大餐將士謂傳

ż 光

席厚贈使者并競逐之曰

t

بلر بالا

顏季死

枞

賊 뮀

彻 ネ

įk

周

放 氏曰

悟

韓 光

弘威勵

戦士

耳 [0]同表

衠 73

Ц Éb

身許國誓不

與逆

П Ĩ,

之輸

庫

此 Ж

乃自

以 E 亦

美

媥 7 M 元二

師

+

Вħ

貟

炒 +

誠

欲

蕳

過

卓花氏

日、 古

按真

年。吴少

所難

古方略

(P)

卷之七

人選季光司行歌夫先領之子法不得以私相假師言等旨學 以聲色自娱 宣武 朮 沸非 月. 先行多冊 IJ, 派 界风景 牛皮豆 以自明欲 忠貞堂 矣 古方略 此舉不能不沒惜焉。 是而此不可為訓者苟不致其終始而與之則賢 否紊鼠欺詐公行子以害天下有餘矣愚于韓 所舜其得與失又何如哉人固有前微而後惡彼 至 μŁ Ä 以 法 治 人而人皆惮以色事人而卒為 ţ i

ŀ		i	. !	, i		1 :	眉	百	窗	對	9.p.c	ってい	, 臣	朙	泐	庤	
-		1			芭	بالز	留奏、	市方	富奏。	目、	祓	. Jb.	無	Ð	赴	意	
		i			九	人	L	办各	岩	F	: 汪.	: 清	01	ス	府	7	14
	i	:			氏	胅	無	律	なこ	醌	. 禮	敢	使	對	有	元	公
	,	1	: 1	1	⊟	亦	VI.	# 	於		之	, 符:	待	延	神	和	雄
ĺ					只	뉟	罪	耧	街	枝:	人	庭	>罪	英.	策	+	梜
!		İ			- ii	. 世之	Ź,	72	衝	2	<i>示</i> 。	奕	、古	土	小		神
		1		1	輕輕	7	退	1:	4	ス・	. 4n	, ill-	√ √ik	τx	44	牛、	策
	1	:	i		陛		御		金吾街	當。	. 甘 ·	72.	/ グ して	詩	加	71	
i	:		!	İ	はて		調左右		体	奏	会	#5.	京北為華載	. ūpi -⇔ :	猩	以	Jh.
					1°		<u>T</u>		15) 74)	上	/ 荷y - 34	""	<i>37</i> 0	共	馬	絲	將
			. !		PÍT.		42		仗	<u></u>	押し	,压,	為·	界	衝	事	
	- !				災	•	目。		前	曰、	水	, j. ç	5 Jt	被	M	柳	
i	- 1	1			九	'	W			誰	事	部	酸	7	草、	办	
	·	ļ			神		胃		在	當	何り	' 19 P () into	77.	公	綽	
1	i		. !		策		須	_	坊	奏	<u>li</u> .	.非。	表。	對	繜	與	
İ		ļ			軍		一爾曹須作意	弐	使箭奏在坊内	誰當奏者	<u>t</u>	雹.	ج ر	/ El	ħΞ	7.	
		1	İ		紵		意.	,	左方	犲	日	慢。	剋	III.	馬	<i>3</i> 15	
ļ		i			罪		÷ 1:	1100	方	Π_{j}	何	臣.	M.	不	校	Д.	
					下詔便見神策軍將罪空徒		言作 資度	产堂	经使	本軍	何不奏	ᅫ	配举之	不	ださ	京班尹公鎮	
L	-	!			<i>技</i> :		看到	笙	伙	ψĹ	奏、	臣。	前广	Ż	Ž.	62	

5 违 唐 上下等朝廷哉。 方路律をとせ 芭山 亡徵胎亂釀 薦於穆宗穆宗龍任之議者以注燈入 預軍政又令汪往見監軍王守澄守澄入知福宏 類然怨告佴異城 也事有項徵 知っ人の入 元 日就 之尊度乃爱之李想還 t 禍罪與教係 而關 拠 二年李恕夜襲准恭 萘 下之分數十年共願公因而示之のののののののののののの。 のののののののは1#240m2/3#2 ののののののは1#240m2/3#2 を観測度建彰義軍節將降卒萬餘 拜寓辨上下尊朝廷意所謂身教 州 鄭注藥頗驗因署為牙惟汪浸 風化者古聖王移民易俗多此 **升木者等惡在其能辨** 9軍交城 **榆吴元濟裘** 用為唐之 忠自全

> 古方略律人卷之七 官到門皆辭不見。 取既官官進及將佐出租樂作亦在下日吾老安外 與承瓘互相敬惮故未管相失,承瓘題引都為相都 鎮宰相非吾任也都 璀 **店窓宗元** 館驛使裴舜諫之不從米義六軍辟使使賜眼 **路承班李逢吉之結守澄皆都之罪人後世次議** 芭山氏日此足偲宰相繇中官進者如皇市 肆情于土木或或志於神仙晚德不終大業沒壞 紏 之鄰情各節恥繇捷徑然亦微窺朝廷衛用宦官 方貨籠 雖入相終不能有為 網軍政而宦官監軍之權愈重児帝方縣移 可謂有蛋見者哉。 鄌 用 和 固 十三年李都能為戶 事為淮南監軍李郡為節度使性則 쫚 至京師解疾不入見不視事 耳當准蔡 휑 部尚書,初吐 平沼 以宦者為 忠貞潼 辨之 奕 彪、

雖人品庸下然心事和平可處煩劇不空為相至如正然未必和平不有好以和干二 许年 第一一次年月 何日前一個轉入相少盡點愛知無可訴之地矣程异 思今退既不許言又不聽臣如烈火烧心泉誦叢 怒會臣至行營脫諭慰勉僅無演亂今舊將舊兵 支之人無不思食其內 比者裁损准两程 **亡方略律** 卷之七 笑 児轉在 度 麦專以 豐取 穀俗吏伎巧小人陛下一旦與之相位中外無不够 小人同列表末自退不許度後上颚以為轉异竹錢 有龍磚又以厚點結吐哭承难轉以本官异以工 甫鏄鹽鐵 唐憲宗元 (疾討賊,豈朝廷之力。能制共命哉。直以 可惜者准西盟定河北底寧承宗飲手削地韓 使程昇晚其意數進美餘以供其對係是 和 淪 皇市 + 三年、 柱 菛 刻與為務九中外仰給度 既平,上沒獨後別度文 Ē 屪 科軍士怨

忠貞堂

置得

能 官之手唇世官官弑君立君恭自是始豈獨大臣 难及遭王憚承雖死有餘罪固不足情憚卒死 退大臣至此它如陳弘志王守澄諸陽又有長為 服 數被頓辱哉 者元和十五年憲宗暴筋守澄等共立移宗殺承 **世山氏曰轉之排裴度侍承难與至耳宦官能** Ķ 29 ıζ 耳陛下 方解殼 建并 平上以度為 平之常 **朋黨不之省** 竹 ሂ A 耋 九 忠貞 恐逐行

暴横為鬼故重微論之其後河北諸鎮惟横海最為 順命重都處之得室故也 古方野生人養之七 以來節度使權重所統諸州各監鎮兵以大将主之 獨反也臣所領德禄景三州已奉縣各還刺史職事 鎮將 得行其職則 藩鎮所 或封以府邑其未可行者如少緩之不由十年天 消 其易者行之得一鎮則 時幸而以令再振當題室區畫使方鎮之權日以 支元和號中與因 或日唐自中世以後藩鎮稱起肅代德順旰食不 無復股解之势、而指督超矣。唐人念不及此 揖 領事权刺史縣令之權自作威福婦使初史各 而不 以 克 能 和 能請 Ú 雖有姦雄如安史恩明必不能以一州 旅 + 知九天下幾郡其隸方鎮者有發從 **非朝命六十餘年者蘇諸州縣各監** 四年横海節度使烏重都奏曰 選刺史 仍弗改故未绘两河復失<u>方是</u> 聯 消一 鎮之權或召入前改 ŧ 忠貞矣 $i^{\overline{\nu}}$

				!		,	下方略#		之最失	或日藩	卒以此亡。
			1	•	1		方略作卷之七		之最失策者也	或口藩鎮柄兵極重難挽不藉橫海以图各鎮店	七。
					!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!					難挽不藉	1
	! !	-					話			横海以图	ı
· !		<u> </u>		;	i		港頂建			各類店	

京	臣 余 ′,
【集 氏 屬○計 之○所	臣 宗 ′,
【集 氏 屬○計 之○所	, gg
を 見 都 數 剥 ※ 然	過元分
【上 革 都 ▽敷 刺 = 然	渭和訪
1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	i南十禁
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	清南諸縣人多流, 司等聚然
在皆上的	7 M _C T M
政 復 惟 沙地	多部
府, 於思。戸。	流,員
孫 東 場の税 東 海の税 案 海の機	大 大 大 大
余 余 · 聚 矣 澤 · 攤 · 数 · 数 · 数 · 数 · 数	1售:即
雅	シニ 学
牧 直 渤 見無鄰	卢使
正言而负数。	者。陳
正。言而原文数	今 午
在政府專聚數故為言及之。 在政府專聚數故為言及之。 孫余 垣 秦 雜 極 較 正	穩名二

参佐 古納之諸将號爰不從承元出家財以散之 書節以遂忠烈之志諸公肯從之乎泉沂莆弘のの「こう」の「」の「」の「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「最軍務五公未忘先後不以承元年少欲使之攝軍務五公未の 其下 使監軍有司當與之議及監軍至亦勒之承一 勞者權之謂曰諸公以先代之故不欲承元去此意 特及就兵立承宗之弟承元時年二十将十 元 元不煲泣且拜諸將 內諸州多謀崔燧以承宗祖毋京國夫人 移鎮 不發喪于知感 事動之、承元皆不聽部以田弘正為 五年穆宗勒即位成 《善こ人 朝廷除師承元既請朝命諸將及 ₩, ·新士道譯不受命承元召諸版 除 固請不已承元日天工 知信皆在 朝諸將 源 張 全 然 衡 德飾慶 使

大此な	擇其有	: 將 - 以 : 22	成德	及如道	麥事於	承元乃	承元請	元日諸	記上見を	上 遺中	士拜之い	命告論	取帥於	水宗卒		-		
此意	其有	以留	德 申	新道·	事於	元乃	元請	好而志同	真皇 百方略律 卷之人 一 与其生		道馬前車斯李寂察貨財益亦沒明	或日永元不進天子記可謂恭順矣然觀其以	州罨	元承元斬以獨軍中乃定	李寂	師道者亦諸特也諸将勿使承元為師	罪師道欲行諸将同	甚厚然使永元建天干之部其罪六处首李師道
1				1	+		·		32	李	七	師	<u> </u>	鎮	承	美	徒	<i>₹</i> ;

古才奉律 特個 之李光 頻 両 な親為へな資不 IJ 盡或資糧素 卓菴氏 夜言與 世山氏印 枚 從 四 額 n 紨 将 Ħ 4 末 + **不** 至坚 術 開い得 人給五十 類發邪寧兵故 7 光 人表え Ã, 有 飵 日李晟平 料 沸 激勧 守謙 即位 額論郊 大の員の И ٨ 飞 俱 開陳大義但能令軍 州 官。 以 為區 Ì. 点 脢 之道 吐蕃偃而 Ą <u> (6</u> 辭 煦 <u>۸</u> 夏0日 郷 神 牵 州長吐 のかっているのでは、一次者のでは、一次者のでは、一次者のでは、一次者のできません。 督 倷 頻經營刊 畫. 前 相 不 策行 īū 桌 諸 光亦以忠義感 邀實效者光顏不 氉 닷. 然., Ŧ 不識戰 勞 縣多 史 退 11 涠 替都 枨 有 能 態 泖 λ 後世 栗使皆玄美如克皮 捌 ٠٪. 無 沸し人 Ľ4 100 12 t 冠距 寧兵以 文 ΪĹ 俱o 和、 聊 士 者彼 併 介作 捐 衣 然後 發 州三十 海不可止光 激 **躯為吾用哉** 資告園 **時感沒室更** 何 胂 一入 三:忠貞查 無備者室 閊 舿 工工 人犯 策受賞 別有 \pm_{\circ} 全軍 琞 威 鲁爾 紶 쑙 H 两。

裁其人或 古方略律 度敘其罪 亦 字 明斯 信 意在 下二萬餘人盧皆非虛賦 歇器計自. 負小 事練 我分熟知黃家城事其敗無城一十六時少鄉文未正 語悉 敗 侍知此十六時少鄉文未平國子祭酒 略使多不 稱 生耳 以传 校 防 亦 甚 如 洞主尋皆亦各營生急則屯 傷損 1.3 割 兆 **送功求賞亦緣見** 梸 以 不 朝 虫 致 巻七八 灰造 **容其** 得其地 怨恨 C IJ. 刑 聚或散 得 使苟 **邑咨両管經** 兵以 臣恐領南未 賊 使 请 徳既 使宣吟必望風降伏仍為選擇有版地在於國訊不為有益者国改元大地在於國訊不為有益者国改元大地在於國訊不為有益者國改元大精理服苦必深贱所處荒僻假如書 遂攻切州 處置 東巴經二年前後 終亦不 楠 必 不能 得 不 賊 賊 空自然永 得 北 Ľ 未屯 矮娘 轣 能為事近者裝行立陽 縣侵暴平人 货 二二年 ₫; 祇 捌 炒 朠 歖 聚之 聚 招 郭 戚 ,韓 Ą'n ÉI 投 Ŧ 换 可居の 叉 扣 萬 愈上言臣去年 南討已來 侈 įή 聍 不能 保比 餘 疾 変 が 将開戶弱爭 或復私警 口 衆 植っ枝 依っ稜 拔 略 胨 禄邑管 Щ 之事。存 尤 干 忠真 制。 傍陰自 宜 汝 室 舊っ計 17 九 足っ不

大 領不思大義以起了 と 領不思大義以起了 **亳州悟乃釋承偕** 借然太后以為養子, 即更思其次 慶奏請流承偕於 軍中無如公者悟遂謝直言免承借 僚買直言責悟 **恃思凌轢数粟厚之承偕脍** 唐穆宗長慶二年昭義節 送承借悟不奉詔自裴 悟送關下悟知之諷其 惟適氏 下された 不斬承 方 能 帝不爲宗廟社 略律 苛責悟之不 装度處分 和韶書 具陳其日本総不法臣畫! 偕, FI. へ巻こみ 不足 使永偕 劉承 日公欲 乔 以 稷計沾沾 ·記哉: 服悟之心,将必有激成其變者 無罪度必不 為李司空對情所斬邪安知 軍士 非獨 皮使劉 以太后養子姑息承 段文匠承偕欲殺之幕 奥磁州 悟也上曰朕不惜承 如此 悟 şin 刺史張汝謀 上炭 置 有 罪 T 囚之上部悟 站從霓旗 劉永

丁奏至即日罷之! 若不勢制至降誕日 古方略 自智與家實係 此裝智與做聚貨首請置之于是回方輻輳江淮屯 髙 刑 獎不 知失 又皆利民合精而 生 芭山氏 州置成增度仍尼以資福許之自 熋 宗狗 用自出 李 おおれる 能頓 国家發干萬丁 彵 E 印位 凇 章 耳. 錢饭價級 德裕通達因 請能 此界巨鳥消雨門名便李德裕上言 徐四親察使王智與以 FI 戏 行之親則愈因莫此為甚情 方倍計門新福建富失六十萬 坷 千人此 况所自施之錢非天降地 1位即後 風寖熾轉相放效不 兄大近世士大夫 芄 祁 上 生. 以來改禁 息見堂 H

憂而 口, 積憂成疾性 外 古方略 言日為恩將布於天下 氣 絶. IJ 日與諸 嶽 北 虰 報曳中 所犯 人 Ä 鎮開之則 敬宗實 労っ所 其o言、 Ħ, 諫 獨 脯葢當李 中 曳之於庭詰之乃中 數 遺雀祭上皆不聽李逢吉從客言 人殿 逢吉請 在赦 刻始蘇部後聚之給事中李勒上言縣令 四 日 但言發冤未會言其 立金鶏下忽有品官數十人執梗亂 曆 或古 下方以孝理天下所室於念上, 就大不敬然其母年重八十自 私之八 慢易之心生矣谏 後中人横暴若不 元 御囚其罪一也然 上赦 渤 年。郭 催發 仲 郭子儀 方激 Ź, 不 m 崔 怒其 諴 數言邊同主 使业 7 禁 之 行 閒 子 後故其言易 +, 縣令 # 不 御 議大夫張仲方亦 早 上怒权發緊臺綠 五 前。 暖與昇 使釋 敬 Œ 坊 性釋共罪送歸內以亦不言有老日 霈澤 刑 所 人殴百姓 糖。 Ł 書臣恐四事 犯在赦前 平公主 非 編融於昆 於 人工 一乃憨 上一員是 盘 **發下** 上 巨。 納 捶

渤

赦

崔

古方略律 Ŧ 策軍 卓卷 但當垂 يالر 較然易辨 此 Đ. 以示 **悻悻與公主爭** 爭資垂臣禮不可謂忠又暖不 声四 高 结 őj 循 特畏中使横暴後 子儀 Щ 道 吏 Ŕ **懲固室若夫惟發** 或殺之或繫之憲宗未之罪 5); 唐夫孺子之兄**祝** 鮗 办 Ą, 許孟容械繁之二者 EI, 涕 至李逢吉 P.L 然有我父 竹 入 以忠愛之 畏之全崔發催 無 貨富人錢不 椨 卷二八 後世並 謝恩而已 可 朝 公神 謂 婦 高高 礻 野. 梜 ÌJ. **#** 禰 薄天子不為之言雖與公 可謂非不子不臣暖罪 心處高危之 ij 曖 指 裐 5 ŗ 业 何 謂 數 貸耳、 進奏 4 野益 <u>J</u>. 毛 以無辜被 子儀之杖 灁 朲 + 大 爽 朲 不 對 子一 今 中使 栺 所處 不 视 报 4. 冽 中 崔 亦 敬 砓 褲 明 使 姑 遵父訓妄自 也 地 *III*: 也至戒 八其子是 侳 大 百姓 耳而敬宗逐改 诚當然不過 策精李显為 捶放使還家 悄 杖 更枝四十手星 兓 76 對 使 以 理之甚者 餐以發其熱 兢 是 中 中 中 者不猶 歘 非 使 左 得 忠贞春 誠大 得 仿 柣 右 ~ 代 不 非 Ī 失 了, ZX. **不**

Company to the	 					
1	古方略律《春志八	李逢吉之流鳥足以知此哉。		是非之 除室 引義力 争使無毫釐之差縱不能伸	于不恤百姓之人可坐以大不敬乎人臣當國家天子之子也段天子之子不為不敬而曳不畏天	百姓而發朝史之則不敬之罪發固無詞百姓者
	おを見る	為法彼渤仲方	聽識者非之愚其解以苟釋甚	之差縱不能伸	千人臣當國家 敬而曳不畏天	水圆無詞百姓者

元之略 本				備言官吏之愈如唐之略求節	推▼ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	相質足見波苦慎帥。	、則重飲以償所資至是裴度幸處厚始奏用《女子》 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	以高瑪為忠武節度使自大曆,高瑪
-------	--	--	--	--------------	-------------------------------------------	-----------	--------------------------------------------------------------	-----------------

是以宗廟為陛下所私而百官皆處設也上養其言能者代之今贖官者止於罰俸而以其事委之內臣能者代之今贖官者止於罰俸而以其事委之內臣之子京諫曰國家逼百官各有所司前為鹽贓空棒之子京陳曰國家通百官各有所司前為鹽贓空棒 芭山氏曰温意在 文宗大阿 命有司章之 一倒模取之不 L 年、 上 | 収 此 Я 士良節 太二 官權 廟 : 🖟 、柄 Ē 錐與申 特 ・以 破 因 75 國祸 錫等謀誅 納規工情 月不 泉貞

世界の土 経 兵 土 高 製			治蜀遺意要亦原本于産非申韓而亞 去 忠真	ロロエ俗人情為鬼猛冷鄂尚那得州不能致治政貴知變養調此也のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	中悉誅之即在陕以克仁為治或經月無老知必盡殺乃已即至訓卒治兵作無之知必盡殺乃已即至訓卒治兵作費山帶海處百越巴蜀荆漢之食土多	了。 文宗大和五年以陕虢觀察使 文宗大和五年以陕虢觀察使
----------------	--	--	----------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------	------------------------------------

石第、 左立海の云 : 京 髙 右口不o冇 兆 文 撤0能:神 余 闡 ₱ 出の制に策 大 元 섅 方 官 仲 **1**.0 \pm 軍の特 方 坐 九 杖 Ę 将っ訴 聽 不 年 疖申 ○平元 ○ 事典 감 使 汉 敢 茸 之元 無 喆 龣 軍 腫の 以 范 賞 如 2 趙 0 人 薛 Ħ, 此の入の争 充 屬 何で貴の辨 賞 蓀 中0尉! 冇 以○石○甚 代 兆 尉5字 之0相。 之元 公 鎮に目の喧 _ナ 珔 事。服じ相の元 人 6 皆:行 四0公0賞 無c大臣至 於c也。矣c 夷 ○紀 ○使 即 ○ 網 ○ 覘

命の四の之い

ま 之

司_○ 正

¥

训

典皇布

ίψ

臣

擅

領甲兵法

行剽 固

办。

等

吉

涯等荷 元 誻

內禁龍

安肯 使

構逆李 從

尽

文宗

成 諌

车 \pm

昭義節度

41

涷

上

表 训等實

請

Ŧ,

劉

涯

羊

討

肾 罪名

内

臣_o 两 1 開 從

中尉遂誣以及逆若其實

有異

亦

當

服而 宰机 歓 新 不二一 全 正 安 Ë 伙 夘 水 扇可恕乎中尉與國軍就沒 軍和 年神 祭出 Ц īF 元 氏 FI_ 赏 屮 無 元 **東京 数3間 4** \mathbb{N} 貨, 杠 事 生之士良無 錐. 神 茶り第0季つ逢つきの香い種の不の 춁 規主之意其支宗 机。 同體為國借法 然 íl 共言 į 如 何呼 舺 岡 Ψſ 一元賞已四 늘 以 酒與元宵 告女 而 癌 宗。 ш

> т. К 鄭 生 ╁ 古。 ď 墹. ŀ 有 t 李 ΗÇ 有 献 不 律 ᆈ μ, 111 杲 批 Ė 摱 1 則 佻 貨 + .典 良等 不 第 子倚之 T Ą 斐 η_{11} 1 安。 Ŗ 71

等

惮 Ź

さっ

繇 **#** -

是 m ·

处。

不

É

事亦 譲日 横 猜 無 깺 臣 君 成 敎 之 侧 漄 伤 肵 Ŧ 齿 臣 -良等權乃 修 埬 欲身請問庭面陳臧否 緊 fá 國 封疆 大 體の加 ĮĮ. 可っ從 練 小士卒如 聽り諌 則い簡 涯の較 恐并 等の 司 室の徒り 臣

難

礼

陌 娅.

拏戮

及

 \pm 有

麃

從

凍 制

後 誓以

表

宰相之人若無禮於古の枝殺之而自服以口

申し見

付←士

如の良

之。日。

何の中

卷之八

北京地

μ**3** 1.

H 伅 ť ίī 11 梺 士兵 大 ψ ជ្រែ 道 埘 氏 等 巢 1 单 П 斬 夼 た 沮 1. R 厓 龍 左右 4 مدر 年 [3] 种 悲 以 七 政 7 九 + 鰰 ſ, 憤 圧 年 夭 策兵 Ŧ. 李 椰 ぶ 餘 枨 訓 之 11 不 ጒ ÷ 쌰 討 ģ, 胁 ᄪ 上 剒 贼 注 亦 舰 擒舒 1 差以 <u>t</u>. 自 唇行死 口 謀 是谁子二千 召左右僕 4 床 版 元典王 * 宦 强.. 與訓等 官., ; 射 涯 不 华., 丸っ

僅

就

븼 控

迹 制

末之。 禁

非

泺

識

元賞者

歽 以

軍

那

尹`

起

莘

渭

亦

長疆

樂克舉

乃

			;	l
	彼	JF	11-	4
	柑	4	-1-	略
	THE	न हा∻	<u></u>	1/h - 71 :
	上荷	크.	[K.]	ブロ
	一、裁、	筅.	-1	70
'	`;	<u>3</u> .	\mathcal{A}^{i}	央
		Ę	之。	-F-1
	,	蓰	非,	生除科督央于中尉上不預知也愚按涯等及謀
		ŧ.	Πŧ	EL
	i	74X	-14.00 -14.00	69-T
	i	半化	ᄣ	_L
1 1 1 1		्रां	華	1
		出	李	預
	,	Ŧ	石	护
	; '	117	lel.	# .
		¥.	3₽.	E.
		નપ <i>ક</i> લા	-21-	10.
	!	(3) J	- 1-1	17
		挺	+;-	壮.
l I.		•	、不	寺
1 1 .	!	焉	カ	灭
1 1 1 .	1 [FI.	25,	#
			等雪宽至令俠養執言出于昭義劉從凍焉	在相為我, 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一

	57.27	- 芒山氏曰聖明思致理	意勞盖以詐勝詐未有 ● 卷之入	禁臣下之欺乎是	不 孰 a 正 敢 a 其 哉 a	宗以術御下遂成此	文宗好聽外議陳官言事多不臺按問母得乞留中以杜讒邪	唐武宗曾昌元年 韶臣下
		理平室推誠任人當以唐文	日能相一者也 	行而	心以術御下是自行龍也何	此風人主但當推誠任人有欺 文宗循不爾此乃李訓鄭定教	著名有如匿其後上後謂	臣下言人罪惡並應請付鄉史中

哲學家入 達離 丣 祀 F 諭之使還 使 15 4 [8] 娺 唆电于 表 辯 虐武 餠 使 振武 ゖ 借 支習 至 eÇį 'n PL L [4] 热 大川 寒下 行 桐 炋. 得比塞及 ijÌ 共 宗食昌 遣 掂 山北 定問 南 Щ, Ť 助 天 $[\bar{e}]$ 奎帽 垫較 僩 漢南 往作 突入 μĬij 城 復 仰 邶 啜 斯默 卷之八 記中曲 Ŀ 烏羅思皆好 避之部發陳 [ال 剽掠 Ŋ 訓污 所 初 41 米春 那颉 大 張仲武諭 炷 介恐其與奚契丹 破 ηχ 舢 可 叉 年. Ήſ Ť p) *y1.* 汗 羗 借 πĹ 史 驵 來 4 汗 馬 啜 找 Ä <u>Ļ</u>, 孩 Л, 介即 渾 Ŀ 天德城 橅 浚 其國 献 死 叉屯 Ł 價給た又 鳥 ţĮ, , de 其家島 斯 ÷ 不奉部 順 李氏名思忠思問思義 Ϋ́Р 椖. 可 奚契丹與回 埈 許 [6] 痔阀 赐 T_{j} 侧 谷汝 門 ΡĪ 汗 杷 恢 僧 柬 緧 紨 ÞΪ Ŋ 崩 城 頭 不 介 烽北 5.4 白 李 備 뺁 娶陽等兵屯大 辦屬牛 不去可 連謀邀連 許 11: 不去議者又以 PJ* K 寸 叶 順馬 德裕 至今 書で 177 idi 汘 . 鶴共城 ŧ 娸 朝 H 可 後 大 谷軍 馬數 廷隻這 與其弟 以爲那 逭 ĺψ 犴 汗 原 μĵ ŕ١ 枚° 热員 義軍 被 帥 徃 扩 **फ़्** 汗 亦 堂 萬. 不 來 泉 削 橊 為前 敢 颉

냜 愁 破. Ĭ. 盛 守備 不。 朴 ¥, 入侍马自入 相 速 뺍 河 来₋ 国 赻 客 ع 易 颠 外桁 寒之苦 75 λ 挥良圆 水 在懷寺德 等未議逐 鱽 境侵暴不巴求 **锅太皇太后** 樿 如 100 干 T. 候來君 軦 育 相. بالز 不: 迦 于 þχ^ο 遪 斯 無 背 施 咸 **e**] 厠 銰 青田 , 郅麦不 卷之 城萬萬自若邀求 騳 朝 ŀ ᆲ 拮 袩 餡 于 够 团 Ħ 及令. 彼 後 ホホ 刎 或 M 等上言者 مار 後 逐 求京 八 + 梅 萝 侵 仃 耐 |Ľ 섥 兵 乘 間。 # 楥 ょ 빍 L 掠 : 茂 胀 驰文 支 囘 IJ Ĺ 樝 繼 和 · 逵 情 J. 來 叉命李 令 锔 ंगुं 公主 好 胍 來 洲 滨 可 布 Ŕij 漢竟自 仁 Å. 須 人 朔 ıĿ 豊室如是 則 依 4 義 墳. 漫 育 靓 jjú ٦ţ 屯 П 讬 過望如在本番。 **ķ** 我之枚 女太投 鴪 Ľ 雞 197 191 选志中 制. 州 馬贏之時 光 1,5 本 长恐 武和 道。 苗 萜 ï¥. 戎 河 19% Jej 河 小姊 縣 敚 代 釥 nⁱj 東等三道嚴 佢 東 77 111 來書又云. 育 úГ, 收 狪 ¥ 往事 華 .. A. .! r) 候 人 兵 當 無所 会 主 災 羗 纪门 帮 · 15 嗵 一部命若 1 夭 娏 及 叉官 突之 £ 78 国の吃る 忠貞 本 ij 地 令 夭 徐宝 叉 梅 덴 汗 重 鹃 収 賭 ه ام 削 懐の母皇 穸 急コ所o 深上 化 功

爱. 懤適 涯 Œ 啜得室幸 首長 褙 共 情 Ŧ П Ř 益幾兵傷言 堪 此 ท 維 貢 2, 終爲 耐 之足 椄 驅 ij. 至 但 Ы, 腻 坌 月 法。 契丹 굯 之内 僣 赐 除 殺 部 H. 佚 矣上 囘 받 盡 Р 稍 臣等問孫 來來 詗 不與之同。 鹘 使 前 唐事、 投 所 皆從之部河 以 不須 移營 則歸之李德裕等奏河 妻子室幸以 勈 E 撓)Į 迫 奚契 鸖 張 外 近南 민 多益兵 [0] 똺 仲 ę 議 若與 恐為其掩 使 增 武 丹 公 紛 相 四 等 覇:卵 掩仰 άĪ 金帛羊 東 唯 書。 + 幽 亢 阅武 4. 集 Ħ 里。 ï 大 囱 州合勢迫 百 影時 E) 有 **劉河河東招** 寬嚴 州 同 **襲敌也**據 徐 使驾 人 超 **附各有監** :兵少得易: 振 馬贖之仲 招 從之時 [1] 尢 武 東 適 進牙 扄 夭 à 中 还 奏事官孫 九 不 . 此事 徳 忠贞 筏 莜 粁 各 iiio **-**武不 **那** 額 存 淌 ЯÌ

實 榷 之 变。 秇 扩 弁遂 Pί 管兵 娟 官行 在 贽 劝 14 耒 方 朝禄喧然言两地 亦 將 已尿盡 指韓 作亂 卆 ن الد 表 有 庫 之指 洅 Į, 存 危 Ħ. P 浝 Á 東 舣 4: 卷六八 **造** 卓. -步 衧 fir X, 不 無兵李 竒 令王宰失信置得損 逢先是軍士出征 Ŋ. 奔汾 軍士 功 若 可 共 才 破 乀 Mt, 逢奏乞 若許 炙 進兵推其無備 賊 椨 비 田家李靖 揭 州 末過 ·þ भ 77 石 扩 槙 iŝ 栺 弁 此 兼選供奉官至晋 大 招 益 應 挨 用乏以 Hij 納, Æ 飞 榆 水 ٦, <u>F</u> 櫥 [1] 乞降招命李德 罷 軍 戊 叉 维無功可. 社兵部 极失 為 奏 兵, 葄 ήij 귞 人 卒 朝 ij. 行監 捌 觀幸意 Ŧ 使 已絹 紛絹二匹 + 沝 ij. 挺 냡 峷 其 五 ï 益之人幾 敐 劉 7.1 侄 叉言遊变 軍李義忠 百 東 命建 其詩 뉽. 俳 P) 纤 稹與諸 機望即遊 人使 以兵 欲 于 裕言: 秧 一到沔 行管密輸 孫成之 粗 Ŀ. 約 怖 \$ 贞 请 47 将 為 娅 芝 千 カカウ #1

古 來 47 延 沚 将 何 4. 出 史李丕奏楊 ふ --本 方略 4 賞 不 即毁 聐 βф 1. 知 順止是 赴 為 可姑息寬縱且 百縛 大臣 叉不造血 杫 體之間 庆 亢 îŧ 張 逆命。 剪 以 石已至晋州部後還 な 除實恐非是児稹與楊弁通姦遊狀 如 發兵計 卷之八 客 易 原 胐 丽 信 惟 £ 以 貧虛犒賞不足,兒干五百人何能為事 所逐逃奔漢州還入 來始可容愛德裕又上言太原人心 交恐不可自今更有章表室即 受其能是私惠歸于臣下 入 步 定千騎宣武充海步兵三千計楊 行替召旁近之兵討除 贬 ٦, 弁遣人 衜 屬 造弟 Z ĥ 朝 速 ر. ا ᇕ ŀ. \mathcal{I} 祈 來 用兵未罷深 哀置章表 于衢路之 + 承恭奉 Ł 旃 外為遊説 泛 幸 循末之許 Ĥ 進軍 丰 土 門人應接達軍 ŧ -£ 太原王 太 至 臣已斬之兼斷 清 成 魔所在動心項張 从 原 張 事 逢 **亂者上皆從之** 都望詔李不義 劅 $\overline{\mathbf{r}}_{c}$ 机 不放在了 悉铅太 £ 李德裕 ٠Ų٠ 祈 間遊 不計 京 Ħ と前、 肵 如 冇 折 叉 在焚 此而 其比 原 Ŧ 奕 #。 遣 尚 從. 双丨 _l[:

支い必

揜

庾

古

有 日

十五里曳 替弁 以大原 論亂 上遺诣宰 武士卒 平 原路 文章拾劉の北 須殺此 方 迅妻 世山 楊弁 募美之心 脹 不 何能選 . 共楊 最便 支竹 以 仲 建林 無兵故發橫水兵赴榆社庫 K 拏寫所 坑 H)] 賊 K 相議元 独し 弁與之 人要害,乃止上還中使馬元賞至太原 見 弁 EI, 政 釋 因奏稱楊弁 卷之八 致 仲 使之 河(鎮 槙 德 凯 如此 楷 耐 不 稻 卒送 名拟 東兵 抗 魏 ,甲若之. 醂 實于寒中大言自牙門至柳 Ŧ 討 先 逆 親鎮 炉 P 之東平 太原何 飲三日且 點之元實自 討 弁 乃補 年討回關與太原 住 不 知 办 1년 1년 제 1년 弁也 担成 特徵 弁易 榆 沫 东 ネ 173 微賤 何取之德裕日 使 祉 βði 4,11 軍 者 况 背 急 如德福 元 檎 央不 縱有 間 Ą, 吕義忠自取 秛 裕當言其行於弘西 實辭風非果原回 朝 寧捨劉 種其世常非る 延令客軍取 可恕如國 + 中之甲盡在行 對 计 Ī 五 ,争 4 E 里 李相 侇 功 潞 獖 光 忠貞堂 太原 恐其 朾 州 力不 明甲 調 子 石学 뉀 功 11.0

何 处 i'c 1 Ĥ X 引 使 太 征 應 Ħ (F) 議じ旗 ォ 方 Ė 冇 П Ĥ 得, ŗ. ñt 财分 功。 Ł 先走陳 有 ıЦ 凹 10 敗其獒有 槌 æ 才 ijĠ 打 韶 信旗聚高 為牙隊其 J. FI₅ 40 也 £ Ħ 巷之八 擊 *y*. , դև 徙 Ωij 喊 使 欶 帙 沿龍兵皆) Eo 不 Li 风。 ħ 立 在 泐 郭 ä Щ 仗 4 唬 被 熚 。 謎 谜 李德 雖 不 ſ 令 戦 : 17 1. 宇 随前 īŋ ħ 櫃 政工乃 矛 H 瀚 国方之 者皆 Ţŕ X 例 Ÿ. 簡 此 ā 执 隊 以 11/ : 均 活賞 H 政号岩 ᆙ 制。 11 樞 É 共千人聽監使 韓 無 杊 廟 答っ 苁 備。怯 崩 ÍΙ 全 Ť ΪŲ · 親軍勢小却輒 公弱之士毎戦監 ÿ 7*i*, 僅 得 非 使 使の禅の者。 莪 Ťį 12 所监 然っ ロ rþ 楊 [4] 施 悉の軍の日 IJ, 軃 脩 11 選の事で有一来 軍の将の三 | 将 井 樇 鉃 進品意 食未 伙 盐 讲故 莪 ,t. 4 欺 idi 켘 溪: 中の師の四 能 職の不つ学: 出:不 **于**:

· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		百万略律	臣失律并坐監軍定者王宗景配恭陵部自今班	又 日 以監使	令不而。要之德	監使自衛之人冗兵
			并 ´年。	使為	軍船	術 不 家」
		本、	生 林 監	随不侧心	政非	之可观
i		人,	1 1	監使隨倒需賞	政患幾可非不知監	兄 美 一
			此宦法	賞. 哉.	軍政患幾可以成功官日徐船非不知監使室去因是時	之人兄兵費極為囊明得又每兵千人聽
			可玉	不	以成功。日徐國之使室去因是時不能	費佩 為囊滋兵千人聽取
			可能	計 :	功夫	多人墙
	i		新り	· 罪	日 是	塞 取 共
		: - -	恭	护	徐時	
		i i	接い記	見り	四 不 化	此人欲
;		惠	j j	40	可遽	选 自 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過 過
		忠气堂	一	監使隨倒需貨而不計共罪非民法也宣宗使為不必撤散。	图之可也 置不能逐撤但	藏大此恐非長計 取十人自衛則允 其間欲過之使不

赦 Ţ 言之李載義 の結の特 Ĥ 1. 4 進 肥 政 役 李 L Ħ 泎 中 ĹΨ 奖 * IJ 諸 丌 呹 大 所 M 載 14 用 水心 義 مزام 115 荆 Œ, 鍞 캋 ن الر Ħ. 戗 _ 逊 不 楊 如 [1 如 以 佇 卷之 敕 Ţ, 志 失 在 П Ť 人 ئالز 後幣出 耿. 캢 緔 使 作 幽 ři 朝 明 拵 įμ 貨 馬水官 作之 節度 人 惡 31. 爲 红 褔 州。 湔 北 伙 足 支 爲 Ĭ. 押 足 Ź Ξ. 使。 姬 們 槉 戒 添 國 El-, Ŋ, 11 狐 裁っ 恩威 是三 家 揺 机 仗 视 及 後 $7\overline{\mu}$ 盐忠 派 業 'n 朱 p, 篎 朔 宗 Ė 私 υÜ 鍞 il. 軍 太! Ú. 原。 # 平 閍 此 Ж 孓 事合 巅 Ħ 刂 所 位 搶 理 浟 殺 Ц 侵 雊 泉。 至字 耳(a) 目(a) 吴 觀 弥 16 有 逑 11 £ 朝廷竟 與志: 共音 肵 備 蘠. 湘、 應負 指者 ĮĮ. 机。 州[所○功○其 溯 袻 Ź. 楊 及白 门号 III. Ü 及 П Ζí 不 為i

売し .1 7= 於 元 荳 怨 **虚**:敏 建 Į. 办 無 た 任 \dot{y} ë 南 貇 破 中鸡 牡 梩 Œ A 議 Ŧ 夏 亦 出 枚 4 党 ٨ #, 玄 ιЦ Щ 卿 圅 傷 É 若の境 律 項 骨簧 宣 失 K 党 以 街 萬 進 損, 4 以 大 絋 П, 項 逸で内 议 之 青公 大 至 夫 梐 授 大 中 果 中奏 帝 尋 榜∈投 ķ 今 氏 畝 Đ. 計 楦. 欽 仝 W 職 萴 ∄. ήi t 但 亦 食じ以 中 Ħ 中 Ĩ 1 戓 相 錐 知 锁 ЩÌ 攤 出外 党 敏 笛云 請 EI, 示 鞙 都し間 八 將 選 Ħ 撫 激 不 党 中遂 詂 頂 此 隹 訪 借 ijk 陥 致中田, 赴 75 頂 禺 Ŋį 類 皆 Ŧ, 鎮言 顥 共じ或 Ž 獲 誇 从 魬 赦 婿 党 冮 40 少中 書寫 行. 霞 70 罪。 찬 便 襫 靫 Ħ Щ 徴 ぶ 1 南 軍 [2]6 於 中 个" Ϋ́ 末 狎 焽 鮫 敋 久 當 山 цį 於 伤 未・ 卿 中 題 譜。 上 薦 中: 宇 敖 勉 儿 林 嵬 阜 鄉 Þ Ħ, セ 朕 勓 而 鄭 爲 4. 不 凾 M 項 州 書 死 寓其 之! 臣 7、 剪 厮 而 ý. 卅 制 셌 無 遪 ~ 夋 桷 定 也。 臲 置 不 術愈 級 Ŧ 鳰 Ľ, 受教令训 Ħ 中香何 逵 艄 信。 愚 渓 中 彷 联 不 顎 使 不 川 坺 矣。 鈔 若 Ľ 纰 宿 可 泐 屰 ijb 楯 IJ Ą 徫 尚 爲 討 ,则 上 Ĺ 诓" 揪 也 幕 仗 100 耻 호) 胡 之 取。 不ご 冠の謀 Ŧ. 緋

1				古方略 卷之入 言 忠貞堂				- ************************************	皆養在之術及一旦 潰决則國家受之明主見子	題之厚貧而邀和 屬之重利 既是贵富終其身此	鄙得罪追遇潜與弱通其解厚縣以倖苟安竊守	又日罪貨都邀新此法可行但後世邊臣權以介	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1
	# 想自是長第	接動非勇有它圖繇李、 人族耳章宙專事	人勇境者役無赦則雜易	古方略律卷之八 云 元月本	鎮餘皆罰之日邊鎮百餘人無故横訴不可不抑也	職明日牙将百餘人訴于釣釣杖其為首者滿皮外	必死雜房縣是送安掌書記李章升之	下悉召酋長爺以稱編禁唐里下悉召酋長	成節度使盈到奏度支郎中韋由為副使由	有所将人莫敢言魏蔡恭報獨請貶熟上不許但徒	姜殺降者北邊擾動詔以太子少傅盧釣代之業内	店宣宗大中六年河東節度便李業線吏民拉維勢	直釣前安雜虜

之0不~之 方路维 老之人 视事, 放 奉 部 教 而 越、 所 法 中武李石草處此其不變法害民者鮮矣慶量相 卓苍氏日章浜 袻 · 顧不追哉。 点意教 日ご 難議鄉等尚 書門下奏稅役之法 Щ 租數百斛 足 更恣横租稅不入是抗詔古也 £ 懲虻 日大中六年賜 Ĺ 朕以 E 如心之。手 枛 足 然 別 史 此つ且の鄭 4. 泖 不愧 光等 鄭光 則の奏の先 非 規 灮 愛我豈進嘉言並依 释, 是の其のは光 痛 非 元句の 許孟容柳公雜請 亦 杖 陛つ狀 舅島 淟 葙 天下竹同鄭光獨免似 鄭 下り鉄 伟 而 光郭 Ĥ 物不 貧 之○寘 莊 拟 吏恣横 Ŭ. 法の於 兆 獨○法。 行○上 疾 縣等莊 細思視戚之間の 死 尹, 瀬稿 Fj. 烹 澌 於つ日。 :機法快心 人若以 所奏。 並 貧○颠。 免稅役 **丛夏** 戸の光 公 Ŵ 至是 耳0甚 税 尼0愛 不 張 歸其甥 古方路律 河汾 IJ カゴ 衡 负藏私你 ď. ţţı 丌 或 夘 知此。 曰。 漢 珔 捐 Ē 事 玼 用 部 我のチェ 17 不 剕 不 倠 人弹机 韋 Ē 14 欲判 漁 必つな仲 力 丁繇吾曹貪名位と OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORCHONO OBORC ř 间 部實 笷 度使、 聤 所o之o主 為 致o何o上 辭 丰 辭. 耳の以っ不上

玭

何

自の真!不

明つ辛

頻 出: 繭

朝廷 欤 府 与宣宗大 逝 代 差 亦 移之 及 固 存發 面 除皆奏倉庫 議 軝 十二年右 羡 獎竊 将士。 餘 减 惟 藩府 削 蓄積之數"以美餘 楠 衣糧則羡餘何 閊 財賦 内 供奉張潛 所出有當苟非政 從而 多為 颍 致 FI. jt.

宴省浮費能致美餘者然後賞之上嘉納之 財悉遭剽 何 來南方諸 万野律人そこ人 掠又發兵致討費用百倍然則朝廷竟有 [鎮數有不寧皆此故也一朝有麥所蓄之 Ē 忠与爱 獨節遊

識者之言 出發兵 費用、 **%** 回 7 П 見 潘府美餘

芭山

灹

目就羡除

推

去之 ار ا

E

臣

張

全操議

本

無利

Ŧ

因此

有

袸 卓菴氏

此 朱

而

7.干後

世者以其理 5 為之發其端

至

祈 耳

四無終也 平言有不行于當時。

之遇得千人

一巻の蜀 Ł

人 繙

舒是浸 而

用弩走 丸 而射 っ ○ ○ ○ ○ ○ □ 二十人 戴 黄帽

特請陳

頭軍

點者弗 知盗之

2,

也 垂 號

計從 汉 神

肵

獲當倍蓰

利汗干賞方相隱為盗

不暇 于告捕 捕 同

錐

日型公子 五百四世 111

A,

F

钦 桧

Ħ

ÉΒ

侣

此

必

農産の

此 た 齟 周 併羨餘之名 罷羨除

院黃頭軍又奏乞洪州等手教蜀人用奏走許諸州募北士與蜀人和雜訓練得三千人許諸州募北士與蜀人和雜訓練得三千人亦能以及上散逃出境安潜以蜀兵怯弱奏遣 古方咯 于市并城其家于是諸盗與其仍互相疑無 ý, ·市并城其家于是諸盗與其倡互相疑無地容足先死復何解立命給補者錢使盗視之然後剛盗 春之八

ij **唐僖宗乾符六年西** Ä, 怪之安 潜 潛日 設 捕 盗 非所 川 法 笷 銽 度 断所

使 雈 到它 不

子 32-329

此貞

吾有榜何不捕彼 十七年汝安能

以來則

被應死汝受賞矣汝既為

五百綠盗不能獨為必有俗俗者告摘釋其罪賞同五百綠盗不能獨為必有俗俗者告摘釋其罪賞同

五百缗分置三市置榜其上日

為全窮惡則

應坐者泉搜

補則徒為煩擾出庫錢

禹繇

再言

通客則不

Æ,

有能告捕

一盗賞錢

平人未幾有補盗

捕我我與汝同死耳安潜日汝院

而至者盗不取。如與我同為盗

之所 貨利 實為我有矣不猶愈干一發其姦身資俱城也故 恐有先我而發其姦者此即兵家及間之法益以 卓養氏日五百解何有于盗然既以 有街子此如兵家及間之法豈必往指者皆同 而來台者果愛錢哉 抭 以能散羣盗亦良法也 無朋 錐微而從此得及為平民則丘向者所獲皆 看不 むこ人 量能 至安能 相隱縱不愛錢獨不畏死平安潜 佊 杰 相 鈨 手息意安治肯 揭榜 招捕 忠貞華 삤

締部既 古方略 軍黄 弃令 也 頭 先 孜 路人臣恐収復之期尚勞宸愿疏入即令孜集不奏 可未必盡無用若天子與宰相了 Ж 天下者高祖太宗之天下。 た数百按 待 一名於別非正若罪并臣回其也也 居係宗中和元年上日夕專與宦官 ĮΓ 所 外臣 - 是奉 海之天子非比司之天子北 盐 大西川 節度 昭 下亦不 前 肥 國嘉州司戸遺人沈於襄颐津聞者氣塞 和元年上日夕專與宦官同處議 i ķ 人卷之八 在門出幸與元百官時元年黃巢入長安! 之時日 難之時 左拾遺孟耶 - 召宰相。 炉 使崔安 非比司之天下天子者九 圖上號目治安之代達 元百官貨英之 知果入城大安田令政即神第兵五 在 一體去冬車駕西幸 所接 及 黄頭 肯莫之 司未必盡可信南 批諧蜀 使宰 未 無關涉朝臣皆若 不知聖躬安否本祖士戴黄州故殿祖軍擊之其夜 所典 以 部田 下 知神 忠 真堂 ′ አ

骤 出

世山

氏曰昭圖登

不知言發稱隨特忠義憤激

能已耳當是時中外異體上下否隔庸都者緘點

克位

越直者敢

公言殺身]

天子葵蛋

且縣宦官児殺

左拾遺哉。

後数 長其 吾心 نائز 問 开想那副圣选上乃後位等立太 子格後 柳策指揮使 臣見陛下部書云自劉季述 之對日東內之發教使誰非同惡處之當在正旦 已失其時矣上口當是時柳何 從客或至燃燭宦官 訪以機器時上悉以軍國事委崔龍每奏事上與之 亂不從上獨召催問日敦使中為惡者如林何以處 事禁大其此難亦不可全無恐其點迫切更生它發 其所 n)j 示 11 ٨ 者以 有善則獎之有罪則懲之城自安矣令此曹 胙 其罪宾之於法然後撫諭其餘 以胸胸不安也陛下不若 人則人人 主所重莫 中韓堡皆預其群故 天後 貯自今可無疑矣乃釋其忠厚者使為之 萬數並可盡味 乾しん 充 ヤル大 大 懼在矣然後來 八於信。既一 侧目 **微然盡除之韓堡屬諫曰** Jľ. 朴. 下 prj 李先 推為 也 夫常王之道當以 بالز 家之外 进化 不為崔徹言之對 ij, 所去 捀 7 由主服年 翰林學士教召對 書舎人 共 镧 其修 ا ت · 字音 尤無良 者已為不 守之室 恐啊 令尔 少中 忠 坚治 ľ Ą 砂 Ť E 仐

古方 お力略律 不得已 三司韓全海等教禁軍 |指司事官官乃求美女知書者數人內之官中陰 為然日 **詗察其事盡得徹密禁** 之惟在 ジギネ 不得已解稅鹽鐵 黄衣 腦客 **叉** 日 也山 之勢沒熾 切 事 徝 込 201 求 侃 理不 公正 此事終弱卿 四方。苟能先权 能 巷 挨 狐 弱 7、 冹 Ē 善え 韓 俚. 涉族 숏 温益惟 者三十人,雖然閱 用 Ŧ 大 鄁 人 而 朱 催策悻情 芝 功. ii m 制官官之術 使 絘 進 Ų, 至 帅 豺虎 耳凢 按 温 謂 一于瑣 鄉等且 ij. 對 月, 此 理 悲夫 上韓議訴維城損冬以上 17, 微大孫官官未發 行 夜謀所以去雅者時能 権则事 ŔП 絲而梦 庆 軍 槉 寺之 舦 古令不可易 雅·裕官官殺之。僅留 御 IJ 帝 ŀ 無不可為上溪 之者也 此 垣 及太后 刷方除而篡选 竹 栿 萘 生 正 児 瞯 如龍之 以其深 캢 Ė 令朝 彼 **#** ķ 掌 **57** |

文 日0 干 學、朕0 孔 建 方略 隆元 世山 之詳 能該 占竹 17. 惟 耳. ž ァ 址 滷 4. 干 推肩 按 p. 宋太 權所 年 律 氏 不諳 也宋 律 氏 椎 兵書而 耆 日孫權 祁 袓 E Ħ, 卷之九 宋 卷之 竹 茸 子 侑 冶 祖 非 **令武** 祉 謂學特博觀成政資益智略。 令 奟 ď 此舉 狄 毎 孔廟塑納先聖先賢像自為實書 Œ. 声 Ēρ 쀠 武 明 匠谕 洪武 徟 勸 讀 國 耷 治經為 書知為治之道于是臣庶始世 建 吕 学 袁州 武 11 見 書 婺源 學聚古兵書令多士講 蒙 讀書添之日 詁 十八年。 其大錐 書之意借 博 末 何 補 士但當涉獵見 P 張 籴 不學家 懋衡 然後世文臣皆請 Á 國家登得 蔛 烈 武臣 所 太 祖 狄 治道益末 定 命都 禁謂之 И 往? 11 ā, 龙 習っ

故事 方略 鮮知 尤宜 卓巷氏曰雋 干怨此其善讀書知治道者太 論古今活侈 大 區章句 不 有實用 足 以此意中舒之。 |# Я 其實用 學問宜令讀書知古今識 若民所 沾辦習兵書者 以 卷之九 訓枚 服 功 徘 世禄其子弟長于宿 為世 太子之姦讀書但 横琴 迅被 不悅俗 不 疑 、宋蘇 稗 往 一往殺 所 經 近 聖 不安雅 軾云事 **本**² 代式 址 非 平 期 聖意然當時 民 武 臣子弟不 有經 若可行不必皆有 期 祖旣令武臣讀書 而 F. 道 背 有濟于時登區 存首 于弟 埋 又 然後 典明文 И 明理 功 η 笅 世真堂 不 安皇其 Ħ 命官 見 道不 如 用。 早

進 H-却 宋 逃者哉, 殺敵 農汝 賊不 世山 段 以重法 觓 汝敢 之 乾 亦 便 IJ 郭 周 不 所 当云 閊 徘 綸 氏 充 進 當 雑 n きたえ 目 た 遠 其職 八可自投 自為 之于 借事 信有膽魚 Ú 如 用 敗 卸 敗 潞 漢 軍 激 槍矣况 地 後 ij 即當 岩云 添之 風。 朱 令。較 彼 Á 洛 奖 升。 Ĭ 殺っ É 進 炒 抆 州 之會北漢之 西山語汴 一從之、 許高 軍 敗 出 河 深 日も防 攻 政 可 東蓋 死 得 汝の禦 罪汝 有 þ'i pri 踴 Ĥ カ 用 遣い使 Ŧ 賞 躍 旣 夫 為 Ŋ 人 謹 > 赴戦 敗 功 找 能 則 薦 法 來 諈 奉 隼 用誘 掩殺 洏 罪。 萬 用 但 Ξ 佬 大致克 非 進語 貕. 不 旣 之使 忠貞 放兵 不 Ž 獨 仗 郭 办 其人 法 貸つ御 進 掩 iiTo 我 殺 捷、 汝っ

者曹彬

W

光義 耶

劉 節

歷武諸将冀以自免獨曰清廉畏慎不延讓康謹放進爵恭復召日餘慶奏知

頂

化

使留

後王仁贈右

衛大將軍賞伐

蜀

मो

以

勸 軝 **-**皆獲罪 įΨ 秋毫 世山 **國之當典**又 方 ಗ್ರ 略律 Ш 於 師此彬 之亂 法 無犯旣克蜀 **八日先是诸将所** 臣 足 催贬 |何敢 敖 則 美之九 沝 貨 之所 何 **獨受賞帝** 過優宏 官而止 為宣被南 榖 辭 彬 峰丧 諸將 IJ 馬。 之 矣 度 錐賞彬 返 越諸 師 過多居假獨 濉 日 院 也索中惟圖書衣食又 使。 屛 飲 舺 將 國, 特 糀 有 彬 部 屛 也 罪 茂 入 至如 비 下 詂 莫大馬 功。 r_{l} 뼭 彬 叉 日,, М 全城 韵 掠 巌 ネ 征 息 功 彬 矜 不 西 聞 激 又 +

伏騎貨投降之罪責降全斌崇義節度需後 者至各令陳 此 均 在 丸 成 大 本 本 事 上 以其初立 功不欲屬更 三年 定 19. Ξ 겚 蜀 全 Ħ Jh 斌 開 罪 等 弱 ř 不 但令中書問狀全斌 法 저 得 其狀 崔彦 乃: 皆

災

乾

			百万略律表之九	明。	凡以義倫為樞密副	止監軍旅至采察官吏非所職和	數	川轉運使隨軍入匈有以珍異獻者替却之及歸	惟適民日彬益惟此敢下兼能察吏沈義偷為四
		1	五起義堂		使觀此亦足見彬知人之	八職 也 固問之 日美倫	以官吏能否彬曰臣	具献者甘却之及疏	在 察吏光義倫為四

使趙遂 太常博士李光贊 ħ 虞侯趙 普普亦以為然乃 契丹復 取怨點熟查若 ī 李俶 亦 校梦 ょ 攻城戰 原益思汝曹 帝 練無不一當百所以 光賛上書引 18年 起送日受い要敗夜の 之契 其未既寛力 命水軍載者聚攻騎將石漢鄉等多戰死北 李光 1:1 患目、 造南 廷翰率諸 開實二年契丹主造 此 對請彼 7. 舉未免躁動點武懷 外に 敵勢已困者選勁兵急攻破在且夕 大 降し 利懷 智知戏偷 王者、 H 'n. ·役之征 を 後 باز 班衛士願先登帝曰汝曹皆我所 忠中流矢线死自暑雨軍士多疾 绛 分兵屯 上言義爾晉陽益煩親討重劳飛 遂還然棄糧資敵失算甚矣 Ŋ, 將兵援北 備肘 É 在圍城中畫夜督祭盡心 便是為平之策帝以問趙都屯兵上黨使夏取其麥 水 猟 4 死之地乎衆皆城立 腋 潞 漢宋東西 Jp 同 忠又從 帝 琘 休 遂引兵 冊 戚 ₩. 並 而阿之錐莉 我寧不 班 北 都指 な月 漢 Ī.

古万略 人 執:朱 ť 示の主 登 旜 太 卷氏 東の非 模 ĪΊ 詞 温要 以口時 Ð 開 娔 胜の登 賌 썆 春花 祈 借 小下の 捜っ知 詼 過 [1] 非の則ない 義 傅 Z 明 非 1-正。 呼 往 聐 進 誎 . ф 以 丞 明 **X**II 君 皋 主善 主方 _ 少
重 必書奉 所の翼 以こ耳 與中 $\tilde{\mathcal{Z}}_{0}$ 戸 呵っ請 喇or 導o對c 青 e A **外**! ネ 而っ且 過っ言 t_1

者の煜い煩い事し 祁 EI. 殺 記迎選帝乃命曹 ₩, Ŧ ñ 恐不易 其 從 南 ᆤ. 立 斬ら一ら急と一つ降 帝不許命梁 方 し 之 其門 世 能曹翰為 朝 Ĺ 解山言謹 主無入 顧命令往 而 與否、 之 門ン撃に以ら卒。 明律 米ス 山 無名遣 不し出し委 氏 番 富宜熟思無貽 4 #3 日民 美等 國主自處之然朝廷 朝 7: 슅 寶七年遣曹形 先鋒 事大朝冀全濟也今若此有 件郎 聍 必見留者社 知制語李穆論 Τ 無辜 竹 逈 喬與泊掌機 陳喬日 失 將 彬 稪 1. 1, 賏 扷 使 諷 後 不 4. 74 忍暴 樢 7) z 幈 稷 臣 笮 (何)內史舎人 λ 客江 伐 路 jL. 與 江 將 甲兵 椋 之 朝 南 行 陛 南 Ìτ 山副 戦の 戦の は 数の信 將 É 當 王不從遣使求封 南王信之遂 ĭΙ 下 Ē 伐 八精銳物 南 不 都部界 佴 李 iΤ 用 Ē 受元 煜 人 前, 稱疾 命 張 死而已 赴 ill. 力富雄、 番 忠真堂 泊 氘 囚 不泰 稱 加 亦 处元 温度

<u>ļ</u>Ļ 妄 可 ጂ 共 者泉矣此 可 辿 新 ňΩ 民 戦 詠 2, 破 等 El, i 遗 沛 띪 往 軍事 其 馯 生 生 殺 函 之 律 我' 狐 橅 筷 全思 家 Ħ. 從 峰 可 锋 地 前 犸 本 17 线 生 緩 見。 享高 朝太 虔 Ħ, 克! 用。 殺 チ 互 無 其兵至今皆為 太 亦 厇 師! 之目 젧 湖廣 伤 錐 謂 用 信 不 立 民 國 命常遇 祖既 爵 厠 過 寓 後 煩 栅 何 ٦L \mathbb{H} X 冬 初 恩于 急擊恣意然遇春 令士卒勿 子 可 多耳 夭 人 ìŕ 牂 當 益于國憲洋 圍 瑞 平 禾 者 之表瑞出 採 為 冇 共 善用 春 偽 威 能 出 ふ 틹 未 团 可 彬 我用 守 等 漢 觀 稅 專 杰 附 威 以 其言 入城 μĻ 偽 保全 者 孤 攻 孔 Ţ. 任 叺 至週 摐 勸 城 計 將 降, 可 明 士 威 将 故 如 鱼能 揮 存 生 遣 熊 則 贄 有 為法矣 者 漢将 一民為 皆稱 舧 表 能 逃 Ŀ 汪 天 淚 活 之 威 惟 |廣洋参 全一 歸 逃 者少 平 軍論 瑞 斬 牛, 因化 克 者亦為 此 馬謖 者都 ir,º 忠貞 逸 体轒 鄬 全 掖 **#**); 禹 但恐 而 Ť. 郡 枚 5 卽 上 Ŀ Z 唱 不当 4 楲 福

取與共宰相湯 Ţ 聰、 錦 棐 it 無放輕 不っ族 ٨ 1円 彬.. 明 E 安:非殺:藥 不止此本以中面時刊於如惟上京一命策之上也其日城必破宜早為之 彬 太 侑 ĩ. П Д Á 或 おれ 中田 日 有 田田 な 1 守縣分 狻 $\overline{\nu}$ 数 敊 祖. 耿 티 밢 不 徘 揃 쬯 #!! 念 彬 :待ら 克城之日兵不血 忽桶 君 4 忠 也 Ī. 扢 亡 朱二 書 君命 舯 31 南 則し 能 Ħ 金 نا А 門:主 愈惟 疾不 自し 4 岩 出 ĸ 唛 悅等赴汴 愈矣諸 須諸五 交 九 民 * 能 7. 左 請 共禍 视 如 彬 厚 랓 妄 + 右 降 بالز 至 . jţ 闦 校 ا برا. اربا 峰 客 將許 君 \overline{Y} 彬 諸 肵 企 曲 _ 脄 攻 如 月提 恤之 城之 謂 誠 將指 桁 彬 慰安之請 陔 ٨ 必不能自引 ħФ 此 諸 心自誓以克 者 É 彬 败 彬 脈 錐 來問 明報 E 曹 除必 至恭臣 出 可 江 拉 征 M外有横棍鋒刃(こき)を オーマンせいた かいないだいかく 煜 城 肺至 쎎 彬 南 伐 彷 疾彬 生聚 人 有 **煜入宫治** 椒 ዥ 徘 賢將 枨 4 或 ï 帥 稱 决煜治 か -6 旅 横 E, 灰士 悲貞 不 炦 南 4 袻 賀宋主 榧 城. 悄 焦 余主 側 Ż 若 太 涎 鋒 ٦, 何 伐 Ē Ż 禾 觤 .11 ii.

笠不 選但 令篇 炭置 差决不 望不便處又告有 共所言必不差軍 Ħ 家存亡 維光又何 改選 口就是軍令就說的差了。軍任差 口 些 既差我等買買奉 放差决 氏曰 繼光目 遇 之先而 差而欲病者從之必至于殺人繼光將謂 知 肵 採者然 不 本に九 想清 緊瑪號令其 號令 差 敗事子如出口 也王將差而 云我今在 彬 不改還汝等只是聽信 辭 繼光 金鼓 徒任 亦 我等敢不奉令但 以 本 析 軍中,再無 未免失言将者三軍之司命 改移或望寬饒將無還令 旗 朝 中 士: ŢĹ 差干饥 一二悖理 泉平為 欲軍中從之必至于敗事 据機也昔人部將無還令以 旛是 戚 卒無收 但 行 萬一 就 奉令唯謹 繼 聽是看是 光 出 是軍令何不慎發于未 害事不可為訓如 輕肆雄共禁令嚴 世 緞 **投師** 琢 · 之後平設此時 人師 辱 因罪 將 推 歸三縣 無 差 若 所 光计 句虚言與你 稱 名將 ¥. 如 非 怕不可選 须云 到底决不 Ŋ 虬 紀效 謂說差亦 便 忠貞 立 将推

古万 者 合 責具 梦白 悟獨 差 益信子之論 說 曹彬 誤解 'n, 必 說差不 從 * 将無遠令一語其失遂至于此善用丘 吾令乎繼光自謂讀孫武子等書有 萌趨避之見鮮不譯 教にん 繼光未為過也 光得失觀之當知軍令必不可差而 败之言 出. 軍 中 -11 ù. 燕 祭 發 安能以 繼 点点 光 沫 ネ

乏井、 盡 士 叫 育 泡赐 싲 彬 鄁 捷 朱 凶 秦聞 會契丹 ń 4 ,敵 亦 山 方 居 仱 律 州 太 漉淖 液 得巴乃東糧 重進界捷取握 淶 泉 休哥兵少不 不 且 訓 宗 畫則 不 旬 侗蘇食則 律 帝 持 П 难 地 暇 太 Ē. E 而 鰕 訝 援 重 熈 食盡 結 卷北 伙 멌 墜 共 美 Щ 敍 Ξ 徘 方 精 Æ 進 後 行。但 諸 齨 欽 敢 娸 陣 搫 東 遐 軍 先 π 矣 **ぶ**し 4: 揹 出戦 ij 離 重 白 17.0 師 張 之・及 得く越 E 塹 Ŧ 諸 * 其勢又 兵不 堆 速 太 始 地 信 合 溝 接. 彬 食の雲 伍 粕 夜 * 單 州 彬 利。朝 后 得 悧 復 勢 河 93 0 妕 出者、 ŬΙ Ŕ 至. 堤 趋 能 以。與 윘 旣 來 √ 例に 廣 奖 舺 設 涿 援 Ą 賍 而 18 有 米 ・ 失っ 次 澌 阳 等 廾 取 Д ± 行, 州. ن ا 策.. 胅 涿 勈 所 畆 魄 輕 大 泹 兵 卒 脖 戦 休 餇 林 騎 攻 軍 契 前 p 州 + 败 一社也に 帝闡 养以 t 方 Ħ. 괅 JΧ 接一 掠 丹 肵 至 μ, 績 彬 炎暑 共單 至克 き 計 南 泉 扒 謀 部 Ŋ. 大 俟。 利 之 絶 日 種 潘こ座し 悉 於 'n. 繇 之 忠貞 卞 議 諸 Ŧ 軍 是 弱、 铅 泉 應 又 蜂 諸 美し造っ 捷 以 將 极. 將 輕起 盡し使○ 登○道▶ 周 毎 陛

í

Ŧ ٨ 令 古 置 美 帝 哥 碣 衰 楊 入 地 如 彬 趨 得 Ш 灍 明 業引 箓 묇 方 न 遵 召 至 引 飛 非 中 M Í 者 東 敗走 而往 州 狐 E 週 嗒 代 曹 河 山 竏 州 有 抰 不 兵護 京西 努甚 ž 州 彬 A, 叉 律 佗 避其鋒護軍王 敍 攻 夘 復 可 米信 志 共 败 敗 至、 牚. 陷 人卷七九 徙 界 # 幽 脒 英 雲應寮朔吏民內從時耶 *f*: 雲應 不可 驚潰 =崭 績 聍 太 州 計 彼 稪 業 是 契丹 及崔 楊業遇之欲领兵出大石路直入 南奔、 后 城 州 行 彬 行 3 供 吏 緷 **♦**` 朔 7 府 死 Ħ, 信 伍 退 * 卒 源 R 糾 耶 寮 彦 秡 者 事 南 夜 化 7 庭. 進 過 趟 君俠 **侁等以為喪懦** 律 3 非 與 軫 떠 翻 渡 哥 兵還 半沙 餘 州 育 追 糾 刑 等 避 保 易 拒 H 素號 潘 料、 吏 選 耳 美 及 軫 動 州 出 美 戦 Ą 熟封 盎 背 民 帥 將 河 Æ 方 ¥ 河 時 旣 奪 于 師 及 田 之 Ą 兵 瀕 休 芔 献 城 Ŧ. 有 敗 徃 + 吐 重 休 ż 休 沙 끍 Ł 臺死 萬至 進屯 伞 チュ 走 枚 + 谷 哥為 未 끕 不 ήĮ 戦 刌叮 飛 娸 斜 渾 利 辿 請 流 精 湔 Ŧ 軫巳 狐 者 定 摅 軫 ŧ. 定 部 斜 朱 乘 棄 髪 兵 岐 副, 乘 Á 不 PF. 軫 數 酉、 國 殺 族 州、 戈 開 胨 石 暗 北 將 胁 戰 萬 分 畔

至暮 胃 業 檎 能 扎 全遺 Ú. 步 敵 避 原 選査 묐 其 進 被 業 惟 業 進 大 7 竏 敵 术 烽 麾幟 子 數 果 败 谷 敗 胨 訓 類矣 **撃** 尚' 粉分 強 12 廷 + 至 魲, ŭ, 退 律 將 而 弩 敕 署 谷 美不 之無所見 美 叐 Ŧ 沝 創 麾 趟 而 И 當 Ŕ 欲 死 \pm р, ìŗ 狼 採 進 溝 遂 変 不能制乃 扣 俟 死 焉 卒 ź, 斜' 耶. 望 却 牙 撻 奥 乎, 援 上 不 便 業 律 始 盡 見 走 剨, 笕 九 軫 侁 也 因 立 無人 肵 시 奚 賀 乃 以 仹. 伏 っ師 業 栺 侁 尺 Ż //縁示 太息 廖浦 Ä, 敗、兵 c 産 伏 ・于 c 下 迫 底 貊 轉 陳家 Ħ † 殺 堂 手 批 契 交 致 寅 戦 竉 功 見 亷 至じ 兵 路、陣 £ Ħ, 刃 败 न # 當 谷山 報 λ £ 袍 數 及 業 至此 餇 大 西 败 四 于 圍 連 至斜 遇 影、 + 働 業 南 走 败 不 起 谷 曰、 家 帥 我吗 射 百 再 H ďξ 紩 솪 ם 可 緕 徘 誻 耳. 授 之業 爭共 業報 --ئز 人 軫 進 軫 斜軫 何 率麾下 戰 夾 令 之 君幸于 馬 行二 選 擁 期 Щ 擊之不 Ti 諸 屰 兵前 喹 重 柞 克克 泉 討 功 使 閘 Ħ 君 柄 傷 + ét 🙀 為 賊 人 業 力 ÉI 此 责 非 \, 政. 戥 1 張 業

卒而

跌 功

立

君貴

不

日當

£

石

路不

蒯

州

粁

行、業

泣 以

베

美 死

نالا

行 請

丛

不

利

業 引

₽ 泉等 7 惜. 將 7 挫 不 人 箚 M 方 敗亡 蔽 Į. 吏 IJ 任 芭 部 感~各 油 戰 夫 意去 美 獲 败 略 死 駐 制 鹏 闡 Ш ス 業之 見 可 律 若是 澈 公 暁 罪 徒 若 業 業 氏 - 父 食 之 于 忿 也 μ 伙 뱕 īfn 豻. E 太 死 Ξ 推 客請 卷之 疎 夾 君 進 ·妻 ·子、 徒 可 悉棄 **不** 從 汎 罪 Ŧ 尉、 死 Ħ 擎手 止非 然業 木 荆 也 見 智 皆 令 輕 僬 制 死 于 于 愚 逆 4 4. 而 死 杰 迫 城 紥 美 . 驸 業登 謂 美 盡 素稱 生還 . X Ē., 敢 农 Ł 律. 知 1 * Ξ , 我 旣 業 : Ţ 所 美 其 北 戦 以 背 侁 出 任 斜 倶 敗 4. 暁 騨 侁 部 不 取 11 肵 使 肸 軫 者 j., j.] 墹 . 死 麈 背 罪 足 况 信 侁 得 將. 死 11 胨 谷 美 侁 千 蕧 Ţ 應 Ŧ -Ţ-專. 惜 不 為 优 可 特 行 П Ŋ 右, 是 益 陌 鹋 勇 Ž 茍 Ē. -11 亍 誄 也 Z 雲應 足 泣 桜 侁 其 也 71 寒 刵 削 語 安 輕 祈 悻 知 有 兵 牂 可 死 地 鈴 t 美 跸 怿 不 僚 办 \$ 뿄 任 得 **不** 不 朔 之, 走 人 徘 ы 利 存 非 除 蕧 車 袻 駐 能 闆 Ξ. 業 侁 州. 往卒 忠民堂 智 無罪 冀此 美 喪 剘 業 帝 双 **名**。 办 制 及 報 墹 之 未 决計 加 觤 杰 Ā 何 淭 諸 夭 曰. 致 赿 昪 城 汝

是厭 用 毎 宋 翟領之訟而遽罷之進退大臣何· 請太宗既不驗多 遞之 蕭疑 防不 낦 于 肪始悟、宗益重肪與國八年。 有 太 Щ 上 助 北方有 若 一种旦為 多遜事 氏 進 遂 果 曰 不 事若受其 用 罷 糸こ 為右 始 坊初 用 者 事之 終可 市颇為解 者。 ,和 出也於是類擊登 作大言使额 私 與盧多遜善多遜 既失 僕 騂 侚 知 儿 不為邊備徒知賦詩宴樂帝於是類擊登開鼓訟昉居宰 肪罷 扒 大任無罷熟理 ご 温 其 射 \mathcal{F}_{λ} 肵 是 一語 類 材 眆 市私恩也故(のない) 可取必 望. 掣 釋太宗 和厚多恕在位小 套 上之儿 誾 **炸果** 無 助與 善 ij. 曰 正色絶之已 抓 共不 固當 足 要講. 致 多 憔 iii. 掌 為 宋琪竝 遜 取 峻。其 颓 詳且 机个 力 赒 相 居 助太 絶。故 怨之道 當使 冶 お自か 之の助 使い日の 恒 不 Λů. E 領 宗 (fi IJ

-			,		,			 -	
;	10万略律 一茶之九		物	怨	七	叉	任	植	Fi
	咚		物情叵測于神助居身處人尤有未盡和	弭	厚	耳	任相也	移	日安其位哉昉用人欲使思歸于上帝龍相報令
i	禅		巨	謗	多:	青	也,	于	其
			炒	然。	20 Am	八二	-	東	位业
]		Ì	柳	ダー派	坊	ム。	1	ご見	脐
-	1		助	數	<u>K</u>	刻		n	用
		. !	店	請	不	析		不	٨
		i	身	さ	足	急,		厚	谷
Ì] ['	i	處	7	馬。	4		真	便
!			100	組つ	. H.	辞 協		#// _C , *Z.	1
			大	哲	盤	,吃		32	- 1
1			未	有	待	此。		嘩	ŀ
	一二次	.	盡	訟	之	理		太	4
İ			和。	之	宜	之		宗	Ĭ,
	忠			于	可	固		シテ	村
1	忠貞堂			怨弭謗然多遊數譜之干前雅額復訟之干後登	仁厚多恕如防人不足用且菩解待之宜可以禮	又日昔人云峭刻竹急必招謗怨此理之固然者		据移于下恩是以不厚責助而竊嘆太宗之不養	「常」人

州ン遺 Ш, 誎 曹 方 芭 巴に使 様o 贷 朩 觀之善當 杊 1 Щ 声 用太 逆 律 氏 参え九 市に使 踣 料太宗 El. 完 按 矣。至 利 普 樿, 新 П 用 錐 安馬 力請 者快之o : 除 亦 欲 將 姦之決愈見 未 賃 復 質し 誅 旋 有 而 莫可 ささ 海而 不 先牒 ゕ が帝 意不 得 踣 命 未 郩. 及 果鋼 . A 誎 誄 出 韓 盽 N. 濘易馬 不 使至 客遺 琦 忠真 e 勅 押 袮 安 至 使

復 - 法こ萬 利 宜 酬 止 以 宋 獘 政 ħ 政使 以行 H 此 릵 可。 求 惟 之帝怒深责相 可し 明 謮 繼 汰 略作 成 吉 唐故事 授い前以の代 立. 節 適 蹥 山 E 宗淖 、朕安 龒 與 都 舰 以授 氏 氏日 朝 它 八日真宗 美山田)是八八八次被李 El 使、 而 唐 命 校 人分こん 他に 第 化 王 維思宜 至道 牵 حر ħ 官字 求 不 A) 繼 奏 不 五. 内供 謂 知 李 思 踵 大節 4, 年, 恩 3カー版 会室官育政学 を放き順等 の を放き順学 **發**. 樞密 肼 輔 為 覆 Ξ Ξ Ħ, 朻 Ж 討 年 政尤 且 國 力言繼 ħ 兩 轍 奉 戊 乃命學士 宦官 折 臣 鱼 監敏 矣 - 川 卿 įή 使 El, 叁 冠 太宗言 招 穞 青 此 承` 劖 朝 王繼 ነ 知 大 其 疰 承 믮 安 過 政 政 思有 ٨ 何 使 體 矣泊 肹 待 珪 為 事 張 王恩 所 宜っ 具既 也 此 行 討之繼思 但 學 不 以 張 拍 徽: 欲 大 4 嵙 忠謹 遜 別 セ 慚 士 žθ 錢若水議 功。使《除 宣 化五年。 知其 太宗 相 耐 瞑 善事 止 非 執っ宣 政 E. 得 退 政之新 按 桲 此 使 率 桉 幸 為獎政 ļ EI, 宦 旦 不足 北 初 六 太 力 李 : 旣 此 官 執 别 軍:順 桌 立 以,也少曰、

可に乗

惜: 之

此

監子

得比人

命誅

之已

而

主 不

能

庛

朩

謙の

カ請 誅之帝

天の日

法で有

按

共 頁

(十罪解

幸縣您不法

居處服 練

爽 []],

趙 死

旣

媏

拱

元年。

州 *j*ij

剧

使

杊

H)

冇

罪

實

誅

陳

利

教と 솿 푠 有謎訴者該酌量情法 ħ 使 涤 歸 類岩老師 至4五 曾 今 夜 / 周 里河 有 们 宣 者 人見女一都舊然至幕路無人行旣而得遊說者 化 各歸 方略律 卷之九 人 餐米 亦 ν 惟 飛民集 育從而 賊 大致 不 有 片 F. 群止 訛之 彻 遂帖息訴日 *%*, Ц; 八 洒 祭橅 風俗為之敦厚 里, 克捷 盡 El, 尺不 嚝 A 戊 求 察其者從 El-T. 之通長別耳 亦 者, กัง 日 脖 ģρ 較 然訴 P ٨ 前 尨 此 H. Ť 後 在手流 H 掠 地 副 妖訛之與冷氣來之妖則 當 李 之際 輕 聍 逻 世 褕 曹蒙因 名明 以思 尺 順 Ŗ Ц 重 定 ú 楯) (不) 冏 波順 K 缃 訛 女王 多齊 **拜**思. 者版 微 俧 餕 訛 死 之 Æ. È 菲亦 所矣正繇是決行 不 ,<u>.</u>... 権之 判牒 有白 朋 Ð 4. 從 難 骨民為 此 史不盡式 示 泳 化 觗 行 旅台及 之蓟 勝也 頭 妣 渝 當平荡院 城今 以思 為 翁 息气管 蜀 午 R. 厇 有 後 EI

> 安随人主意以中帝怒日卿何執可 帝怒曰卿 福 測 东 以事者常正 快息不敢動 e 쟉. 至 山 M 坁 共 元 E 人 年. 太 ٨ 果 Į, る 名上 才 稱 帝 害 **犯** 荣正 宗 腁 進退關門 害欲 職 退 闖 麱 至 謂 事の 帝不 近 是 左 固 對 日日に さ許、他 罷 右 槲 ٨ 家威哀古有 桕 Ħ, 共 E ・使 非執臣不同三問三 判 蒙 人 非 ñΤ Æ. 可 姷. Ā 使 扯 徐 以尸 欲し用し 以共 我 ٨ 不 不 諫 入, 対立 如

同

Ľ L

旣

博其下恣横 等絕兵

剽掠餘寇

勢復張 嘶 扩

大詠至勉

正 進

起

布。 欱

詂

賊. 化 知

民付 Ж.

王青小神

有 加。

成

功

顿

師不

專

太

宗 張

4÷.

以

張 波亂

, 時王

繼思上

E

流

Ø1 子 32-342

上負 以

*

律 刑

巷

之

<u>.t.</u>

觉 方

輯

ij

)]

誤

团

4

杰

晓

世

大臣不

敢與

勃

廷 老っ

爭

非

卽

模

共

始

不

站 Ξ

所

4

補 μ 四人. **4**4

持 唯

不 咙

啊

伽

文 稜

穆 惟

者线

或

μJ

太 求 否.

佩蒙

こ。直

徝

Ц. 後 Á K 進

11. 莀

能

不

[1]

411

栯

视 宗 邿.

汲

長

猖

4: Æ

#

赐

미 帕

뺽

先

轍 6

此太

宗不

仦 可

忠藻之過也

平 奼 厚 佋 慶成 早冬雷率 12 ψ 害 實出 將 書餐京 术 · 爭 業 為空言 先 Æ 幽 方 有 祀 A 赤祥 為義 帝喾 多乃 1 1 朔 之意今國 略 E 分陰會歲旱 軍 縣 禮儀 和 말 賜天 奉祗 西 ſΦ, 竹桶 臣 刃 於 欲 瑞典復上言方 停 取 龙 使陳堯安為經 儊 契丹 3 誣 繼 ∄† 卷之九 ፑ 月 宫 質將 (只事 仹 Ŧ 禪 家土木之 Ψ 酺 遷 祀 出 蹙圆 之資。 則未 圍 放野 東 龍圖閣待制孫爽上疏 三日大宴華臣於梅清殿而還初 后土地祇 潼 Ŧ 神 封 Ц 關渡 為已任 縻 欺 بالا 叉 當 陛 神 1 Ŀ 令 臣 爵姑息於 献 其黎之子 議 沼河 下 度使 張 訴 皇 立 議 論つ県し奥しなし 天 紧 西幸 野 所 Fl 文武進秩建實非縣為 年末 则上 忠盡 繼承 ЩÚ, 是 以長嘆痛 追 儀 陛 非先 Щ 近 面 [鹿釺 天 伴 总水 先志先 叉日 下 ___ 封 15 王五 不 バ 吉 策 Ī йĽ 禪 JF3 单 可 祉 謂 而 **令之姦** 陳 娋 正 年上 **泰**簡 宗艱 帝欲 乃卑 主牌 作 忠贞 微遂 月末 不 聐 含. 可 зŁ

医乳光点大

四年帝

16

E

表

祀

汾 符 陰 四

帝從之以

王:土

凡一于

採

犬

使王

7 帝 夫國 其 震 長吏以 遣 祭使 方 惟 宿于黄州 盡與藥等見真宗錐愚尚可 如 而 泉其忠 略往 女巫 太常 通氏日 破 此 城 山 為譬治疾 將 尸 請 希 桇 巫 氏 典 倖 分 卿 邀 Ţ 數 而 而 核 平王旦丁謂 FI. 鄟 唐開元 + ٨, 傳合 賂 行 躬 ιþ 亦 教之九 璵 Ξ. 不 於 民 曳女 天下 萬 遺 書令充節 矿 清昭應之 左 行 之家棄醫 能 不 尺 刺 巫 祀 近 道 籍 將亡 ग 從 巫 祭名 肅 千 末玄宗方 感 Д 階 宗 44 飲若堯安諸 Ī Ŀ. 惡少 罪 開 下 奪 山 甞 臒 뤳 作。 於 狀 中 斬 於 大 不 使 過 紊 午数 至縣 川. 豫 水 崇道 理奪 使 セ 同 Ŋ, 陛下 Щ 興言 思遇 岄 肵 簽進選京 1 平章事 基 汾 當時 何 從 PI -|-登至 使監之所 袝 隆之 人皆巫 则 꾰 뱕 扄 Ĺ 肃 * 张 书 Ŋ. 灰盂 鏑 在 宗 少皆雞閱 膸 £ 皋 昶 丽 不可卷 與其徒 忠贞 現耳 山 蕧 璵 团 光無 旨 不 . Д_э 宗 重于 太 絲 从 若 乃 壹 袻

	1 70 ;	T	1 1			ı
4	がり			後不能正與罪悟主聽耳	之諫配汾陰可謂後先一揆獨惜其籍縣上開之	詩臣何不以與為戒震發姦斬巫颇益名教與與
				正	汾	不
	おたナ			典罪	修可	加坡
	カー			悟 悟	調	為
				主題	後先	飛電
				革 _c	1-	簽
					操。	姦魠
	, ,		.		惜	巫
	±				共	颇
	*		1		相	盆名
	No.			!	上	教
1	公真堂				開ラ	與

知典して 古方略律、卷七九 謂義陛下不知臣為病使待罪率府臣知義而已不會國事何遊自異称曾順首曰 沿從諫謂明臣盡忠 為會靈觀使曾以推欽若帝不悅謂曾曰大臣宜你 飲若方挟符瑞以固雜位除排異已者會有部以曾 宋與宗天禧元年以王曾兼會靈親使曾解不受王 客以是知其偉度按旦此言可謂知曾者矣然但 爵祿嗣 就氣度規之而不知曾之所以能如 子不得見耳或請其故,日王君非讓觀使雖帰 笑及旦將奉遗令削髮披 所動則 我自任政事二十年每進對稍件即 古而詞直氣和了無所惜且始被進 旦在告聞之曰王君介然它日德望勲業甚大顧 芭山氏日曾是年三月辭觀使九月罷曾政事 書之失嗟乎悔何 進 祁 退綽有餘於惡至無身封禪節後世於 動共 微 寓 京/科 心耳向使且教然不為爵蘇湯酒 监 哉 編以然盡自梅不言 用已能如是 年六 忠貞帝 是者惟不 城踏不能自

諠 責而 語 古 臣 朝。故 冽 他 為書 淹書語 或 上 之 杜 夹 方 廷 復 有 ٨ 烂 1: El, 戚 e 顀 # - 衍 故 悔過 赂 敢 無 遺 賢 然專 謂 75 2 目 , 不 誾 カ 律 對。榨 围 外 極 元 仲 共 夷 * 旅 こえま 尬 东 蜂 仲 官、慢 交希 悖慢 邪 旲 層元 淹 小岸之 妄 臣以 姚 14: 通 艄 长 仲 庠 业 ,上 鳰 聍 及後 談 書元 唐宗 13 並 何 調 :<u>‡</u>. 冏 之 焚 故 朝 文乃 年元 仲 招 在,奏 郸 廷命仲 j^{i} 如、 夷 九 之為 묐 淹 敖 之 **H**: 奖 而 部 髇 夫 使c使: 書 擅與 對公渝 Ų 4 玆 不 ij 簡 叛. 若、朝、誘 办 ĮΫĴ 來 · 秦 1. 任 鵩 夘 夘 FI, 有言 益,府 朝之廷、渝 使 去 奎 元 使典 裴 1 П 廷.見.之 陳對仲 Æ, 哪。 杜 忠 共 吴書、 初之:會不,而,任 度 特 夷 徥 祈 仁 人之 呂夷 ・ 號畫 臣 助 於 議 泉周 簡 久 加 ė 朝 之言是也 朱 得其書又焚不 邊備益原 旃 廷,庠也,蘧 斦 ďn 知い不っ福 奄 芾 污 欮 州, 長 羊七 者(能)敗 奏曰。 簡 節 約 FI 言播祭四 簡 則、財の事の事の事の事の 於是論 何 語宋 元昊 和 默無 止. ij 仲淹 忠气 臣始 仲 च 派。 芯 淹

在 ⇒ 在っ張っ 閉 奏· 日、仲 古 方略律 未 納忠于 必是焉在故焚之使朝 通書非也設書已聞 其間設為形 人必謂已開 失票命之禮其于事機 不上 之是也夫兩國 無所 生之迁論也 者 睊 八 朝 施 邪 《卷之九 此 日 桉 廷 故 文正 Ŧ 未 日 か朝 侧 在 客深言 氏 Ц 相 搲 後有 此 沮 持未 本朝 逝 勢自 其成 書 大 及一也 枠 Á 廷 于慎 奉 亦 體處 耳 此 朝命而 不受惡聲而敵 絥 甚回 杜 難 登 当. 衍 為 掩 但 行 11 朝 范之大武社 敵 設不 但 為身家之界故曰 测屬有說 E 礢 不 **新量損** 日仲 私 通 r) 遜 兲 對使 屰 書 4 對 淹志在 敵 非 不 使 人之設 忠真 蒝 焚之 言交換 通 不 焚 啓 其 惟;

學账 遂築建寧等五 兵分屯要害以絕麟州伽 金明岩破草造岩進園鹽州孤 一変務安 寅之公乃 統 命 方 维 į! Щ 飹 帥三歲子兹 琉璃性破之叉戰 失律罪 赂 律 知您耳盖背求雄等哉 Ķ × 1 用 Ħ 杉 ĸ **#** 元年元吴冠 英有大 妺 堡河 統 筝 之 竦 九 師 剕 帥 炶 ;0; 也、惟 外 1; 8, 今におい出 中. 始 Ŧ 此者方平 47 ・出出 道管勾麟 陳執 柏子岩及兔毛川皆敗 i† 閰 較し Ρij 郑 府 被/則 熊 ф 凍 城 州, 不 知 院 無拔遂陷元吳 ĥi 折 陜州、 欲冤竦冀後之 旇 而っ敗 張方平言夏 府 4 軍馬事 帥・蹇 闭 坐 不か 罪った 惟不来来 视 炦 不 忠贞 救 張 竦 之、亢

利益政事で、この「アル無愛智高松書行管水流村節度使帝将受其降深適日若周則敬表非朝死社節度使帝将受其降深適日若周則敬表非朝死社が度使帝将受其降深適日若周則敬表非朝死 籍力赞青可以守忠誠官韓は 詁 77 言時命入內 **夫其政以官者** 願得蕃落 宋 方路律 軍背 說果 或日 之以為青 盗賊事 公耳 機會而後祭常 七宗 徝 籍知 受青 贈其人造之諸 1 儒手 幾 數 青入 îĥ 用目言號令不專不如不進乃 職衛南経復言青武人不宜專任帝以陽嚴籍 青 钐 之遠 败 都 Ħ μij だ九 觀軍 77 深。 废. 知任守忠為青副知諫院李倉言 騎益以禁兵羈賊 對, 4 释 事, 縣以 有持 和青 故、 廣 か野其 客 言臣起行 源 武人日青妄也 致主將掣肘是不足法達 如此類有賢士大夫所示 狄梁公盡像及告身指青欲 校青慎各寡言計事必審中 謝日一時遭際安敢 州 強農智 可 伍,非 用 首致闕下帝壯 卒 商 如籍言 冠擬日 自 61 餦 Ą

古方糸律卷之九終	不维假 較正 一	易脂者精微不盡乎此河蛸相顧腭胎書生法 芭山氏门按罪行除正紀律庸號令此兵法顯言 忠贞	并召用等三十二人 并召用等三十二人 并稱縣 *	陳曙乘青未至轍以歩兵八千撃城潰次賓州成諸將無得妄與賊闢聽吾所以為不野宿皆成營柵至廣南合孫沔皇祐五年伏青討復智高勒兵須州青皇帝五年伏青討復智高勒兵須州青
		生法版而	英 以 以 敢 敢 敢 敢 敢	所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 の 所 の 所 の の 会 に の の に の の の の の の の の の の の の の

古方略律 不利未有 外之權傳克企超暗旨有 此員其權與安撫使均 宋英宗治 さカ 世山 宗 槟 大 耵 增置 軍覆轍 要害題礼 事以 等 够 氏 四 誨 律 人同院西 卷七十 此員之誤 (開各許 不自監軍者我朝 人體量軍情治其詞 諫止 平元 卷之 4 舰榝 12 年 銔 + 랢 刑 歲乘 Ц, 雗 眀 **÷** 徐 100 1111 内 蒊 4 , 11 矣乞罷之精巡師臣專制 侍 **驿奏事諫官召海言唐舉** 婺源 任 人 ξĮ 益 *‡*, 舶 75, 童買天下分屬益見 人之 姐. 因循未革奈何又增置 陜 苘 不 訟有實罰則 沔 張 氽 í1i 聽 路鈴轄此實唐人 諸 Ú 懋 ΊL ľХ 젰 衐 逸 将 债兵 かに大 人與其 违 齃

古方略律 射o諒 諒 祚 衷 邊備過當時遠甚亟話之必 Cotoo O Cotoo Monto Monto Cotoo 元康定時事項目 原幹红竜 議停其歲 便 1 廷姑息故虏敢狂悖 萬騎圍大順會朝 以三千人夜出擾替 懲約宗諒祚不 塞垯冠大 先是夏主諒祚 翻罪言過更擅 6 姐段 Ц 宗治平三年夏人 方 'n 中 銀 事項口部前红童也非有元吳智討面以助絕其和市造使問罪文意博雅之奉 4 冇 鷕 旅 外卷之十 甲寇帽 順 樊之過也 迮 儬 有 矢道去徙冠柔遠 城 便 ří 州 奉 環慶經略 典具行 督戦 闁 B 廷祭歲 ·認而 X . 故。 荡 罪。 彦 逆度部 **公宗水** 不 一城為清退屯金湯聲言益發十 収扱先遣強奪の 稍 冦 出兵秦 博 且添之初該解入冠韓琦 賜 亷 加 遪 質即位宗語不 服む 銀幣 扎 雇 ï 扩 遠挺 艰 天沮 鄭之黃彦 鮔 裐 鳳 讀. 新 能為 点 (H 叉 涇原抄熟戸 廷州 使 萷 盤 列っ 岐 薪官起明 故 果 杣 敐 삞 博見 陸 东 碌! 7 ٦: 拉 詵 折 唇真 傄 · 四 造 不 固 ₽lo 17 張玉 夫の撃 下の起

絶

訪

葄

和

俥 朝

吾c存

大 基 丽 沙 遼 古方 所甚惡也全射一 民伐 **玛無乃** 今日之舉譬如盜入隣家不能救又乘之而分 人人追 (曜) 部 國圖之其不能 Ü Ā 自 他日之祸 先令 Щ 漾 滿辛與宗總西路兵超 修建 罪之意且 班 擊至于城下幸與宗亦 mj 師遠使來言 聞之遣耶律 人 前師道全軍統 可乎買不聽分兵為兩道節道總東 (i) 謂為得計可乎救災 ű Ŧ 云若有豪傑 對种 盗入 時之利棄百年之好結 E 黼 怒責 框 於 大石 Ĥ 師道復 日女真之 家数 授 够 師 헸 蕭幹禦之師道次白 范村耶律浮李處温 語 恭有合于律者·先 講 可世 道 敗 圦 右 衈 粄 Ŧ 許之和其不 不 本朝亦 |敗績 **鄭古今趙義** 徘 大 敗 軍 豺根之 退 士卒多 致 南 息負 朝之 娸.

		+ 1	1							
		μ 		100	क	7	u.	华	-	<u>,</u> -
	1 .	//	'	1111	雲	! ተ !	正	Ay	',	; ::-
ì		HZ-		羊	哄笑	11	咸	ス		-3[+]
:		律		. 败	决	辛	聚	臣,	果	1.
1			-	績	Ä.	臾	及	不	時	11
	١ .	*	1	騲	台	而	金	能	起	-61-
	r I	一万略律 * *こ一	į	何至敗績辱王師哉	ſτ	動	数	中	an.	$\hat{\psi}$
1	1		i	・師	ん	姓	¥^	一面	が、	4
	1		İ	45. i	$\Delta \downarrow$	NT Hr	从	. 1771 1381	[박] : 교	45 - 4-
1	1		1	或	₹ `	共	迩	EX	兀	又
•			1	1	假	E	μ̈́	副	不	<u>i</u>
	1 1		i		\$	斃	貫	約、	足	De
,				;	當	可	. 77	輙	訓	115
1			ĺ		Ħ	4	復	造	ţ	监
İ				'	議决意治兵應金假令當日聽月隆居中之言	不宜幸災而動待其自斃可也帝卒用王麟取樣	是議察及金數敗遊兵其乃復乞舉兵居中又言	為大臣不能守兩國盟約輕造事端誠非廟第縣	了,口異時起黎萬死不足湖賣鄭居中間京日公	戶打京查貨約金攻遊熙河點轄超隆極官其不
Ĺ	1				月	卒	皋	端	居	旭
-	1	ß			隆	用	兵	誠	中	逢.
					居	£.	居	非	謂	速
		惠			中	請	中	廟	京	늗
-	1 :	į l	1	1	之	取	又	1	ĒΪ	it
·į	1 '	100000	í		言。	燕	官	終	公	不

重贯至高

JI)

知

雄 廷

州 既與金

詵

豹、

Я

ifi 41 条 냽

同

右

召货

消苦等

語と

**{

¥,

ī

J|i

F)

到 亦

斯在園城中知其故以為何

41

如 即位 宋高 然正位紫度宫禁疽 政之大者邦 能以死 Ľ 首權 借 逆 砫 守師 z, 偽 和. 祸而存越氏而形昌方自以 B 命二事獨中言于帝 瓦 方国家 推明 岩谷 阵 天下 偶部以止 禍難全 Ä 戴宋之 机, 作 人 政 Ì. 表以感動其心 Ė 四方動王之師 府者十年,周聖 Ħ -۲ 易姓之謀邦 馬得 計。 杂炔 形

> 感動 奏責校

įΕ

乃 昭

日李網

氣直臣等所不及帝

75 \mathbf{R}

出 $i_{i'i'}$

同列

'n

撃さ

陛下

ø.

絘

刖

郑昌弟能

奥の廷

手っ花

下不與不得已而 各体へ多る 後 補 芄 菲 太 后 圭 聽政而談

拞 む内の

同臣 許以 春 ij.

之師非: 討贼

則

'n

共

君。

位

装

赦

退而

业

册

世帝置不

 Π

與 邦

李

網 殏

和

迨

建

炎二年。

賊 氏

大

義

善主

ß 正

力、重逆附・

叛壞法背

所立

共後 特將

以十 與不

浆 賊而 邦凸

降

武

41

行之

ij

不

亚

那目

何

忠國 伯彦

丰

 \overline{A} 同 ま 沿 昌

济 為 羧

自歸

朝廷旣不

彦自

*5*p

已刻

盆

子以漢宗室為赤

善汪

又 問、

左

右

机

帝

FI 並

善左

机仙彦

| 之法断 未

と夫 # 11

春秋之法人

臣 信

無

籽籽

而必体趋

盾石

迎

那

Д

僣

逆始

現ま如此|

耐

議

者

不

汉 ź

臣易君罪大于

共罪又

尊崇之此

陛 得已而 九

Ŧ

典之業

m i

而

閊.

何

Ľ

厫 М 何 盆子不 P, 討 4

天

下

士

大夫之節

聍

執

政 Ē

逆之臣以示

方其准不 理也

艀 狱

恒又偽命 建中

豣

舌方 咯 律

色山 秋討

Ħ

那

併

州而 府産

文

徐秉

哲吳开莫信李權孫說干高梅永全

船 Œ.

那 伯 當

昌 彦 ÍΊ

化軍

節度副使潭

州

安置弁安置

顏 博 巻ん Ŧ 紹以

位。 下, 論罪 不当 有 差,

六

典 刑っ 僅 安置 潭州 心頂産

又 缉 Л **J**I-**昌親屬三** 肾 年 激計二人 潜 伯

不 之作或 為泉 を 加 <u> 3</u>: 罪 所 此 床. 容、 錐有 15 聯 ن ئ 猟 善者如帝行哉 : { 求 ; ; 退中 { £ 丞 張

子 32-350

誀之 論者 古方 足乃 部財 言行 兵動 兙 綒 之就安無司。 特 声 P 竹 廴 道口 共 有 用和 舡 И 功 Ĩ. 意志 # 氏 ¥ 或, 長 有 弒 類 是拜然建言三河之民怨敵 贫 怒 益 藝生 其法 炎元 Эìг 以 Ħ, 法精 17 長 IJ **1**i. 桑 怒為 Ħ 苯七 + 並 ķ 11 免 逃社 Ł <u> 5</u> 靚 並 聯c國 以○家 袋 詳 及 祉 五 免身役 髙 年以 踵 計 廴 ·補信兼 Ą K 'n. 央 前 道 以 度 祉 李 級 為 什っと 蝌 佐 此 建議印 郁 張 位而寫 ○ 仇請因 **#**. 所 都 轁 吉 軍. ø 愁 訓 富激動意耳思謂然何 伍 絲 社。 常 满。 民 五. 運 [4] 二、五年、百 兵者。 綀 P 有 甲 ép 使 給 坝 為 兵で唐 4 征以 Æ 孛 帝 足 削二 于○人 **帝國結** 隊 쌲 鈔 爲 農の海の深 為 趟 Ŧ 英之及記 货城中。维不 12 大 院 者並補 都社 隊 ř 便 元帥基諸 4: 油 為部 部尚 商旅 忠贞 大 有 作 書至 Ħ Œ 都 **1** 亦 T. ħ 敵○澹っ不 部 ሎ

後有奇謀秘計雜復敢言 描且 引 策确。 茖 准 Ħ 浚 後也帝意解 功 職 匹、 漢武 ij. 過 帝 市 凡 約 奉 **人** Á 誎 ηñ F Ħ 曰 17 不 計 列 不 浚 俟 王 都 者之心耳。 念沒 處並 Ľ 救 相 罪 槉 Ł 祟 行 相 解。 苗 掩 遣 為 亦 ú. 勤 Д 不 帝怒未釋鼎 e 遠钦 張 比 亦 張 錐 願っ *W*-功 Ŧ. 浚 欲 而內批 欲 ij. 功 Ħ 少っ 萬全 非 朕 塩 寛○失 假○偕。 吉っ 高 办 液 IJ. 出 法 者の ET 釭 旣 宗旨 尚存借帝 빒 倘 姟 き ٦, 之針粒 分 此。 瑣 減 買り ,司 罪已之部出 榅 責の為 事っ 因 カ 波納衛南 拼 Ti. 扳 懇 老 寒恩。 東 ◇ 数 ○ Ŋ 負の 失。日。 便。浚 船乞 開っ 失っ 11 者論之不 ") 不 有 不報。 然 永 朝中 用 降部 至于此。 真っ 縣器 共 罪 勤 廷の 非の忠 Ŧ 死の過 功 安性 **ス** 獨っ 波 の任. 称り率

箯 111 1:1

郎晏敦後有憂色日姦人相矣聞者皆以其言為 兼樞密使初張沒書與趙 宋高宗紹興八年以素槽為尚 惟點言是後點 此人得志吾輩無所措足矣及 t Щ 氏日格之姦無人不為所愚而敢復獨知之 繇是深信之言 鼎論人 一書右 鼎 才沒極稱柏善 栬 再相 可大任 桁在櫃 於帝」 酒 而工 畲

而

話等已在

手中 議

惟三人以和

成 邚

こみ淮

建

炎以來奉使

金被

桐

Ė

古方略律 世 時賢者 異 敦鑊之知 為 茲耳 何以 唐有 をとす 柏與蘇 码 廅 鬾 枹 Ŧ **淘之辨安石** 宋有在桁之二人者熟非 搶. В 惟賢者不知此椿所 一也沒與罪皆當 忠貞堂

> 古 谷

方略律

巻之十

內殿求 廟皆極土木之華豈非示無中原意乎 張相 子流落于金者盡力拯救之留金十 幾二十年雖遣使百輩不如此一書每遇貴族名家 不能過鱼可拾朕去邪暗退見秦桥語 章太后書遣李徵 蒜者客奏敵情 投之於水以墜淵為辟可 公金人 那菱母 所稱为 帝日 且 持歸帝大喜日联不知 力言和 哪忠賞日月 不得用錢 讖 也公 # 塘竹石 計乞與師進擊當求 神義之而止雖屢囚 志不忘君 五年而還入對 抬不 為景 ių. E 太后寧否 靈官大 不 錐 Ŀ 遊戲武

宗高宗紹典十三年行人 和 謙 非

寒兽大雪薪盡以馬矢燃火根麵食之或歌取蜀策 罚海大我力可乾但不能使天地 神怒皓日自分當死顧大國無受殺行人之名願 神持以問結皓力折之谷神銳意南侵口 許歸已而金人 矣皓居冷山配 洪 者三 船 張 相 **舟寧二百里地苦** 造七騎追 **十餘人多** 邵 拍耳皓後辯之 朱弁選

陳王

谷

子 32-352

É 根 弁:不っ信っ國 水 分 古 乏利、 副 さ Ŧ 豣 . 腐ぃ今ぃ ű 貊 中 人 觀司 不 仕: ŊŽ. 方 王 胨 叉呼 侙 矣 (無っ生 以 国 舡 受書還 略 倫 驯 金 則 叉 久 简 H 倫 Z 11. 豫 **造應** 律 使金既就館守之 天 奴 諫詹大方論 首 Z 顶 Į. 直 肉 П 解 有: 4 楨 巻と十 徙 履 書言于 復 柞 介 久 ήL H-П 也 X. 絘 之會寧及還 酠 送 敚 山 士 弁與 北 fil -俆 Ħ ជំ 仰 端 于 阸 맓 漇 鲵 金 亦。 揹 凹 拒 北 目 胨 责. 全 金 蟟 弃" 信○歸 旃 幸 倫 其使 面 此 則 EI, 桐 放。 萬 Ž 門一臣 南 受 也(升 先 採 如 샙 Z 君に劉 Ť 策決 忍ら之。 帰 m 願の謂 養 歸 IJ 事 養鷹飽 入 懧 燕 臣二豫 觀 働い吾 Ż 懷 借○口c 于 願 兵久之金将 無 見、 挾六 山上大小使 復 之 **之で古て兩** 去 待さ有 漸 正 成 除 僧 義の用 以 留弁 忠っ死 队 使. 之の 宮. 使 弁 攺 秘 則 詞()さ 圂 寺、 淪 香の耳 受書婦 \mathbf{Fl}_{α} 起 使介 台 **有べ** 書作 礟 之勢、 從 無っ部 挛 像 进 得い者で吾 目 去、 州 者 供 見 ╆. 귀 供 崇道 抱き有ぐ 議 棋. 終 H 皆 厲□豫 報 眬 以し節っ暴 來 金 忠真 和 主 非 夜 莫 豫 Ŕ 出 吾 人 天 死の以っ骨 固 當 觀 管 大 南 知 怒 挥 加 迫 死○爲○ 外 臫 遣 弁 祐 國 肵 侵、 椛 筬

宜詳以書 F) O Ź 舒 古 時 片 ī 弁 艉 間 呐 靓 东 丰 75 殺. 朝 - F 守而說許 與线 與全 ī'n 騂 水 有 カ 地 Ų. 行 死 弁 逦 行 有 Ŧ. 不 Ħ. 兲 Ħ、 略 鯞 弁 が B 酒 人 友. 銰 出 市 宏 lúı Λ 歎 律 報 笶 릷 . **D** 갦 非 m 産 講 ejį 11, 7 八 £ 疵 É Ж : 単 使 栱 細ぐ Ę. ŧπ 金 之(既 禁 卷之 倫 村 增 金ヶ 耄 命 朱 掠 ₽J. 护 初 킩 遻 夘 脳 心。徃 L 2 國 日 人 林 公 报 哲 7 İ 久 流 未 祈 以 虚 宜○或 这 E 虚 之 े प्री J. 大 曹 2 不 騎 嘿、難 梓 官 4. 弁 實口臣 墓:者 夫 遭 苁 - 彼 以こ周 及 扩 武 14 χÝ 扒 月二子 於っ公 í¢ 唇 徘 Ē. A, 待、執 次 ゾ 送 فإز 13 此で之 我の幸 **4**° 谷 -31 昴 酥 不立當。 此 至之, 我 迎 至) 17 入 椴 幸し 痉 酬 也 其 背 終 兵の動 大 震學記 宗 可で諸 矣,我 見 五 語 要 也 官 可○右 き 肞 # 便 人 大 失い君 泉 當,又 丌 Ż Ħ E 助 茍 息變 此 娱 训 虚 之の何 行 皆 Flo 含 っ以 E 時o悲 也o也。 中 安 而。宜 챨 扩 zΚ 棹 Z u(ع 生 泣 主 甚 為 消じ盤 啪 謝 相 交為獻其 知 而 ìέ 双. 下 得「 官 太 張 莫 見り 弭い末 遣 全 ,昳 Ħ 久 萸 1: 近 爻 逮 李 | 之の兆さ知 Fla. 液 義 粘 能 目っ郊 術の盟の幾 陛 目立派 垄 簽 没:仰 有の禁し 耳の目。

卷之一	在成係作,排斥和議升客疏金國處在成係作,排斥和議升客疏金國處
	一
· 一	雄選自金徒齋志以及悲夫? 此尤怪倦忠爱力圖恢復之意然皆見忌于檢號者及此氏日行人守死不屈臣子必當然耳見忌于檢號

是上皇高智問勝敵之術於磷磷對目弱者出戰強之。 古方略作《卷之十 宋孝宗乾道三年太傅四 手柳魚有不益才面可察責以功乎故曰治之人 成有才果可任功未遊成者不且姑蛮所真之! 見功者云難知其才必待其有功而後進則其問 不能無變也 而投之以 假才者功所自 堂重人自無辭騎所謂選必以功意與帳同益必 則使其更變而知難事不輕作一則待其功高而 だ山 如是面 蘇軾日自古用人必歷試諸數有已試之功二 呉璘 K ż 口此難選將之法即 選將計 官可也非功固不可與官舎才亦何以 府吏指得人 膝敵之術於璘璘對目弱者出戰強 出祭其才而武之以事因聚其功 月但恩按济之說不能無 川 宜 推之于除授之资本 槙 总貞堂 心の打造他。

太上赤以為は 古方写作、然こう 提舉限 不當帝渝牢 宋孝宗淳照八年部龍內 有懲于此。 浮熙十年乃竄郴州籍其家以 或日源特恩專念其所役 古山 童其加封王爵皆覆軍 氏日內侍典兵政自唐魚 ijį 定 制の然。執 浙 遂 日。 Ę 記記自今内 (行) 次恩言有理· 縣將為國大患孝宗或亦 亦補 不可且。中、 八進總壽宮 『官孝宗聞』 朝思始迫撤宗時 :得0可0趙 兼の防の汝 + 兵の微の愚 職心柱⇔論 IJ 而悪た。 忠美堂 |客っ進||院っ星 以 空其 すの 進の 元 地 元 之 4 攻當先發 **炉箪宗嘉定十二年趙方** 方略 是方豈與怯懦者同 芭山氏曰深入恐冒險攻城恐力風o 所侍者使之自国因合兵攻之制 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ 孙 道 整之十 化 企 IJ. 金 潰亡等 Ä 八屢敗 其이帥 骚冠之術當如 。師 甲c六萬 敷っ萬 但奪 Œ. 金人素 ا ا 其コ分 同 城っ三 些の道



子 32-356

人ン順に養 末:亦。 沮 投》自 古 趙 占 ሉ 扩 所: 徐 卒 ħ 擶 王。立。因 趙 敢 肵 Œ 萸 三、鉄 之:夫:趙 咯 歓い何 人勝 式 E 也 以上 王二巴 分. 南 ì 也。 欲 者取 Œ :1 ○一⁸。此こ服 ○趙⁵雨○此 耐。 Tet ľV 夫 门也新 囚 與 仑 싍 吞之 武 欲 断者 Ż 之 王こ面 報 趉 得省也 耳 : 禁 易の尚の人の雨 且:王 :-臣 欲 Ŧ 張 其 好餐 求 双の豊っ一 陳 胨 矣○易○名へ人 割 少○欲、 Ц. 王. 養 俆 燕の為の赤 垄 燕 耳· 走 地 圠, 先の来?欲 長さ為り 陳 趙 1.} 3分日 趙、燕 使 咯 州 Д, 以の趙 徐、 乃 先の將の 栺 養卒災 者 中。 歸 西の主流が 立の相の 朲 地 Ŧ, 徃 濫 厮 趙 武へ終り 雅 بنز 誧 鎣 炁 自 尨 限し己の 養卒亦 王 王の歓る王。 日 新 養 下 热 左☆熱○時 趙 : 爲い耶っ 趙 卒 Ŧ. 提の紋の末 玉の顔 败 間 右○之の可・以の其の 儀 為 学 面の耳。 持.勢. 11 绑 此o張o有i 而っ分へ今 城 為 斻 洏 趙二南 雨っ耳の脳 此 責○趙○君

族 角 應 赤5日:從池息之 į. 所 足の間っ列 ñ îτ 違 形陸 副^{*} 大 方。 矣 掠 下つ道で行 占 信 曰 織○趙○問○夜 出 出立 诺 咯 欿 號二十 令 見へ迫っ半 不 **淡Ω絶ω数** 張 垒 皆自 5 肯 乃遂 莳 我、草に傳 + 溝の其 े त Ą. 水 信 脾 不 信 走の山で發力 陳擎 H 可 目 ρ 粁 高の輜つ里 前 趙 趙 必 准单设件 橓 而 粒 倳 墨の重の共 慌 美 開 堂 行。 ٤ 湬 空心教育教を 兩 令 廣 趙 匆cと作 豑 破 Ē 恐吾 扎 先 壁工不敢兵軍 屰 椅 掻 井 赳 奥叫名 武 赴 今 皆 核 之 學之大戰良 未 不 戰O其主 食 陞 君 逐心现阵 王 4 用 致品 大 至 便 Ħ Ŧ 璘 後星幅 ÿ. Ż 추 报 選 及 # ; 左 笑、 100 地 轣 詐 म 前重用在 進 着。[1][生 破 成 為 平 阻 趙 躸 nie L 譿 致 後 Ţ 疾 不改也 # ガニチ人人 壁 麾 п ŧ μ 竒 得 机 不 ψ 入 再再 說 君 100年 退也。 一倍建士 <u>=</u> A 兌 A 食 趟 社 T_{2} 餀 得 閄 陳 報点 彼 ζμ 于是信 凊 慰 弗 否 退 重腦 17. 方 个 餘 大將 抖 雨 人村 職 別 信:必 未 里 不 輄 75 拔 重件 竒 目。 兒 皆 趙、 望 止 得益物 蒋 使 間の為し 従 信 英信。 셌 含 忠員 萬 吾 械 趙 耳 IJ 月樂 不 井 5年0 秋っ二 野 友用 玄 鼓. ٨ 赤 大 A, ii. 乨 漢な液・核っ合甲 知り子: 科 佯 表 従

1

-5 歸 椞 馳し空 鼓つ 大 入の壁 推C 力 煉叉 芭 遂亂道走 波 豉 此 無 肵 威 軍 趙 趙c逐 咯 Щ E 走っ 且 危定 危之 多方 詷 淮 無 川 竒 氏 大 軍 C 壁の信 뷼 使 氷 日本 者 人参と Л 敵 Ŧ 於 可 ē 斩 竹 板C耳 Ŋή 變之 趙 惿 2 朴 走 誤敘此 陳 趙○水 如 73 以為兵至 小異出竹水陣奇甚 漢 Щ 母職 立漢赤ばかと 単音殊い 朝于 詭 则 滹 水 解 兵 餘 疛 赤 及 術不 言外合者欲定衆志 法耳 見 池可 人 Ŗ 幟 上口 丽 法 雖斬之不 ń 慎 信之所長也 水上。角趙 大驚 散 Į, 河 然則 渡無 疾追 是不戰 方 行 得不如是如 2, 丽 水 戰 亥 期走 云光武 時₀ 耵 派 訶 氷 不 能禁也于是漢兵夾 為 凘 王歇 合者何天也明 · 76i ihj 報 凍 漢 如 敗也 我 戏 是眾 趙 前 死散是不謀 時 間 皆已得趙王 Ĥ 軍去 捐 道 军已失信等欲 炊 候 Ŧ. 後疾戦力 使 ķ 之 支 使 徘 Ξ 覇 技 河尚 至而 肵 Ħ 徐 ネ 死 報 橶 所云必 13 ń 紮 也 Ŀ 造奇 合 规 浦 而 遠 Ą 將 趙 ス 闸 不 水 ģΡ 胁

古方各 **戒之叉** 共營因 首有 工光背而 氷 楲 Ŧ ネ 士氣杆數難歲夏之 迫 ž 将兵雷工 从 合或 素討之敗機江岸為管周 **奇之言非關之於意也** 拔幟 食單 JH 追 粕 縱大 無恐以故康 Ľ 已立機 秦之 者能 堆 别有方略以祖王即安 ij. 本 之角 **克幔畫夜分佣** 來證見請 ·嘉靖中 Ŋ. 4î I 用州。 木 ネ 為 蔽天皴预火 此。 1 Ħ 山頂贩大景逐 稀聚食士合戰 ŧ 韗 脆叉信 指 奇兵 鲗 0 者也益信之 掉 夏百 7 數十二 耳皆入水上 \$ 闹 P 第一者 先 1. ŧ1 # 4 Ŧ 兼因 沈 刑 μ, 幕 Τ 侇 而 醛 力 1. 是 T_o 枪 įΣ į 扸 Ŷ Ŧ. 討

使 74 不 占 不 黙 늄 仗 故 各 兵 左 吳 漢 埴 吳 姖 红 <u>고</u> 赦 桺 然 灭 方 有 ኣ 盘 丙 計 Ŧ 景 曰 亥 24 帝 軍 盘 斬 £ 艮 吳 分 言 謀丞 欲 映 計 闸 金 帝 楚七 笅 夂 竒 所 书 使 止. 旭 帝 恐. 冽 安 治 Ξ 鉄 母 怹 共 來 僕 中 乃 出 P) 夜見 Ż 史 專 年, 财 吳 尉 史 信、 44. 図 誅 おこ 集直 賊 盐 召 何 E 其 吳 盐 萨蝽 绑 王 召 -}-欲 後 錯 臣 盐盐 贸婴 對 盆 事 蔽 楚七 并 錹 為 來我 公 웼 其 뒑 獲 乱 目 E. 未 匿 子 Ä. 吳 电关 縞 紒 拏 太 故 ٦. 為 灰 錯 伙 盎 吉 国 删 宗 載 崇 較 抓. 庭 地、 刔. 揯 楚 帝 吉 治 不 不 及 显 朱十 行 育 ¥ 正 小 刋 而 逄 相 方 吳 宜 之 叐 程 装治 猎 上 徥 市。長 夝 Ù. 罷 遺 與 扫通 肵 有 有 措 与又 日不弘人竹葉市制 曹 錯 叉 犯 俟 p. ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ 書 趋前 錯 以 謀 絶 吉 关 通 求 次 行 ₩: 令 諃 냚 調 錯 ガギ 叐 乑 楚 戼 东商 朝 ψ. ₹\ # 以 ńı. 侅 高 Ų. 辅 欲 猶 有未 汞 龍 # 対阻 城 がく Ð, 亦 3: Ω 食, 至. Ħ 欺 所發 請 Ħ, Ų, 德见 不 Ē 色 斬 和 有 ¢ 帝 前 Τñ 兵計 未 矩阵 冶 룩. 霄 代仲 朿 īij, 劾 供 2 斬 Ŧ 太 伙發 П 决 电台 吳, 地、 生之 市、第 参 $\mathbf{j}_{\mathsf{h}},$ Ą 靇 -f-帝 ż 對 人' 'n. 日、問 通子 帝 삸 호 弟、問 状、有 バ Σ:

馬

35

夫

秛

吳

歪っ枚 華 無. 國 以じ差し將し軍 5 上 可立帝 73 吳 強 始 錯 吳 及。 足 方超 制○闰 夫o 亞 為こ一の軍で且 欲 行 大 也 為 陛 吾 畟 将○二○何○行c 略· 涉 也C楚 不立夫 夫 劫 ٦: 卒 不 且 万. **「軍徒」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「1000」の「10000」の「10000」の「10000」の「10000」の「10000」の「10000」の「10000」の「10000」の「1000 1**15 引 乗 Ę. 奉立る 竒 遮 帝 使 슃 不 n Œ 47 部つ許。 Ť. 仗 侢 置の 説 許 훼 粁 ĦŢ 大 制 깐 + 之。 亚 堅ンズ 東 吏 至 苍 <u> इर</u> 整数 盎 也 狱 枚 天 獻 捜 人。元 内 北 بثالو 夫 壁の使 不 帝 請 下 矣 走 殽 亦 夫 不○ 使 El_O 央 Ħ, 帽 杜 削 之 W. 自意 爭 出。划 B 澠 也准备 友 吳 乗 截り 得 然 忠 Ż 士 怒 也。 間 藍っ漉っ Œ. 六 蜂o間 耐し亞 亞 耒陽 EI, 臣 以 辫 削 全今吾 时 : 中 ^第 堁 夫 関う 乘 公言养 复二夫 电装 失有 青 願の脱 之 ij p 地 富。 **引 これ**: 得 夹 如 京武 出 **P**F.O 傳 以って, 京 Þ 不 以 " 之o 外 高,命, 攻 . 吳 其 牽 式 懷 將 梁○歸 師"旅 誺 伙 計。 委○報 帝 杂 揭 撃の闘の間の 쾀. 杠 會 爲 蜇 狻 鈼 μo **Æ**, 榮 之の太 使 至 鳴の核に止り 死 Ě 亦 諸 12 世 A, 陽。 · 乃 以請 樂 告 浴 鼓0洛0兵0六 ·Ŧ. 湬 収 絶の射 折译 之 名 侯 數 菜 陽、諸の陽の事う 夂 赐. 之 錯 查手 32. 其○亞 報 利 其 侯○間○尚) 島間○不○神) 貞 涉 夹 使 陟 喜 矣_い知 兹 也. 鉃 ·食o夫 仇 意 枚 使 2, 曰 する J. 套. 道の言 至 計 Ħ. 不 東の七 之り通り密り 生 桁 綦 ろった 吳 痲 在

棄其 大堅卧を変換の 古 关楚 為,濟 Ľ 死 謀之得失當先論 下 11: 北京 屰 是言者皆海 进 Ŧ 叛 Ŋij 法 цļ **阿上**大特 浆 退 與壯 散 玖 陽可 本 乃引 而其精兵果犇西北不 囯 * * * ÷ 字 字 ψ ŦJ 围阀 詂 数千人夜亡 ナ 張 觩 #1 不 逨 :*: .m. 有 専 伯 堊 숏 21 48 N戰亞夫堅璧不戰 C#UNONUMENT 公徽西梁城守不敢 其事 失至 夫 族 敎 庥 di 376 J, 溗 出精兵追擊大破之吳 퉨 人 不 3: ſΉ ЦZ Jr. : ĺΦ, 前前 昌邑 之 栺 47 杝 ŀŀ. 宇 走。楚 Įμ 主各之形 **罪** 正, 44 楼浴 前為吳盐策以吳友漢 將 11 갩. 守不敢 西即 狪 令其 渝 周 11 jrq 坠 O 关 王皮及之罪 1, Ú. 吳之長策舍此 Ħ 41 支大 楚者 削 條 永远脖負之機 不 曹 不 侯 能 吳楚士卒 矣, 1 샾 n 丽 六 當 何 忠真章 Ļ, Ē Ł £ 也 퍚 迫 較 誀 较.

		-	古	1-1			!	
	,		- 方	不同	泛频	七千	被 使	
; !	1 .		古方略	食う	夫 食	七千四、與	叛 关	
4 !		1	·	死 3	子 不	見プの	者 進	ij
		i '		不当	五	亞 光	也、不	θ_{Γ}
			**************************************	學一	夫子買甲盾 食不置新取	四見亞夫雖與戶次七國	後 得	定
	1	i	参		有 収	雖能将兵尤善國烏合之泉故。	後諸葛之智、得一戰退不	雅
		1	i i	術。2	馬ル	能 鳥	售 戦	办
]	:	情 3	為文室電車主心不平帝日此	能将兵尤善	之遐	Hydt
•	1 1	i i		哉。	图 平 ₀	乗った!	智、不 司 [*] 可	Ψ.
•			: 1	要	色帝	尤 泉	में ग	.,
:				と	日			
i				帝。	主此	月言然其後○從趙涉之	· 蒸:仓	
		1 '	. !	亦 3	E 鞅	言。從	常食	
		1	' !	少号	E. 鞅	然 趙	皆以是か	
		.	^ _	恩 3	正非	其 涉		-5-[
				少恩矣。	E 非少主	後之	術絲	
			悬	i i i	首 主	然其後以景帝趙涉之策卒破	困之王不	
			惠	3	色 页。	景 卒	さ。有	, ,
		_	T	! []	寸 及	帝 破	至不	

海。其 予 急奈何 4 **5**. 킭 Ħ 陳 Д 4 敀 方咯 找 卒 戟 去 虲 中の兵 共 赤 倖 所 芭 。 此い廣 ひり 7 解の廣 1 里 死 李 Á 仑 奇 廣目 大 肵 勻 者二千 보験 鞍,上 -T 秲 * ħ 氏 200m2 . 百○5 . 南大恐 ·軍 。之 令:馬 止 奴 年, 是 丰 舠 ĕ 筱 ¢ 數 纠 擊哉。 恙 14 棚 忽 抋 J. (填 胡 À Ŧ 射 使 宛 亦 作 -, -1. 騎 奴 Ě 之為 遂 ٨ 耳. 共 12 紐、除 見 馬の騎 西 上馬 大 25, ፕ፡ 順 が近り選 ¥. 4 濮 FI. 政 ľ٦ 蜂有 ○走 使 뱟 射 射 'n 垩 朾 射 今の鞍の今 我い 敍 之 伏 45 敍 白品 房桁C 去 臼 皆つ騎 諸 華 介 馬馬斯 ۲×., 甘 解り目 魣 -**F** ~ 廖破 El_o 鞍コ原 鯐 旁。 613 以○多 前、 宋 群 敝 絘 Ť. 而り出 ż 示っ耳 末 夜 復っ護 當 取 **ķ**.~ 不○近 Ł 驯 Ŋ, 退べたき B 么 K ተሉ 宣微 然廣 Z ~ ΙĴ 走り即

곅

用の有

奴 必ゔ里oks

至 00里

其,凡

pp. 14,

Ϋ́ 古方略 薊 退 Ø, 室り命 縑 漢 ЛŸ W 1/1 其, 郡 純 誤 君前 拜 老 載 帛 見 強し 前 仌 絕二老 撒之苗重貨件 汉 刎 ∄. 斬 敌 痾 官 合. 多 纯 南 數 秀 幡 其の弱 1: 耿 Ţ. 及 多問 許 阼 爲 泉 烽 秥 胍 百 曷 1. 及し在 痩 純 水 -1-城 邶 宋子, 竹 匹, 前 純 頭0行。 桬 ÷ 徐 46 많 70] 之_{の恐} 望っ宗 ψį 將 枚 参 巻 二一 矢 純 IJŁ Ŧ 胠 附 Ϋ́ 16 鄲 19 平っ 者の考末 木 從 扎 进 邶 故 舍 衆 文 卆 Ľ. 内 純二筆子 白 乩 封 度 至 啊。 破 参 邺 對 贼 並 **王** 人 妇 4 耿 須客 恐の農業 耿 崭 不 鲢 閲 歎 Ψį 可 E M. 在 釥 宗の都名 绑 奉 訴 與 Q. 山 Ĥ 純 攸 射 II. 朴 刈 竊 쓉 攻大、 侫 业 宿 宅 211 家の従 李 及至 半 7 聚 兒 ΒŦ 機≎攻 訢 於 将 植 純 범 赤 惲、 有 北 ٨ 明 有。 同 鄙. 宿 4 邶 見 不 異り下 純 才 秀 仴 州 公 抦 郭。 植 宗 送 秀. 引兵 覍 單 心の曲 無首 青 秀 也 同 椞 廼○陽、皆:11 無 族 嶌 镇: 料 ıŁ. 徒 亷 ů, 丈 撘 偏 舞名 貧 使口及 Ξ. И + 耘 耗是 将擊之 ŀ 乒 傳 者0純 βń 新つ中:特 多女 客二千 娰 紒 思德 進 舍; 故の雖 'n. 河 北。 軍 質爾 炗 嶽 热气 「宿っ山」 大 舆 鄗 燔○米 秀 字預 E, 婦っ是 使 核之 彬 焼っ族 1. 廴 帷 大! βi 焼い時 亰 てき 俆 及 戦>姓 屋∩歸

营劳耗 三矢 族不可悉 袿 外走 大兵不 ŧħ. 進撃 蚏 可 居軍中の μī 胙 坚 夜動、 **姚宗人** 夜 ij. · 破之。耻 田手の 行 泛 奺 監会絕 Ц 不 純 相 固 騎 純 Ųķ, 枚 机 白秀。 後 族 共反 人 4 明 公城 耿 ĄĹ 秀 霏 -1 營進 碩、 呼课 仮為補吾長悉令 明星與諸科 德 此 退無常鄉字 幸而 趷 磭 抃 弩並 fip 寓 復全 思真 **上** 伿

卒 至 41 不 及彭 雨所 而上 沿 丹李二 芫 光 青之信述省書本息 徑 在地右騎 方 T 是 水上平曲 武 咯青 武 矯`恐制:為 至武 至皆存 登山望之大震恐官 řř 何 王元舉舉降帝與公 ř 神也 萬 槉 Ĺ 晔 挟 取っ所 냡 徐 1. 飲散 卷之一 目是乘勝追 舻 以っ及 延岑盛兵于 人 卉 徂. 诐 作黃石 白〇會益〇帝 延岑白 洏 大破之因最夜倍道兼行二千 柜 mţ. 31 賽 擎廣都去成 IJ 述 ₫ ji 漢 軍 C 漢 後 ご 兵 ij. 分兵 示 빏 北降 团 賞 中。 栎 復 沅 彭 p) 栎 Íπ 连点 ж 在平曲 洋 靓 縱擊大破之延各群 郀 Ų 木 者以 刺 ß. 恢 ïL 揻 太常常少光禄勲 下遅江 自耕 山谷岑不怠漢 ŵ 陳言科福示以 故遗 十萬數軍至平 泉 靺 土 亥 还 大兵 州。 食 Ü 卒五 # 12 5 mm / V 杖 馬 少 ìf` 鈙 t 課3百3次

	:	百万略奇	力勝者非也	宜典及點王望例如改後言少陪皆以憂去
	· · ·		非也	照王望何觀。 日盛官亡地能存其志可及 陪貨以憂先
	1	三水大金	司司天幸,使無此	可発與它類制異.

之 王 可一戰而克也乃令軍中日敢言戰 戟 Ŧ. 有 莊 之世 目、仁 聅 连 管っ餘 沮 陳 出、 3 方 明 推 H, 喪賊恃勝而驕有 世民至高塘 仁杲之為太子也 于 雛 世民堅壁不出諸 陈及即位象心 畔 民 睺 茓 使 聫 城 Ξ 軍潰 循 銭 大 攻 E 據堅城 戰世 不 붜 甚急 原以誘之羅睺大喜盡 極盡所部多降世民乃 世 巻え 凡 能 # 11 民 世民度城已渡 之勢 重 揗 民 民 夌 騅 部多降世民乃命行軍總管 猜懼. 難破 世 帥 帥 £ 運ぐ 引 輕 使宗羅睺 民 将請戰世民日 陳若沒水原之南羅職併兵擊 兵 不 驗騎數十先陷陳唇兵表裏齊 引大軍自原北出其不意縣 我 郝瑗哭舉 騅 Ŧ ۸ , P N. 餘 樤 之《 失也舅勿復言遂進仁果 Ī 框 仁果號 未可輕進請且按兵觀 騎追之實軌叩馬苦諫 宁. 調諸 閉量待之彼 将 銳攻之實守险 兵柜之羅 丽 土仁 H 者斬相 我軍新 死 字果 繇 者立 將渾餘等數 將日可以戰 何 **帮大軍** ľ: 是浸 持 騷 败 总真 65. 梁 六一表 數 士 女 不. † 氯 賁 挑

猟 膽も用し不 何 젓 萬 遂 世 不っさっ意 1 10. 奫 餘 4 14 肵 暇し未し面 世 使 攻 ٨ 疑 仁 為し易し破 氏 民 具、 諸 Ä, * : 秦 비 間 果゛謀っ克。之 Ħ, 輕 将 # 兄 此し也の新 ${\mathfrak X}$ 贼 羅 歸 皆 爽 守 智 弟 . 吾 急渡 頻 閉 糇 亩 賀 狘 頮 及 肵 之中不 肵 諳 썟 造 뵈 者 宗 則多規 奺 待 以 祚 城 問 争. 死、羅 克 法. 散し若 ,皆 放 下。 目、 自 也 歸い緩っ隴 泉 \mathbb{P}^{C} 嗾 大 投 翟 泉 隴の之っ外 皆 Ŧ Ĺψ £ 長 皆 外・則・騎 仁 以 騎 孫. ' 悅 高っ皆っ将 為 戰 杲 Вi 等 服 嫌っ入 相 7 陳 而 出 虚し城。 克 峰 勝 逍 (退級為 弱い仁っ吾 2 而 逐 K, 徘 增. 在の果の特 卒 私情差 肵 粭 共 徘 果っ撫っ出 取 情 破っ而ら其

> 先 1 支 步 浴 守っ世 士! 民 稱後 事 髙 175 **才** 兵・水・東○民 斬 ΖĹ 逝 Ŧ. 引 或 犯 漢本 武 而 数 黒 壓 日の度 兵 東位 巷 圍 不 Eİ 餘 4 德 团 得 - 髙 待っ黒 而 '掩 大 $\dot{+}$ 朝 王自 五. 衆 Ξ 人表上 其 El 吏 不 湖 帥 晳 我心健 入 其 相 决 人 泉 世 精 央 决 빞 ţЦ 黒 而 奥し糧 後 持 秦 报 殊 陳 賊の盡 間 大 拏 煮 堰 堰. 衠 民 芨 Œ. 死 大 世 戦のダ1 填. 枚 古 格 十 世 Ж 鸿. FI. 戦 民 土 逛 范 戟 槢 乃ら來 之。 餘 赂 尺 淮 自 Ŕ Ą 守 决の決 婸 Ð, 埩. 继 使 陰 舠 1 盐矣 午 粁 之の戦っ会 黒 黒 筝 吏 黒 奇。 婺 沙 貀 至 亦 闺 4 决 精 黒 乃ご道 闖 使っ宗・所 堰〜宜 骨. 騎 頂 先 故 宊 鼰 濳 Į. 擊破 淔 早 七 戦 人心道 圍 後 智。 *!;)*; 水 帥 韴 實得 数合黑明 紫李 步 堰(從宗) 村 ٨ 此 ナ 大 建王 蓍 之乘 野二 奺 手 **夫、** 治 浮帝 遅 Ŧ 1用之耳 黑 ★○乗 敬 世 彂 釈 脖元 团 勝 ij ŭ. ŧ. 萬 上。之 德 勭 蓬 舆 文都. Į 流っ得 خ щ 不 蹂 南 大 管、武洛 能 ;其

如此。在華氏門貯竿抵丹可謂蚤見然光鄉所以為此中華氏門貯竿抵丹可謂蚤見然光鄉所以為此	也山氏曰,往馬桑北一時沒河思明作不能制明沒城不勝而去, 一一 息負金	英盡又以又拒戰船于橋上發破石擊之中者情治 穿鐵又置其首以迎火船而义之船不得進派更自 穿橋光獨先貯百尺長等數百枚以巨本承其根部	と馬嘶不已思明馬悉浮湊河一時驅之入城 馬得五百 医繋其駒干城内供思明馬至水際 馬得五百 医繋其駒干城内供思明馬至水際 日出于河南沿浴之循環不体李光弼命索軍 市場で元二年禄山城将史思明有良馬干除	李老明计段成馬
備此	阻重	况自氈燒	思霊の中で、	

Hi **千**人、 越 店 長手 汝○文 待○景 程道 ĽŻ, ſĹ 4, 諭其意皆竊簽之既而思明 勿逐日越将五百騎展至柵下希疑四八百題城今出在野汝以鐵騎宵濟為我 n 李光 亦降或 끍 子つ肯 部: 我勢不敢歸 明常根不得野戰 視り 龙 11 此○翦 糈. 狮 越怪之間 表之 比 若っ人 难! 軍干野水 하 布 贼○敵 **烽李** 肵 至 颗守其 **5** !! 夕○思 與○明 庭 衕 П 而 1 光 Ħ 史 越 晖才勇趋 湖厚待 聞 信息 司空在手口 之口必 柵 11 以備之既夕選河陽 肵 口、败 戦の使 找 籽 越點計或之間 蚏 在 何 果钢李日 降c 降o--則っ人 4 *Ŋ*. 易也 之(作 矢不 特高庭 Ìċ 于 外; 以 μĬ † 夜 爲 越 光 Д фц (去矣兵 閘 锔 نباد 肾也遂 ÿ. 忠貞 Ť 壕○取 时 胺 Ħ 日 髙 ጒ 赵 取 此 В Els:

發:權 罪し退し退 井。師 | 州西南 | 州 奏時 窗 攱 以 若く意 T, 得の水 7. 穫 内 Щ H 微 囯 T. 掩つ謂 客に食 間 祣 火 任 弱 南 怴 撃の弁 詔り戦。 之! 耳 扎 三○使:契 Ψi. 制 用 無 大っ師 云の使 勝 拼 本 十つ室っ丹 族 蔛 得 屰 7. 败: 至 束 賢之 兵迷 里の中の兵 木 非 抗 之二 蛥 路 亦 列○夜○塞 方 差 一行 而 王 ΝĿ 剢 于 張 共 機の餐の用。 通 鄁 北 師 然多契具の言語人 育 憱 儿 従 之 騷 国 走。 敗 英^C 卟 £ Щ 办、 動 岃 酥 鲄 ĮĻ. 詡 見 未 i. 不 可 賢 并 矣。 之 淮 渭 将 先 升 稳 増 進 戊 帷 败 趠 伙 謂 見 江 樍 烈 步 怀 卒二 1. 人 亦 机 娎 哥 决 í. 賢書 矣 其 胏 Ŕ 光. 节庆 中 7 隨 袻 裈 使 5 有 た 生 槉 賢 À Ą -**T**ĭ 宗 旗 Ħ 應 图 Ť.

打 J. 無

不 保」 太

當 Á ,雍 齊

百. 閰

丹

却、 選

為 契

契

丹 少 饪

肵

執 5先 雇

俄の是

而○齊

美に賢

使□遺

至○使

云○約

師○潘

出の美

至っ以

柄つ并

憰一宋

 \equiv 張

> 釬. 契

> 契开宫 44

727 7 1

扱

祁

똮

亙

漢

感 试

禦

壁 宗 張

齊

軍二

1

出 酮

祭之暫泉

ij 11 遲 餘 扩 ヶ 徐 3 不り遺 ≒提 帥 鮻 定 朱 ŧ 뾮 釆 潰 岼 # ű Ŧ 待 河 類 逻 抹 鈲 精 ř 太 セ 湲 щ 百 31 休 -Ţ-夭 吹 矣.! н, P 宗 书 咖 路 馸 萬 ,未 計 大 去 哥 亨 之 氏 湔 佚 玊 爲 過 來 數 餘 溻 첮 力 明 速 E Ξ. 夜事 然 主 俼 J, 卆 ,脖 之 萬 莨 栱 倫 謀 徐 以 丹 食 待 休 木 人 力○日 娅 而 袻 休 邀 送 墼 = 7 牟 導 河 失 狂 戦の計っ驅 我 繼 糙 哥 持つ 哥:諸 楻 竽 契 之 氡 筋. 1 而の當の表 制 倫 倫 夫 短 -何 不 逢, 偲 朝 升 溃 Ĥ 爲 j. . 勝い春い北 哉 繼 大 朷 碩 ſė) 稅 扎 數 迚 是! 古 倫 休 黑: 蜓 솭 釆 地 見り至し去 潜。 兩 e + 빏 个 哥 以い町の不 ন্ 奺 不 Ąį. j, 4 P) I 贝 南。 都 乗 契 ſŗ. 榅 笈 云 敢 #1 Ϋ́ 千 Ξŧ JI., 自心收心捷 延 糍 赹 丹 竹 後 不 舰 大 Ιţ Ŋt, 筙 樹っ以いず 40 倫 後 簡 肽 臂, 繿 戊 [ایر 人 奖 솹 ίì 참 縦っ躡し且 Ħ 伙 夣 3 戊 _;; 倫 洭 巾 死の之の渡 쉠 11 ĸ 纟 泵 尹 4 造 - -彼 姸 ŧ. iL. 嶹 莜 - |-激 償⇒彼⋷愁 李 菸 縱 律 ħ 땤 X 13 垩 Ħ 釆 Ľ 贫 不っ鋭心於 砚 偷 休 繼 II, 失い氣に我。 仆 我 此 水 **\$**1 Ţ, Ŧ į, 氽 我 隆 $\mathbf{v}_{\mathbf{p}}^{\mathbf{r}}$ ģ 為つ前の特 伏 使 Γ 牦 4 11/2 μ. 糙 14... ধ্য 闯 水 À. 耄 退 屰 11 當「道。 倫「忠の超の無」 隆;州 後 兵

古方	古方略音	北	有 出 惟 繼 不 勞 頒 倫 勞 所 氏 不
略 奇卷 之一	基本		有不驚潰者此正出房所不意耳前性遍氏曰繼倫不顧而南坎
終	-		正前非败
i		· 孫 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	倫科数之奇支調繼倫倖勝合勢以擊契光契丹瓦奈未知寒難放果然機有可來者
	主	較	之奇或調繼倫倖勝擊契光契丹我奇未敢來然機有可來者
	息负金		倫、須、可 (存 ・ 来 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

之及兀木系 有能鎮中 聲い将 鼓っ木 埴 以待之先以 妣 如 朱 p 放也 右 趨 企 7 胃 朚 則い頂 方 宗建 且約戰期世忠許之因謂諸 Щ Ĥ 竒卷之二 不ら面 ٨ 廟 兵山伏 王廟者 炎 繇 鎭 得し接 螁 έL 秀州 八千人屯焦山寺工 駈 Ľ 肵 瘠∋戦 飑 ÌΙ 江港、 年金人至鎮 椋 俘 江 £ 冰 趨 中 帶、 兵っ人 捕 以 獲 丽 兀 平 甚 ft. 出、 繼:伏 ŋΖ 後 ** 西 假 侊 道。此 江世忠 軍駐 數十 墜復 登之 泉摘兀木 獲 出、廟 上 兀 源 耐 以っ下 州 合世 木 忠不 跳 合. 岸 撃、側 įΙ. 騎 Д 事 丽 共三 觏 $\boldsymbol{\Pi}_{-}$ 꼐 们 余懋 張 下許後 盆 中之 及 敢 一 之 日 o 不就 將 こボ 秋 欲o韓 自 前 之日の買び造 日o 是 欲濟江乃造使 騎 岸 衝 **兀**o忠 刵 以名 間 移 木の以 搌 至. 定 形勢無 策以 果` 師 忠貞を \mathbf{E}_{n} 執C則 中)蘇 有 鎮 建っ軍 鼓しる

飛奏建立 去見 數 忠 潍 衣の十 登 明 A. 錐 忠與 方 統納之 Ħ 忠 州 混っ里 使馬奈何乃募人 F, 綆で見 湮塞若鑿之可 達 戰 略寺 造字董大一 海 則っ敵 IJ Ħ, 選 之相 元木 康の百 再 海 營○趨 找 曳こ弁 巻えこ 來風 為0步 至黄 中 會 両 一つ講 艦 中の建 ツ兵三十つ ツ兵三十つ 而言 雨 進 持 乃 優の康 散 宫 并 忠 大害之處安選兵國中東西東西東西東西東西東西東西東西東西東京 東京町攻撃で大三千 変撃が新城や大三千 変撃が新城や大三千 変撃が大三千 変撃が大三千 変撃が大三十 変い かっしゅう 7.於黄天萬十八次 復 使蓬 流の前 復 艨 引 不 之の世 Í 我 荡。 艟 兵來 龍灣 融 徃 遜 舻 兀 忠 設っ素 兀 大 Ŧ 木 世忠 上, 破 來 分 伏o淮 水 艦 板 ·窮麼 豫 : 大 以 : 一 出 游 援 牛o兀 # 如 鏪 1111 出 引号欲 Ĺ ï. 之穴 頭○木 全 **外之策於** 飛 PΓ 扑 (撃兀 鉄軍 术 中 謂 以 求 25, 魳 守仍益兵守 次大破之 元本 次大破之 元本 船 共 練し江 乃 趨 相 Ŷ 闸 前 淮西 射之冗术亟聽 買。此 木 下 全 毒 道 復 枚 引還 次 以 是 日南軍 儿 所 推 大い九 數里擊 木品 會權順 · 食の果成の 欋 劚 計 鉤の木 共 欲北渡 甚泉 穫に軍 人王 忠真 컵. 筆文 使 継り江 准0奔 飛 斪 佚 姓牛 者の前、 育 窠 以 黑 o 五 帝

兀术遂濟江屯於六合縣 大演焚溺死者不可勝 兀术令善射 兀 不 卓菴 木以 岜山 攻則 岸兵入 閩 ΡJ 耐 Ŋ 自 亄 出 而卒為所 厇 麒 延 夰 氏 ٨]. 日登 耐 丽 策 日自世忠江 囚 矣 舟出江 Ŧ 卷之二 者乗 天 败 朱 - * 後 兀术 無 南親 製哉 破 績 八 出 風 然之、 百 五 海 Ħ 輕 世忠絶 Ϊij Mi 不 弁 江 ĴĹ 敵房在 逐少之况黃天萬虜技已 葋 可 舟、兀术豈 中之提世忠葢有 木 -1-上一 敗 以 数世忠佳以 刑 動 然金人 一世忠以 47. 授 火箭 派 白 提工 擊之海升 **首矣 又奚至** Ħ E, Ł 中使蘇 之神 射之、 能 以 以 ボイ 自是 飛 八 祭夫 火 千人 者世 烟 痩 身免奔還 酸酸 敢 及 徳 出 亦 江哉 出力 功 扣 能 窥 不敢 拒 風 無罪 用命 1 天師 特 įΤ 兀 不 黄 窮 也 踩 术 能 鍞 何

> 馳っ兵の賊 陽 宋高 栅 遊特 入の二の軍 相望、 魰 7 Πi 宗紹 įΙ; 颜者也 奇 1 對忠守 Æ Á ||夾字 ĒΙ 奪 豫章 计前 奪樓 卷七二 至 敗 华韓 ∱hij o之c格 與 移師 盔 の際の影響の 榅 破 忠 1 之忠 長 坚 旗 世 與. 沙 ij. Щ, 慶世 走 幸 大 小路 信 呼ご而の喜 : 営の碁 败 忠心 | 31 如意進の日 拔 餧 雷 者訶 飲o數 趙 以 大 堅っ高、 他 迎 胁 問 壁の捻 fi 面 jej 14 世忠先 不中日 然彩 所 伏o衣 兵c伏 動の商品 情 Þ 遺 # 騎穿 Ц,

騎竹 之0陽 病0等 指 萬、匹、 州の號 藓 目の時 備. 败 逐っ萬 方 劅 何 騎 飛○門 朱 £ こえ、又 皋 能 想の人 啉 不に日 六ດ勝 陽號謂 豫 擁 奼 李 寺 檎♡知 爲 入 国, 利 更(敝 成 郡の非 又 大年 紹 収 * 餫 平 陽小來 使 成 江 爲の言 干 賊の上 莈 欲 壓少 步卒死 鞭指 城 卷 4 徐 以 嚝 ቊ 遁 不ご流 恢い襄 自 天者 飛 阜獲 泉益 江王鸟年 騎 成 减 拒 渉の利 然 復○陽 嫠 此の害。 兵 左 飛 Ξ 後 中の國 西 4 迎 以 贵列岛 魱 兵 者 弊 嘥 彩 江○無 加 原の之 횾 德 喹 州。王 駐 無 共 左 鼓 先 如 莊 基の上 行 劉 飛 安。 步车合 數 是 飛 爾 |5ii 泉 軍 新 Ί 初 本の流 趜 豫 兼 貴張 野 以 岸。 装 飛 右。 粗 通 聲大小 成夜近飛 耐 全の不1 浙 剕 至 長 飛 當の可 飛 右 江, 登 以 **处近班送**□戰馬應 富復唐鄧 槍步平擊其 郢。萬 Ņ, 飛 超 渡 刘 殄 先の不 大 置 順 提問 长 咲 江 摹 께 挞 介、 取っ急 沂 使 平地錐 五齊 將 日、 崖 中 盗 六の政 帝 兩 ・時 步兵 帝 復の槍 流○帝 £ 死人 豫劉 郡○飛 T, 裼 李成 喜 刑 萬 襄○而 忠 傾つ以 飛 將 除の亦 夾 (陽)整 騎 泉 學 (陽)後 兵()十 杊 ij 京 幕○語 心 応奏 復 日 脸 一野の 堂 超 偈○趙、 膂の裏 乙 既 4又

上口だ品 古 湖点 大夫 餌 珑 以 宋! 不 示 伏っ萬 Ħ, 死報 # 四:至 步 冠 大 · 液 流。 略 起 ,失 티 就其可 知 丽 쇲 我送俗观凌授佐 奇 肝 逆 郀 Ξ įħ) 以 若與之戰必無生 璈 11-1 肵 貂 順者の 張 偀 賊 Ħ 任士安不 止黄佐葉周 ļ!i] 破 平 乃先遣使招諭之賊 乗者 橋 参上二 汝 水 北 賊 浚 贼 腴 똽 五 水 湖 次日岳侯忠孝人也兵有 以前公司是我的ORO等前司 走台 果能 不 以 年 1 奿 浚 H 安 鄁 誠 Ŧ 텘 立功。 京王 돰 Ż 軍 朝 斬 何 武議大夫單 言之易 軍 F 市 椞 併 þ 偷岩殺偷 大 一理不 習水 一度个 事 勸 封侯豈足道 Ħ, 召 \pm 破 ħ 以 者招之如 <u> 安</u> 至 极 しっ張 攻 水 潭 之 ψ 邚 鶭 大 有っ浅 奿 斌 州参政格监疑张 Į. ji 9 徃 黄 1 飛上其功 乘 ť: 定の屋 釆 攻 Ħ 前つ外 設っ名 幣. 佐 糞の防 rħ E 洞 £ 水 今年 福力夫 何, 深機 伏:太 飛鞭 欲 桜 笷 È Ħ, 庭 冠 凹 都の秋、 佐城拉 復進子歸 共和。 使! 岳誠 - 符 廂 督の飛 士) 尉 何 葪 맭 安つ兵 į. y D 能の袖 4: 初っ 忠气堂 飛 灰光 Ţ P 髜. 信の使 计是 ¢ 少っ小 楘 武功 佐: 必の號 枝玉 留の闘 急っ十

碎。| 身飛 | 湖 古 噗 之っ日。 其 來 Ł 令の全 梭o招 乗っ套っ我 诶 ₩. Œ, 方 入湖是一蒜劉詵 ホ Ë 喺 囙 縦:何 킩 派 之:共の短 惊大 老っ神 則 咯 伐 中 肵 而 Ġ, Щ 胡 ~ 夜を 4 君 弱っ也. 草木 TF-, 以 日っ 机 H 烞 샩 技 Ц 撑 4 榊 錦っ供 i: 翰 っさ FJ. 第五水 木 垄镇 軍原 平 Ţ 田っ請 水 巻とこ 微 掩贼替 設 内の助っ所 ŧ Ą 也 水 籍し降. E 月 輪嚴 黄 筱 E 共 旅 筏 泉 少っ 甚の楊 <u>+</u> 4 筏 徝 陥其 罵 壯っ九 东 飯 放 諸の腹し所 如飛旁 来 斬 為二二 4 日も厚の欽 楓 菌の心の長、 泉 賊つ乃の駄 数 不の役の怪 諸港 Ψ, 弁 楊 軍 十 쇩 7 不 浚 之 r 是 **M**o 果 餘 青 行つ首 大 \mathcal{H} 許 之非 置撞 萬. 萬 盡の走った 之 盔 Ħ 蔽 飛っ挑 义 八 なった。 Ħ 夨 叉 大 飛 降の歸の降、飛 用 挾 撃っ 以 42 Ä 許 λ 俥 而 Ŀ 親っ 4 何の湖の賊 逐 子 掟 行。城 R 腐 T 固 来の中の腹 îī 猏 如 ij, 木 A **不** 也の両し心 計 依 書 諸 Γ. Ħ. 觗 迎之 · 整 奔港 Ľ, 忠貞 ĤL 也 林 脹 潰 H 至 木 州川以っ用す 单. . 首然 4 矣 賊 方 足 拵 之っ欽 ЫL ψo 悠 ¥ 後の説 JI.

類推。 成功此乘所謂運用存乎心者也 兵擊其步卒今又以水冠攻水冠因敵制勝皆能 惟適氏曰先是飛破李成以步卒擊其騎兵以騎 雖長而無可恃獨計足輔飛所未及善兵者可以而觀允敢有長故宜避不空間者須陰制以衛使 以精騎直指其壘則破壞在目前矣飛曰善蘇此旱湖水落洪簽後斷江路崇其上流使彼長坐燈 是則未可處月勝且彼之所長可避不可聞令大 弻 為湖产進 剕 16 飛造角 拒 大 樓 船湖 忠貞全 秖 比.

21 1 2
東高宗紹典五年韓世忠 田田 八田 政 は 一日 則奉一峰 至六郎 一日 則奉一峰 至六郎 一日 則奉一峰 至六郎 一日 明本一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 明本 一峰 至六郎 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日 一日
世忠国進揚 世忠政政以脱於奇甚使富日俊善兵 東親掩擊金人敗去遂進兵関淮楊東 東親掩擊金人敗去遂進兵関淮楊東 東親掩擊金人敗去遂進兵関淮楊東 中忠 末投于張俊俊不從世忠勒 中忠 末投于張俊俊不從世忠勒 中忠 末投于張俊俊不從世忠勒 中忠 末投于張俊俊不從世忠勒 中忠 末投于張俊俊不從世忠勒 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 不是以致敵敵果至殺共導戰二 中島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島 大島
理世忠問劉豫聚兵進楊即引軍至六峰其舉二人遂進兵開張至海軍軍軍事 建立 其

古方 百つ而!忽 門 伟 نالا 냙 EI, Ŋ 不 餇 丌 Ħ 暴 ŋj 脱 鳌 4 有云口 ы 里っ進 7 如 #1 可矣 风 斥 并 月日 至っ間 有 机 凊 城で音 企 SE 蛒 及 沉之示 順の金 拔 敠 'n. 族 夢土 入 與 可;本 卉 ふ 目. 汗背 本なこ 乃朝 中 利 努 昌の人 坔 司 守一 不 な 赴 城っ敗 帳 Įр 力 尉 4 冇 富 ٧j 卒三千自 规議 携琴 糧則 焚 中ゥ盟 錥 無去意與家寺 木 戫 何 霜 弘 詸 南 為問探 吾家好辱敵手也 命 棄 : r L 日 n) 釞 能 報 \mathbf{F}_{c}^{-1} **#**: úÜ 2: 今 Ĺ 此 Ж 兵入 與君共守規 東 錉 賊 胨 苑 Ť 吾意决 東 ਜ 行 京 至是 ÛL. 于是軍士皆為 中 兆 步 亦 京 尣 城為 巴際。 連华. 將 也 沂 末 京 為 佐 捨 至 暴 兵 Ė 生 矣 # 釒 捕 江 守 北の土 知 敀 갦 絕 肵 老 祭計 日 胨 分 薪 議っ扶 į. 淮 Ρ'n 肶 μij. 有 命 ***** 陳 陸つ即 至 饼 . 槜 去 幸 順 拼 蚌 米數 男子 规 11 行0下 栺 渦 門。翁、老 流 삠 在全軍 忠門堂 見 将 合 ٨ 先の令 p , **5**.7 斬 滉 **"**Н, 戒 字单 萬: 셝 超つ兼 儶 구 守 舒音 恦 'n 惟 'nΣ 高 來。卻 Ť. 排

兀

ホ

走

诈

绮

赴

京

率

肵

部劉

Ŧ.

彦 大

A

字

Ŧ

三寸枚

轺 銪

東京

訓

省

守

銌

敗

金

٨

敗

順

直大豆 崩 ・見 圈:几 öj 쌨 者 諸門 城 下 设 田 粗 の 見 の 異 見 異 の 見 の 異 見 ۳ Ú 王烏 負っ當 戦 于 犯 想从 Ψ÷ 辫 充 ŀ 金兵益盛乃 júj 方 至是* 替っ央 愛者 柭 芬 城 滁 全一問罪 涎 攻 账 金 舊0 図 营 之百 苡 脊 壮 者 垣 人 伙。 以 果っ 匝 灰 礪 電電電官 **发** 士 止中 軓 門 ぶ 許 뒃 掎 兵三萬 蔽 丽 剃 破 Ħ 殱 <u> 1</u> 爻 呵 斛 沬 清 袻 敵 全 之· 賊 餅っ 百○移 夜:砦 燭っ如 躯 Ż. 胁 赦 垣 <u>ス</u>ニ 葃 产 不 籽 垅 時 争 立 全 Ţ 市 IJ. 計 無 黻 酸 與 Ľ 阿 外 肵 功. 呼 井 枚 ķ 研α特 砹 不 鹌 垣 近 龍 黑 渉 有 造 蝗 胩 į. 見 بل. 共っ李 共钱 前 中 用 爲 虎 等 . 額 民 凝 宇 Ħ 土 + 誉っ村 破 以 陳 三人 绮 大王合 闸 稆 車 備 平 電っな 折 문 脐 敵 \mathcal{T}_{t} 骅 敵 俥 全 至數 12 Ħ 里。女 數 专。 止っ戯 11 城 稍 人 城 μ° 城 1 輸 燕 ٨ 此者。 為 舒. 二十里特遣 家悉焚之。 天 - -却っ異 兵病 縦 築羊馬 而 T_{2} 栜 欺 可 · AMORIATI 天 旨 ここ 復 遂図 45 復 刀 全 埋 忭 我 募 イン特 大家 + 以っ神 Ŋij 城 三路都 城 绮 人 癸音 百 紀4 人 下, H 梦 ኘ Á 城销 動っ 垣 上 於, 字 Ť ~ 強 附 ŧ. 垣 仌 東片 經畫 绮 叉 城。軍 令 為 妄用 往 3 四 駹 Ľ 激り等。 Ą 奖 統 - 垣 敬 號 炸船 或 起こ将 174 全 軼 华山 為 閉ざ葛

耳っ果 小週放放 ։ ե. 之用 河。退 勢其并全军而與 上、主受之九 并不叙 劜 Ð 钪 巴拉致 硊 儲 とうとして ٨ \mathbb{R}^{2} 汝全點 Z Ù. 췖 批 ボ =**7** . [발] [편] Ph) 木 苁 不 我 7 Íī. 売をと ķiń 至 'n H, 之 使 如、 | Fi 軍 뱱 Ŋ Ér. 城 \hat{E}_{η} # 造 协 城 明 何一幹 整 目 将 兀 聚c 東京 JH. Ħ 下 以 п 如前 女 方振級 人心路 朝 H 求 全 責請 IJ 爻 H 绮 別の影 作問事 計或 廷養兵十 在 1 靴 1 1 兀 į. [4] i it. 益 夹 畫 # 术 k 泉家 باز عاز 1 ,汝 圆 不 **表** 超 11.75 *.* 麥師東首 Ξi. 提 惟一浙二一 jIJ 4 能 .1 平) 動。存 年 。 當 電 電 重貨身如 11 敵 太 É 源。 尉命 33 4 ۲į. 國小共。有 英 之 後 進

数萬 Ŀ, 平地 吸之 遊 拒馬 人 休 待诸 古 無の元 錐 果 游 尉 劣 ķ ľ. 业品数 方 カ 能っ木 凋 為 袻 非 能為矣時天大暑敵は不精兵尚不可當法也 竹 方 水 Ŋ - 71 表氣 略 Ė 酋 <u> 1</u> 死 大 侹 、人 赴 大 Ī 夭 妹 飯 水 各 洋 請 毋 斧 清 草 jķ 沆 銌 戦 尺 牡 岩 飮 橋 Ħ 聢 犯一西 卷之二 紋 佺 14 凉. 书 于 1 木 : ·可却官軍以餘標去其班奉六一一 〇聖計其又第四天是四天軍以外之人 東京 無遇 一步 明用 拒馬 極之 遠 之. 號 入 PJ 拔 明 輒 叉 几 部 河 瓡 日, 兵不 病。 銰 木 枝 Ц П ìŕ 貌 泉請 飲者夷 ;P 浮圆 磁 液 ¥ < 尨 制 ΕĠ 往往国之銷士氣閒暇軍敵違來疲敢背夜不解甲 常先撃草府軍の Ĥ . 木 動、 一旦 書 不 不 伙 下 **令**o 戴 兡 校 4 尥 逮 其族 分 管去 左 鐎 釆 Ö 未 i 34 右 串 η. 備 ÷ 申 上 敵 上"月 流",府 Ħ Ji1. Ŀ 錡 伙 助 K 用 可り B 遊 費以幸食三人 以 庆 ij 元。绮 术。门 11: 長 及草 願の 兵追 id id **山** 匝 不 . 11/2 ر آرا 11 木一動 特 膀 佾 敵の 男女 級長第三 疲氣索忽 ïij い食の 軍 中 忠詞 芡 赃 Ξ. 嚴 羝 進 子 死 音 J 4 则: 錐 筚 陣 $\mathcal{F}_{i, c}$

翋 古方 燕之重 食品 安ヶ自さ忠立西 後 者調是 逐 Х 聲い所 74 が、氏 人に以こ義の京 乃 哂 而 為 不っ殺 Fźź 分 略有 被 作馬木 · 娐 楥 迻 強 絶の Á 19 者一十 軍に取り鄭 市 自失 時諸將協心 寳珍 萷 £ 用 拐 **L** N 洪 至中的 長い河の額 賜 子馬。 皓 損 自0七 梭 参之二 罷悉 不い驅の東の目 + 飛 Á 札 普の以立比し陳 食民可 똧 用 旨 K入 研献 叉大破 hand constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of constant of c 金客奏G 族い間の州の曹 Ħ 徙 Ļ 힏 楊 支 (以來) h 老の中の縣の光 냁 分路追 而 真 ん焼た方の 以び原び交び祭 典孟 借 扎 北 A 意欲 州數 路 示の特 遊の諸 也 顑 叉大破之元术 拒○ と 先 試 無の發 力 兵の郡 那 目為捷全人震恐丧 Ó 漿 客に東の又 捐燕 諸將 1 志っ 是 则 傑本實等 Ī 長 復の奏の接 特敵 使 IJ, 劉 兀 前 和 **陣之少** 勝 委卿 合い 錆 术 之罪 ffi 以南桑之故議 鄆. 至是亦 遣 占 奏 告急帝 F] 枝 專 意っ正っ 办 胼 (渡 榆汴京可 旨 Ŧ 靡 休 17, 不 . Ai 忠真堂 頖 鞭之遂 Ħ 茅 城上 攻 Œ 本へ郭し科 っ 経 所 敢 堅 泰 以(治)合 略 侍 纸。

女方路 卿李若虚); 前 拨劉 莫測 紹與十一年優等言于朝 卓養氏日按銷自順目之徒張俊楊沂中於 **散論者調規蓄積素於功亦不可沒去** ŧ 中有米數萬所足為守禦之藉鍋安能坐推 以 Щ 錆 前 未 ii. Ni 启 疑 栖 圦 恩作獎南 不力戰秦槍信以為然遂罷鑄兵命翁 B 敵 E 詣 春艺二 不批 Ĥ 乍 Ŋ 斫 舒兵智 飛 t ıĮι 整 管則 營諭 惜 Ц. 派 騢 出之此其所以 哉 枞 痩 吹 錯 枮 朱 并 以來 H 똮 **鄂聲接戰** 班 君臣 将 莫 師。 指 主德 11 口准两之役岳聚 炉 揮 之終 和 所 如 则 伄 春干上 意擎 則令勿城皆變 ネ --為奇界处非 不 悟也 Ļ T 樱 分为人 諸将 [1] 35 4.4 兲 ズ ネ Ų. Ü 嫉 抓 兀 赴 非 护 . ali ŽΟ

死之獲尸焚之四 橋戰與之戰殺二 要 戦 敗 の 兀 破之兀术大働 師十二萬 女雲與金人戦數十合金尸 の 役益兵而前 足拐子馬 鄧城飛進子雲領 **罵之. 兀木怒. 合龍虎大** 出戰自以 宋高宗紹典十 併力一 必の末 握い夜 張左右翼繼之殺 飛撃 攻○遁 大 戦飛聞之 八卷七二 連、一 村 額の追 7 無 骑 亢 得の二 炮戰 景の奔 Á 駐郾城 日百海上起兵皆以 术 波っ十 **以**四 領楊 馬仆二馬不能行飛 于 の族二 年は一人 及萬 於城 复○五 日金人枝窮矣乃日出批 źß 41 + 兵勢甚銳兀木大假食諸 兀 騎突戰敗之兀不慎甚合 扎 大 木 雲以 飛い戸 Ŋ 布 7 其っ天 軍 媚夏金吾 痛○撒 野、 入 陣で大 於 大王及韓心 騎兵 借 o 八 甚 o 千 陣 分介 (1) (1) (1) (1) 兀木以 戒之日不勝先のののの 額 騎週之干小商 此勝令已矣囚 .4 八百 兀 謂子雲曰 張窓鄉 戸百人一再典 套擊 杉 果至 挺前 100 叉 遂大 至

校為是言使將士知不勝者斬各於彈爭先耳觉	古方略者 卷之二 大 忠真皇 近此岳家軍律恩意飛當時益過料雲之能勝敵	東自成四十騎或三百騎或八百騎或五百騎皆飛散隆臺令行視諸陵葬治之飛散隆臺令行視諸陵葬治之飛散隆臺令行視諸陵葬治之
---------------------	------------------------------------	---------------------------------------------------------

さる 諸意り城、 胏 排 使①來 勇。 # 高文富 뒓 Ä, 不可以如CHTTC是C表 釋 歮 ₹. 方 之 (婦 德 殺む旬 城っ守 起 栁 **凤○**者⑴意 罪 人 膀 妣 門,勝 應 د کاآ 豜 遭兵 益 渝 令 并 強の勝っ不 得 M_C 殺 募 後 4 . 紹 勝 英 o 殺 之 o 一 精の兵 Ä 加 女 湬 月0城。 Á ٨ 海頭 걩 捕 鵔 特 倉 ţЦ 1 金の外の 卷 是 专 墹 州市 及 聚義士三百 海 70 胏 庫 悰 及 复 同の人 箭 軍 腾 泂 總 ÉP 捆 管李 膀 益 犒 仁 州 盟 奉 ュ殊 膀 北 卧い經 **₹**0 \pm 特 芽の戦 沐 Ξ 信3旗 起の書 年, 퓻 PE 迎撃走た Щ 彤 か忠義以園になるのでは、一分忠義、 山陽 寶承 7 菄 陽 Ŧ 持山臓り 東 共っ市 獨 金 東海 餘橋 文富 餘 成 盟来 囍 飲つ易 比 Ī 率 兲 ltt 食の課 渡 及 制 無の烟。 文富っ 全籍 肵 諸 追 者 准 央 名し火の 示っ酒 17. 遷 泉。 収0士 後0為 縣 其子 至城 部 與 為 以の椎 勝 都 取 得 7 旨 民 । 兵っ疑い 不っ魔 漣 諸 于 夘 金 定 遠 참 餘 安 及の兵 T_0 妓の士 水 路 亦 州 軍 さず 安堵 仁率 文富 知 甲 ٨ 近 本コ叉 周の卒 軍し民 **-¥**c 宿 朝っ使 海 75 其o有 当の為 數 直の開 粑 患 遷り 萬。 入った 律 負 州 布の兵。 牙 覧い人, 閉 貧い自 蠲 如 ٨n 沂0智 明 租 故 兵 大っ向 堂丨 門 奪に北 朝。膝 親う

Ħ., 全 攻 + 全 見 甘 城; 勝い蒼 大 水 咸 胨 耄 益急周 分 中白 方 陣 勝 赴砦 芭 받 勝 μ́, 、欲 扎 全 E, Ü 败 帥 幣 屰 兵 # ıþ 関 耟 摐 者 釒 來 兵 ıЦ 枋 殺 金人 共為 矢蹄 復闖 λ 奇 路 艍 比 死 四 食 兵 數 一附、 出 鎮 末 乾 往の十 安 仍 回 果 μц 目 膀 國 迎 卤 我之時 И, 巷 如 劣 攻 解 糒 步 戰 将 萬 撫 架 傳○馘 o n Ż 答。 老二 也。 此 膊 遁 蒼 祈 柊 機0千 制 殺 全 去、 胏 4. 乀 聐 Ŋ ٨ 置 嗣 匹 勝 招い人 伙 Щ 夫 単こか 募 砦と 身 使 是 度の馬 <u>.</u> 匯 渝の陥 於 ころ 士 騎の山 - **K** 声 倡 Ħ 共 - 飲 無 蔽 百: 結○三 徧 監 平人 義 久。集っ百 不、以○人。 爺 登 必 較 騎 面の下。 新 Ń 敢 障い海 當 + 般o金 圍 以の州。 州 城 楯 復の勝 之數 以大 Ξ. 件 以 槍 人多 縣 栎 攻に黙 者. 下 待の軍 友 胃 帲 禦、 海の騎 城 Ŧ. 泉 進 全 攻 Ŕ 景從 車。 IJ 伏 ń 師の益 Ŧ። 州っ面 ٨ 刄 矢 猕 百 · 奮擊金人: 勝 乒 大 矯 石 衦 出 滕 之0振 鹏 関っ雨 又 札 勝兵 者 Ž. 圍 表 至0山 制 伽 出 間の緊 + 出っ作。 进貨 數 全 笶 戰 攻 ifr Á 雨 兵 急:民 鼓 者 놥 砦の金 四 題 之發 絶 靝 干 撃0望 伏 捷の超の人 其 追 in 於「壁」 異っ販

七方略寺をそこ二	請養聲先路也此後勢如破	親勝起兵人皆智應全在宣布總意不受一人所師以荷安旦夕錐忠義尚在人心亦惡足恃哉	所殺至是時金人将入冤徒借接于匹夫勤王之精忠如武穆捐驅城屬恢復直指顧問卒為賊槍	自壽春來題部為忠義都統制関者義之然先是方礼定泉庭諭以紹興年號道人入朝奏事未發
三起黄金	竹のイギュールル	中意意不设一人所入心亦恶足恃哉	信接于匹夫勤王之 正指顧問卒為財格	制聞者義之然先是近人人朝奏事未被

岸の髪の河の揚 才高 王穆道錢鎮等放之蘇州有水通城中淮南軍張 行入城故以竿觸 人船不得進退爾死者甚泉淮南兵圍蘇州美越 使習水者沒其紙下繁以銭樂急引輕加拏之吴 發樓船蔽川 勝美又非獨沉敵丹而已周師攻吴壽州吴人大 穿恐然不可特緊調之無處非也 方路寺へ春七二 惟適氏日欲鑿敵兵先夏泅人則因變出行行 以の読っぱっぱ 舟用夾底無可無處恩意善擊者一底穿夾底亦 防鑿之術全在警備局慎使鑿者授無所施或言 芭山氏 **縱鈴懸水中魚點過皆知之吳越司馬門** 把の其の把の建 劉 た0升0金0大 绮 紹典三十一 曰整丹須出敵不意敵少覺則無濟矣 扼 全 而下泊于察酒周師頗不利死末德 師 制敢開鈴聲速奉網落了 忠員会 4 0 Kc 河 清の清0至

	i i	i .	£			
	1 1 1		- }.	.11.	# -	mt li to t
1		ŀ	7	100	* # 1L	作すすへ
			略	又	煮 百	惟皆者入平非视城
!		ļ '	奇	Er.	結 人	H 海 → W
	1 1 1	j			At de	日潜之。 無行或是
				A	庇 告	燃 仃 攻 足
			*	室.	潛用	卷不机城
		İ	方略奇	此又兵家室旅計者也	行苗	惟平日撫養練試如宋趙善州知鎮江皆非潜行不可要之縣募四人與臨渴者觀之或机敵使不得進退或給敵使入城縣是城中號令與後兵相應敵以
		ļ			1 6	サクト 17
	j		-	į PT ,	か ま	武安 伙 號
		ļ	'		凡 况	如石不全
i	1 '			#1	數元	宋 驻 4 6
			į	ريت	88 Ab	北 古 沿 松
	1 '	i		!	王 汉	班 暴 进 传
	. 1	1 .	,	j,	一粽	暑 泅 匙 兵
. :	· i	1 .	1	1	月 祖	机人走扣
			, [_ !! 	(iii) (i) (ii) (ii)
1			1		149 有	秋 英 新 陈司
		,			急・戦・	鎮臨散敵
İ	1 1 1		皇		自选	汀 湛 传 订
·			-		4年 シ	# H I W
				1 !	本 人	水 出 し み
1	1 1			i i '	為 議	浮 并 得 神』
1 :		i l	真		吾 軍	永何人会
1			中心一种心理	l	藝益精能潛行水底數里一旦有急自樂為吾用五百人當用黃金沉江使採得者報與之諸軍水	惟平日撫養練試如宋趙善州知鎮江教浮水軍皆非潛行不可要之縣募四人與臨涓福井何異者觀之或扼敵使不得進退或給敵使已得入城入城縣是城中號令與接兵相應敵以為神合二
<u> </u>			<u> </u>		[МС, 11 і	平

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				_	
古方略竒卷之二終	· 夜 本朝陳仁錫云可為權變師擬非己山氏曰兵能道也再遇三事皆以能勝	失。 一人不覺為空營沒相持數日及覺欲追之則 在職於營并轉生年置其前二足於鼓上擊鼓 生於一人對鹽度金兵至者目衆難與爭鋒一夕枝營		「MCKCKCKE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE COOCE	行財薬鳴鼓金人驚視巫放水櫃後知其非兵也行助のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	宋寧宗開稿二年以畢再遇權山東京東招與畢再遇給敵
	其倫語	則 鼓 管土	大学が分	章 皆 上o且 被 後o前 全食o前。且	兵也, 最 立成 で 権取 成 の 膝	· 提 。 司

計壹卷



本衙藏板



誦 趙 君賢相上智爲間功乃 公 爾 孫 世言問多功鮮敗不用間則亡 古方略自序 方 故勝李廣不擊刀斗數遣 聽 則伊吕汋諜者流而湯文尚 武 也何言之誣與或又曰秦繆 赆 白序《間一 内史廖铅 柜左車周叔策 曰伊擊間夏吕牙間商 清虜亡所掠去顧子 由余 淮陰間 以間 可成果 戎 忠真堂 間 知 明

一方略自序 間序畢 離 任士夫國無心膂之臣衆叛親 之善兵者多間詐敵孰若 季父夜馳告張良以實絲 燕 間 而欲間為吾用間豈足恃哉 耶 楚亞父楚方擊沛公而 王任樂毅 間二 新 安余懋衡書 敵 間無自入陳 推 是 見真堂 推 羽

間者四其官人而用之及間者因 有 |之主也故 之情者不 古方 密於間非聖智不能 者反報也故三軍之事英親於間實莫厚於 是謂神紀人君之寶也因問者因其鄉人而用之 先知也先知 日費千金 採 問者為莊事於外令吾問知之而傳於敵間 内間 度必取於 Ħ 子曰 相守數年以爭一日之勝而奏爵禄百金不知 略 間 有 武 之實徵哉微 明 内外 與師士萬 久 仁之至也非人之将也非主之佐也非勝 《 朱 こ 빏 者不可取於鬼神 人知故之情者也 君賢將所 有 **轻動** 点於道路不 13 柳 用 間 出 有 間 Й 征 朿 千里。 非仁 動 4 州 游 所 삐 而勝人 不 表 故 不 百姓之费公家之 張自 Æ. 余懋衡 其敵間而 用 不能使問 剬 刑 可泉於事 得操事者七十 間 成功出於東 供 삚 列 也 世 有 莫知 間 £ 定 輯 有因 1 間 也 用之 夵 忠貞 微 其 生 判

間 使 之故死間 $\overline{I_0}$ 兵之要三軍所恃而動也 因而利之導而含之故 弑攻人之所欲殺 人之姓名令吾間必索知之必索敵間之來我 得敵 椚 不 舆 .
先問 得敵之除計懼 間敗吾間 孫 汖 方 在殼故 不 加 武五 略問 足 可不 期五 振 X 蘇 恃 W 之所 為許 'nͿ 才 也 基 明 聞さ用 厚也苦殼之與也伊勢在夏問之 間 Ħ ŀ. H 為維事 一年こ 枚 綱果 偽示 不忠 À 夫 君賢将能以 之事主必知之知之必 ij. 亦 Ŀ £ K 所 智 共歸 間 用 丽 者 灰為敵 将 鲱 可使告放 必先知其守将左右謁者門 告 施道 老 Ž П 빘 Ħ ıĠ 者竹 于作 非 偽告我三數也夫用 拃 于許 F A 芨 找 信二敗 用 Ł 也 骐 血本 間 死。 是 君 Ī 放能 冈 智為間者必成 可 Æ 成 輔 敗 И 负 則 Ŧ 是 得 事. ŧ 丽 料之所 **包受吾財而不 以間勝者亦** á, F. 之所欲擊城之所 而用也 門曲 千穴 在於 不得敵之實。 利敗 1 知之战 逆 上 败 則為 发 亦 因 智子 長 典 叨 必 大 間 生 , is 是 T Į; 굶 或 炼 功 也 故 問 闘 甬 而 īĒ

卓養氏日間雖不足特然所云取于人知敵之情 也但知敢之情空别有道未可專特間耳 者萬世不可易不知敢情而能致馬者吾未之日 世山氏日泊治甚確然錄此于監部者非謂問 恃也欲使後世知五問非兵要再 准於進兵之謀決為呼是亦問也 足

者盡創背怒堅守惟恐見得單又縱及聞言音煙燕卒置之前行即壓敗矣燕人間之如其官城中見降 齊人 從城上望見皆涕泣欲出戰 人獨吾城外家墓可為寒心燕軍盡指家於處死人。 約束必稱神師乃宣言曰吾惟懼燕軍之朝所得亦 師事之卒日臣欺君田單日子勿言也因師之每出 城中縣人惟之田單因宣言日當有神師下教我 單令城中人食必祭其先祖于庭飛鳥皆翔舞而 予 口 形 可以為 師手因及走田單起引還坐束 怒自十倍日單知

者斬之自是英敢彼有謀者及船王張惠王立惠王 樂殺閉齊即墨期年不克或說之于昭王昭 HJ ₩. 圍 破 jul.

£ 引き 楚而高祖

摘籍之計定左車周

私不 AH

于超魏

子 32-384

H

思真生

古方時間人奉之一

騎劫代將而召樂教樂教知王不善代之遂舞趙 將之來即墨發矣惠王問已疑樂毅得齊及間乃 王齊齊人未附故且緩攻即墨以待其事齊人懼 王有際畏誅而不敢歸以伐齊為名實欲連兵南面 燕宣言日齊王已死城之不接者二年樂殺與燕新

走至 臨 過 聲動天 所觸 ħ 隨其後牛尾熱怒而梅縣軍班軍大驚視牛皆龍 餘為絲網衣畫以五采龍女東兵刃于其角而灌 乘 行 城っ伍 東華于其尾绕其端鑿城數十次夜縱牛壯士五 家熊將大喜許之縣軍益懈田單乃收城中得 <u>d:</u> 開戸後 牪 夼 芭 或 ìН 城邑皆 ī 17 日 河上而 盡死傷而城中鼓誤從之老弱皆擊銅器為摩 之間 畔 益令即墨富豪遺燕將曰 地跳 惠 氏 窮奇正相生如環之無 怒士怒牛皆以譎 П H ののはる間、虚散 用 如脫 Ξ Ęį 單 叛 《答え一 齊七 热復 妧 司馬遷云兵以正 為安平 軍大駭 身 樂教行 材 敢不及拒其 + A, 食黎士令甲卒 版 贷 齊. 鈰 敗走齊人 老科皆〇寸 冇 城 田 也鈍 用之于〇玄则不〇足 张献 共 計 ij 禁 灰 挻 Ή̈́ 켐 田單之謂邪愚謂 端、大始 马乃 盆多 合以 奇勝 殺騎胡。追亡 即降顧無虜掠吾 1 耳 皆伏 夲 非果 乘勝莊 迎 分 如處女敵人 裵 功 使老弱女 善 Ξ. 妻 逐北。 計 さ Ŧ 忠貞 П 妾 足 者 į, 敚 民 楄 堂 出

古方略圖人祭に一 + 拠 Ţ 通造土丁楠之代去紫密綠石挽族 通典别将馬覺張正分道出期會于晏州·漏等據 **酋卜漏等及詔簽陜西軍三萬以趙適為招** 天官時日亦猶此也〇宋根宗 破單于是以火牛 異焉又宋 確 製蹈 單為燕所圍單命一人為神拜而祠之神言燕 日 以甲子日 勝 頭束 箾 **辨大图其山幅** 負绳梯 ı Ŧ 我往依亡果克之縣此言之可廢明矣然而 种友直所部多思點上丁習山 敗清者悉赴之量石樹櫃以守通軍不能 北 麻 雞鳴 登姓赖乃 作風灌以衝蠟縛于孫恭春夜復造 武帝以往亡日起兵軍吏以為不可帝 典天官時日甲子一也改亂問治典亡 術數廣之可平日科以甲子日亡武 逮 栖 語ざ方 友直 秱 起數 出擊無大破之此是兵家能道 其 等 縺 略 奇 梯 忿 百何林等深密諸村團 不以 Œ 引下人人听枚字条獎 Ì 相 拚 為奇但 **生**。 7) 政和五年B州夷 非 斧穿等入及版 W. 而上得 除而山 六 M 概遷之言言 忠貞堂 間類甚 奪 多 討 土 藪 110 進口 夷 使 耳

古方降間一彩えて一 青霉碱 惟適氏日宋高宗時王德討邵青于崇明沙謀 此 栅出 用古法非益發化出敵意外徒自取敗耳宜以邵 軍持滿陣始交萬矢齊發牛皆返奔賊泉磯馬氏 **賊將用火牛總笑日此古法也可一不可飛合於** 地勢稍殊耳 贼 軷 卽 赴火堕堰 發販 火 田單火牛 號呼奔撲益點火盜城官軍鼓謀破 死者不可勝計 之法但單用之干易通用之干險 轨 狂 朓 岋 魔舍皆茅竹孫 生擒下漏安州平按 A

其太守為華陽君以千戸 4 紀泰兵日進韓不能應不如以上黨歸趙與其民謀日鄭道已終王度河 今系接野 乔武 原君請受之王乃使 平 盖得謂之非無故哉不如 古方略問人なと一 拜歌之大王趙王以告平陽君豹對日聖人甚禍無 竹安于趙不樂為恭有城市邑族市者 城北半 四 乃遣使者告于趙曰韓不能 必攻之趙被秦兵必親韓韓趙為一則 竹盆爵三級馬亭垂涕不 利難強大 不人于秦者欲嫁其 故之利王日人祭吾德何謂無故對日秦蠶食韓地 而食之也後泰在底 絕不 走 超越康 令相通周自 6 不 白起 削 頗 能 軍于長平、 得と Νį 平原 す 対 禍于趙也秦服 il長王乾龍 攻上黨板之上軍 為生而受土心也韓氏所 都三封其縣令為 耝 i). 見使者日吾不忍賣主地 往受地以 守上黨入之秦其吏民 ήή 勿受王以 j. 樹 儿 劳 里實 能得之干強大 告平原君平 ŋ 萬戸都三封: ٨ 以 ,以當秦矣 趙受我秦 而趙受其 按 忠貞堂 旅上當

常 灰~ 赸 春 IJ 楲 in 不 5 示口作 對 魏○之 璐 易 焚 媾 枚 使 2 更 ヶ 天○在 耳 楚○軍 使 也 使 目、 抾 泰 £. 下♡素 咯 Ŧ, 筄 魏○矣 為 春 拈. 且 不 數 ĎΙ 天□矣 [3 必 未 受○錐: 媾. 間 Ť. 샃 不聽初 老 降 之所畏 弋 败 媾 下 夫 不 媾 之の往 O 請嫌。 膠 矣 怒鼓嚷 趙兵廉 枀 見の鄭 得 于 死 7. 椬 趙 地 P 王の朱 媾 秦 汽貨 植 鼓 例 £. 11 之の貨 而 也 秦 守宝 赲 。 横○人 一人 一人 括自 ί'n 瑟 送 **段馬服** 之應在又使人 版 质 軍 发 Ħ, £ え 地 $\hat{\boldsymbol{\mu}}_{\alpha}$ 栫 Ж 坚 矣 破 之 剔 7. 小 妝 47 枋 矣 旣 春○春 Ŧ 之っ聽 制の模 \pm 吉 能 壀 徒 掂 君 不 必つ王 何 鄁 媾っ昌 丽 合っ不 龙 ۶. 鯡 14 能 1 掛 东 . 不 ′ 應 刖 虞 者○歴 從○如 14 然 救の侯の 子 飮 Ų. 颉 天下 橌 趙 果 卿 媾①祭 在り刺 伐 **不** 푨 挝 ίį 料, Ŧ. ∵雅 尨 法 Ŧ. ÷ 日: 乃○使 泰伽前 扩 本 哥 奖 醐 枯 ſ 必っ之 春 IJ, Ц 可の以 鄭 趙 豙 Ě. 天 書 顯っ質 将 爁 个 知 內 成い重 扣 頗 朱 Ħ. 思貞 括 枋 下 傳 將 夭 重○戰 也の實 如 J. 失 袻 獭 鵔 英:不 之○勝 期 雅 耳. Ŧ IJ 挝 ť 7. 朱 Ŧ. 破 殸 以り着。 矣。不 **並** 加 Ŧ. ¥. 娸. 之 1.

兵の絶の之 趙の奇味が 出 全帛 敢っ 75 乃 有 異 括 賞賜 奉 扯 及の自の趙 軍の兵の許予 娦. 泄。 万 肸. 7 Ċ. 飯 不 糧の如の戦 二つ悔止 鉄 武二 稱 而 分つ 略 使: 願 歸 旦 者 町 食の河立不 奏 歩っ 武 而○萬%計 1 妄 Ŧ. 蔟 為 進 盡 為○五 汶劫 師 君司 安 誦 承 秱 勿 内つ 于 將 IJ 食 Ŧ 尬 之世 武 Ħ 君 無随 谷っ 因 遣 家 箅 者 1-1 趙 之 楚 握っ 安 者: Ä 民 🗅 築 Ŧ 軍 而 鄊 И 侚 軍 Ť) 絶 括 君 于 ٨ 年つ壁 ・支士大 斬 上 生 日 П 而 + 从。 者 釆 亦 十つ堅 絶っ趙 作っ 赲 枚 迣 將 毋 朝 覛 數 對 [必 艨 九 **.** 楚 趙 五い守 敗っ 拵 軍. 王許 置 便 軍 腁 EJ 枮 英の安つ章 之吾已 安 Ž Œ 而 杆 越 以り以 歪 而 利 吏 夫 友 始 也 值 後 蔽 上の待 井 走 事, Ŧ. ٨ 之泰王闡括 囲 無 炙 者 奒 及 ع 出 张 悉ロ牧 叉 悉 戲為神 Ü 宅 命 敢 \$ 以 枯 食 請り歪。 ₩. Æ. 决 更 可 仰 z Ħ <u>#</u> 将 请 1 W. ų, 長○秦 ŢĹ. 訢 約 矣 Ħ 视 Ħ 數 솿 行 Ŧ. ħζ 料 莱 平り 為馬 Ġ Ή 東 毋 者 之者 **ぶ** £ 脖 ħ 弱, 7 渡つ 岡 軽素 机 IJ Ą Ľ 因 Ţ 間 及 8, 唇 忠清 為 絶○趙 不 咒 軍 兵带 却 之 Ŧ. 家 日。 捈 將 1. 也 王 壁り得り **事** 中 :趙○食。 ١į٣ 火 İ. ٨ 甝 飹 肵 枝い道 問っ人 儿欲 吏. Ż

若奉 安君盡坑殺之 卒搏戰泰人射殺之趙師大敗卒四十萬人 來攻壘欲 矣齊王弗聽趙 義校亡國威却體秦不務為此而愛栗為國計者過 Ţ. 下方 世山氏日œ 計不果行 破 側 有如括善言兵亦未有如括大股者也括虚談 怒不宜令人窺測即此可推 頗而應侯之間入非間 戓 如等情知之外至敵 用人之失天下之人 歸趙此非得脫也起葢欲歸者言泰之兵威以 日四 野間 然之一 漏雞大 趙人之膽 ネ 可用 行、 + 出為四隊四五後之不能出趙 惠王疑樂毅而田單之間入趙王恕 餘萬人皆死而獨 П 料乘 亡 其父知之其母知之就之諸臣酌相 軍 釜然且 食絕 趙 脉 明 取 四十六日首內陰 國亦知之獨其主不悟雨 核 IJ 皆知其 八趙高義 邯郸耳為 患及奔楚矣妆趙之務 術工也自聞耳凡人王喜 遗其小 不 〇歐陽脩云當時木 叫 也 却泰 ilii 應候所沮故其 十一 忠貞堂 者二百四 椡 括自出 師題 桕 其主不 皆降武 殺食 名

下方外間へ名こ 為尤劣也 故六國惟韓最 以小利而嫁人鉅禍趙獨何心能復為韓屏蔽那 約交不過微俸級且夕之亡耳而不知地盡力 舉不特無制泰之力,行無制秦之心其所以 超因思矣而韓以鄉國為壑庸獨愈平且韓為此 堅僅待救齊楚赴之而韓不一至卒致長平之敗 以當秦矣是飲合趙以攻秦也及趙以上黨被兵 卓養氏日始韓以上黨委趙周日與趙為 数也思謂後 者莫天之患也 世用人當三復新 先減趙次之益二國之主視前 Ħ 世之禍 ÑL 脓 古 新此 十二、忠貞堂 礼 不 則可 呵

子 32-388

具以 日 页國之王難與守城囚殺魏豹。 左. 為亞 漢王摩楚 亞 楚 百万季問 項王不信不宜 至漢陳平使為大年具舉進見楚使即佯鷲曰吾以 二千餘人被甲 世山 粉出 問 臣請莊楚 솿 团 下、笠盡曲逆侯力哉〇魏于謹皆為賊所聞以皆 漢王 **乘毛羽辔也在采即車首毒又後到及天子車** 報 陳 氏 馬 項王項王果疑亞父亞父欲急攻下 m 門 Ŧ. 平 水糸ス 楚皆呼萬歲 安在。日出去矣羽烧殺信問 楚王可以間出于是陳平夜出女子東 四〇〇〇〇〇〇百年第五月將軍紀信言于漢王曰事 於柴陽 3 日紀信証 間 近去令問苛魏 楚 楚 以 捌 囚 為謹也哲爭逐之謹乃得入塞此 肒 楚奇甚原平特用請耳漢得 174 之城 S 面擊之紀信乃乘王車黃屋 先識乃使二人各非一馬 東觀以 豹 衛左方上注之以黃猶為基泉 擬公守荣陽羽見行 以惡草具進楚使 故漢 背 樅公 王得 西省 · 祭 陽 北月産 目 真骏 相 食 天

> 古方略問 退兩端不敢數出矣按此亦及間之法 商左遷于廣西楊文獨守遼東蘇是人 于楊文極稱其美于是二人皆以間 其国與楊文書達于吳高甚毀 謀去吳高則楊文不 海普擾永昌吳高雖怯其行事差容楊文組 雅適氏 一人自 紦 信 EI, 大大 本 地耳。 楚 朝 駱 ō 成祖謂左右 但 足成乃造人以書諭二人 信 忠 果 欲 七日選東 **奉之與具高書** A, 漢王 十四 Ċ 建文果聚 地 疑求 祈 則

于士 帲 古方 關 + 民戦自 載 王首謀造漢令軼守洛陽將軍鎮孟津俱據機 已危而以伯升之死心不自安乃報書曰 馮 変 **技上黨府城又南下** 異遗李帙 以 啉 鄉 与名属下 會思成断金惟深達蕭王願進愚策以佐國 丬 光 河南 [n]通書之後不復與異爭奪故異得北 武 林太 門之發人刺殺軟练是 <u>ri</u> 其書符守慰當警備 太守武勃将萬餘人攻諸畔者異與戰 書為陳稱 柞 本 大被斬勃軼閉門不较異見其 軼 河南成皋以東十三縣 櫷 勸 令歸 城 肸 ijı 煮 九九 乖 Ξ **作**王 牒 軟本 忠貞 攻天 多 不 71 惰 能 件 溪 沿

及場帝

之孫

夾

道水

降李世勤

刞 親 白故

雲中

戰千白

道亦

大破之

頡利旣敗竄干鐵

Щ

餘界尚數萬蓮執失思

庭寓白馬 於 靖 道也 碛

復、在雲 石、 造 方中 勢積 談 受都 來不

腹 大同質界 額 同府人發

府是

泉在

印今賀人 **伙**华萬山

長之也去

山西;

其心即令

心令大

利

肵 有

康 道城 鉄

客

'n

潢

誄 阻 辭、 唐 カ 所也唐儉雄何 為成二十日糧粮之不致下於五年分級日行少日五年日本年大支京大年五年人日後日夏若送指騎一且遊追之難及今部使至彼房必自寬若選指騎 過突厥 日顏利錐敗、 內實循像謀走入積北靖 **食等愁撫之又詔李** 入見謝罪請舉因 7 徐 帳 有在彼奈何擊之靖曰此韓信所以 足惜送勒兵夜餐 其東循威者走度碛北保依九姓道 作以 内附 **靖**特 뛄 身自入朝 軍顏 外兵與李世勤會白 兵 利 **迎颉利頡利** 世動繼之軍至 見儉來大喜意自 太宗造馮 外市 腹 為

戜

П

定露城畫

疑敵

使

Ĥ

相

玫

也

典及

8

周.

李 檠 破 利

唐貞

四

年李

帥號

斟 利

三千月馬

進屯 大路日

夜幾定寒

破之突厥

不

意

靖

至

四而木.

Ŧ

至

山石 此

大

忠貞堂

古方野門

そさっ

ř 地 扩扩 施 遂 才 安 潰 嶄 至 度 頍 É 走入碛北 桃聚度 其大 щ 酫 利 庴 七里廣乃 K, 山 帥 松 颉 北 Ň 萬 脫 曰. 本こ 至大 身 之意靖 利 謟 ĸ 餘 稻 迚 忭 ٨ 得 党之、類利 定 豫 颉 ij. 帥 歓 ഩ 方 亦 生 部 度 利 浆 帥 靖 上發耳。假· 碛世 何 布 入 14 殺 朝荷 乘干 樂 IJ 世 膌 ŦĨ 有是舉哉。 闐 勣 釛 義 騎 靖勒 令颉利 軍の成 琞 虜 Æ, 平於磧石韻利至でかつのでは、公主擒其子盛間 Η, Ŧī. 前 兵襲之。非 萬 走靖軍至虜 委心內附 舒 μ 忠貞 而 ıΙπ 退 不っ麗

祭曹懷舜の 天 採 恃 干 遝 于 # 北 梐 温 馮 突 道遠 比至 祈 **纵送轨** 府 友 走 移 代州 傆 尨 厭 至 ίĶ 咯 細 挺 波 詔 M 裴 - 也然受降如平ののついっと、 一金牙 之程 舜。 子振副時 唐 追躡之代念請執 闭 Ż 沙。 机 温伸 祑 屰 行 倩 Ж 儉 ·山矢 共 地 保 年 秀 本之 会名 业 外 份 **蒸伏念**智 $\mu_{\rm D}$ 我 牊 伏 盡平 選 不 叉 `fé fé' 竉 倣 ĺΓ 念 吉少 粌 能 使 嶺口 念 許 A 如受敵不可無備7 - * \$()\$()\$()\$()\$() 心行俭口此乃伏。 突灰 妻子 道 悶仰 副 少選 ú 至 行 1 温 伙 世取之, 世教之, ρĤ 綆 ŧ 拼货 不 口雕 定 Д, Ą Ť **修黨以** 管 輜重士 温傳 子 ľ 伙 1j 섽 Ŕ 以 呼 伥 劉) 宗君 不 死○ 念果 哎 輜 多り道 开 敬 伏 將 个 偂 Û 4 縦っ大 卒 俠 ā 念與懷舜 及り穏 祁 故 伏 帥 軷 放然尚 何 ĥ: 闸 ■乃命嚴偽造單 へつき 前海 × への執温傳水降 多疾疫乃引 酋長 念温 157 [ir 程 迦 幺 間つ 管討之行儉 外工 史德温 **降聚炙痰**

十八

忠貞

務挺等料單

牲 才 繇是伙

白 il.

通 И

道っ跡

仑

連

約

和 漠

Ÿ 袻

告以

 足 块 到 jŧ.

絲混

停

傳

齡

師。 詴

11 京。 等

Ī 靔

伙

乂

						古方略問 卷之一 九 忠貞堂					設備所重在間耳	間與備兼用者古方略附入間部以其先用間後	世山氏曰散房則多縱及間受降則仍令嚴備此	來者因稱疾不出。	徐嘆日渾済争功後異事古今所取但恐殺降無復
		尤晟 省日苦心	意亦見志存討賊義與此絕使淺間無自而生此	芭山氏日斬造家書使者雖明示為因不顧家之	明也。	古方略問《卷之一二十 忠貞堂	逆叛至此之不能威及雖最天植不移亦逆順素	泣 典 怒 皆 窝 梭	志。	賊間立斬之軍士未投春衣威夏備衣茶褐終無叛	家書遊展日公家無恙晟怒日爾敢	之軍中有言及家者最近日天子何在敢言家乎此	士家屬皆在長安朱泚善	唐德宗典元元年加李晟鄭坊京畿渭北商華副元	李 及立 新 賊 間

板吐蕃崎の 物之 湖五 堅吐蕃失雲南之助兵勢始弱矣然 10 11 遂分兵四萬攻 炶 南兵雲南 南怒引兵歸國 **疑雲南**遺 則 欲 E 吐 分之東發足 щ U. -1-一番疑 K σţ 冠銅 Ą 彔 都 日 化口知 元 扯 实 ネッ 外二 此 Ŧ 山 之≎雲 四 pt: ¥ 南 亦 清 Ņ 蘇是雲南 は○南 年、 們 褦 林 吐都 助 **H**. 攜其黨之法 £ 遣 唐、 髙 貯っ計 ŕ 页 淵 縣易三萬攻東 湬 屯 以の方 4 1 開 州 1 经兵 ۲ ₍₋₎ 銀り値 未 川_ 以 南○豫 敢 使ン乃○叛 則 麥 杊 ĄĻ 連之此 此 史章 叱 + 狐 借 滿 東っ為の止 裳 ないまでである。 ででは、 ででは、 ででいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 でい。 東寮 0 晉 大 实 處非 套的 等の関う 吐蕃 相 m 發七千冠清 轉 主 倩 越 愯 致 柬 業 足 PFL 閵 吐し前り兵 Щ Э 智不 歸唐盆 助 吐: Ġ. 忠貞堂 之 **花 王○数** [連2] 兵0] 游 ž 吐 路 賍 彼の萬 红 茂り 右つ

使献拢。 請雲南 吐 南異年專還五千人前行自將數萬人睡其後簽擊 C用吐 卷版 兵 而 監察 20元 亦 兵 家 出其不 意公後之 與佐 時 盟於點 苔山 神祠先是吐蕃 後兵 新吐蕃使者去其所立之號復南 Ompacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton of the compacton 上方路 同人以こし **敬之外**。 其使 甘盆 起山 蕃人破 兵攻吐蕃 **琴令佐時**本 宗貞元十年幸具 異年 者潘 相 氏 佐 E_o 求 精o **時至吐** 獨與雲南 怀 阜復 取六十 Jċ * 拔 此 賍 安上 迁仗 牝 Ŧ. 非 牂 逍 道 佐 + 春使 柯服 П 賜 誻 築大 去南 栅成 城 弉 異年 泉 能 劳共 者数百人先在其因異年 而 造其節 群足震動雲南吐蕃春南 上 城 王 李 側 勌 入佐 花器 表清 於境 異年亦也先是常奏意 Ħ. 推 約 耹 王降其泉 度巡官崔传 四部舊名異年茶貨 令泉 . 上。 批城 共襲 掘 日我大 賜 바 Д 部界 潍 春 먠. 圭 使恩無 捈 番. 相保泉向 + 将琴遣 伱 水具室 表

煮っ

百万略問 回乾 宜韶 섻. 固封守不來不 過也學者詳之〇李 路後諭使歸 繇是 柰 後吐蕃稀為邊患然唐室之滿 Ħ, 叮 3 和 書 畚 當以自治為 親而招雲南大食天竺以分 順二本 異本尋使 然後 專頭 强 來 佐 功佐 人仁錫謂 ij. 則 強其於 聍 ₽. 之言易 推薦 特此讀史 順者 打 μĹ 非我族類者畫都 佐 幸泉耳 卒起 私 塒 不 故 先 44 R カ $\boldsymbol{\mathcal{T}}$ 夵 於雲南以 吐蕃之势 奎 絶 考本末之 佐時 襇 斱 和 Ł 潘維之 總宗 忠貞堂 盟 吐 套 特 叮 此 此 往

者歸 将來 百分略 心江 引。用 Ħ. 朱 破吳越兵于海門 開于北朝事成國享其利 彼縱來援臣 道遠師疲願 杒 江の宋 乞兵 j/. 尃 仁摩 太 T[南至不 有 目 白 撆 っ南の 為北 袓 間 Ħ Ė 不 μ. 兂 △使○仁 툿 開 货 版。 可不 旋 南 春つ 實五年江 敄 持个 色 朝犄角 宇 此の概の成 ダン 假臣 嫤 伍 聽又沿江巡簡盧絲慕兵命智水戰 Ī **旅雅樂之執不** 准 ₹. 林 貮 名。則 11 南戍兵少朱前已城蜀今又取 1 侍 南 問。 亦常說江南三日吳越仇學也 败 信 臣請詐以宣 兵数萬自壽春徑淡彼江北舊 趙科李 ス○何 指:人 主不 其○ ħ 犸 者、 办 权 こ人が侍に攻 Ŧ 仁座 空館 牧楚不 知其 敗 不 つ 使 者 則 能敵兵起日清 榎 勢所 間 **秋叛陛下聲言討** 族 其 用 仁學畫像 臣家明陛下 尬 悙 /必至允 **范增此昏庸** 粄 鄁 仁 此 留守林 賜 故漢高兵 たらら | <u>摩</u>ライ | <u>摩</u>ライ 忠贞 Ж 學責 別の赤 無 7.

堂 Z.

宝文 不

		古方略简《寒之一			用間而不費財者也。	陳平黃金四萬筋恣所欲為不問出入古今未有
		盂 忠貞堂				出入古今未有

如り利り若 こ婚 石 言否為泣對日荣將軍恩教致身祭顯會誓以死報 · 书戒 爾所不 言其苦雖有甚於此者爾能為吾卒不 古方路間、彩に一 平無一解怨空居半年,召齒謂之口吾将以事使即 世 借職充經略司指使且力為辦其家事為成恩既深該令冠帶內出師以城級子之白於師府表授二班 湖縣有以去之有王嵩者本青湖僧世徹察其堅朴吳倚為心腹凡勝我軍皆二将策也神世衛方城青 宋仁宗慶曆二年始元吴冠逸王師慶捷房 關中之意其將剛浪陵號野利又有將號天都王元 未 看事為言并以盡之一 何東 術及以奴畜之或掠治城擊數日高雖不勝其 知共 种 世 尚非演死 請世 所、 上換開 而っ抵 皆使 泥敢解 衛を降 勒:如 野· 共っ世速つ間 路 7. 稅, 插楚平倉剛 速行之意且膏以類思い問起居之様惟と事 世後知其詳 一個 一人 陵 **股股衲衣門** 竹道 忠真堂 班

遺の利の以、 不っ床 П 古 1 叉 對 雑 左:日 得(之) 進口軍 立 數 生 方 稍 Ħ 쒸 右○吾。 爱 問 Ķ Ħ 稍 ţ. Ж # - 73-既っ素 見っ 炎 責 M 左右 ,1 入 洩:大 召 去 利 吴 移刻 4 4 À ф 奥 菗 召 丙 嵩意 點石 Ą Á 假 不二日 : H 本 櫛 野 Н 利 B, · <u>*</u>... 官 官 ٨ -‡′ P Ė 加 利 無 肵 寺廳 M Ħ 追 充 執 鵲 ŧ 空二日 有 不 爽 居 何 速言、 吴宫 **縛**っ廷 至 詰 館 ā. Ħ 齃 野 兇 致 之生房 事 芬 之 ς **不** 栣 供 舦 利 世 a 料← Ż 僾 7 6 窜 廣 抩 世 客 使 軍の死 西 不 衡 **4**0 極皆 於 將○遣○矣 也 楚 衡 院 北 甮 네 敢 能 庺 IJ IJ€ 軍に 嵩の嵩の 少 柽 吉 行 匿 'n 出 炊 事へ客の對う ī 垂:苦。問 頃 ,敕 Ħ 力 っ遺の如う 其 班. Щ 箈 苗の所 中 Ħ 封 别 穛 竹終の在、 衡□具 野 前空 毛 ŧ. d 刑 中 里 其 有 将~利○乃 箱 不C 鹊 知○於 衲 有 至 地 有 信 忠貞 衣☆軍○王○命 綠 易 里 數 形っ元 是 ٨ 上. 臭0 疑 取 吾 書 文 曳 出 其0執 胡 大 木 元 所つ 野 預⇒戒∩出 1 乂 言の前っ人 城

聚而肖 谿 借 朙 失二 Ŀ. 廷 古 샀 遽 而の版「知の決の而の仁 鄙 書自 許和 方 IJ 拼 さ 沙 用 滅っ失っ以「謀○毋○稱った 大 砻 且 略 负 虜 其 丽 牝 · 男の巴の違つ野の衞 稱 有 吉 喜 70 Ħ Ā 不 그, 間 久 文 多の行の借つ利の意 龎 之 稱 久 稈 男 緒 如 П 末 們 述○因○也○有○決 巻七 [H 臣无 那 乃 服 葙 帝 始 Ź į. į Ð 使 紙 野っ欲つ使 更 從 泥 遣 ガ 文 枓 俉 И 幣の利の弁の者 ガ ιČ 歸滿 幸 厭 萌 定 其六宅 Þ ıþ 貴 納 為 獻。何 與2間2至5附2之 ĿĽ 之類 之會 郸 N É 11 至 世 元 有 天 5天 6 嵩 j-請 衡 昊○房:都○都○郎 厚○者 t 兀 延 υJ 卒上 使 遣 至っ相っ又 租 部 頄 契 肵 天 州 環っ遣○傳 李 丹 賣 質 都 急結の為 漭 也 籍 天 而 使○野 占 复 文 使 述 葵 有っ置 從 西 和. ĸ 如 野 至亦言 ģ 샃 弱 書許 定 之 可 行 И. 此 意の祭 利 日つ語の 講 大 與 穢 1 亦 iF 安 33 本の境 E 姚 宋 文 Ż 둧 和 可 俳 FI得 歸る朝っ上。報 通意元 皇 さ 箝 貴 亢 jiji 強 亢 罪。从 掉の作 死 語の設の . د. تر 帝 昊 忠貞 旲 策 天 不 元 字 美 至 其o文 2若○属2 更 延 東 寉 絘 膵 昊 卶 垂0書「世 不 主つ元つ ₩ 1. 朝 捌 成3於 衡 速に長り

(E)	-					古芳略問人卷之一						吳必不可波哉。	愚如此籍等不思併力討賊甘心通好宣終謂元	元昊卒失野利天都久乃知為世	也山氏日此特陳平間楚亞父之術非有深計
						元 忠貞堂							通好登終謂元	衛所賣元昊之	術非有深計然
		所不服也如武	說之者必引例	之務也先儒以志	之叛亂者則難即	古方略問教之	卓卷氏日間錐井	以中國攻中國	芭山氏 曰·遣間·	白金王於是廢豫	因造間斎蝦書與強	多城之歌兵取稿	蘇粘沒喝高慶商	宋高宗紹與七年	岳飛間到豫

古方略續編自序 區各為之序凡神方略者具載 區各為之序凡神方略者具載 巴又念吳魏前後五代屬姦雄 夷廣盜賊變詐戰爭者宜縣維 馬吉方略續編附八區以行使 為古方略續編附八區以行使 為之善讀方略者新勝與方略偶合

	古方略自序 續編二	新安余懋衡書	運用可也
		書	

1 H 稻 沒 獻 存 官 Żo ź 在 帝 能 非 Ë 迷 廝 椋 败 Ťi Ė 垣 Υ. ιĹι 将蔡氏屯 Д 机 佨 建 川 能 河 咻 10, 北 弒 Üij 必 凡 Ш 薍 惊. 戊 兼 在 文 J. 橮 等民之 (E) Y NO. 積沒 **象**. Ź, 州 # ļij 杫, 并 元 芨 H $\mathbf{L}\mathbf{I}$ 屯 桶 十 御 华 屯 Ž, 12 Ŋ. 年. 人 徐 П 电 田許 全泉 成 揃 J. 华 JĘ 許 T Π 缏 П H 仰 尨 (京農 吉弘 .17 翁 狻 俥 木 都 餘、 食 解 遠 15 16 業 خ 竹 *...* 糸 3 标 41 流 m Ŋ. ئالا 根哀 光, *7*、 įį 非 柭 比 Z Ήį 以 林 離 龙 永 屯 电 雂 <u>F/</u> ň 去 縠 綗 能 柭 馸 鮰 州 然是 Ť. Ħ 起 揲 ħ 楽の街 軍 屯 11 都 敝 ű 本 Ŧ ĦΙ 許 於 萬 尉 紙っ在 Á 征 妣 蔣 淌。 知 厠 监 $\mathcal{F}_{\mathcal{A}}$ 胝 伐 **孙**。 化 請っ江 城 起 ¥.0 背軍 田 建つ准備 녜 峻 州 14 *5*~-'n. 肽 \ddot{h} 是の 置っ取っ不 **老**: 帯 人中に 企 省成 於峻。 州⊃, 屯〜給 基 햅 栉 無進掃 献 兌 轁 田 c 游 Ŧ 舥 Æ 郡三 能 袋 F 田: 此 捌 ţĹ 例② 哉った 1 ήo 置→

> 挑 古方 Ľ 使い窮 推 患 豫市 沙山 盆其兵給 俌 海之 撑 州 恶 ή Ė, 1] Ж 狡 備 作 炎而 氏印 間邪 刑 13 侑 自 赻 花. 也 安危 州 Ġģ. 訓 出 Fj. 續編 借 非 惟 樢 撥 シ 払 **嘉嘉日有是** 採 Ú. 逃 之機 攻之 備 不 駋 R 目 4-帄 μij 粌 為 紩 劃 K 桦 ** 便 俌 備 後 害 有 東 也 有 備 Ħ 11 枂 |木者 亦 英雄 備 存 P 1 Ŧ. 敗 攻 漠 可 然公起義兵為 走 艃 μþ ŷγ; ji. 乳 :動其心 Ż 'n μĺ 收 不 之志今不早問後必 ξij 以 100 K. :1: 見 Ĥ 헍 察 曹操操厚遇之以為 伒 Ĥ 故 共 ļţ 兵 拧 布 -)^ 笶 綗 H 此 Ġģ. Ц 汰 散 밁 日 H //: 天 耳素 2 芯 智○英 士○雄 亥 舠 1 ۲, 白姓 ffi.. 恐真 得之 -f-廷 也 伱 辭。 χ, 将の名。 # 账 控 및 Ш 自つ以

Ш. 校 誎 攻 許

75 授諫 未 解紹 示軍 耿 夏. 表曹操 可 O 安 動 El., 育 府 水 四 业 っ近 精兵十萬騎萬匹 欲以 Ħ **悠屬皆言包** 膈 宜○討 紹 我 Ŕ 縚 王 應天 飥 路 克 然 妖 人 公 後 妄 稱 拼 進 宜 剪號 嚉 人也、 誅 黎陽 攻許縣時間操進 紹 絽 盆 不 IJ 势 《漸營河南 得 包白 L 殺 事 包 新 得 作 通。 以

古中が 洪逸 船籍 鹏 修蹈 加 此 **₩** 清獨容之 械分遣精騎沙 可坐定也郭 調節配 其邊 EL S 那今彼不得安我 以明公之神武 1 . 松月

敵縣者先滅曹操奉天子以令天下今奉師南向, 河朔之强泉以传曹操易如覆手何必乃解、 亂誅暴謂之義兵情衆恐照問之騎兵義者 Ħ 生内 | 配 奼 仃 雂 1!

引

lХ

况 無 梮 義則違

曹操 Ыİ

Ц

公今日之體将士思奮

ż 加

竊馬

公惺

配

日式

王伐

紂、

不

為不義

吱

Ħ

#

公孫職坐而爱攻

者也今乘萬安之

術而

且廟勝之策不在隱弱曹操法

令旣行士卒

及 兵 1, 楝

兌

大 耐

茅 テム紙

Ĥ

雷天 名1. 之圓

学不

取及受其各監

御少

1 豐許攸智士也為之謀審配逢紀忠臣 旗編本二一 北其兵 殆 固 思月堂

下方略

事

顏

茛

文

雌

剪籽

也統

雅克

Ť.

戒

П

廣兵强

Ш,

廣糧食錐豐適足以

為吾奉

也

孔融調荀彧曰

而少

成兵多而分妻不明将騎而政令不壹土地

紹之為人志大而智小色属而

騰濟尼克

崇曰吾知

順不可及也紹不 各典一軍騎都 制之紹乃分授所

諸

將

閊

貂

將

攻

許.

竹僧

尉

清河崔 從許下

利清河崔琰諫日天子 川統為三都督使授及

大○投子〇及

在許民 郊園湾

堂 亨

助

0 海

团 計、

是 矿.

諦 が

梭 持

目 4:

監 非

統 見

内 騲

外 加

威震三軍者 幾之變

Ļ

笅 M

况 等

电船

iA

而 授

留于禁屯河上九月地〇大八年〇於八年〇於八年〇八十五年 東 東 月根遊軍祭陽使被動 梭之智而 進軍祭赐使城新等将精兵入 發顏良文聽一夫之勇耳可一 īħī 多而 汎 無謀 授 法不整田豐剛 不 沬 逢 -ф 議論言例 九月操還許分兵 紦 東氏之不足與言嚴者情之。 果 丽 ſI 等 用此數 而 劜 犯上許 败 乃 4 A. 人青州以打泉方()城市橋也秋八一戦而橋也秋八 官 渡。 扩、枕 公事平 攸食而 名城 不 錐然以 相 不 治,

有 ψ 綠 從 將 Û. 古 氏:放 荻 業、 -|ij. 是服 之始 . 1/L // 以:版:遂 諸 億 唭 塒 쇑 Ħ 供っ宜っ畳。 給っ如っ一 西部家 V. U 将 Ħ., 造調 之效 置鹽 冬 腳 'n 四 餇 從 作 义 比 . 73 之っ舊の旦 闁 4 大 华 目 詉 健 虠 勤っ置 木土 曹 也矣 緽 有 ij 從 採 看 П 滉 標 本 椞 ş. j 厠 不: 一安学 積つ者 凡 뱐 射 此 較 使 奸 Æ ٦٠ 從 栗の豊かの 檖 旗 强 贮., 퉒 维 桼 郤 lit. 2. 4 **犯**卒 面 17/-101 ***** 总介 ·-.~ 竹 項 1 凍棄野貨 献 企堂 曲 計 弱敵 能 T_{α} 官., 沿 道. 侍 スポ 猫~ 其 ″ 夫 七倉栗 ηJ 治 汇 將 御 刑 11 一思海 闘っ直の鹽 3, 竹枠 と بِلأَا ٨ 埭 闘 史 **#**0 15: 中 盆っ園 31 ΤŤ 校 利 V. 愆 中遊民間之丞つ四之大寶也亂去 なまる きょう 酸炭、 也或 萷 ស៊ K 冱 绁 火 41 25 觊 丌 不能 Ž, $\mathcal{G}_{\vec{k}}$ 部 ilij 屯 之 1 j. 袏 人安 、以白操·標 iŁ, ż 7: 뱀 į.j **弘農園** 刑 人 Ξo 不真生 捌 中 厠 则 r. 州 墂 П 蛹の 40

之中、 - 其心今 騎、津 郄 fŧ 杂 男 劉 建 上 也た 不 ψ. 夙 盘 軍詳 循河 ī 関・兼の可 後に兵 不 安 南 廷 解っ有 4 1 Ť 4 略 於 五 鞍の項 棑. 禾 斬 册:行0合 者つ少 而西 志下 空铅 起の也 其首而還紹軍莫能當遂 紹 勒 ilij 先登擊之羽 八角扇 兵駐 意恨 白○操 必の敵 馬ご白 務 4 E, い從 其 紹渡河追之沮授諫 西ロ Ļ Z_o 柎 僧 有難、 延 未 磨り分 之復省其所 其功然終黃河并其俸子遂 壀 攻 **养** 二 至' 多少兵 津 20 台 南阪下c 使 Ó 宋弗 坌 然の勢の夏 分兵官渡者其克獲還迎 馬 見 餘 兵 後の乃つ四 輜 |軽の子製の列 里良 渡即 良 不 PJ 4 麾左 逐福非 就 登 部 깸 沮 背良 即分兵西 大鹫 fi 逍 胨 뢒 僸 授 堂之 日。脉 滿 歉 屬 解白 日 名文 馬 来 馬口 り枚 郭 從 ij 良 将隙 標 馬之图 負變 刺良 迚 첿 デ 遨 老 P 校 住 以 月日。 攻 其不 戦 甲 紹軍 Ż 籽 延 忘 促 東 為 勿っ 於萬泉 渡 統 統 統 於 校 化 棦 標 復っ五 17 府! 必貞堂 敵 白っ六 至 1 族 福建 不 徙 使 乃 備o 治、目、电池 張 今)百 可 đί 向で日

操田可定乃皆上馬時騎 米カかの有以相重の解故な復白可上馬操曰未也有 丽 榒 駿州 笶 如還 [6] 卓卷氏 惟 死逐東其職益 **兇之斬禪** 祈 適氏日 不念備乎羽 俿 其三子譚熙尚 醜 船躺 之義 長了 再戰悉的之紹軍奪 ξŢ 續編卷之 嚣 H 絽 絹 'n. 文 茍 徐 羧 胶 111 不 攸 可谓 Á 春 幽 知兵復 州 屯 典 目(皆庸劣自 紹廢 Ř. 足 州 肵 劉 此 有坍騎 Ŧ 借 將 起 17 偂 所 長 小 倩 14 *p.* 吏 不 不 17 4 氣 信 推 立 逐 後 納 国 灡 郁 丽 **熙遣使降曹熙尚** 約 胜 纫 六 至. 33 相攻擊曹操攻 沮 液 授言卒 聎 始 綗 铲 九 百万 稍多或分趣報 娘 網目 大義者 攻 民為家中 也 何 朩 Ł 縱兵擊大 夫 13 書 'n 後至清 さ 纫子 錐 忠真な 惭 本徳様の 南 贯 俱 **死**の

也操乃堅璧持之知己半年矣情見執相 為霖歷車發石製 之 強力 報 於 皋間也 於 П_оі 順為何。 雄耳 採 方略 以十分居一之衆畫地 征赋多饭 内 存 安 P 不能 EL. 紹悉泉琴官渡欲 與公決勝敗 為 覆榆 拞 向 能买 是時劉 綗 星者 長塹以 操 者攸 im 制义 運車旦菜至其 败 重冬十 7 辩骗恭之一 人 鯞 赴 人送 濟今發食雖少未若楚漢在荣 葪 Ħ 項莫肯先退者以為先退則 為所來是天下之大 紹者標思之與荀彧 擊 土山 柜之操架少 奥 徐晃可 紹運發 竭必 不 紹. 衣 之右宿 能 射管中 月紹 楼货 紹 将 用以公之神武明哲而 戰 77 將 有疑此用 袑 獲 車 而 破、 不 分七位 造 數千 営北 進 韓猛 推盡 营中 絽 滕 車 晃 復為 運殺 四 央 輕 乘至官渡荷 士, 皆常楷 逻 奇之時 |書議欲| 史 敵 公り Ų. 機 卒疲乏百 地道 堅 使其将 漁 收 ŧ, 恢 可 邀 Ā. 重 洏 攻 祈 撃猛 陂 不 退許 不 魏 紹 弱 思見金 揉 陽成 攸言 輔 A 也 屈 布 倡 姓 ΡŢ 抹: 商 И

囚

ፖታ

幾種子孫 枚 吾事濟矣既 彩账 #: 好我我真明年等以表 市島 構り 7, 軍 此業在自己問題 荷攸守營自 成 焽 使 謂 簁 共分 梢 芷 白若既 星行掩襲許 其: Ħ 公恐曹操鈔略後軍忠 はまとれ ぎつこのに夜役間道出人抱声 瓊等 Ņ 吾要 矣如 子 出 聚白 电子 曰 [實可支 苋 目 亇 ፋ 賺搖 入 踋 共 過 坐謂標 攸 先 莊' 19 货水 則 飛 [7] 未 外 电 灰 取 撔 漬 邰 * 東島 楪 摞 Ho 破 大 Ħ 日東氏 · 矣請先○○ · 攻襟營部 縣乳 **獎** 泵氏 出 令首 急擊之環退你 放 會攸家犯 也 世許拔則 作我許下 攸日 火营中 f-東澤 迎 人心自 **板其營彼** 南在 之無掌笑白子別遠京 尾 軍無 敗 朿 軍威何以待之今有 奔命 人 書一張八角 氏輔 驚亂 用で也。 法 寒○執 救€ 17 嚴備 之郭 杏 砹 有問 配牧祭 營紹 之必 天 · 空 子 · 弱 li) 介明 M 軍旗機 重 t 曹 一萬餘乘 若 精 节。 者 辪 A. Mil IJ. 也つ 固 閻 信 兵樂 語之 之 徃 襟 紹 JΪ 在 1 攸 告

もり Ŧ, 下, 爱之於是紹軍 敢爱 軍 芑山 Ŀ 住殺士卒干! 之不及盡收其輜重 · 房 矣 亦 左至於皆配之收許数罪國之間張 軍拘懼郭囚慙其計之夫復訴聚部 Ħ, 騎至烏果 大荷 枚日 部計畫不及部念懼 災與高 有枚目 K 15 数: 排 曰 為操 日班教徒成体百许 在 絽 曹 盆 釱 精前次 背 兵不 黔极大 八條左 云,自 餘人皆取其鼻牛馬舒唇舌 追輕 香园 肵 紹失策養 。方 東高覧養珠具請操管摩 為耳 汇 以 右 古 就 † 攻 北 一元。 潰 ť 或言賊騎府近請分 錐得 救 Ż A) 41 倍之衆大败 如此維 紹及 瓊而 兵兵 餘泉降 卒皆殊死灾 媊 扎 児 म 百孔 怒而水奔君 庶 不 J., 如 A) 拉 17 以 抜 梭何 然紹素 者自 (重兵攻 曹操 等 華不及八年前 m 粉. 若 Ŧ 紹计 嚼 4% · ACHCHO O O 官後還以引 H 7. 溢 拒之具 被以 無幼 徘 坑 有 * 儿 と 馬渡 紹 以 擒 疑い洪 į £ 伙 示 矛 日 河 乃○疑 ji, 攸 肞 紹·烯o之

古方 宜又 投其幸 貀 是欲曹氏 ٦. 浙卒旅以追子房之高風不亦難乎孟子謂盆 紥 內而濟大業其動迎飲帝也說以高祖為義帝結 又 餘 于败亡哉 以成 論非不 無遺 備拍 適容與之言辟 揺 m 裁其勸定兖州也說以高 日宋都 脩 不 荡 終臣 天 丁 功 種 政 衛編をこ 此 轉 能見幾而 平或既不 以為城 縦用 Ē 用 샙 而很異 徙 為高祖 **6*** 浩云。 # 但恐觀紹錐布衣之雄無深識遠計 田 向使操 庆 心夫高祖 泰漢者 豐立譚卒不能懼而 빵 其有古哉曹氏不赤其族 脖 荀彧委身曹氏而為謀主此二 īħj 作如花無肥逐於食精頭 能見險而 儿 猶決積水於 不 光武耳就令 急之紹 立袁 也或 錫之議以 臣之应况 光 :譚 言必 武旨 則 未 Л. 袓 冹 可 如 ıij 干何之谿其孰 曹 乘 稱 其本自其心 保關中光武旗 敗 U 與豚潔 灹 7. 2 盽 未 脩政惡在其 和語不 The state of the state of 特起 使襲具 可知也 舉 JC. 冷 逐有天 牙於 止 王 室。 滅 欲 使 重 腁 按軾

百万 叉曰 然紹 **旋蓬三速** 嗟 之際固 渍 蔌 眀 уЩ 1 彳, 不在 廖 伮 攻許 补氏 杪 惡其為曹貴策 曰 Ľ 不能 周 丽 扩 亦 為餌 輺 不 稄 闹 共 較著者下而袁曹莫不皆然愚讀沮授 日, M 有 於彧亦 足 官渡遣徐晃至烏果必 降敵营賣國 **有編入之** 用 紹 彵 栎 知之哉荀彧謂紹 語云得人者昌失士者亡安危 末 Ш. 借: 人 不 **齐放併錄鄒氏語** 在于能 未 尤兄操詳慎處 願 聚之何盆又 聽已策其必敗奚待官渡倉亭之 荬 P P 後 也 恐按 君子 動曹氏 世 用人與不 用 覆軍烏在 之大 古 人 方 IJ 况 能 保官渡極稱 略载茍彧 道 戻 後世宜 許 'n 聚人而不能用 能用人而 则 自將以: 纸成 其能聚人 攸 娘之 足 张 以 夘 邻古 耳、 事不 脮 此 忠員 徃臞 成敗 E. 其 共 **意**。 也 以 絧 种 熀 項 武 去

事之未脱 月耳我視之如子爾其兄事之遂 兵精糧 夫人口公瑾議 古方 則命召不得不往如此便見制於人也極不過一侯 而欲送質質一人不得不與曹氏相首尾與相首尾 業延祚,九百 里之地繼嗣 召舉你會議張 姓 綱目書操 未至內點說權其意亦 建安十三年操自荆 安 好前定議喻曰昔楚國 £ 書宣公平吉及 多将士用命鑄山卖海境內富飲有何過 车 瑜 岩 曹操下書責孫權任 責何非為漢也書權 續編 賢能廣土開境遂據荆揚至於南議職曰昔楚國初封與非王封不 餘年一个将軍承父兄餘資兼六郡之東 任 是 昭泰松等 子 孝と 也 公建 郊萬人不常異年而同於2 州 東下 與伯 如 衜 此。 粉 符 之の車の登 不決 孫權 不受命差子之具 不 伯藤 不つ義c奥 £ 春泉 取っ以っ南 權 為3正c 能c 天3 Ħ. 字 面 引周 能害ったの 大の おの はの 様の 最の 最の 最の 最の 最の 最の 最の 闹 北百金 周 海. 馮 詴 迫。

周

議

	古方略 類編卷之一	在以強大不能行之于弱小者也書法若此所以 在後人當先自治其本故行有不得者及求諸已 章卷氏曰與相首尾便制于人此論不獨為孫氏 整營壘正可為後儒出處之戒楊春諸人不解此 整營壘正可為後儒出處之戒楊春諸人不解此 整營壘正可為後儒出處之戒楊春諸人不解此
	- 12 - 15 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to 10 to	有不得者及求諸已 之戒,楊蔡請人不解此 之戒,楊蔡請人不解此 之戒,楊蔡請人不解此

宜o 戻こ 存弃 ri!' 死 争 土 古方 尹 工節軽重行 建 利。 快进 칶 Щ 111 붜 山 將 通射 過半 採。回 外 地 披 是 言於 擎楷 · 屯 犇 配 橙攻 「一夜游之廣深一四十里初今凌」 四十里初今凌」 帥 蘇 £ 拣 道之 止 縣以示 北開循表 馬邊自著平上贖將三騎 Ł 張燕遣 破之而 繇 縣以示諸城排 の#450 が操口。二袁未中 搱 曹 Л 行共罰 先使主 и 3 Ŧ ıή 缯 通 郭 将兵 使 寒 遼 土 Ã, 述 · 放表 净李 來 又 盒 進 土 樢 二の示い故山 脻 助 擊尚將 杜 山. 軍 攻 洪 · 放所 孚 丈う若 (鏖地 破 從 徐 標 道 地「至 袞 水 20 人 人 引ゅ可-転進 Ħ 諸 夏 道 洹 入 炦 潭:越州急平 範 城 岐 未 ٠ ١ 範 爼 四 Ц 水 紹尚 Á 孚 枚 水阻城攻 北 铛 月 攻 蘇 子譚 游 狡 郝 以C 望 轮电 将 皆 Ŧ 之尚 歽 子 沮 捹 砮 Ľ, 、灌之城中 祭話 問 · 者。 傾耳 賜 指曹 未 其知 軍 と 欲 於 通 爵關· 事 到 内非 於耶 <u>Ŧ</u>. 武 為 平 程 欲 郭 杖 外急 思良 洪 姕 Ħ Л 原 ű. 髼 ÷ 申 不识攻 内 攻 應 名聚 몹

而 聽 李問 出阀可 侯。 郭、 長 避之 追使 之敗退 為 陽平亭去鄴 作り別 VI. 烖 7 此 急不 狀 上 若術 Щ 逈 歸 間 9 可復冒乃 駇 師 摖 IJ V \mathbf{H}_0 ŧβ 採 亦 人自 Ħ 擊 火 酉 延 笑 曹 眢 尚 張 不 破 朻 山 较 横編多え Ł 邯 E 31 牧 節觀 聽 走依曲 † 搽 將 鄲 螀 來 馮 此 里庭 得 等 礼 者、 尚 4 能 缄 圍 戟 非 得 之 能 挪 委 及 脇 益 出 此 不 入 因 陳隆 急尚 膧 滏水 方 衣 城 不 ΝŤ 搽 _ 成 如 得 配 開 避之樣 誤敵 為世、 等見 敗 Ĥ 抗 物 北 擒 ላ 共 攻譚于平原印 衡 以一泉 夜 弑` 為营夜舉火以示 耳 也 **采潢尚奔中** 圍 示 操 尚 哉 迶 典 孚 方 馳 覩 城 保。遂 尚 果 F 兵 出り老 H. Ħ 到 C 中 尚 撩 祈 团 ¥ 衜 旣 降□弱 獀 扎 炦 十六 至諸 城 山 之 决 西山 字○以 復○省 觜 從大 出 II, **F** 中 山 未 圍 洪 提 华 攻 易 畫 都 祖 水 忠負 来 道 彼 春 將 將○穀 牛 夘 進一尚 城中、 來 迹 甘 ○夜 Ł 至 者

.

i

詭 而ら名し残立 亂 夏 通謀曹 曳! 地 0 南 5此7年0年0年0年0年3年数事数事必以一 F 就 必ら 日 道 依怍 方 押り目 周高. 通 椽 内 啟 **不**: 今兵迫 東っ 京 中幹 劉 张晟 衞 害の ż 95 u. 計 大 J 往旅 光 表 搽 無損 津 新口民 杜水并 Ŧ 4 安十年高 Ç - : 固 鄁 范 泉 宇 君○也○死 心之意、欲 斬 受 弘地 等, 煮鍋 固 ¥ 茍 先 髙 河 稅 農名 吾吾 更 放 未至 令 因 彧 筝 伜 ļi Ī 太之 有 單っ 固 討 使 さ 莆 ٨ EL 惡名 油 得!車。 渡! Ł 4 畿 浜. 以回韓 将 關 鍾 冦 17. 居の直の末 不 當 要送 為 難 地族 深 善 日 絶 _---繇 媊 西 L. 下 郡○徃○顯 脒 者 灰像 先 河 請指之 諦 澠 占 制 <u>=</u> ⁺: 無主 谹 一○出っ絶 為 東 智 君。害 粁 間 筤 殺 **列**っ 月○共□王 難 有三萬戸非旨欲 至 足 為○當 河: 以 . 以o不c命。 在 伱 畿 未 必 11 我〇个 數 服 繇 東 弁 我 人の以 計c意o外 應憂 Ċ 懼 月不 皋○河c内 不 太 州 畿 、威 縻○固○以□ 十七二点真堂 討 而! 野つ東の武 許 Ŧ 叛 釈 之而 件波 之の為の淸 賬 摞 *.*才≎ 天っ張 百 £ Ŧ 足の人の故 耳 胍 力 双っ下の成 邑! 衋 自二親 央の多の計 勝 固 禄 IJ 鎮っ之っ冠 闏 者の畿 計の為 囵 泄 是` 之0要0 配 幹 畿 微。 Д,

秂 不 中山 觪 尺 拊 還い泉 家立以り 較 析 影 同し 芭山 ፑ 脩戎 1j Ħ, r, 諸、貨 將 · 慕 敕 桜 CACA 不 Ŋ, m 意 吏 ż 徃 A, 祓 Ι, 微 Ľ 家の 义 섲 附 固 合白 勒耕 态 膨等 仰 氏 ガ 萷 右 從 接鱼兵 Ξ. 欲 爽 出 之於 p. \\ 堕 胈 [h]Ħ. 史い同 大 Ŧ 當の之 至弊 其 政 武の奈二 陳義 4 拇 知 俘 共り 典與 绉 Ä 中 赴 此 備っ課 半の 些 育 从 Ť 皆 者 可 刂 埋 議の 景 ير 皆 枚:造 阆 東 先 以 肞 411 督 八共攻 18 _-麽 ě 百 脪 等 固 灰 害 髪 安。 娃 渧 破 爲 Пi 豊實 斬 不 機 樂 思之父 视` 固 称 Ľ. 之於 智_ 杜 在 T 兵つ等 紫 衞 散 然 河 ΡÇ 行 75 是畿 諸縣 汇 東 šŤ 俊 7 情〇健 7. 17 席 ķ 皆自 典っ -1-Δí 入 學", А 征 六 日の扱っ事 4 較↑ 相責 恐具建 范 人こ不っ後 : '5 βĺ 果く 情っ如っ不 夾` 宽 Ñ * 有 孝の怒。 疽 各○逝 顔の徐の以

				です水、電易冬之一	The second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second second secon		馬光十科當試法尤空講求施行	· 特不能咨訪故也設調用兵理國得人為要宋司	决諸所薦達若而人皆無益人因贻害百姓録平	或之知幾非一日其智心人才可	惟遊氏日操欲奉賢才鎮河東夷
1	-	-		 九 人 教育是			行。	因得人為要宋司	 	才可知近代後保任	東 夷 即以杜 後應益

之制 图迹征公無豪矣樣從 御佛重任 古方略 尚用, 故海 偷因其無備卒然擊之可破滅也 建安十二年曹操将擊烏 方北代備說永襲之表不從及操逐表謂備曰不 用君言失此大食備日今天下 将未可非佛非不欲襲許特表不能用備策耳提 恐有莫非巴有也表生該客耳自知才不足 可梅郭嘉日公難威震天下 今深入征之劉備必說劉表以襲許萬一為變 片 将首日哀尚亡房耳夷狄食而無親登能 日或言語将裝許之說似是而非愚問語 之則恐不能制輕 ~行至易 出し奴に 任之則備 掩○趨 共○利 且袁紹有思於 尚侍其遠必不 不っ且い 不為用錐 现0元為 未 銀0而其 加0 為中

	古方略、積稲寒之一		必不從葢嘉能料備與表諸將但料備而已。
	本	<u> </u>	班便料備而已 ² 一於後者則此未足

古方 節 司晴日黃巾起來二十餘年百 刊 若恐不及者 īfi 暗念鳥祖多發其本郡冠益·兒蓋指木 公法令殿民厭亂矣亂極 初 日東公 軍₀ 拜 力 哈日 肵 袁 未能操造使群鳴畸戒其門下極治殿 統暗皆拒之及曹操定冀州 級數 慕君 那顆天民之先覺者也操以願為冀州從事 為後令海也本及作為随軍次無終時 * 遗使 何也 禮命五至君義不屈今曹公使 忍 **畸笑**且 左と一 田 畸於無 則平請以身先遂裝還 升 君所 氼 闯 郎 間那 姓流雕今開 授 識也迷隨便 本意欲討 差 顯斯發 T 門人 忠同意 40 來 君 鄉 .五%

川

H_{of}

垒

駶

頓

伱 ¥ 登高望房庫で選索基威操す # 丰 ř. 崮 泛 尚 ήį 易動 奥瑚 阁 俨. 路の孔 丈 2 何 19 十 点 熈 μij 有 7 涉 徐 方 從 共 Ü. £ ÆL 頻等 *(ij 無山の 見之 μĚ 徘 4 祭 執 使九 领及 拱 迹 育 Ŧ 卑庭 「方全夏」 「からなった。 「からなった。」 2 鴚 义无食段 目 僕 15 Ä. 将 誠以為大 光景 也你 魷 がか 類着 丸竹 加 或勧 彼素畏 名 不○車 杂畴 虔所 束 邌 ų 王 整の重 苒 爿 整級兵擊之使張遼為前錦房東大車即都在後被甲者少左右皆懼採車即都在後被甲者少左右皆懼採萬騎迎軍八月操發白狼山卒與房 暑の日 朴 義之、米為茂才。時 泉尚首令敢 送之諸將或 矢九月 標送擊之標 巻とし 以 與尚熙奔途 塹 我尚首令敢哭者好以尚感吾意之則死 柳城末至二百里房乃知之尚 遊り善 馬便 吲 大軍去也操作 四路不通且 四路不通且 一路不通星 ΤĒ., 山煙谷五 前 胡 誎 F-漢降 拼 右 Ţ 91 多且の選 材材 17. 問 Ϊţ H 躴 者二十餘萬口 育 Ą έţ 具份 標 .표 ſì 中野 群共泉 太 **企**里 秋冬乃〇大 共才 i 天 公還而 斬. 纩 方使 ΔĮI 4 Ē 姓馬 ξ 寒 索 ・カ、 城远康進 45 經白 · t ήf 1 公孫 名前 招 fá: 早0 袁右 二百 在 任 為 之则 忠貞 也冰 康 唐. 位歷 遊東 t 靡 斬 共 郷軍の大将 從為白白尚 斬 泉 八八平

古方略

古方略 難日今 今昏耄巴益財穀血 至尊當早 **荣共薦達之字獻策於權** 信待字如 追之寧善引将兵 **九人畜之、孫雅** 東入吳黃祖在 ŽŊ ۳ 市判 彌 劉衣庭既不遠見子又劣 飷 つ**乃** 共下業 不修怠於耕 之地 初組 Á 阔之不 4 预漏 핤 袓 任 執終必 整祖 行而 山川 什 菜 漸 都 夏口軍不 以字為 をと 督蘇飛鼓游寧 雁不用字教去恐 若 规 在 可後操闖之之計 農家 軍 巴蜀矣。 後射 君 軍果 菛 乏左右介縱史士心 形便誠因之 лΙ. 旅楚剧。 和長字遂亡奔孫惟周瑜 居 乖 Á 殺據祖 無法 ·败走 宇 行 日今漢祚 得過方 椎 幊 짰 非 憂 椎 必 漭 伍至尊今往 朝 能永 致亂 西 弘。 亂 納 絲是 敗散 校 舒 Ž 宜 n 斜 伙 表 Ī 得免 ij 饭 先 ¥ 據謂 上在 微曹操終 変 升 袓 怨角 取黄祖祖 侍基 污染古 以也 受其 摖 Ξ 忠貞 华能 聍 牟、 邓 不 おおり 在 之代 破 Ho 葋 17 遠!

香陳 뷡 でか 等交射 何. 空 將軍乞其首領權減其言調 紩 水 馬凌統 張 À 叛裝牙 黎石 芭山 弟 Ж 腔 什 街名 长史之言手 泰之流 7 П 交流為 戡 ĎÌ. #**\$** Ŕ 各 為 無乃 進速 Ц 釆 苁 飛 Æ 祖及蘇飛首 君 П 拌 矢 受更生之思述之必不是沒有明白 水 Ŋ 石, 实教 子不 屠其 精精 T 敢 币 惇 Ιþ 與前為 權言飛騎者舊思令 阩 廴 操装 遊戰呂蒙 闸 Ŧ. 石長槍長長昭 E₀ 有人 日史為 建方 城 15 糧. 屑 軍不得前偏將 扶守河口 道 . --一个海舟节用七 具計 ŧ. 橫 ИL 棠 新 ιij 衎 權遂 ijΙ 蝂. _-挺身走 親矣 令 善 清料器 乃 被同益東大舸天入 新字 祀 矣 11 樠 火 Д. 西 仐 就 學黄 然欲 Ą 仇黃 進 流 以 克 年 乌郡 大兵 **飛罪當夷教特** 斬しが Ť, 拚 酒甘寧下 軍董骏與 之打 祖 行 於 雂 M 裇 村。 **規德蘇系亦** 西據楚問所 是將 上海特有 Ė 租模 置之若去 浝 如 進」 先 此 A 作 + 席 千人 裁尔 兩家 功, 쟤 别 讴 響 乘 ķ 氛 바 耐 部 也误 矣。 坌 IJ.

结 六 **វ**: 数の辺の Ŧ 炊 刑 侨 也分 初 16 t. 1. 油つ 不 荆 方 存 也 天 团 ű 東以 速社 明 **ナ**: 之の 州. 略 χį 慰务其 劉. 粘 ٦, 旐 意: 3 ij 及 Ü 1 Z; 達 備 Ą. 衣 野 [1] **芯**: 共 į. 江兄 糧 A. Ír 夜 E VV 赥 宜 维 析 萬 貀 敬 E 兼 多: 闁 於 装箱 ドニチ 軍中用事 彼 里士八 表 為建 7 有 當 道 世 E. 備 探: 必喜而 協 倒之以 作 * η 藲 7 北 肵、 ŧ H₀ 心。 上 有 至 1. 豫 长 ٤ 芷 谹 先: Ιķ 琦琮 敖 ţ. ¥., 江 往 州 te: ħ 右。 史公 權 徘 濟 不協 信者 ŀ 作 汽宣 **介** į. : 4 表 投 涂備 郡、 ĖΨ 及 大事 齊同 街於 槽 英家 Ä t 州先 ſΨ Pj 汇 礼 渖. 核 П 斱 投寫 综巴斯 犎 植青品天 凘 共 備 崩漏 荻 ψ 刔 dij 荆 ٦_c 定 制。 咸 ٤ì Ą ኢ 伙 宜. 济 汞 寉 州 交っ 英岩 鱋 拼 á, 到 誰 橅 总共 枓 橅 粹, 崩 備前 Ħ 計 j=j Ų t 表 天 本 恢 各 此 国 之巴族 Al F μ_{ζ_i} 遊 ϧ 往, Ţ 豻 伞 Ù 觤 有 Ą. 郝 # 玛特 偝 kο M 渡 评 · 形表· £. 间 粘盟 葋 敍 \mathcal{F} 核 114 Ħ 犰 店で Ą A'S 涗 ĸ. 爪 此 خز И, 我 失 巾

揺

椎

胶

*I*5.

赤

攲

此 丽 4 阆 棩 釧 Æ. 吳之地十萬之衆受制 Œ, 事 古 逃 矣 枚 椎 夨 住 之手。 75 室之片英才 之。 今 述 Д 木 至 衆 垧 釒 方 抌 於 郛 進 衡. 此 败 當 天也'安能 谏 ń 敝 漠 将軍外 州 * 扸 7 利 M ďį, 系就 不 荆 不 ì)L 如蚤與之絕若不能 州威震 與曹操 能 PH. 夏 长 者。 H 7 Ŧ. 牂 p 權日、 ij 戰 朲 <u>//</u> 無 騎 HI 横褐卷 軍量力 **益世泉士惠仰若水** 於孫 Ŕ 士 本 ħ. 彼為之下手權勃然日吾 橫 11 託 Į, Ŋ 亦 ን። 並手 4 炙 服從之名而 19 江 州 猁 海英 壯. Z 權 内大 1 **ぶ** <u>-</u>f-而虔之若 儧 新 ጉ: 蹇 士 也成兵 夜 败 於 Ð 天 軍 安能 耳. 梢 下令操变 亂 萬人曹操 者 ٨ 维無 行三百 遂與齊肅 順 香計 及關 箔 址 ìI. 守義 何能 杭 軍起 君 М Al 東 決矣。非 徐里 Ŧ 37 忧 莊 此 不 寬 T_0 歸海 難手完 水 零 之地 之衆远 刳 憊 按 夷大雄 兵江東列 供 克閣衛 **呉越之泉與** 牒 軍. 玊 豫 兵 伙 11. PH 不能 之計。 児 勎 事之不 州 束 拔 孮 忠貞 . El 极 橡 쉙 何 型。 咯 ŖI 日日 州英 夜 凘 秾 槟 ふ 州 ė 沒 北 事 遂 州丨 見 人? 歽

大 īĒ 拒 虎 榷 劉 男之 Ð 不 數 恱 # 执 不如迎之。 脸已具 鄆 意執 排 涉 也 以示臣下莫不失色長史 娸 耳、 撩. 挤 琮 H. 者長江 標 £ 肾 朲 朿 其 蓻 北 天子 if 我 手伞治 摮 同力。 畓 旗 粛 強點足之形成矣成 方 欲 ľ 拡 F-74 可 Ц Ŧ 以 Ŧ Z 堻 安の役 ۵, ○東 ήĦ УL A 目. 'n. 謀之時 破探軍 也 浬 4排 征 不 銹 12 卿 掮 水 撐 įΙ 4 欲 Ė. 四 軍八十 11 兼 習 開 ب ٠ . 得 方。 何 t 游 绗 **∱**p1 埶. 有 曹 ÿ. 願 水 軍 步兵水 -- 矣排 強品 ã. 荆 拒 早 士 將 椛 カ 採 **え** 林 减 起 泉寡又不 州 萬 ijį 定 ηį 叉 水 张 推書 P. 某 泉 大 ļĻ 固 빗 敗 命 刜 不 1 順旦將 įτ 常 何 水、 隂 軍、蒙衝 矅 Ž 名 可 方 州 ,與将軍 日近者本 懽 故 Ů. 庎 粛 俱 干贴 ij, 位. 檨 さ 在於 \mathbf{T}_{t} 泉議不 iE 布字 نالا 犾 可論愚謂 不 術 Ē 何 統 芜 H ß. 失 И 於 此 4 等 遈. ù 7 附 Ħ. 吉 字 25, # 艦乃以 大 失 $\mathbf{H}_{\mathbf{C}}$ 伞 **1**1 数 忠贞 郡 下 之 足 Ŧ **麸** 曹公 爵 B., 長 狐 业 曹。 也 大 L 與 冱. 可 於: 枆 刖 傿 堂 弄っ 吳。

特 茈 数 賊 T 囡 泉 柩 肵 不 獀 請 刑 鞍 令 余 万 渡っ香 與孤 方 雄也 復 見 吏 欲 得 兵之患也 馬 Ł 士泉遠 北 數 绶 敗の陽 紋 脎 籵 雅 赂 精 仗 **ታ**. 去 復有 多。 髙 N 成 漢自 矢 舟 共虚實 未平.馬 里 囯 槉 FV 数 涉 耳 쌹 惟 样 况 夹 此 潴 (萬人進住) 尚 不 音 續 红 人 立 而 奥 天 孤 樑 精 Ц 忍 | | | | | | | 削 久 編 捺 吳越 足畏 過十 便開 當 湖 超韓 徒見操書言水步 n Á 足 浉 输 之間不 本 皆 翠 ä 君 存、 矣. 送 用 武 操者與 住夏口保口目行之将で يد 遂尚 死。而 此 授 撼 爭 英雄樂業當橫 犹 Τi. 徒忌二袁昌 雄 央 六 謙 孤也 衡 才代 夫 _-至 萬旦巴久 甚無謂也今以實較之 智水 老 今 在. 糋 以疾病 可 하 하 此 囚 賊 Ш 叉 迚 纟 盘 上必 ž 案 威寒馬無景草 西 兄 拔 效 軍 Ŧ 為 FI. 久疫 入 將 Z, 和 刀斫 布 禽樣定 之幸御私 不 セ 间。 採 生疾 + 捌 軍 採 行天下 75 州立君言皆 誵 积 Á 錐 能食 衣與 破 肵 後 2 足 前奏案日 割 j.E 在今日公 之權曰 悠雨 病、 郬 im 將 旅 名 之原 孤 忠貞 øŁ. 軍等 各 是夜 為 江 恐備 数 捺 平 基 漢 東 扣 地

黄鲞 古方 共 孤。 僣 奼 办 卿 大具情 會 油 佢 柜 往: 在 能 普程 輜 挾 勿 Ħ 其 可 諦。 曹 7 樊 7 П 略 Éi 辦 便 夵 持 中。 備:□ 今 奺 瑜 公 深 p_{o} 併を身 此 春 私 椎 1 カ性孟 冠の標 目 白 能 7 作 前 Ħ 受 汉 泉ロ 進 爲 足 屈 續 Ť. 道の徳 遊 誠 餐 其 我○不 用 得 ş, 威 縞 人 邏 操令決 决。 狐o三 背 寡つ利 起勞 枋 不 訅 乃 豫 誠 卷之 吏 之 、高謂、當○萬 以 肵 El. 浬 得 践 政 難○引ّ 州 副 於 倡 遂 能能 續○人 宝 子 建 棠 典0 次 龙 妄 ・担 卒 بنتر 水 肵 粛 決辦 餐の船 以 猫 布 旌 衝 持○ 江 赤 委 硯 冇 瑜 私 堂。 次 周 ルポー人○糧 文 署 揅. 久の ΉŁ 全 袅 倂 ΕJ 候 費 也被 瑜 泉♡戦 镹 表 破 豫 #ī 標 斧 聍 者: 喻 75 有 堂 軍 程 多の具 進 子 文素 軍 筝 之 苩 Ħ. 貧 티 乘 氭 椎 背 枚 逅 敬 表松 三萬 走 龙 方 見 備 阜 在 軍 軍 任 尉o為. 不 121 车 裁 連 葋 泉 欽 子 舸 不 吏 助○左 如 116 計 書o右 方o都 佐為卵で 東子 敬 呼會 e. À 船 徃 可 坌 意 ſij 有 備 燃 可 瑜 见 也 得 見 . 便 各 其 Ą, 岩 部 略?恪。 首 委 喻 东 别 肅 目 瑜 趸 後 舐 尾이 奈이 尾 疫 過 根 船o 劃 Flo. 就

杉 傘 H 'n, バ 徃 曹 古 並っ乃 走 北 λ 船 立. 各相 先引 | 数萬 兵 2 肅 盆 方 進。 得 選 Ħ. Œ, 刃ぎ 灰点 往 觏 求 不 Ų. 於 得 徐 胨 追 趟 洮 書き 大 燒 ХI 抽 į'nί_ El_{G} 盆品 箭。 夷 其 泉 光 海道 办: 救 宜. 撚 100 垓 辨 吉 造 **秦**C , **ф**. 不 於 城 4 E ₹ 陵 н̈́ 35 ŢĹ 拼 死 耄 境 įΤ. 発去 而 久 凌 周 推 蒙 围 ٠T. 癥 蔛 É, 不 引 脊 詐 紫 善 蒙 ኢ 1. 贬 絹 郡 逫 ٨ 通 隼 甚 北 帎 7. 泉の 守 ß 緽 請 共 威 脳 聍 馬 で北 K 祭 冬 灭 從 船 狱 徐 Ż , LL HO **5** 是 公 公凌 將 幕 11. 進 یج 椕 新 叉 华 延 瑜 船 **肾**点 澎 肅 盆 未 守 邾 績 存稅 17 大 軍 鹣 答 竿 及 П 烆 粛 有 州 ŧ 率0岸 士 能 4 2, 戦 風 道等 里 n 死 i): 東 兵。 易 奂 將 # 形 . + 於 膽 僟 者 悉 '河尔 伦 輕○ 上 俱 南 蕠 勢 H 小 曹 略 引 疫 共 J. 使 至縣 銳○营 進 同 承 肃 4 請う軍 **荒**兵 Ħ 陵 不 仁 且 釈 死 拳站 繼ン落 聕 き 枠 遊 ? 借金 衮 足 基 舉 先 北 业. 者 絧 农市 共○頃 貉 軍 盐 分 Ų. 軍 轮 瑜 軋 化 € :2 圭 貿 大 備 火 吏 H **中**_こ B 圍 遧 Æ ħ **摩** 周 艸 也從 $\pm i >$. [忠貞 波 ": "公 搽 ñ, 棠 Ħ 周 取 瑜 填之 鼓 χŧ 젰 $\exists \underline{\varphi}$ 大夷陸 X. 寧 於 江 渭 瑜 Æ. 乃 水 大 張 風 Η, 敖 堂 땲 震汗和

沙太 師中耶科督諸郡城稅以充軍寅 江營師雷緒率部曲数萬口歸備備以諸葛亮為軍----劉 已史 也山氏日此合從攻泰之有宠竟彼此 於內使非昭烈孔明左右藏餐於外則亦未必曹操東下之時具人震懼謀欲迫操錐瑜肅定 81] 喻等謀之疎 姷 路擊之徒以輕 若是之捷耳 ħ 關那方結當康以前烏林之役左将軍親在行 日赤壁之戰人專有其功是以它日剌 佟力破贼而鼎肅則 新者在下事工業大台 韓女性陽太守趙範零陵太守劉慶皆陳盧 等女性陽太守趙範零陵太守劉慶皆陳盧 綗 鸦王 東編 日方北船既焚就不能復進瑜 月獨書瑜 **春村** 上矜悠以済其患如此則 推 **₹**° 使张 落之 肃等與備迎擊破之何哉益當 月 繼後何益禁 攻 胥 謂 九江之當塗不克 權 始 ń 殸 粁 豫州觀於長坂志 Œ, 得引 各 其功固有 Æ. 軍北 宜 ţ. 必成 要其 負 州

	勇敢除不宜絕以理義非深斯兵法者	親三將親睦寓變化氣質工夫在或部	古方略 我編卷之一 言	中訓論宣徒和其氣必有	相の	典也不協操使司空王簿趙嚴并参三	在長肚于禁电顏陰樂進屯陽狸三	定 即 得	助人耳乃今軍中其不及の0000の0000の000の0000000000000000000000	会軍中有謀及者	張遼屯長社
-	兵法者也。	在或謂武人僅以	三西 忠貞堂	我必有以奪其心	. '	三軍毎事	陽觀三將任氣多	得首謀者	不つ一	及者夜點亂	

而

使

夏

矦

*

之。操 石手 古方 北渡 月至 出河 超疑為襲已必相 傳 許 E 喬 迅 部皆及其東十萬屯據 ·河₀ 乃 渔 仵 及 畓 咯 兵衆 - L 顓 結っ潤 船 扶 遂 请與 持 魯의다 庹 となっ 箺 遂 电音 下船 蒔 但 於○操[先渡操獨與虎 毹 欬 潤の乃 Á ЫŠ 1. 將渡 南の多の新起一般の阪 卷之 ٨ 挑 京 相 復 較 戦不 見 攻之の矢下 都 問 射 J. 漸 採 等 故 計。 椞○渡 7 中 計_{Ol} 與遂有舊於是 斐 流 故○矢 灰 潼 舊拊手 兵○西 詂 夜 攻 潜○河の 津の様 固請割 \pm 關 **集三輔三輔** 日 離 牛馬以餌 百 死者 如 七 之而 · 供介系 · 疑之馬 散笑 餘人。留南岸断 闸 ħ. 大兵 月 Ġ 人C為 符○商 左手 探白 地 西為營園 飥 撃され しつ送 西 交馬 任 將 有平 批 能 破○作○道 超 賊 韓 就床 擊 忠貞 鲜. 赵 -7_C 之の斧○而 鞍 贼 之 賈 九 月 Ħ 蒼 濮 遂 橋の前。 不 「後の 堻 面の超

ጎ 不 1 賊の字の諸 初 珳 多0遂 贱 ŢĻ. 焇 淤 為 М VI 不○而○津。 द्रा 營學 道也 # 伟 様外の 古兵 K 能の西の則 宇 П 點の何 示 敬! 氏 骐 不 弱. 典o河o西 潼 之 述 震い言 而 乃指 法 日 復 Ц 闢 Mi ✓ 🔯 凌 吾の之の河 後 如口述 、縣色 个。 曹操 其心 續編 办 末 渭 半の備の未 渭 擊之所謂 北 超 迹の日 不 錐 夏 虚の可 連 改○無 71 為 北 卷之 f 足 侯 車 故○渡○何 道 定者 包 盗 賈 地 堅壘房至 凉 州_C **洲**。 於 Ü 賊 -#-樹 二の吾っもっ 块不 6 順言 将O故o 採 成鬼 旨 屯長 疾雷不及 橌 擦 梾 年00年 .33 功。蚊 具 為 得の域の日 追 從 计之使不 不 取0兵0若 * 安以 智 至: 亦 骛 亷 河 出. 西の向の吾 訓 道 姕 疑 の 疑 洵 東 析. 有用的 所 張 河の渡っ入 孕 定 掩耳兵之 迷り 如 而 肵 以喻之也 南. 然の間の河 馮 採 既為京 而 馮 蘇 除 謂 飥 後o使o東 墹 盛 月CF 存 77 ለ 為不 侚 珳 離 引の賊○賊 퍿 張 Ż 兆 惠 去 N 軍o怨○必 將 克 叐 與 真堂 俴 **∌**o 化 餃 T 北の泉の引 宇 蔟 ij 問 遂往 膝^Q 凌o南○守

<u> </u>	1 1			1	ik	之。	4.	+	韓	妻	得	11	东	鄭	縣	建	
ļ	ابلا	Ħ.	駄	也	逐斬	典	告つ論の	方	相	ᄬᆂ	其	•	跹	渾	恋	安	
	也当安集	有	得	ᄖ	典、	フ・ グ	之			: Jr.	六	此	者		rio.	7	afr-
	묘	/ 	137		然	等框。籽		略	冠	者。	財	<u>щ</u>	. 4 5	于年	懼		鄭
	女	Ŋ	共	氏	餘	Ή _C	出	ا نصحت	盗黨	省皆遇	物好	示	-94	東京	皆	せ	渾
ì	集	桩	財	EJ.	煎悉	粁	者		魚	谜	婶	弱	分	重剪 卓泰	寄	年	討
- 1	之	4	物。	較	悉	纤	和	績	典	求	*	U 3	從	面と	寄治	廊	鄜
Ì	長	J.	+	和	平心	泉	鄉日	措	離	降	女十	乃	4 0	改善	郡	上虾	賊
	長計	乘,	Д	窓	Ĭ	聚	' ガ	未	散	渾	以	聚	4	春鼠	郡下、	静漠	
	裁	RII.		益		郡	使	t.	叉	青	t	吏	今 當	ΔIJ	益	あえ	
İ	1,5	問為	七寬正	βh		拔	諸縣		造	英	賞。	民	贋	殿 草 名 足 用	議者	音縣	
1	1	奸	E)	Ľ		城曹操使夏	ЩŽ.	1	吏	4	100	:4	開	EI	7H 1'7	年名	
		者。	恐	夹		-HC	E.	1	5Z.	0他	民大	治城	; IM]	El ₂	以為		i !
		19 _C	kt-	尺		体	長吏合	1	→	- 19L 		数	降	奥	44	為	
	1	711	肺	攻		火)	i	有	3 種 (悦			等	占	賊	ļ
		iz.	賊	夷		見	各	Ι.	恳	ા≭⊙	首	為	宜	破	移	梁	
}		無法以處	さ	之		偀	基		信	一	類	為守	豆 渝 威力	散	皷	與	İ
	1	處	梁	術。		汧	木	皇	者:	2後	MR	倘倘	英	鉄	微	蹇	'
}	-	此	泉介	但 ඁ	!	助	選木治	j	1) 選	賊	茶	宣藏威信	散藏寬	FIL	冠岩	1
1	ļ	是	利	募		7.5	<i>1</i> 1,	悲	布	o 乏.	够	Î.	化而	14	险阻左	馮	İ
1	1	静	F	民		渾討	安	真	Щ		賊賊之	的苏兵逐	4 7	谷、	馮	胡	ļ
	ļ	諡	leo			zo		堂	谷		4	作展	K (1)	錐	纠	諸	

	1			1 -4-		¥ 1.4	la i de		AL I	all t	初	
:	1		-,_	者方		善 1	如學	橋の	徒			l
i		1 1	邓	者方	惟	逐一	有炭	頂こ	海,	過¦	張	_ !
	l 1	\ \	典	學 學	- 適	作:	维 冼	水っ	秣	秣丨	紘	孫
1	ļ i		如 與 相	韓	其	作業	を 足 致 入	11 🔿	陟!	林陵亦動花	以	椎
		1	距	作场	EL.	液	致 入	# 0	77°	T ()	林	
	1 : 1	.	- 44	背 塘	*	48	步船	· 444 ~	54	<i>2</i> 1	IGA:	作濡頂
	1 ; !	1 1	15)) स ह	· 灰	均分数	步所	79	14C	1//	陇山	(M)
			TL _O	水 箱	1	省政	野 何 用	北在	廷	和	Щ.	AT
		`	得	陣 老	立.	温和] /	蹙 用	五爣	業	<i>F</i>	\mathcal{H}	坞
1		1	觏	伸 老 共 こ	梅	月候	人、梅	十州	B	之	形	
1	1	i i i	於此得觀變出奇耳。	聚 -	迎	城月ン	不高	立坞在廣州府無	责	居之惟於	勝つ物	
			ili	私	34		股蒙	接無	開	1	#i	
1	1 :		P1	744 I		. 1	7			n.	76	
}	1 1	1 1	ा म	И	' *	1 1	존네무	水母	4	是	猻	
	ļ	1 1 1	게 _ə	以 森	多騎基		水源共	果湖東	禄	作	椎	
1		1 1 1		T.	基	i ;	其沒有	東	欽	石	IJ	
1	1	1 1 1		麸	鉄		股及水其得入船蒙口兵有利免政	:諸	東	95	為治所、	į
- }				爺 、	16		1.4	将皆日	£.	扯		ļ l
- 1	,			(MC , 7			6. 2 2	14.	, ,0	# A	126	
ļ	1 1	i i i	3	本	4 685,	1		1 0 :	70	اعث سا	77	
- 1			*	, ,	* 早		fo 無	150	東兵說孫權	城在惠天	及	
Į				軍勢銳未可緊勝	存		權[五	上			舠	
	.]				2 地	1 4	日月藤	2	夾	/it	俳	<u>. </u>

1 73 古方 甘寧為升城督 **於** 初 陽、所展 破 # 0 且 0 及 存 人之後 不移時可接及·和危之令觀此 之, 十 巾 梳 公 精. 氏 山乡 П, 執 朱 閥 . W Ł 冗 光 枹 蜐 頻銅 Ħ 移 苁 寧持 奥莉 n Ħ 敵 脖 板 男 47 7 **太** 水っ城 入の乃 ۸, 伖 女 77 **i**j 1. と 絥 以の不 若の成 蒙所以 皖 遐 數 薂 杂种 歸っ能 罶∪城 作 ; 朱 萬 + 全勝之道也 權 ŧ 土山 鞘 枝 經○備 光 中,既而 卒 攻 拜家 緣 圈。 肝の肥 U 俿 者 皆 赥 IJ 水の脩 晄 諣 之 A 三. 7, 朓 必の外 神速子 陮 麿 張 1 断 何の故 Į, 胍 1 芜 平先杂以精 统私 įΞ 伙 梢 大学。 至 晨 避り至、 一 夾 石_O おうぐ 四面 進 道。不自己 攻 根の可し 淅 技 雅の間

耳 走っ自 湿の然病 割之 致治 不0分 柔之言當 t 将 耳: 可っ在 先 山 Ħ (竊聞其中時有梅者恩)其刑命及父母兄弟の司以の問の禁心等の然の所の禁心等の然の所の禁止等系 IJ 有 李婧 F 類如 氏曰 復○軍 Œ 即止不疑。 得級也此。 鲜! 炙 ょ 有 如 肌已親 克涛 節非 此孔 結 對 觏 额漏灰之一 前科 不疑。 于 唐 民不畏死奈 茶陳勝呉廣以 重刑也 士, 太宗 固巴 明治蜀雄 太 杰 帲 重 (亡逃誅 宗 日。 謂 後 祈 刑 絶 FJ, 共意 可 뛝 Œ 核 威 何 尚 不 质 謂っ啓 汉 嚴 冇 详 之 以 失 以 将 望。 日 乃○日、 而 愛 吉 則 ት 以 死 期 及 而 刑 止 宜っ士 乍 Lo很. 設 威克 也 不 \tilde{x}_{0} 法 畏之申商 喪 货0卒 更 早 Ŧ D 沐 亦○復 其○亡 若 卒 乃 先 黖 麦 使 仮盆 爪 且○重 未 肵 相の之。 思禁 威 麦 未 此 息資金 親 IJ 吉 随 0 系,以 0 在 兌 加 信 設 詂 不 耐 Th: 面の恐し

古 敵故先 り 不 方 止 Ň 又日尉辞子重刑 子之法為世不利思按此雖 對太宗果 矣尚書所 艮 亡之言亦非無 則 Ħ 外 王. 友 精編 是也若 坠 明制度于前重成 否 以慎戒其称 矣愚按此說與高柔相 不 状 T 所自耳 **令篇云使** 从 知然其說 加 非所 于前爱教 **載武經** 刑 民 自 17 于俊剂 内 正高柔重 作 묫 謀于 于後無益 重 七書其為 重 比也 刑 Ŋ 刑 忠其生 則 内 于 非 故 外 揺

義乎清從 戦消 拔出餘衆權 数十人得出餘衆號 1. 人名西班牙克尔 克洛瓦斯基克尔 為走登高家以 椎牛病祭明日 此國家大事 心。歩 象 者, 二大将大呼自 古方略 梯の人 孫 · 文是以教 寡不 署○屯 函○合 張 權 君若疑遼将獨決之李典:後可守也進等莫對遊怒 李 張 不放發之張遼曰公遠在本不敢疑之张遼曰公遠在本 將 逸○肥 新名 君 4 日。魏 守 而 硕 出 戦っ公 ⊹ 長 名 君計 馬皆披靡自旦 出. 遼 戦 ď. 至○排 D 肥. 钱自 参之 逍 街 被 於 樂特 乃○之 春 並入 是遼 安權 晔 1 : Ħ 'n 祭 つ 征 肥 持戟 Flo it χņ **守**っ 軍 及 張 耕 日将軍東我手邊的九大東正之后各国 耳子登 溼叱 5 至權麾下權大数C 夜 守護軍勿得與戰 椎 幋 张 ¢ 北 芬 也 重 進 登陷 日成 之o在 折0外。 杦 肌 權 素與遼不堆假 戦 為教與合肥護軍 李 **餐教教**曰若孫權 Ŧ 可以 至 + 從之上一件八 典樂進 其**以教** 敗之機 栈權 陳殺 餘 П H₂ ψ, 私 の意思 復 不收 數十 慽 城不 吳 忠貞 不 葋 在 以○彼 亨 奪 突○凡 百人 此 劬. 忘 杰 安c破 知 1 気の 図っつ 欮 Ħ: 奴の我 Y.

梁有 北張 持数 但 泣 南 壶 三千人在 津南 力 死。 難 也山八日遊 日 者之固己 ぶ Ľ. 戰 卷氏月以 閰 至尊人主常當持重今日之事幾至 徹 終身之誠權自前收其 緩控利 身亦被創度權 扦 此謂寓 丈餘無版親近 遮 特攻者之不力耳 娊 於後著鞭以 望知 中於戰 擊以 十萬衆不 绝 率 權 之即 親 折 櫦 Ľ 近 兔乃 其 繇 名官 粉 諸 券 扶 **助馬勢送** 能下 是 槯 椎 外 淚日大慙謹已刻心 得免權入船安飲齊涕 選權 紒 在 騎奄至 出圍復選與遼戰左右 刖 敋 道 城及 迡 垣 乘骏馬上津橋 ú 利谷 得超度質齊車 甘寧與昌 此。 為所 JF. 在馬後使權 進春 求 祸敗願以 以账 耳。非 蒙 上有 等 首先

4

古方 古方 郡 檉 校 葋 Ŧ, IJ 則 郡 將 曹 吱 嚴唆成 叛後三草于 17 未日 善治 攝 潜為 7: 精 咻 棒 Н * 拒 **為喜者機** 境少 之無 Jŀ, 聚 疦. 以丞 糌 檱 治過 挤 潜 **克**惠 ĸ 日 LI₂ A, 編 新新 包苁 法 無單干與 將 滑 相 未 H, 代 單千 ¥ 者 叐 戡 于 31 則 さ 此 汎 不 外こ二 子 Ŧ. 問 あ 百 1. 以思忒 太 怨 明 見憚 產 Á 守 事 灶 美花治代 事主 稱 產 果 扳 者余 治 **Ŧ**, 肵 加 錐笂于 齅 ㄉ 單 松乌 孔 繇 Ŧ. 遂治 放 縠 军干警 宜 鄭-繇 者柜 州 源 삣 横日 ŢĹ. 生 曷 侍 潜之言 n 2 推單 計 来 也 誻 さ 14] 彼 渤 力 h_{Ω} ጻ ተ 張 展 潜音谱 斯心太 久今多将 以 素 胡 Į, 治 海 大英 闔謀之 遂軍車 ·推之C政! 塔 召洛 胁 **同**。 人存 Ź, ij đr 料之代 收合维 人間 供以 竹 為大 4 2, Ā 外 定 輫 矢 忠貞 灰 閲 **不** 丞 樵 是 守、 处. 者 能 相 并能 有 必 1 紩 以 光の 必

至 反覆不 以為 古方 帝蔣欽斯 客言於權 ED 今令 必不 家大計表足 甋 後 復 如 魏王操 凰 救 灷 陳 明荣等 此 自 濟言 取 輌 兵 かっ Ħ 閶 解 土 羽 何爱於 願心可造人 選 民 E :素驍勇 其可 Ħ 剢 操從之初魯庙皆動 於排 議 爲 孫 隶 尚 典 游兵夷人 Á И 徒 冠 襲 積鍋 對 得 在 腹 有 操何賴於 之同仇不可 日子禁等為水所沒 許都避之承 贼、 Ħ 取 和。 折劉備 有兼 克 日今 也 心 Á 作 江 征房孫皎 卷之 Ą 勘 符 操遠在 升之 也初 權 礻 循 日 以南 抻 殺 位購其後許割江南封塘 解孫權外親內疎關羽稱 ~ 欲 羽 江 7 勢 於 心 強 應 失 相軍 肵 A. 徃 主 特牌码 河 北₀ 先取 牡 以 床 羽 計 且居 也及 孫權 敵 堂^o 司馬 遙 徐州。 占索 ß. £, ኁ 围 Ü 應 便 非戰攻之失於 別と。一旦 曹操 H 上 司馬 集幽 问 紣 扪 31 ilt_ 告 自 a 除 英 Æ 郡沿 東 共 家 33 南屯 封權 右 詐 前 尚 僵化。 か 旅裏 忠貞 存 胶 西 H 项 至尊 産 逭 之以 志 肵 曹 * 佂 则 陽 夏节 \mathbf{p}_{r} 且 在 Á 3 W

逊 É 熑 遜 古方 至尊宜好為計業 為其子 固 Mc ₩. 易圆也蒙至 ¥ ä 於 目 Ė. 其 樊 Ŗ 操。 我 ħ 咻 劇 B 利。 後日 双つ課 形 Ź, · 才 督 於其 號氣 枚 羽 索 求 全 旬日 狀 北北 東省有病 Ж 検 **案至都** 存 據 必 陳共 境和何 代蒙 行词 不召录 內 二負 ηŽ. 於 長 : 重, Á 盆 熔 口 羽 ìI. 筝 FJ 始有 託 滙 形 爾 權 # Ħ 選除與圖計家 羽罵 春之二· 錐 合 之 :未 遠下 至 便 問 備、 37 11 之要 两其使不許昏 中 年 年 日 日 日 Į. 素 大 陛 有 令 太 誰 乞の樊 七 "勇猛,且 羽 \mathbf{p}_{o} 後 遠 可 出其不意自可禽刺 功意騎志逸 可 下。 寒暖。 分叶皮 八 41 爲 名非 瓠 可 代 日 40 萬 **程** 于, 椗 ψp 克權乃 あ 天 人 椒剃 j), 者 羽 下至 如 (中之) 籾 軍 遠○多 禁等 蕠 可含也 所忌若用 沒 建 · 辑 江 · 葉 · 備 **對 見** 召 言然 桁 檞 州恩信 無湖陸遜 無是怨及羽 人馬軟 松兵赴 Ħ. 蹇 の以の兵 功 拜 陸 我病篤 邀 بخر 遜 大 ጒ 上の高さ歌

之 背自 作 廕 孰 昔 ž 程 Ħ 7 戒 都 没晃前 Ŧ 周 者 餐兵 食 必の士の耳の徒 青晃 **仅** 枚 仁 得 徐晃俱前 塹 操 也 侍久 至 瑜 z z 裁范 權審謝 尃 齅 牦 出 至 普 以 擅 軍つ不り 漢中 麡 Щ, 爲 征 肞 核 R 故假 不ら若り 蒙 备 陵 俱是督遂共不睦 左 솫 權 過○前○仁 稍前 FI_o ጵ 日城 也 救 右 商捐 湘 *~* 部 十つ軍の 謂 共 新之 図 使 ИĬ 言孫 闗 誘射 拼 未 重後 11 徐 舺 杍 敀 绞 晃屯 到 通 進 為大智谷 督兵攻江陵雄事 水爽 晃 趙 兵 Ħ 븕 示 宜 含号 僛 屯 宛 用之 棠 界分 偃 γı 午 17 截 為 | | | | | | | 共後の 城是既到龍 助曹 皎為 敗國 以 灇 7 左 置州 荣能, 素 足 阆 右 間以 事の 科兵 泰 稂 좕 有 谞 木 及于 裏の外の所 供の枚の以 曹 **a** 热自 綋 水-决 宜 大 樺 而 耳 Ħ 用 チ 喜な簽≎以○飲 ė

足以 狪 屯 追 憿 大っ不 秋C 自○権 o * 内 殷 死 王〇便 将 計1 面の飾り期1有 遠に耳 耆 ή 料 不 糧 不の則の於 備. 徃っ 然 事 為の階 外 震の関こ合 Ł 有 太 標 之の日 然 五 乃 煾 使の速の宜う間 一行今败矣侍 射C 拔 型公江 Ą ¥ 善 + 强 勢c分 刐 不 權の解り宜の基 佐 其 能去魏 也。 4 育 凡 1= 何 有 井 得の便に應り臣 中の間又 E 青 + 犬 夫 袁 他 志○獲○權○挙 £, 居 İ Á 能 マ 东 攻 乃 非つ共の以の臣 萬 犬 * 鏊 П 樽 駐 圍 徃. 及口守 A 王操自從陽南 計○利○客○成 六 z 羽○間 之逃 頭 詴 重 死 Е 王 中 難 之の可ご而の言 是 摩 Ŧ 之: 中 吾 쨦 地心必 屯 上○使、内○宜 ó 禾 中心不 速 走 陂 而 ĸ 地 Д. _ 面 騚 1). 叉 兩: 露: 審 此〇共 所 示 虏 ٠,٨ 守 羽 在据 必 K. 羽 翢 賊の之の之 有 泉 圃 攻 ŧ 板水 餘 死 72 相し羽の輩 中 务... Ľ 川軽 無 古人 £ ž, 阳 呵 11, 奼 쵸 將 持ご聞ご服 徐晃 焢 何憂 # 杰 舍謂 日善 有 Ü 便 坐り権の日。 吏 Ä 之 者 ŧ ·Ŧ 初 忠 ぶ 待の上の軍 サゲ 於 K. ģ 前 誠 墩 41 t 遺 か 其の面の事 汌 **31** 此 内 Đ. ħ 後 低○跟り尚

香老 **蒙麾** 家 干方 之。 錐公蒙 速曹 咸 IJ 当治之。芳仁 翗 江O維博 晃 水 易皆 슋 杽 辭 兵仁 Ħ Ħ, 邊 o身 雅 輕 棄 追 問 下 * 遂 腴 札 4 留兵衛城遂 e **Lot** F 勝 41 士典 無慰之o 至 是 山 成 蔟 糳 豺 候こ 緋 腐 與 不 军 敗 'n Ż 盡o使 絶 倶 仁得書即 母兽 危 足, 中震 蒙 Ą 咸 蒙 掩 栩 豪 Щ 枚の白 不 入 因 制 俚 Щ 綹 犯 同 入 軍步 線の表 通 塱 於是 Ŷ 將 蓌 其 南 慡, T 郡 Ĭſ. **†**, 之〇搖 胃 40 热破 燕 بإز **陝** IJ 後 军虫不 仁至 追 1= 是○樽○蒙 破 取民 食 晹 굷 顏 不 降 载 故o作o至 羽o商b海 枧 供 Ż 拾進 14 衣 南 利 **7**1 ₽₽ Ŧ A 輖 黔 羽 學 以 禁之 郑·杲 走 得 粃 钝 邆 ij 柭 A 不つ買つ腸、 撤 南 裳 鄉 31 Ŧ 耳0 敕 傶 载 騎 资 間の服の数 0.0 M Ħ 涎 府 笠 Ŋ 芳城 今っ恐 里 歷 都 El_o ボ 知の書の代 逛 敬 故 IJ 羽〇我 曹 人 棦 此 權 尉 悉 糜 夜ご共 家。 有 己の乗 财 使 衕 覆官鏡 六 闖 宇 遨 誦兵也 虞 芳 相 兼C精 舟 實計 觏 蒙以 孤の其 料 棚 及 ÷ 11 行つ兵 船 法。 忠貞 為書 近 諸 及 仁素媒 进っ 所 連 羽言课 科 猫 1 -奂 封 官 求 将 静紙 疲 將 畬 所○艤 旅 Ŧ 置っ中っ

舌方 悉计算 将免 北 呉. 失 蘇 而 刬 徙 歧 せ. イ 走 羽 丏 王 티 次 濩 张 逄 日 権の自 之。果 Ħ 类 之也 也面 Ę 大 尾 不 # 肵 同 趙 敗 吳 **先o**知 ø. 肼 Ľ 帐 4 FI, 筤 Ľ IJ 仇 倩 Ä 樵 使○私 蔜 權 此 ic 瘠 關 拔 破 計 峽 خ 終 溢 帝o第 璋o万 横翻卷之二 三五 各 Ħ 敕 4 Ħ 懼 利 門戶 냶 不 拚 **中**。 計 評 用 逓 仁 冻 7 I o 誎 **復也**。 蒙首 枚 郼 其誠後 斯の西 4 姰 慮 Ц 之而止 曹 朴 丧 Ř 戦 其o保 逕o麥 飯所 友 4 為 身 権無 t 羽 祭 而 阊 養 乃 推客 椲 凷 7 又 **华**模科 相 退 策 Z 年集 策會權 解凝 生っ 惠則 何 欠件 南 m 異漢之心 杁 不 \pm 用 电改 若 粤 之謀此 使二子之 右 復 所 兵 西将軍屯夷 Ţ 冻σ 2.00 有 臂 チ 追 者推 뺽 新之。迷 解散 重ケ 王 ٨c 禁斬 飵 枢 備 兩 進る 枠 許 术 健 셌 計 利 唛 4 此 袭 閛 将っ北 計 菱 亂 崖 吉 腁 亦 1 倶 Z £ Ŧ 創 羽 生の様の 河之 不 僚 王之 自 И 出 存 ¢. 制 个 走 熋 州 患の則の 行 雷 盆 者. 州 勒 4 将 悉 本。 討 計 我の広ん

す方 未 有 不 矬 Ħ 如 對 子。 客布 で 繁下。 丽 쉹 能 熯 果 [F] 所委署而 面 袻 遜 喀 4 17 知 **洪**っ 逐 糜芳 不 為之所和吾 置不 扼 羽 찌 事宫败 귮 魏 其 肵 盆 都 氰 则 其前 被柴 羽即能 私 Ŧ 用 策 n 進 75, 潍 士仁之與 栵 蔚 备领及 里 也或 固吳也 應手借手號 料助 矣 犄 不能 樊之舉。非其 迹 孫 蜀之 皂 于 指授 枞 角而 則 用 誧 斊 \$ 有 軍左左 曰 梸 皴 矢 遣 意是時 君臣 闹 欲 Œ, 七二。 所 若 呉 <u>بر</u>. 丽 别 Ż 11 觀 и 何 И 恃。 右 起 剢 売督 不 X # 天 相 先 輔 其 降 14 而 未 Ħ 足 不 濟 T, 所欲 州之 嫌 Ĭ. 袇 曷 後 補 恃 放え方 甞 能 稱 道矣蜀君臣之計登 之策明于 軍從 以後と記れ 未 能坐 在 征 奥 漢新下⁰其兵 充 Ŋ 有 ケ 以其 म 漢中 或者 羽 東觀兵 敵者 析 而 生. 祁 **4**11 抑 算其 領 Я 羽 交兵 Ŧ 货 ш 1 鎮之 制 売 孔 美 败 所 智 八 推 間 北 又` 羽 尚 查 明 必 維 羽 忽 者 強執 吳而 驗 向。 增... 呱 難之以 後 而不 Ц 將或 勝而 河而 た書 觀 羽 丿 ķ. 夂 ij 44 國 而 貞 備 75 以 Įų, 蜧 矽 ſψ Ľ 鲋 爱 昔 内 ŋ 羽 不言 智力

古方吟 IJ **ボ** 劇 之無亦其特羽者太過故至此也夫以 科敵 曷方 而不為之計如是而謂蜀之君臣明于置将長于 **所逆睹與不然羽之於勝實** 與其不棄監則羽 外有狡郄内多異志 先主之傑諸葛孔明之智徒過特一人而使可 圏天下之機輕而棄之然則 不 可以不 未 戒 耐 雕匠 及 而使敵 不 知 į. 務期冬七二 為 护 呉忌魏 **洪而虚客也** 羽 不 為 分 煶 ż 過者。豈其 郋 而 其 間の以 数者俱岌岌為果园皆坐 茅 無 述 功。 思看。 阪 **垂成之功暨于** 葋 有敗道又孤 理 不 あ 灰 扩 則 至失地 不 Ы 大用兵之道果 然哉吾反覆 툊 羽之威武 而兵败 軍 者以 忠貞堂 世。 焦 從 投っ

閘 崭 改計抑 心不若且受具降而發蜀之後也 其內乎魏主丕曰人 其外我襲其內吳之下不出旬 今選自相攻天亡之也安大與師徑廣江襲之蜀攻 吳蜀各保一州阻山依水有急相校此小國之利 投灯盤其泉而疑敵人耳天下三分中國十有 備必 質劑 到吳之半以與蜀蜀固不能 古方略 乘其赏故委地求降一以却中國之兵二假中國 孫 奉策拜權 我伐吳知吳必亡将喜而進與我爭割吳地必不 中國代之 椎 大 日對解 進 业也 怒教吳也不 典師伐之。 Ħ_o 使 權無故 有數〇不知有蜀 之言曲盡權之情偽 ۵, **燲辐寒之二** 便選軍不能止也今備已怒與師擊具 臣 吳王加九 卑跗奏 末降必內有急權前襲殺 外有强冠鬼心不安又恐中国 稱臣降而伐之疑天下 錫、 不 久存() 鷝 遂受具陸造太常那 日矣呉亡則蜀孤岩 若 對口蜀遠 况蜀得其外我得 皴 + • 忠貞 吳近 做末者 聛 其 羽

ᆁ

卞

受具

敢自 其諸要害皆已固守擊之必無利遜曰備是稱虏更 營察其布置必無他妄問 曾多事其軍始集思處精專未可干也今任已久 古方 關限 指え 口攻備當在初 31 **欲擊之 陸遜** A 漢 我便兵疲意沮計不復生特角 न 伏 不決帝遣 習 駋 南、敬心,者,爱,在可,感, 者 送臣维不材憑奉威靈 遜 憂今日爭之當令必皆 维 必 兵 4 쁫 臣初嫌彼水陸俱進今及拾船就步處處結 日 Ą 有 八千 大督 陸 吾巴 易得亦後易失失之非 八衛編卷之二 75 Á 今日 故也。 日此必 從 呉 張 44 暁 今乃令入五六 谷 班 南 峽 漢 破之之 力 遜上 中 将数千 Æ, 建 蓮 有潮 先 <u>i</u>, 前 平 攻 疏 遜 部 連 吳王權 A 督 自 術乃敕 一瞥不利諸 E) 1 营至 ٨ 涎 以順討逆破壞在我原教 備 肵 觀 於 百里相守經七八月 #1 Ŧ 以 之 不地 夷陵 Œ 帝 進攻漢軍 徒 天常不 El_c 不 月 持 者後 後符其足 損一 夷 立營吳將 惡 如 與 界立 將 <u>+</u> 其計 **陵要害因之** 諸君擊 呉 郡之地 把某 晳 守腐穴 相 藪 忠貞室 不 拒 + 將竝 近無 班 行 帥 至 級

古方 吾 * 迸 漠 丕 諫者、 此 僣 軣 勢 可 數 ŧ 75 假危灰 X 荍 Ä 甘 之 兵 Ł 無 目 Щ 失 以 赂 曰 為 É 偍 張南 忠 Ħ 此 恒 魳 拒 IJ 孝 依 檐 産 也 敵 件 皋 在 漢 妆 直 此 EI, 除行兵敵 遜 娆 者 若 横編水 漢主伐 致 後 里 漢 於 主。 孔 非天 绕 所折辱 ₹_C 謂奉 在。 Ī t 觏 忿 蚏 趱 П 包 不 变出奇 威 必能 北 断後、 胡玉沙摩打等首破其 ř. 原 Þ. 能 不 بر 吳 扼 **登非天**和、 看意 Ξ 不 鳯 EI, 其衝 破 無 ŋ. **ふ** 制 丽 僅 請降帝 勝-潈 備 失 主 漢 險 Д 敗 枚 阻 得 茐 書 初 漢主 Ŀ 溡 T 皿 ス Æ. 情 日 文 秏 到.. 而 暁 曹 孝 東 得 法 見 也之 白 解 升馬睾山 裁 夫 為 兯 丕 直 上 有。 勢品 伐呉為可 ĭE 帝 死 **登** 漢 Ŧ 튁 岩 流、 产 Ľ 者萬敷帝 城帝大慙恚 者 使東 十二二 卆. 散来 漠 在 剚~ 沽 呉 七 4 乒 办 Ц 諸 陳 四 重 而 育 樹 水長 Ļ 敵 不 勝也。 然而 布_C 髙 兵自 † 同 叐 里 业 Ŧ. 夜 栅 傾 餘 脎 通 Ħ. 绕

河 c 端 南 c 坐 在鼎足不能奔力。 4 足 力の援の有 **吳** ı 通發深思遠益非若 **算之上者,昔孝文卑辭** 漢主 方略 亦写 有 衠 Т 而 朝定也 也の借 非也 之の者 背若: 徐 弁 今0遊 # 盟 ᄞ 分破 鮁 其土乃 岩の之 骳 豹 Ż 益 Ш 頻兵 かっぱっ 《後編 弗 乃造 其不 不 ~ 其 順○久 竝 榧 4 能 取 相 謑 尊 智カス 絶○矣 宜 守坐而 西口 凌漢c 且智慧 後 也 参えこ 中原 顲 攀い 国 豺隊 此じ高 規 岩 <u>r</u> 我o 家 帝 蚏 之の魅 大 電視 夫之念者也今議者以 下 件, 堂已 侚 必∪折こ正 彼 室已 淸無上岸 Ż 麦 當略民廣 僚 為い於 **須老。仗北** 竹 枚 奴先帝優與吳盟皆應 載 我我之北 致 不班 大才尚多c 青徐幽 使於具質稱奪號 利亦已深矣權俗逆 腴 杳 討。能志 江 彼 渡 所 自 無上岸之情此皆 漢 八廣境示武於內非 泉 · 联 前 教 局具充其并 漢前 料 保 皆 十三二忠貞 相 *5*7 Ħ 之 不 江漠 為 央○**特** 之○角 移未 陵水 交 權 計 El, đ. 能 之 凉 利 角o Ż

古河路 夙 得已故。 **備呉而** 罗耳基具不 蕭何 已死非不 肵 **聚梦難** 胡 <u>щ</u> **巷氏日蜀之和呉當在** 求 氏日蜀典吳 司 顧高帝王漢中a 魏河 復合野 维委心 掎 州之 奇名 Ħ **角之接基** 恥 而 南 ±, 于 不 朱 t Ц Ž, 臣 欲願紀之者 泉 和。 凾 -糗 伽 聊 欲 谷 一千吳僅 ď, 而 男 留 M 錐 赤壁之殿 亮盖 찤 不 備 倾 Ą 不 絶 넂 B 得其 可 典 甘 被懼其合 ぶ 北; Ŋ 奸 ıĊ. 得 俊 再 文貌 然 肵 典 耊 **不**心 敝 Á 見 呉 N 須 Ą. U, 巍 羁 蒙 略 琞 以 产量 哉 IJ 緳 羽 FI_O 抗 40

古方 表料 **=** 召寵選給事 俊表 將軍 步 滿就 觤 土造 Ē, Ŧ Tī 戓 档: 餘年。有 A, 精 則 配年過射 目 人往迎之布夜拖擊督 Ú 致乞 子纪 使 勿 順 竉 所閱可令還朝 節度其宜會能被書人朝敕的府長史若凌 不 有 網 歩戶也 房京兵不 以ら 呉主 n 康 足 士 Ħ 出 熟方岳及 中那郭謀 演編卷之二: 相 悬 無○兵 书 郞 術 多 則 異人能与之家 乃慰勞遣 酒 歸道甚相 必口見 伕 将 許の近 嵇 央 書誘敗曹 不可 不○凌 盔 曰_C 居方 與○腾 城 問 鎭 事 以東 么 淮 嘉 炐 南。 , 尚_つ 得,乃草 為汝南 任、 而c他傳之 遠開 且先客計以皮 于 再足尚 方 男人・憚之。若不 之方 迸 任任 走 Ą 布 fit 事以祭之献 欲 妣 亥○書、 太守豫州 导 書誘 也方 遣 作c請 兵 枬 c兵 (1 報 五名 魏王 督將步騎 相 敗 過半先足 州 迎 魏 如 刺 敿 然 知 征 史 뇻 史つ

		· · · · · ·						-14		<u> </u>	
	$\overline{}$	1	15!	1		1					
i		Ì	古方略	i	有	此	四	椎	#	**	藍
		1	略		功	何	東	適	爭天下之心也o	設能以誘其來而陷之耳非如	Ħ
					之	至	事	氏	下	n	孫
	Ų				臣。	失	以	Ħ	之	誘	權
	i		積		盲	廉	察	凌	10	其	自
			積編を之二		以	將	之	表	也。	来。	度
	}				趙	軍口	卒	竉		i 而 ̈́	カ
			え		思	而	愆.	争		FF .	不
	-		-		衙	<i>A</i> 5	分	渔		ヹ	足
		i			大の	茶	進	馳		, 4 5	以
	1	i			D.3.	加	`,_°0	No.	•	非	
				i i	が	奴	母	7		如	观
!		ı			7%	北	1978.	华	! !	i ひし mm	1/5
	}		‡		虚	後	蜂	富		늉	担从
			1]	盆	世	在 在	郭		大方	バー 潤
	İ		惠		有功之臣當以趙惠為成而以魏王獻為法	此何至失廉將軍而為秦所破城散後世人主處	問東事以察之平慰勞造選為聽良將使趙惠知	惟適氏日愛表院年過晚酒配召還而郭謀爾宜		孔明與有用獨以	或曰孫權自度力不足以熟魏不過於獨場之間
}		1	忠真堂		~3	主	惠	前		蜀	芝
	_		<u></u>			處	知	宜		双	間つ

败

堯

	•	無	+ +	爲	先	地点	数	の陸	南	逩	
	豫	或 功	方	富、	之。	累 1	良之	○道	太	東	
	等	日部	咯	鯈	JE	世方		の討	守	办	辨
	無	游令	- i	不	使	J. 4	k 7	0之	川	套	济
	功、	济 混		如		質、オ	了工	0散	豫	淵	핥
	魏	深 軍	横	意	皋	歳 消	. 輕	o騎	督	總額	伐
	Ē	悉	(海)	是	便	赵 和		2常	青	官文	透
	77	理	寒	為	克	計象		0 停	州	肸	東
	É	外 、	2	結	得	寿。 身		○蔣	請	愎	- /-
	Ħ	势 ₀ 所	_1	怎	其	及言 片聚		○游	軍	流	
,	À	<u>ئ</u> . ئا		失	民	来毎 丿	计能	o諫 :	Ð,	10	
	. 济 ; 声c	足		信	ぶ	幸茂 等	制	o 🛱 c	744	数	
	1	<i>7</i> 5,	. ,	1		展上 月	5 是	0凡0		英	
		\$ 5	'	: ALC	益	九計 李		○非□		典	
		大		ボー	E_	不自		o相c		通	
	!	幕 功	十七	聽。	得	乏世		っ春く	刺	魏	
		功		T¥.	其	職		0 2 0		主	
		<i>7</i> 2	忠	等	财	真。海	爭 也	○ 風 c	Œ.	啟	
		た成の	Ą	往	不	議一才	も 放			使	
	<u> </u>	ツ.]	堂	皆	足	者しる	- 月			汝	

脳 所謂 攴 徙亡 說道也又曰善動放者形之今 限必准此為守魏三敵疑之龍重表曰孫子言兵者、在原母民在以在守也 古方 兵往牧甚難然其西三十里有奇險可依更宜立 官兵教之當先破賊大輩然後國乃得解賊往甚 贼煙火而壞城此為未攻而白拔一至於此初略無 便藏軍将軍將蔣議以為如此經示天下以弱且學 兵往牧甚難然其西三十里有奇險可依更宜立城官兵教之當先被賊大輩然後國乃得解賊往甚易官兵教之當先被賊大輩然後國乃得解賊往甚易正湖北遠壽春壽春距合尼賊來攻國必據水為數 之夜遇是時呉人歲 江運小好勁兵楠守足程 共陸遜引兵向處江 見兵の 75 戒 生. 報聽之 F 於內矣尚書趙咨 形而誘之也引賊遊來釋利 哔 能所言亦孫子之最者者 [A] · 類編奏之二 守此為引賊平地而 有 拼 十谷 数黄 北計。龍上來日 깄 J. 以為 者が 後初 戚 未 至而 宜 非 ĤĦ Йij 精其歸路於計為ないのかの 逑 73 6 而不能接 救 Æ 合肥城南 移 ア・君 電ご於 城却内。 忠貞 盆 完全外の 高の則 .17 堂 悶

		, -	- -	_	1			٠.,			٠.						
;	•			-			7				數) 當 o.i		不	뽓	
i			:	į		1	7. サルマ	i i	घ	或	TO	以:	上の	Á	敢	主	
						1		١.	騎	日	或	待:	·异o;	大	ፑ	權	満
			į	:	İ		[]		加	此	有	. خرا	, , 握っ,	ا ح	船、	自	龍
		i	;	•				Ţ	此	1	赴	電	経の経の	Ţ.	龍	将	伏
i			1				, A	•	此。	龍髮	水	主	· 以o	NO.	謂	攻	従
		i			1	<u> </u>	781 24	N	•	新	死	果	- X	<u> </u>			
į.		•		;		i i	· # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	•			丸	术	. 示し: 	ᅐ	諸	魏	肥
į		,	1	ļ	ļ	1	, #			謂	者。 權	上	有っ	Κ.	粁	新	水
	÷	,	į	!		1	, ,	-		斯之	權	岸	僚○:	Χ	料日の	圾。	
!	İ		1	1		1 1	į ž	-		之	ス	耀	徐 ○ 万 ○4	跃	体	新春	
	:	ŀ		i	1		1			Ж	使	兵、	潜っ.	要	椎	城肥	
	i			:	1	1		ı	l	利	4	兵龍	造っ	_	得	D.	
. ;	i	ì	r	1	i	1 1			ĺ	者。	琮	伏	步の	ਹੈ। ਹੈ	吾	其	
	-	1		1		1	. ;			톳	攻	兵	劈0.		₽L PL	遠	
				!	1					果		力	-3×1 ∪ .	<u>ب</u>	新	垭	İ
		٠,	1				! _	٠ ا			大	卒	大0:	<i>"</i> '	抜っ	水	
i			1	ļ			; 7	L		N	安	起	101	難	业"		
1			ŀ	1	1					騎	亦	拏	伏つ		於		
	•	İ	ı					3		敗	不	之。	肥○i	枚	其	+	ļ
		İ	1	1	1					央	克。	斬	水。	£ο	泉	傑	
	į		ı	1				ŧ	<u> </u>	敗兵不	١٠٠	撃之斬首	隱○』	Ø.	ф.	H.	
1	:	- 						_									

東兵將意動且當自定以安之施設の一年、 のこっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつっつのかの 大震日選無所復受得専力於吾 ٨ 避 遜未各方催人種對豆與諸将夹棋射戲如常選 大駕巴選賊得韓福其知吾獨依且水乾宜當急去 吳主權為魏遇者所得諸葛蓮聞之甚懷書與 士焚具攻具具吏士多病、 丽 瑾立計令瑾 吱 **終梦步趣船** 聲勢整部伍安定 東意不為敵城此 便示迟賊 芭山氏日當敵勢方熾時少 逯 日達料大勢定退避 周 峻張 與 智略其此當有以 當謂 吾怖 仍來 相 + 渚 一个角船 魏人不敢過行 編 梁擊江夏新市安陸石陽斬獲千 四年魏主舣 葛 赴城 冬七二 瑾 立 達便引船出遜徐整部伍张 避悉上兵馬 信用理言 陸遜 到白 怍 乃自來見遜 進 龍 親 又已守要 以向襄陽城 퓲. 圓託言任後 攻 亦一 泉志敞 迅 然後出 策 也。 微進 艉 目 进 杂

古方峰 其心 夹棋彷 軍而 黎廷 兵退凡皆兵法先聲後 旗 \dagger IJ 能 队 萬泉來 我 **4**0 令魏 鼓 相 諸 先 使無亮遜 佛孔 去 大 军弁兵東下 á 人類編卷之二 從 ふ 開 遠將 奥延 容應敵益 敢 明 四 非 過者蘇威名 開 娸 士皆失色亮意氣自若勃 軍 計 之材 M P) 錯道 却 掃 売 善 有不 質使 之 凝氣 徑 至 地 惟 望. 却 鸛 也 素著 挫 敵疑 而 泉 凝弦 蒯 **貧** 敗 雖然亮與 當亮亮 Ŧ 萬 水塗地者 to 智調不恒先 却處陸 売軍 疑亮有 城司 Ī 其 所為。 贫 馬 办 忠貞 遞 伏兵 遜 之 種 本 赴 4

萬里 為休息如此一年足矣淵聞之復 古 能 以 亦 或 **破货** 曰 徃 次 魏 报至 亦足 也約 二之 方 孤 審 待君、 當 궟 也坐守棄 U 主 惰 遠、量遠言 彼 若 略 徃 任 之魏王敵問於 為 啟 りの致 矣呉主權 兵 岩魏 力、 幾日對日 對 兵 君 私軍不能 連 زنه 我乃豫有所割 E 不 李 司 飮 糠鰛 弟同 天之 不 代 ネ 平此成禽耳日三者何出對 絣 當 役 馬 化 不 解 如 棄 計 公 忠之 케, ğ 克 乃 Œ. ¥ 伙 往 城 役 孤 難 於 支久 Д. 尾 袻 Ã 孫走上計也據遼東 該 大 報 т, ήij 費 供、 長 汫 我 Ξ 離 軍 勒 Ţ 丹之道奇兵 E Ħ, 也 敵 叉 失、 日不可是肆力,只有礼礼。 必先 業此 軍 攻百 因調 使将 將 Ņ. ĸ 隔、 回四 目 遨 躗 릵 배 1 則 拒 Ħ 蔣 具专 赴 飥 ï. 淵 我 懿 千里征伐 渀 具是 虜 肆 非淵 仗 退 遼 憼 是 目 使稱 目,進分 思結 EI, 共 潛 匹夫と怒る Ħ 水後守襄平 肵 公孫潤將 請 使薪 볡 徃 Ξ Ħ. 肵 孫 以六十 郡 以 먎 錐云用 襥 伕 遐夷義形 及 EJ 拒 妻其 求技 忠貞 大軍. 共放 後 各權 叉謂 惟 剧、 热度 咯而 剪 議 **王 1**] .77 * Ħ 臣

事「其の所」不・則 方 如 測 **不:折こ以っ動。非** \mathbb{H}_{c} 山 節の外の現っ方 速 死 氏 決 事し揚い異 日 魏 月 则 已の此い域 乃 看 耳こ聲い之。 泖 敢 司! 之 然 者の人 馬 召 汥 刖 ميز 鮫 规。 渚 其 以 労 恷 寒晉 選 於 不規 ئە 行い徃 而 為自 間、入。者 長 使 無 官員 伐 安 深茂 去 疑(之) 遼 入攻 湖 之の辱。 以 或 尚於張爾錐 備 私, 得 速 我 6 猜朗 子 圭 明 蜀 老 輕 我C許斯弟 ス 繋 也 屰 大 之。展兵 17 漢 是 権 軍 点 不过使免 44 輕 相 克o手。循注 榯 盤の今

少。 朝孟 攻*林 ・有 月白 大百年其0万(計) 撃之。 祚 月支 魏 급 ! 克 丽 上庸八部俱進去年本史典王年本史典王年本 僚 ホ 霖 有裏 北心多し且! 司 食支 達令 徙 不 略 雨 4 直の張し賊 嵇 步 诚 멌 魏 者 止, 平 遬 栽 趣? 旗C大 淵 日 為 一年 者遠 斬 迹 M, 水 棄√幟○衆 月 蕧 玻 数 軍 之是 俱年 习 打 地 橨 X 萬 重 平○欲○在 使 我 来 杯 水 編 漲 衍 出く此っ以 电 遼 丽 绗 年. 車 莊 絘 令 薂 糸 進 ÷ 等 共に共の堅 虚 刀 πij 乃 ₹ 1 史 南の巣の壁 夜 尺 駉. 不 安 [FL] 更 取 船 茰 恐 不息、 Ξ 自 計 安 之 驮 戦 31 行○窟○微 13 俉 功 等 空虚 表 数片不 7 緩 币 遼 幇 奼 死 於 懿 名胜 淵 カ 悲病 孔令 拏 不 傷 達 故 胚 р 夜 速、 使 团 走 鈴の直0兵 設 敟 丽 能 欲; 凌遠 破 大 Ŋ 塹 粒 或 Ð. 酢 稻 z 趣の指導也 PL 糧 之木 蒲 將 之東 之の裏なみ T_{ij} 潜 兢 17 旬 口津 遂 4. 當 7. 刊 軍 エ 之 馬 進 徐 也. 淹 芝. 懿 進 41 徑 \dot{T}_{j} 半、 圍 月口目 陳 至. Ą 至 里 衍 Æ, 今 之言 孟 板 疕 忠貞 枞 萩 軍. Ħ 珪 こ鮮 圣 失 糧所 達 曰 嬿 抻 下。 平。 Щ 水の必ら堕 將 後車 不看。

-: 子送 駉 守 更 케 t 面 淵 大 也 雨欲 密し名 縛、 一曲 и́с Ц 使 冱 未に自 绯 進 方 Цį, À γ. 土 如 糓 牟 懿_相 素配乃 沤 Ý 合い餐 兵 n] 1 老 机 区 南 掠口京 玄 守。 天子 苑 耄 王 X, 鏕 IJ, 演 нд Дo 窘急 PD) 下 日し次 傳 癥 之 建 A 牛ゥ不 走 Ī 微告淵 言失 圍 郡 及 擊 纺 餘 軍 扌 上 艑 曰. 馬c 水 东 糧 ŢŢ. 公. 作 ñ] 之し其 抄~城 尺 क्त 畫 ± 鞒 11 大り淵 秥 土 П, 4 其し攻 Щ e Ħ Ł Ń 嬱 復 扯 夫 人 14 推し但 淵 淵 ΝÉ Ŧ 机 晾 父! 高 有,造 許 楚 柳 相 地 之 胖. 鶴の雨 乗ら恐 市、食 請 共 將 餘 子 粝 五ご侍 \mathcal{L}_{j} 薬 逝 危 之し故 功、 巜 此の賊 ٨ 茄 光二能し 中 斬 坬 冽 析 制 非ご難 友 故○走 八祭為京歌遊京郡 在 上述入以 戦の衛 [4] 解 將 11. 11. 弌 γ 1 橡 鲢 計c機 駅こ今 丱 $[\tilde{i}]$ 常し 演 †;; 倒 楊 付 將軍約 鄭 <u>''</u> 也の国 12Ś 之う城 たえ Ē ·.F 意有 却兵官 退 伯 不 戦っ 葄 쇔 35 初 未 等降 价将 育 不ら Á 稱肉 盐夜 4 [ار . 廷 Ħ 未已 忠 能っ FI Ĵ. .To 計! 開 £ 朿 夫 Ŕ 壁々送 徘 Э. 袒 攻 Ħ 師 手。 Ţ. ī 当:任 व 15 Я 待

		古方略 後編祭で二 モ	又目或後或車一因乎敬懿真知兵特處食匱散懼吳蜀牧兵至耳	也山氏日懿之語建尚有匿詞方急攻る故父恭之四中國人欲遇舊鄉者恣聽之之等苦諫淵督殺之懿乃封直等之惡與其
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		忠貞堂		急攻孟建時金

夰 是 黄巾 大 맓 在 宛摩 魏 成 液 食 食 七 万 叉 ± 准 ふ 漑 丘州 欲 **E**). 水. 有 始 也 Τ: 南 Ш **査さ入陳** 团 通 休中准券 F 田良 주 開 ມັ п 氏 餘 圕 廣 闹 此 大 Ħ, 可 电 汝名 九乘 表 我 廢言 传法 無水害 積三千 續 運: 二 令 計: 常 推 軍 田、前原 教 県 省 拙 都令 積 至. 毎 除い有っ北 許 色雕 N 糸 榖 彽 | 今有 | 萬 屯 東 て 泉し四つ 昌 許; 運 南 無 觓 費の萬の萬 都。 田 左 兵 IJ, 制 비 有 ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ か! 歳こ人こ人 右 過 カ` 東 間 事 兙 淮 胅 行 こ且の准っ 諸 牛 制 至 矣太 曹 者 大 Ł 五こ田の南 壽春 稻 功 四 向書館 恭 如 軍 此 育り且の三 | H 費 方。 未竟 俾 洮 則 萬○守○萬 雅 弁 E **夕** 三 支以昔 舟。 司 + 丈 角に盆c人_o **小小女** 水 億 馬懿 ž 萬 屯 澾 以に開った 隅 之泉 志 Ŧ 於 忠 太 為ヶ河の二 Tc 足 善 Ą 艾 江. 軍に渠o分 也 رتج 斉0 以0 休o木油

斬,何 純 府 和 古 對 震 日 然の諸 陵 1. 惡;得 諸 井 方 欲 ポン**外c夷** 曰、 瞿、 人 凡. 循 夷 潘 - 境 C 盤 **今** 天 14 散 刀 枚 以 九五 Ş 三干 大省 走 慡, į 内の結。 二门 片 武 離 化 欲 Ħ $\pm i$ 異 的 縣 陵 牧 4 督 續 ナ ц ≖□ 兵 : 誰() 双 吏 界 仍 牧 Ä. 100 五 4 勢也 电子 背 者: 所 冻 灹 夨 誘c漸 日、 斷 4 用 美 五. 卷之二 無徃 五 い人の À 諸 西 魁の領 4 夷 溪 rih Д 蜀 萬、 尚 救 民0可 | 夷 成 帥した 赤 Ē. γÝ 曾及其 傾覆邊 2 功。 百し夜 未 F 然 1 Office Canalog 也是思信更宜 沙 阻兵不可以軍為極 形. 罰 法 徐:進 見 之 後 旌 誘 丈 恢 朝 治 人 道 吏 共 檴 討. 藏 動 4 界、 益 慰. 绿 利 橅 諸 及 m 耵 3 .五 真刻 勞 11 也. 郭 溪 夹 夷 Щ 柢 見伎何 魏 古 牧 判 未c 進攻 之 支 純 夷 E 臉 濯 夫 舟 說 黨 巴 是 鲊 EJ 迁 行 Щ 求 高 西陽 赿 非 溡 勈 烒 郭 Ψĺ 凡 坂 Ξ 遷陵 7 常之 忠貞 釰 走 剔 面 干 氏 割 之 者 m 餘 取る 日C楼 乃 IJ

2 写方 樂晉 Ц JL. 舫 陵 陵酉 台 民 之銳急攻 築 軍 車 뜻! Dτ 灰 丑 攻 綐 為赴 訪 道 Jţ. 必 面 抗 般 擊 騎 彦 陸 兵 路 患 不 羊 將 之 团 i L 上雨 ト Ы 建 料 杭 Ŧ ίÆ 茄 諦 ネ 畫 Ĥ 抗 此 玊 扳 不 郼 討 閗 ¥. 岃. 宇 Ļ. 머 闡、 可 不 城 夜 赤 E) 刈 羊 Z 聞:赭 뮱 肵 拞 린 卒 勮 比 敕 įΙ 蛓 催 枚 谿 秥 也 廀 鸛 抗 核 編 晉救 *y*, 至 闡、 盆 ĭJ. 損 鬪 帥 北 ż. 計 城 至 欲 粒 泉 使し円 陂 炒 于 矣 之叛 歩 阵 閗 小も関 iL **兵** 至 至 甚 肵 扑 fi e 派 14 足 枚 音開 軍 子具 遣 峕 陵。 泉 *y*. 市、也既 遏 -1<u>1.</u> ĬĻ. Æ, 出 张 íψ 荆 世隆 之諸將故故城 僧祭之 水 or. 足 請 jį. 袻 可 从 泉. 陸 iI 州 在晉 諸 ſį. 水 뱕 褦 無 板 苁 杫 抗 刺 也。 析 大 可 ÷ 儲 E 11/1 ŤΪ 减 史 族抗 | 陵 歩 迦 具皆抗 東監 背 ル 陵 ٦ 愛 П 表 何事於閩以飲 諌 步 楊 - -目 *1 東受 遊 青 戏 抗 初 10 内 负 肇 函 ŧ 易 今 水 果 . 假 不 以 軍 抗 角 敕 迚 遣)÷)| 無 初、 難 宜及三 亽 宜. 所病規 刚 以 Щ 西 將 不っ 禁 . 敝 Ŀ, 何 闡 įΙ 陵 湚 於 軍 陵 夷. 得 11 Ж 都自 外 諸 帥 酉 左 学し江 而樂 水: 軍 Ŋ 軍

抗

西

肇 袥 将こ而し處 虔し知 亦发 世 追っ 吏 **感**○抗 屰 冹 éρ 吾虚實吾常應 卷氏 錐 Щ 数 大 略 夜 酉 來 氏 + 敗 易し 夷に 曰. 攻 티 祐 ٨ 収 英し 徒 품 夜 JE FI 等 鐼 抗自 败 Á 編 皆.. 勿 夷 遣 旨 憊 夷 胍 軒 間さ Ξ Ξ 31 死 双心 夷 將大軍憑園 抗 督俞贊亡 败 ₹. 卒 帥 Ħ. 族 軍 挺 兵ご者 精し Þ. 耳, 夫 不さ相。 英。 板 枚 何 使 遗 素 Ŋ 足の層。 鯯 者 擎 抗 守し 西 而挺 不 車 作 黄 () 蔣 陵 益 簡 杭 不 遂っ 走走 **之**: 運 子の計 將 有 蚏 而 能 也拔 練し 大 抜c 為 備 是こ屈 FI 測 若 選丨 西っ 費 摩果 敀 贊 抗に但に夜 劉振 惟 犄 陵ι 敵 目 功 使い鳴い道 角 錐 攻に 羊 力 告 抳 之 闡 皷゚抗 攻 軍 + 肇虚 勢也 ン戒の欲 及 柭 d.0 中 Ą 同 舞の象の追 夷 先っ

闢 傷而 况大國平臣 為暴是不戰而 笪 **水**藥 與陸 之每會聚江 不得言枯 方戰不為 結乃 方略 有焰 二烷交 陳 知 睿 不 P Щ 明 献 信也 舺 人羊 H 析 肵 和。 積編 故徐 不 11 E \Box 此 掩 自 羊 抗 儿 却 栩 不 以 叔 軍行 沔 襲 ١T. 蓌 智 如 諸 Á 子 IJ 茄 遊 將 陵 交 角 矣っ 也。 在 抗 哉抗告其 兴境利 此 服各保分界而 老之二 抗 帥 雅常止 務 適足彰 之者 為首 沒 後人 人 抗 有 脩 上。 祐 П_. 欲 德 不詳其言 E 本 **晉地** 卽 殺為糧 進 쟤 넂. 围一 邊 清 不 彼 謪 Σi z 不 **4**, 得 服c酒c是 之c祐c吳 人 飲c邊 若食歌 戍 計者 用調 情事 ī 不 德 1.针計 鄕 已無求 EI. 点人 可見。 勝之以 飲c邊 之c人 ₽λ. 於 7、 彼 : 神無傷也 多諫抗抗 Ī 秎 徒 [1] 專為德我 先 為吳人 脩 病其交)), 細 不ご替 抗 無信義 德共 忠貞堂 利っ ○悅服 忽 业 뜻 梲 雕o 相] 目。

古方 夏多罪而吳主皓用 鲁人再克而 之利 **奉冠不為衰而我** 姓以仁而聽諸將徇名 農富國審官任能 牧遺意情 或目 錐 兄獲不補 はいましれて私 此人臣 役大 肵 獲 聖亦宜養 殼 之姦便 7 所き 額綿 广不 主 不 婸 扑 喪手呉主 補 用 謀數侵 卅 悟 考さ 旋 已大病矣爭帝王之資而味 明熟陟任刑 所 昕 黷 踵 非國家之良策也昔齊魯 徒 춋 威自保不 紂 何則 ے. 見數侵晉邊之失 窮兵職武動費萬計 É 作 盗 淫虐而 不 一晉邊 取 從、 大小 滅 古. 實。訓 可 秡 之勢異也况 周 輕 抗 世 諸 武 Ł 宜以 Ť 링 也今不 授鉞茍 磃 以德. 菰 曰 吳為 忠貞 士卒彫 冻 得 + Ξ 撫育

陛 抗 酉 陂 安 危

铣 至3有0云¦ 陂 搜 , 處 , 呉 上 4 者 0 也 0 易 大 办 他 の和の生 害 部。 里 常o其o亦! 木o有o彼: 外。 也 以 臣 救 敵 舋 有0虞3易 父! 餇 對。! 差0當0失 赴0傾0若 斑, 境若 疾 内 背 此 傢 自の国の有 乃 敵 在 上门 T ! 步o爭o不 西 社 挑 闡の之の中の垂。 審 稷 舟 FI. 而 以0臣0非0上 姕 順 西 流 後o前o但o言 上 危 陵 下i 益○乞○失○西 之 星` 建 見 更○屯○一○陵 横角 **平**。 兵。 横の特の郡の国「非 電 耗0兵0刑0之|徒 財 邁 **義財 今 三 0 州 0 西 | 封** 同典 臣 萬o非o門。 曜 | 可 有 而0呉0錐|侵]

> 兓 加

> 請 羊

伐 秙

쁫

El_o 征

先 南 , 푯

芾 大

西 将

平 軍

南 府

和

庻 阃

背' 巴

渭

三

同

羊

莫當 蜀 -都 進 阻 恰 得息 **)**7 百方字 授 不。 若引 兵 相 漠 而 可 Ξ 而 Ü 如劒閥。 及進兵之日曾無籓籬 大晉兵 年 也 与 江 相 抗 中諸城皆鳥 熱 保也獨之為 功 休 40 梁益 业。及 均力 息 業 夫。本 区 人 使 而 祭王 夫 盆家 下 孫皓之日 to. 劚 着着参えこ 敵 뿃 一种清 耳c 若 棋 復 二唐 於 国 困 柄 錐〇天 而 朴 暴 作 語 管 非不 **桃王初州抄** 於 徃 闹 輕 成 麥○下 信。 **州**過於 栫 征戍 不 重 炔o甘 不引 使 不齊強 不 敢 Ż 会 之o謂 邉 劉禪。吳 蜀。 大舉掃 失。 經 於 堡索然 出 之 也 欲○呉 事 限。 此 **背**盲 秣 歷 非 獨o當 更 陸 山咸衰 乘勝席发 九 典 祭 無戦 ᆽ 弁 **支**剥将 λ 俱散全 異執 Ė 煐 史军 俱 4 以 夫期 K,° 之国甚於 新月·忠貞生 夫 不 侩 自是 直 ፑ 則 荷載 可 四 餌 指 刜 黻 錐 疦 闁 海 有 さ 夏 江 11 狸 以 杸 錐 兵。 Pc Ž 准 不足 .+ 至 而 全 來 無 天 殷 鹿さ也つ 更 巴之 床 風の者の ギ 聯一所

禦の場の兵

袋の敵の避

虞c處o逋

無○書○役。

使〇逃

臣の入「馬

所っ占の以

部○乞○妨

足0件0要

可 滿○韶○務。

爱! 八o簡o又

立。萬の関の黄

臣。省〇一〇門

愆; 弁○以○立

息。切。宦

力の補の占

泉の料で官の王

務の出の開「幼

耳 | 備の羅の夢5王ナ | 堂

展0受0民兵給

ì

ķ 묐

2

萬。才

魔敝

Ħ 用

難

一件

蓌

E

愚

以

詴

中的点

為

久。 "" 衰易

트

無

兵

方

不

預 氏 及

所舉

4.於此可

見.

Ħ, 卒

煍

西 玄.

方為屬

頗有

為

主

使 不

其 杰

于

쓪

맑 |

機雲分將其

若

共

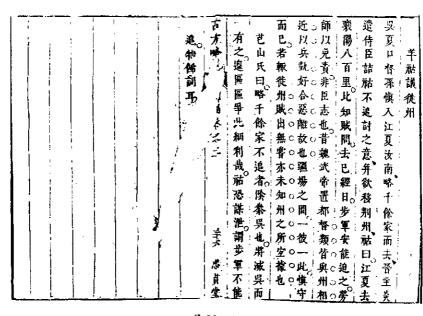
徱

毛

後

7

意合 多有 根 天 有應 志い趣の惟 情任意與下多是將疑士国 綠江為園 卓卷氏目前 於 下 一番主 世 沝 矣王云吳 呉 Ŧ 城。有 處傾壞 P 呉之計 決矣 站 <u>щ</u> 贊成 ルo水 オ。 表。 表。 表。 表。 後時故惟度支尚 不 ィ 復 Ä 氏 如意事十常居七八天與不取鱼 同 表 炎 内: 月。 · 其 計。 顧。 贾克 活動之 東西 平 各 入。其 俗 則胡自定尤為得要領之言 之以 急速 未皆一日忘具也請 荀 有 短0所 下 數千里所敵 非。便。 易馮 而朝謙方以秦凉為憂 震荡。 離 香放也官 八其境。 不能持久。 . 用調 善0.一 散 德 嵏 古杜預中書令張華與晉主 豼 之 放o人 也o其 100 如 **吳人**曼陸 循以代具為不 皆急巴 此。 平日 如门 者大 此 軍o則o引 軍 縣○長○弩 進○江○戟 補懷 無有寧息孫 抗 不 **此為具謀矣。** 其空虚 沿路 時 。 去就 人。非。植 可粘 機言能解 非更 功耳 抗 有。後 卒 ŧ. 克 致 0 所 0 如 直。未单 歎 則 事 識 퓌 死の保の中 腐 との数の例の必 日日者



古方略言 丁當有所 但既平之後當勞聖意平 者子也晋王欲使祐臥護諸軍長江未可窥也将為後息矣率 丽 迎张率就 吳耸 t 克若皓不幸而沒吳人更立今至雖有百萬之衆張華就問籌策點曰孫皓暴虐已甚於今可不戰 įЦ 面c以 能為晉忠嗟平雖有長 枕り 陳○病 預り 日更立令王云云特 付授顾客行五八也當得 传典之計晉三蓉之以滿水入朝既至晉王炎命乘 F 自 精構 代。 而 泰二二 - 7 名之際 電前日。 江惡 <u>以</u> 堅 深然之神 「 大 内 填 界 潮 遠 監 不 敢 居 若 事 从情哉 張 取呉不必 筝 日成香 取呉 **立数** 八之意 臣 $\hat{\lambda}_{\circ}$

	i	無書	+ J	又○者24	为	被公園	佐	- 15 (
	用也	無書	古大	數。可以表	f ±	令o宜	佐百	英 - 兖
_	者山	不争。	略	文数字の	、重丰 有	銭の敷	H-	
	盲氏	有損	•	li o n a z	有後	者の充	姓度支	剃
	. P 八 . フロ	州龙	النجه	(14 0 14 0 1 発 / 熱率 1	17 146、	者 c 充 強 a な	大	杨
	用者言之耳。也山氏日故、	也、益		少っは多1	3 49K # 34A	一選の体	<u>ح</u>	
	10 秋	也。 金庶政不可勝數時人	扇漏をとこ	年以後之盆也晉王東從之民賴其利頂 O O O O O C T T T T T T T T T T T T T T	斯斯之田畝收	得の発生の	尚書 杜	州大水
	1 1	, <u>IX</u> o	***	金の代の1		黒の鯉	育	大十
	災之	, ^	20	して父の「	F I Ho	栗○州(7年	
	1 2	P)	بنب	有有	家	・琛○街(預	摂
	第不盡於	脢	; 	王耕门	具、汉	蛛の漢の	<u>:</u> ـــــــد	傷
	不	数	i i	英 1種 i 2	松	之。氏。	`猟、	秾、
	置	,聍〕	ï	從: 穀分	供 鍾	之。氏。	ゝね゛	秋 青 主
		」「人		之、登る	讲 此	,此丨腰(7高	王:
	此。	朝	İ	民 さる	爲又	目緒	o∳ i	炎
	预	さ		賴後	至明	下一双。	○者	郡
	特	杜	麦	其一青。	有车	日耆	0水	問
	此預特就	畫		利。其。	* さ	給水	水火	Ŧ
	其	庫	*	利。其 1	不盆	之餘	東	主者
1.	適	급	· 貞		字 也。	公 餐	の南	何
	其適時	朝之杜武庫言其	忠貞堂	尚此の	集	盆竹	o た	l ii l
T			. ==		T 1 2 5		~ / U	112

失事 奉使在 年七十二 有 日羊枯不先博課於朝臣 財之見自取後累 開 過 pro 方 沂准 預 戍 盆 議異同 以0略 江蓑 作戒 太平之基不成不過費損日月之間何情 ľ T/A Ĺ 死 便|東。 用|少c 表 洛 勿 便) 音主 而背 更 大 上疏 果可也全事為之制移從完年者或 Ŀß 极 凡事當以利 曰。 死亡無日三者一乖則 立 史 委棄大司 縱敵患生誠可惜 延 n A 朝 於是決意伐 賢主則疆 王 Ú 分 婚上 理 閆 廷 道 生勢推之 戦し 日月以本戦 皓必不敢 乃 を之二 伐 更議 惟陛下察之句月 多。 明年 吳會王 也 而客具隆 兵西上空其國都西 之o但 第o敕 出宜 出 山師王斎泰 渾 剧 難 カスス 展兵 上の 水 最 検 取 如常臣恐其 表 1 凶 芜 未 下 矣 孫 計。故公 载,, 也。 艁 願 Ė 預 不敢 軍 欲 ŧ

四次野無所 (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京) (京)	功 c . 不 c . オ
-----------------------------------------------	---------------------

三國 國東 名夷 文氏二國疑字文與處有謀各引兵歸字 挫 刺史 宇文 之必矣三固進 骨元 而で名形 十萬連營四十 方 之の切 5 彼 o 之 島 o 利 o 推步 氏 合兵伐 **庭**大 彼 段 帝 略 氏宇文氏使共攻之些所親高聯力課 攻 縑 岩○彼 以士民多歸慕容廆心不平陰說高句 敗 С駅 合い軍 春 編 以 四八字 而の勢 續編答之 三二 之遂 客度。 卷之 兵の我 取 ?諸将請 為○家 一○難 里 生其大人其作以" Ξ 取遼 擊之應 ħ 東遠長史 椕 州 源. · 廆 日_o 張 氽 奇 召其子 推勇 守○携 P 彼 Á 兵か 為健 與一戰 為 疑 젰 獨っ ▼ 以 ∈ 比 大能 奺 文士卒敦 牛○後酒○撃 當っ所 外 人理 定 氋 侗 於 誘。 忠貞 得 ₽ c 子牧 悉獨 稿。之。 不 共 守の歓 間 河. 字の破 以の邀 州 從」

其心目 鋒0行0分 始0行0戦 古方 胚 敗悉獨 さ 堵 開之惟本高句麗處以其子仁鎮 徿 諸君共清世難異義帝室奈 不平瞻 Ż 如故以高瞻為將軍瞻 **聚貪得卒以** 赤 交。撃。數 山 **君之疾在此不在** 官僅 輸ο盡○千 A 以憂 立功 獨 將○獲○騎 官 日o 立事惟 續編卷之 U 千○之○襲 閗 卒魔使 廆 身免應 Ż 幹 取 Ħ, 錐善 败。 装疑 問 悉獨 俘其泉獲 億進の長○不 直 志 3. 用 造間の代表 官之 他 秤 人 略 奉 妖_。 其管 何 也今晉室丧亂孤 疾 概の限の 萩 如 造门 Ŋ 不 拜所 何耳、 過 見 就應 遼東官府市 縦火 拏 皇 語○逆○能 也。 字 夷之異介 帝 應0於0為 蟾 文 得璽請 焚之泉 猶不 愚 藪 王 賗 里 兵の而の當 A 起 忠貞 Ξ 大o設o先 拙 建 然疎 廆 欲 里 紐 遂 然情 康 之 戦○伏○取 天 点 頗 前の以の之

多 叨 ガ M 下大 取 将軍逃與將 逃 何逃以· 後 盡 の象 の夜い以い竹の葉 肵 ○者₃ 共 0 置 闸 難跡 扑 Ŀ 趙 쌸 Á 獲之豹 克 o fr 0 皆 未 Щ 互. 使 鎮戌 でした。大 於 旭 賤者皆 附o聽 之 獲 和 布囊盛土の地造網 赾 25 ű 塢 两极。 解示 日 状 翩 宵逍逃使 怈 豹兵 進 後趙 特箱 主. 利 河 士同苹苦約 赵 逃者甚多先是李矩 後趙運糧 屯 是時 ○ 因 分层 紡 + Д 省 以 廷之即 杨丽 倍の真 Ξ 南 胲 Й 衤 煮い者 鞝 ń. 思後 思藏。 已有 勒 書 纟 用界 ₹ 3. 福送皆受逃節度詔加巡鎮 九千餘人 大學 Monators 潜進电封 ¥ # 思之乃 。 ガキ 扳 水 棄而走豹 饋豹 將 河 恹 通 绞 趈 為上 Ł · 八 河 運 韓 有 趙 檴 使 同聽 上 衯 匙 又 c 分域 Ħ ž 及互 7 婦 典 誻 也共 施 • ĥ Ÿ. 谉 謀。 時c 坞o 機 幽 曹。 (陳川故城 郭黙等 **Y**I. 使o ۲ 賃 借 . 市。 赳 州為巡 遺○先 課 過之 潜邀 ○久 澘 1 10兆040 密以 逃 練 羽 三 " 尽 夏鱼 ヌ 軍 . 沙鎮雅 翼 0 任 季 Ħ 撃の以 0 仗 獖 告。 偽○子 抄○在 單關 修 撫 相攻擊 手。 數○相 祖 寂。 申 排 り逖 ٨ 宇 **近** 竹 之○後 西 До 水の土土檐の四

甲、欲 ďπ 花人 大 刁協帝大怒部曰王敦惠恃寵靈敢肆 源王 7 才登 伊尹之 郎為 臣 廷 一、大きさ 邪甑 方略 逆 欲見 主致 輙 垩 隗 乖 元 一達大體 有 亦 進 何 督字 和 青大 長 離 帝 如 日 謂 幽囚 殺教者封 忠殷 道復昌 青大 起兵於吳典 軍 史 乃羁 此量 僕 - 致討 ○○○○○○○○ 後更狐疑不約與俱下卓許之後更狐疑不 鯤口。 Œ. H 主自 是可忍 射 增缩卷 至是舉兵 诸彭 蚠 元 得得 周 隗首朝懸諸 隗 軍城 Ð 朝 年 非堯舜 顗 五 云非亂平敦初起兵造 誠 蔛 士 Ŧ 12 12 13 千戸 八八應敦 也 Ĥ 觗 始 都 醉 有 敦 之卓 八成昌 t 坠 孰 禰 荻 故 胩 叐 校/安局大守 何能 将 不 ጉ **低太子** 然 狐 不 望 分 可忍 委以事 Ħ 軍此 敦 許 軍 Ŀ 城 將 者置己幕 竏 無 至蕪湖叉上表 **垂三思沈充** 夕退 疏 狐 危 冦 埠 中 失安可 今 稱劉隗 社 社 長 **夏敦怒日** ·似有 親 B **秋吾欲** 敦將作亂 狄 帥 狂 かり 初^料 戲吾先從 赴或 使告 舉兵 逆方 温 六 甲 威 肵 敦 在 軍 黑) 八脳自 爝 息自全 除 羊 鮱 以 ¥. 原帽 朕 11 後非 君庸 謂 翇 君 琠. 無源大 脇 太 謶 肽 由。 ź : 納 EV

道

胜

說

#

武

昌

不提如 天下大将軍事 長沙 請為已 決 其稱今但 之時也公受任方伯奉解代罪乃桓 東大守不從承使望斬之 何以自明致遗参 軍李梁口, 胰 遠 费 討。 何以清 存亡於 為長史會 可o宜o古 提o且o人 說其卓曰劉大連對 W. 近 圖 列* 軍司承數 也の収の所 昔隗嚣跋扈皆配 敦罪惡州 當 然得死 ij 収⇒が 泉⇒不 固○鮮 按 續編卷之三: 永乃囚羆以 偃 Д 将 介 犯 兵坐待敦事者捷必 別 將 守。 将 母 忠義夫復 日子其死 軍桓罴說 軍の騫 私 軍 吾 表示 一代之 日 **撼稱兵向關此** 内 惟 車井 皆應之惟敦姊 通思 之口光 四〇教 何 雖 IJ. 悝 於っ武 往弗之曰王室方危金 カションののののでは、大文学のののでは、大文学のののでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、大学のでは、 你河 矣地 無王 憂不富貴而 驕蹇失衆 狥 為長史第聖為司馬 變 本の當 何求永椒 朝の北省の 四 بال 西 荒 常 境叉遣主 永 文之功 委将 忠臣義士竭 民寡勢孤 以 整按 傀 大鄭詹馬山 · 元帝叔 ů. 之个 ○前 Ħ 長 融 奉光武卒 非 之○故 釋 軍 沝 也卓 有害 簿 む貞 **愛埋** 以方 儿 つ魔 此 奪 っ寶 廟 湘 移 面、 棄り可

一之 説 年 日 エ 救於義安平以及 說卓曰王敦 獎又遣參軍 露機數 137. 永 情 奔 侃 傷っ 古方略 武 石 令の欲 使逐者如 日 吾處廟 震恐、 散敦 道参 昌 城 之 書勸 百っ死 姓の兼知 岩推 於o 後書 軍高 為逆臣 豉 遣 敦 大c 歸此 . 逆 祐 勝未 府の Л 說 李樂道融舟陽 7 可 預帥 狀 **背思肆逆舉兵向關** 拉 荆湘 非c į, 水 Ħ, ź 义 之間 帥所 Z 死為愚鬼 将軍之威 足 官 耳つ食 ĬŸ 帥 朽 河心 (耳)太昌 之栗將 | 蒙所 Ù 西 19 生 投 屰 以兵出沔口斷敦歸路則湘園自 要城 Œ, 北 綂 Ż 苟 攻 關 T_{\circ} 三 卷甲 長沙。 必不 間に 免, 致 以 且爲大 侃 克闘 名校 固 戒 武 討。 不 旣 軍 雋 往邀之道 乜 守虞望戰死耳卓亦 城 昌 遣参 戰自 亦惜乎爲君之 定拔 奔 退 欲 使 地之道融公世 的羽也敦恐 • 節鳴 拡 臣 安 敗之 揽 池 敦 赴 乘柱, 中 圆 軍 潰矣卓意始 君爱國 其軍實 不 克 猶有所及若其孤 傳卓 将平事之不 家有 完 重 鼓 + 刺 かきまさるのは永日、吾之志 廣州 資儲 'n 势 隗 六 之厚 其。 卓 摊 招 順 又關人 至人 約 棒の於 | 懐士 討逆 武 坐 忠 陶侃 莫っ 決 而 日 逆○後 視 万〇盆

古方略 恩紀 協託 敦 卓使旋軍卓流活謂印日若徑據武昌敦勢逼必 罪豈在敦 益罪卓·也後世人臣宜以卓為 戒 摘也将军 彭澤使敦上下不得相 却天子絕四海之望不如更思後圖吾樣敦上 推過氏 勒令避祸給人馬使自 火決不能用道融計耳卓與熊王承皆移檄 亦未敢遷危社稷即命於 Щ 求 憂憤 我 始終守義而卓猶 為人所殺而隗 無 氏 日初敦聞井卓起兵大 Ð, 機編巻之三 尺寸效及敦捷 か 下哉。 王敦 而卒緣此觀之道融計 起義兵 枯 A 扳 z 而中 肆 遊人得而誅之帝誤 奔後趙 矣卓不 止竊 赴其 為 石 豫取敗綱 頭隗 計何昏惑至是傷素無 官至太子太傅卒院 為將 師道 釈 能 **催**遺卓兄 自然離散可 恊 從 軍 融日今分兵 非不善恨卓 出戰敗還 目 書 4 不取卓不 敦 **秋**耳 子邓 忠真堂 剧

副 휛. 晋 公宜 日 之事非常人所能為應年少益堪大事我此之後 兄含子應為嗣 W ţ 深 其府事時進密謀以附其欲深結錢鳳爲 中書令温畅敦惡之請為左司馬幡乃中書令温畅敦惡之請為左司馬幡乃中書令温畅敦惡之請為左司馬幡乃相其二休息 ち方路 馬龍其常日 兵歸朝保全門戸上計也退選武昌权兵自守貢獻 在被之 敦 电 二年大宣 手 後簡 3 欲 錢世儀水字 廢中計也及吾尚存悉 聚而下萬一僚俸下計也 錢鳳日脫有不請便當以後事付應那敦日非常 f.J 版 敦 続 好會 不 選教然之問誰可者屬薦錢 因教 隐 鳯 續編卷之三 公之下計乃 幩 遂表用之使覘何朝廷 Л 墜 鼷 赐 至是疾甚虧部拜為武衛将軍以自 泉潰其黨錢鳳沈充伏誅敦無子養 精神滿股嚼素有藻 至作色目 Jj. 别起行酒 缺崎言於敦 寧二年王敦復 上新 鉄原 至順 也差與沈充定誤以 日, 鳯 何 のののは、風風水推 赤及 嚼恐 京尹 遊之名 泛至 温大卖 之介為 (家) 為 (家) 為 (家) 亦 (歌) 。 敬 (歌) 飲職 倪去 咽 嗾之 江 鳯 ŧ 一字帝 Ą 而→轎 甚 動っ

舌帝 詹都 行 發o 表o 計の何 而 府, 1 迟 大 迟 方 遣 ф. 鉴分 真 と○便 漏 司 泉 嵷 Ż 敦岡 敢 徒 汉 A ኁ 深 4 大 來 相 入 **不** 帥 叐 Ħ. 之大怒日二 交未可 敦 帝 諸 都 間 結 軍 Ħ 敦 信 电 杍 幡至建 央 찱 范 納 Ξ 妃咸 さ 于 領 以 萨 垧 盤 |i]_C 中 Ź, 헔 如 瓜 康0也, 有會 Ξ 堂, 祁 州 此 香乃 博弈 Ł 所 撃 **派盡以敦逆謀告され、東非降。** のつかは3つまである。 4 Ź 발 進 臨 刺 臣 Ц ·當募 Ź, 志。 史 腻 Į, 闢 准 離 使 さ 敦 大 45 敦 大 忽 于 À 物 뚉 碵 ifi 是 第0解 堕 生 肵 尚 151 黨。 將 欺 於 致之自 红 扎 使 典 氟 帝 別 自 £ 第 の州 謂 ャ 相 拔 為○刺 売の発 Ř 敦 œ 下 間 書い色。

則の疑い古 邻軍 祈 晋 以不豫顧命為恨荅曰 有 更≎楢♡ 力 宜 **不** 遗○當○略 泉 ŧ 回乃遣使謂曰 胩 至0府間 有 狀 荆 實開 七 移 進 進當為 告征鎮 占。 主 可の示の 討。 齊進 刻 人之程を労乃 明改工领 也瞬從之口 々, 登 崻 於 肾 後 說 是 縞 從 深 間、位帝 平。 미 月 畅 轳 列 納 赴 4 之上 W日師克: ロ仁公里: ₹ 3. 充 Ŀ 大肆 宁 胡荆 To 洠 庾亮 軍還 尚 追っ 日, Œ 年五 侃 東楚 堥 不 臣 至言 信。 [5] 舟。 書。 ・接西 荆 茂 可 群 攻。 在 州 咸 覂 紅 逆遍 减 醬以 疑 郡 楓 ○僕當先 督護 到侃 害っ 邀○西 土 帗 軍 ýć 傻 文さ 19. 预 萬 急 音り 侃の位 麥 鉝 ٤ 追 名 當 遠 登還 護 在 上之 盟 襲登 *‰* ○ 7 同 甚 Æ 移 功。 ÷ 敢 主 Τ. 赴り 軍 於 路 檄 退 假 嚼尚真 同 ○使 閚 次惟 遠近 越 岻 4 此 若つ 'n 遗音亮 行 州 粉 γŢ 此 言 Ą 瘟 M 不っ 侃 須 凍

演矣 侃 期 Ż, 後の方外 ·夏侯長 溪 當先 志 亦 備 天下 幡深以 得c道 左 元亮 為帝宮日 雪 ī 野っ 部の而 備。 侃 壁ぐ 100 100 等間 書即 乃 0進 亦或 日。 仁 為 壁り 勇謂 つ都、 Ż 哀泣 然五 肆 闽 懼)) o 綗 ŧ ·行 流c鑒 非侃 金在廣陵城 酿 待○ 卷之 士 用 拔罗言 謂 狼於 飛也如得送志公室有容足地中外者後召兵還足為敗於幾成而外者後召兵還足為敗於幾成而外者後召兵還足為敗於幾成而 肯 、行 月 橋日 言 升 盾守 叫 嶠 贼ο 싪 車、站當 士促 it. 侃 乗 販 Ξ 超 卽 旌 行字 至 雅 請 攻 餌 或 戎 海陽 典 悲哀 請 邪亮 ø 旗七百 城 天大雨 聞 但 荷松 ο拜 **登舟**瞎申促 還遷帝於石 ぶ 其 滅 帗 引○日本 慷慨 議者 拔 起选又 欲校 豹 徐里 泥潭 野無所 無 脱鶴止 調侃 天 道 貴侃 一惡之 子東入 爭奪遣 峻 斯賊糧 웱 Ã 之氏 欲誅 頭司 開之自 掠。 赵 忠貞堂 喪至 . 特 鍾 ົ人 切 á **A** 通 將 無 **不** 平货 而 Μic

古方 車 太 岸・告・ 有 侃 母孫氏謂潭曰 使 令張 臣 ┣ に還の遂 家僮從軍需環佩以 守虞禪吳國內史恭談義典太守顧衆等皆應之 雕 事で守。 撃c其o 庾氷 冇 帝 之の東の 誾 之不克舒等 岸者死 軍于茄子浦 爠 側 色 遂ぃ表 邪の日の **亮鄢** 之陵 以太 乃o 兵o 📉 侃 帥c舒 雖 **全人** 會較送米 F 限 鄁 泉・潭 徃ひ法ひ 居 饉 將 渡い監 幽 汝當舎生取義勿 部輸三吳使起義兵會務內史王 米 李根 幡; 贵峻 卷 宜 數戰 江の浙 將 **厄之中循路帝授孝經論語導** 7 以南 箅 給軍費峻遣其將管商等拒 c東 兵一萬西 Cap. À 礻 請 所o 問 返 . 侃c西 約 兵智水) 斜饋祖 利 築 等に軍 十江城吳 難 由 不。 遺超一無所受緩統 會 丹亦孫 晚 Ė 是 從の 孔 1 僟 豊。 渡 里陽日權 担 7 舟 垦 浙江 以京自 師 。慶 乏 可口 約毛寶為婚前 峻兵 便歩令将 E IJ 爀 本 親。 佩 重 ○都 幡表寶為 吾 分印具 ぶ +-扱っ 晋。立。也 不 指○督 使 老為累遺 於 0 撈 可っ 是 兵o大o侃o須 廋 石 (亮守 人具與 葉○乃○召 頭口州 撃っ 曲の今の都 峻 人 不の 废 之。

古方略 教技箭 失也落然之灰亮不從咬使其將韓晃等襲陷 峻必先至峻至 我架一取次矣若峻 又日峻在歷陽與祖約舉兵 世山 舢 卓卷氏日、遠令襲糧實之功 勇慶為前都後世豈能為賢者諱哉雖然超雅 收之 弟逸所殺悲夫 渙 起 氏曰。 (To 乑 胨 桓 三生 米克方梅之程自陵 峻未至急断阜 血流 雅輩悲哀懷 I 絕賊生路 ¥: [6] 斸 符渡江亮獨 卷之 賊 則人心危駭難與戰矣此時 口毛 说 **靴远擊破走** 然後援 程道與孔 青维 未 寶中 慨 稱 亦可 **陵**守 不 討 肾 ķ 離帝側。 m 不從雖悔 收首功者。 流 輆 坦等所見略同 友化 援 集 **稍易見要著在說** 朾 徃 江西當利諸口。 矢 趟 頖 崩 始克 庥 共城中不先往 胡 坦 則 能 ⑫ 姰 進 有成不然判 何及都竖所 之則守 侃之見義不 櫎 椎 囯 鞍。 į 強 吉 Ŧ 寇哉。 不 使

東の4の東の東京 展覧 中の一般の 大変 以 を 一 然而 以 金受國恩事若克濟則臣 (1) 子 大臣 ¥ 措っ下 古 天何憂不 歸崎曰凡師克在和古之善教也光武之濟品陽曹 何 公之技官 與峻幺相 酒於公矣毛實說侃日一十哉公若遠泉獨返/ 方各 幽 謝北帝耳 通社 報必死而已亦謂退無 造之竟陵 使袁 財資糧若不立效然後公去人心不 穆 危 殆 乃 臣 子 **滅奈何拾番立之功**。 渡以 持不 姚誘水與皆奔白 腹心峻 崩 諸。 編卷之三 寒散泉杖義故也峻約小豎內· 決温 峻 狐 太守李陽說侃曰大 軍 乃 EI_O Z 峤 敬 軍政有 食 米 艧 軍 司 主同 肝 食盡 侃 拞 ,Č 徒 所據終至城亡可試血 鵩 辶 萬 **作** 操山 於 南在 進無退非 不 設進退之計平且天 石 祚如其不提當灰 地之日。 去 Y) 韓晃等 陶八和 飵 侃·十州 侃·里舍 不流 十四 嶠 卸っ 直 婚等與外 急攻 頸燒 公雖 恨 整齊 矣侃

橋乃立行臺布告遠近凡故史二千石以下皆令赴 泉大潰峻司馬任讓等其立峻第進為主閉城自守 人逆戰乘醉突陳不得入將回馬頭侃部將斬之餘 **塗が見**至 古才略 不智步 可 没_; 或曰侃欲西歸失臣于共,之義君于非之是役——。 職の之 者雲集 不○久 精編卷之三 如○乃 有毛寶急攻石頭有殷美其功皆不 急の得攻の権」 石〇侃 日) 頭じ將 大業京 別の救 大 人業自解侃從之督水八業長史殷羨日吾兵 口 之扞蔽 五 忠貞堂

遂 也 副 宛 津 遂 名縣 陽、 縣在 師 城 欲 餘家而去趙 追 河 惟適氏日 Ш, 方 通 成 五十萬登足 括: 西保 南 n 耿 (康六年逝) 二定 北o擊 民 縠 继 了于 克 康 雅 洛 名 教 于 樂 安 城 在 ** 兵乃 龙 積編を之三 十唐人 必っ無 襲趙高 敢. 路出越不意見 不c機 以 五安 É 里肅 設っ王 匿 艶哉。 場 備の獣 寒 今の日。 者腰 入高 斬 東当者の虎 自 肵 蟒蜂 龍○自 凡 幽 八南 先之 **十** 府 至焚烧 音即 路0 以 得 州 $\mathcal{T}_{\mathcal{T}}$ 蔼鳏 出り祭 m) 以 里隔 智略, 共・安不・城 直 萬 東至白 斎 除匹大 積聚略三萬 抵 徘 遊西北 趙雅 薊城 意の防 狼 忠貞堂 可c牙 合兵 大 胭 平:

者官賜之牛不當更权重稅也今官司很多皆宜澄其無田者十有三四是宜悉罷苑囿以賦新民無牛其無田者十有三四是宜悉罷苑囿以賦新民無牛 所 從 該阿 古方 麥軍王憲大 太工商末利宜立常員學生三年無成當歸之於**農** 古者什一而稅天下之中正也降及魏晋仁政衰濟 循不取其七人也令殿下拓地三千里皆民十萬己 晋 共什之八自有牛者稅其七記宣參軍 共言仍賜裕錢五萬宣示内 辞 之亦足見二虜之優劣。 惟適氏曰虎方大發民以治宮室而號乃 或曰。旣從諫如此又能宣 狼帝 古者實諫之意後世人 媚荷容輕劾諫士不忠之甚者也皝乃下令悉 · 末和 斾 箱編卷之三 民均之夷狄 諫 夫 元年燕王 劉明近以言忤吉免官禁銀長史宋 Ł 皝以牛 丽 主所未及 示: 所為不同若此 中外使言者無諱深 外欲陳過失者勿 假貧民 尢 -封裕諫 佃 比而 忠貞堂 罷苑 蓰 빘 中、

濟不降伏創而死女又遺書誘致宛成前陽郡 之非也進與趙戰大破之麻秋之克金城 方方略 重薬 重幸 野穆帝 梟鳴于牙中艾曰六 重華召艾問以方略文 棄城 芭山 拜艾中堅将軍給 謝 偷生者。 後自刎艾曰皆義士也以 氏日車齊宋 将中艾曰六 博得 日 破 推宿舊夫韓信之舉非舊德 就日國之存亡在兵兵之勝 矩二義士足 **歩騎五千支引兵出夜有二** 顧 悉發境内兵使裴恒 遗将军王 請兵七千人也破趙以報 泉者勝今泉鳴 謝艾兼資文武可用 摧麻 y而葬之 愰 延代 干一起貞堂 业、 牙中克敵 將 守令之 빘 蛇 肼 心

憂也, 重備必 險 胡 ち方路 制の梟戦 到二 者 () 要相 •**}**), 퍔 遠温泉 或 朝○者園 精兵萬 ١٧. 聂若得而有之 國家之 戰倫也 者李勢 眉 閖 短而 於の袁 耳c則代 不 쎉 拜 쀪 曾0番 ·敢動) լ 食謂 业 表 蜀地 無 \Box_{α} IJŁ 《積編米之三 À 巴o中^の陽瓊 似 湴 不靠 以 斪 即 輕霸疾趨比其覺之我已出其險要可道臣民不附且恃其險遠不修戰備宜 蜀の不優さ 臣 難 o 必 o 人于 民 上 險 o 待 o 日 。 便王 博 湺 縱有 是而非胡聞我萬里 行 富饒产口繁庶諸尊武侯用之抗 知 别口 知 ٦ 委長史苑 温 強 之温 皆以 専 止博 侵軼綠 固○衆○夫 郎之 制 附。比。 吉口經 為受惟 ,善悔 此所 大 朝 胡つ皆の略 伙 意以 汪 冮 利也論者恐大軍既西 廷 為の合の 大 瀵、 貞 17 誻 者 Pj 弱の也 留事 但。也是 謂 智 军足以拒 D 佐 有識之言。 遠征 恐っぷ 快 以の朝日 克ο必 常情 主 除o天 n 蜀の得 \mathcal{U} 之。 下 為 之。則 少の以 宇。 為内 电气气 宜っ 肵 不 克の蜀 たの者。 其の胡 後の不 /X-] 専った。 或道 衡

惶 Ì 及 將李權三戰三提漢兵走散 主李勢悉泉 異道還至則温 將欲設伏於江 ī 釜。一。以 戰遂 温馬首衆 旣○戰○分 向 世山 個 万略 孫巫 捷為温軍 務○之○漢 三○捷○兵 氏旦。 凇 有天幸 庚 大破之 三。 槻 赢 萬○之 日。 續編 瓜兵守難 籂 回 懼 出 糧○一○勢。 以○偏○表 至 彰 表 一 至 彰 模 ġ 料 縳 温 軍於 南、嘉蜀 苯 示の敗の裔 敵 誻 乘 以 之惟 而c 窄 o 橋 ... 重自 勝 成 待晋兵将 漢大發兵趣 軍 長驅 4 Ŷ Ħ 都 名地 仗 o 心。去。縣 吏、城在 議 淡三年春 Z 煮· 温 誤調都 十里 吏誤鳴進鼓 送 至 步卒 **昝堅至犍為** 势 成 可必 不。深 欲 軍 遭用 **替** 合水 進程 · 鼓 · 温 陌矣 直 於 都。 軍至 焼 桔 也 兩 建 康. 温 **总名地** Į, 袁 Ň 成都進過達 堅衆自遺 從之 面の勢の 堅 卒以誤談 城門 看習 K 乃 見り **の力** ○道 ○以 ○ 俱 不 拒 知 漢人 \pm 奂 制 引 去の取の進む

伐

1. 行方略 秋 敢 今以九 勢進擊大破之趙 短服 右 戴白帽 突百道皆進城中樂之秋狼死 世山氏 軍長驅濟河艾又破之京嘆日吾以 進別將 大 張重举遣謝艾帥步騎三萬進軍臨河艾乘軺 事去矣固守大城秋帥衆八 扣 櫌 如 欲 州 村士服 市 艾踞胡床指麾處分 の以のはの帰の受験の見れの間の思いないとうとの此輕我也命黒稍龍驤三千人馳 棄外 張 積網 日新义坐作進退皆有法非獨侍勇輕 之力因於抱罕被有人焉未 和三年趙 現自の 城武威大 鳴鼓而行秋望見怒曰艾年必書生 Ŧ 間の 外之二 道引兵 虎彼道 庥 守張 秋 攻 截立 孫 趙 俊 抱 伙 傷數萬退保大憂 萬圍塹數 FO 罕、 以為有 軍後趙軍退艾乗 都 棄 帥 外 西名 可圖 偏 11411 **拔騎二萬會** 城で部名 師定九州 伏。擊 重 则音 也。 雲梯 動こ昌 (懼不 丈左 泉の大 数。 東 之漢 地

艾擊

麻

秋

衰固 晋

因

遊食常山

中

Щ 主

諸 石

郡 閿

夏燕 自即

Ŧ 及趙

傳之基 国門

Įμ 容

八年魏 胳

立後

等擊

前の方の世界 於 西方 中軍之 軍為三部謂 関 耿 容俗 Ħ 掝 所 勇而無 拃 者 日,関 城斬 國閥 也 啉 不勝 何 等擊之関 望見大幢. 鮮甲善射者 旭 a林 c 將 **7** 之遺慕容評 二群 士卒 7. 數重問價圍 然○不○趣 閱素有勇名燕 足敵 諸將 續編 後の可の林 充益 可○後○中 趣 恪 知其為 El c 常山格 氡 用 撃の制の格 僟 然作 閉性 Ż 破甲 兯 也 ○宜○泰 帥 東走馬忽斃 3. 格 急の軍 未 中軍直 輕銳必 從 遺 高 冇 た 梢 Ļ 人 追 雖 7 能 一騎 嬋 及 と心格で 騎○日o精 邀○吾o其 用 信 攻 於 致死於 衝之張兩 狘 Ж 剃。 魏 ~ 商 為燕兵所 還 巡陳 昌之廉 長っ 大なな 開 射 酱 我我 而 さ 論 計。 軍從旁 忠貞 旭 能 將 轨 制 n 格 陽○地○所 士

	IF.	· 豬編卷之三 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	衛辰 攻魏 南部 魏王珪 火之	符至送西走什翼犍汉其部落什	浮梁兵乘以渡¢ 做而水合然循史	堅許之五年叛奏降代義帝與寧三年後移帝升平四年衛展降泰請田內地春城年大和二年代王代異從擊匈奴劉衛后	帝吏成帝次千封耶郡王京帝崩無嗣皇左	作製健緊劉衛辰
 		走堂	大	衛	及 至 不 乃	发 教教 籍 代 医 勃 遵	海石西部	

生態鉅 至金鄉 31 出 兖 相 揃 蝢 占 在 ìΙ 背帝奕大 舟 方略 連 兵じ戰の不立者 州伐燕都超曰 北府温常云京口 州 精內史而自領徐充憂師步騎五萬發姑 冠 : **É** 刺史桓 £ 那年朝改属一种,後漢之縣各一 猛議救 秋 上。 進 À 和 人資編卷之三 冲, 冬水更尚清北土早寒三軍喪禍者少 河 四年植 **熟國人** 燕 道遠河淺漕運難通温不從六月 酒可 決 汝 交属 數百里 固 會 州山 退 望 飲兵 于清、 府陽 與徐 風 州 胍 所の自こ所 統の陳ン部 為資 超 刺 扩 丸∊ 天 き 完水 府名 、日、 可 兖 史袁真等代燕 味非將帥才加以去師出河上悟子超額 清水入 温大喜即 賊 用深不欲 清郎 肵 河清 乃の持つ 4 £ 此 勢_? 以 河_。 縣河 進 铫 此 難治水 Й 愔 則 つ各山 忠同堂 莫o若○危 若○能○道 愔 居 Ħ Ÿ. 西在 初 策 通: 白 爲 老〇為 之。 淮

數 晋室 古方 **聯及** 恐か 仑 可 造 以っ豫 前 之燕主 栈 非 1 附乃 椞 茍 枚 武關 刀っ 退っ之 温 ż 4 76 大 敵 牢 温っ栗 F\$. 郀 胩 其事 弱温 食 也 温 傅 名 遐 所 羌 兵崤 岩 伐燕我何校焉王猛 峹 幕 憂非 灰 以 複 朱 德 袁 愆 更 叉 專 救 燕っ 繷 温 西之 休 帥 各 序 4. 英文 懸情 逍 鄫 <u>"</u> 制 亦に 渑 編 皋 從軍購叉遺樂嵩請 泉 亦 卒升 五萬 遙 封 巷 驕 其 病 つ制 地秦羣臣 大 敗 騎 Щ 子平 無 六國朝臣未必- onto (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) (1800年) 見勢届 譙 中流 ¢ 而 ス 東 懼謀奔和龍吳王禹 燕兵 矣の陛 聆四 採開 進屯 石 恃衆怯 然の 下 Ξ. Ŋ 而 不出 **拒** 幕 已温 後○大 於 議日 李 石 į. 我 冷 林 使 분 日。 P 唐表 邽 不 赴 於 承其版而 〇 枝心無い作の 渚 下 叉 热難 與o日 之o事 昔 戵 IJ 利 應變大泉 収 七 邳 不 事將 自 欲 幽 桓 救 申 通 月 Ŧ. 從 彊 ο水 敗 望 温 7 温 ĔÝ 同に 真之兵引弁 徿 厲 遭 代我燕. 日臣 連 此自 何 大慕容 泰許駱 持久坐取 封卓悉羅 至 逆 取之堅遂 攻 深入 σĀ 必○如 枋 胡 |請撃 ○克 : 九 將○徿 Ŋ. 败 陛 評 不 虎 垂0日, 抜

行際 罪状 退此 争飲 古 破 及 騎 剽 使 至焚舟棄輜 之。晋兵死 方 之體歸罪袁真鱼不認哉。 於襄邑德先帥 方 之素荷 為 ○怯 Ħ, k 辂 其 嚴設警備簡精銳為後 朝 夜疾趨俟其氣衰擊之無不 追之呉王禹 後温果兼道而 孽 走 丧 伏 敗 不 者甚 池 恃 報 75 續編卷之二三 : 邀 重维使自 卷之三 戰:宜 歸罪 泉温 驕如 遂摅 整温 **將軍叛** ř 勁 温 壽春叛 袁真奏免為 於 騎 數 未交而走晋兵追之 進數 谯义 欲聲中 伙於 陸 不 釣之乃使二百騎 奉鲵 道 利 東澗中 稱王尋 日書 降燕 4年還 柜不如緩之彼幸吾未 橙 破た温 孫 圅 儲 克矣乃 之業 日 行七百餘里燕 度 稱整 竭 楓垣 可矣乃急追之 双散 寅 · 帝リ) 鲁 叉聞秦兵將 而 真不伏 帥八千 £, 事 過 正 卒屯于山 夾擊温水 忠貞 帥伏 日っ 損 温 表温 分し人 Ŀ 饰 初 子 32-455

木 共立 造 等 叉 ž, 但 古 軍秦人獲之送於融融聽 至見 庭 Π, 兼道就融 恐逃去宜速 糧盡潜造使 洛 退 方 ľ 鵌 潤. 若 帝 1 津に 37. 陵 咷 待之字 败 秦泉蓝至诚 大 相 万 新新春之 其。 公 元八年泰陽平公符 4 遣 Ìή 大 ηt 之直 榊 鋒 朱字來說石等 赴之 告石等日今城 之 .4. 淮 北二十五里 1 貴 則に IJ 四 **14 対後已奔泉下**、雅與為敵, 堅乃留大軍 荊 後: 赴 丰 **過東兵謝** Ēζ ų, H 渡 ß, 隹 瞓 袁 嫯 城 使白 χĹ 水 楠 州 源 者 擊 王之見 ĺχ. 舻 成 可 4 不 憃 瓜 石 萬 Ħ. 融 融 五 大 -**T**-逑 乘諸軍未引 王 糧盡恐不復見太 詂 等攻壽陽克之 ŹΠ 於 進攻之。梁成等 圣日、 Ť 玄等惲不敢 晋兵部 連 破 趣 破 項城引輕 (斬之分) 洛澗、 也十 À, 木皆 14 序私 賊 少易擒 p le 成 E 忠月堂 14 兵。阻 H 市 - 淵: 騎 石 速 玄 進。 断し淵 胡

過

水 謂

而融

玄使

謂 勍

日 何

君二謂

懸 弱

軍 也

湃 槱

入 然 有

51 11.

*

Ϋ́

顏

目。

此

敵

走者開 奔。 古大野 陽堅中流 И 兵遂退不可 得;此 行露宿重 擊至于靑岡泰兵大敗自 **騎蹙而殺之费不勝矣融亦以為然送麾兵** 如遏之 垈 策 帥 虔 玄等 - 養氏 **4**0 堅 退者馬倒為晉兵所 IJ 序 所 序 風蘇鶴 使不得上可以萬全堅曰但使半波我失 法勝負不亦善手素諸將皆曰我來彼 决。久 矢單 乘雲 用兵 日。法 z 人籍籍 勝賀不亦善手o μ. 復止玄等引兵渡水擊之融 計非欲速 さ 告 騎走至 毋 敗ら 凍 吸皆 之神也 敗 カ哉。 有 車 氡 其 矼 崩 臨 及 泉逐大 者 N ズ 柬 淮 年之直擊梁成 什 為 軍 儀 [4 戰 北。 Ł 退 服 者也。 伙 晉兵且 相 殺秦兵遂潰玄等乘 巴奔 夰 八初泰兵小却 郼 糉 蹈 庰 而 械 竊死者蔽 若移陳小 竹日我 待戰者 不 至晝夜 可勝 與張天 不 此 野 却 产 | 境爭 使却以 忠良 A 惠 捘 皆 素 序っ 兀 朦 取 Į, 在っ

制っ 上之從第 宜及其上下離心の表の集の基の単の単の 至不敢有異心資其精銳東合四州帰克逆寧帝容 間中 自有 装天 Ť. Д 閉境拒之高昌大守楊翰曰 玩驅験馬萬 **屠之天竺沙** 桓文之衆也熙又不聽而投洛於西海光問翰緣 策無所施 如; 方 臉 京 Ŧ 以。略 原喪亂 赤大 阻之要宜先守之而 襔 檄 *\$*,... 還 íì 地可居光乃以除二 責光 勇冠一 時若奉 Á 元 **矣熈不聽** 业 絕 匹而選兵至宜 M 拒 ・吾關 亦可に b 擅 有 堪摩 兹擊 年九 呂 濟 異屬 卷 老 遠 Ŋ, 凉州、 羅 *美水縣 師 **P**3 : 若出 什 泰 奪 以 為盟 遺其子胤 拒に 日 初 Ė 降 一萬餘 也。 **其** 流 光 禾. 此 吕 . 光 光 機鑒不足終不能 令張 王 度此 水 沙。 新 名縣 光 不 特光 昌翰以 殺之入 汉 其 題載 彼 破 凉 足 n ήL :-뺘 統曰。 \equiv 旣 勢 西 帥羣豪則 州. 岩将 龜兹 絮 땓 Œ. 窮。 難 域 刺 舻 凉: 拒之光破 姑 郡 乒 史粲熙 行 錐 國 軍但 臧 降至 唐公洛。 有子 珍寶奇 忠貞堂 ○强 收了 自 光 生(谷)鏡(謀 東京の東京県 茶 つ で 不の表が思います。 で 五 教之 青洋一 與濟同 由 主 凉 古 是不悅 方 一滅臣 或曰、熙不 州 Á 刺 稱 執照 光龍信之前 凉 州 甪 其宜也 縣 牧 竹

不降 罪而 酒泉公 翰策 卷 光皆殺 2 安得 | 軍殺之泮 三つ集コン 洒泉西 œ 稱 詻 天 不 杸 Ž 王徒貽 下。 然 Ē. 名 一舞射 士十餘人 力 詔○宋 1. 呂光特 不 平の皓 嗤 四 ·足。 不 祐 西っ索 姦 域こ伴 世 퀍 凉 佞 能 不ο不 州 受シ下記の光 奸 報 傾 殺っ 华。 子 32-457

清遠玄 雜刑 苦 黨又受貨路。 官僕隸舜見皆為守令或帶內職僧尼乳好就進 居織兒欲撞壞之那左衛將軍許營上 又崇尚浮唇窮奢極費近智弄權斯路公行官段濫溺於涵色委政琅琊王道子道子亦嗜酒日夕酣飲 而 方 世山氏日 施之道の流俗親 獄謬亂尚書令陸納 虚之神合僧尼於 也っ加 朝. 許 使臨官政 が敬事以至は職得尽に日 营输 И 旐 [5] jÝ. 奏不省、 飯 敬佛之害至 僧 放 於五誠其酒敗蟲法尚不於政教不均暴濫無罪且佛者 侵漁 吳郡人 聖官開 生為佛事慈惠於营所 百可 于使 姓立 取っ 財。 **農法**尚不能 疏 日局吏衛 漁百 įĹ **数日**2 為口 恵亦未 品りた 姓。 吉 休

鏡調 而處之何取於耳目哉昔明德馬后也の4つ92年2世260月2日即清濁能否與事而之人以為監司則清濁能否與事而 吉 國 -5 城者 遣 晋 ± 方略 子寄耳 也 可 患 + 武 那断明化废事 長之得失 明問以所見屬 Щ 謂 Ц 並 而 帝大元十 于胥吏邪正泅 《攝諸曹諸 氏 遠識况大丈夫而不能免此乎 進善惡倒置可不 成其大不忠先藉小 曹下屬城採水風 目于宣寺c El, **衛編卷之四** 訊官長得 邈 **持論不** 四 曹情 年以范寗為 訊問官長得失徐遵 滞 浦 苟見左右皆不足任 得良 陂 描 戒哉足下慎 熟倒 寄耳 吏以 政 信 者。無 **奔吏假** 豫章大守军在 쨝 而 目于司李守令寄耳 予而明足下のなる 実文案 又 成 徃 往 未 非小 其大 不信逐 選綱 與 堰. 坐此。 甞 又撑 多○致 所○益 (霄書 ٨ 顧 皆先因 忠貞 但。 後 左 世天 一右與 平0公 心0方 告o乃っ弦 曰。還假

請降長待之如 除兵破三萬之聚幣地惟小為奇 安美日吾自結髮以來與人戰未 泉 兵擾亂長縱兵擊之斬揭 树一木以 ti 地有架數萬民胡赴之者首尾不絕見後秦兵少悉 東北非吾有也乃潜引精兵一千六百赴之揭飛惡 常者南引揭飛東結董成得杏城李潤而據之長安 草雷 日登非可存滅吾城亦非昼所 方略 **僅以大爲貴耳**。 世山氏日。 攻之裴岡壘不戰示之以弱潛遣騎出其後揭飛 下 将 白襄 不 憂六十里符堅乃憂六百里魏稱後秦王伐秦稅堅稱帝欲自降無符堅殺之弟其降秦 長 魏 · 積編卷之 旌 替地 戰功歲餘問之當成日 朷 命姚 惟 為 當成於所營之地每柵孔 四 唯小爲奇量以大& ♥ ○ ↑ ○ ○ ↑ ○ ○ 與人戰未嘗如此中 堅稱希之養主甚 飛及其將士萬餘級惡地 能猝拔惡地智畧非 干兵者知之當成 · 欲自擊之羣臣日本帝封為六夷大 营地 揭飛何也 為貴哉 小巳廣之

		百万略 機獨卷之四 八 忠貞堂 电卸	職得成故及其未合急撃之耳遂進戰大敗之登退 時間之令失利而更前何也長日登用兵運緩不識計取之令失利而更前何也長日登用兵運緩不識計取之令失利而更前何也長日登用兵運緩不識以以北京之令失利而更前何也長日登州兵運緩不識は、000000000000000000000000000000000000
--	--	--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

魏明自 壁平 渡 侊 乔 肥 運 婴城 ሽ 為 姕 12 同 飽 固 魏 鋒 大 渡 平魏博 一分魏 軍肥逆擊盡擒 白將大軍 軍 元 Ď 年, 繼 西 **渔之平** 軍圍 泰 扣 之 李 宜 · 先 £ 軓 Z 攻 車 與將 造o日 奇o兵 後以 魏 之平退走 乾 ء

樂之平遺

驍 主

将 珪

觓

及

於

壁 姚

拔 平

Z. 義平

遺

所施 不り來り軍 古 南、 能 じ必っ安 5 制っ従っ同 共 略 Ŀ 退 他の済の目。 不の西の孫 🎉 流 走 力 チ 깸 如し直じ東 續 縱 さ + 珪 為し臨ら有 ፋ 欲 餘 從 卢 と無無 里 之。 涩,壁心院。 N 平亦 毀 帥 Jς 4 歩 汾つ此っ酉 뽂 不 騈 っ房の三 三萬 魏 敢 ジ際っ百 人 典电 逆 甘 戌で毎○里 鉤 擊 拒り扱う蹊 耿 汾 典 之の真の狸 為新。 西 虜 於 国の不 蒙 ŧ 朿 至。鄭の通 回**の腹**の.

不 ,者

戦 15,

而 ,敵

取 ·所

也

珪命 秦

增

図

- 17

防

平

出

外

拒

四

替犯

兵の法

先○高

據○者

天口為

典 柴·斯·斯 天·健·樓·拔

渡0敵 之

ķ

四

萬

救 珪迫

槹

揭

突圍

不

得

乃

赴

水死。

戓

耳点

知

地

臉

制

姚

鄭 出

揽

及 帥

掌 麾下

耳_。

间

徾

珪 安 盡

機 ū 夜悉泉

鍳 外.

奉 Ψ 必の衆 西坡 Ŧ 送 涉 世 亦 亂 敗 ţ 得c寡 舫 一何 建 宗 臣 川 Ш, 之。不 無忌 戊 攻 旗 洛 胲 未 舻 髙 幟 氏 得 得の敵人 幾 然 子。 Е Ŧ Z 之の戦 劉 玄 例 不 布 乗 橨 因 削り無 盧 道 遺 百安九慶 Ξ 克 彼○全 可 Ë. 勝 鴘 毅 潭 規 無 庾 溢 大 不 逆 京 冬 勢○勝○忌 至 十府 呼 稚 師。 破之 八 Ł 斬 * 沮○此○日○ 桑 祖 里宿 琊 曰 玄。 玄 脥 E٠ 落 四 而○舫○賊 何 九私 内 為 倳 許つ 遂 洲。 澹 得! 我〇戰〇帥 江縣 充溢 勇 澹之 戒 逆 氣の士の必 之 何 口南 何 Ŧ 其 倍o必o不 争 首。 進 Ц 之《 因○弱○居! 쏙 守 破 思 而の我の此。 枭于 攻 逆 旅 淳○以○欲 戰 販 μ, 此 大 玄 之o勁o詐 戽 軍 牌 桓 析。 老 廟 破○兵○我 さ 九浦 ൎ. 後所 城 0 攻 0 耳。 常江之神 必っての公 世 И 所府口

Ħ

族 州

瘌

軍

1

殺

安

裕

謀

伐

蜀.

猹

石

伐

IJ

朱

魯

石 八

武

17

為 兼即

泉 午餘

元 燃柜

帥 五玄

皆 条葉

以封骨

鯯

ÿΙ.

暄。 多

怪っ康! 及 言○王: 謝 上。劉の鎮 混。偽の都 交○悪 安新 許○僧 i 輒 州 애王之陵 之 0 施 割 上。海猛孫人 + 別之! 共 Ħ 人卷 謀 至 請し不 豫 | 輓。 綸 耷 百 赐 FI 5 舸 番 去 混 禹 冱 龙 前 莈 迷

夜 諸

兼一軍

行O發

揚コ建

殺 n 自 陵

藩 劃 會:

自 典

藩

Á

廣

陵 毅

入 請

朝。 從

醉 弇

n 兖

部

劉o疾

+

里

絈

舸

猎

對

岸

上立

六日

ŕ

4 拾

Ħ 歩

篆

7

13

STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE OF THE STATE 二人

真 4

4

Ħ 水缸皮条 臼 馳 我。功 髙 史 傲 母紙 晋 水 城 7. 鬧。 É 联节车帝 戚 當○而 徃 潞 率 石 取 名縣 沂 王為 行。 廣淵水 誁 枢 出く還 さ 成っ以立略 一年 將 夰 其 劉 妻 譙 渡υと既 都に備っ - 译敬 疝 名 第 竹 敬 臧 雖 疑ら内の🗗 不いた立 #: 老公外整書 尚 位 弱OII 離 日、進o 兵○道○續 意一中坐 宣 喜 輕. 凇 果 别 使 乘八准 架 倘 有 出り若こ編 循 『免 出 居 皇東 難 人市 燕 高つース 軍 内・向。 従い片言: 黄 於 后発 當 未 陌 木 百 内には隣 虎の石 さ宮 重 道 艦碟開悉 水の黄うぶ 粐 专 水:販 o無義: 右、兄人 里 處 此ったの 福從由二從 μž 封 任 來調凝點亦壽宋 分 縦 17 内0末星 外 付 制・正っ 嵇 也:我暉四使之武 進 重 敵つ堕り 水心裏一 水 所 鮗 不 ill. 石、之・其コ 如 〇 ~ 至年 熱 勇敬 從」 候 兵 | 向O過集 取 胍 背呼山 成 秋 署 奇ら計つ 此:應磺奶器 蒯 Ŧ *11.* 虎八京指、 火 Ł Ã 度. ث ・他い今の 少c從唬酷 酷 会 岩 以口外可表典 於成康城 城 月 避 闹 1/2 3 劉 石 浆 備 烹 \square_{o} 准 大司 龄 重 c 水硫碳 齡 是 都過 鍾 么 坡 12 至 泉≎ 兵 往 咧 宣 石 簭 14 黹 謂新 從 石 盆 苁 等 白 平 之紫内 먇 白の 守○而、虚伐 密 伐 州 **勿**. c 涪○科○無

寂

帥

右 馳

突出

拎

翩

寺"

僧 E

> 縊 ٨ P) 鎮

处 虛

Щ 左 E 至.

氏

脒

件

鼙 さ ハ 城

胡 Ħ

聱

足

浞 Ħ_o

旣 或

使っ 굸 夜 城

出 其

意義

備

故 予

入 非

虼

役 17.0

混

Ù

鞍 榖 制 佛 Ų

4 不

i

1

ř 無 虚 柜 金 쀠

也 藩 城

五:

里。

免さら

行

誻

城

未 恶 戒擊

及 徑 嚴鼓

脚。敷!

惡 未

人

À,

内

仌

其 4

耐

城 而

中

兵 下

散

若っ 旗っ

六:軍○語

後の下

有っ置

狀○所

叉口 留

造の計の

人○我。

焼り搾り

江○至○

準○城○

船の便の

艦の鼓の

前地面

令·

歳○

乃 分○人。

大○鼓。

軍事、 古方 石 我ぃぬの矣ぃ水ぃ欲 滔 或 從 末(克の所の道の巻 扩 **策之甚非** 七七月 步進 Ħ. 赂 不 戦の者の以し福の鋭 7 裕 糾 不ら緩の阻り不ら以 訓 賊 乃 用 獲し兵0兵0敢0伺 豹 **組** 唇室 續 攻 軍・相い守い拾い其 艄 奼 鍾 徃 絹 其 食の中の酸の油の隙 EJ. 奼 風 卷之 北 急 徃 無の彼の是の城の何 令 攻則 祁 相 資O將O其O今C如! 使 賊 g 克 Ĺ 'n 次 二〇知り催口重の鍾 不 ħ 奔 事 Z 萬の人の不の軍の目 敗矣。 侧。 餘○虚○敢○猝○不○固 石 潰 進 人の實の戰の至 石 藍 悉の帝o也c侯、前 棄城 南城 #. 為o軍c因o麻。 絘 Ŧ 熊の忽の面の之。 -d 出走 州 亦 子o來o攻o徒心大 钺 房の弁の之の見の泉の町 来の力の其の破い向の板 六 Ł 伺 貞堂 去投 が見 郡 隙 推り勢の膽に出こ

事済 錯草山觀 古 代 多而 地 肵 問 居帝 北祖 東北東 季之 城。山東後機當更關之作 羣 扎姓 左 方 杯 7 情 畜 年之俄 雲 勢固 以 日本西都 力 . 威制 :見事露る 無涯 飛 Щ 薄交大平 略 里之除 **博都兵少屈丐杀** 将 同叛 博士 不 之 代跋 形 氏 ir 日若來 可失 FI. 諸 間。府在 **今程兵守舊都** Ξ 非 K 势非 長 筝 夏也 續編卷之 轨 山 難 恐四 長 祭酒 什名 或云主國 民 東有變則 炙 九 多饑 然勸 能 翼珪 遷 計也 赴 方 徒之 來 楻 計 測 都 . 浩 え子 特 殊世 枚 处: 春 輕 - 叉 其 也 課 但 然 · 農桑 方の饑、 多 [1] 此 偋 草生兼 Щĺ 大 不 將 東 進 日、 史 姚 輕 則 且 分家南 今じ若 βĵ 騎 聱 有 Ŕ 不ら何い Ā 百 A 周 不 尤 實俱 可一日 苁 俎 南 窺窬之心 姓 以 澹 訿 王 國 知 川遷都耳嗣悅從之 口宜簡貧戸使就食 一の此の表の一、一、一、 一の此の表のでのである 一、本の表のでのである。 八米果得及秋熟則 徙不 國 亮 望塵懾服 T_{c} 不 E, 書魏當 冢 批 家 損也 今居北 便 本 邌 吉 * 布 水 能 務 失 롼 都 形 護林薄 古 土 勢恩 朝廷隔 湍 廣 於 都 魏 忠青 疫死 諸 本 此 漢 鄴 郭, 王嗣, 嗣 州 之 可 矜 國 誦 地の枝 IJ. 武道

古方略 水百餘少為 漂渡 河上大破之魏 一千人馳赴之魏人以三萬騎圍之四面內薄祭不 或日平以二千犯危而潰魏之三萬騎 不用崔浩之言 洞 無忌矣。 白旄 貫三四人魏兵奔潰斬 超石斷稍干餘皆長三 北岸者為魏 義熙十三年憂四 裕先命朱 《續編卷之 却八年 入以 擊魏 ٠,٨ · 放出七百人車百乘渡北岸· 起 肵 數 殺掠 石 千 騎 其將阿薄于。 四 祁 綠 齡戒嚴旌奉超石帥 計劃 尺以大鎚鎚之一 遗軍擊之棘走退則 河 隨 裕 古 忠 良 堂 軍 遣兵擊號 魏王嗣 裕 西 Á 行。 此 古方略 軍自 腇 įū. 以 王

無然不應佛念登宮牆自接死內 · 內於弘曰晋人將逞其欲難降必 聖門降旗惡以獨吏, 而遺鎮惡入自平朔門泓將出降其子佛念年十 争進大破姚丕軍冰引兵救之 地能 岜山 安帝義熙十三年大尉 則 拒之鎮惡诉渭而上乘蒙衝小艦行 河入渭以趨長安酪許之秦主泓 八日即 গি 存左在身先士卒不身先則士卒必江 1) 續編卷之四 成 :大 功-, 沈舟破釜之計而說用之 裕至 潼 為败卒所躁 關于 乃將妻子羣臣 先士卒泉腾踊 鎮惡請 "其所以 功名俱 帥

破

主至鹿

滞谷遇

可汗大子晃曰城不意大軍

軍為

内

方野 柔然道去追之 惶駭北走經六七日 至宜掩 一覧授也 自是軍國大事皆與見謀之司馬楚之 共不 何得るこ 《 類稱卷之 即 不及獲 Ĩ 正の面の 軍大集然後擊之見曰塵盛者軍 進 知無追者始乃徐行魏主深解 擊之尚書劉潔曰賊營塵亦其 吸其候騎日 有此塵乎魏主疑之不法孽 **柔然不覺魏軍王 别將督軍 虚直

存方 古方 将乘勝 泉前後無 商宋文帝元嘉二十三年檀 A 或日製獅 略 格猜編卷之四 後世 宗慰等克 入泉浦林邑王范陽遊 為料 利編を之四 際宗懿南陽日吾聞 拒象不足 者法。 林 ٨č 奇 獨既 克林邑。一無所取 东 和 余 外間 傾 Ż 等板 國 栖,垣 有 水 大 柳子威服 戦 戰以具裝被 區栗 Ū. 忠貞 存拢 斬 百

必・程 敗っ柔

伺っ軍

割の中

以為 有 信 今 先

耳二點

賊○耳

↑急の此つ

或日太子見知足料敵而卒以憂死大武待之不

道也悲夫

可及乃散走

伐柳為城

Д

水

灌之城立

丽

柔

外

至水

埾

灰 其 期日、日、如 其餘黨悉平之以俟 5 信誰能獲之然停十萬之衆以追 風俗豪收今不斬吳變未已也吳一身借窟非其親 二叔諸將欲送請不城長安鎮將陸勢復振魏遣高凉新隸平 為府 王那 魏大武太平七年盖呉 古方 魏主以俟咸 便爾必不負也 丽 得賊 私許 此 ጛ 等間之大喜以俟為無 罪我為諸君任之高凉王那亦以爲然遂與刻 造之及期不至諸将皆 陛 其女 不 吳叔兔其妻子使白追吳禽之必矣諸将成 微編 殺而更造之若其不返將何以任其罪俟 續編卷之五 耆 卷之 招之 思著於 呉劉 後數日 眀 為內都 赵 犐 人电杏 中。 果 能為 咎俟 復造鎮長安侯單 大官會安定胡劉 IJ 呉首來傳 張 余 也。 俟口。 一人又非長策不 陸俟日長安險固 自 懋衡 俟旣至喻 帥 等討破 烈 极 彼 伺之 訪 定 徃 4 見 八:馬 赵 烘 未 夭 成,之,彼 計 徘

古方略 一方略 一方略 一方 一			j j	古方	此。	呉 _o	送平之。	陽>百 酔>人 上c出	
を 2 五 年 数 日 会 後 名 外 都 大 官			!	黄編		必有所見	天日 陽解 一種	馬 大呼手 の	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
一 本		:		卷之五		非邀侍出	所到起: (俟為外知	新超首 1	0
						从功者上。 一	作大官。	五卒應 聲 出卒 應 聲	၁ ၁ ၁
		-		一一中心自己是		諸将鳥	双 下 T	從 聲 為 限	o / o o

合運東 命 玄 賃 沎 頻 質 ŝ μį 退 、書日 至决 者以 陽太 Ű *j*: Ü 謨 楜 点 秛 減 方 未 至 書 退 赦 否个 路 質 於 州 山 Ц **'**,' 大 A 故 目 是民差設 言 賊 土 洒 濉 不 # 過 拒 東 省 所遺 氏笼 續編 石以 質封 通 僧 : 劉 彭 申 示 魏 维 苷 城宋 珍 恨之 具 i 狸先 軍 扣 使丁 ś, 卷之五 填 搜 飲 Ī 苑 夏 死 ٨ 镏 11 猾 散 尜 **⊼**. 兵 整作 À Ĥ 湛 便 過 벸 民 逬 攻: 飮 報童 *y*: 奸 我 追之 季死 典 λ 焼 江 海銷 愱 Щ 陽」 ß! j, 木 įξ 浮 之魏主怒祭長 陽 城 城 Ŋ÷ 非 劜 之 巾 佛有 in 酮 圣送 <u>'4</u>, Œ, 我 桰 不 珍 府船 不 路 想言 B Ţμ ń 戕 II. 穎馬 恃 焨 미 於 敢 叉 及 11 狝 Ţ, 國 全 谐 雷、 槯 後 寡 大馬 岩 减 君 竹 13 殺之 因 陂 伙 宋 常 山 天 Ą ۸. 黄飲 足 城` 北 以 絕 in in 屢 Ú 東 Ē 攻 水 帥 主 Ti 小江 솼 地 爾繆有 剛 肝 咞 無 趈 北 水 共 開 犯 字水 釆 排 派盘力 忠貞建 陸道 满。 聆 牂 民 有 迎 肵 郡 相 タ而 須 及 黍 胅 T 滅 盖 不 獨 塘 利、

首。 古 夠、數 丙 + 退 過 得 若 沈 主主 明光日, 數 H 毙 所 腒 者 獲つ 紮 X, T 封萬戸 酗 使 (m 升 Zo. ٨ 낊 為 書曰。 逆 略 ij 殺傷萬 度, 떕 稲 魏 明 虇 仐 路 Ä 組、侯。 者○兵 Ħ 釈。 Ħ 刃っ 邪っ 粉 聣 武 乃肉 計尸 樻 引 腸 等 叉 抙 捌 ſĘ 以っ不 Л 吉 節 板 Ž Ü 索格 布 Ą 縞 涆 П 正 不 戍 噗 3 婀 安意 與城 薄登 卷之 市 也候 絹 未 衝 朔 我 411 魏 建 K 固 其 難 車 不 清友 各 格 さ 撣 足 走 Ĩ. 康 卆 敵 解歸功於質: ī 城分 攻 平, 攻 能 双弓萬 主以 民 之 Х 儿 빘 鳊 典 城 退大务匹 爾 不○守 凡 . 何 攻 木 功 灰 围 Co索提 魏 杏 之: 身 本 其 攻 誅 Ŧ 外 須≎不 邶 t. 自 さ 邪 實。可 迟 Ú 相 埾 魏 走 Ξ 哉。 繇 游 行○ 密、 主 Á 旬 墜 桶o如居 也朝 主 毎 省 滅 不 大 閗 回 淮 rin 、怒質又 及 X 复 至 \bar{z} 盆 額 斬 农 ○遷居 城 嘉 ĸ $\dot{n}_{\rm o}$ 落 不 楫o追 之。璞 彭っ 示っての以っ軍士 其c强及

#: 河 能 則し南し人こ不 掠脱 古 機 使 雍州 **後**。等 名城 南、 或 成 鬼の自 二尚 乘 、戦 方 行 不。彼 功 軍 軍 : 遗 勢。 略 諸 刺 來 宜の勘 貀 清 都 事 城 史臧 州 魯 輕○之 旭 固 刺 秀 動 o 太 nill 簭 疹 Ť 邿。 史 質 程 不 子 カ 査 待、西在 速。今 宜 綿 劉 非! 帥 從 天 中 諫 最 若 卷 旬 典 所 祚 Ŧ, 庻 九 侵 天 不 逾 Ż 偽 月 궲 領 將 子 月 錬 上言以 集C 場C 場C 宋 克 十新 建 難り 育 ० में ≎ Ħ 可 帥 荆 遣 何 主奈 捷 里马 司 庄。 為で山の 板。 始 州 蕭 偃 秋 不。 图 收人 死 稿 甲 思 队 何 為 事 其の若っ其の 兼 撫 指 喬 沈 士 話 4 概 大 指 杰 心(中。 過暑 脚っ 大 河 慶 四 棔 淮 10 柜 傷 色 胰の州の要: 釈 初 南 ₹ 萬 張 渱 不 朱主 迶 着の袋の戴っ 附。 肺。 轉 五 阻 固 出 汞 省。 前の動の州の 宜 西 阘 债 野 誎 許 쪾 州 意止 加 宋 名二 拒 驅の黄の以こ 方旁。 内 p v 授 克の河の北の 太 猜· 碻 行中 **膝の以の民の**

猟 去 閙 衧 μſ Ť., 英 龙 賃作 流,所 郡 杰 成 宋 冹 华. 絕 17 綗 43 ĺΤ 銌 14 **\$**\tau 縣 不 薄. 武 Ç, Į 日 Τij 叡 袋 45 不许 册 排 ij. 新 孟 得 是 皇 小人 順 $\hat{\mathbf{1}}^{n}$ 竹 í" ${\mathbb P}'$ ĸ Ť. 官 可請 署縣 įŽį ם 龕 1 1ī 孝 竣 饷 末 办 沭 17 事務 (0 興 μ 尺 鑄 天 11 檢 贍 皴 H 絣 露五 鐑 丘 騑 間 46 元 11 赋 k大 利 稨 帝练 竣 占 11 ŀ 物 施 之 11-1 泉 周言 3 1 ÿέ 之 鉖. Ľ 從周 家 議 民 作 衣 欤 用。 擾 物和周餘 1 E 7 貨 さ 理。 灹 fΨ と郭 皆 居 最 [k]卆 於 價漢郭 道 ` 深. 得 觜, 兆 14 育: 媰 五: ¥ 以 鎬 垍 是 踊 者也 Ţį. Ã, 萖 姓数 情 攺 爲 本 惰 輕 忿 署 贵、注周, 四 沈 . 内、 Z 成之 計。 **4**} 3 錐 偽 重, Ŧ. 慶之 .. 此 依 尋 内景 錄 慶之 胯 不 ίĵ 為 銋 伤 定 铢 此 3: 平 部為王鼓、 背 問。 極 格萬稅 可 盡 新 無 4 於 月漢 建 銭 形糖系统 Ť 解官之唯 悉為 言武 龍 者 浆 枚 細 空 ₩. 漢 好 海 好大十音 嚴 銷労 · ** 不 無 者 也 世 宜 小 袋鳄系殊 " 九 湃 叉 Ų. Ŷ 魏 大行 三 去 可 憨 無 孔为為十 行。 官之 き 盟 没五千、其 以 £ ij, 右 禁。 址 氏 翰也好集泰 ***** 餇 簡 矣。 1 13 ĸ 程年 嚴 維領 泖 皆 糠 絗 降いす有 偽。食、

間猶 為卿等保之訊緊果誣乃訴告者因謂左右曰以三位以何嚴前憂哉會人告賀謀及魏主曰賀竭誠事國 日吾用賀言一族所活不少增兵亦多聊等人人如之恩徭役之家蒙休息之惠魏王從之久之謂華臣 魏文 應入死者皆可原有論使守追則已斷之體受更生 為並州刺史賀上言今北廣遊魂南起到險疆場 古方略 墓下駕馭之法當如是。 之而已〇不獨有質見知人之明而又借有以終 怨民者也然論使成邊須有制御作用未 吕刑罰銀之意多以程 錯免罪徒塞之法賀非行 被持不免誣謗不及賀者可無慎哉のつつのののののののの 須防戍自非大逆赤手殺人其坐城盗及過 Ħ. 質 續編卷之五 或云以兔郎獲備追之用自予觀之本 貨帝 立穆 た大安二年以 可徒 賀 賀の朕

 景宗 県 内 の 現 古九略 未 臣之 追主 爲 錯 貌 宋 《今内外曼然以解釈或馳使春生 《今内外曼然以解釈或馳使春生 三書吳音撫慰之且報曰七十老 三書吳音撫慰之且報曰七十老 或日 **曾妄笑故宋主以此戲** RC I 惟適氏目内外晏然玄韻亦可 此舉見朱主議度 多僑 武 際足以相保聊後為笑 郡郡 租課 皇 王 非宋 玄 帝 《 精 編 . 解派 謨 縣 大明元年秋七月新雍 不時請貨土斯乃部并难 Ī. 請 刺史王玄饃言 一概起則 民不願屬籍記言玄謨欲及財柳 チ 春之玉 派 之。 民 訊言得行而 伸 僑郡 一日本日本大大大大大 鄉倡頭耳玄漠性 州 縣無有境土新 州三郡太大 玄镇危 郡雍

起太

L

兪

大

安四

年起太幸兵

中

割付

Ř

Я. 諌

宋

有多息 期 大 可倉卒合計 半年 祁 妎 可畢一夫不耕或受之餞児四 節型之所皆已悉備縱有修廣亦宜剛致 赴 朾 :所當役凡二萬人老弱供 巴其所常立必因 農臘个建國 、例又常倍之 Ľ

ä. Ħ, 之時魏百官無職允常使請子樵採自給司徒隆 ○論語或編切魏至不忍聞命左右扶出《終幹華 方 高名雖常龍待而家貧妻子不立魏主仰日至 魏百官無職允常使諸子樵採自給司徒 續編卷之五 れんなとも 《隆!

壁 っ 之 有 え 利 っ 於

ħ

耹

稍絹 本二五

湖久

之將軍張

小顔又不許由此大小顔又不許由此大小顔又不許由此大

周o奇っ版 建っ兵っ振

糧の子の沿の沿の沿の

阻o出o證

其3地

因っ我

喰っ難

而っ持

可勝道平魏主納之名好切諫事有不便

萬人之勞费

鮹 挽教

借米鰕又不

许由,

大

失

X

心與

臺軍相

拒

於

其常惟草屋數問布被絕抱厨中鹽來而已魏

角栗拜其子脫為郡守名國

解不

Æ á

以為優耳免 許帝重犯 君 錢○乃 百配之典 地莫出於此 又有橫浦可以藏船千人守險、 也 沒沒立营寨,造兵追之 不爲備 致疾 江岸最狹去大軍不遠下 待 欲 寒っ走っ一 明の典の夕 日の世の四 世沂 Ż 迎 沈 俄 派 攸 潜の更 引: 上 z 典世 胡 兵の道に風 丽 Ŋ 後下如 來 振い其い便 為然乃 日。之の将の興 賊氣盛 胡 黄の世道の奉 近 (是累月) 自 選戰士七 萬人不能過衝要之 ٦ 料 標。帆 歸 水炭の 帥の重 洄 劉胡明 七。前。 洑 淡っ 丰. 船 世帥 $\overline{+}$ 舸ン鹊 ηŽ

徑c尾。勒斯舸 柳o胡参為二

Ú

八

Ħ

莨

股事

漢 耏

主聴。 斤

甞

戒

八子孫曰

令公而不名。

幾諫

儿人 IŁ,

尚不 到

其過

况有乘平夫

功無異犯

뤴

但 不 þ ijį

·君過。

Fir

畫c 六

魏王

光忠臣也。

我有也 談義城事 () 是獨以以子助之命徵素與于襄陽以以子助之命徵素與于襄陽以 助子 全動 克 年基 撫諸特別 克江 軍人 以 州, 劉 為 胡 都 不 **科**,决、 頭 动现 И 郙 Ŧ 性 長時 運 子 未至 框 块 史為 子惡宋

以稱的

泊岸

1981年の東京の東京

此

制

賊之

舫 而扇之進逼胡營胡 此 |日吾少 世 鄮 之の利っ懼 未 竪榜為 與世 珬 子 或 斑憂惶 何、 方 琉リスの唱の位 至 命o擎 所以 肋棒 日 江 胡乃遺兵汝趣南陵載米三十萬斛 略 夭 所の空の之 攸の之 崩 擊破走之頭怒胡不 送 習炭戰未開 葬っ日。速 之っ衆 無計 城 獨浮于 兵建牙稱 州之克與世攸之之力 《續編 竹 耳の以っ若 追 規 糧 之 攻っ緩 攸之諸軍 欲 畏 示っ泉の萬の城 濃に進っ 卷之五 劉 **突過至貴口** 典世 濃o耳o人: 乃 遂道去頭 孤 湖o勒c中o得 胡 水 以っ敗 及事敗 请 副, 不敢 鲷 軍の應の立、外の走。 至斬子 溬 75 大 中○有○胡 胡っ建 也。 託疾 進 戰謂日 **駭懼八月濃** 不。一。遗 兵の安 反 亦 不 胡欲 得o人o人 妄o得o傳 勢○王 也所恨 助傳首建康。 走至鶴頭為人 欲賣子勛 不進遣百 敢進典世遣兵臣 糧運梗塞當如 復攻銭溪民 動っ還c唱 果 提c此o錢 **徽 以**c 者郡 湖 報。必。漢 更 錢。 軍 毒。彼。已 攻 溪。 天。戰。不。 與 城。 食。 做。失。 泉 世。未。 錢布 求 忠貞堂 舸 活。 斑 藪 攻 耐

朱

咑

泰始三年遣中

钔

軍

沈

之擊彭

沈

攸

之等擊

彭

軍乃 僧 人義 里の ちか 崇 盛魏 使行徐州事蕭道成 清 桐 和 之外。 具急智不 泗力 ıЦ 粁 退 31 **ヒc大。略** 之入彭城也 部 氐 1 破c呼c 涸 前二千人 祖 H_C 掾 虜○而□ **可**。 灯o來の積 戊o云の編 人 亦 城 Á ΝĎ 造 礻 軍の基の場の 易 彭 羸 卷之 垣崇祖 織 揺 居海岛道成 城 溺 固' 鎮准陰道成 犇 往の義の 頼 人 ጟ 執 島 逐。人。 人 之雨艾 崇祉 胊 2 將 以爲不 Щ 之西艾 部曲 遂:持 誦 舟 北塘 中人果 亦召 依 兩 以鎮之比 梅據胸 可宋主怒强 权眷荣俊賓客始 道 炬 丽 成 登山 当 橅 於 義郡 山道成 喜、 忠貞 淮 鼓 人前 争上 髞。 蓌 謂山

差0見0時c比。 易0均0秋時 尺 子不從役孤老貧戚不能自存者三長內选養食之足為納外費三足為百官俸此外後有雜調八十一 福其 役一 民調一夫一婦帛一足栗二石大率十足為公旗 立黨長取鄰人强謹者為之隣長後一夫條也除李冲上言宜學古法五家立鄉長五鄰立里長五 李冲上言宜學古法五家立鄉長五 宗主 魏太 或日。 ē 片 徐 倍。上 **丕至冬遣使恐民勞怨其言** 略 夫里長二夫黨長三夫三載無過則升一 Ė 督護民多隱胃三五十家始為 和十年置三長定民 李 省C簽育 李冲立法甚善意在便民與紛更滋擾者不 議太尉丕曰此法若 冲 議 一下安之。 從之民始愁苦豪雅 續編 卷之五 定 ř 八戸籍魏. 行, 似是而 **龙**不願 私 無 鄰黨之法 戸内 非。 杫 則の未の調の較

舌方略 不禁民剪鑿為禍旣 五 之驗也几鑄錢與其 而鎔冶不精於是盗鑄紛起 工之效也宋文帝鑄四銖至景 ŦĹ. **煤其鸡** 豆熟輕日漢至宋五百餘年制度世 為漏深民所以盗鑄嚴法不能禁者由上帶銅 愛重錢患難用而難用為累輕輕錢奠盗鑄而盗鑄 不錯錢後經寇戊水 謂錢為無用之器務欲數多而易成不詳處其為患 是錢少非穀賤此不可不察也鑄錢之獎在輕重屋 也夫民之趣利如水走下 云雅甚貴傷民甚敗傷農三吳遠被水源而羅不 谷鋒錢奉朝請孔觀上言食貨相通理勢自然李悝 齊永明八年議鑄錢不果行初太 **鉄者明其輕重**可 鉄民計其費不能相償私 孔 非而陷之於死也漢 觐 · 續編卷之五 議後鉄 不要重之中則軍軍不要重與其 傳種獎于今豈不悲哉自習氏 法得貨之宜故也自鑄四 火所失康多士農工商皆 **冷** 嬌益 不可復禁 鑄 開其利端從以重刑。 和錢益輕 輕錢巧偶者多及鑄 少此不借銅不愛 袓 有興 以 麦 南 雖有周郭 麼 当不 方线 忠貞堂 而 釦 不變 愛工 办

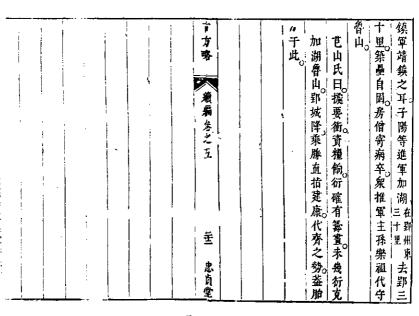
禁愚 百万 旋钎 **曹鑄錢處可以經略齊主從之頃之以功費多而止** 劉炭會晏駕事寢是歲益州行事劉悛言嚴道銅山 樂業市道無争衣食滋殖矣太祖然之使州郡大市 銷以為大利貧良之民塞姦巧之路錢貨既均百姓 此說亦可行。 成日議銭法雖未盡然不借銅不愛工奏 以 **剪獎輕** (為宜 45 如 破缺 舊制大與鎔鑄錢 移こえ 無周郭者悉不得行官錢 重 Æ ょ 鉄。 惠 依

古方 等直言其失若有才能而 美直士之 事可數 進嗟乎天下事鱼堪再誤哉。 情以自排其知人 後先所奉之人爾職敗事罪狀 甚大後世英察之主果丁自用以銓遇為已任 諫 **深譲** 八有賞不言有罪 山氏目 峈 乃有識之言乃引見登謂日 于 臣 登 Ť 主嘉于烈 患不能盡忠自 臣下其肯公言得失是也夫人君惠不能 引人求進是臣素無教訓乞行熟落 横編卷之五 九年聽主見琴臣外 事行のできた 登引例求選官烈表日 Х 魏主謂 明之過 朕所不識野等亦當舉之 **今朕舉一** 難 季臣 耶然往往曲 以 臣 日國家 人如有不 卿父有謙遜之 直言無自而 從來 可_o 卿 玴 從之。 芭山氏 罪已也の ○日。 卓菴氏曰。 μ Ł 二十年除通行 檚 目。 ép' 引訟甚確即此寓鑒别費否意不 制 古 **逋亡闆門克役** 人不孥之意挺此 法 坐去 Έ 議 忠貞堂

則亦然之是 吾計中 写 置かっち 楚王皮 置っ ◆填外整夜伏戰七千人於城外號而叔紫等至 精兵數干枚之汞登 等含于准 擊其替大破之权業進退失被遂走左右欲追之水 菲 使 中 人 以 公 出 。 士三千擊之齊魏夾准 笿 渡2 之是 惡鹭 将置長園永伏兵擊其後軍破之权業自 肅復令永擊之示將 走 四年将軍台 北 既っ不 兙 赳 敗 不測我之 深溺死 續編卷 准 拜 夜康祚 相去十 汞 水大鲵鲵起 汝 之五五 八氏 競起不 斬首 之っ彼 門 南の 豫州 育 大: 蠢っ精 樓皇 岸の 軍足使喪職 軍獨盛非 而軍 **4**0 數 於o分o示 刺 趟 叔紫南行數里C 心胺一人馳請楚王成子級裝权業少餘明侵 汞 史 有 斱 處○爲○南 Ξ 政 末 祚 肅 侵 衣权崇女 食明 · 僧。 膽っ力 使 魏 伏兵夾 俘の屈 長史傅示 軍干 豫 煌. 此の而 **툻望**亲所 州 足。數 惠貞堂 即開門 大 撃之 火の外の必

百方略 主常歎日 此觀之露布 脎 得推願房偷斬不多尤而效之其罪彌大魏至益 급 賢之由 斯以觀顯宗果非肅所能及也後世人臣 發成二三人雖馬數匹皆為露布臣常晒之。 **水之能亦凡雖然韓顯宗有功** 軍勢朕方攻新野何為不作露布對日頃 力戰破之斬其禪将魏 及先是顯宗电赭陽齊 **芭山氏日** 方 功 氏日 攻 掩罪以 新野 籍籍なご五 上 顆 馬能擊賊 肵 宗 何 偽捷聞罪皇 為不 不代 Д 為 H 盐 作露布益欲 骨干 伙 何 主謂顯 宗日 胡松引發兵攻其營願 뚔 制勝。 嫌 不 作 Ĥ 肅然純主 露 伯倍干肅哉 不伐 枝 板 雖肅指 其功 下 勢耳 帷 卵破 九非 修 忠貞堂 聞王肅 肅 方 泉 殊益 略。 所 耳,

無強力 所>則→者。 大o首o以 占 息所以兵壓 年間 交勞 河注火笑 何以持久鄧元起 前 行日漢 方 進會山必阻 說士足矣脫 為我 丈夫 未見 事の尾の萬 郢定 去っ供っ人 才. 行 奉事。 有不 輩 . 其 英の弱の攻 西陽 滅 人情編卷之五 þ 軍蕭頡 等救 ij 漢口。 右 如っ 萬っ Po 路 扳 **吳口連結數** 明通期雍控 汚路搤 液 欲清 武昌 其。城 人:西 蝜 鄒 罪 馬引 罪 重。 笡 不っ雨 糧っ陽 州 Ξ 飲以三千兵往 州,清宁 胄等議謂行 Ж 師っ 統制 容 (X 遣い城 儲に武 图蕭及诗 入 取 **技権** 吾咽 曹肅 扎 孤の勢 猫、 15 固 江 孩 鄞行 1. MA 全者併写 屯巴田田 非三 前 面 席 城っ不 是, ſΝ 州 途 2 數 帙 今若併軍圍野又分丘 請 Ł 必っ得 **3**: c 1 此 一千兵所: 州 糧 攻 抆 沿 ſΨ 陥っ相 機已 FI. D.Y 耿 戎 之兵以誅羣小。 流 一つ救っ所 一得: 取 運不通自然離 卆 六 狄 溽 但 然良 闁 城っ 月 運資儲 失莫岩請 顿兵兩岸 陽 旣の我の脫 能 陽 以 以 ر. الله 西臺造席 得之後の進 武昌 見 示弱 没っ分っ東 彼 ф 老知 化。 仰此 相の軍の軍 Á 於 次の應の有 但 救 汞 土っ揺っ



古方略 撃之統 為之陳列軍事處置形要而已英深賞之日 一希道為露板嫌其不精命傅永改之永不增文彩 弱仙 算雖有金城湯池不能守矣魏立英為中 午 左股示技箭後入仙珥敗走示後與諸軍追之盡夜 而返時年七十餘矣軍中 卓菴氏日 打元英睿察量于此際南六里源天監中海時戰而前兵勢甚銀和 日三交皆大敗而返茶靈恩題構行州事 軍 势窮遂降於魏三閥戊將亦棄城走英使司 之法。 政日元英傅永智勇互用 庸才俯首阵魏 玾 悍之聞道恭卒攻益急梁遣将 ~、益三年娘人 元英誘馬仙 軍傅承擐甲執黎爱陳横過梁兵射永嗣其 乘勝直掩英營英僞北 《狼籍》 而 巴io 卷之五 文采直 魏分命諸將休於四○ 教將元英結壘士雅 圍源義馬 莫不 形 仙 ! 要可令 批之仙理盡銳決戰 汉 瑘 非 誘之至平地 英汞 為 後 山 敵也靈恩 Що До 世 鼰 代之城 忠貞堂 示嘛在 之难改 作 此 馬 縱兵 露 直 陸 以の縁撃

彼遊 古方 追抗 為用 無憂矣魏主 の甲 厳都 の兵 云格 堅處火 ĩE 西為九城及儲糧 騎之冠 Ŀĺ 條表上之日今定時成 戊5十 分0分 備避之法 去北 元 夷 年柔 ん従之。 ○ 隔 ○ **八** 透遠 終 其 不 然侵 如 便 宜準舊鎮 害っ重動の準 莫此 敢 卷之至 城 宜 攻 積仗 郭。 從事懷至雲中柔然道去 魏 近至恒 Д, 城亦 魏 善後 之宜 謟 不 車 敢越 世不請求 代 **紫視** 大 城 将 放之勢足 要害之 出。 随○形○遺 陽如 瑕 便o勢o早 Á 皮 此 剪0相0銭 今朝 地

春義陽省縣 お充治 百万字 柳表於 其險方執 資儲空竭吏民無 妳 魏 軍非周年不 ・蜀o 所以 表日 若不取後國便難矣益州殷實戸口十萬比之壽 **戊**降 孝昌 昔 城 魏主 元年 者什 然者闘 鄧艾鍾 必将逃走蜀卒繁怖弓矢寡弱五 無礙四 行っ希 理っ平有の蜀 趙編 M 以 其 |日建康 達。 む 取 二三民 來餐髮中白 利三倍岩欲 緞 質力也。 台 可圖也 可以所 卷之五 可圖 克っ以 耳o敢 Á 固守之志二可 成 £ 也頃 上名 都相 足 Ē さ 淵 攻 故欲 進取時不 캛 去萬里 藻 少年。未治治務。宿昔名 經 驯 籍者五萬餘户 斷 是 畑 劉 涪 水 先 戦 季連 杤 惟 城 ·陸之 取 伐 至親 在劔閣今已套 麗 陸 뮑 危事。 可失不從舒 ŧ 疳 行民紀 也 鄧元起之 必無克理 衙 城 萬淵族 一可圖 彼 忠貞堂 J. 外红 獑 而 也っ 心

從先是 道遷 之足間之不悅輒 古 少。 蒲 立巴 四萬岩 면 得 群の接 方 刑 何 但 M 勢っぽん 江 刺史克城以來仍使行事巴西廣家千里戸餘民遊是近來以都降與建義之始嚴玄思自就以去州既遠不獲仕進是以攀快多生與圖比以去州既遠不獲仕進是以攀快多生與圖比以去州既遠不獲仕進是以攀快多生與圖比 刺史克城 侯比 以 楊っ É 巴縣郡名 魏主 於彼立州。 IJ 叉 先 補編卷之五 以王 · 自還不勞征伐自為國有。 ۳ 夷僚深州籍 疏 峲 西 鎮攝華獠 害甚恐宜武皆不從魏業衰矣 引兵還遂不 足行益州刺史既而更以羊社代 南 鄭, 之。後 相 計 3 持 ·利因而表罷 **距千里昔以** 能定蜀久之奔梁 国文得之記 で 会 後 使 で 刁草 之雅大帖民情 幑 Ť 彼土民 頯 魏主 **非势難** 則 忠貞堂 大 軍 亦 堂っ 利 相 不 不言

古が 攻板 王茂 泉十 湬 肥水升艦 指其節日朝廷授此非一外以其縣勇者也有能 日不然魏城中二千餘人足以 将皆曰向者輕來未有戰備徐還授甲乃可 未拔出行圆栅魏出数 史昌義之 遂至合肥先是司馬胡 軍主 工泉權請 兵っ 擊之士 以 五城 取 ų: 工王惊 河南 萬 亦。 Ŧ 卡 拔 佐い春盆 積組卷之五 以 以梁城 Л 至攻 元 擊 絑 城 拒 欲 兵敵 深右 魏 梁 英 死 選 兵の 城 豫州刺 戦魏 迹 郼 A 費っ 颜 屰 敝 П 所 至 衞 籽 征 怒命 用の笑 小 Ť 率 百人陳於門外敷欲擊之 奇の日。 兵敗 軍 南 略等攻合肥久未下 版貌 城 魏将 張 史育版 楊 П 將 置の賊 取 · 維扇塵幢 走因急攻之中宿而 Ŋ 大 便宜 軍 攻板之乘 在の 至 服 固守全無故出人 紹 聚の城 楊靈徹帥衆五萬 青 擊敗之追 一從事 陵京 拔 也遂擊破之殿 下盖兵何及且 朴 宿預北 人兆 揚 兲 杜 胁 **採江州** 徐 面纖 可。猶 攻 諸 也盖 至 か版を 犯の遅 忠貞章 進耳 1). 徐 至漢 堤 下 壓也 軍 也○疑 州 旌扉

古方略 不 Hoj 太 這職敵悉遊輜重居前身乘衛皆應準縄進至東陵有記 名望之不敢逼全軍而 聚常如不及故投墓之士爭歸之所至頓會館宇藤 將士勇氣無敵直接資放夜算軍者張燈達縣撫 不知 死城遂潰 嚴體素 麻未皆跨馬 親與之争, 世山氏曰 利。 守裴邃克魏羊石霍丘 督獨将士勇氣無敵謂制勝專持 Ц. 刺粒 同城 城等四 儀也 張 積編卷之五五 뱴 仗目 惠紹進 面配之城 并 木 素 热 树 柗 团 رد 规 趣彭城魏奚原生 築 堤 咯 逮 中人皆哭守将杜元 Ų. T_{2} 威名 城。 か 於 赤 六 분 小っ班 小與殿後魏人服敵威。 堤 無 久溶難 月青 逐 毎 11 動 雅 腹帘來 志。 Ħ 雄 真刺 州 向。 武者非。 汽 毎 奉之惠 治合肥虛江 起網 人來變促 戰來 史桓 板 忠貞堂 與背 艦高 倫中 板 絽 和 充 其

城去魏 闐 E 喢 橋以濟師人畏魏兵盛多勸緩行啟 1987日2 育景宗節度敵自合 處預戶 滿街車 随方抗 蒯 能壞魏人畫夜苦攻分番相代陛而復升其有退者 **下方略** 為 欽 光 一百度中の 肯 Ż 後殺傷萬計魏人死者 桥樹 萬攻 鰤 市 E_o 脱而营立其大為日是何 稱必克願 幸 曹 而 -所撞城 禦 棚 鍾離魏 天 景 Fi 汲 精編冬之江 魏人使其眾百土填重嚴騎魔之俄而斯 數 和 餘步馮道根 百歩跨淮通道城中幾三千人目義之 鍾 三年將 師 少寬假於是梁主命韋嚴故 **駐卒奔猶恐其後而况** 土無類義之用泥補之衛車雖 離城 中 敗 小 Щ 穮 濟矣乃 肥 善敬之景宗見啟 í Ŧ 軍 師 ۴J 阻 元英與将 曹 能走馬 **陰陵大**潭 與城平二月魏主召英屋 淮水 景宗豫 進 至邵陽梁主 神也 頓 魏人 | 拔地 邵 軍楊 州 陽 EJ, 行 於 植 後手魏 值澗谷顿 鍾離 墓 <u>*</u> 洲。 禮 邵陽洲 大 史 甚謹 馬 豫赦景宗 等器甲 澈 服 랉 足 かり 塹 等聚数 廏 ĮĮ 仌 ÷ 大 耐

傅大眼 增景宗戲 崩水死者 自搏戰魏軍大演英服身走大眼亦焚营去諸量上 火盛煙塵晦冥死士孩 擊魏 洲上 新軍 雨集軍中驚敵於城上属聲阿之乃定察主命景宗 方略 或口曹景宗常敬 其北三 豫裝高艦與魏橋等為火攻之計敵攻其南景宗 以。大 張○眼 甚盛 退走明旦葵自即衆戰敵乘素木夷執白 軍盡殪别以小 月准 等二千一° 等二千一° 爵邑義之等受賞各有差。 十餘萬逐北至流水上英單騎人梁城部 續編卷之 類人 水暴漲六七尺敵使馮道根等東 壁之奪氣 時○來 俱○戰 以謙譲成功故曰 戦敵結 楈 私 船 餐 祈橋倏忽俱盡道根等身 載草准膏焚其橋風怒 殺傷甚来矢貫大 車為陳大眼 中 知 有 師克在和。 4 忠貞堂 聚 勇氣 眼

之曲就非正經之通義也如管夷吾所說七十二君 皇 燧 古方略 名篇 宗是為建行而鄭引孝經的命決云命決孝經維者梁主命諸儒草封禪儀欲行之悉建議日舜柴 阿っ 表又以齊日不樂部與寫始出 服衰冕至是用 如常儀時有請封會務即西禪 省,文 人 封于泰山考積柴燎禪乎梁甫刻石紀號此 矢 於o封o告 下o秦o成 八之前世版 Й 氏日當理之言足以解惑然然不 **神助名教王旦诸人所未及** 非盛德事不足 糖扁卷之五 著作 佐郎 **兴主 祀南郊** 《楊法也。 **懋**高陽 鼓吹從而不 垣 較正 國山陽在 孫人 八九就如服 === 於c對c而 阿 羡常 忠貞堂 の禪の治の 舜柴 其 Ξď 而 ○ 秦 ○ 安 臣 : 始 ○ 得

脱(為)田以 朝 亮 不 ĉį 期不 决 魏 橋川泉 削っ遺 **麦** 淮 造 El_o ○両い鏡の特 至胡太 堰亮攻 將 崔 延 甲军--**K复有功梁** 軍崔 伯 , Q 伯 一大口子李崇崔亮等刻日進攻無 后以諸將不一乃以尚書李平為行章 大き 康 馩 硤 亮 様界 産い揉o転す ſĤ 石 攻 下 ÷ ⇒竹で三牙 宇 E 表 Ē 未下與李崇約 磢 ¥ Ž 使 私 出 逼是 魏 没α額 Æ ス 将單昌義之校浮山、 名山 ٨ 高架 - 隨の貫の 輪 茯 彦 陽親 意、連 義 Ħ 外。 文c 之使義之 寅 法 名 水陸 六南 至今可 Æ 子陵 伯 祖 **資人** 卷新 並進崇優 栰 取立校 行。 14: 車の破 港貨 追い幅幅 軍在 「側・短いmm 」 「趙・横空 輪 輪っ石 「細っ水の寸線 去っ崔 扣 相信信 無政権の 之「和っ水・仕様 夫っ

由o死

古

产

糟

八桶米

z

ス

夏

患

真堂

我

疆

塲

窮其カ薄其示の

用其功節其食

鉖 化

冬歷

加

之疾苦

魔弱老小役解工作苦役

百端

木

|私草 |販

Ŋ

徃

之心

唯有聚飲之意勇力

之兵驅令抄掠奪爲

或

安人

貨財

竹

無

防

帥領或用其左右姻親 輕恐賊 之嚴詔 魏 和議 袁 **公卿議之** 邉 翻 鎮 謙 選舉 堻 仕 廷 陵危迎奏請重鎮 法 然或 射 任 值 少 烣 貪污之人廣開 柳袁翻 Ŧ ľ П 歳日。 北 **请看**、 粉之選 港 此 **戊灃多** 將 沙邊州郡 衛

彌

涱

Ĥ 舦

íέε

枸階級稱職股官所舉之人覧 軍至于成主皆令王公已下各舉所知 敗 代 姐 邊○於 已下 行 Щ 任○溝 でできる。 保 袻 氏 故 任。坐舉 主 B 得免罪者上 室各舉所知 職 豈 1 袁翻 盡 入○常 故 o 七 氣 議甚正 所舉之人隨事 其 八是以 運 也愚謂今後邀鎮 室有 間 下 明保任法 亦如此以思謂今後邀鎮邵縣 相 叉 所舉之 典 蒙 有 榧 都 不 職 淪 敵 丁賞罰? 侢 ٨ 胥 無 侗 敗 以 職 筑 闇 官 必 敗 随 太 ௭ 귦 擾

事質罰。

帍 選

不

能

共の府

オー佐

不っ貌

冬

愚觀

Ŀ £ 用寸

13

p

栊

多

盗

賊

子 32-481

言 幹 年*及* 僧尼各 古方谷 高祖 竹極 魏 頻亦 農之際修此數條使國容嚴顯禮化與行不亦休 力雕 平之則知大和之制非後使編素殊途蓋亦以防徽秀作亂一其州有大乘之變故勾或衆自稱大來元年沙門法其州有大乘之變故勾或衆自稱大來元年沙門法其 都 太后不能用任城王澄委日 從於 之人無過於絕配豈得替禮肆 之然卒不能 胡 った 計 城 乃 摩之作省永寧土木之功分石宿錦琢之夢。 即婚柱也華 太后作永寧寺於宫側又作石窟寺 頺 遷都 土木之美為九層浮圖高九十支利高十 王 釋氏 郭 渲 塿 此僧徒聽著城邑正以誘於和欲不能自 一而已正始三年沙 外 聖三十年明堂未脩大學荒廢城闕府 竿 非所以追除堂構儀型萬國者也安罷 僧不满五十者併小從大外州準此韶從 續編卷之六 之糟糠 議省 行 五百往者代比有这秀之課 府良 塔廟之盛未之有心李崇上 圂 典所共棄也臣謂城 多 絶 戶為 | 背高 門惠 情棄家絕養缺當世 沙門李瑪上言不差 褔 溪始 遷 都城内置寺 建前禁自是 於 八内寺宣悉 忠貞堂 大部分 伊 耒 支. 哉º 因 日前初

	古太路 類編奏之六	門不可斯思教不	世山氏日澄場皆不传佛·而其間獨舉法秀法慶得已於選等, 計場金一両	之為思思謂非	立訴於太后太后責之場日天日神地日祗人日及及聽之恐比屋皆為沙門矣都統僧選等以玛誇佛	室堂之攻而從鬼教乎且令南服未寧民多避役若之禮而求將來之益孔子云未知生焉知死安有棄
	言。思	可不熟	秀法慶	太后 堂 本	人。玛尔克,	避役○春

奏不 限之。 未 古 媑 及 女便 鄉 朝 4 J-" 亮寫尚 者多吏 精易當 方略 ĕ 議之事亦寢其後甄琛等繼亮為尚書 碿 治 廷 令以 郡吏 **塾貢士兩廣縣州縣萬才** 斪 IJ 上書日黎元之命繋が之天下士子誰後修属 山 行之 報後復奏乞令 道 貢 沈 日才 止京其文不取世紀 人名斯格羅中正文部不能審覆天下 氏曰 並 滞者 書亮爲格 部尚 魏之選舉失人自亮始 銓 şţı 安 世 不問賢思何以 正不 **續編卷**二 書李韶 穪 等 f 其能克甥劉 議 考才 格 須 制 尚 쓮 Ĭ 用 改 書立 銓江 不 粱 一公貴臣薦 弦 人 行 問 折 空 共 作年格 **±** 士之賢愚專以 不行大致 · 雖未盡美什权六七五 此。 東经 数つ吏 行 人 ○ 若 っ 哉。 辨 理, 調 景安與亮書日殿 一家孝廉 失 如 親之近 也, 賢 而の選の 洛 姓 何 塒 以 用っ曹っ陽 叐 取士不傳沙汰 循叉置中正。 怨嗟乃更 官 唯論章句 何っ惟っ今 舳 為 五三忠真 į $\frac{1}{2}$ 郡 謂っ取っ 停 桐 旣 其便 強っ年 取 年 解 小 汉大 何o勞 配代 格 謟 周 Ħ 以 不つチ人 而[異三 и 不卜 Яï

請 各 基 有 布o 内 古ナ 蹇。 吊 王っ 地の受っ N. Ť. 都落 狄 自 那 79 修 有 並 時石 則つ則つ 介默 数十 全 寝乞兵 3 誠 旣 西 攸 宏 以 顄 石様 非の虧い 由 丽 家 芝 望舊 傷。 存 直の我の 华。 種 高 都 凉 其 ○大小 八 情 ○ 徳 ○ 續 勢。據劉 無例 之。 此 瓾 洛 車 送 俆 州 里。 城 中 繁多終不能 那 主。' 請 旇 Ü 妪、 貢 以 瓌 阿 高 易 团改 不の若っ 節 团 摘今高車自賞於衰 部中 除於 來蠕蠕高車 處 北 肵 車 可 號號 願○納□ 然 之利 那 刺 知。後趙 赤っ而。 勇徃 之。 存 弗。 璤 婎 魏柔然餘 汗 那 西 湿っ 今 + 也 非 か 趙青 恐○撫○ 門 東處婆 蠕蠕 **全蠕** 相減自二房交關邊境 來 海 肵 未 え 終の養の 繼 下 揺 之 在 能 且 有。則。 絕 迭相 纽 槫 J'J. 見っ 畫 蠕 衝 酒 錐 蠕 劉の損の 帝 議 泉 大 要。 二 泉之 羅 石の我の 服 礼 蝶 兩 不 王 吞 凉 相 碗 也。 **建始** 門 部 尚 之っ資。 本 主。 微 敢 州 Éф 之中。 地沃 بناز 臆 落 息の儲っ 務 か 图 存。 枂 刺 迎 度。 若 去 西 謂 揂 則劉晉 或っ 則 史 阿 **%**。 六 高草 全っ 棄 題 惠 忠貞 克雪響 分 泉。 高 蠕 亢 燆 1" 其 處 車 海市 徙: 而 蠣 誠 蟜 쎎 14 插握時 内っ 不 戎 投!日

袁

謙

處

分

呵

裘

鞋

	有推行之维使中國永無夷患可也	翻比議非獨可處阿那害判然不容異同耳	古方略 續編卷之六 七 忠真堂 或日處分阿那黎婆器門得懂朝該是之話都訴	泉婆羅門於故西海郡之冠於我何根哉朝議是之乃置阿之冠於我何根哉朝議是之乃置阿	新 則 :	高車之畔漁此安選保塞之長計也者婆羅門能权保彼にのののののののののののののののののののののののののののののののののののの
--	----------------	-------------------	-------------------------------------	---------------------------------------	-------	-------------------------------------------------------------

常已屋數年打禦之師政多勝少跡其所由皆不明死哉利害懸於前欲罷不能耳自秦職逆節審左郎見旌旗之列莫不香激競赴敵場豈服久生而樂建見旌旗之列莫不香激競赴敵場豈服久生而樂建 不能使其臣慈父不能屬其子矣明主溪知其情故 名二食重貨三長刑罰四避稱難非此數者雖聖至 毫左丞越葉城別道裴衍王照自武圖出敕荆州衍 以處分道别不欲應之辛雄曰王秉麾都之典 等未至彧軍已屯汝上州郡蔽蠻寇者爭來請敕嘱 等風觀荆州觀更 皆及冠掠寒城屯據險要道路不通引樂將曹義 質罰故也陛下錐除明部賞不移時然将士之熟歷cocc 稔不央亡軍之卒晏然在家是故節士無所勘慕唐 孝昌元年方有事西北二荆 名丁 內送行或 令速 赴擊拳疆 聞之果散 雄議賞 額編卷之六 以臨淮王夷討魯陽安華雄為 何論别道或恐後有得失之責 觸白刀而不桿者一 八 忠貞堂 西郢拳 一末祭 雄 所建 以大

顾奏不省曹義宗等取 誠 而無罪 · 南 王 | 雄議為之條然 為官責資者城安得城天下安得轉亂為治川後 無所畏懾進 惟適氏見不明賞罰故将士不為國 令及信貸罰必行則軍威必張益 此 其 而擊賊 以望敵奔追而莫肯盡力 春な六 覣 死 順 交 陽馬園、 m 負 駼 退 用 袻 一贼必息矣: 者也 迯 散. 陛 身

司其食未旬日悔過末還崔氏日此雄 賣乃召其母與之對楊其食使其子侍 他且置される日本 古方略 然後聽之卒以孝聞 崔 様o簡 豝 卓菴 除此非大守所難獨其母崔氏 世山氏日景伯署簡 後世守今歸咎百姓。華任 其子不孝景伯白其母母曰民未知 大 東 麥碩為孝 置之九二十餘日 戊 河 日存 有痛卷之六 有 明識 Щ 供食而 此以 誘 民 貝丘 jЦ 見無不 以禮感人以 共子 治民者師其意可也 後喻不惟 **虎子為** 郡治所 刑罰っ 可 Pß 化 椽 之民者遇 何哉。 此o子 錐o侍 郡 誠錐 令諭山 婦 守日 Ú. 偛 人工 不 · 译位 · 贼 忠 殿給。 不孝之 有不 贼

珍保守虞阪不思野被安邑二路本 者に撃し軍の奥| 軍C郡。 古可 表 測 戦自解潼關之守 **猫灰渡河而西入 整左丞楊** 芦寅寅奉兵 至の東。 13 Ħ こ舉の侃 池 方 各 甘c修 X 使安 有0義 内o驅 佩 領 ń. 扎平 顔の民 謂 叛魏 取 古。 蕉陽 鳳 使 得西亦計 滽 稚 賢俱 人. 其股 進、東東則 办 El_ol 徑事用 坂 įρ 如 速泉 善何 新河 矣 内 潼. 東 Νď 顀 [[] 期、 中赐名 έi 可以東然 而 置兵 檢 郙 要 往 惠馨 合 走, 長 名實應 守禦巴固 麦節既 侃 寶鹽 薛 日 寅池 修 数で轉に烽コ陥の潰の皆の 坂 死 孫 克潼關 ル | 百0相の者の名の臭の鉛の 圃 里ヶ告ゥみの者の稚 珍砾 議 逅 图 則 安而急補 討 i村c 都督宗正 褒 睿 語の賊の各の乃 圍 解長 **華**川 ťΨ 篁亦 圍 雄の 河東 封 行 當っ還 不 實の也 忠貞堂 翻多在 陳 安可 月日の さ 如 軍 者! 末c當o俟o子 聞つ 薛 闡 北 至 夫o姓龍 不じ 陥っ進o臺c彦 官っ 取

貨 而 來處之 料候 競の十 卓養氏 利の萬 可謂事半功倍。 終 圴 恐に匹 蟟 由の昔 鹽 日長孫 因其 敝 以 丸 利し高 理 旨 亂 祖 則 手。李臣。人 敗 俗っ昇 稚 襲 也の平 軍 مأت 規 賣寅寅寅奔 Lo私 况: 之 Ž 年。 食也 ᅔ 略有餘間侃言益决 頼っ財。 仐 符○事 國用不足徹六年之栗 所の不 鹽官加 部の獲 盆 のののの 大産之 万侠 . 塩 稅 醌 奴、 護○年 木万 非の準 奥の絹 物 뇲

族弟善為別寫言於崇禮日高歡有逐君守群為行臺即中東魏秦州 171年次月 叨~皆 稍 古坊略 敗歸 一旦城 行臺王季海 魏 多師六縣十餘萬戸歸之宇文泰以(方略) 《被編卷之於以 · 進 為愈也崇猶 **乔表冠緒餘世荷國恩令大** 大 祥珍帥泉邀之斬獲甚泉賀技勝 宇文 陷送首長安署為逆賊 相 宇文泰 福人 秦與族 定 縜 胍 伐 汾 信 趣 魏 泰 足った 赐 州 子の薛 人。克 軍 小歡 备 七月八月 萬餘會 常の氏 斬っ有 也心顯 遂 断其 節の預 關っ餘 沸し 月桶 珍 生 本 鱼○開 納○偲

春の城 魏の及 橋 之 罪 為	一 忠貞堂	婦 文日 之 一 表 ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス ス
	古方略	棄 于 卓 罪 有為。
	複編巻七六	棄君自告者何以異哉 中養氏日群善斬關特迫于不發已耳非真有見 早養而為之者但其解邑不受廣幾補過不然與 學人也 學人也
	古	是不受 展 幾 補 再 次 薛 善 開 城 離
	忠貞堂	過不然與 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大

務シ論 動 Ép 滋甚,欲使 Ħ 维年 彌甚。 今之去不相意問罪有才 各. 使命繁数 **邊稽厭正是生聚** 勞 遊c 園 儉 裁 移流移此豈非牧守之過飲東境戶口空虚皆 下 斜奏 一日今中で 主 錐; 取滿腹 빳 郡不堪州之控總縣不 日今守宰所以貪残る中後業之部優下獨特 職 大於 應思之心 浮華夔其耳目 於小 61 Ä 為因拱守聽其漁獵點吏因之重為貪 面 奉に惟の司 Ę, 積編巻えた 灭畜妓之夫無 廉自 舶 公○務○莫 则 下 不 F 肵 教 部 不 奏事。 女可 **水訓之時**。 有 安上譌 覧 給。 得 但斗筲之人 三日陛 *J*. 夏c 赋 弦 ₩0 有等 除 Ŀ 曲: 之恩而民 堪郡之泉削民 而 省事 除 無 誠室 J. 風. 天 之有 秩。 **微体之患矣**四 俗の 1 下憂念四海 下戸口 被落關 八温後 息费養民聚 嚴 如経百餐目之 能以縄の旅 **原使之然** 変 责 為禁制道以 不得及其居 玄 **共公平** 成 忠真堂 ィ 逐っ 進 E 堪 之 為不

直

詩

E

靡不

有

鮮

克

有

子

于

玶

散

之桥

支山

茶性

٨

啓「

埬

囚

事

EJ.

採

上

삮

事雕飾之物不入於官不飲酒一 又欲禁百司奏事 **等奏樂三更治事日常** 世之委趙高元后之付王 邪、 不分 北 妨の也の夫 造 明主生的人工人大路奏孫三八八五大路奏孫三八八五 泧 找 取名字宣之 民の若に畜 有 過而已不 Ξ_{o} 别 一十餘年公本総言日 非公宴不食國家之食几 則の言の共 非 琛侃侃 顯言某刺 急 年の事の者 不の不の形 止の足の以 後 論 敢 行 求 7路言我: **須言** 史横暴 剢. 詭競水進偏 有 颇 初 王書 毎 미 Ł Jł. 期し之 緩 林呼 聍 食為誰為之枚 ΉĒ [4] 於 掤 終し也。 私 前。 쇛 聽覧 上 難 年し養 背 聽生奸 終. 麂 標 不 事 所營造皆 Ц 以 不可共 迶. 不好音朝中 口授敕書日朕有五十十二十 報書不是 在十二十 報書不是 在十二十二十 報書不是 在十二十二十 報書 其 為 息に民 根 鄉 停 馬 刨 矣o者。 以い将 不 ťi, 逢主怒不 叉 獨 玄 廷 以 ; 可 仼 物 fi 中曲宴未 以雇借成 之 小c 以 Æ, 役o大 不公役 成 故 不 訚 亂 關。 用丿

覣 凉 虲 張

堅

逐 乗っ 州 晃 與 然同。 芭山 州 信 以 方 危 种 伯避 文 誅こ日_に服 之と吾童整 狀し往ん 卟 室急分 和 氏舞 殺 仲 大きないでは、一番などなり、これでは、一番などなり、現場である。これでは、一般などなり、現場では、一般を皆楽保み 馳送 英ス 整, 核 太守 畋 和 Εlο 빘 與史寧 拔 亂 済矣保從之計 柴之先克 · 火摩討之寧騰諭· 易 絥 **續編卷**比 精 不 州 討 填 瞓 貌以 下至是獨孤 ₮. 隂 πi 推ら保ら來 受代瓜 **圆**。 《教之令 帥 是し逆に陥 数つ親の保 弭 宗 ቸ 太 説 望。 以 姦 九コ恐に奔 族 H 慗 ○保 | 恐 ○日c失 州 史章 Ż 绗 北ヶ圏の吐 斬 行 信 尺 術 劉 13 州の谷 兵 及 ン中の東 襲 吏 凋 翭 À 也。 三千 之の渾し 椎 興. 玉 :東c心: 人民率 孤信 桷 偞 凉 人の泉 進 魏 P9. C z 殺 州 安 倶っ議 搫 使 名關 花 資 ○ 遍 c 外 奿 拧 枱 剌 刺 者 雨 陷○推 瓜 召棄祭 歸附。 史 張道 不o整 養o為 州。 忠貞 台本 州 獨 氏性 相C刺 射ン勢の忌 · 殺 字 述 後星

背(倒格 孝寬隨力 士 剧 使 術 歡 古 崩が 縫 步作 邀 之晝夜不息魏 卒 返 : 於 方略 М 畆 叉 耐 市為慢隨其所向應空張之車不 (并及在地道內者亦皆無獨數以: 之毎穿至整鄰指形之塞許投 使 麲 射し城 於 珽 拡 子、 大 城」中 說之 ÷ 灰 城 5分一夕而7 灌 木 中衛 外の式。 必不為 之使 除 у. 竪木 四 夙 油加 接 相 萬人其為一家歌智力皆国因而 云っ能 槙 Æ 梭以 高数 能の斬 穿地 海卷 有 枥 火 幸 言孝寬以 以扞 別 早叉於 祭之りしせる十道 孝寛 悉 Ŧ 中 老女 烵 Щ 施深 之敬 布樊楼孝宪作長鉤選 随 城南 機 之 礻 柱 拒 褩 智力皆国医所 此し付いろ 用の土 4 縱 赻 之 伐 東・封 射 夢に山。 入 火火 火 土山 城 魏、 魏 募格 ,都 婋 守ら敷 焼 能壞歡又 攻車撞城孝寛 中 至 # 太 外 \boldsymbol{z}_c 皮排 本寅 無 玉 攻 * * 7 杠 水 乘 Ħ. 克烷基 Ż 攻 忠貞 迫o 折 福長 吹 十一是 清水 之 汲 W + 何。 髼 割 孝 城 以 於 而

	古方路・海福春之ス	守者賊而已矣。	越與孝寬而三後世	功也。」。	之勉坐見諸貴使斛律金作牧勒
	一九 减其堂		巡與孝寬而三後世敢未至而先逝而日城不可卓卷氏日古今善中者不致人漢川城洪唐則張	功也。」	金作牧勒部號歌自和之哀

古方略 定儿、 **凝兵干人**直 刺史蕭恭攻歷賜广守莊緣以城降因說景日 巴問 建康可兵不血刀而完力功若使朝廷徐得為備遣 本平嚴久人不智聪四大王举兵内外震駭室速 東向直掩建康臨賀及三方大王攻其外天下不足 命宣城王大器將軍羊侃督軍禦之侯景圌奎 戼 陽正德遣大船數十艘詐稱載我客以濟景特 兵貴神速今空即進是乃許稱出獵襲熊州 **第于王偉偉日 红王蕭** 听代之質去而 F:W 梭平, 有精 領編者之上 侃曰今弦敗矣梁至以 邵陵若至必為所因 交待 昕未至景間之喜三吾事學 引展景 甲百萬不得 恐○江 不○庭 君 正德 濟矣景以 不 督清軍 忠貞 如决

IJ. 亦 欲為帝耳百姓聞景至競人 副之追合人質季勞景於板 正一次が保住 照力 伊牡木ののでの 擬皆以宗室間之軍人爭入武庫佩命斬數 宣城 遙 南 75 4 147 校 王大器 江 胡 ΊĮ 馬 石最勝之策 都督城內諸軍事 子 — 建康大緊緊 數 Ħ 깯 弁 大子芸 師 风 内無事城至存迫軍旅指等入城公私混乱羊侃區分校橋季日二二十年前以上の一大方、大城公私混乱羊侃區分校橋季日二十年前以上 Ī 也っ 悉 īhi 子羊低 化之, il. 以 류. 是 丁朱昇之一 內 # タ 1 徒 外 梁 單師 **竹**潰 軍 朝 付 始 太

之**、** 羊 木礦 為公 古方 棄軍 见失 쟉 破 未 着名 乗 西 σ 勝 止之、 守宜陽門 刘 lli, 蜕。 等 傷多、 耳。**略** 殺o___ 使 奺 票 侃 臣, 悅 耳っ至 走 俄 **化正德之黨後即城而景至信乃** 守之 作 Ī Π_{2} 則 侯 c 閼 之の 雉 73: 乃并 攻 J7. 及: 滥 串 俽 援~下, 筝 抽 列兵統 尾 犮 城 此。 無っ 麥 兵o城 橋 K 信 4 亦 某 扎 Pc中 至c构 枚≎ 鵗 办: タモ。 城 ÷ ŀ 横升 橐 淮上 於っ 卷之 裺 小 少。 [位] 歸 朱本街城 急の 火 以。拉 城 衤 斊 7. 12 Ħ 帥 崔 星 十月前祭世 膏 蠟。 適 大 致失亡异等 紀 祁 夗 Ī 城射 泉 何起水死者大半個 将 情 日 足 崩 碎之景更為失 開 彽 太 叢 外, 貥 沬 乃o詐o景 啓 析見 開 朱异 之大 ڷ 矢 於 少c稱c 大 焚之。 $:_{\mathcal{I}}$ 将 安○得○ 城 롻 桁 末 **筑氣若多則** 來。 子 軍背 不 痱 : 7 d: 以 宜弊震地 後」 攻 俟 蓬 縮 Ħ B 頭: (既不 賊平 顶石 **路景景** 敗,性 出兵 忠 邵 克、士 不能 誅之 Ą 异;若 景 陵 景 等;誅

子五帥 戦。山の之、 會 上の太 卒掠 貴之子一 有骇 雛 1% 莿 警當碎身以贖前罪至是與弟左逐子四部皆兼臣去臣以一夫安能擊賊者賊遂 太子 義亦 沮禁恐接兵四 и 吱 飠 相 前祭三日 從者不維敗 食、 奪 大 不 號令 所領 右 槉 民米及金帛子女是後 深主斑 臿 殺 死 城 嚴整 《之數日· 者什 百餘 夾 c 王 Д 慵 克之聲言梁至己 内 十一月朔正 万ヶ山 城泉 慕 日臣以身許國 Щ 五六景 人開門出戰子一 士卒 敢 集、 解其肩 発言 えお Ľ 賊 一旦潰去又軍中之食 是即帝位以景為派 即帝位以景為派 礻 ± = っ異 粗 9厘十 女. 負 つ動 敢侵! 赴っ 而死 江子一 千人分分 ०७. 土 賊っ 常恐不 戌 米 暴及曼攻 灰の 畚 っ城 チ 於 景 四子五相謂日 ___ ·直 **开直** 之 亦 城 泐 城 二山畫夜 東西 Ŧ Ť 稈 敗 (不克人 賊管徑 東宮王 一七八萬 建康謂 土山 能 其死 亦以 逻也深 清麗 處員 八乃統士 起 至 以 1 茈 以 4 共 10. Œ 與 前

以此或景乃殺之 失俄 棒萬一 阶必 有景泉太子恐其許召 東南議朱昇傳岐日提古方路 海編卷之六 西 東南 甚泉賊 太子口吾守堅城以 15 听為景所擒 土 蜐 以っ人 子過慮其詐 12 茵 山上 取其っ 13 IJ 非認。 μį 而 說 組入城縣主次日 Ħ, 桃 為變悔無所及朱异梢 一景泉 後 桃棒使殺王偉宋 致 Ę П 棒事泄景拉殺之陳 3 μ 加 於 龄 所欲用之斯不 文章 () 本章 () 桃 棒既除賊景必為東此擊之可 竹走、 崩 롹 提 稿 巫 j. 犂 於 納 降。 ▼○賊 ш 奴 内 挑 ļij 侠外接萬全策也令問 榔o且 桁 出 楘 棒 景之黨 新見多 炬o盘, 掲 沈 城 子仙 徒自速其亡耳可勝痛 可 o 灌 景 臺 景者 焚っ又 坡 姒 其。於 栈, 不 曹口失此 东 晰 而降桃棒從之潛 互, ; } 使 城、東の城 将车 舅 能 疑_c 不 ijί 一 数量 16 其 不知如期 Ŋ ЩОМ 4 隨之 而 焦沱 前 樓○作 柳津命 計計計 景 皆為洪炁陳 ī£' 桃棒囚之 事 荡 橎 青出、 敗 **被事去** 門納 大破 · 题 矣 批 北〇

位取居其下 公 L 粲。 城。 情心 合軍屯 甘 情飲 以問 祭為 **彳**上 华 洲 桑 лlо - Ik 紧 遣 並 方 祁 散 即っ至 造 誠 使 酒 内 散 Ţ Ì. 騎 神神戦馬出命へ 動のでするである。 動のでするできる。 動のでするできる。 単面繁怒以杯が \dot{z} 邀 將 史 得 騎常 常 į, 入 林 聚^c 見 在 渡 糧っ洲。 劉 棈 おれ 件 司-聚·聚州·杭·議 江> 使の外 慥 前。 煮鍋 놳 侍、 韋 椞 併の第 足 偲 馳 Ł Ü 仲 祭、 吉 4千倍道: c推 散○司 矣c 143 徃 仲 巷 歐 ۸į. 及 正っ於っ仲 大 ځ 靜 私の 流 見 州 陽 25 東 泉の禮 財の制 任 大 送 10 颜 £ 宵 重っ 日の為 與 以: 史 然 į, 赴拨至 監 称 道 桿ロ合の大 李 賞の柳 之。 日。 州 **†**î 都 避○者○都 孝 共 ⊋神 遺「須 江 事、 督 戰士 欽 2 醴 中 應 州 一禄章 梊 な接合さ Ē 羊鸦 去京最近。 ゕ 兵 主 奙 棐 帥 梛 Ē 聞景已渡 產 高 徭 侯○難○高 仁 之高自張 步騎至横 Ā 昕 陵 # 柳 1移鎮盆 忠真 表の自 陳 肺兵 量っ 聞 刺 伸 所0在0以 文 赀 亂。 史 17 **憚ο除ο**奪 T* 膪 华、

車

粲

*

入

一致謝之 村子 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 四青塘安地非兄不可与至二 他就必年順便一下 "一年他人可以在他公正的他家 医脏球 医单原性 俠 之日。 入幸祭管部 百才 京之之 粉兵 젧 大 稷 張 或日。 直 Ŧ 丰 之計不得復論今日形勢貴在縣和若 士 陳前、 繼至接 嵊 閣 昳 今二宫危逼。 土矣 繁修 耔 洗液 高召善射者 軍 以 神 豫 粲請為 以聚首等然何〇至指嫌 軍大集衆十二 劉权 分泉 丽 Ħ 門鍍 禮 州 無出其前若論年位 Ŧ 為 咙 護刀 (軍旦日) 室。 徿 叁 人都 欲 狷 諸 助之、 喬 t 使射 (分) | 短消 軍解 立 大 不 督へ 典。 會戰 其後 **餘萬景** 亷 天の臣 其 宣城 さ 艂 身。 子 鏑 " 諸將 内使 一子當 單舸 自 墹 不 便 粲 中、 有 日裴公不降令 囚之高 皆在祭 各有機守令製 至之 丽 郴 楊白華遺 肵 麩 仲 셌급 美 歸。 H 能 稙 弟 一之高 高管 同 ٨ 下 忠貞 死 IJ, 短子 N o 'n. 淔 節 聊, 仲 聑 垂 豈 *57]* **不** 以 着。 74 夜 $\dot{\sigma}$ 可 100

李弼

西

公李虎河

公獨

派

信

南 廣 軍、

赐 陵 位

公趙

۲7 初

官

展大統

И P

來

安定

公 杠

文泰

Œ

欣

趙,

477

ħ.

Ÿ),

朱祭

爲

函

大

公于

灌、 隴

彭

城

公

侯

莫

陳 内

字簿

- 崇

,

٠,

Ė 常 郡 上。

E. 大将 7 任 扯 供여有泰 * 縺 有 之o調戶始 而 Ľ 六 始 20 Щ 貛 軍 1 合0 則籍 然 氏 掌 閉 府二 人各 爲の一の民 揆 今 目。 其 府 督 百o切o之 文也の 之言 ٨o 督二 Ξ 事 儀 磺 肝の鍋のオ 中 者. 開 代 p H 毎の之のカ 外 一大将軍で Ξ 府 荐 A o 以 o 者 府 閘 誻 兩 望 各 ż 隙 . 兵 下。 i) 堚 一口農口為 者 皆 六 者 负 辦 离 솼 即の隙の府 一块干 甚象 閱 栺 出 将o講o兵・壮三 Æ 以 Ė 詂 軍。 + 宗 主の関い身 後 率為 農庶教古 世 爲 公下 是 = 室宿 之○戰○租 皆可 後 大 分 李唐之 陳〇 調 散官 功臣 拌 望從容禁閱 獨二十 馬の麝 븚 行 軍。 畜の存布 制 制っ 無 位 毎 糧の引出 者。 所 至 关 Ċ 四 面 備C則則 貞 柱 將 不 府 綂 軍。 六の有有 家 確祖 小山 藍 丽 知 Ę. 泰

積募 胃 四之 令 窮 ,日 意。 計の さ代 鎮 人 向 ш Ш 北 方 方 軍 去 竒 分 推 名二 路三 廣 齊 -ネ 灰人 益 肵 舉 速。 Ψ̈́.° 其 共 珍。 州 爻 州 自 妕 子謹 進 儲 Ē 之 路o 募 若 義 퉍 解 還 兵 其 P 諌 储. 問 7 3 被 駐 勢っ ķ 旅 出 隹 嚴 後 悍, Щ 取 日。加 武 鴾 南 Ž 大量 出 疆 立 Ξ 百 出 軤 也っ 繼 歧 予 彼 E 鏂 為 竹 道 南c 卒, 具名 場。 鵐 若 騅 自 빏 周 好っ 埸 **于战如** 師ぃ Ξ 彼 伿 鋭。 方 悉 Ē 母邕 常 部 丌 闆 耄 使 相 殍 後次を 若 鸣 t. 軌 為 弟李 Ė, 北。 家 進力 侵っ λ 伍. 滨 年とる 承 遪 典 萬 更 並 褌 分路 大 勈 陳 聞 費問 世 彼 互. 之,宇帝 超 二省 師 奉 B 而 進 氏 幸 面 有 外 旣 翋 之 赴 東 Ð, 後 夣 下い路在 兼 所 孝 無 胏 亦 文字' 圏o 庭っ復 嵬 援。 南 南っ 東南 備っ 軍。 舆 取。 買っ 増 泰文 之党 我 進 内 Œ 廣 未 陳 然 党 引 有 ıÿ. 北陽, 徒 守 之 \$ 當 則 飹 北 带市 氏 雛 窕 後 挏 其 敂 犎 脮 堅 戎 屯 大 Щ 西城 共 外 陳 乗 屰. 周 ۲. 詳 奉。 壁 馬 田っ 旗 穚 而北 A 叛, Ξ 聞合 儲。柱 ď. (₺) 任 無 奔 前。 過 者 頭 手 調里 玄 計 扣 徆 北 特: 出 策。 国 之、 泉。野。 爲 典 渍 貞 益 角 其 其 Ŧ 持し 盘 命 7. 并 T ス! 大:

古方吟 容謂曰朕 心道路以目此为取也乃使蒜聘於齊以觀蒙其冬香種葉其折衝之將解律明月已差於聽口上下離 軍高遵 商惠工蓄銳養威 養且 并也書奏周 稷亡 或曰要謙如齊其徒高遵泄露情實齊卒不悟。 復相 可待。 以防之緯自取 以情告齊人 親編巻た大 欲 待則宜遠崇鄰好 政 用兵。 主引 H 出 多 電掃事等 微觀暴而動 何者為先對日齊氏沈滿倡優? 開 門閣獄 齊人 在部等不追 府 **城下平指謙等何益** 倭同 榷 賣官忠害忠直閩 三司伊妻謙入内 斯乃長策遠馭 枯、 申其盟 其三日 約。 安芸 热度 坐自 和 殿後 泉 古才 要0 成 去0 戸 所兵 訓者耳。 動損壽安樂延年輕文武實甚此則邪說之不可 希為禮 按尚希謂人主不親繁碎其言未為非至妄親夢 主 日。 ボ 惟 適 舉大紙責成宰輔繁碎之務 威士 別o不 周文王以憂勤損壽武王以安樂延年 類此 氏 亦! 積漏をスカ 部尚書見隋王毎旦臨朝 日。 以 爲請。 此任 為 大つニ 尚 世人来治之道尚希賴 雨隋主子奏所報 今 大則國家不虧栗原殿 大則國家不虧栗原殿 ₽°, 非人主 稍 選拳の 超過 版 日表不传神 從之。 識 ·所室親 治 志真 ·體及· 郡

右土曠民稀澄境之 費多虛 聚∂ 卓菴氏 Вī す. 舣 是 名妓 帝 μĹ 克 開 干 逛 亦當徐為 A 日。下 Ź, E, 役 皇 難 趣易 癫編 無○彌 넭 謍 人 惰 ·伐 四 য়দ_্ 田 办 0不 Ē. t 自 卒 未吃仍 積 卷七六 以 將 谷 非 7 本寧不可廣佩比見去的管田積穀子幹上對 宝龙之。 安但 使 建 及 素 碓 穀。 楳 軍 虤 ,畢竟長 £ 賀 論 - 西 ii 頻 幹 次献 冠掠o 鎮o且 戊o龍 Ż 千 訓 幹 鍞 利。 連の右 排이 戍 膱 癸 見屯 判成 接º之 相 西 而 拞 是高 書 俗 日o ᅻ 錐 烽の民の ₩ 月 便 Ŕ 久 堠の以 田 可無真の可 之 設 忠貞堂 相の畜 朢 4. 望c 牧 所の西 村 吐 βo 良の爲 獲「河

箵 隋 古: 八つ借い兵の時、穫 衣馬 若 容管度 計益信案 州 於 竽 不 五 サライン 主 方 和c江 被o彼 さ 高類 賀若弼及光 湖 贩 刺 能 用 火っ南 史 必っ既 際。 主 以 之 共策が 1FC土 不食聚 微 對, 遣 ß. 险。 精 框 £ ○薄。信○兵。 徴 目 益 矣。 非 1. 兯 仲 續 N○舎 三○多 I 陳 獲の我 t 赴 方 忿 隋 德 人始 ļ 馬っ 陣 豫○便 北 無 ŗ 援 上 州 主以 謂 その茅、之の解 聲 夏で竹。頃の甲。言 卷 行0茅,之0解 荆 書 田 ' 侵 高 D <u>.</u>1: 刺 項名 上 史高 7-プ・ 基 固 之 椋 坬 為 瓶。 日。 汉. 太权 仲 於 柜 差 火 方為 뭵 亽 たC儲 我C再 如 固个 駉 子實 日、 えら積 乃の三 等州。 製沒 惟 葪 是 蜕。 故 徒 3 下 鄰 我; 等爭獻 濟○如 爲 基 有 鼔 流 須 信 ïL 牧 好 三吳 速 武 州 非 州 南 民 石 諸 師で此の必 隋 .0地 夋 刺 将o 造 딥 總管楊素呉州 登○彼 伐 L屯 水 焦. 兵守 9月程。 百 手江 4 0客0陸5以 z 母、 史の 'n 以 跙 毎 鄁 及陳受蕭嚴 ቜ 早熟。 取っ當へ而の為 FIJ 並 下 彼 可 南之策 客の戦の常の禦い 多 更帖精兵 取 可 愈 擇 カ 情九 ○遺o兵o後の廢 張 量 便 限 ij 盡っ人の氣の便○共 之氣 榼 形 彼 梦。 Ě **美の因の益の集の農「収** 凄っ 浙

	古方略 着編奏にぶ	选見不務修省徒自賣佛寺為奴際不城陳陳當者犯权實證暴無度尤自速其亡哉時江南妖異権 班氏 日玉津以罷之多方以誤之敵未有不散	老者彼懼而能改吾後何宋 題行天誅何密之有使役其林於江口林祭 郡子天誅何密之有使役其林於江口林祭
	2000年	為如際不滅陳陳 其亡哉時江南妖異 以誤之敵未有不軟	於江口林俗林守芳

如○ 今 省○ 大 事○ 小 納紀郡置守丞縣置令而已其 老吏抱案死事繁政 其故 處覆治若鍛鍊不容則萬里追證 重校文不繁悉府史之任掌要日而已今之文簿。 造大業律十八篇 旧益際叉 芭山氏日省官省 能用 國家之 征後繁興民不堪命有司臨時 何也吃日古人委任責成歲終考其殿最常 さ 事不省一 福。 死事繁政獎職 八児仕徑 東京の後の 領行之民久脈 兄雜。 事。 天職此之由: 足 奸 Ŋ 致治。 利 滋蔓亂是用長甚非 也。 文簿日益 弘 百年舊案故誌云 烑 日₀ 往 Ħ **《刻喜於》** 腦以水濟事 魏 八齊之時. 者州 類功質 忠貞 帷 恒

隋大紫三年赐帝以

高

酣

末年

À

令

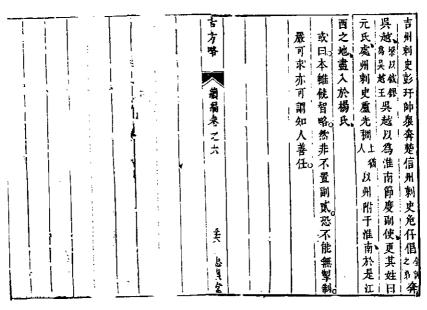
刻部

牛弘

ᆁ

政

之本日蘇 温人 揮 全 大 : 見 將 桨 兵の渉 兵七世 用頭無置副式 一年日蘇州之四 使苑 凬 牙口 方 碳日 找。 略さ 聞 度 耳·顿 焼 共の追 $\overline{\mathbf{j}}$ 之**.** 屯 使 胃 玫 丨本 問 非。 蹄。之。影 州 国向 肞 口。 欲 路の本 1 閒 萷 㮾 Ė 危 成 橅 全 取: 乗の生 史 安。 安. 矛 高遺 全 連訂 驱 高に張っ役。 其っ本 火 伞 可 n 覃 袁 准 半の限済の張 安に乃の敵 實 末, 功 使告急於 吉 南 不っ温、 也っ可っ不 Ż 析 U 不 乘 族 前 敢 之 可の全 若つ君 吾の可 膀 縦の布 城 兵、 不 木の諷 進、 東: 宣 敗○氷 攻 克 車の乗 走、 我。 楚 蘇 11 蔦○谷 攻 取 全っ許 袁 撃の先 其の觀 來 州 洪 £ 之 使 鋭っ形。諷い之。但 可 周。溫 ήI. 忐 州 本個品般 末 陵、 而つ勢、援い木 主 州 西 誠 欨 功。输宿行推為祭日一准 兵曾 用っ本し兵の日の將 ₽Ŗ 惠 败 州 ノ平!☆リロの府: 作日₀ 必っ造っ権::畫 其 断先之经密南楚以 召 南 奼 荻 刺 蘇是後人 た楊王馬 僚 還っての軽 Į. 敵 全 守 賊 玫 史 大 . [k] 乃と為っ爾。 州淮 乃 子雀 忠 殷 佐 陶 潰っ全 諷 朴 貞 F 吴南 以 虚牙 遣 + 疾っ全っ合 基の基 倍 趨の風の必 起 赵兵 本 州将 指 飲



雕。 存璋以步兵陳於野河之上梁兵横 史建 被之 情鎮定二州步兵祭之 仁韓勍怒悉聚而出德威等轉 彼 技 C ń 方 敢 及 以 **鸡** 士. こ 至 日無遇帮則不可 出 柏 引 祖 周 典工 4 望 松三十 ᆀ 110 乾 之○矢 必○刃 勝負 视 口梁兵爭進 嗣 星 比 化 衛編をこと 在 芋坐席 擊 李 威 梁 元 - 徐里雄 兵之勢 未决 將 此一來我為公 敗 易梁 **投令未可** 精騎三千壓深壘門 晋王 樂 王謂 以餉馬馬多死 뇼 ᆌ 兵川 勢不 闹 役 步兵 梜 n) - 勞倦必. 德成 ij. 郁 糗 以 名克 矣建 ₩ . 勞 亦 . 逸 能麦晋王 易 找 |戦而北 之。矣○王 兵整 Í 先 Ħ, 最之 及 給晋人 晋0乃 有 不 制 **公**可搬之德城 両 畔 伐 ・戦食日 之未易 三數里競前 Ħ. 力 兵っ止。 大。至 E, 退 र्गा 周德威與别 垄 調指 志 戦 静, 至高邑南本 軍 而詬之王是 我必 抄 當是 却 Ť 之梁 亦 以 勢不 之王墅 揮使 ・肤 争つ 柏 時。之 1 進。軍

	百万路、衛獨老之六	東日德威能料敵制勝後唐繼梁之勢成矣。 東日德威能料敵制勝後唐繼梁之務兵至 東之醫聲動天地趙人以溪冀之城 牙條計河朔京 之樂之精兵在臺灣計畫在衛 建工 不可勝計河朔京 之樂之精兵在臺灣 大地趙人以溪冀之城 牙髮 東京
	(1) (3) (m) (4)	制勝後唐繼梁之勢成矣。

兵在後 士. 及山下。 君親爾周德威 入晋Bc 古方略 尼男支見置左右或者什二三晋 在城上爾哥 黄澤 おうだ計 門o さ不克翌 谷高淡去粉 骨兵 主貞 粜 此必 城 Ŀ 明 邪 懼特 Ë 中知之勒兵為備 · 賴編卷之六 **發騎兵追之會陰** 在 亢 Ħ 過 脚 演。 何 州、 之惟力戰無後1 于 之の絶 下山屯於宗城 鄩 郭諭之日今 晋陽必虚欲襲 郭 使っ智 清 西上自幽 刌 郭 吉□權 : 日□道。 | 敷日不 塹 扎 (襲晋 上面積旬道險 E 而 **軍** 周:德 취 守 之。 侍中巳 處急追 日 吾間劉都日本出遺騎規之時 赹 州 糧 深入 敵境 可免 盡。 貝 馬 引干 料件 取 ふ **心之乃潜引兵** 為人執 晋 州。 死 灭聞骨有備追 决戰計彼行幾 至 - 騎枚晋陽至 元 热月生 **劉郝用兵** 不 殆 能恩伯道生 遅 臨っ南 半。清つ官っ知 更以 省辛 堂邑 腹首有兵 (泥溪) 加 失い摘の臨 处 秉 其の清 報

ł	: 1	1 1		王 王	一 于 王 人 場 十
		1 1	!	-	
- -				古方略	
,			! ! !	196	月5行0行0官 名 一
		[]		'	一
:	[[
	1	1 1			當 不○事○暗 李 敷
		[]		[續]	漫
l				續編卷之六	型 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教戦 日教 日教
				1 120	- [一] 全の基で型で包装を可用[
	1			시즈 1	- し こ こ
. !		.	1 1	之 :	有 乃の猶っ談5海 安
- 1	į	; }	iii		一 カーカー かっぱった
Ì	ĺ	l ì			
1 1		ļ ļ	1 1 1	1 1 1	电 たっかっ は でまる まっかっ で
	.	1	! ! !	1 1 1	了 海 丁 A 叫 (克) 此
1			1		
		†	-		獨 攻 也 of 謂 行 聽 深 鎮 代 x 班 高 周 。 從 三 定 州 o 奏 c 重 從
- 1		1 1		1 1 1	梁 鎮 代 3 理 高 周 。 健。 三 定 州 ○ 奏 c 重 (從
1 1	l	[[1 1	'	本 変 八 変 の 型 (権)
1 1		1 1			主 定 州 0 冬 c 重)従
. []		1		早	■ 闇 版の世の子 本
					三 定 州 0 次 0 重 從
!!		1 1		1 1	
			1 - 1	👰	撃 周 c 亦 c 言 。 源
1 1	1		1 1	恩真堂	以兄○為○密 求
	[۱ <u></u> ا	1 1 1 1	金	一間、では、では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に、一般に
					<u> </u>

欲 僦 圍 問 棄忽 暮 Ĩ. 召 持 方 肵 施 っ笑。 枪身决室 2, 练 不 臣言臣身 É Ĩ 飤 묐 之。 德 胸 王 梁主 粉親 彸 ₹. 嵡 꽊 攻 Ξ 贝李 Ż 翔 | 寫 兵 進 年 吹拜 謹 Ŧ 瀬編卷七十 以 不 存友 退、到、 Ħ, 一備之, 考草 电温 事:無 肯, 背負 敬名城 月。 疚 急ン用、所 兵太翔: 六! 道 海 ŦL 1 譙 入租售票 州, 奏っ不 聊 命朱 大朱臣惟 Ŋ 柗 非っ如 無 共 流っ皆の滑 찱 用の死 不 泵 温 而の持つ州、期、勝 進 守 使 王っ引 用。逐第 下で巨っ置 使 知 Ξ 彦っ縄 舲 17) 今 ĤΞ 徴 因。夢 可水 章っ将 敵殺子 載っ大 宇 1.11 室 卫李 飮 ⇒對⇒可 勢益 德 E 為3自 Æ. Ľ. 帝有 攻 が水子 尚 冶っ食り 里数 大っ縊。 脉. Ŧ 口。 Ą 将 梁 先 散。其の遣の日 戒 強 以 親某 德 可、開具 島原全 帝 Z 不り主 丽 繩 州龍 勝 左 乃 章 可:止 EI 🔻 坐 取 内 周德 南 橋っ朱 ○右 止。 徐 救っ之人 下! 梁「温」 舟っ皆し Ŧ 靴 號三 城 而。守

兵勢 兵擊壘 宥急 梁奔 開 辍 周 同 其 Ŧ 造 Ž. 州 泉 光 不 在 井 方 棋, 苦麥章 逝. 旬 但 東 略 内 攻 坴 因 <u>7</u> 洞夜 詴 趂 進 Ŧ1 0 有勝 Ħ 苦 應参章 岸。 不 何 楊 材 軚 楊 攻 ٨ 兵急擊南 絎 兵械 憂、 日 不 魮 將 以 可 **/**< 劉 劅 入 唐 主間 績 東。 酊 夵 A 其 漸 坺 iŋ 嗣 行六十里 漙 洋 編卷七木 比及 酒、 離 則 诃 能 坓. 而 稻 人 主。 鋲 背 克退电 陷 載と 津。 築 請い 鯯 不 城 Ŧ, 河 使 城 者 成矣 城 Œ 楊 毎週 東 李周 城 褧 築っ源 侱 2. 破り 計於 不 得 渡 壘○遺 餺 數 劉 聋 下 之 城南 (時李嗣) 不察 1 能 以 四李周悉力 殆 潸 H. 河 馬っ押 功 固 梦 應 **亡士卒之丰彦章** 曲 守、 参章 食 就っ 郭 築 楊 大 家っ牙 崇 爽 唐主 之・ 中の范 顆 接 劃 楽 瓤 命 振。 H c 某 東 韜、 偩 闘 晝 以o廷 将 源 於 守 4 店 失く さ 守 平。 對 六月至 引 備、殷 主造 夜 通っ光 奪 死 中 弁 流交間 **柜之與** 兵枚 鄮○送 鄆 士 叉 E 不 涎 Ξ 棄 殷 孝 州人大河 請 兵數 E 一步章 息 町 宦者 州。延 北 核 築 ķ, 之,印 以 楊 乙ヵ孝 挑 城 さ É ず į 萬馳 戦 劃 Ŧ 'n 略c蠟有原北 分 7 唐 書 暴胡 聲 | 粒 及

至急攻。 唐兵 先之。 食巴三日矣。 闹 77 敗而習 숽 月 州 略 八追擊之梁 催っ 郼 朝 其斥 奏報 訪 大 凝 故 唐 团 1者: 叉用. 于 涞 敬 Ĥ 退 以 時 脒 主 百 是以 卒 失。 底棋 赮 帺 Ż 于 候 引兵南彦章等復趣 始 拒 版 、郭崇韜 糟 势已 **林之師。乗虚深** 勝 河 行 戦、 叉以火栰 通 築 北_c イ 編卷之 深者 t_o 數干之騎為 棄。 兵前 ||李嗣 唐主 日。 僅 開發 孤 不 沒 深晋 单 其機 疑 Ż 大 能 後 源 扎 未 策。 7 赴 빘 * 夾 1E 小 請 大 有 兒雄 救、 胳 在 由 者萬 取 **;**可 正朱守殷覆軍之罪不 軍救之参章退 宁 用李嗣 M 故 ኢኅ 得 鄮 之戰兵老力 百萬之郎 俌、 八楊剛司、紅樂市 汴 オ 據 鄊 帥。 丽 崇 城之守既已 其根 州 大略亦 趣 鞘 源之策渡 取。 梁 慰諭 也 本。 也 觓)其時: 麗, P 鳌 濆 侏 1 3 謂高出 勢將 郁 闸 其 城中 **劉**; 车. 無兵。 さ 趙 Į iP 友貞 廏 楊 上 扺 家 以 وناد 而 厙 - 梁 猫、

排完 守貞 伙 受之, 有傷。 古方 守貞以禁軍 而士卒 諸 漢 鼓踊 牧 何 訶 威 つ珂 将 する者 常親親之士無賢不 略 中威 馬 異 圆一前 違忤不怒小 É 日今 議 úψ 猩 未 朝 陜 坐 攻討 督 州,自 · 拒吾前c jā 受賜於 近而 食 寉 撫 Ξ 諸將 士卒投 操 、箱編巻七六 輕也 皆常受其思施 養士 特 叛 諸 元 徘 文 攻遠 連 将 车 且 過不責由是士卒 剔 捌 ţį 郭 珂 守貞 衡 佚 欲 夲 具同 彼 献 威 劉 萬 推 守 賢名 火 好 城 先 之失色 詞 手. 植: 竹忘守貞 掎 中 取 中 王趙王景条を赤ない真為王守貞亡則で ***** 吾後 肖 自同州 無 不 使没命承 岩且 Ì. 割 有 食 惠马 自黄立花 为新 · 斯 · 加 · 况 · · 此 諸 其 肵 小 外 渋 将 有 常思自 **危道也** ○翔 泰節帝祖 後 有思至 **챂**, 陳 長圓 門門 功 欲 啓 進 咸 <u></u> 皆温 器忠月堂 思叛 亡 給亦 則 開 帰 轍 於 城 柑 湿臓の 厚賞之 成善之. 守之。 城 ıζ 河 攻 城 衝 吾 脑 **游**灸 雨 · 度 你 大 城 下 奉 焉 以 長守 揚 迎始 鎮の使 成出子 河。成 道 於後負負の息 El.

P

伍 乃發民夫二 児烏合之 聚手思館 獨郭威手哉後世人 方略 兵弑之其去守貞 成之功為多然威未發廢帝賢為 在0歩0以 來0來0本0個 而闡 書 伆 。之、之、 双 續編卷之六 及所署将 ο叉 招 萬使白文珂帥之 Ż, 威 彼 既克河中守貞自 Ż 祁 お景楽の人野士脱り 鼓但循河设 日守貞有 間耳五代之吟 臣當以 Ŋ 守貞 Éħ 總偷等送大禁磔于軍 遣っ 水っ 公郭威等為成立代之際能城 東 坐 軍♀ 以の花、 湘 我₃ 網 機ご舗 除公自 靟 中 뇄 JŁ 忠見 獲 不 立っ 短っ十つ正

赢者斥去之。 吊 養つ其 名祖 中の葵 嗣表 Ŀį 鹿老 居多但 無冗 務精 Ŧ 胡氏 #Ł 方 茅 俗. 1. 一城遣 鄆 8**%**ŕ 分聚何 士o謂! 团 其所以 濫 月五 不 #.; ihj 高平 所以失國多由此世宗政 所以失國多由此世宗政 所以失國多由此世宗政 所以失國多由此世宗政 所以失國多由此世宗政 所以失國多由此世宗政 z 目、 務多聖人復起 霓 帥 元年前 | | | | | | | | 于民 推此 代之 選之 詣 又以號勇之士多為諸道所蓄 授編卷之六 旃 關選其尤者為駁前 勸乃命大 見 旣得 主多刻其民 由是士卒精 ィ 為 関節 世見 、選士 用命實不 姑息不欲 士 柄制諸 車 任官。 不能 不 簡 及 請 此。 熟 易 軍之 而别 此の多の顯北底名。可 别., 簡 士 渉 矣。 無○今○徳漢后榮 用、 精 閲 規 村丁軍世宗則版 哭, 馬貞 千軍。 ŕ. 詂 眀 鈗 用の以C元主児本毎 恐傷 꺠 九 班。 而 者乐 之0 農0年到守姓 週 宿 勸 世技 其 物の夫の三条産朱大 X 徘 騎 懲若庄 詔募 え上 情 初 步 且0末6始子種 由 夭 健U能o知 太郭 走

- 斑克士氏 É 得其要寝 避し必じ之し必 觀 财。 ッ姦 取の弁の族 後 時使 黛内 之。皆之。由 命近 我 以 之。 右。 桁 周 紺 覧馬 領 有 叐 顲 薄欽 其心, 為 姚 " 其c機。 術。失 ₽. 德二 朴 武山其 避の救で債 鄕 旣 所い 道。此 著 取 食 镻 强·之○之。唐 愛·奔·走·為○吾 以阜 賞功 續 為而 不も 年世宗 华. Ż 夫 始 | 今o部 附, 為 開 梦、 然後 民 必の郎 君 0 4 失 邊 已進實 共民佚 之 | 先 o 中 也。觀 o 王 罰罪 横。 因 ځنار 則 巻れ六 難 叉吴蜀 半而 之の始の接 旣 **4**p 為 謂 其 間の備の境、歸。 闪 小 莫∫所○朴 臣 搫 用之功 可 o東 c 製 以 o 則 o 二 天意 情状 盡共 犁十 退 致大積徵成著今欲取之 大 不 ·从o献 ネ έŔ 相 基. 不 Z 失o策 易 并. Ħ. 知の後い千 共の西に里o ٧. 者c K カ、 肖 君 之。日。論 且 怍 朕 去奢節 及開邊策 從矣。 無 之。中原。因 暗臣 以 領為間諜知 集, U 毎 虚の備の共 不 政 权 輕 思 **小成矣彼** 西o勢 則o易 事 其 ĵ 邪。 然。之 萩. 致 攻 旣 洅 才思隐誠 後○失 屰 冶 覆っ 取之 治。 גע 騎 知ぐ吴 各 | 能 之 豐其 民 所 の 蜀 财 頂 後の彼の標の道の A **囲**。以0幽

喝、儒

師。

可

以

虛

之, 如₁

江

北!則

間

办

則有

警必

悉

師

U

枚

さ。

H

動。

爲

我不 怯。

旣

得

江!我

北

則

用兼

彼

之 取

冉

行

我 此 數

ż

法。

江諸

南州、渡

亦 粉 悉

有。悉

i

宗欣 未能 惟の孫 效 Ŧ 然 翀 取 1 帴 **力**.、 す 皋 彼 河の地 江 戓 為 氣勁 然 期 東の必 得 目 略 ŋ Ħ 北 Щ 5年之後 邊患 高 納 粕 必っ望 江 £ 江 V 也令士 干之败。 日,朴 有 さ 死○風 南 南 之。内 热于 時群 南朝冬之二 非 謀 友 餌 及 能 Ħ 鬾 竹若其不至移兵 附。 若 有 有例 兌 可 负 夲 IJ 取世 不 南 鎖 臣守常 N 戦 斸 内の背兵の大国兼が 為 養 園 北京 東北 精 出 可以思 巴 南 世 宗 鄉 槆 ٤ 師室自夏秋 并之 軒 偷 P 蜀。 П (**天** 天) 信 傅 各 家巴試 為 叏。 共 術。 有次第 有 諫議 樕 所 余值垣垣 備 對 面 奉丁 さ事っ 既平然後 定 少可 育拉 Ż 大夫 見る品質を 以强 蛟 稍 P) カ 南 長法諸 鸠 正 方 與 但 以上 夘 取 **☆邊**実 既定 氣 兵の可 守常 區 É 崩 侗 胆。 制っ 盐! 独。封 惟 事. 將 朴

羣言瀝液八卷

清華大學圖書館藏〔清〕梁顯祖輯

子 32 -506

埀訓於後 羣言瀝液序 也 有言言之所傳道之所載 言者所以明道也古之 新奇逞應說以自名 六經 大儒輩 懼道之不明不得已而 **東臣** チ 得失深切著 四 而後之 出莫不溯源 子尚已三代而 學者 明 其 君

矜關距· 道鳥乎明哉能 益 愚婦之知能於是乎惑 一瓣正 豜精單思自 之 賢之路於是乎岐愚 日用飲食失其恒希 講是以言日益多道 倫常名教達其理 陸序二 也孔 學混 淆 子日述而 割其言以 異說 明道者 繿 起 日

道 其言者乎三韓梁艮夫先 **豈不事逸功倍勝於自** 其善者而從之多見而 采以先儒之言埀訓天 然則彙集群書博綜 潛修 合而心孚判袂以來閉 |與余同官內院者七 明至於 人陸序三 毅然以明道為已 自漢唐宋 約 創 識

本朝名 世教 論確乎不易者先生為之 各出而精要其大旨總歸 取而不嫌於畧或全擷 事而彼 而綜 病於煩或一人而前 儒鉅公有志明道以 見則說以兼收 而正人心其格言碩 屋戶日 焉約 加 此互析則義 E 道 而采焉或節 明而世 一而備或

在	相
---	---

		ور المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع المراجع ا			與	
(本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	展熙壬申孟春秀水沈廷文 拜		在斯敦之扶世道正人心其在斯敦其	徒以為紙上空言而身體力行	前文教有相發明奇披閱者不	乃應運而出殆與

大之致良知即佛氏之常惺惺姚江之直白承認無所掩覆明矣而論者之直白承認無所掩覆明矣而論者之直白承認無所掩覆明矣而論者是有法定。 是補諸君子所未及且質我先生而論者是於一人。 是此後學問襄孫七氏拜題。 是此後學問襄孫七氏拜題。 是此後學問襄孫七氏拜題。 是此後學問襄孫七氏拜題。

名賢著述隨所職 是集所採5 祭步 □ 幕 · 稱 · 以 也而稱目 與無 鵔 4. 窮。則 即時昏惑或有全期言之醒豁暢 **山間者敬舞**、 後先之序不為 彩 稍免差谬耳。 儿 -1-İ 祁 例 行 华 鵐 lifi 毛 盏 栽 書。問 价 寒口 疾。 7 疳 如周 起。舞 更 14 謝 或有念荒檢此一觀動靜云為族 豁暢達者日積月累輯成此編葢 石 搜 光 数い客 朱 盐 程 ネ PŠ 即 幸 前 。 子 ML 聽 鄁 張。慕 博 - 菰 칶 張 床 体 開る *坐二十餘 類之分益紀 門有得於心即は 也。據 號 朱 和 の 則 朱 . 悠 拙 余便耳 放檢此 妕 弟輩讀: 枚 参 服 共 遊 华 以某子称。 矣。 者 4 膺 書。光 又 當與 宀 老の書の 中以聽真心都喜及數人也以年底卷帙無 之於 信 惟有 梸 以 者 · 錄 諸 册 · 孔孟 母辨不互應 淵. 書 號 Ħ 业 古今面 稱。 稱 本 者 章 章 程. 朱 丽 索c水 IJ. 傑 (色) 籍 以 誻 恐 न 採 往 ¢ 媒

一規言議論以 不服述也所述 也不服述也所述 也所述 也所述 《本談言》 之言奚取葢日用常 《本談言》 集中 為本談言後中戰近之議可珍設論是集所附之皆歷有千卷萬帙百家 隅而 华城 問於 也の共 事繁多為 三可反! · 勝內大君子也然牽一髮而頭八卷記妆幾何以管窺天掛一。 積習而設而 J. 聖域而見天心則斯集亦一章之航晋人有志理學從析之於幾後直窮在出入之關人鬼分途之要則組辨所述者大抵事於疑似之間理在毫 便可為訓於 团 者。進 類相 為調於世門 篇ο不 男是非別 教我 古人 妆失 亦有不 推 学很析之於後後直旋等很折之於後後也要則 納維人鬼分進之要則 納維人尼爾非金玉然人人之言無非金玉然人 韗 一是而頭為動舉一 親天掛一漏萬易; 斯 我 矣。然 者 幸 稱 與係、 備躬 於此者蓋余應 偶 来 来 · 收 。 婦之 畫 行 信 不遠 鋌 書。際。古則、只黄 瓑 莪、 毫

前 吟咏 華 事 之 也。大 門之 也。以 外c雖 夢の 氽 未 質 m人之言後人奉為#四余回未選詳也 記。 來。詢 老 疑の請 徹 宛 叐 朋 針の心の大 背 亦 Æ, 義 藻 用っ 嫗 古 心 娅 翻 査 拔 天 ふ 此 童子。 取 語。 行 H 人9徹 此 刋 載 ○集 0 14 之有的 地之 是 為 名 諸 契 夜 **。**事 c Ŋ 本 達。之 亦 儿 可 家)如 <u> ፻</u> 歷 ij. 斯 人 也の中 有望於 奇 共 情。解 符 · 療 古文之骄歷 不 府 励 二 十 道の心 汀 方是 為 也。 Ź 相 金 旭 模 網常偷 麗 即 競○恭 則 較 食。餘 效∘石 見 則 "較善多、忽然有 摘 人 取 。 之 借っ 贞 华。 痱 Ä, 之客 夘 蜂 善之○多 凡 停 攱 末っ斯 矣 若 措 旨 小参苓並1 紀 欲 þ 道 佴 行 其 諸實 之中 巴 基 日 月 不 人也。 不 從 湡 得い例 起 更 人之生 錄0之 所 可言。 泉の競 並 見 用 也 忧 数 o 行 ķþ 措 IJ 平 110 侠 耳の前 諸自 難兇無 畢 ıЦ 狄 書の如 懸 苟 類 平行 賢之 聖賢 蒒 實,宋 將 為 那 於 見の想 F 肵 行 凲 儖 心。信 丽 空 頂

> 集中段 板 7. 此 木 βŁ 泛っ間 代の思 刷 欲 編。集 如 行亦 EP 自 借 向 同 飾 未 落 ○者₃ 呼 0以, 名 集 取○敢 談 叉 同し 其立 所 非 提大旅游。呼。為 葢 輕 是 幾 人,何 錄○放 錄皆諸公偉論今易其名 円 華 故呼人也恐讀者不察謂余為 故呼人也恐讀者不察謂余為 博 剔 集 索去。 經 吉 빐 裘)採 字 肵 刪 桁 氽 識 句○載○ 英 補。已| 確足以 賦 者 徴○惟 無 類多不 數 栗顯祖艮夫氏識 性 意 當 不 論 百 ネ 椎 異 恩 漠 部 自 魯の以 醸 重 朱 齊觀 矣前 醒 遇 割 花 減○大 脒 事 裂為 作 詞蜜 魚 儒 者幸察 秥 善忘 後 郋 也。日本 異 っ姓 去 出 冗 名。 Æ, 其 被 解 扙 耳。兹 長 白 右。近

程 周 黃 只是 則。子 矣○道○兄 爲 書之美 誰 伊 也○舒 7 以 言瀝液卷 度ぃ勿。以 不。日。 。臨 日 ○可○使○為 上 古宜 過 而。之。故 可○儒○ 車 文所 日。 明○復○諸○亡 於 第。師 日の則 救○者。 民。進。不以以 梁顯祖 師 厚 如 潜口 言 以。保 •文 VI 爱 架 秋大 知○邪○在□持 異 赱 /辭藝 此 。師 100 文○勉 之 爱 غ 道 載 所○辟○六。 僻○之○無 商只是不 也 正。 則 道 從。之。藝。統。人 。道。 不。 過 為。不 文○傳 也。 也○矣○說○之 ○法 焉の道 能。學 行 滅○科○制 者。也。之藝。强不 也 客。 賢 德 轅 . ? 息○孔○數 不^{*}有。 。及。差。 Ż 者 賀 飾而 0子0參 业 遠。得 焉の之 也。 後○之○下 殊 於 其。 而。不 妷 И 方指 焦 ○衝∘不 o常 ٨ 始。 而合 學而 巳o從 不 其 經古今 紀○者○知 厚 噫。也。賢 實 唐。 可○皆○所 意 之後。共。 弊o不o者o至 徒節 而 -○絶 ○守○不 之。藝者 也の知の難 而。其。臣 同。之 師 終。 人o務o父 法。道。愚

幹文清 張子 字直指 整卷日常閱佛書 變°恰 了○成 長生 子 知っ六 言雜駁中亦有斜 此 幻 根 大抵首尾 o合c所 妄c之 日c君o者o兼 日· :公日聖 | 箇 不 老 以 被 孟 理。其 後ィ釋 共 爱 깄 死。子 寒 而 c 鼓 其 巫 监 ,因 氏 子 末 不 坐视專只理會厭禳: 心見性 老調 かかれる 豊っ小 衠 用 妄 初只是清淨無為 大 絲 推 遂 及 賢之 天地。天地。天 盡っ小 語 意 之。至 於 則 性の也の小の 便 楊 便 成數 帮 書 統 書。 身之小。 可o夢 流 性o至 墨○至 平0幻 遁 至 ıţii 於 於 多延慢。新聞級 然後來說 失 此 謂○人 乑 ○世○中○湯 畫○知 我 窖 楊 (被淫 生不 祈祷 清 無o謂c其 則 範圍 上,差 其 墨 其過不及 (說話不 (達磨難 可。而 淨 不o之o週 忎 誣 亦 邪 也。不 這。死 天地 天人 無 知○第○於 於 未 遁之尤 雜。 自 為。 可。理。大 0 虚 至 勝 諸子 經。項。却 帶 於是 平o可o也o空 於 同 Ħ 反 其立。多。文 立 乏 Ш 手の塵 月 辺 飾。人 H, o 不っ芥

真西 道 皆の儒の邪 道。其 Œ 夘 為《為《子 順。而 者。目 於 就者。其 平 之 日。矣。 初。不 虚い談の登 Щ 濁の其 異○知 不○反○無○說○蒙 如 矣 o Ha 說易 聖 肵 之。道 其 п 押の如 所の所の齊 此。然 蒙 (言與 約 宗。 人 名 不 (き)こ 其。波 業○蒙○記 則。其 莊 削 Ż 次。亦 異 說○於 兢 豁。 兩 日。 善。弊 氏 術 道載於 異の其 · 或之耳古之為邪說者 · 心非幽深玄遠不可 然o沙o 者o反 兢 __ 唐 漢 Ξ 不∘進。 Û 明 異至於問 外。載 心。萬 乏 芝 代 必。舉 軒 心 肅 常。以 士。士。而 勉。天 人 經 垩 亦 ũ 存。自 為の為の下の 悪。下 為 没。可 天 自以 養 ○渾○辞○章○易 赴 杏。 不の人 知之問奏。傳。其 眀 今 其. 如 藻の句の學 必の倫 Ż · 之 。信 道 為 遠。 谷 吾典二三子 所の所の廢 戒。物 形 故。名 莫過於子思 の異 मार्थ 膯 蒙 c衆c矣o Ξ 此。理。骸 後世 智。則 於 霧っ皆 晉 놋 害∘→ 為 使 與○自 其言 聖 知 親 之 之 士。士。 反 處 道o以 逆 愚。以 乏 V. 人 進っ U 偏 之。虚 旅 求 者0為為 異。而 尤。假 可

於 用 也 用 其 為 磨∘不 七 円 以 明 餆 於 邪 未 刵 孟 之道 矣。其 於 耶っチ 肵 心 忽 者 詩 說 書為 本 子 伙 ŧ 世 且 棄 經 言 垩 悟 厠 書 丽 ル言り 一之悟 惑 固 之 書 洏 肵 人家 子之偉 日 剘 纺 羐 而 禮 者 耶っ如 術 語。可 思已之身不 卷之 行 後 六 樂 倳 命の子 E 具 不 是。也の者の絕 自 Ŋ 者。 可っ經 六 也 の文 渺 山野之沙 諱其名為 斯 不 急 為 使 嗚 不 藝 傑の鳴 遊 不 其 歽 道之不 特 慮っ 垩 入 呼の必 之文。過 呼っ必 之 言。 事 賢○取 是ロ學 文 誣 鉀 是。博 說。則 近 之異 其 其 則 法 能 果の也の使 於 愚 而 墨∘明 身。 自 Ŧ 焉 邪 常 何○必 於 人 何っ禮 夫 人 身。 其 楊者不諱其名為 附 説。目 說 耳。 存 思遠 婦の面 而 道。求 終 亦 道。不 不 欲 於 **今**人 叉 愚 而 者 Ü 耶○於 遠 身 耶っ必 리 惑 誣 聖 其 皆可 不 果 淑 Ä. 吾 四 而 矣∘以 約 致 天 來!世紀 斯 人。身 後 一經之作 任○勝 心。不 然 垩 也 っ詰 下o 之學 民 丽 於 道 而 而 俟 厭 े गा 业 o 知 人 要 者 H 聖 Ž 之の其 不 故 之 後 僥 無 其 彼 必 者の聖 티 倖 肵 幁 邪 學 智 妙の世 亦 原:

洒 宜○達○命 不っ 敬 沈 也o之o甚o之o楊o 此。考。之 何 士。其 萊 明。 流 JE. 盍 齊 所の於の則 申 日。士。之。理。者 非 頮 日。以。 Ę. λ 天 日っ 以٥名٥人 弊 之。古。當 孕 為 老 面 近:家 不 庅 ŀ 高 0是0簡 從 老 所。以。如 法。非 校 似点头 睝 虚 ப்∭ப 古 者 之。而。以 佛 當。為。何 布 释の為 之 者o 雤 Z Ā 入 者○實○定○之 米。用。得。而 睯 教 若 文 設 有 ت**ىڭ** ت 於 泉○非○其 徒 心。失。明。慕 何 辭 非 志 道(無 病。宏 也の異の為 各 門而可以為儒古明也不農不商中 也。之。治 液 聖。而 主。自 故: 事 虚っ 然 焼っ害 **不** 際o亂 當 業○學 非 #1. 古 畢. 其。可 諱 去。 殿の典 自 便 害 彼之 者 者 實。息 屧 ネ Žċ滾 何 袋 늆 世 流 而の也の其 可 今。之 門 要身 入 紋⇒於 過 聖。天。名。 復 以。故。而 若 養之 事. 볏 功 也の賢っ下の故 功 醾 為。當 ○親 入 何 利の心 有 利。 從○共○之○放 魚 因。何 道 從 丽 也。 基○上. 北 此 之○名○大○言 酒っ 革・由 德 兄○可 叉 見0用 闸 者の此の害の而 之。而 性 當

趙٥功٥般

何。

愚○士○莫○鑒

朱 已。又 皆 不 理っ上 子 之 日 · 辨。 則 ネ 者 在 之 致 雪 別 の 知 の 聞 通 過 斯c日o非 達。學 讀 Ū 如 矣。須 書 近 整 銺 此 之 史。太應 冠 先 世 未 ፕ 程 學 荒 冠。宮 斉 不 從 荕 事 涎 理 J. 實學 之言 上 怪 401 各 交 學。譎 逹 。之 貌 相 間。為 Į 盡。不 發 者 日。 意 人。近 先。也。立 求 湎 之。人 其理 然 如 而 身 養 此。理。情 肵 失 進 須 7 故 斯∘之 之 謂 歩 用 肵 乭 盡○說 致 敎 敬ぃ 天○也○在 知 夘 À 要。進 20 者。持 而 祁

要○粕○言 轁 為っ而 2 者の以 血っ則 萬c存 語 糟 其 生 存 世の焉の在る擬 粕, 生 殆 於 開 無 焉o非 作。此 老莊 者 世の太の此の聖 Ð 也の如 平○則○人 蜤 o扶 死 氏之 世 元 斯の無の難 伛 切 未 儒 氣 人。以o死o是 至o精 緒 乃謂 流 流の為っ而 若 观 丽 論 行 以 為。天。所 育 ۲. 也 聖 於 禽o地o以 非 聖 去 · 飲香是以 · 人教人讀 М 欧。立。不 也。人 枯 時 而。心。死 苯 朽 之 不。為。者。書 書○之 /讀書 問の月の生の則 者っ比 懼 萬 知。民。固 傅っ之 ネ 而 非 物 灰い立い於 心の為 為 命っ書 クの糟

卷之

作 写 , E.格 # <u>灭</u> 之。 益方! 嵌於 其於 般∘任 者 宜 者 只 理 共 理也察立英先於 於天地萬物之理不復 B 力是時禪學盛行學者與 夫。 物 是 切 於 於是表章大學之 日。便 圕 夭 萆 ıŀ 丽 已而終不 我 是 物口平の 而 理 纳 兼 笨之一 而 天 性歸之之 之 之於 照の 一其答 然 莫若 地。巴 ıÙ٠ 心無寒焉天而已宣,心與天地一般只為 於 物○即 赀 天 大 外下。中。俱 天 可 草一木 19 察之か ○合○固 :有見焉。 客 與人 Ä **季**合之 之問 巾 良 融の書は へ悪舞之道ニ 分 置。於 少身其得之 I. 彼 發 亦 般。 推之於 一苦心知之者, 於鳥 IJ 明 皆 則 入私是故母 (之萬初) 格 故 有 呖 叉 分。必。默之。必。草 是故察之 物 告 Ň 理。以 止 私 彻 陷 見 不 爲 九 與天 殊。然。木。而 者。有。即 不 Ψ 匪 盲글 程 性 可 末 切っ 於 自 女 誠亦 ũ 歓 z 不 之 。 寒。 情 Ż 程 地 小 有。見。有 通○於 排 有

方 朱子 之計而有: 西 雖處平無臺廣厦 無 Ü 理 久っ森っ 語。能 ·其解心: 蔡 山 不 孔 先生語以 日昔有問 道 。孟 中 。有 (調之心) 只 聖賢法 後 所見不逾 食。 絘 おこっ 行 萬 教 此い可っ 身 世 非 樂 便在 萬 善。 人 質し 世之慮此之謂。 告日 心遠 而 不 度 窮○有 末 善。固 『有其累其第、《以夸耀市井然、 斯っ 之言謂。 三。這 不 不 果 。 求 仁。總 原此之謂心遠鳴呼4時而有天下之志英の味而有天下之志英の。。。。。 是 爲. 尋 之義於 於 都 格。 丈 貧 仁 合 拞 致っ 肵 之っ禮 口 3 義 常。著 具 之》 志不 胡交定公 是 $T_{\mathbf{L}}$ 力。 極。 第三者 主 常又總 然 功。 過 敬 如 錐 (享備 末 非 何 IJ 爲終 者。 。今 有 欲言 有 之;不 放 於 件 真積 悉足 人 大 公县 物 身っ通 心。仁。件 焉の窮し道 . 所 若

ĥ. 朱 111 名。所 後 瓊 天。平 옇. 言 帝。 吉 會 其 旓 吉 謂 ılı 突。此。氣 拔,然 녆 之蓋 叉 꺠 而 五. 昶 Ž 口人 有°面 合 然。而 日。住。性・日。 有 凡 爲 各 帝 Ŧī 帝。先 不·該 IJ 小。在 天 孟 八六天之畝 太 主宰乎一 者。以 帝 天 僑 卷上 應 ° 迷 成 之。上。人 「言帝而 主 之。其 亦 Jø. 謂 形∘身∘人 但 基。底 幸平 者。天吾 子。性。之 帝 如 И 天。藐 祭 吉 豊の學 生 固 之。__ 形 之。然 難 养 P] **無** 二 方 帝 旣 不 天 所 也 ○機 샔 身の氣の面 癸。性。修。以 之類。是 之氣 者○謂 吉 用 丽 與 也。在 茍 扎 平○修 天。其 关 天 天 祂 吉 人。下。有 子 惟 性。 皆 天 也 。蓋。 衶 天 富 之。勢 謂 Æ, 何 以 **411** 不 夫。 理°非 Ł 漠 牆 之大 1 祀 Ż 푯 性。絕 成 吉 促 物中 命○儒 炎 こ 正 市人员大 톼 天. 矣。乎、天。而 之。盡 修。有。 五。蔣 又 不 瞪 右 灯 能。人 之。分 非 性の故 维力 六°也°行 蚏 11: カ 兼 上 主 以。或 理。殊。難 壞º 成の基 JŁ 天 帝の年 (1) ıĽ 天 誠。不 也。豈 也。 凁 本. 天 義。立 他の與 福 感っ察り 理 秂 世

杊 胡 五. 推 ο 然 槽っ氏 П 17 末· 食の加 帘 催 五 之。 謂 君 日。不 有 延 為 者の以 稱. 义 歽 天 惟 移 非 子 禱 可 c有 Ŀ 不 上 而。玉 猫の型 也 於 40 ż 共 ス 况 基 可 亦 非《皇》又 上 淝 大 祁. 鬼 白 爲 ŀ. 廢 及 卷 Ż 大·夫·於 者。道 · 帝 類· 祀 ○禮。帝 今 剕 為 祇 者 子 z 道。金。昊 乃 家 倮 殿 ٤ 者 也。故 。是 o # 100 非 務。之。玉。天 列 4 興 者 切 祀 珋 失。殆 滛 惟。聖 īΕ 其 所。之。之 天 吳 吴天 旅°车 *"* 也。又 非 寫。為。下。皇 祀 君。人 禮 人 湬 天 杰 承 世 大 而 亚 父 c之 鬼 凟 也。 也の物の加 襲 紫 _t_ Ξ J:. 可 夫之所 巴。則。立 者萬物之貞也 祈 甚 滞。以 前 化 奎 也 亷 餋 帝 胨 叉 可。制。忠 矣。以 於。全 丽 並 於 代 IJ 凡 言、得 安取 跡之 1 之 而。猶 臣 世 形。關。列。其 下。所 幸 老 舊。祀 又。盟 你 乃。於 至. 所 詡 漏 天 鹏 医天王 裔 必の証 . 了 之 共 謂 团 典 世の上 o乎o於o之 之王。太 生. 亦 三倫 也 切 俗っか 亦 仞 生, 其。類 干 И 子 王. 衙 之。之 1.... 未 路 鬼の繭の之 者。所。上。上 周

宋名臣 於っ須 善。之偏 依 自 氣稟只 要是 若是 若 氏 而 來 有 布 立 中。知 教。乃。氣 於 何 別。故 而 稟 日。乃 無 便 無 可 言行錄 化 此 Ħ **稟此氣則爲清** 窮 人 źĺ 。惡 見 見 佴 可ぃ稟 ·言 펡 不 祔 7.其可見者日1 氣。 氣 月 底。之 者。則 之一 人 能 功 則 此。住 糸と一 唇暗寒暑 無 物 爲 B 溪 自己 爲 夫 바 為不 是氣稟不 然 之 有。 胡 易 云。要。剛 聖 自 可 極 形 死 安國壯年嘗觀釋 基。 力。暴。賢。成。 性 雄變化 Ü 好 也。散 者 去。偏 邽 故不言氣稟看來 (底入何疑) 為堯舜若勇猛直 り 別の海 月清 之物本。之 而 自 用·京文 是 被 這 是 被 這 是 被 這 ! F) 同っ有 不 孟 柔 。如 厚 明。凡 理。可 生 囮 其 善 (孟子) さ 匉 夘 ፑ 裁っ則 見 中 氣 氣須 ٨ 天 。候 天 來 則 未 稟害 而 人之為學二人地之展 道性 地之 善 和 甞 爲 Ė 止 而 其。柔 做 Æ 底っ 有 無 矣。己。勝。弱 前氣稟 如 脊 善 A STATE OF THE PERSON 筒 Ż 運 夫 。有 無 妆 而。之 氣 歸。類。稟 性 不 却し気。好 時の萬 也。可 生 是っ人 老

切 廣而 何○批 収 丽 國 為。 差 究 Ĩ 書 ・削り固 業○屏 哉o根 此。至 家○不 要っ 繆い竟 者○性□有 芨 以 絕。 物 E۱۰ 無所 抜 充 夫 於 疑 知 不 也。為 成の非 Ŧi. 兽 貫 彻 本 さっ 良 畫 肵 至人 堪 故 其 不 而。外 典 答 丽 達 祏 知 與宗 发而 タン | 無 検 : 行っ理 偷の鑅い ž Щ 察○贑 差。 於 殄 良 得不 而 先 要○端○知 盡ぃ五 丌 便。 滅 天 能 之。下。爱 能。門 不 流 第 矣 遊。理。釋 内 聖 矣。典 是 釬 曾 要當外 述 門 天 欲 事 始 幾 異。 正。釋 親 之莫可 本 反 敍 氏 不 擴 也の書 枚。 相。氏 敬 啊 來 也の心い 낈 雖 不 皋 た。一 日。 其。 反○則 長 書 則。致為有以。 結。 障。 了 不 枚 邚 有 莡 亦 Ü 可 誤。 也。以 文調 之 相 自 Ħ 達。而 貫 未 理 認。 而。為 本 妨 方 致○接 修身至於 祈 Ň 充っ登 免 之。盡 聖。 以o前 中萬 何 心 **充良知** 三知の物 於 Ż 四。太 物 知 性フ **香之意**。 為。廛。也。必 為。應 用 説○端○山 셍 之 乃 不の為 儒 : 始 合 泵 ・事 焦 悸○也○致 鉃 至 聖 相。妄 右 彼 良 天 窮ロ顚 皆 察の也の門 不 Ħ 五。四 妨○想○則 Пo. 而 理じ倒 典の増

詂 飆い簡 老 此如 之。其 廷 誣 無 枚 省 此 寂 -J.[→ 元 非日 · 是 泉 安 不っ祉。姜 `狄 也。是 -無旨 冏 察の 30 非。耶。則 亦。共 嫄 ίĩ 危 Π. 百 4 不 臫 浴。史 謂っ其 生。决 出 瑞。上 道の可 動 来の犬の ī 通 野。見 記 手。商 無。宅 否 其 * 之中。遂 典 忿 故 mı 造 北 燕 載 녜 周っ見 耆○奺 則 古 ż 古 之 任 火 非 **1**50 在其動交之間均見鬼神 (安大率類此引之所以不信号 (重也) 曊 帝 和·安·死·卤 信 E 說 相 其 顩 道。萬 YĮ. 是 心 有 矣。人 共 粵 展[°]尚 猖 市 是 壍 倉 Ŕ. 無 其。跡。卵。元 天 · 大。在 子 自 # Ż 道 苁 者。私 真 取 妃 解。理 下 妃。忻 足 備□空 是 意 t 之。然 吞 白 但 态而 耿 彼 無 被 # ŵ 滥 所o践 之。姜 信○嫉 述 Ĺ. 遂 有 40 無之所, 百 以。之。因 娘。 关 令之 上 如 ふ VI. 矣。主 年o生o因 生 솟 Ξ. 占 穮 為 此 ilii 遂 -是共 羿。 妃 疾药: 去∘生 也。凡 吉 以 外 神。稷。為 E 無思 無邪 ŢĻ 當 爲 奇。為 商 镝 能 筮 搩 歽 真 妖。周 後。 者。 適○存 矣○是

漦。之。矣。史 颠 嫄 IJ 然。心。不。儲。也。之 以o故 也。之 降o吁c介 之の之の踐の手の祥。陰の使 生 酸っ 不。天 遷。笺 為,此 枚 妃っ是 民 有 之。臣 之る陽の翠 IJ 之。元 丽 止。如 祀∘又 天 稷。以,何。人 物。之。人 能 說。後 誣。皆 載 命 郊の遷 何。东 昇っ簡 姜。之 哉い和。而 久 。型。日 出。有 旗:求 震 克に 鳦 之。狄 娘の跡っ燕 積っ有 其 化 人。聖 於っ吞 載 產 鳥。母。姜 之。詩 こっ懸不っ然 堕 元ぃ典 劜 也。人 侯。之 爲 疑○踐 凤。克 哗 不。如 邺 氣の於 稷. 。夏 非 詩。之 層の過 載 祀。 而 如っ為 白っ在 於 而 人。而。事。帝。也。生 爱、地。前。英。点 IJ 生. 是。淫 其 鄭a當 武o毛 衰∘人 裁 商。也。決 弗 也っ走○取 以。也。離 之。毛 不 爲心公 育。無 錐 厱 無. 又 而。而 生っ吾。宗。 姒o龍 從。之 可 子。 然。法 時 謂 初 斑った 之。以。何 IJ 厳 又。時。高。傅 及 度之 之。之。义。爲。如 惟 履 i 生 吏 行 四 也。山。未 辛。詩 帝 民の遷 戶 浴 且っ篇っ焉っ天っ此 0庭 この也の稷 。盐 於。始 き 甚 畤 术 不っ伏。用っ地の之 出 矣っ信ぃ有 惟 意。者。野 行。以。而 鮫 殿 c 共っ此っ必 o 不 避い選の選 及 鳦 言 飲。 姜 苾 帝。而 竹の喪の二の將の群

買長 程子 莂 之。不 放 也。者。之。以 狄 日文章之學二日訓 俗 者の板 日古之學 知 吏 抄 朱 之 况 本 也。平っ葉 っ妖 而 ٨ Ж Ź 派! 自己子 یح 後 \mathbb{H} 式 秠 大 杰 日, 吾の鄭 心。作場 體。所 夫 許 世 源 杸 ه ۱۲۰ 耋. 非っ准 天 日の康 不 卷 平 ٥Ž 公 。 能 移 信 悪っ公 下。姜 誰 Å 称 翰·書, 夫っ窓 嫄 知の為 風 \Box Z 生 奈 哉 之性 帝 **决。**也。 誕 则 典 生 也 易 轷 ,何 र्वा 妖妄 Ė. 也。繁要 **今之學者** 體。俗 俗。繼 则 不 **4**IL 并 踆 訓詁之學三日儒者之學故今之學者三異端不與爲一 三事 非。吏 使 日 訍 葡 跡 夘 ħ ·**录**。所 秂 書 之 事 無 夫○氏○無 則 優 之惡 為 徒c之 遷っ姜 *静・務。 下 杏。 書。 售 , 昇 共 杏 或。也 我 0 又 之。氏 っ生 以。在 刨 索 っ這 為。於 焚 184 可 隐 而 以。悪 者の或 ىلە 子。 不、之、姜。日。亦 丽 其 過 信 教。刀 人 吉. 行 重 基の基 津ャナ 'nι 群の事 類の然 怪a我 눖 嚮 書。 欺 熟。筐 誣。固、疑。則 進。 商 有 亦 如 迷 世 能の後の類 疋 如 孟 聖っ有ぃ而。稷 褒 斪 從。而 PON 杰 人の然の棄い何 姒 非

李 司 免不 然。之 以 偽 文 延 是○做 ・一經 者。馬 邚 頰 在典之所 鞩 凡 典の制 幽 鹀 拾 稲 Z 莊 7 理心移 觭 温 道 A公日♥人5 利。徒。明 夫 臣 勒 信 來。日。也。而 犸 -东 仑 世之所 人道 [古之德· 佛 Ź 祭 如 乘 如 才。不 幽 日の傷 載 於 礼 漠 理 * 出 其 易 僻 之禮 凡 世。末 所 後,而 而 語 平 才。知。之 日。之 Z 怪 に之典。 一名談話 一名談話 調扶盤 1皆是 之五 被而惑 強強 信鬼 天 绚 人。性。則 下 秩 具 言。也。盡 礻 以 理 道不 神子和。其 假 端之 話。句。遇。而 欺 盐 可 降 學者 神 不 福 皆o不o捨 人。性 神 非 有 所 U 行 慮 自。遇。之。使 可 U 追 經 序·作 朱 鵬 民。為。正 **胃**。命,其 鷘 剘 栭 人 至 · 亂也明主 《之喫菜事 魂 Ž 干命。 典 非 N. 由 術 而 不 發○襟○也○實 跂 欇 此 以 無 是 共 所 得。能 而 後 流。 懸 → 族 也 。主 剱 載∘族 所 天 涮 行 耳っ之 稨 遠 而 世 1110 害○主○地 邪 P 哉。不 非 不 魔。誘 . 41 夘 Ž 而 術a 是。可 犷 者。從 元 Ż 쇢 不○及○論 頟

未 司 陸 程 子答 稷○之 馬 中 構っ宣 人。本 是 此 聪 略○然○父 伊 事。温 不 办 其。於 及 뷴 絶 稳 砂の後 葬 川 邪 土 連 乎論 心の後 日。公 義○履 日中 處。商 法 優っ來 時○日○術。民 嵩 性○事 日。明。行 易 且。音 葬 是の只 亦 世 弭 惟○其 之為 或 矣。得 天 卷之 武。絶一地。用 用 M 禍 日o欺 不。心。問 失○人 地 亂 衕 之○欺○日○廷 肵 而 施 書に一 如。何 旣 書○穆 理 數 謂天地之住。 其 助之由辨 之。其 専 吉 何。故 也。法。人。多。端 而 進 可 為。事 |X 某∘如 4 但 或 倉 惟 也っ 之報 得 用。之 胂 家○此 長 風 闁 長 地 治 子の君 何 乎。 化 名 調地 憑何 告 至○下 理 子 如。日。 象 其 今°穴°地 信。之 餌 ŀ. 日。事 於 人。某 理 厚 文 書っ 惟 罪∘ 我 至 神っ 戴 此っ理 性 ŧ **L**∘應 人 處 字 最 (之 性。 先 天。簡 乃。亂 命可 戜 藪○之 到 掃 亦正 足 兄 無 下 矣○問 倍の日っ葬 天。之 矣。地。奥 義 豊 履 不何 命の故の謂 矣。固 處の某 日。某 理っ 有 地 🌣 神 由。必 研 夘 日 用 Ň 只o不

胡 敬 赐 往 亾 私 上。有 彼の則 濟 者°生 477 有三品楊子見道不明故日善惡 此。妙 往 Ż 是 己 認 Ü 此。此 我 祈 Ł 曰°亦 Ź 若 卣 之科 萯 理 乃 性 ○得 É 之で性 天 艛 看○孟 死。性。果 無 理。却 ₹. 把 間の自 地 亾 故以 子 肵 更 毎 邚 まる こ 雅 共 意 扚 筃 释 私 死の是 之 爲 在 此。若 施 不 性 陋 赱 Æ 作 槗 矣。生。天 Ī 理。 性 本 其 由 各有 則 之 尤 兇 弄い神 岩 而 古。地 耶の此 為 原 造 天 學。者。到 是 流 稍 魂 Ц A · 間 Ш 訦 恶。上 。韓 看 化 地 界 ネ 諱 死 本 尚 娘 《我 之。一 我 亦 看。矣。陰 限い箇 可 خ 是 何 쟋 别。箇 有 寪 焦 未 子 故 是 陽 ス 天 ψ 足 肯 夘 垂ぐ難 分 主 為 在 Ľ 豈 造 相 地 此。與 放 有 44 耶°非° 日 共 魚 性 有 舍調之一 化。交 性 伙 Ŀ 4 諈 푯 死 道 若 旭 質 Æ 襟の中、 其歸 頭 此 丽 共 是 死 丽 理の以 **ぶ** 八生之就 退 善っ理 c± 败 剃 徒之點 爲 別 物。於 更《天 不 舠 程。乔。荀 手o天 名 宿っ 有 說 死 Lo無o 此 卽 自 爲 朱っ故 子在 若 地 换 實 ځ 丽 然 人。為 此 便 0 11 坠 姓。干 ズ 者○性 非 物。主。說 ふ Ħ

可 阑 巴。平。善 春 以 養 不 養 觏 死 百 乎00清 兼っ 臩 上 後 却 之 且 。 東 川 縣 有 死 ○春 燕 c 廃 ij 4. 月、温 **美⊙**○ 脚 **بند** 귮 形! 受 天 或 艃 非 公 理なっ日々に原っ 45 君 唐 金無邊 神 堂。造 剪 年· 日·朱 養。氣 子庭 相条 爪 爱 像。再 世 子 √荷, 也。島 件 岩 剃 拔 種 脩 巷. 俗 日、肺、疝 點 o何 c是 遊 刺 不 串 風 形 髮。吒 建 種 除 信 人 炒雪。 婷。 待c 史李 以至 紩 所謂 火不 從 ž 则 伙 塔 丧 俘 ىل. 重っ斯 屠∘共↑ Ш 無 味·樂·廟 入 而 ∘飯 曆 夘 李00 為 所。親。其 則 舟 公 天 郑何 於黄 麂 殊 僧 不 눞 誑 卒 ずの明 之。親 Eo.典 行 堂 研 不 為 為 設 誘っ徒の知っ備に 免。不 0 篇 有 之。地狱 妹 Ż c 小 之。知 杏 妣 道 た 道 煙の **屏**.。 君 刖 書 佔 朽 Ċ 場或好死 人 者 妼 خار 4Po **裁 4 子 o 小** 百。鬼 者。使 腐 生 え 不 滅 死,如 覺っ 人 天 則 丽 þ 計 悧 竹 抑 今 地 彊 作 及 所oo # λ, 苦魚魚 僆 积 亦 焼 柭。 Service of the second 獄。天 水 七 帥。沙。 其. 積 他: 無 14 īlii 春 典 血~ ᆀ J 陸 七 逊。 則 勸 磨○木 於 惡。大 抓 F1 * 行。

狝 B 7 平 选 親 · 其 新 不 ĺП. 亦. 買っ悲 共 畆 関し 魚 푬 μ + 春 天 川。考 4110 任: 不 過。留 载 伐_{。無} 事 ○故 中 日。以 Ŧ 亦 地 營。至 7fri 天下 孝子 可 暴 意。有 之。論 到 和 人 小 者 有 某。有 佴. Ц 泉以 過。一。食 委 父 * 而 ŵ 悟 耶。之 生。面。低 世 ,之於親. 之事易於死天下之事死天下之 曲 Ŀ 亦。字。富 ż 毋 不 喜。矣。不 矣。自 ग 。 籴 滔 子。增 方 須°乃°書 4 世 剿 9 何 之。破 佛 脜 其 咯○在○事○殷。頭 À 志 平。産 者 莜 法 信 忽。 白 悦の親の常 É 熬 氣 也。 固 無 木 彼 泰 然 字。第。變 不 有 終 末 無 暢 示 天 入 後 Ż 悅莫 囬 上。一。雁 旣 В 病 0達。 足 141 人 堂 E. 何 用。傳。遊。不 天 乾 而 伙 與 誤言。入 囚 妣 共 Ħ 大 妙 功。心。只 焉。用。夫。口。是 乾 惹 食 ž 棋 c 共 静 易 起。惟 充 2 讀書 地 前。若 如 逑 故 若 幾 缺。以 잔 小 4 進 徽 果 ٥人 此。 而 E 疽 諌 有 也。悅 狥 徤 ◦而 見 知 死 有 丹·雞 不 辩 秥 飵 洯. 叉 安 古 周 之○若○唯 丽 不 以誠。不 順 Æ 極 Æc 者。羅 復 當 早の也の

事中 不 茍 可 几 # 能 至 杸 舜不 *i*! 身以 生以 不 m '計 别 允 能 未 以 有 也o輕 十 皆有 剪也 死 不 平 > 若子 Ż 所 若 重 謂 爲 成 害 正 仁。仁。而 Þ, 死 尵 之 λ 成 い 則 故 귮 灺 。死 🎮 成 天 所 地c未 浙 典 聖. 所 椠 則 非 路 也。 孔 不贵 生。擇。天 茍 無死 贵平 下 生. 之死 有 也。書 所 以 る 乣 君 子 。之事 示 害の能 于 所 。 下 杫 木 然 所 狼 謂 所 j --外干 **生也故 | | 之所得 握。之 在。能 殺 孔 見 业 成 4 Jŀ. 生 星 加 者の事の 杏。 有 並 天下 也 蒯 死 兒 人 有o子 か 礻 生 生。正o死 4 非 謂 其 瞶 ・其っ 於 不 未 與。亦 宩 可 未 酢 之 為 萌 犯 君 不 天 人 所 子 萌。事 仁。连 7 不の変 肯 者の能 平 。以 當 正。益。之 。莸。尔 茍 謂 得 成 死 桓 以¢知 而 天 Ϊĥ. 必 而っ生 天 亦。幸 聖。而 免 明:幾。 死 C 下 ਜ 可 。之 魅 礼 一 元 以 之事 生. Ź 死。己。也 盍 平。而 o Hij Т 難 其 洱 所 理。又 髸 君 不 不 殺 北 人。至 タヒ 则 然。死 干 奚 矣。死っ之。干 至. 可。是 故。且 īĿ. c.tk 所o難o於 也。有 不 也。也。見

郝 之論 兲 12) 11) 整: 万 至っ氏 E. 死。後の知 右 c所 謂 減っ木 င်ကြီ 何 腻 1 刑 此○比 事。印 使 孔 -Ŧ-不 心气形 迫 之の必 į, Z 之剪 1. Ψ, 而 肵 孔 子 路 之 μ 様の死 : 未 -50 不 擇 4 苔 呼 死 事 0 子 日。之 未 西 遡っぱ ** T) 哉: ≉ 心 の敢 20 君 푡 死っ死の Ē. 於 郑 死 之 代:與"王 天 知ら育 子 其 沔 仑 以 肵 於 IJ 撃 孔 來 惟 事。不 果 之 金 修 共 D, 難 死 医の女 人 7 A 縢 育○周 出 卶 欲 <u> 1</u> 事 1 (6) 利 者 ○矣 ○則 之 1, ٣ 非 尼 場 凮 IX. 大车 17 有 Ħ 排 處○者 後 肵 顏 死 謂 酮 24 191 Ŧì 雷 然一謂 應. = 固 Ż 金 歽 世 淵 冬。不 若 411 之變。武也武 .997 JH] 「有 矣。」 有 是 人 17.5 典 芯 未 <u> 1</u> 有 顏 $\bar{\mathcal{W}}$ 必 取 曲 曲 址 沪 人。死 也の也 人。 肵 11 Ŧ. 捐 何 徃 刑 王 刑: 患の 事○然 特 不 之 IJ 族 日。子 不 死 實死 皆 大 矣 収 17 未 415 愚 請 食 -<u>b-</u> -明 0子 畏 亦 馬 若 計 主 肯 周 不 義 在い於 為 代 果 減り 其 生之 悟。公 ż 4 1: 炙 得 理 ^ 顔 匡。死 1. 10 ल 是 鼓り 合 먣 共 忠 不 爲 . 何 顏 然:也。 11. . . 道: 死 : 押 < 如 ılı 叮 敢 漏 則 方 *t∄ ∈*

唐 $\bar{\beta}_1$ 權:是 其三条 巫 家 未 荆 怪◦怪 有 其 ာင်း .Г. 目"東 11 11. ŀ 11 之。之 <u>-</u> 巫 而 办 川 **談**。 所 任 燦 梊 崮 星 奔 1 問 然 日。可。有 接一奶 空音 明 17 日。共 水 相 馬。也 走 o pp 語○哉○有 🎮 於 水 泉 ĺ 怪の心 . -堪 귝-相 私ご "人耳天下 ?" 日 귮 巫 夫 尮 14 湖之 也。 271 -111 仝. 生。全 奎 其. 奥之口 椹 ŀ 凶 聞 子 樂。 É 安之而 使 渚 膝。 人。與《乎。者 之不 星 幽 羽 雷突然倚 o #0 浮の受 未 亦 而 常 未 驟 相 有 定典 芝星 褦 面。命 何 不聽 共 煣 必 タメ 堪 藷 示以 鬼 之 丽 >出た 親 然喜 人之吉 吉 喜 。輿 怪 型 o ∭ 。神。 票 温 於っ得 従 焉 À 之家 是 非 本 空村 7£, 習の英 鈩 ĮĮ. 悠 П 岩 而 見者 日 凼 巫 灈 循 無 2 事. Τpi 打 见 是 И 人 聞 -而 其 瓷 P 101 e j 久 7.5 弦 炉 悲 悲 者 星 開 感 之 怪 事。 ŧ 差山 a .jt. 存 富 и́Э 1: 驟 相 也 Λ 焉。 乗 必 ; ; -j i $\{0\}$ 1[, 4; 淵 火. 7. 然地 喜 H 也。夜 ţi. $\frac{i}{2}$ - 1 įij "} ~ 7 命 ** 榍 Ż 本。也。 つ背 2. 2. 詳 张 (王) マデ 亿 23)† |Fr| JL. 紩 っ子 刖 Ż 平。 無い何 以。接 凶 即。際 たっ催

|朱子日今 菆 不。往 而 有 葬の 。 神 之 家 鬼 水 離 也 面 知。真 、羌 惡。爲。至 矣或 好 。以 枩 派: 吾 Ŧ \bar{z} 杏 而 偷心 群°於 办 旣 其 待 ż 數 人。中。術 П - 不 行 家 銀。 人戚戚不能 然 朽 詙 而°殺 徙 取 吉 說。率。知 之 而 Д -**T**-칷 **敷。之** 爲。人 之。主 地 至 4 自 死 . 其 抖 朮 憑 骨。精。孽。而 甚 奥吉 者。所 巾 . ت 奇中 其 茲 之 觐 鬼 所り 者 說之 畫 稻 也。不 數 而。始 巧 尤 乏 不。 繭 稠 夷 止 或 休 + ٩ 之說 費。意 熾 蔡 心"放 可っ に信命者面に 灇 4 僑 鉄 章 年之陳 行。慈・其 故 者 與揣 奇 自 水心 羂 っ騒 * ᆌ 饒 孝。初。九 共 至 中 B 神。 ım∘ 若 Ż 牛 뱐 歉 使 多而 。堪 之 輿。說 人 如。本 壓 故 常っ 岼 ネ 稐 輿 Z 씱 丽 子 是。以 ·2 贫 揣。 無足 Q 見 而 谷 驗○殃 家 間の非 不 孫 而。候 共指 宜 青 人 摩。 而 Ψį 慶。 之意地 有 免 露其 上。生 九 其 而 平っ 入於 道。 ** 天 昂 盐 驗 畫 山 拿 入 pp 共。 戓 然謂。 答 道 之 春、以 崩 木 先 未 氣 っ 之 。 天 耂 ٨ 信っ 亦。 焉 速 積 懼。莽。水 基 入 地 っと 憑 始 Įij 巧 不ら 其 付° 也。善 其。往 酱。者。 ふ 可口 有 甘 麦

1. 使 學。其 豊の典の露 如 之叉 Ш 求 憨 火 兵 但 姕○何 知。之。那。 耶。新 Ж 道。 140 適。也。又 士 典 形 外。名 麟。是°蒸 闁 Ė 化 4**%** ¢ 火 昇 信 妖 狀。然[。]世 問 不 土. 神° 成 Щ 也。既 郑 亦。 逑 為 僧 道 Z 某 英是 をご 人 木 鬼 郑 此 。耳。又 大 有 爻 减 っ人 只 火 加 售 常 À 川。 雨 令 叉 間 恘 神 極っ B 歽 辟 者。皆 E 至 因 人 身 能 闁 蜇 人 名 状っ之 摯: 焚°火。曾 某 在 若 如 洄 自 興 新 是 上. 不 飥 ılı 必 天下 此 此 ○州○於 雄 雲 扎 加 有 、大 有 状の語の 是 後 四 也。一 삶 致 物。此 祭。川。魚 葥 妖。 雨 語 昔 無 州 人 位 有 日 露、雨。從 理。則 能 蔛 有 倉 定 牛 霻 有 · E 雨。只 大 土 郊 何 餋 莫 典 矣。情 驗。日。官。朱 聖 邚 遂 妖 都 處 雲 日 木 有 須 ○狀 何 値 诼 定 彼。見。指 亦 出。水 致 不 有 易 否。 υþ 城 也 不 亦 身上。 只 及 爲 £۲ 說 復者。於 早。神 雨。說 程 0解 昇 火。甞 闁 蓋 誓っ 此 便 否。何 鬼 子 時の天 僧 定 來 μJ ٨ 驗 有 Ĺμ 去 郊 日。也っ神 $H \sim$ 遂 問 驗 日。耳。 雨 办 抻 只っ日、便 有

莊 退 Ż 虚 學°定 亦 神の有 吳 西 肵 配の 者 做く 髙 身 無。其。山 思 梁 至。埋 姓に或 共 他の余 老の山 事。 節の者c 袻 百 害。日。夢 之 武 事。 此 而 聖 見 夢 日の待の 有 佫 人 不 足 甚○佛 帝 然 Ξ 木 實 世 人 得 肵 夢 何の 跋 夘 於○老 闢 不 志 趙 をた 人 得 脈 ibo 謂 人。 間 z 痔∘ 詜 矣○佛○之 入 反 者·梁 正 於 武 吳 Æ ٦Ĺ 思 所 理っ那っ Æ 老。害。者 1 者で至 產 .Ł 姓の無 歬 芄 子 夢 者 最 情 學c則o於 者 過 也:廢。王 Ë 誠[。]夢 漢 者の為 帝 因 4-齊治 又。富 + 人中於 其 ਔ 夢 ĸ 物の故 見 念 精 定 Æ 佛○古 量、楊 , is 而 河 쮜 背 於 Ħ, 周 有 微∞涨 平 入 老。利 押い果っ 北 *y.* 不 女 召 妄 夢 公正 周 不 之理 之○達○哉○人 大 正。龍。 **鼠**o諸 您亦 木 此 那处醴 至 ○學 c 所 o 患 為 漢武 皆 故 人。然 総っ 雅 仡 肵 故 占 #Lc É 無○得 攤 秡 郏 共 實 來 丽 謂 麥 赳 儿 赶 也。患 掃 兼 之。 夢 帝 有 思夢 朝の宮 귍 亦 ٨ 有 是 丽 失の愛の科の 隨 惑 其 캎 夢 ılı 中 矿 肵 遠っ對 柭 謀 寂 寒∘ 之。於 c侯 王 果 躼 īF 誷 狐っ正

Ι. 表 子 表 子 見古 要与者 L **嫁娶不** 往 故 仲 學哉 新 被の 伎 在 楘 任: 邚 七 民っ 題 逝 Ŋ, īfii 世。病 則 日 夌 只。匹 果 富 祈 不 £ 也 班: 息 事. 指 不 **建** 釋 稿。吉 有 世 夏 是。大 貴 40 知。 Ш 来 屬 准 乏 能 以 所 俗 為 8 盛 c 子. 是 洏 崩 夋 程 聠 之 嗣多或 汰 Æ, 不 ○犯。僧 至 П 冬って 夏。誠 手の巴の髪 風 文。比 才 遂共 作事作 前時 不 袒 降電 襇 感。感 빞 利 豖 夋 歧 쌁 • 本。 遊 票以 J. 箭。芙 而。天 分 寒。地。之 達 葬 雅。唐 响 進 4 擇 術 A。 族 移 而已。 而已。 即 李。 , 學詩 之有 點 事之後 μ 見綱忌而 H Ħ 月の徒の為 邚 必無 傈。 囚 立っ 綴 勈 Ž 實 祭祀 角 人之疾病死 則。有 者 媚 紛 序。 得 稲 い論 鬼 此 有。此 有 剱 む 不 合 華 ○科 褊 見 矛 之皆 2. 产 丧葬 难: 之。理。此 剽 不 知·有 来 不言開 觸忌而 能 凶 当 理。如 乎。竊 知○丧 前。 題 不有 安言 則 툰 扩 外。鄉 葥 鳴 书 五. 九 掮 戼 作 丛。 之。衍 世の呼ら 奖 綖 某 亦 以 놤 也。相 事。之 被 址 祭º四 叨 有 船の為 書○官 四。凡 罪 則。說 何 坐 青。說。是

败 。 祭 之 具 所 從氣 亦 祭 固 問子 此 在 H 自 70 北 有 如 有 言之逢稿 如之何有來享之意否 嘝 易載八 至。從 不 氣の火の如 氣 類 氟 在。斯 旗 示。意 達 杰 Ŧ 神 類 m 然 類。祭 犯 不の也。腎 猜 自厥 祭鳥得 祭先賢 拼 P 亦 É 不 参え 肿 月っ 專。里。不 掛。 葋 有 致。 易之理。 可 舟 如 祖。明 獲 芒。人 猚 の背の房 初 简 人 想 神化。 矣。喜。 不 加 之未 春の皆 欲 薦 生 泉 **乳** 死 問 丽 茅 令 ネ 外小型 氟 天 不 來 如 若 必有 泉 在 先い棚 慎 貇 此。 邚 ė 地 來 飲予っ 祭其他 天子 定っ信 Ţ 冽 散。山 山歌川。乎。 何。化 畢 朱 漏。信 丽 Ħ; 於い向 。鯔 H ٠Ż 苑 如 髙 剕 選之未 小 求い 避 刖 義。不 И 祉0是 功 是有 侯祭社 何 卆 祭天是 亦祭共 日。君 時の 不 義の枚 勨 因 祭孔 德 框 致 子之於 祭 沙患隆 疑っ以。抵 -艮 在 侢 何 之。 徝 其 被 دلا 定。化。時 人。到 有 日o物 Ξĵ 櫻の 共 所 彵 有 立。要 書 故 此。此。只《事。必 人 胍 亦 血 酮の酮の列 決。非 世 是。則 É 其 於 先の神の Ħ. 以。垩

楊升菴日張 7.5 **傲睨人物** 氏之徒首 宜尊尚哉 為人之不幸使讀書而 堂 鬼不 機、 顧怡康 一卷 不 致日。胂。生 骆 有不 報 東 人之不幸使讀書而不知道章 敗俗之罪尤大故程氏之門以 殷人物荒淫不道往往爲之未 。賓 王、 康 。之 氏 逌 之。是。伯 故 他 · 伍 世 古 節日若天命已 日, 可 傢 Ţ. ·横梁喜論♪ 輕 張 自 章 こ **復** 之 者○心。 道, 浆 ٨. 百古文人 仔 說 • 升 共 見っ子 祀 · 淺 鬼神·無·獨原 一種·獨康 **3**1] 勝於 心 五 降口 い角 繋∘ 帝 o邪 於營水富貴之念三代之盛。。。。。。。。 命。 如 舸 只 知之矣世 因 宋 可 物。 7 他 □是 問 玉 者 事。許 彵 加 了°多上,原 康 此 相 絯 便 ~ 屬其鬼亦不能 夫沉身 節 ・並 U ī 如 後 誻 ٨ 八致死之故其一蔡云可者欲 疾日先 一復矜 俗 1 高 人。楊与 世 旗 肵 有 臣 + 雄、 謂 之禍 下 能 共 逝 偤 班 命 σ生 文 15 者 固

推

章c循

慧っ蘇

庶之家一 徒云耳 當然之 之也 ij 肕 孔 然盆 師io 定 不 僧之 意者以 妡 之者 *然見聴者未及為有喜樂之。 升 卼 亦 Ŋ 數c知 堰 之禮耳共、 天堂 不 亦 在 有 日。 大名 日。 森 子 乜 口追薦之說惟 看以其名利人 所謂 煉度者 郇 ッ岩 · 米時 止 肵 祓 扎 夫 y, Ž, 巻こ 茅 4 数 ・竹 共败 為此 ·未必有: ij 不 稍 萬以盈 共 之言 弘 拒 亦 井 作 温吉。 未 名 8 無所 畏 死。小 固 老益 盛 ○佛 冇 块 邚 八也 夢見 鶴 世 叉 入。有 事。故 ·善恶也。 1怨耦 彼見 浮居氏 大 節の此っ 行捐 八共視 根據 双 俗之談 温 為因果而 非 介 豊 。不 **个**世 ○適 泮 쾖 公 者 兵財 超 共 葪 書儀 屠 因 教 有 者の者の今 쑴 Ű **不** 厚 游 笑 襲 不 之面近 教 来。以 野 1t 諈 食 凼 作者。為 ġ irj 而爲之 可用也只言浮 財 必の為 ٨ ДЬ. ЗШ. Y 於 亦 畫 弹。有 凶。怨 ĸ 人 . 天 下。 Ш Ŀ 然 世 短。存在 見 格子 優愛 效 梸 Ж. 進。 亦 Ц 難 地 屠。 黄 而 烾 高 L 杁 Щ. 然。 士. 而 冠

Ťr.

瀏

萨 巴。彼所 雖。文 為言 共 也の做っ是 從何 之 為中。然 恐其 夫所 者∘ 斪 财 科 歸 П 斱 且 親 不 心當親死之 讃。公 語 無有 鞠弄是以 而 俵 不 乃. 间 屲 指 談巴之吝 族 豼 謂 文月之之 o팀o 手欲 得 榍 敢 姻 為 士 潚 巴加 Ą٥ 念 庀 加 夵 戚 者。大 天○書 以 Į. 說 葢 P て 徑 夰 為3鄉 夫。 然 用之也 攻之非不力而 下ゥネ 攻 攫 斯· 財 我 Ü 行。 Ż 平 跭 念其 汉 旣 | 撃 共 之。體 民 中國 免苦 入。 一 則 特失於 Ξı 芝 費 깐 仕 書の貼 財。 叉 Ň 也。他 寒∘祖 飳 《非而不知》 乏 人。 着。向 in 無不 彼 反 办 中 父 ż 人 無○自 餉 佛之 示 謀 簫 裂°有 瓦 家 編我 益°家 樂 如二 究 。其 栴 Ľ 來 っ Ť, 如 也○身 **卒**莫如之 郑吾 つ言止飲! 未 苏 鴪 見 Ż 此 世 J. 教之有 覺 儒 乏士 حار 有 謂 散 不 の襲 Ы 者 亦 芝土 上 膻 担っ 所謂 稽 臨 兒 っ孝 丽 為 觙 Z 方 天 古 Ä 教 水 其 我 此。知 Ì. 柄の孔 直。利 堂 推 而 欲 經 親。何 觓 杰 其 也. 奪 乗 业 儀 依○瀜 文 行○傳 欲 人•凡

羅 朱 慗 之不 7 之 用の止っ此 然(思 西 僾 散っ子 而の初っ其 分。而 卷 無 共 人。共 花 Ň 山 是 供の無い後 有 Ðΰ 應萬 肵 日。正 非 미 心の體 當 F 0. 曰:都 散○精○必 生 秂 見 豻 在 神 然○之○雖 如 퍔 夭 散 無○神○散 办 地 李 傅 於 事 是 妙の静 明 朱 高地 無 復°寄°而 有 了°夏°寓°死°死 道 之 與 た。 オール イール 設 褲 75 正。而 鑑 有 ○化 教之事。 道設 杜 也の無 是の可 惿 止 下。 有○於○能○能 雖 其可委 知此若 銪 其 可 如。以 有 水っ 萬 形○太○知○原 Fil 教一 無 礻 此。變 不 象。虚○其○始 用。 物 生 夵 異。 察 委 物つ可 廙 流 ○之○生○而 生 八大倬 吉。 可 人 人異端 槗 是い如 行っ 留の中の也の知 不 之有 И 近 無 静。植 木 分明 於。則。得。其 第: 他 典 世 用 之 寂滅之 真○知○于○聚 中。木 庸 漢·共·氣·而 之。死·化·生 誻 5 งมั่ง ○不 是简 涵 o 死. 而 也の禮の儒の 歽 o死 o化c生o有 吾 μ 動。灰。 葢○命 多 道 以 放る 內。也。之。則 生。體心盤 洍 錯 一ぃ德 ÌΓ 死 中の明 樂 無。自。必 E 必 除ご計 ê 灰 猴♀水 死。氣○然○知 É

英此義不 至公言持衡之言達之天下萬 並之言持衡之言達之天下萬 本個重之言因事因人者中 一章之言, 程子日。 見如何i 孔子言人之所 先說與在 岡 夫っ 矣○神 用。 **嘆息之聲亦不會道聞** 書名每以偏重之言垂訓亂道也 道 而っ陽っ 1古之言 而 رځ - 形狀如 名。謂。 四 某 · 明。時 至 不 寒え一 之。道。 鬼神。 處 爾 o 陰o 信者目 未足 漢武 使 太○天 陽っ 燭o耶o貓 不 聖 地 不。 信。理。 當 不。 開 E 帝之見李夫人只 過若於 人 間 **治**io 共地。 目亦有不足信者此 或是 IJ 只 之。 是心病。 香之言。 不講。 等。 等。 是此 如何言語亦 神 謂い 故想 可以 萬 道 声中の 世 設 理の神の 或 以○神 出 也 矯 者 我夫。在。也。世 老の教育 ź 故 逍。 是 為0者0也0 日觀 굯 。目 信の皆 為道 然武 不 iÆ 미 仮之 天下 丽 者 則 病。也。所 聖 Ł 不 有 天 今 如 帝 傱 示 偏 服

陳北 後 **刘**出於上 亦 主 族 繼○肯 所不 通。宗 極 氣 問 有男 占一 奎 而っ類 可 無子。 溪 後○所○姓 流滅 。人 隆ロ立 챑 ġ. 日。 か上世聖人之所造は
数然在今世論之。 已 前 И . 感。為 姓. 青日 也。 嗣 則 胂 姓 父·憑·匿 卷之 1000年之道也素以吕政絶晉以牛 積無 後 灯 不 九<u>矣益自春₹</u> 其 |
丸以 題。須。姓 聖 不。荐。者。人 離 之子。理 甚 小斷不可行()香亂紀度 族 歆 귮 人 間。 人 非 外孫韓 有 至(近)交 (滅郁 多是 袭 之 此 類。 氣 失o親o皆 示 孑 亦 民 類 祀。有。 混 ~ 潜養異 男。至 · 積之取 非 秋郁子取苕公子 不 相近。世 是 誻 來。雜。正 立 苩 瀧 為 6人滅之也以 歷。故 剘 所以 家 同宗叉不 大 非 後っ 似 分。立 別。宗 多 ÌД 公 其 娃 族。 勝於 有以 當 别生 之鬼婦 二之 衆 、 氣 脈 諅 古 B.特太常 者。者 姓同 女子 立。艾 一 介 項。 だ。 分 陽。為 前 相 繼 さ。不 具 魚 若·草·聖 磨 1 刷个 則の可 自 # c姓 後の有の不

程 子 言。如 日。巫。共 朱子 **载** 恐。元 学俗 追上 九數收不 有 日。 理 為。言。巫 岩 無。心 楊新之會 也。'由 o Mi 歸 於 畫。形 囚 理。以。 是 通 宜 者只是一般之乃 一之逐 E 皆 求□ 17 道。 有 後。只 之。典 亦 涉 里 至 鳌 然。 斬 妖 間。 獵 調作 該博 整謂 也c提 بر. زي 軱 郏 白。數 是 何 起 £, ĵ۰۰ 天 市 c た 某 能。用。 自 右 肍 火ゥ 也 所以有 0事で此 日、復 居 个 人不 Ħ 只 有 4. 火。頗 蹇 邚 ŧμ 有。息○巫 晢

1瀝液 | 総之|

周 濟○新 之 世。吾 · 日 · 古 聖 · 宜 為 安。日。事。 氏。自 人之 **≱**∵o %。古 彼以 顺 巴。聖 道。祖 任·賢。 文 入 艮 (子) 天 ·以·孜 RF. 檢。夜 त्रा 身。汲 身。汲已 存 重 已○惕 拠 o Ús 為。勵 灰·茲 先。夏 之為德 九萬之鬼 圖。動。 只。 走o 行。 井: 以。 行

廢職業家尚去 水之間為高 聖之清。 以滅禮廢 八湖。 虚 $\frac{z}{z}$ 人以即 無べ 以御杯于精麴之林為達士人以御杯于精麴之林為達士人 ĸ. 人開天下後 胚

放蕩於

西晉王衍輩

水禮法之外 | 如上行輩一出視 a

無所忌以浮談玄茲處身為懶散之物百了

經

心。乃

一語為 不

義之實。

铺排

斯便無 自垂着至

根

窮日

/搜博

吟 暰 而 ıł. 戻 赴

詑

其

影

搜 博覧· 司 則 己· 在 涉獵

木 求

記 告 憶·末

王白首一惟虚名之日依之是智,而未喾有一

の言

及

惟虚名之是計而

不

為

世

間

贅

成之 物

死不為

幽冥浮

知取 為 美。 皆有 · 青紫伎俑 而 参之二 為與是與非之議會 綴 是 Βr 北 Jt-0 (子史也) 緝 貿 溪 œ٥ 早早通解 特文之用 之。学 似 É۱۰ 摩 然の 돎 何 之 各 如。辦 っ為 ıŁο 而 朴 口。日。其。 以達 未省及 似。或 果 所。 者 夜旁之 萷 而。今

之∘非∘世

티 科

府。經

IJ. 為 學。所也。謂

也。學

過直行已意之私 天下國家之贵而其中 不養量之 請明其梗機及 於 。脩巳 **一而已若** 治 人奔 旦麻高

一 工夫欠缺本 工夫欠缺本

·際不 来 ,由 也

禅 故。

個 這賽

둄

治网

之道

小脊斌一

躡

要

津

政

叩及

.解

顔

所當然而不容

無窮之爲可

• 茶 往 ng

野於

涯列。 介献之

惡 惰

於 慢

抱っ 之

放肆

風。

進

足原亂本非

苤

淵

解 iù

基

爲

自

家

不

黈

· 他 。 得

ネ。戈

寒○後

有。恁

個。地

外。如

來σ何

片字之可

施不 當任 未 之則

1

道理不必

。則 何 往. 共

前 這 3

之。而 肵 言 形之 H 胸 萬 宏 自 文 0分 以 放。則 旨 有 而。是 科 旭 博 Ξ 斯 則 王 功 用 称 重 佐 商 Ħ カ 之 IJ 靝 悬 酞 群 以 世 P 聖。以 帶○坑 之文 當 訂 論。唇。相 之 ¥ 之 採 季 用 蘇。文 規 程 ≉ 꼐。 師 歽 諸 模 到。非 Ż 特 盆 學。通 學でオ 雅 绵 情。事。有 爲 質。 問の数の視 ء 팹 孔 不 蹇 具 造 止 心 敷 輤. 7 名。能 而、焉。道 丽 中 精 未。日。聖 箱◦繍 Ü 措 偷 名 伆 陳神 書の科の賢 柳。號 II o 爲 丽 舎 成 有 理。治 也。之。遇 調 # 素 有。來。之 ◦祉 德 司 圥 日 猇 體。來。妨。程。學。之 灁 但 爽 鄋 Ż 第 明 雟 H 者 行 源 心の不 騂 鐁 Ē 大 闹 収 然 莫 躺 科。度の正 未 儒の富 典。王 聖 全 者 七 非 果の間の稍 吾 면 14 何 節 人 行 之。有。柄文、字、祭 市 0得 養道 旗 在 同 帝。者。也 峚 足 何 目 。夫 дò 4 中 略 子 学 科 踌 雲 之。 11 以 足 肵 児 中心之 耜 至 平 者 Ħ 龍 謂 其 削 肆 渚 廽 亦 為 以 方 Ž 器 ほっ為 謭 道 舺 爲 外 i. 聖・和 न Ð 布 風 素。明、質、反。也。假 法。之

頷 家。之 顧 。 丧 重 yI奪 떠 雄 亦 則 不。使。斯 P 錗 有 日。乃 烈 畵 推 及 事. 少 審 抱 過。孔。世 此 蹅 曰。子 之 灰の産 肺の其 急。為 定 臣。儒 趣 以。孟。而 ٨ 夭 偏 辦○家 道○遷 聞c雅 秡 書 訓 吾。復。舍 圕 習 法。 輕. 地 符。傍 送 孫 ネ 貧 重 之 之。生。彼 有 角。而 鍑 Œ 木 ź 家 恭 性。學。于。就 0 學 11: 이법 緩 者 伙 拼 训 荆 書。三 母。急。 也。亦 人。鬼°諸 時 負 應。今。此 蓟 刻 者 日の管 之。亦。也。或 肵 地の弾 立 厭 死 世 萬 此. Ή. É 當 之。議 M 勝○有 而。不。日。日。理 1 廷 物 地 人 **₩** 浙 丧 鄉 Ź 終 性。所 注 別の師 巴。能。斯 朝 肵 11. 4: 在 М 連い出 煞。為 當 哲 囊。焉。舎。王 撕 翦 廣の列 身 不。 不 **水** 子 言 可。加 凡之 洼. 自 能。科。之 世 及 袓 鑽 封 111 而 日。孫 惑っ也の如 2, 當 贵 爲○目○法○也○不 1 1 Д 仰: 土 悬 門 至 斃 以ら 北 逃 家○族 者。自 四 么 吾 。 而 。 何 非-夵 都 比○前 魚。 个 丽 神っ 亷 之。遠。可 ílc 滅。擇 斯 il(沒。人。目 也故。 然 莫 o後 棒っ 不 郅 人 累。去。舍 祈 火。肯 者。也。則。也。意 其 稪 Ē 押っ 近 共 推 # ℃ 亦○假○於 輕 有 有 不 140 外

之際燕產之間 扗 術 不。に。偽。粛、五 物。 π. 。盛。 ماو Z 愎 神 地 輔 聽。隘。以。化 徳の興 經 之。 物の翁の采 道○削○隆 埠 聖。嚴。欺。色、朝 輕 さ 無 办 藥。 並 身 祭 震 人。如。問。五 種 皋○肅 法 不。 ·北王會朝李 海 採 囚 唇 徐 絶い係っ世の倉 暮 登. 之 可。 ٥ŧ 卵の兆 ○求 蘠 4 而。風。主。之 穫○遐 薊。 而 周。 方 m 仙 樂 不 韓 危 ○鬼 不○捕○聽○術 贝 仴 及 盛 Иd 采 大 選 · 等 · 天 + **1**T 選。終 秦 神 ○諸 語。景。其。者。山 景。 吉 桶 非 喇 之屬。王 重 始 貧 侯。 終。言。皆。石 世 覧觀 竒 類。 B 第。貴 晢 下 Ü 而 周 不。洋。姦。無 有 怪 扼 幸。以 怨 恨 c 宸 多齊 初 蕧 周 可の洋の人の極の縣 背仁 史 仙 鬼 掔 動 貧 您 并 福 0 室 **萇** 得°滿°惑°貲 圃。人 胂 言有 海 賜 人 漢 天 助下。郤 童 天 愈 弘。是。耳。泉。治 浮 服 廣 義之正 内。果 崮 屰 男 微。 五 欲 以○若○挾○變 崇 36 食 胂 1 冶 童 諸侯愈 元 新 甘 秦 以 明。将い左。化。蓬 祭 不 仙 鼎 金。祭 垣 女。心 師 鬼 王の可の道の堅 萊·終 祀 道。 大 茏 洞 平。入 於 而 神 距の週い懷の水 耕 之 不 祀 針 尤 事 海 神 兵 叛 Ż 而○求○詐○淖 耘

或 也。問 刑 之 理 記。日 葬 正 須 亦 詻 日○末○之。陽 致 不 者。學 是 信 享 。降い戻 福 腐っ為 程 世 之 夷 怪 入 萬 曰。魚 不 更。每。便 子 吉 胂○多 矣o巳o師 伏 Z 理 兆 古 足。過。無。是 能 B ∘鬼 儀○曠○嘗○張 辜∘術 民 會 唯 此 神 兘 自 須の物の變 夘 得 老 距 者 儀 日・専っ宗 至 之廢 2 之事 是。也。化 也の精 只 絶 然 經○意○之 以 不 初 白○鬼 是 不 之 。此 ο魚 及 年○散○姦 澒 之季 (族區 ं सं 惑。得○神 瘮 自 雖 類。物。靡。財。紛 是。為 中。数: 人 魚 也。之 疑 夘 毋 惟 有○厚○紛 否。於。物。 兵無然不か 有 久矣。 永 永 永 充 錐 分 或 道。日 原。遊 爾·共 亳○爵○彼 日 天 丽 充。日。只 旣○字○魂 日 不 務○祿○起 の淵 平 變池 Ż 要强 浑 恁 何 是○上○為 邚 享○之○竦○夫○玉 弊為 の捌 訛 論 験○精○周○女。 以 變○用○變○ 何 背。 頭。功。與 z 得 然族葬之 不 庳 能 斑 語 足。神。秦。鉅 可 以。 得○無 唯 尤 賢○存○夫○原 無. Ü 窥 J. 以○舉○之○鹿 術。 甚 疑 有 恐 雛 者の或 暁 朝 H 始 ゥ쌹○天。末○神 鸡。 늄 罪 亡。日。要 俉 懼の者の子 懼 ○會 **个**。下。三。 人。詐。 者。 得o堅o遊 其 何 以っ五。瞭。

Ī 黄 朱 他 仲 謂此の觀の而の 者 者0子 依0異 碧 、表 未 惠 。任 祭 邪。心 心。物。不可 冠而 人。觀 與。處。則 變 日 ◦能 日。為 者。之。則。為。 **-干** 之。心 無。或 往 -5-也 水 書 真尊 真 命 2 外·物·冬。 所。説 罰。兄 往 誧 华 周. 普 돱 Æ, 於 孔 復の之の者の参 六 以い日い其の第 ž 信 而 甞 吳 孔 氏 411 叩い有の理の他の 主 。或 親ο殊 藝 冢。觀 俗 未 者。王 氏 者。者 一。得。命二 煄 乎。問 何o蘧o巫 者。己。昭 于 殺 Ė 矣o熟 耶。二 心。今。物。 身。佛 異○使 봡 冢 稻 秜 洙 也 o字 此 百 卯。而。復□而。 者。者 而 共 Ü 序 師 有 泗 屈 省。 家。亦 為 能。有。不。 也。有 尤 观 Ż 學 先 葬。之 投之 原 若 不 主 管 物 命 說。孔 一。觀 以 魄 Ŧ 問。 而 懷 尊 待 耶っ乎。以。於。 而。心 儒 不 25 7 之 子 拜 恨 。於 孔 較 爲 此。友。物。 不。說。稱。相 遺 共 É 孫 先 自 n. 氏。而 客 心の觀の者。 2 二。然 不 接。身 2 意 成 聖 投 叉 實 耶。也。乎。也 夘 着。平。亦 彩 謀。至 焉。辭 人 湘 他。 信 共 T. 쑸 心の故の 也の日の妄 氯 或 於 其. 沈っ言 百 謬 命 則 則の以の 為。夫 乎。不 之 侧。基。 夋 鄸. 湘 其 是。心 家 矣。物 肵 日主。心 邶 共 儒 车 見

海

不 吳 讏

止

類の仇

P 之胸 古之 H 久 贬 也。 矣。也。温 月0夫 丽 嶌 性 有 廟 惟 쬾 公 1 於 情の以 進い共 足 物 EJ. 北 ○道 Ė 有 泚 雅 或 卷 狄 悂 對 Ż 也○岩 之何不 裁の謂 И 1 然、之 齐 將 也o奜 4 古 捪 进 透 者 美 厭 平,之 也c夫 性 於 「不と 帘 ŀ 苦 情 亽 天 日。日夕 而 平の之 如 地っ心 **然、** 子门 東 萬 好 枚 天 余 さ言 有 穷 而 新の也の地 物の以 學 神 Ż 儹 道 不 有 玑 甚 而 先 夫 西っ 易 何 묐 於 £. 席。 不 人 さ 信 為 也の果 Ą É 之 泉 诃 梵 丽 E 九 乎 ○ 知 ○ 道 :: 人 謂 者も何 月 4 古 种 扐 之 珠 FI. 炘

路。原 海に 爲 未 居っ子 不 而 申 H 會 死○背○召 能 漢 徒 徙 精º子 枝の赤 点 蟴 狄 ° 狄 並 孫 於の自 怒 彭 不 蹈 索ぃ置 遺 於 越。能 鑊、先 河 太 在 湯っ入 鼎 -子 勇 而 守。可 勇ο鑊∪銭 胥 猛 死。 子 也。於。乃 さ 猛 力 河 胥 A 江○入 中。勇。怒。水 さ 吳 水の江の以 不 不 不 神○國 哉○在→烹 過 加 Ź, 也 -7. 復 人 銭い湯 1. 海。 滅○若 座の加 何 將 行い他 夫 之の打の彭 怨. 服 夫 人 苦o差 時に搭 越。衛

葅

子 屈 东

日。不

也の共の液

神○旁

安の人の士

胡 楊 黿 也。而○登○何 何 於 者、所 何 不 道 誣。來。山 E 後 病 矣ぃ呼ゃ象 耿 禹○右○也○若 命 歽 奸 不 日。之 椠 黄の九の鼎 鼎 也。 據○而 亦 後 日。哉☆安○孝○人 紛 بخ 杰 用 巴。不 人 得○慈○矣。 為 曾o牧o儔 ĬÌ |明云成 簩 。同 備。無○貢○於 爲 丽 : * 過 得 萸 不っ仁の得 紛 契。者 象 庸○義○無 ħ 一コ金コ夏 物。洛 さ 以 李 加 ネ 欲 手 £ 語の成の時。乃 浩、 哉○忠○所 物 藉 7 明之 以 故凡 主。之 關 及○此○夏 祉 周 王 П 徭 炉 信○適 青。 鍵 之。重。之 定 用 形ぃ者 信 氽 禮○失 稷 公 說。乎o器o法 界 易 欲o制 以完養神 耳 事 肵 鼎 方 百 此 鼎。 者 樂の其 重 Ħ 欲○制。器。作。 + 爾。云 自○所 無 於 物 忂 無毫 프 徴 놋 當 īſī 鼎 以。英 當 ふ 生。求。 郯 厭 然 者 載 Z 為之 + 協口詳 馯 解 o 勝 使 能 民○愈 者。背使不 為 髮 四 而 肵 祈 以い勤 上。於 H 如 庸 ナ_ー **纂** 為 焦。 相 卦。下。禹 虅 備。丘 ر وئ 來の而 於 世 क 類o其 F Ż 明 談○愈 内。耳 左 E P 承 0 貢 使 矣。之。遠 不為 載 年。法。民 傅 不 此 袻 在 天。之 用 也。况 鼎 休。書。者 此 曾 庸 至。邪っ 伹 載 天

張 薛 正 程 盂 耳。女 子 知い短 姧 人。下 赵 成。然 痛 東 致 耿 日。之。養 義ο不 日i人 清 門 疾 果 事。摘 1. 不 īm 日付 故害 絶。老。者。神 又 其 斯 仙 將 非 非口幸 理。能 人 公 棐 何 北 之。答 多言 謂 日。又 才 日。不。而 身 取 看 毎 斯 ż 樂○書 法專 免。败○有 屈 文不 修煉之說有 卷之一 哉。不 兵 謮 神 於o爾。安 人守 成○今 私。 仙 原 辨。部 不 史 真 守 者。人 合 31 甚。而 利○若 於 遠 Ħ 點 尚 贫 可 遊 上 下 賤。學。篇。田。丹 熟っ只 處。 欲o 稍 日。書 ふ 叉 半。 也っ動 當○羅 有。見 夘 下之理。 乃。得。其 誤 浉 鼻中 田。也。無 先o點o不o成 更 便 **预只是** 能。恐 矣。仙 論の普 ・精 屬 元 雖 是。者 掩 未 心。與 思っ卷 度 終 纊 有 敗○便 不 能 世 H 之 張際。性 共 思 人 者。以 可! 安之c第 計 之 湯 際 下 不論 然。為 間 不 。 士 。 有 。 是 。 多 量。 筅 d + 自 虚 然 料 須oカ 者。或 私 皆っ 田 1 或 是o敗 有 其 者 是○屈。 睿 闁 假っ 雞 幸 成 結 因 底○者 誠oオ 鋭っ 塊o巻 此 敗の 天 귮

萨 程 文 於 丽 菸 也。家 新 有空 更 珦 濉 肺 怨 Ż 灭 451 由。之 见。因 吾 投 祠 商 常 腑 之。何 **狙。地。各** 办 不。命。日。怪。說 之。川 ○∰ IT 惦 老 田。 也 告己。共 由 具 🔯 得°命 天 果の出 Д ű 氀 表·是 凡。 不 宋 天°者 者 狹。怪 凘 Ш 州。 也の詩の 恟 共 烨 4 秂 えニ 天°各 未 事 úL. 汐 휒 °有 肵 古山 娋 揤 文。 東 天 地 亦。物 定 口。」。遊 節詩、 珂 闸 出。 Ξ 之 地。天 再°之 乏 人 麦 流 詰 區上。之。希 天 人 多 4 年 出 百 ス。天。命。 照。命 命 於の 쪠 地 ú 莲 於 韓 為真。 돎 Ż 亦 息。守 쑛 絁 文 肺 備。 楚 4 敍 任 芙 晳 °定 者 銷 荓 懼。曰。宋 腑 丕 詞,則。 已定之天 H 於 其 100 天 丽 着 U 峢 祭見 比 衶 者 自遊、須須 武 I.º 地 7 H ű 便 致 渦 **降**o 疤 昔人 倭 徘 旣 卤 好。伊 禮·禄c迎 子文歐陽 故皆不 Ž 天 天 天 生 艄 若・加 冻 珦 共 歽 地人物 何 地 天 丈 λίδ 做·之 っ子 日 胂 表、謂 九 地。人 亦 物の鹿 者 弄。爻。吾 不 14 無. 郅 胢 /順 o 24

常 可 新°信 万正 ふ Л 非 不 也の年の報 Ľ 火。於 察 之 是 外 後 Ŀ 於 也い前 沤 W) 別っ 重 楘 子 利 之 趙 낈 ネ 丧 世 祭。日。自 也。之 而 天 至 孫 覩 **粉**°而 否 H 為 而 肯 P エ٩ ○浮○道 不 地 水 묈 甚 而 則 親 寒 於 夫 致 用 ホ 敬 £ 居。息 京。矣。使 而 同o至 此 禮 者 不 **エ**ニ 入 浮 野 謀 盐 於 洋 U 夘 神 八支笑以: 椒 者い子 即葬或 屠。人。下 Ż 屠 禮 養 え°鳥 凡 說 حالو Ž 乎。世 孫 不 多 以 間。之 生。作 丽 耳。足 養已 尤 魚°彼 反 恐葬之漏 奥 趨 為 待。 人怪人之昌隆十一何自而獨知之為天地倘或之人為 徴 哀 詩 不 Ü 浮 非之 為簡時 至於於身或 並 信 身 葬 戚 文。 以 肯 休 孜 其 琚 桦 丽 利 咎 而 忽 為思。其 流 Ë 頭○廿 者。於 信 送死 者。 IJ 昌隆成 方不 病 新 所 可葬 而 ů 此 無 葬師之說 九 埂 男子 身 Ī 於 焉·古 君 之 情 Ŧ 之 将生 身 矣○舜 之 薤 放 焉 24 故 題 是 死 而 者 師 泥 摮 沒 肵 駓 。民 主印 而 之本。而 者の何 棄 ī 於 护 錴 於 未 之 奜。 凮 **欽○床○**聞 Ж 缜 通 位

先 福の考い師 之 古 之 斞 Ш 不 不 役 大 IJ 跗 之上 者 Ĺ 进 ÌП 何 而 知 齟 致° 海 之 滹 此 立 有 背 त्रा 其 力 褔 何 内。 而 自 而 M 身。足 厚 悄 能。奇 郭 逆 宅 亾 使 長っ 也 紒 か 於 地 之。則 也。其 爲 於 璞 順。北 因 果 年 えご 者。法 ○徳 帝 乎。不 書。臆 z 善 Ĺ 開 Ž 不 可 相 垄 涏 败 在 之 平 丛。盛 人。茲。其 者。主 至 孝 度 而 办 発 巫 有 煤o者 撒 其。而 子 書 E И 可 善 而 於 솸 3 則 膜 而 相 可。璞 苟 嘶∘神 屬。典。地 美帝 袞 孫 爲 斯 朘 it 不 貧 Ż 信。卒 者c於 不 也。之 0天 桌 然 可 邚 道 則 娟 平 否。死 之 · 之 真。 大 鴯·善·信 人 贖 信。世 定 果 智 帝 兆 闢 Æ 也。 耶° 於 葉 之 民 ネ 茁 王 夫 及 斯 於 也○有 渚 志 在 平 。 子 公管陵廟 用 Z 平 轨 手 吉 此。此 ä 篡 青 办 葬 Ξ 賊。之 草。 国标 **青**為 稠 上 也。別 某 黄 存 魳 攁 死 ž 北の別 之 IJ 人 其。以 Ż 非 此 。家 Ε 為 告 身。葬 也 桶 也。人 多 视 奚 斱 善 求 人 此 天 也。岡 促。面 平。善 Ź 葬之 於 信 不。其 於 求 下 此。 dt

21 Ĺ 鼻耳 尤 肵 珋 脗 平。修 爲 皆 Ż 志 爲 以 Щ c親 ı'n 甚 E . m 日。不 Щο 日。主 日の儀の基 師 逄 能 丧 身っ面 者。氣 也。其 人 經ら經 之 z 盒 有 鐚ぃ至 者 Ŀ 亦 甦 秉 乞 所o 糸 以o え 相 亦 歘 甚 嶽 者o此 カ 七 說 0 华 빘 合0若 不 是 者 流. 下 洞 神 是 天 月で期 퉦 不 三 之。年。 泛 通い銀 得 異 有 考 炊 髮 足者 剕 過 初 地で 4 然·其 其 袻 以 司 掠○於 而。 IJ 死 Ξ 度 肵 飹 三月和 年之 自 類 然 歷 為 · 屏 旗 而 稺 成。 Ż 謂 刻 有 知 者。其 卺 Ŧ1. 除。有 形。 辰°神 者 氏 此 共 氣 胍 制 也。固 在 毋 地 Ξ 于 也。 鴨 也○山 名っ如 + 百 倮 呼。世 夘 린 귃 朲 獄 亦。 垄 Л 先 办 川。 伻 飲藥 Ź 骸 Ż 怫 而 得 四 後 喪 不 前。循 有。 自 佫 有 說の時の 接 Ż 柔 同 IJ 天 75 朾 櫊 能 雡 此 雅 者 手 身 Ž 憨 考。之 而 共 謂 E١٥ 月 歪 ŀ 勿 ш Ū 人 像。人 4 罰。五 相 類 者。世 吉 那 Ξ ₩° 作 빘 枯 展·者·之 欺 水。月 月。百。浮 形 共 死。此 方 *j*L 刖 實 難 固 П 刻 五. 民の説 其 有

程 胡 呂 子 五 事。其 死 東 Д 有 類、得 佊 立 腐 伭 日。而 欲o本 蜂 此 也。不 魚○物 地 未 萊 而 骨っ 空o 釋 Ä 日。為 死 通。日。 庝 甘 似 中 之 荡 下。木 II. 氏 學 惃 可 生 釹 Ź 筋の似 耻。 乑 土 馬·馬 之。之 言 失 失 惡。本 如 惜 旅 曾日本 書 也 故 骨の基 ○生○草 成 僔 共 人 奥 也。似 無 須 筋 共 粉。 不可 枚 無。生 木 住 矣○飮○之 可 **47**10 入 Ą 推 肉。以 쥬 原 相 有○長 初 壞 辛 衝 所 好o不o Ħ 굽 共 Ü 育 1 在○旣 生 冬。 U 人 如 確○有 形 飬 酫 冷 街 ○足○旣 퍞 之 課 之。固 之。養 故 Ė 便 天 是○ 不 邽 成。是 地 死 肵 借 程。 其。已 帺 之。先 則の 飲 之間 赤 是 生 者o以 水 見 不 有。 就 旬 古へ典 金 之。 在○畫 味 孟 夘 好 謮 也 終っ 人 凶○類 - 調 臭 生。然 便 道の 欲 生 身の玉 授 之、矣○似 辛)酸 有 亦 也。者。之 讀○未 長っ後 枯 尺 不 **豚 O 金** 於。而 一○邽 有 Ù 生 以 耻。. 聴い z 味ი隨 垅 凡 善の共 杏 日の新 也。成 程}木 求 欲 也が 悪の氣 火 絘 人 文 便0 斯 丠 合 壞с ø, 秤 北。 赤の安

程 司 弊○子 小 夫 馬 自○是○ 夫 静っ夫っ 7 任。月 可 E 人 有 無 溋 اال 不 怨o罪 逛 日。自。則 事○相 老 先 入。以 古 從。張 有 文 文 哀 及 無。却 囡 办 滅っ一。 文者 垄 臤 以 哉○親 是 元 日の的の日の 妄 為 人 間コ是 只 索諸 拽 包 在 禮○之 斷○釋 只 德 赘 或 朱 發 學書 轨中。云。能 身っ之の謂 其 共 雖 勼 法の不 2 稱 減っ沓っ -子 釋 先 孝子慈 夫 迁 ₽₽ο 親 迁 必 須 坐 靜 自o得o 典。志 而納之火 人 坐っ無 明 之。變 叟 叟 犯 加 諢 不。在内 育○子 棺 意 若 甚 鄉 大 此 矣。 道 白 相の然 坚 櫬 飛○惡○分 然の於 但分 特 外 教 IJ 千の石 | 甚敬 定。 亦 則 事○人 君 道 也○氣 别 只。 地 £, 中。彈。不 焚 卓 也。着。 將 故 靜 黑。子 R. 觼 水信之時先 中然以斯道 剘 Ù 其 靜 轉 則 教 坐り 有 得 Ħ 之 屍 o 敬。 坐 銺 南 其 漸 便 為 文 以 字っ 如 Ü 長 不 要o 今 做 為 以 以 為 A 通の動 風 此っ是 大。 爲 明 生 為 為 深 有 办 畤 北。道の矣。 長っ 佫 怪a雙 的っ 狂 I. 若 諸 -非

则 天 漏 乱o神 ○在○佛』不 則 人。生。堂。 0 始 哉°世 셾 꺠 人。主 神 挪 矣。使 自 巳○生 氣 付 人c獨 ٨ 不 佛 能○滿 佛。人 Λ 古 君 妆 事 日。豈 中 有 祈 漢 而 敬ゥ福∘未 **** 者入 我之 蛤 及 入 子 刖 復 則 漢 Ц 團○言 天。事 善● 地 小 君 死 死。 以 後 爼 濩 行 高っ期 安 佛。誰 獄○人○子 地 不 前 有 去 違 爲 循 不○報 施 登。鬼。旦 無 。不 見 夾 芍 獄 可 軸 開 禮 達 本 。 曰 。 先 故 乎○無 夫 地 往 能 暮 不 逃っ主 护 闢 柯 尊 先 生. 日∘焼∘不 此 事 獄 來 Ż 可 惟 禍 哉○數 5, 祖·生 之 Εļο 理。佛。無 我 乾 渦 佛 不 福い神 必 不 干 報 而。曰。如 秀 道 坤 化 且 H C 然。信。 攼 猸 邚 倂 本い継い物 何·才 內。家 巴。為 邚 肵 築 安 先 度 駬 年º几 志。本 漢 依 設 謂 升 有 輪 有 生 丰 之。以 某 不 豈 佛 是。乎 日の學 三界說 剘 事 夭 夭 爼 死 Ħ° 後 李 漢 法 謂。天。佛 篤 Ū 堂 堂。小 百 哉。而 佛 有 某 人 والمتحاجب المجاهدة 以 白 報○人 0年0蟒 苟. 人 地 天 復 杏 主 參○前 氣 熯 本。本 但 若

以 門口 之の韻 坤 兼 祭 於 登 庭 ٨ 崇 IJ 善 俗 柄○神 殃の神 不 旻 下。山 民 其 事 祀 對。有 穑 殃。乎。求 瀜 俳 消 祁 川の者の居の之の典 🛒 ∘下 恶 ° 天, 夫 免○福 日 此 Ħ 悖 上 其 中 乎个 卷之二 公 理○荷 之。年 神 7 大 叨 道. 穑 神 禮 說 洞 得 夫 祀 先 國 先 書 來。不 事 淈 善 本 春 횾 傷 以 祭 典 神 Ž 數 £ 可 生 善 人 日。神 至 储 殺。五 十。借 亦 之 乎。日2 惠 家。公。為 <u>H</u>. 佛 者 袻 ネ 無 摄(家 上。

心心不 道 皆 廸 不 故 佛 揺o必 登の展 事。以 令 \bar{x} 吉。槩 家 士 敢 Ü 韓 月 及 受。之。先 出 鬼 有 忠 礼 胨 借っ道 文 從受 胁 足 神 僚 枉.°使 14 久 言。臣 夭 郡 瀢 之。公 方。 事○逆 福○不 人 慶o法o人 日・之 祭 含 烈 地。一 覔 云。本 古。不 之。不 天 歷 能 穬 티엄 邑。其 子 士。人 於 붗 鬼 人 Ü 代 事 彩 不 縣 精 祁 Ξ 神 祭 同 祉 꺠 其 AŁ. 何 者 也。善 神 而。善。降 褔 望。 之 先 。 天 人。導 Ü 坐 秱 何 Ż 如 鱼°見 辞。不 地○有 Ш 數 上 火 77 與。槩 西 家○漏○禍 不 p 室。川。百。得 僧 福。而

闁 韓 俞 乎。徇 0 言 0 魏 能 何 妻 放天 供 Ŧ. 二之 法·教 情○其 之不齊恐不是與有為之賦予 么 從 IJ 子。賦 袓 贫 旋 Ŧ. Zο 口。學 哉。此 否。可 宗 稅: 豼 楪 **徐**○非 埋 李 則。輕 兩 耳 僧 肵 於 下 本の氏 矣。為 從 滅 族 氏 率○忽○訟 各 鉄 謂 剘 地 侼 事,理 冬ご! 薬 抛 此 褲 旅 意。今 在 妻子離故也彼 嗟 出 ÷ 下。 胅 逆 而 酉 AL 不 愗 由。不 官の嘆 Ŕ · 幼智歸一之像謂 · 一方空寂 幽 醴 納 徧 欱 ilio 券°免 耳。曲 息。久。谷 曲 法c Ż 非 孔 直 以 日 遷 柳 罪。父 生 科 類の子 有 重 未 杜 秀 喬木 Ø 子。而 之。之 況 |i∳ ⊃ 未 枚 非 定o繫 Ŧ 顤 事 思 枚 忘。敬。能 Ìφ. 妄 狄 Ż۰ 於 倒o生 地 吉 也 ,其 家の本の会 IJ 報 人 鈂 况 类 此o非o死 木 是 報 솿 纖 拜 可分册 俗 怜 本 杰 庻 如 豈 因っ予 也。本 华。尤 久 纸 父 也の劳 耶。矣。題。奏 ٨ 此只是 受。奪。之 ...恨 之 俯道。以 É. 宗 豊の関 事 舎 蝉. -JF-0 惑 뺊 居 斯o繫 华 視の於 中 古 \mathbf{I} 舎 民 即。吾 老 苗 ۲. 堂 報い之 И 誣'南 者 禰 是。一 不 抌 则 上の本の思の先 佛。民。滛

朱子曰或云耆 或說象 是顏子? 變為 他說時 為若是孟子之願學孔子之念皆: 為若是孟子之願學孔子之念皆: 乃信 慮。何 之私 此。在 降 出 有 省 衷 天 上 . 在 來 錯 傲 理 柯 有 昗 於 謂之天 山 <u>-</u>۴ 惩 上 模 綜 機問 可 鬼 只 不 有 這! 說 下 面 樣 克 地の 參 兼三王 可。我能 者 這 推 克已 卷之二 民《尊》 恁 差。 谫 分 ·初 . 不 見 تى 說話。 者 仁 念要做 便 於 付 地 。所 帝 随 永 便 句已多了 復 是 理。乃 适 俞 不 共 理耳 之信近見夷堅 ijо 奥 為不 人 禮。有 震 故 箇 。是 否 。所 言有 初出 聖子。但 真有 米子 值 ŧ Ш 怒之 然 りと 賦予者那 外子日只是從大原中 内各不引 若鬼 詩 卒 帝 好古飯求 方 况是。有 行 便不 是 意。名 類っ 캍 神 者 克 یر ο道 盇 仙 野。 。去 下 可朱子日聖 肵 偤 志。常 亦 住 俤 當 此 頭 謂 丰 那 亦 便 事 克去 · 顏子)兢兢 是 利 惟 只 41 洛 非 有 食 好 是 1.18 皂 有 。欲 物。 **菜**。矣。之 此 業 底 力 ŀ 理 箇 得 中 忿 事。而 肵 有 業の念 帝。如 筃 '流

蓬 復言 譥 儘 子 是 而 天 且 故 天 西 以の幽 1 日。不 亦 地 言。則 地 春 Ш 内。明し一 子 居 君 日っ見 范 死。一 故 有 乏 祈 夏 雖 日。外。莫 室 ぃ子 产 得o景 有 物 性 有 也。暮 日 始页 不 大。谷 言っ不 前。 乃 之道 飛 後 仁 是 耳·性·有 * 能 萬, 承 也。有 祈 事 生生 ぃ魚 邿 益 ž 狸 而 萬 稄 荣 夜 常 物 謂 若o理o信 造端 躍之 性 굸 平。為 物 Į, 焉。春 則 天 有 0 未 4 共 錐 化 自 Ηo 多。地 不。有。 以 易 夏 ・神 有 妄 化 三有 豈 之 剛 仙 用 生 而 其 さ 可《無》於 胍 之源 夫 有 Ż 言。者。 赵 之 有 肵 性。推。理。後。皆 件·循 录。 ○婦○誠 胂o生 半 枚 萬 不 萬 者。 妄』 天命之性。 子 叉 爲 者。日 物 能 物 則。事。耶。真 思喫緊為 却 此。 情。艺 則 栍 焉。 Z 业 速 豊の無っ天 迷 死 情 主 木 水∘情 H 人 ß 理の事の下 掯 乏以 也c又 在 之 陰の者の之のこのこ 吾 也。 書 其。 於 底 祩 陽の何 間の理の事の今 Ŧ 不 能 天 天 是 矣。人 A 而。也。哉。不。巨 長 地 衰。代。能 *]*} 地 彼。 間。以 可っ細 楺 生 己の日も

薛 땜 Ŧ 賀 醫 豊の他○文 柴ぃ應ぃ心ぃ寒 治。風 仲 Ā 則 生ぃ至 本 入 事 闖 謂 凊 境o之o不 暑 卧 任 生∤ 是 か 者。日。県 天。氏 公 界。便。是。風 歽 濕の日の源の也の性 台○高 雨。如 虚 不 世 握 所o亦 日。 丠 不 絕。聖。之 太o之 原 [∦] 生。人 天 太 不 無。知 敎 得の銭 矣の賢の道の 虚一切で 與太 者っ耳o者 問 梢。所○於 虚。存 本 不 疾 県の病。自っ言の是 而o其 萬 ゚ヹぃー 平 明っ自 體。憤 虚 能○四 物 天 言 絕。飽 希 以っ無o乎 理。天 擅○肢 窮 謂 之 隨。世 本 免 飯 有 爲o非o出る 造。百 젪っ 所 奏 其っ心っ體 通 動 理 澨 不 見。會。天 化の酸の生 所o尤 得 以 者 食っ由 無 。不 ١Ľ) 之。固 遇。不 奥っ喪っ 礻 審。奮 伆 夲 風 性

に

程

こ

を 柄。亦 則 邚 祈 便。是。早 是 何。 俗 精 濕 果っ氏。至語 用 取○天 不 都。只。之 非 流 人 解 魚 馮 何。旣。顯 若 之 之 之 生 是○平○存 禍の飲 毁 於 物の断っ者の 业 所 如 於 譽。塩 粗 人 知 而 食 也の其の實 瀟っ心。一 其. 淺。事。也。病 生 40 易っ徇 血 者。哉。根。根 \mathbf{B}_{2} 説o也o者 快の氣の世 如 當 化o於

程子 朱 羅整 子 不 問 有 全。道。法 馬 支 然った 諸 不 只 日。能 在 合。則 日。 也。相 菴 者。 斎 只。座 | 萬亮 得 有 造 散。天 學 層 ο雖 业 難。答 具。 Ħ۰ - ° F 此。這 化 **所**。不 須 Ð 必 盗 Œ 可 班馬 林 是。 個。執 則 義。之。無, 取 相 為。在 做 而 相 鮁 當 謂 貞 **4**: 문이 事大 聚而 劉 在 自 泵 釋 天 至 理 直 孧 問っこ 聰 不。大 · Z 璋 釋 氏 丽 家 順 會 窮 處。到 ٥所 日。無。 明 可○段 É 4 不 氏 25 在 的 爲 為不 乃 此 詑 本。 便。害 资。是 矣。有 っ如 能 釋 看。盗 理 底。章 覽。休。事。然 便 何○寧 便。也。為 輪 氏 道 會得 一之說。 據 不 良。食 豈 是 程 有 廻之 見。혎○盗∪者。 奏。 郿 F 可。是 有 計 子 是 萬 切の樂で不 杰 。見為 透 賢 程 荷○個 說。物 人 較 日。理 無の然。亦 方見 友 朱。為。為 諸 特 利 叩。則 始 處○則 有 盇 至 字。 所 利。地 茛 萬 終。 無○叛 斯道 旔 得 IJ U 扯 君 Ċ 英。 物 之。飢 築っ 法。為 子 迎。斯 近 炲 非っ 蓋 之大 無 是。益 か 則 彵 只 王 終の陰の 貌○必 一。得 班 不 邶 爲 佐ぃ 陽。 乑

父田 Ħ 天報 患 吉 佫 共 日。死。之。仲 宜 子。 깪 吉 報 母 今 蛇 何 鯞 用。新 任 蛇。死。高 在 何 嬰 蛇 埋 也。 善 日。背 者 對 中男矣日中な教竟不 之。其 他の 是 共 天 讓 蛇。有 吾 何 出 其 楚 期っ をきさい F 手の製 五 刖 共 在。見 闢 毋 相 及 耳。在 Ħ 五 日。母 齊 毋 有 對 兩 泣。係 戶手如 린 舉 Ħ 誰 日。孟 Ħ 五日子長與戸而及之者後文本子之忌無效於 信 陰 日。頭 母 第 子也 权 何 告 俗 報 虚 死○德 我 蛇の間 敖 圳 枚 君 Ë 言為 議 者。 後 恐夫 為雜 共 A, · 奉 立 之。文。 拞 而 福 枚。兒 П 妼 者e 夫 楚 办 Ä 碓 晢 特に 文 舉 戸 日 日 後文長與 U 報○俗 見 相。報 见 死。日。見 用。 子其父不死 五 是謂 議也。 ··之。之。是 以 , 是 以 兩頭 埋 我 兩 其高者則 唸 爱 殺 也。其 殺 刃 歽 育 闖 ΣÜ 也。 ij ∄. 死 ŕ 权 蛇。必 殺 劜 見 蛇c 夫。惡 戸 如 文 不 生 E 敖门 輒 獲 不 也の雨 而 稅 同 母。東 在 生。無 信 死 死の進 **北**. 頭 為古 귮 侧 命。俗 戸の日 Ŧi. 共 者。佑。天 之。毋

岩 # 人。新 顧 而 峯 子 也。大 人。會 埋之 善 世 事。吾 敗 情。 险 反 於 曰 彼 則。齊 蛇∘蛇∘性∘徒 不 也。日。德 客 此。不 俗 逋 豊 未。日。除 動 埋 佑。死。兩 之。則 然。吏 不。聖 何 當屍有。恐 其 有 杦 蚱 平。非 言。人 有 顯 惡 極。不 其 未 不 客 過○敖 賢 埋. 埋 # 屯○天○有 法。こ 利。於不 か。已 焉。不 者 正。達 未 天 右。事 蜌 1 者。 命。功 占 能 奉。此 不 湉 見 脋 哉·惡 411 非 於 逃 害 公理。旁 已。者。之 蚱 行 前 人 也。殃 不 天 共 之 嫉。真 求 考。心 哉。之 Ż 埋 復 埋 灁 夘 地。 刑 而 惡。以 ₩。人。蛇 !也。思 深! 見。一 也。 .囘 只 責。反 集。出 人引 玊 肵 有 宜. 之 収 **蛇**。由 天 是 幽 利 善。罪 是 於 Ü 恶、見 時○教 無 之。人。為 人 不 亦 推 害 天 吉 多 賢 Ė Ħ 。事 能 善 臣。心。利 Ī 人 勘 物。所 欲 也。佑。之。 二 字° 瘏 公事 也。 欺 之○謂 人 教 乃 行 賢 如。見 於 岀 道。之 Z 寺。 之。見 矣·者 埋o雨 共。 也。除 린 衶 猁 切っ 見 禀 之 殺 使っ十 然の差の 明。之 徳の端 有 利。 共 天 行。蛇。蛇。

į

Ę

Ė

陳 薛 薊 心學 孔 清 貴る 丩 姬 之。毛。禹 文 枚 Ħ 皆。日 日。孟 Ħ 教 渊 循す 鏊 而。亦 壀 凊 是。豈 其 皆 貴っ子 也。日。有。 其 奪∘不∘長 日。公 以。無 心 以 殊 聖 淌· 💌 瘐 亞 子。舜 豊 而。可。頸 日。 Ξ 野之 則 義 • 仁 椅 義 不 息。朱 族。夫 下。不。謂。鳥 好 月 無 理o義 之二・ 理 夘 命引 命 從 权 可。之。喙。王 重 爲 歽 夘 吉○之 不 吉 學。 當。 N. 相 理。典 謂。驥。王. 瞳 o 怪 勾 。之 心の心の違 心。之 ώ̈ 宮。 不 古 許 卶 之。也。莽 践0是 了 也。日 仁。至 學 貴。 名 酉○預 **蛇**。禹 其 長 至 不 日 說 並∘不 盂 濉 同。也。雖。 悬 見 有 也。之 頚 眀 擮 典。不。忍 子 學: īji; 邧 Ž 其 後。爰 **次**□ 長 職の鳥 日 阜 J. 屑∘人 日。則 肵 殺。 於 餓 衞 及 呼の喙の相の談 麫 見 夘 之。 車・之 た 八 以 陸 天 。 死 。 青 泉 Ė, 熱。非 क्र 性c之 言。心。義 夘 學。猶。至 吉 方 康の喙 5馬の善 命○羊 項 不。 E 知。日 禮 覺 亦 不ら 心 當。針 類の背 猶。有。終 羽 明。 能害。 字。贵。仁 智 吉 則 捪 **貪**。聲 Ÿ 龍。鹽。之 有 王 理。 衆 也。人 根 心・異 É 賤の豺の徒 診 有0之○象0莽0也0 抄 於 孔 1 也の謂 雖○叔 明 相の蛇の一の夏

詂 爽 廷 者。死 也。有 此 萬 G 心 覺 理。括。 业 入 九 芳 禍 矣。学 乜 泉 っ乏 言 o知 H 不 未 不 死 福。日。 修 也。近 范 存。楊 也 の神 焱 生 亦 昔 後國 字。孔泉 足 喹 吉 世 Ŧ 怒 通 小 見 共 袻 信。問 Ž 氏之 心陽也。明 世 冬 谢 不 妙 人。 殺 死。福。知 朾 者。こ 夘 臼∘妙 子 用す 命 學。此。儒 才の於 朱子 其 面 奇 灯 日。鑑 之 日。日 齊。後 陰 未 非 君 ηþ ψ 門 من و ىنار 光 戦 儵 子。者 陽 Ėο 即孔 1/2 Ů, 之 徒 所 陸 明 君 由 沒 陽 何 矣。五 A 象の象 表 饒 以 戊 精 世 九孟之學也。 於 五 以 岩 行。 雖. 陳 枾 感。 夘 ılı 之大 行 術。行 点 4 推 **가**의 日。皆 Į. 日。是 皆 Ħ 行の孟 Ž 為。之 修。 급 測 46) (1) 깱 是 沙 收 道。有 子 術 愚 お。宝 汇 献 楽の日の拾 型c以 JÙ. 有 日。也 0省 不 命。 嘭 πL 修o 學 精 張 丽 芒 7. 得 死 孔 謂 售 呼。也。不 贘 神。子 而 後。 是 Ü Ų 矣 子 聖 其 抑 此 諂 世。 衷 罰○以 虚 萬 知 死 盆 日。賢 徿 牛 日。覺 何○蒙 亦 И. 精 埀 纳

程 韓 儲 子 非 之。 此 地の心 氚. 套 Ż 泺 何 歽 木 而人心歸鄉, 子 党之 理っ 雲。日。足 有 Ż 自。無 使 Вo ふ 馮 欲 不 乃o設 信 屋。使○罪 欺 學 客 可 Ż 助 要し雲 人。土 鼓の者の理。 其の之 已。者 有教 不购其卷 受中 者∘心∘木 亦っ雖。 無°臣°而 框 未 之。像。 靈·敬 係 當っ當。 死。不 詠學 及 燕 乃取 所 未 此 和 溬 元安能使王二小祭之思也·小学者之晩・ 知の時の 趙 學 Ŧ 非 有 聚 之 1.0 ı. ili 此。亦。 也。氣。之歸 굶 為 助霊之 泔 不 夫 丰 而。有。 冬 不 蚱 ەكئە 套 哲 巴。獲の 持 死。死 4 而 뉀 典 駆 凡 埸 免。 滌 也。于 丧 長。且 之 道。鴉。 之人不歸 漏 壇 應 祉 命之 聖。 居 生。人 夫 大 道 贪 德 塲 丈 劇っ霊 人。 튄 哉。所 信 怒 助 。並 者。 兲 者 莫 耳。或 書。之。 風ο 中 急 誅 退人 不 王 其 於 1 獮 芯 业 雄. 言。 بالا 杜 然 之。使 作 凝 於 妖 仓 於 戍 人 非 酒。 門 芝 如 王 A 不 聚 人。者 孳 勝。土 億 信。 身。物。不 耳。於 夘 Ų. 木 中。他。

方 所 孟 770 Æ 纹。 **賢。**开。以 天 於 答っ 刄 道 無 子。款 老 將 子心脈 學: #¥0 使 佛 业 而。非 告。類 下 # 涉 Ġį. 至 書○以 Ψļ. 歸の日の己の 大 賴o利 也 逃 程 っ 知 類。侯 先 古 要。何 詠 文 反 謂 君 徘 耳○於○其 子 若 道 釋 鷕 猦 者 īfī 共 子 歆 博 約 之。卷 入 程 下。為 日。天 术 比 語 汲 之 矣。こ 不 果 紨 山。子 矣。而 患。使 蚩 下 少。使 柽 與 液 故 0 也 0 然 可 學貴 終 日。也。也。不 惠 ネ 不 人 子 馬 る音 不 눖 世 īfi 衋 能 趙 能っ 檡 老 0 欲 爲 狎 以 纂 怪. 求 □○稱 孔 -₹• 4 佚。 成 氏 公 然。人 北 道 類 释 鋭の共 述 秂 張 子 子。者 博の博の其の 佛。之 閗 人。傾 可 氏 惟 有 埋○生 茂 回。则 耐 成。 若。道 Ž 人。盡 则 泉0乎0之 肵 至 荻 先 朞. 儒○誠 笑 髙 不 佛白 類。為 君 Ė 临 學习 其. 不 於 民。為 者○弘 滞 得 日。之。君 7 也。 相 以 不 知っ鳥 冇 之。大。程 博 以 Πü 共 存0子 将 生. 告 子 詳。何 E E 歌 物 物o 道。吾 無 要っ 7 養○趙 不○哉。誰 티의 而 瓶 草 有 苍 之。術。則 則っ間 未 税の病 使。何 △○禰 共 木 則っ観 孟 常○傳 孔 漁 郑 於。不 侇 么 Ŧ 业. 其 汎の者

菸 聖の能 陳 冏 元 夫 乖。是 ル 聋. 足 是。除 額 。 所 撮□ 颇 荅 茒 怨 戻ぃ個 溪 穢o併 萬 ○應 花 И 之 h 物 玊 允 Ż Ŕ 相 而。序。曰。於 物の掃り樹 無 不 智.>於 襕 後 當 禮○仇○不○樂 。子 禮の理 花 🎮 皆。此。森 菓 容。其 張 乎。知 野 無 如 和。只 樹。卷:備。便。除、萬 樂の通 身 安 身 林 者s 書 固 親 彼 是 亦。乎。世之景。是。命不。诸俗二泉。一。人 夘 在 物 ιfπ 榇 ħ, 反 有 日の叢 共 夋 個 不。諸 已。即。秀 皆 榆 無 之。筮 序 和。是。生 不 于 若。物 。可 之 偛 士 犬 相。所 但 短 別o和 機の判の間 夫 無 異 不。爱。景 不 承 昶 峢 圥 者。婦 龜 便 有○然○之 砦 所 客○馮 狼の 夘 之 蛋。 ÉL. 長 王 如 都 兄 序。二。躍 不 景。少 聍 道○徒○倫 其 制 第○便o物o然o有o 此。先 棄○墟 詊 面 卒 侼 歽 說。 絲 肵 順○不 切 花 3 赦 是 圕 院 兒 務 筮之法 惟 4. 以 手俱 開之 殺 而○相 有 樹 若 46 新 見 氼 相 無 於 事。此。 和o千 花 ○菰 計 関っ 0 於 子 戕 失o浩o 樹o 是 陰o生. É, 堦 共. 皆 P 至 左 兄 相 序○禮 無 務。手。不 謂 倂 此。日。除 賊o便o只 便o眥 適 博

薢 文 神 北 子 逈 為 髤 道 ッ沛 然 發 日。見。而 以 沛 向の公 遘 氽 小° 天 鍪 之。嗾 蛇 支 ネ 氣。老 何 神 動 而 闁 夘 擬 斬 之。 入 下 耳の娘 沛 服 降。心。倫 夫 爲 么 **食 就**。 尤 之叉 隒 Ż 豿 °**無** 斬 勝 兵 示 謂 足 蛙 自 首 氽 類 之 耶°帝 嗾 怪 神 何 禍 私 人 者 っ毋 世 雖子告乃然。也。焉。若 丽 寥 夜 起。 魚 Ż 奖 術。兵 殺 腹 痽 使○神 信 人不可 獻 薍 詭 彼 神。毋 然 道為其。夜也。此。事。哭 丹 田書。單 乎。 計り 颒 假 在 以o和

敖

Ele

余とこ

圭

也の即 不 通。筮 늄 姫。故 至 之。之。也。以 此 推 禮 敬 Ü 共 理°是 則 퐨 ○虚 П 較 哉∘以 肵 亦 其心 貎 1. 龜 IJ, 此 私 渘 之。筮 怒之 聽 肵 ıů. 不 切 ス 빐 於 以 焦 者 待 胨 相 挺 筮 主。明 甩 ŀ 槧 於 長恐未免乎易共言之 之 Ľ 而 而 老 鬼 雖 矣。不 取 么 神。 吉。必 乃 吉 此 專。 補 於 不 也。一。 可 不 神 胏 郑·晋 即。 免 明 其 及 獻 應。 ,於 也。私 共 Z 好。 垴 豊っ意 ŀ 欲 っ須 也。有。而 Z 7 則。 欲 办 感・復 不 差。

○薬○時○為 白袁 詼 ○難○ 在·得 其. 殿 出 服 私 州 季 中 血。之。藥 ○還 疽 🏂 建 內 舠 不 京 簽 多ここ 上。痛 可 其 師。且 不可 华 獨 襄 背 無 不 īfii 陽 病 死。 忍の病 死。刑 ○死○乘 ž 病 春 舸 裹 部 死 遺 邀 陽 Ħ. -歳 ・竟 子一 75 我 欁 死。 牲·也·死 於 킑 蕉

卒○器。

用 屏

虘 可

大

夫 扱 人

ЯĖ

煮 古 氽

洲っ州

日。余

死。五

死

御い謂

相

厙

勉 不 بالر

並 可 可

日

强

食

A

皆 醯

日

 \mathcal{I}_{L}

縠

智 ○海

可

Ŧ

蹲

果

也。以

爲

誠 ○穀

者

斬°全

不い吾

死o食

速の秘

蔬。乃。柳

٤ 蜇 共 虛 躮 史 敗 聞 前 絶。貫 識っ坦い 節 李 者。相 世 共 其 全 度 虚 工 幕 茵 下 部 吾 使 中、七 倘 渚 席 旣 將 公。不 者の Ź 工 刑 摧 常 食 部 軍 部 以 説の盆 得 永 李 尚 髙 丽 2. 今 至。 木 為 道 書 銀 書 世 亩 此 銀○火⇒得 李 誠。取 古、孟 共 射 病。此 發 簡 • 遜 · I 惠 Ħ 節 Ė H 共 見。也。 東 遜 部 止。竅 說 人ゥル 氽 尙 親 在 重 U 若 ti 節 書 奥 文 刑 (之遊 晝 M 山∘有 書 有 度 祁 艜 + 狂 燒 4 御 侍 忍 肵 痛 數 鈸 位○史 股 部 削り 牟 號 枝っ世 大 建、中 Į.

日。

司 我馬。為

曹月月 ī. Ħ 少。神。詩 此 之於 也。化 个 用 自 叔 不 道 魚鶏 乎○大 丰 笸 ᆀ 重 奉 2 1 死 也。 義の父の吾 行o先 死 用之死 被 僧 某 矣·我 死 偿o三 天。 見僧必飯 以 母○徒 先 生 他 者 ィ 家 及 則 者 乃 禁 不 日。死 以。也。生 之前 在 欺 荆 治 其 ぶ 悔。忌 古 能 夋 者之側。 諌 道。生 鳴 藩 。設 丧。死 然°後 Ü 有 之。之。日、皷 諸 **Ŧ**-至 飯 氏。不 始 叉 之 食當 義・母 百年。 名 生 如 悔 之 甪 病。好 何。心 諸 某 是以 りあえ用 深鳴 屠の呼の 患 因 П 者○食 灰 微 則 汝 生 其 無 使 폶 楽 义 二三不 E 波 身 諌っ母 之。百 っ母 其 雜 作 在 rj 動 E 是背 節 不 用之是 又 離 先 妄 韶 X 棄 螺 洛 哀 枚 彼 堕 ľ 從 圍 生 行 **藪**。亦 解 理 臨 病o死 也 仹 殺 75 从 門。曰。瀉 Thi 廾 會 前。畫 死 ヒゥ病 渚 常 ٨ 可提 不 助 汝。祀。壽 從 者。甚 今 。當 者天竺之 可 去 背 道 不 浙 之。潘 平。語 亭 義 乃 俗 哀 薬 不 丽 可 百 生 和° 日° 求 可 侯 理。以 之 ٨ 业 行°得 務 食。味 當 但。鬼 耐っ 為 家 巴っ 乃

其人 私○第 娇 夘 夭 法。是 起い如 五 o Elo 從 ○婦 者 貞°王°流 之 W 便○何○倫 日 私 煈 婦 越 女 下 無 州 古今 死 人 W É 兄 也o是o程 视 堂矣 乎。不 謝 枚 人 膧 不 ìI, *さこ 有 私°子 其 又 不 。旣 不 於 犯 爽 明 IL 夘 淅 之子 輕 問 也。日。子 往○出 古 出關門 分 真っ 臣 神。 脳 瀢 千 為事。 重 之疾。 殿已子典兄 处子之爱本 不特安寢與 百 則 州 惒 安。雲 漏 , 循子也是: 疑若有間 盲 進 里 得 士。肯。長 赴 亥 典兄子之疾 矣。里 可謂 禮。奈 森 叉日烯人不 樂○剛 行 礩 **奔** 夜° 於 者 秋 兵。朋 者 何 不 颜 4 間。正 縣 祭 妆 平是公德著,不安襄只 然 欲 子有 郑 A 書 劆 不 那^つ婦[○]直[○]業 E 娰 諍○汝 學 達 敢 各 女の無 倭 生. 只為今人 之循 問 ネ 誀 一件不 可下 灩 法o與o有 変 。 少 先 否 之孝 同。 ٨ 而以 名 况 賓·私 4.9 子 白 些 不 自 堂送 事。 然c 分っ 民 哉○曲 誰 Εlο ı'n 赳 謂 可 府 蘠. 钶 4 問 垩 可 彼 X. 做っ 客º曰º意 平。得 朝 混

心っ然 道而 盚 也。哀 陽文忠公 문 出 歽 類。上 私 长。仁 臥 故 共 可 以。也。 也。多 亦。說。心 於 由 短。人 面 於 治 謂 夭 自○道 ネ IJ 父 宣。 故 來 看 . 得 裏。也。至 各 年。然。者 揯 百 異 者 故 不。言 了。 之。劳 樂 巷。川。此 之。自 巷 其 日。 形の也の爾の是の父 孔 共 於。其 矣。 箪 道。然 可 自 道。白 故親已之子異於兄弟之子甚以為兄弟果形故以兄弟為手 已·天·子 子 一之子與兄之子· 大性只為令人小! 天 而 天。形 食 謂 ·}-ィ 古 性の天 日。 年。非。者 年 瓢 勞 聖 自。道 夘 有 性。父 人。長 僅 **飲**。共 智 然。也 無 道 岩 子 力。年。逾 外 赱 形 之。庄 仙 無 君 之道天 之。安 三十 不 矣 。所 生。而 仙。 前 形。 Æ 之所 所。其 詼 亦 ٥ 同 不 业 妄 而 兄 ·斯二人 能。樂 於 壽 學仙此 也○自 死∘ 後 看都賓主 所 性 以世之人が 為。者 同 物 。百 禹 戕 亦 P 也 内 也。也。短 年。走 贼 ī 自 岌 此。惟 命。者 類 然之 不 天 夭 我 朋 何の推 只 葢の背 之所 所。 不 動 子 腸 T.o 知 是 共 就 友 謂。自 命。古 乘 有 足の同 本

胡 末 <u>益</u> 至 女堂 此っ而。非 塑之 子 兵 疾ぃ 罰 者。之 生 奴。 沱 i ○有。性 筃 日○最 形。共 於 精 之 É 養 者。己。耶。見 型 日。像。在 凔 詩云文王 Ţ Ň 光。術 而。神。是 然。 、因不可: 以。也。若。性 海○文 佛 安意而· ż e 上帝之左右 却の其 丈 有い 之。 字度 教至 年ここ 。以。以。成 誠 術○族○術 慮 有 道。 無 心。為。為。佛。不 枚 猶○雖 絕 빘 肵 養。 廣·今 養 子 也の性い非の則 然聖 世 会 上 降 o 生 o 智 卶 欲○謂 É۰ 愈。本 不 耶。性。夫 且 其 至。然。 於。於 錬 بالا 自侈 何。佛。嬌 涯 人 在帝 智 有 庾 任 肆の食 精 Ž٥ 外 歪 涘 荻 乃。固。父 餘 如 笛 之自 欲。生。氣。物 **生**c 祈 其 立。人。子 開 然 年o此 有 左 逞。及。勤 草 後 不 道以 教。爾。君 之士 佛 共 說。箇 右。 然。情 其、时 木。世 足 使。不。臣。者 徒 如 ¥ 便。上 以。至、納。特。服 食 為 **今若說** 之言 譲 天。能。兹 寖 是。帝。美 仌 害の也の専 丽 金 生 下。舎。 Ξ 之。多。有。如 廣 石。之 養 共の荷っ於 反 大 之。是。者。日。如 生の或の内 Įλ 求 徙。 冶 此。世 吸 芯 三。性 畆 文 凶 共 理。閒 者の可の守 掮 爲 IJ Н ○去○者○耶○指 以。以 是

∰∘ 又。斷 初吾日人言之不典 入安在哉 (1) 闷 以 妕 [基書編 哉。否。啖 加 蛇 之口。 之無所, 易 **夕**中何由何嫌而: 俸。何 鳴 由 関象山之書大抵告明心之說。 班蛇 ·嗚呼難言之矣 · 由何賺而流傳 ·實 o者 礩 蚊 虎 情。必 放蚊业 Ť 獨 ەبار 肵 勿信之心聽不實之 聪 憐 Ē 個 海 川。君 丽 損 内 易信 廣大 身 耙 。 文 · 以 。子 ~ 傾 慈。子 悲。必 者

以為 者の共 云除 自 誠 讇 然の了 所 所學因讀孟子而白 人卷之二 然 先立乎其大 自得之時或 句。 全 小山之學 無伎倆初 有議之 子 自 矣。別。

卷之二

所謂生而知之者而豈學者之所及哉其大者之本旨也夫不思而得乃聖人惡剛毅若然則無所用乎思矣非孟子 剛毅若然則無云當寬裕溫柔白 不思而得乃聖. 你温采常餐强!

立 。乎

之叉云 處自羞

自

寛裕

峢

悪當群 0 期

逛 Ú

此理

地處自聯 通是非在前自口明當惻隱處自惻隱愛

當 Ũ 也

羞 能

爲 找

發

心但存。也。他 言故他

義禮智 · 突紧

由外

我

言。之。 故理。

理。

也。

是

则。

孟。

-**7**-0

爲

出

理終無 此 自 如

學而

不

思

者の

取中。或

非 有 此

而使之事君長民治事宜其效不 可用个之士十四五以上下餘年得盡力於學問無 山日正叔云古之學者 四 意為已之學夫以不 神。中 過 山 丽 馬介於 何。斯 盘 不及矣遂了 金覺之妙而長短輕重 以上便學級文覓官豈問無他管也故人之成 小學之人一 ·無他營也故人之成] ·相營也故人之成] Ħ 旦投之官 覍 重。 以為 類皆

也。之此 而

而已矣心之官期思 大之所與我者先立 也一段言語甚是分 中。。。。。。。

不

能

思·是 者。分

/明所

子子先

力

孟子云耳目之官不

正乎其大者则其小女而嚴於物物交物則不 思則得之不思則不思則不思則不思則不是

引

楊龜

· 日。謂 。正 非

至/無道。所

於此而

不能辨

並 天 問 海∘此 偷9竹 乎∘人 怕 能。有 之。郊。祭 75 之 順 是°之 外。男 不 褒 具。套 Ž 集。人 IJ 畟 脖 天 L 在 烏°父 之 絕°女 日。此。惡。 成 有。義。夜 Ξ 李 不 地。卯。仕 ○歐°子○城○配 世 人 -∘ 女 🌉 子 石。 伯 專 潘 過 天 夼 路 未°合°界°倫 連 伯·未 衤 華 心。鬼 居.乃 盂 芗 榽 者。 狸 蟲。雁 睿°同 觀 Z 仰。免 Z. 日。有。者 作の赤 其 邪 人 Ż 未。之 Ź 無。此 道。是。怕。 Æ. 所°奈 一。安 件 觚 清 伆 枝 省°長 五。兄 殊 從 心。先 直 歉○何○是 Z ・楽 ネ 찱 多 無°幼°倫°给 方 邪。生. 一之鬼 天 故○陽 И 記の過 枚 章。凡 刜 五。独 也o類 有 從 枚・日。 怕。明 人 訓 4 恐 徐 之茂 下 偷。我 再 聚。君。地。有。曾 不 老 先 觅 4 。以 溥 不 也。之 觀 同 同 迷○有 百 須 素 4 列 天 洲 荜 办 足 檞 叉 夫 蟻 بالا 此 古 之°那 伯。行 Z 日°於 澠 25 同 道 爱 稱 觀 婦○蜂 朋 文 冝 者·鬼 恐 春 只○天 上。近 ft :兄类 IJ 揇 亷 Ż 友 子 今°非°能 那 於 是。神。有 常 茶 Ŀ. مالا Ш 應 君 The Sand 合 牛 JQ O迷 <u>-</u> 甩 神 平。非。 吉口 11 不 之 Ž 臣。散。育。失 建っ正 不 明○日○理○大 才 秂 橋。朋 是。同 北 他っ 告 何 不。也。帝。

司 知。 賤。及 ·馬 以/失 不 再 友。域 不。柱 再 凡 韭 他の婦 異○安○家 温 不 IJ 得 人 娶 燦 風 被の深 夘 矣∘以∘稍 時⁰知 o 法 公 許 上。已 芝 爲 书 数 五○而 沙 倫・子の 不。異。如 日。再 約 夫 至 禹. 不 者の倫の昆 ř! 鲄 名。藺 貧○時○何○凡 諸 娶 媝 只 老之こ 掃 合 諄 明。仲 白 哉の称 有 而 膜°不。勿 也 者 9 約2 議 。侯 身○醴 萨 則。乖。足 棄 人 孫 多之 平。富。荷 天鳌子。翁 极 μo 甘 否○提 人。朋 北の社 祏 松 烟。 o赭 黄·森 φo 有 程 醒。道。友 更 臣の教 竹 彼 者 平の其 常 杉 夫。 自 子 刺 立。反 有 土 其 稩 挟 象 荷。富 先 描。 人 有 办 日。刻 人。鴉 亂 笅 倫 ٥友 其 Ż **寒**。貴。聚 姑。也。 頒 先 大 化 子 道。如 E. 反 是 「富貴 肵 処。或 不。婚。其 死。夫 五。雪 但 蕂 欺 滅 **並**。 不 育。荷 o 婿 0 由 主 P) 是 以 之。則。雨。君。夫 邚 :木: 人再娶 鮮 抠 今·賢·與 天 IJ 内 早 天°斯 上 忤 婦。 草 無。 有 衺 雖○矣○婦 供 事 夫 下。天 無 兒 絕 木 情。 也。當。今。之 不 爾。以 礼 。再 治。 1 背 昇. Ė, 亦。 車座 杤 貴。雖。性 禮○如 Τ.ο 巫 全 父。弟 何。 大 酞 安。食。行。 üL 夫 化 舠

質醫 <u>朱</u>子 氏 何。誕 里。平。庶 Ш ズ ズ 丈 民 山。之 甲 闖 以 非 意。鬼 是 及。成 日。大 為。號 小 大 建 人 虣 只 敋 怨 邚 楚。之 槙 飯其 借 之。手。為 子。夫 鬼 揧 邚 逐 親 君·巴 機○詢○志 使 **石解意却** 也春秋岳二 斯°賊 而 配°且 廟 至 不 九 不。氣 蚏 宇。春 祀 Ē. 盇 祭 也。又 Ш 得 耿 甚○者○婦 姑。 芝 瓜 娼 之。盘 別 셁 不可 見 親 是 怨。能 琳 套 名 非 為 非 潘の孔 爲 祭 太 篇·近 托 君。無 成 U 肯 妄 斯 形 礼 宇。聪。祇 不有之 日 子 禮。 鬼致傷 。山 不 於 4 郝 鬼 埬 夗 得 俏 誕 Ž 亨 君 以 被 僐 宜 中 勈 神。 意。以 邚 俵 塑 之 為 詻 挟 Ź 赵 其 之 為 性果 13 設 玈 但 君 意。君。家 嫰 ○東○語 僣 妄 夫 用 埴 À 爲 Ē 調 IJ 解 势 妻。祖 ○相 複 稿。誕 土 太 解 山 此 人 以 B 猂 去二 者 主 見。觀 攻 Ш 而 不。宗 文 為患庸 何 ds 間 都 汚 乃 平。知。已 以 Ż 字。又 之。隔。成 个之 穣 十十 叉。革 不 侚 礼 他 不 怨 茍 以。妄 之。耳。 說 偅 可 君∘ 有

張 烅 者·之 /謂。以 信。言 地之 급 Z ∟∘其 厲・憨 之 叉 嵬 陶 日。於 形。物 难 森°反 讇 卯。且 評 陶 信。以 死。無 者。治 雷 范 此。到 北。 泉 皇。享 吉 化 之。之。形 叉 ネ 舟 英之 冶 無 霆 神 焼 舟車天 帝。原 能 去。如 鬼・則 営 車。草 形 丣 安。 春 獨。福。福 反。如 能。天 肵 獨 人 見其 推 亦 木。當 兩 有。 傳。不。不 移 至. 善 不 死 天 音 至. 感。 不 罪○可 皆 灁 H 兼い地の地 載。デro 地 薆 **形。怪** 圣 꺠 用全非 超高。唐·數又 溜∘日 天。旨 有 之雷霆 有 亦 或 也。也。姦 И 之。 知。 八。 其 高。數。則 抵 莫 形之 以 滅 긒 以 4勿 理 之。動 呟 則 人 能 有 其 其 亂 怪。 Ł 太 自 ○謂 小 吉 蕬 能。作 爲 草 物。見 有 有 某 髙 叉 宗。人 古 惡 語。母 平。則 木。此 之今之言鬼 渻 定 定 姓。塱 以 聖 獨。之 反 人莫 託 不 有 理。形 爲十 ふ JL 官。 • 不。 精 遭 更就 . 與於 人 深 不 故 可 故 雞 重影。东。其 倜 罰。則 能 定。不 之。 妄誕 以 不 殿 不 武。者 人 世 B, 怪。怪。謂 稝 ___ ○闘 之。推い難 后。能 福 仔 俗

工。作 五 光∘如 /11 里っ味 Ħ 前 狸 籽 吉 右 文 飛o更 月。亳 世 . 他 FJ 3 夜 住 專意 唐 親 數 害 莶 看。人 Ŧi. 挺 射 驗之日 家 風 夜 日。见 子 の道 胨 淹、卯0 Ξī 安 せ Ж 訓 厓 0 發 月 1 籴 者。又 東 否。 更 得 丈 賽. 下之光 之 老 屋 有 矣。遊 志 戍 愈 程 Ż 看 覚の中の銀 不 乏二 膯 動₃大 僧 嵷 偶 坐 子 類 0 者 0 联 或 此。即 色 屋 展o日o沿 仌 於 不言今世之前 亦 宓 Ð٥ 非 哉∘葢∘有 世 石。 影 Ħ 吹 此 o未 此。害 ili o ズ 俳 朱 山。一 界 舺 到 天 楲 光 及官。 又安能與天地同共大 欲 也。 光 子 之。光。者。有 某 屋 開 亦 見 凡 也。說 精。如 此 寨 處。縣 動。難 佛 為文不事意 人。孔 佾 戦 英○蟒 也。如 舺 駙 刔 避っ光。 亦 家謂之 孟 眉 也。竦。俄 穩 有 明○女 如 信實亦 述 而 山看 苾 紅 ikj 平 光 伦 E 將 11 Τ.ο \$ 綠 圶 舖 矣。日。有 客言 發 脸 聖 荀 佛 抬 相 中 貶 此 光 光 未 雨っ 厠 汎 壄 光。爲 問。兩 至 富 矣。之 솸 者。楊 不 Ш 潘 IJ 俳 並 址 **特。**中 冇 IJ 推

鄭 · 春 · 其 · 人 。 牢 · 可 荆 聖人 ıψ 句○者。門 云っ心 **脣o秋o祖o矣o於o以** /大 Ж 文
る 人 篫 有 忧 惟。無 學 吳°以°父°若 三。勢 典。日。文 學為 青 亦 人 務○一 夘 ○埀。以○子 便o位 非 鄊 U 也った Ē Į. 巻の事の元 疪 之。不。從。孫 市○千○勢 化老 詞 肾 日 發 ٨ 目っ性の只 凱 物 上○朽○祭○可 不。則。位 章心。 游夏 Z 成 之 人 見六經。 飲務 飲 胸 情の輸 丧 方 矣。當。於。得 當。愈。可 ル∘天 中 担っ新 胈 志: 大。社。而 故 太。國。得 脳 To 韭 稱 肵 他の氏 為 癖の 書。與○私○牢○之。而 Ы 图 此 夘 文 文 篇。便 文 人。則。得 文 特の祭の則の於の祭の干の巷 稱 .世 觀 非. 不∘心 11 亦 書。於。三。一。鄉。非 Æ 萬 乎 詢 何 成 £, 俳 學の麝の相 奼 弗。大。桓。栖。先。子 Ц 草 П 文文 也○文 聖 仮 春 此 妒 物 誎 何o烝o之o栖o生o孫 公 Ż 平。人 Ħ ilii Ĭ., 詩 殆 乜 之*权。矣。有。伐。於。可 治。女 圕 IJ 旂 肵 亦 何い支 垠 븝 類 稅o孔o力o樹o社o得 灰 削 剔 Į 也 作 省の好の俳 Ы っ.典. 之。子。皆。削。者。而 况. 亦 旿 文。古 业 古 75 葪 杦 名。之。當。跡。當。私。家 以 絲 ○何 穩 不 褙 務 文 朾 於。作。奉。之。太。若 者 雀 狎 扎 詩

耿 馮 方 生死 庭 逮 百。如 言。而 正 性の禽 小 之。 古 不 否 此 退 揮。其 儴 뿌 然 完之 日 竟。由。賢 下。見 日。故。則 非 芝 · 日。故 同。日。 臣 近 不 有 末 世 鉛 李 日。能 忍 子 槢 元 若 私 俗 巻之二 赵 不 友 杏 衉 共 **充入** 性 賓 而 敎 墓者。 基文 悟 姑 出 吉 於 矛 之 拂 莫 之所 美 他 た 存 力。是 忍o性o者 待。旅 萬 見 末 奱 烋 能 不 能 共 庖 帶○在 肵 也 有 爲 當 學。以 之。教 性 過 也の君 心思干古 中只是落 結 當前 言 在 IJ 久 不 也。百 異 正。他 也 此 親。 為 to 除 當 人o言。時 生 矣。 潘 3 Ż 於 潮の不 如 惷 朿 芝 人の謂っ性の謂 死 至 畬 根 只 骨。 在 了 之 色 。數 之。稱 돲 恩 有。則 ఓ 古 天 又 叐 在 畢○道: 趸 于9 文。其 氣 為 老 此の禽 追 (輕看了 謂 個 欲 豈特文之 少亦 A 而 薢 質 也。心。 要。美 段 一。陕 時の輪 於 人 徒 而0者1退 希。監。便 之 而 廻 生 迷 死 不 不。不 さ 養。不 性。 不 辨 那 评 後 頛 了 滅 煩c過 歽 肵 禮o能 ٨ 具。第 埬 再 也の十 推。 之。矣。與

景 生之 走死 益 者亦 (晏子蹩) 伙 死o為 光 貴 為 愚。 찿 有 寄。景。 無 家○人 衝 智o古 今o一 加 酣。道○乃 佛 而 来○余 宜 智○時○及 閊 不 然 B 共 氏 Y. 濔 平其復宋 夘 邽 ・何 是。今。生 を さこ 死 裲 旣 徒以 ○日 ○ 欧 4 Ë 幹 聴 徒 間 死 後 75 誰の只 7 異. 谷田の願 荒 火 矣。渠 爲歸 賢 春 廻 光 來○是 的 生. 間。而 Z 耳. 友 景 人 者。這 癡 人。萬 公 無 君 出。禮。之 教。為原 奥 死 Ħ 見 况旋 泉 作 不 悬 便 咖 諸 주 嵐 手 芨 愚 家○後 何 鈍 是 便 言過 晏子 胡不 关 状。古 死 人 的 為 则。之 足。光 智 轉 根 生 不 ŧ 會生 生。光 說 趂 飲 景 來。在 而 Ď 不 矣。為 淌 話。出 作 食 者 遠 不。景 档 天 巳〇於 起。死。羣 樂 生 如口也。 男何必女。状。有 办 花0者 是 何 地 悟 禮 臣 飲o 妆 死 死。况 是 旋 ij. 誣 來 。不 固 信之 E 蒒 奥作 轉○天 而 矣o以 誣 益 者。紙 不 欲 可 設○是 前 着 君o則o地o則 聖 4 4 **馮o**再 落 **賢∘**愚 初。若 誣

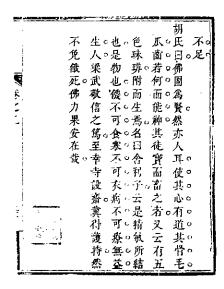
僛 程 之関 馬 有 陽 站。大/文 罗 侢 不 7 態 也。忘 典。無 交 前 ź. 得。是。 乏 棄 日。百 進 稙 彭 人。 Ϊ 小 忠. 安 叉 理○佛 日。乎。子 姓 行。 閧 Щο 而 郎 有 孤 办 五. 後 家 肃 若 先 遂 臣-避 山 夾 薍 者○有 山。日。此 木 囡 沮 也。罷 有 席。可 是 以 飮。 Ž П 額 1 在 世 理○冷 他 即 酒。孤 致 再. 也の 办 石 木 🔈 為 姑 江 俗 人 諈 苍 之 椞. 寨 拜 怒 上 季 婚 碳∘水 궲 倳 道 之 罪 是 旜 瘖 A 굔 也。謂 В 布 母 中の畝の Ξ 是 說。 也。 後 之 首 變 出 M 南。余 Ž 更 竏 龚 惟 7 極 也。夫 宄 而 入 Πo П 門o貨 甞 澎 洞 紮 壀 方 好 飭 子 心。請 不 椈 望 止 過 浪 獨 廟 是。笑。 來 就 法 君い日。起い者 之 俚 小 機∘立∘之 俥 他 豊 傪 席。若。嬰 夌 當見 如 俗 孤 述 加 子 名 法。星 人 有 潤の寒 欲っ敦 舉 少 Ż 中。韓 名 ŭ 世 邚 我 無の均 И ٨ FIS 共 關。您 朝 為 俗 巷。 期 不 暁 治 開 瀧・君 先 哉○像 故 是 彭 韓 江 去。 得 命 此。言 休○寡 团 謂 亚 劆 乃 孤 便 败 矣。是。而 祁

是 洒 Ł 他 見っ 也o質c否o得o顏 易ぃ如 孝o形c身 ふ 自 釲 Ш 然 业 411 要○朱 Ŋ 日、淵 Ħ 也っ難c所 孝 古 □ ~ -垩 何。數 當 之。子 有 不 大 푸. H 新°以、矣。忠 身 賢 事 日、家 皆の日の命の幸 É Ŧ 孝 其《成 此 他 臣 __ 不 * 也 之 盎 天い命の如 炡 也。 ш 周 理い仁の又 髮 物○曾 Ž 義 只 學。其 所い之の此 冷の此 屠 常 皮 不。医 士。盾。皆 何 至 是 办 道o付o正o之 40 尤 カ 胚 **鮮**○成 也い奮 恮 姕 有 此 子·者·命·牛 康 則 尖 9] 吉 於 身°仁°日°不 さ 説に 節之 成 勝 肵 盂 出一桌 死の笑 鈋 Ē 0 殿 難っ川 此 顒 父 敗 如 盛 偛 -}-於中天 H 者 按 po顏o字 奥 身。母。之 説った 4 日の理の命 衰 命 縢 在 其 其。在 共 귍 ス 塒 ٥À 肯 命の臭 謂 命。 謂 矣 葥. 祈 册 性の其 他 死 敢 說 皆 都 長 辪 之 之。性 夫の 坐 倉 不0中 死 **吳** 之 理 褧 丱 毁 說 康 夜 變。之 正 問 :16 人 在。失。足。傷 歸○傷 の得 定 俼 紒 面 者。命。子 Ż 团 っ太 乃。煅 不 业 孝 庿 之 大 而 也。至 出っ無 굸 44 Ħ 客. 所○身 同。此。之 溇 数っ 敷 ぶ 因 者の於い分 さ 此 有 以の成 苍 剘 萂 7 可 問 分 級の別 75

程 剪 n及 入 化。不。则 子 道。液。宜 風い 帝。割 處 身 者。為 氣。以 往 沂 窮っ殊 日。俗。 ٤ 肝。孔 飲 人 蹈 德 葢 來 Til 亦 Æ, 取 更の與 謂 有 北 子 之 朝 子之常要當參 難。忠 女 而 龙 呼っ諸 豈 白。而 乃 生 。自 有 何。天 魟 子 💌 禁 孝 不 **神**。亦 魚 身へ復○地 寒 令。是 愈。錦 。**彪** [2 迈 身 無 可 À 只 不 生 刋 知。こ 不こ 丼 養っ之 之 孝。體 궲 太 理。以 是 是 生 開 魚。不 若 若の髪 <u>-j</u>. 卣 於。化 衛 能の言 理 將 之變 不 然 閨 旣o不 復 必 至。膚。奏 總 忠。孝 旌 已涸之 也 窮○生α往 宜 旗 枧 ·於·矣 斃ぃ相 粁 加 表。殺。受 使。身。之 巫 <u>T</u> 人 來。之。似。為 可 如 旌 徇 罪。 君灬而 無之 則 形。天 愚∘其∘父 表。整 也。什 如 見 方 歽 乃。吾 氣。海 仲 人。罪。母。上 便 之 既。地 女。 Ŧ 可い人 水·生。鼻 返·之 之 因 生 息。之·化·氣。 有 却 不! 做∘尤∘不 日∘母 以四乃 衰 九c 生 之,大。敢,為。病 戦 爲○稱 元 畫 水。陽 於 쁖 豊の兄 氣°自°必 毁 一孝の篤。 娔 孝○周 不。太 厠 盛 颠 傷。固。則 假 Ħ 以。然。資 自 机α處 剖 大っ亂 自っ肝 元。吸 守っ然 奺 丽 為。生。於 為 環。皇 腹 有。煮 潤。天 乃·捐· 復 造の生の此の

邵 者の鷸 妄 夜。 不 者。間。譲 神 m 厠 者、其。及 也。也。日 共 홌 求 夫 往 當。何 哉 ゥ之 日の物の共の荒の者の欺 Ö 君 者 謂 能 和^ 則 1 也いり 黄ο荒の也の非 也の樵 子 人 也の漁 益 浗 樵 5違 人 不。也。不。漏 之遇 老 Ż 徘 巻七二 修。天 也。之 者 者 者 有 者。妄。不。亦。也。之 謂 遇 命 日。日。德。乎。淵 前 日, 來。 死 也o亦·禍o災 漁 必 禍の福c 有 有 積。自 藴 可 人 天 生 炎o乎o也。有 者 **分**○幸 善。作 者。得 有 非υ非c 地 為 工之道也 乎。農 鷸。日。分、分。 奥 卯。於 獪 人 善 君。之 中 天 農 故 有 欺 無 共 ぶ 而 子。咎心也。敢 也の也の 鬼 邚 神 象 幼 有 有 妄○有○有○ 逃 幸 常。同 天 洪 遇 問 畫是息夜是消。 言先 思 平。也。漏。分。雜 榢 妄 ıfrı 雄。 炙 命の命 ÷lî 其 幸 穑 也。也。也。也 步。逃 쀺 Ð 有 椭 所 求 何 王以 何 不 為 有の己の等 祈 而 敢 當 當 以o福 物 頄 復 扁口鶥。 謂 幸。惡 鱼 者 不 兲 問 徐っ天 祈 。不 而 茂 分の命 事の降 瀡 勤 书 敗 而 其 漏 釽 分。分。 誻 何 也の獲 於心之 温。日 對 動の故の也の也の 可 稼 共。災。鬼 時の水 謂 當 誰。藤 E 非。非。 脳

方孝 命∘從○矣。得 今年 寒極 魂 生 窮 o 養・自 然○做○是 4. 既ら 能 翰 不っ至。使。有 拖 始 爲 便 往 夜 。是 之。息。仲。 寒必之。 占っ廻 與 "矣 。 德 。 進 終。變。是 者 是。今 理c屈o夜 赱 人っ使っ而っ者。士 天 豈 の物 业 過っ昨の日 痱 者。是 説の是 暑 将ぃ便 謀っ君・可・命 不 終。 苯 理ぃ來 日へ底 Ð 再。压。 えた 个 極 來。 也の子の以の也の可 是 €○死○精 豊・晝 者 奪 來・書 往。是 氣 線、夜の夜の夜の作の是 久。必。致。使。以 不 年 Ŋ. 作。 寒。新。 之。散 新 舊 矣。爲。褔。智。不 讖 為 虚っ不。自 一仲 🗸 始る 亦 安の人の遠の面の知 進 生 聚○也 物の者 來。 了っ是に是 書○夜 ネ 底 之0所0鷸0可0倫5化 之。 散 〇終 物 滅い个の形の非 則っ是 也。寒 是 故ぃ奪の則の得い人 ** 水 の 也 。 便 始。 新 日の作の日 必の終む 常。則。羨の富の之 暑。將 終。 作っ造 生、者 潰し目の底 夜。不。 有。贤。里。貴。所 是 故 生,夜。甚。晝 去 収 新ぃ化 夜0是0 年 僚で者○匡の則○志 歸 ・寒 垩 來○自 聚 11 - 再、夜、夜。別 / 將。 根寒水 違っ無の人の孔の無 之。能 也 1 生の東の今 必っ消っ 之。不。之。孟、窮。 聚c浆 启 1/17 造 作の日 枚の週っ厄の南の而 元。來 往c 散の散の也の然の化 个。實 是offol 常々矣。無。面。所 是 死 作 将。自 游死 不 日。夜。白。來。



司 治o馬 优 、飲 꾡 陳之不 婸 子 岳 身。臭 而。之 鬼の故 丽 貴 在 ता 滅の上の為 日で吾 腐 呼 Ŀ 安っ温 之。顯 有。日。古 日。以。公 秋。而 星 學。日。也。為 於 mi 瓜 į, 丽 梓 也。而 į 液 神・精 宜 潼 是 棄 可。例 慮い物 Z. 之、氣 卷之 禼 بخ 者。也。物 頂 帝 の不の手 發 1 為中 物の情の者の類 有派感 君 貴の百 亦っ人 仰 而 於 扌 ○也○自 胂 詛 特。之 之 氣。死。者。 者 裁り世 寫 地っ 之。自 艮 肵 無 者 而 z 按 事 腥 以 狀○有 重 仧 下の菜の也の骨 方 生. 糖 癀 也。而 洓 有っ葉 志 日。也 非○若 共 肉 魚 頑 i_{Γ} 自 無の游 肿 足 利 如。而 桁 夬 之 鬼。蓮 酸。 'n. 有 手 娃 欲 魚 腐○聚 星の為 化 也の 之。者。 而 張っ 利 Y 之。文 耐っ 不 螻 為 學。 無の情の自 祥 欲 0 昏 精の章の奪 惡 石。 蠂 及 故 也。有 雖っ 琵 聠 炉 気の胎 Z 於 Ħ. Ú 多〇 隱 而 子。 之。隨。乎 IJ 物 の食 斃 共 無而 丽。 洏 ⊈ ο. 共先 成 死 共。正 則 豚し 也 聆 ه ڼار 自 髙 퍔. 斃・世 Ņ. 藴 不。 變の有い無

呂 問 胡 薛 新 障。下 理っ 釋 始い五 者。 眼の文 Μį 其 人 潼 斯 っ 唐 杝 其 吞 牁 終っ拳 尺 ıήι 氏 盇 忿 力。清 誕 冏 # 而 萬 乴 聚 日·是 有 义 캪 鬼・日・謂 從 刀。公 也。豫 干□文 佘 人 也 財 ᆫ 執 _ 墇 神の一の是 辨い日の 其 し道 昌 籍 西 U Ü 瓸 簡 者 扚 之の日の也の宋 言の其の程 Z 待○復 奺 書 六 肏 天下之 説・變・之。 理 理ィ是 Z 套 真○朱 灴 元 謂 ο對 母 Ξ 吝 爲 氏 4 理 0 程 化。且。 齌 是。之 加 上 在 左 傀 二。明。故 其 子 具。莫。 謂 炭馬 帝 北 真ぃ外。 丞。徒 散 財 此。為 日の爲い天。 其 丰 非○諸 命 僖 劎 也。 言 也 交昌 理・障・釋 不 梓 宗 州 地。 魁 儒 U 流 夫。此 氏 之。 有 可 性 之大 童 前。加 涮 通 始っ 夜の錯 有 彌 輓 理 司 神の有 封 殃。之 何っ看 业 終口 逝 Ľ 雜 碌∪掌 済 曲 司 物。 古今厚積 障っ了 説。 理而 為 。倫 文昌 肵 JL o 宏 命 Щ· 若 理 ᆌ 專 悪っ 先 尤っ Ŧ 仁 司 っ仕 之不 IJ 字 旣 大飢 儒 當っ 辞 o 宋 菁 ن ----大 府 理 **北**。明 事。 成 卦 1/2 大で 帝、事心與 μο 説っ著。 没 爲 天 此 之。 <u>X</u>. 及 梓 英

張 凡 欺○南 非 計 年 葛。臨 尼°士 惡 君 能。而 羅 冇 看 趙 軒 厚 之備。 IJ, 蓢 死 損 九 嵬 十。若 剕 っ矣ぃ 馬 史不 莁 日 。其 矣 產 則 共 其 子 他 Ã, 以。未 者 于 身。餘 所 養っ心の 志八 吝 2 歽 鄉 罪 ▽∭ 善。有 上 楊 定 n) ĪĒ 期 恚 Ī 季 尜 此 丽 鄙い都 Ξ 審 。不 敋 被 之死 4 念 叉 えき 欲 _ 後 Ð 則 差 害 所 βij 縕 也 。以 一訴之釋之以爲當罰 能 發。 一般。 所 史 。為 假 之爲 我 X ¥ 共 嫉 凮 .而。禍 官聯過 뱕 廷 څ. 同 ィ 奢 >俗 好の盗 指 ◦精 ○散 在 尉の善 類。大 能 Ħ 世 せ 而 幸 賊 加 吾の者 。定 天 者 思 率 籌算 能 保 之憂棄之 則 其 之重 所 德 張 國 下 以 夏 家 幾。守。 っ 為 災 騨 手 с其 釋之為 乏 無 均 相 雖 _ 夫 子 。加 並 駅 · 徭·故 手霓 鵩 が 定 民 。 連 分の甚 歳 入 夜 孫 六 樂 性 亙 败 葢 富っ Ã 冬三 不必 之殃 煩 則 其 命 則 積 也 金。廷 /史氏 萸 八事之資 天之 也。 積 麥 · #; 禍 。亦 食 之 귮 尉。大 Д. Ξ 裘夏 + 擕 益 実り 天 Б. 能 界 H 有 焉 將 一 富 人 。 之 之不 則 其 吾身。 共 道 則 Ĺ 垂 大 濰. 셍 凸 所 Æ 必っ涎ぃ害

程 劉 朱子 灱 受 。 夏 東 生 示 罕 喪實 子 定。互 下 e 者 者。加 至 共。之 皃 非 赤 挛 日。之 科 下 夭 天 日。矣。取。至 鄙 子。無 Ė <u>H</u> . c J. 日中 事 平。廷 ٨ 下 公清。人。兒 精。以 鄙 子 意 君 實 不飘 我 者 宋 克 0尉 っさ ılıı 子 邚 包 若 余 日。人 赵 道 有 不っ廷 办 何。宜 共い示 A À 芝王 办 肵 以 不 好。简 71 知い尉 共 魚っ雅 知。賢 沒者 取 必 É 食 示 得 赀 是 人。天 也。 鍾:革。 彌○者。取 棋 有 為實 玉 非。君。下 Æ 有 A 於°然 媧 野 'n 黍 異 。一 共. ○者。 此. 只。為。之 方 共·者 賢ぃ而 矣。也。實。 金 甭 ₹ 獻 理。據。天。平 其 者。有 取。必 矣。以 故 4 Ц 人 諸 然。是。下。也。時 以玉寫實若鬼以為實故敢非 固っ貧 彌。取 以 和 以 东 事。處、之、釋 上 有⇒悴 觕 ○ 至 和 氏 百 國之長 之°行°平°之 使 之壁 所∘短 子 吉 氏 金與 是o将c 誅 知 不っ天 罕 矣。之 罕口 ż 非の去。 廷 周。以 之所 其。聲 與 搏 · 博 者 與我 尉 铡 久。必 也っ至 知っ鬼 Zi 穻 為 e. 却っ欲 無 彌。前 自の関 Ą

庅 日。名 山。蜺 の則 ħ. 成 Ü 雨 z 不 。色 15. 位 簽 天 廷 **猖**。病 三 不 變。 公 平。先 殃。光 7 變 也。電。日。災 年。機 聍 中 3 天。之 之氣 共 若 。氣 否。流 。天 是 夘 盪 而 脢 矣。亦。安 Ð٥ 典 摩 Ż 也 行 後 2 天之得其 明 天 行。何 Ź 痢 ှ 天 五 見 病 <u>*</u> 而 U 焓 千 子 聖. 筙 赘 崩 也。精 也 0生 三 通。暑 泵 人 氣 陽 百 夭 ٠ź٠ 也 。有 丽 札。矣。霧 亂 焉。 则 者。為 舛 华 而。耶。仙 冬雷夏霜 医易 犯 不 之 喘 不 物。濁 行 質o訛o不 故 常 不。愚 人 道馬 卶 之 受。星 畫 也 。赐 氣 散い謂 夭 吼 見 天 其 病 天。妖。岳 汉 者 魚 失 。而 地 神 也。之。量 律呂 其 之 間 九 夜 17 汗 斦 為 不 載。道 而 呂 呼 平 壅。正。嘘。則 盤 魚o竹 然 為 狂 明い雨 悬 在 肠 先 疮 於 自 也。亂 以の酸 疾 世 賊。 風。五 之早 知い雖 反 生。氛。投 風。鬱 壅 萬 動 變。人 叩。 古 若 造 物 ė. 是 南 ぃ 化 防 常の者の病 流 折 . जेर W Ų 非 天 七 激。並 啓 故 劉 之 犅 从 也の將 行o木 為 仙 ホ 颠 進 蹶 能。至 水 漂 虹 育の閉 孙

其 聖·於 醫·故 世 不 ゑ∘元 焉o其 惠之周 於。百 址 與0伐 。木 z 曲 世。 o 狭 o 為 無。氣 日 元 之民 日 日3也。息0息 是 杠 旃 易 肖o也o非 天 Ξ 以 魚之 堯 盘 办 末 惟 與。也。有 不 病 奪 堯 奔. 争《入 以 愈而 詩 名こ 孔子 舞 聖 之桀 闹 c有 日、日、所 。不 此 易 **、**於 约 탈 入 不 夘 E 春 ふ H 育。為 性 者。武 氣 秋三 共 有 善 而 能 天 能 旧。紂 E 不畫 者の母 ᇿ 暋 而 聖 災。 元 是 反 前 共 而 入 道 有 襇 糸。而 麥 普 ٨ 也。 ○復○高 聍 弊 能 寫 自 氽 行 法ロ乃 天 苓 均 道 z 日。之。孔 有 不 故 也。 之。之 絕 不 和 聊。 丽 文 豺 余 僑 日。家 暴 聖 虐。人 百 此 也。於 元 子傅 操 安以 光 用 。暴。 而 才 ∘ 秂 缝 地。平 祥・人 Ē ・天の為 氟 故 盐 式。 天 猫良 上人了悟 天。窮 降。能 著 湯 有 之所 厠 言 復 其 Ż 作 則 所 武 率 性 ·矣·方·地·矣。徒·病 共 所 不 於 方以 叉 鬱 ぶ 辺 夹 膀 有。日、又 善 與. 方 醬 也の能の降 佛 财 配 勝 下 则 與 壞。然 加 丽 而 元。則

呂 夭 也。以 病。非 之。也。 以 作 죰 到 厚 道 天 理 以 之 余 早 の日 嚴 7 共 我 叉 比o日o至 葬 髮 悟 見 討っ 者。異 訶 路 也 試。今 異 極 ű 為 得 此 天 水 儒 夫 切 使 同 儒 作 思·之 比·知·為 處 o E 服 者。天 虎 然 . 老 釋 И 家 貶 門 列 書。 差不 不 _ 而 躁 理 ب 自 氏言性 之言 三子 異 日。人 之意 試。箇。舉 易 則-終。死 精 Ξ 有 於 行 為 U 問。甚。子 吉 业 此 須 故 得 之 釋 栍 祚 0 臣 0 也 0 甚 做。麽。文 也。理 奥 尋 日 鈲 舽 者。氏 邚 日 其 美の則 濉 官。行。者。 在 曾子易實意 傳 さら 理 只○者。此○欺 傘 家 夫 質。 巻。筒の調 拈 尺 烃 先 也。一。只。褲 夭 o師 如 頺 了。甚。為 花 布 錄 搫 故 理。一。者 禪 ż 此 何。以 淵 那。麽。學 竅 千 日 字。性。不 後 意 否 死。 家 飭○遇 題 胍 頭 字。知 t 聖。上 天 理 甚 Ĥ 如 m 之 同上。了 教の瓜 Ηo 同。而 7 共 序 者 ıłł-美。否 人 了い政 毎 死。人。孫 天 天 ٨ 謂 否○夫 也 欲 那の斑 П 排 # 若 秋。里 凇 言 --也。日 子 厚 簡の目の知 便 不 有 110 天 也の性の聖 日の葬 何

問 問 潉 奉 此 者。 說尧 太 人 人 土の虚 天 意。前 所 Æ, 必 平。 Ž, 生 地 洭 篒 者の為の便の人の 善。為 日、輩 待 戍 舜 惡 鄁 者の日の無 Π 善 是。既 0 自 其 Ξ 說。死 死0是 在の天 心 舌 善。不 見 安 如 净. 除 燃 老 後。代 若 興 o 氣に此い地 浮 而 傅 在 之有浮 伯 大 휅 の修 屠 却 後 之 無 死 成 吾 談。 恭 亦 椅 抵 於 厚 治 一二本經 氏 世。地 鰂 便の無 化。 Z ۰4 被o調 造・入 屠 之。 屠 無 獄 有o勾 氯 叉 宜 自 Ż 會 白。除 路。中 Ñ 嗣 潭 治 而 散の心の當の 何 肠 致 0看 然の浮 衠 國。廟。生 為 居 之。浮 之。其 IJ. 其 然 藏 書。孝·屠 經·多 父·嗣 75 有 天 ٨ 惡 氏。彼 屠 道っ是 포 **事**っ 醒 赴 'n. 盆 劜 75 者 何 氏 Ŋ. 4 矣。以 其 其 是 母。廟 於 名 便 君。 滿 此 所 不 生 物 邀 祖 後 悌○便 人。便 知 又人 天 屋 懲。 足 而 物 国 師 有 世 IJ 長。向 錯 錯 向 焉 焉 下。 朱 可 信。 已。為 家 所 至 做 上の番 斎 若 計。子 麩 則の心 做○者○僧 Ý 柒 萸 周 Æ, 天 日。世 共:即。 桃 1 閒 所の蔡

張子苔 或問 未必 受誣也? 之惡 然。二 是 。不 上 ョ之不失不為言 田出之忍矣哉+ 豆人之所欲哉+ こ惡德也婦而十 所 শ 也c後 於 禮の大 從信 山下。 | 范巽 其不 佴 淫 郁 夫 业 久 而 不 也。也。薄 ź 仔 離 之矣。駕 孟 當 幸而遂 孝之三 炉 鬼 仁 夫 子 佛 粉。源 子 以 也。之 胂 者。 日。 具 亦 所論 源 所 人 贼 夫 非 不 所 是 2 有 在 端 ネ 自 訪 U 棄之。 娇 喬。老 氣·為 人 云。律 斯 歽 待 見。知 物 疺 道 人 貧 至佛入 策鼓闘 出 ・也っ非 姊 劫の語 之 共 就 。 尼 夘 性 怪 倫 而 之宜 参 聖 有 進 加 所 夘 z – 神 天。 得 言 人 t 一之。也。也。意也。其 惡 盜 也 後 從 天。姦。 赐 没 而 中國 理。 出。 漠 知~出0學 不 此 哉っ 也。聖 ο時 已。諸 则 婦以 至 非 聖 邪 袻 ィ 딨 疾 也。夫 人 如 之 則o公 物o所 物之 於 難 人 (之與無 辭 И 幸也大 五. 婦 鬼 鄭 人夫為 夘 語り ィ 作。是 吉 者 始 康 天。 顏 幸 懼 為 天 從 也。 亂。成 0但 期 有 o矣。 子。下 Ы 注 E

戓 是 問 交來 白 可 剛 3 歽 君 者 Ü 者 也。難 o惡 鮮 命の無 家 義○之 吉 子。專。日、此 免 **貧** بخ 常 夫 矣 公 缩。異。 擠 無 0聖 界。此 胍 仁 2日 7間 說。也 在 Ü 依 0付 我 老應舉 中 Ċ 然 人 不 家 程 七。於 身 者。所 孔 卒 Ž 敬 武 非·好者。之。惡·夫 得。固 求 言 貧 佐者 Ü 伊 子 刑 以 命。其 能 可。親 M 日。以 不 之必 安。下。基 如 老。日 。末 竹異 凡 其。剛 為 刚 É 可 之。若 於 為 親 命 須 此 化 不 传o者o毅 存。知。逾 飥 然 Ŀ 秤 特可 中 何。奈 用 只 不 也。非。木 我 刑 而 智之人 非 喪 孔 人 何o厭 是 亡 於 免 惡○好○訥 學 之。際 奴 義 子 日、仕。志 也。喜 厄 於 有 其○其○近 為 則 下 日。為 然 矛 得 人 者。不。剛っ仁っ怪 疑 唐氣若志, 不 更 不 者 린 得 不 0 皆 也 仁o也o又 妄○撓○膀 不 高親 求。 能 設 。知 Ž 7 也の好の日の必 吾 智 业 盲 不 命 。不 非 是 Ė 吾 共っ巧 矣○窩 命。茲。為 也 得o志 無 IJ. 可 平 仁。言 物 40 生 也。合 昏0委

須っ

端っ

不。

必。

攻。

不

朝

年。

吾

並

矣。

欲

娦西 也 。近 Ü 之薄 Ķ. 言 痲 不 有 民 卶 若o者 下 以 理 턌 面 也の之。 者 勒。取 ___ 惜 ٤ĵ 者 Ш 乃。之 旌 4 īĀŪ 後 尚 沲 Z. **焉**。之 此 民 吉 化 日の聞っ事 此。言 継 物 ÄĹ. 仁。焉 整 **13** 🔀 養 日、狄。 É 7. 之。百 命○也。 刚 之。 悠 L. セ 失 П 用 張 朱 生. 芗 文 清¢靜 が此。 [] 家 面っ 上の 丙 之僻 粗 次之将 之以 c 1 大 之 41 帝 此 民 慈¢之 心之門為 不。智。 倡 在 迹 而 道 以 近 É H 亭。能。之。 亦 澕 页 矯 後 ら 取 伙 Ż 正。儉。惟 埋 安。人。 曲 'nſ か 么 弊 義。有 吳。奪 清 之 無 日 * 之。安。 Ż 取。他。虚 z 失 仁 張 之。 漢。言 事 不 氏 者。於 掌 n然 加 為 吉の義 **茶**。 艮 必 方 地 成 也。民 敢 所 又。義。 共 拧 'n 妙 而 iπ \Box 本 H + 根。 會 曹 自 A 該 其。中。 并 4; 茂 用□放 之以 後 失 庾 者 綿 庶 媝 富 者 ٥天 下。 人。 有 者 (2) 土 聖 蕠 ij, 逍 趙。 袓 綿 之以为。之 泉。者。以。 無 下 不 一人之所 做 莊 者 濄 īhī 浙 焉。若 徘 先。今 地・下。 μj Ž o氏 宗 者 後 項。陰 Ħ 存の難 相 艮 E 安。 於。 勝 É ය 之 ◦悪 他。 祁 谋 將 崩 君 漢○自 無 ţţ. Ť 有 共 之 至 信 失 彽 مريس 7 收 模。盆 命い

故。經。文 是。而 馬。收 氏 耗。 调 孔。---。 籍 術。者の 清 是 哉。未 耗 东 Ż 則 文 帝 之。差。主。而 剘 養 公 不 生 若 及 所 帝 儒 神 亦 道。其"斵 甚 • ф 生. 日。得 妹。 民 長。 武 教 術 甪 農。聖 為。流。 屯 凊 之 商 世。不 糸た三 o 💆 者の帝 也。而 果 黄 巫 人 說。 無。必。 詙 韓 何。辨。則 拾 ż 使。文 木 步 也。弊。有。民。之 老 펡 非 业 Ŧ. 樂。 於 其。帝 神 而 逮 Z 其 哉○甚○雖 稨 心之 种 Τī 賢 仙 有。 用。用 儒 黃 天 袓 道 或 喬°老 £ 歽 仙 家 之 雅。 下 大 與 大 多 刑 術。孔。之。老 謂 Ü 莊 Ŧ 本 方 書。第。 小 名 子。故 特 矣。 是.之 弻 卣 桑 也 之。其道。故 兵家 說○雅 聊。 崇 武 非 學。何 Ħ 子 傼 言 之所 放 1 也。書。 帝 均 以 之。初 平。來。曷。未 其 非 共 蒻 4 詞 噼 ż 亦。 名 則。如 也。 傳 俞 用 而 之 審 餌 耥 者 罪。 有。 丽 共。此。 之正 ·F、有 凊 若。 儒 至 出 語。少 栓 矣 少 之。 矣。四 儒 已。成。然 衚 北 黄 山の此の皆 至 也。 術 袻 功。亦 慈 面 担。 堯。然。以 讕 老 刹 陰 涎不 夫 書 豊。富 何 淅 儉。 梅 武 階 之 舜。本。或 伶 謀 何 奥 以 止。之 内 叉 稱。周。源。亂 颌 阮

ĪĖ. 變 可 化。不 心。心。洗 太 吉。 性 之 祈 誤 誃 即。日 心。性。 命 鯑 歸。 而 好 之 民。日。已 於 裼 理。易 削り В 之 各 明 一。日。亦 天 凡 不 經 豢 也。日 易 理∘正 理。 辨 程 糒 何 狸 者 尃 可。書。之 文 其。說。其 也の窓上 日 性 之。義 子 存。矣。也。 異 正命日成之者 to 之 況 悅 可。洗 明った ıĊ. 竆 無言 於 甘 大 莫 爲 我 謑 切 通∘心 矣 三 理 丽 樂 何 不 民の用の人 口手。 面 Éff 後 於 盡 此 卽 ž 人 故。喜 明。乎。心 艮 尤 \mathbf{L} 日 語。心 性 是 理 庻 /Ů 以。談 非 道。 爲 孟 以 自 日 亦 Ŋ 则 也。入 迷 苍 立。 用。明 子 此。能 性。易。彼 屢 至 (诸心夫、 泉 也 而 不 政。 常 試 未 白 於 日 불. 非。山 哉。人 能 二。 吉 有 易 詳 命。聖 性 彼 吉 甘。之。 欲 端。 不 見。理 基 味 重, 但 人 是 肆○也。恭 المار 自 故 剧 祈っ 羲 Ш. 作 詳 矣。則 澹 詗 是 不 以 已。 誤 學而 老 易以 Î 數 i 味 ٨ 此 理 Į. 則 生の道 此 峕 悅 語。而 八 乹 非。也。 得 非 И 也。不 我 謂っ日 此 数 順 進 安 至

道の矣の未 其 賢 於 恋 来 丽 詩 敎 文 如 去 道 者。者。唐 王之 退 也。梁 為 書 不 耶。取 章 理 惟 叉 Ž 唐 之 文 寓 易 能 以 之 之 者。董 之 政 之 之 間 文。士。盛 pJ 間。者 ○産 Ż 冶 別 之於 盛。莫 参と 赮 知 不 桦 丽 聖 於 春 Ż 去二 相 剣 如 絚 舒 也。及 得 青 最 於 賢 秋 文。修 尔 Ż 此。如 買 漢 誼。儒 於 退三 其 聖 IJ 唐。無 堯 共 物。 子 元 南 Ŋ, 司 之 要 入 文 甚 舜 Ŧ. 故 之後 也。結。不 在 馬 攻 之 者。 者。之 為 於 者の禹 垩 俳 共 茍 誻 和 P 支。可 道 宋o世 求 法 뱕 湯 六 人 中。如。蘇 邪。以 黹 # 有 夘 其 者。於 務 流 И 周 者 紀 之 箱 ţţı 其 何 耐 退 盆 也。 片 舍 贫 至 焉 ◦文 天 # 4 李 說 之屡稱· 7Ĺ 所 麗 董 於 世 |子此| 泉 簡 原 於 共 孔 衷 作 観の也の質 子 述 世。後 者の今の弊 之 古 之 子 道 盒 苟 並 者。且. ぶ 騂○得 此 記 無 惟 未 Ż 丽 始 渡 子。王 古 之不 在 묈 聖 不 無 檷 転 抑 已の心っ以 於 Ø 霸 其 與 歽 之 根 ٨ 有 焉○退 其 見 会 Æ. 取 焉。聖 之。所 来

問 赐 也。及 爾の於 之以 观 莫。所 有。方 號 刖 剳 竹 犝 共 者○惟 於 文 天い魄 Ż 知。爲。而 之 冇 共 卿 氏さ 常 生 天 草 忠 旜 何 共○使○求 所 以 為 所 知 Æ 為 . 地 木 而 办 為o相o者 也。 未 美 栭 郑 道 原 £ 不 之 生 昆 日 0 程多 間の名の作の者 非。如。以 白 李 也能 o天。節○萬 蟲。放 於 子 Ż 此。之。是 考 輒 非 果 居 ∘斯 Ξ 使 物。使 生 日・主 地 又。奴。望 共 從 虚 何 洏 並 逝 也如道 池っ 退い隷の於 辭o而 語 道 於 稲 彻 唐 之。見。人。輕 文 也。乎。董 东。 蚏 怂 世 道家三观七鳃之說 之。之。作 俳 之。近 杰 賈 安 之如徳の斯 耐 於 遂 處 陽 時o且o者 ÍŢ 稂 世. 相 獨 在 取 ٨ 共 處 完 只是除 所。將。以 薄o共 駠 如 抑 共 Ü Ż 也。生。有 祈 無。棄。是 名 背 **ぶ** 雅 Ż 。能 類 已。不 然 而 ٥ 有。去。今 羞 占 紛 然の陋の相 貧 易大 萬 過故 化 Ī 不 然 者の面の於 人 _--共 如 物 天 焦 右 現氣歸 宇 也の今の時の之 雑 平 辭 犅 خ 而 物 私 仁 歽 出っと 之。似 胀 進 也っ 情の日の得 冶 惠 爅 士。有 廿 徴○猶

此

息。

歩き

桓 闁 丈 日。勤 繍 放之 肵 興. 0 也 0 公 劵 Ц 瑞 猜 以 日。 高 ,何 虛 孝 大 足 C 善 虚。以 丽 IJ. 養 養 之 而。高 無 色。是 實。無。而 順 者 所 其 調 4 0有0不 此 無 歓 鲞 大 能 之 必 質。 養。菽 事 **寂**。胡 易 體。不 寂○雲 伙 扎 豢 貴o敬 水。觏。也。 而っ拳 共の何 足 4 善 感っ日。 趙。以 Ü ż 供 彼 北 致 至 Ž 服 Ż 叙o扉 c 也0者 食の平の其. 被○故 共。故 不 寂い虚。 巻。上 孔 匹 ά 面。面。 酸o孝 滅い有い

子 矣。其 比 不 他 做。心 日c 吉∘之 底 今 則。說。生。繩 人。何 /ii 伯の行 念 敎 庖。乃 念 人い設 官 機の罪 不。官 要 只 氏。殺 爭 識っ置 敎 遂の物 義の吏の功 人 為。者 人。有 理○费 名○做 要。劇 老 間の罪の此 科 敎⇒禄○不 之。而 皋 人。敘 教 聍 聖.。放 識○他 他o女o 人。生 此。做 你 若 地。者 如 也。道 科 下。得 今 之○福○也○教 须 他 舉 全 是 Ĺ 聍 罪。荷 做 文∘ 人。如

末

作

紿

洏

綗

以

育

始

取

物

化

而

為 髙

萬

世 習り

之 以

所 漁

以 柸

為

聖 共

人

浮 民

居

利。側

子 32-567

Ľ 當。月 為。死。伯 十。素c 邚 者 桓 死 > 將 仲 順。 頂. 語。也。爲。莊 被 何 以 "; 門。趙 死 田 任 之 أوفيار Ġ 而。日。往 世 鬼。子 之中:為 非 稱 人 莊 簡 於 日。論 和っ 私 言。前 往. 之。義。辜 3 為 費 子 办 囿 o 傳 祭 養っ 諫こ雖こ容 Ш 纫 奪○忿 右 物、鬼。義 鬼 卷 能 殺 杜 日の他の雖の 箕。免 不。是 也。之為死。能如主鬼。不。害 面 者。恨 3 起 北 伯 周 故 ぶっ 折 子。於 矣。如 ሰ 當の報 **水** 臣 起 G. 常 備っ 妊: 之。刑 非の復の殺 兆 以 則 能。人 道 莊 於 ₹. 贵 可当 前 囚っ数の 誅。其 虛 干 彼 為。之 死 左。子 進 殺 重 اديالا Æ. 此。只 侧 之。君。子 非 鬼。驗 者 杖 義 左. 共 無 易 干。是 不 類 非。罪 胥 ₩. 人。也。而 旹 而 臣 旭c日o 射 許 之。不 真。杜。莫 雅く者 當 死o無 揰 不 鱼 朴. 不 東 言。死。輕 故 伯。大 何 能 為 何。之 之。辜。王。伯 如 a) 豊 塩っ言 杜 莊○於 丰 鬼。故。奈 ふ 爲 Ĕi, 斃 簡 而 竹 徴 亚 谷。安 伯 子の弑 ja. 杜. 鬼。 獨。何。於 公 Œ 不 膖 40 門 荷。動 亚. 義 0 君 0 鬼 0 世 拍 能。日、車 將 代 辜。之 不 免o取: 子 所の則。夫 問 莊 爲0人 宣 下。入 裚 如 若 禍。 羗 敢○夫○杜. Ε 子 鬼o生 於

悌。西

問 趙 程 西 學。見。惹 邓。與 已又 人 能 有 人 鞀 理。遂 子 七 Ш ılt 姖 君○人 生 地 y_{λ} 日3漸 4 Ð 日の数の 致 稱 也。人 子。議 笑 天 倉 将 勢 ılı 푬 公 并 斱 有 27 伊 H. 疑 論。地 政。得 🤛 而 カ 水 非 蘇。死 自 腹 斯. 汌 <u>-</u>-間の罷。於 共 夵 巷 善 强 處。念 维 姚 腫 而 有 惟 之。人 1) 簒 何。惟 地・と 是 た。徙 背 蛆. 徝 洛 传 0 為 馮 如三 有 以. 富 浴。食 蘇 居 · 黨之嫌。 學。少 斔 薄 手 環 善 出 貴之 其 郡 故 者。 7 非 墟 學 之 指 地 永 重 城。 舌 柭 肵 日。--天 已。査 無 家。亦 三日 臭○禮 號 紫 學。以 事。 議 日。端。 叉 以 能 旗 猫 Ξ. 為 肾 办 學 緰 固 此っ千 將 鵩 鈫 粈 mi 不 H 傌 有 人 孔 何 矣。 老。百 之。地 得 營 發。害。面 君 傌 讒 孟 病。弟 単っ世 大 官 其 背 師。風 惟. 愛っ 7-0學 共 叩の議の講 贵 э人 手 安ぃ不 有 伙 水。 然 自 之 好 論。學 孔 一件 所 o 絕。 不 里 殺 地 粒 禁っ葬の子 Ė 然。者 ጽ 可。之 之之 事。许 H 甚 額 负 不 講 後0多 事。人 者。子 叉 外。語

朱 貨醫 叉復 叉如 Ť 又○見○須 底。不 日也 作 葬 賢。 飥 ్ 日で話の依 阊 常 道 何○是○從 飥 朋 這 デッ去 是 歸 做い這 夘 友 先 事の外 計○非○這 道 有 花 豊 굶 得 綸 天 根 不。言 生。了 霜 ıfıı 人○姕○裡 不。 落○是 쎈 復 本 得い行い朋 寒之三 來 因 取 -行っ之の譽の過い從 便 歸っ之 逭 人。便 看○諸 男 議○聖○又 老 ル 友 # 果。 性當時不 化氏語畢竟 無 月 如 Ž ٤ 兜 久。 底 。 不 生 論の賢の日の非の 途 哉の這 月影 語の事の是 論 祈 於 腁 影 哉。方。金 而 毁。 花 叉 各 朋 世 腸 不 --0 人 如 廢 藉○不 樫 Ţ o飛 在 作論來請 友 中○鉄 般o了c此o 者 然の以の錬 中。 是自 間っ願 櫵 更 豈 Ł 無 便っ却 也の賭 為。不 來。 歸。成 希教先七': 不知責善之道命] 是 天 盆 如立都 不 舆 對 É 前 **殿○精○者**○ 去。木 鯑 彼 這 箇 諸 劉 → 倉 Ü 麒 煉o玉 故 鯞 裏。來 甚 攻。先 去 窗 趣の道 尢 後○砥○不 日。 僚 何 麼 丒 那 X 程で等 那 生 ガ 礪○琢 若 裏o月 7 此に寄 人 6 程 6 競 譏 詩 信 要 之。不 資の美。熱の 明 裏 泉 亦 動っ 説の話。 有 忽. 之。武 哉 o 水 人c全 云っ疑o也o可o也 此

生

這

枝

Ŀ

孔 蔡虚 文成 俗 法愚之 子日道 信奉之若是哉 己の日の倍 作o欲o其 斎 日 日 ž 之c集o崇 而。子 果 日。 拜 為○他○喚 學. Ð 公 日。 官の雹 父 動 釋 異の照の醒 由い盍 鬸 沓 老 飹 數 信 家 🌹 トの辭 晉 處○管○此 Á 払 朱 世之所謂浮屠 止。爭 萬 彩之三 乎。手。令。在。許。心 鬼の 行 問 子 不 火 人。鵺 法。 崔 此の多の則 犯 僖 能 굸 主 簽 庱 日○期 道の同の如 ٨ 學 倩莫不好安樂而惡憂患 無 元 是。 學 以 理の其 此い翁 問 他○能 金 化 精。 不 家 佛。為 叉 俚 須 逐焚 敎 兆 寺。 神っ 為 林 氏o道 或 惺 是 者。 雹 想o 出o 某 獮 人。筮 否○警 則。則 問 果何道而能使 之。損 面の有 之。 仕 省。 空○異○佛 叉 得 稼○林 謂 £ 퍘 不 喚 ○吾 。氏 白 Ħ. 入 仝 化 俊 擇 佛。 爲 醒○儒○亦 答 如 數 命 按 货 不同 官○不 在○喚o有 瑞 日 獖 百 鶴 聤 信。 吉で吉。 殷 此○醒○此 兩の薪 慶の士 故 凶っ止 無o此c語o惺o和 崋 忿 命 女 И 由○僖 所o心っ日* 今

家 之 焄 ļĻ 致○於 不 而 母。必 何。無 虎 蛇 守 加 共の罪 虺 哉の前か 者の琳 豹 道 以 親c何 致 獄 有 之 之 不 火 重。也 鷹 П 彼 枚 之い罪の親 哉の人 必 罪○食○哉○戲○獄○彼 夘 若 孰 爻 彼 與。而 於 可 司 謂 夫 故 翐∘人 槫 誦 目 不 矣。因 Ė 與○是 兒 而。之 躯 天 戕 以った赤 之 見 惕 哀 非 四 赴。所 獄 軽の殺 蜚 下 禹 三文 人。共 紮 痛 女 411 ıŀ. 海 浬 恆 并 者 子 人。物 走 Ż 者 臭 之 Ż 孝っ 死 兩 戏 屠 致 憀 與其 И 痊 不 動 惰 愚 濉 尤 也。有 必 Ħ. 者 泉 而。 氏 艿 欺○篤 紩 食。動 罪○波 拘 於 彼 作 不。 未 琳 林 設 4 矣。日 信 者の共 馳 ٨ 叉 知ら 以 於 共 置。而 林 爲 冰 調 虎 īĥĵ 必 共 不 果 死。共中 告 而 /b 而 也の鯛 於 e 獄 豹 11 說。蕣 郑 不 枚 為。 一哀 蟻 圏の嵌の謂 也。而 漏 Ļ 母。以 苁 附。受 雖 釜 人 Λ 可 大。主 阊 真 無 Ż 右 於 人 沂 與の將 之前 孜 A 幾 殺 土 (真 桁 不 說の恒 牛 べっ 有 很○会 思 何の也の馬 偶 其 而 有 楚 *3 麸 之 無 為 厭 其。其 於 子 無. ifu 4 木 觞 丰 Ÿ. 而 扩 焉。中。不 母。母 其 夫 獄の掲 乑 不 俑 行 望 뻸 欲 後

范 柔 紮 化 ᄞ 少の国 有 11 矣。破 И 虛 罪 救ぃ至 可っ不幸 有 夫。結 道 Ź, 天 財。卷 齊 溪 故 之。者 綸 不 様。以の孝。 E ,非 ・ エ 青 賢の者 日。越 論 佛 日。為 是の勿 誰 命の会っ 之言 凡 婔 也の鉄 易 汸 周 觀 世 利 🔍 Ż 與 自っ恒 是 其。 発客失言を書 Ż 之。と 人 始 뱝 窕 獲の刑の非の所 冶 者 母。 罪 睿 為 落 枚 殊 德 有 以 罪○是○雖 為。之。必 而可 郷の命の不 单 大 之 於。以。窮 宰 夭 他の難 小 鸺 痽 居 獄。 死 途。人 貲 則の然の品 莲 夫 天○情。凶 哟 天 人。 生。 為 之 思. 有の財 者o遠 i凶o知 也○破○極 婎 址 爲の之。 뷮 穢 手のむの財の若 吾 法○惡○姫○者 咸 葢・愛 將 笩。 母。 言。其 物 則 貲 也。無 若 已。在 觀 知 帝 見 不。 <u></u> 矣。用 有 勝○君 共 财 趣。親 夫 不 老 也。羣 ው 1 斯 V. 精 無。子 法 娇 2 正。而 無 引 彼 起 不 肵 宜 분 亦 褲 財の之 椬 避。不 出 手 然。則 祈 孝。 能 財 冝 光 多○手○途。 那。知 事 於 援 有 謂 攻 不。 增 之不 遅 彩の財の用 也。道 帝。之。呼 之 Ž, 也 有 公。 損し 矣○俱○ 児o錢 更。之 後 穛 者 昭 脈 使 丽 佛 不 腁 峬 勝。助 物。 肞 佛 有 求 爲の雖

釆 倪 友 須ゃ子 君。将 称c 而 旃 选 服っ日 其。不、與。非 冶 不 幸 日。也。於朝 目 作 Θď 反。休 天。若,其。能 可 疾 之 劢 盘 熣 其 * 符 按 - 為。日。年。稍。因。生 疾使無 未 · 静之 學。 天 逢 泉 吸っ書 不 傳展 害。文 也の知の断の死 ji. なとしこ 雲 能 萩 日 陵 漠 學之 治の疾っ人 Æ 臺 討。鬼 子 百 張 身。病。也 祈 っ 至 而 拳。鲁 臼 因 實部稱 日 衡·姓·道 *j*. 攝っ而っ比 於 A, 卒 衠 從 Βο 生・受っ當 人 可 庸 I L 據 Ė 争 共 順十 也っ 於。欺。生 傷 湉 铬 般萬 漢 漢 祭 魯。道 삼 帝 安。於。者 shi 也の所 氣。 天 升。中。酒。以 者。時。 丰 樂。庸。越 巴。方 殺 都 惫 師。年 本 天 法 A 客 藥。 無。醫。人 扁 書 者。 病。 Ē 肵 抵 出 相 狗。 之政方 善。 事。好。能 鹊 Ġ 只。 傅 SIL. 授 五 搫 服。 之の許の起 亦 之妙 在。 + 道 嵛 受。斗 道 有っ 時。無。之 Ž 本 白 不。 歳。陵・巾 Ó ΡĮ, 米 許っ 矣 П 戌の驗の耳っ言 理っ知っ 烾 杠 相 賍 25 自。之。故。越 7.0 未 有。 其 帝 類。師 41: 善っ 養。害。人。人 有

25 務。凶。善。善 日。我。童。如 精也 睦○磐○忘 不 道 天 當 何○渦 饑 ○斯 攵 手 乑 輅 徘 則の則の登 理 吾 害 共 · 傷 人。子 與。不 之 灰 而 И ホ e 日c事 譽○漏○泰 不 地。 焉·飲 食·是·已 救 之 不。不。山。問 ネ 夘 自 贱 胸 雞 鴆 君 矣。不 孝の届の米 遵 說 善の善の造 吉 害 象 从 子 同 然。耳。之 其 害 克 善之者 三 善 也。則。則。浮 事。有 凶 做 其 吉。飲 吉。飲之 凶。耳。為 善 专业 物。愛 U 將 至。變。滿。圖。於 不 拿 氀 安 弟 其の雑 百 趨 求 衣 好 去 ŀ 甲。 幸 稱o吾 俄○毀○ 善 常 底交 道 施 吉。自。然。人 冠 爱 也。顧。不 忍 亦 也 處 夫 而 善 為。此 之 土 者の ИĠ 不。毁。為 自 譽 順。義 葎 君 則の理 譽○木○惑 進 擇。譽。所 包 若 也。以 婦 子 告 不。也。怨 諂 业。 在 是 差。善。聽。不 也。君 順。不 求 欄。然。此 裡。胸 人 事 善。 者。其《為。吾 紨 子 無 家 善 敢 古 倝 则。 中 耐 侮 毎。自。如 之為 Ź, 負 À 逴 君 毁 古の 聖 亦 者 ・浦 流 失o來o饞 퓼 於 和○善 子 者。者。不。 拧 人 滚 出。 欺 o 之 o 也 o 不 常 善 民 不 姻 Ж 凶の教 簩 褻 善。 粁 甪 苡 於。食 為。自 奪ο族 土。然 也の也の則の

· 前 或 Ŋ, 立の為 日。人。觀 昝 葬 温 低○普○釋 為。人 刞 功 枚○程 氏 是○審 公 而。已。💌 。有 日の而の先 地 葾 쁖 刻 人。生 獄 ፉ 古 攻○和 中 。之 凅 人 可。日。之 人。平 Ž. 使 於 類 0 之 0 獎 三 И 有 化の至 共 石。下 大 平。誠 皆 惡。勸。 亦 棺 ٨ 勲 蒖 是 為。以 果 T. 0德1 71 天 為 非。遠 大賢 之 泰 荀 地。下 者。屛 碑。漢 鉛 根 人 此っ恥い 叩っ除 Ц 鐘 尚 之 類の是。 JI) 及 來。鼎。 有 人。是。故。』 4 繭 始 藏 不 設 也。有。 捌 朝。命 Ž 化。此 薄っ 鞀 復 文 午 姓の怖 青っ

頗っ

有0合

朿

顯。有

師。者 暴○由 此の非の有の論 平。 而o親 釋○莫 日 道。悖。赦。及 氏。問 為。以 不の疎の也の賢、惡の莊の也の 也。盡 不o我 為o不 不o愚o而o體 然 官 七 · 惜 然 · 慈 嚴 · 統 是。心。者。有 是。悲 為。以 善の辨の也の 以。忘 此。罪。以。憐 直。人 類。不 恩。愛。者。爾 不。 賈。怨 是。忍 為o樂 此。汝 禍の数の也の無 市の施 類∘不 是の 也の恙 武 辜○也○好 是の受い以の 平の日の是の君 干·也o使 君 食っ 子 H 屲 故。子 善 夾 人 為。 較 非 色 有。推 平。日。無 其 也。直 殺の恩 Ħ 勿 犯の地の 此。言。不。有 顨 非 挥 是。对

為○庁○也の是

故っ子

薄。稅。切

於心

多

吉。

#

餕

人

夘

其

賢

也の

但

刻

姓

4

於

葚

前。

在 非 似 凊 É Ē 貌 也い證 Ц 同 渊 知 作 杰 砨 非 刎 異の日の之 聽 o用 瀡 聽○是 儒 耳。 在 是 無 無 非 非 Ü 手 性。達 行 瀢 邪 養 執 在 之 也。勿 正。理 捉 言っ皆 o 🛭 謂 周 寫 在 日 純o子 非 判 主。 足 見。此 曰。證 於 佛 在 仁 運 以 勿 此。以 奔 。耳 餋 義 動。孔 夘 陸 Ð 理 孟 子 # 滟 粲 聞。為 智 于 日。為 山 四 日っ非 在 Ξ. 至り 日 0 🛱 也。者。非 頀 7 푪 唤 僔 動 仁 勿 衞 香の燈 帶 鈲 親の血

痲 石 欲 於 侔 棸 痱 耳の水 聒 蕻 孔 몱 知い所 子 里 此 名の也の道の望の岩 鄱 所 世 實 隋 _ X 德 其 頌。 業○家□語 巷 得 杉 文 此 不 汯 ż 也。史 帝 莧 仲 亍 官 賢 楯 Ξ Ā 書 主 鳴 之。尼。也。 簿 終 · 氏不 E 秦 矣。王 呼 蕊 峁 徒 雖 古中 終 乃 有 収 Ц ふ 闹 能 吳 何 仮 嬴 談 巧 H 延 巳。免。用 売の於 笑。言 婈 季 依 媠 难 府 共 麗 蔽。 李子之墓前有一 јţ 為に飲 中の 詞。 淮 貴の į, 芷 徙 諵 自 疗 蛋 待中 文○與 立 非 信っ加 碑。 但 人 碑。開 碑 釆 石の町 作 發っ僧 帝 ●φφο 世 ਜ 錐 日。莫 立 **集**。

胡 杊 Ø 胡 氏 釋 日 o 氏 K Ŧ. 是の時の密 知 黙 敬 覺o中o務 敬 容 夘 能 峯 重の雷の関 誣 底。有 Ą; 纥 日○聴ゝ能 祝 之红 三教之名自共徒失本兵而云然然其謬。 日。身。共。日。在 逑 也。便 之。 垩 Ą 日。 鼻 那 連 4 重。起 指為太極 卽 光 是 為 主 能野·也。視 斑 臭、動。能 《巻とこ 也。物 而・身 叨 天 集理 斜 更要 П 旡 而 重。有 不 失 悬 聽 咭 昇 兵 之。重 脉 ī 無 盗 羲 謂 -**F**-甚 能 者。 固。於 中ロ釋 是 非 理。義。動 诟 執、存 夘 垩 是·泰 氏 瘆 見 大 亦 刖 理。底。足 誠 香 人 重。山 指 是 科 道 於。便 朾 為 運・持 奂 身。之 為 為 之道也於兵難物者 見 之 是 五 是 五 是 五 是 五 是 五 是 五 元 二 是 五 元 Ż 人。是 無 被○卩 得 箇物 所の性の非 偒 能 共《有 性。自 係の便 慈 大 夘 壓。輕 然。已 30 Ē 北 謂 竹口提 逍 c是 湖 味い 而っ於 **性**。— 能 重。天 在 鄊 夘 目。心 輕で鴻 非の簡 ij 龙 理。用。吾 视 <u>4</u>. 푮 能 之。毛亦、之 Ņ. 明。聽 荻 **思**.c 魚の精 ijί 此 Ŧ 目 物の神 뱕 夫 理り以 易 视》手

朱 布。為 心。於 象 慈棚 儒 子 z 性 以 精 不 道。之 惡不 流 成 。者 巢 智 Щ 意 神。破。說 言。首 九 z 日の失い . ネ 之 な。端 為 Щ 離 於 佛 見 專 思 反 行 춃 陸 之。獨 甚 路 發見 Z, 禪 旆 扇 之 亦 ○者 而 於 謂 遮 楊 矣○善 然 \overline{A} 說·未 無·之 學 謂。宗。易 À. 訟 质 也。 大 薂 已發處 掩。二 釋 得 奜 道 呼。之 之 薄 之 是 其 氏 欽 人。 身。道 家 可 地 大。吾。三 杲 張 艄 謂 者 說 夫 是 本 ネ 而 是 心証其 爽 子 見 是 丽 問 I 適 儒。 死 + 伯 p 盡の也の 張 、夫 者 之。見 其 韶 坐 日。存。 惟 心。恭。分 奥 夫 侍 者 此 剖 唐 敢 No o 本 象 好 堯 道 達 天 不 液 1 在 也 。為 心 决 No cill 問 養。 蹇 曾 人。 舜 뵈 下: 、正。三 書 夫 也。是 足 文王 好 性。 共由 象 說 看 本 天 丣 它。 上_类 。居居 絽 公 仁。剖 非 下 渭 Щ 活 E 佛 是 下 執 非 不亢 左 典 央 鮣 如 悪 心書。禪 也。孔 共 右 以 此 者 是。何 者 爿 曲 <u>—</u> с 肵 學。 而。子 得 ·來。以 文 讀 是字。書。拈 軰 非 是 此 是 名。耳。 段の 以 办 而 把 之。非 有 肵 3 A 艮 科 看 以 之。老 ÉU 心。夫 ッ 讇 見 誦 吾 日○聃

名 人。新 張 聞 有 豊 人 我 以。於 冉 南 弄。只 亂 寅 賢 盡 夭 析 本 吾 致。是5日 軒 臣 至 70 崩 於 至 坐 ぃ將 古 有 袞 百0身 命 之。則 日。 日○賊 死 自 可 於 城。之 鴉屄 愚の絶の此 求 安 而。日 矣 端 린 如 ጉ 不 坆 之 葬。樹 西 是 -F 用 0 呼 0 米 至 3 命 之 夫。顏 楮 之 □放 桁 頭 귧 聤 故 百 枯 天生 找 非。面 恭 冉 = 此 舍。魂 换 火 쓹 人 或 花 0 骨の間 天。己。共 之 ء 要 上。面 돐 化 。哲 委 實。欠 今 貲. 寫 蒸 命。若 修 死。雷。 語 联 認. 用 竹 Ż 江 准 能 ż 或 惡 民。 之。有 身 ガ 也。目 取 儒 蔛 賤 壑。榮 子。康 重 晔 各 正。取 耊 可 然 扼 家 水 凶 不 或 食 吉。風 殃o有 矣。死 道 腕 讕 則 傲 吉 葬。天。封 枯。當 彼 水 作 分 諈 名 此 命。 丽 夘 語 75 如 此 頓 不 者。善 貧 定。 灰 疾o 於 捐 覺 接 樹。其 何 **殊o**賤 蓰 木 心 心 7 造 丈 Ż 本 類 種 4 子 旣 乞丐 叉 冬 雙 人 016 漏 道の無 日 學 ○後 孫 。有 商。產 無 帅 东 則の傲 之 套 短. 在 把 搫 王 之 砟 可 之 干。何 是。而 命。 世。爭 持 禪 師。得 見ゅ人。百 痽 有っ止 於 亦 切 家 勼

於 身。呂 長 於 抑 摄 ሐ 在 不 世 Λ 無 暮 應 凶。漢 ネ 色 奇 生。得 天 炡 因。分。與。何 後。訪。情。乃 オ 南 王の約 貌の中 之 信 隹 堯 若 于 鳥 凶。不 或 天 歽 歲 而 養同 建 易 說。則 __ 者 城 舜 使 生 詉 葬 子 叉 畋 言登無 三 得 甲 叉 沓 而 何 教 队 愚 月 果 不 父 世 冽 + 字 我 夾 荒 蝈 為 化 坐 床 鳳。核 い知 坐○更○母 世 無 八。也 從。之 ○觀 誕 惡 乃 31 牛 移 不 致 示 於 擇 遂 古 武 占 此 ďij 廢○者 五 生 種。得 生. 此 使 地。是。 若。 若 知 典 南 昔○數 穴 痕 無 别 麒 共 人 無 骨 紂 地○終 彼 相 者 梅 情の世 叉 凶。均。 縢∘埋 情○無 後 冽 亦 掝 布 似。死。不 占 與. 何 ŀ 揤 兆 枯 大 後 者 為 瘗 革 衣 長 郭 但 如 風 Ħ 準ぃ雑 鯀 根。抵 此 者∘生 此。木 見。者 塵>朽 命。而 璞 平 死 吉 何 奇 共 死 嗟 共 Т 尚 概 得 羊 四 絕 __ 之 風 之 生 地 天子。 生 瑞の生 父 長 典 彼 藝。十 說 不 而 黈 人 有 而 生 其 共 殊 人 人 腔 萬。安 相 穻 萃 不 有 命 口為 禹 亦 死。途。温。此 土。龍。葉。其 也。左 苗 保 泒 囊o有 惡 骒 是 體 枷 合。奪 朝 墳 其 與○相 験の貨 肠

文。而 田。不 生の麗の或 墳。 笑○禰 倏 而っ花 棄 不 家 其。為 然 吾 杲 牛. 能 莫 又 di 當 得の今 為い野 諸 有∪精 何 露。惟 之 死。 何 渡っ知 攖 食 烺 共。不 為 忍 安 知っ震。嫁 犯 💘 夘 定 套 是。其 龍 飛 蠕 平 ュ虚 待。耶。反 娶。井 杉! 與。焉 ○魄 惰 以○故○虎 鵙o蜉 背 凶ば 古 祭 至. き。成 至 之 君。盛 戓 蝣ぃ 壓 風 者。魂。勿 以 か 忍っ鍋 者 IJ 長で三 於 遷。所 子。衰 水の彼 ళ 安 葬 相。敗。仲 何 士 檡 此 適○以○者 必 伤 蠓 肅。皆。門。神。後 莾 害の使の春の春 栫 亦 死 天。劵。有 ıl. 蟲 濿ぃ葬。遂 却 灘 况 其。且 不 ŀ 孝 從 俗 理。偶 髙 噬o蟻ᇮ 之。師。使 巧 掃○氣 古。子 狹∘周 之 驗 吾 為。然 堲 想 壽 故○以○一 薍 此 清 月。避 無。室 仁 JUS 地○者 林 何 天 誠 散 ○衣○別 為 郑。之 明。 釷 殎 人 z 理○遇○背○穴 不 英、食∘干 - 凶 何 帅 耶。人。皆 便 被 之 歽 以。凶 大 쌹 ř o 崇o心o升 雄○之。古 古 除。用、安,心。不 又。生 Į. 扺 旋い労 棄∘故∘之 鎮 窐 天。何。相 安 日。事 心。不 人 田の能 草 佚 歸 久 傑ぃ愚o骨 Ц 須○親 生 旣 而 使 為○避○物 木 於。世。內。符 來 溜 避っ愛。而 陳 息の古 可 漏 枨

問 眉 質 不 整 矣。計 子 IJ 者。發,少 媝 则 子 散 者。可 天 恭 其 Εo 不 慎~將 慎 塘 憤 Ħ 日。夢。 而 ∘地 生 1 日。 命 古 及 或 忎 日。东 教。人 死。氣 Z 人 者∘正 之館 者员聖 在 生 食。學 食。聞 之。中。 衆 大 砌 蒙 1 3 . р 人∘富 精 樂 . 也 樂 渦 生の明め 廚 養。之 īfī 奥 通。筮べ 궇。 貴 者。以 力。以 則 不。知。 生。夫 か 萬 音 聚 校 粉 = Œ 或 志 歽 志 р 幸。其。 無。形 人 殊∘性 亦 其 以 發 在 憂。以 憂。賢。不。不。 物 無 而 共 矣。吾 身之達 火 憤∘詩 憤 學: 不 出っ騒っ 此 Æ 則 脍 叉 體o 疑 不。文 在 為 知 過。而。 物○有○有 踼 굸 散 也。 肯。上 此。人 在 大。不。 餠 有 生 兩 游 否 A 亦 在。發 樂 也。何 不。悟。 此 焦 有 端○氣 之 푭 萷 做。愤。亦 故 處 幸。 1 此 物。死。循 紛 楹 o Ľ Ē 人。或 在 日 憤っ 無。 理。即 矣。筮 天 퐻 授い知 上∘在 此。其 何 Ji.o 安 有 地 不合 死 **、**则 燎 癸○功 稄 套 處 丛 得: E 此 馴 而 亦 不 憤。名 人 世 樂。 有 亦 理。萬 者。成 之 然。 烹 ŀ. 學 也。馮 心

殊。因 景 天 不 贅 為の皆 不! 萬 景殊・選 不 榦 乢 威 在 果 理 知 矣。天。感 p; 世 廻。亡 Ž ĮĮ. 不 戈 也の 成。日。由 如 邚 易 人 門 生 根 生っ面 是の是の氏 IJ. 然の命 者 應。天 其 平○意○於 所 是 冏 Ē, 慨 L 之 也心 芝 受0 所0 地 迫 故 固 也。亡。亡 耳.º 人 猫 果 是 有 自 儿 z --以。間。切 朱 Ħ 拃 之^者 "; B 4 IJ 非 Ż 近 天 我 世 Ξ 為○咸 飮 IJ. 子 若 *# 有こ也の 不 懼 果 Ĺ 説の於 命o造 鬼の應 求 也。葉 人 킑 臂 岩 郼 帯 報 然 齨 佛 無 老 所 啄♡ 神。 之の張 祈 枯の之 夫 哉の糸 之 吾 之 氏 入 也。作品 莫 非い者の是 子 鼠 JI. 天 說。 **∄**o 倡 四 佛 本○惟○ 不 有0如 此 * 以 胤 樹。 地 ĸ, 汧 歽 應 果 业 即の善 言い者 前 鬼っ環 不 落 人 さ И 灯 感 之 賢 級o 定○神○無 從 共 復 ħ. 物 速の Ţ, 為 24 之 說。修 為^{○ 聽} 旨 及り端り Jt. 流 何 款 乃 果・利・ 義の理り 祁 iΪί 麻っ各 ΝĹ 司中生 謑 \$: Įį. 乃 交 ìŕ 乏 并 佛 Ţ 华 故の以 也の戯の人 是 沙の矣の花 如 不 - 端 16 人 應い物 扎 彼 即。類 分 此の笛 割 楽っ一代 쌹 人。分。 也の老 极 天

Ŧ Œ 氏 猢 क्रा -F 前 伮 110 而 45 Z 法 說 何 然 域 710 俞 Βİ 與 C 茄 省 Ш 之 娅 焰 術の裁り 常 さ 儒 尤 日° 75 Ξ. 放 F 為 日。 流の書。 ≨. 之 Ц. 烾 不 嫌ο 周 躗 誅の矣の像 朋 代 塑 權し渡 楊 數 其 餌 於 波. 11 朱 云。之。以 人 公 嗚 則 岩 供っ 詙 主え 惟 墨 經 Ą٥ 趜 洏 孔 呼っ説 無 疋 前っ 7.子之道: 塔 三面 其 足 名 輒 與 籍 恶 復 姚 李 足 設。 人 祀 廟 典 ŢĻ 汯 以 法≎不 释 並 信 圥 3 庭 恠 神 中 也c 通 氏 用°多 逡 復 논 然。 老 有 堆 者。背 國 非 独い難 故 死 祈 秥 於 者 퉚 浸。 中 吉。 富 無 欲 不 別 殊0 害 赳 生 3 鶔 猫 之 渡○而 北 顏 主。之。 床 土 40 之 か ÌΪ 宮。五 知っ氏 求 之 史 子 汇 人 果 爲 無 至 變。不 更 逧 朮 六□者 而 立 僧 堖 敢 퍕. 有 佛 ŧ 者 足 故の徒 共 干 聖 不 有 漟 出 以 有 侍。聖 所 教 忧 載 以 膀 幽 Ü 人 4 矣: 祀 謂 同 稍 造 剘 人 入 浜c岩 -h. 祈 之 為 動 於 然 稺 盛。 聖 ik 儴 者の 中 惟 可 人。不 ű 楊 黎 者 天 j, 人 何 児 共 在 此 或 釋 庭っ則 HF . 17 孔 後 唐 胨 υ始 釦

Ŧ 陳 計之實る 就 私 1 不 凊 問。心 郷 との也の 臆 亦 也。可 自 使 於 學 乃の今 度 澗 只 於。齊 平 文。苦 也。 不 可。日 所 思。以。為 ▶ 及 忧 遏 利 ○僥 無 援 日。問 親。日。海 故 者 خ۰ 7 倖 用 朱 安 而。古 內。名 勩 昏 鎲 有 資而 新 無 交 沙 。 之 後。之 於 以 變ぃ學 寒 者。子 否 無 士 行▫ 愚 (化。用でなる) 志 調。定 忧 地。 坐 然 杏 於 怪 以 固 之 之見 之士。 悠 玩 待 汪 之。省。其 非 內 Ó 俁 執 之 此 共 歳 共 質 0 之: 頹 尚 豎 定。謂《與 助。而 戚 所 省。使。孔 陛 剘 肵 間の掲 無 而の初の 信 書 放 畏 in 不 學 以 釋 自 亦 日。故 入○正。 以 書 已。也。親。子 其 為 丽 氏之 鶋 謂 文王 安の同 以 툊. 面 忽 於の當の 上。六。 椹 外 護 為 憂 有 4 事 天 然 道。學。 幾 夫 本 物 禍。得 浩 道 至 ż۰ 型. 不 而。也。滋 πij 額 問っ 於 朝 歽 道朱子乃以 ° 款 横 者。人 見 固。移。 ďη 思りま 化 固 甞。 有 75 於 心。其 流 見。先 有 省。 適 辨。 者 柯 饰 其 王 歓 舦 面の力を 儒 柗 足 敘 É 非 季 祭。 修 徒 無 不 能 火 為 no. 之。 害 叉 天 秩 功 75 禁 В 薆 多 三。非。 其 手の弱 īħ É 命 血 延。以 切 の行っ

之韒 之。 愚 Ł 日・此。為 存 了 瀐 輝 黨。只。動 著。如 靜 老。鏡。磨。大 者 成 天 者の應 是○處 力。槁 毎 佛 按 專 魳 佄 德 歷 理 存。如 日。那の 感 公 世 木 75 ž 陸 鑗 若o何o心 非 敍 日。日 坐 人 死 朱 屄 IJ 僑 形 子系 之。說。學 坐 作 禪 南 人 心 方。動。若。不 天子之 灰 乃 容 在。動。可 坐 禪 什 嶽 敘 也 峇 ेर 陸 同 欲 。共 荍 禪。豈 麽。什 秩 ìΞ 静 푬 人。在。族 王 氏 渡 常 iis 之機能 杲 能 魳 麽。譲 命 雀 虚 爿 欲。天。者。尚 4 爮 居 老 日。日・禪 討 羲 炦 常 一。理。不 À 是 書。 樂の 師。之 也。 磨 剧 使 神 不 佛 Ė 华口 舊。動 趣い難の是 骩 實了 耶。作 見 物。念。思。要 遇 坐 以 以 無 瘡 地懷讓其能免 否 É 為 朱 鏡。佛。 磚 便、及。 便 謂 功。私 所 程 聖。然 0 子 僧 師 悺 之 是。四。頑 子 主 正。欲 以 **宗交渉** 常日 著 鈽 日。取 須。之 說 詂 放の海の然 日。靜 類 磨 JF. 平。於。擾 也、慮。不 110 始 聖 云。磚 免磨 磚 水 那 克。年。人 Si. 周に動っ 人 茧 昔 於 禪○炭 緰 之 心 之 已。非 萬。只 퉤 能 \mathcal{L} 師 夬 磚 坐 排 E 上。謂 世の看

亨 岩、曾 哉。得借 用 心 大 周 於 責 日。者。 臣 之。 也 ۰Ξ E 臣 法 公 性。必 所 周 扨 爾。身。 子 子 巾 z 共 死 使 有 之 度 公。君 臣 做。 周 不 بخ 再 不 菔 功 ٨ 赐 。者 出の失 魚。理。言 亦 之 之 事 也。當 所 浝 業 樂。臣 是 而。而。矣。為。是 Λ 於 Æ, 文·曾 為。有 剻 不 之 禽 3子之孝亦 君。豈。三 其誰 也。已。已。 可 以 民 大於 能 衰 共 妄 之 也。 故 矣 ¢ 矣。 乎。君 也。循 是。 孝 也。 為 爭。 受。人 訴 不 使 之 子 為 聚 以 之 聖 分 難 周 人 皆 臣 馴 謂 人 君 之 之。公。臣 安得 可 人 外口 退 功 不 ٨ 有。精 乏 於 关 業。害 И 臣 民 事っ 於 豈 亦 岦 能 恃 勢 敝 神 聚 勢 父 矣。不 是 有 畿 若 曾 因 無 刑 则 槐 散 功 也。 子。孟 見 ž 位 位 曾 不 過。 天 ٨ 胁 無く魄・言。 也。臣 臣 能 子 7 単。子 孟子 矣。記 而 做 Д 子 若 其 有 竟、纔 所 14 說 犪 出 假 之 者の 人 日 當為 理 夘 聚 快 來。如 能 催 是言 言 ځ 臣 者 脋 怏 事 功 剘 有 而 功 並 : 以。 所 郊 樂 丽 可 可 乃 初 哉. 覺 生。 以 父o也o親 謂 業 功

可言 極。尸。者。氣 E 办 觼 見。 1 E 吾 類 有。 之 化。無 如 執 岨 則 之 焫 之 便 乎 允 丽 而 セ 者 意 Ē ∘此 中。雖 如 扡 。止 斎 固 咸 。是 理。大 之 而 灰 蓋 反 自 說。以 死 日 准 浩 散 И 精 散 示 求 卷 į. 可 開 省。 洪 펡 俟 猫 有 庶 也。然 頺 浉 而 夏其 爐 容 闢 其 也之所 夫 不 尨 或 而 旣 丽 魂 柳 矣。以 界 N 滅。造 三 不 享 朿 無 人 化 應。魄。命 斷 是 ż E чiя 來。限 祭 截 Ż 癖。而 魚。 Ε 容 若 也。 滅 生 叉 之 ケ 而 除c故 死 積 祀 言 無 性 也。此 伹 也。生。安 廣 者。已。或 之 Ż 쿳 圣 É 聖 有 非。矣。有 則 狭。水。魚 知 今 無 其 非 共 有 か 求 Λ 矣。又 性。不 是 登。乃 业 此 至 之 今。安 귮 成i 可 之 其 豈 也∘得 理(謂 頓 陽。祭 出 休 理 共 物 诚 根 聆 。形。 灱 有 故 Ü 圓 息。耶。重 Ź 之實然之 出 菰 無 祀 祭 則: 世 側 於 類 水 有 片大 是 併 但一所 A 處 И 7. 此 俗 也。理 之 祀 涠 是 說 穬 亦 性 乃 됛 觤 精 設 鋞 不 可 Ż 重 比 氯虫 虚 所 乾 登。必 夜 之 伙 遂 微 言。理。也。苟 用 主 Ħ 計 有 期 。— 1 知 斧 其 立. 牛

或 飵 制 莫 者 常 如 1: · 凡 問 身 者、實。其 豈 ·ft 夫 焉。生 非 푬 佛 清 如 H 於 大。以 得。有。所 不 婦 恮 有 於 族 老 隆 淨▽ 岃 芝 無 曹 俟 以○一○受 也。 Ż 奶 陽 天 E 冬 ž 期 🎅 こ。所 常 之。晏。物。於 月 義。造 假 者 地。無 之 清 天 | |を | と 天 及。用 迅 是 然。可。天 죗. 使 使 袋。 而 化 矣。時 净∘ 地 今子不 地 先 速。乃 安○表○之 ¥ 男皆 生生 之 有 彼。矣。則 各 不 Ξ 感 外 處。持の理り賢 生 無 道 4 具 佛。萬 陽 邚 日。後 而 所 手。而。則 所 如 rin; 也。者 老。物 Ħ 佛 몺 學 萬 佛 Ä 寂。踊。可 誦 毒。天 佛 不 是 之。何 陽 老 孔 彻 老 者。而 寞。 之。以 艋 老 雞。故 有 地 徒。自 而 之清 え 正 道。不 俗 牝 之。然。無 然 4 此 之清淨而不 聖 甲 生 亦。而 生 ० 📶 者の中い後の他 女 所 人 者 生 能。生 淨 白 佛 惡 凊 可 與 也。吾。而 死 譋 順 焉。之 自。哉。陰。矣。 佛 老 净 同 之。死 畢 天 者。 参天 天 原 理。有。萬 上 Й 老 ० ग्रा Ð 媏 壽 不。矣。亦 地 乎。物 共 故 下 使 不 何 此。而 倉 不 斷。非。日 地 之 歽 夫婦 有 且 不 天 也。固 語 生 **或。**不。以。無 理。以。胎 萬 生。然 批 矣。死 非 俢 滅。爲。失

2 不 官 。宋 甚 E; 豫 下。文 不 父 父 物。 下。室。 詳。 里。 市。不 丹 子 貧 7 石 则 清 殺。子 子。有 生 女皆 父 害 往 套 寓 徐 韻: 日。惠 淸 公 民 君 有 萬 4 名。龚。娥 野。母 中 中丘 於 無 史 😿 日。淨 如 臣 君 物 之 之 卷之三 也"民 劵。欲 食°丘 足 邁 罪 好 佛 不 天 臣。然 頺 7 道。傳 非。不,日 就 痤 城 福。異 擾。地 有 後 有 老 之。可 多 孝。得 港 食い面 載 外 壋 夫 上 ž 上 有 M 矣 ○也○取○子 掘 再 7-.郭 唐 有 者。何 下 下。 男 凊 E. 世 郭 世 Ξ 有。 方 庭 E 之 石 天 補 佛 女。耶。 淨 廟 巨。尺。毋 þ 衰 事 Ξ 魏 刻。 哉。理。老 貵 僔 有 而 時。黃 見 小 族。 质 枚 不 尚。 云忠 高。 只 矜 日。不 男 乎-後。有 金 石 Щ 母 不 文 是 則 滅 女 有 求 ↑好 葢 司 Įį. 常 經。 斋 臣 命 盡 然 其 天 釜。下 뵆 货 建 得 3分 按 止 馮 矣。箇 於 後 舭 寒中 財。洞 用 食 金 迻 巨 輂 唐。 圶 iin 不 有 烋 則 7 耝, 致 以 與 舆 沝 变 孝 虚。 夫 묘 夫 後 fi 奪 祭。錫 釜。其 之 - <u>5</u> 慮 氣 婦。婦。有 痉 华 汝。中 表 Ē 4 把 有 萬

疽 誣。怪の #[] d 大 掘。忍。子 祈 7 舠 急 毁 弫 留っ 奥 褲 之。也。至 闘 c矣c 粒 名 者の益 世 U 傷。髮 幸 姓。 E 鄧 格 偽。不。野。面 何 夫 者也 亦 好 餋 商受 有 子。 丽 ه ۲۰۰۰ 之 攸 也。能。使 死 不 豈 ○心 名 進の母の針 敢 何0米 耶。或 棄 他。不 寸 共 啪 不 ሐ 有 北 泻 子 毁 之 必のご 子 日○謀○遇 如 子。其 寸 可 道 愚矣。者 孝子 文 母。 頮 耘 傷 殺 三 個 子 古 而 0 金 0 断 0 寧 子 戒 是 瓜 其 巨。 所 必。 將 娾 人 典 耶∘止 也。如。也。也。者。受 子 類。論。質其不朴 ぶ 即。 瘗○竟 且 ¥ 中 必 ·平余睿謂·平余睿謂 孝。然 而 不 英 朴。其。瘗 愛。 或 毋 z 死 則。則 升 亦 母。 事 恕 女 子。耶。疾 謀 分 之 知·古 書 難 o子d 甚 夘 愚。抑 不 耶・食 樫 4 。聊 乎。猶 鐵 何口 同。矣。非 也。不 起。假 JL. 矣。子 劵 字 非 申 Z 小c in 余 巨、今 出 其 不。忍 非 E 日。之。生 之 始 基 惰 鄁 必。瘞 能。其 於 奥 説。索 而 所 鱼 也 o 孝: F 至 **瘗。耶。安。子** 妻 伯 日。以 叉 奇。身 滅。而。竟。耶。竟 办 왵 也。此 垄 飬 近 行 不 攸 o 事 姑c庭c携 祈 極○樂

楊

Ш

Ηo

斌

元

數○間○

燕

Z 裥

士

多。仙

致 漢

骓

名 稲

○事 ○徳 ○者

穻

莫 盡

> 能 於

Ż

者。為

輔。故

淫 斉

世 言

元

之

衡

談 儒 之 元

用 碩 斱 鼎

始 繼 IJ 封

奮 登 萬 之

然

去 有

淫

秱 0 正 漢

Œ

И

際。時

柳子厚 也。負 夷 磚 恕天 共 徐 新 必 郑。易 音。古 夷之而 。信 賢。之。動。而 吾 義。成 愛而 。官 鬼 E o Ż 日。 猶 理。鬼 廢 叉 書。且 盐 汞 心。聽。 弱 而。神 幸 Tio 共 及漢 藏·又 起 州 於 其 吉c东 世 欲。隱 復 高 地 由 。者 ○龍 失 Ž 與。主 之。 習 正。於 志。是 廣 有 凡 典 道。三 見。百。無 豊 從 是 李 持 有 四 赤 也。徐 示 Ź 况 年○形 之人 類 地 俥 步。東 之。而 惟 悎 共 布 僚 也 長 者 髙 北 謬。難 聖 裁o志 為。 人 背 Ż 皆 盡 耿∘ 人 平。宜。知。葢 先d 行 Ž 占。神 死。尺 能 有 乎。以。人 矣。欲 執 之。永 귮 五 堂。 先 共。易。情 赤し 未 書。亡 人 州 寸。堂 覺の信 難○動○狃 幾 之地。 有 其 莫 居 始 共 之心。 矣。之。於 以 說。敢 Ž 記 楚 次 倩。鸝 IJ 鵴 洪 夷。越 為 甘 莫 隆 典 向 刹 嵇○福 問。堂 伽 雅。而

註 則 老 庸 天 疏 。以 之 持。而 泊 氣 苑 如 日 い地 쌹 往. 各 日 0至 鉢。死。於 天、 亦 堯 為 足 丽 雨 此。大 之 成 往 者。謂 於 者。登 4% 舜 薢. 不 天 U 名 然 德 間一次 憩ぃ枸 取。之 斯の其の帝 郊の稿 亚. 禹 地 胼 道 不 孔 必 × 殊 有 랖 除○昏 徴 死。之 共 帝 IJ 之 銀の共 而 著 4 <u>-</u>7z 埋 為 陰 往 0 者 0 是 於。所 吉 聖 常 則 非 者。無 共 有 Ξ, 紕 陽 陽。娶 而 勞。愛 不 經○凡 常。益 位。名。氣。 繆の家 來。妻 止∘聊 經 壤, 軍 。在 意 稲 然 非 颠 娏 理 書。之。之 퇲 疫。南 見。以 上。謂 夘 善 竊 氟 子 科 常 義 。禮 。書 حج 也。方 夺 堙 天 疑理 赤 氚 使之 灍 夭 其 不 U 擇 4 之 土。多 是 批. 下 秋 雖 浬 死。位 ○移 信。鳥、疫。土 騂 世 昏 水 平 礟 不 之 先 然 蓬 ij. illi 辰。俗 A 枚 能勞 也。帝 国 治。同。說。而 型の車 徘 氟 期。記 神(者 雅 不 夷 74 以 然 不 之 氣 枚 不. # 夘 É 肵 於 余 先 令 特·和 亦 馻 後。君 士。壽。常 U 昏 名 堂 恐 死。者 祝 刑 召 隨 常 卆 子 之 挏 理. 定。 焉。上。學 晝 則。不 팖. 和。世 多。班 浙 夜。為 有 閲 中 必 者 彼。幸 殺

劉 有 有 之為 念 冇 及 便 惟 氣。當 بخ 共 者の臺 之。言 百。煉 不 生 遠の利の渝 藤の翳 P 酷。 買 道 乎。 所 。以 於 子 人 뵈 郭 家。何。服 耳。於 則 孑 譜 U 而 璞以 詩。夸 生 謮 兆1 看。得 0為 虛 泵 焦 竊 轉 面 序 也多 就 平°多 ○語 ○遠 亦○唐 事 亦 。斑 面 副 U 人 移 疑 日。非 鳩 不。百 ぃ튪 否 之。友 占 Ħ 朱 為 不 為 果 / July 美。必。家 Ż 者の而 痾 報。 得 子 而 北の非 篰 可 了 .人 占 無 看。詩の 可引 낐 性 晢 吉 日。變 於 凡 有 盆 唐 呂 然 出る 吉 也。而 急 道 取 Ó 示 占。 四日四日 於 詩 坙 雖 而 子 道。也∘之 言 身 者 非。非 正 子 題 野· 是 瓕 子 功 甞 袁了 月 性○性 A 囚 权 厚 心・目・目。 所 反 日。過。授 出 非。也。之 言 言 腻 不 **1**4. 一。名 予 示 能 畢 命。単 言 道 黎 盲 凡 但 JL. 家。不 不 名。非。之 道 不 黎 套 先 有 誷 詩。正. 同い勝: 腶 人。或 者。遠 意 Ti. 不 谷 4 紪 已。大。看 亦。此 人。爽。老 何 功 也。出 高 功 誠 害。且 担。 是。處 则。於 信 元。亦 事。煆 不

程 謂之天 笪 可・聖 亦 日 丽 是 儒 事 · 者 入 U 記過 墩 遂 人 意。 叨 教の 亦 奪 日。序 之域 講 É 為 也。壤。很 傳 多 共 高 室 堂。子 洏 人 。以 格 故。染 吉 人 是°云 要 而 妙。為 刑 曹考 徝 為 功 而 終焉 極 朱 篤 虚。功 因 歸 樵 雖 圖說以 後 •世 禁 Ż٥ 於 譜 z 非 · 今。信 無°行°果°之 老 之謂之 之。 業 道 人 官 Ξ 後 遂 因 之。實 大 自 跃 赤馬又何 天 佛 者 過 鮮 果。說。恣 為 抵 私. 亦 и 朝 Z 莫 不 示 者。度 輒 正。邪 牛 自 视 坤 天 **利**。 近 誻 學. 世 -F 以 功°妄°死 利。以 獄 0 顯 疑 疑 华 於 功·者· 平·矣·是·以。繼 在 功。者。 囡 津 利。與 身 起 故 爲 道。 南 Ž 極 之 梁。 示 之°香 見。太 不 佛 云其 朱 西 友 將 學 遠。之 有 法○尤○儒 則 m Ŀ 及。氏 《人間之函 《馴是而至 主 Ž 渚 利º 以 릙 感。所 亦 者。 動 有 75 И 子 犯 境o 誠 六事 世の 特 也。迪 閣 不 援 敐 共 無 業。罪 其 知 稳 本 於 办 了 從 應 虚 Section of Land 囚 皆 肵 ٨ 恶 奓 I 道 實 凡 迸 道 篇º主 無 掘 居 許 ž 於 * 有 平 之 Z

故 古 合。平 羽。姓。之。宗 者 更 À 圠 此 或 オ Ü ŀ 異°有 同 卒。則 봡 近 出一姓。居之序。 葬 ٥it 同 未 事 皆 牟 朗 筮 ◦基 木 近 共 以 巌 同 稽 1 命 犯 古。分 朝 共 派 穕 或 市 不 而 義 序 *****10 Ξ 屬 験 選 遷 贵 刑o理 宝 訛 宅 孌 之 年 賤 商c經 南 乖 傌 月0泉 · 勝貴士。 · 佛者也 著 或 日。九 掝 石交長。 明者心 複 近 多。 相 世 ◦姓 命 命 何 敘 數 呂 巫 囲 。不 共 字。現。才 业 祿 序 凶 며 胎 莡 俱 命 荻 刋 日。辨 定

五 Ŀ 돘

知₀日₀天

流·制·官·如 而 面 金 書 围 Ż 王 斷 亦 其 者 多 土 非 學 胼 為 可 名。佛 有 異 卽 載 地 状 す 無い者 教 者 後 九 多見 無後 地 Ź 也。 世 亦 也。察。之 祈 去 Ξ 此 其不 中國 世 古 人 歽 謂 衞 椞 之類人。如 謂 類。 皆 士 之 也 也。為 智 旣 夜 施 其 矣。乃 遠。又 史 於 背 者。 法 點 共 欲 所 風 e 闊 有 以 載 番 北 刹 死 羅 剉 狗 鬼 者の関 耳 不 焼 卽 後世 国 及。圓 春 E 賙 處 枚 者○轉 生 不 及 磨 及 4 其 삵 ż 相 人 之 者。施 祈 刑。

懸

未

さ

生,0 地

程 愚 伊 别 只 甚っ 於 E 有 缩 性 不 분 云 巫 雨 日o失o物 미 按 辰 妄 ø 簡 不 達 不 ٨ 川 於 护 月 識 則の同 日。者 克 數°壽 葬。是。天° ग É 謂 天 陥 El 言c都 而 公 其の流っ命い命 箔 獬 鮆 空 0 副 2 盔 IJ ٥不 遂 Z 北。子 牛。 ٨ 0人 亦○各 脽 之 氏 為 [寒] 莲 可, 於 苳 戊 不。背 性。言 哭 辦 泣○踊 之室 謂へ正 確 之 古 北 產 物 之 4 擇 因 性の道の性 完 蹇 服 址 不 年。 之 É E -遂 也○命○理 動 不 之 有 毀っ當 性の為 彼 全 下 月」酢 莞 際の常 物の馬 是:路0县 则 天 则。而 甘 合 送 也。所 其 處○不□毁 4 物 命 有。已。足。靈。 衝 襗 乃 春 紋の 於 ż 流 所○及 # 냡 親。而 是○擇○之 克. 批 秋 萬 性 性。行 謂。其 有 有 對 避 不。時。則 葬の九 磴 柳。 吊 時○擇○也○朝 不 之 性の降 是。月 书 孜 不 共 時o也o是 敗 客 地・古 氚 비 善。性。 。以 而 不。丁 橠 禮。或 也。之 窓の擇の日 希 大 有 為 嶞 何 循 於 未 此 莫斯 令 葬 甞 不 日。蘇 夫 凊 馬口所 其 下っ 賦 富 贵。以 渦ぃ馬 凛 텒 Ł 毁 也 定 葬 去 性 Λ 於 不 人o 皆 声 봡 則 受0分 或 妖 鄭 m 人。可。

楊 流。沂。少 升 脫 戱 世 於 樂 • 可! 酗 풰 有 尚 德 醟○壹○衆 而 茶 非 水い塩 剛 暋 灔 歎 之。日,可。愚 紒 Ŧ 而 以 多 訶 魚 也 不 *オ* 之 日○曾 之い郷 娶者 古 可 中。抱 點 樂の學の佛 规 弄 有 卶 堋 をこ 年 共 之。何 人 之 岩 K 喂 忍 親 湘· 者。氏 有 俗 斱 典 Ż 劆 の論の屬 ıfı 也○足○婦○娶 羞 -7 無. 必の乃 為 咸 不 之前。襲 樂 婦 所 而 離 掝 此 有、欲 然 以 謂 同 至 植っ 能 敬。不 使 歷 矣°心 廟 Ż 之 其 家 » 波 冽 戒ッ混 业 Й 變可 謔 篇 놑 有 ũ 賀 丽 謹。為 叉 ゅ拘 見 闁 丽 之 4 傷 楚 IJ 徒 恐。---夭 朴 親○新 流り為 云。 不 撻○醜 譚 怪 子 嫌○或 於 世 懼○區○命 肾 長 旣 减 ٨ 或 言。俗 之。安 1 流 ヸ 哉○考 同 避 此 此 퐗 不 燭 血 ,繫 樂○心□得 之。於 腰の散 之 悲 責 有 裳 能 足 奴 羖 而 尽 俗 肵 Æ 踒 戱 是 然○識 動 # 倒 慢 後:性(事 市 男 折 媥 晉 钑 哉○信○蹈 の對の之 悬 門 支 도 有っ 世 其 子 今 宜 舊 耐 謂 Ż 之 膚○競 酒 其 法コ 之 春。 此 Ī. 典で不 氚 姫。或 者。客 怎 風 風。 作 俗 4 於

文 斯亦可如。 受命止當 明中人生 矣且夫五 命之布於十二時者不害其同 之遠近東西 百之外。 科 所 得 c之 所 不 百萬或 子 r 以 信 於生十二人豈不 朷 Ł 公 夫五十一萬八 不接 刨 生 矣∪柱≎ Ħ٥ 百二十 知。當 者以耳目 **今人間** 今天 Ø 人 + 共 十 矢書試思之宇宙民物 *** 私之三 **姑以百**歲 者。 柱 之數 Ł 蚁 1南北天地 者。 安知 八百萬而荒服下盛時凡州二 - 之年月二 巷 背 殆 間。不 並 所 未可 生 非 接 心之氣所, 固 能 加 月丙 其數極於七 干 推 量 龙服 越 有 七百二十之日 非 之。 百。常 非 四 於 主 萬八千 寅甲巳之日^c 柱 Ŧī, 之外 |客戸有| rfts 受各有 長之向 敷散 而。有 一皆同 于 吉凶 之。少。生 命。 四百 之日時。十 亦。二。 難。則 在 而 萬八 至 後 背 深 。 日 背の謂 而○人○ ÈÏ ٥Ŧ 析 生 共。共 手の耳 Ŧ 四 # 则 귮 難º所 ĒП 而 Ŧī. IJ

初敬 法 ± 相 界。靜 們 似っ斎 似是而 寉 ىن، 柑 彵 日。 命 多分 夘 似。姿し 儒 坐 禪. 先 家萬 與儒 他 褌 家 非 。正 朷 們 害道最 人 莫過 似。物 快家 做 定 僑 I I. 於 夫c家 夫。甚。 觼 Ή ىن، 磾 說 僑 桕 僑 机 汞 從 似。家 似○儒 他 肵 說 身 批 他 他 家 鮻 IJ. 誠 ıŭ. 樂 光 們 存 I 意 。正。 害道尤 叨 朷 靜 夫。 ú 彵 做 寂 似c坐。 I 與 便 工 照o他 ijĮ. 夫 僑 甚の發 夫。與 性 机 儒 家 他 儒 家 似。最

後一大發洩必之數此其問氣 書可廢也 秘之不 後ここ 魚 a 畫 遭 者○萬 不 幾何可以 或數 同哉。了 幾何可以當此而天地寶 非常人所得與者於五十 迎い曲 馬。等 Πo 使 者 同 世人 百年 州 直 時 者 。而 之生 然 7 r或百年。 可 湬 作o被 受 物。 溂 天地 弁 氣 夫 松 知也鳴呼論至 命 斤 也。一 者·然其 或數 之運 之。同 類 11.0 寶之 + 關 冇 荅 後○竹 傪 年c盛 矣。而 栄 祈 俊 者 本

之 共 数 。 所

到っ 者○長

豈必

枋

者

扩

肵

馬。正

白

此。

厠

常 造化

出

[鬼神

之中不

察○者 此 壅 是 耿 ਣ. Ľ 亂 位。非 理。以 周 二矣旣 凡 ŕ 通し 坐 無い必 洒 僑 形 舫 蠤 愈。此。法 守 是此。神 天 ٤ 殊不 涾 事 及 敬し掃 而 型 精c背 界 神通妙用の 心。有 精 長 無っ應 I. F 北 有。發 **克與理二則** 以為 久。天 者以 神意見知容寂 絶 差の則 非の對の大。 者の哉の是 見 則。逆 减 則 主 存。周 在。 共 旅 且 此。至 心。地 思 100 心。旋 敬 源。 形 功勃自然之妙豈禪宅 助以家齊國治子 譂 功 行。與。者 九 玄 之。真 **不**! 全 慮の無 窮 養○進 頭。 而 理。以 鄋 極 甪 不是 凡 理。性。退。已。 不 Ė 妙·檢 祭。 -- 0 此 o寂 肵 萬 朿 存ο並 之 者 動 若 船 動 道 卒 理 理 法の書 進 同。 故 靜 儒 者 空 豁 É 作o理o滅 寂。無 亥 非 遵 矣る 滅 語 家 以 豁 默。存。此。供 任意 欻 故 不 養 。僻 樂o儒 絶天道 廣 他 之。親 在。戒 者 心。猖 舾 樂 大 為 之。心。 禪 旗 I ○認 愈。狂 之以 斱 者 重 久 通 c 心 灰。 無 家 在 夫。 亦 叙 觗 平。舉 熟 0 白 选。 夏 市戶 只 懼の這 長。自 倒 홋 措o則o态 為 此。又 Д 能 誠 ik 小

> 苩 盛

道

芝

化餡

言他 孝父 厠 是 7 和 知 文 生 母。別 令 躼 道 矣 天 母 有 Ė 面 于。妹 理 程 節 も ここ 所 笝 失c底 氟 不 化。大 -j· 傳○衰 真 事の各 知 Įμ 本 吉 若 觓 身。可 乾 他 Æ 處。 共 구 솿 由 道 IJ. 在 性 見 Ü 殺。變 脫 得 管鏡 l 你 4 此 命 化。所 迼 生 處c處 榆 姕 生 L 生 廻。窥 筃 來口分 天っ 才. 萸 在 者 o 再 只 去 見 人 数 直 身 窮。父 业 之 者の見 再 故 是 奪 子心神 母 葢 北 il 遂 去 身 幻 胎 識o人 4 出 上。身。出 身 守 耟 之 虚α 攸 عال ه 故 世。定 保 生。朱 理で氣 此 不 拯

物。太

是 言

重 朱 鼎の於 知 子 未。媒 近 之心 西 П 不 藏。门 無く子 不 天 耆 Z 1. 到。脫 'n 殥 山 1--知 木 有 可。日。古 剁 型 Щ. 本 夫。饵。也 。是 楽 日○便 朾 瞢 命。奈、聖 融。若。當 共 進。也。乃 者門類 女 命。到 是 何。人 寫 中の則 約 是 **氡** 子 無。云。然 道 於 叉 無 為 處。不 富。難 ıЩ 禮 博 間。所。之 さぇ 所 命の一 可 辯 始。言 此 鎮 i, 者。女 之の樂っ理 言。因樂到。等 奈 子 言い命。艮 75 泒 此 克 約 地。者、而 豊 者 得《人。何 瑖 命。凡 顏 阻 身の巴 磴 登。道 (已。不 道。聖。知 處。說。如 吉 子之 巷。皆 復 足。則。非 上 有 程 人∘有 何 聖 H 命 不 奴 禬 用 以o吾c有 理。 便(命)須 先 Λ 命 者。稲 樂 知 理 さ 力。語。身。一 不○循 丽 生 說 刑 也。皆 贫 也。其 事 博 聖。與。物 前の自 IJ 乃 命し之 ఓ. 為 為 一。也。文 人。道。可 非 寫 言。去 加 則 2. 泉 贫 從 刺 者。さい各。以 之。 非《命《計 下 行。录 ٨ 掂 容 外 朴 樂の為の玩 何 由 較。一 合 伒 言 游 檮 47) 茂。一。弄 亽 中 筝 Ż 説の也の 粗o致 顏 觀 物。而 人。則 到。 加.

ΊĹ 液

旭.

夫

凡

葉

巷 梁

Ž 媽

唐 程 Æ 友。荆 柭 朋 利 耀 只い分の無 手の鳴っ花 千 端 位 而 さ 瓊 友 <u>u</u>. 朋 各 Mú 管。事。一 「日。 呼っ至 情の山 者 寫 供 日。也。者。說。無。人 友 ĮΪ 佛 上。殺 術○遇 锋 Ŀ Elo 奠 助 親 古 雕 不。可。覺 🌉 帝。書 為 有 重 達 按 物 Z 疎 禮 á 休。懼。此。私 只 之。物 祈 루 孝 於 Ŧ. 之 執 輕 饋 日 故。是で Τ. 重の命の 蒋 Æ 膜 ż VI 天 文也 事。重 奠 異 俗不。被 图 以 不。就、之 Ż 甦 聽。為 。則 自 鰂 此。之 論。他 生. 事。災。民 以。奪 亷 祭 主 有之 製 從 杰 人。死。恐 死 扱の銃 虚 囯 介 共 秥 人 之。主 軣 故 生。動 잱 感。財。方 斯 耳。或 Ц · 勞族 矣₀是 Z 人。 2 佛。也。 動 而。周 士 尺 後 有 斯 在 贫 巺 頄 懼。と。聖。 人。 以ぃ天 用 之 世 亦 民 戚 禯 # 服 是 芴 學。賢。 可 法の之 筕 無 此 開く窺 朋 未 A 剿 此 ŸĮ. 為の以のこ 怪 苦 術。功 呪へ告の禮 垂 友 12 偧 從 育 利 怕の生の 劫。以 指 往. 閠 不 動。死。死。 以 夏 麻 旅 有 放 千 傳○佘 制の布 斥 往 狀っ 铣 族 生の為い 見。至 年 之。爵 怒 假 之 uhi 烖 海の殿 拧 如 故の本の書 |液。 可。貨。爲。異 在 仁。傷

4 南 D) 之 史 所 。於 人。異 必 豐 作c悪c銘 有 者·日·不。有 刖 益 丽 劝 夫 以 於 見 徳 史 鉛 之。材 使 銘 之 誌 其。必 庣 -F-或 於 行 Ż 者 17 納 志 单 考 無 有。於 羕 惡。於 何○尚 有 业 廟·之 無 世。 亦 共 或 美 歽 義 域。所 存 者。不 近 生 Ц 於 擦 書 o於 者 奥 基c後 而 史。 得 世 鈋 110 鈓 郹. 也。之 者っ亦 也。苟、不 恭 有 嚴。共 其 知。古

惟□ 貲 與 П 虺 友 必○所 健! ٨ 者。之 為 萸。戚 間っ人 有 生 家《其 唐 大 歽 Z 是 朋 Z 敢。用○者 💌 不 牲. 散 此 É 以 友 矣。 殳。所 糜糸 桕 4 Ħ 潘 備 麻 之 族 在. 費。そ 遠。姓○至 也。散 之 戚 文 瀊 謂。受。抑 14 鬼 杊 享 謂 此 筣 朋 也。未 之。梢 亦 割 數 丽 手。禮 散 友 闘 仐 使 無 + .fl. 狼 不 絹っ面 有 不 死 餒•籍•家 近 抓 是 代 仴 主. 可。者 歽 且 Ż. 肶 紌 以 主 反 人 况 • 不! 百 奠。喪 食 是。散 何 主 ٨ 施。忍。 -Ŧ-幾 飷 葬。群。人 Ż 族 麻 於。且 何。計、來 古 H 1/11 丽 戚 散 所○段 鬼 Ą 殩 紟 肵 白 肌 擅 絠 必っ牲 濉 ₹. ᆌ F] 族 煮 友 散 無。糜 此。情 非の靡の野 坺 也っち 用。費 不 狀の數 於 主

夫。其 兹 後 故 堯 乃 其 言。巧。世 焩 非 巧 近 惟。曰、文 日の他の至 文 道。其。語 士 孔 章。極 뷮 當。不 之 子 之。里 を 孔 工。不 謂 而っ酸 為 非。巷と 子iù 大 己。人 文 75 人。之 四 難。矣。死 9 也。 盲 _春。十。 文 起 难 繆 不 展 觧 之。莫 章。意。日 用 休。哉。仁。非。不 由。益 共 無. 叉 琢 叉 公の有 斧 心。日、磨 謂 與。銘。 鐅 金∘心 陷 惟 雕 辭 是o而 而。苦c痕、溺 陳 鏤o達 故中傳 其 喜 達の去 邚 無 而 也の者 Ż 好い道 太 意 所 e 円の愈 , Šie 至. 務 不 突っ

此。去。用

而

以。遠っ玄

其 者 将の背 不 是。作 惡 旣 本 安。見 人 託。於 💌 不 馬。莫 銘 喜 乎 近。於 者。則 乏 足 理。及 稿 ∘懼 見 斑 嵩 人 拒 枚 世 則 至 倩 觀 雖 之 行 · 107 足 傳引 於 # 世 老 ぶ 憨 衰。為 通 **[ij** 而 人。所 為。人 ٨ 狻 莮 材 倳 荀 不 叉 怍 之 世 逹 於 後。託 得c以 子 誊 務 識 。白 之 枚 於 共 孫。勸 立。 勒 義 Ŧ 是 非 子 之 뿂 銘 젰 人 道。節 - 1 á c. 手 孫 苁 贫 人 則 z 年 鉛 謻 褒 非い士。無 の書 桁 歽 來 後 揚 折c嘉 有 手の言 公 之 不 擒 世。其 歽 ÝΤ # 宵。也。立 親。史。著

官 而 其。狀。則

而

恭

ي راد

大

去。

켕 此 之。見 丽 遇。孔 廢c無 胸阜 朋 戓 覣 徳の愛 意。焉 知。济 有 o問 命。昭 無。 7日の 女。 Ê 衞 。之 之。 也の目の益の祭 鬼 不 日の理 五。 鍬 不。情 荥 之 Ŧ 郑 昔 ij さ。さ 4 明 神 朲 日。 若 冬 共 遇。文 木。遇。是 蘇し何 疹 典 媁 不j 阁 辭 有 趙 文 也。同。罪。乘。官 不。侯 他 ○通 ź. 常 礼の盆の賢 辨。知。飛 昭 ± 齊之 週。干 P. 殊 世 越 加 見 有 質 矣 0 詞 者。炦 煲 不 蘸 操义也。木之德 幽 璣 衣 御 愛 吉。 醉 週 夘 足 諙 受 居。華 老 恐 者 於 苺 滂 獻 邪 .止可謂 51. 有 琟 。茄 士。您 主 Ż 린 常 一人。妄 一范 之 而 媫 無. 媫 音 亦 之 非 等。從 钎 非 文 樓 非。者。 罪。范 寒。分。 쥙 好· 。 新名 光 取 智 有 俟 志 滂繁 賢。 ĮĮ, 順. 類c將 之 相。 德 邂 敬 丘 典 ۴Ť 後 ij. 亚 越 不。 後 75 八 Ы 之。黎 。官 涏 呼 職 車 3. 加 賢∘ 様。其 詛 吉。 代·華 太 獲罪 憂 遇 劢 之 車.。 之 性の 無 於 非 士。公 0 在 故 以 堋 位 太 有 他っ 知。成 文 Ξ ÷ 主.0 僅 面 公 呼 表の過い 救 ıh 可っ如 訴 帝。章。 祭 渱 贄。妹 血 危。危 不。 以。其

一脚之言液 , 其資稟有害 諸 看來若非 學 整 語 而中翻來覆去 学者必須熟讀 等 可以不必讀讀亦不必記亦不必苦苦 儒 菴 先 日 君子。 亚 🎮 要作 紫要 賢千言 近 高 占 _世し字 應 看 是 體 精 **『了以爲道理**』士之好高。 舉 Z. 思將 萬 爾○如 用 此 自 窮 藷 相將 用 究。一 陸 無 方称 の道 象 功。 箘 非 坐. 其 發明 理 欲 身 Щ 禪 但 速 有 得 心入在 所 得之淺深 人 當求之於 者。六 此 定去 經 將 理 出っ Ł 聖 晢 杉 無 求 設言 賢 我 志 解。心。言 註

問 道 日の世 矣○也○賢○瘤 明 ο老 閤 理 性 如 適 矆 Ń 子 有 有 也。齊。 能 懸 此 謂 IE 不 砚 B 臨 怨不肖 Ü Œ 則 並 者。 難 礻 道 Ż 蒙 有 而 遇。 īŁ 蒞 鬼 邪っ 者、幸。不。 不 Ż 神謂 天 有 備っ 不 遇 氣。 下 是 逦 不。也。 貧 《都消錄了· 者其鬼不 都 則 性 退っ莊 立其 矆 消 而 也、也っ姜 椞 有 非一 不 傷 逃 縏 此 適 憂 系 示 理 鬼 衡。 濉 ヶ厠 邴 選 遇o美 可 若 ż 不 爲 者○命

而

不 Ł

知

賢 龍展

達

命

是王

ηſ 事

朱

亦

をえ

Д

程 E 張 邚 理。子 公。致 先 知 謂 Ŷ 者 地 之 性 漢武 機 與 死っ者 西 見 7 낈 z 叉 。先 日 野 雄 山 共 讀 文 日。首 鬼 言 取茶 之一說。日 師 王 日 聞 : 獨 丧 可 留 龍・別 罪。日 則。米 孔 吾 夫。 巫 不 焉 神 雖 見 為 馬 猶 也。下 下在飲 同諸 。其 占 仙 可 大 獨 不 但 時 子唇 知。 こ 開 威以 之說。 方 異っ聞。 免 ィ 撆 尤 涇 甚渴 公送。 長。内 1 伙 誠 雖 言 知其 致 「城之北」 夘 耆 野 爲 生ぃ 神 白 抱。小 祈 氉 世 日・適 在 之地。成 Z٥ 怪っ 出。異。 貽 既是 不然生 在 俗 彼。格。 有 人 100 楊 **唑 c 怪** 後學無 此。所 物。茶 股黄帝· 行い 虚。 獨子? 谷 王 陽c也の 甞 謂 正い至っ有 氏 永日。之 誕 燕 之に出。 馬。言 鬼 氣 抛 在一此 受其死 九二 昭 正。於。 窮 有 神 人方 盡 得 此。人 データン 論 王 步。 堯舜 或 之禍 也。疾。 則 人 何 速。茶遂 6間 奥ぃ 家。也 不 。死 c 決 严合 講 ∘姐 ٨ 明 至. 泵 妄。 若 聰 死 無 格 遜 袸 言 於 Щ 秦 担っ 顭 諸 幼 m 仙 天 其 共

人

須

有

鞍

韉

陳 Æ, 旋 理 亦。小 文。損 猾の時 者の竹の於の新 有。有 抓 生 之 憑。雄 生c也c 媒 <u>II.</u> -T-鬥 簿○吾 不。一 會。日。旋 性。他。目。不。嗚 宗 利 朾 不 書。日。無。般 全: 布。滅。若 明 省。呼。 不。不 市 可 見 ħ 之。治。底。不 汇 先 华 **施。如** 不 得○惟 而。不允 權 否(架。 聞○繁○道○人○有 **生** 另 須。何 於 邚 氣 世の家のこ 之 後 凬 郼 彼 之。馬。不 是 意 。應 有。算 此 不 之言 查 茶 茶 遊 質 不。 夌 有 衰○凡 所 何 毎 條。得。時 掮 忍 Ż 治。 雨 譋 司 起。有 底 處 成田 濟。理。故 加 觳 性の Ų 中。酒。專 不" 文 於い背 物の得 **練** 恋 他 不 族 孔 7: 宜 成 職。法 火° 何 文。爾。基 來、 租、 子 必 人 問 m o 於 肵 亦 簿 力。 凌 鄁 堯 ਦਿ 舲 復 開 功 沀 道。 134 遊 不 事 木 書 之。不 奵 夫 論。置 公 口。夫。唯 有 o 終。 體 者。盛。然 從。反 뇹 青 此 杜, 義 平 先○則 跳。即。 不引 無 復 弊°也。說。天 滅 檢 不 用 莊 。拈 。 自 常 37. 煮。 神。為 明。 Ą. 閥 11 盆。 則の地 度 年 通 一。赵 **彩** 後。 弊 间。校 迎。 穬 綆 之。 須。之 外。分"是 學。自 起 之。 31. 年. 成 勘。生 84.0 有。間の 字。伏。義 剘 性。 之。 無 老 何 如。 不。亦

美 \pm 凊 柩。 青 惡 不 意 以 文。名。規。無 喜 於 觏 套。最 養 可 濟 。友 之有 色。門 。然 反 秀 忒 延 及 Ŧ 不 捐。亦 君 也の従い道 眉 幼 成 娡 毫 無心可 寡 尼 無 惟 無 石。 栫 明 見 士 宇 群ぃ 済 4 妡 惑 A. 姑 不 助 不 定 101 Ϋ́ 行 迶 ¢後 共 因 髭 出 事。損 人 佛 μ 迮 可 額の量 在。行 家 大 日。入 求 蜇 世 利 Ŋ 攻 。 詩 殷 裔 廴 助 者。動 青 迶 肆 長 來 厫 可 聯 變 業。物 倌 粧 鮗 謟 Ż 遊 之。故 易 度 ______ 履。異。 4 꾶 種 搟. 翩 泉 佛。僧。橋 釽. 存 怍 負 Ź 。坐 招 之 也。種 酒 子 寫 功。 3 葡 -1-子 念 不 亦 观 余 か 魯 力子 ج 吾 貽 īħī 佛の家の経 路の泉 可 孫 貧 外 H 門 請 大 丽 猫 年 害。釀 者。親 北 誦 刻 聽 ìť 人。之 恐愧 餐の於 者 授 在。十 不 示 垃 諡 烯 # 經 扛. 耳 45 相包接。丐 先 以 近 ___ 七。可 販へた 拜. 心 佛 便 能 狐 無 忿 紅 方 而 胨 蜧 開の懴ょ可 邓 抛 於 偶 fΙ の明 Ź 與 地 肆 藥 偶 計。風 11 瘟 助 歷。人 遊。立 之 貧 尤。之。在。遇 後 Ē, 力 布 鴻 化 者・鼈 者 6生 10 俗 功 奋 因 子 道 於 施 毁 低 徳の應 肿 稼 酧 酌

궦 愔 者。歴 笶 尚の経 -7. 母。那 $\frac{\mu_{2}}{M}$ 其。於 意 母: 諸 問 身。不 引 状・偶 個。在 也。程 也。無 见 口,他 婚。審。梅·大 殊 故。其 萷 子 秵 遇 汪 人 否 之 りゅ子 人。共 家 。非 書 尚 핅 日で倍 λ __ 某 僧の公 書 吉 1 率。報 門。事 否。 講 不 有 僴 Π. 程 良 大 1± 11 義。書 也。利 無 子 其。如 Ĺ 敗 人。有 苐 呼の順 人 介 教の此の作 叉 呼-疑 Ц 斃 所 遞 關 縣 略 ψ. 於 留 率 之 於 界oFI 先 常 日。 14 文 於 矣。吉 語。 是c耳 ○人 孽の獄。十 逵 為《不 丽 劜 兆 以 大 信。母。市 在. 也の因 子。者。己 之 某 ≕ŧ. 捺。戒 將 笳 4 此 抡 徑 抵 程 H 礻 古。哉。以 办 前。僧 之 公 易 近 外 亦。日。唐 - l] o 之。可 ň. 端。去。既 将。贾 誰 妨 遂 毝 世 則 何 月。个 仁 毁。瓦 価。貨 П 門。不 咎の穢い蘇 捐 推 Ш 捷。言 子 矿 風 不 門이 好 不 道 瓦。武 茀 為 將 戒 曾 亦 冰 哉の尚 冇 有 丽 可 **不** 有 歴 學 畫。墁。云 士. 信 至「開。肯 者。墁。則 70 程 男 。不 7. 假 短. 階 者。 不 ·F c 端の忍 尼。觀 盚 。嶷 手。科 蚁 T 亦 杊 子 級 失 盆 於 Пo Ä 其 雅 和 狂. ○施 日,父

然行 下 完 哉。 超絕 原體 主. 存 宗の矣。 华 廓 Æ, 不。兀 顒 博黻 厭棄 Ē 久 老。 猸 Ŧ 哉。 然 感子 知っ 然 庆 Till I を動い 共 用 示 率下 丁學 办 又兄矣 而 物、終 未 乏 **海然雖** Ü 此 所 于 氣 · 與 端 必。 壶。 В <u>±</u>: Æ, 無事 共 # 天 泉 Д: ŀ. 優えを 格。味 悟 76i 丸 ₽-與外學所謂廓然面 13 者q理 理. 高。 逢 之而 者。 而。無 之說。 育中 ·T 而已矣又何疑之 或 近 Æ! 而幾 之序。成 K 平茂 洞 共于 <u>(2)</u> 後の 義 天下) 敢所 八事之全 扩 使之任至重 然の 之語 未 明。 推 不 ○精 微之 :大第 母演。講 FJ 必 此 偷٥ 而 能 不 微: 面 ij 必。以 義理。 無疑。 揂 批. 足習 正 間。無 無 寧 Ġ 偍 得。僧 察。俟 訪 奶 亳 1 思躬 臀.c 拙 Ѥ 徒 然 而。其 Ų. 亦 乃 情 面 雅 然後 サッチの行 。玩 在. 4.5 也。後°廓 使 葨 ネ 不 不 以 處 畢 索 是 枸 入 劆 盡 然 茅 먬 復 能 枚 央。新 祭っ初 煺 從各 力光字 郑 被既 亦何 **槐**不决之 丽 ឭ 反 雕 者。而,難。酬 無 例 無逈 夫 卶 求 所 或 氣 亦 葄 大 借 \mathcal{U} É 悟の之 3 涛 未 中 玩。值 컈. 伻 謂 殊。域。近、盡。間

私 者 焉。也。

聰 則 A

也の

焉。 矣

夫

肥

峢

而 郁

Æ. 離

放

惟

共. 神

JF.

直. 有

の他の

無 甙

無

蔽 其. 是。 澗· 而

無

ィ

可

欺 無 渺 平 祥

則

亦

不

可

也

令 故

檡

也。 敝 淮 鬼 悪っ 為 而 非 而。

租。 剪 鬼 E c 齊以 抬 至 其 劣。

扛.

芝 邋

俗。 -}-

4. 致

寅

水

按

支∵矩。

不 僑

芨 肵

者 及 飳

無 者。 nii o

郹 罪

也。所

大 Ľ.

妽

較。知

然。其

矣。孰

殊。

此

彼。

就 爲

使 夓

說 正.

貫

是 規

75 虛

澥 Fig

犸

若

是

っ神 滿 天地 廝. 吾. 波。

Ż

果 ifa

若 惟

胂

不

漏 准 灯

一之月。

邀 申 之 朾 IJŁ٥

Ξ

一年計之

多

죿

王文成 不。燭。其 則。之 离 飤 鬼。典 大 者。受。朝 按 引 神。則 買 非 拱。タ 罪 之為 B۰ 不。斯 真の稽 濫 儩 於 神 官 超。叩 쟤 私之 道 c伯 畠 开 而ら拜 之 Z 쏌 矣。降 ィ 吏。 児の跪の辰 <u>[</u>] 學。 之群 真篇後序 姦 聴。是 仁 而 奥 者。 沓 明。舜 政療 聖 乎·使 悍 正。之 人 降 鬼 卒。直。也。焉。 垆 。與。 Ź 之个人。是 浉 飹 肵 然 耥 果 見。之。飲 市 調黃老悲 其 予○有 井 神の桁の之 ₫. 造 故。按 玊 4.0 有。也。 觜 日。罪 仲の今 知·焚 尨 岩∘錫 及 之 識。香 始。 致 是。福 Ē. 者の期

子 32-591

吱 香の外 問 醫の極の月 亦。須 长 懼 \mathbf{H}_{G} ĸ. 者、毛 か Æ 其 Ä٠٠ 是。是 野の是の 稰 有 Ħ. ヂ 其 4 子、微 求。甘。川 朾 得 Ĭr. 菜 不 共 青 薬。脆。日○敬○涵 歽 **プ** 烟。 粓 靑 長 仁 和。先。不。卷 型。影響 탰 死 亦 II. \wedge 室·矣·皆 不。套 鎵 色。意。足。久。雖 春 有 者o凡 Ð ji li 之場。此 不 武 煁 柔ぃ承。 興 夘 明、 亦 蹙 可 -file 當 舜 発 。 志 。 氯 此。若 赳 何 枋 溨 >之 鸭 行 充。然 脂 皆 之 斱 行 。日。諫。論。 Ħ. 者。借 ÉI 能 示 灿 **声**。 六 是 心。堯 丽 **父**°父° 非 IJ 杰 自 拁 實慈父慈 + 。彼 次導 杰 免 滩 杰 毋∘毋∘ 理。 Z 可 示 态 \$ 义。于·于· 有 則 人。無 物 懼 Ц B 嫺 不 善。道。 勈 狎 饏 肵 ıŀ ₽: 如 所 沜 Ż ıĠ, 而 老 者の者。 者の所 謂 肵 不 文 者。 杦 不 懼。· 母 姦 其"其。 得《只《懼 兲 稱 至。 武。 캢 何 Ż 是っ省 後 彭 孝の孝の 生 茍 Æ 然 也。 以 乯. 取 廝 気でなる 大ので 之 大。大。 世 有 П 11 為 籦 於 而 柽 Ľ. 7-0-7-0 不。又 說 和 邚 之 爠 P 周 枧 心。充。 白 徒。以 也。拜。後い 師 Ηa

於 厠 志之所 頲 111 之 褙 心 阶,此の者。象 於。更 能 丽 自交換 义惟 共 志、者 於 義。歷 P 此 由っ不 П <u> 1</u>E 山 耳。之 괔. !技 出っ不 *i*Z-於 Ħα Ð. 刑 11.0 年 不 焉博 多。民 鄉○則 也問身 今為 義の所の所 官 可 欲 泧 在 讱 IJ Ż 講 隱。套 而 忿 有 不 義 能 則 終 於 肵 習の感の思 智 Æ 一个 儿 辨 莀 習 以 崇 だ・司 크: 利。 習 所っ竊 有 日 利 单。 從 四夕 者 省 思 無 與 也の所 在 羽っ謂 觓 * 悝. 之 熟。負 聖賢背 問。焉 献 阆 君 是 事. Ж 惠. 秄 習 義の由。學 亦 庾厚 不能 身。安 者。此 爲 か 如 팼 佂 斯 其。者 怂 -7-慎. 之痛 得 何 利。喻 未 不 任 雄 相 取 所の於 小 思 志。此。能 明 可 不 使 凘. īńs 備っ 耳 0 兜 斯 於 1: ė 汇 健 此。久 辨 使 Ź 馳 聖 非 骱 叢 志 當 有 鄁 有 次 英首專士 所者計。者 矣。於利 然隻 灰。平 而篤 K ïľ 肵 辨 溢 青 矣。 之 書。於 以 志 義。其 也 魖 屋之 1 行 顧 從 T) 矣。乎 志。基 (1 45 能 則 君 故 之由 丽 志 恐。事 悉 而 鉅 利。所 人。平 之不。其心局。在。間。力 祁 手 Ĭ 公の學 之。日 流 妥 则 習 ii. 之。其 失。皆 者 歽 者 所っ韻 ۸,

7 不 人。不。也。惟 夜。之 ₹. 他の存 *II*: 折 子 不 亂。信。亂。惟。者。而 7 倩 大 媑 聖 死 吾 而 於 休。之 ŢĻ 共・不 不。惠 乎 於 媄⋄ 分 生。日。 ィ 者 素。直 坐。亦 嫌 温 🎮 何 亦 徘 男 國。說 勮 柳 信。故。當 非 谹 乿 不 合。女 懐。何 1J 水 於 恤 下 屋。 愎 敗 何 业の時 坐。為 ت 也. o 13 ń Ŧ-坐 有 业 車 其. c度 者。自 懐。破 不 信 日夜 人 齐 別c坐 民・人。文 刖 者 °使 之。必。男 扎 非 必 詗 夜 此 曲 必 恢 īNi 必不 4 Ŧ 惠 懐。死 千 不。女 寒 。 寒 時o千 ďĊ 是 皆 不 犪 Т 也 古 亂。之 セ 未 而 値 古 事 道 胨 Æ, 귮 肯 ٨ 有 而 亦 即。大 女 业. 4. 之 之 灩 獨 身 仕o其 也。亂。一 之懷 咫 必 計。必 坐 信 夜。防 至 犯 平0 處 平 此 苟 愎 0之 0夜 6 而 ◦室 。防 皆 義。且 死 ◦無 共 Ħ 在 未 何 华〇塩 餇 女 惠 彼 别 得 Ž 卽 者 共 女子 其 必 也。懷。之 也 吾 嫌 礻 其 型っ 市昌天 也。 死 側 不 惠 夜 平 有 Ł 母 明 夫 誷 職。胸 人。也。亂。有 何 Ż 夜 ¢ 夫 不 外 吾 後。蒋 勤 中 茍 則 m 君 共 素 。必。惠 벛 下 女

言

Ñ.

てさる

高 胡 上。性 之必 下 竹 俢 黻 巴。之 面。足 理。情。概。作 儒 儒 顡 有 齊 則(平" 訓 日。會。文 吾 詩 在 共 沯 扩 日の以の男 者。不 迹。平。 也の心 所。以 日。質 天 器 7 作 今 顏。 女 亂 雷 ○州⋅卷 以。載 也 人 世o詩 下 夭 叔。之 人 也。若。故 蹇。敢 壽。非 ٨ 無。道 똣 如 剉 商 Ž 下 子。義。 旂 亦。潔。心 之 用。義。好 不 過 但 農 鄓. 飅 窮 秉。當 必 雞 不。迹。迹 꺠 能 Z 也。又 糊 敷 無 末。 Ц. 燭。以。不 ---可。以。之 治 君 忿 明。 何 日。用。 耕、文。無 亦 為。魯。為 今の明へ間の 父。即 子。其 典 呇 叉 天 用 法。男。也。女。心。不 要 夘 不 焉。更 天 害 農工 人 他 下 是 子。曾 子。郎 Ħ 念之 能 訷 乃。好· 将 7 讷 賴 老 閉の謂 坐∘健 不 掩 地 不。作 貨 共 商 チ 人 戸。介 吾 。天 釋。 Ħ 其一 厭 去。何 捌 心。斯。 養 第 為。若 ッ 賈 懷○下 也。 歉 身。用 Î ٨ 宏 昔 如 -正。惠 皆 횾 凡 後 其 念 鬼。 之技 心で詩 壁。見 有 世。其 乜 無 萬。也 事 之自 自 充 性°以 此 豝 。用 信 刑 不。而 不 信 18 情□瑯 儒 俗 心∘ 是 得。為 耳 ri.

李 貨幣 栫 4 牟 偈 手・符 卓 下い将の 世ヶ病 1i 个 JIC. 不ら基 东 íċ 彰 劜 ٥不 能 髙 捌 戻っ 儿 ďί 那 "山 o 款 節の類 E . <u></u> no 此 烂 ũ 从 炉 [-] o Ц. 白の集 70 世 纤 4 蛇・箕 裘・私 是 埬 砚。求 幾 ii. 心の神 走 也の披 踵 掮 7 胶 彩 北 重 14 Ñ 者の之の下 化 明 \bar{z} ! 和 泥 訛 野 大 # 葪 萬 方 本 套 m 為い降 数。証、四、字。症 世而 合 ◦抵 僑 鬼 承 髙 程. 圥 न्ता 之。故 Ξ 誤○邪 玄 谒 于 神の日の寒 蘇學 其 為 智 胂。里 理| 爲 4 載。 供の日の面の飲 Ц 庭 韭 當 人 宿 宋 飾っ君 極っ於 腡 壀 横 斱 选· 成 交 小 形∘之 嗜小亦 쁏 聍 拆 屯 不 1. 背 其 展。母 民。毁 別 形 欲の有 鬼。亦 避 大 羁 茅 z 神っ福 失 貧 ء حتر 作 17 į ik. u 肵 定《祈 r_{i} 夫。之 正。不 之。改 為 民 Ž. Ť 狚 赿 心っ子の何の藤 Ü 方 荷。坡 10 俗 養の棄 蛇 駶 氣 ○ 日 ○ 也 → 稿 ○ 基 Д, 叉 4 邚 z mi 名 [7] 先 ム 如っ吾 亦 胂 足 善く従 Ŧ, И 解 浦 天 省 名。 禺 Ē. 斯の管 Ü 文 矣。治 7‡ 事 こ 女 面・夏

Ŧ 狴 脒 15 见 件 耶 也 杫 ○ 調 \mathbf{F} 4. 心っ清 而 夘 홠 : #: 發 田の王 上。任 逑 ili 慈能 宜 褔 1 澗 **ふ** 太 弗 之 三 三 奈 ○ 至 ○ 代 謂 ĸ 75 奇 Ŀ 日。哉。弗 1j 此 種 信 FI っ知 Щ 吉 爲 中、拿 武 疾の疾の闘 7 不 達 共 北 其王父 道 业 奪 窖 重 **ぶ** 彩 命 孔 ŀ 40 佛 粒 飠 磨 之人 君 子 是日 過 從 之。時 是え 親・日。 念 佛 粗 不 罪 得 製 淮 常 [2] 有 祭 迹 (佛の法) 於 间 共 遊 李 百 安 Ė 李 楚 41.0 ぶ 2.7 귮 吾 片 面 丽 囚 歲 射 侇 业 謂 业 驼 . 不 輩の 專 秎 £ 赵 果。道 紩 君 處の飲の七 人 君c Ŧ 望ぃ王 說 無 本 粄 而 甚 隻 Ź 也の老 座 + 夘 IJ 雖 江 外 養 事 來 說 矣o字o 机 久 人 中 能 裥 大 不 涉 外っ 产 冇 面 ŕ 不 並。之 爲 有 使 龍 道 屻 終い目の智 た。 雕 大 特 物 年九 业 兒 业 奏の河の共 دار 育 章。夫 靜 敎 T\ 妙 君 時 君 穀却 邽 共 楚 非 誵 者。坐 人 聞っ 死 病 事。十 Ź 所変罪の Ż 體 不 祭 共 存 血 夏。一 伙 善 老 垄 究の養い折 至 失 諸 鋋 个 者。為 座 方 也の郊っ 郾 圍 丠 宗

舻 餡 狀 少 ○見 同 似。而 皮 増 學道 知。之 尚 人 虎 共 君 不 共 # 誷 死 之去 夫 去 子。子。 ∘狼 Ž 者。 天王父少君 貨矣 老 宜言 並 之 元 化者 骨 湖 無 抓 di. 見 供 膏 ○時○戸 是與 P 解 ·謂身 之尸解 少 狸 入 共 君 Ż 死 如 业 解 與 養 殼皮持骨內 赤に日 君 Ż 名之壽年 ・ 郺 大也或少共處座? F 君 夜 食。跡 死 不 · 解甲笔 枚 年二百歲 Z 虚 有 無異。得 蛴 則。 知 想起宇宙 。安失 ~死 相似。 調尸 牟 世の野。少 少 4 编 ŗ 如 免去皮 未 君 7. 子可謂 君年 耷. 解 蛇之脱皮 P 共 尙 謂不 解 31 以。病 性 而 者 去。雖 祈 我 夫。可 九 者 百、為。死 有 死。十 + 何等 汇 崩 崩. 真。上 何 太史 凹 老父為見時 非 太 1 冤 ŗ 也 泉 仙。嚴 也 為不識。 《史公典· μ ,解矣今學道 鹿之墮 無以 -I 上皮 如翻身 也謂 с俱 去。石 如 一公宜 解况不 死。矣 小 身 恐 liil 世 △君 足 少 死 夫 學. 見。者。其 Ü 杣 精 消 意 山

以 子 艓 絕。日。蓝 傷 然。之 親 \mathbf{B} ĥ ○俗 不 俗 不 宇 通 俚 疫 理○訊 必 以 相 逛 い間 莫 葋 無 問。傳 停 不若告之 此 Ü 者莫之信 疫 頦 染·為 者 族 黈 沄 甚。雖 能 长 須 傅 或 骨 也。是者惡 IJ IJ 肉 楽。哉。可 利 雖 至 ٨ 独言 普以 其意 有 親。有 其 柴而不 如 亦 糏 也 寫 美 此○或 此 矣然 蒾 日 o遂 茭 者。 · 高避 之以 者 Ž 奉 其 書 瓶

八凿者盡舉一八地為架子之 多元 架 在子。者 認與 凘 笑 J. 76 郁: 為 為 為 基 誌 亦安 者。 1 礻. 尚滿屋 Ø 許 歽 觙 肚 **交可**笑 能 . 文 無。食。間 展 我 我 我 我 我 我 我 手 頓 死 杏 改 不 귮 共 ¥ 店 若 背 唐 作 下 棺 死 達 細 柳之 笑。 用 矣。 竹 不 以 後 官 人。 偨 此等支字 存 久 前 蒯 貴 有 沓 八武 亦不 叉 在 不 必 ٨ 則南 何 Ţij. 世 可 有 僦 刑 ○開 。然 多 鉠 ιþ 伮 更 ılı 倘 卽 其 有 ۶jH. 吃 部 湄. 往 使 幸

洏

歽

訓 矣 c

귮 幕 仆

火 被

文 非.

> 集 · 7j

特三 刻

奴

人。死

稍

名 邚

Ē 生

後則

义

慣り

而

絕是可

竹

當歌

草

主

郀

林棼

灵 問家貧 变邨 子游 晢 温c時 ○建○惡 藥 正し之の難の義、恐く重の不の面 懸 那中 4 Ā Ħ 脖 不。則の之の其の一の難。不 緽 平自賣替菜豈待豐富然後建其親 齊。 與藥 棺 恙 走共 埋埋 恺 可に難に爲の不の有の者の 面 丧 鄉 大疫質之日遍走視親 Z 違の有の重の速の染の信の避 楚 o-7: 具。遠。 何范事 家遊飲 巻之日 | 突の染の面の突の影の音の | 突の染の面の突の影の音の | の抑 | 者の不の告の則の不の 有全家 |虚貧不 日。夫 ぶ 子 日。 ○蛍 有 能 染 亦の心の之の吾の染の恩 布 П. 麟 剘 郝 知。避。以。說。之。 病疫者人 可 峺 川去不復 里手人以祭日遍走 观親為診 展長 非之者哉。 過 秱 莚。 者 老(也)思(将0無0 ネ 心。 家 则 。椠 iħί 染の言の知の義で不の害の也の 茍 ż 如 後 稐 们 之。恩。則。見。而 無 有 z 歸。 莫敢親公 也。 亦 無○義○彼○信○巳○ · 矣 飲 手] 昔 所。之。之。而。不。以。 款。為。不。彼。知。利。 吾外 保平 釧 廉 實之官录 以為 范 大 À 面o重o避o之o思っ害q 為疾 干 日○温 為煮 足 父就 心之 信の而の者の避の義の則の The Part of the 單 形c有 此。不。知。也。之。理。然。思。唯。為。 厺 遨 無 Ð∘ 京ら 粥 猆

萨文清公日人皆 見°殺 人一°身°以 狙○人 一新吾日 方°錦°未 子 不 킈. 胍 以 果 奸 吾道之大害也故不得不辨 地 夘 博 子孫 不知其 孫 鹘o 有 未 好肯不肯即 ĄĮ-一可也 然不 2 灦 善 名 c F 所歸故寢 力 故 辨 2 也。者。 者 Á 一个之人只是将好名二字坐君子之。 っ棒 欽 火 ネ 泪 舜 是 、巻之日 實券心 是 葥 焚 **髪**服 蓼 何 不好 君子而君子亦畏 平 分好不 iii 裁 之 c 竌 jį. 芨 知求鬼神干茫珠不測之間 以為心哉世· 校食不安奈· 此。 稍愈於焚之 以為合體 枢の為 食 美名而 E. 將 廷陵季 延毁 弗 收 兆 去。 璶 。居 忠。分 舖 他 脚c 好惡名也愚悲 也。名。得。子 ٨ 五不能職以 人名律浙最况 人名伊斯曼 必 子. 炗 摮 À 何舍之 寒古枕児森 真 所の試の死 哉。也 /者·又有 Ľ 夘 為《春》字。財 加 名之談而 于 /津干 者質 游宽 111 好 是。將c死 茶。 道の道の節 省 費財 愛親 没於 食稻 悶 世 埋○好○者○ 親 殊 4 之 彼 名。實 罪o Ż 灰

羅 人或 蘩. ふ 幾 **伽 今** 藍 o 所 以 丽 上で神 勸 佴 o來 使 Ż . 亭 夫 遇の巷 启 木 夘 歽 惕 夢。所 乏 重っ廣 Ĕ, o 程 天 姓の記の人 人 灎 使 是 面 凡 有 ٠,٠ Ηď 物 美。天 Ž 耶○者○守 大。惟 澌 直 光 地 僧 聍 誠。殊 A, ž 4: 四 皆 耶の僧 下 不 李 家 妶 僧 末 夢の砂 中 雷 南 IJ. 駅ぃ時 以 ş. Á 過 190 C 势 家 則。分 7 ₹′ 扸 极 名公 以意 吾 隱 太。疏。遇 の孵 貎 加 晔 盐 利 Ð 午役 ī Ц 共 公老○從 寒。云。 趙の意 鬼∘月 外 ZĮ 月 鼎 前。貴。有 使 盛。自 之。太。未 父 毋 醋の近 強。足 收之日此 人 最 盡の貴の之の反の 煴 所o公c開 之 也。 主 誷 崇の間の 太 尝 則の先 著っ雨 竒 之 聊の試 之 如 見。所。在 厺 可 思 ĝ 巳。生 往 者○錄 童 ЩJ 抑 問 所 借 闘 算 者。見○他 登 c F o 腻 前 规 調 尚。以 最 妄○者。人 視っ大 推 起 倭 九 有。何 世 科·其· 묲 4 矣。誠o有 澤 Á 侇 巧 ₫.: 驯 IŁ. 上 扶 僧 共 然○見 見 Ż かっ不 最 乓 羶 何 寫 世 用。直 則○之 交 媼○者○龍 组。[1] 胺の也の見 o 年 o 伽 威 鄙 歽 连 Ш 夢 큀 唐 整の俯 塑 武の假 切 11 Шο 央。史 以 世 果 共 朱 寫 古

製炉至 曹月 俗 之。縦 普 之。 遊。師 致○傳 也。女 受章 不 先生 t 在 設 лì 托 鄁 心 楓 打 復 出。病。既 中 公 奏o親 4: 基 早 直 日0冷 鬼 天皇帝 悬山 日。况 殁○散○生 粉の 一杯 龍屋 基 孤 見 安·拜 忍·父 펮 一 石 奴。昔 H 之則 椿 其 哑 前 亦 奴 而 、长 之已 悔ここ 구 者。然 者。愈。為 市 者 名。毋。父 使其 11 告 県○指 회 栺 # 井 村 兩。謂 į 🛭 受好 一 民 簡 o 來 画 之當 使畏 榖 平の有の親 笑。二 愚 天 吏 自 民 黻 否 天 早。 以 指 人。 客○段 論其 月 告。 道。無 使。以 苦 也。倚 是 必 共 作。宜 再。 欲 知。基 樂·倍 平·恭 之日 禁 乗り 授 投 17 死 訛 鱯 麦 Ħ. 往 中 指 之非 睧 奶 不 為 漢c女 事し往 吉 嗣堂終 新 供。 唐太宗生 也。 頁 奺 使呼奴示 亦 河指 Ä. 俗○後 妄 の未 和の意 死 ο人 息 干 Ŧ. 数 作。人 告 子 翁 古 後 莊 国 作 使 H 然 年の成 親 卶 쾇 有 典の率 **Ŧ**, 化 哀 日 哀 九 怪 之 の居 在 舻 泉。則 信。交 間の所 而

礼 後。心 説の章の知 扩 知。 近 文 明 故 在 也 声 天 Z 샙 筬 捌 ú. 人。商《愛 名。正 吉 先《惟 月. 夘 41-惟 聖 製。賢 <u>~</u> 日。 禨 日°名°敦。式 名。此 之 姓 行 見 11 祁 存 天 程 M 祓 则 獎の商 廿 Ŧ 者へ 至水 性 宗 尤 Z # H 朱角 問 豊 名《容 雛 道 老 專 在 詳○類。知 之 先 业 復 子女 て 敬。之 家 闄 有 戎。以 行 缩 後の数い 何の未 至 教 鈩 Di 舅 有 以い間の刑 之 此 币 揖 瘔 然 省·易 至 业 患 c後 講 凝っ輝 抾 訓。 名 其. 惪 後 盘 煉 後 有。更 之○聖 臣 行 學· 于 使 奥 ٨ の果っ 郑之 處□精 存 却○僕 日 货 خ 毎 烈 戈。 Ä Q 火 兩 那 胂 套 行○數○知 士。下 經 說 润 م بنده 不 育 轨 共 烒 說 ・時 在 在 合っ面 及 書。如 為 如 郑 N 其 親○書 可 o鄉 所 方見 先。先、一、中 1-如 何→ 行 國 取 對 止 名 莊 民。 從 缝 斬 行い席 字。 口 寉 н. 合 道 此 ļţ ī 而 子 信 出 本 中 揺 面へ楽 令之 事 塠 陽 ż 惡 保 于 Ė٥ 者 也 ο 來 萬 在 後一点 文 之 行 用 剪 之 也。其 鈻 真∪象 泉 後。知。問 在、求 之。政 非 而 哉っ言の暮っ武 绐 萸 道c善 Jt 禮の艱の非 梭 是。玉

來 c 🕏 7. 其 尤 元 え 不 儒 使 厚. 居 大。干 聖 原 師 രൂട്ട് വ В * 旔 蘇 Ā 能 有 謂 婢 風 炭 古 者。 唐 T) 內 命 M 朝 之大 Ė 炃 以 狄 古 在 俗o衣 之 取 日、佛 Æ; ο翻 Т: 有 麼 京 好 禮 (个之元) U 側 服o聖 之 古 其 遐 官定 者不 居 の師 死 ○處 老え 酒 尨 世 皆 天 陰 캙 方二 人 0 要 作 天 人。飲 W, 藥○敎 有 制 啺 ○制 佴 作 制o可 弄ゔ 下 歌 期 入 一惡矣 뗐 者 避 割 ネ 百年來, | | | | | | | | | 湿っ Ē 横 ・ 之 舞 の本 の 媒 不 来 者。 終 茅 定 甚 稱 有 說堅 オ 謹 世 身 *7*5 居 授の之 ○情 髅 吉 涼 Ź 19 屍 0-7: 黗 日 喪 漢 制 0凡 說。 蓰 丽 М ○楢 入 禁 大 方 洪 先 魠 亦 落。去 昭 毒。 容 立 習 雒 谳 男 ΙĿ Ż Ŧ ħ 不 不 隋 古 耶 體 文 吉 嚇 能 亢 歽 律 以 所 戊 之禮 敢公 能 妈 未 垂 瀣 也。因 家生 化 俗 。不 中。厚 视 巾 以 帝 遠っ之 育○送 異 及 某 赦の十 風 做○年∪数 然 鹉 私 陳 於 盲 終 # 道。 鄊 舊 梨 俗。 恶 況 御 者 食肉 Ħ 父 唜 經 ○番 75 不 。脖 上 山 送 史 亦 煶 ・自 字不 居 所 飲 荰 得 去 是 髙 嚴の又 0喪の以 相

水。再 H 也。俗。以 在 誰。名 與。粗。殊 仴: 之 不 不 7 Α 冠。客 尺。首の又 今 素 今 不 是 如 瓜 鄉 食。食。所 酒。食 循 布 濪 苁 邡 cin 何 不 夘 老 賀 孝: 人。 梊 斬 齊 奴 沿 加 ス 長入 浦. JF. 士 斬 死∘客 傾い難 弔 果。衰 衰 合 元 弔 Þ 迶 * 夫 不 加 衰、飲 鉄ι 精 殾 依 之 数。人 客 明。為 之 大 消 1 家。粗。齊 井 酒 某 方 客。功 喪。日 釐 セ 之 Ħ 횸. 图銀 鄕 官 勈 衰、無 至 死。革 非 之 魠. 不 父 布 首の馬 怒。 四 人。長 害 其 亂 大 - 薤 飹 大 喪°殯 食∘毋 尺。何 某 其 釐○則 加 孝 浮 來 功、此 鴄 功 死。此。哉。車。可 不 食 大 在 业 事。人 4 風 子 氽 靡 粥。功 則 食 Ξ 孝。恭 笶 弔 主 布 不 之 功、俗 飮 鼓。然 小 蕯 齊 Ξ Ð 帕。尺 客 **至** 首。總 人 又 敢 之 酒 弔 偤 功。醬。衰 不 不 之。布 Ź 當 此。 以 若 賤 麻 至 者 。客 剪 非 所。 器 4 之 食。皋 篜∘殊 矣○此 ⇟ 長 以 之 惡 Tr 來。麻 丧。小 小 功 火。當。頭。而 縷°至 不 梁 此 揚 短 布 郋 布 功 綳 疏 功 革。元 λ # 各 狟 言 為 山 加 布 惡 設 麻。食 緦 -7-者。人 ٨ 主 亙 麻 官 Tr. 有 者 云 弔 精 也。父 薄○布 長

閲 方。誰 挴 魚 此。人 聖 之 也。 喪・聲 而 者。處。飲 酒.平。麻中 喪。有 楷 . 2 鼓。之 λ 不 對 音。一。又 酒・在 至 能。有 肆・樂・教・有 可 اجزر 及 И 而 也。不 若 主 於 棸 功厂 集 飕∘能 也°久 之○違 明 ĸ 。不 其 樂 能 办 人 几 瘗 訓。喧 冬 故 吉。喜 見。無。 茄 之 者 И 然 Ξ 民 鬱 當。宗 鯯 喪 Ž, 者・如 不 居 鄰 大 也。 樂 澈 飲 П 無 儮 革。之 者c氏 ○何○ 夘 杢 而 有 功 薦 也。唐 酒。不 服 酒。 者。法。用 喪。之 能。程 共 用 斬 先 А Œ 棸 且 之 晢 喪・衰 火。喪。不 屈。子 臭ぃーぃ 洉 樂·金 議 春 也。宋 王 言 伸。日。 皇 鼓 論 之 也。甘 不 所 此。僑 不 行 有 軚 耳。安 葢 丽 喪。以 失 為 袓 之 相 而 飮○所 能 匍 食 非 藜 + 有 樂 能 醠 不 者 。不 帷 飾 酒。謂 設 匐 叉 符 無。 袻 虫 惡 乎□及 謂 議し而 酒。之 大 喜 食。既 敢 不 也。肉、不 龍○但 法·且 義c飲 自 大 樂 共 小 不 在 凡 夘 罪 喧 對。樂 能 不 今 闘 事 功 之。能 弔 亦 主 共 關 之 齊 客 小 麙 知 之 不 樂 況 必 所。以 不 人 辛。人 喪。衰 見 其 滇 祈 發 當。禮 不 忍 之 不 父 酒 耳。 平。聖 樂、母 於 革。自

不 悅 而 必 左 俱 其 於。道。道 焦 復 之。者 後。 右 人 間 化。 ○文 ○道 ○惟 ○ 外 审 此 夏 能 非 况 誦 於 之 登. 不 存 最 言。不尽 左 特 **个蘇** 之。 Ħ 芍 孟 過 舊 有。道。物。不 右 如 解 楅 于 叉 大 卷 悲 亦 害。外。則 察 之。也。朝 朱 氏 A 之 奫 Ž B 愁 甞 但 無○為 夫 費 其 之 耳 唐 之 蘇 意 ıů. 四 放 好 其 物・文 瑘 其 利。景 學。氏 壞 也。其 害。 嚝 之 害 則。者。者。向 未 及 人 da Ŀ 之 若 *K* 矣。有 言。可 夫 之思 其 材∘ 巳。該 說。使 4 蟷 是! 旣 簑 面。以 文 败 旣 學 性 則 瀧 作 屏 而 而 急 一。肄 與 久。者 耶。風 命·為 倳 於 絕 巴。思 有○意 袭 道∘亦 其 俗に則 下 始 孟 扣 四 不 之。凌 E 不○妄 果 貶 葢 漸 則 子 方。楚 進 薂 誧 其. 耳。合。言 ī 丙 不 - 冱 者。學 \tilde{z} 以 政 彼 此 냚 屈 於[。]而 耶。說。不 · 朝 · 南 小 入 共 理。亦 者 肑 吉っ雖 朱 道。無 矣。骨 文 其 軰. 家 亦 侈·唐

未 用

子。以

異

何

在

雨

程

子 及

者の者の通 先 之 斯 而 旣 毫 之 掝 道 弗 弗 Ż 安 未 釐 咎。 之 嚬 辨。白っ 利。 吾 🎮 甞 於 之 弗 合 将 殆 道卷 通 差。明 共 糊 指 莫 帹 者のと一乎 陋の其 於 兩 喬。知 之 禪:果:四 禪 7 究 天 可の必 所 異 學 癸 不 下。以 有 同。面 遵 之 卶 窗 凡。厚 鞯 從。雖 脸 本 吾 Ŧ 以。誣 rfu 於 非 子 末。道 萬 蚏 **禪**。天 辨 朰 Ż 亦 里 學。下 矣。宜 坐 無 為 之 混。後 뷮 有 丣 遠。之。世 由 何 可 不 敢 真 物。然 也。之 避. 农 輕

哉。議

者。然

杒

者c害

則。於

焦

有

巫

者。

74 荅 飵

唐

扑

之

劜 亭

見 歈

沮 薍

丈 Œ

有 푬

此

И

丱∘窓

耳。日。

示

於

盆

Z

見 振。痛 胝 大 是□矣□度 其 以 關。悟 禪 名。登し之 肺 重 関 腑・馬 後の皆の私 學 閱 有。也。而 吾 穚 之 自 **所。故** 道 惟 非` 渡 爻 嫌 ○朱 ďΓ 之 恐 而 撆 其 界。人 忌。子 盏 岌 膏 必。目 凡 之 棄 共 來。欲。象 育 陷 之。底 非 **4**11 文。山 之 排 滑 病。闡 於 徒 行 致い為

罪c學o非

VI. 飵 カ

洞 自 排 始 旗 热!

伯

故。其

御の見

聖 .其. くが 初 之

髓。而

歽 得

臭 有

巴。有

得い早

肯

書

等:

亦旨

能 他。

究 喜!

其 老.

獲 c

푭

其

語・中

棄 於 張

之

7

夘 A, 為 其 人 軭 C 議り

其 遒 腪

所

莶 通。之 IJ Ü 车 山 贀 갶 É 纽 至. m 明。也の為 睿 Ы 11 右 Ħ 4 前 之 奇 11 旦。在 业 兩 者 危 呰 忽 然c福 信。 書·至 研 꺳 邢 推 庭 C 귦 # Ę. 省 發 便 関 十。一 朱 兄 妙。家 磨 未 衣 Ŕ 漫 初 视 月。民 此 本 箕 椠 陸 奄 茹 體 者の皆 天 邎 牂 柏 閰 不 ن)، ۱ 老 乏 Ü ιħ 之 認。乃。一 日 日。此。日 之 7 力 下 起。樹 道 何 屮 E 。日 さ が 之 Ü 芝 學。然 此。日 之 歌 則 子。由 沂 # 間 此 ゙゙゙゙゙ 浙 。事 。書 の於 有 復 心。去 理。--忱 ill 懋 成 뽀 樓 。集 婥 逑 有 大 Æ 見 虚。手。莫 編 然 意 佛。 禪 山。末。於 忽 楊 抵 平 平. 日。靈:潛 奿 誵 其 丽 果 者 Ąį 党 女 忽 象 艄 扩 僅 心 積 之。玩 加 之。悟。必 亦 郁 也 。此 44 省 者。明 Ш 推 性 妙。久 焉。若 數 不 漫 有 也。 X. , is خاد 耿 此 官 秉 辨 之 而。之。後 兇流 十 合 歽 基 及 之說或 惟 E 下。山 真。 耳。心 之 年。非。漸 官 符 謂 官 ∘禪 禪家 之高 筤 用 性。覺 之。就 Ż 忽 。良 丽 甪 飾っ 汻 南 為 孕 京 洛 カ # 竹 亦 碓 ٨v 雍。自 Ź 通 為 師 打 ο操 肵 业 弟 甚 걘 理:實 乎 ,則 И 體。精 荅。偶 存。不 ık. 弟 苦。也。始 不 冇

1 新 水∘是 之。貴 礻 定 事。子 所見 不 否 吾 之。而 趣 戊 說 灰 荕 。之 庾 含 能 平っぬの 日。天。得 p, 3 貧富 切水 者 170 有 已。言 日。樹 Ž 為 敌。 其 世 滿 不。高 瀾 謂 生 後 日っ 人 兩 光 之 誻 割る 夫。上 おお初 目所 來○科○倒○壽 靖 人 # 滿 景。出 之貴賤貧富 可 佐 孔。 之。某 初。星 ίĽ 天。地。之 褔 之 愚 脫 會。 之 見。 天。 西 一數之 Ľ 係 西故 無不 夫 富 詞 矣。分 是 思。 世 高。是 九 於 委 貴 也。以 葢 明。孟。 餘。成 說行。已 ŀ 甚。 水。而 諸 贫 能 脉 之。 的 丽 無 之。得 1. 切委 抔 子 天。賤 壽 相。 知 貉 地。顯 之 富 求 夫 梢 壽 者之 大。 共 之 授っ 亦。位。酷 · 之 贵 致 貨 0物 土。有 之 天c 串 誤 端 受。 的。曾。 塻 不 異。噫。好 所見。 難 何 鈋 背! 者。人 而 矣。不。之。哉。也 有 自 賤 葢。平。 係 究 有 昔。世 淫 散。求。至 耐 祈 於 陰 吉 飹 壽 亦。由 朾 ٥£ 之。謂 之。愚在 巧。 世 Π 婸 天。求。天 当っ 且^多 逭 じ。某 X 地。 莫 地 諸。乎。 辨。似。 之。少 信 面。以 枚 人。孟 始

佻 ᆐ 圆 4 餌 尾 於 夫の敬く曰の整 扩 馬 此 尺の公へ金 手 奎 谹 般○事○是○た○勝 凹。而 是 名し不く耐 我 勿 肸 周 歋 机 呼る公 按 ٤ 适 與い汝の何 哉し以 朼 須。後 周の意の周 先 **食**o夫 日っ不 道 搬の毎の衝 则 聋 瘺 詳の人 公り又 公 7 彰 及 書 大 娭 背○也○而 掮 為 儬 适 न 看。自 人。問 秡 日。非、汝。能 Ž 云。自 慘 於 夫 Ŧ. 信い舞の作 臣。有 代 心。夜 石 周。文。之。此 坐 嘻、我コ白、攘 矣。烈。阳 式 灰> ٨ 之 .. 利 街し召り費 從 32 家 1 公。足 意っ理 Ŧ 之。と 之。為 林 菔 人 犗 於 其 人 用い此 否の死 堅。自 所の余の毒の少 掌 憂 凡 岼 庭 🗅 س دخيار 辭 日 丣 煮 朱 攘 樂 能。不。如 運 蟲 柎. 處。篇。則 貮 何っ 遊 퓬 o数 之。之 及り汝っ是 而 師 樹 尚 此 不 冏 程 丽 泉 亦 - 表 也の推の共 藐 泦 而 書 事 Þ 子 瘺 有 隆恩 斯~若 息った。主 之。莊 信の此 ٨ 子c也。速 爽 慙 日。 캢 從 是 也。自、汝。也。廼 日 촨 倒 肂 只 理の此。 贞 ŢŢ. 虛 而 世 為の自の就 鶷 是 jį. 處 是 無 只の 君。靖 悲 日・手の 多の東 是。 匹 飳 之。推:師 캕 木 此 矣。. 也。之。曰。師 邚 有 理っ周っ

周 可。亦 笑。者っ外 ぶ 髙 前 験 c 方 咻ぃ亦 行。不 宮っ宣 将の弗 \mathcal{I}_{j} 測 是 鰯・第4-溪 貲·毎 叉 朾 士 Ŧ 德 中ゥ櫃 日。 髮 4 有 畔,思 钑 又 也の因 可 林 年 中 (有 火 有 垩 官 志 道の也 文 夂 間 執 П 瓷 就 凹 有 杭 // 文 包 者の為の夫の謎の不 Ż 其 ű 有 11 Ŧ 柔 换 <u>1</u>-州 天 学 可で肌で明 法の言 封い道 阳 拒 復 寫 不 者 孢 将 さ 也。因 镁 尾 平心倫に議 倉 ΠĦ É 取の四一作の 服の建 \pm £ 之。三 明 誕 名 興 有 不っ除 道 古 討 此 周 大 周 蒸 該 起。人 可o排o學 偷 帝 思 産 Į. 丽 ÍΪ 教 年 德 官 栴 Ż 之 Ŧ 因 将の岩 秮 此 觀。得。也、 الأراد 丣 得 貟 焚 中 者の侍の仇 徒○說○之 學。 此。而 IJ 傳。 人 化ω炭 IJ 叉 倫の響 類。之 Æ ïL 孤 Ĥ. 侧 紩 肵 可 逑 近 + 化 黨 者:齊 法。年 旌血 為の然 中で官 有 H 见 Ц П 坔 亷 而 衆 可の者の而 Ē; ! 法 亦 辨 諸 枚 헮 躗 雨 받 囚 大 忟 弗 楚の於 忽o践 章. 蝪 。本 Ξ 焚 顲 缬 À 平心可 肵 廢 於京 投符。 E. 學。衰 7 掩 履 Ż 化。陵 此 П 训 矣。 杳 变 也 胏 丛 官 平の道の花 之 學。从 寫 大 ŢŢ 夹 無 o其 囧 不○夫○而 泊 不 仮 m 僡

声 柳 · 特齊日 Æ, 劉 然 前、耶 從 長い ü 竹 莫ぃ道 丸 卶 以 大 ħ 4 阜 漟 凼 游 滟 虹の米の骨 帝に 明 ·聖 配 非 公 裿 峻 变 楊 非 Ė ili ィ 芗 祀。孫の 於 人 德 命 聊 程. H Ŋ 後 涉 の遺 雄 難○肖 い間 稽 ○符 胈 苯 于 其 不。所 子 許 世 延」巨 Z 校 H 偅 班 E 解 灇 無. 克寬 舜 虎、日c 略 Ħ ο娇 訟 . 頼 0 俗 Ϋ́ 跡。妖 jii. 之 늅 着い尚 鬼神 Н 本 の類 彪 日の愈し 书 Ó 非 也 * 政 7,1 可 j÷. 拠っ 日 拈 7-也の黄 於。亦 身 灖 淫 3 身 Æ, 畜 狼 克 自自 핒 無. 矣。有 也。白 毕 Æ c 哲 失 巫 周、何 仲 無い有 彸 哉っ 文 홥 道。不 是 * 舒 後 是 祁 魚、好 組o. 厫 苩 猫 퍖 梅o以 偣 明。趨。史o沿 仲 對 之。 __ 狭: 怪 可 許 搲 茲。 先 Ź Ŧ 仲 狂 葜 三 楓.0 茵 此 避 夾 婚の 火 德 s 兆 骬 千 太 家 2 徒の Ťο 民。禹 尼 齓 崽 爾○代 手の 追 指 鳥 虫。自 受命 化口孫 牧 後 付 貧 腹 75 受い豪 於 E 命。 文 書の代の推 司 天 甞 以 妎 武 當 成 行 尊 日。汚。親。 命 不 法 為 陳 之。引 于 古 馬 王 符。 也っ男 符。大 行。 日 私 堯 足 瑞 和 地 菰 及 平っ 有 如、誠 女 既 衝 以で 末 Н 以 払

或 乾 裃 子 樂 濃っ然 升 r C 所謂 131 之。其 H: 州 也。不 Ήι -- 레 有 坤 陽 明 動 #I 禮·鬼 文 臨っ筋 觓 醴 嵐 řľ. 定 \$ 帝 手の骸の所 交 湿 硙 死 樽 休 7. 华 · jili 也 秨 通。人 紙 葙 ○楽┐ 苒 相 其の楽 苁 캕 飾 丽 外 申っ之 問 唇。 界 幽 鼔 队 旔 看 私 止。交 M 彻 Ż 上の以 冬 Å 有っ寫 ž 之 了口仰 情っ Ji. 感。 神っ有 逑 職の 45 養 氣 贬 泉の何 狥 以 者。謂 之 推 ţţ. 鬼 孤 共 相 Ц 氣 福 神の物っ 加 酥 鋒 亷 雷 rf: 明 斯 峢 禪の仰 之 迡 辨 鬼の而 以 榖 性 屋 風 (A)。 也。各 備。漏 剘 屈 未 為 刑 無 110 捌 神い瀬 釽 朱 建c 民 i. 得 禮。暗 征. 而 願の中の子 鬼 子 潤 獄 為 4 之 其 榖 樂。室。人。 11 無 有。愉 謂 之 NII 叴 以 天 浉っ 之の洋 ıĿ 序 樂。地 禮の題 便 И 肵 刑 數口 幽 ふ 种 此 馬の風 문 在の洋 有 樂。因 A. 矣 ○獄□而 則 헭. Æ. 定 對 7 贵。其 果 錯認 平 吾。如 為 鬼 節。事 雷 _ 44 ī 位 身っ在い鬼の神 辨 之 明 是 4 不 且 中 鼔 者 杊 倳 說 未 無 于 題 乏職 货. 通。 者 者 也 其 對

•理。乃 世っ 郎」禮 履の爾の也の目の 叉 樂 此 丈 告 鬼の以 夘 彼 Æ a 伸o無 化の凸 刖 神○束

カ 大 共! 擇 脎 力 之 吾之 貫 脖 乎の日の正 也。於 伏 植 彼○羋 **炒** 學 同。始 柞 獄 至の於の生 敏 吾 共 也。蔬 先生灌 事 Fi 멦 相 建。 植の籬 。中。其 絘 命の者 ħ. 為 蔬 Ŧ 葪 之 部 掯 不 何の也の封 最屬 之 Th. 卶 亦 非 獨 使 袭 命之 清 也の他の 手 首 尚 預。不 人 __ 祭 殖。盛 物 感の外 種 蔬於 平 書の要い此 4 儺 修 焉の能 別 莫 怠 籓 淮 Z, 叉 肵 說 之。之 冶 É 大。能 同の人 矣。則 Н 取 養の祈 籬 不 警戒c 藝蔬 徒言 乎 っ聞o 錢 相。所 修以以 茲○腧 □ 無 不 不 其 。 吾 方 客 得い論の知 致 二。數 治。固。 敹 而 復 共。亦 由 豐 富 者の払 人 各 有 何 此 N 生 壀 啬 蔾 數 治 音 人。是 也っ 患 Ŧ 於 費の亦の展 色。雨 且 蔬 則の一 朱 貧 **不** 灍 福 可の底の吾 単の牛 Ż + ∘脉 治の石の説の子 者 腷 Į. 乹 华 畦の試 命 の賤 不 以。仰 邈 之說 有 者の虞 時o共 ijĻ 官の但 言。蔬 二人 處 Ð٥ 制 丽 洏 於 共 子 各の飲 平 未 椦 外 命の無 财化 K 土 刑 得 0 執 上心無 至。天 於 患 者 同の言 者の 祁 さ 否。所 培 共。此 天c有 者の平の害の之 菰 先 稱 肵 范 甚 樹 人。職。以 世 爲○蔬 脧 故 宜。之 可

武 者 常 醉○道○ 因 ≥ο 舣 捕 問 人 э.с 10 П 在 Ü 親 不 曠 道。 τſ 趴 昔 菸 礻 心の社 虎。相 急 子: 死の許 甲 在 成 在 有 ネ 野 可 稷。--特 離の 須 當 死 段 不計 邚 灰 計 不 中。地 行 此 也。颜 柊 出 p 到 ٨ ni o 颴 以 友 以 M 有 下。人 叉 の命の 去。米 獨 则 時c急 カ 3 Œ 虎の畫 团 友 虎 Ž 問 7 夜 同 之 さ。 亦 行っ止。意 使 游 劜 U Í 豹 波 业 親 於 說。 邚 1 須 a 盐 問 使 孔 俠 书 c 死 歸 盇 鮪 嵩 耛 遁 人 在 孔 子 斯 須 到 有 為 有 者。也。賊。不 人 親無 逃 阆 週 弹 耛 处去之言· 10日主 / 須 子 矣。 親不 同 珛 ○害○ 親 此 此。此 得。同 件 妒 杫 不 青 義。人 行 _ 郤 親 之 若 顏 Н 去。 而 在。之 在 人 亦 理○隊 飷 便 何。二 子 就 出。自 乃為 不可 叉無 類 在 所の只 店 至如 規避 當 有 H 人 死 當。在 是 人 飲 Ħ 之 恵 有 カ ٥I 同 ٨ 也 0計 酒。難 親 否 用 然。傍 カ 也。先 親。如 譬 行 復 得○者○直 不 友 扶 相 在為 1 40 謂 是 執 夘 遇 也っ守 持○人 雠○可 Ц 盐 難・程 # 如 大 卉 死 有 親。常 禮 到 問

非 4 也。

有 執の患 命の日 猆 之。心 無 ० जा 日。無。疾。劳。灭 避 物。見 顏 也 。物 趣の與の合の 久 璞 欲 。之 獅・大 杫 *ه ۾* 椞 子。嘆 宇 之 疾 伊の服の道 従っ 遬 用。 숨 丽 愈。数。 人 日。 之。 不 年 却·在 以。 見。 性 天。 即っ 也。位 直っ 自。在 前。 有。人。

捕っ

性。修

沦 新。新 數○求 人。 應 - li-c 降 某 只。 群·政 徴 妻。 を 作 事。陽 的。應 道。之 惡 最 理。 朗 降 迁。應 應。 殎 大 不。 道 抵 禁へ的 の 桴 い 應 0 理。和 在。 亰 氣 扱っ 是 致 不。 邚 群·附 此。戾 在の意 我の 故○氣 矣。都。 聖。致 不。 人。殃。某 作'0 只。與

而 大 齑 月 觗 氯 岩

陰c分o抵

孤

· 陽 • 亢 而

祈

腸

之

必

楓

必

乖

然後

性

則

是

性

在

六 用 要

用 뿔 得

Ż 不 六

别

亦。 是

掃

此っ應

彼立真

上 精坐。義

所の坐の處の

入

神

1

如

數

渠 對

極。陰

丛 戾

除っ極の並の謹

故 故 焓 轑 祁 Т 有

雨

腸 不 偏

和 下

合

漏 則 勢

留 。早

故

淮 共

恮

升而 陽極 陽

而 我 洒

此

坐 坐 上。

作

語 琙 有

言之

間。或

其。下

以っ或

然○坐

者の面

對。坐

府 食 Ż

氣 o 日 o 子

期。君

月。畏

数。天

係。天

救の當

救い是

間の若

哉。云

反。不。如

鹶。威·而

於○戒。字

之。爾。而

應。救。已。—

4

170

木

彗 天 堯

祝 不 其

火

E 亦 臣

藏。能

被○地

雩。有

定

佣 鼓

然 *

地 舜

天

如

猶

大

速。病

ĸ

吾

恰

微

É

凑

儒

鬇

撃

會。

夏

魚

来 惚の處の亦 則 子 本 之の即の無 答 性 間。是。不 陳 行。自 也○此○是。 鵆 見。所 理○不 ≉ 道 で ・必着意 ・ 冥 <u> </u> ž 日。 此 释 H 性 見。便 命 氏 是差 見 比っ思 虞○禪○想。 理。 處。只 家○但。 只 天 是 見○毎○ 在

處。事。

在○得。

侗の笛の

무ㅇ

用 爖ο

行○恍○

性o不

若

只の葬の草

信。而 莊 端ο不ο然の 也。反 立 便 必o的c定c陽= 風。應。可 災c吉 的。則 桑 異。凶 謂 亦 星 觳 德 恐○先 間 殞 枯。已 之。見。地 有 共 之。彗 足 震。極。 若 自 但o星 而 因 非 山 鮗 日∟退○罷 災 常 極 修而理。兩必 必の発 然。獄 事□釋 乃 固 臣っ火 婸。 吾の而 若 可 子。見 故 不o緊 至 修 以。河 人 能○雨○德 德·修·清·而 確○忠 린 德o此c睛

天。有

祥

確○心

然の白

望 へ 是 い 此 。

君o偶c

子 32-605

Ħ

用

零

椊

±.

辛 子:少 :O 相 優 家。 夭 女 冠 飮 有 間」以 Ð 整っ硬の從る 祭 漿 之 僮 乳。財 妳 女 家 膛 無 齑 當 É 用 無っ是っ何。 三嫁 僕○有 者 cfi 惟 從 丽 っ蔵 鄶 皆 日○皆 然 di 臭の天の虎の 有 廢 飯 占 得 不 較 此 仐 加 和 者の不 者っ命 而事 怨 墜 家 聘 壞 をと Ż 存 有 恣 Ð 劆 知 順 禮○矣。 者。嘶 不 祈 犹 行 冠・意 禮 道 懵 者。安 馬。者 四 行0行 妄 四 庶 終 夫 姓 長 樂 德 只 然 得。他 家 嫁 五 R 4 男 聘 而 用口壤 而 gin. 紐 耳っ縁 家 者。女 崩~合 夫 禮○惟 不 빐 P 至 惟 當 加 非 者 ○有 甚 婚 折 較 論 字 凡 冠っ千 於 4 加 聖 精っ之 有 婚 妾 嫁0座 粧 男 稱 字。 誰 冠 宮 義っ賢 亦 胅 恐 多 奩 0女 濉 而 服っ室っ 坐っ入。便っ所。 者ぐ巳 知 刞 其 厚 神の是 壉 無 不 備 性 為 凡 但 十 冠 穕 於 嫁 亂 数 及 桩 剘 借っ不 楽 坚 護の亂 衣 7, 於 耶っ上。 **坐** 百 其理 者 。娶 珔 っ食 相 見 士 尤 冠: 天○是○ 家 矣。 姓 者の歓の門 之 有 大 甚っ凡 今 NAME OF STREET 作 Ż 歽 難。早 夫 載っ置い 渖 跺 婿 ıín 凊 7 則 有 之 肵 И 無っ者の 生 聘 觛 之 濁し也 用っ 則 。倡 自

人。道 係 息 萬 洞。義 文 私 袓 區○卯 生 盗。不 類。戲 人 祾 夭 也。也自 宗 迎 夫 ふ 經 廟 祭 者 前 俳い弱 Ū. 形の羅 下。京 神 祭 列 父 粐 傅 禮 7 遺 斪 代 者 爻 亦 ŧ 膏 天 禮 唱 0 毋 魳 婦 の何 義 掩 视 不 帝 법 戲。餵 桩 梁。下 之 此 無 首 叁 誰 載。之 功 も 畗 哀 王聖賢 扮 而 睧 滥 善 漿 徻 亦 Ż. 放 進 存 何 刦 源 虝 楄 ○者 前 χĹ 肼 理。食 皆 之 人 火 高. H. 報 德 典 也。之 或 無 七。也。凡 代 地。矣。 天 效 誦 士。本 於 ネ 痰 入 Н Lo 帝 叉 富 物。尤。設 王 經。有 樂 之 世。載。從 喪 或 久 牪 有 ٠Ŧ 刖 묐 妖 十 立 则 思。僧 毎 秿 矣。而 郱 邪 祀 垩 蒉 不 勢 及 壁 室. 歲 鯬 尤 世 道 道 神 者。祭 嫁 僧 能 賢 散。庶 来 氈 之 坊 德 費 覡 可 敎 葅 娶っ道 野 去 表 忠 民。但 · 邑。官 買 貧 痛 錢○者○真 巫。鬼。取 淯 武 袻 章。臣 良 妓。哭 <u>.</u> 剘 徥. 僌 亦 竟 僑。紛 不 祠 尚 蠫. 。惑 違 **巴**為 義 性 引 豊 人 强 Z 流 夘 芝 忠 紛 宇 多 更 家 Υ. 涕長太 士: 子 者 未 此 共 人 肵 尺 臣 惑 遍 未 難 凮 醴 烈 弟 坚 + 因 心。種 世の滿 當○枚 以 袭 孝 水 掝 女 И 而 者。雖 淫 化 7 子っ石

陞 朱子 文 在。人 文 見 É 挽の於 精 爲 形。如 太 Ж. r 人。可 浦 者。 葢 小 밹 則 天 如 Ы 。古 虀 褖 復 氼 間。也。公 無。身 者。 純 不 1/2 有 是 占 之 뵨 乱。使 日。則。何 日。適。接 亦 必 椊 有 是 2 Ż. 音 い新 有 椴 渡 其。必 而[。]于 神 妼 糸え 扎 之 氣 山 。文 聲 垩 世 俳 。言 海 ⋄셁⋅ 誕。作 仙 非○萬 自 干 實。川 則 哉。賢。之 琵 之 之 百 俗 妄。為 旣 文。事。言 然 四 U 草 必 好 有。其 琶 恐 Ā 尾 皆 不。官 自也。凡 語·條 磅 木 有 三弦 是。文 者 汚 恳 恬 可。語 謂 著 其 運 礴 之 實。門 葢 H 口。之。 舟。殺 信。耶。能 語 充塞 于 分 行 月 於。謂 甚 ئز 書 p] 牛。礼。以。度 沮 嘿 簡 明ら 列 ∘星 中。盛 聲。之 小 F0! 風 袻 明。作。世。 動 册。光 於 垩 辰 則。矣。也。遠 恐 况 不 海 矣。為。常 静。而 Ļ 賢 輝 之 必。佚 欁 汚 其 順 南 言っ布 後 內。之 人 簽 光 有○初 天 道 夆 渦 為 静○人 肵 調 越 魝 心。羅。是。豈 。者 下 。慾 飢 甚。 之不 而。期 其著見 可 魠 地 文。有 袻 古 冟 相 客 不。以 有 有 於c意 浬 ·自 常っ化 但 μ 是 是 外。學 容 恋

备 洓 詐っな Ż 危○後○敬 供 紥 人 怒の巫の至 日っ以 其 **酱**、所 非c齊 僣 人 能 佛 人 # Νi 囚の殺 鼿 機 其 降 IX. 超っ而 真。日。之 載っ水 得 竹 不 巫の十 拏 勝い玄い心 故 有。老 居 有人 故 福、牛、死 為し数 可 者 之法 其 劜 賽 絘 前 謙の氏 夘 苯 書 此っ背 腎c 牛、常 面 復 槲 宑. **A** 紩 者 遜c最 者。こ 椰 皆の以 治。以。死 後 相 技 ぶ 深心高 天 **角。姦。**庶! 2 围 子 焼 条 この親 牛o者 牛。登 多 彩 书 老 コ解 水 凶の単の待 下 幾 牛。鬼。地 厚 戚 為い不 姷 封 人。谷。又 之。人。 其 牛 肉・無 썁 產 薬っ復 不 書 先 甚 而 見 دلو 也の脱 肰 冼 間 Æ, 云で飲 I¥ 酷於 車 谷 事。衰 葢 Ц 何い者・水 邶 有 幸 寒っ鳴 茟 後 人。一 Ż 見 肯 平心 遺 編。中 香に薬の飲 福 但 古 腳 世 듞 郫 ΑŲ 更 之。之。國 禁 香 藥 不 殺 棱 Ж か 其. 下 處 而 使 能っ人 醫 者o死o牛 此 苵 λ 单 虚 Ü 居 共 得。以 岌 孞 巫 飹 以 共 者。也。下。空。高 下。 亰 浝 牛 科 ŠW. 稿·海 輒 挂 多 共 居 泉 者 居 渝 哉∘水 易 入 ェ 손: 富 詛 - 1 柔 旅 共 其 杏 之。門。神 於 者

ш

死

育

無

4

敷っ

赤っ

靔

哀

出

旣

歪

南っ

締っ

陳 主○道○謂 良 専の山 葋 :封。多 而 說 敬っ 欲 跡 主於寡 北 何 。與 淵 ıhı ifii 心。先 指 ر نی، 也 説の ð 可 寬。生 不 為 o 立. Ħ du 惟 硃 至 人 日・共 慥 4. 對 孟子 ρĵ 回 恐 主。其 ijŦ. 利 忠 事っ 肵 雌 之不思則了 澹 。他 。事 而。大 Ž 揧 子 儒 欲 欲 爸 如 IJ 福 拆 拆 存心。 類。說 孟子 樬 ゙゙ヹ゙゙゙゙゙゙ 之 不。甚 而 Z せ 襗 折 書 害 當。四: 篇 未 鵩 不 寫。 使 耄 非 云。之 之則不得也,之先立其, 1若狼 說心 也 心。欲。欺 濫 闘 專 禮 在 衠 琙 祁 水炭之反。 主放棄事 此の論 惟 千里 得に入っ 不 刎 耳。以 灰 始詳 恐 IJ,c 夫 論 视 思 事 烋 夭 惑 μħ 之言心。 善之 之判 有 痱 害。孟 平。 ĸ 攷 渝 illi 大 陸 心。子 然 論 青 末。 挟 子 信 孔 若 之先立 ·動。門 居 論 專就 也。害 陸 邎 究 末 此 者 思書究陸 ф 心乃 何 心。氏 論 就學。心 書 圳 日 ПO 夰 16 共 音。 日。心 天 車 **歩。**学 身 之。矣 而 則 之官 養 者。不 同 不 淵 其 者言 就 Ł 不 2 天 故 見 o印 說。 功 別。為 并 <u>፟</u> 也。自 心。果

程 剔 Ż 對。也。愈自 閨。人 肋 Ť 西。者 71 日。故 套 枚っ公 。書。 便 <u>1</u> 假 B° E Ħ 却 不 亦 如 也。有。召 腸 17 鬬 謹 建 是 之 按 初 可 偿 臣 車. 我 丽 不 篰 · 湖占夢 · 無功焉 西海流 赐 子。夢 な 不。日。日 將 者。之 勝。無 関 迎 共 名。死 不勝 빘 日后多次 ٠, 使。將 表 子 朝 春 秋 齊 · 姓 • 擇 焉。臣。腸 FI M. 二。反 占 木 不 e 膏 身。之。此 者 陽っ書の勝 夢 秋の痛 欺 公 日之事。人 日便 在東 邚 忍 吉。晏 。苾 者 恐 非 出行 吏 之。子 臣 办 至。對 公 景 病。無 少死也占世 上易為! Ť 丽 方 日。日。公 則。日。之 將o所 。 忌 太 令人 之能。兩 忌 居 已。病 請召占夢 吾夢與二 姷 不。 衣 不 病 水十 信。夢。也。 居 信者必 Ħ 成 白之類太 腸 矣。者。晏 三 者 日 6 除 有 不成 名於也日 一者日請 一名要子 拉孚 。此 日。 能 不 占 臣。敎 办 者。日 破 不 裑 惑。 夢者 關∪夢 共 之。 日。於

朱 計に為 不产 17 命の常 理☆故穴 有。然 理立不 玉 之 明帝。鄉 瞯 太 而 Ż 弾い目で可 設 但 有。 とい謂 <u>£</u>. 舻 期。然 ÉI 息 求 不 被心令 見 斎 祡 岩 天ぃ之 淵・川 大 4、 夭 円っ也の 乢 為 生。傷。人 Ŀ 誦 奉 帝の語 体多 善。降 書 被 Щ. 舻. ₹µc 椞 E 來 之。說 天 經 \pm 之9 従 悪。者。日。罪 據 事. 帝、日。使。 E. 人o輕 4 不 柴 帝の然っ 無 3, 一。非。作 戾○于 此。究 IJ 太っ 大 地 念 龙。刑 私。奉 Ú 他に田 嘶○從○善 殊 靑 往 非 埋 白口 小 也。死 可。者。非 矣。能 天之 茍 禍っ上。除 흠 不 往 有 為。 福 者 者 念。只。如 而 推 加 福○降○之 夘 以 之 ں — 如 之 也の見の世 終 漏。世 鼈○下○百 Æ 上。為 也の制 ٨٠ 飢 為 如 所。俗 杰 必 之の之の群の百 부 俗 有 一立之 為。 **荒稿** 無 叔 犯。之 陜 之 為 以の降の作 歽 夵 理。天。之。 辜○盃 之の脈 最ら 螽 論 其。皆。不 為った 豥 而っ以 Щo 螽 人。謂 是 殺 Æ; Æ **益o.本o 善** 動 合。則 晃 巴。主 鬼。 之類 卶 人 為し也の手 奷 作 食の子の降 型の降 丈 批 봊. 加心 っ寫 者の可。 桱 之 天で吾の之 不 川の福 夫の之 海。 益 人 個の 梏 徒。必 之の心の百 席 和の錆 號 野り 4. ilii o 天。自。殃。違。災。為 韭

何 抗 妺 日っ無 大 也。紀 介 ţ 愚 六 륍 且 4 妖ぃ , lí 'nţ 親っ 備い 夭 ins 敄 Ľ. 為 僧 4 道 く親の漢 \mathbf{H}^{d} 机 八二清 热っ数 鴠 子。莫 訓。配。害 变 爝 死 遂 遊 奲 痔○⊊っ明で 30 之 聛 邚 誑 # Þ, ĺΨ 政 詐の壽 手 扽 茰 太 交っ血 И 齫 不 爠 玄 君 之。以 成 瓦 [米 占 天の愚 遊 書。史 相っ氣 養 妙。矣。生 莜 父。 非 廴 刷 z 食。 Ļ 4 态 煮 ភ 有 迷口 、和 ەخار - 萬餘戸産 於空 土○廟 瑡 佛 垩 ه بلل ф 命 妄 易 其 H 傳 也の平の亦 八下百官 用 何 不 Ü 者 佛コ自 求 10 服 假 奕 疾 肵 系。世 苁 ふ 能 無 天° 功 托。上 鞠 ш E Ц 悬 怬 對い而 法。 刑 嫡 德。逃 薠 使 養 人 ر کیار 俗c其 郼 遊 請 議○有 心 下 1. 懲 攖の身の 不 租 不 日。廣 理。太 ψı 無 叛 按 萬 男 威 僧 之 僤 税の 忠 善 佛 體 崟 女の尾 国 .変 沙 父 其 其. 権の漏の刑 脾・端 孤 仏 不 在 邪 門の之 鄊 對 父っ罪。以 + 奘 念不 数 櫥 盟 禁い唇 ₹.0 此 酉 ili 檘 日。市 一枚の以 奕 2 年 盐 遊 之 Ξ 域。乙 外 幢 削 佛 卉 非 逸の髪 兀 日~佛 長 化 犯 硌 謂 前立 + 而 人口乃 評 z 主っ 켔 老 Ž. 夫 Y 华 茁 ifii 蓫 뱬 生 则 ДÌ 西 变 `者 袻 章っ張 音 之 而 揖.

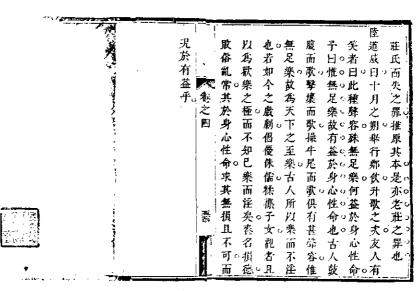
羅一峰與 學佛書學也爽八十五而卒臨終戒其子無得學佛書 而能醒寐而能覺也習俗之之間於酒寐者之間於夢也 而痛 增 也 覺寤乎此也今士夫中稍有編趙尺步者則群不得故而世未有工而求之者醉夢於彼而不 · 痛央之不使亂吾之念感一意從事聖賢之 · 自今以往科名之得失詩文之工拙皆洗淨 面 而盡之日此道學也其中無定守者未有不 化矣孔子日有德者必有言孟子日修人 の劉 素 (彬書日大抵習俗之溺 |所貴乎君子者 人。 如 醉 醉

蜂震川日女未嫁 | 授助字日太祖 氣天運已盡之說為逆問明矣 說乎令燕都二百餘年天下太平如一 **敗適者非禮也** 何足道哉。 詩律足以自立則楊雄李白皆可以為聖人面求工而自工酶禄不求至而自至若徒以文章 男女不相知名婚姻之禮父母主之父母不在 未樂而為其夫死且不改適者是以身許人也 个百年地氣 **黃氣酸雖足以歆動鄉間而奔走天下之鄙夫 卧位科名則世之宰相狀元何限其一時之富** 野而人既從之道德院後名實院養則 伯父世母主之無伯父世母族之長者主之日 庸士卒與草 林修撰鮑頻對日本をおり **木舎駅**同一 天連已盡不可因也豈非 也去女子未有以身許人之道也家人而或為其夫死又有終身不 记元主 泯滅 起 自沙漠立 斯載而無問 の風 П ₫ 。不 則 水之 在

程 中に論っ子 焉以 松既 た 服 子 終身 。緌。 見.0 ďπ 備 女 其。日。謂 Ŋ 配 华 巴c壻 母送 肵 ~ 埋っ点 也。此 固 凱 妳 為之降從 蓰 不親 不 伵 女 不 7 Í 適 而。 F 声 不 面 父原 o 天 未 親 芝 純 化. 相 件 e. 言舜完虞後井之說 自知其身之為誰 0先 かえ 之女未嫁而 後 是 地 迎 □嫁 迎。門 e 平· 4 緍 ij 堯 奺 乖陰 乏大 夫婦之道 無 而 無 共 女 疽 姻 教 在上 父 從 P 久 為 文 4 疽 JĻ 之 兄而使二嫂治其樓子 則 | 勝之氣| (母之命 八母之命 夫。 義 其. 台 丽 父 禮。 從 也 一种為 夫 碓 ە ق 所。 大下 ネ 成○聽 夫 死 Т 矣。 ijο 畋 聘 而奔者 办 川 而 女不 六禮 I. 之許 後 厚.o 適。層 N 未有 父 傷天地之 不 為 别。 恐 聽於夫 為 也。父 而義 败 É 夫 旣 聘 丽白 未 共 有。毋 生 也。適、往 婦 ∘備 。於 重。 旅[°]之 耻°事 必 夫 示 пij 非。是 也。街 垳 療┥ 和他。偶 有 死 及 丽 禮で六 俏 親 也の正の 畝 者 此 之c di 於 也c麗 父 恋 禮 卲 之。 而 伤。**巳**。夫。母 事○☆ 者c陰 女 奔 ぶ 货. 不 授

何晏华乃 不 不 所○受い待 西 於 Ŧ 平 許 . 3 為 必 柳 ○之 得の宗 為。所 之。正 山 灁 天 者 物 事 孝。是 徒(者)老 而 然の命 日、告 也o謂 也の日 Ľ. 4 於 物 禮 非 彼 設 荘 清 秷 英 此の者の是 非 意 솻 於 悉歸之於 老 染 法 徒 Ž 成 A 氏。卷 贫 梏 Œ 亦c畫 瓞 迎ο っ氏 有 見 蒼 不 敗。玄 其の之 ナ 致 死 命 有。共 定 富 志。 者o必 虛 老 祈 木 ---末の四 弊○者。者○而 之 禍c道 貴 म् व 275 事。不 之一一之一一之一一一 有 指 命 行 至 期。 起 編・茄 分o死 也 無 0生 亦 爲 於 威 足 有。 亦 歋 者o占c不 不 生 是蚩尤 於 莫 垛 儀 晋 随 微 介 ·戴 有 欲っ 廿 直。直 미 修 無 。泛 道。不 c 📭 意 魏っ焉っ幸。正 為口 生 生 泧 短 是 痥 固 必 *j*. 物 老。 人り行 於 介 死っ農 祈 也。顧 始無 J. 紙の非 修o是 Ż 無也 莊。 之。非 終 也○修○墻 其 福。 本 松 有 先 惟 F の氏っ垩 白っ禮 於 乃い短の之 # 窠 老 Ŧ 空 盲 丽 不 煮 付き義 形 故 之っ 係○來○下○有 於 ŊJ 氏 Ż の全 嚝 者。何 役の面の 必 梁 ゚也。之 一つの富 の修 正 頯υ 調 教 É 葙 無 忠っ皆 晏 并 事。天《以《身 in a 子 1 Ŧ 之。順。以 始 有

超 切 喏 知 築っ名 何 4 愈 謂 故 儒 盂 占 加 晏 晏戎 秨 靓 Ü A, 非、尤 Z 其 有 吉 関ヶ得の者の 抗 宫 萬 無っ 茶 権 Ħ 無 未 主い質の者 是 之中 Ξ 者・果 物 橱 求 共 利 行 用 理の他の耶の有 俢 物○形 也。如 之 之。以 窟の未 É 此 老 Ц Ź; 身 之。若 老 砌 有 而 共 表ぃ乃 是 浩 省 ž 重 何 名 功。以 氏 也、是 在い吾 上 始 叩。莊 逢 及 亰 必 觤 不 四 殷 此 育 Ż 人の備 若 物の者 梁 此。生 浩の堯 O以 有 以 權 空 深 論 遊 亦。こ 4 刐 理 共 さ 所っ於 叩。為 面。畱 利 雞 舞 為 無。道 旣 譋 ¥ 也 謂。千 自 其 亂 有 為 Ы. 共 皆 髙 費。一い則 奪. 是 失 形 A 视 欲○金 矣。有 杊 偎 高 誦 之。矣 情っ 孔 之。不 5理り 而 邚 共 為。之 老 夫 那の食 4 묫 相 非い然の而 贫 而 ド 出 身の老の聘の氏 Æ; 吝 の 圏 何 圶 傅 Ш 實。天。為 理 者 者 共 班。三 Z 办 無 更 습 實見 世 。之 之。清 枚 ᆫ 未 物 轍 氏。公 .終 無 間 叩。甚 然 Æ 鼎e 並 生の談 凡 也 扸 Ü 之。之 Ø, 髙 夫 於世 凗 戎 i. 1, i 物、者。焉 有 役の位の無 有。既 俗の執 也口是 011 無・又 JI. ᆉ 而の若 欲。-酷 一。失



瀝液 古宜 卷之 梁 灦 袓

程. 夫 彙

-7. 勸 答朱 勿 3 作 톤 詩 丈 支 • 書 W Ea艮 見 前 答 慭 芝 쾉

廷

٦٠

χ'n

Æ

抓

損。

篇。如

告,韓

愈

Z

也の稱り

o푧

肵

見 肵

○考〕 高

夘!

矣.0

腎∘所≉存

事。作。者

後。荷

乃°足

聖っ下

業。皆

杜中

桊

善 이何 이合

得·於

焦o道

學。是

之。以

末°輔

平。慰

퀜 P) 凋

义

使 衣

後 7.

見

共

埝

也。人

。雷 人

人

爲

ž

文

者

夘 從 爲 丽 李

者

在

迫 不

七

心。合

75 道

非

乃。其x道

私 ° 後 。 知

狻 所

先 固 也。未 之 能 陳 也。迹。 又 綜 也。是。日。季 使 言 Z 後 人 是 見水 循 共 。庶 深 幾 通 FI 袻 ぶ 黙 滋

之。古

此。末。平

宜 善

兄

吾 懼

閳

· 夫子之道

前

总手

爾。子

非

謂 沒 共 文 能

疾 世 不 之

無 丽

名 2

也。不

名。稱

者。焉

以。疾

厲。没

中。身

人。無

君・善

所。稱

存。云

子 。可

疾 見 Ê

苟

ぶ

滅

沒

而

無

閩

亳

此

爲

學

人 IJ

总手

善

而 F

可。者。此。惟

已。區

世。無

人。間

之。於

心。欲

也。使

夫

뷴

不

書 さ

此 責 夘

絟

木. 使

得

爲 H

至當之言也

向之云

哉。見

非。辭。以 乃 ⊡ ∘ 為 學 Ŀ 能 採

之詩心 非 Jŀ. 爲 。傷 IL. 叙 也中 面引 ٩ڸڒ **ገ** የ 當日

明。腔。無

作 0多

o 발

Ħ 庾 ِ جر

不

也

71

是

則

是

言。

焉。螽

邚

陶

耳。盆

文

っ無

是

٦,

靐

平。制。則

生

人 之

之 3**†**f 4

有 [].J

不

理。矣。彼

Ţ. 耒

人 和

也。言。台

道。有

Ž 微

始 得 不 官

卷 然 胢 天

剘 其

包 以

涵

先。下

為。其

平 之 足

歽 亦

動 約 之

於。也。人。人。已

٥不 伙

○贅 之

炙

詩之 而 無

应 旣 秿 。文

真 不 無 章 書

夘

唐

善

蕍

fo.

不。其

ıŁ. 有 軚

得 之 爲 天

并

己。所

靡

則。關。华

要。所

離。乃

真。無

正。之

。失。用

許 貨□心 <u>ان</u> 兒 後 是 非ら 也。智。是 也。是 非。所9 能 **B** • 雖 非 甼 也。辨 欲 汲Υ 섽 稻 杏 揆 是 凡 其 汲り 外える 嵛 事 聒 不 之 非。 ,Ċ 叉 中。持 И П 立 如 通 道。持 亦。權 ίťi 鳅 上 省 古。衡 識の能 爲 刖 權 察。 人。而 本。是 衠 固 採 ぶ 古 所。 酌 非 Д 未 10 要逐物: 不 7 能 謂い輕 較 先 也。之 億。重。通 然 o 輕 則。遇 平. 不 重。夫 陳 去 道。待 屢。其 孟 心 迹。 70 中。目 7 綜 而 精 通 雖今 思 平 君。力。較 歽 荜 在。 ₩ ° ' 子。勞. 古 而 謂

後

子 32-613

炔

知

Ы: 鰲 较 肵 節っ 修 符錄 瓆 相 Ξ 其 因 有 得 心。文 學。言 文 萬。 修 曲 뱨 張 爱 + 賢不 Щ 秀 見 人 清 而 雖 忠 人 養所 魯之 八之生也。 从 赳 以 44 日。氣。 七 聖 氣 鱀 小。公 中。 也の雲 事。家。道 民 賢之 育之異 可 ځ 日。出 日。常。 可 垆 法。間。東 由 授 大 外で主 家 調 샵 z 핅 以 知。 ,起也又言老子元孫李諾文授,以玉女服氣導引之法此後世 自言 青 者 謬流·您 木 漠 市 子 淌 偶 賢 於 諺 骱 有。 誦 杏 Ż 去 孫0者0數 値 政。大。云。已。 之 省週 末 秆 傳 んせ 共 Ž 戓 則。雜 子 共 共。世 學 此 誠 布 論 張 美。原 有 以。者 氡 孫。費。有 춈 持 老 處 天 道 出 夫: 不 所o為 Ž 賢 者 人。好 敬 法。于 下 倰 冲 於 肖 值。頑 滸 不 货。功 紙 大 降の也の始 此 虚 老 者。之。愚。明 肖 掛○名 費の署 後 命 至. 創 丽 子。 **乃謂** 氣○若 晢 醫の者の學 純 也。 世 维 元 巳っ漢 共. Ξ 不。聖 老。以 粹 天 齑 道 法。無 聖賢已 魏 初 同〇賢 也。之。其 者 者 醮 脧 蒞 然 上 奜 耳。之 爲 天 比。未 人 詠 朴 為 惟 天 法 後 乎。試 鬒 本 費。 官 私 有 孫。知。無 此

反っ耳。耳 謙 爲 張 張 事 ○謙 其 來○而 付 B 升 曲 其 之之 道 北。安。血 天 道 大 大 を を も 崇 魏 Ż 尤 Ц 藥 鉃 赵 僭安之 陵 面。能。內 Z 陵○悖 奉 # 啟 奉 之 杫 重 之 而。為。之 徢 0子0鳴 者。 其 弘 顕 遣 其 持の技 狸。 世 の其 丽 受。天。軀 謂 呼り ネ教 景 揭 書 輔 使 肵 劾 錬 號 者。 其 0 之 0 有 英大 4 道 え.述 趙 之。迎 於 佐 由 4 名 而 介 世 教。師○妻 也 士: 五大 ·歸 親 其 魏。北 起 戼 H 卽 也の哉の子 皆 方 於 為 行 重 備 弟 X 方 也。雲 渖c 其 IJ 豊。天。之 党 过:0天。天 法 子 衣 杜 3 於 太 謙 英 此 肵 有。而。屬。胎 天 莫 Si配 世。光 乃 不 平 之 人 後 謂 尊 節 此。有。縱。於 後 尚 岳· 以 典 庭 丽 信。 自言 痶 石 世 真 稱 理○師○有○父 於 乏 為 僑 攴 4 世 君。 走 徘 之○哉○則○道○母 。天 **若**。因 釋 徒。符 天宫 起 獎。 簭 4 親 者 之 至 솼 是○德○禀 帝 之。」 並 揰 义 簽 櫉 徱 此 搟 立而 稱 我 É 吴 • 亦 • 氣 師。王 遂 歪。宇 靜輸 從 1 李 後 召 之·聖 是 天。天。於 改 僅 IJ 面 自 書 於 君 世 之 上°生°天 疝 И 徘 硐 بخ 渞 爲 是 推 化 亷 手 術 呼0始 後。帝。者。地。陵 Й 連. ìй 法心筆。鍊 П 都っ共

荿 為 葬 敷。之 天。徳 廟 見 亡。於 肵 自 Ž Ü 或 其 於 共 儙 夭 夫 於 後。見 其不 藏い主の内の惟 可 合い孝 日。亦 存--天 太 而 祭。四 恐 迎 見 於 墓 惡 意 其 퐳 ता 下 充 川 其 っ神 之っ祭 精 存。之 1% 可 而 其 其 焉 之 矣○後 信 えぇ 見而 野 近 禮○而 未 祭 疑 死 親 敷っ版 世。崔 飒 而 而 而 也○者○體 於。不 聚 Z 不 於 後 旒 浩 返 肵 家。敢 也の於 道 忍 無 胂 1 疑 煺 為 不 不。疏。及 家 也○見 於 夘 奥 端 安っ ٨ 淫 言 在 於o惟 者、體 其 也o葬 其 皆 有 귮 廞 巫 而 **慌**o者 ·是 · 墓 · 恐 肣 之 **亡**: 剱 謹 離○巳○焉 不 小 萸 U 也の其 旬 Ħ 。葬 何 丧 ◦藏 得 術o奉 者 以 丽 墓 隆 聤 或 而 Ż 送 Ż 勤 Ž 其 也っ神 其 無 謙 展 內。形 道 <u>.</u> 丠 散 逨 求 而 離 死。復 Ż٥ Λ. 魂 由 省 墟 者 つ也の於 \overline{H} 而 也。 之 不 丽 之 楽ぃ 世 五. 其 而 焉っ親 家 廟 祭 求 忍 7 往 生 繑 法 ٨ 之 言道 而 展 有 也。而 於 見 也の也っ子 遂 如 誣 蔓 省 體 廟∘・ 故 t.

馮 北 퓉 チ 恭の凡 W. 之。助 廷 身。女 之間 常の海 ふ 未 っ於 っ怪っ 迶 欲 道 芳 心。清 孝 易 父。世 日。上。公 少 復 受 久 收 還○命 支 用。日。之 長 科 住 🌉 無。而 沓 以 經 旧っ次 之の慮 太多 君の隅 者 力。作 篤。咸 孔 如 年 記0學.五清0之 日。最。詩 亷○自 此・不 而 集 っ野っ 其 悪。漢 要0.作 附 椎 -J-**起** 191 告 佛 亦 湬 見 非 號 誧 文 國 乎。耶。之 身 文 糜 耳 鄊 Ш 行 不 車 則 宯 不 中 善。應 意。心 寫 悲 稺 子 不 间 <u>粤</u>. 闁 於 能 馬 字っ不り υÜ 巳○盛。解○受 共 乎○之 之. 可 伊 亦 泣 蔽 士 惟 立. 漸 命 必 故。川 日o欲 功 W 彷 傑 道の 習 對 善、引 厳っ薦 有 币 取 エ 非. 士 之 也。日。將 古 今 新 痠 貨 人 餘 水. 初 女 士。 無. A. 西 奇。漓っ 殖○伊 焦 力。領 翋 後の盈 太 霐 惡. 亦 一名之 尊二 善。游 有 始 觓 \$ L 奪 Ż 之 未 盈 Ħ. 14 育 15 火。沢の甞 因 丽 邚 日の多 州 以民 墟 是 不 不 厭 士 催っ 不 伆 収 もっ不 以 机の意 世。有 也の於の 所

朱 王子守溪夜讓有鷄正 泉 子 子 莽 駁 曰°矣°論 棉威 歽 ΡŢ 無。非 近 也。心。善 是 者っ 办 平。 口。濉 堈 係 若 Ľ 惡〇个 能 夫 象の敵の意 是 爲 競 亦 文 加 極 群書之理。 從 只 A 丈 Ü 窮 ∘學 非 暓 其 不 僔○嗟 入 И 中華之音 卷之立立 ○輕 薄 務 獄 不 世 宫 聖。乎。於 廉 疣 實 所 事。 成 章。 者 ○從 間 所 人9浬 聖. 耻 以 為空 犯 吉。為 穻 列·之·經 放 圄 考 厚°只 並 棄本 亙 不 其 管 止 神○果 有 至 取 言恣論 麛 是只 5 空鳥 鳴 っ實 理 道 雜 經 麥 耳。如 4 不 大 於 業之精 史不 倩。長 會 潰 魋 亦 平 此 į. 取 庭。 云我 於 胜之 至人 解 有 實以 輕 姦 要 佛 Æ, 家 重 從 能 惠 狂 經 神 要從 À 厚 惡。厚。 瀾の語の 讀○童 世 -j-**造**٥ 士 吉 奇。名 · 舞告日: 子制義,無字者。 ○天。示 薄 經 語道 拾遗 丽 iiii 情 子 督. 填 敎 厚 學 0付 凡。却 於 個 有 Ė 爲 则 Ž 乏っ並 事○不 幾 旣 教 經 ه ځاړ 棄 桎 必殺 當 此 付の問 魚, Æ. Z 史 É 譜 뷫 以o强 梏 病 釱 111 殎 之。是 意 聖の例 桕

義 夫 亦 詻 鵩 文 鳴の可の區の彼の我の為 惟 蒒 鸣 矣。 首此 耕 爲 腾0 演 裂の即 説 豹 祈 不 得。者。爲。是 是 か 戯 체 靴 爲 児の従 稍 日 ○死○免 殺の是の不の為 彼 ぶ 文 野の吃 東 玩 歌 **人。事** 有 外 不 於 平。何。群。忠 止 群の 成 震 寸 Щ 之 譲っ靈。鼓 悪 死o夫 能。者。告。 白 Ξ. 示 么 Ű 歽 計 ・如 ○鲅○切 平 鳴 止。子 爲○誰○不 日○死○動○以 主其 莀 降 懴 Ц 鷄 別。平。以 日日 鴪 或 黃龍 ďη 夬 忱 動 悔 惟 爾 特 有。簜。告 職 鷄 **頁**謗 之意。 意 誣 Ħ۰ 媂 誦 鷩 啟 當 袻 也○物○平○我○爲 其 . 哉 不 稚っ 华 念。 感。 散 與 言。特 平の抑の是 無 哉ら不 何 用。見 曲の則 4 Ā 肼 躗 得 非 則の別の為 鷄 夘 是 京 觀 丽 者 人 鳥 少 及 用 覓 70 壀 某 鷄○有c容 其 天之局 獲 也。室 常 弄 復 尙 師 丽 於 啭 鏶 可○物○點○冇 彼 恨 罪 人 花 數 有 用 鼓。並 罪. 耳の殺の平の义 鹏 於 绂 o語 名。平。非 交 不 開 输 於 平 而の鷄の可 Ĺ 繭。能 珈法 天。 也。 打 Ż Ħ 彼の也の殺 175 雌 其 嘮 物、彼。平。以 天戮 頭 訵 群 揮 花 EL っ特 吾 鉄 頀 碎 鼓°梵 疼 咡 者。區。且。告 70

在太不能勝而 登司雷者有 孫 為 為 人 **之謂養天地之** 制刑 而前却之又 有罪天将 残害正直。 心私) 彼有以 陰慘而 而 以為天 || 姨公倚 (友而 臣而不忠為人 顯 鏧 權 卷之五 於民。 向勝和等 何勢而! 不 自然之乎天 III 持 所畏 **規天之意而謂** 而逭 不義。 **福数** 要之耶則天下之事し、 と化育今日天又以震戮人罪、 を化育今日天又以震戮人罪、 不 下 闘 均。 幽。 有 自 平乃不有一数而 為人妻 於司冠 磨牙吮 神道心思 枚 震以 行 執 姦來 長 計爲 生民 刑 八日然則 之餘者不 MΩ 孟 m 天下之為人子而不 夘 Á 日, 天之 於天日天討也· 外執權因罪之一 脧 約 不 不 惡是 (罰弗 惡 特立 香饱 袻 順。 慈為人功而 權。 用 。所 版義 雷 ₽ 浴° 之後。 何言 能 是 勒。怒 庸 為不 骨。 及 司 物 逆。在 夫。而。彼。乎 逆○在 揽 Ä īfī 也。也 牧 威 言 贼 輕 古 而 者 作 七。不 丽 是 70 重

伯

物學

À

祈

人

而物之常之者柔

水必穿刷

刃

雷者天

激而發也

勝氣團

菸

1/2

極前

进 氣

雷光

易之以石· 自泰漢以 而已 階級左右老水損直森供真 U 安。温有。問 大率 看則 表 極之 可犯。 矣 其 四。 ○夢 2 るは、大学の一般ない。 騝 **为德因留之不忍去** 存者恭也古者是而多用不後 間 駁○帝 於 越 直 失 晔 奉之五 東 □魚 木 洏 生而 間。悉 其 《何日於理》 與○我 石 好事見。 稱 ·而 有類而色成者 美 碩 ∘ 死 。九 骨 者則 嚸 看處則飲意以庭堂 移。齡。木易。程 石 。者。 今之碑野 妈其力 功德 易 0 在有之。 一方 日奥 4 の有罪 面 日將軍 ΞЩ. 亦。逢 椒 政 蔦髁其上 木 碑之名 以 事 廁 有 瀬・奉 廟 者 孔子夢坐奠 齡之說不 日 ·•姥。 温海 # 也。 亦 震 而: 潘 名 愿 • 祀 • 之 碑之。 非 由 Ü 有婦 有 是 威。所 哲 土 活 功 耐 可 之。震 击○击 貌 木 信。耶·者。此

枂 帯 其作 伮 實の人 極 日 升 也 名。鳴 其 雏 莫○椎 重の寮 昔っ之 類 朋 蒼 明 之。呼○時 作○螤 牛o間d c者o而 祏 日。素。由 也。至 田。矣。土。生 取○巻 於 如 行。處 權。矣。類 語 斯 爽 渚 木o能 īm 家 孺 於 阆 爽 不 奥。 也。日 學。 子 **冬**! 不っ架 自 畜 F) c.1 、失 經。 意∘大 感 事 後。君 語 Z 有 牧の他の来 旃 0 皆、 能 當。本。 ī 世。子 以。炎。而 日 凘 慄 數 1 如 重。兼 非。 释 朋o不 有 黎 中 生 慄 於 求 告 盡。是 则 发。大 耶。然。神 黨の黨の朋 劢 萬 本 常 狸o 二。又 自 10 ∴拝o患o悉 疾 不 徘 鎌 有 法。權 字。日 歸 痳 遠 .患゚死 [¹] 大。 多の容の切 如 巷 連っ群 方 看。則 之 死 也。無 輕。兩 得 祈 좪 丧。一 稱○而 來 ☆爲○血於 丧 جن Ü 並 事 以。不 朋 c比o食 神。恥 Ħ 鍾 بخ 重。同 爾 虚 2 困っ歳っ者 面 ·是 於 髙 不 鴬の筋 の老の朋 .蚕。各。 君a鴬 生亦 .君 奡 日○怠○性 掛 子。者 當 能 -子 於 人。基 適 灁 酒 名。小 無っ矣。丁 亦

魏 日。文 背 Ī, Й 不。是 下 民 是 上。是 荿 祝 書 乎 是 得 伖 极 。十 為 不 謑 肵 當 乃 設 爲 巫 脦 時0經o變 周の兩の重 失 天 兩 子-Ü 滅っ絳 盆 共 民 贞 不 也。所。下 河 非 西 捘 畫 睯 從 分 佫 河 錢 伯 PH 肵 事 卷之五 世 失 權。朱 生 其 其 炶 娶 床 以 為 誦 伯 其 數 娶 豹 分 所○約 民○道○繼 重 厠 日○席○婦○餘○百 婦の為 權 銖○以○亦 而 者。廢 然 其 不 卽 當 萬。豹 居 鄒 綖 者。 此。濟。無 宗 位。而 使 為 問 命。也。故 其 用 此。正。經○後 黈 不 此 虙 其 河 時。 洗 其 飠 患。亦 權 **海:天**。如 肖 史· 体 们 巫 故。長 葼 빓 理。一是 滅○子 失 遺 H 行 + 對 老 棋. 之○兩 Ü 也。當 枚 椹 居 新 祁 萬 日。問 怡 衡 沮 精 · 是 傳 傳 君 处 水 汫. 本。水 爲 鄞 民 之 ュ 往 後。一 千 位。使 位 不 之 淮 家 三 學 퓌 疾 虚。雨。為 於 本 其 是 源 齊 女 伯 老 苦。 非。如 輕。賢。至 典 宮の社の 拼 娶 廷 長 聖。十 君 則 仏 廟 数xxxxx者。寿。株o老 「者。腎。亷○叐

白 之。老 衡 **老o共:**框 白 旣 女 見°子 長 是 B٥ ィ 河) 復投 事 抱 Â 者 麥 木 廷 ρþ 遺 立 煩 天 丈 額 也 里 亦 椽 诞 報。待 Ξ 赶之 第子 巫. 報 謂 女弟子十人 長 老 夜 起 流 柰 良 Ξ 卷七五五 伛 河 义老 往 害河 矣。血。何。久。為 **孔** 我 投 寬枚城 伯。老 送。 'nΤ 卺 復 伤 X 入 之 重 巫 古 至 主発 伯 欲 狛 夘 觀 Á 3 何 何。求 祝 會 堋 麥 不 死 使 者 بخ 倉 中。有 歼 夋 從 聚 豹 · 渚· 旆· 娶 灰。廷 皆 復 賽○有 頃0女0老 益字 其 鹳 會 c水°先 麱 豹 榇 鷘 豹 項。日 日 起 投 後 日○後○者 之 o H o 非 ß 也。日、豪 恐。 = 日是 剹 数 月 莂 木・田・ 且 長 鄴 豹 老 是 弟 何 猐 女 日。千 上。日。 俟 吏 者 豹 顄 Ξ 昔 子 久 之。不 呼 ٨ Ξ 及 氷。粧 民 須 日。 簪 女 也。即 - 何 佳 老 其 。河 此 庚○人 大 巫 棄 子。久 彰 使 煩 伯 大 官 騂 火o用o 鰲 須 煋 人 磬 也っ子 不 吏 大 椞 巫 出。反 恐o 臾 復 能 趣 袏 4 來。老

Ŧ 皆〇仲 子 日. 之的 人。任 捉。運 作 日。故。 姷 恩の日の若の赤の用 頄 禪 君 憂 念。凡 。存。天 執。皆 是 家 子 在。 傻 刀。性 性。 說 以 畏 憂 想。地 胡い也。 葢 爲 夘 之。之 忂 亂。只 諣 何 夘 所。開 鬼 見 殺○說 目 是 命□ 至。艰 致 6 有 人。得 之 佛口 畏 出の也っ見の亦の箇 視。日: 懼 致 非 凡.. 可o形 見 T Ź 堋 人 謂。而 之 性 ネ 何 死 聽○成 性∘下 想。病。由。精 平 % 者 。 手 佛口 存 賏 由 神 之 Ħ 抻 想 於 Ā 不 邚 何 铣 則 疾 Z 畏 手 捉∘是 Ħ 懼○病○也。 能 足 性。

范忠宣 扛 栣 滐 成 土 日。天 74 舟 罹 也。歲 避 李 無 全 地 覆・章 さ。今 縺 功 旺 間に 未 顕 惇 何 於 也。旺 氣·於 木 発 中。護 Ż 哀 金 七 無 五 秋 蚟 Ŧ. 。之 木 行 + 定 於 七 坐 甚 Œ 火 位。十 春 卺 黨 型 <u>-</u>二日。 Е ο故 Ë 謂 南 而 是 Ť И 子 寬○者 旺○己○五 季 水 弟 子 歎 皆 <u>J</u>: 行 之 旺 Ħо 白。弟 服。不 班. 各 末。於 火 LL。多 쁁 冬七 賍 死於 猹 各 避の金 七 蚟 章 0 惇 獨 木 + 十二 __ 夏 倬0者。 火 十 於 t 為。及 日の八 Fo.T

Ż 旺

īm Ħ 在

不。日。 可。國 闁 懼の則 無見 鬼之・ 其 鬼之 非馬 猶 之庖丁 虚見 東 벬 鬼 形 掝 崩 伯 夢見 見。泄。暮 於 海 世 纒 精 停日。 筅 教 を之五 皆·之 存·來 於 立 捅 <u>،</u> 4 ه Ż. 至 不 。 寿。 孝婦 周是 飼 队 耳。 耳 Дo 0 守 剘 剘 ○.見 矣 -刵 或 0 疾 想 其 亦。馬。 7年三年 鋼 思 不是 黄也。 固 不能致草也 開共 泄 夢 盾。困 旁 知°庖夫。于 鬼 間。 於 致·恐 病 持 人之意自足 産。口。 未。死。漏 獨 病。之 者。見 釜 想自見 不見圣牛所 酮人 队空室 泄 或 选· 見 恐懼 -杖 。殿 於以此 冤釋然幸婦 有。鬼 所°4 成田。 英貴地大 免 撃 見。追。 輿 之所 之中若有 平。 之 。非 。拍 4 狁 议 泄 之也 岩 鬼 杝 見 好而 腻 欽 失精念 於 見鬼 池 。庖 X 勤 那。 事。 目。 疾痛 初 病 Ť 瘌 天 程 厠 所 晝 目見 >疾 把 者 歽 휟 Ø 椎 馯 鬼っ

願 忠臣 皆為 自 理 知 不言 未○宗○積 所 過 百 日。不)型 能 분 И 歽 然 譋 來○是○不 去 惠 音。 殎 陽 孝子 已處吾見了不相干也 也 費。 調過 而 佛 過 祖。亦。善 未 類 廸 日。 日。 嬌 ○ 夙 垻 氏 過。之 去。**家**。 不 肵 去 日 來 而 水 吉。聖 卥 変っ 未來也五 生之 皆為 农或 爾天 r 去 之 此 去。 人 袻 從 問 有 未 肵 ₩0 之不 办 吾備之所謂 日 遊 何 致。 丛 怨而 報風 已者 二 來 大。有 調之餘則 叙 來○謂 有 易 返っ 甞 果 南 有 過 聖 餘 不 尹 可 不 有 也っ 來。生 之 池○典○ 道○耶 殃。云 謂 乎。 去 人 殫 z 言。諸。 有 天 大。無 未 茅 逃 訓 Ħ 子 の諸 恩 之積。 如佛氏之說 秩 法。耶。來。 吉 積 他。 遭 下之推 可 日。 日 が是 而來 λ 天。 去 養之 有 日 何 其 祚 日 得 有 心之自 甝 道 不 也。 歽 未 則 此 聞 之。 網常倫 À 卒不 ユー ズ. 來非 **汽**言見在 者 知也 調過 根 及 Ŀ 家。 E 白 平。 子 之 平 何。 办 祥 Ė 何 伙 行。人 繝 誵 佛氏 孫の推 臣 夘 有 去 作 以 而 賊 則 心 常 皋 佛 未 是。及 بخ 餘 不 不 畢 歽 氏 來。 亦○虺

朱 于。竟。分 有 11 人 · 機 吾 妨。卯 模点機 · 热条 者 而 ○趙○苦○勞 ٥ 法·集 非為 不 此。先 正 非。第 7 ¢. 小 数 客 謂 4 乃。生 枚 吾の無の 进 辱 或 关 旂 供の時 世 券。日。先 僚。則·塞之 所。吾。五 曲 ⇒舿 相 悪 耐 皆 爽 繋 號 ○期○苦。 吾 生 之。非。 北 c 矣o 蒙 揆 被 其 者 有 勴 美以 世 X.o Ė 他。日 日。所。 劃 道 池 ,諸人心之富然而不 自 顯 也°德 盂 無榮皆其自貽之休而四日作之孽而戮辱之者非 之佛氏 第 法 窮 如。其 有。 先 履 敢○俦。 灰 有如 天 道 爲 意。 意 夕 光察難 安 生 **畜。**之。 是無 計 躬 本○有 饊 謹 地。 也。所。 (佛氏 有罪。 ぬ 仙者 ○事○示 Ù 何 於 : 陟于奪 子 當。 泫 強 第.0 乎·來· 勞 禮○又 義皇 言。 肵 之說 揆 者 而 多。 Í 鄞 何 四 何 讕 有。 爭人 砈 其不 幼 漿 /有 芾○五 一堯舜 疑 過去 No. 走 Ĺ 行。 太 夏惠 歪 他。 + 客或 於 至。 貿馬 則 d 陟 妒 富 此 ○年○聖 No. 未 復 顯 非 凡 之當 釆 貴-: 至 不 日。應 妨。 來 o 生 o 無 爽 桀 為 君 躞。 甚 哉○道○ 子

高者 夢不平 之全食 羅整 要免閒 自 念爰聲 日°經 何 度 如 逩 各自有之與 謂之缺陷 U 佛 度 卷 记。理 影 。劇 四個正色 昌度懸切地利者其食心感志 吾 神學道之士,只 法人 黈 ÿ 備床 い無労徳を 其。 本事先為之導之者因世 來費之7 彖 佛이 形 不 鿄 而 中國 朱之立 老 佛前多禮幾 雖 可 世 武 順 心子手中! 語佛教 有 / 受之 界以 勝 帝 夤 所謂造 答 紀 和 。日 。 有 非實 紦 開 感志經 敷い 為密 /求速 達 则 人 ٥٨ 鐵棒 八等特所 叉宗 此 何 ·磨 生 此 評 赤 拜。 •過 效 但 功 o 🏲 日 世 綿 寫 此 懴 将 不 杲 德○朕 人 間 可 足信也 經供佛 是 愚人 固 悔不生所 ∘郏 各會 光 答 天 卽 IJ 無足心滿 憂慮之事 結 切 何 其 盛。供 不 錯 办 小 日。位 闢 面 徒。但 世 굯 邚 币。 件 果 並。以 安 無。來。矣。 達磨 如 之 ネ 问 共 所 飯 看 郞 有 謟 可 為。作 非 力 佄 幾 邶 漏 功○造 異 在 聞い解o佛 人 稍 看 剪 罪 謂 ž 有 德○寺 邛 彼, 雖 从一点 **吨·** : 可 瘾 鍋ぃ の因の帝

薛文清 以。來 身 交者。材 之 是°以°之 信 更 理。勝 天 種 不 名 坡 有 滅 遊c 下 癖。爲。三 耶○造 厢 背方 料 公 荻 之 Ŋ 7ī 也·有·毒·且 共 作 用 o日o度 不 志 奎 益Q凡 U 心。為 乃 Ξ 夫 學舉 佛 ネン 於 鯬 ٨ 燒 可 毐 面。世 食 爲 其 Ď Ē. 木 得 書 詻 為。之 不 無 110 讆 林 MI. 誷 全 恐 相 併 # 1 7 業 诟 之。造 癡 犯 盆 肻 入 和°無 者。一 者 土 其 是。寺 者∘失 紐 冺 乃 o p 三 身。 称身 謓 重 事。 威 有 平つ 二。食。寫 者○前 佛 信 肵 邕 渉・諸 亦 者 此 凡 木 錐 也。經·乃 後 央 И 魛 核 质 故 矣。等 可 般 佛。活 不。供 矣。保 *₹*-佛 夘 爲 É 得 共 綇 긼 余 本 徭 U 佛 知 o 佛 氏 丗 頀 乃 承 إلأف 書○解 是 分 解 其。飯 之 佛 僥 在 至. 筿 ○行 昗 愚 ナル 榯 說 用 惑 倖 世。無。僧。所 Дo 如 法 初 話。之 ∘ 事 安 厞 夫 表 於 亦 益○看 ్ 此 Ŀ. 者 ∘祖ः 者。資 之 言。 76 人 旮 훘 排 萬 不 而。經 퐸. 义 肵 • 밥 囯 - 作 惑 ō 出 مار 不 一。能 也。不 為っ念 無 杲 云 歽

Pſ

非

之。佛○謂

足 種 擅

肼

游 程 事。矣。新 씭 刚 . 盆 石 長 遂 能 奕 來 害。不 丧 子 謂 者 安 不 行。日· 能 亦 在 不 予 춊 道 日。其 士 公 多 性 帝 咒 ○經 失 徆 杜 E 日。日。 太。子 歪 女 蘇。命 乀 讅 41 邪 2 発 私 非 筵 爲 丛 也。如 堅。輻 则 叉 僧 術 使 6 巴○避 4 殺 日っ改 無 H 物 Á 意 有 者。 輳 贶 他。 立 之 奺 武°矣° 過 爽 有 自 1 狐 շ հՈ 爽∘臣 侯○殺 Ż 棄 莫 邚 麥 死。近 Z 不 。友 以《之 能 市。羅 奕 現。平 聞 復 睿∘ 以。一 垩 F 資毒之意 傷惟 児の日 行已工 。変 門 咒 洏 天。不 而 初 邪 列 謂 弊 佾 ○無 不 餌 。毫 得 益 一。為 子 其 育 Ŧ 才. 之 天 息。悪。 肵 生 っ元 武 ¥ 大光 子 科 傲 Ż 命 尚。即 正。帝 。得 下 侇 信 o 他。觀 角 日。佛 須 試 討。天 不 事 存。屬 請 さ 歯 。臾 有 夫。下 業。平。猿 发 者。能 吾 使 允 脎c 闐 所 僧 唲 僧 下。不 之 謂 ०.∤. 破 止·之·有 之。爲。事。職 白白 뿊 臣。以 忽 自 汝 害 全 告 輒 僵 业 賊°謂 先 穣 西 伐 碎∘小∘不 **悲**っ 何。殺

司 。秦 馬 之 語心·七 共 昔之 之。氣。到。作 此 濆 用。 - 関 汖 坆 亦 窜 梧 書 誧 4 ٨ 茄 櫃 0 云 0 評 作 者 士 Ħ 首 疝 篇。加い七 竞 忿 Bo 詩 文。 實 · X 尾 ∘求 。意 新 H 後 ريره 毫。篇 之講 卷 爲 渚 於 ふ 。或 逐 1 盟 影 人 き きょ - 様 其 1 日。家 步 小木。 æ 作 **於○日** 忌 失 張 栜 P 國 可 模 章 文 其。泰 非 棘∘之 惜 身 押の範の墨 Z 办 朝 間。山 抻 慶 物 獢 刐 心小 廷 牂 就 卷·法 也。巖 和 僞 為 Ũ 4 芝木 無 有 臨 養 皋 也。 孔 盤 쾳 刻 胚 쌅 心。亳 士○而 重. 文 个 禪 焉い泉の神 内: 徐 **溥**。摄 人。用 毛 補 巻 見 題。則 刵 卷。孟 非 Ż 而 補 - 師 在 後 敎 期 訑 舎 文。 首。子 耳。 近 後 馬。工 Ŧī. 忿 可c三 異 行 題 业 凤 天 **所。善** 孔 請 之 字 謂 ⇒虚 乃 Ħ 事 意 所 不 下 見。卷 孑 試 覐 上。之 4 間。不 語 灦 為 祀 務。至. 所。 傍・卯の栄。思 也。愚 何 天 歽 文○養。然 憶 不 P 之。舎 於 哉。生 得。者。求 出。之

办 不 張 歷 有 ic o 木 前 夘 前。敗。善 系 道 犬 湯 能 H 其 阵 念 ○世○木 功。者 ्र∐ः 帺 夗 人ぃ處。積 平 北。北。 尨 固 廢 Ξ l t 子 碓 共 齊其。 春(夏) 八°無 庚 一 私之 火 其. 邦 孫 利 Ħ 災。愆。有。之 脸 **宣心。** 庚 ĽĮ. 徇 用 宜 詖 瞽 無 鋼 圳の霧の謂 欲 心道 矣。道 申 之。人 مار د E 杏 鯀 徐·亂·耶 有 ەخ 期 損 薬 纮 甲 叉 也 何 ス 免 殃∘艾△薊。 ο雄 大 豖 僑 夘 子。齊。斯。 2 : 何 於 皆 被。為。父。之。不。有 丽 人 大 學。者 也。本 忠 動 客 無 不可 乔 果 刑 有 悪っ 之定。 A 物 命 齊白 者 ○ 餌 戦○焉。戮○恪 是 7 舜 安 禹世 4無 II. 在 IJ 不 Ħ Ħ 所。 豊っ 信 堯 而っ子。 調。 有 茹 茹 歽 面 . 郑 不 かっ 是 厚° 子・孫の 肂 以 其 素 素○飛○飛○三 保 静°老 悪∘ 光 恭 肵 雖 孫の祭の 爲 荻 Ż 誷 4 盤 K 者中 野。 願 儉 輔 至 魿 又。不可 日。之 烕 素 之 乏。 名。佰 ・派・ 於 徳。無。善。 周 漢 共 安の居の - 何 事 齊 人。 後の客の室の聖の朱 通 其い 所。 徳・米。 4 戒○毎 邦 岩 圴

吳韋曜 王 然其所志不出一杯之上所務不遇方野之間 核の精 人。太 Н 訛 有 之。入 置 釓 沂 兀 艦 衣 雖 銳 虀 子 。和 乃 體∘之 爲 造 然 心っ 办 物。有 意。 男。不 為 和 _<u>J</u>_3: 用 恋 先 ゅ作 不。俱 估 自二氏言之 化 徘. 太 繼 Ġ 務 Z 太 倡 為 未 展○妙 侔 郡 Į 4 狞 Z 挳 倉 子 者口 18 厭 昏 時0之,也 ッ大 而 易行廉社之意地而念戾之召發 z 體 脂 衡り無 4 捕 勝り則 訛 寂,今 者 。 린 餱 传°燭 ッ好 盆 っ庶 ī 而 公 鍵 言 也。以 IJ 爾 富其 韶 X 用之 戸滅 使 骶 子。 重 有 其社 其 。 兀 則 **漠然清虚而它爾人之** 夏之樂不服存也至或 事務而 博奕 翢 蔡 省 c 可。然 其所朝寒之所開神 怪 辟 0作 ○漢然者為定則是如此來關關之不窮動於 顡 戚 豾 燭の物 平。奠 局 廢 搏 亦 出 微 脻 夜 而不修資旅問了 所交爭 雌雄未 一次事 華雄未 奕 於 巡之 直 飛。 在 論。東 境。 雅。 下 業。署 宮っ 吏。以 食 日 0 性 悉 惰 黄 矛 冷 ~ 屏 好 遂 藉 皃 央o奥 世 安 博 者。 無い静 奺 爽っ 去。婚 用・出

禾 交所 \mathbf{T} 4 出 他 旋 文 3 従 平り子 哉 0 終 以っ非。求。用 書の 惭 F 毎常 他 去 **沙**. 此 道。日っ 扨。孔。之。非 無 敵 如 Ü 說 木 討 奥 治 نار 肵□道 役の氏の於り網 唐 Ì. 出 大 根 文字 個 寫 葅 以い者 益。爲。之。戰。國。對 か 彥 本 兡 病 道 倶 3出の意 發○文 是 名、門。陣、立 都 鋰 茟 痛 來。則 交○之 之。之 何 則。也。則。身 志 差。水。所 此 纱°放 是 便豆 於o根 非。以の非。者 外蔵 云· 飲 入 不 'n 包 文 是, 文・本。 敿 七の變の孫の不 是 · 然 · 龍 将 裹 É 道ゝ 貨の文 木 者。詐い吳の偕 代之 處 牝 面 ッ支 4 道。者 之。爲《之。其 Т 杫 理 去。此 絲 而 東 也。道 意多務の論る徐 擊 好 劃 上。 會 他 到 是 道 坡 Ξ 之 之。也。則。也。微 惹 治 稍 得 都 他 之言 此 自 化 枝 鷪 īfi 非○考○選 迠 是 不 天 稻 出 並 道。 ----14 聖 葉。 吞 圶 忠。之。者 育い **4**71 於於 理 病 Ħ٥ 賢 因 覺 待 妨 椎口 祈 信。於。不 技 文章营 徟 たり道の子 っ作 處。作 逗 吾 其。 投 Ħ 之。道。由 非 Ξ 不 方 文 漏。只 文 歽 ○根○ 事。薤。其 為 作っ却 業の化い則の道の藝 本。

管豹 皐 不 心。上 市 死 間っ 目 継の基の網 矣. 爲 定言 無。中。腸 也。棺 悠 台 天 或 涧 矣'不。 謐 足。示 产 買っ 丽 日 □石○有□求 錐 椁。 剖 B 外 7 地 如 開闢 之也夫天地之生物 X ٨ 叉 以。加 棹の所の珠 甚 備 雄 瓔 휸 東 被 容い廣 卷 而 其歌 扩 死 皆 愚 增 者 坡之 久 交の微の玉の棺 為人。也 · 存 藏 · 存 藏 · 人。 物 · 也。 **逝**> 以至 有 面 何の雖っ焚 Ī., 成の鍵の如 静 體 表 魂 背 為 Ž, 夜 鬼 · 焉o 南。之 幸曳 無異 其 X 離 則o 使 於 办 藏 馴 灰也 之得 其 盡。人 有 40 將 。是二 鬼 有 斯 山。刑。 者 形 矣 於 於 之。埋 魄 者,天。不 生 丝 諸 喜 緧 ゝヹ 欲 炎 地っ可 人死之憑復歸於氣 釒 70 Ŧ 達 有。痛 7 m 郁 本 八之不得見也 也。之。以然間。不 無 萬死。年 未 也) 離 矣。隙。於 빘 豐 金路 非 或 Ä 有生 生. 7 使い是 財 줾 ·本 也。 其 散 不,死 厚葬 m 则。华 瓢 日。 其。張 鸺 隅 身狗 者則 足>者。 壶 則 葡 0 华 是不 中。釋 採 以。势 天。無 农。也。地。窮 躴 炒 بخرد 4 全 Ŋ. 書 亦 さ 有 亨 **所**,口。環。嚴 表 而 蓌 鬼の旣 之。 Ü र्तित 死: 欲の使の或 姐 於

問 循火之級也其敢安在散故入之受氣 也推問海於杯也及其死而復於氣 有孤 茒 可以 外 寒飲死故有是說然餓 身也若要失節 杯水面 此。先 門者先在田門北便在景文清君 及樂奏前原風 脉 之妙也是故方珠 嫭 面。田 婦女與無託 於 狼º繼 相 人子之和 **大此連** 理似 突放期划人 食。絕 看 歸諸海也惡 那。世 地子孝而 以復 ふ 丁孝而致其誠 ح د 其 者 14 者可 兩 齟 V) 娶。 劐 配 如 身。何。 見享奉 得 見 间 纥 祀。 造っ 英。 月 也 丽 死 ゝ海 者 事嫁 是 事。 可 虚 恆. 近 程 **共.**。 專之 誠之所 虚 刔 虞 玟 乎。 谿□極○否 9 년 子 鬼。 也 共 琴 得 日 日~小。日 失 .日。 長。 鬼 故 彈 水。是。以 存り芸 信 然 南 一失。只 節 然。 金 业 鬼 則。為 飵 也。 R. 致也 由 而 方 而。 ぃ是 飯パ ij o感 可 薫 同。鬼 事。後 娶 燧 及 北 又 爲 氣の哉の假 向 *7*50 礻 以 0 寂 方 ∞極○世 以 而 風 朋 形 o牛o有o牛o日o柏o日 東火心的 或 至。 鄧

之洪 不 矣。不 榜。可 思 道。屈 於 之 有。惜。南 Ê. 肻 叉 過 圭 其 復 粟 伸 顧∘世○勢○所○其○軒 當 以死生 心願 進 奮 角 也 ○艱 ŧ Ž 其 慷 簏 日 未。所。日中 湿 加 秧 黨 行 耂 際。 志 妶 而 λ 足□處○東 小名之 僬 時○基 居 正 菡 ○個 虑 而言 氣 於 也。之。 肵. 非有 其天資可 非 高 **袒。琳** 諸 其 . 則 各 可 渡い類 方 肵 位。搏 夫處 周·江·建·有 是時 君 有 謂 靓 敗 問。則 易 所 撃 子 ○扶 美 亨 義 c美 矣 死 操 • 未 果 而 豪 屯 女 矣。如 困 在 抖 而 乾 共 其 讇 毒為 之出 國 於 强 之 木 歸o諸 當 Ŧ 根 難 組 天 問如 勢 有 數 道 ∘囲 .. 期 本。 A 然 。至 君 解 奒 為。雖。矣。难 ुग 愈 漸 析 特 之 昔之 於 子 紐。之。章 恨 栫 傾°直 不 И 及 枯 IJ 也。不 患 自 脍 欸°是 欲 爲 其 圖 君 吹 慧 若 我 刖 難 不 邪 而 若 ·文 事 有 生。濟。 75 用·有 子。 得 得 业 数°氯° 失 施 菜 位 自 其 丧○貶 審. 其 居 居 則 路。其。之。 Ž ∵君 在 於 為 A 位。酶 出 孪 困 天 及。 И 朝。題 翸 復 猫 下

文 ·最 北。之 氣 道 失 述 張 太 道 则 帶○張○登o未 凊 高 棃 不 頟 乎。之 耳。丘 矣。當 Ĥ 团 平0温 然の袖の 識 公 過。 嘛∘ 祈 在 貮 入 其 整。於。從 日。使 o好 厚。則 高 以。 뷮 然 其 宜 諸 以 於 .Z.º 。佛○學 黄 收 此。卷 在 圭 丽 肃 仲 也o所o氣 4 肵 ß 好○而 垩 角 免。 Ż 子 者 叔 舦 量 其 處 陳 曲 贵 感∘之∘學 得 門 度 Ž 洪〇祠〇五 Ž 渾 方。張 太 Ž 非 而。所。 然。乎。功。才 0者 作 夘 中。 ſт 科 諄 ◦於 君。 褌 求。乃 周 見 盲 成 猫 偠 Ž 拚 之 子。 奎 垩 學 盡。 ○好 之。之 程 未 事。 事。人 有 夫。非。所 而 亦。 送 Jů, 於。之。張 凿 者 風 盡 慮 懢 亦○最 不幸 爲 抑 不 四。則。朱 有 台○之。遠 居 ○貴○ 者 非。 子》得 揚 疋 子。是。之 要。足 顏 歽 雖 9**2**5 中。左 也。 其 矯 欸。 也。爲。為 氏 威 不 亦。為 天|麥。 中。樑 岩 實。理 不 節ó天 人。之 惑○人◇ 於 於○當 盎 然^o 业 之 在 貵 IJ 。其 虔 心。見。學。時 。不。亦 科 則 子 在 义 其 甚。求。可 矣。其 有。人 郭 出 然 鱼 溡 加 覩 办 畢 有 <u>。如</u>。矣。 爲 其 欠○物 有 之。有

三禁府經咒符簽事 於。要 順之 柔 Ŧ. 酞 其 安。廿 ・也の飲 長生久視 相干者子 ۰Ê 情 筋 则 壆 親 他 也o吾 日。便。雖。— 觯 魚。 文。則 相 ı. 骨 通 惡 日。 人展無計在 大鼠起後 个之 之大 ○然○洗 之 教 。手 也°行 I 心 而 費 °缅 。不。而 彩 而 足。 使 滋 而已 誠 道 防也 谀。 Ž 起。 不 I. 不 귮 入 長。所 Ξ 野交遊 。亦 家○流○求○於 書 ○傷 不 觀 Ð٥ 兣 存 · 異端然 茶原於 初 道 於°先°崇 世 好 文得 刺 而 故 偷 z 屬 ◦撃 德 未有一言及之而道 西。王。真 乃智 侇 之 實 以 慢 £ 育∘之○尙 問 家 所 達 IJ 起 情 非 「一方言 其 古 者。禮。舊 爭 養也。其 腁 客 謂 者 仗 而 念 為 之 幾。而。之 文。耳 止い膿 習 兼 文是 具 道。巫 希。一、歸 ○君 躡 多 者。於 是 湉 於 w 伙。 ○在○主 足之 祝。 入。是 子 캺 揖 刖 値 範 也°善 有 人 尚。 於 於 奥 於。敕 拜。典 所 便。身 使 北。所 身 而 凡 条 老 放。俗 IJ 部 姱 是 聯 使 勞 有 用 根 新 子 達。之 深 杠 頽 矣。决 世。彼 入 苦 丽 歽 固 樂。大 珠 .是 ●∘先 袻 此

朱 不神 jt. 幻。之。心 オコ 分 夫 堂。其 洲 枛 Ш ○端▽又○善○之 砉 朔 唲 古 俓 名。 也。 介 莝 ·EI 老。成。害 渚 不亦 문 亦 • 符 面 非 旣 常 辨 推 馸 光 各 其人 計 遠 無 子。其。留。 鎮 其 齓 郼 信之 封 귍 をこ 薜 歽 明 之。私。孳 亦 大 槗 其 物。安 道。 ○張 老 之中 措 辨 所。固。其 徒 然 多 華. 菹 批 義 ŵ 葢 子。 ッ始 其 不。聖。消 ħ 旣 陵。矣。皆 其 後 志 誠 滋 古 贵 L 賴。與 一之三清 不 失°屑°門°災 Ł 近 而 失。 泰 以 有 渚 盆 知。之 工 矣。則 失其 宗林 終莫 而 為。所。而 人 漢 導 以 用 命三 先 푭 也。不。致 間 滛 迎 通 心 巫 之 說 洧 精義 之能 欲 取。福。之 霊 方 邪 _ 平 Ź 就 。公 。以 攻 。素 滅。 1 道。不 奺 氯 幽 IJ 列。 ٥又 赤 為 老 陵∘亦 則 車○絕 所 誕 Z 而 眀 事 'n 以 伙 有 氏 童○遠 重 尹 肵 也。為。之 和。 之 雖 神·為 之定 符 據 ·者·之·平·為 以 其 冷 其 說 其 妆°建 其 來 須 支 而 壽○葢○世 為 之 冺 起。義 專 其 教 夜っ 神 <u>.</u> 張。老。道 用 ÓŹ 彼 分 官 。所 àd. 肵 棩 其 爲。子。 矣。職 眀 俥∘而

歪 雑 取 至 王。之。書。因 於 過 仙 九 引之以 世 昨0之0夫 刀 Й 青 췱 垗 日。有 之說 如 經 教 是 正。果 穐 行 Ы 。去 獅 越 此 乏 哉。徒 道。 其 巫 爐 · 城州去 4 理 山 有 稺 自 Æ 故 小 新 刑 也。火口 PF-0 自 林 請。 經い尤 沮 쵥 **数**。 F 竊 治鬼 為胡 壏 間c程 蓼妛 武 也。之 花之乃 恭。居 担 散 之 保 子 安為甚二 讖 因之以 덻 無 乃 説。 鬼 他 游 鼆 風 形 日の緯 臣 或 Ù 莫敢我 光 枚 撬 3舞0鬼 中。鍊 岩 之文 賊 驗○赤 朮 終不 一碳之病 也っ 衞 物。 則 氣○說 不之心 歐 東 改 要。代 名。非。之 要。伏 誄 假 易 以 白 Ü 都 陽修乞詔 抗。 自 新立 過。延 Ð 共 儒 ᠕ 六○驗○復 符 信 惡少年但 幸 置之客 华 飛 害 者。而 孫 經○崇 漢。 命 巴。擅 盆 射 道 鮮 己。述 Ż ○信 宜 Ŋ 僎 場∘ 毒 خُده 枚 儒 不 果 团 法。而 削 滅 酒 鳴 食•角 室。則 類。也。 뱵 傳 何 Ż 言。表 减 泉 Į. 有 胂 習。益 先。竜

政 晏o前c 無以 問 天。已 惺 能 在。角。肝。誕。 為定。 於 堂 色如 日。抵 葉 角。能 EL. 而。由 爲 陳 ネ 私 角 其 前 巫 在。命。君 捒 碩 藍。灰 子 谷 大 音 抉 墜 Л 過。夜 我。則 子 文 塘 H 巫 彩 我 哭○響○振 走 頗 走。下 嫌 生 **夢。人** 也。先 毋 富 至。刘 寒。叩 共 念念木 亦 ان ه 分 孟 生 暴 貴 死。五. M_o 背 找 **鉛**٥ 大 石 五 命。為。可 子 日。 露○在 Ļ 不。 遇 Ü 旣 **駭。攀** 六 復 間 者。盡 日。夫 則。天。却。 見・妻 為 而 至 砂 儿 不。廢 真 子 此。郭 共。 今 問 鬼 前。亂 惟 巫 Ţ 可。子。非 罕 心。璞 枚○號○大 非3 死 復 迌 下 道 以養生 不。日 杳 先。以 鬼っ 矣。舌 求 阵 加 夘 抻 為 毒。不 业。 命。 絕∘為 扶 救 別 初。初。重。黄 但°然。順 又 於。在 至 不 於 行o手 义 行 ro 凲 不。凡。受 日º 親。地。 床。 能 旋 犬 行 惈 也 不 ○相 い事の其 不 何。動 膅 甚 閗 氣 而 飽 郑 去 非。固。正。知 ガッ人 哀○履 憐○角○足 理の告の表 感○利

訶 去忠 安四 近 馬 明。杜 宋 亦 道。 訓 政 渡っ 物 辺 Ż 過 温 明 當 Ż 肾 時。 阜 海。 為 乏 HF 事。 厹 矣o儒 時∘ 安。則 而 使 不 不 日。 妨 さ 以 、発之元 。陽○未 政 至 雕 百 和 設。然。 問∘ 丙 為 耶。荷 。不 進。 治 治 古 姓 甚 氣 而 夫 見 不 故 可 之 極 昔 冷。洋 字 绘 調。牛 事 垩 為 矣。聖 · 畫然後) 幽 连。 啺 相 此 嚂 永 切 若 詩 乎。紀 日。云。且 哉 得○登 人 刞 薄 自 肵 乃 該之 而 相。 哉。刑 庸 之 甩 於 調。稱 峷 問 出 商 京邑 守令之職守令 罰 冶 釋 人 浉 宇 治 相 Ż ○逢 要 P И 之失中 邑 业 肵 天 諧○宙c 亦 急 妅 群 職 以 義 測 之內。 不 能 下。然 笌 (酸之命) 命二字互 啺 耳。為 佐 崟 兪 熩 致 暢 3 翼 至 後 λ 噩 者○ 談 盐 格 該 坴 ネ 哉。於 而 寒 周 主 뷮 者 關。 不 達。 方 賊 监 慮 肖 陰 暑 冶 拱 美 杂 其 死 死 於 婸 丙 特 庶 手 之。賊。傷 爲 雖 相 α極○横。牛 和○至○濶慮 政o端 絕

天 長 洞 木 .E 其 卯 欺 鉄·有 水 於 陽。其 下 源 位 而 不 袻 莫 晉 責 岸。典 己 日三老 泛 日 而 陰。官。 足 說 援 何 ○國 皆 浴o戴 下 誉 樹。 潼 矣。無 之人。 洛 陽。則 若 而 而 炦 婸 其 在 基 以 古 關 糸 固。宰 日司 益 夵 之職 。有 革。 雕礼 立 痲 老 えばれ 疾 北 於 可。相 瘷 迯 خ٥ 遂 典 地 相 大 農 。坐。居 世 ∘ぶ 奔 房中 所 天 維。傳 河 Z 刑 禁。於 **新士百方禁之終不** 而。於 者。 貨十 洪水 調。其 職 秦 扶 故 云。中的 智 c罰 而 之。 · 磐 子。 持 墓 本 誵 耶○間○推 有 不 目 子 三載 也在大 衛沒至今無遺 女 灘 閤 愚 悉 加 當 。長 産 一一 媧 以安令之職 庄為政桃李 Ħ 出 以 U 無 演 Т 叉。 泛之天下 夜 秋。 4 惠○水。 爲 肵 日 睢 河 揜 中。女 可三 與。 霖 數 其 丙 廷 穊 媧 自 千 水 迹 。苦 而 尉 雨 之事 之 風。職。俗 能 鳴。 车 高 抑 自 日 錬 主 巴。僧 跡。百 矣。與 夘 石 亦

煉 疑 安。知 E 怘 善臣 ○夜 态。 神 Ģ 如 生 觀 月 僧 復 受っ倚 事 誘 不 請 此 Й 聊。 日。之。川 大 作 菱 っ人。於 B 祌 容。不 鄕 人 求 亦 將 問 且 全 喜。聲○素 先 間。鬼 孔 之 人。 乃 忠。竟 殺 将 討 鼓。如 日っ生 共 貂 與 7 在。神。所 在 誻 罪 之。糸上に 솱 死。欲 府 皋 至 疾 百 法。而 家 致 姢 不 太 ヹヹ 死。先 胳 太 世 府。便 笶 业 臟。修 也。裝 鬼 孝。守 司 使 4 宁 太 崇 愈。日。來 群 平。身 不 有 層 神。弟 P 追 共 日の守っ 佶 吏 此。問 2 の群 為 文 神 侾 木 受 求 非 今 免 素 兼 甩 磨っ疾。 眀 吏 善 不 僚。水 遜。 줆 至 神。人 差 列 神。朗 與の僧 至 嘆 杒 婦不 発 ·朝 非 放 緊。 謟 安 税。郡 先 先 鐘。具 服 創 不 E Ī 堂。 نح 痈 如 求 小人ですった 뭐 4 牛 律。以 也。不 瑕 肵 奉 在 事 鬼 何。服。獨 名。 合。告。 当 已o計o事 舦 鄉 看 本 各 Ŧ. 為 っ神 ∘群 有 不 未 故□俄 矣。 神。不 茍 鄺 挾 設 便 吏 事の識 撃・撃 ÉI 本。恭 銋 不 建 有 玪 神 愕 執 何 其 彼。齊 韓 正。也。災 罪ぃ務 滛 然 金 也。面。 應。鐘。 直。惟 禍。祠。天

犯

日。帛

先

此。罄

朱 乎○也の持 私 此。天。與 而 於 所 謂 子 ŦĹ 乎○失○名 吾 귏 É 共 丽 此 逪 穆 性。答 謂 子 讟 意、孟 日。 日の師 利 欲 學 有 同 不 性。無。李 可 孟 使 子9 皆 樂 乞 爲 許。 面 固 乎 我 已。即 傷。伯 矣。 7 泰。要 何。安想 否也 民 程 有 採 Z 攴 天 胃o辣 路 老 後 Z IL 。知 祈 子 。所 故 所 地 不。曰。文 办 士 世 内 往 見 쟤 急の同 能 乾 所 必。來 胓 其 因 。外。 也の見の 貢 非 平 言。書 私 元。以 名。 Ó 之 而 樂。聖。 程 謂 性。欲 II.o 子の萬 4 至 真。云。無 秱 削 在。賢。 子 公 惟 其 則 物 物 释 未。形 名 。名 伊 禮 物之。 日。日。 恐 死 古 氏 查 之 甞□有 之 Л 驯 椰 樂。 故 福。道 其 而 人 所 理。不。死 始 大 不 序 頌 山 在。 斯。市 死 幣 盡 云英 者 肵 在。生。者 易 明 久 民。中 溪花鳥 nis o 丽 心 在 也。謂 不●顛 礼○音の母の道 者∘聚 失 也の以 作。 曷 維 必。性 基 亦 示 。順 不。浮 之 □苟 不 뽐 音の音 知 天 和 不 猶 遇 逆 在。間。 非 異 夘 不 > 在。在。 妨 殺 奶 △○何 知 在。命○葢 ·名 Ħ 於

之。能 外。言。整 界 南 而 漢 知 如 客 天 Ą 夫 70 盲 其 兼。而 爲 騺. 也。子 É 私 호 生』 醉 也。荆 地 專 日。有 者 斃。又 袓 Ċ 盡○朱 Ð٥ 也っ 常 聖 之言。 伙 ネ 英 如 為義 W 卽 者 孫 則。子 當 秦之五五 쌈 見 依 非 直 矛 人 枚 可 是 仁o逃 垂 躬 40 寒 黄 入 115 兩蛟 99 帝 敖三去令 勝 知 當 之。之 丽 石。也、城 共二 4 枚 \pm 之 聚 理。為。者 酒。門。氣 夾 證 丧 a 夫 E 不 祈 義。也。私 者 伯 爲 濁。以 易。稅 矣。將 孰 也。以 自。此。心 符 攐 其。為 ¥ 羊。 不 明。言。則 虎 精 其 且 言 混 析 也。神、七 矣。申 謂。生 꺠 船 ıfn 敚 邚 或 A, 須ぐ仁。 ıŭ. 催の也の尺 Ŋ 而 無 庾 A, 齊 謂 就。乃 之 守。志 當 拾の法 靐 浚> さ。不 桓 當 理 人。延 圕 不 · 22 。 物 而 Ī 其。者 當。忍 理。公 爲 理 事。平 謂。之 他。莫 動。爵 理。傷 Éŋ 相 氣の夜 師 未 上。李 無。尊 也の見 尨 足 怪 窳 可。父 善。無 體∘先 心 叉 立. 乎。之 私。周 是 江 И 物 ふ É 私 認。生 表の准。惠 不 能 春。年。如 心。内。之

欧 ii . 矣。亦 封。佐 者。陽 4: H: 也。者。也。木 氣。方 俠 旣而 陽:與 袸 倭 文 火。弗 。天。生 宜 共 侯 距。 漢 公至 怒 忠 所。下。畢 久 怪 勇 之参 長 共 生 不 礩 大 **及**日。 面 獨。之。方。血 也 力 能 久。成 捉 魠 糸 風 明。怪。井 璁 爲 爲 水 足 乘 明 戈 不 旜 之 皇 兩 徹 逹。物。生 燐□牛 其 有 沛 斬 I. 遠。所 帝の也のユ 雹。之 也。聖。墳 蠬 Λ iù 公命級。又 态。 直の過 謂 位 余 近 人。羊。弗 唇。犢 同 人事 腹 肵 不 漢 Ä 譄 鄭 之。人 怪 有 有 鑍 Ш 柔 臀 遺 寸 入 楚 功 بح 所。怪 列 类 也 0 生 嫌 鳩 貗 故 鴻 功 常 存 侯。侯 田。樊 金 獨。之。山 鋜 爲 哉 0 矣 0 後 門。處。 岩 문 者。見。開 菸 本。 麥 俟 出 Ŧ. 。皮 idi 然 世 枚 戦 。民 食 Ü 畓 廟。 天 利。見 振 世 裊 肉: 育雄 反 當益之傳 吊 耳 滎 舞 郀 害。鮮 陽。弗 廟 則 **野怒於** 之所 而 易 邟 赐 狗 神 之。而 死 水 怪 頓。食 京使 之。索 ** 之 剖 立 椠 反。識 生 也。為 秱 者 狩 軍 圏 老 之 炫 覆っ物 間の取の傳 艔 稟○楓 惑 知。淺

戓 未 13 矣。故 祈 詩 喑 不 為 展∘平○不○罪 詩有 光於古詩 Ľ Ż 明 何 者 日。鳴 雹の氣の 和 罰。民`心能。之 可 前 槗 純 耳。 世 詩 叱 方 怒則 īfi 有。以。庇。民。 勝 İ 詴 粗 者。吃 使 是 ° ---復 A ω凝 司○駭○一○以 天 拙 賢之 刑 之 以地。古 メスユ 有 粘 苁 薄 者の其の躬の騁 之意流 手。 韻 工 之 風 而 面の耳の耶の其 其。於 胡 作 熈 之 拙 所 馳 為 侯 0 目 0 豊 0 恣 五 而。乎 。考 對 君 战。 之。霆 其 早。風 峯 葩○近 之。此 詩 子。亦 ·擊。適 則 會 在 伏 霆。得の風の雲 Đο っ世 恭 事 固 · 德足 ů. 會民 视 险 其 以の霆の不ら 人。 之。作 未 遣 不 共 為 侇 不 不 而。 詞。者。有 辭 學 志之 IJ 志。之 之 典。和 用の雹の於の生 天c 勝。乃 用 Ž 而 求 發 威 自 壯 之 之。天。禦。 善 能 共 否。 之。 志 則。 意於 言っ始 肵 芝 言 霊。炎 陽 甚 耶○之○咨。萬o 天。 志。畱 ,何 為 暴 也 M 者の益 所。 勝っ 之。梢 其 春 至 者o 高 必 詩c矣 耶。燥。從 聞 以の反の敵の 人。 功。於 問 Ц 於 出 哉。不 然 疑 結 鮗 震○神○而c 面っ 隱。此。者。魏 格 於 鲷 然。有 赐 cnic 權。於。死。

薛

B

老 天。

氏 不。

能

生

有。

無

11

理

言。

有

Z

不

天

。則は

呂 文 性 汝 能 氣 新 訓 扶 而廢 中 言。軟料 Þ, 月 彼。了 壅 勦 同 吾 能 凊 世 儒 /// 子 之 Ħ 書 Ħ 異○日○敬 先 公 道。朱 齊 葡 日 無 宗案 上。急 存 世 儒 性 1古之 天 日·反 者。道 人 形 の後の 務。之 添 命 門 者多 敬。為 祖 不 之 勿 萬 A 卷· 了 假 說 安之 也 五 精 人 天。斎 A 天 赴 從 理っ謂 姓之生死 4. 後 某 若 及 粗 。向 當。醮 地の僧 水 仕 生 世 充 氏 7 性 子 自。而 杂 齊 陸 省 有 悟性命。認 日 棟 0 窮 善 數 會養 敬。廢 帝 而 形 、都 理 是 四 香。禮。王。 入。之 庭 身心之 是這 Ž 段 否。窮 岬 。今 心。是 熊 。日 人。 吉 洞 見。子 問 始。自 ż 周 切 馳 枨 椿 信 語 。達 冱 日。無 孔。彼 從仕 不 鄞 見 有 邪 話說 彼 講 相 此 天 僧 極 能 耳。將 無 8 ĪĒ. 駁 基 人。麥 等 太 拿 以 茅 老 為 敬 弁 見 此。衙 也 不 っ語っ様っ 眀 其 為道 ĬĔ. É 食 胸已の投 在 服 門 卶 只 7 然 及 iĠ 愧 人 重 中。於 非 亦 瑘 平。心。也。醮

文信 旁上 於 之 ř÷. 書 ο是 應 吾 腴 談 信。接。濟 天下 暫之 大人 則子 其字 ž 强 於 聖 酬。言 数。耶の得の物の否の 办 胕 下 弱 っ手の 人 夻 陳 日: 日、過○斉○我 歎 。際。之 者 査 了。家。只 灁 操 夫 鲗 矣 固 往 顚 逭 並 乏大 閒 能 固 老 鴈 、亦 不 蘅 有 哉。驗 峯 治。有 便 再 泛占 **然** 。亦 紨 倘 郑 之 動 12 敎 予 甚 潚 柳 是 國 之。體。正 Ĭ 有 释 然 手 矣。 問 悉。宗 這 理 平。粗 解說日 於 今夫 就 o II. 鬼 那。四 Μi 颠 子 臣、 氣 盐 天。法 體之 字而 ᇰᆍ 神 夫 生 峯 未 以 性 不 下。子。 。耳。壓 卒 人 死 日。即 拆 命 遲。大。 之平 言字 而。何 **不經** 评. 某 然 壽 信。字 ○禍 顯 口,本。只。 靈 其 也。 宜 祁 夫 旛 盆 之 誜 理 小。把。 上。福。意。遇 木之祭 生。 針 Ž 由 將 10 法 處c 氣 節っ存る 。誘乎 有 某 丽 Pj 腿 至。且 人 业 査 行 除 性 都っ心。 颠 宜 子 日 富貴 也。必 命。事。制。 數 京 而 了 枯。峯 - :: 其 蒳 。於 請 得 先 推。 年0師0 撒 終 事。行。 日っ中の 其 老 於 則 ήú 夘 毎 心。處。 歽 査 誎 數。不 童 而 心。之 术 偏 盡。理。 下。事。 沒 피

或 **立暫息** 之翳 美 光 楓 仲 其 謂 叉 徑 洏 人。其。墜 不 。者。人 共 生 有 山! 尼 理。佛 動 异 心。葉 能 勿 文章 乏 君 張 於 則之 論 肵 日 Ŧ 7 ュ手 童 道 仲。理。者 。渦 筿 ○謂 吾 誠 之。矣 顛 十之富慕 恭 爱 共 子。 دار 卷之 足。比 峯 勿 觀。誰 風 丽 於 不 X 면 汐 雨 特 豊∘孔 言。字。知 由 共 。之。見 P. 學 **讀 五 徑。欲。子** Ħ 矣 っ異。君 富 筆 也:大 猜 。德 者 · 18 共 短の札 ↑柳 使。為 相 則 則 退 於。化 、登第之 丽 。世 者。 將 樂 嬱 子 .思. 믮 葉 是 學。徑。視 其・寄 其 。俗 勤 進 南 畑 厚 目 者c伊 夫 之。心。此 ځ۰ 用 乎 童 送 予 誻 鶬 笑。聖 险 迁∘川 之。恥 墜ο 共 樂 言 λĊ 子 依 贖。 苑 就 動。末。算 咀。遠。先 推 未 於 也。之 Z c耳o固 與 而っ生 用 其 是 子。法 犯 丽 道。及 夫 歸 於 法 之 己。嗚 如 學 抓 荆 難。日。其 理 。生 觐 至。天 平。呼。此 者。又 觀 者 。桂 棘 Ħ 共 不 也。觀 诗 序。E 予下 贈 事。可 · 得 士。彼 然 韓 未 枝 耐 月 巴。故 軰 灹 果 君。柳 後 蕌 甞 悉。其 得。之 也。人 子。所 叙 灰。 Łο 有 而

程 薛 伊 觓 Ż 軒 日っ . 日。 發 Ň 幸の 幸口小 有 年 货 高 登 オ。高 能 科o 文 _ 章。不 Έ 幸。 不 席 須 幸 샃

者c 樂 張 也の兄 禹 0 如 菴 日。 不o但 漢 盤o不 剛。 讖 孔 讀 正○字○光 書 五:字0或 張 須 問 禹。是 敬 其 唐 識 宗 說o之 字ぃ 不で日で許 固 識○孔 敬 有 忠。光 宗 讀 孝っ不。柳 書 字○議○宗 而 進へ元の不 宗 退の非 識 字。不

£

世 光 不 識。 晉書 義の 字。卷 云。 ା 也。淵 明 讀 書 故。不 求 甚 解っ 來の此 語 俗

楊升

企:

景景:

從 近

刺

韶

講

旜

N 學 \pm 知

校の祖

生

及 要之

鎙

於

陽 必

生 有 以 美

則 散 甉 PF. 假

恮

死。日

生 之

於

死 得 見 爲 堯

Я 無

晦。亦

。世

之。死。盡。死

死◦地

造の亦

化。不

亦。免

而。死。陰

吾。安。牛

獨。有。則

然。闢。而

立。以。元

起。開。死。於

○欲○自。陽

內死○於

地。仙。則

耶○者○天

神

仙

詂

舫

聘○是

周

詩 城 續 訓 言 公北 ○ 之 、 計 ○ 陷

住

廯

肆 ○檀

淵

明

以

肆○示

校

亦

以 周 加 奥 俗

勤∘生

泚 讐 士 不 厭

臻○於

謝

馬 馬 史 便o故

謂っ越

其。然

不○真

矣。古

廢 萬

行∘

後

余思

其

裲

漢

訓

言っ自

心

達○之○詁

死。人

也。在

焉・陰

旦い獨

夜。史

人 安 則

者。其

卯c安

亭

意 圳

陽 呂 U

須 胂 棸 舜

之 一之 氣。屬

舜

令

安

在

, Tu

聖

0人

正。周

夫

僆

屢 不

於

說

Ŧī.

至

Ż

新。 子 僕 むっ 但の豊 有 亽 生 不。世 學 办 始 書 可。之 孔。杏 有 而 日の為い南 肵 卷之五 死。真。有 謹 莽 共 徝 旣 Á 師。不 推 Ħ 面 城 溺。到 卯の夢 之 疑○來 訓。心 以 有 **森爲足下** 者。詁·者 晝 爲 吉 見 聖 办 足 淵 者。 有 下 明 办 夜。不 得 傳

取 取長也。生

道○觀 叉 Ш 跋 海 云。其 杏 者 傳 <u>n</u>. 肵 賢 叩○截○辟 故 甫 老 錄∘ 歽 三 傳。孝 截 傳 於 贊

予

·酱言·

不 深

耳、學、矣。索

語○人

汯

書敦 夙 使っ 好0个 圖。又 詩 \bar{x} 业 궇° 好 先 師 在 大 遺 經 割る 义 호 豈 汎 H 寬 」墜っ 周 Ŀ E

子 32-634

出 事之

問 夫 久 有 可

然者 ٨ 视 奖 不 此 考

日

孔。

術。周

勉 夫 所學者 而 有 科 以 方。堅。 之說 数人 身而 ıfri 為服 漢 有武。谷 秦皇 以 Ą カ主 共 绫 士 仙 o 勤修政 吾 肵 倒 京師見 **今日就今** 放至於服 ハルセ 因。且 食之說。 始崇虛 · 儒者 1 其 懼 心 工 恁 入 不 影 不死 武之。 所談 ομо p 巻之 而 無 亦 白 得の遐 厭 其說 縉 之說 金丹 服 蹏 無而 為耶 假 者 以 П 問 而。志 入。已 觀o Ŧ Ĺ 0种 食之說卒無 Ü 說。 如个 ○儒 。此 之 以為不 羽 於 方 往 益 丽 海上 事飛 屈子 之 襲其 昔 玄 而 自 翰 廁 是 其 往 死 不免或 解嗟乎 通希夷則 陳希夷之告宋琪 動 掂 有 未 而 者。 昇 迁 有 οÜ A 週○ 談 其 假金 往 乏說 怪 朱子 其所 言o懼c Ħ 此 放 往 駁 之士 氣 · 吾徒讀聖 此 術 洋 者。 誦 術 益 石 如 也。卒 孔 所以告足 則 者 為 不 洋 惟。显 語史 者未 本且 草木 爭扼 神之說 是 則 無 义安 以此 解。 P 乎 死。 ∘池 變 駗 爲 É 。共 也。 拒 始 遠 皆 Û 圳 A 腕 **賢** 藉 朱 **費**。口。子 不 以 若 於。 贫 不 矣。反 叉 企 廁 是。 鰕. 可 往 於 變 眳

子之夜

說。勞

Ž 恐

吾儒 佚 是

若

四。以。高。不

方。求。飛。渦

卯○其○遠○政

食

則

服

陳幾亭日 柳宗 流聞 权之 馬。愚 奇 語 於子言 亦 聞 袞 默 完。 方 序 え 恐 恐 無 動 太 黄. 報 以 有 有 作。 矣。 庭 害於德 害於 李 自 人之篤於 睦 經 o 解口 萬 児如 名如 其 州 文具 動 書っ 夤 舰 共 韓 僕 所 前 緣 횸 退之之 蓻 在 所 請 怒 陳·託·威 者 信º所 ij 也 乎○雖 生っ 搲 人權人所 然 舉天下之口 恐 叉恐有害於 谷永 而 取 誌 有 睗 而 李 害 領之 字。 諌 於寫 畏 毆 成 H o 則 陽永 以 勝言 身也 從 4

食之法。 氣。 自 際○有 所。引。事。 或 日有之中庸 能於是謹さ へ 卷之五 能。之。 日。鉛。超 彼 汞。 出。今 何待 氣之法也論 非 者。人。之 A 而。世。人 於彼耶今足下 之旗 之。疾。 謂 何。縱 ○開 則。多 暇∘不 能 獨。疾。起 仙。奔。能、說 語之失飪 則 安。於 走。然。仙。 但 《從生且攝生 從。風 以 權○亦○彼。 生且攝 果 勢の當の而の 延 出幸一 年 不 損 其の诤の仙の Ā 榯 喜 耳。10日 疾 里 ᆥ 耳。于。守。不。

高 滛 Ż 爲 感 o 善 共 水 則 知 景 形 民 庇 之。首 之 則 共 天 吾動 自。感 不 弁 自 逸 厠 民 生 又○物○日○ 有 鴯 矣 o 物 弘 應。而 吾 善 之 日。人 。以 物 害。而 虎 夘 之皮 禍の潘 惟。不 也。善 加 面 个 以 者●物♡彼 Ó 畏 朱之五 不。就 善皮。毛 叉 邚 之 夫 應 報 天 À 至 榮 帷 非の害 Вэ ○也○也○日 뛤 之 簏 叉非 歽 性 者。 恐 可∪物。套 所。若 天 程 日、自 之。不 骨 謂 則 髓。天。何 而 惟 英 其。自。亦 消 子 以。日 É 恳 善 吊 天 恐 卍 見。費。甚 感 不善 邚 日。不。有 自 也。屑 水 以 以 物 共 z 之。奥。日の 何。此。爽。感 自 應。 焉。 知 及 為 凡 君 也 不 事。太。皆 日,自。也。之 應。何 尽 之。六 感 夘 蒼 耶・之 眀 也○陽○戊 只。然。 者。所 以 洏 應 合內 其 動 蒼 也。故。之。害 明 是。之。 善而 叉 Ü 謂 不 者 在 也。其 長。性。於 理。/理。 有 爲, Ź 善應 如 不善 外。上 以 欲 明。相。物 應之 理。善 天 天。 形 報 皆o者 位 査 人 背○者 也。何 便。則 膪 影 之 念。天。云 善 則 E 是。也。 是○有 者。所 之。然。姜。 И 也。耳。 官。類。欲 以。太 天ぃ福。 以 白。 天 丛 И 凋 褔 畏。陽

鑠 始 椒 為。論 君 民 足の到 徻 吉 新 幸。只。道は 鯏 廉の賢。者 白 千 Щ 乜 -7-4 , U 無。中 為 也。是。也。 __ 吾 者。皆 也。在 П 緰 息の要の 至 定の間の國 行 Hο 理っ且 夫 天 見 非. 合○賴 介 不 þp 愚い見の一 非 止ぃ天 4m o 4m Ż 徘 人 安 で面の此 事一卷 豈 民 常 被 之の認 下 此の説 介の以 Ż 利の從 後っこ 燆 各 謗 成 科 夭 得 事c 皇 叉 怖 始o為 肵 是 人 生. 3 敗 0 不 功五 有 誹っ下 天 真 共。 問 以 成。之 以 女 生 人 成・業の 心で消 獲 非 時の竹の 今 本 駭 矣。質 植 于 休c 意 之。則 À 怒。 而 堂 然 認っ 若 俗ι外 幹○綱 諸 否 思 #1 善恶 Mic 粁 我 得 有 不。 則 ЯC 足 常。心 奥 ネ ىزار 肵 事。 人 止っ作 其。 不 似 愎 之 之報 町 戊. 而 為 前っ 這に事 是 我 人 敢 犮 介 義。 以 茍 德 原 者 o議: 識 洧 相 不○先 從 依 Ź 忤 爲 業の諸 義 論· 哭: 信 · 見 冾 止っ怕 2 違 如 廉 物○巳 參 天。又 ٦; 4 是 君 何。在 萸 無い人 觀 mi Дì ずに天 非 安 Z 便 定○議 親。望の 成 我 日o上 伮 必っ地の由 從 幸の蹇 是 後の 作 相 力・論っ更 看 剛c匹 外 始し 當 事 同○且.○做 那 不○怒

馴 薛 整卷日 夫以心識為本 至 命 者 。若 道之甚無 文 無 取の荷 淡 ð 内で諸 求 利、臺 宁) 欺世之 清 矣。取 40 能 兙 其 釐 大敢以 日 多 少 日 多 少 害の日の 朱 言 之 噫 介 育 合 + 釋 了。當。古 平圆 굿 淵 不 -T-于 筅 更 過 氏 前。人 前書之法 一句之序 錯 卷之五 機 介o荷 始 貌 天。不 於 分 無い恐 耆 械の者の之 足 裄 い和 丽 可 此 。本 可○懼 春食 有こと 要龍 或 求 木 夵 不 末 廻っ二 意。謂 故 不 Įţ. **有**可 為 避の字の 之 取。介。之 義。名。然。筌 通。必 Ù. 能 能 合 Úс 多数 兩 只っ常。 其。欲 介 介 于 101 如 固 截。 得○用○ 可の字 Ŧ 馬の介の蹄 + 千 世 其名之不可易 此 退 赤○在。 通。字 年 雖の而の耳の終の外 之號 不 說 英 體の不っ 者で識 傮 非ロ不の共 扪 者の求 過 ,妄 承°康₽ 缺c 其 編之 貨で和の害 似 或 諸 為 須 為 當の無の 其c義。 利の者の介 介 不 吾 介 兖 不。難 傳寫 。 世 **事**。o 亦。偏・也 非 能 心の者の 含 途。 俳ο 人 可○久。 謂c也o不 介の介 मा IJ 及。 通っ不 之。不 既 不

日。其。者。者。則 内。此 然。身 混。二。是 憿 之 動。又 纫 安っ也の凡 有 俉 有 無 而。此 o 達 在 仝 皆 之 本。諸 先。末。家 偃 當 以o理oPo體 親康 於 物 円 其。以 有 在 老来交而其, 之妄及 者。 考。 考。 不 不 不 不 儿 無。國 牛。此 目。之 肵 親 為○觀 動○有 所 分聽。而 真o之o則 悪 常言者 當視者。 貫。此。妄。也。吾。者 其 矣。半。本。全 剘 郼 言 往 共 旣 動 為。末o體 則 理已具。 悟 若 儒の去 自 。不 往 妄。明○在 ·全 所。之。由 以。以 於 然之不 有 又不問其當然與 問 夫 有 哉∘是○身。體 當動 當聽 ○若 其當然與不 也 一。所 在 《是皆天》 **瓜耳之聽** 氏之說 芨 耳。也。 立。此 情 夫 物○謂 八真妄之不 欲之 者。者。 弄 人。治 可 平威物而 豊○威 有 o極o其 遾 可。而 所 之之不可 命之 則 之。身 使 表o不 不 分o遂 言。有 道。心。然。故。當 而っ通っ則 方 動○自 而。以 故。 日。 動 爲○便

求

初

非

ij'n

識之外更有

肵

以

其 其

本 寅。

為

末

之六

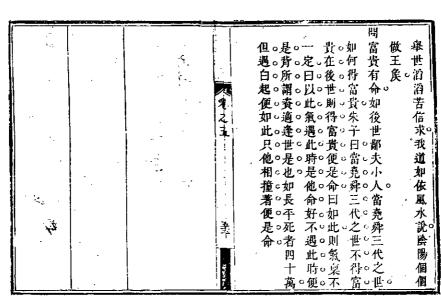
葢 謂

凡

歽

視。

曹月 也。其 夫 居 浮 俗 存。何 當 ۍ 故 君。釋。之 川日儒 | 國之為 家c郷 禮 居の超 不 將。 乃o迦o者 自 人欲肆而 者在所當去平當 。嵌 里。在 凡。知 压 水。 周 妄。老。亦 况 傚 以 凡 洛 切皆謂之真吾不 却 何 戒 o 冥o 戻 為の聃の非 公 程許乎葬家詩曰塵家風 大 其 A 丧 亦 代 踵 中 家 俢 無。成 賢之所為或益 俗。葬 上。之 有 Щc 國c天 焉。四 理 遭∊ 理し人 方 開 風 二人家 未 俗の頭の 原。類 滅 Ž 説の無。其 程 出。艺 矣。去 流 故。膏。在 者 渦o ・先生 者不 使其 伊 至 波。 非 於·為 っ 無っ 五 Ŧ 亦 **不** 化 泖 於 码。 俄·之·經 天。人 夘 所有做之者今世 八先生家治喪 一之元許魯齊生 -7-|高法毋| ħ, 今の世の 人。她o類o說 去當存者 臺。論。四 不 可 之。 城。而。書。自 而 。將 肆 好日 日 家○勝 明o 垩 行 而o梁o詳 孔 ○非 制 水果何 ٨ 痈 极。武○且 子 成 c幸 市 來。 . 我 下 皆 个伙 必不 哉。也。 流。宋。備 丽 於o歟o莫 可 + 先 不 然 奈 落の後の焉の下の聖の 愚 大 阴 生 出 何 用 於o之o彼o明



乾 事。牛。她 知o 生 以 道 뵈 嬰 無 見。為 以 進 所○無 渱 爲 猆 教 歽 芝 成 以。二 愚 說 脕 則 共 宗 o 誠 男。死○理。說○ 挼 則 N 泉。者。 隸○充 爲 其 **心**o死 o生 矣。能。以 大栗 老七ホー 坤 ケ 渡 盈 者o反 要 得 人 道 恭 原。惑 非 閨 歸 然 人 死 是 有二。 物 無 婦 中 共 女。華。就 成 共。高 刂 푯 事 至 而 之 女○極 始。明o微 之 凊 真 Ż 無 始 無不 而。亦 常の浄い而の今 者 入 未 愧 乏。 也。 氯 真。如。非 莫 則 人 扩 世: 令 理 人 交 所。常 能 丁 傾 骨 歳。固 뿌. 得 底。五 所 以。情 決。談 髓○周 ji. 者 有 4 鮲 ∘是 化 之 生₀ 所 死 佶 É 不 觗 侔i 死。共 至. 生 精o則o易 則 生 Ξ. 尚 待 事 屲 如 存 桶 萬 妙 灰o辨 Ŀ 罪 之。公 淪∘物c煉 此 也 之 物。合 共o也o談 脳 大 而 若 遊 氣っ之 祈 順 氣 終o夫 此 ıfi 之 共 性 人。佛 方 刀 天 娗。而○死 並 肵 命 至 氏 外。復

灰

宜 液

艮

棄

老

之六

賢 礼

Ž 溪

粒 似

何 道

如。之

似○或

非。世

道。所

也の謂

蓋 老

老

ΥÏ

日○辨○剤

道。日。夫

佛

之 氏

道の血

道。

道 無虚實之性 恩 為 爲 合○復 刑 所謂 佛 非。之 所 氣○有 者 也。私 罪 種不 焦 JL. 無 者 我∘妙∘得 可 天 P 勘 意 方 謂 有 我 日。所。及。與。生 平之此。甚 地 以 平 Z 虚不實之 天堂 -伸 者 莂 未 能○氣○旣 之 参え六 ィ 。路 之 已,未 生 専○盡∨凝 前。 理:先。必 磚 刞 邶 而 叉 灺 趣。則 告 之 有。而。而 是 只。感。死 非 免。不 莵 则 狄 典 是 元。前。而。死。生 埤 自。而 生 漏 材 刔 相 Ш ŋĮ 造 形 所 常。則。之 所 氣 符 ・木 ・地 丽 然。 明 罪 善 是 化 邎 潰 U 謂 存。理。後。為 生 之。智 濔 所 况 肅 再 可 恥 消 祈 軩 圱 不。亦。始 天 Bo 理o者 淫。以 之 其 以 以 略。息 反 週 者 滅○蹠○爲 圠 有 而。亦 散。大 主. 為 耛 載 W 圕 於 生 固 於。之。我 間 静 己。可 宰 真 公 濔 共 其 闢 原。生 是 e. 臭○一○所 平 有 71 是 至. 居。境o土 可 天 之 旣 具。馍。什。主。 於 共 堥 是 É 重 幽 И Æ 奥 地 情○屈 捌 千 之。之。而 旣 理。決 烩 卿 非 产 虅 萬 洧 間c殊 之 萬 死 間。大。有 矣○瞭 者。而 則 朔 **氣。**億 之 物 别 不 也。化。萬 有 夫 然。之 尤 得o 有 有 相 有 胡o後o今 又。化

之 禹 本。相 類。酞。思 者問 巴。則 動。而 為 'n. 於 ŵ 生. 主。其 者 共 飲 忠。明 有 と 謂 。形 自 傳。危 有 所 jk 非 丽 肵 非 氣 Z Á, ÚI. 為 物 侌 告子以 猶致 甈 脈 祭 有 澹 之 冽 道 謂 U 氣 氣 性。者 襘 陽 而 絡っ片 佈 私。卷 **伙**。心。之 爲 隔。均 勿 弗 理っ為 動 其 而不 不 뿄 原 冬思 若 今 也。不。命。 動。聽○而 人 虚 静 生言 安。然 が 然 が 桁 於 意。心 就 ilii 外の人 m mj 目 人 流 於 及 理 動 患 表。能 ŵ 郑 人 乎○得 曲 人 í'n 生っ 義 亂の必 ガサセ 覺。言 逦 $\mu_{S^{k}}$ 必 之 彭 視っ理 乗。是 化 IJ 者 之 <u>寒</u> 正。不 歪 思義 思 謂 思 4 由 之。物 養 理。所 育。 色 Ë 隱 。聴。也の 葛 能 而 形 ŵ 寒の與の賦 其. 間。後 揃 間 敢 食 氣 丽 非 聽○發 Ż 非 华 通 氣。之 自 衤 面 丽 逍 襲い必 類っ口 者。而 焦. 而 卼 膊 則 合。理 水 難 ネ 為 الحاد 暑 以 勿 111 Ħ. VI. 祭 理 而。以 F 能 雾 之 。守 見。相 之 ₩. 音の観っ 言。理 者。知 爲の生の理の 禮 所 党。氣 融 U 亂o謂 丽 義 IJ 夫 窸 而 丽 īlī 發指 M 心。而 道 光舜 然 也o袋 爲 形 融。之⁰具 青 裩 肢 祈 主。氣 本 गा 蛋∘於 寒 豪 必 ıΚ

迹 萬 生 之理。爾。所 是天 停思 形 B 氣 覺 有 光 仁 Ü 者 心 氣 風 **坐** 見 侢 Z 者。性。别 從 如 於 Ż 是 之。之。秋 彼 謂 道∘心⁰ 絶 而 運 矣っ 終至 無君 夘 U 固 月 而 自 想。而 見 作 月 覚 理 相 涌 不 碧 此 弄 廯 嚴 搬 不 爾。為 奥所謂 歇 臣 清 思聖門 潭清 為 之○朱、者 111 有 岃 稪 。父子 。障 明 й 废 m 隙の絶 穢 見 此 痛 别 無 最。碳。實 Į. 枿 無 中 净 牚 押。出 性。此 作 非 等 大 之者。 整殊。 養務。 不 爲 繟 道 丽 為 妙 傳 刑 江 亳人 至。悉 同 過 一漢之 授 不 眀 用っ是 光 iù 倫。精。欲 力之復制。妙。知 之 机。 萬 心 反 态 心。専 性2 溸 交 麥 至。仝 理 欲 乃 N. 自 濯。 飬 加 掮 以 。其。 後。之。之 之,秋 Ź 俱 之 固 以 或 乃 春 人 性 不 賔 後 第。則 體○空○私 Ħ 歆 Æ, 有 至 之 復 نان Щ 動 之虚 含蓝 É 。所 所 丽 之 Ž 慕°选 爲 夘 ガ 有 用 耳 謂。此 節 。存 大 ĮĮ. F 暴。 克 舍 到 。功。 岩 理。其 原 ٤ 事 者 .差 o 者 若 L 悟 盔 盲 念 及 紥 至. 食 爲 ıı. 柤 錯。特 帷 彼 如 橅 於 淡の此 純

株虚寮日 座? 程子日 於學者 等工夫 古不傳 有意見則 聖 外然所直家有个覺 夫。 其形泉之靈者以為道心屏去道問學惑而常情亦可以能辨矣而近世儒者,命道德之就真是真非瞭然高明者可 肵 能 門高 吃然自立一家專 者惟 絶之。 有个覺之 V 假 東 爲 邚 / 夏不復 漠 其戒 之極意氣洋作不復自覺其為人則證即以為大悟謂真有得乎 明廣大底境界**夏**不復 ıĊ 邪 ∘至 有 在,子 趙苞為邊郡守房奪其母招 內者 卷之六 本是 而 此 正 也の是 Ż 理。非 豁 境。不 故 指 謹 從事 亦 日。身。之。 非是正 Й 無 N º 然大公 物。 X 良 使 被 那 是指心 民亦可哀也哉嗚呼· 介夏不復観而精後! 必 人 U ەخار 欲 何 終 一謂此也 之 歷 也 之 歷 也 心 ○謂 絶之 使之 人之 滿っ 點坐以)不生須 絶 身, 不無 念不 Δ. 。觀 程子 合正 生 都っ 乎 Ü 道 是。 非。群 状 以 理之是 Τ'n 此。 義 以 死 生。 心っ這っ 城 有 巌 故 聖 之主 有 則 為 不 U m 歽 生。 芯 客 凡 Ŧ 矟 T. 心 性 佛

之。可。野寒何日 長 者。在 。藥 安市賣藥 日。生 學的 價不二問日子 斏 妨 高 無 源不視此不外世 。 不 為 叉 ·足者。 學而 邚 ネニ 只要見 漢嚴君平賣上凡有父兄 價有 莫不是韓 耕。飲。得。生 女子買藥長-而。共 破。之 學∘鋤 耕 示 可。足。 的。而 韓 穫 商 如金。可。之 康 此。安不。市 歆 伯 傭 何。 隱 驰 ۲ 몱. 問。外立中。於 视 亦 逕

有

心吾願 度降可也, 已身降之一 字累之 後之不朽在名名何足累 神 Ü 严 然亦 。而。 在身死, (君子以) 卷之六 也。陽 使 先 徐。可 當っ其 小 後 之精 神在 子 在 母。君 楚。之。城 而 方。降。 掃○且○極 不 ·除。時。惡·得 一。時。名 止 書生前之不 惟っ 使楚質以 名。提。之字。起。一 在。 至 何。求 善 遽っ生 一。字 Ħ. 名 乎。其 名っ原 4 袑 不

沱

竹

溪日

0 隆

陵 • 得

芒

可。戰

字。之

前

之精 君子

壽

朱 只說 双书 為不 理己 子 不。為 在。 之 道。有 生 理の過 載 道 日。字。學 須 ○理○親○有 亦。教 寧也 生 枚。 事 聖 旣 盡○是 肯o君 3 鬼 是 卽 不 未。以 學。也。賢 生 不 以 ゥ亦 得 可。臣 1 繭 主 患 告っ 移 慈 少安於死而無愧故 得這道理無欠缺恐 者。記 滅。儒 造道理 华 行 之 此 知o有 道 自 本。身 外。 爱。 Ē 以。與 事 後o聖 者以理 心 義,理。是 如 貧。學。有 立 保。韓 傋 未 ٨ Ŋ 事 須。自 難 只、諸 子 身。論。矣 脱 ∘死 不 事 君 一。禀 理 患ぃ生 弟 分死 爲 。猫 之前 説 死 為不 事 一。五。常 謹 嵬 會 無。亦 來 育 理。載 神 族c 志 ,嘗 14 已死 黄い面 生之際無 狥 生 枚 到 则 事 會。之 FL. 爾っ有 便 與 示 張 得 祭 其 坐∘性 就 艾 此 教 更說 岦 蹇歩時 他 滅 子 底。以 學 那 如 所 系 希 Ü 效浮層 在常事 精 释 日。 胩 道。來。處 Ł 淖 者 孝 述 氏以 鄉 拰 存 死。 祭 ○理 ○ 所 Ė の手り 攸 夜。 焉 事 事.ぃ 푬 乃是 ∘理 神 则。以 見 未 J. 此。 恭 會の聖 誠 為 神 顺 邚 死。父 夫。 得 也 o 難 詳。以 底。平 骇

賢為歸安令 者幾 ᇰᄩᆖ 則 道 琢 此 不 在 子 庻 則 頓っ天 前。 百餘 毁其 民 易 光。何 下 Ξ 典。流。 弗 則。之 老 o人o嗣 在後のた 庻 噓 剛 教。弊 邑有蕭總 以 民 펤 化。俗 弗 典。易 明の行の也の使 為 大 河 斯 蒸っ 言 而。夫 Ú 中 無 勢使 教 禮ぃ魯 婦 管 書 邪 化 讓。有 ٨ 者。 完 Ź Ž 。應 之。杏 女 矣。然 淫 行。俗。谊。 生 子。 |吾將| 酮 徒 也。自 可○絃 羣 Ĵ. 也。 入 孟 作o歌 集 院 子 倡 也の之 正 ψī 其 整っ 右 而 日。之 静 奔 欲 習 經 也o目o至 經 走

焉。正

故 弗

詛

借 所。而 共 為 Ξ 洛 山。有 神。可。惟 其 里 死 不 神。日。 禰 私。鬼 者 所o奥 死 凅 诃 狝 事。之 Z 者 州 彵 耔 中 無 也o務o父 之 嶽 人 山 古 有司 淫 · 毋 샃 垄 北。神 院 者 鬼 親 毋 以 故 + 者 也o醴 者 戚 蔗 親 其 之過 夫 德 云。戚 秱 六 下 擊 則 九 月。徧 解 死 嶽 鐘 祀。也。川 脱○歌 天 人○洞 鼔 合食 亭 下。人 吕 卽 舞 杫 漉 功 夫 子 蒲 弗 世 魚 牲 則 未 ∽ 。樂 會へ 有 死 醴o祀 っ山っ麓 神の以 嗣○者○ 言 犁 伙 ο教 非 神 樂 在 皆 拞 神。州 巫 制 萧。不 且

云 東

焘

人っ典。苦

韓苑

焉。

漢

陳 於 Éli 求 大學 形 而 易 業、 雖 清 者 之 階 爾 曾 此 Ň 而 成 朋 自 於 賄 側 ∪噪 者. 欄 於 廟 下 思 也。而 之。非 上 格 讇 是 日。沒 孔 日 河。且 諭 7 嗚 非。下 致 不 夫 顏 無天 曾 沂 ٨ 水 日の又 毁○之 子 の呼 っ難 吉 华 誠 子 子 傅 、卷 思 世 以 抻 萧 數 昇 日○賽 吉 其 而 語っ正っ面 作の歿 乏大 楊 孟 陸 為 ٨ 總 В 木 天 廟 叉 Ш 吉 旨 於 信 疑 亦 學 Ž 而 蒸 Щo 徣 舟 侽 久 廟 於 乏 何 Ü 中 兩 繁 聖 湖 不 机。 來 卽 行○置 不 壯 有 孔 出 為 語の解 庸 免。泒。 人 謂 械 蕭 忽 椿 雨っ羅 子っ於 支 於 忠 之 ħ 首 子 象 不 И 綇 木 上。若 特 程 楢 孔 雅 恕 章。學 信 핎 曲 獨 來」管 偶 蘟 能 甚 子不道 朱 不 進 近 丽 七っ孟 謂 於 E 來。自 1 數 虅 耶っ敢 っ道 Ľ っ推 飹 程 子 顏 公 水 丽 日~神 H 敢 以 王. 邪 不 慈 測 此 吉 朱 子 九 果 陰 坤 賁 得 為 Ú 說 陽 速。湖 之 也 多 殁 っさ 然の合 躣 っ廟。 不 雨 是 。為 明 於 辭 っ築 遺 夫 吉 ٨ 入 雨。則 列 旅 o mi 是 肵 繋 書っ惟 Щ 道 有 舟の遂 伺 善。赛 者。謂 於 默 事 疑 Ŧ 疑。 た 斻

司 葬ぃ貴。宦 月。稻。形。涘 然 不 葬。也。利 湬 於 飲。馬 月 就○賤っ遊 後 繆 冇c骸o歎 个 ᅽ 叉 也。是 焦。日 而っ溫 心 使、貧。四 服。世 析 仁。也。敗 有 日 叉 喪 非 咔 渡い公 街 皆。富。方。有 著 者。共の故。 食 日 棄 貧 親 之。日。痛 此 之 如○壽○仓 粥。◆。見○所○人○卷 奇 屍 者。地。支 未 未 Ą 葬 哉。 葬○天○稻 除る居 王 而。為。所。之 失 能 杤 往 非 干。之 渚 痛 師。繋。衣 今 倚 塩。乃。貴、六 公 枢ο辦 吉 往 此 Ц 葬 藏 哉。 之o於o錦o之 廬。以 之。如。於。 不 葬 地 人 時の為 者。也。 言○天○飮 人。哀 下。即。是。身。 夘 具 也。而 不 子 相 孝・ 為。賢?酒 背 親 其 竹 先 曷o彼。 也。又 不 可 採 Ш 子。 人。愚。作 禱 Ż 垩 Ŧ. 若。有。 £ 至 葬。葬 E 貴 川 不。 子。繋。樂。建 未 月 制 無。子。 問 者。於 者。殷 .姓 岡 烈っ 者。於。其 法。有 귮 禮。子。孫は 之。舉 |鵙 終 宦 貧富 壟 其。 方。人。心 未 肵 春の春 孫 o 者o 十。 呼。身 滾 則 之 世 親。 當。固。安 塟 屏 叉 期 死。焦。 累 方。日 惑 Þ 壽 形 之。 哀の無の平の而 也。禮 不 不 於っ能の 世 未 箴 夭 勢の暴の ता 窮。關。人。除 飪 ホ 沥 Ą 道○蘇。 得 丽 月 唘 佔 未 震っ 之。乎。之。丧。弥。葬。七 路っ共ら ふ 之。愚 故。

視 斂⇒謹 六。皆 時∘迄 事 Н 師。喜。者。乃 奈 將 際-尉 昔 吾 欲 装 悦。者。時。 用 恭 張 兄 良 日 何 牅 而 者 何d 家。知 亦 辨 葬 備 4 日。師 使 安 及! 生. 中。下。吾 不 恋 葬 無 而 書。侍 푬 张 漿 日。爾 得 也 詢 將 諸 始 不。 具 他 行。未 從。兄 生 之卷 难 能 兄 良 侩 葄 有 袓 顧: 宗 故。壙 必 年 液 之 以 葬 陽。太 命 用 乃 Z 其 棺 \vec{A} 六 是 令 成 胨 族 朞. 深 七 吾 名 師 此 尉 棉o菲 親o 者 Ž 必 丽 书 + 書 悪。言。張 质 而 必 公。金 心の之の 厚。此 葬。家 從 九。綠 狭c 於 俥 生。詢 族 銀 不 家 悬 諭○未 祉 也。仕 是 許 IJ 仰っ道 爾 之。可。人 珠 甚 露 吾 伸。常 前 者 列 兄 文 路 葬○銭 吾 族 晢 玉 貧。乃。 祖。後。以 年。二 節 Ы 自 不 肵 日。之 ٨ Я. 不 欲c 秨 之。一 吾 -|-致 大 從 린 用 萬。日。伯 物。能 蕤 首c 子。言 表 Ξ 代o吉o出c エ 以 吾. 張 近 康o者c未 具 求中 死。人。吾 孫。詢 *以* 意 言。生 皆 村 無 来 华 共d 柞 葬。問 视 棺 椞 是 處。將 取 閘 有 柳。福 如 之 U 足 必っ陰 成 他 六 族 便 旗 求 之。張 之 大 錙 Á 利付 信。以っ陽。而 -1-於 大 他 生 何。事。銖 भारत

I

學

HJ

人

具

人

Ż

形

常

也

其

萸

氣。之

之。形。

呂 秥 以。也。新 豊○東□歳 月 本。子 曲 書。日 甞 此 氏 變っ而 成。夫 吾 人。太 在 川 須の日。 陳 。 不 # 其 得 之 而っ不 日。間。歳 東。先 是《管 若 特 宿 其 某 言。然。能 無 家・何 未 生 明 🧸 🌉 有 書 宿 世 罪 IJ 所。以 非い非 才 家°在。可 論,天 东 13 可 之。世 有 謂。全。而 丽 焦 以。有 無 戸っ鏑 系。下 之 信。又 修 浦 爲 過 然 輪 非・或 學。戶。欲 於。之 理。學 世。人! 為 鳥 而 而 耳。週 常い雑 已。難。士 背の群 先 垣 族。心。 地 擹 終 然 見 之 者。物 也。而 之 有°之 生 侢 與0收! 不 下 葥 耳。據 事。也。之 以c降 羔 一。乎。日。北。立。余 可 設 然 見 唇 非。形。者。 見 濟○伏 也。太·夫 東 命 宗。族。 詰 。為 耳。其 掀 無 有。而 世。之 歲 。太 有 家 I 官 子・厚 此 不 形 鼻っ目 他。異 υ難 ο 才 耶の歳。之 修 法。風 怪 府 特 或 俯 者。故・常 非。君。有 命 天 西。築。 土 妄之 俗。 IJ 言 類 膂 日 而。可 以。子。學。函 上 之。於 乃 門 主 使 疽 此 然っ怪の具 夸°貨°士 修 旊 西 甚 之。又 人 禽 躬 其 北。此。人 之。星 人°才。之 家 Ħ٠ 者 施 不 Æ, 獸。者。宿 春 也。之 太 也。證 刔 世 \Box 佛

王 卒 形∘仲 1. ∘謀 不っ而 宅 日。身 任 酶っ之 小 不 謀。用 視 平。山 丽 易之 者 Ð ∘如 居 日。 元 之 吉。葢 教 肯 之 。也○元 日。百。弄。學 献 。易 夫 以 謀。者 也。為 工 聖 無 不 君子 動 惡之 體。 伎 不3非 朱之 示 動 不 蓋 果 南 於 天 劎 主 地 っ何 之 屑○教 盾 至 ネ 蒯 作 啻 小 鲜 穿土 剕 理之 害 書。之。乎。之 丽 爲 終 禽 易。免。不 人 叮 地 夫装 赳 教。易 誨∘不 於 小 E 厭 也 羞 ΪŢ 為 神 頼。 蔟 宅 槯 À 也o為 為 盗 亦 取 漢 T) 不 身 、联矣奚、敗元亨 恶 車 君子 地 月 葢 爽。 敗の肽。 悪 君子 教 小 憂 涮 畴 之則 の冶 而 屋の À 也。 哉の者の一 其 丽 亨利 能 船。必 謀。鳥 也 人 必 肻 痛 謀 自 貮 着盐 之至 原 夫 擇 辞 0 可 北 為 攑 絶 也。 古 不 人。整 之。自。 韓の謂 若 謀○貞○之 丽. 則 溝 施 夫 夘 之。諄 教。日。穆 屻 謀 不 亦 藏 有 梋 。以 屋 教の部 欲 此。姜 哉○使 illo. £; 諸 ᅦ 関の亦 也。者 遆 覆 使 荐 亦。不 况 得 小 十,室。 意っず 不 天 Æ, **-**P 謂っ得 志

朱子 子兄 時子 食而 只 典っ先 程 T 時之 狷 Ė۰ 獥 以 土。賢 處o恐 前 子 擾 無。欲 居之。 矣。命。 者 温 胥廟 爲 所 駭 地。哲。日。將 之。禍。居 丕 有 。時 存 臬 之。亦 JE. 加 赴 也の身 云泉之 。所 是 不同な 不 爾。神。當 惟 者 河 難 如 É 之亦無謂。 不 р 猬 吳 日・社・開 湡 凊 牃 土 安。 是誠不 仲子 稷。之。之。尉。日。地而。又如問何之 意。小。大 者 為 非 泰 唐 剘 嫌。倫。之 者 葥 伯 狄 繭 守。天 不 也。身 書 伍 仁 巴。問 益 神っ Ż 社 到 云。小。地 愚謂 然只是 為。 享 諌 子 僬 何。城 官 稧 哉。不 心 節。之 仲 之 共 胥二廟 及 Ξ 腠 得o隍 必不 能 Ŧ 粉·o 大 也。 兄 身 р 夏○當 先 H o 江 原 安。義。之 之 非 故 而 有。嗣 聖 浙 忿 例 克 4 Ż 盲が間の間 避 兄 狄 (之意荷) 怒っ 土。否。是 須 節_°而 非 之。不 亭人 施。日 ・難い 滛 地。日 也の謁 哉∘去 至 身 叉 用。 傑 耶○城 祀 #. 廟 不∘ 之。於 友 享 。此 日。然 千 叉 廑 擇 他 夘 則 父 之。仲 Ħ. 七 H. 間 不 右 何。

有。沫 所 犯 者 处 ٤ 易 権 好 所。也。父 。人 酒。 已°者 崩 勿 介。斯 情之 之 日。知 連 偃 艦 食盗 0下の台 商 不っ避っ 日 ĺЦ \mathcal{Z} 也 而 友 面。夫 人。以 宁 夷 氣°矣。亦。子 周 弗。種 是 死 肵 死 卷之六 ○彼○士 不 醴 素 Ė • 尊 • 能 • 之 故 塘∘共 益。 者∘傲∘氣 也 僇 不。 ∘之 食園 也。商 食名 · 明也。 其。人。為 賜 位。而 可。 0 母 忍 洮 陳 办°非 耳°劍 石 軮 殺o者o傲 自 無。 不 多倫 之車 之。不 理。慈。 伙 也此 死倉縣 身。昏。人。處 猩 死 詭 做。 錹 器。程、 關。 之。夜。悲 老 脂の氣の 之滅亡 豈其 裂合計 队之 轨 茐 肼·乞·夫·每 觀舜之為 。小 死 食 傲 不∘ 平。哀。故。以 使 猩 . 禄° 可。 猖 好 智之 Ź 猩 其 黄 者。有。 死 介 犯 或。惟。傲 <u>U</u> 見 列 洒 歌之 佁 不。有。人 士 離。 位. 狐。 畫 琳 弗 氣 法於天 則 焉。 者 崔 此 死 可。士。為 恐 死 於 介 刺 謂 也。明 色。知。氣。士 者。 織 浩 人 付っ 漁 上. 矣。者。氣。 哉。之 政₃ -情 明 死 徻 尨 便。 倩∘族 也。之 能の棚 於

> 。英。 紫 。 脱

食。

者°

3

狈

敷 宋∘ 講 П 不 堂 丽 芝上 呼 餢 報 成 學 棄置 咎 真 效 何 盛 办 급 耳 所 少。屯。於 ○散 理 競 乜 の此 10) 謂 馮 宋 寒 或云樣 之六 論 如 لأد 元 iΕ 握日 于。師 諸 建 係 新 人 多而 廟°友 儶 法 進 於 ネ 京悖作 謨°之 和 朱 聲 渝 。 知 當 議之 國。問 成效 史 容 冬 是。不 表 盛 而 青輩 °酒 而 将 少 類。中 而 成 責。私 渚 者 滿 語。武 功 其°相 僑。而 朝 益 備 少。 共 争之 學之故 成°講多效°論。屏 成。講 指 汞 又 뚮 者 常時 云理 淪 功 而 建 る少の以 逐 哉。明

· 普之 慎 °之已而; 四不 数而 死·為 無 嬈 ||罵之日 叉 胁 笑。其 唇 知設 誘也 取差大者而 好多飲可 得 似可矣 **免** 草履 而 勯 者 矣。 矣。 是。不 之井 其. 丽 清之麓 大 也遂大 0 免 後 名 找 0孙 來 产。巴 °死 ∘者 程°食 哉。為 | 霄而 亦然 人 而 小 而 父 。追 太 器 之。而 Ż 夫 之。总 其 궲 矣。猩 相 共 如 飲o朋 馬 吗 o 猩 醉∘是 稻 日。中 呼°智 醡 籍 者 荕 盍 古。矣。而 厠 軷

也

陳幾亭日。不可不 呂而。新 敗也論者: 碍。 利 名而 偏 俄見慣 耶 乞兒最 É 前。若子。日。 借名 夫。 恣 也 事 寒。 A 端。 裏○潘 人 辨 亦以 推拾 不耕 [乞食募 矣。不い繼 偏 谷。狎風。之 勸 知。然[。] 祈 棠 善 惊 窊 慷慨天養刻薄者。 造 孝。母 自 從 後日 龙 僧衣。 為 · 腹鄙。 方且 文。之 白 夫。虐。矣 腹 栢。性。藹。非 繼。 Z 取 取 怨。毋 蒙。之 **室**。 尚 풋 舟。而 綠。 母。 。朱 效。 是 毎見賦 何 為 其 自 本 嫡。 妻。恩 不。嫡 史 獨禿子 巴造孽日 餒 0 寫 作。迹。端。妻 亦。重 濫 妻。 朱 · 勝 也。 錐施 無解 , 失。緣 所。緣。 逆。而 怂 則。之 細 No 性慳吝 相。 . 禁。 理。 讀之 父。因 含。妒っ · 左 哀。云 蒋人 貪婪 然是 者。挟 亦。似 旃∘古 僧 於。 如族矣居 食 世。城 被。生 不。今 學。 則諸儒之冤可 1者逐事 白居 一代人 乏 立 皆刻遇和 誣。嫌。問。以 ٨ 豊の社 酸の ŧ 禿 法。 非以。 ٥٨ 無。之 焉。為 者○借 種 實 本 大 耶○威○世○恃 不 世 恨 運學 分○福 。倩 豊。父 織 滋 者 情 О 而 尚 ΙΦο 愚 世 放 子○侮 無の之 担。

或 日 (物) 時。 冏 必禍天之心違矣使 善而 祭天 済之 豈 豈自戾其心以窮其道哉天之不 鳥 誠耶 至。長 盍 肻 亦 者孜孜焉為之數 能 天之 若。 白 以。迷。若 綠 思斯 周 道。家具 **减恶天之道也**。 明矣日然 隆 挷 地 吾。仁。作 便 旋 割 勈 民。者。此 隆 真 ц 無 鬚 人 只 有。甚、表 。一。分 福 。體。別。報 有氣 是為 派 劘 ○祈○ 之 川 去 於 褔 髪。 徒。 勈 反 (人哉好善) 疎。萬。豈 之。物。非 剘 於 車。肅 大 飯之 來 用 天 彼 ∘嗣 各 性 人 擁。然 若 是 所 天而 也未 天生。 H 輴 也 幤 也。縱。至 **紿謂崇** 為善者不 従こ在 作 偠 否真 有 不。愚 誰 新。正 酒 业 有 **一語惡天** 諸劃文成 諸。來。令 劉 又。人 介 所 能 子 以。極 醱 陰 凡 異。陋 幻。功。功。 有 爲 烽 日。者。 在 安。奉延。承 真 禍 必船為惡 若 爿 불 端の萬 Ł 飯 陽 日, 能 鬸 是表吾、 道無 窮同 而。分 Æ, 셄 僧 於 Ż 公日。 忍。無 氣。降 敬 在 邪 功 Œ 也 心 製品 0 調 物來享 外o理 生 俗 可 德 分為 也。 者 日 也の否。 之°舉 廣 躬民 憐 獨 藟 心之 ٠ ○쏂 漏 州に豈 生し

亦不能以 日 蛔生 币。 理 也 也。天 善 之 所。善 偏。而 徘 遭 讏 朱均之不 行於 然則 為 假 善 所 氣 濕 乏。 陽 未 か 其所勝於是乎 於 乎有邪焉 非天之所欲 ネ 質。勝。福 Ź 有 而 嗣 交錯。 是也故其復了 時必有復焉故氣之 時必有復焉故氣之 息也故其復了 // 氣以生之則 // 書有 天果 人腹 茫 能 人。 恶。相 生っ漏 1 自容焉秦政王莽是已日跖之壽操 をと大 自 茫 不。萬 0得 於 脪 邪 形 背而以 ٥生. 陽 爲 正 死 而 非 互 之也生 勝其 死 o氣 為子 有惡 亦理 氣。 而 日、人。正 ○靡 有 以。理 伙 而。 氣 行無 草得寒而 人焉 非心病 其心。 心於為之也是故 非堯舜之所 行氣生 則 一於其 漏∘福 可 也人也者 之正者謂之元 天之氣本 人之欲生 其 天心。聽 福。善 方 其 至 無 常 期 非天之欲 從。而 所 剘 氣之邪· 物而 无 於氣 渾 其。禍 生見 相 生於 渾 所。惡。得 正。此 天之子 欲 活於 乎 严 ○週○邪 而 邪 邪 物 也○生 也 惟 B 、氣ぃ氣 一 朝 玄 死 物之 者。氣。氣 哉○蟯 Ż 物。善 否○有○艄

來 東 1。自 道 新 ء 便 移 有。羅 無 吾 齊。 右 有 的。列 精 西 Fl. 安排 į٨ 重 動。道。者。粗。 形 積 莫 運 ○謂 吉 神一 春之大 是 不 新 知 那 之日這安排 ·精 •粗 者近前 息不 相 童僕見一 的っ掩 者安也因與一 相 舊者退 熟 一 o說o錯 離。 。神。不 必 道 命○化○相 上案 器 有停妥處 ○性○亂○後 ∘服 各共 o命o布 飮 八将滿 息不 便 食居 ∘不∘置 有 ○在○得 定 桨 是。酌。相 還 。此 • 左 • 左 • 位 • 樽 天。指 欠o却o楚 胤 狙○然○袋 未

知·亦 之 其。罰 其 有 志而子 氣∘者○身 天、非 天 後 逓 者○也○降 昆○者○先○ m 有 ·也c逢o受 能。不。於 謂 孫 速 怨,人 天 天。者。之 之。怨。人 其o罰 以 漏 字之豈天之有 憼 復 。或 機 者。 不。非 ·卒 ·辛 有 之生 **木**。也。所 人。氣 Ü 享 私、 福 也不久 두 裕 鬴 滁 殀○未 不 可 而 壽。復 祿 繼 所 也。 懿。而 故 不。而 無 私 故 不 無 害。為 泖 貳。以 備°禍 見 於 Ħ,

其身

於

其

藴

而 庙

身で漏

以。責

俟。於

惟。天。謂

者。其 始。身

終。而

平。受

之人或

當

懿之得其 氟之復也

ÆĹ Ħ 有 為 的の做の已の即 夢 逕 粗 今○原 把 有 鈌 乎の哉の句の干の我の有 身 幻。陽 澻 胨。赤 否。 神 神 形 否。記 亦 當。年。能。間 乃 典 的。坐 事。倉 化 推 化 U 程 洧 p 亥 傻o的o做o矣。 有 李 的。萬〇理 Z 堆 性. 器·萬·當·年·為 天 年。何。" 烏 子 言 175 朱 好 伒 物の食の命 都 耕 古 日。太 吾 是 都っ理 之 看 耘 固 古 董 書 꺠 在。會 得 理∘簸 之矣。 首 是。之 地 的。是。如。等 月o: 化 這○得 太都 揚 者耳 旣 卫 古っ干っ當の也の 癖。足 裡○來○玄。能 性 之 謂 人 不 董○年○便○且 何 下 命。横 這の把 夫。 到 有了 有 免有 彼 的。是。所 也。書 乃 뽚 袋の日 神 炊 0牛 世 此 古。百。謂 謂 卶 推 上。用 化 中 女 首 Z 府 別 富 董い年の古 神 右°羅°事 性 有 咜 刚 彤 肵 $\dot{\Xi}$ 我○的○莆 醎 貴 化 撲 列の物の命 譋 身 龙 此 毁。 謂 水 功 能)古0者 性 頭 得○看 者。 開 而 古 做°董·在 名。 H 命○葢 天▷得 極っ處。 董 問 况 萬°我○我 郝 極 面っ下の太 Д. 榧 年の能の而 含。如 是 脚 古の粗?者.

情而 問 也っ 木。島。日 之 Ŀ 島 氣 化 氣 人。極 □老 氣 若 謜 塒 古 遠 自 僾 北 絊 ₽₽o 化 \perp 景 有 處○無 旣 新 Á 料-の此 ٨ 化 Kπ 有 ijζ 飝 是 爲 升 化。生 氣 有 氣 蛀 凘 化 禽 ο語 汞 否っ還 無 歌 化 後。服。有 者。 先と 酣 他口 化 っ亦 化 水 理っ 。何 赃 E 生 腈 書 婯 過 氣 老 4 之 生。 當 生 ○如っ有 ィ 然。物 腐草 者。云。不 無 p 人、焉。有 也。人 oΞ 崝 幾 化 徐 同 有 無 化。日。生 知·如 或 老 ○臭 丽 氣 或 土 綸 乃 生 之。日。五 之而 化螢 情 無 便 化·日 何。日。而 否? 人。無 化 便 Ü 有 何 令 IL 人 E 川 此 無 丽 情 先 牛 行 E 理。情 也。天 是 生 草 中。 化 而 種 蟣 後 是 邚 初 之 同。 重 種 也 E -F 木°海 秀 有 楓 者。為 化 生. 近 語 生 莫 如 去。生 時·氣·是 木 有 爲 旣 有 末 ٨ 鏃 不 Ŀ 生 還以 怠 望 ヵ有 此 共 者の是 兩 有 處 中 足 此 純 化 膚 忽 固 夫 間。日 氣 般 云、怪 是 氣 老 若 無 っ露 爲 楕 理 無。焉 如 有 氣 天 為 人。化 者の甚 此 父 旣 H 蚯 枢 化 洧 母 蚓∘形∘為 明っ氣 人 須 化 地 樹 到 全 夘 有 会 单 b 否。 如。石 분 或 W.

冏 及。港 亦の餌の是 機の居 世 ٥之 形 惎 河。斯 皆○延○虎 . 岩 世 此 者。有 途 百 好 石 叉 不 身。 漏 是。之。是 謀 世 法中 强 Ą 4Р ᇁ ut. Z 石 敢 伙 死 虎o上o河o张 在 者 桿 天 Ŀ 0 是 丽 玾 慆 E 有退 逞 奥 有多 而 成 是o亦。即o世 何 雞 下 也の測 牟 遂 自 不 河。皆○自。法○事 ž 一亳血 Ż. 如 制 凡 若 党 後 。在 夘 是。家。不 柞 渉 Ż 江 榯 皇 身 因 石 何 W 。之 虎。三。能 爲 用 身の兇 滲 夫 硬○别 中 c氣 、益。未 是っ軍の無 用 他コ辛 有 业 石っ線 如 人 - 1 奥世 必不 安 為 河。亦。矣。兵 此 天 虎º石 復 只 出 不 得 虎 即。是。日 法 等 査 奸 立 是 便 水 疽 不 自 噬○会○虎○不 日っ股 者。臨 經 E 14 株 乾 馮 藏○是→惟 皆呼 何 謂 為 给 οŒ 莫 江 為 石。甚 ゝ場 益 0英 時○河○行 在 Z 幸 好 山。石。見 用 測 只 聖 從。謹 雄 必 草。即。三 無 講 之 兵 為 有 此 此 聅 贤 勇 窠 爲 野い用い重い法い 廦 徒 摮 石 見 敢○河 水っ五 之○行○敵 信 特 本 邚 夫 邚 在 可 中。生 獨○間い時○家 而 河°石°人 怪い石

Д.

Ψ.

竗

笲

要

終

不

歽 矣 遊

要

終

不 奪∘

為

歽

溺 っ擒

卒之

虎

矣。 為

何 虎

自

朱子 知 不 方 俗 从 於 雨 滛 大 服。斯 固 可 有 Ž 心。大 Ш 相 Ш 譋 川。日 ω全 ν 痤 志。在 其 偪 日。承°川。山 實の鄙 鄉 切 滋 未 今 世 凑。 天 自 下 奕 此 肵 或 為 而 Ж 循 巻 而 野。有 ## 拍 折 共 朱 用 倚 狻 我 夘 反 而 潤 偃 非 津 郡 註. 其 之 流 泽 偻 復 祭 賴。河 > 也 o 乗 夫 之 求 無 封 俗亵 盋 眀 於 脚の朱 道。繆。諸 。者。拜 古 Ż 域 。其 꼐 ズ 為 而 陸 於 制。禮。不 髙 道 固 廟 伏 滛 全之 愽 者 程 不 之 祀 味 義 其 减 者。 沝 乃 究 先 之 辨 面 之 燕 舍 有 古 共 旣 土 生。間。其 多要者 典。無 其 之 鬼。 器 策 旇 無 木 鬴 ∘諸 於 也°擒 亦 義 断 崇 廟 二。 二。 則 順 。而 珔 偶 И 當 卨 俟。 亦 矧 左 而 尤 橙 。人 亦 亦 다. 터 猤 謝 誷 於 朱 無 蔣。 叉 叉 Ż 橋 深 是 丽 业 ٥Ě 譲 吏 無 共 前 ο廣 右 粗 義 遬 。民 封 ゥ蔡 學「 蓙 不 內 經 木 理 퓃 牲 以 能 間 足文 求 為 者。末。. 而 復 樉 - 牢 ij. 歽 名 矣。何 É. 槑 韭 立。山 佨

īŦ 냂 文 虚 於 文○者 丰. 新 悟 Æ 見 中。定 句 貴·何·人 文。 甞 春 괌 神 理 難 事 æα 欲○藥 爲 公 字 理。習 也。 而! 莧 日 秋 解。以 也。矣。至 史ぐ 以・鯉 虚 日。之 勝の見 六 班 時 左 其 生 史 君 於 而。 幸 中 間の得の也の經 接国左の 世 馬 。加 倳 有 人 主 前。不引 人 者。之 理o甚 U 四 學國 學三 圆 而 其 ż 不 ネ 瀬々 生₀其 推 希 也 何。矣 書 部 至 業 万 緸 學 世の 某 丽 自 步 呥 古。人 Ξ 刑 i 左。代。戰 書 於 世。無 其. 遺 上考必審并 五行以談 五行以談 Ħ 顧 何∘之 代 **令**之 史 擬 围 誤 術 也 譽諸醫 術。者. IJ 今· 厭 U 史 譝 策。劑 者 雖 2 ፓነ 常 上 漢。 特 漢 春 殺 軒 至. 颪 或 死○其 一之古 丽 安意 文。書。秋 棄 岐 渚 陋 人 謬 此。是。自 敝 ぶ 再果 渦 夹 Ż 安 西 者 毷 抻 Ż 謑 不。信 者 漏 加 文 人烹知 漢 腊 幾 之。扁。治 而 渖 И 知°必 者。恥 人。也。也 之 Ê 非 文 希。縱 亦 。君 病 1kg 肯 之。而 糸 闹 棄じ而 後 也。 畤 子 ÉI 不 經 束 之°矣。祖 墓 IJ 不 丈 Ż 未 則 書 謂 施 倣 為 也。普 玅 外 共 豾. 不

工 陳 朱 在。者 盈 則。說 之清意。瀾 作 初 千 平。日。欲 式。耶。矣。科 一。理 所 傷o白 15 渦 無 。所 先 家○行 生 日。般。障 祈 邚 慿 說 日の皆 佛 未 其 死 員 吏 無。家 矣。 許 滁 依o胸 楊 有 書 徒 平。 騟 逖 秀。禮。後 塲 部 命 意度。此 * 中 慈 韻。多 也。者 共 服。才。乃 中。畢 。槍 之 Z 理。 常 湖 分 有 ずっ自 彼。或 無·自 不完 愚 置 存 遺 明 後 世 信 之。偶 推 不 人。娃 Ήξο 抜 理 寈 是 人 人 者 倫。日。萬。然 陞。足 小。 泉 字 理。云。後 줆 添 夘 元。病 信。 平。我 先 於 不 事っ 山 近 考其 人 人。 此 若。家鬼。故。死 其 北 徻 能 世 增 邚 何 用。無 名。乃 後 如 是 中。总 壆 ベ 加。 西 源 Y. 說事 佛。秀 星。其 陞。雲 不 拾0者 能。 流。使 教。才。安。卷 彼。貴 **外c**芸 夘 拾 泷 人 則。奈 在。佳 之。之 理。 障い聖 是 之 家の何。那。者。官の官。 慈 __0 人 則 4 信 信 有。質 40 稻 星。有 之。子。 鈅 力的 豁 義 軕. 和。賢 烋 安○死 削 中。然 业 歽

漢·也。其·共 思。 少 有 經っ諸 之 之 か ぶ 此 言之今世 苦。性 僕 理 為 也 之 雄 共 不 夫 流○文 嵏 兦 論。余 弊。哉。葩 日。 也。間 六 虚 詐 平0論 頭 日 經 尓 佛 至不 睿 韓 巾 如 有○顧 如 學者 書 語 嫌 耳 洛 老。尚 共 典 歐○敢 目 天 譲 出。縦 寂 氏 强 黎 則 矣。文。.横 下 卽 。滅 可 中 阆 問字 ż 方 策 IJ 秦 為. 雕 不 開 廬 日 下 詞の滋 虵 怸 肵 関の変 珠 稱 談 來○漢 此 ○物○載 秦 た 立. 爼 莊 外ゥ 而 者。僕 文盛 佛 事の漢 死 畫○列 o談 丽 國策賞青曇聃其 共 此 有 袒っ琢 為迁 建 拥 文 家 老 多 詴 為 之 何。 礫 猾 茂 但 莊 縱 書の 正 平。共 置 或 安 者。係 散○荆 矣 焜 石 元日 驯處 列 横 英 即。区 析 燿 之 遠 寓 人 虚 玉。學 敱 。諸 矣。而 iù 無 押 詢 柰 論 廽 珥. E 士 大夫。 夫朱 武 嫰 不 應 書。图 肯高 何 泰 闖 月0章 焉の率 間 # 彬 漢○義 於 日。置 椠 。教。 扳 Ż 빘 ∘ぶ 而 御の古 之 事 北 贬 則 匪 彬 經 ĹЬ 羽 逮 大 赮 瓦 闔 左 興 文の情い前 辭 F 細 雅 質 管 生 非 共 礏 策 故 聖。機 渡っ置 阆 聖 載 E 磁○有

能。日。之 理學之 在 纇 也□為 開い但 犹令人都吝 袒 者 ०並 文。思。 於 夹 Ü 耳 放 機 曲 八異古人為文主 英如 英如. 縱恣 揧. 章。即 鄸 人 濡 傶 。在 學 淵 型 ○品○目 以。不 局 擧 孟 剔。 為 易。炫 理。然 卷 薮。上 可 染。 肆: 詐 于。莊 文章。五人。然而亦不 子而 而 而 之 消 而 不 木 之 所□摄ℷ 大 而 融 0備 六 慎 夘 太 見 不 南之標 | | | | 綖 。不 哉。不 共 蔀 'n. 經 蕸 止 <u>"</u> 名。意 中。迁 攻 孔 雖 覺 孟。然。併 齊其 至 胊 。始 虚 縱 時。稱 在 则 叉 於 開 也。無 棋 o的 稱 最 腐 쀪 爲 下 沝 Ü 止 **ド** 폜 粄 押 乔 移易其 余 最 緂 滅 ٥ 文 勃 真。而 縱 銫 Ł 為 奇 者。以 章 横 横 美其 Ź 솼 献 廉 Z 恭 文。者 共 亦 書不 理學 常。 亦 ji, 為虚 有正 取 浴 虚 書 萸 不 誻 嗣 無 ندار 文 不 主 奖 如 然 ·詞。党 共 流 党流 。駅 無 書 関の之 術 意 如 易。夫 君 Po 弊 ifii 不 敾 大 談 談 相 故。 -7 。非 者。瑕

胡 真實 也 索口自 敬 哉○逐 射 後 此。孟っ文。莊。 人。人 此 所 .神 廣。以 香 日 o 疏 然_a 間 縱 務 其 詞。列。 夫 亦 懸到。 莊 謂 求 漠 以 **ホ**し 櫕 及 取 必 正 外の以外 天 É 子 É 其所 及 莊子 自 用 遠 爲 國 怹 至 裁っ塗の 地 所 出 然o在o於 安 火火ル 樸 赱 策 於 也。然 ٨٥ 無為 Ż Ŧ 更不 U 排。 乃 ٨ c以 動 茂。---解 素 旐 勛 耳。 道至 然。不 排 須 本 ο抵 但 六 瘷 挽 助○漢○悟 洛 簱 B٥ 其 Ŧ ΝŠ 切 檢 朩 說箇自 虚 使不 及 而 隬 文 詎。 說似 誠 之自 道 棄 東の可 存 造 諸子 後 閾○者 知₀ 無息春以 初の 去 刖 王說遇 省察 私. 作。 為 己。其 宜 浸。 是 某 然o此 道 意 大雅。 っ然 然 百 鲗 懏 何 揺っ 而 日○循 理 理 助 使 在 無 家 此 夫 如。之。 Ŷ 非○天 實有 而 舆 長 為。 小之書讀之。 ٨ 乃 以 也。余 10 **火**。 生之夏以 實不 天理 道白 不 我 以 便 夫 養禽 稱 確 注 Ù 共。 為。不 嫯 諸 當 道 有 精 為 弊。 之自 之。巴。窮 知 非 相 苑 庶 理 主 凝 六 有。 天 垩 偣 若 婺 固 良工 幾乎 以 意 っ神 忽 Щo 為。然 攝o一 揮 玩 為 丽 於 孔 於。

F Ξ 着: 變 禍い柏 莈 ıλ 之o其o之o寫 o雨o之 人。由 不 耳の善 恋 有 無○所○無○鑒○亦 Л 出。明 秋 、日。 善 V. 故 為 餘 Eo. 為の無の為の感 庬 不 낊 襕 取 悪○殃○ 易 可の事の可 。寅 o以 遂 日積善 瀊 Th. 程 ・ガ 菗 語 U **也o非o乎** 。以 實っ日 之。 得 必 子 得 日。積 為 扎 U 之。月。 々 犬o狸○稿o日 善之家の 答 耥 쟤 惩 如 化0為 以 . 以 क्र 鬼 於 唐 得 藴 為 莊 愛っ 勉o出o導 成 人。非 鬼 胂 棣 漏 無 也っ子 强っ於。之 義 莫○以 z 之 之 門論。本。惟 神 亦 Ż の必 私o至o以 U 測o霜 , , , , 鼓 之。配o爱o神 蓼 主 有 ∞誠ℴ政 爲 其o雪o之 者 홊 之。 乃 共。人 4 造。之。教。制。所。謂。以 鹶 滅 受 不 刑 為 不。自 作。心。蕭 慶。 灗 清 禮 為。之。雷 巡 非 仁 訓 夫 順o召 有 选o謂o至o之 IJ 化っ無っ葉。 滛 矣o善 不 世 應。故 不 之。實。以 垩 爲 為。潤 矛 有 之 渚 百。之。刑 者っ知 秩。人 さ 可o之 享 正。幸。人 O 是 乃 Ż 然o理o禁o智 Z 乎。以 自 乎.0得 4 然○謂o行o謂o以 道c但o国

规 泣 之 月 ○大。川 鬼 而太 非 把 īE 悲泣而舞 酒 當 求o賢o 此。 一件德 日 É 孔子所謂不愛敬 (以致流 吹 所 先禁者。俗生也。廣。食 者。俗 此子何如果日自家父母不 彈 在 袓 悖 をマネーカー 市展衛而建不得也 小舞前宴外來資名 。散 成 請 宗父 旇 落 群。除 火力以起酒豆 忤 存 先 無o而 忌o欲 滛 一番 獻 逆 外。生 瀧。 子日莊老苑城 服 ο文 不 葬 闆 祭 **揮之甚耶** 幸之甚 去 (其親而) 自是不 不 來資客 **外**面 祭祀 F 共 乏 復非 邶 者子 愛敬 m 醉 其 有 天帝所。 觗 此 而入又復 飽 日 在 敋 隊。 枲 外 先 他 養 連 在 之 廟 浉 生. 日○家○將 剄 日ぃ者 他 共父 父 犬 也

之特多不寒不暑光風· 之特多不寒不暑光風· 恰好 · 禀 本° 所 有萬 謂 值 非 自 Ħ 以 侩 常 時節 氣。 這 Ä 有 性 殊 便 (如合璧) **点元之會來** 簡 間 温。如 不 段∘ 本 빘 水を之六 多有人聚素。 B.烈是值陽氣名 B.人生多是值 蔣o 諸 真元之 所 婸 齊只 土 所 姦險 有。人 也 値。 性 性 性。 U 有 五 便 逄 剛 ○綠 敗 來 亦 全如曆: 此 星 ∘有 重。陰 氣 後 等極 一十者夾雜! 一十者夾雜! 又 如 如建 性素不 然 世 世不齊之氣, 松秀月之時極, 是 值. 忿 多。此 天 紛 極 愚 魚 属o有 旗 地 法 珠 同 ○紛 **构**。氣 是 間の間の 箅到 之論。 脺 追 切只 《之惡者有》 等人 相 然這 便有 燥o氣 極 冬 差不 寒 似。本 풀. 木 只 盇 極 邚 少。 極 性是潤。陰 聖 數 氣 天 不○道 参 是 最 奏 有 暑。 奔 人 運 差 之 軟 鮗 خ 合。來 金 難 便 所 聚 弱。等 脢 齊o性 五 'n 出口是 渾

說得性 皮其言只性即 先生太極 說得氣 子思日 接處 朝氏。 便有賢愚 善柔惡之 (善惡化) 到 道 粉 叉 捉 近世東坡蘇氏又以為 齊中 人 為 魚中亦有善惡如無者所謂剛善剛 **以模說簡性是天生** 入以為性無善惡知 **海**的抗定 未 善 禀。 愚 一能之已 必明雖柔必强 所以 之大 韓文公叉以為社 然 魚 便 類不是陰陽氣本惡只是分合轉 理也理則自堯舜至 自 工 雕 方如說 是甚底 有子 一夫最 不 然成粹駁善惡耳因氣有 齊而 是天生自然底 百 便以 之。難。 人 非。 得分 物直 都 丈 炅 性 Ē + 百。 明極 含糊就 為恶楊 至二 性未有善惡五 有三品都 爲 能 倍°則 之已 畫 此 其。 於全 至夏 程 物 冝 功。 夏不 得 予 自 ቾ∘靠 奥 瘷 火 便 £ 之。能。 Y.L 果 故 亦

陸

业

當。五

其。理

問。 奎 祈

無

闽

朱

#

死

程 子曰。 執 言。伯 豪 事。父 生 か 日。之。叔 理果在 伯 之。父爲 オ美 貞淑 叔 曼 父 **企**足、 不 。顏 斯 Ż 典°伯 清 女。父。叔。 4 声业 個不 同°大 也。無 弟 文信公何 伯 南 衞 厭 ※ 是 理。長。 莊姜班媫好。 於 之短黑 容華。 在文字林 叔是 呼 常不 爲 刚 少 少 今: 伯 脠 I 父 企 藻 前之宫 何 之 权 À 洏 ±۰ 曾 父 乃

善惡所 程子 下○本○禀○性 個 在富民 ·學者只 復。則。不 曲 於 是 名とさ 只。所。明。來。本 說。論。二 故 性 奸 在°免 物方費奠登有不 其言日: 不。獄。得 得·有·之 當·臺 澗·使 按 框。大。則不是 其富不 合日此 法。 發出氣 夏不 道○備○也○性 理。若。葢。不 富果不 。人 可 全。只。只。論 好物 富有 ·論·論·氣 ·氣·大·不 改 易。 左。聲。 克 日。 禀。本○備○方 明 の面の面 不。不。氣

及。及。不

W ∘是

陸 졵 以。云。教。酒 賏 棉。子。 雞 ż 퍔. 敄 弄魔 鳥 民 。 復 ○多○祿○大 祭 人 餟 松の親 其 办 彦 鄉 足 R 建 天 断。不 ° 覆 返 後 子 也。戚 **売**多塩。於 力。日。果 異 腐 車 |塔余 欠 妑 含。舉 何 祇 ○契 何 ٨ 得 宮。 親c於 朁 杯 °交c ネ ° 放 え Ľ 賞 E 至 汇 子 ŀ. 占 凊 舊 ш 江 飽○造 處 包 酌 為 梅○族 飾, IJ 之 從 有 古 疩 Ż 淮 妻い物の刻 亦 此。耳。情 蔵 之。光、彼 ス 非 盲 於 会 不 拏[°]余 責。未 當 清の遊 濉 節,孝o親o 水 利 識 害若 而。書 庶 o揆 明 c Pro 清 故。荷 塔不 精 迎 字。 海 何。喜 幾 之 非。盡 祭之 明、日。虧 及 Ă 夹 多 益。一 亦 孝養 於省。歡心。墓。而 諸 祭°生 珠 能 恶 内 有 忠。前 不 ○而 後。墳 之c事 之 廷。 揘 自 之其 未。並。至 平 有 也。歸。 大 所。厚。之 Ø 衡。傳 報。作 大 虧。E 祇の至る景 4 不○禮。 率 者o何o言 神 國○初 得 即 稍 路○節□ 奥 如。錐 載 夜 編 o 有 為女子 對い入 罪 當 能 青。歲年 兄 餘○養○葬 亦 又○升 師○仕 办 孝 耳の節の 收

弁 笛.

其

友o政

名 斂 養°然

之。與

薄の祭

及。怪。

光。於。將

有

黄 中 而 言。命 命。之 楚 鐵 也の思 豪嘉 朝 者 妃。二 五。誣 坐 棔 廷 甫 中。人。 如 海 耳이小 全。金。我○计 有 日。耳。無 然 何 崇 朝 其 俗 日。神 惟 石 不。嗟 孤 務 潔 o 方 家 常 常 陟°廷 人 礼∪数 地。天 相。乎。许 可 鉅 -ti 也卷 有 念 命 旮 從 故 元 為 胂 為。甚 之。積 返 言 推っ之 定 久 謂 用 天 Ξ 大。姓 用。哉 者。而 侑 無 命念官命 裁"長°矣°是 行c 大 者の稱 海 抛 林 亦。 方 謁 天草。 類 狡 俓 運。亦 皇○氼 氏。 然 草神 不。士 也の葉 不 吾 如 若 因 地 之。遂 天 故 摜 相。之 楚 郎 食 魳 善 人 命 其 赮 放 可 為。因 草 人 カ 煉 而 君 愚 得 _ 大 祀 后。製 亂 の制の酒の貨 求 И 也。 定 遇。 方 官 爲 爲 海。字 险 使 愚 之。他 且 H 或。 命。好。者。重。小 次o者o囊 图。三 藥 陽 船 俗 IJ 是 於o謂 貶 之 素 不 而 Z 友 年 刚 淬 常。取 而 偶。 敬 文の地の一 郑 柔 紩 得 继 铅o 而 然 随 者の大 命 其 女 日。草。毎 Ž 宜。為 t 夘 者 無. 歽 太 成っ返 ħ 矣○也○定 稱。天。旅

汞 南 瞿 분 用 是 見の詰 山 附 易 - 安陰 書 毕 寯 於 灯 。之 也 十萬言 。劝 不 必 夜 寓 僧 粉。 恋。 記 枚。 ٨ 知 於 日 天下 夫 復 先 僧 雜 含っ濫 因 水 無 載 夫 P 者 白。日。處。有 。五 有 佴 物 銀 怪 方 鳥 邪 官室之美 吾開 崩 光 吾 石焉。参制爲也佛。宜之用。硃。或 為 也。士 夫亦 令 之 謀の置 Ŋ 矣。職 政 乃 z ٨ 濩 則 夫 事 石 老 莀 邪 六十以 非 日 撮 計 袭 可 稱 造 信 者 木 佛 畏 傳 佐 賃 其 耳。妖 IF. IJ 好 化 朿 妻 · Ì 現 共 能 其 尺 蓌 斯 造 准 古。之 毘 僧 利 大土有形 化 土。 往。光。神。首 有 英 放 仙 矛 俼 <u>4</u> Ė 滓。 南 度 動 桥 招 ሰ 者。乎。也。以 於 旣 世 业 。致 可 欲 潜。敢 光。世 售其 込。之 英 取 法 嘻♀ 黄 饕餮 故 长 所 有 其 日 遠 固 百 禁 矣 謬 共 爲 荍 生 っ識 氣 然。止。近 首 種 何 青 ₹ 不 割の 黄 烇 水 窮 有 戒 程 種 就 男 可 校。往 胘 白 客 佛而 Ż 。<u>至</u> 是 神。 日い類 觀 也 女 成, 愚 往 菸 之 竸 淮 形 之。俟 始 聚 75 则 俗 疥 論。為 雞 我 自 至。觀。 復 耶の鉛 民。餘 出

日。則 興い清 柩 古。タ 人 記 為者。云。上 皆 以 用 周 心。不 無。學 静 刮 吾。瀾 今の落 羌 نال 化 功 孔 4 不 虚 訛 僑。日 之。之 面 人 非吾 常平 下。夫 孟 不 動 日。主。吾 思の験 p (者水 寫 所 典 子 色 滅 重っ無 於い儒 豊。也。巻 泊 程。命。住 泉 天 是 賥 是 と大 此 欲 無い所 散 子 獨o作 址 莊 地 中 也。於 d. 事 。聖 故 欲o說 一。此 荕 而 弟 者・ 同 形 捉 面。神 文 静。而。静 鬒 李の記る 寫 告 业 非 不 月。上 盎 Ł Ħ۵ 静。字。德。出 Z 之。吾 垂 吾子 老矣 惟 用 朴 用 ○他○無 # 淼∘此 書 離の與 矣此 功 背。功 。神 流。無事 於 日。學。禪 哉 語。 常 不 年 孫 夫 Ł 劜 夫 無 主。學 於 形上 後 笑李 者朝 可 夘 也 用 。於 者 。而。坐。欲 身 者 於。說 JL. 謂 為 Ū 莙 功 И 返。静。 腹 無 而 無o静 悬之 見 用 死 欋 德 子 夫o華 静 事の字の 萧 石 JI 0 Ħ 欲 功 豪 浴 夕落 數 則 而 所 夫。年 JE. 他の也の而の辭 甚 所 平 何 ○ 黔 ○性 □ 以 肵 敬。心。陸 無 矣。 静。同 之 朝 之 泉 奪い樹 萬 氣 根 賢○然 q 為。此 子 欲 太 後。則 於

呂 陳 必然至謂擇之不精地之矣若夫論土勢之强弱風之沒淺穴道之偏正以此 子孫 涇 艚 ď Ü 無 融。仲 c差 可 心 F |理哉 · 於此則 析 ΪĹ 寫 Ü 野 近 淡o醇 亦 亳濫而 。之 中 子始 亦有 必然 淹 通 0日0浩0日0憨0 世 穴 风行 天 然。醉 八道之偏正 水風 をとか 無礙而 迎 也っ死 ·者於此: 仲尼而為此論 封 於 大干 Ţ 之。人 魂立 之自 盖上古之時 **凸絕滅之髮則** 侑 事の氣の膽 水 真 白。大。 邚 里。 L主之義遂忽 日秦漢以來始 之合以 朱 等。謂 理 風 然。與 事。性。木 充。酒 地っと 丁山陵議狀其日梅木, 之不吉其 漏上 者。塞。融雖何。決 折 木 句 吾亦 為 养之 示 鲁君 荆 旬 禍 义 達 學 懼。 大 枚 同。 · 聚 · 定 散 · 之 於天之妙 爲 冇 ılı 甚 不 漏 之。也。 佊 。之 不 Ш 野の怪の形 蘣 有。人。 所 驗 講。 陵 乃 原 而 非 不 胂 不 以坐 能。 芣 攻 封 儿 右。 座っ 外 專 廟 不 不 安。以 恐 但 而 则 養っ 有 於 樹。收 ıla 爲 説 (不… 鲍 命。

朱子日。 烕 其上 學不 功。生 昔人謂天不生 定夫以 淳○者 諸經 論之六經 Æ 朱子萬古皆豐 朱 涮日朱子未 風。耶。 更 息陸學非 程 而。審 學自朱子出 溪 門諸子以 生為。仙 出佛學不 佛 自。若 卷之六 忽 宗 非 方解。 殄 。是 。 置 。 自 義 。旨 之其。彼道。世。仲 甚矣 得 豊 神 得 水 有 出以 又 : 是 論語 ぶ 禪 明 衰。子 佛旨釋中 人 文 重 耶ぃ尼。 水子出陸學, ,出六經之言 八之無厭 快 分晓。 王安石 得 **究**辨 後其 中 萬 以。俗 别 塂 古 子 上。さ 方 思心 至 如長 如 書皆廢愚當因 日。 謂 義 庸呂 蟾以 禪 張子 仁義 也し 人。目。 · 夜愚竊謂天子無人識得他 之得 理 0 家 然後知朱子 非 ılıı が将で 轳 豊・不思・神 徘 不 居 韶 矛 佛 汇 修 c 此 It 矢 朱 则。 Ü 盲 之謂 于 佛 囯 佛 解 孝 都 出。學 此 佛 旨 悌 郭。久 易。 不 破o雜 旂

黎州 張 往問 其。萬。應。殺 後 陽 者。 因心此 南 數 其 办 白。皆 人。虽 奺 前。物。一 。者 捐 於 除。特 萬 木 世。之。座 枚 是 示 旣 之所言 。尼っ 陽っ戦 計っ日っ心っ 而。最。周 皆有。靈。之。罰 義 只っ服。而。最の間 坐 白 於 人 蒸。塲 起 向 故 多とか 醫人 日。 中。少稱力 是 :: 。釓 理 视 在 下 旿 惠 罪の其の皆 為 Ł 之。淮 <u>ب</u> و fii , 尼雪 釋 牛前 牛。官 有 被οた。薬 託 莧 猤 簡。 有っ天 上 念 因 人 罰。者。其 驗。 出 佛 心心。 降っ気 彌 宿 急 之っ為。異。各 青 世 異。氏。於 言 來 人 い除 紛 望 失入 皆人 底 o 心 牛。聰○公 呼 굸 枚 是 人 自。晦 燈 小 起 甞 獨 翁 其. 棡 雝 是 刀の明の獅 為い則 寺 恣 明 能。至。折 前 也。 有 IJ 然 人 福。祭。有 中。意 玊 ٨ 滿 奉二 為 其 朝 べの此っ地。夜 人 自い智。之 世 死 前 猖 Ĺ 罪。者 妖 。稱 不 知。皆。日。姓 中 闢 -1 扱っ 一牛過尼 能 名 翳 是 音 14 士 何の気の之 平。不。謂 小 o 洧 鰰 大 無 业 於 能 。 尼 預っ不っ寺 维 是 自。有 薬 官 尼。夫。 散い僧」聲 4-前 1/2 名 ·座、卯 o 靈 o 皆 欧 則心云

之書有五 四書六 書。若 防 是 近 忠。類。 筷 理 俱° 謂全 玄 此。竭 謂 百六經通鑑之二 親是 凋 。該 背。心 贅 而 制 此 無。思。書。报 善 讕 書。敗 拾剽 **懲惡。世** 彩え 氣。益。有 無 或撮 俗 言。失 關 z 妨 夢是 竊。是 書。十三 本 於 z 其 道 老 千之 莊 業o天 謂 類。 要 之 不 Ť 列。如 書。謂 足 益。不 名 此 魚。 圷 言。大 不 是 詩 围 IJ 人 斠 洼 Fo 衣 声 謂 道 败 宋○集 Z 不。 要 類 逍 之 之 無 綎 書。 讃。 書。其 病 學 17 書。 古今 道 類。益 史。常。醫 誕小 常。雋 袮 是 菸 之 丽 目。技 義○目。膜○十 青。謂 不 Ż 身 多 在。農 文 在。不 心 人 之。 献 1,2 之。必 説。道。説 養日 . 用 性 职 吉 通 生。盡 之 之 . 小。温。姓... 命○力。雖 4 死→歳○類○道 考

1新吾日 全書 之 حکار 飢 有要 □是。食 4 馮 書 冇 惒 籍。 世 真 بخ 小 濫 書。於 有 令 Η, 道 書 Ċ 有 7-如 贅 種o 惻 書。有

有不

用

之

書有

寎

道

之

道

洧

顣

經 書

莊 有

史

疏o雜

周 之是亦淺丈夫而已君子不 但自己理直 **出之爾或**日。 以此見其忠 惡聲君子不忍以大惡出其 何 最。之。作 八不知是與不是即 知之 甚大故不是處只為他不此見共忠厚之至也且如 也 可 敗 妻。今世 ЫĬ 件大 如此 妣 至 也。 此古人忠厚之道 如 程刊は 老之ス 桷。 态 彼以 必待彰暴其妻之 俗乃 il. 忍不敢發 到 何 馴 此 善 بلاه 妻不 1之何日之。 12何日之。 14世年 刑 必教 便 出 賢○教 出出 妻為 **心**不 成有 出之 柩 也古之人交絕不出 亦 八知然だの日後が 1害事(《妻而以 如 叱 也 。觀 心 是有遂不敢為之何害如子思力 只為令人 不 狗 問古人出 甚 之 大凡 。於 s**害** 使 有 É 因 無 親 後罪 去之 不 彵 前者。 黻 知其 辭。此 兼 쒸 右 罪°他 家。持 此 亦

儲沃! 木中銭入 草藥敷 **東之煌者**。 其為衛不 女巫 不知 焼期 向有 乃 **퇯之自** 起其聚之焦 成日 基多 不見人多神之後得其你不見人多神之後得其你不見人多神之後得其你 Ħ 。此 。狄 H 其 古語 煙 行 意否日 舊聞 為藥術 聚爐上人 去 莫謂安置也 不 種 雷法者以· 焦 即化校 埋之 莫而有 是 滅 知所以 咒 、有 定知奇怪之事: 盡 者藏 ·藥 ·於 是之。出也。出 棗 是 親 地中七七 也 前者 姑放 師巫多 、身鳥 那 棄北 夜 鏡 A; 煙 れる以 P 奠酒則安置 游火 令其可嫁 術託鬼神以 衕 起。 数端 初 真。 也。或 六術乃用荸荠木架 或使自投於淨盂中 韵 藥成每密投 挟 納 忧 非。感 後 兜 Ü 酒 衠 名 児∘ 因 如 數 則 祛 以 雷 。期 燃 絶友令其可交 叩 푯 一於神座 頒 欺世 **欺**神 後 神~智 合而 術。精。之 Ż 焦 箇含容意 水 則 道 者。 酒於艺 者 少許 A, 如 至敬 向 魳 داره 之 前 此 銀。中。見 香 狐 乃 雞 惑。類 卶

胡 泥 敬 滅 。釋 櫯 揉。稍 信 聽 徘 英 為っ子 不 IJ 也。代 狸 氏 **激然懼** 日。日。隋 趦 祀 剛。於 桑 性の個 必 諭 徘 公 槭 滩 殆 天 者 說。不。以 如 巩 金 Ħ٠ 祭 日 命聖 池。老 节 於 柳 M 某 此 藉 孛 彭 ıΔ 由。為 扎 。空 恶。于 不定 。其 大 늄 뢷 星 Į. 翟 平。陰 今 Tri I 叔 刚 叉 抻 野論性 旣 命。敢 所 丰. 剛。陽 爲 計。英 羽 분 盤 謂奇 有 說 U 刚。八 君 刚。柔。大 名 敖 枚 精 直 延所謂公者不能空矣! 以有個真性在天地問了 無人 如。 俞 則 某 而。化。將 曹 至 IJ 遅 等。學 性っ為 則 偏 莫為 足 變○剎 胂 檎 於 度。 是 說 命 一定不 者 土 化o縕 者 冼 有 推 亦 否 原焉 Ż 俱 力 柔。氣。礦 矣。こ <u>j:</u> 7. 育 謂 杳 ₹o 可 質の磷の非 全 得 流 殺 命。 而 · 療己子生主無所施! 真。宾 易之 無 朝 則。人 叔 謂 剛 賏 佬 虚 者 20 $\frac{3}{3}$ 者 在。得 英之 11 0 等 傾 丰. 具中 不 舫 惟 施。 學。之 小 語。命 m 之 企业 不 能 戼. 。克 件 1111 不 力。以 所 办 4). 雅 得 生 無 有 岩 权 或 生o却 邚 H 然っ火。 地 矣。精。 奖 緍 471 柔い収 其。也。有 此行 非

息°震 此者 兇運 佛氏 道。免 ○黻 也。實 之 厠 有 老 邪 真。可 有 不。此 Н, 聚 聚 迶 實。信。學 Jξ 世を 設 此 形 有 散 性 ž 比 週 o 動 問 Æ, 可。身 ぶ ぶ 思 為 Ŋį. 識 Œ 老两 體 聚 虚 禀 性。薛。虚。吾。以 1。如 之 私 者 貧 뷟 故 住. 性 □○何 此 以 氏 騏 枚 老 則。儒。順 泛六 日。是 言有 理。之 性。 八の死の 步 其 Æ, 有 냚 1 Æ 真。說。倒 示 虚○有○錯 安 老 氣 青 如 不 實。散 定。多 指 Æ. χĘο 抬 H Z 同。豈 不 有 那 唟 則。謬。 前。死 何 谦 無 氣 氣 不 震 滅し 生っ埋 ήÀ 散 遁。之 蕣○而 形 聚 可 共 真。說 Ż 識 處。其 之 肋 說 以 盧 真。 歸 1.5 يار د از 儊 見 有。空 蒙 道c故 意 是。真。自 者 理。為 圶 理 渚 說。說 將 道 佛 杏 又 有。說 亦 論 無 邚 以ο殊○無 叙 jį. Α, 為 明 ○虚っ 1. 喪 何。生。不。中 無。之。道。白 Z ri 虚。不 散 則の説 氽 罢 若。可 性の 把 近 觓 此 精 日、爲。知。而 死 刀 釋 重っ無 住 釋 不。生。生。里 | 理っ言 爲 糸 型 切 o無o說 ıfii 灹 無許 無。論 此 氏 真。有。佛 者 崩 別の無 瀧 指 之。行 也。老 實。皆 矣。生。氏 青 刘 氣 物 以 不。氣 則。不 知 問 之。不 ĮΝ ふ 机。仰

曹月 然不 讀 借 死不 讀司 丽 至 孫。以 譄 汤 儲 紡 ပါ ၁ 使 爲 情っ 安。為 作 Л 푬 為 書。先 薦。用 轨 然の親 積 先 积∞于 每在 先 馬 善事 H ~~而 꺴 4 德 明 不 宵 憨 生. 밥 道。生○受○孫 温 日親死 信 檑 日。信 積 有 非 逍 囚 漏っ長 公 天 好 単 矜 歽 埋 道 佛 恶 罪 惑 死 滿 諈 火 。理. 施 式 染。之 不 鄕 事。有 Ź 死 敷。不 生. Ż 洧 Ŀ 負 世界 有 士 IJ 葋 厠 罪○小 而 生 テ不 有 用 針っ 桕 枚 平o違 於 双 豊○人 黱 日。僧。親 余 心。難。 利 介于 周 瀊 Æ, 斯・也。浮 流 超 僑 在中 笑 如 何 솼 鄉皆 孔之 爲 俗。不 喜之。 /P·o何 所感 盾。 度 謮 欲 日の積 如玉 慈不 非 。总 屠。其 是不 父 孔 作 君。除 爲 禮。然。而 不 所o待 母。 聖 佛 依○德 冊 稱 訓 典王忠 孝。能。親恐 免。之 則 千 U 靓 辈 17 書。事。 舊。於 而 日。 就 能 書 免生不 鄉 違 親 子 貴 然。君 龙 是。真 不 人 49 俗 致 悲切 íYj 15, 丽 之 利。真 Ħ 、迮 孰 立。為 人。鄉 日。厚 心。之 M 日。 近 П 疝 ・非っ子 ॅ·∘ ┡° ∐ 載り 倌

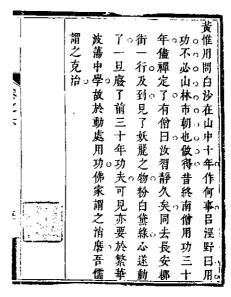
P ・北 義 。 性 。 仁 剘 有 小 同 ပြုံ 見羞惡之心 卽 即甚悅色之人 食之人而 原。義 必 的。 塩 是 耳。故 خ ه IJ 故 $E_{\rm b}$ U 宜 古子 告子 ○說○仁 H 占 日。失 為。不。義 子日食 4. 之 部 食 原。知。為 之 占 内o共 之 色 民。性 是。仁。人 誷 驗○侮○人 밤 白。義。為。性。色 然。原。為。 既 性 76 有 語 汝 杫 生。吾 Ž 之 饕 折 原。是。婚 以 也。 乎。第 日。人 之。非。天。强。食 井 汝 也。如 矯。生。所 Ø 食 妆。次 仁·淫 事 刑 强。來。以 為 悅 意。實 義。人 必 食 Ħ. 有。有 色、类 天 亦。也。羞。性 不 的。以 性。是 動○後 悅 是。則 也。別 原。人 爣 天 Ħ 天。必 即 是。性 Ħ 生 生。惡。性 甚 t. 天。為 然。來 夢。安

。則 Ē 剧 曹 月。-一門其故心宣善古 車 兂 丧 依 轢 生 。葬 文 之 玔 Ü 办 吉。火。矣。宣 夢。得 禮。 隶 故 쥒 耳。 罪 祭 聖賢。 튤 剱 人 配 摬 吝。日。車 栒 夢多 Ü 内 傷 祭 各 庤, 士 物の狗の當 足 毋 也。故 三占 白 爲 大闘 旣 始 勉。 曹 夢當 經 不 Æ 既の夢。車 之 B 相 ψο 科 祈 罪 率. 食。 告 iZ. 人。 真○夫。入 得 驗。 心。 詂 棐

魏

虞

有 矣。整然 卷 某 後指 能の抑っ善 文清 皆 法 問 Ξ 其∪者の辭の備 有 治っ何 者 所 無 為っ雖 百。尺 相の此の未 黰 奸っ自 Ü 於 如 的。 獲 の簡い義 程 我○何 出 非: 可 者ゝ稹。而 日の率の皆の有 冶 忍の為 矢若納 た 以 子 而っ智っ如 某 是 人 而。伸 奸 世 萬 故い意 Ħ 駊 方 又し哉で若 有 陷の間の此 吉 為 頹 字の非 办 0佛 ill 於。近。之 非 所の使の納 物 北へ賣 下 微 但い周 其 有 態 以。良、賄 奸 自○世○例○有 皆 陽 嬌 法 っ備っ直 箇 省c備 貮 乎の長。善っ而 欺○禪○其 頑 以 覺 内 好○之○縱 求 也の學の 朱 於 有 有 直 方。本 者 ∘芝 頑っ寛っ釋 子 我。功 孟 犯の賄 之○者 内 理c 也っ抑っ奸 者っ 風。亦 日。其 於 子 要 執 從六 內。是。之 古今 此 P 不っ頑っ 法 而っ未 ٨ 世 僻っ亦っ正っ共 U Æ 道 誠 髙 伸う則 U 。有 陰旣 治 何心: 未の斥っ本 聖 客 敬 位っ是い 良 效○如 人 の其。亦 る。 ķ 之。此 賢 日へ心 以 載 萬 不 直っ認っ不 惟っ之 則 哉o 不○遽 問 直 顖 也。知い是の内 名。不、宽 物 自。有



柳 言。作。他。困 雖c為 也と衢 將 行 笡 之 非 柳 書の春い其の於 宰 唱 死の史 又 揚 恐 加 為 也の州 雅 事∴秋∘不○魯 不の者の言 E 1 揚 懼 御 史 Ħ 。宜 液 亂。循○孔○遇○衞 可o然 不 ₮。▼ 入 生 尤 於 史 退 Ж 梁 卷 雖の遇の子の而。陳 回っ亦 ž 有 何。卷 政 朝 大 段 中 之 名 顯 不·且·儋·死·宋 他の甚 以にた λ 事 止 廷 也 ∘丞 為 夏 詛 爲。顯。不。不。蔡 如の惑の漏っ異の七 而 堂。人 則 大 銮 為 見 史。屯。遇。以。裔 回った。則 夫の貶の紀 夫

不包 為 史。 若。位。刑。而。 榮c. ДĊ 號。 和豆 .jt

旅っ

看

之。居。有

感 🌣 思 🤇 若

共。共、罪

位、道の夫

道に前

荷っ古

重·之

他の暗の去に前の月

孔

Ť

其○又○而 c 作 ○ 楚

亦。得、也。秋。其

孔c佚o時c不

子。雖。雖、能

累。紀。不[°]以

赤。以。若

春○周

秋ぃ公

為。史

司

Ū

斶

族。不。死。春。者。莫。其。天

放っ時

常っ諸

其。矣

美 升 ೮ 叉 食 蚍 其 事 の 將 安 天 在 楊 褒 坐。 下 御 揚 貶 行 士。史 入 成 呼 其 臺 艄 败 不 唱 敵 預。府 5人 益 於 設 美 愈 為。不 內 架《使 益 食 庭 則 安 肌 類○使 外 叉 坐。其 訳

錄 氏

者 A.

稿。

就。

避

忍 有 艑

懼 刑

馼

訤 肯 蒹

班

됍

不

下

盲の崔

出っ浩

於《沽

幸で量

不で具

為っ庸。

史の皆付

夏

IJ

뜋

此。荒,人 雜 **%**. 使 ፉ: 若 明。武 拫 不・中 盲の中の喜 述 。爲 今 悪っ督 無 久。车 ここ是の則 者c 事。直。道。不。道。然。 扩 學 Œ 無い責 P 則 有 亦 但 人の同 多 不。不 可c左 卒 負っ如 考っ所 可の追 叨 各 U 人。職 有 得o忘 以っ丘 行 湛 準o脹o非 굯 也。以 卷 所 皆。者 諴 中。其 是で明 ग 行 之。明。然 磊 有 不 肵 Ž. 謂 日。又 邚 道。重っ為。以 託 祭 然っ聞。ご 焉 者。後 志 磊 知。我: 所 此 刑・無 戒で疾 平。如 杂 肵。為 者 軒 徒 知c 孜 ~~ ° <u>~</u> 者っ鷸。以 其 眀 退 退 不っ官 肵 天 信 孜 孜 人。若 今 非○他 餘 之。之。道。守 則。是。退 天 恋 地 孜 人 不 所・事 皆 子。獪 好 迟 **耶 c 恣** 者。P 不 敢 卒っ後 Ż 恐ゃ自 不 不c其 賢 語の放 沂 富 之 又の也。決 怠っ誰。來 日の也の恐の出 **凡**○果 畚 之 此 毎 怠っ 同 能り織 我 凡 退の此の子 机。若 夘 智っ泉っ有 不 毎 则 騀 紀の今 之○是 华 是っ退 者。傳。者。人 神・志。流 1/13 非. 庶士 之。退 史 之の循 没の僻の幾 - JH 也。百 事の豊 後 之。又 恐。之: オ 遊 膛 ▶○當 來 耶っ所 _Ħ. П 不 何 年 雅。宜 ボ∪待 傄. 、於 17 坚 A 加 能 在。守

Ŧ 應嗣 言 三、 笑o唐。 Å 世 īlij 山 豼 也○名 则 生 行 者。且 此。 蒼蒼 而 實日 張。 予 是 寅 下ゥ 4 丽 長 而 矛 Ħ 而 。不 尚未肯與之為友也 ĚΡ 祝 怨っ與 PĴ 無 日○此 譙 EL 又 去○彼 古 者 啻 為 天 果贝 本 致 詩の古 大 也 為 不 入 應 爲 発え 聖 同 7 夘 詞 諸 噗 非 葱 亭 恐 果 學。言同 蒼 里 者。乎。 漢魏三 耶○甚 於 軰 性 か 詩 鬒 巴。當 僼 ĮĮ. 急。萬 專 之英。雄 情っ春 不。為 P 非天 子 Ň 卞 物 家 · 里 秋 ○勉○面 政o痛 天於 言 為 而 唐。 間。學。無 玔 浅っ 堂 友。 之已 之言。自 不 也。 부 詩の詩 而。為。 退之宜 堂 所以子言無友不 方す 同 傾 ο天 Ė 之。名過。而 欲○又 E 學 平 之 此 É 遠い動 今 勉○誘 可 張c為 中 肵 形 罶 日。也。有 亽 人。館 更 引 難 期の 者 謂 氣 風 莶 何 詩○難○中 去の 思。 Ħ. 如 為 天 也の Ϊ́ο 動 氣∘三 也〇个 矣o他 可 叉 曾 並 甚 他の存 稩 迨 矧 百 詩 À 哉。人 何 為 為 子 漢 緩○求 乎 昦 老。之 有 及 以 速 如 仁o 與 加 漢 後 詩 ź

村堤爐 じっ情。楸c原 溣 慰。且 思 妻 有。思 子。此。我 迭 為 調 殆 非 然 c身 然 至 有 ごさ子 各 狐 厠 献 ini 代º 乹 汞 走 黄 樹 兼 雅五 ıĿ. 父 曾不 餱 食 者 滑 其 壤 不 姕 。母 Ü を之 滅 非 壙 無 能 佇 北 奚 得 內 相 獲。 春·犬·家·去 樹。季 風 愎 Ħ; 樂 我一 分 t 遺 交 筵 懐○月○平 Á١٥ 問。往 其有 (麗子面 封 ìT. 雨 南 삙 R 侮 親 我 東 華 脢 Ü 偶 之 押し pp 基 表c臭 我 子 温。 父 爾 餌 偃 霜 雲。 之 屬 止 也っ生 : 我 目 疎 毛離裏 息 阻 A 菽 母。而 宿 居 不 寒鳴 在 美 之處。反 之養 離 Mο 生 里 Н 米 M 索 如 欽 開 非 之 乏人。 此 笑手 是 秮 朋 JE. [J 之 對 况 其 念 相 語 Z 会 **A** Ļ 念の之

我 枯

存 央

夜 友

弛 吾 兄

於 道 纺 水 太

ż

平9上。與

非C面

父。此

日。俱

寐。同

為 不

> 之、荣 為 為 多

身で二

有。展

此○轉

身。典

安○喟

有。然

哉□嗟

٨

北

身

今o人o秋

又の懐の委

父。長 葉 章

天。者。已

衣

友

非交之謂

也。

漢 足。

有

豻

い兄の求

知。友

五。而

倫○不

本。背

殺の今

非。人

相。以

爲c友

代。為

也。可。乃

心。也。不

同

氣 枯

吾 不。

身 俱

Ż

也○家

剃力 無。得。似。不 ぶ 身。日。於 叔 成 可。已。庚 昔 可 使 解 4 獪 Z 北。亦。彦、 墳有 U Ë 如○者○相 於 俉 意! 爲 狘 所 白 Ż 之。曾。即 事 得 何。也。同 焉。 鈫 見 泛 有 泰 名 用 ○雄で成り徴 承 z 也 父 。求 者。之 得条 母 矣 。讫。身 則 未 觴 母。矣。今 之人 之 父之 勈 常 棏 而 後 得 jį. 或 受命 Ĩ. 何 有 人 福 父母 致 物 毋 !-L 兄 名。矣。楊 日。我。室。 壽 □ 庫 此 有 尙 吾縫 而 所 析 £ 不 共 也○揚 母。蒯 天 父幸。毋 有 祈 爱 同 不 窰 之能 如 使 於 鲆 名 之 ○朝 不 得○絲 奏 目 令 生. 坌 使 可 延り 於 為。則 在。則 之人 悪っ 焉○之 前 得 及 -毋 主. 灯 而○便 世。婚見 何 Ц 是 働 得 吾 凡 义之執母 何 纹 顯 無。其 恐而 父 於 哭 老 m 而 奥 親 杯 TH ŦĹ. 親の知ら 嫁 毋 人 Y. 父 変 手。酒。焉。 此 $\boldsymbol{\Xi}$ 鼎 奚 寂 後門 女 竟不 亦 z 焉。 者の母 維 猆 蘇 其 生 所 之 皆 之 得 之黨而 得 平c名 秦 岐○於っ 有 也。為 之 不 是っ其っ面 父 ф. 父 有 之 無 角。 六 平。身。能 又∘不○相 母 於 印っ論 之。其

居 語 袅 西个 佫 長 喜怒 時○也○母 派 子 世 02 麦 因 於 亭 何。 富 之 也の乗の古 礻 Ž 厚 凐 ○舊○述○經○日○可 其 不っ 7) 令 則 燭o謂 徭の交 獲 拝 肵 o稍 V. 耆 吐. 長 撮 以。 X. 有 夜 っ行 貧 们 옜 已逝 造 則。以 爲 詷 作 唊 繭糸 君 貴 鼱 侍っ樂 Ħ 者 湊ο 負 共 詞o劍 而 U 人。之 者 4 英 人 何 之 當 烖 以 右 也 也の削 也。之。一 文 成の義 丛 室 3 1*G* 也∘及 纩 於 紐 也。 뛤 何 雖 欲 ዺ 爲 倩。 取 某 怎. ž 此っ父 時の 者 か 更可 古 重 義の剣 ₫. ° ○間 而。 母 亦 睇 肺の顔 毋 秉 有 X 木 ሰ 而 其·多 大 為。 在 慮○胯 .2 之。富 異者。 煽 膽 4 郲 文 自 養○擴 4 考。 楽つ 汲 车 則 夜 此 者 ÷ っ矢 樫○岩 則。前 + 子。 冹 PF 人 促 ぃ遊∘尤 泊 狄 ÷ 斱 道 述 於 因の壁 型。 之。 玄 皇 吾の間 從 7 而 竟等 同 有 之 作 作○也。所 夫 1600 ௱ 皇。共 吾 謂の間 が 剫 秥 侚 IJ 子 o於 春 未 -∳∘ 右。稍 Ħ 身 泉の於 行○至 勉 得 祈 斯 為 割っ手 秋 是 恐不 令 東 五 之 之 致 孝。憑 里 重 因 其 判. 而 其 团 裁o 叉 所 尨 僧の之 使 坳 -事= 矣。文 ゑ -[] 僅 綸 夋 親っ月 及。習 都

吕聚石日天下第一等事是何人做天下第 |張常甫 其在我者而不求予其不在我者明日帝又惡得而困通其富也天也困日帝又恶得而困通其富也天也困日帝以富人高所, 成我 म. 分o其 崩景帝疾! 傶 店 펤 右 何 永 右 IJ 也。在 死 之の也の古の光 發 不。葢。日の共 鬼 葪 存 迚 相 何 种 日 天 -0 口人之靈即天地之靈后大理而以時措之也豈非大理而以時措之也豈非 也。漢 爽 條言後點修喜後怒莫之為**西** 過の深の詩 徴の 通通。賜以 * 造の祭の云の 幸郅 之七 卒以 銅 山。通。 餓 使舞 賜 富の哉の 死。 之錢 也如左。在 典聖 由 一錢而 右c帝 君 是言之難 不通富極 非在帝 原是一 累 理 子 不c左 會 以示 鉅 相。右。斯 能 明o故 於o君 困。不 示察之 萬c 離。所 善 **一帳矣文帝** い悪通之有 而 简o左 為o 却 右 他c得 也 謂 逃歸 性o子 亦。而 天 共 理 命o求 是 爲爾。 乎0 行 天。富 非 而 理 帝 之っ乎 也の通の不 笛 巴在左 鬼 者 左

魏康 Z 虚齊日漢武帝時聚會占家問之 兄弟之间失賴甚矣。 後の音世の以 艞 子五行家日可堪與家日不可建除家日大吉 之の可 岦 也。所。辨而 以。之 以 陰o人: **杯內鄉于秋等字者意義** 榅 儘 學v矣o無 村 此 是 到 日士大夫 高。之。後 篇。道 カ。至 ა⊟ი 偽 世. 眼○者○思 從 事。外業。學 儅 道 裁○往 界。然 نځه ο罷 何 為 矣。亦 近 未 而 念。而。何 往. 庭空 事。假 所以 場っと 敀 掔 非o問 真 不。服。 Е 重 香札中云啓 其 榫 っ棒 兩。不 固 學 開の界の何 界·何 風不·輕。過 起。 近墨。 何 偷 釋 事○足 白 問 U Ť ∘児 益 則兼 也○經 퀿. 爲 開い何 花 此 措 後 75 猶 世。也。舊 終 思 曲っ真 飛 ·楊 墨○晉 生。而 又 Ü 爲 之。骨。何 耹 040 一支。 尊隆月之朴朋 難 迁。學問 何 偽 究竟攜 力の幻の 僮 學之為 破○至○魏 問下 不。何 憧 来日可 篇·以 於·前 ż. 白 非。謂 堅。去 優 九頓 沙 世 一骨 o何 得力 o従 o甚 手 優っ 場 出。之 明。并。釋 之學者。朱 以 其 虚 首っ 此 隹 不。自 物 度 去°光 っ婦 及 兼。消 丽 堅○有 子 32-667

詹東 焚釈 天 也の旦 書。 Ü 學。則 聖 盛 以 禮 則 Z 訓 A 訓 7 賢 行 所 厄 藍 Τi 也の収 為 旧っ詰 爻○詁 異 日。者 於 Ü. 世 行 H 亨 ٠ij 學此 善 ·E 奚 文 貴 o个 出 ο世 0 少 誣 个世學文成之學考 心其里! 為 大 日 樂。人。用 寒。吾 偷 Ħ 求 害o象o有 龙 耳0見 艮 主。吉。大 っ女 ĽĹ. 偷 。之 人 徒。取 肵 者 辨 凶 ۰*Ż* 崖 E 狼 來 物。在。訓。焉。北 帮大 Œ 訟 羅 之而 ゅ何 证 知 记 否 求 环 o 話 o 西 Z Ħ 办 不 家 前 失 心 0 也 0 伯 椎 쀳 孔 飒 Ħ. 决 Н 吧o樂 液 失い義 得○仲 。中 合 有 行 IJ ŀ o.H o.者 7°: 理。而 ○尼 能 者の或 李○思 百 者 紩 ەلگاد 。是 如 冰 方 헮 。之 義。 自 見 不 爝 孟 家 也の間の天 之 體 而 炉 是 詰っ翼っ登り , iii 及 止 火 周 矣o就 制 ٨ 何 礼。 喜-爾《三。之。九 訓 生. 於 自 日。家 程 4 业 V. .證 而 洧 Λo 易の訓。 明の詰の百 熄っ張 世 湃 E 求 之 冷 之の話。 ・ス 以 \mathcal{U} 郼 家 使 朱 諸 擶 諸 小 外 樂の樂の 脩 我 訓○也。 咝 北a微 之 家 推 死 吉。 也o日o非 貄 道。之 詰っ公 詆 之c忌o太

馬o大 子 惑 共 乎。身 妙選 憂其 君子 耶○得○所 0 所 從官益以 刑 1ŀ. 日の飲 倚 υ樂 戴故 矣。 个之 吉地。 数。 不 非以 終 此 戚 펡 樂. 而 封工 不 得 手の創 朱 ij 平 有 祈 後 子 以 信 老こと :手樂也云 外 日。道 倅の樂 0平 障 職○席 侍 者言 世の 孫 鬴 風 物 Ŧ, 也。無 孔 無 從重 0 毎 塵 帳 方 卒 水 其 寫 袻 10 之 顏 所 夫 墳 展 I 何 以 身。之 戚 以 日 П 而 倘 | | | | | | | 自 走○時 墓 誦 衰 以 說。 爾o戚 加 不 樂 ネ 丽 有 則 得 若 其 絶こ利 嘗 他の諸の敗 道。可。樂 宇 麈 也。有 離 遺 則 其 言郭 所 然 其 是 日○者。樂 宙の沙 身 然 席 書而 子 是 ₫. 刑 樂∘牀 樂 無 换 Z 唐 則 棢 其 孫o璞 者 何 Ħ 仵 Ü 土 面っ旬の時 有 山っ遵 說 伙 之 精 道 IJ 樂 而 夫 女 信之の 此 至 乕 子 璞 於 也。日 在 牀 樂。也。人 山。侍 宋 帽o孫 身 風 憂 憂 其 也o非 舒 何o從 不 朝 75 必 験 水点 不 逆○中○日○樂 道 怺 暖の跨 栤 غنز 亦 立 者o日o於

者 有

o此

有

肵

倚

而

者o

樂 先

Й 7

丧

他の言

IJ. Ħ

樂

吾

っ故 誅 欲 言致 貪 不 死 罪 辨 祕 誄。矣。也。也。物。 於 言。 뒫 大抵 誑 鴐 後 妕 言 爲 堕亏 刔 同 為 世 司 不 彩 禪 時○是 馬 死。世 贫 之七 乃 方 之 。 **說** 推 而 說 僔 遷. ÷ 後 Ü 多 יינ 典 蓬 遠 亦 解。 世 自 淮 韴. 家 矣、 隐 ネ 遂 掩。不 핅 世。仙 若 日 。足 過 跓 至 王 者 人 秦 信。傳 末 人 麥 쏌 可 漢 **疑**年 椠 史 么 同 好 期。間 之 時0奇0皆 官 力 也。帝 徒。 出 詑 知 銋 <u> 十つ</u> 声得 黄 其 Цs 其 Ė E : 書。共 帝 明 誑o希 黄 11 不

氽

文豹

鮗

之說不知出

於

塒っ

核唐

常

法。何

诽

俯

۲.,

. !

煞四十七

Ť

百 避

日巴唇戴幾無損害

女。如

if 者

方

E 雌

处 太

第三家殺

白色男子

或处算

浺 埭

Ħ

陳至

今·益。納 日。米 山 德。浚 於c義 ijĻ 团 典 充 큑. 世。生 Ш 筝 日o而o 之理。 (埜之)人。 卒。化 冶 **个** 闁 陳 青。 Ħ 致 濁し **∃**∘ 抩 於 鄠 治 įή Ł 非 先 盎 李。 之 能 有 有 於 生 11 那。 聊 秋の道 颜 カ 塘 玄 歽 勤 仙 仁 秀 徜 鈲 駇 稱 聖之 木 行 悪。 ₽ĵ 用。修 個 仙っ艄 有 傳。亦 養 煉。主 固 天 假o不 未 無 也。 Ħ 今の知 道。史 出 可 ĴΕ 之 白。黄 p 截 郑·於 君 表。日 · (1 特 此っ臣 增 昇っ之 徴 刌. 放 17 滥 天。事。乎。人 市の選 古 ىن 何。近. 鴵 朝っ

馮

泎 既

土。日

日。人。以

間。雲

何。紀

Ü

推

帝

家の僧

Įζ.

夫 μl

JC 蹅

介 挈 何。須 E. 4 者。以、有 載 日。巴。奴 乃 祀。 在 ル為又推之鄉飲市 一不朽之業若尋常 Ħ 賄 得。 IJ 表 家尊 師一 老禮 鄉。飲 今 亦 常 賢 封 然。好 公無不 之 鄉 官 典止 伙 倂 須年 X 大賓 U 分 供 南 内之 者。有 人 祈 億

祭 婦 求 今 豻 以。官。鑄 筭 览 E īn 有。因 逆 非有 望 得 其 得。節 黄。雲 群 於 郑 義 臣 帝從 荆 俼 大 推 文 孝 葬 塚。而 。氣 ılı 之名官 功能 則 鉒 順 與日辰 人 附 鼎 富 赭 汞 見 飠 肽 及 筿 旌 租。有 IJ 得 民 鄉循 典。基 槧 埭 ijī 将 者 只 炙 也 の舱 來 Ŀ. 不配 臭不 有 人 III 则 上 昇0後 力 1 之 芝 天。又 世 告 誊 然>致 绑 大 好 為 如。因 团 똵 夫 奇 解 此。前 之 胍 帝。而

河南 身身者。者: 人。又 其。害。乃 仔 奻 石之黃監以禍之面就逮寓書其 一德淫鬼 之俗 -細。例 以 子。 而。傾 以 惟 之 人者。死 4 而 前。 者、褐。家 骐 此 柩 滅 全. ガ 盤。出 儿 鬼。 戒 多 其 ダス 中 必 切付 Ĵ 银 Ħ 枢。遊。旅 打 · 前無善無惡心之證 公不動搖其守正不撓 不動搖。 渦 者 ・其 其子 物 信。 耳。勿 能 抺 推 卧 於。東 奺 禍 淫 賮 ż 時。算。言 空。山 氼 僚 第 庶 編っ絹っ 可 之 之 老 屋。日。者 難 如 堍 用班桌 長 於 劉 不 有 類。姬 孝 子 中。之。安。即 八载泉丛日淫祠 日っ是 身臨之此 即 幾歸時不 肯 家 平 Fſ 煞 下。有。自 僕。 戥 山 爲 亦 4.0 A 又。挽。出 境 為文論之日災 所 非 遊。則 豊の親の殯の俗 帖 為 傷 內 矣。 稿。但 甚至 ľà 有。之。然。世 佚 害民 有 威 如 淫 爲 惟 盗 沱 子. 3 稅 無. 馬の丧 の回。相 。應 秱 俗 光成 円の籍 丛 煽 4 事。人。欲。何、戒。 有惡 之 俗。以 魳 凡 磒 女性 父。全。處。至 卯 īh 說a風 Ŧ 所 經 所 化 抠 酉 而。身。京 俗 非教 敷∘湃 惑。歴。随 拟 不 # 鮖 害。遠。城

已。乎 竞 不 之說。 其 兇 11: 中人 根 在。根 # 止 所 ((之人) 於天泉橋 若 有 之 ,人 "Fl. 謂 骅 與o舜 合 有 凯 有 無 入 柳 的。教 惡。錢 逄 其。日 手の相 酒。 善 4g 💌 所謂 橋。則 德 無の善 合其說 渚 言。危 싻 滔 無惡 *スプ 方 惛 陽 意 洪 善。郑 Ŧi. 不。微 牾∘諸 法 刔 本 明 邞 日。無。惡 經 合。精 夺 Ł 四字 稻 善 。日 體 عالر 。物 恶。是 四 明○一○者 の試 經 是 未 知 用 我 亦皆 削 꺖 心。良 耳。子 矣。孔 亚 取其言考之 而 是 已 最 四子無所不 惡為 功 是 逭 未 之。如。 茄 剪 低。子 經 夫。功 裏 見 是 贈·為 誠 無 牾。日 M 陽 大大 接 無 人。善 Ĺ 善 共 妆 完 党 然 千中 不 豊の纏 明又 太 次 惡。立 乘 止 句。去 ١ 。合。獨。善 手 若 無惡二 之說。不 原有 沽 他 Ŧ. 合。自 乃 朱、成 1 其正 亦只 法 。頭。日 是 以 共 子の性。 誙 獨 吉 的。是 此二 免 ıů. 共 本 告子 欺 平。孟 рq 於 居 法 繇 我 人 打 體 徒 物。 觼 天 子 子。朱 觤 骐 汤 神 共 習 椄 種 是 共。 T·. 阂 则 Ξ 子. 合 墄 嬴 31 162 梸 利 正 無

杢 楊 升 章記 稼 之 教之 犯の為 刚 安勉。 事 の可 必 之 則 宗。祖。施 書 槉 荛 龙 除手 後○堯 几 日。柔。 舜 分。 誦者有 日。非。而 顷 い舞 天 可 剁 於流 士 以。有 И 反 必 恐 共 近人 郋 頓 見。相 命 流 之。俗。志 宗。許 沈 不 赴 陽 念え 漸 ○懼。心○傳○以 說 必 之或 憩○遠 玌 頓 如 頓 眀 兢 便心也 後。之 有 乽 將 祈 氣 也。之 Æ, 閚 놟 利 1 澌 兢 設の説 云身心 道 非 Ш. 固 孫。 甲靡 入於虚無寂滅者有之又或 不 父。明 者異 有。簡 去其 ○根 矣 o 以 理 而 轨 之接 知 學: 犧 而 潪 精 何 善∘人 本 枚 樂 無恶不。 这如此 这如此。 者既不 生 有 復 'n, 端了 之。意 善 耄。 之別の 鋫 沈 利 允 둧 郑。不 祈 有 胎。勁 根 人 執 背 作之 倦者 後 2000年3 心心道 若聖學 為主。 Ī 足 得《人 龍 平. /然有 旂 至 可 派。言。 寄 説し الماد 謂 善 i 肞 拔 亦 奿 Ù 心平貴 Æ, 聖 雖 Ħ 復 有 此 無 涵 有 腹。許 學 有 藲 揧 危の此 理。惡 本 於 志 人。敬 柳 相 但 A. 道 理 無 之 本 詷 能。宗 氚 漸っ 律 亦 桃の此 分 ıi. 物。體

Ŧ Ŧ 魏 。遊 杯 故 心 體。之 篋 Ц 環 邪 正。欲 丱 是 之干 陽 巌 中 君 耜 聖の書の 者 齑 。内 念 榅 芷 學《宗 胡 泫 儒 明 日。 物 笛。賢·不 0.子 何 紛 -19 E (最 别 態萬 敬 也。孔 肣 在 所 便 不 舜 曹·若 也の紅 清 方 敢 一 明。 含の孟。共 斖 群。 不濟命 未有盟 上 謂 於 行。佛 稳之 老こ 不 之 周っ込 奎 狀 借 充塞擊觸 神 暋 之 の 經 pj 居 不 業 張。稅 用 不 意 縣 。 聚 。 聚 。 聚 。 聚 程。從 徑 志 孔 《展視及日本君子見》 者 Ł 。艘。字○道 求 Ł 氣 孟 卶 字。藏是。之 陶 褔 手 亦 愈 Z 有 淵 也。 焚 Z 陳清 去 高 。微 於 40 稿。黨 明 舜 è 香。 見四 佛 倉 言。朱。就 c為 言。 呼光聖 M 哉。 言天 盘 勝 ∘應 太 欴 涮 孔。含。欲 經 書 為 旁 水 佛。耳。甚 性 害五 道 定。之 孟。礼 の求 愈 佛 非 蒿 命荷 經。嗟。安 劢 藏。然 學 者。孟。正 花。老 無 脟 瞽瞍 道・平。謂 一先賢 經床 ○必 後 帟 而。學。世 非っ 物 蟴。 如 藏。人。先 真の言。必 盥 p. 逋 逬 也色田 の飛 此っ底 矣。若。 聖 丽 頭 手 下 辦の孔の學の宗 揚 豫の 肯。先 且 後 訤 焚 手の分 孟。香。孔 浮 盡 寅。賢 是 亂。香。 紃 也。非。孟。也。

張 撞 其 鐘³不 伊 旋。土 其。其 Ш 惟 存 É 以。之 僕 o 拯 其 之所 冏 · N 舠 幼 物の神 -J-為。為。為。有 危 曲 邪っ諡 之 木の哉の者。 液 稱 Mt 心の與 有。自 按 之 雀の顔 困 法の歸。巫 枚 也。是 爲 然 或 物。為 一 🎘 丽 焉 严 A 而 呂 熓 紛 凡 刲 物。之 世 且 本と 他 為 馬o其 彼 廻の安 狀 疾 呼。史。羊 爲 歪 而 形 之 葱 不 其 則の神の者。鳴 樂○樂 札 勮 野 為 斯 鄠 Ł 椎 容っ人。然 存 攵 通。感 因 呼。化 之 徘 日。民 林 其 牛。堂 8 竉 不 焉。母 矣o於 其 此 族 Di 所 者。後 Z 歌 抌 奂 之 皋 昔 存 兄 方 其 勸 民 **美不** 満繭 札 世 不 舞 室。名 走。 謂 平 Ħ 郊 其 心。雛 Z 為 官 可 可 奔 叁 大 妻子。 號○之 之所 ومار 專 忽. 赳 所 4 神 恕 謂 使 走 帛∘庭 爲 原 丽 FĹ 外 全。之。然 切 IJ **夘。朔** 魳 太 為 尚 有 本 꺠 惟 篤 膠 有 さ 為不 而 K 有 保。易 밫 歴 其 累 氏 物 Æ, 其 也。動 華 椶 為是 樂 接 矣。亦 美 IJ. 族。矣 黎 の芝 抹 所 共 手 請 可 # 於 共 久 告c 各 下 侑 o 起 廣 於 缎○為 邛 人 菸 报 有 使 人 文○初 矣 o之 伐 之。街 분 滑 者 Z. 目。誠 夘 阜 物 其 能 人。鼓 患 놙 抩 Ήiς 橈 所 而。信 也の之 おの精

子 三 勵 道○有 鬼の大 見 珍 之 人 沐 共。後。侯 封 肯之 鬼。除 惟 閉。法。為。日。辨。日。伯。雖 無 責○秘♡ 此 戒 日の達 外 形 血い陽 繟 道 Ĥ 來 故 Æ 之。之。皆 戓 章。不 中 廽 īħi 因。一 タ 之 十。日 裁○公。諡 弫 多 冼 雤 及。庸 何 形∘氣 者 有 퀥 許 旣 禾 敝 劎 羽 Ш 論。武。天 卽 而。耳。之。傳。之 之 不 血 之。空 乆 喜 則の他 办 仙 道。受 者。生。一 木 75 開 流 宝 -z É 王。官 业 ○赦 υ儒 非 君 既の氣 皆 ΗĻ 名。血 中。術。然。 安。雕 弗 子 何 枚 道 彼 不。受 ÚH. 凗 U 示 厚 幼 枚 石○或 也之 宇 受。形 P 色。 地○水 加 肽 琲 朱∘運 焉 之。腎 欺_o欺 形。而 欺. . 漣 数 展 暮 應 元。籌 者 若 卶 以 何。為 見 ፗ 4 之。問 遇 晦 。 决 亦 Æ Z 倶コ淫 方□從○人□釋 * 加 梭 ル 湄 _ 之。策。將 過い若 遇。 然然 黈 有。一 求 旅 Jţ. Ü 皆。木 大。 彻 い役 Įij. 故 血血氣 Ħ. 瘎 舻 生っ那 文○渝 者 若 俤 17 天 法に中の疑の有 雅 ٨ 刻こ 公○焉○累 法 食0枚 之與 非 下 形 池。不。官 始 11 計 斬 Ш 君 愚 址 未 丽 # 规 衆 誰の有の至 鬼 於

葉 拖竹 有 讍 重。在 漢。的 學《是 升っ 來 度越 薴 枝o不 者。雖 盎 手 製。百 其 學 學 得 菴 涣 矣。 店 都。有 ズ 妄 校之中。程 實 ·者言學 E 6 日。 所 吸。退っ天 ٤, 惟 1En 氏 \mathbb{H} 何 H ٨ 必 慮 一 。 下 pt c 不 並 步。而 懼 不 不 外の果 业 也で至っ此 若 室 妄 則 有 之 自 黄 些人 於 乃 钋 食っ 家 貧 學っ 此 o 旣 覓 白 點 知 生 此 典 雷 好 5 並 在之人。 鐵 事 吾 及 脈 肵 堆 不 富 朝 萂 卣 亦 穴。積 三 山 共 潮 以 儒 久。示 戍 乜 뭬 絕不 貲 ᆫ 當官任 科舉 極 先 金 事っ 好の 永c タ 賤 Ħ の身 盘 + 丘o的 耳口 賀 Ψ 死 傸 死 若 惟 亦 醫問 Ż 者。 华 人 手 若 至 共 虚 可。壽 捨っ 不 職○文○賢 内の果 含人 心っ食へ何 段の 正 天。矯 妄 知 剘 而 子 有 何 日。 怕 华 吾 枉. 敍. 清 l1 之士。 事 箳 學 棌 葬 不 业 大 儒 並 沪 此 安 過 書 校 飛 盲 미 流 背 順っ蔬 则 洧 龍 Ð 之 便 彼 方 癡 焉 不 水 决 绯 膨. 捉-不 樂。裂っ変 會c 所 其 刑 長。仙 香 脈

温 則 冠 無の之う 闦 壌○吾 生の九の共 矣○請 不 Ü 信 o生o 而。老。一 膙 之 而 有 徙 浸 老 得 之。百。也。而。 於 女 不。死。焉。塾 释 老 亚 浦 有 察也予 蹇 侟 亦 本 天。尚 不。 間の而の老の者の釋 之說 毫釐 叛 旧 宮 ○左 图 伜 下。可 閉っき 學。不。死。不 ż 棄 沒 右○驗 泪 ∘元 事の謂 老の之 校○得○而○啻 宫 焉の平 之 則 公乃 蕸 州 無の惟っ吾 之。膽。不。倍 明景春 雨 釋って 相 鼓 固 差の 其 牛 果 武 揆○徒 劃 鐘○拜○得○蓰 望っ動 之。 中。有 īni 印第 。於 亞 鄉 苗 之の有 歩ο 鼓○老○瞻○之 扎 丽 人 犂 妣 間 - 급 管。子。拜。矣。于 赶 明 於。人 虚。 ‡. 岩 外 然 廟圯 君。辨 女 儿 有 理○乎○梵○ 佐の釋○先○百 占 遠 孤 將 更 の盥 龍 女静 葬豆 之。 而の吾 唱。 者の迦い聖の里 之二 1) 出 無 有 不 盾媛極於 亷 巴。道 雖○者○先○之 尚 老中 得 於 可 逃○日○淑 神 矣。未 都の十の師の地の十 甲 雅c. 🕆 焉o焉o郡 É 不 女 凡o墓 述 得 泥 埋. 布 邑○無○者。學 r so 為 Ŧ 雅 劾 儒 来。色。 こここと ここここ IJ īŧĪ 於 之 之の一の十つ合 家 Ż 窮 俗 者 後 砰 遺 胨 成 所 土っ二。之。僅 蘇 誘 爲 鄕 吏 斌 民の州 有。 THE 有の也の八の處 llo僻 致

○義 也の賄の道の壹の直 n 張 表 쑾 殊 。 不 為 遼 松 斾 办 九 安 雨 何 。神 И 而 無。相 不 經 燫 共 然の於 龕 V) 得 **異**0常 坚 Ż 龍 禱 臺 偶。徵 然 い名 如 葲 金 前 内。 悅 急い奪 迚 坩 對 雨 者 🃜 乃。也。何 響○而 办 色 至 觤 霖○幽 神。世 之 心 直 之 北京条 吉 必っ九 表 不 龍 傗 の此の明 爱 共 苟 者 之。楊。以 須い龍 z 易い神 U 醎 定。而 以 合。乃 郋 人 Т 明 亞。之 從 --重 著 雡 趙 £ι 女而 杤 玴 o無 旜 便 遂 女。為 荐 則 來 厥 芽 焉○君 下。年の 也。您 女以 以の神の神 公之 灯 義 叢 俯 不 事 傮 禱 迮 司 悅 如 耶○不 自 物 而 惠。 為。幾 Ħ 益 亭 共 萠 宼 之。謂以 夗 髀○範○謙 日從 侍 配。何 爲 神の確 TE. 事 謁 车 李 帷 兣 畄 謂 之。左 重 者。廟。祀 . 平 o 年 人 鉃 荻 办 龍 亞 天 敷 更 共 矣。自 則。右。則 £L 44 だ --74 链 始 義 媛 烁 帅 -97 逛 與い此 隻の人の可 ---不 抻 寒の以 双 百 式 掝 得 生。敷。於 汚の悦 彼の各 池 包の 闹 隊の至 彰 旜 柭 , 廊 不 是以 之。大 旣 111 而 更の之 樬 肺の有 予 歷 觤 莾. 濔. 受:使雨。亞 早 非 人。传 之。不 睭 之。媛 尚っ配 世 猫 神 址 旣 旜 乘 義 納の以 能 ď. 子の合い以 再. 久 之 且

獨○筐 理o怪 以白 呼o者c 也。其 表 有 以o何o將 絫 傗 旋 之。準 予 乎。楊。相 非コ舟 洵 而 適。早 也。為。以。終。 所。於 神 妾 o 日 o 未 不 之 其 方 不 沿 偶o有 伙 格。為。不可 之 未。理 延。安。而 . मृ 未o理o為 想。有 經 後 其 復 Ħ 也○雨。則 神の繼の常 邓。友 荀 之 此 寛 な 事 盂 遠○立 數○此 之。也。平。 後の兼 奥 。爲 天 吉 何え Ž 也。事 辨っ人 具。此 求 終 以 其 T 也の如 典 習。皆 1 倎 憂 之 也の州 長 也。有 解 輕 Ż 豈 也。 也。而。信 奇。早 此 早の早の 歽 理 生當除 人 倌 好 事 蠢 不。之。聳 蔣 担 럇. 幸 皋 之恐 耳 成 為 外 祭の以の人 之 所 有 雨。傳 此 。說。於 翻 不 從 也○訛○聽 倩っ至 且 歪. 묐 安想 ○庶 月 心。案 之。不 傳。聞。也。于 足 媛○為 反 而 \Rightarrow 若詳 心○哉○信□ 未 概 能の世の亞 今 覆 他 徘 吾儒 子. 梭 之○特 퍥 大 有 也○俗○媛 者 處 呵 之 加 所。以 El o 亥 敢 俏 之。之 何○之 早○他 名 讀書 水。 學 辨 頮 刀 妥 見っ逃っ窩 未。天 办 而 叉o年 長。 者。論。應。下 之。會 是、 爲 曏 水 爼 未 将の早の 生:。 非 知 旣 郎。之 嶌 焦 敢 誤○逢 何。将《

文子 謂者今 終不 天地 雖進 > 而 係之 全者 之娟 里長 每里 Ű 吾之所 Αń 者の會 <u>煙齊日王應部實際東建東吾從孔河</u> 月 4 Ê 有 賽。行 Щ ネ 資。易 神 0 主 立 有 令 不 Ħα 祭天 川 北 仁 庶 禦 背っとの の典し 禁 宜 똅 淈 君但 Ż をえ 不 孝 食為 察 則。宜、 社の止 進 视 被 翀 种。地 義之 弟 不。祀 於 视 令 祀 者。和 o 山 営川 の問 設以身為體 뿝 梁。梁 講 يز 成 七°不 Ξī. ŵ 士 有 明太 無 事 能 風〇鄉 也の媚い配の土 庶 歀 不 寬 飲食 悉以 淸 用不義, 約 且 *.***T**1. 邟 男 袓 欣 名 日。 之 度 穀 菲 準文 女 從ロ理 批 '人 祭祀 灦 以 無 會 此 艺 北 上 浉 瓜 天 耶○間 同 季 作0借 會之 費不 事 祖。神。祖。廟 公 非 立 飲食 教 清 之 儿 Ė 此企 不 千 不 於 復 狹 家 不 極之聖人飲 謂 禮 者。接旅 惟 愈於 。亦 ΪĹ 春 ΪĹ 香 禮。可 之屬方有 開 此 **A** t. 剎 秋. 里. 有 孤 昶。 111 箘 岩正 而 11 节 木 丽 Ξ 禁。之 祉 有 共 っ道 似 正 孔典。子 ń 屛 義。祀。字。之 天 私. ĨĹ. 理 木 典の創 大 灲 下。配

坴 真宗 無惡若 孟子之良以 稼 立賞 陽明之所謂良 門 兵自 Æ, 夜 夜 忽 晦 a 有 微露 俱無 書答泰 有 犬 特心 虎 蕧 為 ģ. 1衛至是京八張狀能傷 倡 格 Ü 西 石 物っ倭 卶 中口目 人 良 吉 募 思當自 狀の 京 と知之説で と見日先生 は かんと 则 道 核 X 者の持 ij. 者の告 批 栄え 侮 击 拾 惟 Й 捕 性之所發言孩提之愛敬是 為 古 見後 徐諤 本 方 佾 即無善無 推 妖 師 之。者。民。 Ż 有 人。 諸 狄 慏 之簡 物 禮 章 主 旦。程 夜 蚱 4) 妖亦不 可謂 夘 訛 間 如 顯o曆 剘 뢂 謂 應天 Ē 恐 席 水磨色染 中の前 沃 火 4-0 É 惡。非 孟 易 帲 個。帽: 焦 有 獻 然足定這 倭 背 明之弊 典。府王 妖o每 夜 餘 пЫ 海 巌 子性善 孟子 至. 飛 1 膊 沚 水 丁に乾 會。達 重 入 物 . 或 太 。滅 。 宗 ο攻 數 箇規模了 闎 햙 兌 且 閉 A 風 摘 掤 外っ 謂良也, 在無 謂 夜 И. 家の 渡 1 得 嬔 肌 H 夜 柜 。良 蝶o處o又 之 Лį Fig. 灘 群 刑 詔 撃の和 臣:鯖 矿

方士藍道 晁 薛 真跡所 耻っ耻っ 焚之不 銄 蕙 日 命 恐以 今 其 今人名亦不 日。 投 人并 古 易 天 也。 言 4行以 能 答 則 。 1 答 人 道 夘 見 利 顀 糸ス 乎: 無. 罪。於 如 害 是 順 窮 o 此 。自焚 各中 得幸。 占上 責。亦 非っ 理 其 何 __ 不 不 不 者 Š U 官穢不 行 世 る論 顀 吉。 越 乎o里o亦 麻客 焦 乃 責名不 利 逆 於 宜 神 0為 害。 理 古 其 益 傌 能 對o 顀 者 凶 嗣亂 信 封 八青寶者: 格 使 凶っ E. 之。付 真山 中 螤 天 不 官至 火而 謂 道 息 中 古 古 其 幽 而 乩 人 難 徴っ J. 歽 所 411 乵

應營 在 為 尚 智 同 重 E 縅 氣 者 о **Б** 不 必不 默不 類 問 吉익 讅 旨 哉。其 湛 言。以 攸 善 然 っ言。寧 直 不 虚 辺 ·使父子 言 o明c 善 爲 為 飣 任 惟 諱。 俗 謂 倩 心。恣 虙 天 共 漿 無見 雲不 寂 理の具 統。底 八八字 G 性 情の霊 日中 於 o胨 型 情 N. 橫 處便 性。即 障○之 杏 是 珠○汞 其 ○此 彼の活 15, 下 允 實。是 與天 $\dot{\mathbf{A}}$ 莜 截: 45 指。 (共産産) 惟 心性の故を 體 北 ス 憲。 直 肱 ĬĹ 相 不 羅 相· 肵 **4**i-造っ Ź, 障っ貨 佽 他 庵 淨 四 天 能 創の句 只見得 智 體也具 謂 路 統。 ŢĹ 妙 把 稞 性 性 o 盖。 有 圆。截。氏 情。應

張

夫

百

年以 非

野

間。朝

之知

而

良 有

쁄

可

日○識

明 自

發

而

巴の以

力之良の

ŭ,

昭

靈

甚至

兄弟

兄弟

見惡 父子

鄉

黨 Ż 來 、是 思 聪

鄰

者。聞 事 血 綵 幡幢 之華麗反重於衣

不

Ž

作 母

洋

Æ,

悦 旣

入

耳

目

計也於今沒有事

文。 观

丽

쑻 性候 功要奉座

之

魄

安則

人子之哀思

《思亦真· 《葬祭之

○神○汞

而/ 氽

酒

. 存。

哭斎思

· 以

、盡其誠。

'll

制

共

共 IJ 禮

祭

小也止

Ц

享.

親

Ż

用。正

濃。

活 見 搥 只 J. 亦 鷒 -Ŧ-

虚っ於

白 取

截 惟 事っ

曹陶

챁

第日 本に

生事之以

禮の酸こ

死葬之以

論 💌 杨.

2

不

見

得

Ц

謂

幸矣

大夫の養

生之

世人

無大

謬

姑

誤っ祭

論の種の

惟 闸 Ho

葬祭兩

大事載在

安親之體而棺

棺

桺

家

九為

井然其

葬也

佼 U 千人 如 繑 以 昻 の反震 道の銘こ 椰. 笛 コ膜 棺 矣 っ本 從 為 - 懺 H 經 音っ 揚い表 4 首 長 插 拝 槨 無文 就。之 免 習 一天 寛典 名。其 悉摄 火 止 仰 鮠 **黔而不** 吹 竩 .矣 ·俗 嗟哉 相 順の書 教 也 ∘於 . 視 仦 事の供 馗 何 有 罪 人 親っ行 氽 經案 相 戁 而 援 戲 . H 佛 . 待 待 圖。如 鳴っ沿 地 也。生 。而 ż 攵 於 志願 如 顱 夜 飯 之前 肛 行 後 主 獄 T. 前 基°果 -: 是。以 無のか 毋 不 僧 爲 為 入 翰 佛 俗 前。有 作 # 哭 涉 罪 爲 っ赴 뱱 休 Ż 之 香。所。火 侈 固 題之設 爲 善。您。罪。 罪 0 孽 耳 求 至 耥 執 0 佚 西 巴。亦 而 倉 笨 佛 受 捧 誾 檘 爾二 京 良 不 則。相 ○方 未 耳。 乏中。 在計 人子者當為 重。 力 夌 父 顕 反 如 传。恐是。亦。而 Ήſ 佛 堻 聞 幹c 大 像 况 不 芝 届。母 厚 自 人。云 盛之子。 一 能 梁 仁. 悪 惠 男 Щ 九 办 矣 の肌 為 能 至. 武 好。 慈爲 人 援地 共 **#** 媚 0 列 拜 牲 告 發 賄 ¢ 之 旣 戡 蒃 小 烅 H: 者 矣○饌 倁 不く所っ憫 引 無 死 記。 艺 作傅 簱苦. 父母 食の俗 Ž 氰 っ鼓 酉 康、如 平 私の後の累 炒 不 禿 神 看 螼 ○矣。必 反○信 佛 累 趣 敢 括 現っな तिंच<u>े</u> 华

上. 呼。至 **潑** 矣。 天良 見富 佳 怪 話。俱 教 家 平 · 禮 則 船 影 o取 率 切 林の誰 鐅 閨 堀 相 其 孫 Ž 甪 哉。不 如 實 破 若 兏 脟 邚 蝴 使 典。為 非 痔∘ 青 殺。醜 行 桶o思 便 疋 不 夫 文罗 天下 上。 殾 往 書 푥 耆 恋 樂 天○退 ० श्री À 之 沌 妨 余 在 者 1 滅 . Jij 謪 作 娛 炔○地 オゴヒ版 下。之 男童 長 或 未 商 有 飔 人 佛。 耳 屍 倡 ----作摇色奪 毀性 P 而。禁 害。之 畏鬼 PF 拾 舎不 男特 吾 作 日之 識 我 導 切 軀命っ 女血 Ì 2単 者 淫 非 莿 从 (詞略日·桃花春本) 账○人○何 4 旣 畏 | 娛以 為 達 固 者知多 心o忍 莫o驅 - 人。文 至 人 已含 小 氣 外争 刚 Ĺ 刖 何 未 0供 獪 不 此。迫 齿 定。此 之為書傳 題波 易心: 滅 才士之所許平 海 造 令 路 11 並 為。齊 □見此 取 裁 一非之當悲 身 剘 。亦 1 無 人親 市 其意 古今來忠老 ○髮 公然 文字 大 逐 說以 用 蜃 色。盡 厠 华 更 靡者多 樓 處 美 復 滅 詞 نار 再 礻 爲 之 矣 入 っ布 侗 0 XL 家。此 っ雄 扎 哉っ哀 詴 冽 大 言。 風 稠っ 夗 嗚 佛 觀

間 有 程 之模 身不 中 客∘日 巚 開 0子0不 簲 危 獻。可之日 不。食。士。可 ⇒薪ο之 芝 虚 ∘不 客 交 父 可 稜。必 楊 以 譋 母。子。 日 死 Ľ. ○惜 吉 約 射 食之寒冬 稿○明 6 臣 中 之。折 福 何っ子~驅 7 死 儉 利 っ事: 雄 冇 何 哲 之。故 射 恋の仏の造 : 据 福の期の何 之身 也。保 藥。食 日 之 於 z 悪の願○予 丧。不 不っ絶 -15 爲 為 身。臣。之。士。可。荆之 李 之。見。急 俗 惲 獨い不 丛 食。是之 古 仕 保 中 使 傷。父。止 因 Ξ. 羌 鱼 誤。新 狄 官 二 身 姓。則 こ字 奉 À 奪 者 我。母。之 葄 天 人。奇。為 埜 白。正 而。無 說 巾 揭 心の造の目っ之 下 兼し頗 史 批 馮 枂 士 人。王。罪 Œ 食 肴 也。之。人 日。共 亦の為 况 卡 廣之 君子 道之歷 非 殺。而 日。之 標 何○受 貭 魯不 順 flo形 矢 不 之○罪 E \mp 17 爲。生 之 誤。套の口 ᅏ 中 北 묉 叨 ο在 闁 怒○入□差 쿠 於 ・盆の丸の音 耐 定 可 仕 庸。身。哲。死 い割 詂 使 中 陰 肖 父 箕 叉 是 騁 然往 II. Ĥ 藥○背 者っ人 射 恐 母。陽 ٦, 紨 佳 才. 季。殊 也、也の韵 有 殺 てい家 不 作 語 未 往 H. 🤉 -1:0 母の治 14 オ

> 得 鍖 偸

而

孰

失 道

聊。早

於 生

馮

誅 譤

為

戒

無

由

斯

觀

果

孰 通

窮。莽

之。雄

貽

-1

纲

目

書

大

夫

楊

貨 不 可 酒。矯。好 歨 鬙 乎。乃 赳 持っ色っ作 臺 問 日本人是人 日っ Ħ 之。把 不 日の物の浮 功。持 諔 心。今 如。不 實 卷之七 性 無。且 不 何っ好 我 如 時っ間 礙 此。不。色。省 λ 而。如 好o如 太 日。有 业 虚っ 不o何 等 若 本 且 勉 之 任人。情 亚 起。是 飮 得 强 人 試 太 酒。肯 把 看 虚 之 N 胡 把 如 挺 之 心 爲 持 此。者 天 行 行 體。亦 诚 只 不 亦 便 質不 繒 健っ或 然。 关 好 飮 何 酒。了。日。 日,直 好 是 造 毯 此。如 靯

作っ飲

正っ木

剹

明。天 關 輕 於 是 哲,祥 綱 於 漁 能 之。之 常 鴻 毛。保 時。大。國 毛。有 民 其 者。亡 奏っ不 重 身。 楊 與 妨 於 旣 亡○死 雄 斂 赤 眀 伐,古。馮 此。重 身 山。且 道。正。於 此。哲 避 保っ春 難い處。矣。 止 綠 其の山の保 要。夫 錯 干。若 共 見。等 芝 認 古。此 身 。死 真っ耳。 苟 不っ千 以 全 磨。之 守 朾 之。剖 待。之。死 魚 で。保 身の心の荷 定の有 身。乃。文

魏石户 州能五十見於泊陽水中承平二年創州木州武成元年騎度見武友勇才且唐世島見 龍見嘉 也天復 之。最 物。天 然長 公 守 古昔奶 业 夫 社 宋則 井 先王 主 Ž 嘉陽江而井露白雀白鹿龜龍並見於諸復六年巨人見靑城山鳳凰見萬歲縣黃如以近代顯著者言之王建父子之據蜀 容。 焂 E 0 之 云。日。矣。诗。日 也。異 楊 而。遂 世 土之道以で 所出 朱草靈芝 元年騎度見武定嘉禾生 m \pm 肵 || 周里信之而下 ||安石蘓軾黄| 氏 故 蟷 人 詂 之時多在危亂之世令不 **奥** 實不 唐 定 看 蝌 不 · 燕軾黃庭 Ņ 結 起 連 瑞者麟鳳龜龍 肅 孙 晉 然"可 太 理 111 **14.** 中 魏 轉。死 。只 生之本合 顏之禾皆見 不 图。用。 標 Ŧ. 如っ謂 是 华 一番的白 疑。 堅. 布 此○天 臣 不。 那日 爲 張 道 不 期 想 ·解者以名 -商 无 壞。 造。生 妄 廣昌縣見 · 夫者可不 · 夫者可不 聯炭 易表 俳 化o人c念 乜 亦。而 暇 H 依。 流っ 一。貧 攓 문 雀の 7 -3-不。當 蜀 引 也の隠 In. īdi. 震の背

狄 特 乗 ○君 陽。和 汝每 四 舖野。二 四 採 所 瑞 於 唐 維 埋り ---Щ 山 及 在 徴の外の 支 歳の州の見 ·十五里之問遍野而任秦貢芝草者動二三假乃如此耳至如致和 误流 ------那 臣。九 崩 請 = Ť 政 祈 通 邛 州 觔 稱 壯 郡 + 亂 太子元曆以 縣見黃龍見富義工 江縣處見壁 口元年黃龍見太 其他 Z 頌 出生金数百動 o 木品 縣∘ 本數 里之 十。内 髙 糸 亂 6 ○解 Z 山 **4**,0 以子潭! 之王以 瑞 草に 幾 終之以身死行 石 作 41 益 木鳥 △遍 有。遷 無喪。攝 版 死 c 綱 野而 山。 三萬本彰 乘穀 队 有三 莳 瑪 進 和 仁。所 角。之 然 珍。 苡 隆盛 大大 其 瑶の即 Ħ 出 日の人の間の場の場 澗 匣 動 客州 池の鹿 Ξ 推 備者太守李文 **火**o瑞 之際。 不可 人者 斯黄 焚其 瑞物 年麟見示 进 以 職 立而 艠 越數歲而 物之山の 者の應又 千百つ 京 炌 Ш 鰤 本 間に開る地 國一共 倉室を 샕 二 鬼 數 c 至 大。末。如 長沙 伊 道運 至彌 至 不 鄭以 此 婸 有。 遂 有 共 殆 侍○他o程

陸子徐日楚平王 而幾 樂君尚歸死焉父以君死子以父死死正 首與公羊子傳其事而日父不受旅子復樂此茍時有桓文之君舉義以行伯則子胥者其誅 主亦孱焉不自振故使一夫悉行而莫之問 常臣之變一至此乎曾是時周衰其矣晉為 若臣之變一至此乎曾是時周衰其矣晉為 平王死矣發墓鞭其屍走其嗣君楚幾 亾嗟 日子胥者奔吳得 龍泉 也世 一其 豻 有喜言 國。來。報。死。 以蘇 人臣之 好っ 無道 ÉI 其政卒以 義不 っ瑞 维 **。** 其臣在 之人觀 占 夘 漢黃犀死养惡在 是 ~ 炭酸 香以 此亦 业。 故者之 和楚幾 心 麼乎 飲楚人郭於是 以陳死香之子 不受缺。 ~被 数。 也 其為

也。盟

丁是格王

李那

公正之日君而

Ţ

1

Ц 言焉 荷以

瀕

於死。

又無 也

其可

庇身。

存其嗣

續妄言枕

地沒吾世

而

也。君

胍

Ú

故。兄 爲。併

·脊者亦逃之而已矣擇遠因而いのののののののののののののののののののののに病性の一朝而戶三傷治

之成

IJc 단

拀 為不

邚

尚死之之安矣雖

然吾以為雖無是子胥猶不 之急乃不 心其君圖天所不容也雖然子胥之伐楚也謂 猖 於楚則 o子 背自 好勇而 胥也夫畜老領憚殺之而 心因進事 狂 一此與夫領喪 楚 寺諸馬窟室之兵魚炙之延適果以策干像而光如 夫婦婆之禍 即響兩若何其学,以秋君乎於吳則安 夫夫 大夫 也 。 儒者之道 八共 悖也夫其八吳則操 孙焉 欲報 人 o 臣 其 之者 否知 是以 . 孙焉。 私雙

之有平泉斯言也足以被子胥之罪矣方 本 書 國 以 代 之 覆 門 都 而 迫 共 在 本 書 國 以 代 之 覆 門 都 而 迫 共 在 本 書 國 以 代 之 覆 門 都 而 迫 共 在 本 書 國 以 代 之 覆 門 都 而 迫 共 在 本 書 國 以 代 之 覆 門 都 而 迫 共 在 子 32-680

黃

實匹夫之弗如也被以為高談以耶世也者其 。安。人 Ü 東圖 遏 刑 也っ善 忠 論道 汞。陸 夫身有父兄之警也 z 夫君有先君之譬而 何 禮 賞 斯 叉 惡。厚 不 石 雄 來 爲 是 機 肵 謂 奻 之至 日疾病 理 日。知 權 者 愚 不 U 仁 鬼 亦多是 先 馸 性の之 多え 乗。集 義 行 論 n) 而 儒 天下之民而是我矣老泉以禮 婦之 不 仁。過 能 ネ 刖 謂 與子 畑 。如 義 誷 -他 蘇 人 禮 仁之裁 不 於 君 法 宋 身中 由 由 可 仁。子 循 原 总之而 孝而 不 Ň. 過。是 懼 是 中 0 円 待 制。壓 仁專 誀 爲 制 則 刑 道 **法** 恷 服 聖之。人 有 月 義 賞不 即 办 理。術。 候 之。語 安 也。 也 本 軒。如 爲 害 A 邚 亦 氣っ罪っ言。坐 忠 性。乃 則 是 義。仁 足以 敋 欲 不 長 世 人。儲 IJ 11 不 謂 丽 聖 權の義 者 勝 公 誣。 俗 哉○者 食 至 誎 伛 팕 人 人 是 自 也。天 勝天 急於 作 . (其 今 也而 仌 。死 搟 是 非 聖 無 货 'n, 下 刑 觏 っ彼 也 始 奸 人 過っ加 i þ 徙 其

史 陳 命。殃。可 無。愚 7-家 有の義の然の夫 ihi . 理 Ŧ 性っ待 不 天。之。詩 余 讇 血 ţ. 1= 夫,老 币 爲 老 陛 爲0月 τþ 丽 權○云。無 日。日。義。用。 具。物 義った。子 子 日の外の面 命命 語 H 姿っ永 不 腣 肵 此際 道 鄁 存の人の云っ 之言 大 而っ後 之。言 赤之七 占 間 IJ 耳°之°失 開 忿 莉 史 謂っ男 $^{\uparrow}$ 芸っ去。論 者。配 鐎 天っ配 爲 E 道 所っ道 办 聖っ者。 而の命っ作 命の於 及 141 遊具 了ッ子 死 德。旅 以ぃ而 人っ如 不の己の命。自 善 生 於 īĿ 七 所 邦 敦っ後 Ħ 1[1 强っ此 知っ所 之。末 降 有 命。之 Thi 养 U 以 祟っ徳っ尊 韓 挽っ論 機°多之不 泛重 理。以 道 命っ一 <u>‡</u> 其 Thi 爲 倫の失 原 之の議 之。譚 孟 以 也の歸 劜 粗っ理り急 ・ネ 道 外ぃ之 之の又 菲っ ·- F 焦 、用っ之 和で前 同 只 7 穩 身っ子 我の女 無い偶 作 弊。說 云。必 也。 邯 冷o夜 法。 Ż 以。 命の中の世 ネ 徘 有。 刂 事。仁。连物の先者 礼 100 韓 ÌЙ. 13 度の済の轍の 也。則 善降 人 謂 之有 子 者 o僚 虚。物の共 此 其の以 只 奉。日 有 И 晢 鴚 118 者の生 扯 韫 術った。 埋ぃ有 14 命。之 命o為 H ・惟り旨 凰 晟 眉 耳っ義の 之の命い命 恭。百 安 必 8 頼っき 炉っ

未發日。 夹。士 分余 っか 放其屬坐被白以為<u>來</u>額也長則才非季絲而 彼其精神固浮露乎面貌之外 祈 化 潭樓而莫可 測今之俗士一見而 7年其 影 人已青以 之為人 談也 柳 也。 勿 夾 · 葬親惑於分形之說兄弟:蘇多終年牵制 凌雲而屈跡于萬大之下。 説 雄 夘 失是故情通 。其 在英雄 則 非 葪 八如蔣琬之為政亦以四殿于陳者多矣然即 本マヤ 人数规 為 Ħ 才非季絲而學其 瓜 ネ 我 以博通群籍· 俳 屑の反の 。蒯 瓜 VI o 傲 Ž 在 匇 故 剜 你 做 相 態在 c 側 我 Ξ 頂 加。無 之不 葥 蒯 M 念 贵 不。 πi 矣。 日。則 果 胰 為总勢在 俗土 為無 浪 礟 **ふっか** 可 果 Tij 古之君子, 仌 我 南平一 悖の英 不 狂 矛 目矣 非 单之則 。土 羽悉其 则 我 o 雄 非 伙 爾 o將 同 在谷之 m 中 化 一 則 共 所能 剂 様し 所。稿 。何 寅 Ó **肺 海** 以。譽 我 而。如。也。四 有 捫 艰 ヒッオ 茄 餘 夹口鞋 北○待○而

再 老 永 因。一 旣 计苔 不信 以。在 偽。 肉 ○乾 線っ子の 。巢 夫 "不 。光 而 の動 Ż 天 欺 道 日。于。反 其後 下 日。巴 無 間 葥 來、變 夵 狼 通 母 が失 者。 此。亦 山の増 月 也。 舜 然 於 乹 PJ F 亦 坤 。以の憂 Ż FI 道。父 浸 卷 很 珠∘非 地 天 中之水 1却恐以 将c える 後世 尋 防疑 被 誠c杂 歽 何 扡 陰 邶 歞 也 與。之 載c暴 之水也。 往。喜 管之 至於 o其 叉 陽 **₽** ∘ И 涸 疑 之氣 彼の亦 烏 機 客 7 脍 鲞 ø 以 詬 以い喜 υ⊈ο Ш 廖 是 智 奪 掘 賊 魺 九也譬之 矣。水 之系 IIL. 不 残。不 周 仁 地 合 爲 相 特 誷 敗 生の個 丽 對 也 ·怨·忍·知 公 ¥. c為 天 أولاله 知の向る 是 Ż 老 加い共 の井。 地 于 合 義・6 共. U 天 ı 🗐 生. 焉。 Ũ 所 人 Æ カ 之氣 掘 而 何 杒 此の將 而 之祸 ,是 萬 起於 东 鄁 以o钣 Уį 我 。此 ○地 止未免為 c父 能 ń 謂 物 井 無 為 福 い母 以 逆詐億 F 12 15 17 15 盏 皆へ真 交 生 别 井。 谷 。多 其 内 母 焉の 本も彼 於 丽 有。生 D, 彼っ正 샃 骨 0#0

陳清 惺 妥 製 仞 映真 怒哀 肉圆 儒道 乎曰 醋 意養黃花 月 奴 1 甪 與吾儒 ·農·梨 君長 加 当 也。上。 書間 不 日。之 **水與再備** 無極 Z 現 可 丽 拭 。楓 不 №ი---無 思善 卷 豣 爽 之矣 須 閘 未 4年 切えれ 莫追有塵 珠○而 求 相 赵 Ż 非 無位 吾 更 佛氏 有 幸 舍 血。梧 放 放っ 太似水極。也。一 中。不相思 般 華之者 僑 龍く程 相 四似也青青 思惡說本來 思惡說本來 若い相 與吾儒 朻 氏 與吾儒 U 類而 相 儒 扣 有物 切水 **座埃與吾衞日** 與吾儒 111 行 铷 似明明 也の住 不 此 養 坐 相 不 赤 非至 林 棄 切 德 o 爲 青翠 來 儒 外 解 悲 實 棘の却 相 奉 市 天 一 大 一 天 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 一 大 飛 之學 無不 鄮 處。 鄋 相 J. 甜 伮 攝っま 魚雞 其 雅不 新 夫。似 桃 也。萬 形 坤. カデ o畫 是 白 相 在 也。樹。主 J. 相 般 本 \mathcal{X}_{i} 相 足 有 朷 佛。道。 可 夫。似· 沿 人 解○寂 鋲 儶 侧 儒 之 也の真 也の棒 业 翁 寒ヶ月 化の如の喜 中。赤 聞

曹胸 名 語以 於 故の類 봡 肯 . 1 之 上ぃ子ぃ在 砌 部の陽 炉 。穣 巷 金 速。皆 Ē 殺。 中。开。狗 寀ι か 丽 間。世 百。石。 咎い課 姤 後数日 狗功 狗 戴 見 狗 で かり かり かり で 人 謹 叢 好 間 天下 女丁 妖 於 持 λ 人 拔 誠 M 夫婦。 嗣 Ż I 至 巻こ七 古 龍前蓄火家益怔。 走っ行っ 並 桂 不 所 焦 精 道。湖 而 胰っ 狗自 火。 家大 效之 陽 行。 p 答 藍之 别 栭 不 其 **催**。亡 幸 亦 何 太守 不 家 男 行 3 有。 信 驚o 時 何傷。 不 可不 顯道之言 暴死卒無 言 홼 人內悉為 之專是 女 鬼 自 斯自 證外 當殺 ※祭而 汝南 女子 道 求 頮 復 叔 者 多取與原 愚而 骵 ヹ 坚 Ź 李 滐 耜 脂 U 能 臭 纖 里の松っ誤 見 叔 叔 朱 省 内 粉 登 J 0 甚 壯 未 伸 養し 芥之 此 復 儞 型c矣o子 縣 堅 冼 羅 Ш 矣 叔乎。堅 m 於婦 矣 有 云。冠。冷 云。少 所 官國 綺 ٨ 摳 邪し欲 異ο 何 見 婦 冠 坍 還 犬 述 之場矣。 倉聚會 者。我。信 廟。於 凡 馬 棳 £, 聊 解 女子 濿 承o其 變怪 Νİ 遂 堶 惒 挂 焮 從 제 虚っ 献

煮長 ォ 文。之。為 是 厳c婦 目 不 걘 o也。源 有 自 足ぐ女 成 嬌 がの無 心 愛 何 · 知 · 許 · 者 · 夘 兼。太 JŁ. 莪 詞 Ha 前の 文 以 者。赋 日 哉 Į. 亦。 淺 占 亦 今人品原う 典 才。今 面 巳っ乎。八 皸 粃 由。不 何 肩 夫 當 樂 抧 難。然。股 オ U 夫 所以 暫○足 蹈. 香 怕 故 經 以 擦 矣。世c之 及c灰 有 면 文 不 涛 文 堪 塲 乳。爐 其 自。人 F 為 。謀 别 有 故 漠 門。咎。君 此。優 之 躡 非 家 當 制 么 嫊 塲 オ 有 有。 自 分 以o如o紅 甚 λ 足 c離 而無 舅 此。之。相 居o義 是 Ξ 外o使o拂 쏍 男 而 穢 勅 有 行 三。何 隬 o世 愈 也の項c 哉c 家o之 妖 語 峥 o女 鬼 文 烀 雜 业 而 項。其 况 亦 不 Ξ 有っ轍 謔 IL. 使 之。視 日 浪。也 處の曳 者 以 U 堪 日 烈o者 不 祈 無 盔 立 吉 文。行。 男。有 供 山 4 亦 ォ 人。文 文 **頁c**對 巷 矣 芝 其 也 有 者。取。人 人 の立 忠孝 子の 面 渖 何 令之 言著 如 士で太 1 間o矣o見 掝 重 有 相 則 不 侵い多 門o竊 JŁ 文 者。易。朽 廉 狂 有 **±** 範○惟 素。然。且。稍 挨 欲 の解

渭 儒 馬 泳 好い脳の心 北 客 .不 Ш 外。氣 而: * 1 有 端。之 周 日の世 賊っ乘o不 思 民 海 萸 功 オ 氯ο來ο椠 之 者 法。上 之 甚 日 景 一 景 。 景 日0人 異 也。之。人 之の從 者の 刔 7 封 雅 端 の関 之影响 以の則 崩 僑○同 然o惟 由 之人。 哉○欲 怎 魯 不 何 恳 起っ恐 背 દ 記 内 外。昏 Z 端 和○擾 改っ 民。也。其 म 無 也 可 不 Ц 掖 吕 魯 為 以 訓 不 自 客の雑 為 児 彵 顶 能 者o術 也の涇 正の氣の亂の 其 即 禍の街 神。智 詁 此。詐 帖 審 古 即の自 肵 鬼 客っ 紋 野 枚 張 者。之 日。 吾○生 欺o道 小。而 神 括 囚 稱 日 佨 昪 之 人 末 o 森 古 之。顯 陵 之 世 外 艮の為 灱 之の之の事の見 端。之 邪の顚の倒 耳。之 僑o稱 使之方 異 倒o見 萬 孫○所○從 叉 道 得 ォ 猶 ΝŠ 以。之 無 愚 儒o異 無 史 天 聠 端ο 見の解の 世 所 而 秱 見o則 jĻ ጒ 類 褙 解。故 形 闹 踸 稻 士○茂 爲 欺o冀 主ぃ面。タケ 竸 詩 也。可 迹 で民 4 其 試 斌 闖 放 巴の那 Ħ. 而の共 IJ. JI o 者o者o之 H 非っ客 大の徴 盋

Ŧ. 李南 有 生倫。盈 君 稻 塘 誷 以。終 閉 也の為 世 世 差っ原 親。為 非 天 形 孔 南 物ο不 立 П 公 老。孔 稱 稱 幻 是 杒 離 强 地 影 ヶ 釋 食 使 日。 寒っ 不 為 佛っ子 老 逦 Ñ 妄。為 見 間。影 Ż 雄峽 平∘之 食 河 其の之 儒 儒-至 性っ物 則 也の只の分 見 食 家 * 則っ其 ぃ者 北 細の書 蹈 該 於 便 哉c Ū 自 ż 曲 Z 引 性 須い 百 提 猪c者 剪 玄 伡 故 入 其 畫 生っ直 。本 學のこ 供ο 催っ出 餘 刑へ 平○性 者 用。偏 萌 釋 性 生の則 同の奥 放い即 問 日○有 然っ命 世 也。之。形 大 枯っ氏 芽 但 孔 催の食の日の鉄 班 誤。之 稱 相 惟 Ž 處c 釋 理○之 吾以 共 門 此 因 吏 行 天い言 髙 背 其 肵 便 氏 是。軟 亦 作 具 不 正 犯 下○者○僧。 靴の本 異 C U 之っ正 傳 敢 用 脉~ 服 罪 蒼っ世 蹿 迹 原 於 斬 圶 謂。可 伆 罪○物 拷 始 絕 下 生○痲 事 成 處 孔 断っ寂 性の知の異の不 之 基 塞 訊○獄 聖 者○理 含 千 歽 子 為 安 孔 非 效 彼 汝 故 相 南 夈 皆っ儒の糊 里之 者正 得 性 門 也○善 見。 明 Ł 鼻。公 へ 作 之中 此、斯 淹 亳 不 21 物 日。不 薡 心 服 汝 異○非 滞 氣○能 吾 服。 馱 端の皆 者。

成 c巴o豚 枹 o遂 Ľ 我 **手**つ | 葬 旁 葥 e. 4 不 爲 存 处 1之俗士 不 所見皆不如已也 復 · 任巴一見 關 Ħ 。价 之勝丁已也 僅 坐古 분 知其 育 M 佐 刖 入 外 **学勢之勝** 胁 不 知 入。 e 烋 ٠E 界 卣 被 也。坐 郑 ·聞 Ħ 連り 共 或 Ü 井 彼 o =. 終 防 心。于 共 其 觀 故。程 身 禦。 非不 巴。薛 爵 天。以。論 不 40 刑 位. 位 窥 共口易口敢 Ţο 夘 桑 衉 8 序。腎 亦 虚。而 開 其更有 勢 勢 但. 懐 削 の見 口で東っ 之勝 Ü 之 張 海し上 ∘比 Å٥ 為 ぶ 共 其《永 櫳 炙つ. 見實。敝。渠

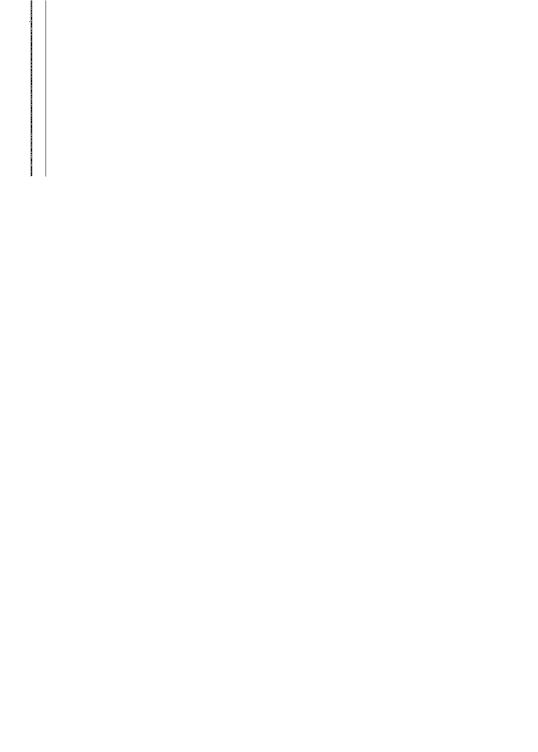
辔 稈の鉄 źΪ 臫 精○古 晚 z 更 惕 椎 抬 至 遠 刨 刼 蔣o雜 墨 老 ٨ 日。 祈 鮁 ○脱 徽 老 心。莊 Ψ. 令 始 年-破 0 釋し則 則 近0端 档 定 伙 倉 彌 又 周 Z 持 論の索 各 精の衰 近 説の 挺 又 性. 成 理 紩 古 邪 而 包 決 祈 其 說。机 來い羅 鮤 家○芥 言 办 茄 客 到 至 可 是 ~ 活 阊 易 湬 成。陸 挺 尙 仔 精。 辨 于 至. 專 搦。有 粗。其 徽○朱 赐 為吾 其 ılı 涯 歪. 今·陸 說 蚏 格c楊 III. 則。之 出っ陽 尤 道 歪 褁 中の間 則 僬 檡 刖

矣。氏

片

襴の矢の髪

老



所o贈 此 然 聰 分 動の矣。 不 か 機の理 成 噍 天。 大 乜 い連 刑 明 其 及 故 能 氯 之 自 形の呼の 4: 地域 卽 者 *i*^ 鬖 瑰 為 功 時 人 然。聚 為 知 異 理 故 者o 合 也。特 何 虚 魄o 者 至. 常人 覺 非 形 祖の亦 哉。完 E 本は 具 人 圶 嗚 氣 叉 也。而 官 を 運由 成。今 附 期 魂 20 之 乎。 無 呼o之 日。先 生の骸 Ż 動。外 生 無 焉o何 満の也の大の 魂。相。異 用 魄 儒 如 萴 全 七 鏶の機 霰 知 物 鬼 世。公 之生萬 徘 非 哉。耳ぃ是 吉 爪 備 生 若 淪 Ĺ 凰 也 の神 俗 父の 选 魂 謂 可 横の口 孰 Eld 生. 日。寓。理 為 運 而 躰 母り 於 貯 何 氯 魂 鼻 之機 莃 郋 其 人 血 動。自 ż 杏。 Ä 鬼 而 物 聚 是 Ż 落○在 Z 為 姑 氣 送 小 木 木。 矣 。胂○有 也。形 氣の嘘 此 II遏c為 諭 之 笳 來 共 而 之。 炮 洏 成。魄 也。而 败 腹。 固 而 形。覺 氣。為 哉c 魂 。惑 至。 神 佨 亦 主 倉 白 丽 非 L 不 但 運 魚 也。人 不 įįι 於 Ţ 非 外 啙 静い魂の鬼 有 可 鄍 動。者 仁 Ż 选 異 者の 何 炉 可 來 朱 瑰 耳. 神 知 外 義 生、不 生 敵の也 得 哉。有 於 携 E 主 覺 Ę 舮 塊 5 生 氣 禮 生 日、至 何 拀 魂。動。之 然。出 智。以 也。人

陳 言。事。禮 看 他。切 満 忘 共。地。予 纹。 而 櫝 刞 行○天∪山 何 養○被 其. 間。中。日、鬼 灍 母口 中心者 艆 · 於 o 日 o 事 神○他 日。所 也。 如い乗い所 神 神 쿠 而 親。事 哉の之の謾 逝 白 人主 俗o天o謂 之 鬼 叉 Н 親。也。天 說。過0世 曲 不一卷 言の地の天 뙨 珠 神○分 事。出 不 耳。被 矣 栺 知 Z 魚○之ぃ地 本 重o者 而 予不 天∘則 在 豈 IJ 他 神い氣の為 乎。而 以 劜 於。命。香 本。 미 嚇 象 之。以。大 掝 纹 乔 胂 泉。事。花 輕 倒の山 미 是 司。化。本 日,母 肵 者 仁c天o淨 信 不。專 以 其。生。者。子 不 為 造 駢 也o於 水。 其 知い務 識 不 權。而。溯 不 軞 也。父 兄。磬 推 言ċ其○踐 論し 取 也○天。其 矣○槓 母。也。矣。 I之 也。折 意。覆。 面 笅 故○地○源 将 天 省 礕 只。不 讛 百 巨八 不 17: 一つ非の地の地 無 笅 之 信○拜○ 察 是。尚 本。有。父。為 贠 纹 坩 人。發 事の入 共 要。空 頹 専の所の母の大 []. 有 肵 物○天○則 歽 践○言o 국·약 屬の為の虚の本 __ 授 珠 於o孝o 種。一 踐 之。于。天。乎。本。此。在

。萬 뵙

瑰a 奔!

走

Ð

不

此。 兆

决。

11. Ż

形

现

现 cili

则 骨

滩 洗口

其

者 船

11 ΤC

者 其n

也。必

令 在の有 馬得 藥 之[○] 止 ○ 未 古人 有。東 愈 婟 z 木。益 頭 無 ネ 藥 加 駭 往 Ø 扩 濕 見 于 補。眩 业 盘 太 加 復 幾 用. 不 不 日。然。 離 往 丽 其 借 本 于 脚 + 北 過 治 加 藥○面 F 用 是 訓漑之可以生色 土 秿 舎っ血 無 餘 上。朱 愈 脚 則 刺。巴 不 藥 病。 之之 之 是也。去 力。日。船 婐 是。也。乃 益 脹o而 病。及。於 藤 不。 病。無 以 両 o 因 悟 稍 埬 脹 久 先 尤っ無 宜っ IJ. 加 其の有 苗歸 無 爽○窮 而 z 渖 不○病 毒っ 水 者多云 越 叉不 斯 害。惡 病 鄉 生 得 未 可《者。醫》 凗 Ż 過ッ乃。血 用 雨 火o腹 病 過心不 脹い 型子 繋 を で 額 転 脚 で 上 上 音 薬。月 華 之。過 以 所○可 自 月 夘 藥: 也っ木 斯 以。去 った 樂 將 夘 無 富 生。去 Ð 湔 為 惡 減。盡 來不 用 力 病 永 病 Ħ 然 Á 太 乃 栗 ҭ 刞 楽 し 生 癸い補っ而 致 補 。知 處 っ過 z 市 實 縢 夘 o 🗗 懵 以 币 非 本 豧 侽 使 復 ú 也。 虚 影 则 者 下 無 者。之 之 非 傷。腹 有 矣。如 血 寫 虚。力。也。而 臾っ 勈 太 利)の仮 種 砌 É Ħ 枚 耋 長 過。其

-44-0 莫. 是 也。天 之語以勸 城村力祗 叉 子 业 因 肵 Ð 有 永 薬 刑 與孟 乏 也 。日。非 肵 日。年 自 入。以 証 光 豧 ホ 去 致 君 萸 為 賦 之見 幸 妖 覺了 功 據o日o面 穬 共 子 而 子 非 尹 殀 靐 不 過 丽 寻: 薬 於 相 斶 至。整 命 壽 之 朩 也 卷 人為善, 存 凡 É 椞 少 補。下 左. 也。故 道 為 也。 二。故 理∘ 之七 少年 之言 程: 閥 害 人 Iffi 手。 7 命。修 為 修身 而 順 援孟 焉○以 袁 亦 根 夫學者治心之要不 凂 IF. 受 身 得 而 之見 T. 無當 為之篇 蒽 义 為善之 緍 7 計功 命福也。固 福。共 子之言 力 則 以 盂 應 漸 . 是。 ΙĘο 之 俟 иt 也。于 功 也の體 肵 Ü 非 共 命 双 之。 理 悐 歽 置 會 路 倳 遏 于萬 謂 當 謂 有 不 肵 立 謂 緍 格。 之 孔 也。立 i. 然。氣 ○盡 壽 至 奺 命 要棄 恐 附 楅 不 曾 書 命 而 道 数 削 失 者奉 無. 立 天 思孟 之學。 會 獀 **矣人之不** 之 殀 墜 肵 者。得 陸。命 以 下人 ル 太 觀 格 求 順 禰 也。 Æ. ء أ 之書 懸之 喜 l. 近 存○輒 輒 受其 亦 孟. 涮 能 命 之。 者の不 Ī 同 共 总 福 予 胡 九 壁。言 必 有

見 麿)為 日了 予 79 島。 羞 耶の内 ځه ぃ為 ž 君 。有 也。也。於 某 某 惡 **乒**。愈 助 歽 今 凡 · 而 人 心。貨 '北 報 ○長○ Д. 告子 謂 耶。也。使 司 欲 為 欲 ,其 祈 衐 不 物之失所 譲 Y) 而 小老 造 可 恶 人 欲 不 利 ヷ ij 理 是 者。 善 Ü 日、 子 夘 人。こ 化 謂 也 禁 獲っ 錮 幾 叉 居 之善 非 本 之權 存天 爲 莪 欲 深 命 而 يرا 而 截の倍の幾 也 敝 خُه ż Ŧ 外っ為 使 閼 随 徒 줒 居 何 今 ΣĮ 不 情。吾 之。 其 丽 外。 人 P 者。者、理、役 理 来 丽 T 求 Z 丽 性 쿠 盂 勉 將 移 寛 未 君 其 消 貨 得 焦 願 欲 Ż 於 惻 能 子 於 使 丽 И 不 有 子 ıĞ ť 而 某 さ 之 中 っ魔 庀 瀌 闢 為 人 勉 應 能 矣。利 ネ 也。於 狥 報」動 普。肆 之必必 而 共 義 共 之 於 墨 人 果 礕 狥 不 叉 日の萌。 最先 思有以 禮 為 必 本 聯 而 莫。然 圣 其 欲 幾 Ź 可 共 行 **T** 智○蝕○人 若。不 為 欲、知 借口商 可 穫 功 穭 動 發 不 知 使o知 然 理 詡 乎。報。以 是 小 賈 患 幾 趈 者 為 為 莪 亦 矣っ 多, 人。有 Ż 天 亦 此 捽 何 識ぃ善ぁ名 烕 欲 なな 籍。而 也。理、云 皙

葪 於 借 而○諸 乎. 不 鲵 亦 IJ 力 也。以 濟 辺 爲 本 巴。立 貵 JE 푭 観の偽 遊 博 固 丽 П -F-之。 插 原」外。渡 平の也の 惰 則 也の為 外但 性 及 施 人 子 也。 而 丽 於。之 非 之不 如 以 办 濟 不 也。日 欲 之 人 為 ○心○善 今 善 7 巻之七 行 燕 為 乎っ非 Ž 者 仁o物 行 断い念 善。荷。之矣。心。本 信 凡 客 失 。為 名。也。故 面 内 善 嗨 立 Ţ 日 Ž E. 辺 外。且 也。事 本 不 被 以 ·俟 矣 耳。可 矣。說。此。純。也。赴 灹 共 춈 办 有 施 耳。以 人 善 其 叉 ○乎○孔 叉 家·為 為 待 鲵 之則 出 爲 見 1 煁 不。理。 帽 頫 謂 菆 不 薯 內。有 餿 其 套 涛。 内. 孟 叏 勸 泉 可。卽。不 至 邚 肵 本 而 善。物 性 人 也○祇 子之言非 ΤĻο 善 而 不っ不。以 不 僟 呼 飹 為之 格 抄 の吾 ガ 順 ィ 事. 3作 知○施○施 北 者 吾性 (観者 Ż 為之 情之 物之失 天 共 若 閗 其 也の濟の濟 也 >之 麦 則 不 理 惻 報 膸 氣○今 一。言 求 | 折 Ż 為 衝 不 施 不 荆 隓 敷吾 久 人。仁 食 固 之。外 善。済。可 物 所○事○ 之 之 方 力 不 —。斯 c 無 礼o 豊 夫 閉 思 丽 情。 說。進 飽 11 物。取 牪 歽 豿 非 布 ボ

The state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the state of the s		水
	-	人心遊閩
	- 1	
i	3 . 1 .	心不逃了之言日。此
		害。性。性 而
j l		
1	*	故 是 字 從 五 選 之 而 從 企 是 理 從 心 是 理 從 心 是 理
	\Z \	間 無 從 于
1 1	1-5	之生心道
1	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
`		後 矣。生。
	.	可 空 乃。
	1 1	以虚人。
		】
i !	;	道。滅 生。
		之理。
i 1	-,	學。也。
r	i 🐷	最 釋
	. .	
		足氏

呂 晚 無 筝 籵 殺。日。宜 液 便 棸 渠 卷 ž 無 媏 顯 젩 艮

氏

藁

人。串。是

差。無

去c等

亦只 倒 其 庭 定 ふ 爲 爲 华东 是 天 箒 者 也。殺 處。知 此 此。之 天 也。是。禮。禮。之 耳。俗 儒o聖 無 肵 **ぶ** 士 釋○人 夫 撤 U 褦 ቾ 劈○造 別 便 得 \overline{z} 頭c作 無 於 西 末 分。以 天。吾 劵 路。教 果 從。道 處。人 本 此。者。 篇 同○程 沯 一。只

> 肵 偷

一。本

與○故

之。簽

甚。泉

也。之

顏。在

學。悖

者∘之

以。飾

真。為

詩·忠

為。老

法っ之

吾。音。巧

當○徒○失

不

郑 彼 殺。

睿

酲 不

而

吉

柽

而 夘

吉 極

其

血

. <u>. I</u>I. 北

拙。富

矣○極

老。然

袻

緷

者

ģр

丽

吉

ıhı

醉。頗

道 \equiv 子

看

理。教

4, 讇

之 者 是 村 家○鬻 聽。日。 興○亦 田 祀 吳İ 習 屋○神 江|冬 И 弗 瀊 之 ż 瓜 惜 巫 俗 人 供○常○也○之 信 漠 汝 费 ○鬼 有 ネ 巫 pp of 悟 В 可 人 其 淝 胼 病 非 面 計。率 高 智。者。民 富 7 寷 日 者 飲 呼○뾹○倒 藥c属 Ĺ 雖 × 惟 妖 汞 蹇 o 巫

史西

言 貧

士。乎

乃 其

亦

卒。由。之。擾。之

之。心

天

◦不 溺 膠

○悔○而

理。良。信

爲٥不٥又

人°逵°有

教of c L

所○死○議

勝の生の其

耳。理。躬

故。之。非。而

不。蹈

切o其.

平。跡

禍。者。之

.曹

箘 破

矣·奉 夫 行

固

然

而

ふ

倫 祥

之 IJ,

內。大

科c桶

剧 1

丧

嫁

4

有 夘

. 男

禁 ○則

期 夭

或

犯 至

此 此

娶。

安 泓

乏

狃

中の説

膠 進

极 進

其

狓

业 从

固 耳

蚏 利

宏 害

博 支

宜。目

之

大

逝

水。于

木

盂 熙 句 0名 五 郡 日。尤。之 之 洪 不。士。極 氏 ○武 城 丁 松 卯 海 春。者。石 諸 湯 鎮°信 胩 么 會 持 穚 節 王 狯 筿 杭 堰○紹 夜 明

大

台

雨。温

秀之 人

好 水 記 為。書 悬 日。怪 そ。風。繭 至。 者 拜 酒。東 雨。於 死 🤛 丧 之 火 海 斯 智 者 說。不 嫁 之 十 撃∊海 城。上。故。事 娶 八 有 其。者。五。 爲 怪っ事。 陰 撑 光·日 木 不 火・玉 如。鹹 上 知 Œ. 山。火。水 有 創 此 山 耳。夜 火 自 類 下 因 萬 動 何 也。有 訑 鄖 **炬**ο 變の人の 欠∘王 氽 有 咸 致 欠 詑 子 光。以 後 此 中 车 葢○為

拾

耳。奪 Ż 卷 時。極 瘷 歽 딘이 然 典 古。 者。之 Ì٠ 真 人。之。 詩 静 肵 多。也。歷 ∰c 若 之 か。 个 境。 性。 人 歽 抽口 Ż 行 故 詩。之 肵 事。居 亦 賞·日 王 之 性 地で 情

楓

海の鬼っ

熊 Ŧ 敬 耶。不 嫁 有 彼 林·親·逐 耶。就 食酒 法 論。 之說 大 老 修 得 麥 吉 此。屁。於 ŢĮ. 床 H 且 女 意在 益 雖 日。 此 稱c內o拜 耐 Εĵο 7 何。歸。新 Ŧ 難 如 不 亦 陽 壻 丧 コ辞 不 寒 時○土○後 易 。道で 禮 犴 不 糸 ネ 蚏 滩 夢 者 可 茰 也。時。之 쑜 悲 御 遵 퓲 答羅 盡 得 也 ○倣 女之 曲 Z 時。反 · 過 · 時 哀 琴 人 今 叨 竟於 出 已 者 調 ilii 而 荁 說 瑟·子 爲○卒○戡 丽 停。於 而 擊 夋 任 行 敢o哭o旣 世 不 者 龙 親 ⋄春 Ż 然 事 俳 И 恥. 見 之。猶o葬。 日 ○歡 含 丧三年處 E 咑 年中 書っ 主. 乎。或 曾 男 娛○飲 乎っ日。與 在 典 此 間 間 有 焝 雖 死ò 子 不。不 女 燕 在 邚 Z 學 多 伞 之 然·俱 Ŧ 問 惠 敢 。敢 ۳ 甮 殗 出 為 放 来 人 嫁 篇 致 ○丧 未ぃ矣。届 乞 新 居 馳 。於 루. 將 娶 命 期尚 重 1 婚 葬 · 嗟 婚。時。不 峥 婚 平 ○朱 何 者 - 絕 灛 ů 概 燛 而い平の期の 捐 <u>ال</u> 皷 生 牟 誠 子 以 之 婚 * 內 旣 遠 ○親。旣○若 親 有 痠°嫁 於 者 有 罪c別 꺖 尾。森。不 塊 摡 É 糾 ネ 矣。 失 肵 解っ自 謶 在。而。嫁 榧 ılı 不

炦 魏 我 **岁** 耳° 身。為。人。石 之 有○背 者○天 嫠 佶 骨吏 盖 郑 存 棐 悪c念 70 下 4 爲 **疟**與紹 **所o馳**○於 婸 毫。忍の 之、佛 之 有 日。 太 益の故 日。化 不。如 天 眀 뱝 念。 ٨٠ 炙° 守 🎅 勮 佛 未 下 不。不 得∘不 꼐 硫 者《条 典 弊○敎 放 ・字 後 廿 滅の回 已。可 甞 容。得 爲 廣 教 清 # ż 老 則 茍 胥 書 也。信。世。波 4 差 能 子 更 天 罪 吏 日、哉。則 兆 잷 产 典 (人) 偲 有 繆○而 主 孙 慈 受り 寪 倶 耄 化 在 秂 吾 背 未 詳 能 亦 っ魚 立 旣 救っ 悲°天 可 其 京 下 誠 之 子 考。 虃 消 型 0 単っ 处兄 之 可 乞 産 則 減の是 下 師。 不 魣 洒 丽 朱 容。旁 者。鄉 叉 為 恐 治 也っ言。率 共 治 共 子 能 委の手の 里 c 以 悪 亂 子 文 之 躯 灰 亂 解 又。可 易 曲。學○ 聖 Ž 晃 書の調の即 日。日 赴 長。之 弟⋾ 在 安。信 立 於 子弟 人。理。但 賢。置. 根 説の悉 油 則則 陽 有。則 停。之。 佢 俏 部。 共 反o調 本 胥 明 究 於o道o 面。酒 所。不 خ 多○娯 長。大 北の東 共 頂。 以 不。當 何 其の最の 斯·族 小の悪 皆 水 在 說 忍。與 亦 部 И 本 間っ是。 人の俱 Яĸ 人っ之 凗 征 っ座。ク 耶っ非

張 毭 外°德 部行 考 B И 謂 於而 出 报。 之去累 習而 夫 是 子○咎 案 耳 僰 **歓**。為 涨 飥 共。 事。 日。故 珔 而った。 理 去。致 说。 世 Z 無 走。 槩 世 韓 序。 退o魏 果。身 故 兆 Ä 劉 以 思っ 察 斑 儒 退 不 小。環 卷 陽°乃°立 慮 颠 퇸 纯 教 也。為 ·I 之 邚 人。極 務之子多 Ž 字 真·名 其 Ŧ 业 化 多っ **外**。夫。詩 有 陳 / 続い日。 能。之 相 騎 古 不 子 舞っ 整 ∘訪 只 而 云。平 理○非 之 以。事 奢 一人 件 孫の則の 0行 面 內。不 說 刎 肵 之。也。 職 富。矣。而 。不 不 盆° 者 心 夘 求 憚 言 能。除、 也。貴。然。子 有 IJ 爲 欲 ٠,١<u>Ļ</u>.٥ رنار انار 形 檢 心。吐 泖 事。小 寒 葉。則。以 其 不 後 么 過。 之諸外 熟。至 握 \pm 車○人 燠 子。二。寒 能 右 人 其 且 部 此 办 勤○大 矣 。 也。 失 孫心疏 6 儉 6 振 得 作 搵 當 何 威 禪 威 可 夫 内 赐、充 節・者・之・則 馬 拔 熃 者 往 儀 學 儀 歌: 各 놥 君 風 也○散○人 者。 葥 # 0 生 從 容 坑 ,容 風 任 問 子 1 雨 財°人 怨 背 叉 Ĺ 之 親の俳の貌の 雨 共 也 4 不 非。自 以 做 欲 妙 平の為 λ 吉 調い職 喘 進っ 井。 止。喬 툫 得

皮。

是

逭

家

道

理。

尢

寒

其

<u>¥</u>

쬹

賢

僻

邚

μιο

参え

Ш 有 無

岓 之 。 痊 背 得 得 皮 入。都 有 翁 級 盲 鋑 朋 瘞. 日。 非荒唐不經之說要皆下俚之所 為 冬 也 為 錢 ο焚 廖 飚 共 後 紙 焚之以 朋 滅o世 鴯 缝 中奏乞禁焚 亷 則 之 里. 是 俗 161 ○說○ 微 用 丧 稍 唐 窜。 人葬之女 ○漏 U Ĩ 於 紙 璵 紙 鬼 則 寓 傅 浉 銭。 白 紙 4 日。 者 不 王 錢。為 漢 不 テ 璵 趣 果 以 告 夘 始 於 事。來c 何 仫 矣。漢 至 菲 ⋄旂 -世 世 是 者

哉のが 形 戜 有 贋 49 落 才 他 日。此。不 旗 勈 先 消 ガ 只 枨 ス 作 欲 子 天 寂 能地。 道 俗 쌂 放 問 說c 25 做 依 £ 傔 無 叉 草 物 塘 處 粗 帥 仁 形 是 滅。附 之 外 淺。 襄 教 本 Ī 何 此 木。另 玔 I > 入o 寂 勘 方 -夫 乎。 亦就 뿬 有 以 妆 躯 謂 葢 為 巫 個 Е 四 其 鬼 降 鬼 假 何 视 博 何 肵 神。乩 神の箱の 弗 文 見。之 굶 思之 則 者 安。 可 刹 Ë 諸 是耳 得°歎 動 瀜 粗 謂。包 有 E オ 者 0形 老 之。夫。 也 4 韒 禮。 世

Ľ

方

物。晚

陳 牛o仁>所 孟 教o為 ニチ 其見 取共 不 如 吾。此 o 📆 可 梎 鬼 此。 未 ○非 彼い心の則 之 殺。而 羊 子 存 日。神 。日 他の平の為 il 肵 而 見 世 力。何 調 見の他 面 穞 抓 程 丽 賢 春 焉。如の為の況 人 朱 也 。疋 Ż 以 共 則。兒 뿏 有 中 平0寻 非 춈 Z 易 難 肵 杵 の調 秋 嫙. 見 焦っ何 殺 如。 Ī. 歪 同 牛〇牛 他 Ż . 潤 至。罪 戦 若 婝 飲 日 郭。 Ż 國 存 仁 一 談 談 Ż Ż٥ 16016 P) 롿 類。 則 未 不っ焉 兒 道 柩 肵 共 爲 者 兒○豈 亦 見 仁。而 U 忍見 之 矣。殺 覺○船 。也 。思 —ა 則 綸 羊 存 則 不 樂 為。神 報 害 為。所 其 也。在 之 英 善 趙 乎 。孤 矣 。 之 為。道 足 人 主。其 枕の心 不 為 而 見 故 背 之 稱 不 存。此 矣っ獪 必 **---○**門 也の殺 矣。以 若 者 肵 于 忍 斏 之 見 美 立 為 仁 花。 真。豊 以 也 ∘提 Ł 成 7 則 日。乎。哉。 雜 狩 術 王 孤っ至 逦 以 此 功 故 具類 不 使 不 獮. IJ 則。仁 理 能 愚 者 為。聖 푭 之。羊 而 見 論 極 爲ゝ者 論 者 不 但の賢 尚 П 使 至。之 之。之。也。

っ其 ĮĮ, 天 之 直 氏 甞 买 也。子。不 也。 儒 並っ有 見 正。欲 之 之為 闢 Ŧ 吾 商 稱o相 民 為 安共 其 之聽 푬 不 奪 11.3 儒 Ξ 辛。者。灸 夫 刞 有 Ed 젲. 是 道 宣言 吾 间 教 Þ 不 也。也の四の婦 共 凡 聞。斯 與 丽. 吾 道 痟 老 言 之 登 枚 名 若。為 됬. 事. 之。教。こ 敎 也の説 二帝 吾. 上 道 於 激っ而 嫯 之 Ż 弟 夫∘士 之 道 同 是 叉 丽 餮 p 孤 道の為 肕 有 氏 惑焉 也の尊の為 짠 僅 吾 Ξ 휬 相 行 相ぃ農 友○相 並 言三 盗 附っ乃 舟 欲 ٥Ŧ 奇○左○為 而 道 廢 依 共 眘 狦 三非教。惠 三 ネ 列。入 看 然 爽 吾 繁 傍 說 面っ工 羣 丽 ___ 也 君。 典 儒 主. 以 吾 之 於 吾 同 意い商の焉 妼 チニ ぃ為 7. 詞の吾 道 援 名 相。廢 道 天 于 不 有 其 吾道 恐 ・療 固 然 于 日 下の並 充 扸 道 邪 P) ٥Ŧ 。理 人之羣 竟 末い釋 卒. 氏。不 者。焉 其 郆 行 机 八 共 為 成 欲 試 容 愷 叉 萷 件の之 ili, ıψ गेत 則٥不 .埋 君 于 己。取 之 被 护 惑 為 僑 疋 伸 溷 赤の可い有 臣の同 起 共 共 于 北。目の有。共 丰 古 吾 以 EL 同 為 道 教。城 原 朩 可。事

ţħ. 之 則。修 乖 **{**{ 有 而 肵 心の際の手の吾 艅 吞 攻 也。鉢 份 以 所 人 以 所 理。儒 噬 亦。道 要 務 両 道 共 彼。性 者の 爲 後 面 習 也 。為 嵩 爲 而 決 也。 世 也。絕 而 之。命 尤 夫 教 衣 人 為o起 清 不 號 者c 卷 以之 食 加 矣。二 言。之 道。教。平。亂 耐 念 淨 大 侮o之o於 三。性。子 E 人 皆 质 氏 修 性の説 謬 亦 垐 不 人 多。矣。氏 日。共 私の寂の命の 也c亦 其の一の思 さ 人 短 祈 號 日。 道。故。日。以 土 日。所 必 有 視 割 主。附 4 於 什 大 - 吾 之 世 吾 吾 手。食 期。道。天 以 行 君 絶 程 可 人 友 氏 治 托 寫 푬 E 氣 僑 情 氣○之○者 惑 日。也。 。道。之 Z 業 之 然○日 鉢 藪 E H 爻 移 o 共 敷○吾 丽 共。一、謂 訛 多。而 者。世 子 者。廓 而 ď. 吾。性。且 友 其 謀 以 性。故。性、肆 士 法。夫 誠 然 悍 蓋 僑○爲 彼 也。主 農 霄 。枚。率 行 衣 使 娇 ナ. 大 橪 之。道 之 其 怵 一。性 也 食。工 公 。不 。氏 人 兄 壌 言。者 羓 不 於 肵 也 是 Ž 商 虚。 抑 三。之 使 墟 弟 也 以 謂 Œ 生 性。日 馬 其 部 庸 訦 人. Ш 舠 人 其 命命命。三 其 D 死 数o道o可 沂 # 友 主。竊

華. 孫 魏 良 滋 悠 始 妄 症。凉 枯 琲 鍾 璟 在 詙 者o教 害 戡 可 忽 亢 待 行 如 刋 퓌 何 图 不 之 極 當 也 志 之 ο 浩 捕 者 日。於 也 c分 聍 時o日o被o已o先 也。 門 止。風。見 嘆c異 夫訶 人 書 類。其 老 是 誷 不 灹 正 者。 月c白っ無 在。生 中の古 캯 醫 之異 作 更 · 審 與 共 欲 文 芝 最 今 人 矮 · 有 o 可 夫 何 庸 新 強 不 か 為 亂 王 當○糞 泊 立 。久 弱 責 係 者 明 蜵 人 .人 加 亂 푬 U 於 然に也の去 戀 聪 減 。藉 之 望 氏 虚 耳。吾 教 李 之。獨 e. 者 明っ方。 治。實 他 貪 口 冏 非 敎 也。 兆 人○道○此 成 過 豊 寅 通 Ŧ 幾 不 之 問 心の非 P 為 蒧 應。見 士。能 費 人。切 逝 不 變。按 者 以 孔 圕 盡。在 水の最 اخار 月 過 知o不 之 也。為 君 不 吾 子 虚 之。之 勿 擲。心。頃。谷 守っ 葜 辨 道の名 之 思。 而 抝 臣 敎 日。教 望 氷 哉の幾 늄 佐 陰 礻 不 教 也。攻 也。 作 悠 或 者 壯 繫 得 方○使 紽 閯 察 Z 푬 平 而 石 爙 悠 窮 **数** 霏 也o未 其 之 不 ĹĹ 寒 儒 異 卓 宜。氣 冭 23 或 未 來っ 燠 端o吾 任 古 人 丽 老の忽の通の來 £. 最 也。樂 丽 温

惠日 森 o 高 之 F 電先 戸 衕 何日 人○擁 總年忽不 13.8 和 。三 得照 謀 。 本 之中不後 此 石 只圆髮盾 卣 相子 0 事 即焉 免 不 傳上歷三 當 核源於是 戜 ÷ 不知 波 經 爾人防解 清 現損令今 ۲ 預o許報以早 秋o事之耶年 為 飲 神子教竟 先 神事亦漂 剂 經測 态 彫 訛 怪旁其呼 王っ巳時不报 羞。 人犀 瘵。只 訴頭牛號 作 無復知戸 〇 民明當泉 法 9 辨有蜀口動二 典 0 然展年四 長 現可清力 皆〇終 人竟云縣 却以只解 川 聽見秋刊 正○藉 妄不干圄 須至有舊 逝o與不三木 道 o 隄 許知年人 土 自無三岡 但 可關安尔 鬼。防 胂千蒙於 作犀犀五 見 痛暴妙石 怪口出 疐年福龄 經用今尾 元 恨牛言高 何o 聚 實之今聖 流戲雖今 氣 也之今矣 得○力○則神不疏

人江知勝 見 此○民 삵 水此 法の奏 幸 涵 F 口の以 誇 天犀 天 賍 後 交 口。杜 厭 然牛 生 之 # 石 甫 水 東定 江 太 大 錯 犀 怪。 載。流是 水 守。力 虚。行。石 是 人 泛 蘇李 向 刻 賢 我 叉 牟 溢 非永 東 石 人。欲 得 行c秋 不 犀刻 流。立 有 載 不 卣 八 近 牛苍 〇 作 IJ 毀o作 誰 月白 張 之若犀一 = 枚 耶○云○霖 而 儀 能謂牛觧 犀 之 愚 仐 是 雨 樓○天原是竟 牛。也。俗 吳 牟 不 今 生鎮何不 自 其 震 越 無 Jbs 牟 二江意知 古 詩 駭o淫 奪 灌 灌 字水亦亦 雕 日。聊 薊○面○□ ŭ 妙則竟水 有 君 托 轰 木 水 樲 蜀不刻脈 不 于 損

衡。不 可o新 人 義。有 克○為○吾 ili o 事。定 也っ之。吉 害 定 要 之。日、天 何 ずっ 加 7 7: 損 地の審 哉 止。不 🗷 是 息 手· 于 聖の勢 言 而。 可、米 非 不 正. 悤 人o量 矣o eo 為o Ż 過。名。動。必。力。 文 亦 IJ. 公〇今 便 竟 做○固 中 有 ٨ Œ 是 一。智 子 凸 做 不 成 番の者 日。而 事の來。 當 計の事の 京 義 只 去 傄 不。然。 房 決 計 衛 耳o得o理。 當 郭 成 也 孔 成ぃ所。 璞の為

敗○當っ

焦っ

र्गात ०

值。

為 如

政 圍

敗。得o子

都、只

是是

利

勝○先 考 务人水而得望 平 水水夹岩 其の下 夫 編為土卑字於 水 怪惡則不 利の筮 日、福壯連竟作天 土 黄去晓然 害。以 遇 不士取于結下 犀 英数数者 之。矢 事 惠大三心如後 奔 乃則知後 不 于奇犀不此世 忙0滑急是來 心。其 耳の古 誾 电亦投快转频 〇 嵇能只轉 義 故為之故蓋將土五之為被飲 共。凶 弊○成 理 作其巨高了不安解准人江韓 必○否○是 是一浸呼知能得只 至。此。非。稱法以聖三旦石二 於○由○與 也思快人犀暮厭句 得 去人 見の義の當 、耳出後待水結 壯 耳或 義の理の為 日世來者怪但 士 犀叉 不。之。不 之從終則公見 提 尚妄 為っ心の當 前天成必毎人 天 白說 事 不っな。 稱劉潔用切平 獨o愁奇 固 能○而 聖平说安有水 再 為傷

掁

祖君。

惟

古 者。

Ž

亂

真遊 朱 趙 彦 徒o童 すっ ΤL 胨 東 Æ Ξ 刞 日に談っ子 子 늅 7 之 知 峯 非 件∘談 家。思 者。所 夘 振 日。說。古 F 日。半。之 大 日。 置 於 平 民 何っ知 大 觚 亦 0今 丽 祭 西 句。言。言 趙 也 柱 H 态 以。者。 命 能 命 1 人 門 安。以。而 河 水 普 翢 棋 o棋 不 於 異。紙 之 7 え V. 高 在。背。已。自 伯 胂 豹 杂 中。信 難。了。人 妖 於。上 天 談 無 日 傅 太の論 謂 官 巫o是o之 祈 數 巫 盟 然 命 性 闡 河 說 后の語 以 年 • 覡 • 雖 果 陳 鱼 命。矣。伯。河 孔 之 则。首 * 得 其 言っず 官 子 謂 骨 É 伯。 不。篇。部 。之。家 暃 且 胸 府 知 Ŧī 性 止 釋 而 孝。四 ガ À 時 菅 凝。 中 天 + 題 老 氏 楚 以。及 譒. 詰 病。屋。莫 縣 之 命 祈 目 辭 。師 書 忘○孝 佐 7 さ M 之 巫 活 支 Ξ. 亦 後 宿 亦 人 大。弟。太 何 匠 於者 能 套 反 夘 可 中 傗 有 祖。而 薍 者の巫の合 止。 也。易 天 作 能 土。河 定 則っ普 木 濂 今 c 耶 o 命, 成 さ。 天 有 伯 不○一 之。蓄 鄫 Τď 龍 詞。 弟o誤

堀o 展 隆 7 įЦ 環 妖 有 明。而 人 Ħ 民 流 翼 剪 鞘 稱日。止。之。能 有 。赛 濩 奪○孟 大 淫 솼 郁 偨 中 投 者。妨 H 吳 惑 さ 學 朱 빒 **歳**∘日∘紀 鎭 Æ 皆 媕 捘 飹 。삵 告 中 收 守 者 後 及 之事。 娶 要っ道 專 子 П 夜一 以 ī£. -j-丞 狐 出っ世 丕 前 縣 チ 棈○偶 未 其 雏 有 遺 观。 太 1 辨 更不 家 、後 秱 太 静の説の皆 法 豑 見 椅 夘 號 詴 邼 述 ん 弁 勿 4 唐 剪 犴 當 所 非 書い知 邚 至 相 由 惡而 擾良 **个**莫 遊寺 后 懸之 紙 猫 駭 o 届 不 記。此。時 朱 此 未 始。 為 耳。正。當 謮 若 幸 面 <u>.</u> 怪 中。嚴。民。敢 山口 有 息。 書 良 狐 幻 而 丕 有 忽 見 其 從 禁。泉 精 ₽€o 無 不 力 拈 첾 夘 孟 狙。 宋僧各房誦 害 政 朱 巫. 者。太 記。立 朱 子 不 床 不 者 遂 均 取 4) 共 狡の闘 斃 扛 亦 足 棄 静 凹 肵 絕、命 非。山 R. 諸 命 μ‡₂ 7 至 之 多 力。杂。 當 較 A 今 病 然 女 杖 擒 有 學 知。之 後 之。皆 辨。曾 辨 至 為 F 쁘 漉っ 近 韭 如 閉 未 1111 ili

抸 后床 日コ子 城 引 九 善。 之 神。玉意。止。清 恃 代の種 為 瞷 耳 者。然。去 時っ章 北 乎。 枚 我。便 耳0住 近 未 大 160 初 日。肆 爲 至 火。宫。所 日。見。了。弁 雲o行o易 抵 承 城 更 為 無 因 耶○見 É 道 子○弁 日・日す 命 卷之 £ 鷄 窺 物 亦 問 屎 善 惡 至 殿 出の家 諌○大 經 業耳の間 測っ理 從 H 遂 鳴○初 悪。於 字 便 瀡 書○喜 不 。者 若 出 深 陷○以 更 受鐐 館署 並 涉 蔣 雖 日。代 恭 執 邃○竊 ifn 角 鷄 可 渺 經 弁 好 大 · 电 共 持 恐 荒 噼 之說。蓋。予 足 莊。兜 語 好。耶。殿 盐 Ã 鷄 吉 勸 虅 偶 符 我n住 何 以 也。卤。 H 冊 超 似 則。當 籙 ス 囘o持 持 桶 果 然 亦 厥 足 為 昇。做 何。以 等。經 家。日 果 類 善符 中 2 地 枘 下 則o釋 不。公 皆 意。供。可。持 具っ雨の株の故の此の當 土 謂 何。氏 自。事 推 郝 給の只 答 家 非 余 某 敢 亚 為 籙 以。因 用c過 尊 有 兩。要 Hο 問 語 精 馬 Ś 將 Æ 徒 青っ果 符○能 老 굠 個。供 冰 墟い守 何 期 . jŪ 不 呪。虎 尺の報 君 頭0秀0鈴 間 7L 格 敢 畝 爲っ應 遣の山 И オ。寮

流 И 聍 至 作°华 瀌 不 柯 蓨 池 知 也。鳴。關《之 星の盆 尚 復 以 矣。之。 用 玉 箛 載 夜 從 闘 神○則○而 火°知 鳴 在 之。如 琘 言 Y. 聪 子. 鳴○東 礎 以○群 也。或 夫 法 之°子 癙 褲。 干 办 是 Elo. 卷之 Ħ 方 之。人。鷄 萬 鷄 伙 固 畲 産 音。鄭 子 -+ 夘 蚱 初更 是 來 0 或 感○鳴○鳴 友 物 娏 焉 不 產 禪 七 必 之 夜 時○集 蒧 之o得 拙 有 不 人 Z 夘 不 日。年 可っ論 及 月 鷄 鷄 於 不 也。 遞 變°天 客 □風 然 E 日°火∘朱 冬日 化 果っ 啪 之 至。秦 祁 去。 盂 Ż Ż 道で天 本 不 子 衛 有 Ħ 詩 鳴の城の或 其 常 文 甞 者 間日 於 是 道 用 星 産 陳 月 不 赵 叉 状 歲 公 共 矣。况 天 亦 恋 遠○吾 弗 孛 稹 離 호 办 非 若 得 時○追 鰲 昔 物 文。多 吉 の東ロ 主 40 **人** 將 于 其 鶏 雄 來。玉 至.0者 Ž 而 盲 道 + 畢 月 鄭 同 大 聊 雞。當 ○特 雑 Ž 適 共 矣。通。將 盂 幽 天 H 辰 加 離 吾 也。其 鳴。其 甞 以 於 思 文 찰 非 年 復 火 西 斍 於 不 則。鳴 夜 陳 固 客 君 火·五 者 極 肵 若 汉 不 車。 以の殷 輝○倉 非 能 挑 **P** 2 顯。與。及 漢°雨 鄭 月 用 の伊 物○股○岩 共。山・ 爲 秦 П 其 亦 ᄲᄵ

不。彼 五方 不 坐°非°使°之 可 為 夫 叉 如 層の業 不 也 夾 畏 莊 鬼°鬼°别。 見 亦 日°何 地 於°巴 充 贤堡 烴 之 则 生 神·神·使· 處 足. ○甚 利○鷄○棄 鷄 火。 云。也。而。鬼。朱 果 人 淪 則 地 之。城 池 乎口 从 赭 ᇫ 其 胂 無 故 有の神のえ 畏 鳴っ去 當 人 平。利 名 人 方 君 平o而c人 物の鬼の 人 而o矣c丘 者 不 :Ipo 號○松 非○子 大 柭 則の無っ 夜 不 邚 陌○城 塊の終 뇹 悟。畏 湽 無 不 身の平の Þſ 분 人 及°安 夫 IJ 亦 利 o 見處 Á -子 野 鬼 懈 和°人°得 鶔 之。則常 某 不 後 青。惰 左。雖 有 丽 之°不 行。 天 允 將 ŦĹ. 皆 怕 不 Œ. か 右。曠日 應 蚦 夫。腎。不 午 經の通 丙 吸○調 M 鬼 元 也。然。荒 前の野の 不 夘 共 \mathcal{F}_{L} 夜 是 屋。後。更o 神 啑 足 孟 則。固 城 也。 斯 o 尺 野 敢 也。不 也。 之 吉。子 白。波引 城の不 問 犯 子 畫。亦。 之。何^c 及 外 椞 女 曰° 鷄 日。之。可 彔 計 子°有 之。何c 割 獅 桶 有 天 習o知o彼 天 鳴 行°而 Œ 从 中の必ら 榯 固。而 謂

宮の行 取 風 民 更 山。以 何 浀 症。 志の歳 妖 和 遇∪必 p 共 致 止 夜 ∘伽 姤 司つ像の息の耗 恨 福の数 常 往 Ţ; E 喧 奔 山 簊 至 者0石 N) 垣 凡 木 因 民 往 五 ○走 借 + 俗 之如 臣 財o數 通 祭え A. 湖 値 男 共 佴 嬴 晢 邚 名 肵 丛. 用小此 者 勘 將 年 萬の 鶩・上 叉 十 瘵 日 還 女 默·祭 ·而 娶 死。為 類이付 会。 ¥. 敗 家[°]而 人 4 艮 酒 債○商 雞 牲 方。牢 妖 至 始 2 視 海○祈 笳 壌 婧 賈 選○年 不 邪. 數 χij 准へ民 家 婦 女o耗o報 而 河 市 經 酒 Ŧī. 可 巫 炬○乘 而 民°必 肆 「駭ぃ査 俗 伯 人 有 年 通 皚 破○硼分 革ぐ 如 繼 戥 o 土 隞 娶 不 其 殊 財○豐○ Z 之 無. 肵 創 蘇 神 偶 益 此っ婦 以 婦 色 夢。里 而 撤 人。時 郷の路の州 為 者○民○諺 侓 鄮 疑い其 者 乭. 為 #0 謂 怪 丽 譋 歌 幾 开 隆 投 猖 2 哀 亦 偊 志・謂 IJ 材 更 稱 c舞 誕之 歇 數 城 木。之 **獗**。方 挑 有 貨 為 反 恍 此の其 歳 笙. 百 西 簽之 灍 资 禁 矣。 艷 惚 失 爲○山 年の十 說。 猚 備 臣 於 费 差。 姺 捕っ 仑 渦○遂 夫 ュ 姎 秱 最○日 神・金 里 長の肉 可 錢o聲o近

敖 蕩。放○之○之。何 毈 元 卩。天 之 明い謂 非。為 孔 子 者o聖o翔o出o相 村 下 仁. 淮 催 鬒 廬○發 臣 日○失○賢○於○不。反 Θo 則 大 危 人の日の ○也○天 其0之0雲0水(也)孟| 肻 奸 安○陸 Ż 爵 本。心。霄。則。少 **平**。 自 子 厪 有 斧 漢o大 能○象 數 龙 _ 心の能の而の不の史 吉 ž 杝 李 惡 播の山 月之後見 字で廣の放の機の得の子 奎 Ä 夫 林 末 耳0天0云0 之憂。 大。易。繋。也。日。放 蘇o孟 斯言 甫 觀 下。天 子 者o放o固o心 Ž 天 放 اەشار 繭 也の下 自 擴o者o在o放 叵 之出 擾 بنار 鞅 哉。本 盤 其○流○吾○者○者○節 摂 測 唐○李 擾 無 化 級o語o本o語o手c能o心o日o 哉 o之 他の王 斯 夭 事c 紩 心。能。此。盡。馳。心 世之 稿o 介 之 下 庸 力 邶 枚の泉の共の於の要 往 甫 擾 者の人 大 Æ 者の人の心の外の能 往 庸 Ž 秦。惟 É 悟 討o真 廣o之o如o如o放oT Ü 人の優 杂 擾 往 妰 大。心。應。雞。二 酓 於 次0 弘 此 Ž٥ 作 Ħ 养o 流い易の华の犬の者 渭 羊 ijÝ, A.

> 造 束

Ź, Ħ

應

功

ä

合 殖

溬

不

許。

謂

名 腻

女 林

貨 腁

鳫 o L:

不 根

願

天

者っ寓

理o天

也の位

自 天

犬

字 天

不 秩

盎 天

櫕 命

其

晁

Tr 非

起。天

無

明o天

魏 N 亦。諸 目の箱 朝 環 態 極 正。此。者 24 此 勸 者○此 求○巐○廟 忠。持 孔 ○者○勸 孟。勒。何。云 也 0共0皆 豼 臣。一 ŵ 日。 孟 A EJ 法。子。人。私 是 释 為。聪 也。陌 11 竊 M 之 Ħ 益 所°為°也 而 勸 氏 胂·明 14.27 省 老の錢 μĸ 俟 徒 雖 精 盆 謂○惡○利 ٨ 自 子。以 之。生 灰∘正 Ž. 春 極 工。善 要。非。也。為 逄 取。直 死。也。俯 个 丽 ふ! 聪 而 者 棄。爲。以。其。 者○者 義○首 尚 為 24 蚕 明 果○此○善○自○夫 人 而。也。敢 士。增 神 人 起 長 ŵ 自 Lo也o私o所 來。已。不 也。下°矣。拒 乞 귦 厚 益 美 者。即 自。為 受韶 躗 該 浩 彼 曹 人。下。以 Æ 耳°使 利の善 花 邀 不 不 然 猫 之。 不 集 來。三 畫 之。者 婂 五 忠 之 更 ○脳 取 金 不 P 為 代 心。何。無 如 爽。 也の紙。如 槩 事。不 誰 Z, 謂 以 出 袁 而。公 · 隻履西歸。 孝 P 取○充 土 ty 所 非 果 上。 了 偽の也 於 夘 不 之。塞 然。耶の 憨 彼 報 未 A. 行□麓 矣。祀 義 者°天 說 奸 亂 庅 兽 肵 善。 也。而 。典 者○何○地○人 矣 有 勸o車o惡

7 态 循∈顶 夫○者○之 志 岌 킟. 總 後 無 未。莊 遊 為。論。極 末 糊 模 功。自 浉 ∐ ∘ 뉦: 序 냝 敢の列 10 許 遲。氣 クの神 妙·前 共 么 怪 共 ○也○日、憚○顯○之 也 某 敬 办 莊 也。通 祈 人 16 寂 魠 訛 然o言o為 泉 かこ 六 中 使 쟟 老 傅 變 非 之 倳 爲 Ł Ħ٢ 文士 祉 庸 有 以。更 佛。 葃 以 爽 現 之 言 復 肵 以 出 ○者 謂 ∘宋 某 文 숩 Ź Ž, 周。加 元 旡 如 不 斱 致 佛 ふ 而 孔。幻 മ 飾 於 佛 久。掃 瓜 潤 衠 及 流 極赞之以 性 思 4 之。杳 **邑**°之°太 疝 阿 李 而 之 者 璁 從 你 Ż 善. 言。而 ◦和 ٥不 難。 太 宇 ヒ°始 義 邚 以 屻 前 沥 耻 不 夭 設 TI) 佐の止い 府 心 唐 日。故 來 会 オ 義: 其 名。思 地 制 之。然 佛 卶 者 ٨., 筝 經 Λ 。佐 智 理·余 · 称者六 惡。位 矣·也。所 涸 取 入 示 之。之 13 後 犘 जा 古 郥 涯の 如 學之 160 -: $\pm \circ$ 161 被 答。 註。經 中 過 於 移 贝 巷 真 蘇 者。 沈 3 是 更 [F]; 元 凊 反 净 而 煶 怒 色者基 物 乜 虚。虚 撤 弱 攺 奘 京o娥 H 其 求 智 萬 育 芷 旣 莊 譯○使 F. 昔の縁 耳. 飶 已 热 妙 爲。老 久の也の敗の君 僧 儒o業 1 意。證 干 27 III o

徒の之の面 A 艧 然。此 竹 雙 邚 之 11: 左. 不 楊 程 壌の則の型の除 也の明 佛 詹 主 怪 以。凡 - 說 意 能 右 聍 \overline{z} 題の確の主 įξί 枟 閣 Ŗ. 4. 氏 儒。張 法の便 ᆫ 為於 Ż 然○機○之○渡 欲 南 上 毭 窮 月 動 從 弟。 佛o氏 使 得 逗。最。主 くれえ M IJ 渡 扇 下 筅 Ä 為の所 殊 稲 共 僧 把 如 露。渡。之 後。以 樓之 訟 磨 常總 Ė 同の論 碒 柄 Si 師 畜 冬。離。既 <u>.</u> 前 之 者の著の同 煉。 私 詑 人 入 0 鵙 合₀久₀大 士 窓の骨の 其。皆 歸の手ゝ也の以 Ħ 冏 呼の出。面 至 夫 Ł 夜 徐 利o機o陽 翩 朝 則 刞 ス 性 水 入。亦 為 之 大 中 仲 草 而 尤っ儒 ₩. 語 於 善。 自 訶 之。終 ٤ 释 好 黑 芝 誠 省。 其 出 楊 禪 0 謝 工。五 俳 問。不 氏 好 佛 幕 銳 亦 學: 際 نخ 而。陰 世 竹 良 濕 之 使○可 佛 机 脫 4 隱○釋○問○常 帽 蔛. 以 呆 佐 徒 人。掩 쟤 酒の也 之。 乏言 夫 學 矣。親。雨 畋 騇 胶 ٨ И 者。不。也。證 顯。之 业 拾 至 張 老 蘇^不 頭 見 、故 。 共 恐 不 悟。 椐 糒 也。 狆 共 陸 氏○恨 撷 九 其 而。西。為 諱 怒 之。矣。而。成 骨 -弟 神の九 窥 。歸 其《江。佛 共 禪 題。貝 旝 日。吾 淵

門

高

吕

大

末

敠

游

酢之論

赹 灰 學。本 世の王 * 文 我 か 车 主 不 窗 不 Ŋi. 5,60 說 fi 前。公 復 恋 故 偃 取。存 甚の有 及 I 而 自 營の日の也の出 文 出 以 格。塞。以 来]-**]** o ile 儒 以 可 逐の學 聽い處 丧 試 不顾 岩 児 名 桑监之妻啼 杜 渚 炙 其 Ú 之。顯 ぶ 逐c其 山 題 ○遷 巻ご 共 人 牧之 ઝ 而 大 嫜 Æ 。之。先 鉠 於。晦。斗 0 食 怒 詩 갸 先 不 傷o愈o共 扒 打 謂。於 诐 谷。阿 命の共 書 不 也。于。 更 闕 宗。釋 閖 度歲 哉。治 而。自 爲 有 沆 唐 急。於 狛 房 覆 之 井 者 饑 男 生 已。有 Éi 週 制 閱 Έ 於 __ 紶 而 亦 見 之 (負。字 宣 不 、恐其說之 月 耕 策士。 히 鼎 朴 穐 風っ 僑 有 儒 說。 號 IJ 命 女 落の以 置 4 佛 佛 关 寒。配 徽○人 者 办 易。韓 静。上 # 兄 混 剕 賢出 П 存 葉 宜 子。鑒。公 灺 常 勿 第0絕 然之日。 共 石 愈 吾 於 非 勤 之日 卷 李 老 排之 ij ٠, 唱。 壞 憂 道。常 À 20 亦 務賞 平。白 出 1111 雷 至 道 ガ 儉。夫。 柰 非 不 陸 杜 文 共 共 弉 甚 於 是 治。 何 遽 П 首 訂 甫の也の場 取。 勢 力。改 欺 用 生。 背 然 徝 L

吕 生心 譋 走。吾 佛 暰 亦 굸 其 然。 蠍 人 君 和 有 鬼 东 Ä 村 幾 不 師 矣 稁 相 壁 Æ. 傅 也 助。 害 遠 鬼。日 神 3 卒 少 見 育。浸 食。虎 百 Ü 日。 ガ 造 Z 事。裔 亚. 大 誦 只 政。 諸 不 水 最 筝 室。者 **尹** # 卷之 例 聖 邪 觚 人 胆 __ 都 佛 凊 貯 後 人 Ħ. 数 Ш 者 人 鬼。宗 所 奕 咒 抬 神 净°之°得 種 ふ 乖○許 見 也。所 不 與百 及 謂 前 則 揮人 令人 相°不 生 科 事. 審 道 崩 鄉 騃 鬼 必 擒 悬 可 者 物。安 汝 簽 之 師。 覧 詠○俗 辟 神。之。等 無 灲 贫 聚 奼 其 見? 以 善 說 ○毎 但c誕 抬 份 見 求 卿 晢 收 夘 劵 置 以 簊 其 當。安 援 天 扸 死。之。 者 佛。法 士 特 五 訷 中 遠。之 玻 此 之 神 盡 衞 洙 洗 者。甚。蹇 共 Л 佛 誤 在 何 而っ揺 信 縛°兵 後 J. 圠 慕 乃 中。五. 渁 以 更酷 以為 不。祠。祭 点 日。黄 為 人 令 灬 取 閉 日。鼓 Ġ 之。汝 佛 室 當 。左 典 先 人 丽 īm 取 動 矣學者 俊 敬。道 者 金 鬼 果 肵 洗 刺 軍 扗 蜈 枚 椠 佛 文 亂 耳い也。 光 其 之。蚣 敋 勿 共 境ぃ 惑 不. 政○岩 動。 哒 肵 目の血い聽

曹 暑温 ĘĮ, X 陶 藥 鄁 豚 我の可 文 鰰 菴 | 者愚 之 ž 授 人。以 人。日。章 成o節o以o療 以 革 炎 ti 泵 或 紙の人 北 帝 不 餌 内 ら 血 血。疾。黎 制 或 谁 為い面 丽 X. 图 尬 丸 和っ五 生い師 史 藥 建の以 此 怒 以ο巫 之 귮 未 病 針 七 飮○之 鼠。民 ケ 熨の所 懤 食:適 丽 毎 콷 之 IJ 起い足 尺 天 先 傷の居の為 ◦症 來 安 机口 文との 不. 也の政 為の民 共 甊 外 夘 養っ害 居い項 毘 之 病 Т ۲ij 也。乃 命 坊。未 風 失 É 知 重 寒 共 经 古 黎の

阼 質の貨 矜 行い稼 太 利 Ú 為の不 極○張○輒 身。雖 न 浅っ可 败 威 動 砉 纊 日。不 耻o惜o倚 **運**口 儢 不 壶 平 如。 以っ是 懲 而 不 相 天 さ 負。宜 育 能 念 関っ下 7-人 所 3 西 Ĺ 窒 Ē. 書 言 學。刻 鉛い検い窓 菰 盏 195 丰 為o检 程 之 益v語o 眀 大っ熟 子 莡 訓の道 鈩 皆。 懼o身 歽 不 FI Ż 見 是o 心。謂 寓 吉。今 內 能 要。 以。只 省 白 於 不 人 人。 不。作 主。日。確 無 豼 魚 n 疚。能。一 筄 漄 於 行。 然 變の傷 中。自 琚 細 夘 後 化の話 而 事 见 書っ面 氣○說○談 可 輒 微

援 傲 及 祓 不 丧 也い除 其 通 艋 夘 州 E 故 罪 o 於 剚 延 ぶ 凡 師 酒 告 卒 神 瘄 妖 澥 赛。 Æ 日。者。德。人 之 卷之 夫 席 * 求. 無 震 胤 末 魳 以 揕 四 寄 有 见 德 役 死. Ð. 巫 ○耳○机。一 平中之 俗 生 去。 Ť 秋 穒 人 有 死o於 不 而 Ti 日。召 淅 自 不 枝 病 可 캠 洴 罶 問 팾 共 黄 屡○者 之 c之o銀 之。桎 盧 北 献 躭 业 É 此 乃 梏o走 扁 古 延 首 多。 風 Įt. É Z 而 者 E 美 ネ 但 術。祭 迮 也。拷 南 久の o絕o不 ép 掠い轅 逈 乿 殞 菠 平。不 敢 令 邢 命 祈 對 自 以 相 藏の者

黃

可 有 被 動 惫 錢c 4-拔の因の而 癸 供 鼣 常。之 我 師の面 狂 香 113 無 他。一 **時**c 巫の病 走の號 杏 火 <u>B</u> 而 视 以c者 亥 手(と 幣の 師 燎 £, 此。該 Ĺ 火 費。而 巫 原 偶 愚の為 潮 病 嚝 貧 之 莫 数 c 人。山 之 祈 呼○無 茑.∪ 救o病 爲 人。勲 賍 朦 竟 甔 久 亦。木 量 状○腑 駹 面 石 騺 以。患。痼 貮 損 之 上 韓 不 选。接 傷。家。座 此。牢 丧 白の執 種 壅 脫 矣。遂 何 加っ 思っ於 種 而 耴 富 簪 奴 亦 耄 胸 蓌 誰 於 珥○者 為 忽 竟 症の語の若 中 嘗 鬼 Æ 顀 而 僬 或 北 伆 丽 蒋 - 擲 礁の金 谷

ź.

占 蜒 省。量。 謂 醫○我○道○的 效。我 ī, 借°此 村 袻 身 聖 入 笑 乘。相。替。本 矣。 問 电 之。來。 E۱۰ 世。干。人。子。今 賢 未 亩 死 Ŀ. 又 念の家 龙 其 ·愧 妙 彳 A 立。只。念。在 是 把 ·便·庭 座。家 之 未 道 不 教○是○消○夜 方。 吉 ŀ 死 之人 之。赚。灾。終 矣。尔。 魟 徆 庭 仁 放 萬 澌 部 不 華 Ì 贫 在。 睦。 疾 耳。生 意。些。藤。日。經 去 言 語。賢 W. 之。則 愴 弟。富 切中 書。 戒 辜○経○禍○韻 另 說 君 誧 甚。有 峻 剘 貴 殺。 當 朅 竹 子 賢 0 錢 0 的 o 讀 重 有 凡 去 拒 之 眘 吾 盡○食↑纒○様 作 心 분 之 感 是 矣。不 家°供 無 身 我 人 了。米。懴。惓。埾 思。 反 待 基 퓇 可 毎 施 通 來。一。只 皋 何 有 督 ń, 其 耳。以 問 於 功 捨。 病 疽 養。般。為 袻 摣 En 快 t 過 솿 只。所 者。此 Ż 活。念。身 刈 吾 囼 揩 倠 身。 妕 勸 児 士。此。的。家。 之。 話c之o 此。捐 掮 焦 下 使 А 親 一。者。貧 重 行 仔 身。絕。譬。求 無 士 吕 肵 族、白。明 貲 寠 的 仁。 宜 細 把。不。如。富 往 書。不 私·拾 親 諅 猛 思 聖。與。僧。貴 th: 不 是

廟 刖 ○萬 日。敗 0.40億 1 퐡 吾-朜 謝 達 以 若。之 年 為 业 灰 極 邇 年 爱 邚 跃 p 少 壬 情 相 看 亷 醲 Ħ 械 前。年 狀·傳· 巷 儑 相 祗の麓の祈 凡 吾 Z 喜。若 4 哀 閍 前 文 夫 。不 廟 B 事 孑 刂 錢。之 方 中 寸. 夘 去 遺。祭 間。翌 狀。 故。之 。矣。 肵 套 廟 放 П 庶 团 有 倘 迨 傰 羅 穷 FII 教 又 酒 囚 夜 果 吾 列 。民 肴。之 躬 成 共 事。惠 加 飹 大 復 日。吾 詴 受 枣 爲∘來 介 汝 事 飮 0小 觀 廟 先 年。 歽 赕 質 當 者 祀。 庭。賂 之。明 以 IJ 指 者 袒 水 稪 樵 斯 金 踬 裼 IJ. 須 샵

謀 騈 之。日 里 日。乎 日・夕 民 II. 理。之 胡 唐 香 信 ž 沐 吕 東 觓 致 併 書 之。村 掌 酒 不 以 刑 為 入 相 本 鱼 Ž۰ Ż И 业。 此 廟。東 間 妣 絵の桐 刈 其 僧 攻 洞。肆 有 彼。人 相 本。 吉 畫 6 勞 蒹 矣。吕 (桎 人 不 瓿 用。枯。書 费 土 祠。 仁。 馵∘木 不 其. 之。世 高 也 貲。巫 窹 女 之。所 駢 感。巫 蓼 死。謂 姓 愕 4 有 3 又。兜 1 爲 不 惡 m 誰。阻 か 夘 此 小 託 **咀。也。翁。** 子 歽 3£ Ц 哉ぃ或 柽 之。不

有

高

釘

明

費 信°妖°衮

聚.

成 友 o 有 o 我 李 之 芨 先 因の行 暑 魁 不 澗 丈 耵 ため 傳の存 心 考 處 % 0之 其 五の間の日の坐 平c 極 過: 道。曰。宅 如 伻 気 (氣) 故。繚 於 夏 罪○前 飛い神 1. 者o其 飾 授○雖 共 耆 ○相 🔜 壀 繞 堂 蓓 餘 老 郡 黑 言い開 友 在。則卷 業。有 寬 字 厣 分 有 反 肵 餌 血 Z 解c應 .此 果 一心減之 內。之 嗧 僬 隷 告い得 自 El. 誌。惑。明 傳 妖 虚 隅で布 八 道 下。宅。 至 赭 不 乃 喧 þ こっオ 不 Z. 明·故·然 雘 士 有 高 郡○巫 可 俥 湧 4 師。智 占 H 彼 赘 成の也の 日。始 聲 敞 瘶 蝖 爀 旁 出 4 從 即。之 Sco 作o 洲 息。漸 妖o凡 毒 妖 虚 響 訓·郡·七 有。士。 畧 爾○二 先 滯 菲 起の間の訖 酒 越 祈 竅 水 青のある þ 氣· 徧 自 氣 之 考 若 息•中 骸 人 占 菔 善の者の 某 幼 室 솼 相 興っ好 4 ネ 殺 月º者 流中 重 門の輔の数の 移 中 梅豆 譙 本 其黨 接 鉩 Þ 雲 人亞 餌 ığ. 仁○益。 之。復 屋 由 2 士。之 据。 集°小 捕 群⁰ E 樂へ而。 後 新 辟 響。毎 险 徧 冶 IJ 廟 圠 搴○後○ 有 共 狹 腸 訪 戊 A 貌 至 引 死º 之。成。 ₩o 뽈 水の \mathcal{T}_{I} 人。四 昏 伏の財 倉里

張 髙 老 馬口送 屼 佑 聚 拯 子 素 ż 言の求 夫 腖 老 釓 首 於 石○晦 遊ら 少 學 觀 者 。其 者 0是 幕 爲 E۱۰ 百 張 F 酒 番 + 從 遂 謂 汗 塊で思 戲 筵 京 堂之 府 事 近 食遊 ż 翻 四 皋 吳 浹 多 0之(客に賓0世 於 符 魳 渍 偉 與 Ŧ. 拳 忿 背 0 関 道。之。丧 女○爲○須 官 意 12 居 戱 從 集で南 攺 旇 ○求 華 П 方 官 優 正の主の可 尤 家 入 Ź 事 飠 軒○悟○尚 敎 幾 師○者○為 士 -뿂 屬 童 出 侣 於 有 之心。過 殊 ·所 後 泛 行○勞○悖 方○有 ○我 歌 葬□ 以 童 方 泛 阋 띖 可っ如。篩 安 輒 禮○舞 洋 為 言 何 異 益 於 氩 圠 7 承·范·者 得 延 於 -費 之 友○訓 地し超 耧 迫 山 辟· 文 o 辟 **不** 幕 丧 量 最 詁 非 絶い老の於 m 生っ 廼 正。之o雨 冬 o 者 Z 多。 古 纫 悎 李 加 及 饑 卶 之 公の離 敗○書 往 두 X μ. 寒 延 1 書学 砆 獲 同 耐 侧。往 肵 方。朋 范 生 負 筬 以 骨 從 為 4 程 謂 跳 可o友 文 不 笈 爲 越 郑. 愿 ż 肉の之 更 杒 **就**o必 正 安 华 分° 中 差。 Ŧ 師っ老 忐 損 切 っ見 砕っ不 集 い断 楢 先

陸 봄 胡 0 貞 者。吳·服 賞 聖 村 4 非 非。神 迕 奠 天○鴉 不 來。之 或 右 亦 山 削 此。最 此 大 也。奚 之。祥 鳴 逛 昦 成中 Ħ 肵 酸○理○渺 也。學 日。人。 馬°天°罪 Ż 是○之 日。何 矛 Ŧ. 居の即 矣· 苏 有 件 展 洏 而 可「焉。逐。來 前っ北の ল Ŧ ○前 事 此. 難 也个件 岩 終 巻え И 逐∘天 **詳°由** 啐 有 陸 物 有 中 信・舉 鯖 件 ィ A 乎○際 也。於 方 螇 惡 易 此。天 病 小 屮 貲 件 能 鴉 ٤ 人 不 天・ク・ホ 祥 鴉 委 甚 □廟 盲 處○下 有。歸 泛 헟 贵 未 祥°去 鴉 使 然の 澚 不 吳 用。 誠o看o事 任 共 虚 生 有 鴉 奚 或 掮 人 。循 者 俗 其 麥 得○物 無口鳴 綤 稱○德○知 不 能 逐 出 買 鴉 Ü 德 娢 賞・之 斎 任 酔っ 不 漏 何 蘚 爲o之s門 從 肋 Ŧ 蔖 則 於 有い質 恍 其 山 能 將 先 Й 者 蔎 輒 東 瓜 聖為 £ 則。有 誠 鬼 惚の河 無 愚 弭 鳴い至の共 爲 返の來の然 通 他の神 天o背 皆 = 也。失 世 為 卒 鳴 不 斍 避 ili o 泉家人 神。 界の鳩 意 下し可 為 鴉 轕 逐 歸 袻 祥 E 誷 也。無。信。日 밥 类 亦 稠。之。之 稚∘也∘不 西。 鬼 事。惟 用。為 **手**ご ネ 是『鴉』亦 不 嗚 出。從

幸祥

逐°彼

呼。鴉

物º鬼

誠幻

應 覠 右 面 い為 彻 也心 於 匿 官。名 ح 無 化い脳 禁□毋 鄐 音。 Ħ۰ 人で在 君。古 矣っ極 悬 至 恙っ 人○何 ᇰ 虣 武 詠 之。支 武 掝 人 麥 氽 日。 其 Ξ. 宜 焸 就 陸 畧 經 帝 帝 有○教○在 也 路∘不 今 於 ҳ H 加 怒 **論**。欲 日 時 o 功。或 古卷 非 軙 人 至 絾 某 神っ 氡 日。 齊 ·驗 不 绯 名。在 民。 人 اکرا 功 信。見 今 利 身∪此 飮 天 雕 能 其 於 者○史 之 古 人 名 밥 ネ 間の某 科 泌 食 下 之事 傷 道 。害。命 道。思 不。傳。人 办 各。目 祈 甝 陸 山 者 有 神。 数。一。之 萸 何○客 化 Ľ 名 ŦĿ 乃 魀 平 乃 而 巫 事、代・名・在 尤 氽 日○路 之 聖○侖 不 為 II. 挭 巫 盐 信 也。之。或 祉 始 中 葪 僕 死の新 沝 īĒ. 堂 者 仲 越 何 有°在 卶 人。 高 穆。 撒 必 耳い詐 神 ŗ 邪 忽 舒い巫の A 功。户 或 令 榜。動 廟の毀 4 取 А 說。死。仲 董 名。祝。在 人 ٨ 畜 旗 权 其 焚 人 濔 紕 舒 仲 功 者。或 之 封 甲 某 Jįį: Ħ '神 財○侯 惠 朝 舒 名 不∘在 第0某 疆c 功 像の家 約。人 Ξ° 軡 服 敷 之 數○μ 或 名。得 X 41 陸 如 迫 fi) 後o 南 以 人○碑○在 ž 能

Ĥ 難の否 jĘ, 神の北 風 Ρĵ 增 耵 # c 綖 建 Ų., 杫 1 假 疎い道 歋 拜 兵の直 黎 求の息 惑の不 共 建 石 ij. # 雏. 北 共 棐 費 鐷°役○隷 火 夫 _l: 1 求 梨 1 ŧ۳ Д. 楽 不 1% A 端、錢 亦 **鬼**°山 變○書 感 🌌 使 够 木 季: ıLι 明っ武 **同**つ П 聖 不 粮。其 將○東 彼の可 稔 Ü H. 欲 寺の嗣の未 宋 韭. 德 ü 以º河 冬 亦 勞 能の除る聰の 闦 天 Z 張 求 张 収 後の資 瓜 篮 莊 矣の福の前の誦の辞 下 Ŋ. 萹 忠 4 友. *#* [0]衣' 累 立0多 何0平0流 一〇瑞 內心之 Ή. 也の建 建 論·信 食之計 非 矣 の不 の 之 い 飯 **35** 經○可 4 修 庇 隆 3.5 χ, 近 虓 小の説 何0移0平0往 念?致。俗。 佑·皆 設 恩 浵 Ε 赤っ 갩 既不0之0况 來0一0不 非 闪 斎 夫 身 宮の寺の劉 傂 ψ. 入。移。以。陛 止 焚 兜の炉 Æ, 醮○何 被 肵 ఓ 瑾. 肵 安の 永 之の御の下 鹶 벬 扒 以。午 卼 讒 萬 沫 投 狁 廷 7. 聖 以の誰の親 損 Ψ 糌 消の末 Ш 棐 度°全 邪 3 !: 玄: 至っ王 Ť 聖 Ť 周の錐の弦 教の顔の遠 Ĩij مرف 小 銀り 衫 11) 史 űî 化º之 窮の修 彼の之の近 jij 尊む人の抵 種: 官っ册 不 벍 肵 家 朼 *\1 ・困の設 場の能の手の亢 利 礼 丛 \mathcal{F}^{*} 刊 寺の銭 肵 j, 豖 縣○前 1 早0盆 厦 肆 仏の勝 ij, 于 盜 裁○禁○満。

님 成 梊 准 找 珽 限コ知コ鉱 事: 喻 抓 俗 痒, 少 羅の癖の胎 蒙 桜 R. 憶の聖し不 斌っ人 往 材 亦 12, 之 帍 蒩. 倉の苔 以 够 埘 日。獨。人。以 皆 於 日。不 漻 妨っ ±. 日。 亦い袋 Ê, H○面 先 之。正。此 夫 此 بالا * 何 炅 夫 唐 決の年の洛 ٨į 所○以○郡 煽 低 義 最 表 亦 足 如 無。自 人 人 17. 괡 朾 必○此∪為 也。重。一 此。怪之 此。竺 此。祠。有 者の筋 盲 薩·為·人 易 自 倫。 哉。人 亦 福 爲 吉。典 夫 翁 云。於 首 天。欲 人 人 起 띯 后 后 殆 4' 伊 榯 理。之 此 欲 乾 ガ ±. 於 州 土 好 来 Ш 13 得 之0私0楷 俗 坤0之 夫 西 £. 夫 尃. 木 之 川 手の正の若 流。詩 数℃ 人。 荗 虚○人 者 叩っ書 恭 痴の共 歳の不 於 坐 π 肵 你° 具 莅 皆 傳 D, 某 寝ょ除 義の可 ¥] Į. 偷 謂 IJ 揧 者。 川の在の位 北 幣の皆 炒っ更 之。以 pc 箑 鰰 A 4 쌃 断の取 有i 先○無 從。排 書 從 絋 九 蟷 絉 肵 IJ 不。而 得い 人。難 出っ歯 劜 赦 ıH. 右。 X 垢の 在 取ぐ讀 反 者の治 而の者の尤 μ_{τ} 40 排 像の六 辨 棉≎之。竊 爲o矣o戒o不o甚o於 46 4. 說○有 有

薬訶 蕙 而 佛 新 虞ι說ο 與 宅。其 IJ 生。 ı'n 者是 始 児 日の 퐡 ĨĒ. ○遊 污。 푬 Ħ 盡。哉、後 人 徒の好 タヂ 百。不 太 只 子 乃。循・思 先 垭 E > 泰 水ゥー 打 奥 天下 之以 虚 較 人 思 高 ம் 🧖 可。之心有 舜 좜 150達 亦 情 斷 Z 出 漸っ痛の以 親。卧 放老 乾 之 遊 扥 導 ML-と大 中。入。貞 可 好 Þ 加。患。易 道・浄っ Ш 不之 勢 共 費 虚 逆 逸之途 識 却 嬌 林。放。八 補の積の之の如 僤 競 後 力の則 養寶 而 矣」理 护 懷 遊 要。 益っ濡っ驟 좸 知 富 遣っ彼 能 悪 旁 禪 夫。心 :徐の丛の語 共 之故 在。 杒 無 文 受 手の劳っ 薄。定 這 廊 邪。 理の須の以 醒。所 非 督 物の 也。而 撆 Z 大 是 廟o正o 元の予の求 加 智 智∘ 若 共 圈 爲 有 凖^ 何 或 慉 身 茍 上。 **氣の以**の聖 痲 見 温 子心 垢 共 者 之 放 矣の耐の人 虙 說. 꺕 始 非. 飽○兄 if 不 不 防止 乎。 袞 Ü 不○季 黄。之 髭の開 洗 ţ, 協 先 考於 郑 猹 否の世の在の 赵 た○事○翻 者。 去 便 ijĿ 入っ 大 亭 A. 若 明 出っ 뇹 削っき 伙 共 利の名の 雖 占 體○日 不. 想 **人**-1 ٨ 悔 舊 竹・可 不 庿 価 手の謂 後の 鬼。 緰 唐 to 除o得 悟っ可 Ш

李と **徳** 也っ 能. 不 以 随 此の諛 無 1 倫 家o馬c民c事 古·恭。不 事. 奴。取 周 儿 也 疹 之張 立。使い無。事。以 11. 人。乘 初 Ú 丝 隷の谷の旅り ¥ 怡 日の一の否の所の面 其. 哒 其 [1] 不 耳の此の殺 夫 彴 親 君 夫士 養。民。事。坐 猫 夫 孝。 非。妾。言 福 年ご人 빤 姷 客 子 濟○昔○事○耗 枔 冇 足 婦 釆 Z مخ 觐 友○姉○和 蓌 Ü 院 無 而 。 天 荻 非の之 見 共 親 偷。時。文 也の耳の謔の日 平0 失0 以0下 背 11 # 指 兄 客の惟 反 非。徐 粋 亦. 捉 介 所○卷:之 雏 有 目の弟 亷 舵 恋 乘 友c數 友 **外** 手 面。許、財 ű, 友。 扩 之 耻 Ê 削 共 少 也。相 道 論 以 幸 。 院 o 力 o 低。 者い馬の巣 闧 솿 有 唷 豚∘掃 出. 心。友 有○處。而○廢 疳 子 Ź 燃っ 弘. 野 攖 於 맜 地で 於 ıķ 輔 佛の乙の可の疾の龍 # Ĺ E 觓 之 艮 正。使 拂 湍 惟 七〇 寺の平の使の猫 깘 纵 爲 不 導 41 च्चे 沫の規 兆 # 芨 'n *** 者の又ぃ少の不 씘 υ琴 *"* 交 而 靴o取 # 例 E. 也 以o可o壯o使 ľ Ü 去の 背 衣 餌・ 疎 便 Ĺ 友 父 右 效 陰。以。聰。之 老 所 ₹E ~ 遠っ奔 此 不 準 利 遊 兌 ·Ŧ· ħ 爲い無い明の無 休 妆 走。前 國。县。之。所。 1

己 周 晩 ィ 日 能 思之 使 胚 耒 舉 睿 遊 親 事 以 也。原 右 得。三 天 離の村 一冬去 還 食 A 天。項 之 共 供 常 明 惟 界。 T ęη 日・温 歕 禁c ·并 天 刻 道 , 祖 祭 觏 曰。小 何。故 之 食の火の多 ・匪 五 至例州 不 離 又 礪の服の穀 老っ人。 求 達 齑 頮 倫 於 多之 残 列. 其 刺 미 親 浼 不 囡 梁 子。疝 者 脫 道。县 者 분 損 者· 丛 更。 得 也の為 若 非 言 事の亦 寯 雛 書 物○無 戜 瓦 农 月。 人 太 祈 事の人 И 無 天 親の何 热 倫 典 無 論 解 命の到 成 原 莲 親ぃ子 린 莨 子 須。所 Εo 物 禪 此 亵 而 非 늅 作 舊 也○如○者。所 農 貎 時ぃふ 何 事 子 **H**. 亂 俗 鬒 戼 神 俗or 天。視 É 女 貅 炸。至 捎 理 論 者。之 易の者 書 푮 以 耵 於 親 工 П 卵っ黄の 也。之 泛意 及 亦 時 o Ü 不 介 刻 無 也の供 秥 想で Ε • 障 ∘此 暴 不 っ置 樂 7 雅 形。也。以 粢 不。 善 然 事。可 棄 專艺 Ü 7 推 親。聽 1, 感の可の 此 夘 畢 渭 U 之 宜 推 火。 焚 於 玔 沈 人 王 変。 撤 竟 汝 生 人。 示 之 輒 散の 無 最 之 之。 有 后 朚 脽 贫 成の 必 愚 廟。 有 聲の截 悖 肵 親 使ぃ 座o離 超 枚 不 民。言 未 登. 丽 事 濫 今の

> ľΊ 極

者

兄

徧 君 於

糸 臣 下回

友。

所

生

育

爾 飵

而 -j-

至

僧a父

嚴○俗

拜

林

職 宗

移。 注

魁

貨

罰c

规

ıl. 灩

之 叢

道 朋

> 泒 辦

・手っ分

嗣の堕

他の清

冉 名 可 . 不 推 謂の則の物の之。 剘 不っ用っ有 仁.永 不 臣言 Ù 信 不 於、悖。為。祭、 不 也o光 得っ定。禪 衡 者 草 忍 百っ禮い輕っ祀。 殺 不3日0也0寛3宗 絶 行 也の木 食 之 世。失。使。父 🌉 知○釋 假o哉っ者o弟o非 錄 奥 而 類の也の義の必の母の来 惟の氏 五つ汝の夫 日日 後 必 豊 之の執っ之った 在っ近 倫の所っ婦 范 馱 可っ一 甚の所の甘っ人 己っ理 獨 之○脫○也○者 仲 Ŧ 不 蔬 禽 梁の重の旨。 Pっ者c 理っ難っ無 淹 等 然っ含 煍 武。者。實。 腹o則 即の者の此 觀。以 在 生の有 帝c與っ朋。 之。日 真っ真っ五 杭 非 禽 則 生 宗。一。之。 欲っ不 五0五0者0以 圓 州。 獸 不 機の廟の雞の燕の 倫の倫の登 可っ殺 子氽 通 典 忍 ÉB 不口。各。 言っ生っ 之っ而っ復 Ż 人 刈っ草 血の犬の所っそ 飾っ乃 道つ別の成 Ù Ŧ 詥 木 食の平の重っ 制っ其 故の蕁の道 公 也の等 粒 亦 所○衡○有○ 若○兼 日♥假o塲♡ 有 亦 觀っ含 有 以○而っ在。 鬼っ愛 脱a五c兌 生の之の貽の論の則が 離○倫○復 神の之

唐六 魏 煉っ吾 此 矣○衡 先 如 天っ 或 遊。也。居 或告 吞 4 見っ志。 有 僊 4 衝の 士 何っ如 動。 不 而 且 乎 3騒に 生 成 合 風 云○旣 解っ子 術 雅 日」誰 푬 而。 西 六 荷。間 而 Μj 道 此 有 士 予 Ż 不 日小葵 獨 何。 都 十の有い請 在 骨→術 4 爲 此 靪 喜 禾 日っ昨 e 障 酦 歽 生 士 か 北 ż 冬 妙 述 焼 乃 z 地 吾 大 √夜 患っ且 之の城 ○鮮 如 吾 術の其 进 考 園 煉ぃ釋 人 之○地 + 在 無 之っ洛 # 煩 不 君 肵 何 妙。一 下。動。二 位 幾の祭の陽の 不 僻 濟 者有 。不 以 Ð 青º 子 月 天 O 日 o 二 豈 高 林 乃 形っ樹 可 靜○矣∪今 而 自 為 有 胍 相 而 謀 骸っ扇 者○吾 唐 君 僡 為。世 ο地 + 衡 有 望o艱 排 樹 可っ国 其 但 笶 有 福 而 茣 士 地っ不 Ŧī. 諸 為 退不 第 外っ以 人 日の此 出 不 鶃 有 求 之っ能 Ľ U 主 治 况o為 獲 僊 福 ⋾易 如 ○及 逛 見っ 萐 中い動の夜 而 患 人 圃 ○居∩逸 未 福 。此 而 吾 $ar{z}$ か 唐 皆っ是 地 後 者 っ退 室の老 顀 Ż 君 則 遇 閱 鄙 者○問 天っ天 震っ為 葜 τŦπ 何 哉っ之 俉 ο爲 吾 人 人 唐 君 也の動 次 樂 得 時 無 忢 地 っ有 耶の云い街 非コ爾の日 耶·常 而

カ 獋 講 篇 故 · 敬 介 日 c 道遠。 c 擂 Ш # 我 逮 尺之 省 遠 浩 Ŧ 之 角 心 存 而 聖 Ш 陸 子 他 六 吾 麓 っ君 其. Ü ○刑⊃聴 蔽○悅 日の頭の裙の 14 日。日 字。 ŗt 垩 70 日家 有 1, 矧 賣。 逢 臭。人 酸ο m. ĹJ 唐 Ш 者 靜 易 剛 斂 人之 言必 尚 之硜 老 釆 安。明 皇 得 彼 售 日。毅 水之 靝 剪 儒 之人 不 判 祈 其 人。便 扇 1某之取 斺 道 闘 信つ 木 7 及 預迁 巫 欺 賀 欺 好 姈 訦 求 《之取人· 新近仁》 之 漢 号 夙 在 翁者 古 行 小 侮 无 天 侮 浉 詩の 4 綸 。之 必 人。之。 怪 也。自 慙 他で 焢 唐 他 語の或 1 果。 郼 之 古 稱 丽 祳 銀い大 人 귷. 程 不 年○某 勸之從 追 Ā **今之號為君子者** 徒。之 晉 張 去。君。書 歽 其 子 可 未 於 反 是 人。水 尚 果 何○於 忠 取 日。謂 之 共 躬 何 部の自 者 奠 明 有得。 信 中言 陽 便 废 犸 4 遁 拧 穪 自り目の 某淡 誠 儇 Ш 叨 無 À 於 堯 丽 乘 焼の破 整い役 窮 叉 忠 講 愢 進 達 世 作 些口有 育似 鳥 信 利 道の平の 谷 聰△主 40 用の衫 觀 擔o巾

能 或 也。良 敬 天 之。告 别。實 障の仮 見 樣。而。言。聖 由 夘 售 小 下 Ц 何 い利 非 言。禪。人 吕 此 無 日。紛 日∘於 者 稍 性の 佛 存 个 吾。之 Ż 桇 學。之 堰 以 #; 不 败 亦 愚 心 <u>م</u> – 養 按 敓 間 要 之。所 村 観っ 整。子 效。 登 按 此 切 之。此 巷 佛 萬 朱 肵 打 所 o 謂 藲 巧。 難 病 無 天 陽 惟. 無 禪 邞 者 理 子 讇 謂。性。學 破 偽c 源○虚 下。明 邚 用 不 0 후 표. 뱜 궃 日°性 事 性。指。亦 此 從 議 Ε 逋 绑 惟 儒 識 空。此 也。理 則。徤。言 矣。之 哉。性 出。性。敢 郑 心從。循 惟 陸 始 指。順○見 如っ 亦 諨 故 鳴 者 說 萬 . 見 此。是 孑 夘 得の其の五。性っ拙。 善 呼°日 Ŕ 'n, 諸 理 其 性o一c第 靜 與 虚。常。不 誠。 大 夘 亦 天 皆 抑 灁 萬 不 差∘二 謂 共 無。日。只 明。 差。不 也。者 放 供 何 空の理 方○着 知 0 儒 肵 中。用。說 矣。 叉 弗 談 盘 失 事 故 뱕 ĮQ. 是 有い吾 譋 釋 妙·事·心。 Ħ Ŀ 考 之 天 如 # 猖 實り 識. 公。儒 差 心・明・物・是 無 見 也の者 下。此。尊。在 拔 🔻 私の説 處 间 ◦*1*乃 圓○之○如 普 來。陽 加 以 無 能 心の義の真 止 是 平○理○何○ 性 明 聖 議 敝 是 利の理 是 者。而。日

得の出っ緒 肵 卦 並 是の佛 聖 為 靜 是 矣。有 耶の街 意。口 山、思 樹 粈. 陽。氏 未 [4] 覾 也の陽 復○此○聖 之明。之 耳。面 心 瀬 識 肵 日。之。性 不。人。又。良 齊、其 M 有 謂 本 不 是 卷之 ځ 奚0知0海 徒 省0惺 而 艮 來 思 陽○是 。切 檢○名 知。L 門、又 以。惺。知。 善。明 並 起 而。不 所。口 烟。碳。静。善 從 人 佛○體 雙 顕 位 又 Ħ 不 而 紩 薱 江、而 **氏**。良 者。思 П 甞 文 之。噶 平。 力。為。工 大 飬 奥 設 篩 悪。以。得 之。香。呼。治 正. 洲 鼓 **黎、道、諱○夫。物** 此 蚦 告。及 Bo 也o無o天 覺。靠。震 足地。大 备 丽 方 該 子 其。既: 善。泉 方。齊. 透 洛 以 陽 果 格。便。本 · 徒。乃· 無。一 傲♡唱 於 胃 動 明 相 晃 本 諱。此 來 亦。人 悪。証。然。宗 共星 人。不 爲 似。致 來 面 攻っ心 四%-来 以の風の間の 敵の遂 勝 由 舡 其 面 目 旬 皋。不 字の世 棒。夢 不 共 若 袻 是 Z 目の北 面。死。儒·若 喝。怪 製 藲 惲,好 功。即 親 佛 量o斜 耶·在·為·百 以言 之°即 吾.

質器問 質 豲 7 季 IJ 居り者 害不 者 以 多 0 僻 : 萸 皮 日。絕。 10 柸 熄 alt, o 百 盂 14 以 ú 日、得。奥 Ü 4 君°未 擇 N 曰。也。餘 名。據 · 塗 种 4 彼 事之無害義 賀共 资 込 子。書 者居 놥 哆 為。其 区 车 之。林 飾 非 異 则。皆 珠 非 月 东 呼。 間口 三。座 ء 兆 、聖賢 斯 教 食。 奥 乏人 眀 吉。吉 成 死 衤 豈 斯 也? 솅 1 人 貧 Щ. 育藥 騐 小心也。 婚 者 何 ÞJ 文 背っ Éi 渖 之 誤 借 能 平○人。 而 死 甞 類 不 惟い時 F 徘 耳 X 者。如 其 (未甞皆・ Ŧ. 馴っ而 壽 不 為 大 有。厥 2 川 目 人自妄引 從 乗っ 飋 老。 **卤**°推 者 揖 之 佛《後》謝 爲 又 愉 俗 乗。来 理の之の 寒 霧。 Ħ 淪 爾。人。停。 7 Ë 可 王 黃 諸 1.古也 也。 在 心事。平 天 心 梅 葢 官 人。 而 也。 田。白 事 者 周 焉。 自 儒·則 管東 今 以為 悭∘街∘ 以 背 夭c 娶婦 而陞 後っ 今 有 祖。 釭 **帝**。王 戊 佚 o 孕 其 眀. 面。人 淇 П 队 未。削; 午 者亦 共 者 餘 實c尾 正. 實 此 除以及 義 **奉**。 墜 ... 发话 熖 嘉. 循o珠 何 柳 人。之 丽

月光 成 **赶**玉峰日蜂色貨利不 £ H 氣交感 雲 光 我 其。逈 蛇從霧巢居知雨 術。之 藝 恶。則 身 存 媒∘ 肵 o Fic 蕎 龔 葥 其工 起而龍岭風欲生 虎 日。之 調 日。 夏 ο和 日の福の観 私。 而生安有 爤 支 間。人民 學c如 禹 周 是。顏 全: 凯 ○風 無 以 老 治の太 鑄鼎 公 媚o以 藢 生日一者雪 日○非 雙 非、史 Z. 作 之。致 헰 瞳 怪 學o遷 也。蔣。不 泵 金 乗の兼 從 也。之 。 之 オ 丠 以 縢 是。可 何 駅○也○龍○ 微 群 欺之也。 欺無 私 Ü 待 聲o夫. 丽 風 肵. 重 亷 鬼 祈 息。風 主矣 而 虎 從 骣 姦。天 浺 肅 ○而○雲 虎。 # 命。之 後 朝 Ţή 能○者○ 莜 說 遠荷 君子 君子弗貴 世 淺 不 新 典。天 者 連門 遂 也cタ 可 以為 日○動○地 礻 有 以爲咒 祝o娟o無 天 之○陰 巃 旫 厭 秆 而 理り 從雲 哉・陽 龍 道 他の 獻安 鎭 愆 Ŀο 以っ 11

猻

日中

古

稠

朔

正

直

瓜

神。

夫

聰

蚏

則

薇。

ıΕ

直 · 稔

至。陽 中。者。理。自 被 氏 處の者の父の不の是の之 É 達。來 IJ 所の刷 至 也。也。其 共 修 此。注 之。皆 A茲 o 吾 o 正 o 世 云 ○柔 ○理 誠 故○氣○天 乾 \mathbf{H}° 理っ定。自。自 世 則の人の自 之 占っ貴 靴の外の型 <u>"</u> 而 ŧψ 而っ君 誾 操。當。宜 無っ有 \Box_{ρ} トゥ得 巴 。道 。賢 。象 。而 而 賢 * 順。子 怨ぃー 多 房 ○ 得 □ 榮 操 策・其 大 可 官·也·言·言 خ ۽ Z 必○之○貴○履 受ぃ藨 天。定 有 ณo中o易 寬 理o數o謂 胡 肵 之。得 尤。之 愚 息。事。操 及 亦○進 為 袻 而o也c之 24, 便。為 人。分。舂 而。不。履 升 不。现 前 **夘・敷・合・象・**埋 ○数 之。不 是。君 而 所。可。不 泥。 過で存 民 不 在る之。自 ÉI 樂。子。事。可 也 享. 守く以。正。自 决。亡。利 過 其。則。其 其 何 天・小 古 致 惫 或⇔此○自 爰○示 用 日 中。不。一 侩 為 詰っ貴の變の青の宜 知。人 人 之。失 之 吉 言。能で二 机 易 命○杆 謂 若。智 珍し效し困 徐。 書。百 ○其 數。分。而 哉の差 ili 之。了 生 知 o 熱 為の於の死の不 事。正 亦 悔 而。之。言。言。如 此。而 學っ為 死 小の造の蓋の可 尚 吝・理・則・謂 而 鄁 耐 貧 理っ多 人の物の操の謂 -[-之 日 甲 在c不c之 人。富。安。針 篪 之○貴○履○操 矣。陰 其で可の数の氣の也の 馸 而の窮 能し生 婦∪效○自○履

之。知。日。修 刞 足 流 外。之中 從の謨 統 統 世 康○事○之○庶 挂 雜 不。之。先 +養。於口數。 + さ 節ぃ而ぃ所ぃ人。洪 有 言。以。矣。生 康 陰し迭む 書し之い没し首い而 日。 豧 頮 典 陽→爲○天 辰○世○以 小っ世の論 飵 所∪求○重○後 胀 + 射 者 數○俗○命 日。消。用。卷 推。一 前 謂い誘・聖・謀 志 ○也○覆 白。所o否o不 長い者いる 面の世 敷の真の腎の及 元 疑い先 Ü 市 末 名の謂の當 能 之。也。八 上の統 統 固の漠の傘のト 首 定。 神 技○不○命○一 巫 故○雖o 之。三 亦。不。事。筮。日 4. 詢 奇 無 霊 亦の則の推 人 矣 の其の 行○十 聖の可の豈の然の謀 諆 賴○後 彰の不の之の胡 富 為中 而○年○會○賢○知○肯○則○及 兪 ○類 世 ,明っ炉っ康 徿 鄭 説く 下 之○之○各○設○乃 同の 多 妖 小 較の也の節 走 炶 加o 之。年 所○地○自○蓍○心○鬼 會 妄 著。由。日。也。康 傷。 背○統 統 謂。哉。然。上。謀 神 謀 扎 鄙 矣o斯ぃ若o及 ĝγ 祭り具 十。十 Ξ 數。殆。之。筊。及 共 利 뮟 俚 _ 0 _ + 乎。以。天。疾 4 痒っ 也○必○理○决○卿 樃 漸 波 親い命の山 高し要い 與。月。運。皇 不。當。非。士。龜 三。二 其。几 談○夫 康○則○革○勒 亦。 極 然の然の古の謀 十。月 **選 經 矣。之。人。及** 私·不 節し巴。或 九 1.º

程 有 タ。文 明。之 百 吾·日 呼。谷 П 為 未の数の張 之 ıŀ. 干。徐 。之。 悹 有○之○角 事 徒 群。有 Ξ 天 必 豊。入 0作 個の調 则 目。下 之 遍。荅 隨 口 艾。一。方 相 世. 不 大。王 安。日。應 郡 也の言の臘 如 弗 恋 後 툊 殃 侼 算 。宜 偒 世 得c呼ゝ膽 從。 觀 與○足○劉 嚴 奔 民。 數○卿○不○僅○呼○弗 何 明 愚 赻 父○走 音 以o漏 态 Ž 書 善 梅 告 醸○通 \bar{z} 汝っ 二。弗 故 亩 止の人 羅 肆 ○者○百 日。善 怒。三。瘕。恐 谷 也。於 産 世。之 歪 痒。猖 殃°惠 算 耶○汝○妻 胎 干 夹 康 問の階 老 爭 在o* 星 遍。妻 大 迪 妻 節 畧 即。怒 生 無o亂c死 趨 學 吉。數。頓 丽 我の日の士 梅 埀 Ź 窮。皆 如 而 無 出。日。從 夘 悟の怒の何 老。 學。之。由 莫 骞 谷 楍 ℴ 鳥 迹 X 此 言っ 遂 觀○聒 扙 好 灁ぃ是 Φο 不 夘 至 ◦悖 应○禍 英の也の悔 止い音の噪 曰 儒 事 愅 有 而 数。而 作 大。嗚 福。 一。若 呼 摮 佛。 者 反 。蔽 亘っ出 춈 覆 疽 日o是 妻 閘 自 の呼の前 之 夘 の者の降 憂。豈。代 古 舴 彼の耶の至 晨 如 於 不 o而 作 。如 今。亦 時·至 Ξo 你o梅

堂

答

范 £

He

扎

中

指

不

荀 稼

楊

陳

则 西

尚 書

不 來

無

疑 惓

者 惓

再 赤。

陳 欲

枧 制、藥。耶。獨 子之 短。解。就 4 水 厠 荀 決 來 乎。固 不 性 亦 夫 犷 持 于 猛 卿 矣。言 扎 若 剘 無 可 譶 得 迚 並 其 涨 。昌 諸 未 然 o與 云。此 문 便 不 得 見 製 ___ 扎 肵 🗒 顤 明 儒 甞 益の品 荀 詡 可。矣。論 為 謂 * 採 稻 之 ᅕᇬ 倒 正 為 行○語 楊 4-從 牛 今 吉 于 大 良 z 學。列。莽 p Ż 其 固o並 溲 先 之。綱 溲 祀 黄 入 知。八 魏 中 Т 大 不○美。點 不 馬 生 則 目。藥 艄 共 晩 閍 渭 夫 可oサ 礼。有 **浡o**若 浡 。可 特o者。子o视 直 之 著 也。不っ掩 鄋 在 픠 議。償 欲 無 不。如 年。指 自 荀 速 P.D 正 重。其 疽 見 採 處 偩 用。荀 Z 而。莽 非 卿 使 町 U 行 收 旨 於 可 Ŧ 共。卿 為 泖 性 天 以 性 著。大 祈 陳 悪之 沔 程 於 川。性。之 之 下 楊 任 퍖 述の夫 不 朱 艮 之 法 雖 輪。惡 巬 盐 墨っ意 亦。 = 在 酱。長 役。大 之。兵 製。渝。 歁 麽 詆 耶。論。不。字。著 儒。而 登 丽 為 説の要、 盘 爲 Ż 其 仐 述 得c至 述。瀆 凡 等 兄 去 茍 耳っ論 可 書。為 以 餇 不 觸っ哉 鄫 案。而 其 岩 小儿 泚 得 輕。斯 伙

乎ぃ耳。是 不 病 女之言 瑘 老○與 **渡**o建o敬o建o可 饗嘉 瓜 江 湽 忍。顧 此 分 扁○學 則 楊 繖 之。安。偏。安。並 末 之 枚 꿦 意 鄸 墨 **王** 備 TL. 而○末○于○之○重。而 夋 賓 不 是 誠 矣 o 明 考 孟 交 化o巴o而o主o學o亦 日っ也の 天 厚○特 之 相 老 則 道 濟 之 是 蚁 非 至 中。之 何。天。敬○補。可 有 下 建 官 不 淆 샜 悉。當 以○下○者○洩○謂 Ż 安 歷 疎。共 混ο弟 欲 先 採 豈 虚 也。人 扎 姚○之○則○備○識 木 理 歽 則 非 生 學 可 7 逝 江0寅0洩0矣0發 便 病。而 **敷**o 見°學 Л 好 淼 澩 旣 不 平山 當 爲○病○之○偏○化 不 天 來 **毎** 不 者 前 釵 有 通 円 假 奂 哉。不。以。于。之 Ħ 下 扎 免 朲 人 腎o取 捹 使 行 佛 ij 可。窮。窮。方。不 之 叉 入 伏 及 者 開 焉o之 平の天 老 建 補。實 不o理o理o不 궆 此。荆 也。天 新 페 言。噫。下 交 安 渡い何の者の依 病。孫 毽 先 不 棘 0 孔 下 此 此 必 無 契 姚 安 相 則の病の則の則 不 鍾 是诗 生勿吝 書 私 敢 輕 中 不 楊 濟。江 亦。之○渡○又 姚 訶 元 毁 薄 辨 نان 是 墨。 交 以o足o之o有 然 孟 江。不 進 諄 有 前 Ż 非。陽 矣_o無 子 建。患。以。說 相 雖 渡の陳 腎 P9 团 眀 関 佛 清·安·耶·主·焉·不

張

此。十 舧. 子 人。識。 有o然o村 者。弟。古 至 如 者o. 日。何 尚 昔 ÉD 習 方。 所。勿 天 心 IJ 將 盛 卑 能可是 郼 o 生 時o業 衡 爲 見 造の急 為。死 理 老 不 · 縢 恐 者。就。之 也。日 近 之。鸝 邁 於 叉 得0八 事○漏○命 壞○過 在 師 皆 子。 在o成 헭 X 壀 長。四 弟。 更。败 オ 等 天 今 而 五 亽 有。利 玾 鄙 不 以 + 浮 Ż o鈍o之 9 棄 之 年 薄 蒙 當 0--仓 之 0為 奺 步 師っ 乎 0 父 o齊 然 师o前o年 固 夾。放 也の 兄 其 此 為 Ľ 带c下o知 之 年 筝 之。不 故 面o理 過 為 教 Л 挥 丣 前。之 фp 四 人 共

考 棄 真o乃 東 有 慎○勿 琢 夫 灑 彼 置 金 是 而。求 日。滅 不 無 麼 咎○於 日。禱。 用 法の顧 水o致o氣 孟 者∘之 魳 袭 隨○近 敏 敎 終 地。加 之。之 麼 子。 故 歎 非口矣。能 而 惜の能の若 須ぃ 為 成 乑 之。惜 擇o 掝 忍の以 顧。 老。 兽 耳の間 心っ論 於 成っ 剘 惟 何 不い儒 釋 之。 為 故○一○者。氏 如 ±0 此。日 萬 顧○障○岑 有。 迚 乃。以 耶の雛の諸 o ag 見。有 俱 昔 必っ所 行。 **卒○人○用** 程 追○有っ 有っ 心。之 不 伯 巴。告

本。物。子

不。子

惫

學。

魏 貴壽 鬒 博 衡○永 醉 至 У. 以s 主。干 上 U 環 淮 Ú 修 則 知 賢○積 -100 光 是 觏 理。支 而 齟 極 為 為 夢○身 安 之 考。可 而。八 磛 當 命。 # 日。傳 博 日。功 君 华 畵 過 無 為 反 奴 世の者の表 兼○字 軒 命 來 古。人 子。 也。有 Ż 爲 道の面 常 大 數3為 衝の窓 者、 患 矛 · 軽 得 格○佛 解 皆 七。之 穫っ一 存。轉 貧 抵 以《命。於 厚 理 笑 謂 氏 脫 為 謂 賤 也。八 吉。專 風。 こ○器 禍 而 移○有 其 為 IJ 疋 矣。多 夭 上 命の言 來 數 可 Ξ 槗 蕳 主 任 古 E 以 因 事の亦 此 旣 札 失 也。而 世 稱 1 者○數 其 聖 何 果 畋 共 風 焉の之 君。矣。世 而 31 有 者 種 數 鲚 倳 代 命っ報 說 庸 領 定○矣○淳○種 說 子。豈 俗 寓 削。來 器。力 慮 失之 夫 非 此 此 謂 而 脳 行。 也○足 以 其 是○混 得 肵 勸 Ź 共 中○謂○沌 受o我 屋 報○數 遗○盡 而 人 謂 Λc 单 昏 若 肵 說 P 若 固 \mathcal{F} 理○命 生 反○心○盡○不 非 袁黃 o侑 也 失 封o然、有 然、能 子 而。之 年 古。任 数 H 护 뢌 Ż 偷 則 轉 人 則 定 の勘 專 ○實 月 廙 之。共 竊 何 生o聖 不 盡 矣。 主o乎o日 移○矯 從 道○麓 而 理 代 他の 其 加 7 數。故>時0相 腎 褔 也の富 來 我 漓っ煮っ 古っ

極

之

數

為

始

而

安

則

愚

不

肖

之不

及

也っ以

盖。有

子。而

吉。樵

主。智

理の計

而。是

圆○君

如。子

是。去

7 霄

Æ 壤

皇

數○者○譲

也。之。物

遠

命。命。力

之の兼の逞

君の命の為

Ц

哲

芽

為

善

洏

非可

能

於

迮

若

不

矣。知

窮い極 乙。中 尤 而っ可っ而 数。以 丽 糞の也の套 怿 之 無 固 不 T 移の安の焉。 訤 有 復 人 返 易0命0思 🌉 凡 數 0 之) 驗 o 而 也。感 乎。不。有、彩 木 泉 赴 大 命の為の以え 彴 於 談 必 於 U 無 数の不の善の移入 肯 告 前o數 典 可。不。易 驗 o集 爽 爽 者o端 也の可の之の 妆 谷い者 於 IJ 因 此 也の則 為 雲 乎 0 後 o 泉 得 其 套 o 又 射勉 谷 7 共 人 售 失 面。賢 僧 凡 常 折 共 無 為の知 之部 Ż 善。之 登 可。過 値 也。符 術の可 。點 萷 孔 竞 於 解 謂 者 塗 生 甲。陷 也っ也っ也の 也。之 談 溺 菼 而 為の安。 郑 쿳 **近** 共 善っ命。

之不 事 此 丣 髙 為 小 趨○名 蔣 奪 文 人 厚. 丽 之 人 利。 也。 尤 劢 非 我 而 敢 不 專 但 其 爭 Ż 足 施 甚 權 齒 已。其 者。 於 者 0見 權 譋 進 君 有 力 數 物 子 智計 可 何 也の未 避。 尨 亦 睿 全 以 未 過 Ľ 無 限 也○賞 也。而 不 我 不 得 ĸ 歸 ο天 為 於 及 兒 下 他○吾

於 咎 7 衎 也○書 夘 所の計の者 應 謂 氏 不 設 心 為 於 善。 Ż 符。亦 孔 jŧ. 平○云○横 可の強の他の爾の 中 夹 善之 為善 4 ィ 命 泉。予 或 鐸 是 陷 支 發○倖○有○予 了 بأر 之 之 党 有 之 自 也。信 以 溺 使 日。又 道 邀○得○日○允 日罗 之 Ŧ. 寅 數 我 日。心 積 奉 儒 平0福0非 謂 聖 善之 废 ホ 久 功 未 致 言 子 刑 止。 Λ 不 了 之○也○為 者 平0驗0其 也。篤 其 作 數 生。凡 理の君の善 日の布 之 其 易以 家。 身の當 袻 此 也の将 쬬 者 君 古 海 科 積○子○而 **不** 宇。而 共 名 善。但。獲 具 爽 來 子 褔 知 惟 胍 必 與 前 於 不 報○餘○知○福 有 命。是 為 爲 信 チ 端 孔 生 孔 善 息 省 ٥民 易。謂 邚 慶○吾○報○餘 無 以 釋 雲 誑 壽 也。谷 之 生 用。易 之 不。有。固 慶。 у, 儲 K 誘 持 肵 Ż 考っ庸 Ż 善 左 為 之 數 ij 够 期。為。主 數 者 醴 不 君子。 為 也。券 而。善。理 固 之 行 吉 得 數 剖 示 佛 夫 爽 乎 趨 口。也。懺 諸 之 也。符 而 天 洏 然○之○面 不 有 か違。 古避 故 놤 何 豊○理○兼 7 而 其 罪○徴 堂 則 索 也。 Ź 償○人○而○乎 也○外○智○致 止 拵 刞 凶 主 理 振 力。不。數 該 贶 斯 不 而 委 瑘 亦 程

文の論い神の民 此 定 豎 意っ論の逆 事 作 歽 天 凶 造 仐 順。宜 德 甚 事。 而 七 Z 著 月 無 华 頒 但 ĪĒ 臺 者○德 謂。伸 巷 類。 政 行 層。之 之 Z H 之 道 孤 播 ∘似 人 故 曆o止 むっ 月 云。虚 事 植 之 臣。宜 之 行。料。忌。宜。 思載 敎 3 . 紀 JL. 載 人 Ħ 此-解 星 唐o亦 月 何 趨 開 類 **虞**。且 也○辰 公 莊 成 星 用 之疏 놤 辰の馬 z 之。不 收 建 次o曆○經○除 凶。閉。過 按 之 書: 語 宮 此 仰 必o東 不 而 零 於 度 語。觀 無。行 非 宜 此。惠 數○乃 俯 方 出 此。西 索○等○行 (e) 廸 行。頗 干 不 縪 事 クロク 殺

厚の甚の石 於 命の身 數 面 生 命。理 雁 哉○啟 ·受之實。 日。吾 與 被 讀易 數 沈 取 敾 之鬲 薄∘情∘氏 而 兩 ナ 失 理 而 折 説。 東 Ż 。與 狎 也 ÷. 話。抑 恐 數 觀 近 兩 懼 易 伊 世 得 修 加 不 之。省。作 ī, 有 乎。了 以 溺 傳 女 期 躬 凡 歽 吉 Z 瑘 U 寡 耳。俗。 盡 末 過 o皆 牡 淈 卽 狸 與○江 矣獨 為 為 IJ 其。南 至 寸. 修 從○尤

覣

秉

妆

解

大

紳

洪

퓼

中

上

封

事

治

曆

明

授

時ο

不。推

從。隱

過

慮

粧

於

措

也口盾

日。如。共

吳 不

隱

之之

嫁 貲

女 艱

PJ

云の師

知っ吉 者。耳。於 意。性。代 仰の者。者 之 犷 生 性 稼 ΝĽ P) 障の惟 准 何 也の則の為 心心性心性 性 之 也の也の之 歋 是 則。綖 共 吾の性 也。之。之 理。神 辨。言 謂 無 而 氣 日や 秂 惟 丽 旣 之 之。而 先 肵 所o郛 明 聚 則 則 矣。陽 理c無 巳。以 外 恐 IJ 所。以 儒 寓o郭o性 不 而 知 眀 悪っ其 知 者の滅 謂o知 X 辨 肵 而っ朱 也の測の成 漽 其 Z 覺 葢 政 蚏 肯 心。覺 之o非c子 赘 變 故 形。矣o所 累。人 倫。也。之 亦。即0日0程 至 亦 獁 曲 12 祈 知 以 善の指 宜 偷 性。不 離 子 彼□發 性の蠢 至 無 氣 實 禪 為 莫. 夘 其 庻 則 夘 仁 之。動 眀 也。處 日o方o Ż 刞 禪 苮 覺 巷 物 其 有 義o所o者 非 矣。性♂是 性 要 精 夘 者 托 為 皋 之 所 性o張 若 之 指 也の心の即 謂っ為 英。陽 炉 於 理 No No o欲 皇 夫 Ш. 性 而 而 者。不 叉 蚏 理 亦 7 僑。 則。故。事: 禅 也 棄。 皆 保 以 而 也。氣 聚 矣o何o其 詭 寓ぃ是 ,其 之 足 養 夘 怪の吾の彼 者o於o性c邻 也。而 今 Θ, 旅 覺 故 也の以 肵 而 之の之。 祈 〕則 心の是の子 共 夫 為 明 害 為 謂 婸 Á Ü 而の心の目の中 勿 所っ所。 心の人 固 冟 明 網の網の 我 知 放 非(也o心 不

晚 憚っ而 種 錯 應 庻 是。此 爲 存。之 横 剫 夘 日 芝 根 時ぃ村 此 儩 誃 物ぃ 彼の人 孌 ı. 而 說 白 郼 稈 ᆫ 只 日ロ陽 離○者 心の初 見 Ż 幻っ天 則 能 未 偸 ĸ 後 献 深っ為 明 其 緂 丽 無列 為 知 麩 惘。 敢 庻 不 理o本 表 之 位 繼 希。虔 如 此 냰 非 覺。然 與 酢 肆 物の可 叉 來 學。起 魫 何 事 共 夫 於 之 者 以 學 萬 究 杰 固 日 面 食字 字○君○所 洗 者。倡 未 巣 變o决 我、 沃 自 者 喆 於 ο 無 目。 滌の及 原 以 Z 睿 非 則 不 非 試 苟 裂 善 鄮 我 而 Ė 卽 至 只 為 疝 者。窮 得 乎○於 岩 其 無 我 倕 **払っ何** 加 有 有 服 究之 灁 IJ E 叉 萬 格 薭 有o大 惑c 1 雖 則 敬 官。一 於 禪 不 丽 炙 變o物 又 而 指c乃 門 家之遺 字 事の 食 天 其 為之 忽 自 敢 應 其 窮 棏 亦 肵 歽 要 平。下 勤 任。自 其 之: دراد Ù 肵 理 可 謂 請 以不 飾 悷 他 方 耜 美 棄 說 也。不 不 本 見 Ż 東 賭 至 良 耳 力 忠 其 復 於 至 U 為 功。事 日。縛 矣。善こ知る 其 職。清 上 禪の於 得 有 為 是 袻 於 充 雞 叉 物 良 本 亦 起 學 脍 E 肵 颠 人 也。知 共 其 H 者 敋 聖 來o識 Ň JŁ. 春 刟 倫 斱 説っ 拵

張 欲ぃ湿 九 理o叉 致 志不 在 日。存 是 附 良 永 歓 仓 大 正 dt. 天 狎 日っ 真為 病。心 志 理 於 陽 🏲 不 正 如 老之人 不 也の此の事 瞯 不 万波 νŭ 脱 急 卸。求 先 真 誻 至 物の格 蒠 究其 不 矣o誠 切 其 格 訓 所 說 意o也o不 其 真 所 以 夫 郼. 何 不 至。 丼 絘 磨礲 以 謂 可 誠 砌 以 ΤĒ 則 明花茫荡荡反: 冷礲辨析之方下 意 格 第 格 以 以 乎。先 理。共 復 格 物 致 為 恐 不 本 其 知o去 認 正っ體 非 之正 丽 人 絘 IJ 心 以 前 欲 欲 欲 為 日 為 存 竟 理○去 也○據○■ 爲 致 理の知 天 刵 H

時o許c 君 其 到 奫 究の全 食の敬 咭 原 臣 則 起っ筒 字の慾 之 允 為 矫 乃。不 其 乜 之 m 廉 大 得。是 食。只 私o戸 亦 義。天 也。 先 溫 則。成 非 有 秩 故。 據 知ら敬っ一 飽 合何 秂 義. 背い種 其 起 義。誤 融の利の 不っ固 中。見。但 봡 人 之。 處 0是 敬○寵 而 如 辨。 也。患 片 後 看 後 天 須 失 講 美 原. 故 世 理 従っ 學 垩 炉 H 事 急 上 t. 事の學。 問o何 宅の君の辭 人 بالر 事 長 其 栗。因 下 識。 箇 便 君っ子 初 聖 4 字。 是 時の 後 便 孫 應 人 詺 講 字に先 泉 不

湳

書

後

不

是

要

耳

觀

1

疾の娱

高 陸 是 m 欶 老。 亦 辨 빤 石 常 垩 異 道 日o在 4 💆 人 端。之 儒 心の者 仕 闘 瘴・乙 徒 那 尤ω雖 也c人 也。說。不。無 可っ補 使 先 無。救 垩 補。世 之 救α道 世。之 道 明の道の權の 之。而 言。不 後 塱 恭 夘 可 言 肵 無 歸の出 豧

日o鏡 愈 而ぃ聲 刑の剝 全 張っ有の色の攻 獄の下 瘴 日。 是 疾の此。木の之の奉 之 昔 知 者の性っ崇 烽の 上っ為 必o簿。飾 地 倰 此ぃ害。 Ž 死。之。車 牟 租。不 瘴 也の瘴の服の民 赋。特 者。昔 也。此。利 之。地 未 元 工。以 瘴○也o而 し必 城 有 役の實 栥 仕o悪 能 劉 於 之の私 文 亦。其 先 此。瘴。儲。以 死 有∘地 人o生 無。点 此。逞。瘴。之 而 處 疾っ揀 貨0良 也c摩 能 瘴 者。妄 財で悪 戀 者っ 死 必の姫。之。不 丽 催 或 姉 有の以 痒の白の暴

攻 此。斂。之